

**日本スポーツ振興センターのスポーツ施設の管理・運營業務
民間競争入札実施要項(案)**

平成 23 年 月 日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

目次

1	目的・趣旨	1
2	対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項	2
(1)	対象公共サービスの詳細な内容	2
(2)	サービスの質	3
(3)	N A A S Hが行う必要な助言、協力	5
(4)	創意工夫の発揮可能性	5
(5)	委託費の支払方法	5
(6)	費用負担等に関するその他の留意事項	6
3	本業務の実施期間	8
4	民間競争入札に参加する者に必要な参加資格	9
5	民間競争入札に参加する者の募集	11
(1)	民間競争入札に関わるスケジュール	11
(2)	入札実施手続	11
6	落札者を決定するための評価の基準その他落札者の決定	14
(1)	落札者決定に当たっての質の評価項目の設定	14
(2)	落札者決定に当たっての評価方法	14
(3)	初回の入札で落札者が決定しなかった場合の取扱いについて	15
7	本業務に関する従来の実施状況に関する情報の開示	16
8	民間事業者を使用させることができる対象施設の施設・設備	17
9	報告すべき事項等	18
(1)	報告等について	18
(2)	N A A S Hによる調査への協力	18
(3)	指示について	19
10	秘密の保持	20
11	契約に基づき民間事業者が講ずべき措置	21
(1)	業務の開始及び中止	21
(2)	公正な取扱い	21
(3)	金品等の授受の禁止	21
(4)	宣伝行為の禁止	21

(5) 法令の遵守.....	21
(6) 安全衛生.....	21
(7) 記録・帳簿書類等.....	22
(8) 権利の譲渡.....	22
(9) 権利義務の帰属等.....	22
(10) 再委託の取扱い.....	22
(11) 契約の変更の取扱い.....	22
(12) 契約解除.....	23
(13) 契約解除時の取扱い.....	23
(14) 契約の解釈.....	23
(15) 民間事業者への業務引継ぎ.....	23
12 損害賠償.....	25
13 民間競争入札評価委員会の設置.....	26
(1) 民間競争入札評価委員会の設置.....	26
(2) 評価委員会の構成.....	26
14 業務の実施状況の評価.....	27
(1) 実施状況に関する調査の時期.....	27
(2) 調査の方法.....	27
(3) 調査項目.....	27
(4) 意見の聴取.....	27
15 その他実施に関し必要な事項.....	28
(1) 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表.....	28
(2) N A A S Hの監督体制.....	28
(3) 民間事業者が負う可能性のある主な責務等.....	28
別紙.....	29
様式.....	92

1 目的・趣旨

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で民間事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

前記を踏まえ、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長は、公共サービス改革基本方針（平成 23 年 7 月 15 日閣議決定）別表において民間競争入札（包括的業務委託）の対象として選定された独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「NAASH」という。）の設置・運営するスポーツ施設における管理・運營業務のうち指導監督を除く業務（以下「本業務」という。）、について、公共サービス改革基本方針に従って、民間競争入札実施要項を定めるものとする。

2 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

(1) 対象公共サービスの詳細な内容

ア 業務の概要等

NAASHは、独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）及び独立行政法人日本スポーツ振興センター法（平成14年法律第162号）に基づき、「スポーツの振興と児童生徒等の健康の保持増進を図るため、その設置するスポーツ施設の適切かつ効率的な運営、スポーツの振興のために必要な援助、学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付その他スポーツ及び児童生徒等の健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等を行い、もって国民の心身の健全な発達に寄与すること」を目的として設置されている。

このうち、スポーツ施設の指導監督業務を除く管理・運営業務について、法第14条及び第15条において準用する第10条、第11条第1項、第12条並びに第13条第1項及び第3項に基づき、公共サービス実施民間事業者（以下「民間事業者」という。）に委託する。

加えて、民間事業者は、NAASHの事業目的に合致する範囲で、自らの提案により、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長の許可を受けた上で、当該施設を利用した有料事業運営業務（国立霞ヶ丘競技場トレーニングセンターにおける売店、国立代々木競技場の水泳場及び国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターのフットサルコートの利用貸出し並びに利用者向けに有料で行う教室等。以下、「有料事業運営業務」という。）を行うものとする。有料事業運営業務の内容は、スポーツ振興に寄与し、かつ施設の有効活用が実現できるものとする。

民間事業者は、上記の業務を包括して実施することとする。

なお、以下の業務はNAASHが実施する。

- ・大規模スポーツ施設における事業計画の立案・策定
- ・イベント等の進行管理に係る大会主催者等への指導・助言
- ・トップレベル競技者を支援するための研究・支援に関する業務

イ 入札の対象となる公共サービスの単位

下記ウに示す3の対象施設における業務を入札単位として実施する。

ウ 対象施設

(ア) 国立霞ヶ丘競技場

所在地 東京都新宿区霞ヶ丘町10-1・2（陸上競技場、NAASH本部事務

所 ほか)

東京都港区北青山 2-8-35 (ラグビー場 ほか)

東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1 (西テニス場)

(イ) 国立代々木競技場

所在地 東京都渋谷区神南 2-1-1 (第一体育館、第二体育館 ほか)

(ウ) 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター (以下「JISS・NTC」という。)

所在地 東京都北区西が丘 3-15-1 (JISS、屋内トレーニングセンター ほか)

東京都北区赤羽西 5-2-15 (陸上トレーニング場)

東京都北区西が丘 3-9-14 (宿泊施設)

埼玉県戸田市戸田公園 4-9 (戸田艇庫・合宿室)

なお、対象施設の詳細については、別紙 1 「対象施設一覧」のとおりである。

エ 業務の内容

本業務の範囲は、別紙 2 「業務の範囲」のとおりである。なお、業務の詳細な内容については、別に定める「要求水準書」(以下、「要求水準書」という。)のとおりである。

(2) サービスの質

本業務の実施にあたり、達成すべき包括的な質、及び個別業務の質は以下のとおりとする。サービスの質を設定するにあたり、使用する利用者満足度アンケートについては、別紙 3 を参照のこと。

ア 包括的な質の設定

要求事項	評価指標	満たすべき水準
(ア) 要求水準を満たす業務水準を確保すること。	「要求水準書」に定める水準を満たす業務の提供	「要求水準書」に定める水準
(イ) 施設の業務・運営を安定的に実施できる環境を維持すること。特に、スポーツイベント等の開催に適切な環境を維持すること。	①業務上の不備によって発生した、施設の重大な支障(停電、断水、空調停止等)の発生回数 ②業務上の不備によって発生した深刻な事故、事件の回数(警察への通報が発生したもの、利用者への損害賠償が発生したもの) ③業務上の不備によって発生した、利用者や観客が負った怪我の発生回数(医療機関での治療を要するもの)	① 0回 ② 0回 ③ 0回

イ 個別業務の質（運營業務・清掃業務）

（ア）運營業務

分類		業務内容	サービスの質 評価指標	満たすべき水準
施設利用	施設窓口	窓口業務、利用料金收受など	施設利用者への満足度アンケート（年2回・標本数100人程度）による「スタッフの対応」への満足度の割合	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ丘競技場（トレーニングセンター、テニス場、体育館及び室内水泳場）：80%以上 代々木競技場（水泳場）：80%以上 JISS・NTC（テニス場、屋内テニスコート、フットサルコート、低酸素合宿室、戸田艇庫・合宿室及びアスリートヴィレッジ）：85%以上 JISS・NTC（戸田艇庫）：80%以上
		窓口・受付・巡回業務		
	宿泊施設	宿泊施設運營業務 ※JISS・NTCのみ		
事業関連		トレーニングセンター指導業務 ※国立霞ヶ丘競技場のみ	施設利用者への満足度アンケート（年2回・標本数100人程度）による「トレーニングセンター指導員」への満足度の割合	80%以上
		室内水泳場業務 ※国立代々木競技場のみ	年間稼働時間数	12,700時間 （6レーンの延べ時間） ただし、4に定める休業が発生した場合は、日割り計算にて当該休業期間を勘案する。
		フットサルコート運營業務 ※JISS・NTCのみ	年間稼働時間数	1,600時間 （2面の延べ時間） ただし、4に定める休業が発生した場合は、日割り計算にて当該休業期間を勘案する。

（イ）清掃業務

分類	業務内容	サービスの質 評価指標	満たすべき水準
施設清掃	日常清掃業務・定期清掃業務	施設利用者への満足度アンケート（年2回・標本数100人程度）における「清掃状況」への満足度の割合	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ丘競技場：80%以上 代々木競技場：80%以上 JISS・NTC（戸田艇庫除く）：85%以上 JISS・NTC（戸田艇庫）：80%以上

(3) NAASHが行う必要な助言、協力

民間事業者は、次のア、イの場合に、速やかに業務の改善策を作成・提出し、NAASHの承認を得た上で実施するものとする。なお、民間事業者は、改善策の作成及び実施にあたり、NAASHに対して、必要な助言、協力を求めることができる。

ア 上記(2)に定められた業務の質が満たされないことが明らかになり、NAASHが業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

イ NAASHが業務を随時モニタリングし、契約及び業務の要求水準に照らして不適切であり、業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

(4) 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するに当たっては、次の観点から民間事業者の創意工夫を反映し、公共サービスの質の向上(包括的な質の向上、効率化の向上、経費の削減等)に努めるものとする。

ア サービス水準の向上 (別紙4「総合評価に係る評価表」を参照)

イ NAASHとしての経費削減

(5) 委託費の支払方法

NAASHは、(1)エ 業務の内容 にて示した業務について、業務の質が確保されていることを確認した上で、委託費を支払う。概要は以下のとおり。

(ア) 委託費は、本業務の実施期間にわたり平準化して支払う固定的な委託費と、業務量に応じて変化する委託費により構成される。

(イ) 委託費はNAASHと民間事業者との間であらかじめ定める支払明細表に基づき1か月ごとに支払うものとする。

(ウ) 監督・検査の結果、2(2)ア(ア)に定めるサービスの質が確保されていない場合は、再度業務を行うように指示するとともに、民間事業者は、速やかに業務改善計画書をNAASHに提出しなければならない。

(エ) NAASHは、業務改善計画に基づく民間事業者の業務改善の確認ができない限り、委託費の支払いは行わないものとする。業務改善の確認ができた場合には、NAASHは速やかに、民間事業者に対し、未払いの委託費を支払うものとする。

(オ) 有料事業運営業務のうち、国立代々木競技場水泳場及び国立スポーツ科学センターフットサルコートについては、当該業務について、利用者から徴収する1年間の料金収入が基準額(国立代々木競技場の水泳場については69,600千円、

の料金収入が基準額（国立代々木競技場の水泳場については69,600千円、国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターのフットサルコートについては9,200千円。ただし、3に定める休業が発生した場合は、日割り計算にて当該休業期間を勘案した額。）を超えた場合、基準額を超過した金額の50%を支払う。

- (カ) 2(2)ア(イ)に定めるサービスの質が確保されていない場合、及び9(3)の指示に従わなかった場合は、委託費の減額措置（該当する事象が発生した月に係る(イ)の支払額の5%を減ずる）を講じる。

なお、本施設の休業等により、業務の休止期間が発生した場合は、以下のとおり、休止となった当該業務にかかる委託費の変更を行う。

- ① 当該業務の休止期間が年度全体の100分の20以下のときは、NAASHと民間事業者との間であらかじめ定める業務費内訳書に基づき、当該業務の委託費を変更する。
- ② 当該業務の休止期間が年度全体の100分の20を超えるときは、NAASHと民間事業者との協議に基づき、業務費内訳書に定める金額（単価）の変更その他の方法によって、当該業務の委託費を変更する。

また、上記①及び②において、休業又は一部業務の休止によって民間事業者に損害を与えた場合は、NAASHがその費用を負担する。ただし、民間事業者は、休業又は一部業務の休止によって生じうる損害を最小に留めるよう、最大限の努力を行うものとする。

(6) 費用負担等に関するその他の留意事項

ア 消耗品等

本業務を実施するに当たり、必要となる消耗品等の負担については、要求水準書のとおりとする。

イ 光熱水費

NAASHは、民間事業者が本業務を実施するのに直接必要となる電気・水の使用を無償とする。ただし、本業務実施のため、要求水準書に基づきNAASHが民間事業者は無償貸与する控え室にかかる光熱水費については、民間事業者において負担する。

ウ 修繕費

要求水準書に定める修繕費（特に定める保守管理対象設備の修理に要する費用等）及び民間事業者の責により施設・整備の修繕が必要になった場合の費用については、

民間事業者の負担とする。その他、施設・設備の修繕が必要になった場合の費用は、NAASHの負担とする。

エ 法令変更による増加費用及び損害の負担

法令変更により事業者が生じた合理的な増加費用及び損害は、次の（ア）から（イ）までのいずれかに該当する場合にはNAASHが負担し、それ以外の場合については事業者が負担する。

（ア）本事業に直接関わる法令変更

（イ）法人税その他類似の税制度以外の税制度の新設・変更・廃止等（税率の変更を含む。）

オ 運営業務にかかる留意事項

（ア）民間事業者は、2（1）アに定める有料事業運営業務の他に、運営業務に付随した範囲内において、自らの提案により、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長の許可を受けた上で、有料事業運営業務（売店及び国立霞ヶ丘競技場トレーニングセンターにおける個人指導）を行うことができるものとする。

（イ）有料事業運営業務に関し、提案書において提案された内容については、当該事業が施設の設置目的にふさわしくない場合等、その実施を許可しない場合があるため、本業務の契約時に、NAASHと協議して決定するものとする。内容を変更する場合には民間事業者は、改めてNAASHから必要な許可等を受けなければならない。

（ウ）有料事業運営業務の中で利用者から徴収する料金収入の取扱いは、次のとおりとする。なお、当該料金の額は、施設の設置目的及び近隣の同種施設の状況を踏まえ、NAASHと民間事業者の協議の上、設定、変更できるものとする。

a 売店売上収入及び国立霞ヶ丘競技場トレーニングセンターにおける個人指導に係る料金収入は、民間事業者に帰属する。ただし、当該収入の10%を、NAASHに納入するものとする。

b 国立代々木競技場水泳場及び国立スポーツ科学センターフットサルコートに係る利用料金収入は、NAASHに帰属する。

3 本業務の実施期間

本業務の実施期間は、平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 5 年間とする。

ただし、施設改修工事実施等に伴い、休業期間及び一部業務休止期間が発生する可能性がある。また、国立霞ヶ丘競技場については、大規模な改修工事が検討されており、契約の大規模な変更、又は解除が発生する可能性がある。その場合、NAASHは、十分な予告期間をもって、あらかじめ休業、休止、変更または解除の内容を民間事業者に通知するものとする。

4 民間競争入札に参加する者に必要な参加資格

- ア 法第 15 条で準用する、法第 10 条各号（第 11 号を除く。）に該当する者でないこと。
- イ 独立行政法人日本スポーツ振興センター契約事務取扱規程（平成 15 年度規程第 49 号）第 2 条及び第 3 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人、又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同第 2 条中、特別な理由がある場合に該当する。
- ウ 平成 22・23・24 年度全省庁統一の競争参加資格において、「役務の提供等」で「A」、「B」又は「C」等級に格付けされている者であること。
- エ N A A S H 又は文部科学省から物品役務等の契約に係る取引停止を受けている期間中の者でないこと。
- オ 以下に該当しない者であること。
- （ア） 1 3 に定める民間競争入札評価委員会委員と資本面又は人事面において関連がある者。資本面又は人事面において関連がある者とは、次の者をいう。
- a 評価委員会委員が発行済み株式数の 50% を超える株式を有している企業又はその出資総額の 50% を超える出資をしている企業
 - b 評価委員会委員が役員となっている企業
- （イ） 本事業に係るアドバイザー業務に関与している者若しくはこれらの者と資本面又は人事面において関連がある者。資本面又は人事面において関連がある者とは、次の者をいう。
- a 「アドバイザー業務に関与している者」の発行済み株式数の 50% を超える株式を有している者又はその出資総額の 50% を超える出資をしている者
 - b 当該応募者の代表権を有する役員が、「アドバイザー業務に関与している者」の代表権を有する役員を兼ねている者
- なお、アドバイザー業務に関与している者とは、次の者をいう。
- ・株式会社三菱総合研究所
- カ 本業務の実施に当たり、別紙 5 に定める法令上必要な資格を有している者、又は、資格等を有している者を業務の実施に当たらせることができる者であること。ただし、警備業務については、入札企業あるいは入札参加グループのうち、当該業務を実施する者が都道府県公安委員会の認定を受けていること。
- なお、必要とされる資格は、入札企業あるいは入札参加グループのうち、当該業務を実施する者が所持することとし、再委託先の企業は認めない。
- キ 入札参加グループでの入札について
- （ア） 単独で本業務の内容の全てが担えない場合は、適正に業務を遂行できる入札参加グループで参加することができる。その場合、入札書類提出時までに入札参加グループを結成し、代表企業及び代表者を定め、他の者はグループ企業として参加するものとする。なお、同一の入札単位において、代表企業及びグループ企業が、

他の入札参加グループに参加、若しくは単独で入札に参加することはできない。
また、代表企業及びグループ企業は、入札参加グループ結成に関する協定書（又はこれに類する書類）を作成すること。

(イ) 代表企業及びグループ企業のすべてが上記アからカまでの要件を満たすこと。ただし、カについては、当該業務を実施する者が満たしているものとし、その他の要件については全ての入札参加グループの企業が満たしているものとする。

(ウ) 業務途中における入札参加グループからの脱退

代表企業及びグループ企業は、原則として本業務を完了する日までは入札参加グループから脱退することはできない。

(エ) 業務途中における参加企業の脱退に対する処置

参加企業のうち、いずれかが業務途中において破産又は解散等により脱退する場合においては、N A A S Hの承認を得て、残存参加企業が共同連帯して当該参加企業の分担業務を完了するものとする。

ただし、残存参加企業のみでは適正な履行の確保が困難なときは、残存参加企業全員及び発注者の承認を得て、新たな構成員を当該入札参加グループに加入させ、当該参加企業を加えた参加企業が共同連帯して破産又は解散した参加企業の分担業務を完了するものとする。

ク 事業協同組合での入札について

中小企業等協同組合法（昭和24年6月1日法律第181号）に基づき設立された事業協同組合又は特別の法律によって設立された組合が入札に参加する場合には、その組合員が他の入札参加グループに参加し、又は、単独で入札に参加することはできない。

5 民間競争入札に参加する者の募集

(1) 民間競争入札に関わるスケジュール

① 入札公告	平成 23 年 11 月中旬頃
② 入札説明会	平成 23 年 11 月下旬頃
③ 現場見学会	平成 23 年 11 月下旬頃
④ 入札説明会終了後の質問期限	平成 23 年 12 月中旬頃
⑤ 競争参加資格確認書類の提出、確認	平成 23 年 12 月下旬頃
⑥ 対話の実施	平成 23 年 12 月下旬頃
⑦ 提案書提出期限	平成 24 年 1 月中旬頃
⑧ 入札書提出期限	平成 24 年 2 月上旬頃
⑨ 開札	平成 24 年 2 月上旬頃
⑩ 審査結果公表	平成 24 年 2 月上旬頃
⑪ 契約の締結	平成 24 年 2 月中旬頃
⑫ 業務の引継ぎ	平成 24 年 2 月中旬～

(2) 入札実施手続

ア 提出書類

本業務の入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）は、競争参加資格確認書類、入札書及び総合評価のための本業務実施の具体的な方法並びにその質の確保方法等に関する書類（以下「提案書」という。）を提出すること。

イ 競争参加資格確認書類

競争参加資格確認書類には、入札参加者に係る次の資料を添付する。

- (ア) 入札参加者の概要（会社概要、定款及び過去 2 か年分の財務諸表）
- (イ) 法第 15 条で準用する、法第 10 条各号（第 11 号を除く。）に規定する欠格事由の審査、並びに「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に規定する暴力団排除に関する欠格事由の運用要領（平成 22 年 3 月 31 日、内閣府官民競争入札等監理委員会事務局 事務連絡）」に示す意見聴取に必要な書類
- (ウ) 平成 23 年度全省庁統一の競争参加資格において、「役務の提供等」で「A」、「B」又は「C」等級に格付けされている者であることを証する書類

ウ 入札説明会後の質問受付

入札公告以降、N A A S Hにおいて入札説明書の交付を受けた者は、本実施要項の内容や入札に係る事項について、入札説明会後に、N A A S Hに対して質問を行うことができる。質問は原則として書面により行い、質問内容及びN A A S Hからの回答

は原則として入札説明書の交付を受けたすべての者に公開することとする。ただし、民間事業者の権利や競争上の地位等を害する恐れがあるものとN A A S Hが認めたものについては、質問者の意向を聴取した上で、公開しないよう配慮する。

エ 対話の実施

参加資格確認審査通過者は、提案書の提出に先立ち、N A A S Hと対話※を行うことができる。

対話の内容および結果は、対話の終了後に公開することを予定しているが、対話に参加した民間事業者名、及び民間事業者の特殊な技術、ノウハウ等に関わる事項等、民間事業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れのあるものとN A A S Hが認めたものについては、対話に参加した民間事業者の意向を聴取した上で、公開しないよう配慮する。

※対話：質問回答を、N A A S Hと応募者が対面形式で行うもの。時間は最大で 2 時間程度を予定している。

オ 提案書

入札参加者が提出する提案書は、別途定める様式集に従い記載すること。

カ 入札書の内容

- (ア) 入札参加者は、業務に必要な一切の経費について、入札書に入札金額を記載の上、提出すること。
- (イ) 入札金額の見積においては、変動費に係る部分は、別紙6に示した予定数量を乗じて得られた金額を見積もること。
- (ウ) 入札金額には、本業務に要する一切の諸経費の 105 分の 100 に相当する金額を記載すること。

キ 開札に当たっての留意事項

- (ア) 開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。
- (イ) 入札者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
- (ウ) 入札者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示又は提出しなければならない。
- (エ) 入札者又はその代理人は、入札中は、入札執行責任者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。

ク 提出書類の再提出禁止

提出期限以降における提案書及び入札書の再提出は認めない。

6 落札者を決定するための評価の基準その他落札者の決定

本業務を実施する者（以下「落札者」という。）の決定は、総合評価方式によるものとする。なお、評価は、評価委員会において行うものとする。

（1）落札者決定に当たっての質の評価項目の設定

落札者を決定するための評価は、提出された提案書の内容が、本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（必須項目審査）、また、効果的なものであるか（加点項目審査）について行うものとする。

ア 必須項目審査

必須項目審査においては、入札参加者が提案書に記載した内容が、次の必須項目を満たしていることを確認する。全て満たした場合は基礎点を付与し、一つでも満たしていない場合は失格とする。

（ア）業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制

- a 各業務の業務水準が維持される体制であるか。
- b グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であるか。
- c 業務全体を統括する総合責任者を中心とした、責任の所在が明確な業務管理体制が確立されているか。

（イ）緊急時への対応についての考え方・体制

具体的な事態を想定し、現実的かつ効果的な体制が確立されているか。

（ウ）業務計画書（案）の内容

応募者が提出する業務計画書（案）の内容が、要求水準書を満たしているか。

イ 加点項目審査

必須項目審査に合格した入札参加者に対して、加点項目について審査を行う。なお、提案内容については、具体的でありかつ効果的な実施が期待されるかという観点から加点する。

評価項目の詳細及び配点については、別紙4「総合評価に係る評価表」による。

（2）落札者決定に当たっての評価方法

ア 落札者の決定方法

必須項目審査により得られた基礎点（60点）と加点項目審査で得られた加算点（40点）の合計を、当該入札者の入札価格（予定価格の制限の範囲内であるものに限る。）で除して得た値が最も高い者を落札者として決定する。

総合評価点 = (基礎点 + 加算項目審査による加算点) ÷ 入札価格

イ 留意事項

(ア) 当該落札者となるべき者の入札価格が予定価格の一定割合に満たない場合は、その価格によって契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるか否か、次の事項について改めて調査し、該当するおそれがあると認められた場合、又は契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱す恐れがあつて著しく不相当であると認められた場合には、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い1者を落札者として決定することがある。

- a 当該価格で入札した理由及びその積算の妥当性（当該単価で適切な人材が確保されるか否か、就任予定の者に支払われる賃金額が適正か否か、就任予定の者が当該金額で了解しているか否か等）
- b 当該契約の履行体制（常駐者の有無、人数、経歴、勤務時間、専任兼任の別、業務分担等が適切か否か等）
- c 当該契約期間中における他の契約請負状況
- d 手持機械その他固定資産の状況
- e N A A S H、国及び地方公共団体等に対する契約の履行状況
- f 経営状況
- g 信用状況

(イ) 落札者となるべき者が二人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、入札者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引き落札者を決定するものとする。

(ウ) 落札者が決定したときは、遅滞無く、落札者の氏名若しくは名称、落札金額、落札者の決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

(3) 初回の入札で落札者が決定しなかった場合の取扱いについて

入札者又はその代理人の入札のうち予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うこととする。ただし、郵送による入札を行った者がある場合において、直ちに再度の入札を行うことができないときは、別に指定する日時において再度の入札を行う。再度の入札によってもなお落札者が決定しない場合には、入札条件を見直し、再度、公告と入札に付することとする。再度の公告と入札によっても落札者が決定しない場合は、N A A S Hが自ら当該業務を実施すること等とし、その理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会（以下、「監理委員会」という。）に報告するものとする。

7 本業務に関する従来の実施状況に関する情報の開示

本業務に関する従来の実施状況に関する情報の開示については、別紙7～9のとおりとする。

- ① 従来の実施に要した経費（平成21年度～23年度）
- ② 従来の実施に要した人員（平成21年度～23年度）
- ③ 従来の実施に要した施設及び設備（平成23年度）
- ④ 従来の実施における目的の達成の程度（平成21年度～23年度）
- ⑤ 従来の実施方法等

8 民間事業者を使用させることができる対象施設の施設・設備

- (1) NAASHは、要求水準書に定める施設・設備を、民間事業者を使用させることができる。
- (2) 民間事業者は、上記(1)に定める施設・設備を使用する際は、NAASHの指示に従い、適切に使用するものとする。

9 報告すべき事項等

(1) 報告等について

ア 業務計画書の作成と提出

民間事業者は、本業務の各業務を行うに当たり、各事業年度の本件業務についての業務計画書を作成し、当該年度が開始する 30 日前までに（ただし、委託期間の開始日を含む年度においては、委託期間の開始日の 14 日前までに）、N A A S H に提出する

イ 業務報告書の作成と提出

民間事業者は、業務の履行結果を正確に記載した日報、月報、年報を業務報告書として作成する。

- (ア) 民間事業者は、業務の実施に係る記録を整備の上、業務日報を毎日作成し、業務期間中常時閲覧及び提示ができるように、保管、管理する。
- (イ) 民間事業者は、業務期間中、業務月報を、当月分につき、翌月の 5 日までに N A A S H に提出する。
- (ウ) 民間事業者は、各事業年度終了後 10 日以内（ただし、当該日が休日の場合には直後の平日とする。）に、当該事業年度に係る本業務に関する業務年報を N A A S H に提出する。
- (エ) 民間事業者は、本契約終了日までに委託期間に係る最終の業務報告書を作成して N A A S H に提出するものとする。

ウ 監督・検査体制

民間事業者は、各年度の事業開始日までに年度毎の各業務の自主監督・検査体制を整備するとともに、その責任の所在を明確にし、N A A S H に報告する。また、自主検査の結果に係る記録について、業務期間中常時閲覧及び提示ができるように、保管、管理する。

(2) N A A S H による調査への協力

N A A S H は、民間事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認める時は、民間事業者に対し、本業務の状況に関し必要な報告を求め、又は民間事業者の事務所に立ち入り、業務の実施状況又は帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

立ち入り検査をする N A A S H の職員は、検査等を行う際には、当該検査等が法第 26 条 1 項に基づくものであることを民間事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

(3) 指示について

NAASHは、民間事業者に対する業務の監督・検査及び調査（アンケートを含む。）において、本業務のサービスの質の維持が図られないと認められる問題点を確認した場合は、民間事業者に対し、期限を定めて必要な措置をとるべきことを指示することができるものとする。

10 秘密の保持

民間事業者は、本業務に関してNAASHが開示した情報等（公知の事実等を除く。）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのための必要な措置を講ずることとする。民間事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、法第54条により罰則の適用がある。

1 1 契約に基づき民間事業者が講ずべき措置

(1) 業務の開始及び中止

- ア 民間事業者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。
- イ 民間事業者は、やむを得ない事由により、本業務を中止しようとするときは、あらかじめ、N A A S Hの承認を受けなければならない。

(2) 公正な取扱い

- ア 民間事業者は、本業務の実施に当たって、当該施設利用者を合理的な理由なく区別してはならない。
- イ 民間事業者は、当該施設利用者の取扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

(3) 金品等の授受の禁止

民間事業者は、本業務において、施設利用料等の授受を除き、金品等を受け取ることは与えることをしてはならない。

(4) 宣伝行為の禁止

民間事業者及び本業務に従事する者は、本業務の実施に当たって、本業務以外で自らが行う業務の宣伝を行ってはならない。

民間事業者及び本業務を実施する者は、本業務の実施の事実をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

(5) 法令の遵守

民間事業者は、本業務を実施するに当たり適用を受ける関係法令等を遵守しなくてはならない。

(6) 安全衛生

民間事業者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

(7) 記録・帳簿書類等

民間事業者は、実施年度毎に本業務に関して作成した記録や帳簿書類を、委託事業を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(8) 権利の譲渡

民間事業者は、原則として本契約に基づいて生じた権利の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

(9) 権利義務の帰属等

ア 本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利と抵触するときは、民間事業者は、その責任において、必要な措置を講じなくてはならない。

イ 民間事業者は、本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ、NAASHの承認を受けなければならない。

(10) 再委託の取扱い

ア 民間事業者は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。

イ 民間事業者は、本業務の実施に当たり、その一部について再委託を行う予定の場合は、原則としてあらかじめ提案書において、再委託に関する事項（再委託予定先の住所・名称・再委託予定先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法（再委託先が未定の場合には、再委託先の選定方法）、再委託予定先に委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性）について記載するものとする。再委託先の決定については、選定後NAASHと協議の上、決定するものとする。

ウ 民間事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合には、再委託に関する事項を明らかにしたうえでNAASHの承認を受けなければならない。

エ 民間事業者は、上記イ及びウにより再委託を行う場合には、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

オ 再委託先は、上記の秘密の保持、公正な取扱い、金品等の授受の禁止、宣伝行為の禁止等民間事業者が講ずべき措置については、民間事業者と同様の義務を負うものとする。

(11) 契約の変更の取扱い

ア NAASHは、事業の改廃、施設改修に伴う履行条件の変更その他やむを得ない事由により契約内容を変更しようとするときは、あらかじめ民間事業者と協議しなければならない。

イ NAASHは、本業務の実施期間中に設備を更新する際は、更新機器について民間事業者へ通知するとともに、協議の上、契約の変更を行う場合がある。

ウ 民間事業者は、委託業務のさらなる質の向上を図る必要があると認める場合は、変更の理由をNAASHに提出し、委託契約の内容の変更を提案することができる。NAASHはこの提案を受けた場合において、必要があると認められるときは、契約の内容を変更するものとする。

(12) 契約解除

NAASHは、民間事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

ア 法第22条1項各号に該当したとき

イ 次の事が明らかになったとき

(ア) 暴力団員等を、本件業務の統括責任者[業務担当者]、又は業務従業者としている場合

(イ) 暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している場合

(ウ) 再委託先が、暴力団員等であることを知りながら、再委託契約を継続させている場合

(13) 契約解除時の取扱い

ア 上記(12)に該当し、契約を解除した場合には、NAASHは民間事業者に対し、当該解除の日までに、当該公共サービスを契約に基づき実施した期間にかかる委託費を支給する。

イ この場合、民間事業者は、契約金額の105分の100に相当する金額の100分の10に相当する金額を違約金としてNAASHの指定する期間内に納付しなければならない。なお、上記の違約金は、損害賠償の予定又はその一部と解釈しない。

ウ NAASHは、民間事業者が上記イの規定による金額をNAASHの指定する期日までに支払わないときは、その支払期限の翌日から起算して支払のあった日までの日数に応じて、年100分の5の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。

(14) 契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、民間事業者とNAASHが協議するものとする。

(15) 民間事業者への業務引継ぎ

ア NAASHは、本件業務の実施に関する契約を締結する時に、必要に応じて、民間事

業者に業務の引継ぎの指導及び支援を行うものとする。

イ 民間事業者は、NAASHより、本業務を開始するまでの間に業務内容を明らかにした書類等により、十分な業務の引継ぎを受けることとする。また、本業務の終了に伴い、民間事業者が変更となる場合には、NAASHは9（1）の報告等をもとに次期事業者へ引継ぎを行うものとするが、必要に応じて、民間事業者は業務終了前に次期事業者に対し、円滑かつ支障なく本業務を遂行できるよう、資料等の提供や引継ぎを行うこととする。

1 2 損害賠償

本契約を履行するに当たり、民間事業者又はその職員その他の当該公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者又はNAASHに損害を加えた場合には、次に定めるところによるものとする。

ア NAASHが国家賠償法第1条第1項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、NAASHは民間事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生についてNAASHの責めに帰すべき理由が存する場合は、NAASHが自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

イ 民間事業者が民法第709条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であつて、当該損害の発生についてNAASHの責めに帰すべき理由が存するときは、民間事業者はNAASHに対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

ウ 民間事業者の故意又は重大な過失によって、NAASHの物品等に損害を与えたときは、民間事業者はその損害に相当する金額を損害賠償としてNAASHに支払わなければならない。

1.3 民間競争入札評価委員会の設置

(1) 民間競争入札評価委員会の設置

NAASHは、法に基づく公共サービス改革基本方針において選定された本業務の実施を公平かつ公正に行うために、独立行政法人日本スポーツ振興センター民間競争入札評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、民間競争入札実施要項作成から落札者選定、事業評価に至る過程全般について意見を求めることとする。

(2) 評価委員会の構成

評価委員会は、「1 目的・趣旨」を十分踏まえ、外部の有識者等により構成するものとする。

1 4 業務の実施状況の評価

(1) 実施状況に関する調査の時期

内閣総理大臣が行う評価の時期（平成 28 年 5 月を予定）を踏まえ、本業務の実施状況については、平成 24 年度から平成 27 年度の各年度末時点における状況を調査するものとする。

(2) 調査の方法

NAASHは、民間事業者が実施した本業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、検査調書等に基づく実施状況等の調査を行うものとする。

(3) 調査項目

サービスの質（民間事業者が提案した内容を含む。）として設定した項目

(4) 意見の聴取

NAASHは、平成 28 年 4 月を目途に本業務の実施状況等を内閣総理大臣へ提出するものとし、その際には、上記調査項目に関する内容について評価委員会に報告を行い、意見を聴くものとする。

15 その他実施に関し必要な事項

(1) 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表

民間事業者の実施状況については、「10 報告すべき事項等」に示す報告等を踏まえ、N A A S Hにおいて年度毎に取りまとめて監理委員会へ報告するとともに、公表することとする。

また、N A A S Hは、民間事業者に対する会計法令に準ずる監督・検査の状況について、業務終了後に監理委員会へ報告するとともに、法第 26 条及び第 27 条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を監理委員会へ報告することとする。

(2) N A A S Hの監督体制

本契約に係る監督は、次に定める課が行うものとし、当該課長を責任者として、立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

- ① 国立霞ヶ丘競技場 国立競技場施設管理課、事業課及び財務部調達管財課
- ② 国立代々木競技場 国立競技場施設管理課及び代々木事業課
- ③ J I S S ・ N T C J I S S ・ N T C 運営部施設管理課及び事業課

(3) 民間事業者が負う可能性のある主な責務等

ア 民間事業者の責務等

本業務に従事する者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

イ 会計検査について

民間事業者は、①公共サービスの内容が会計検査院法第 22 条に該当するとき、又は②同法第 23 条第 1 項第 7 号に規定する「事務若しくは業務の受託者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第 25 条及び第 26 条により、会計検査院の実地の検査を受けたり、同院から直接又は N A A S Hを通じて、資料・報告等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

対象施設一覧

1 国立霞ヶ丘競技場

本部事務所	
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町10-1
敷地面積	2,251 m ²
建築面積	903 m ²
延べ面積	4,443 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地下2階地上4階建
陸上競技場(通称:国立競技場)	
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町10-2
敷地面積	71,707 m ²
建築面積	33,716 m ²
スタンド面積	25,346 m ²
収容人員	54,224 人
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 5階建
芝生面積	7,597 m ²
主な附属施設	5階 スカイラウンジ、グリーンシート、場内アナウンス室、写真判定室、スタジオ 501~505、オペレーションルーム 4階 4階スタジオ 3階 ラウンジA 2階 ラウンジB、貴賓室 1階 室内練習場、更衣室A~H、医務室、ドーピングコントロール室、会議室(大、小1~4)、大会本部、人工芝練習場、ランプ下練習場 駐車場 163 台(無料)
体育館(陸上競技場代々木門側通路下)	
フロア面積	1,026 m ² (54m×19m)
室内水泳場(陸上競技場スタンド下)	
コース数	25m×13m、6コース
水深	1.2m~2.0m
トレーニングセンター(陸上競技場スタンド下)	
施設面積	1,136 m ² (マシンエリア、フリーウエイトエリア、エアロビクスエリア、リフティング専用ルーム)
スポーツ博物館(陸上競技場スタンド下)(通称:秩父宮記念スポーツ博物館)	
施設面積	760.74 m ²
収蔵品	展示品数:約 1,500 点 収蔵資料数:約 60,000 点 蔵書数:約 80,000 冊(書籍 30,000 冊、雑誌 400 種、50,000 冊)
ラグビー場(通称:秩父宮ラグビー場)	
所在地	東京都港区北青山2-8-35
敷地面積	35,459 m ²

建築面積	14,006 m ²
延べ面積	22,350 m ²
収容人員	24,871 人
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建
芝生面積	10,515.5 m ² (夏芝: ティフトン、冬芝: ペレニアルライグラスによる二毛作で通年緑化を実施)
主な附属施設	3 階 貴賓室、ラウンジ、放送室、サービスルーム 1 階 雨天練習場、オープンルーム(1)～(6)、プレスルーム、シャワー室A～B、ロッカー室A～D、医務室 駐車場 73 台(有料)
東テニス場	
所在地	東京都港区北青山2-8-37
施設面積	5,738 m ²
コート数	7 面(砂入り人工芝)、4 面(ハードコート)
附属施設	クラブハウス(更衣室、ロッカー等)
西テニス場	
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町4-1
施設面積	6,770 m ²
コート数	3 面(砂入り人工芝)、6 面(ハードコート)
附属施設	クラブハウス(更衣室、ロッカー等)

本部事務所／国立霞ヶ丘競技場／秩父宮ラグビー場



2 国立代々木競技場

国立代々木競技場全体	
所在地	東京都渋谷区神南2-1-1
敷地面積	91,022 m ²
第一体育館(通称:代々木第一体育館)	
建築面積	14,426 m ²
延べ面積	28,754 m ²
収容人員	13,245人 (スタンド席9061席+ロイヤルボックス席50席+アリーナ席4124席+身障者席10席)
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下2階地上2階建
アリーナ面積	4,000 m ² (南北最大47.7m、東西最大約96m)
主な附属施設	B1階 南北ロビー、貴賓室、特別室、ラウンジ B2階 レセプションルーム、ミーティングルーム、南選手更衣室、北控室、医務室、ドーピングコントロール室
第二体育館(通称:代々木第二体育館)	
建築面積	3,872 m ²
延べ面積	6,947 m ²
収容人員	3,195人 (スタンド席2877席+身障者席4席+移動観覧席314席)
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下1階地上1階建
アリーナ面積	1,300 m ²
主な附属施設	更衣室、来賓室、役員控室、選手控室
室内水泳場	
コース数	50m×12m、6コース
水深	1.25m
園地	
主な付属施設	オリンピックプラザ(A:4,500 m ² 、B:2,100 m ²) 渋谷プラザ(2,600 m ²)、原宿プラザ(6,000 m ²)、駐車場58台(有料)



3 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

国立スポーツ科学センター	
所在地	東京都北区西が丘3-15-1
研究施設	
建築面積	5,936 m ²
延べ面積	29,955 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造地下2階地上7階建
施設機能	<p>7階: 栄養指導食堂(495 m²; 112席)</p> <p>5~6階: 合宿室(洋室76室(低酸素対応72室、身障者対応1室)、和室2室、身障者用浴室2室)</p> <p>4階: 研究体育館(960 m²)、トレーニング体育館(832 m²; マシン/フリーウエイト)、会議室</p> <p>3階: 新体操/トランポリン練習場(1,360 m²)、生化学実験室、生理学実験室、スポーツ心理学実験室、スポーツ情報サービス室、映像編集・分析室、</p> <p>2階: 体力科学実験室、フェンシング練習場(240 m²)、研修室、喫茶室</p> <p>1階: 陸上競技実験場(1~3階; 屋内100m走路; 埋設型床反力計)、バイオメカニクス実験室、診察室、リハビリテーション室、栄養指導室、カウンセリング室、臨床検査室、運営部事務所</p> <p>地下1階: ボート/カヌー実験場(回流水槽式ローイングタンク; 流速0~5.5m/秒)、X線検査室、CT検査室、MRI検査室、シンクロナイズドスイミングプール(30m×25m; 水深3.0m)、射撃練習場(270 m²; 射座×5; フォースプレート)、競泳プール(50m×21m; 8コース; 水深0m~2.0m; 可動床)</p> <p>設備棟 : 特高受電室、ポンプ室、更衣室、倉庫、検査室</p>
主な附属施設	駐車場(無料)、園地
サッカー場(通称: 西が丘サッカー場)	
建築面積	1,187 m ²
延べ面積	997 m ²
収容人員	7,258人
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造1階建
芝生面積	10,614 m ²
附属施設	選手控室等諸室
テニスコート	
敷地面積	7,432 m ²
建築面積	115 m ²
延べ面積	213 m ²
コート数	8面(砂入り人工芝)
附属施設	クラブハウス(更衣室、ロッカー等)、延べ面積約213 m ²
フットサルコート	
コート数	2面(ロングパイル人工芝(ゴムチップ入り))
附属施設	更衣室・便所 55.77 m ²

(仮称)アーチェリー競技実験場	
所在地	東京都北区西が丘3-15-1
建築面積	381 m ²
延べ面積	212 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階
施設機能	建物:射場、機材倉庫、的場 フィールド(長さ:94m、幅9.6m)、夜間照明設備等
戸田艇庫・合宿室	
所在地	埼玉県戸田市戸田公園4-9
敷地面積	約3,605 m ²
建築面積	2,043 m ²
延べ面積	3,869 m ²
構造	鉄骨造
艇保管数	170隻
室数	合宿室19室(宿泊定員:240人)
ナショナルトレーニングセンター(味の素ナショナルトレーニングセンター)	
屋内トレーニングセンター	
所在地	東京都北区西が丘3-15-1
建築面積	8,077 m ²
延べ面積	29,109 m ²
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階
施設機能	3階:体操、バレーボール、バドミントン 2階:ハンドボール、バスケットボール、共用コート 1階:柔道、卓球、研修室、コーチ室、事務室 地下1階:レスリング、ウェイトリフティング、ボクシング、ウェイトトレーニングルーム、25mプール
附属施設	ごみ庫(129.4 m ²)
陸上トレーニング場	
所在地	東京都北区赤羽西5-2-15
敷地面積	21,998 m ²
建築面積	4,772 m ²
延べ面積	3,633 m ²
芝生面積	4,505 m ² (高麗芝)
構造	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造地上1階
施設機能	膜屋根面積:約4,700 m ² 屋根付き走路:400m×6レーン 傾斜走路:105m、傾斜角度(1.5°、2.0°、2.5°) 砂場走路:60m×5.8m
屋内テニスコート	
所在地	東京都北区西が丘3-15-1
建築面積	3,658 m ²

延べ面積	3,416 m ²
構造	鉄骨造 地上 1 階
施設機能	テニスコート 4 面(ハードコート(2 面)、クレーコート(2 面))、テクニカルルーム
宿泊施設(通称:アスリートヴィレッジ)	
所在地	東京都北区西が丘3-9-14
敷地面積	10,067 m ²
建築面積	4,750 m ²
延べ面積	18,620 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地上 7 階
施設機能	(東館・西館) 宿泊部門(約 258 人収容):シングル(1人×41室)、ツイン(2人×51室)、和室(11人×4室)、リビング9室、マッサージルーム9室、マンションタイプ5エリア(共通:個室(1人×3室)、グループ個室(3人×4室)、リビング1室) 附帯部門:食堂、喫茶、大浴場、研修室、図書・学習室、ミーティングルーム (南館) 宿泊部門(約 190 人収容):シングル(1人×96室)、ツイン(2人×15室)、リビング4室、マッサージルーム4室、アカデミー3エリア(共通:個室(1人×3室)、グループ個室(4人×3室及び6室)、リビング1室) 附帯部門:食堂、休憩室(和室2室)、ドーピング検査室(待合室、採血室、作業室、採尿室)
附属施設	設備等(建築面積 147 m ² 、延べ面積 656 m ²)、自転車置場(24.9 m ² ×2棟) 駐車場 63 台

※(仮称)アーチェリー競技実験場は、平成 24 年度に正式名称を決定します。

国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場/ナショナルトレーニングセンター



1. 国立霞ヶ丘競技場

業務内容	施設								
	陸上競技場	体育館	室内水泳場	トレセン	博物館	ラグビー場	東テニス場	西テニス場	本部事務所
1 運営業務									
窓口・受付・巡回業務		○	○	○	○		○	○	
トレーニングセンター指導業務				○					
2 保守管理業務									
園地整備業務	○					○	○	○	
施設環境整備業務*	○	○	○	○	○	○	○	○	
有料駐車場管理業務						○			
定期点検等及び保守業務									
ラグビー場・東テニス場高圧電気設備試験点検						○	○		
温水シャワー給湯自動温度調節装置保守点検	○		○						
温水シャワー用温度調整器等保守点検		○		○			○	○	
給湯設備保守点検	○	○	○	○		○	○	○	
節水洗浄装置保守点検	○					○			
ラグビー場有料駐車場自動料金精算システム保守点検						○			
陸上競技場電光表示設備保守点検	○								
ラグビー場電光表示設備保守点検						○			
自動制御設備保守点検	○	○	○	○	○	○	○	○	
吸収式冷温水発生機保守点検	○	○					○	○	
陸上競技場写真判定装置及び陸上競技用精密機器保守点検	○								
陸上競技場中央監視制御装置保守点検	○	○	○	○	○	○	○	○	
トレーニングセンターサウナ・浴槽設備・水泳場採暖設備保守点検			○	○					
加圧給水装置保守点検	○								
冷凍機(チラーユニット)保守点検				○					
冷暖房設備(GHP)保守点検	○		○	○	○	○			
シャッター設備保守点検	○								
高圧電気設備等試験点検	○								
非常用発電機設備保守点検	○					○			
消防用設備等点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○
放送設備及びITV・映像設備保守点検	○	○	○	○	○	○			
構内電話交換機設備保守点検	○	○	○	○	○	○	○		
エレベーター設備保守点検 (陸上競技場・ラグビー場)	○					○			
水泳場浄化装置保守点検			○						
設備運転監視及び日常保守・点検業務*(注)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 警備業務									
通常警備業務・夜間警備業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○
臨時警備業務*	○								
4 清掃業務									
日常・定期清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大会清掃*	○					○			

5 環境衛生管理業務									
各種環境測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
害虫防駆除・消毒作業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調用エアフィルター定期清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
体育館床用モップ交換作業		○							

※ 表中「*」は、単価契約を行う費目であり、予定数量は別紙6-1参照。

※ (注)「2保守管理業務」のうち「設備運転監視及び日常保守点検業務」は、総価契約を基本とするが、大会時における設備運転監視業務については単価契約とする。

2. 国立代々木競技場

業務内容	施設				
	第一体育館	第二体育館	室内水泳場	附属棟	園地
1 運営業務					
室内水泳場業務(有料事業運営業務)			○		
事業課窓口業務			○		
2 保守管理業務					
園地整備業務					○
施設環境整備業務*	○	○	○	○	○
有料駐車場管理業務					○
定期点検等及び保守業務					
有料駐車場自動料金精算システム保守点検					○
第一体育館(東ランプ)客席昇降装置保守点検	○				
第一体育館(西ランプ)客席昇降装置保守点検	○				
小便器洗浄水節水用機器(FM節水器)保守点検	○				
第二体育館移動観覧席保守点検		○			
500kW常用ガス発電設備等保守点検	○				
冷凍機保守点検		○			
機械設備中央監視盤装置保守点検	○	○	○		○
吸収式冷温水機保守点検	○				
照明設備制御システム保守点検	○	○	○		
大規模放水銃消火システム保守点検	○				
電気中央監視盤装置保守点検	○	○	○		○
可変速給水システム保守点検	○	○	○	○	○
第二体育館電光得点表示装置保守点検		○			
附属棟会議室用吸収式冷温水機保守点検				○	
第二体育館電動油圧式バスケットゴール保守点検		○			
油圧式高所作業台保守点検		○			
シャッター設備保守点検	○		○		
高圧電気設備等試験点検	○	○	○	○	○
非常用発電機設備保守点検	○				
消防用設備等点検	○	○	○	○	
放送設備(業務用・非常用)及びITV設備保守点検	○	○	○	○	○
構内電話交換機設備保守点検	○	○	○	○	
第一体育館内部エレベータ設備保守点検	○				
第一体育館外部エレベータ設備保守点検	○				
水泳場浄化装置保守点検			○		
レストラン及び売店厨房機器保守点検	○	○			
第一体育館大型映像表示設備保守点検	○				
太陽光発電システム	○				○
設備運転監視及び日常保守・点検業務	○	○	○	○	○
3 警備業務					
通常警備業務・夜間警備業務	○	○	○	○	○
臨時警備業務*	○	○			
4 清掃業務					
日常・定期清掃	○	○	○		○
大会清掃*	○	○		○	

5 環境衛生管理業務					
各種環境測定	○	○	○	○	○
受水槽・汚水槽・貯湯槽等清掃	○				
害虫等防駆除及び消毒作業	○	○	○	○	○
空調用エアフィルター交換作業	○	○	○		○
清掃用床モップ等の交換	○	○			

※ 表中「*」は、単価契約を行う費目であり、予定数量は別紙6-2参照。

3. 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

業務内容	施設									
	国立スポーツ科学センター	サッカー場	テニス場	フットサルコート	（仮称）アーチェリー競技実験場	宿室	戸田艇庫・合	屋内トレーニングセンター	陸上トレーニング施設	屋内テニスコート
1 運営業務										
受付等業務(有料事業運営業務を含む。)	○		○	○		○	○		○	
宿泊施設運営業務	○					○				○
2 保守管理業務										
園地整備業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設環境整備業務*	○	○						○	○	
定期点検等及び保守業務										
建築定期点検等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調自動制御設備保守点検	○							○	○	○
エレベーター保守点検	○							○		○
消防設備保守点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
直焚吸収冷温水機保守点検	○							○		○
空気熱源ヒートポンプユニット保守点検	○									
構内電話交換機設備保守点検	○							○		
受変電設備試験点検	○	○	○	○	○			○	○	○
ボイラー及び第一種圧力容器の性能検査に伴う点検整備	○									
厨房除害施設保守点検	○									
電動シャッター等保守点検	○							○	○	○
自動ドア保守点検	○							○		○
ITV設備保守点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合ビル管理システム保守点検	○							○	○	○
水処理装置保守点検	○							○		○
水冷スクリー冷却機保守点検	○							○		
冷水器保守点検	○		○					○	○	○
業務用冷蔵庫及び製氷機保守点検	○							○	○	○
空調設備保守点検（パッケージ形・ユニット形・ファンコイルユニット形・コンパクト形）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自家用非常用発電機設備の地下貯蔵タンク気密試験点検	○									
自家用非常用発電機設備の試験点検	○						○	○		○
送風機保守点検	○							○		○
戸田艇庫自家用電気工作物の保安管理業務							○			
真空式温水発生機保守点検								○		○
中央集塵装置保守点検								○		
水泳場浄化装置保守点検								○		
氷蓄熱槽保守点検								○		
ターボ冷凍機保守点検								○		
人工炭酸泉ろ過装置保守点検								○		
ジャグジープールろ過装置保守点検								○		○
自動灌水装置保守点検								○	○	○
設備運転監視及び日常保守・点検業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 警備業務										
常駐警備業務・巡回警備業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 清掃業務										
日常清掃	○		○	○	○	○	○	○	○	○
サッカー場清掃*		○								

5 環境衛生管理業務										
各種環境測定	○				○		○	○	○	○
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃	○						○			○
害虫防駆除・消毒作業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリーニング*	○					○				○
吸引令温水機及びボイラーばい煙等測定調査	○						○			○

※ 表中「*」は、単価契約を行う費目であり、予定数量は別紙6-3参照。

「サービスの質」としての評価対象項目は、下線の項目（Ⅱ（2）a、c、e及びg）である。
 なお、下線の項目以外については、必要に応じて加除修正を行うことがある。

回答日： 月 日（ ）

国立競技場の利用に関するアンケート（案）

このアンケートは、国立競技場各施設のサービス向上を目的に、現状の「満足度」を調査するもので、国立競技場各施設をご利用になった方をお願いしています。「満足度」は、当てはまる番号に○印をつけてください。回収した質問紙は統計的に処理いたしますので、回答から個人が特定されることは一切ございません。このアンケートは○月○日（ ）までに、回収BOXに投函してください。

（独）日本スポーツ振興センター 国立競技場長

I 当施設の利用についておたずねします。

（1） 本利用・来場された施設はどちらですか。

1. 体育館 2. 室内水泳場（霞ヶ丘） 3. 室内水泳場（代々木）
 4. トレーニングセンター 5. 東・西テニス場

Ⅱ 当施設のサービスについておたずねします。

（2） あなたは、当施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) スタッフの対応はいかがですか？	4	3	2	1
b) 利用方法の案内（案内書、HP等）はわかりやすいですか？	4	3	2	1
c) 施設の清掃は行き届いていますか？	4	3	2	1
d) 設備、器具は充実していますか？	4	3	2	1
e) 指導員の対応はいかがですか？ （トレーニングセンター利用者のみ回答してください。）	4	3	2	1
f) 教室は充実していますか？ （トレーニングセンター利用者のみ回答してください。）	4	3	2	1
g) 電話予約時の電話対応はいかがですか？ （東・西テニス場利用者のみ回答してください。）	4	3	2	1

（3） その他、お気付きの点や御意見がありましたら、下欄に御記入ください。

～～アンケートは以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。～～

「サービスの質」としての評価対象施設・項目は、下線の項目（Ⅰ（1）5、6及びⅡ（2）b、c）である。
 なお、下線の項目以外については、必要に応じて加除修正を行うことがある。

回答日： 月 日（ ）

国立スポーツ科学センターの利用に関するアンケート（NF）（案）

このアンケートは、国立スポーツ科学センター各施設のサービス向上を目的に、現状の「満足度」を調査するもので、国立スポーツ科学センター各施設をご利用になった方をお願いしています。「満足度」は、当てはまる番号に○印をつけてください。回収した質問紙は統計的に処理いたしますので、回答から個人が特定されることは一切ございません。このアンケートは○月○日（ ）までに、回収BOXに投函してください。

（独）日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター長

Ⅰ 当施設の利用についておたずねします。

（1） 本日利用・来場された施設はどちらですか。

1. トレーニング体育館 2. 競泳プール 3. 研究体育館 4. 専用練習場
 5. 屋内テニス（レッドクレイ）コート 6. 低酸素合宿室 7. レストラン
 8. クリニック・リハビリ 9. その他（ ）

Ⅱ 当施設のサービスについておたずねします。

（2） あなたは、当施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) 利用方法の案内（案内書、HP等）はわかりやすいですか？	4	3	2	1
b) 施設の清掃は行き届いていますか？	4	3	2	1
c) スタッフの対応はいかがですか？	4	3	2	1
d) 設備、器具は充実していますか？	4	3	2	1

（3） その他、お気づきの点や御意見がありましたら、下欄に御記入ください。

～～アンケートは以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。～～

「サービスの質」としての評価対象施設・項目は、下線の項目（Ⅰ（1）4、5、6及びⅡ（3）c、d）である。
 なお、下線の項目以外については、必要に応じて加除修正を行うことがある。

回答日： 月 日（ ）

国立スポーツ科学センターの利用に関するアンケート（一般）（案）

このアンケートは、国立スポーツ科学センター各施設のサービス向上を目的に、現状の「満足度」を調査するもので、国立スポーツ科学センター各施設をご利用になった方をお願いしています。「満足度」は、当てはまる番号に○印をつけてください。回収した質問紙は統計的に処理いたしますので、回答から個人が特定されることは一切ございません。このアンケートは○月○日（ ）までに、回収BOXに投函してください。

（独）日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター長

Ⅰ 当施設の利用についておたずねします。

（1） 本日利用・来場された施設はどちらですか。

1. 研究体育館 2. トレーニング体育館 3. 競泳プール 4. 屋外テニスコート
 5. 屋内テニス（レッドクレイ）コート 6. フットサルコート 7. その他（ ）

（2） 本日利用・来場された目的は主にどちらですか。（○はいくつでも）

1. 健康・体力増進 2. 減量 3. ストレス解消 4. 仲間との交流 5. リハビリ
 6. その他（ ）

Ⅱ 当施設のサービスについておたずねします。

（3） あなたは、当施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) 利用手続きは簡単ですか？	4	3	2	1
b) 利用方法の案内（案内書、HP等）はわかりやすいですか？	4	3	2	1
c) 施設の清掃は行き届いていますか？	4	3	2	1
d) スタッフの対応はいかがですか？	4	3	2	1

（4） その他、お気づきの点や御意見がありましたら、下欄に御記入ください。

～～アンケートは以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。～～

「サービスの質」としての評価対象施設・項目は、下線の項目（Ⅰ（1）6及びⅡ（3）a、b）である。
 なお、下線の項目以外については、必要に応じて加除修正を行うことがある。

回答日： 月 日（ ）

ナショナルトレーニングセンターの利用に関するアンケート（NF）（案）

このアンケートは、ナショナルトレーニングセンター各施設のサービス向上を目的に、現状の「満足度」を調査するもので、ナショナルトレーニングセンター各施設をご利用になった方をお願いしています。「満足度」は、当てはまる番号に○印をつけてください。回収した質問紙は統計的に処理いたしますので、回答から個人が特定されることは一切ございません。このアンケートは○月○日（ ）までに、回収BOXに投函してください。

（独）日本スポーツ振興センター ナショナルトレーニングセンター施設長

Ⅰ 当施設の利用についておたずねします。

（1） 本日利用・来場された施設はどちらですか。（複数回答可）

1. 専用練習場 2. トレーニングルーム 3. プール 4. 陸上トレーニング場
 5. アスリートヴィレッジ（レストラン） 6. アスリートヴィレッジ（宿泊）
 7. その他（ ）

Ⅱ 当施設のサービスについておたずねします。

（2） あなたは、上記1～5の施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) 施設の清掃は行き届いていますか？	4	3	2	1
b) 受付スタッフの対応はいかがですか？	4	3	2	1
c) 設備、器具は充実していますか？	4	3	2	1

（3） あなたは、上記6の施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) 施設の清掃は行き届いていますか？	4	3	2	1
b) フロントスタッフの対応はいかがですか？	4	3	2	1
c) 設備、アメニティ等は充実していますか？	4	3	2	1

（4） その他、お気づきの点や御意見がありましたら、下欄に御記入ください。

～～アンケートは以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。～～

「サービスの質」としての評価対象項目は、下線の項目（Ⅱ（2）c及びd）である。
 なお、下線の項目以外については、必要に応じて加除修正を行うことがある。

回答日： 月 日（ ）

国立スポーツ科学センター戸田艇庫の利用に関するアンケート（案）

このアンケートは、戸田艇庫のサービス向上を目的に、現状の「満足度」を調査するもので、戸田艇庫をご利用になった方をお願いしています。「満足度」は、当てはまる番号に○印をつけてください。回収した質問紙は統計的に処理いたしますので、回答から個人が特定されることは一切ございません。このアンケートは○月○日（ ）までに、回収BOXに投函してください。

（独）日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター長

I（1）利用区分

1. 中央競技団体（NF） 2. 一般・社会人 3. 学生 4. その他（ ）

Ⅱ 当施設のサービスについておたずねします。

（2）あなたは、当施設の設備・サービスなどについてどの程度満足していますか。

質問	満足度			
	満足 である	やや満足 である	やや不満 である	不満 である
a) 利用手続きは簡単ですか？	4	3	2	1
b) 利用方法の案内（案内書、HP等）はわかりやすいですか？	4	3	2	1
c) <u>施設の清掃は行き届いていますか？</u>	4	3	2	1
d) <u>受付スタッフの対応はいかがですか？</u>	4	3	2	1
e) 設備、器具は充実していますか？	4	3	2	1

（3）その他、お気づきの点や御意見がありましたら、下欄に御記入ください。

～～アンケートは以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。～～

総合評価に係る評価表(国立霞ヶ丘競技場)

【別紙4-1-1】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考
1 必須項目審査						
1.1 業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制【様式1-1】	60	1.1.1	企業としての業務全体の管理方法	企業組織として、各業務の水準が維持される体制が整備されているか。	60	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目ごとの配点は行わない。 ・全ての項目を満たしている場合は、配点の100%を付与し、一つでも「失格」に該当する事項があった場合は、失格とする。
		1.1.2	(グループ参加の場合)グループ間の連携	グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制となっているか。		
		1.1.3	責任の所在が明確な業務管理体制	業務全体を統括する総合責任者を中心とした、責任の所在が明確な業務管理体制が確立されているか。		
1.2 緊急時の体制及び対応方法【様式1-2】	60	1.2.1	緊急時への対応についての考え方・体制	具体的な事態を想定し、現実的かつ効果的な体制が確立されているか。		
		1.3 業務計画書(案)【様式1-3】	業務計画書(案)の内容	業務計画書(案)の内容が要求水準書を満たしているか。		

総合評価に係る評価表(国立霞ヶ丘競技場)

【別紙4-1】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考
2 加点項目審査						
2.1 業務実績【様式2-1】	4	同種又は類似業務の実績(運営業務一受付)	2.1.1	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	0.5	(同種業務)スポーツ施設の受付業務 (類似業務)スポーツ施設以外の施設の受付業務
			2.1.2	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	0.5	(同種業務)トレーニング指導及びスポーツ教室(スタジオレッスン)運営業務 (類似業務)トレーニング指導業務
			2.1.3	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	1	
			2.1.4	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	1	(同種業務) 観客席10,000席以上を有するスポーツ施設での業務 (類似業務) 観客席5,000席以上を有する施設での業務
			2.1.5	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	1	
			2.2	4	2.2.1	本業務実施の考え方【様式2-2】
2.3 管理・運営業務の実施全般に対する継続した質の改善に関する提案【様式2-3】	12	企業組織としての運営体制全般	2.3.1	企業組織として、業務全体の改善を図るための管理・評価体制が、優れているか。 再委託先について具体的な記述があるか。	4	
			2.3.2	現場における管理・自主検査体制	4	現場管理において、責任所在の明確な管理・自主検査体制が整備されるとともに、業務の質の改善に配慮されているか。
			2.3.3	業務従事者の採用・教育体制	4	業務の質の維持・向上に向けた従事者の採用・教育体制が、優れているか。
			2.4.1	サービスの質を確保するための具体的な実施方法	5	実施要項に定められたサービスの質を確保するための具体的な実施方法について、すぐれた工夫が見られるか。
			2.4.2	大規模行事を開催する施設であることに着目した業務の実施方法	5	大規模行事を開催する施設であることに着目した業務の質の向上において、優れた工夫が見られるか。
			2.4.3	光熱水費の削減等により、サービスの質を維持しながらNAASHの経費削減を図るための業務の実施方法	4	業務の質の向上とNAASHの経費削減が併せて実現されると見込まれるか。
2.4 要求水準書の内容に対する提案【様式2-4-1・2】	20	CO2排出量の削減等、環境に配慮した業務の実施方法	2.4.4	CO2排出量の削減等、環境に配慮した業務の実施方法	3	業務水準の維持・向上を図りながら、環境への配慮を図る上で、優れた工夫が見られるか。
			2.4.5	有料事業運営業務の具体的な実施方法	1	有料事業運営業務の具体的な実施方法について、優れた工夫が見られるか。
			2.4.6	その他要求水準書に対する改善提案	2	業務の質の向上において、優れた工夫が見られるか。
			合計	100		100

総合評価に係る評価表(国立代々木競技場)

【別紙4-2】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考
1 必須項目審査						
1.1 業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制【様式1-1】	60	1.1.1 企業としての業務全体の管理方法	企業組織として、各業務の水準が維持される体制が整備されているか。	60		
		1.1.2 (グループ参加の場合)グループ間の連携	グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制となっているか。			
1.2 緊急時の体制及び対応方法【様式1-2】	60	1.1.3 責任の所在が明確な業務管理体制	業務全体を統括する総合責任者を中心とした、責任の所在が明確な業務管理体制が確立されているか。	60		<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目ごとの配点は行わない。 ・全ての項目を満たしている場合は、配点の100%を付与し、一つでも「失格」に該当する事項があった場合は、失格とする。
		1.2.1 緊急時への対応についての考え方・体制	具体的な事態を想定し、現実的かつ効果的な体制が確立されているか。			
		1.3.1 業務計画書(案)の内容	業務計画書(案)の内容が要求水準書を満たしているか。			
1.3 業務計画書(案)【様式1-3】						

総合評価に係る評価表(国立代々木競技場)

【別紙4-2】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考	
2 加点項目審査							
2.1 業務実績【様式2-1】	2.1.1 同種又は類似業務の実績(運営業務一受付)	4	同種又は類似業務の実績(運営業務一受付)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0)	0.5	(同種業務)スポーツ施設の受付業務 (類似業務)スポーツ施設以外の施設の受付業務	
				B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)			
				C:実績なし(配点×0.0)			
				A:同種の業務実績がある(配点×1.0)			
				B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)			
	2.1.2 同種又は類似業務の実績(運営業務一水泳場)	4	同種又は類似業務の実績(運営業務一水泳場)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0)	0.5	(同種業務)水泳場運営業務及び水泳教室指導業務 (類似業務)水泳場運営業務又は水泳教室指導業務	
				B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)			
				C:実績なし(配点×0.0)			
	2.1.3 同種又は類似業務の実績(保守管理業務一設備運転監視及び日常保守点検)	4	同種又は類似業務の実績(保守管理業務一設備運転監視及び日常保守点検)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0)	1	(同種業務)観客席3,000席以上を有するスポーツ施設での業務 (類似業務)観客席1,000席以上を有する施設での業務	
				B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)			
				C:実績なし(配点×0.0)			
	2.1.4 同種又は類似業務の実績(警備業務)	4	同種又は類似業務の実績(警備業務)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0)	1	(同種業務)観客席3,000席以上を有するスポーツ施設での業務 (類似業務)観客席1,000席以上を有する施設での業務	
				B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)			
				C:実績なし(配点×0.0)			
	2.1.5 同種又は類似業務の実績(清掃業務)	4	同種又は類似業務の実績(清掃業務)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0)	1	(同種業務)観客席3,000席以上を有するスポーツ施設での業務 (類似業務)観客席1,000席以上を有する施設での業務	
B:類似の業務の実績がある(配点×0.5)							
C:実績なし(配点×0.0)							
2.2 本業務実施の考え方【様式2-2】	4	業務に対する認識	本契約の目的を理解し、基本的な実施方針・重視するポイントが妥当であるか。	4			
			企業組織としての運営体制全般			4	
2.3 管理・運営業務の実施全般に対する継続した質の改善に関する提案【様式2-3】	12	現場における管理・自主検査体制	現場管理において、責任所在の明確な管理・自主検査体制が整備されているとともに、業務の質の改善に配慮されているか。	4	・評価項目ごとに、5段階評価を行い、配点×評価係数により得られた点数を付与する。		
			業務従事者の採用・教育体制			4	
			サービスの質を確保するための具体的な実施方法			5	A(配点×1.00):全体的に特に優れた提案内容となっている。又は特に高く評価すべき提案がなされている。 B(配点×0.75):全体的に優れた提案内容となっている。又は高く評価すべき提案がなされている。 C(配点×0.50):一定の配慮や工夫がなされており評価できるが、特に優れた提案はなされていない。 D(配点×0.25):一定の配慮や工夫がなされており評価できるが、優れた提案はなされていない。 E(配点×0.00):特に評価すべき配慮や工夫は見られない。
2.4 要求水準書の内容に対する提案【様式2-4-1・2】	20	大規模行事を開催する施設であることに着目した業務の実施方法	業務の質の維持・向上に向けた従業員の採用・教育体制が、優れているか。	4			
			サービスの質を確保するための具体的な実施方法			5	
			大規模行事を開催する施設であることに着目した業務の質の向上において、優れた工夫が見られるか。			5	
		光熱水費の削減等により、サービスの質を維持しながらNAASHの経費削減を図るための業務の実施方法	業務の質の向上とNAASHの経費削減が併せて実現されると見込まれるか。	4			
			CO2排出量の削減等、環境に配慮した業務の実施方法			3	
			有料事業運営業務の具体的な実施方法			1	
2.4.6 その他要求水準書に対する改善提案	2		業務の質の向上において、優れた工夫が見られるか。	2			
			業務の質の向上において、優れた工夫が見られるか。				
合計	100				100		

総合評価に係る評価表(国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター)

【別紙4-3】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考
1 必須項目審査						
1.1 業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制【様式1-1】	1.1.1 企業としての業務全体の管理方法	60	企業組織として、各業務の水準が維持される体制が整備されているか。	60		<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目ごとの配点は行わない。 ・全ての項目を満たしている場合は、配点の100%を付与し、一つでも「失格」に該当する事項があった場合は、失格とする。
	1.1.2 (グループ参加の場合)グループ間の連携		グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制となっているか。			
	1.1.3 責任の所在が明確な業務管理体制		業務全体を統括する総合責任者を中心とした、責任の所在が明確な業務管理体制が確立されているか。			
1.2 緊急時の体制及び対応方法【様式1-2】	1.2.1 緊急時への対応についての考え方・体制	60	具体的な事態を想定し、現実的かつ効果的な体制が確立されているか。			
	1.3 業務計画書(案)【様式1-3】		業務計画書(案)の内容が要求水準書を満たしているか。			

総合評価に係る評価表(国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター)

【別紙4-3】

審査の対象となる書類		配点	評価項目	評価ポイント	個別配点	備考		
2 加点項目審査								
2.1 業務実績【様式2-1】	2.1.1 同種又は類似業務の実績(運営業務一受付)	4	同種又は類似業務の実績(運営業務一受付)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	0.2	(同種業務)スポーツ施設の受付業務 (類似業務)スポーツ施設以外の施設の受付業務		
				2.1.2 同種又は類似業務の実績(運営業務一フットサルコート運営)		A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	0.4	(同種業務)フットサルコート運営業務及びフットサル教室運営業務 (類似業務)フットサルコート運営業務又はフットサル教室運営業務
						2.1.3 同種又は類似業務の実績(運営業務一宿泊施設運営)		A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)
	2.1.4 同種又は類似業務の実績(保守管理業務一設備運転監視及び日常保守点検)	A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	1	(同種業務)延床面積30,000㎡以上の施設での業務 (類似業務)延床面積10,000㎡以上の施設での業務				
		2.1.5 同種又は類似業務の実績(警備業務)		A:同種の業務実績がある(配点×1.0) B:類似の業務の実績がある(配点×0.5) C:実績なし(配点×0.0)	1	(同種業務)延床面積30,000㎡以上の施設での業務 (類似業務)延床面積10,000㎡以上の施設での業務		
	2.2 本業務実施の考え方【様式2-2】		4	業務に対する認識		本契約の目的を理解し、基本的な実施方針・重視するポイントが妥当であるか。	4	
		2.3 管理・運営業務の実施全般に対する継続した質の改善に関する提案【様式2-3】			12	企業組織としての運営体制全般 現場における管理・自主検査体制 業務従事者の採用・教育体制		4
	2.4 要求水準書の内容に対する提案【様式2-4-1・2】		20	サービスの質を確保するための具体的な実施方法 大規模行事を開催する施設であることに着目した業務の実施方法 光熱水費の削減等により、サービスの質を維持しながらNAASHの経費削減を図るための業務の実施方法 CO2排出量の削減等、環境に配慮した業務の実施方法			5	
		2.4.5 有料事業運営業務の具体的な実施方法			1	2		100
	合計		100					

法令上必要な資格等

1 国立霞ヶ丘競技場

- ① 都道府県公安委員会による警備業務の認定
- ② 電気主任技術者（第3種以上）
- ③ 建築物環境衛生管理技術者（建築物環境衛生管理技術者免許資格保持者）（国立霞ヶ丘競技場陸上競技場、国立霞ヶ丘競技場ラグビー場それぞれ1名。）

2 国立代々木競技場

- ① 都道府県公安委員会による警備業務の認定
- ② 電気主任技術者（第3種以上）
- ③ 建築物環境衛生管理技術者（建築物環境衛生管理技術者免許資格保持者）

3 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

- ① 都道府県公安委員会による警備業務の認定
- ② 電気主任技術者（第3種以上）
- ③ 建築物環境衛生管理技術者（建築物環境衛生管理技術者免許資格保持者）

※上記のほか、要求水準書に定めている資格がある。要求水準書に定めている資格を証明する書類の写しは、業務開始時まで提出すること。

◆年間予定数量 国立霞ヶ丘競技場

区 分	年間予定 数量※
○施設環境整備業務	
体育器具及び用具の整理整頓業務	66 回
砂入り人工芝コート of 整備業務	23 回
グラウンド整備業務	105 回
○設備運転監視及び日常保守点検業務	
大会業務（8：00～大会終了）	114 回
大会業務（12：30～大会終了）	46 回
○警備業務	
臨時警備業務	24 回
○清掃業務	
大会清掃業務 （陸上競技場）	
大会事前清掃	
中央ホール	5 回
ロイヤル席、VIP席、特別席	5 回
ゴミ箱設置業務	37 回
大会巡回清掃	
回廊及びトイレ・身障者用トイレ巡回清掃（1日）	11 回
回廊及びトイレ・身障者用トイレ巡回清掃（半日）	33 回
大会事後清掃	
全スタンド	10 回
"（30,000人以下）	8 回
中段スタンド	3 回
"（20,000人以下）	21 回
メインスタンド	10 回
回廊通路全スタンド	11 回
"（30,000人以下）	7 回
" 中段スタンド	3 回
"（20,000人以下）	24 回
" メインスタンド	8 回
観客用トイレ全スタンド（身障者トイレ含）	11 回
"（30,000人以下）（身障者トイレ含）	7 回
" 中段スタンド（身障者トイレ含）	3 回
"（20,000人以下）（身障者トイレ含）	26 回
" メインスタンド（身障者トイレ含）	23 回
ダッグアウト	66 回
選手更衣室（全室）	80 回
"（1室）	32 回
" トイレ・前通路	95 回
第二クラブルーム	60 回
室内練習場	86 回
医務室	78 回
ドーピング検査室	42 回
大会本部役員室・記者室	79 回
正面玄関外側	52 回
中央ホール	90 回
" トイレ	90 回
" 階段	25 回
通用階段（1階～4階）	60 回
貴賓室・トイレ	34 回
貴賓室通路・トイレ	31 回
貴賓室前階段・光庭	23 回
ラウンジA・トイレ	55 回
" B	27 回

区 分	年間予定 数量※
大会議室	61 回
小会議室 1	63 回
" 2	59 回
" 3	61 回
" 4	62 回
会議室前通路・トイレ	89 回
予備室	43 回
予備室(旧暗室)	45 回
給湯室	75 回
控室 2	50 回
4Fスタジオ	11 回
警察・消防控室	25 回
スカイラウンジ R1	13 回
" R2	13 回
" R3	13 回
" R4	15 回
" R5	15 回
" R6	15 回
" R7	16 回
" R8	16 回
" A	13 回
" B	13 回
場内アナウンス室	65 回
5Fスタジオ 501	16 回
" 502	24 回
" 503	13 回
" 504	15 回
" 505	14 回
ディレクタールーム	2 回
写真判定室	33 回
オペレーションルーム	60 回
控室 3・4	30 回
5階記録室	30 回
グリーンシート A	19 回
" B	19 回
" C	20 回
" D	19 回
5Fトイレ 北	22 回
" 中央	29 回
" 南	62 回
5F通路・受付カウンター	17 回
大会運営管理室 1	5 回
第二クラブルーム控え室	12 回
(ラグビー場)	
大会事前清掃	
ゴミ箱設置業務	57 回
大会巡回清掃	
トイレ、身障者用トイレ・コンコース巡回(1日2試合)	39 回
" (1日1試合)	25 回
大会事後清掃	
スタンド (30,000人以下)	2 回
" (15,000人以下)	17 回
" (10,000人以下)	18 回
" (5,000人以下)	30 回
観客用トイレ(30,000人以上)(身障者用トイレ含)	2 回
" (15,000人以下)(身障者用トイレ含)	17 回
" (10,000人以下)(身障者用トイレ含)	18 回
" (5,000人以下)(身障者用トイレ含)	31 回
スタンド下コンコース(15,001人以上)	2 回

区 分	年間予定 数量※
〃 (15,000人以下)	17回
〃 (10,000人以下)	18回
〃 (5,000人以下)	30回
雨天練習場	47回
選手ロッカールーム (A~D)	29回
選手ロッカールーム (2室)	44回
選手シャワールーム (A・B)	63回
選手シャワールーム (1室)	6回
選手トイレ (A~D)	37回
選手トイレ (2室)	43回
北通路 (選手ロッカー前通路A)	57回
南通路 (選手ロッカー前通路B)	57回
審判控室、トイレ・シャワー	59回
医務室	57回
ドーピングコントロールルーム	30回
オープンルーム (1・2・3)	53回
オープンルーム (4)	58回
オープンルーム (5)	57回
オープンルーム (6)	58回
プレスルーム	55回
グラウンド通路	64回
玄関エントランスホール・エレベーターホール	64回
階段	46回
スモーキングルーム (A・B)	56回
貴賓室、新貴賓室トイレ	34回
ラウンジ (A・B)	29回
男子トイレ	37回
女子トイレ	33回
バルコニーシート	29回
バルコニーシート座席カバー取外・取付	29回
放送・操作室	57回
放送室 (1)	32回
放送室 (2)	32回
放送室 (3)	22回
放送室 (4)	21回
サービスルーム (2)	27回
ビデオ判定室	7回
消防控室	29回
警察官詰所	29回
3階通路	49回
旧貴賓室トイレ	31回
記者用トイレ	36回
クラブハウス2階会議室	55回
〃 トイレ	55回
〃 ホール	54回
〃 貴賓室 (トイレ含む)	11回

※ 予定数量の回数は、行事開催1日につき、1回を基本としている。

※ 予定数量は現時点での見込であり、入札公告時までに修正の可能性がある。

◆年間予定数量 国立代々木競技場

区 分	年間予定数量※
○保守管理業務	
施設環境整備業務	
体育器具及び用具の整理整頓業務	30 回
第二体育館バスケットゴール設置・撤去業務	50 回
○警備業務	
臨時警備業務（1行事あたり6時間以上。1時間当たり）	380 回*
○清掃業務	
大会清掃業務	
（第一体育館）	
大会事前清掃	3 回
巡回清掃(8時間)	85 回
巡回清掃(4時間)	130 回
大会事後清掃	85 回
コンサート事後清掃	72 回
アリーナ面清掃	2 回
ダッグアウト清掃	2 回
ドーピング検査待合室、作業室（1）（2）清掃、検体採取室	12 回
ドーピング検査待合室	5 回
来賓室清掃	40 回
周辺道路清掃(4時間)	80 回
（第二体育館）	
大会事前清掃	3 回
巡回清掃(8時間)	12 回
巡回清掃(4時間)	160 回
大会事後清掃	200 回
団体利用清掃	45 回
来賓室清掃	70 回
大会諸室清掃業務(共通項目)	
ドーピングルーム	23 回
ミーティングルーム	85 回
応接室	80 回
会議室 5	80 回
附属棟会議室清掃業務	
共用部廊下・男女女子便所・身障者便所	30 回
会議室 1	25 回
会議室 2	20 回
会議室 3	15 回
会議室 4	15 回
※ 予定数量の回数は、行事開催1日につき、1回を基本としている(*は除く)。	
※ 予定数量は現時点での見込であり、入札公告時までに修正の可能性はある。	
※ 第一体育館の大会事前・事後清掃、コンサート事後清掃及び第二体育館の大会事前・事後清掃、団体利用清掃の清掃範囲については、別記のとおり	

◆大会清掃業務 清掃範囲

第一体育館

清掃場所	階	大会事前・事後清掃	コンサート事後清掃※
アリーナ面	B2F	○	
シャワー室(男女)	B2F	○	
更衣室内便所	B2F	○	○
シャワー室内便所	B2F	○	○
正面玄関ホール便所	B2F	○	○
南北ロビー便所(東西4箇所)	B1F	○	○
B2東側便所	B2F	○	○
B2東ランプ便所	B2F	○	○
B2西側便所	B2F	○	○
コンコース身障者便所	B2F	○	○
屋外便所(原宿口)	屋外B1F	○	○
屋外便所(渋谷口)	屋外B1F	○	○
スタンド(1・2階)	1・2F	○	
南北ロビー	B1F	○	○
特別室(シャワー室・トイレ含む)	B2F	○	○
北側選手控室廻り(特別室以外)	B2F	○	○
コンコース	1F	○	
東西ランプ通路	B2F	○	○
ダッグアウト(アリーナ外周)	B2F	○	○
中庭前通路・階段	B2F・屋外B1F	○	○
競技役員控室(A・B)	B2F	○	○
機械室前通路	B2F	○	○
正面玄関ホール	B2F	○	○
更衣室	B2F	○	○
原宿石畳広場	1F	○	○

※コンサート開催期間中に実施する清掃

第二体育館

清掃場所	階	大会事前・事後清掃	団体利用清掃
玄関ホール(チケットBOX含む)	1F	○	○
コンコース	1F	○	
ロビー	B1F	○	○
スタンド	1F	○	○
フロアー	1F	○	○
移動席及び収納スペース	1F	○	○
食堂連絡通路	B1F	○	
西控室	B1F	○	
更衣室前廊下	B1F	○	○
更衣室(役員室・スタッフルーム含む)	B1F	○	○
東西便所(前室含む)	B1F	○	○
西側便所	B1F	○	○
更衣室(シャワー室含む)便所	B1F	○	○
ウォームアップ走路	1F	○	
喫煙スペース	1F	○	

◆年間予定数量 国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

区 分	年間予定 数量※
○保守管理業務	
施設環境整備業務	
競泳プール	
一般利用	19 回
水球・その他	1 回
可動床の操作	266 回
○清掃業務	
サッカー場清掃業務	
床の清掃	
事前清掃	10 回
事後清掃	78 回
定期清掃	1 回
床以外の清掃	
事前清掃	10 回
事後清掃	78 回
ごみ収集作業	
事前収集業務	
サッカー場	10 回
事後収集業務	
サッカー場事務棟	78 回
サッカー場	78 回
サッカー場大会以外事務棟諸室清掃業務	10 回
○環境衛生管理等業務	
クリーニング業務	
(スポーツクリニック)	
タオルケット	48 枚
バスタオル	576 枚
スポーツタオル	96 枚
フェイスタオル	384 枚
MR I 検査用短パン	576 枚
検査着 (上)	192 枚
検査着 (下)	48 枚
枕カバー	48 枚
シーツ (含 包交車カバー)	12 枚
診察台カバー	48 枚
毛布カバー (含 包布)	12 枚
長白衣 (白)	288 枚
長白衣 (青)	12 枚
看護婦白衣 (上)	12 枚
看護婦白衣 (下)	12 枚
看護婦白衣ワンピース	480 枚
エプロン	12 枚
ケイシー (上)	672 枚
ケイシー (下)	768 枚
ジャケット型白衣	96 枚
高圧酸素治療着	96 枚
スカート	48 枚
カーテン	96.6756 m ²
羽毛掛布団	2 枚
毛布	4 枚
(栄養指導食堂・喫茶室)	
【調理師】	
コックコート	480 枚

区 分	年間予定 数量※
パンツ	48 枚
前掛け	960 枚
四角巾	96 枚
厨房帽子	96 枚
【レストランパート】	
パンツ	192 枚
シャツ	22 枚
エプロン	240 枚
三角巾	240 枚
タイ	22 枚
【喫茶】	
パンツ	48 枚
エプロン	192 枚
蝶タイ	18 枚
シャツ	18 枚
【清掃パート】	
チノパン	28 枚
ポロシャツ	28 枚
【レストラン】	
テーブルクロス	96 枚
(戸田艇庫)	
シーツ	3,360 枚
包布	1,920 枚
枕カバー	4,080 枚
ベッドパッド	6 枚
毛布	200 枚
シャワーカーテン	4 枚
掛布団	50 枚
(NTC宿泊施設)	
【西東館】	
デュベカバー	218 枚
ベッドパット	218 枚
羽毛中芯	218 枚
枕	218 枚
和室用羽毛布団	40 枚
和室用敷布団	40 枚
和室用枕	40 枚
座布団	10 枚
毛布	30 枚
【南館】	
デュベカバー	190 枚
ベッドパット	190 枚
羽毛中芯	190 枚
枕	190 枚
座布団	50 枚
毛布	30 枚
(JISS宿泊施設)	
ベッドスプレッド	7 枚
ベッドパット	78 枚
羽毛中芯	78 枚
枕	78 枚
和室用羽毛布団	6 枚
和室用敷布団	6 枚
和室用枕	6 枚
座布団	6 枚
毛布	6 枚

※ サッカー場清掃に係る予定数量の回数は、行事開催1日につき、1回を基本としている。

※ 予定数量は現時点での見込であり、入札公告時までに修正の可能性がある。”

従来の実施状況に関する情報の開示

1 従来の実施に要した経費			(単位:千円)		
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
国立霞ヶ丘競技場の管理・運營業務					
人件費	常勤職員		0	0	0
	非常勤職員		0	0	0
物件費			257	255	294
委託費等	委託費定額部分		297,593	301,860	300,221
	成果報酬等		0	0	0
	旅費その他		0	0	0
計(a)			297,850	302,115	300,515
参考値 (b)	減価償却費		0	0	0
	退職給付費用		0	0	0
	間接部門費		0	0	0
(a)+(b)			297,850	302,115	300,515
(注記事項)					
※平成 23 年度は見込み。					
1. 平成 21 年度より民間競争入札による包括的委託を実施。					
2. 経費の内訳及び休業等の状況は、別添1のとおり。					
3. 施設の稼働日数					
単位:日					
区分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
陸上競技場		182	154	140	
体育館		336	299	319	
室内水泳場		323	305	334	
トレーニングセンター		329	312	317	
スポーツ博物館		312	227	331	
ラグビー場		70	72	72	
テニス場		333	316	334	
※詳細は、日本スポーツ振興センターの業務実績報告書(参考データ部分)ウェブサイトを参照 http://naash.go.jp/corp//tabid/129/Default.aspx					

2 従来の実施に要した人員

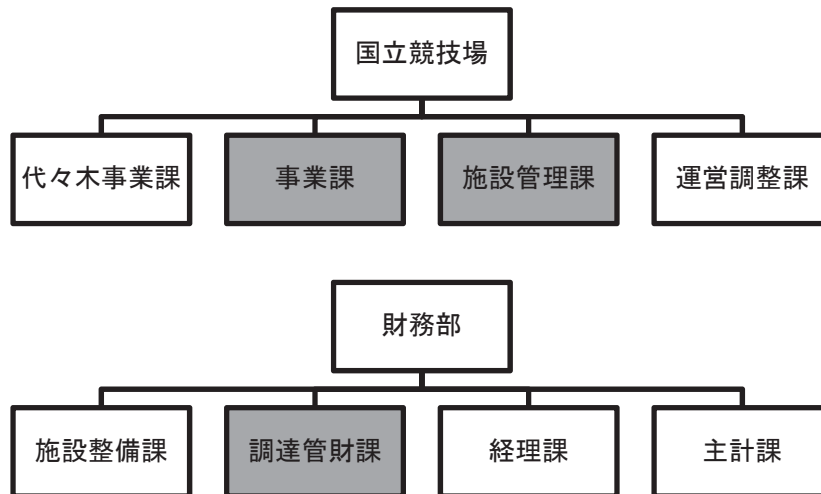
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
国立霞ヶ丘競技場の管理・運営業務			
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

(業務従事者に求められる知識・経験等)

(業務の繁閑の状況とその対応)

(注記事項)

1. 業務の全部を外部委託により実施
2. 監督部署については、以下のとおり(網掛部分)。



3 従来の実施に要した施設及び設備

(使用施設)

- ・受託業者控室 120.6㎡
- ・室内水泳場受付 14.2㎡
- ・東テニスコート受付 71.9㎡
- ・西テニスコート受付 16.0㎡
- ・体育館受付 3.9㎡
- ・制御室 137.9㎡
- ・警備室 60.7㎡
- ・有料駐車場係員詰所 7.1㎡
- ・清掃用具庫 78.3㎡
- ・トレーニングセンター 受付・控え室 26.7㎡、事務室 31.2㎡、指導員控え室 31.0㎡

(使用設備・備品)

別添2のとおり。

(注記事項)

上記の施設及び設備等については、業務を行う範囲において無償貸与とする。

4 従来の実施における目的の達成の程度

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務						
業務の不備に起因する施設の重大な支障(停電、断水、空調停止など)が発生しないこと	0回	0回	0回	0回	0回	0回
施設利用者に対するアンケートによる満足度調査	80%	89.2%	80%	92.9%	80%	94.3%

(注記事項)

※平成 23 年度の重大な支障の発生状況は、平成 23 年 10 月 1 日現在。

※アンケートによる満足度調査は各年度2回実施しており、平成 21 年度及び平成 22 年度は年間平均、平成 23 年度は 1 回分の結果。

5 従来の実施方法等

従来の実施方法(業務フロー図等)

- ・業務区分表は、別添3のとおり。
- ・委託業務一覧は、別添4のとおり。

(事業の目的を達成する観点から重視している事項)

施設の円滑な運営に資すること。

(注記事項)

国立霞ヶ丘競技場の管理運営業務の実施に要した経費内訳

(単位:千円)

経 費 内 訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度
【物件費】			
控え室の光熱水費	838	975	687
次亜塩素酸ソーダ	257	255	294
小計	1,095	1,230	981
【委託費】			
1 運営業務	86,353	86,474	86,464
窓口・受付・巡回業務	58,613	58,646	58,613
水泳場受付・巡回業務	9,597	9,597	9,597
体育館受付業務	5,347	5,347	5,347
東・西テニスコート受付・巡回業務	23,567	23,567	23,516
スポーツ博物館受付・巡回業務	5,094	5,094	5,094
事業課窓口業務	6,811	6,821	6,840
トレーニングセンター受付・巡回業務(有料事業運営業務)	8,197	8,220	8,219
トレーニングセンター指導業務	27,740	27,828	27,851
2 保守管理業務	96,502	102,278	99,106
園地整備業務	2,329	2,268	2,341
施設環境整備業務*	2,814	3,942	3,155
有料駐車場管理業務	8,456	8,456	8,456
定期点検等及び保守業務	26,411	28,895	28,929
ラグビー場・東テニスコート高圧電気設備試験点検	221	221	221
温水シャワー給湯自動温度調節装置保守点検	410	410	410
温水シャワー用温度調整器等保守点検	494	494	494
給湯設備保守点検	893	893	893
節水洗浄装置保守点検	315	315	315
ラグビー場有料駐車場自動料金精算システム保守点検	688	688	688
陸上競技場電光表示設備保守点検	4,568	4,568	4,568
ラグビー場電光表示設備保守点検	2,961	2,961	2,961
自動制御設備保守点検	1,659	1,659	1,659
吸収式冷温水発生機保守点検	1,407	1,407	1,407
陸上競技場写真判定装置及び陸上競技用精密機器保守点検	984	2,584	2,584
陸上競技場中央監視制御装置保守点検	1,019	1,019	1,019
トレーニングセンターサウナ・浴槽設備・水泳場採暖設備保守点検	536	536	536
加圧給水装置保守点検	158	158	158
冷凍機(チラーユニット)保守点検	557	557	557
冷暖房設備(GHP)保守点検	588	758	792
シャッター設備保守点検	137	137	137
高圧電気設備等試験点検	3,948	3,948	3,948
非常用発電機設備保守点検	315	315	315
消防用設備等点検	961	961	961
放送設備及びITV・映像設備保守点検	1,050	1,050	1,050
構内電話交換機設備保守点検	683	956	956
エレベーター設備保守点検(陸上競技場)	1,260	1,260	1,260
エレベーター設備保守点検(ラグビー場)	441	882	882
水泳場浄化装置保守点検	158	158	158
設備運転監視及び日常保守・点検業務	56,492	58,717	56,225
3 警備業務	42,303	43,149	41,801
通常警備業務・夜間警備業務	42,009	43,002	41,396
臨時警備業務*	294	147	405

4	清掃業務	66,615	64,138	67,027
	日常・定期清掃	45,423	45,283	45,019
	大会清掃*	21,192	18,855	22,008
5	環境衛生管理業務	5,820	5,821	5,823
	各種環境測定	1,051	1,093	1,093
	受水槽・汚水槽・貯湯槽等清掃	1,649	1,607	1,607
	害虫等防駆除・消毒作業	677	680	680
	空調用エアフィルター定期清掃	2,397	2,397	2,397
	体育館床用モップ交換作業	46	44	46
	小計	297,593	301,860	300,221
	合計【物件費＋委託費】	297,850	302,115	300,515
(注記事項)				
※表中「*」は、単価契約を行う費目。				
1. 経費の増減の要因				
(1) 休業の状況				
	対象施設/休業の要因	休業期間等		
	ラグビー場/西スタンド改修工事	平成21年4月1日～平成21年5月29日(59日間)		
(2) 変更契約の状況				
	変更要因	金額の増減(単位:円)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	ラグビー場西スタンド改修工事に伴う諸室・設備の変更等	1,993,614	2,042,796	-
	陸上競技場写真判定装置等の保守対象機器の変更	-	2,583,840	-
	陸上競技場昇降機設備及びITV設備改修工事に伴う保守点検の回数減、及び陸上競技場一部改修及び安全対策その他工事による清掃範囲の追加等(予定)	-	-	未定
	陸上競技場昇降機設備及びITV設備改修工事後の変更(予定)	-	-	未定
	合計	1,993,614	4,626,636	0
2. トレーニングセンターの収入・利用実績 (単位:円)				
	区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	パーソナルトレーニング実施収入	44,500	84,125	84,125
	物品販売収入	84,361	87,144	85,753
3. 本部事務所の警備、設備管理及び清掃の実績 (単位:円)				
	区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	常勤警備業務	13,854,750	16,364,460	12,628,098
	設備運転監視及び日常保守・点検業務			
	日常・定期清掃	3,754,118	3,601,500	3,224,508

国立霞ヶ丘競技場の管理・運営業務の実施に要した設備・備品

使用場所	使用設備・備品	
受託業者控室	事務机	4
	長机	3
	椅子(肘付)	4
	椅子(肘なし)	4
	書類ロッカー	1
	キャビネット	3
	更衣ロッカー(3連)	2
	更衣ロッカー(4連)	3
	更衣ロッカー(8口)	2
	流し	3
	内線電話	3
	室内水泳場受付	受付カウンター
更衣ロッカー		1
OA机		1
椅子(肘付)		3
キャビネット		1
内線電話		1
東テニスコート受付	パソコン	1
	事務机	5
	長机	1
	椅子(肘付)	9
	椅子(肘なし)	8
	書類ロッカー	4
	更衣ロッカー	9
	書棚	1
	ラック	1
	キャビネット	3
	金庫	1
	流し	1
	外線電話	4
内線電話	4	
西テニスコート受付	椅子(肘付)	2
	書類ロッカー	4
	長机	1
	椅子(肘なし)	2
	外線電話	1
体育館受付	椅子(肘付)	1
	書棚	1
	受付カウンター	1
	更衣ロッカー	1
	小机	1
	内線電話	1
制御室	業務用パソコン	1
	事務机	8
	椅子(肘付)	8
	書棚	6
	キャビネット	4

	更衣ロッカー	2
	更衣ロッカー(2連)	1
制御室	更衣ロッカー(3連)	3
	更衣ロッカー(4連)	4
	流し	1
	内線電話	6
警備室	事務机	5
	椅子(肘付)	5
	椅子(肘なし)	2
	書棚	1
	キャビネット	6
	鍵保管ロッカー	5
	書類ロッカー	2
	更衣ロッカー	9
	金庫	1
	外線電話	1
	内線電話	2
	有料駐車場係員詰所	事務机
椅子(肘付)		1
椅子(肘なし)		2
書類ロッカー		1
更衣ロッカー		2
小机		1
流し		1
トレーニングセンター	【受付・控え室】	
	パソコン	2
	プリンター	1
	事務机	1
	椅子(肘付)	4
	キャビネット	3
	書類ロッカー	1
	タオルキャビネット	1
	更衣ロッカー(3連)	3
	【事務室】	
	事務机	1
	椅子(肘付)	1
	更衣ロッカー(6口)	2
	流し	1
	【指導員控室】	
	更衣ロッカー(3連)	1
	更衣ロッカー(6口)	2
プール	【清掃用機械】	
	水中クリーナー(プールロボット)	2
園地	【園地整備用機械】	
	刈払機	1
	ヘッジトリマー	1
事業課窓口業務	OA机	3
	椅子(肘付)	3
	受付カウンター	1
	業務用パソコン(インターネット非接続)	2
	外線電話	1
	内線電話	4

業務区分	現契約		次期契約	
	NAASH	包括委託	NAASH	包括委託
業務の管理・指導監督	●		●	
大規模スポーツ施設における事業計画の立案・策定	●		●	
イベント等の進行管理に係る大会主催者等への指導・助言	●		●	
利用料金・利用方法の決定	●		●	
運営業務				
窓口・受付・巡回業務		○		○
トレーニングセンター指導業務		○		○
保守管理業務				
園地整備業務		○		○
施設環境整備業務		○		○
有料駐車場管理業務		○		○
定期点検等及び保守業務(25設備)		○		○
設備運転監視及び日常保守・点検業務	○※1	○		○
警備業務				
通常警備業務・夜間警備業務	○※1	○		○
臨時警備業務		○		○
清掃業務				
日常・定期清掃	○※1	○		○
大会清掃		○		○
環境衛生管理業務				
各種環境測定		○		○
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃		○		○
害虫防駆除・消毒作業		○		○
空調用エアフィルター定期清掃		○		○
体育館床用モップ等交換作業	○※2			○

※1:本部事務所に係る部分は、従前は個別契約

※2:従前は個別契約

業務区分	業務内容
1 運営業務	
窓口・受付・巡回業務	各施設の受付業務及び館内の巡回業務を行うものとし、お客様への適切な案内業務、避難誘導等の安全確保、日常清掃等を通じて、サービスの向上及び衛生管理に努める。 施設利用に係る受付及び事務処理等の業務を行う。
トレーニングセンター指導業務	トレーニングセンター利用者の技量、体力に応じたトレーニング指導及び各種教室を開催する。
2 保守管理業務	
園地整備業務	施設内の園地の美観を維持する業務を行う。
施設環境整備業務	NAASHで行われる各種グラウンド整備作業や、行事にて使用する器具の整理整頓及び用具の設置撤去作業などを行う。
有料駐車場管理業務	有料駐車場の管理全般を行うものとし、利用者への適切な案内業務、安全確保、料金徴収、駐車場エリアの日常清掃等、サービスの向上、良好な環境維持と保全に努める。
定期点検等及び保守業務(25設備)	電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。
設備運転監視及び日常保守・点検業務	各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等、その他建築等諸設備の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。
3 警備業務	
通常警備業務・夜間警備業務 臨時警備業務	警備業務は、施設警備全般を行うもので、利用者に対して適切な受付・案内業務を行うとともに、場内外の巡回業務を行い、施設の安全確保、有事の際や緊急時の避難誘導、緊急連絡等を通じて、サービスの向上、良好な環境維持と保全を図る。
4 清掃業務	
日常・定期清掃 大会清掃	日常清掃業務、定期清掃業務、大会事前清掃業務、大会巡回清掃業務、大会事後清掃業務、周辺道路清掃業務を行う。
5 環境衛生管理業務	
各種環境測定	対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく環境測定及び諸室の環境測定を行う。
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃	受水槽、高置水槽、汚水槽等について、清掃を行う。
害虫防駆除・消毒作業	害虫等防駆除及び消毒作業を行う。
空調用エアフィルター定期清掃	空調用エアフィルター定期清掃を行う。
体育館床用モップ他交換作業	清掃用床モップ等の交換を行う。

従来の実施状況に関する情報の開示

1 従来の実施に要した経費			(単位:千円)		
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
国立代々木競技場の管理・運營業務					
人件費	常勤職員		0	0	0
	非常勤職員		0	0	0
物件費			581	457	431
委託費等	委託費定額部分		185,026	188,057	201,735
	成果報酬等		0	0	0
	旅費その他		0	0	0
計(a)			185,607	188,514	202,166
参考値 (b)	減価償却費		0	0	0
	退職給付費用		0	0	0
	間接部門費		0	0	0
(a)+(b)			185,607	188,514	202,166
(注記事項)					
※平成 23 年度は見込み。					
1. 平成 21 年度より民間競争入札による包括的委託を実施。					
2. 経費の内訳及び休業等の状況は、別添1のとおり。					
3. 施設の稼働日数					
単位:日					
区分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
第一体育館		268	287	260	
第二体育館		302	233	250	
室内水泳場		330	231	269	
園地		365	365	366	
※詳細は、日本スポーツ振興センターの業務実績報告書(参考データ部分)ウェブサイトを参照 http://naash.go.jp/corp//tabid/129/Default.aspx					
4. 水泳教室の参加者数					
単位:人					
区分		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
会員数		2,645	1,945	1,931	
延べ参加者数		24,256	16,448	18,060	

2 従来の実施に要した人員

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
国立代々木競技場の管理・運営業務			
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

(業務従事者に求められる知識・経験等)

(業務の繁閑の状況とその対応)

(注記事項)

1. 業務の全部を外部委託により実施
2. 監督部署については、以下のとおり(網掛部分)。



3 従来の実施に要した施設及び設備

国立代々木競技場の管理運営業務

(使用施設)

・受託業者控室	30. 0㎡
・有料駐車場係員詰所	13・8㎡
・室内水泳場受付・控室	18. 3㎡
・中央監視室	110. 0㎡
・コントロール室	57. 0㎡
・警備室	76. 0㎡
・清掃員控室	90. 6㎡
・園地控室	36. 0㎡

(使用設備・備品)

別添2のとおり。

(注記事項)

上記の施設及び設備等については、業務を行う範囲において無償貸与とする。

4 従来の実施における目的の達成の程度

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
国立代々木競技場の管理・運営業務						
業務の不備に起因する施設の重大な支障（停電、断水、空調停止など）が発生しないこと	0回	0回	0回	0回	0回	0回
施設利用者に対するアンケートによる満足度調査	80%	85.7%	80%	91.4%	80%	91.4%

(注記事項)

※平成 23 年度の重大な支障の発生状況は、平成 23 年 10 月 1 日現在。

※アンケートによる満足度調査は各年度2回実施しており、平成 21 年度及び平成 22 年度は年間平均、平成 23 年度は 1 回分の結果。

5 従来の実施方法等

従来の実施方法(業務フロー図等)

- ・業務区分表は、別添3のとおり。
- ・委託業務一覧は、別添4のとおり。

(事業の目的を達成する観点から重視している事項)

施設の円滑な運営に資すること。

(注記事項)

国立代々木競技場の管理運営業務の実施に要した経費内訳

(単位:千円)

経費内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度
【物件費】			
控え室の光熱水費	129	138	117
次亜塩素酸ソーダ	581	457	431
小計	710	595	548
【委託費】			
1 運営業務	32,777	27,958	31,549
総合責任者	5,274	5,274	5,288
室内水泳場業務	18,311	13,492	17,044
受付・巡回業務	8,932	6,625	8,959
有料事業運営業務(水泳指導員謝金) ※	9,379	6,867	8,085
事業課窓口業務	9,192	9,192	9,217
2 保守管理業務	83,296	89,188	93,889
園地整備業務	5,148	5,148	5,148
施設環境整備業務*	851	3,572	214
有料駐車場管理業務	6,818	6,818	6,837
定期点検等及び保守業務	21,797	20,163	27,231
有料駐車場自動料金精算システム保守点検	485	485	485
第一体育館(東ランプ)客席昇降装置保守点検	221	221	221
第一体育館(西ランプ)客席昇降装置保守点検	161	161	161
小便器洗浄水節水用機器(FM節水器)保守点検	50	42	42
第二体育館移動観覧席保守点検	273	0	578
500kW常用ガス発電設備等保守点検	3,150	3,150	3,150
冷凍機保守点検	1,764	0	2,100
機械設備中央監視盤装置保守点検	1,943	1,943	1,943
吸収式冷温水機保守点検	2,415	2,415	2,415
照明設備制御システム保守点検	1,418	1,418	1,418
大規模放水銃消火システム保守点検	945	945	945
電気中央監視盤装置保守点検	998	998	998
可変速給水システム保守点検	95	95	95
第二体育館電光得点表示装置保守点検	500	500	500
附属棟会議室用吸収式冷温水機保守点検	378	378	378
第二体育館電動油圧式バスケットゴール保守点検	137	137	137
油圧式高所作業台保守点検	90	90	90
シャッター設備保守点検	116	116	116
高圧電気設備等試験点検	1,240	1,240	1,240
非常用発電機設備保守点検	704	704	704
消防用設備等点検	1,002	1,014	1,014
放送設備(業務用・非常用)及びITV設備保守点検	994	386	1,043
構内電話交換機設備保守点検	479	479	479
第一体育館内部エレベータ設備保守点検	198	198	198
第一体育館外部エレベータ設備保守点検	0	1,007	1,726
水泳場浄化装置保守点検	473	473	473
レストラン及び売店厨房機器保守点検	1,568	1,568	1,568
第一体育館大型映像表示設備保守点検	0	0	2,730
太陽光発電システム	0	0	284
設備運転監視及び日常保守・点検業務	48,682	53,487	54,459

3 警備業務	25,353	26,486	27,641
通常警備業務・夜間警備業務	24,677	25,688	26,825
臨時警備業務*	676	798	816
4 清掃業務	40,534	41,348	45,242
日常・定期清掃	20,774	20,302	23,664
大会清掃*	19,760	21,046	21,578
5 環境衛生管理業務	3,066	3,077	3,414
各種環境測定	913	942	976
受水槽・汚水槽・貯湯槽等清掃	728	728	728
害虫等防駆除及び消毒作業	208	208	208
空調用エアフィルター定期清掃	894	924	1,213
清掃用床モップ等の交換	323	275	289
小計	185,026	188,057	201,735
合計【物件費＋委託費】	185,607	188,514	202,166

(注記事項)

※表中「*」は、大会の開催日数等に応じて単価契約を行う費用。

※教室運営業務(水泳指導員謝金)は、別紙8において「旅費その他」として開示

1. 経費の増減の要因

(1)休業の状況

対象施設/休業の要因	休業期間等
第一体育館/内部改修工事	平成22年1月12日～平成22年3月10日(58日間)
第二体育館/内部工事及び外部改修工事	平成22年6月1日～平成22年8月26日(87日間)
室内水泳場/改修工事	平成22年7月1日～平成22年9月30日(92日間)
国立代々木競技場全館/受変電設備改修工事(予定)	平成24年2月1日～平成24年3月14日(42日間)

(2)変更契約の状況

変更要因	金額の増減(単位:円)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
熱源設備改修工事による対象設備の追加等	143,063	391,388	-
第一体育館内部改修工事、第一体育館・第二体育館設備更新工事に伴う諸室・設備の変更等	-	2,650,559	2,650,559
第二体育館内部工事(一部施設の休業を含む。)及び外構改修工事等に伴う設備の変更等	-	△ 2,002,542	-
受変電設備改修工事にもなう設備の変更・休業等(予定)	-	-	未定
合計	143,063	1,039,405	2,650,559

2. 室内水泳場の利用状況

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
水泳教室会員数(人)	2,645	1,945	1,931
水泳教室教室利用延べ人数(人)	24,256	16,448	18,060
施設利用時間(6レーンの延べ時間)	12,756	8,852	9,985.50
施設利用延べ人数(教室利用を除く。)(人)	96,792	65,208	84,369
収入実績(千円)	70,116	48,079	57,169
うち 団体利用	44,724	30,665	36,636
うち 水泳教室	25,392	17,414	20,533
指導員謝金(千円)	9,379	6,867	8,085

※平成22年度は92日間休業(上記1(1)参照)、及び東日本大震災の影響により19日間休業。

※平成23年度は東日本大震災の影響により14日間休業、及び42日間休業予定(上記1(1)参照)。

国立代々木競技場の管理運営業務の実施に要した設備・備品

使用場所	使用設備・備品	数量
受託業者控室	OA机	2
	長机	1
	事務用棚	3
	ロッカー	2
	エアコン	1
	ITV監視設備	1
	内線電話	1
	物置	1
	流し	1
有料駐車場係員詰所	OA机	2
	椅子(肘付)	2
	エアコン	1
	長机	1
	ロッカー	1
	内線電話	1
	物置	1
室内水泳場受付・控室	受付カウンター	1
	椅子(肘付)	2
	エアコン	1
	長机	1
	折りたたみ椅子	2
	内線電話	1
	ITV監視設備	1
	ホワイトボード	1
中央監視室	OA机	6
	椅子(肘付)	15
	業務用パソコン(うち1台監督職員との連絡用・ADSL回線付)	1
	複合機	1
	業務用プリンター	2
	エアコン	2
	内線電話	7
	外線電話	1
	事務用棚	7
	流し	1
	ITV監視設備	1
	電気中央監視盤設備操作パソコン	2
	機械設備中央監視盤設備操作パソコン	1
	バックヒーター等監視用モニター	1
	従業員用便所	1
	ロッカー	10
	ホワイトボード	2
	長机	2
	椅子(肘なし)	6

コントロール室	長机	6
	椅子(肘なし)	12
	小机	1
	OA机	4
	従業員用便所	1
	棚	8
	内線電話	1
	流し	1
警備室	事務机	6
	椅子(肘付)	7
	内線電話	2
	外線電話(夜間対応)	1
	ロッカー	13
	エアコン	1
	場内鍵保管用ロッカー	1
	ITV監視設備	1
	防災関係設備盤	3
	身障者便所警報盤	1
	金庫	4
	流し	1
	黒板	1
	ついたて	2
	エアコン	1
	シャワー室	2
	従業員用便所	1
流し	1	
内線電話	1	
清掃員控室	エアコン	1
	シャワー室	2
	従業員用便所	1
	流し	1
	内線電話	1
園地控室	流し	1
	長いす	1
	ロッカー	2
	OA机	1
	従業員用便所	1
	内線電話	1
プール	【清掃用機械】 水中クリーナー(プールロボット)	3
	【園地整備用機械】	
園地	芝刈り機	1
	刈払い機	2
	ヘッジトリマー	2
事業課窓口業務	OA机	2
	椅子(肘付)	2
	業務用パソコン	2
	複合機	1
	カウンターテーブル	1

業務区分	現契約		次期契約	
	NAASH	包括委託	NAASH	包括委託
業務の管理・指導監督	●		●	
大規模スポーツ施設における事業計画の立案・策定	●		●	
イベント等の進行管理に係る大会主催者等への指導・助言	●		●	
利用料金・利用方法の決定	●		●※1	
1 運営業務				
室内水泳場業務	●	○		○
事業課窓口業務		○		○
2 保守管理業務				
園地整備業務		○		○
施設環境整備業務		○		○
有料駐車場管理業務		○		○
定期点検等及び保守業務(30設備)	○※2	○		○
設備運転監視及び日常保守・点検業務		○		○
3 警備業務				
通常警備業務・夜間警備業務		○		○
臨時警備業務		○		○
4 清掃業務				
日常・定期清掃		○		○
大会清掃		○		○
5 環境衛生管理業務				
各種環境測定		○		○
受水槽・汚水槽・貯湯槽清掃		○		○
害虫防駆除・消毒作業		○		○
空調用エアフィルター定期清掃		○		○
体育館床用モップ等交換作業	○※3			○

※1：室内水泳場における有料事業運営業務の中で利用者から徴収する利用料金は、NAASHと民間事業者の協議の上、設定、変更できるものとする。

※2：従前は一部個別契約(30設備のうち2設備)

※3：従前は個別契約

業務区分	業務内容
1 運営業務	
室内水泳場業務	室内水泳場の受付業務及び館内の巡回業務を行うものとし、お客様への適切な案内業務、避難誘導等の安全確保、日常清掃等を通じて、サービスの向上及び衛生管理に努める。また、水泳教室等の実施を行う。
事業課窓口業務	施設利用に係る受付及び事務処理等の業務を行う。
2 保守管理業務	
園地整備業務	施設内の園地の美観を維持する業務を行う。
施設環境整備業務	NAASHで行われる各種作業の補助や、行事にて使用する器具の整理整頓及び用具の設置撤去作業などを行う。
有料駐車場管理業務	有料駐車場の管理全般を行うものとし、利用者への適切な案内業務、安全確保、料金徴収、駐車場エリアの日常清掃等、サービスの向上、良好な環境維持と保全に努める。
定期点検等及び保守業務(30設備)	電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。
設備運転監視及び日常保守・点検業務	各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等、その他建築等諸設備の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。
3 警備業務	
通常警備業務・夜間警備業務 臨時警備業務	警備業務は、施設警備全般を行うもので、来場者及び観客に対して適切な受付・案内業務を行うとともに、場内外の巡回業務を行い、施設の安全確保、有事の際や緊急時の避難誘導、緊急連絡等を通じて、サービスの向上、良好な環境維持と保全を図る。
4 清掃業務	
日常・定期清掃 大会清掃	日常清掃業務、定期清掃業務、大会事前清掃業務、大会巡回清掃業務、大会事後清掃業務、周辺道路清掃業務を行う。
5 環境衛生管理業務	
各種環境測定	対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく各種環境測定を行う。
受水槽・汚水槽・貯湯槽清掃	受水槽、汚水槽、貯湯槽について、清掃を行う。
害虫防駆除・消毒作業	害虫等防駆除及び消毒作業を行う。
空調用エアフィルター定期清掃	空調用エアフィルターの清掃及び交換を行う。
体育館床用モップ交換作業	清掃用床モップ等の交換を行う。

従来の実施状況に関する情報の開示

1 従来の実施に要した経費			(単位:千円)																																																						
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度																																																				
国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの管理・運営業務																																																									
	人件費	常勤職員	0	0	0																																																				
		非常勤職員	0	0	0																																																				
	物件費		0	0	0																																																				
	委託費等	委託費定額部分	625,773	626,223	705,992																																																				
		成果報酬等	0	0	0																																																				
		旅費その他	0	0	0																																																				
計(a)			625,773	626,223	705,992																																																				
参考値 (b)	減価償却費		0	0	0																																																				
	退職給付費用		0	0	0																																																				
	間接部門費		0	0	0																																																				
(a)+(b)			625,773	626,223	705,992																																																				
(注記事項)																																																									
※平成 23 年度は見込み。																																																									
1. 平成 21 年度より民間競争入札による包括的委託を実施。																																																									
2. 経費の内訳及び休業等の状況は、別添1のとおり。																																																									
3. 施設の稼働日数																																																									
単位:日																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 21 年度</th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">国立スポーツ科学センター</td> </tr> <tr> <td>トレーニング施設</td> <td>356</td> <td>354</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>宿泊室</td> <td>264</td> <td>362</td> <td>364</td> </tr> <tr> <td>サッカー場</td> <td>60</td> <td>73</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>屋外テニスコート</td> <td>333</td> <td>315</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>フットサルコート</td> <td>260</td> <td>237</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>戸田艇庫</td> <td>365</td> <td>365</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ナショナルトレーニングセンター</td> </tr> <tr> <td>屋内トレーニングセンター</td> <td>364</td> <td>364</td> <td>364</td> </tr> <tr> <td>陸上トレーニング場</td> <td>356</td> <td>355</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>屋内テニスコート</td> <td>315</td> <td>306</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>364</td> <td>364</td> <td>364</td> </tr> </tbody> </table>						区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	国立スポーツ科学センター				トレーニング施設	356	354	355	宿泊室	264	362	364	サッカー場	60	73	60	屋外テニスコート	333	315	324	フットサルコート	260	237	248	戸田艇庫	365	365	365	ナショナルトレーニングセンター				屋内トレーニングセンター	364	364	364	陸上トレーニング場	356	355	355	屋内テニスコート	315	306	310	宿泊施設	364	364	364
区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度																																																						
国立スポーツ科学センター																																																									
トレーニング施設	356	354	355																																																						
宿泊室	264	362	364																																																						
サッカー場	60	73	60																																																						
屋外テニスコート	333	315	324																																																						
フットサルコート	260	237	248																																																						
戸田艇庫	365	365	365																																																						
ナショナルトレーニングセンター																																																									
屋内トレーニングセンター	364	364	364																																																						
陸上トレーニング場	356	355	355																																																						
屋内テニスコート	315	306	310																																																						
宿泊施設	364	364	364																																																						
※詳細は、日本スポーツ振興センターの業務実績報告書(参考データ部分)ウェブサイトを参照																																																									
http://naash.go.jp/corp//tabid/129/Default.aspx																																																									

2 従来の実施に要した人員

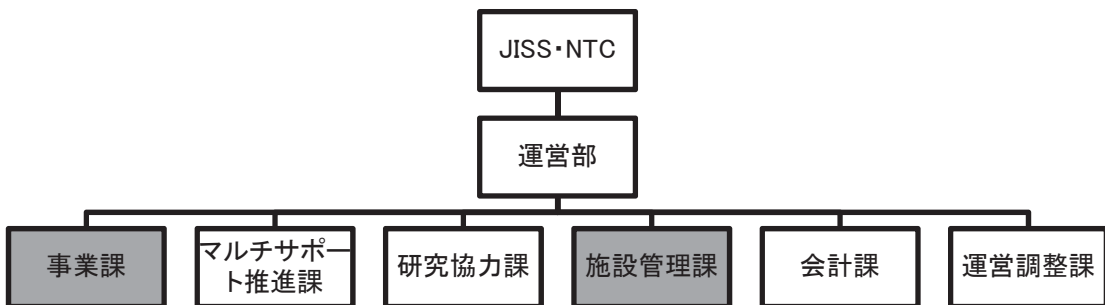
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの管理・運営業務			
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

(業務従事者に求められる知識・経験等)

(業務の繁閑の状況とその対応)

(注記事項)

1. 業務の全部を外部委託により実施
2. 監督部署については、以下のとおり(網掛部分)。



3 従来の実施に要した施設及び設備

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの管理運営業務

(使用施設・使用設備・備品)

別添2のとおり。

(注記事項)

上記の施設及び設備等については、業務を行う範囲において無償貸与とする。

4 従来の実施における目的の達成の程度

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの管理運営業務						
業務の不備に起因する施設の重大な支障(停電、断水、空調停止など)が発生しないこと	0回	0回	0回	0回	0回	0回
施設利用者に対するアンケートによる満足度調査	80%	95.7%	80%	97.1%	80%	97.6%

(注記事項)

※平成 23 年度の重大な支障の発生状況は、平成 23 年 10 月 1 日現在。

※アンケートによる満足度調査は各年度2回実施しており、平成 21 年度及び平成 22 年度は年間平均、平成 23 年度は 1 回分の結果。

5 従来の実施方法等

従来の実施方法(業務フロー図等)

- ・業務区分表は、別添3のとおり。
- ・委託業務一覧は、別添4のとおり。

(事業の目的を達成する観点から重視している事項)

施設の円滑な運営に資すること。

(注記事項)

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの管理運営業務の実施に要した経費内訳

(単位:千円)

経 費 内 訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度
【物件費】			
控え室の光熱水費	2,182	2,182	2,182
【委託費】			
1 運営業務	128,910	129,283	166,771
受付等業務	47,215	47,588	47,600
運営総合責任者	5,250	5,250	5,250
JISS総合案内・受付業務	8,094	8,094	8,116
リハビリテーション室受付業務	4,223	4,259	4,259
ビジターセンター説明・案内業務	799	1,065	1,065
屋外テニスコート受付業務	4,695	4,731	4,721
フットサルコート運営業務	5,538	5,555	5,538
戸田艇庫受付業務	4,523	4,523	4,536
NTC総合案内・受付業務	14,092	14,110	14,114
利用者アンケート調査(全受付)	0	0	0
宿泊施設運営業務	81,695	81,695	119,171
JISS宿泊施設運営業務	29,130	29,130	29,210
NTC宿泊施設運営業務	50,179	50,179	87,575
戸田艇庫合宿室運営業務	2,386	2,386	2,386
2 保守管理業務	258,415	257,822	282,965
園地整備業務	27,392	27,434	27,302
施設環境整備業務*	697	690	1,069
定期点検等及び保守業務	90,909	90,269	96,224
建築設備保守点検	315	315	378
空調自動制御設備保守点検	16,275	16,275	16,275
エレベーター保守点検	10,118	10,118	10,853
消防設備保守点検	9,660	9,660	10,290
直焚吸収冷温水機保守点検	6,153	6,153	6,153
空気熱源ヒートポンプユニット保守点検	1,995	1,995	1,995
構内電話交換機設備保守点検	2,100	2,100	2,100
受変電設備試験点検	13,125	13,125	14,595
ボイラー及び第一種圧力容器の性能検査に伴う点検整備	1,558	1,558	1,558
厨房除害施設保守点検	683	683	1,895
電動シャッター等保守点検	1,418	1,418	1,451
自動ドア保守点検	822	822	1,032
I T V設備保守点検	1,775	1,008	2,573
総合ビル管理システム保守点検	861	861	861
水処理装置保守点検	1,211	1,211	1,373
水冷スクリー冷却機保守点検	861	861	861
冷水器保守点検	315	315	315
業務用冷蔵庫及び製氷機保守点検	1,806	1,806	1,806
空調設備保守点検 (パッケージ形・ユニット形・ファンコイルユニット形・コンパクト形)	4,515	4,515	4,515
自家用非常用発電機設備の地下貯蔵タンク気密試験点検	0	126	0
自家用非常用発電機設備の試験点検	5,250	5,250	5,250
送風機保守点検	1,029	1,029	1,029
戸田艇庫自家用電気工作物の保安管理業務	284	284	284
真空式温水発生機保守点検	1,159	1,159	1,159

中央集塵装置保守点検	462	462	462
水泳場浄化装置保守点検	945	945	945
氷蓄熱槽保守点検	3,759	3,759	3,759
ターボ冷凍機保守点検	998	998	998
人工炭酸泉ろ過装置保守点検	567	567	567
ジャグジープールろ過装置保守点検	756	756	756
自動灌水装置保守点検	137	137	137
設備運転監視及び日常保守・点検業務	139,416	139,430	158,369
3 警備業務	135,155	135,155	148,113
常駐警備業務・巡回警備業務	135,155	135,155	148,113
4 清掃業務	91,682	91,797	92,789
日常清掃	90,982	90,982	91,107
サッカー場清掃*	700	815	1,682
5 環境衛生管理業務	11,611	12,166	15,354
各種環境測定	3,823	3,910	4,413
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃	3,292	3,493	4,176
害虫防駆除・消毒作業	1,617	1,617	1,743
クリーニング*	1,441	1,707	3,583
吸収令温水機及びボイラーばい煙等測定調査	1,439	1,439	1,439
小計	625,773	626,223	705,992
合計【物件費＋委託費】	625,773	626,223	705,992

(注記事項)

※表中「*」は単価契約を行う費目。

1. 経費の増減の要因

(1) 休業の状況

対象施設/休業の要因	休業期間等
JISS トレーニング施設の一部、研修室・会議室の一部及び宿泊室/施設改修工事	平成21年4月1日～平成21年6月30日(91日間)
サッカー場/芝生張り替え	平成21年5月18日～8月4日(79日間)

(2) 変更契約の状況

変更要因	金額の増減(単位:円)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
設備の新設による変更 ※H22年度は瑕疵担保期間による減	-	△ 766,500	-
保健所等の指摘による水質等点検箇所の変更等	-	288,750	-
アスリートビレッジの増築に伴う変更	-	-	76,575,739
合計	0	△ 477,750	76,575,739

2. フットサルコートの利用状況

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
施設利用時間(時間)	1,629	1,573	1,600
施設利用延べ人数(人)	11,869	13,539	12,000
収入実績(千円)	9,190	8,791	9,200

国立スポーツ科学センターの管理・運営業務の実施に要した設備・備品

使用場所	使用設備・備品	数量
警備室	パソコン	2
	モニター	2
	セキュリティ	1
	プリンター	1
	金庫	1
	電話	2
	PHS	4
	椅子	3
	非常用メガホン	1
警備宿直室	2段ベッド	1
	除湿器	1
	テレビ	1
	冷蔵庫	1
	電話	1
	机	2
	椅子	7
	ホワイトボード	1
警備控え室	机	4
	椅子	15
	キャビネット	1
	衝立	1
	ロッカー	17
	テレビ	1
	長椅子	6
	下駄箱	2
	レンジ	1
	冷蔵庫	1
	ホワイトボード	1
	中央監視室	テレビ
ノートパソコン		1
モニター		2
キャビネット		3
ロッカー6人用		1
2段ベッド		1
PHS		5
ホワイトボード		1
電話		2
書棚		1
机		2
椅子		7
		テレビ

中央監視・清掃控室	洗濯機	1
	乾燥機	1
	冷蔵庫	1
	ソファベッド	1
	ロッカー	18
	机	6
	椅子	19
	長椅子	5
	食器棚	1
	本棚	1
	下駄箱	2
	レンジ	1
	雑誌ラック	1
	キャビネット	1
	電話	1
	ノートPC	1
	PHS	2
	椅子	7
	サッカー場キーパー室	冷蔵庫
電子レンジ		1
洗濯機		1
乾燥機		1
事務机		1
椅子(肘付き)		3
長机		1
長椅子		2
椅子(肘なし)		0
ロッカー		11
下駄箱		1
テレビ		1
園地・屋外施設		乗用動力噴霧器
	小型耕運機	1
	バンカー均し機	1
	車両等整備用具	1
	パワーブロー	4
	手押し式ロータリーモア	2
	ヘッジトリマー	3
	チェーンマット	1
	リヤカー	2
	散水用具	1
	清掃用具	1
	コートローラー	1
	電気自動車	2
	刈払い機	5

	小型発電機	1
	チェンソー	1
	電気トリマー	5
	散布機	2
	除雪機	1
	高圧洗浄機	2
	コンプレッサー	1
Bクラブハウス	イス(肘付き)	2
	キャビネット	1
	給湯器	8
	書類棚	3
	洗濯機	1
	ソファ	6
	テーブル	11
	テレビ	1
	電気ポット	1
	電子レンジ	1
	長椅子	4
	パソコン	1
	プリンター	1
	ラミネーター	1
	冷蔵庫	1
宿泊フロント・清掃控室	ロッカー	2
	内線電話	1
	テーブル	2
	長椅子	1
	椅子	10
	事務机	3
	パソコン	1
	ロッカー	9
プリンター	1	
	コピー機	1
	長イス	3
	ファックス	1
	プリンター	1
	冷蔵庫	2
	テレビ	1
	パソコン	1
	モニター	1
	電話	1
	スチールケース	1
	2段式ケース	1
	ロッカー	3
スチール食器棚	2	

戸田艇庫・合宿室	机	4
	金庫	1
	テーブル	1
	イス	4
	袖机	2
	スチール棚	2
	二段ベッド	1
	書棚2段	2
	書棚平段	2
	ホワイトボード	3
	電子レンジ	1
	キャスター付きイス	3
	傘立て	1

ナショナルトレーニングセンター屋内トレーニング施設

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量	
中央監視室	事務机	5	
	袖机	5	
	椅子	7	
	テーブル	1	
	モニター	1	
	デスクトップパソコン	5	
	複合機	1	
	電話	1	
	ラック	8	
	ロッカー(3連)	2	
	ゴミ箱	1	
	業者控室	金庫	1
		袖机	1
椅子		12	
テーブル		3	
ベッド		2	
テレビ		1	
テレビ台		1	
壁面ラック		3	
ロッカー(3連)		5	
冷蔵庫		1	
パーテーション		1	
流し		1	
ゴミ箱		2	
女子更衣室		ロッカー(3連)	3
	椅子	4	
	袖机	2	
	キャビネット	2	

1階受付	電話	2
	デスクトップパソコン	1
	モニター	1
	キーボックス	1
	ゴミ箱	2
	時計	1
	ペン立て	1
エントランス受付	椅子	2
	時計	1
	袖机	1
	デスクトップパソコン	1
	電話	1
	ゴミ箱	1
	PHS	1

ナショナルトレーニングセンター宿泊施設

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量
ホテルフロント	折り畳みテーブル	1
	椅子	5
	モニター	1
	デスクトップパソコン	2
	複合機	1
	ホテルシステムパソコン	1
	ルームインジケーター	2
	電話	2
	ワゴン	1
事務室	机	5
	椅子	5
	袖机	4
	壁面ラック	4
	冷蔵庫	1
	レンジ	1
	ポット	1
	流し	1
	机	1
	ゴミ箱	6
	椅子	1
	プリンター	1
	デスクトップパソコン	3
	JISS情報端末	1
男子ロッカー室	ロッカー(3連)	12
	ベンチ	2
	スノコ	1
	洗面台	1

女子ロッカー室	ロッカー(3連×2段)	11
	ベンチ	2
	スノコ	5
	パイプコート掛け	1
	洗面台	1
業者控室	テーブル	1
	椅子	2
	ソファ	1
	机	1
	ベッド	1
	ホワイトボード	1
	冷蔵庫	1
	電話	1
	ゴミ箱	1
	時計	1
	休養室	テーブル
電話		1
ゴミ箱		1
警備室	椅子	1
	デスクトップパソコン	2
	壁面ラック	2
	電話	1
	ゴミ箱	1

ナショナルトレーニングセンター陸上トレーニング場

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量
管理室	PHS	3
	コピー機(下記複合機と同一)	1
	時計	1
	ノートPC	1
	複合機	1
	机	3
	椅子	3
	電話	1
	テーブル	1
	折り畳み椅子	4
	ロッカー(4連)	1
	壁面ラック	2
	ゴミ箱	2
	流し	1
	控室	デスク
OAテーブル		2
チェア		14
コルクボード		2

	ホワイトボード	2
	分別ペール(オープン式)	2
	分別ペール(丸プッシュ式)	2
ロッカー室	ロッカー6人用	9

業務区分	現契約		次期契約	
	NAASH	包括委託	NAASH	包括委託
業務の管理・指導監督	●		●	
トップレベル競技者を支援するための研究・支援に関する業務	●		●	
イベント等の進行管理に係る大会主催者等への指導・助言	●		●	
利用料金・利用方法の決定	●		●※1	
運営業務				
受付等業務(有料事業運営業務を含む。)		○		○
宿泊施設運営業務	※2	○	※2	○
保守管理業務				
園地整備業務		○		○
施設内器具等整備業務		○		○
定期点検等及び保守業務(31設備)		○		○
設備運転監視及び日常保守・点検業務		○		○
警備業務				
常駐警備業務・巡回警備業務		○		○
清掃業務				
日常清掃		○		○
サッカー場清掃		○		○
環境衛生管理業務				
各種環境測定		○		○
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃		○		○
害虫防駆除・消毒作業		○		○
クリーニング		○		○
吸収令温水機及びボイラーばい煙等測定調査		○		○

※1: 有料事業運営業務の中で利用者から徴収する利用料金は、NAASHと民間事業者の協議の上、設定、変更できるものとする。

※2: JISS(一部)・NTC宿泊施設の利用受付・調整はJOCが実施

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター 委託業務一覧

業務区分	業務内容
1 運営業務	
受付等業務	本施設の来訪者及び施設宿泊者を対象とした、受付等の業務を行う。来訪者及び施設宿泊者の要望に応じて速やかに対応する。また、フットサルコートでの運営業務を行う。
宿泊施設運営業務	宿泊施設の運営・管理業務を円滑に行うことを目的とし、施設内の適正な利用、秩序の維持、火災、盗難予防・取締り及び警戒に当たる。
2 保守管理業務	
園地整備業務	テニスコート、サッカー場、フットサルコート・更衣室、陸上トレーニング場、屋内テニスコート、宿泊施設の園地の清掃・整備及び国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンター各施設及び戸田艇庫・合宿室の周辺の園地整備並びに園地の維持管理を適切に実施する。
施設環境整備業務	施設内の器具等の整備を行う。
定期点検等及び保守業務(31設備)	施設内外の建築設備について、安全かつ効率的な施設を提供するために定期的な点検と保守を行う。また、電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。
設備運転監視及び日常保守・点検業務	各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等、その他建築等諸設備の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。
3 警備業務	
常駐警備業務・巡回警備業務	施設内外の常駐警備及び巡回警備を行う。 戸田艇庫・合宿室には、消防法に基づく防火管理者資格を有する者を配置し、消防法令に定められた防火対象物の防火上の管理も併せて行う。
4 清掃業務	
日常・定期清掃	施設内外の床、床以外及び窓の清掃並びにごみの収集及び分別運搬の業務を行う。
サッカー場清掃	JISS屋外施設のサッカー場について、大会日のサッカー場事務棟、スタンド及びスタンド便所の事前清掃と事後清掃及び大会以外にはサッカー場事務棟諸室の清掃を行う。
5 環境衛生管理業務	
各種環境測定	対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく環境測定及び諸室の環境細則測定を行う。
受水槽・高置水槽・汚水槽等清掃	受水槽、高置水槽、汚水槽等について、清掃を行う。
害虫防駆除・消毒作業	害虫防駆除及び消毒作業を行う。
クリーニング	JISSスポーツクリニック、栄養指導食堂、喫茶室、宿泊室(リネン類除く。)、NTC宿泊施設(リネン類除く)及び戸田艇庫・合宿室で発生する洗濯物について、クリーニングを行うものである。
吸収令温水機及びボイラーばい煙等測定調査	大気汚染防止法の定めるところにより、ばい煙発生施設の排ガス流量等及び窒素酸化物濃度、ばいじん濃度等の測定を行う。

様式 1 - 1

<p>1. 1 業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制</p> <p>■業務全体の管理方法及び業務分類毎の実施体制を計3枚以内で記載すること。</p> <p>■【別紙4】「総合評価に係る評価表」の、「1 必須項目審査 1.1 業務全体の管理方法及び業務毎の実施体制」の評価項目毎に、記載すること</p>

※必要とされる資格を証明する書類の写しを添付のこと。

※必要とされる資格は、入札企業あるいは入札参加グループのうち、当該業務を実施する者が所持することとし、再委託先の企業は認めない。

様式 1 - 2

1. 2 緊急時の体制及び対応方法

■緊急時（管理・運營業務の実施にあたり想定していた通りの業務実施が困難になる事故・事象が生じた場合）のバックアップ体制と対応方法を記載すること。

様式 1 - 3

1. 3 業務計画書

■下記の業務分類毎に、業務実施計画（業務実施内容の概要）を計5枚以内で記載すること。

1. 運営業務

2. 保守管理業務

3. 警備業務

4. 清掃業務

5. 環境衛生管理業務

様式 2 - 1

2. 1 業務実績			
■【別紙 5】「総合評価に係る評価表」の、「2 加点項目審査 2.1 業務実績」の評価項目毎に、過去 10 年間の実績を記載すること			
(1) ##業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
(2) ##業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
(3) ##業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
(4) ##業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
(5) ##業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等

※必要に応じ、行を追加すること。

※過去 10 年間の代表的な実績を記載すること。なお、実績については、契約に係る書類のコピー等、実績を証明する書類を添付すること。

2. 2 本業務実施の考え方

■業務を適切に実施するための基本的な方針、業務全般において特に重視するポイント等を1枚以内で記載すること。

2. 3 管理・運營業務の実施全般に対する継続した質の改善に関する提案

■以下の項目について、計 3 枚以内で簡潔にまとめること。なお、必要に応じ、保守管理業務、警備業務、清掃業務、環境衛生管理等、本実施要項で示す業務分類毎に提案書を作成（1 枚以内）することができる。

1. 企業組織としての運営体制全般
2. 現場における管理・自主検査体制
3. 業務従事者の採用・教育体制

様式 2-4-1

2. 4 要求水準書の内容に対する提案（総括表）			
■NAASH が提示した要求水準書の内容に対し、改善提案を行う項目について、改善を行う業務の項目と提案の概略を整理すること。			
(1) 運営業務		提案の有無	有 無
業務項目 ※既存の要求水準書書類に定める項目を明記	提案の概略		
(2) 保守管理業務		提案の有無	有 無
業務項目 ※既存の要求水準書書類に定める項目を明記	提案の概略		
(3) 警備業務		提案の有無	有 無
(4) 清掃業務		提案の有無	有 無
(5) 環境衛生管理等業務		提案の有無	有 無

※表の枠が不足する場合は適宜追加すること。

様式 2-4-2

2. 4 要求水準書の内容に対する提案（個別業務）

■様式 2-4-1 で記載する提案内容について、提案を行った（1）～（5）の業務ごとに、下記の事項の詳細を計 10 枚以内でまとめること。

1. 提案を行う業務及び項目
2. 提案の趣旨
3. 提案の内容（改善前・後の状況を明確にすること）
4. サービスの質の確保に対する説明

■記載にあたっては、【別紙 5】「総合評価に係る評価表」の「2 加点項目審査 2.4 要求水準書の内容に対する提案」に示す評価項目に該当する内容を明示的に示すこと。

国立霞ヶ丘競技場 管理・運營業務

要求水準書（案）

独立行政法人日本スポーツ振興センター

目次

1. 総則	1
1.1. 本書の位置付け	1
1.2. 業務概要	1
1.3. 費用分担	5
2. 運營業務	7
2.1. 窓口・受付・巡回業務	8
2.2. トレーニングセンター指導業務	14
3. 保守管理業務	16
3.1. 園地整備業務	18
3.2. 施設環境整備業務	20
3.3. 有料駐車場管理業務	21
3.4. 定期点検等及び保守業務	23
3.5. 設備運転監視及び日常保守・点検業務	24
4. 警備業務	29
5. 清掃業務	33
6. 環境衛生管理業務	36
6.1. 各種環境測定	37
6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務	38
6.3. 害虫防駆除及び消毒作業	39
6.4. 空調用エアフィルター定期清掃	41
6.5. 体育館床用モップ交換作業	42

1. 総則

1.1. 本書の位置付け

本要求水準書は、国立霞ヶ丘競技場の管理・運営にかかる業務内容を示したものである。

1.2. 業務概要

(1) 業務名

国立霞ヶ丘競技場管理・運營業務一式

(2) 対象施設

独立行政法人日本スポーツ振興センター

国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	東京都新宿区霞ヶ丘町10番2号
国立霞ヶ丘競技場ラグビー場	東京都港区北青山二丁目8番35号
国立霞ヶ丘競技場東テニス場	東京都港区北青山二丁目8番37号
国立霞ヶ丘競技場西テニス場	東京都新宿区霞ヶ丘町4番1号
本部事務所	東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号

(3) 営業日・営業時間

施設	業務実施日	定休日	施設貸出時間	
屋内水泳場	営業日	第2第4火曜日 12月28日～ 1月4日	9:45～21:00	
体育館			8:45～21:15	
東・西テニス場			4月: 9:00～18:30 5月: 9:00～19:00 6月1日～8月15日: 9:00～19:30 8月16日～8月31日: 9:00～19:00 9月: 9:00～18:30 10月: 9:00～17:30 11月～1月: 9:00～17:00 2月: 9:00～17:30 3月: 9:00～18:00	
			スポーツ博物館	9:30～16:30
			トレーニングセンター	平日: 13:00～21:30 土曜: 10:00～20:00 日常: 10:00～18:30
事業課窓口	営業日	12月28日～ 1月4日	平日: 9:00～19:30 土曜: 9:00～19:30 日祝: 9:00～17:00 第2・4火曜日: 9:00～16:00	

・ 定休日以外に、センターが定める休日、及び大規模大会日等休日とする場合がある。

(4) 対象業務

本要求水準書の対象業務は、以下のとおりである。

運營業務	窓口・受付・巡回業務
	トレーニングセンター指導業務
保守管理業務	園地整備業務
	施設環境整備業務
	有料駐車場管理業務
	定期点検等及び保守業務
	設備運転監視及び日常保守点検業務
警備業務	警備業務
清掃業務	清掃業務
環境衛生管理業務	各種環境測定
	受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務
	害虫防駆除・消毒作業
	空調用エアフィルター定期清掃
	体育館床モップ交換作業

(5) 共通仕様書の適用

本要求水準書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築保全業務共通仕様書（平成20年版）」を適用する。その際、「監督員」を、本業務の監督職員である独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「NAASH」という。）の監督職員と読み替えるものとする。

(6) 提出書類

次の書類を作成し、定められた期日までに監督職員に提出する。

提出書類	内容	提出期日
業務計画書	業務実施時期及び方法、実施体制など	当該年度開始 30 日前まで（委託期間の開始日を含む年度は委託期間の開始日の 14 日前まで）
緊急対応連絡表		業務開始前まで
防災マニュアル		協議の上、業務開始後 1 か月以内まで
警備計画書		業務開始前まで
作業報告書	日報（日計表、警備日誌を含む）	翌日の 10 時まで
	月報	翌月の 5 日まで
	年報	4 月 10 日まで

なお、作業報告書として以下の書類を整備し、常時閲覧が可能なように保管を行う。

業務項目	記録書類
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画・報告書類 ・ 業務日誌 ・ 監督職員との打合せ記録簿
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付名簿
保守管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンテナンス用台帳類

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故・修繕・更新記録等 ・ 電気・機械設備点検記録 ・ 運転記録簿 ・ 計測記録簿 ・ 点検記録簿
警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備日誌 ・ 鍵授受簿 ・ 拾得物台帳 ・ 遺失物届出書 ・ 自主点検チェック票（火気、避難障害・閉鎖障害）

(7) 自己モニタリングの実施

自己モニタリングの方法をまとめた自己モニタリング計画書（日次、定期、臨時）を、契約締結後1ヶ月以内に監督職員に提出する。また、その内容に変更のある場合は、変更点を速やかに監督職員に報告する。

(8) 収入金の入金

本業務における利用者等からの収入金は、日計表にまとめるとともに、翌朝9時までにNAASHへ入金する。

(9) 業務責任者及び法定資格者等の選任

- ・ 業務の実施に先立ち、総合責任者及び別紙1-1のとおり対象業務別に業務責任者を選任し、書面をもって監督職員に通知する。業務責任者に変更があった場合も同様とする。
- ・ 総合責任者は施設に常駐するものとし、不在の場合における代理人を定める。
- ・ 別紙1-2のとおり、業務実施上必要な法定資格者等を選任し、必要な業務を行う。

(10) 実施体制の構築

- ・ 業務の実施に際して、法的に必要な資格を有する人員、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を配置し、適切な業務実施体制を構築する。

(11) 緊急時の措置

- ・ 災害、設備の異常及び施設営業に対する支障等の緊急事態に対する連絡体制、対応方法について、監督職員とあらかじめ協議して定めておく。
- ・ 緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるものとする。この場合は、直ちに監督職員に報告する。
- ・ 緊急時の措置に要する費用の負担は、監督職員との協議による。

(12) 環境への配慮

- ・ 国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律（グリーン購入法）（平成12年法律第100号）に基づき、環境負荷の低減に努める。
- ・ その他、節水・節電等、光熱給水の低減に努める。

(13) その他の一般共通事項

- ・ 本要求水準書及び共通仕様書に定めがない事項及び業務が困難な部分等の対応については、事前に監督職員と協議する。
- ・ 業務計画の作成及び業務の実施は、施設運営及び施設において開催される行事に関する事項を十分把握し、その支障とならないように行う。
- ・ 官公署の検査がある場合は、NAASHの指示により立会い等に協力する。
- ・ 施設において開催される行事の打合せに参画し、監督職員の監督下において、行事主催者等との調整を図り、円滑に業務を実施する。
- ・ 業務の実施に当たっては、各業務で使用する控室等諸室及び業務の実施場所の清掃、整理整頓及び周辺環境整備に努める。
- ・ 各施設・各機器の安全な運用を確保するための改修、並びに工事が必要と認める時は速やかに意見を付してNAASHに報告し、その指示を受ける。
- ・ 本業務における現金及び過不足金等の取扱いについては、以下のとおりとする。
 - ✓ 釣銭は、民間事業者の責任において準備し、これを保管する。
 - ✓ 売上金に不足を生じた場合、不足金は民間事業者が負担する。
 - ✓ 売上金に過剰金が生じる場合は、NAASHに納める。
- ・ 一時保管してから3ヶ月が経過した拾得物を処分する必要がある場合には、別紙1-3に記載の上、監督職員に廃棄処分リストとともに提出する。
- ・ 民間事業者は、業務担当者に対し、身分を証する名札等を着用させる。

1.3. 費用分担

各業務におけるNAASH及び民間事業者の費用負担は以下の通り。

区分		NAASH負担	民間事業者負担
運営 業務	窓口・ 受付・ 巡回業 務	玄関用足拭きマット・更衣室用足拭き マット、コースロープ 等営業備品 プール水槽清掃用クリーナー 足洗槽及び循環水配管滅菌消毒用薬 剤、水質検査用薬剤、応急用医薬品	手提げ金庫 更衣室用足拭きマットの洗 濯・乾燥・収納
	体育館業務	玄関用足拭きマット・更衣室用足拭き マット、見学用スリッパ 冷水器、応急用医薬品	手提げ金庫 更衣室用足拭きマットの洗 濯・乾燥・収納
	東西テニス場 業務	東テニス場：外線電話、パソコン、コ ピー複合機(複写・プリント・ファク ス)、レジスター 東西テニス場：玄関用足拭きマット シャワーカーテン 応急用医薬品	手提げ金庫
	スポーツ博物 館業務	該当なし	手提げ金庫
	事業課窓口業 務	外線電話、パソコン、コピー複合機(複 写・プリント・ファクス)、レジスタ ー、その他業務遂行に必要なもの	手提げ金庫
	アンケート調 査の実施	アンケート用紙投入箱	アンケートの実施にかかる費 用
	トレーニングセンター 業務	利用者管理システム 各所出入り口用足拭きマット・サウナ 用足拭きマット、磁気カード、体脂肪 ロール紙、見学バッジ、リストバンド カラーコーン、扇風機、ドライヤー 御意見箱 浴槽及び循環水配管滅菌消毒用薬剤、 水質検査用薬剤、応急用医薬品	手提げ金庫 トレーニング器具用汗拭きタ オル及び雑巾等・トレーニン グ器具用整備用品(工具・整 備用潤滑油等) 教室で使用する手具・器具類 音楽メディア
保守 管理 業務	園地整備業務	薬剤(除草・殺虫剤)	業務で要する機械・器具類 機器の燃料及び整備費
	施設環境整備業務	テニスネット、芝養生シート、内圏縁 石、アンツーカー、目土	テニスコート整備用品等、業 務遂行に要するもの
保守 管理 業務	有料駐車場管理業務	有料駐車場自動料金精算システム 機器予備部品(停止バー) カラーコーン	手提げ金庫、連絡用携帯電話、 駐車券、集計用ロール紙、パ スカードなど営業消耗品一式

	設備運転監視及び日常保守点検業務	外線電話（1回線） パソコン（2台）・コピー複合機（複写・プリント・ファクス）（1台） 電気・機械設備維持管理用消耗品（ランプ類（照明用ランプ、表示灯等）・ヒューズ類・パッキン類・乾電池類・塗料・油類（潤滑油、グリス、充填油等）） プール水清澄促進剤・滅菌消毒用薬剤 ・水質検査用薬剤・水質維持用薬剤・排水管洗浄剤	工具類、計測・測定用機器・機材、その他業務遂行に要するもの 次亜塩素酸ソーダ
	定期点検等及び保守業務	軽微な不良箇所の復旧を除く修理及び修繕（要求水準書で別に定めるものを除く。）	・軽微な不良箇所の復旧 ・要求水準書に定期交換を記載されている消耗品
警備業務	警備業務	業務用監視モニター設備、各所鍵、消防用監視設備	警備員用制服、装備品、護身用具、寝具類
清掃業務	清掃業務	日常清掃・大会清掃等で補充が必要なトイレトペーパー、ゴミ収集袋 ごみ箱、汚物入れ、スタンド式灰皿	大会業務で使用する防臭剤、石鹼水、石鹼 業務で要する機材・消耗品（掃除機、ポリッシャー、プロアー、ごみ運搬車、作業着、軍手、箒、雑巾等）
環境衛生管理等業務	環境衛生管理等業務	該当なし	検査試薬・害虫防駆除剤
共通	控室等	下記の業務用控室を無償提供する。 ①民間事業者②清掃	退去時の現状復帰費用
	備品	内線電話 AED 営業用備品類（男女更衣室ロッカー、ベンチ、ドライヤー等） 民間事業者控室・受付等の既存備品（机、椅子、ロッカー等） 洗濯機（タオル・足ふきマット等用）	民間事業者控室等通常業務で要するものすべて（机、椅子、パソコン、プリンター、ソファ、従業員用ロッカー、複写機、洗濯機、外線電話等） N A A S Hが設備するもの以外に必要な什器、設備類
	事務用品	なし	業務遂行に要する事務用品
	消耗品	各現場に必要なランプ類・乾電池等電気消耗品 レジ用ロール紙 N A A S Hが用意したコピー機で使用する 用紙・消耗品	民間事業者控室で必要とするコピー、ファックス用紙、業務に必要なユニホーム等業務遂行に要する消耗品
	光熱水費等	業務で使用する光熱水費、各種燃料費	民間事業者控室等で使用する光熱水費 民間事業者控室等で発生した廃棄物処理費

2. 運營業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 業務の遂行に際しては、細心の注意を持って館内の安全・秩序を維持する。
- 業務の実施に当たっては、利用者に不快感を与えないように、統一した清潔な服装を着用し、丁寧でわかりやすい説明を行うなどの接客サービスを維持する。
- 受付において、利用者を待たせることなく速やかに対応する。
- 他の業務との連絡調整を適切に行い、本業務の範囲内において利用者からの要求に対して速やかに対応する。
- 対象業務以外の内容については、速やかに監督職員に報告する。
- 利用申込前に当たっては、大会等の都合を確認の上、日程が重複することがないようにする。
- 利用団体の希望日時等が重なった場合の調整において、公平性を保つ。
- 各施設の利用予定は、営業前に事業課で確認するなどにより、間違いがないようにする。
- 利用者からの料金徴収において間違いがないように正確に管理及び記録する。
- 業務環境を常に清潔かつ整理整頓された状態に保つ。
- 指導員は参加者の健康状態を確認し、体調の悪い利用者には参加を見合わせるよう勧める。また、ウォーミングアップ、クーリングダウンを十分時間をかけて行い、事故の防止に努める。
- トレーニングセンターにおける売店営業内容は、施設設置目的に合致し、利用者の利便性に資するものとする。
- 利用者アンケートの標本数は、各施設100人程度とする。

2.1. 窓口・受付・巡回業務

1) 業務概要

各施設の受付業務及び館内の巡回業務を行うものとし、利用者への適切な案内業務、避難誘導等の安全確保、日常清掃等を通じて、サービスの向上及び衛生管理に努める。

施設利用に係る受付及び事務処理等の業務を行う。

(1) 業務実施場所

業務実施場所は、各施設受付及びその施設内とする。

(2) 利用概要（東・西テニス場）

利用概要	利用形態	受付期間
年間利用者	年間利用（12か月、全日利用者・平日利用者・貸ロッカー制度。）	随時
同伴ビジター	半日利用（年間利用者と一緒に利用）	電話予約
貸しコート	1コマ1～2時間単位（面単位で貸出し）	電話予約
スクール利用	定期的に一定時間・曜日を利用	利用日の3ヶ月前 申込み
施設利用	会議室・撮影	随時

(3) 付帯事業と納付金の扱い

民間事業者は、トレーニングセンター業務に付随した範囲内において、自ら料金を設定して売店を営業するものとする。売店売上収入は、民間事業者に帰属するものとし、当該収入の10%を、NAASHに納入するものとする。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	業務内容	NAASH	民間事業者
(1) 室内水泳場業務	利用申込の受付	△承諾	○
	受付業務	△指示	○
	巡回業務		○
(2) 体育館業務	利用申込の受付	△承諾	○
	受付		○
(3) 東・西テニス場業務	利用申込の受付・入金業務		○
	受付業務	△指示	○
	巡回業務		○
(4) スポーツ博物館業務			○
(5) 事業課窓口業務			○
(6) トレーニングセンター業務	受付業務		○
	巡回業務		○
	管理業務		○
(7) 利用者アンケート調査		△確認	○

3) 業務内容

(1) 室内水泳場業務

利用申込の受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAASHが用意する申込表に基づき、年2回上半期（4月～9月分）、及び下半期（10月～3月分）の予定について、国立競技場利用規程及び日程調整基準に従い、利用団体（団体基準を満たすもの。）からの仮申込を受け付け、日程調整を行う。 ・ 日程調整の後、日程表を確定し、監督職員の承諾を得る。 ・ 半期分の予定が確定した後、空いている日程について、随時利用希望団体から追加申込を受け付ける。 ・ 本申込をする団体から利用料の徴収を行う。また、本申込み後のキャンセル及び支払い手続きの遅延等により、延滞金及び返還金が生じた場合には、国立競技場利用規程に基づき、速やかに手続を行う。 	
受付業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な諸室の鍵を警備室から受け取り、開場準備を行う。 ・ 採暖槽及び足洗槽の準備を行う。 ・ 予定表ボードに1週間分の利用日程を記入する。当日の日程変更の有無を事業課にて確認し、変更があれば予定表ボードに記入する。 ・ 更衣室用足拭きマットを交換・洗濯する。 ・ 水中クリーナーをプールから取り出し所定の場所に置き、集塵袋を清掃する。
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の入場から完全退場まで、受付に常駐し、無断入場や不審者の侵入がないように十分監視をする。 ・ 団体利用者の入退場の確認を行い、団体利用報告書を作成する。 ・ 団体利用の責任者には、団体利用報告書に必要事項を記入してもらう。 ・ 利用者が鍵の紛失により更衣室ロッカーの開錠を申し出た場合は、適宜対応する。 ・ 予定表ボードに室温、水温及び残留塩素を記入する。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場内を点検し施錠を行う。 ・ 採暖槽及び足洗槽の排水・ポンプ停止・集毛器の清掃を行う。 ・ 毎週1回、採暖槽循環水配管の消毒をする。 ・ 更衣室ロッカーを全て調べ、荷物がある場合は忘れ物と同様の処置をする。 ・ 団体利用報告書を事業課と警備室に提出する。 ・ 水中クリーナーをプール水槽内に入れ、運転タイマーをセットする。 ・ 売上金及び釣銭を確認の上、手提げ金庫に収納する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫については、民間事業者側にて管理する。 	
巡回業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業中各団体の入れ替わりごとに、施設内外について巡回業務を行い、清掃及び備品整理を行う。 <p>巡回時の主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空きロッカー、窓等のガラス及びスノコの清掃 ・ 浴槽、シャワー、足洗槽の節水及び床面清掃 ・ 清掃及び備品整理並びにゴミ及び紙くずの処理 ・ 足拭きマットの清掃、更衣室用足拭きマットの交換・洗濯。 ・ 採暖槽の給湯量の確認及び調整 ・ 採暖槽薬注ポンプの空気抜き、作動確認、薬液量の測定並びに薬液タンク内の量の確認及び補充 ・ 男女採暖槽の塩素濃度、濾過器圧力及び温度の計測並びに目視点検 ・ 足洗槽の塩素濃度を50mg/ℓ～100mg/ℓの基準値内に保つ。 ・ ロッカー内外部、スノコの清掃を適時行う。 <p>上記の巡回状況を日誌に記録する。</p>	

(2) 体育館業務

利用申込の受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAASHが用意する申込表に基づき、年2回上半期（4月～9月分）、及び下半期（10月～3月分）の予定について、国立競技場利用規程及び日程調整基準に従い、利用団体（団体基準を満たすもの。）からの仮申込を受け付け、日程調整を行う。 ・ 日程調整の後、日程表を確定し、監督職員の承諾を得る。 ・ 半期分の予定が確定した後、空いている日程について、随時利用希望団体から追加申込を受け付ける。 ・ 本申込をする団体から利用料の徴収を行うこと。また、本申込み後のキャンセル及び支払い手続きの遅延等により、延滞金及び返還金が生じた場合には、国立競技場利用規程に基づき、速やかに手続を行う。 	
受付業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な鍵を警備室から受け取り、各施設の開錠及び開場準備を行う。 ・ 受付及びロビーの清掃をする。 ・ 予定表ボードに当日の利用日程を記入する。 ・ 足拭きマットの清掃、更衣室用足拭きマットの交換・洗濯。
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体利用の入退場の確認を行い、団体利用報告書を作成する。 ・ ロッカーの点検をし、鍵等の破損については、監督職員に報告する。また、未施錠で利用している者を発見した場合は、今後の施錠を徹底させる。 ・ 利用者が鍵の紛失により更衣室ロッカーの開錠を申し出た場合は、適宜対応する。 ・ 利用者の退場後、更衣室及びシャワー室を点検・清掃する。 ・ 足拭きマットの清掃、更衣室用足拭きマットの交換・洗濯。 ・ 器具の利用状況を点検し、不正利用があれば注意する。また、器具庫内を整理整頓する。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場内を点検し、機器の電源を切り施錠を行う。 ・ 利用者の退場を確認後、更衣室内のロッカーを点検し、荷物がある場合は、忘れ物と同様の処置をする。 ・ 団体利用報告書を事業課と警備室に提出する。 ・ 売上金及び釣銭を確認の上、手提げ金庫に収納する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫については、民間事業者側にて管理する。 	

(3) 東・西テニス場業務

利用申込の受付・入金業務	年間利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規及び継続受付の場合、利用者に申込書への記入依頼をし、利用料を払込用紙に記載して配布する。 ・ 後日払込通知書を持参した利用者に、利用者証を発行する。
	同伴ビジター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間利用者と同時に入場できる利用者の受付の場合、事前に電話予約にて受け付けを行い、1日につき午前午後10名ずつの申込みをもって終了する。 ・ 国立競技場利用規程に基づき、所定の利用料金を当日窓口にて徴収する。
	貸しコート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時間内において、毎週金曜日は14時から翌週分を、毎月最終土曜日については翌月分のコート予約を、1時間ごとで電話にて受け付ける。 ・ 国立競技場利用規程に基づき、所定の利用料金を当日窓口にて徴収する。 ・ 利用対象は中学生以上とし、保護者と同伴の場合に限り小学5・6年生も利用できるため、案内に注意する。

	スクール利用	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に一定時間、若しくは曜日を限定して利用したい団体を対象に、申込みを受け付ける。申込みは利用月の6か月前からとする。 国立競技場利用規程に基づき、所定の利用料金を月末に利用した日の確認表を、利用団体に確認し、振込依頼票の送付等を行う。利用料金は、振込依頼票を持参された利用者が窓口にて支払う場合には、内容を確認後徴収する。
	施設利用	<ul style="list-style-type: none"> ラグビー場クラブハウス内の会議室の申込受付及び入金業務を行う。 事業課にて連絡を受けた撮影の件について、日程を受け、当日窓口にて撮影料金の入金手続を行う。利用日に際しては、ムービー撮影、若しくはスチール撮影かの有無、利用範囲を確認しておく。 利用料金の入金後、必要な鍵の貸し出しを行う。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 専用ロッカーの利用申込受付を行う。
受付業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> 必要な鍵を警備室から受け取り、各施設の開錠及び点検を行い、開場及び受付の準備をする。 利用者が開場を待っている場合は、ロビー内への誘導等を適切に対応する。
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者から利用者証を預かり、受付簿に氏名等必要事項を記入させる。 同伴ビジターは、受付簿に氏名等必要事項を記入させ、利用者バッジを渡し、退場時に回収する。また、プレー中はバッジを身に付けておくよう、利用者に周知する。 利用者が鍵の紛失又は暗証番号を忘れたことにより、更衣室ロッカーの開錠を申し出た場合は、適宜対応する。 テニス場利用についての各種案内・お知らせ等の作成及びラグビー開催行事の総合案内を行う。不明な点は監督職員に問い合わせ、指示を受ける。 東テニス場受付においては、撮影の申請受付を事前に行い、内容や実施の有無については監督職員が申請書の日程等を確認し、利用団体に許可する。また撮影日当日は、利用団体から当日入金等申込受付を行い、必要な鍵の貸出等を行う。 ラグビー大会時には、ラグビー場関係の鍵を管理する。 更衣室ロッカーを点検し、鍵等の破損については、事業課に報告する。未施錠で利用している者を発見した場合は、今後の施錠を徹底させる。 テニスコート利用についてのお知らせ及び注意事項等を、テープ等で放送する。 年間利用者、同伴ビジター、貸しコート利用、会議室、撮影関係書類等の作成及び保管管理を行う。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> 施設を点検し、施錠を確認して警備室に返却する。 更衣室ロッカーを調べ、荷物がある場合は忘れ物と同様の処置をする。 西テニス場の営業終了後は、NAASHが定める日計表を作成し、売上金とともに監督職員に届ける。また、東テニス場についても同様の手続を行う。
巡回業務		<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の巡回は、営業日の8:30、12:00、15:30に行い、異常がある場合は監督職員に報告する。 備品整理及び更衣室内の清掃を行う。 以下の箇所を巡回すること。 (東コート更衣室/男女)、(東コート/1~7番)、(人工芝コート)、(西コート)

(4) スポーツ博物館業務

営業前	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ博物館事務所（以下「事務所」という。）にて、鍵、入場券等を受け取り、博物館入口、便所、見学者用の回廊２６番ゲートの開錠をし、照明・空調等の電源を入れ、開館準備をする。 ・ 施設見学は、行事等により中止する場合があるため、監督職員に確認する。
営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 券売業務及び記念品販売業務を行う。 ・ 適時巡回し、展示ケースの点検、清掃及び備品整理並びにゴミ等の処理を行う。 ・ 雑誌等の梱包作業等を行う。
営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ N A A S Hが定める売上表を作成し、売上金とともに事務所に届ける。 ・ 各施設を点検し、照明等の電源を切り、施錠し、鍵を事務所に返却する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫については、民間事業者側にて管理する。

(5) 事業課窓口業務

営業前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出勤後直ちに事務所の開場準備をする。 ・ 現金をレジスターにセットし、つり銭の確認等を行い、受付準備をする。
営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場内営業施設の案内や行事における総合案内を行うとともに、電話での問合せ業務を行う。なお、総合案内において必要な情報については、事前に確認する。 ・ 会議室、陸上競技場等の団体利用申込手続及び陸上競技場内会議室の入金受付等を行う。 ・ スポーツ振興くじ（t o t o）販売中は、受付、案内等販売業務及び払い出し業務を行う。 ・ 必要に応じて場内放送を行う。 ・ 工事や作業で出入りする関係者に対し、駐車券の発行及び腕章の貸出を行う。 ・ 平日・土曜は１９時３０分まで、日曜祝日は１７時００分まで、又定休日については１６時００分に窓口を閉め、売上金及びつり銭の確認を行う。
営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジスターの金銭を回収し、売上金及びつり銭を確認の上、手提げ金庫に収納する。 ・ 窓口業務事務所の点検及び施錠を行う。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫については、民間事業者側にて管理する。

(6) トレーニングセンター業務

受付業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な鍵を警備室から受け取り、各施設の開錠及び点検を行い、開場準備を行う。 ・ 男女浴槽、サウナ室、ジャグジーの準備を行う。 ・ 雨天時は、ロビー自動扉前にマットを敷き、風除室に傘袋を設置する。 ・ 利用者が開場を待っている場合は、ロビー内への誘導等適切に対応する。
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開業後は、入退場者の受付をカードと端末機でチェックする。 ・ 定期利用の新規及び継続手続き並びに当日利用の手続きをO A機器で行い、集計及び料金の徴収を行う。 ・ 利用者が鍵の紛失又は暗証番号を忘れたことにより、更衣室ロッカー又は貴重品ボックスの開錠を申し出た場合は、適宜対応する。 ・ 見学希望者には受付簿に記入させ、見学バッジを渡し、退場時に回収する。 ・ トレーニングセンター入口前駐車場（緊急車輛駐車スペース含む。）に車輛が駐車しないようカラーコーンを設置し、あわせて北一門周辺の確認を行う。 ・ 専用駐車場に不審車両を発見した場合には、速やかに警備室に連絡する。

		<ul style="list-style-type: none"> 貸しロッカー、レンタルボックスの使用法等、施設及び設備の利用方法をロビーの掲示板やパンフレット等を利用して説明する。 レンタルボックス及び貸しロッカー不正利用を調べ、放置された荷物がある場合、忘れ物と同様に処理する。 利用者の苦情、要望には適切に対応する。 「ご意見箱」の利用を施設利用者に勧める。 トレーニングセンターの営業開始前と終了案内のテープを流す。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> 売上に関する日計表を作成し、売上金とともに、監督職員に届ける。 浴槽の給湯、給水、ジャグジー及びサウナ室のヒーターを停止する。
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 手提げ金庫については、民間事業者側にて管理する。
巡回業務		<ul style="list-style-type: none"> 巡回場所は次の通りとする。 (ロビー)、(ロビートイレ)、(更衣室)、(更衣室トイレ)、(浴室)、(サウナ)、(レンタルボックス室)、(貸しロッカー室)、(アスリートルーム)、(新フロア)、(休憩室)、(リフティングルーム)、(指導室)、(トレーニング場)、(ダッグアウト)、(駐車場)
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> 施設、設備に異常がないか、また当場のハウスルールやマナーに違反する行為を行う利用者がいないか確認し、適宜注意・指導を行う。 ロッカーを点検し、鍵等の破損については、監督職員に報告する。また、未施錠で利用している者を発見した場合は、今後の施錠を徹底させる。 サウナ用足拭きマットの適宜交換・洗濯。 清掃及び備品整理を行う。 浴槽の給湯、給水量等の確認及び調整を行う。 浴槽薬注ポンプの空気抜き、作動確認、薬液量の測定及び薬液タンク内の量の確認、並びに補充を行う。 13:00、15:00、17:00、19:00に、男女浴槽の塩素濃度、濾過器圧力及び温度の計測並びに目視点検を行う。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> 利用者全員の退場状況を確認し、各施設の施錠を行う。 濾過器用集毛器の清掃を行う。 浴槽用ろ過機の逆洗作業を行う。(毎日) 毎週1回、浴槽循環水配管の消毒をする。 駐車場に残車がないことを確認し、鍵を警備室に返却する。残車がある場合は、その車の車種、色、ナンバーを警備室に連絡する。
管理業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全で快適な運動ができるよう、所定の開場時間に合わせ、事前に照明、室温、施設・備品及び各種器具の始業点検を行う。
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> 汚れの除去、ボルト・ナット等の増し締め、注油等、トレーニング器具の軽整備を行う。 場内備え付けのタオル・雑巾等は洗濯し、清潔を保つ。 器具の故障や不具合は、監督職員に報告し、利用者に注意を促すため必要な掲示を行う。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が施設に残っていないか、使用した器具は所定の位置に戻されているか確認し、トレーニング場を消灯する。

(7) 利用者アンケート調査

配布・回収	<ul style="list-style-type: none"> 本施設の利用者を対象として、アンケート用紙の配布・回収を行う。
-------	---

2.2. トレーニングセンター指導業務

1) 業務概要

トレーニングセンター利用者の技量、体力に応じたトレーニング指導及び各種教室を開催する。

(1) 業務実施日

業務実施日は、トレーニングセンターの営業日とする。

(2) 業務実施場所

業務実施場所は、トレーニングセンター内とする。

(3) 付帯事業と納付金の扱い

民間事業者は、トレーニングセンターにおいて自ら料金を設定して有料の個人指導を実施することができる。個人指導に係る料金収入は、民間事業者に帰属するものとし、当該収入の10%を、NAASHに納入するものとする。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
トレーニング指導業務		○
各種教室指導業務	△協議	○

3) 業務内容

トレーニング指導業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレーニング場内を巡回し、利用者のルールやマナーに反する行為に対しては、注意・指導を行い改善に努める。 ・ ビギナーの利用者に対し、施設利用の範囲及びマシンの利用方法等について簡単な説明を行う。 ・ 利用者の求めに応じ、適切なアドバイスと説明を行う。ただし、リハビリ目的の指導やコンサルタントは行わない。 ・ 必要に応じて、利用者の運動の補助（アシスト）を行う。 ・ 利用者の行動及び言動には常に細心の注意を払い、技量・体力を超えた運動をしないよう指導する。また、様子のおかしい人には体調について尋ね、無理をしないよう指導する。 ・ 運動中の事故・怪我については監督職員に連絡し、救急車の要請など必要な措置をとる。
各種教室指導業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の技量、体力に応じた各種教室を開催する。 ・ 各種教室への参加は無料とする。 ・ 教室の構成は、ランニング系4教室、ウォーキング系4教室、エアロビクス系8教室、体操・スポーツ系5教室、特定種目7教室の計28教室を1週間（35時間以内）を単位として実施する。 ・ 詳細は別紙2-1及び別紙2-2を参照する。 ・ 開催場所、日時等は別紙2-3を参照する。 ・ 教室指導員の定員は、各教室1名以上とする。 ・ 当日が祝日・振替休日に当たる場合、教室は休講とする。ただし、日曜日

	<p>が祝日に当たるなど全く同じ時間帯で実施可能な場合は、この限りではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラック等の通常屋外で実施する教室について、当日が雨の場合は原則として、3階回廊走路やランプ下走路等に実施場所を切り替えるか、講義を中心に実施する。なお、実施場所が手当てできない場合は、監督職員と協議の上、中止とする。 ・ 教室の改廃、時間・名称の変更については、監督職員と協議の上行う。 ・ 教室の指導員が交代する場合は、事前に監督職員に連絡し、必要な掲示を行う。 ・ 指導員は教室の開催場所及び時間を確認後、5分前には会場入りし、開催準備を行う。 ・ 教室終了後は、開催状況、参加人数等を日報等で監督職員に報告する。
--	---

3. 保守管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- グランドその他対象施設を、日常の利用や大会運営に支障のない良好な状態に保つ。
- 敷地内の樹木を良好な状態に保つ。
- 敷地内の樹木の美観を保つとともに、利用者及び通行者等の安全を確保する。
- 業務は、施設利用に支障のない日時、時間帯に実施する。
- 大会、イベント等の日程に応じて、その開催に支障がないように整備を行う。
- 常に保守管理のための機器用具等を利用可能とするとともに、整理整頓された状態を維持する。
- 作業実施の際には、安全に十分配慮し、事故などがないようにする。
- 常に快適な施設環境を維持することが出来るよう、施設及び設備機器を常に良好な状態に保つ。
- 園地整備業務における作業計画は、以下の内容を参考として把握した上で作成する。
 - ・ 枝枯れの有無
 - ・ 葉色及び葉の大きさの異常等の有無
 - ・ 倒木の可能性の有無
 - ・ 芝生については、淡黄色又は裸地部分の有無
 - ・ 樹木や芝生の病害及び害虫の有無
 - ・ 枝葉による建物等への支障の有無
 - ・ 樹姿の状態の良否
- 民間事業者は、園地作業の従事者に対し、除草剤・殺虫剤等の薬剤管理及びその取扱いについて、十分注意するよう指示するとともに、その使用に当たっては常に監督職員と協議する。
- 駐車場内を常時巡回し、盗難、火災、不正行為等が起こらないよう注意するとともに、公開時間内は常に利用可能な状態とする。
- 施設で行われる競技会、各種イベントの行事打合せ会議等に参加し、内容をよく把握の上、必要に応じた機器の運転と大会設営準備業務を行う。
- 監督職員から要請がある場合は、改修工事等の打合せ会議に参加する。また、必要に応じて、設計業者及び施工業者に対する図面の抛出、現地調査同行に協力する。
- 機器又は設備の運転については、性能及び規格に適した燃料及び補給材を用い、取扱説明書に従い適正に操作する。
- 設備に故障、欠陥等が発生した場合は、迅速に復旧作業を行い、監督職員に報告する。復旧が不可能な場合は、点検・保守を行い、その原因及び修繕等の対応策について監督職員に報告する。
- 運転・監視の内容の定めがない設備については、納入機器メーカーの取扱説明書による。
- 点検及び保守の終了後は、必要な機器等の清掃及び後片付けに伴う機器周辺等の清掃を行う。
- 電気設備の点検・保守については、原則として停電して安全な状態で作業を行うものとし、やむを得ず活線状態で作業するときは絶縁用防具、保護用具等を用いて行う。停電予告等の関係方面への連絡は、十分余裕をもって行い、復旧後は完全に元の状態になっていることを確認する。

- 保守点検に伴い、交換を必要とする部品、パッキン類等は各メーカーの推奨品を使用する。
- 設備等の補修費用については、軽微な不良箇所を除いてN A A S Hの負担とする。

3.1. 園地整備業務

1) 業務概要

施設内の園地の美観を維持する業務を行う。

(1) 作業の範囲

施設内にあるすべての樹木、植栽等を作業の範囲とする。

(2) 業務実施回数

年3～4回実施する。

(3) 作業時間

平日の9時00分～17時00分とする。

2) 業務項目及び役割分担

	業務項目	NAASH	民間事業者
(1) 整枝・剪定、除草、 除草剤散布、害虫駆 除	低木の刈り込み		○
	除草		○
	除草剤の散布	△協議	○
	害虫駆除・殺虫剤の散布	△協議	○

3) 業務内容

(1) 整枝・剪定、除草、除草剤散布、害虫駆除

低木の刈り込み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刈り込みは、樹木の育成状態を見て行う。 ・ 刈り取った枝・葉は速やかに、指定のごみ庫へ搬出する。
除草作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手抜き除草に当たっては、根を残さないよう丁寧に抜き取る。機械による除草については、樹木を損傷しないよう注意して実施する。 ・ 作業中捨てられた空き缶、空きビン等の廃棄物を発見した場合は除去し、作業終了後回収・分別の上、指定のごみ庫へ搬出する。
除草剤の散布 作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。 ・ 薬剤による除草については、容器ラベルに記載の用法、用量を守り、安全使用を心掛け適切な濃度で、むらなく散布する。 ・ 散布の際は、天候にも注意し風による飛散、雨による流亡を避け、必要最小限の使用で処理する。
病虫害駆除業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 殺虫剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。 ・ 敷地内植栽域（低木寄せ植え、樹木地、芝生地）に発生した病気、害虫による被害を防止するため、薬剤散布、切除を行う。 ・ 薬剤使用については、害虫発生区域を特定し必要以上に使用しない。また、容器ラベルに記載の用法、用量を守り、安全使用を心掛け、適切な濃度でむらなく散布する。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 散布の際は、天候にも注意し風による飛散、雨による流亡を避け、必要最小限の使用で処理する。 |
|--|--|

3.2. 施設環境整備業務

1) 業務概要

NAASHで行われる各種グラウンド整備作業や、行事にて使用する器具の整理整頓及び用具の設置撤去作業などを行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
体育器具及び用具の整理整頓業務	△依頼	○
砂入り人工芝コート of 整備	△依頼	○
グラウンド整備業務	△依頼	○

3) 業務内容

体育器具及び用具の整理整頓業務	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場、ラグビー場及びテニス場において、体育器具の整理整頓及び用具の設置を行う。
砂入り人工芝コート of 整備	<ul style="list-style-type: none"> テニス場において、砂入り人工芝コート of 整備を行う。 業務実施日は、第2、第4火曜日（祝日及び降雨日を除く）とする。
グラウンド整備業務	陸上競技場及びラグビー場において、以下の業務を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 内圏縁石の設置及び撤去 陸上競技場アンツーカー整備 サッカーゴールの設置及び撤去 ラグビーのデッドボールラインテープの設置及び撤去 行事開催時のグラウンド補修（芝の捲れ補修、目土入れ及び穴埋め等） 上記作業に伴う、清掃、水洗等

3.3. 有料駐車場管理業務

1) 業務概要

有料駐車場の管理全般を行うものとし、利用者への適切な案内業務、安全確保、料金徴収、駐車場エリアの日常清掃等、サービスの向上、良好な環境維持と保全に努める。

(1) 有料駐車場営業条件

公開日：年末年始を除く毎日。

公開時間：9：00～21：00

※ 神宮球場ナイター試合開催時は、23：00まで延長する。（神宮球場ナイター試合は、ヤクルトスワローズ主催ゲームを中心に年間33試合程度を想定）

NAASHの都合により公開時間の繰上げ又は、延長する場合がある（平成22年度実績76時間）

(2) 駐車料金

30分まで200円とし、以後30分の利用をする毎に200円を加えた額を徴収する。ただし、NAASHの都合により料金は変更する場合がある。その際には、民間事業者に事前に通知する。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
公開開始前		○
入庫に関する事項		○
管制装置に関する事項		○
駐車券紛失に関する事項		○
事故処理		○
その他		○
公開終了後		○

3) 業務内容

公開開始前	<ul style="list-style-type: none"> 管制装置の作動試験を行う。（通電、満車表示、放送、遮断機、料金収納箱等） 遮断機、門扉等の錠をはずす。 従業員は、駐車場内すべてを巡回し、ほうき等で清掃し、落ちているごみを回収する。 ピロティの照明を点灯する。
入庫に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 出入口が混雑するときは、それを整理する。 利用者が駐車位置を必ず守るよう注意する。 駐車場内を常時巡回し、盗難、火災、不正行為等が起こらないよう注意する。 満車表示は、利用状況等を勘案しセットする。 全長5m、全高2.5m、全幅2mを超えるもの及び特殊自動車の駐車は、利用を断る。 公開終了時までに出庫するように案内する。

<p>管制装置に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車券記録用紙の確認を常時行い、公開に支障がないよう留意する。 ・ 駐車券記録用紙は、厳重に保管する。 ・ 釣銭は十分用意し、公開に支障がないよう留意する。 ・ 入庫日時の刻記精算金額は、駐車券に明瞭に記載しておく。また、利用者が領収書の発行を求めたときは、領収書を発行する。
<p>駐車券紛失に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として公開開始時間からの料金を徴収する。 ・ 利用者の住所、氏名、車のナンバー、検査証、運転免許証番号等を記録する。 ・ 紛失後一週間以内に駐車券を持参したときは、徴収した料金と、実際に徴収すべき料金との差額の払い戻しをする。この場合は、利用者から必ず領収書を徴収し、翌日の現金受払簿に明記する。
<p>事故処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場内において、事故が発生した場合は、原則として、当事者間で解決してもらう。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掃き掃除によりごみ、落ち葉、紙屑、排水溝のごみ等を除去する。また、回収したごみ類は指定のごみ集積所へ分別して搬出する。 ・ アスファルトコンクリート面に飲食物、ガム類、汚物等が付着している時はそれを除去する。 ・ 翌日が休業日の場合は、その旨入口に表示する。
<p>公開終了後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管制装置等の事後処置及び施錠を確実にを行う。 ・ 管制装置の不要な電源及びピロティの照明・外灯を消す。 ・ 出庫しない車については、注意書を窓に貼付すると同時に、車のナンバー及び車種などを控えておく。 ・ 売上金は、民間事業者の責任において保管する。なお、翌朝の9時までに入金する。ただし、土・日・祝日を除く。

3.4. 定期点検等及び保守業務

1) 業務概要

電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
電気・機械定期点検等及び保守業務	△実施日時協議	○

3) 業務内容

(1) 電気・機械定期点検等及び保守業務

一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 対象設備、試験点検箇所及び測定基準等は、別紙 3-1 による。 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力する。
対象設備	<ul style="list-style-type: none"> ラグビー場・東テニス場高圧電気設備 温水シャワー給湯自動温度調節装置 温水シャワー用温度調整器等 給湯設備 節水洗浄装置（アクアエース） ラグビー有料駐車場自動料金精算システム（別紙 3-2 参照） 陸上競技場電光表示設備（別紙 3-3 参照） ラグビー場電光表示設備（別紙 3-4 参照） 自動制御設備 吸収式冷温水発生機（別紙 3-5 参照） 陸上競技場写真判定装置及び陸上競技用精密機器 陸上競技場中央監視制御装置 トレーニングセンターサウナ・浴槽設備、プール採暖設備（別紙 3-6 参照） 加圧給水装置 冷凍機（チラーユニット） 冷暖房設備（GHP） シャッター設備 高圧電気設備 非常用発電機設備 消防用設備 放送設備及び ITV・映像設備 構内電話交換機設備 エレベーター設備 水泳場浄化装置

3.5. 設備運転監視及び日常保守・点検業務

1) 業務概要

各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等、その他建築等諸設備の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。

(1) 設備運転・監視日数・時間

- ・ 設備監視日は365日とする（平成27年度は366日とする）。
- ・ 運転監視時間は次のとおりとする。
- ・ 本部事務所は、中央監視制御の対象外であるため、運転監視に必要な人員を適切に配置すること

施設名	利用日数・時間
陸上競技場	・ 原則として8時00分～21時00分
ラグビー場	・ 原則として8時00分～17時00分とするが、夜間イベント時は、仮設物撤去及びスタンド内外の清掃終了までとする。
東・西テニス場	・ 原則として8時30分～18時30分とするが、季節により営業時間が異なるため、各月の営業終了時間までとする。
本部事務所	・ 平日の8時30分～17時30分

(2) 一般事項

電気設備に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAASHは、民間事業者側が選任する電気主任技術者に対し、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実に行うことを条件に、次の権限を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ア 自家用電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するに当たり、電気主任技術者の意見を尊重する。 イ 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、電気主任技術者がその保安のためにする指示に従う。
機械設備等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物環境衛生管理技術者が主に実施する業務は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ア 所轄監督官公署に対する対応及び書類提出業務。 イ 法令上必要な点検の実施 ウ 年間管理計画の策定及び実施 エ 保健所等の立入検査（年数回）の対応 オ 東京都の立入検査（2年に1回）の対応 カ 煤煙排出量調査書類の作成 ・ 陸上競技場の冷・暖房切替期間は、1週間程度を想定する。（冷暖房各1回行う。） ・ 年に1回プールの水替えをし、還水槽、バランシングタンクの点検清掃及び集水口の安全点検を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	作業内容	NAASH	民間事業者
(1) 運転・監視	電気設備監視業務		○
	機械設備監視業務		○
	中央監視制御設備		○
(2) 日常点検・保守	電気設備日常点検・保守業務		○
	機械設備日常点検・保守業務		○
(3)	陸上競技場電気設備関係	△指示	○

行事開催時の業務	ラグビー場電気設備関係		○
	機械設備関係（陸上競技場及びラグビー場共通事項）		○

3) 業務内容

(1) 運転・監視

共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常巡視は、分電盤、制御盤、配線器具類、照明器具等の焼損、汚損、取付状態の監視を行い、必要に応じランプの交換、器具等の清掃・汚れの除去、調整、増し締め、注油等を行う。
電気設備監視業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-7による。 ・ 運転・監視の項目及び内容は、別紙3-9の表-1による。
機械設備監視業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-8による。 ・ 運転・監視の項目及び内容については、別紙3-9の表-2による。
中央監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-9の表-3による。 ・ 監視制御設備の運転・監視に当たっては、建築設備の監視制御を停止することなく行う。

(2) 日常点検・保守

共通	<p>次に掲げる設備の部分については、点検を省略できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改め口のない、天井裏又は安易に出入りのできる点検口のない床下にあるもの。 ・ 機械室及び配管配線室内に存在する機器で、点検に立入ることが極めて困難な場所にあるもの。 ・ 電気が通電されていて点検することが危険な場所にあるもの。 ・ 付近に運転を停止することが極めて困難な状況にある機器が存し、点検することが危険な場所にあるもの。
電気設備日常点検・保守業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象設備は、別紙3-8に記載されたものとする。 ・ 点検・保守内容の適用範囲は、別紙3-9の表-4による。
機械設備日常点検・保守業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象設備は、別紙3-9に記載されたものとする。 ・ 点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は、別紙3-9の表-5による。

(3) 行事開催時の業務

下記作業を実施するほか、施設全体の電力使用に当たっては、デマンド値を越えないよう推移を把握し、デマンド値超過の恐れが生じた場合には、必要に応じて利用団体に迷惑のかからない範囲において各現場に節電等の指示を出す。

① 陸上競技場電気設備関係

行事開催前	<ul style="list-style-type: none"> ・ インカム、FAX、マイクの設置及び動作確認を行う（行事により使用回数や設置場所が変動するため、行事打合わせ用紙により確認する）。 ・ 各行事の要求にもよるが、仮設電源を準備する。 ・ 使用スタンド範囲のトイレや回廊部の照明、各諸室の確認と、切れている際の交換作業を行う。 ・ 音響設備設置及び動作確認（行事によっては、主催者側の音響設備業者との現場合わせ作業を行う）。 ・ 電光掲示盤の電源を投入する。
-------	---

	<ul style="list-style-type: none"> 区民大会等の行事で、電光掲示盤簡易操作卓を使用する場合には、電源投入等立ち上げを行い、必要に応じて操作説明を行う。
客入れ開始時	<ul style="list-style-type: none"> 3階回廊PDP映像切替え及びその表示確認を行う。 行事打合わせ用紙や事業課職員からの連絡により夜間照明の点灯及び照度を変更する。 3階4階回廊を巡回する。
試合中	<ul style="list-style-type: none"> 3階回廊PDP映像切替え及びその表示確認を行う。 行事打合わせ用紙や事業課職員からの連絡により夜間照明の点灯及び照度変更を行う。 各設備のトラブルの対応を行う。 3階4階回廊を巡回する。
客出し終了	<ul style="list-style-type: none"> 設置したインカム等の撤収作業。 仮設電源の撤収 音響設備の撤収 電光掲示盤消灯 3階回廊PDP消灯 事業課職員からの連絡により夜間照明の点灯及び照度変更。 電光掲示盤簡易操作卓の立ち下げ
スタンド清掃終了	<ul style="list-style-type: none"> ナイターの場合、清掃業務終了をもって夜間照明を消灯（ただし、行事撤去作業が終わっていない場合には、消灯せず事業課からの連絡を受けて消灯する）。
備考	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の電力使用に当たっては、デマンド値を越えないよう推移を把握し、デマンド値超過の恐れが生じた場合には、必要に応じて利用団体に迷惑のかからない範囲において各現場に節電等の指示を出す。

② ラグビー場電気設備関係

行事開催前	<ul style="list-style-type: none"> 非常用自家発電機切り替え作業を行う。 音響設備設置及び動作確認を行う（行事によっては、主催者側の音響設備業者との現場合わせ作業を行う）。 使用スタンド範囲のトイレや回廊部の照明、各諸室の確認と、切れている際の交換作業を行う。
客入れ開始から試合終了	<ul style="list-style-type: none"> 各設備のトラブルの対応を行う。 回廊巡回を行う。
大会終了後	<ul style="list-style-type: none"> 非常用自家発電機切り替え作業を行う。 音響設備を撤収する 回廊巡回を行う。

③ 機械設備関係（陸上競技場及びラグビー場共通事項）

行事開催前	<ul style="list-style-type: none"> 使用スタンド範囲トイレの節水装置運転を行う。 各機器の運転時間をスケジュール入力し、運転状況の確認を行う（行事打合わせ用紙の関係者入り時間などを配慮し、対応する）。 炬火台使用時における業者手配（行事打合わせ用紙に基づき、余裕を持って事前に連絡する）。 各使用機器の運転時間管理及び利用者側の時間延長・時間短縮依頼による対応を行う。 回廊巡回を行う。
-------	---

客入れ開始から試合終了	<ul style="list-style-type: none"> 各設備故障連絡による対応、トイレ詰まり等の対応を行う。 各使用機器の運転時間管理及び利用者側の時間延長・時間短縮依頼による対応を行う。 炬火台使用時における業者対応を行う（使用時間等は、行事打合わせ用紙に基づき点灯時間や消灯時間を指示するとともに、主催者側との現場合わせ作業を行う。）。 回廊巡回を行う。
大会終了後	<ul style="list-style-type: none"> 使用トイレの点検及び水漏れ、トイレ詰まり等の点検を行う。 各使用機器の運転時間管理及び利用者側の時間延長・時間短縮依頼による対応を行う。 回廊巡回を行う。 陸上競技場の場合、選手関係者の退場後、更衣室・医務室・ドーピング室等の点検を実施する（空調機のスイッチ停止措置及び衛生器具やシャワーの破損有無、給湯の出しっぱなし確認など）。 各使用機器のスケジュール運転停止時間を確認する。

(4) その他作業

以下の作業について、適宜行う。

その他作業	<ul style="list-style-type: none"> 室内水泳場濾過器逆洗作業 室内水泳場凝集剤の補給作業 給排水設備の詰まり除去等、不具合の改修作業 空調機フィルター清掃 各給排気口の清掃 更衣室ドライヤーの点検・清掃 冷却塔の洗浄作業 各機器のグリスアップ作業等 各機器のVベルト点検調整及び交換作業 簡単な営繕作業 陸上競技場、ラグビー場利用者用会議室音響機器の使用不能時の復旧や使用方法説明 陸上競技場電光表示盤簡易操作卓の操作機器の使用法説明 陸上競技場水泳場次亜塩素酸ソーダの購入・補給手続きを行う。 ①次亜塩素酸ソーダは、有効塩素12%以上溶液 食塩分4%以下 ②1回取引数量は1,000kg以下とし、タンクローリー納入とし、貯蔵タンク横付けにより行う。 ③次亜塩素酸ソーダ購入実績（参考） <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度 5,040kg 年5回搬入 平成19年度 6,100kg 年6回搬入 平成20年度 5,070kg 年5回搬入 平成21年度 5,080kg 年5回搬入 平成22年度 5,070kg 年5回搬入 監督職員の指示により、本部事務所のデマンド監視装置を確認し、電力使用状況を把握する。
各種資料の提出、官公署届出書類の代行	<ul style="list-style-type: none"> 各光熱費の月間使用量の集計（電気・ガス・水道） テナント及び陸上競技場・ラグビー場利用団体に請求する臨時電気・臨時水道のデータ（使用量）管理、及び請求内訳資料の作成 各使用量を施設別及びテナント別に振分け 年間電気・ガス・水道料金及び各消耗品費（管球、配管機器、薬品等）の

	<p>試算</p> <ul style="list-style-type: none">・ 建物の権限者や代表者が変更となった場合、若しくは室内水泳場等を休業する場合など、官公署に届出を行う必要が生じた際は、各種法令に基づき書類を作成し、その届出事務を代行する。
--	---

4. 警備業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 施設内外の秩序及び規律を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止に務める。
- 365日24時間、保安警備が円滑に実施できる体制とする。ただし、人員の配置を含め、必ずしも365日24時間を通して同一の体制を求めるものではない。
- 原則として、民間事業者が有人による警備を適切に実施し、安全性確保に務める。
- 業務の実施に当たっては、状況を的確に把握し、適切に判断の上、施設環境及び機能を阻害することのないようにする。
- 施設としての防犯、利用者の安全確保を十分に行える、法的に必要な資格を有する人員や、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を適切に配置する。
- 利用者の利便に配慮しながら、事件、事故を防止する観点で業務を実施する。
- 火災や地震等の災害発生時には、利用者等に対し、状況に応じて迅速で的確な避難誘導を行う。
(行事がない日は、警備室の職員や受付従業員が施設利用者等への避難指示・誘導を行う。行事開催時には行事主催者等が別途雇った警備員が行事参加者への避難指示・誘導を行う。)
- 社員教育、研修により本業務に従事する者の意識、知識及び技術の向上を図る。

1) 業務概要

警備業務は、施設警備全般を行うもので、利用者に対して適切な受付・案内業務を行うとともに、場内外の巡回業務を行い、施設の安全確保、有事の際や緊急時の避難誘導、緊急連絡等を通じて、サービスの向上、良好な環境維持と保全を図る。

通常警備業務・夜間警備業務	<ul style="list-style-type: none"> （霞ヶ丘競技場）外来者、緊急時等に対応できるよう常時2名以上の勤務とし、警備室には常時1名以上配置する。 （本部事務所）外来者、緊急時等に対応できるよう、警備室には常時1名以上配置する。 仮眠時間は5時間程度とする。
臨時警備業務	<ul style="list-style-type: none"> 入場予定人数30,000人以上の行事等で警備員の増員を必要と判断した日について、指示する。

各門等の開閉門時間は以下の通り。

場所名	開門	閉門
代々木門	6時00分	22時00分
北車門	5時30分	22時30分（閉門）
南車門潜戸（平日のみ実施）	7時30分	19時30分
本部事務所玄関扉（両開き）	7時00分	19時00分
本部事務所玄関自動扉	6時30分（自動解錠を確認）	21時00分（自動施錠を確認）
本部事務所非常階段1階出入口	5時00分	17時15分

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	業務内容	NAASH	民間事業者
(1) 通常警備業務・夜間警備業務	防犯・防災監視		○
	鍵管理	△指示	○
	駐車場管理		○
	出入管理	△指示	○
	遺失物の取り扱い		○
	巡回監視		○
	各種災害時の対応		○
	手提げ金庫の管理		○
	その他		○
(2) 臨時警備業務			○
(3) その他業務		△指示	○

3) 業務内容

(1) 通常警備業務・夜間警備業務

業務項目	業務内容
防犯・防災監視	<p>【霞ヶ丘競技場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間（23時00分から翌朝6時00分まで）陸上競技場グランド緊急警報装置が作動した際は、状況に応じて適切な処置をとる。 夜間（21時30分から翌朝8時30分まで）及び定休日（17時00分から翌朝8時30分まで）に機械室の警報装置が作動した際は、緊急遮断装置作動等の最低限の処置を講じる。 <p>【本部事務所】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 入退庁管理システムの運用及び4階セキュリティシステム並びに監視システムの運用は、監督職員と協議する。 夜間（17時30分から翌朝8時30分まで）及び休日（土・日曜日及び祝祭日、創立記念日（10月1日）、年末年始（12月29日～1月3日）の17時00分から翌朝8時30分まで）に警備室及び機械室の警報装置が作動した際は、応急措置を取る。
鍵管理	<ul style="list-style-type: none"> 日時、氏名を貸出・返却簿に記入し、返却時は、破損の有無を確認の上、貸出・返却簿に記入する。 鍵の破損又は紛失の届出があった時は、届出用紙に記入をさせ、監督職員に連絡する。
駐車場管理	<ul style="list-style-type: none"> 各駐車場（本部事務所前・横、代々木門、トレーニングセンター、ラグビー場他）の巡回、管理を行う 駐車禁止区域の設定及び必要に応じた注意喚起を行う。 （本部事務所）車での来館者に対し、駐車証の交付及び回収を行う。
出入管理	<ul style="list-style-type: none"> 器具、機材を搬出入する者で事前に連絡がない場合には、その搬出入を止めさせ、監督職員に確認の上、その指示に従う。 （本部事務所）来館者で事前に連絡がない場合には、受付簿に指名等必要事項を記入させ、来訪先（部署）に確認の上、その指示に従う。入館を認められ他来館者に対し、入館証の交付及び回収を行う。 （本部事務所）新聞は、警備室窓口で受け取り、必要部数を各階別に区分けして指定場所に収納する。
遺失物の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 遺失物の受付を行う。
巡回監視	<ul style="list-style-type: none"> N A A S Hが指定した時間に、定時に場内外を巡回する。 巡回の場所は別紙4-1による。 場内の防火シャッターを定休日に点検（手動運転）する。 毎週月曜日に、火災報知設備の自動火災試験及び予備電力試験の結果を記録する。 月1回定休日を利用し、火災報知設備、消火器の自主点検をするとともに、非常用放送設備の音響、作動及び放送点検を実施する。（巡回時の注意事項） 不当に駐車している車両については、車両番号を記録し、警告ビラを貼付する等、必要な措置をとる。 各室の消灯状況を確認する。 夜間における巡回については、特に厨芥集積所の火気に留意する。 本部事務所地下1階ドライバー控室内にある、ガス湯沸器（男女シャワー室用）のリモートスイッチの操作を行う。
各種災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> 台風接近前後に施設の安全確認を行う。 地震後に施設の安全確認を行う。 火災発生の場合は、直ちに消防機関へ通報するとともに、事業課長に報告し、速やかな初期消火活動ができるよう努め、警備室内放送設備を使用して入場者に対し、火災情報等に関する放送を行う。
手提げ金庫の管理	<ul style="list-style-type: none"> 手提げ金庫及び手提げ金庫の鍵は、封印した袋等を預かり、警備室に設置してある金庫に保管する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 国旗及びN A A S H旗を、正面玄関上回廊のポールに、朝9時00分に掲揚し、16時30分に降下する。荒天の場合や、監督職員より別途指示があった場合には、その指示に従う。 本部事務所玄関（両開き）の開閉時間に合わせ、toto看板の設置及び収納、並びに照明パターンの切替を行う。

(2) 臨時警備業務

全般	<ul style="list-style-type: none">・ 当直警備業務の補佐・ N A A S H施設周辺で人出の多いイベントが行われる時の警戒・整理・ 場内外の巡視・ 警戒業務 監督職員が別途必要と判断し、その指示があった事項・ 神宮球場におけるナイター試合開催時においては、有料駐車場における車の入退場口付近の交通整理の実施
----	---

(3) その他業務

全般	<ul style="list-style-type: none">・ N A A S Hの自衛消防隊長から防災について要請があった時は、警備室内放送設備を使用して、入場者に対して地震に関係ある警戒宣言発令等の情報に関する放送を行う。・ 非常放送等に当たっては、定められた放送用語により行う。・ 工事実施に関する事、設備の保守日時や改造に関する事、イベント等による情報の変更等については別途監督職員から指示し、問題がある事項については協議する。
----	--

5. 清掃業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 建物内部の各部位について日常的に除塵を行い、ごみ、埃、汚れが目立たない状態を保つ。
- 建物・備品等の破損がない状態を保つ。
- 建物・備品等を破損した場合は、直ちに担当職員に報告し、その指示に従う。
- 清掃器具及び使用材料は、作業内容並びに建築材質に適したものを使用する。
- 清掃作業は、法令等に定められた安全基準を満たす方法により行う。
- 清掃作業は、施設運営に支障がない時間帯及び方法により行う。
- 清掃作業は、要求水準書に記載のない事項であっても、美観上、衛生上、又は建物の管理上必要と認められた箇所、その他軽微なものについても実施する。
- 通常のコ清掃作業終了後は、定期的に清掃対象箇所を巡回し、汚れがあった場合は直ちに対応する。また、監督職員から指示があった場合についても同様とする。

1) 業務概要

清掃業務は、以下の5業務からなる。

日常清掃業務	除塵、拭き、ゴミの収集等の日常的な作業により、汚れ進行度の早い場所や部位の汚れを除去する。
定期清掃業務	除塵、拭き、洗浄、保護剤の塗布等の定期的な作業により、日常的な清掃では除去困難な汚れや汚れ進行度の遅い場所・部位の汚れを除去するとともに、建築物部材を保護する。
大会事前清掃業務	原則として行事と行事の間が7日以上経過している場合、又は監督職員が行事前に清掃を入れる必要があると判断した場合に、重点的又はスポット的に行う。
大会巡回清掃業務	観客用トイレ及び回廊通路等を見回り、ペーパー補充・ごみ処理等を行う業務で、行事開催中の合間に実施する。行事の内容により、半日（4時間）及び1日（8時間）場内を適宜巡回し実施する。
大会事後清掃業務	原則として行事ごとに実施する業務で、行事終了後にスタンド・3階回廊・使用エリアのトイレ等の清掃及びごみの分別処理を行い、施設を原状復帰させる。

(1) 業務実施日・業務時間

業務種別		業務実施日	業務時間		
日常清掃業務	水泳場	日常清掃（全日）	365日	6:00～9:00	
		定休日清掃		9:00～17:00	
	陸上競技場・ラグビー場 各諸室	下記以外		9:00～17:00	
		事業課事務室、運営調整課・施設管理課事務室、体育館、東西テニス場及び博物館・スポーツ振興事業部助成課事務室		8:30までに実施。	
	トレーニングセンター日常清掃業務				営業日の開場時間までに実施。
	本部事務所	スポーツ振興事業部を除く事務室等		平日	6:00～8:30
スポーツ振興事業部		8:30～9:00			
共用部分		6:00～17:00			
定期清掃業務		通年	監督職員と協議の上実施。		
大会事前清掃・巡回清掃・事後清掃	陸上競技場及びラグビー場	行事開催日	監督職員と協議の上実施。		

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
清掃業務	△協議・承諾	○

3) 業務内容

作業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各業務における作業場所及び作業内容は、別紙5-1～3による。 あらかじめ監督職員に実施場所及び作業項目を提出し、その承諾を得た上で実施する。 本業務は営業施設を対象としているため、作業内容が「共通仕様書」による項目その他の各作業項目において、作業場所の汚れ及び廃棄物の排出状況等を十分把握して作業を実施する。
------	--

<p>その他事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業終了後は、椅子等を整理し、窓及び扉等の戸締り並びに火元確認を行い、必要のない照明は消灯する。 ・ 2 m以上の高所作業を行う場合には、労働安全衛生法に配慮し、業務担当者に対してヘルメットの着用など必要な措置を講じる。また、監督職員と十分打合せの上作業を実施する。 ・ 使用する薬剤は、リン酸塩を含まないものを使用する。 ・ 回収したごみ類は、一般廃棄物（可燃ごみ）、資源ごみ（びん・かん・ペットボトル・ダンボール）、不燃ごみ（傘等廃プラスチック類）に分別処理を行い、構内指定場所へ搬出する。 ・ 作業中は、作業に伴う他の汚損（洗浄時の洗剤の付着及び収集・運搬時の液漏れ等）の発生防止に細心の注意を払い、汚損が発生した場合は速やかに原状に復する。
--------------	--

6. 環境衛生管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- ・ 施設的环境を常に最良の状態に保つため、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（昭和45年法律第20号（以下「ビル管理法」という。））及び「労働安全衛生法」「水道法」「水質汚濁防止法」等の関係法令に基づき、必要な検査・作業を実施する。

6.1. 各種環境測定

1) 業務概要

対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく環境測定及び諸室の環境測定を行う。
測定回数・検査項目は、別紙6-1による。

(1) 業務項目及び役割分担

業務内容	NAASH	民間事業者
空気環境測定		○
飲料水水質検査		○
給湯水水質検査		○
プール水水質検査		○
レジオネラ属菌検査		○
雑用水水質検査		○

(2) 業務内容

空気環境測定	<ul style="list-style-type: none"> 浮遊粉じんの量・一酸化炭素の含有量・二酸化炭素の含有量・温度・相対湿度・気流
飲料水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 省略不可項目（10項目） 一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・塩化物イオン・有機物（全有機体炭素（TOC）の量）・pH値・味・臭気・色度・濁度・重金属（4項目） 鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・鉄及びその化合物・銅及びその化合物 蒸発残留物（1項目） 消毒副生成物（12項目）（6/1～9/30の間に実施） クロロホルム・ジブromokロロメタン・ブromोजikロロメタン・ブromoホルム・総トリハロメタン・クロロ酢酸・ジクロロ酢酸・臭素酸・トリクロロ酢酸・ホルムアルデヒド・シアン化物イオン及び塩化シアン・塩素酸 その他（毎回実施） 水温・気温
給湯水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水と同様の項目を行う。
プール水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 水素イオン濃度・濁度・遊離残留塩素濃度・有機物等（過マンガン酸カリウム（KMnO4）消費量）・総トリハロメタン・大腸菌・一般細菌
レジオネラ属菌検査	<ul style="list-style-type: none"> 菌数
雑用水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 濁度、大腸菌

6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務

1) 業務概要

(1) 清掃施設・回数

別紙6-2による。

(2) 法令及びその関係諸法令等

本業務は、ビル管理法及び水道法（昭和43年法律第97号）第16条等関係諸法令に基づき実施する。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
受水槽及び高置水槽の清掃		○
雑排水槽の清掃		○
汚水槽の清掃		○
貯湯槽の清掃		○

3) 業務内容

共通	<ul style="list-style-type: none"> 受水槽清掃及び貯湯槽清掃業務に当たる作業員は、腸内細菌培養検査を実施し、赤痢菌・サルモネラ菌・O-157・パラチフス・腸チフスについて陰性である者とする。
受水槽及び高置水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 清掃作業中に、水槽内外の点検及び給水管、ボールタップ、トラップ、点検口、満減水警報装置等の錆落とし清掃及び点検・作動確認を行う。 清掃作業完了後、水張りを行い、水質検査（「残留塩素」「色度」「濁度」「臭気」「味」の5項目）を行う。 高置水槽の清掃は、受水槽の清掃と同一の日に行うものとし、また受水槽の清掃を行った後に行う。
汚水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 槽内の沈殿物、浮遊物質及び油脂類、その他異物を除去し、場外搬出する。 槽内の水洗い清掃を、1回行う。 排水ポンプ（陸上競技場4台、ラグビー場2台：計6台）、槽内配管、点検口、フロートスイッチ等の水洗い清掃及び点検を行う。 汚水槽清掃後、水槽の天井、壁、及び底の破損等がないか点検する。 汚水槽清掃後、点検口及び付近通路の水洗い清掃を行う。
雑排水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 槽内の沈殿物及び天井・壁面・底部等に付着した錆、汚れ付着物の除去清掃の上、場外搬出する。 槽内の水洗い清掃を行う。 槽内の清掃終了後、塩素薬剤にて2回以上の消毒を行う。なお、消毒の間隔は1時間以上空ける。 洗浄に用いた水及び消毒排水の除去は、完全に排水槽外に排除するとともに、排水槽周辺の清掃を行う。 清掃作業中に、水槽内外の点検及び給水管、ボールタップ、トラップ、点検口、満減水警報装置等の錆落とし清掃及び点検・作動確認を行う。
貯湯槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容は受水槽に準ずる。 各所マンホールパッキンの交換を行う。

6.3. 害虫防駆除及び消毒作業

1) 業務概要

(1) 作業回数

害虫等防駆除および消毒作業の回数、スケジュールは下表に従う。

項目		月												計	備考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
害虫等防駆除	生息調査	○				○	○	○					○	○	6	
	事前調査		○						○					2		
	定期施行			○						○				2		
	効果判定				○						○			2		
消毒				○						○			2			

(2) 準拠する法令等

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「ビル管理法」等の関係法令に基づいて業務を行う。

(3) 作業場所

- ・ 本業務の対象範囲は、別紙6-3の赤塗り部分とする。
- ・ 下記の場所は、重点作業場所とする。(面積は作業対象範囲概数)

作業内容	区分	作業場所	面積 (㎡)
ゴキブリ及びネズミの防駆除	陸上競技場 1階	・ 事業課 (事務室・更衣室・給湯室等) ・体育館・会議室前給湯室・医務室・選手更衣室・スポーツ博物館・トレーニングセンター・制御室・プール機械室・警備室・水泳場 (受付・控室・救護室・指導員控室・男女更衣室) ・自動販売機 (1箇所、台) ・便所 (11箇所) ・ランプ下事務室	9,090
	陸上競技場 2階	・ 運営調整課及び施設管理課 (更衣室・給湯室) ・体育館 (更衣室) ・図書館及びスポーツ博物館 (書庫・給湯室・シャワー室・振興事業部事務室) ・賃貸借事務所 (日本体育施設協会、東京都サッカー協会、日本スポーツクラブ協会) ・便所 (7箇所)	3,895
	陸上競技場 3階	・ ラウンジA・便所 (2箇所)	220
	陸上競技場 4階	・ 大会警備本部 (消防・警察) ・指揮室	79
	陸上競技場 5階	・ ケーターリングサービスルーム・便所 (3箇所)	620
	ラグビー場	・ ロッカールームA~D・レフェリーロッカールーム・医務室・プレスルーム・製氷室 (A・B) ・オープンルーム1~3 (1室) ・オープンルーム4~6 (3室)	1,385

作業内容	区 分	作 業 場 所	面積 (㎡)
ゴキブリ及びネズミの防駆除	東テニス場	・ ロビー・事務室・給湯室・更衣室・シャワー室・便所 (1箇所)・談話室 (2階)	369
	西テニス場	・ ロビー・事務所・給湯室・更衣室・シャワー室・便所 (1箇所)	354
チョウバエ及びチカイエカの防駆除	陸上競技場	・ 北汚水槽 (87.8m ³)・南汚水槽 (53.9m ³)	142
	ラグビー場	・ 汚水槽 (10m ³)	10
アカイエカ、小型アカイエカ、ヒトスジシマカ等	陸上競技場	ダッグアウト側溝 幅0.70m×595m (416.5㎡)	417
	陸上競技場	体育館側溝 幅0.35m×145m (50.75㎡)	51
消毒	陸上競技場	医務室 (43㎡)・ケータリングルーム (25㎡)	68

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
害虫防駆除及び消毒作業		○

3) 業務内容

処理法及び使用薬剤等は以下のとおりとする。

作業区分	処理法	使用薬剤	成分
ゴキブリ防駆除	設置法他	固形剤・ベイト剤	ヒドラメチルノン他
ネズミ防駆除	喫食・接触法	殺鼠剤 固形剤	クマリン系
チョウバエ、チカイエカ防駆除	設置法他	蒸散剤・水和剤・乳剤	フェニトロチオン他
アカイエカ、小型アカイエカ、ヒトスジシマカ等	残留噴霧法	水和剤・乳剤	フェニトロチオン、ジクロロボス他
消毒作業	殺菌消毒剤散布処理	テゴー 5 1 又は同等品	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン

6.4. 空調用エアフィルター定期清掃

1) 業務概要

(1) 作業回数

別紙6-4に基づき、清掃及び交換を実施する。

(2) 作業場所

別紙6-4による。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
空調用エアフィルター定期清掃		○

3) 作業内容

全般	<ul style="list-style-type: none">・ 新品のエアフィルターを納入し、使用中のエアフィルターと交換取り付けを行う。納入するエアフィルターは、重量法80%以上の品とする。サラフィルターについては清掃を行う。・ 使用済みエアフィルターは場外廃棄処分とする。・ エアフィルター固定用枠で腐食の著しいものは、監督職員に報告し、予備品の支給を受け、取り替える。・ 各実施月におけるエアフィルターの交換及び清掃の枚数、サイズ、場所は別紙6-4のとおりとする。
----	--

6.5. 体育館床用モップ交換作業

1) 業務概要

(1) 作業回数

別紙 6 - 5 に基づき、交換を実施する。

(2) 作業場所

国立霞ヶ丘競技場体育館

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
体育館床用モップ交換作業		○

3) 作業内容

全般	<ul style="list-style-type: none">・ 専門業者が洗浄・再生処理をした床用モップを納入し、使用中の床用モップと交換を行う。・ 交換の本数・周期・実施曜日・年間回数は別紙 6 - 5 のとおりとする。
----	--

選任を要する業務別の業務責任者

業務分類	業務内容	選任を要する責任者
運営業務	(運営業務の各業務共通)	水泳場業務運営責任者
		体育館業務運営責任者
		東西テニスコート業務運営責任者
		スポーツ博物館運営責任者
		事業課窓口業務責任者
		トレーニングセンター運営責任者／指導業務責任者
保守管理業務	園地整備業務	園地整備業務責任者
	有料駐車場管理業務	有料駐車場業務責任者
	設備運転監視及び日常点検保守業務	設備運転監視及び日常点検保守業務責任者
	設備保守点検業務	設備保守点検業務総括責任者
警備業務		警備業務責任者
清掃業務		清掃業務責任者
環境衛生等管理業務		環境衛生等管理業務総括責任者

※各責任者の兼務については、業務の質を確保できる範囲で可とします。

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式
要求水準書 別紙

独立行政法人日本スポーツ振興センター

要求水準書 別紙一覧

第1 業務概要及び業務条件等

- 別紙1-1 選任を要する業務別の業務責任者
- 別紙1-2 選任を要する法定資格者
- 別紙1-3 拾得物廃棄処分申請書

第2 運營業務

- 別紙2-1 トレーニングセンター教室実施予定表
- 別紙2-2 教室実施モデル
- 別紙2-3 教室開催スケジュール

第3 保守管理業務

- 別紙3-1 定期点検対象設備、試験点検箇所、測定基準
- 別紙3-2 ラグビー場有料駐車場自動料金清算システム保守点検 点検項目
- 別紙3-3 陸上競技場電光表示設備映像システム明細
- 別紙3-4 ラグビー場電光表示設備映像システム明細
- 別紙3-5 吸収式冷温水発生機保守点検 機器仕様表
- 別紙3-6 プール採暖槽設備保守対象設備一覧
- 別紙3-7 電気設備一覧表
- 別紙3-8 機械設備一覧表
- 別紙3-9 設備運転・監視の項目及び内容

第4 警備業務

- 別紙4-1 警備業務巡回要領

第5 清掃業務

- 別紙5-1 清掃業務 作業基準表
- 別紙5-2 清掃業務 作業内容
- 別紙5-3 実施場所及び作業内容（本部事務所）

第6 環境衛生管理等業務

- 別紙6-1 各種環境測定 「検査施設・回数一覧表」
- 別紙6-2 受水槽、貯湯槽、汚水槽等清掃 回数「概要一覧」
- 別紙6-3 害虫防駆除及び消毒作業 「作業場所見取図」
- 別紙6-4 空調用エアフィルタ一定期清掃 「空調設置場所及び清掃回数表」
- 別紙6-5 体育館床用モップ交換作業

図面

- 別紙7-1 国立霞ヶ丘競技場平面図（陸上競技場・ラグビー場）
- 別紙7-2 電気設備機器配置図
- 別紙7-3 機械設備機器配置図

参考資料

- 参考1 委託業務予定回数表 **※未添付**
- 参考2-1 国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧（H20～H22）
- 参考2-2 国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧（H20～H22）

選任を要する業務別の業務責任者

業務分類	業務内容	選任を要する責任者
運営業務	(運営業務の各業務共通)	水泳場業務運営責任者
		体育館業務運営責任者
		東西テニスコート業務運営責任者
		スポーツ博物館運営責任者
		事業課窓口業務責任者
		トレーニングセンター運営責任者／指導業務責任者
保守管理業務	園地整備業務	園地整備業務責任者
	有料駐車場管理業務	有料駐車場業務責任者
	設備運転監視及び日常点検保守業務	設備運転監視及び日常点検保守業務責任者
	設備保守点検業務	設備保守点検業務総括責任者
警備業務		警備業務責任者
清掃業務		清掃業務責任者
環境衛生等管理業務		環境衛生等管理業務総括責任者

※各責任者の兼務については、業務の質を確保できる範囲で可とします。

選任を要する法定資格者

業務分類	業務内容		選任を要する法定資格者
保守管理業務	設備運転監視及び日常点検保守業務		第3種又は第2種電気主任技術者
			建築物環境衛生管理技術者
	設備保守点検業務	空調自動制御設備	第2種電気工事士
		消防設備	消防設備士又は消防設備点検資格者
		エレベーター	一級又は二級建築士
		(右記のうちいずれか)	建築基準適合判定資格者
昇降機検査資格者			
警備業務			自衛消防技術認定証保有者
			防災センター要員
清掃業務			ビルクリーニング技能士
環境衛生等管理業務	害虫駆除		防除作業監督者
			毒物薬物取扱責任者
			ペストコントロール技術者

拾得物廃棄処分申請書

申請年月日	平成					月		日	
処分年月日	平成					月		日	
廃棄対象期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
廃棄処分品	内容は別紙のとおり								
遺失物取扱責任者	上記拾得物の廃棄処分を申請します。								
備考	所属	国立競技場運営調整課							
	氏名	印							

取扱者	廃棄処分実行者

トレーニングセンター教室実施予定表

走る歩くクラス(ラン 2 ジョグ 2 ウォーク 4)

教室名	曜日	時間	定員	指 導 内 容	開催場所
ランニング(A)	月		100名	インターバルトレーニングや一回につき5,000m~10,000mを走り、持久力向上を目指します。	トラック OR 回廊走路
ランニング(B)	木				
ジョギング(A)	水		100名	ジョギングの入門編として初心者~上級クラスまで、運動能力に応じた指導をします。	
ジョギング(B)	金				
ウォーキング(A)	月		30名	ウォーキングを通じて、体調管理や美しい歩き方を学ぶクラス。初心者の方でも安心して参加できます。	
ウォーキング(B)	水				
ウォーキング(C)	木				
ウォーキング(D)	金				

エアロビクス・ダンスクラス(初 3 中 3 上 2)

教室名	曜日	時間	定員	レ ベ ル	指 導 内 容	開催場所
エアロ(初)	月		20名	A	日頃、体を動かす機会がない運動不足の方には最適で、やさしい有酸素運動を取り入れたクラスです。	新フロア アスリートR
	木					
	日					
エアロ(中)	水		20名	B	初心者を対象としたソフト系のプログラム中心のクラス。エアロビクスに慣れてきたらこちらのクラスでさらなるレベルアップを!	
	金					
	土					
エアロ(上)	月		20名	C	脂肪燃焼を目的としたクラスです。エクササイズは長めになっています。続けることで効果は絶大です。	
	木					

※レベルはおおよそ「A」を初心者、「B」を中級者、「C」を上級者としています。

体操・スポーツクラス(5)

教室名	曜日	時間	定員	指 導 内 容	開催場所
体操	月		20名	中高年の方を対象としたクラス。徒手体操、ウォーキング、ストレッチや手具を利用した運動やゲームで楽しく運動します。	新フロア アスリートR
	水				
	金				
	土				
	日				

特定種目(7)

教室名	曜日	時間	定員	指 導 内 容	開催場所
特定種目	月		20名	ヨガやセラピス等、特定種目のクラスとします。	新フロア アスリートR
	水				
	水				
	木				
	木				
	金				
	土				

教室実施モデル(週間)

【グループエクササイズ】

	月曜日 [Monday]		火曜日 [Tuesday]		水曜日 [Wednesday]		木曜日 [Thursday]		金曜日 [Friday]		土曜日 [Saturday]		日曜日 [Sunday]	
	競技場/ アスリートR	新フロア	実施なし		競技場/ アスリートR	新フロア	競技場/ アスリートR	新フロア	競技場/ アスリートR	新フロア	競技場/ アスリートR	新フロア	競技場/ アスリートR	新フロア
10:00														
:15														
:30														
:45														
11:00														
:15														
:30														
:45														
12:00														
:15														
:30														
:45														
13:00														
:15														
:30														
:45														
14:00														
:15														
:30														
:45														
15:00														
:15														
:30														
:45														
16:00														
:15														
:30														
:45														
17:00														
:15														
:30														
:45														
18:00														
:15														
:30														
:45														
19:00														
:15														
:30														
:45														
20:00														
:15														
:30														
:45														
21:00														
:15														
:30														

ランニング系 4

ウォーキング 4

エアロ系 8

体操系 5

特定種目 7

計 28

5

x

教室開催スケジュール

【エアロビクススタジオレッスン紹介】

レッスン名	曜日	時間	定員	旧レッスン 対応	実施場所	内容	消費カロリー	
							男性 (60kg)	女性 (50kg)
初心者エアロ	木	17:45～19:15	20名	A初級	新フロア	エアロビクス初心者向けのクラスです。シンプルな動作の組み合わせた入門よりも少し強度の高いレッスンです。	180cal	150cal
	土	12:15～13:45						
初級エアロ	月	13:20～14:50	20名	A初級	新フロア	基本の動きに慣れてきた方や、もっとがんばりたい方のための楽しみながら基礎体力をつけるクラスです。	320cal	270cal
	水	19:00～20:30						
歩く脂肪燃焼	月	17:45～19:15	20名	A中級	新フロア	簡単なローインパクトステップ(走ったり弾んだりしない)で大きく動き、効率よく脂肪を燃焼します。	240cal	200cal
	水	15:00～16:30						
	日	14:00～15:30						
中級エアロ	金	19:30～21:00	20名	A上級	新フロア	エアロビクスのレッスンに慣れてきた方のためのクラスです。いろいろなバリエーションを楽しみながら、体力アップを目指しましょう。	380cal	350cal
走る脂肪燃焼	金	15:00～16:30	20名	A上級	新フロア	複雑な動きはなく、ジョギング系の動きを中心に強度を維持し脂肪を燃焼します。	350cal	300cal

【オリエンタルレッスン紹介】

レッスン名	曜日	時間	定員	旧レッスン 対応	実施場所	内容
ストレッチ&リラクゼーション	木	15:45～17:15	20名	体操シニア	新フロア	ストレッチで全身を心地よく伸ばし、幻想的な音楽と共に心を落ち着かせ、身体の機能を向上させていきます。
健康体操教室	金	13:20～14:50	20名	体操シニア	新フロア	音楽に合わせて、ストレッチと筋力トレーニングを行い、基礎代謝の向上を図ります。運動初心者の方にもオススメです。
	日	15:45～17:15				
ナチュラルヨガ	月	19:30～21:00	30名	体操シニア	新フロア	従来のヨガをよりナチュラルに参加しやすくリフレッシュしたプログラムです。強く美しくしなやかな健康適度な身体と心を獲得しましょう。
ヨガ	水	13:20～14:50	30名	体操初級	新フロア	インドに古くから伝わる健康法です。自分の呼吸をコントロールして集中力を養い、心身の疲労回復を図ります。初めての方でも大丈夫です。
	土	14:00～15:30				
気功太極拳	月	15:00～16:30	20名	体操中級	新フロア	中国古来の健康法である「気功」と「太極拳」をミックスさせたクラスです。体の強化だけでなく、心と身体を同時にリフレッシュさせましょう。
ダンス入門	木	19:30～21:00	20名	体操中級	新フロア	これからダンスを始めたい方・ダンスの基礎的なテクニックをマスターしたい方に適したクラスです。
ファイトアタック	水	16:45～18:15	20名	体操上級	新フロア	格闘技の動きを取り入れた有酸素エクササイズです。シンプル&エキサイティングなコンビネーションで思いっきり汗をながしましょう。
コアピラティス	木	17:30～19:00	20名	体操上級	アスリートルーム	ピラティスの技法を用い、体幹部の強化による基礎代謝・柔軟性の向上を図ります。
ラテンエアロ	木	14:00～15:30	20名	特定種目	新フロア	ラテンのリズムを感じながら、ステップを楽しみましょう。腰周りのシェイプアップにも効果的です。
HIP HOP	土	10:30～12:00	20名	特定種目	新フロア	HIP HOPのダンスに挑戦したい方のクラスです。
簡単筋力 トレーニング	金	17:45～19:15	20名	ダンベル エクササイズ	新フロア	自宅でもできるトレーニングを紹介し、運動不足を解消したい方、基礎代謝を向上させたい方はぜひご参加下さい。
	日	10:30～12:00				

【走る・歩くレッスン紹介】

レッスン名	曜日	時間	定員	強度 難易度	実施場所	内容	
激走トレーニング	月	19:00～20:30	100名	★★☆	トラック (雨天の際は回廊)	インターバルトレーニング・ペース走等のトレーニングを行うクラスです。自分のベスト記録の更新を目指します。練習総距離は5,000m～10,000m。	
	木	19:00～20:30	100名	★★☆			
ゆっくりジョギング	水	18:30～20:00	100名	★☆☆			ジョギング初心者～フルマラソン完走を目指す方まで幅広く参加できるクラスです。綺麗なフォームでゆっくり走る事を目指します。
	金	18:30～20:00	100名	★☆☆			
脂肪燃焼 ウォーキング	水	15:00～16:30	30名	★☆☆			長く・速く歩きたい方対象のクラスです。長く・速く歩く事により体内の脂肪を効率良く燃焼させる事を目的としたクラスです。
	金	14:00～15:30	30名	★☆☆			
健康ゆるゆる ウォーキング	月	15:00～16:30	30名	☆☆☆			ウォーキング初心者を対象に綺麗な姿勢でゆっくり楽しく歩くクラスです。膝や腰に負担の少ないウォーキングの姿勢を身に付けていくクラスです。
	木	14:00～15:30	30名	☆☆☆			

VI 設備保守点検業務

VI-1 ラグビー場・東テニス場高圧電気設備試験点検

1 保守点検回数

実施場所ごと年1回の細密試験とする。

2 対象設備（自家用電気工作物概要）

- (1) 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場
- | | |
|-------------|---------|
| ア 設備容量 | 575 kVA |
| イ 最大電力 | 333 kW |
| ウ 非常用予備発電装置 | 50 kVA |
| エ 定格電圧 | 6,600 V |
| オ 発電電圧 | 200 V |
- (2) 国立霞ヶ丘競技場東テニス場
- | | |
|--------|---------|
| ア 設備容量 | 50 kVA |
| イ 最大電力 | 40 kW |
| ウ 定格電圧 | 6,600 V |

3 点検作業事項

- (1) 共通事項
- ア 各施設で必要とする試験用仮設電源及び試験等で使用する計器類は、受注者側で用意すること。
- イ 敷設作業に当たっては、営業及び施設安全上支障のないよう実施し、撤去日は当日のすべての業務が終了した後に行うこと。
- ウ 館内施設の停電準備作業は余裕を持って行い、試験点検業務終了後は復電業務を実施して、機器が正常に作動することを確認すること。
- エ 試験点検業務終了後は、当場の通常業務を行うため、予定時間内に業務を終了すること。
- オ 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力すること。なお、軽微な不良箇所とは、主要な部品などの取替えを要しないものであって、比較的容易に修理・補修及び調整できるものとする。
- カ キュービクル内、変圧器、高圧コンデンサー、絶縁碍子等機器の清掃は、ウエス等を使用して実施すること。
- (2) 試験点検箇所
- 受注者は、下記の項目の試験点検測定を行うこと。
- ア 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場
年次点検業務 一式
- (ア) 受配電設備観察点検
 - (イ) 接地抵抗試験
 - (ウ) 高圧回路絶縁抵抗測定試験
 - (エ) 地絡方向継電器動作特性試験
 - (オ) 過電流継電器動作特性試験
 - (カ) 漏電火災報知器試験
 - (キ) 変圧器絶縁油絶縁破壊試験・絶縁油酸価測定試験
 - (ク) 発電機設備観察点検
 - (ケ) 発電機関係試験各種点検
 - (コ) 蓄電池設備観察点検
 - (サ) 低圧関係各種点検
- イ 国立霞ヶ丘競技場東テニス場

年次点検業務 一式

- (ア) 受配電設備観察点検
- (イ) 接地抵抗試験
- (ウ) 高圧回路絶縁抵抗測定試験
- (エ) 地絡方向継電器動作特性試験
- (オ) 過電流継電器動作特性試験
- (カ) 変圧器絶縁油絶縁破壊試験・絶縁油酸価測定試験
- (キ) 電圧計・電流計校正試験
- (ク) 低圧関係各種点検

(3) 試験点検及び測定基準

受注者は、下記の項目の試験点検測定を行うこと。

ア 受配電設備観察点検

(ア) 引込施設

- ・ 架空・引込用電線の損傷、たるみがないか。
- ・ 支持物の損傷、傾斜がないか。
- ・ がいし、腕金（木）の損傷、脱落がないか。
- ・ 支柱、支線の損傷がないか。
- ・ ケーブルの損傷、亀裂、屈曲等がないか。
- ・ ケーブル端末処理部の損傷、亀裂、テープ剥離がないか。
- ・ ケーブル保護管の損傷、発錆がないか。
- ・ 接地線の損傷、発錆がないか。

(イ) 断路器

- ・ 本体の損傷、亀裂、変形がないか。
- ・ ロック機構の以上がないか。
- ・ 固定、可動接触部の以上がないか。
- ・ 接地線の損傷、断線がないか。

(ウ) 遮断器・開閉器

- ・ 本体の損傷、亀裂、汚損、発錆がないか。
- ・ 操作機構の異常がないか。
- ・ 表示装置の異常がないか。
- ・ ロッド、消弧室の損傷、亀裂がないか。
- ・ 接触子の損傷、磨耗はないか。
- ・ 絶縁油の損傷、油量不足はないか。
- ・ 接地線の損傷、断線はないか。

(エ) 計器用変成器

- ・ 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
- ・ 接地線の損傷、断線はないか。

(オ) 避雷器

- ・ 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
- ・ 接地線の損傷、断線はないか。

(カ) 変圧器

- ・ 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
- ・ 温度計の損傷、支持不良はないか。
- ・ 油劣化防止装置の損傷
- ・ ラジエーターの損傷、亀裂、変形、漏油がないか。
- ・ タップ、口出線、コイルの損傷、ゆるみ、変形がないか。
- ・ 絶縁油の汚損、油量不足はないか。
- ・ 接地線の損傷、断線はないか。

(キ) 電力用コンデンサ

- ・ 本体の損傷、亀裂、変形、汚損、漏油はないか。

- ・ 直列リアクトル、放電抵抗の損傷、亀裂はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- (ク) 母線関係
- ・ 導体、支持がいし、クランプの損傷、亀裂、汚損はないか。
 - ・ フレーム、架台の損傷はないか。
- (ケ) 保護継電器
- ・ 本体の損傷、汚損、整定不良はないか。
- (コ) 配電盤
- ・ 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - ・ 計器の損傷、支持不良はないか。
 - ・ 開閉器、ヒューズ、M C C Bの損傷、変色等はないか。
 - ・ 表示灯の損傷、不点はないか。
 - ・ 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- (サ) その他
- ・ 受電室建物、キュービクル箱体の損傷、汚損はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- (シ) 配線
- ・ 電線の損傷、たるみ、断線、脱落はないか。
 - ・ ケーブルの損傷、脱落、屈曲がないか。
 - ・ 電線管の損傷、腐食はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- (ス) 分電盤
- ・ 本体の損傷、汚損、亀裂、腐食はないか。
 - ・ 開閉器、ヒューズ、M C C B、M g sの損傷、変色はないか。
 - ・ 計器の損傷、指示不良はないか。
 - ・ 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- (セ) 負荷機器
- ・ 照明器具の損傷、汚損、脱落はないか。
 - ・ 電動機の損傷、汚損はないか。
 - ・ 電熱装置の損傷、汚損はないか。
 - ・ 接地線の損傷、断線はないか。
- イ 接地抵抗試験
- (ア) 以下の接地工事の種類に応じて、測定箇所が定められた接地抵抗値であるか確認し、良否判定を行うこと。
- ・ A種 10Ω以下
 - ・ B種 600/I g AΩ以下
 - ・ C種 10Ω以下
 - ・ D種 100Ω以下
- (イ) 試験箇所等詳細
- ① ラグビー場
- ・ 変電室内 (A種、B種、D種)
 - ・ 第2変電室内 (A種、C種、D種)
- ② 東テニス場
- ・ キュービクル内 (A種、B種、D種)
- ウ 高圧回路絶縁抵抗測定試験
- 以下の測定方法に基づき、測定箇所の使用電圧に対する測定を行い、良否判定を行うこと。
- (ア) 高圧電路

- 最大使用電圧3, 450Vにおいて、絶縁抵抗値(MΩ) 3以上であること。
- (イ) 高圧ケーブル
- ・ 絶縁体(CV)の場合、測定電圧5,000Vにおいて、絶縁抵抗値(MΩ) 5,000以上であること。
 - ・ 絶縁体(BN)の場合、測定電圧5,000Vにおいて、絶縁抵抗値(MΩ) 250以上であること。
 - ・ シース(CV)の場合、測定電圧500Vにおいて、絶縁抵抗値(MΩ) 1以上であること。
 - ・ シース(BN)の場合、測定電圧500Vにおいて、絶縁抵抗値(MΩ) 1以上であること。
- (ウ) 測定箇所詳細
- ① ラグビー場
- ・ 引込ケーブル
 - ・ 受電変電室所内一括(清掃前、清掃後)
 - ・ 受電変電室所内～第2変電室送りケーブル
 - ・ 第2変電室所内一括(清掃前、清掃後)
- ② 東テニス場
- ・ 引込ケーブル
 - ・ 所内一括(清掃前、清掃後)
 - ・ DS～CB一次側
 - ・ CB二次側～母線
 - ・ 電灯変圧器
 - ・ 動力変圧器
- エ 地絡方向継電器動作特性試験
- 以下の測定方法に基づき、測定箇所の動作電流、動作電圧、動作時間、位相特性等について、それぞれ測定試験を行い、良否判定を行うこと。
- (ア) 動作電流測定
- タップ値ごとの動作値測定を行い、整定値の±10%以内であること。
- (イ) 動作時間
- タップ値ごとの動作値測定を行い、整定値の±0.1秒以内であること。
- (ウ) 動作電圧
- タップ値ごとの動作値測定を行い、190V±25%の範囲内であること。
- (エ) 位相特性試験
- 進みと遅れの数値が、遅れ45°±10°、進み135°±10°の範囲内であること。
- (オ) 遮断動作
- 異常がなく、正常に作動することを確認すること。
- (カ) 開閉表示ランプ
- 異常がないことを確認すること。
- (キ) 測定箇所詳細
- ① ラグビー場
- ・ 製造者：東光電気株式会社
 - 製造番号：743884
 - 型式：DLSC-5
 - 製造年：1994年10月
 - 定格：110V
 - 整定値：0.2A、0.2秒、5%
- ② 東テニス場
- ・ 製造者：東光電気株式会社
 - 製造番号：770001

型 式：DLSC-5
製 造 年：1994年10月
定 格：110V
整 定 値：0.2A、0.2秒、5%

オ 過電流継電器動作特性試験

以下の測定方法に基づき、測定箇所の最小動作電流、瞬時動作電流、動作時間等について、それぞれ測定試験を行い、良否判定を行うこと。

- (ア) 最小動作電流
タップ値ごとの動作値測定を行い、整定値の $5.0 \pm 10\%$ 以内、 $4.0 \pm 10\%$ 以内であること。
- (イ) 瞬時動作電流の測定
タップ値ごとの動作値測定を行い、整定値の $30 \pm 15\%$ 以内、 $50 \pm 15\%$ 以内であること。
- (ウ) 動作時間の測定
レバー10において、整定値の 300% 時に、 $10.0 \pm 17\%$ 以内であること。
- (エ) 瞬時動作時間
整定値の 200% で、 0.05 秒以内であること。
- (オ) 遮断動作
異常がなく、正常に作動することを確認すること。
- (カ) 開閉表示ランプ
異常がないことを確認すること。
- (キ) 測定箇所詳細

① ラグビー場

- ・製造者：オムロン株式会社
製造番号：R 3Y0938
T 3Y0938
型 式：K2CA-DO3-R2
製 造 年：1993年
定 格：5A
整 定 値：T5、L3、I50
- ・製造者：オムロン株式会社
製造番号：R 380477
T 380477
型 式：K2CA-DO3-R2
製 造 年：1993年
定 格：5A
整 定 値：T4、L3、I30
- ・製造者：オムロン株式会社
製造番号：R 3Y0943
T 3Y0943
型 式：K2CA-DO3-R2
製 造 年：1993年
定 格：5A
整 定 値：T3.5、L3、I30
- ・製造者：オムロン株式会社
製造番号：R 2Y0722
T 2Y0722
型 式：K2CA-DO3-R2
製 造 年：1990年

定 格：5A
整 定 値：T4、L8、I40
・製造者：三菱電機株式会社
製造番号：R 3Y0938
 T 3Y0938
型 式：MOC-2TI-R
製 造 年：1987年
定 格：5A
整 定 値：T3、L1、I30

② 東テニス場

・製造者：泰和株式会社
製造番号：R 3756
 T 3756
型 式：TOC-MA10
製 造 年：1999年
定 格：5A
整 定 値：T3、L3、I30

カ 漏電火災報知器試験

以下の測定方法に基づき、測定箇所のタップ値ごとの動作電流測定を行い、良否判定を行うこと。判定の基準は、タップ値の50%～100%以内とする。

(ア) 測定箇所（ラグビー場）

・製造者：光商工株式会社
製造番号：238246
型 式：LEG-108L
製 造 年：1994年
定 格：110V
整 定 値：0.2A
・製造者：光商工株式会社
製造番号：238247
型 式：LEG-108L
製 造 年：1994年
定 格：110V
整 定 値：0.2A
・製造者：光商工株式会社
製造番号：238248
型 式：LEG-108L
製 造 年：1994年
定 格：110V
整 定 値：0.2A

キ 変圧器絶縁油耐圧酸価測定試験

以下の測定方法に基づき、測定箇所の良否判定を行うこと。

(ア) 絶縁油耐圧試験については、同一試料から2個の試料を採取し、各試料について5回ずつ計10回の測定を行うこと。

判定基準は、各々の初回の値を捨て、8回の平均が20kV以上であること。

(イ) 絶縁油酸価測定試験については、酸価測定値が0.2以下であること。

(ウ) 測定箇所

① ラグビー場

・試験器：変圧器 75kVA
用 途：電灯
製 造 者：三菱電機株式会社

製造番号：K175329

製造年：1994年

- ・試験器：変圧器 75kVA

用途：電灯

製造者：三菱電機株式会社

製造番号：K175328

製造年：1994年

- ・試験器：変圧器 150kVA

用途：動力

製造者：三菱電機株式会社

製造番号：(通電時)

製造年：2009年

- ・試験器：変圧器 50kVA

用途：スコットTR

製造者：三菱電機株式会社

製造番号：K430017K

製造年：1994年

② 東テニス場

- ・試験器：変圧器 30kVA

用途：電灯

製造者：三菱電機株式会社

製造番号：K172389

製造年：1992年

- ・試験器：変圧器 20kVA

用途：動力

製造者：三菱電機株式会社

製造番号：K190463

製造年：1992年

ク 電圧計・電流計校正試験

以下の測定方法に基づき、測定箇所の良否判定を行うこと。

- (ア) 電圧計については、100V、200V、400V、3,000V、6,000Vを基準として、その前後20%の範囲の5点について行うこと。
- (イ) 電流計については、測定範囲内の5点について行うこと。
- (ウ) 上記方法に基づき、許容差=最大目盛×誤差率÷100の値以下であること。
- (エ) 測定箇所(東テニス場)

・計器種類：電流計

用途：受電盤

ケ 発電機設備観察点検

(ア) 内燃機関

- ・本体の損傷、汚損がないか。
- ・計器の損傷、指示不良がないか。
- ・潤滑油装置の損傷、汚損、漏油がないか。
- ・燃料系統装置の損傷、汚損、漏水がないか。
- ・冷却水装置の損傷、汚損、漏水がないか。
- ・空気、燃料、冷却水タンクの損傷、漏油(水)がないか。

(イ) 発電機励磁機

- ・本体の損傷、汚損がないか。
- ・励磁機の損傷、汚損がないか。
- ・ブラシ、整流子、スリップリングの損傷、摩擦がないか。
- ・潤滑油装置の損傷、汚損、漏油がないか。

- ・ 抵抗器の損傷、汚損がないか。
 - (ウ) 蓄電池
 - ・ 本体の損傷、亀裂、腐食がないか。
 - ・ 充電装置の損傷がないか。
 - (エ) 配電盤 (制御盤)
 - ・ 本体の損傷、汚損はないか。
 - ・ 計器の損傷、指示不良はないか。
 - ・ 開閉器、ヒューズ、MCCBの損傷、変色がないか。
 - ・ 表示灯の損傷、不点がないか。
 - ・ 盤内配線の損傷、汚損がないか。
 - (オ) 接地線
 - ・ 損傷、断線がないか。
 - コ 発電機関係試験各種点検

以下の項目について、試験点検を行い、良否判定を行うこと。

 - (ア) 高圧回路絶縁抵抗測定試験
発電機 D種
 - (イ) 始動試験
 - (ウ) 充気試験
浮動充電電圧、蓄電池電圧、液面 (全セル) それぞれの電圧及び比重・液温等
 - (エ) シーケンス試験
自動起動、自動停止時の状態
 - (オ) 保護装置動作試験
ブザー、ベル、表示等警報の状況、遮断器の状況、機関の状況等継電器の種類ごとに確認すること。
- サ 蓄電池設備観察点検
 - (ア) 蓄電池
 - ・ 本体の損傷、汚損、腐食がないか。
 - ・ 電解液量の不足がないか。
 - ・ 極板、セパレーターの損傷、わん曲がないか。
- (イ) 充電装置
 - ・ 本体の損傷、汚損、腐食がないか。
 - ・ 計器、開閉器の損傷、指示不良がないか。
 - ・ 配線の損傷、腐食がないか。
- (ウ) 架台
 - ・ 本体の損傷、亀裂、腐食がないか。
- (エ) 接地線
 - ・ 損傷、断線がないか。
- シ 低圧関係各種点検

各配電盤低圧測定箇所の使用電圧に対する測定を行い、良否判定を行うこと。
なお、報告書には、名称、定格、使用電圧を明記すること。

- (ア) 測定箇所詳細 (ラグビー場)
 - ① 第1変電所キュービクル
 - ・ 電灯配電盤No. 1
予備、予備、FL-3-1、外灯、発電機直流盤、予備、DGR・FLR電源、所内電源、UGS電源、外灯自動
 - ・ 電灯配電盤No. 2
ML1-2、クラブハウス、SL1-1、予備、ラグビー協会、駐車管理事務所、無記名、ML-3-1、予備
 - ・ 動力配電盤
揚水ポンプ、クラブハウス、予備、予備、協会空調機、予備、予備、予備

- ・ 非常動力盤
発電機主幹、非常動力主幹、非常電灯主幹、消火ポンプ、直流電源装置、予備
 - ・ 非常電灯盤
非常照明主幹、発電機電気室、非常照明、予備、発電機電気室、予備
 - ・ 電灯動力盤
1ML-1、ML2-1、FL-3、1ML-1、3P-1、ELV、圧力給水ポンプ
 - ・ 電光表示設備用
電光表示設備No. 1、電光表示設備No. 2、予備、予備、制御AC100V、制御DC100V
- ② 第2変電所キュービクル
- ・ 電灯配電盤
LB-1バックスタンドS、LB-2バックスタンドN、LB-3Nバックスタンド中、予備、NHK、操作回路
 - ・ 動力配電盤
PM-1 a 散水ポンプ、PM-1 b 排水送風、PM-2 Nスタンド、予備、滅菌器制御盤
- (イ) 測定箇所詳細 (東テニス場 (キュービクル))
- ・ 動力配電盤
クラブハウス空調機、予備、予備
 - ・ 電灯配電盤
1F電灯盤、予備、2F電灯盤、UGS電源、DGR電源、所内電源
 - ・ 1階電灯分電盤
主幹、分岐×6回路
 - ・ 2階電灯分電盤
主幹、分岐
 - ・ 1階動力手元盤
左、右
 - ・ 蓄熱槽、遠隔制御盤、貯湯槽、CP-A-5盤
加熱槽循環ポンプ

VI-2 温水シャワー給湯自動温度調節装置保守点検

1 保守点検回数

- (1) 陸上競技場 プール系統
- | | | |
|---|-----|-----|
| ア レオナード一般給湯用温調ユニット (型式 RADA32RMX-50) | 3組 | 年2回 |
| イ レオナード一般給湯用温調ユニット制御盤 | 1面 | 年2回 |
| ウ レオナード一般給湯用温調シャワーセット (型式 ORAS160100ER) | 19台 | 年2回 |
- (2) 陸上競技場 第2クラブルーム・選手更衣室系統
- | | | |
|--------------------------------------|----|-----|
| ア レオナード一般給湯用温調ユニット (型式 RADA32RMX-50) | 9組 | 年1回 |
| イ レオナード一般給湯用温調ユニット制御盤 | 3面 | 年1回 |

2 一般事項

- (1) ミキシングバルブ等の分解点検整備及びシャワーヘッドの清掃を行うこと。
- (2) 保守点検に伴い、交換を必要とする部品及びパッキン類等は、各製造メーカーの製品を使用すること。
- (3) 各種パッキン類は、分解の都度新品を使用すること。
- (4) 分解点検整備完了後は、出湯温度の調整確認を行うこと。

3 点検内容

以下の項目について施設別に点検し、良否判定を行うこと。

- (1) プール系統
- ア レオナード一般給湯用温調ユニット (型式 RADA32RMX-50) の点検
- (ア) RADA32本体の分解点検清掃を行うこと。
 - (イ) サーモバルブの動作点検確認を行うこと。
 - (ウ) ストレーナーの分解点検清掃を行うこと。
 - (エ) 逆止弁の逆流点検及びコマパッキン点検を行うこと。
 - (オ) 循環ポンプの動作点検確認を行うこと。
 - (カ) 直読式流量計の流量調整点検を行うこと。
 - (キ) 温度コントローラ点検を行うこと。
- イ レオナード一般給湯用温調ユニット制御盤
- (ア) 手動及び自動開閉動作テストを行うこと。
 - (イ) 表示灯点検を行うこと。
- ウ レオナード一般給湯用温調シャワーセット (型式 ORAS160100ER)
- (ア) 温度コントローラ点検を行うこと。
 - (イ) シャワーヘッドの分解清掃点検を行うこと。
 - (ウ) 本体の清掃を行うこと。
- (2) 第2クラブルーム・選手更衣室系統
- ア レオナード一般給湯用温調ユニット (型式 RADA32RMX-50) の点検
- (ア) RADA32本体の分解点検清掃を行うこと。
 - (イ) サーモバルブの動作点検確認を行うこと。
 - (ウ) ストレーナーの分解点検清掃を行うこと。
 - (エ) 逆止弁の逆流点検及びコマパッキンの点検を行うこと。
 - (オ) 循環ポンプの動作点検確認を行うこと。
 - (カ) 直読式流量計の流量調整点検を行うこと。
 - (キ) 温度コントローラの点検を行うこと。
- イ レオナード一般給湯用温調ユニット制御盤
- (ア) 手動及び自動開閉動作テストを行うこと。
 - (イ) 表示灯の点検を行うこと。

VI-3 温水シャワー用温度調整器等保守点検

1 保守点検場所等

点検場所・対象機器・数量・点検回数は下記一覧による

2 一般事項

- (1) ミキシングバルブの分解点検整備及びシャワーヘッドの清掃を行うこと。
- (2) 保守点検に伴い、交換を必要とする部品及びパッキン類等は、各製造メーカーの製品を使用すること。
- (3) 各種パッキン類は、分解の都度新品を使用すること。
- (4) 各摺動部には、グリスアップを行うこと。
- (5) 機器内及びフィルター等は、きれいに水洗いを行うこと。
- (6) 分解点検整備完了後は、出湯温度の調整確認を行うこと。

3 点検場所・対象機器・数量・点検回数 一覧

場 所	使用機器	数量	点検回数
ミキシングバルブ分解点検整備			
トレーニングセンター	TM440B-20 (TOTO 製)	5 台	年 3 回
	TM440B-25 (TOTO 製)	8 台	年 3 回
	TM440B-35 (TOTO 製)	1 台	年 3 回
体育館	19068EX (クローエ社製)	1 台	年 3 回
西テニス場	19068EX (クローエ社製)	4 台	年 3 回
シャワーヘッド清掃			
トレーニングセンター	TB17R (TOTO 製)	12 個	年 1 回
体育館	TB17R (TOTO 製)	5 個	年 1 回
西テニス場	TB17R (TOTO 製)	20 個	年 1 回
東テニス場	TB17R (TOTO 製)	17 個	年 1 回

VI-4 給湯設備保守点検

- 1 保守点検回数 真空式温水発生器（バコティンヒーター）
年2回（トレーニングセンター・水泳場・体育館・東テニス場・西テニス場）

2 保守対象設備

設置場所	機器	製造業社名	規格	数量
1 トレーニングセンター	給湯器	(株)タクマ	GFL-300	2基
2 水泳場	給湯器	(株)タクマ	GFL-500	3基
3 体育館	給湯器	(株)タクマ	GHL-100	1基
4 東テニス場	給湯器	(株)タクマ	GHL-100	1基
5 西テニス場	給湯器	(株)タクマ	GHL-100	1基

3 点検項目

- (1) 本体関連
- ア 真空度確認
 - イ 水位点検
 - ウ 火炉点検
 - エ 水管点検
 - オ 煙室排ガス漏れ点検
 - カ 抽気作業
 - キ 逆止弁点検
 - ク 抽気用電磁弁点検
 - ケ 抽気装置作動確認
 - コ 抽気中配管点検
 - サ 水面視ガラス説込点検
- (2) 制御装置
- ア サーミスタ点検
 - イ 温度調節器作動確認
 - ウ 各表示灯及びブザー点検
 - エ 燃焼時間確認
 - オ 各ターミナル端子増締め
 - カ 圧力センサー作動確認
- (3) 安全装置
- ア 圧力スイッチ作動確認
 - イ 温度ヒューズ点検
 - ウ 溶解栓点検
 - エ ガス圧スイッチ作動確認
 - オ 風圧スイッチ作動確認
 - カ 空気圧カスイッチ作動確認
 - キ 異常消火表示確認
 - ク 感震装置作動確認
- (4) 燃焼装置
- ア パイロット弁点検
 - イ 主遮断弁点検
 - ウ 火炎探知機清掃及び点検
 - エ 点火電極棒清掃及び点検
 - オ 点火検知機清掃及び点検
 - カ 比例制御弁作動確認

- キ 点火トランス点検
 - ク ダンパモーター点検
 - ケ バーナーモーター点検
 - コ 流動調整弁作動点検
 - サ パイロットガバナ点検
 - シ パイロットノズル清掃
 - ス 外部ガス漏れ確認
 - セ エアフィルター清掃
- (5) 燃焼関係
- ア 排気ガス中の酸素濃度測定
 - イ 排気ガス中の一酸化炭素測定
 - ウ 各ガス圧力測定
 - エ 火炎探知電力測定
 - オ 排ガス温度測定
 - カ 燃焼バランス点検調整

VI-5 節水洗浄装置（アクアエース）保守点検

- 1 保守点検回数 陸上競技場 年2回
ラグビー場 年1回

2 保守対象設備

(1) 陸上競技場

名 称	設 置 場 所	数 量	備 考
アクアエース節水制御盤 (機種 UD101)	陸上競技場制御室	1面	
ステーションモジュール盤		22面	
	3階回廊メインスタンド便所	(4面)	
	〃 バックスタンド便所	(5面)	
	〃 サイドスタンド便所	(4面)	
	4階回廊バックスタンド便所	(9面)	
コントロールボックス (和・洋便コントローラー)	3階回廊バックスタンド便所	8面	

(2) ラグビー場

名 称	設 置 場 所	数 量	備 考
アクアエース節水制御盤 (機種 UD117)	ラグビー場クラブハウス	1面	
ステーションモジュール盤		30面	
	メインスタンド便所	(14面)	
	〃 記者室便所	(1面)	
	バックスタンド便所	(12面)	
	北スタンド便所	(3面)	
コントロールボックス (和・洋便コントローラー)	メインスタンド便所	4面	

3 点検項目

(1) 制御部

- ア 作動状況
- イ 電源スイッチ、制御スイッチの作動、過熱
- ウ 切替スイッチ、テストスイッチの作動、過熱
- エ マグネットスイッチ、リレーの作動、過熱、異音
- オ プログラムタイマー、補助リレーの遅延、作動、異音
- カ 基盤の作動、過熱
- キ 表示ランプの点灯（電源、遮断、警報）
- ク 押しボタンスイッチ、ドアスイッチ、シートスイッチの作動、損傷
- ケ ファーマスタットの作動

(2) タンク部関係

- ア コンセント、コネクターの装着状況（はずれ、ゆるみ）
- イ サイホンモジュールの作動、損傷
- ウ タンク内のごみ、異物及び漏水
- エ 電磁サイホンのクサリ、弁体パッキンの異常
- オ サイホンの作用、洗浄水の流れ具合
- カ レベルスイッチの作動、警報感知部のフロート、クサリの異常
- キ ボールタップの作動、パッキンの損傷
- ク バルブストレーナー内のごみ状況及び清掃
- ケ ホーロータンクの汚れ、フィンガーペットの作動、損傷

- (3) トイレ状態
 - ア 臭気状況
 - イ 洗浄管の状況
 - ウ 便器の状況
 - エ 給水、配水管の状況

VI-6 ラグビー有料駐車場自動料金精算システム保守点検

- 1 保守点検回数 年間6回（偶数月に実施）
- 2 保守対象設備 アマノパーキングシステム 自動料金精算システム（75N）
- | | |
|--------------------|----|
| 駐車券発行機（GT-2800N） | 1台 |
| 料金精算機（出口用 NT-7700） | 1台 |
| 料金精算機（事前用 NT-7800） | 1台 |
| カーゲート（NT-1500） | 2台 |
| 入口表示灯 | 2台 |
| 出口表示灯 | 2台 |
| 台数カウンター | 1台 |

3 一般事項

- (1) 保守点検業務による交換部品（駐車券及び集計用ロール紙を除く）は、受注者の負担とする。
- (2) 2ヶ月に1回（原則として第4火曜日）技術員を派遣し、機器の点検を実施する。
なお、点検実施月は偶数月とする。
- (3) 点検項目は、別紙3-2のとおりとする。

VI-7 陸上競技場電光表示設備保守点検

1 保守点検回数

年間1回実施とし、大型映像装置・映像システムを含む総合点検とする。

2 保守対象設備一覧

(1) 松下電器産業株式会社製 大型映像表示装置 (平成13年度設置)

(2) 映像情報システム

- ア 映像機器収納架
- イ 表示データ処理装置架
- ウ 表示制御卓
- エ モニター棚
- オ ビデオ文字発生卓
- カ コピーカメラ卓/ビデオプリンター卓
- キ プリンター卓
- ク サーバーコンピューター卓
- ケ 編集用パソコン卓1
- コ 編集用パソコン卓2
- サ 競技表示操作卓
- シ 得点/時計操作卓
- ス ノンリニア編集卓
- セ 競技I/Fパソコン卓
- ソ 無停電電源装置
- タ 映像情報システム分電盤
- チ 時計制御器
- ツ 信号端子盤
- テ 日本陸連情報処理システム卓
- ト 簡易操作システム

(3) 場内カメラシステム

- ア 移動式カメラ (1.8倍ズーム)
- イ 移動式カメラ (3.3倍ズーム)
- ウ カメラケーブルドラム
- エ インカム装置
- オ ハンディカメラ
- カ 監視カメラ
- キ 監視カメラ用モニター

※ 明細は、別紙3-3参照。

3 点検項目

- | | |
|--------------|--|
| (1) 一般保守点検 | 外観構造確認
ケーブル・コネクタ確認
清掃 |
| (2) 表示画面保守点検 | LEDパネルの輝度調整
制御ユニットのデータバックアップ
色再現性の確認
表示パネル色調整
冷却ファン点検
フィルター清掃
電源電圧確認調整
輝度測定 |
| (3) 制御装置保守点検 | 表示盤制御動作確認
アラーム動作確認 |

- (4) 送出設備保守点検
 - 信号レベル確認調整
 - 制御パソコン点検
 - 無停電電源装置点検
 - スポーツ競技端末（SCT）システム動作の確認
 - 各端末のログの収集、解析
 - 各映像装置点検
 - 競技表示動作確認
 - 映像確認調整
- (5) モニター装置保守点検
 - システム総合点検
 - カメラ駆動試験
 - 映像調整
 - 清掃
 - モニターテレビ点検調整

VI-8 ラグビー場電光表示設備保守点検

1 保守点検回数

年間1回実施とし、大型映像装置・映像システムを含む総合点検とする。

2 保守対象設備一覧

- (1) 東芝トランスポートエンジニアリング株式会社製 大型映像表示装置（平成14年度設置）
- (2) 大型映像装置
 - (ア) LED表示部
 - (イ) LEDコントローラー
 - (ウ) 分電盤
 - (エ) 電源盤
 - (オ) 塔時計
 - (カ) 45分競技時計
 - (キ) ランニングタイマー
 - (ク) 信号端子盤
 - (ケ) 換気設備
 - (コ) 照明器具
- (3) 映像システム（明細は、別紙3-4参照。）
 - (ア) 送出機器
 - (イ) 映像・音声加工機器
 - (ウ) モニター（V/A）機器
 - (エ) アナウンスブース機器
 - (オ) システム関係機器
 - (カ) 遠隔操作カメラ関連
 - (キ) ビデオサーバー/ストリーミング関係機器
 - (ク) 中継車・LED送出関係機器
 - (ケ) 送出室内機器

※ 明細は、別紙3-4参照。

3 点検項目

- | | |
|----------------|---|
| (1) 一般保守点検 | 外観構造確認
ケーブル・コネクタ確認
清掃 |
| (2) 表示画面保守点検 | 色再現性の確認
表示パネル色調整
冷却ファン点検
フィルター清掃
電源電圧確認調整
輝度測定 |
| (3) 制御装置保守点検 | 表示盤制御動作確認
アラーム動作確認
信号レベル確認調整
制御パソコン点検
無停電電源装置点検 |
| (4) 送出設備保守点検 | 各映像装置点検
映像・音声信号入出力確認
競技表示動作確認
システム総合点検 |
| (5) モニター装置保守点検 | カメラ駆動試験
映像・音声信号入出力確認 |

- 映像調整
- 清掃
- モニターテレビ点検調整
- (6) ビデオサーバー・ストリーミング関係機器
 - 映像・音声信号入出力確認
 - ビデオサーバー動作確認
 - モニター映像確認
- (7) 送出室内機器
 - スイッチャー動作確認
 - マルチビューワー動作確認

VI-9 自動制御設備保守点検

1 保守点検回数

全ての項目を、総合点検として年間で一巡して実施する。

2 保守対象設備概要

- (1) 設置場所
国立霞ヶ丘競技場内制御室
- (2) 導入時期
1978年
- (3) 設備経過年数
30年
- (4) 設置当時製造会社名
鷺宮ジョンソンコントロールズ株式会社製
- (5) 対象設備 (Ibmamax-MXII 総合ビル管理制御システム)
 - ア 中央監視装置 (Ibmamax-MXII本体 1式)
 - (ア) セントラルシステム
オペレータステーション (ディスプレイ、メッセージプリンター、インターホン)
 - (イ) グラフィックドライバー 1式
 - イ ローカルシステム 1式
 - (ア) ローカルコントロールユニット 24箇所
 - (イ) ローカル盤関係 (発停、警報、積算、監視)
 - ・陸上競技場ローカル盤 23面609ポイント
 - ・ラグビー場ローカル盤 6面161ポイント
 - ・東テニス場ローカル盤 1面 16ポイント
 - ・西テニス場ローカル盤 1面 25ポイント(管理ポイント数 合計 31面811ポイント)

3 保守点検作業内容

- (1) 中央監視装置
 - ア オペレータステーション (Ibmamax-MXII)
 - (ア) 各部清掃点検
 - ・本体外部清掃点検
 - ・本体内部清掃点検
 - ・エアフィルタ清掃
 - ・カード清掃及び目視点検
 - (イ) 各接続点検
 - ・プラグイン点検
 - ・カードコネクタ点検
 - ・ヒューズ及びホルダ点検
 - ・ねじ止め部点検
 - ・ケーブルのねじれ及び破損点検
 - (ウ) 電源装置点検
 - ・供給電源点検
 - ・出力電圧点検
 - (エ) スイッチ・ランプ点検
 - ・スイッチ動作点検
 - ・ランプ点灯点検
 - (オ) 機能点検
 - ・自己診断機能の点検
 - ・警報機能の点検

- ・表示部機能の点検
 - ・補助記憶部の点検
 - ・ファン動作点検
 - ・通信機能の点検
 - ・オプション通信カードの機能点検
 - ・システムプログラムによる動作点検
 - ・インターホンの外観、セントラルローカル盤間の通話状態の確認
- イ 液晶ディスプレイ装置（CRT+キーボード）
- (ア) 各部清掃点検
 - ・本体外部清掃点検
 - ・本体内部清掃点検
 - (イ) 各接続部点検
 - ・プラグイン点検
 - ・カードコネクタ点検
 - ・ヒューズ及びホルダ点検
 - ・ねじ止め部点検
 - ・ケーブルのねじれ及び破損点検
 - (ウ) 電源装置点検
 - ・供給電源点検
 - ・タッチパネル電源点検
 - (エ) 機能点検
 - ・表示色、輝度、歪みの点検
 - ・キーボードイン点検
 - ・タッチパネルの点検
 - ・警報音の確認
- ウ メッセージプリンター
- (ア) 各部清掃点検
 - ・本体外部清掃点検
 - ・本体内部清掃点検
 - (イ) 各接続部点検
 - ・プラグイン点検
 - ・ヒューズ及びホルダ点検
 - ・ケーブルのねじれ及び破損点検
 - ・カードコネクタ点検
 - (ウ) スイッチ、ランプ点検
 - ・スイッチの動作点検
 - ・ランプの点灯点検
 - (エ) 機構部点検
 - ・各部注油グリスアップ
 - (オ) 機能点検
 - ・自己診断機能の点検
 - ・オンライン印字テストの実施確認
 - ・インクリボンの点検
 - ・紙送り機能の点検
- エ グラフィックドライバー
- (ア) 各部清掃点検
 - ・躯体外部清掃点検
 - ・カード清掃及び目視点検
 - (イ) 各接続部点検
 - ・プラグイン点検

- ・カードコネクタ点検
- ・ヒューズ及びホルダ点検
- ・端子の緩み点検
- ・ケーブルのねじれ及び破損点検
- (ウ) 電源装置点検
 - ・供給電源点検
- (エ) スイッチ、ランプ点検
 - ・スイッチの動作点検
 - ・ランプの点灯点検
- (オ) 機能点検
 - ・基本部の点検
 - ・通信機能の点検
 - ・グラフィックパネル点灯機能点検
 - ・データ設定器との送受信機能点検
- (2) ローカルコントロールユニット
 - ア 各部清掃点検
 - (ア) 躯体外部清掃点検
 - (イ) カード清掃及び目視点検
 - (ウ) ベースボード清掃及び目視点検
 - イ 各接続部点検
 - (ア) カードコネクタ点検
 - (イ) ヒューズ及びホルダ点検
 - (ウ) 端子の緩み点検
 - (エ) ケーブルのねじれ及び破損点検
 - (オ) プラグイン点検
 - ウ 電源装置点検
 - (ア) 供給電源点検
 - (イ) モーター電源点検
 - エ スイッチ、ランプ点検
 - (ア) スイッチ設定点検
 - (イ) LEDランプの点灯点検
 - オ 機能点検
 - (ア) 基本部の点検
 - (イ) 通信機能の点検
 - (ウ) 入出力特性機能の点検
 - (エ) データ設定器との送受信機能点検
 - (オ) システム動作による制御状況点検
 - (カ) 発停ポイントの作動確認をすること。
 - (キ) 状態、警報ポイントの作動確認をすること。
 - (ク) 計測ポイントの実測及び変換器出力との校正
 - (ケ) 積算ポイントの点検
 - (コ) ハンディーターミナルによるデータ確認及びその良否
ハンディーターミナルについては、製造メーカーのライセンス許諾、または使用許可を受けているものを使用すること。

VI-10 吸収式冷温水発生機保守点検

1 保守対象設備及び保守点検回数一覧

ア	国立霞ヶ丘陸上競技場	合計10基（うち、冷却塔一体型5基）	
(ア)	3階回廊系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷温水発生機 CH-G100H		1基
	・ 冷温水ポンプ		1台
	・ 冷却水ポンプ		1台
(イ)	3階回廊系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷温水発生機 CH-V200ULL		1基
	・ 冷温水ポンプ		1台
	・ 冷却水ポンプ		1台
(ウ)	大会行事系統		
	1式年1回（冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷却塔一体型冷温水発生機 CH-VX50P		3基
	・ 冷温水、冷却水ポンプ内蔵		
(エ)	5階スカイラウンジ系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷温水発生機 CH-V20		1基
	・ 冷温水ポンプ		1台
	・ 冷却水ポンプ		1台
(オ)	大会運営室系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷却塔一体型冷温水発生機 YCHV-20EMSHQ		2基
	・ 冷温水、冷却水ポンプ内蔵		
イ	東テニス場		
(ア)	東テニス場系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷温水発生機 CH-G30		1基
	・ 冷温水ポンプ		1台
	・ 冷却水ポンプ		1台
ウ	西テニス場		
(ア)	西テニス場系統		
	1式年2回（暖冷・冷暖切替点検＋保守点検整備）		
	・ 冷温水発生機 CH-D20		1基
	・ 冷温水ポンプ		1台
	・ 冷却水ポンプ		1台

2 機器仕様表

別紙3-5「国立霞ヶ丘競技場吸収式冷温水発生機 機器仕様表」の通り。

3 点検項目及び保守点検内容

(1) 点検業務共通事項

監督職員の承認を得て交換した部品及び作業費については、当場の負担とするが、交換部品等については、製造メーカー推奨品とすること。

(2) 点検項目及び保守点検内容

ア 設置状況確認

(ア) 固定金具、アンカーの確認

(イ) 機器の水平確認

イ 本体外観

- (ア) 外観、機器の固定確認
- ウ 本体関係
 - (ア) 部品脱落、固定の確認
 - (イ) 異常音、振動の有無確認
 - (ウ) 本体内部の発錆、断熱材劣化等の確認
 - (エ) パラジウムセルの確認
 - (オ) 溶栓樹脂量の確認
 - (カ) センサー部のオイル確認
 - (キ) 真空排気確認（排気量、排気ガス質点検）
 - (ク) 真空バルブの点検（ステム、弁体）
- エ 冷温水、冷却水関係
 - (ア) 水漏れの確認（冷温水系、給水系）
 - (イ) 水漏れの確認（冷却水系）
ただし、暖房前切替時を除く。
 - (ウ) 冷温水循環水量の確認
 - (エ) 冷却水循環水量の確認
ただし、暖房前切替時を除く。
 - (オ) エアー抜き弁の作動確認
 - (カ) 圧力、温度計の確認
 - (キ) 流量スイッチの動作確認
 - (ク) 冷却水コイルのスケール汚れ診断（LTD）
ただし、暖房前切替時を除く。
- オ 電気関係
 - (ア) 部品脱落、欠品の確認
 - (イ) 電源確認（相、電圧）
 - (ウ) 遠隔操作盤による運転確認
 - (エ) 電磁接触器設定の確認
 - (オ) ブロック及び基盤類の取付及び作動確認
 - (カ) センサー類の取付及び動作確認
 - (キ) 運転、回数の確認
 - (ク) 感震スイッチの作動確認
 - (ケ) 端子の緩み、コネクタの接続、損傷確認
 - (コ) 本体絶縁抵抗の測定、確認
- カ 補機関係
 - (ア) 溶液循環ポンプの電流値測定確認
 - (イ) 溶液循環ポンプの異音・振動の確認
 - (ウ) 送風機の電流値測定確認
 - (エ) 送風機の異音・振動確認
- キ 各部温度
 - (ア) 冷温水出入口温度
 - (イ) 冷却水出入口温度
ただし、暖房前切替時を除く。
 - (ウ) 蒸発器温度
 - (エ) 高温再生器温度
 - (オ) 凝縮器温度
ただし、暖房前切替時を除く。
 - (カ) 排ガス温度
 - (キ) シスターン確認
 - (ク) 冷却水コイルのスケール汚れ診断（LTD）

ク 燃焼関係

- (ア) ガス漏れ確認
- (イ) 燃焼制御動作の確認
- (ウ) ガス電磁弁、圧力調整ガバナの作動確認
- (エ) ガス圧力点検、調整
- (オ) エアークントロール装置の動作、位置点検、調整
- (カ) 風圧点検、調整
- (キ) フレーム電流値測定
- (ク) 排ガス分析（酸素濃度、一酸化炭素濃度）
- (ケ) 燃焼状態確認（点火、火移り、振動、異音、消火）
- (コ) コネクター類の接続確認
- (サ) 風圧スイッチの動作確認
- (シ) 給気ダクトの接続状態確認
- (ス) 煙室の固定、排気筒の接続、排ガスの漏れ確認

ケ 冷温水ポンプ電動機

- (ア) 腐食損傷並びに漏洩の有無
- (イ) 運転状況の回転方向、異音、振動、発錆の確認
- (ウ) 電流電圧、運転電流の点検
- (エ) グラウンドパッキンの調整確認
- (オ) 絶縁抵抗測定

コ 冷却水ポンプ電動機

ただし、暖房前切替時を除く。

- a 腐食損傷並びに漏洩の有無
- b 運転状況の回転方向、異音、振動、発錆の確認
- c 電流電圧、運転電流の点検
- d グラウンドパッキンの調整確認
- e 絶縁抵抗測定

サ 冷却塔

冷却塔一体型冷温水発生機のみ実施すること。

- (ア) 冷却塔水槽関係
 - a 水槽、ストレーナー、消音マットの清掃
 - b 充填材、ルーバーの確認
 - c ボールタップの動作確認ただし、暖房前切替時を除く。
 - d 散水器の回転状況確認
 - e 水位確認スイッチの清掃、作動確認
 - f 排水電磁弁の清掃、作動及び水抜き確認
 - g 給水圧力スイッチの清掃、作動及び水抜き確認
 - h 冷却水系水抜きただし、冷房前切替時を除く。
- (イ) 冷却塔ファン関係
 - a ファンの回転方向、異音、振動確認ただし、暖房前切替時を除く。
 - b ファンの固定、羽根軸の状態確認（変形、クラック）
 - c ファンブラケットの固定、状態確認（変形、クラック）
 - d ファンベルトの調整
 - e ファンベアリング部の確認
 - f ファンモーターの電流、絶縁抵抗値測定、確認
 - g ファンモーターの異音、振動、発錆確認
 - h 冷却水温度センサーの取付状況、作動温度確認

- (ウ) 水質確認
 - a ブローダウン量の確認

VI-11 陸上競技場写真判定装置及び陸上競技用精密機器保守点検

1 保守点検回数 総合点検 年1回

2 保守対象設備	(1) 陸上競技場電子式写真判定装置 (平成20年設置)	1式
	(2) 陸上競技運営コンピューターシステム (平成8年設置)	1式
	(3) 陸上競技用精密機器	
	ア 光波距離測定装置	1台
	イ フィールド電光掲示盤	3台
	ウ 連発式スタート発信装置	1式
	エ 超音波風速計	3台
	オ フィニッシュタイマー	1台
	カ フィールド距離表示盤	1台
	キ 走幅跳・三段跳距離測定装置	1式
	ク デジタルフィールド制限タイマー (CV)	6台
	ケ 電子式周回表示盤	1台
	コ スターター拡声装置	1式
	サ 電子式棒高跳支柱	1式
	シ 全自動フラッシュピストル	2丁

3 点検内容

(1) 電子式写真判定装置

ア 写真判定装置 (MF700V)

- ・制御部本体・カメラ・各種ケーブルを元振校正
- ・各機構部再組立調整
- ・消耗部品交換
- ・ロングラン通電試験
- ・環境試験機エージングテスト
- ・スタート信号機能
- ・録画撮影機能
- ・着順判定機能
- ・映像調整機能
- ・タイミング精度確認

(2) 陸上競技運営コンピューターシステム

ア コンピューターシステム

- ・サーバー
- ・記録コントロール
- ・大型映像コントロール
- ・アナウンス・モニター
- ・トラック入力

*写真判定装置については、事前にオーバーホールを行うものとする。

(3) 陸上競技用精密機器

*下記の項目については外観点検及び動作点検を行うものとする。

ア 投てき光波距離測定装置ヘリオス6 (MS112A)

- ・側距部・各種ケーブルを光波校正
- ・各機構部再組立調整
- ・通信試験
- ・エージングテスト
- ・外観確認
- ・液晶表示調整

- ・計測機能
 - ・データ出力機能
- イ フィールド電光掲示盤（マグサイン式 MS132・7セグ型 MS800）
- ・各表示調整
 - ・各動作確認
 - ・光波距離計とのオンライン確認
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認
- ウ 連発式スタート発信装置（MS410 8ピストル）
- ・計測器による調整
 - ・出力信号動作試験
 - ・各部外観確認
 - ・タイミング精度確認
 - ・メインピストル、サブピストル、各種ケーブルを清掃クリーニング
 - ・チャージランプ、ストロボ状態確認
- エ 超音波風速計（MS222T）
- ・操作盤、デテクター、各種ケーブルをアネモネータ(風洞試験機)にて起動風速
 - ・センサー試験
 - ・調整
 - ・エージングテスト
 - ・液晶表示確認
 - ・各部外観確認
- オ フィニッシュタイマー（MS301W）
- ・タイム誤差
 - ・表示動作
 - ・連動動作試験
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認
 - ・操作盤による各機能動作確認
 - ・データ出力機能
- カ フィールド距離表示盤（MS535）
- ・走幅跳・三段跳距離測定装置本体連動表示確認
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認
- キ 走幅跳・三段跳距離測定装置（MS531）
- ・光軸調整
 - ・計測距離の校正、オフセット調整
 - ・エージングテスト
 - ・データ出力信号試験
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認
 - ・各操作による動作確認
- ク デジタルフィールド制限タイマー（MS158C）
- ・タイム誤差確認
 - ・表示動作試験
 - ・スイッチによる動作確認
 - ・各種動作確認
 - ・各部外観確認

- ケ 電子式周回表示盤 (MS 1 4 0)
 - ・表示調整
 - ・操作盤からの入力機能
 - ・リモートスイッチからの入力機能
 - ・各種動作確認
 - ・各部外観確認
- コ スターター拡声装置 (MS 2 8 1)
 - ・音の明瞭度
 - ・実通達距離確認
 - ・送受信感度
 - ・音量調整
 - ・各部外観確認
- サ 電動棒高跳用支柱 (MS 5 2 0 C)
 - ・バー受けの昇降動作確認
 - ・ベース部アップライト動作確認
 - ・アップライト表示盤表示確認
 - ・操作盤による入力機能
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認
- シ 全自動フラッシュピストル (MS 3 7 7)
 - ・清掃クリーニング
 - ・計測器による調整
 - ・出力信号動作試験
 - ・各動作確認
 - ・チャージランプ、ストロボ状態確認
 - ・各部外観確認
 - ・各ケーブル導通確認

VI-12 陸上競技場中央監視制御装置保守点検

1 点検回数 年1回(総合点検)

2 保守対象設備 (平成11年度設置)

(1) マシンユニットコントローラー		2台
(2) メインコントロールエンジン		2台
(3) グラフィックパネル		1面
(4) 無停電電源装置(UPS 5KVA)		1台
(5) グラパネシーケンサー		1台
(6) 盤		8面
(7) 照明制御盤		1面
(8) メッセージプリンター		1台
(9) ログインプリンター		1台
(10) 入出力ポイント		1台
"	(警報)	73点
"	(計測)	82点
"	(計量)	31点

3 一般事項

点検項目

(1) 対象設備の外観点検		
ア 損傷の有無		
イ 部品の取り付け状態		
ウ 端子部・接続部の増締め		
エ 清掃点検		
オ ポーリング点検		
カ 操作・状態変化の点検		
キ 監視警報入力点検		
ク アナログ機能点検		
ケ カウント機能点検		
(2) 電圧測定		
ア (監視)電圧測定		
イ 伝送信号電圧測定		
(3) 端末器各データー		
ア 入出力ポイント確認	(警報)	73点
イ 入出力ポイント確認	(計測)	82点
ウ "	(計量)	31点

VI-13 トレーニングセンターサウナ・浴槽設備、プール採暖設備保守点検

1 保守点検回数

- (1) トレーニングセンター
 - ア 浴槽濾過設備 年間1回（8月実施予定）
 - イ 浴槽濾過設備滅菌装置 年間2回（8月、1月実施予定）
 - ウ サウナストーブ設備 年間1回（8月実施予定）
- (2) 水泳場
 - ア 採暖設備 年間1回（8月実施予定）
 - イ 採暖設備滅菌装置 年間2回（8月、1月実施予定）
 - ウ 滅菌装置の消耗部品交換は、年間1回とする（1月実施予定）

2 保守対象設備

- (1) トレーニングセンター
 - ア 浴槽濾過設備 4基（男女）
 - イ 濾過設備 4基
（濾過器・滅菌装置・熱交設備他）
 - ウ ジェットバス設備 2基
 - エ バイブラス設備 2基
 - オ サウナストーブ設備 2基（男女）
- (2) 水泳場
 - ア 採暖設備 2基（男女）
（濾過器・滅菌装置・熱交設備他）

※ 詳細は、別紙3-6「保守対象設備一覧」のとおり

3 一般事項

点検内容

- (1) トレーニングセンター浴槽濾過設備
 - ア 濾過機本体
 - (ア) 濾材点検
 - (イ) 三方・五方操作弁点検
 - (ウ) 空気抜き・排水弁点検
 - (エ) 水漏れ・亀裂・変形
 - (オ) 運転・逆洗時のタンク圧力
 - イ 循環ポンプ
 - (ア) 振動・異音の有無
 - (イ) 水漏れ・異常発熱
 - (ウ) グランド・カップリング
 - (エ) 電流値、絶縁抵抗値
 - (オ) 運転圧力等
 - ウ 滅菌装置
 - (ア) 注入逆止弁の点検
 - (イ) エアロック・ホースの点検
 - (ウ) タンク内吸い込み口点検
 - (エ) 部品キット・チャッキバルブ交換（年間1回）
 - エ 熱交装置
 - (ア) 二方・三方弁の作動点検
 - (イ) 温度調節器の作動点検
 - (ウ) 弁・配管周囲からの水漏れ
 - (エ) 安全弁の作動点検
 - (オ) 腐食・リークの点検

オ 集毛器

- (ア) 本体外・内部の点検
- (イ) 水漏れ・Ｏリングの点検
- (ウ) 排水弁・空気抜き弁の点検

カ 配管設備

- (ア) 排水弁・空気抜き弁・制御弁の点検
- (イ) 配管経路の漏水点検

キ 制御盤

- (ア) 漏電遮断機の動作試験
- (イ) 電磁接触器・リレーの点検
- (ウ) スイッチ・ランプの点検
- (エ) 盤内絶縁抵抗
- (オ) インターロック試験

(2) トレーニングセンタージェットバス設備

ア 浴槽内

- (ア) ノズル部点検
- (イ) 圧力の状態

イ ジェットポンプ

- (ア) 振動・異音の有無
- (イ) 水漏れ・異常発熱
- (ウ) グランド・カップリング
- (エ) 電流値、絶縁抵抗値
- (オ) 運転圧力等

ウ 配管設備

- (ア) 制御弁の点検
- (イ) 配管経路の漏水点検

エ 集毛器

- (ア) 本体外・内部の点検
- (イ) 水漏れ・Ｏリングの点検
- (ウ) 排水弁・空気抜き弁の点検

オ 制御盤

- (ア) 漏電遮断機の動作試験
- (イ) 電磁接触器・リレーの点検
- (ウ) スイッチ・ランプの点検
- (エ) 盤内絶縁抵抗
- (オ) インターロック試験

(3) トレーニングセンターバイブラバス設備

ア 浴槽内

- (ア) 気泡の状態

イ バイブラブローア

- (ア) 振動・異音の有無
- (イ) 水漏れ・異常発熱
- (ウ) ベルトの点検
- (エ) エアフィルターの点検
- (オ) オイルの点検
- (カ) 運転圧力等
- (オ) 電流値、絶縁抵抗値

ウ 配管設備

- (ア) 配管経路の点検

エ 制御盤

- (ア) 漏電遮断機の動作試験
 - (イ) 電磁接触器・リレーの点検
 - (ウ) スイッチ・ランプの点検
 - (エ) 盤内絶縁抵抗
 - (オ) インターロック試験
- (4) トレーニングセンターサウナストーブ設備
- ア 熱源装置
 - (ア) ヒーターの点検
 - (イ) サーモ・温調器等の点検
 - (ウ) 運転時の電圧・電流値
 - イ 制御盤
 - (ア) 漏電遮断機の動作試験
 - (イ) 熱源装置の絶縁試験
 - (ウ) 電磁接触器・リレーの点検
 - (エ) スイッチ・ランプの点検
 - (オ) 盤内絶縁抵抗
 - (カ) インターロック試験
- (5) 水泳場採暖設備
- ア 濾過機本体
 - (ア) 濾材点検
 - (イ) 三方・五方操作弁点検
 - (ウ) 空気抜き・排水弁点検
 - (エ) 水漏れ・亀裂・変形
 - (オ) 運転・逆洗時のタンク圧力
 - イ 循環ポンプ
 - (ア) 振動・異音の有無
 - (イ) 水漏れ・異常発熱
 - (ウ) グランド・カップリング
 - (エ) 電流値、絶縁抵抗値
 - (オ) 運転圧力等
 - ウ 滅菌装置
 - (ア) 注入逆止弁の点検
 - (イ) エアロック・ホースの点検
 - (ウ) タンク内吸い込み口点検
 - (エ) 部品キット・チャッキバルブ交換（年間1回）
 - エ 熱交装置
 - (ア) 二方・三方弁の作動点検
 - (イ) 温度調節器の作動点検
 - (ウ) 弁・配管周囲からの水漏れ
 - (エ) 安全弁の作動点検
 - (オ) 腐食・リークの点検
 - オ 集毛器
 - (ア) 本体外・内部の点検
 - (イ) 水漏れ・Oリングの点検
 - (ウ) 排水弁・空気抜き弁の点検
 - カ 配管設備
 - (ア) 排水弁・空気抜き弁・制御弁の点検
 - (イ) 配管経路の漏水点検
 - キ 制御盤
 - (ア) 漏電遮断機の動作試験

- (イ) 電磁接触器・リレーの点検
- (ウ) スイッチ・ランプの点検
- (エ) 盤内絶縁抵抗
- (オ) インターロック試験

VI-14 加圧給水装置保守点検

- 1 保守点検回数 年2回
 2 保守対象設備 株式会社荏原製作所製
 加圧給水装置125UNLMS2518 (1式)

3 一般事項

(1) 点検項目及び点検内容は、下表のとおりとする。

点 検 項 目		点 検 内 容
全体	外観	水漏れ、発錆、破損、塗装剥離がないか
	据付状態	機器固定部のゆるみがないか
	振動・異音	異常な振動・騒音がないか
	回転方向	正常回転方向であるか
	電圧	定格電圧の10%以内、アンバランス3%以内であるか測定
	電流	定格電流以内であるか測定
	運転圧力	吐出し圧力測定
	絶縁抵抗	1.0Ω以上あるか
ポンプ	軸受部	グランドパッキン：滴下量が許容範囲内にあるか
	軸受	異常音がないか
	軸受潤滑油	適正量あるか、よごれがないか
	バランスシート	異常磨耗がないか
	カップリング	異常な芯ずれがないか カップリングゴムの異常な磨耗がないか
電動機	フレーム温度	異常な温度でないか
	軸受	異常音がないか
付属品	仕切弁	正常に開閉するか
	逆止弁	正常に開閉するか
	球形フレキ	亀裂、損傷、水漏れの有無
	フローリレー	正常に動作するか
	発信器	正常に動作するか
	圧力タンク	規定封入圧力であるか測定確認 (不足の場合は補充)
	圧力計 (連成計)	正常に表示するか
制御盤	電磁接触器	接点の磨耗・接触状態の確認
	サーマル値	設定値が正しいか確認
	ディップスイッチ	設定が正しいか
	データ設定	設定値が正しいか
	スイッチ作動点検	切り替えスイッチ等が正常に作動するか
	表示	液晶表示器が正常に表示するか
	配線	配線の損傷、端子部、コネクタ部に緩み・異常がないか
点 検 項 目		点 検 内 容
運転 制御	始動圧力	測定確認
	停止圧力	測定確認
	少水量停止動作	正常に停止するか
	インバータ運転	正常に運転するか (手動・自動)
	商用運転	正常に運転するか (手動・自動)
	バックアップ運転	正常に運転するか
	追加・解列運転	正常に追加・解列するか
	ローテーション運転	正常にローテーションするか
	警報発報	正常に発報するか
	故障代替運転	正常に切替るか

VI-15 冷凍機（チラーユニット）保守点検

- 1 保守点検回数 年2回
ただし、男女チラー用コンデンサー薬品洗浄整備作業は年1回とする。

2 保守対象設備

- (1) 冷凍機（チラーユニット） 2台
- ア 設置場所
1階トレーニングセンター機械室
- イ 型式
水冷式チリングユニット RUW-J4502
東芝キャリア空調システムズ株式会社製
- ウ 定格冷却能力
40.0kW
- エ 外観
高さ1,260mm×幅1,015mm×奥行680mm
- オ 総質量及び運転重量
278kg/288kg
- カ 電気特性
- (ア) 電源
三相200V 50/60Hz
- (イ) 運転電流
37.0A
- (ウ) 消費電力
10.5kW
- (エ) 力率
82.0%
- (オ) 始動電流及び始動方式
144A /直入順次
- キ 冷却装置
- (ア) 圧縮機
型式 全密閉式 / 5.5kw (2P) × 2
- (イ) 凝縮器
プレート式熱交換器
- (ウ) 冷却水
- ・入口温度 30℃
 - ・水量 140ℓ/min
 - ・水压損失 43.3kPa
 - ・出口温度使用範囲 21~45℃
- (エ) 水冷却器
プレート式熱交換器
- (オ) 冷水
- ・出口温度 7℃
 - ・水量 110ℓ/min (冷水入口温度12℃ → 冷水出口温度7℃)
 - ・水压損失 23.8kPa
 - ・出口温度使用範囲 5~15℃
- (カ) 冷媒制御
アキュレータピストン
- (キ) 冷媒（冷媒封入量）
R-22 (1.7×2)
- (ク) 冷却能力制御
0.50・100 %

- (ケ) 高・低圧ゲージ付き
 - ク 運転調整装置
 - (ア) 冷水サーモスタット付き
 - (イ) スイッチ
押しボタン
 - (ウ) 表示灯
電源、運転、故障ランプ付き
 - (エ) 遠方操作端子付き
 - (オ) 遠方表示端子
運転・故障
 - ケ 保護装置
 - (ア) 高圧スイッチ OFF : 2.06MPa
 - (イ) 低圧スイッチ OFF : 0.098MPa
 - (ウ) 圧縮機モータ加熱防止サーモ、圧縮機オーバロードリレー、可溶栓、凍結防止サーモ、制御回路ヒューズ
- (2) 冷却塔 (クーリングタワー) 2台
- ア 設置場所
3階回廊外冷却塔置場
 - イ 型式
丸型 (低騒音形)
 - ウ 冷却能力
490kW
 - エ 冷却水量
140ℓ/min
 - オ 電気特性
 - (ア) 電源
三相200V 50/60Hz
 - (イ) 消費電力
0.15kW
 - カ 送風機
4,890 m³/H
 - キ 外形寸法
1,285Φ×高さ1,005
 - ク 重量
85kg
 - ケ 付属品
吹出変更用エルボダクト (FRP)
- (3) 冷水循環ポンプ 2台
- ア 設置場所
1階トレーニングセンター機械室
 - イ 型式
ライン型
 - ウ 能力
40Φ×110ℓ/min×170kPa
- (4) 冷却水循環ポンプ 2台
- ア 設置場所
1階トレーニングセンター機械室
 - イ 型式
ライン型
 - ウ 能力

40Φ×140ℓ/min×250kPa

(5) 男女チラー用コンデンサー薬品洗浄整備作業 1式

3 一般事項

- (1) 基礎、固定部、外観の点検
 - ア 亀裂、腐食、沈下等の有無を確認すること。
 - イ 変形、破損等の劣化状況及び汚れの有無を確認すること。
 - ウ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を確認すること。
- (2) 冷媒及び水配管の点検
 - ア ガス漏れの有無を点検すること。
 - イ 配管の損傷、接触、磨耗、腐食等の有無を点検すること。
- (3) 冷凍機関連
 - ア 高圧ガス及び低圧ガスの圧力の測定を行い、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
 - イ 吐出及び吸入時のガスの温度の測定を行い、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
 - ウ 冷媒ガスの測定を行い、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
 - エ 冷凍機の油圧確認を行い、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
また、油漏れの有無を確認すること。
 - オ 絶縁状態について確認し、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
 - カ 運転音及び振動に異常がないかどうか確認すること。
- (4) 圧縮機関連
 - ア 圧縮機の運転時における主電源電圧変動が、許容範囲内にあることを確認すること。
- (5) 冷水及び冷却水系統
 - ア 漏れの有無を確認すること。
 - イ 弁の開閉の良否を確認すること。
 - ウ 冷却器入口及び出口の温度を確認し、機能として正常であることを確認すること。
- (6) 保安装置関連
 - ア 圧力及び温度が設定値内にある場合の作動状況を確認すること。
- (7) 冷却器本体
 - ア 腐食、磨耗等により、機能の低下、運転停止等がないか確認すること。
 - イ 変形、破損等の劣化状況を確認すること。
- (8) 冷水循環状況
 - ア 循環ポンプの運転状況（異常音及び振動等の有無）を確認すること。
 - イ 配管ストレーナーに詰まり等がないか確認すること。
 - ウ 運転時における主電源電圧の電流値が、許容範囲内にあることを確認すること。
 - エ メカニカルシール、軸受けの状態を確認すること。
 - オ 水漏れや異音等がないか確認すること。
- (9) 冷水循環ポンプ、冷却水ポンプ関連
 - ア ポンプ周囲の外観点検を行い、腐食、変形、汚れ等を確認すること。
 - イ ポンプの運転状況（異常音及び振動等の有無）を確認すること。
 - ウ 配管ストレーナーに詰まり等がないか確認すること。
 - エ メカニカルシール、軸受けの状態を確認すること。
 - オ 運転時における主電源電圧の電流値が、許容範囲内にあることを確認すること。
 - カ 必要に応じて取り外しの上、清掃を行うこと。
 - キ 冷水循環ポンプ、冷却水ポンプの絶縁状態について確認し、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
- (10) 冷却塔関連
 - ア 基礎、固定部、外観の点検を行い、損傷、変形、汚れ、亀裂、腐食、沈下等の有無を確認すること。
 - イ 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を確認すること。

- ウ 防振装置の損傷等の有無を確認すること。
 - エ 運転状況（異常音及び振動等の有無）を確認すること。
 - オ タワー送風機の運転状況（異常音及び振動等の有無）を確認すること。
 - カ ファンモーターの絶縁状態について確認し、その値が許容範囲内にあることを確認すること。
- (11) 男女チラー用コンデンサーの薬品洗浄整備作業を年1回実施すること。

VI-16 冷暖房設備（GHP）保守点検

1 保守点検回数 年間1回

2 保守対象設備

(1) 保守（FM）契約（定期点検・消耗品・交換部品等含む）
対象設備 12台 下記のとおり

設置場所	設置年月日	製造会社名	製造会社型式	数量
1 陸上競技場				
トレーニングセンター	2001.3.17	ヤンマーディーゼル株式会社	YNZJ560EAN	3台
	2001.1.16		YNZJ450EAN	1台
博物館	2002.3.19		YNZP450E2N	1台
			YNZP280E2N	2台
2 ラグビー場				
西スタンド	2009.5.14	三洋電機株式会社	SGP-H560M3G	4台
クラブハウス会議室	2000.10.23		SGP-CH450H1N	1台

(2) 点検（POG）契約（定期点検・消耗品のみ）
対象設備 4台 下記のとおり

設置場所	設置年月日	製造会社名	製造会社型式	数量
1 陸上競技場				
プール見学室	1994.4.9	ヤンマーディーゼル株式会社	Y4GPBX-2-N	1台
5階スカイラウンジ	1996.10.9	三洋電機株式会社	SGP-CH355F2N	1台
			SGP-CH280F2N	1台
制御室	1999.3.16		SGP-CH224G1N	1台

(3) 保守（FM）契約から点検（POG）契約への移行
GHPは設置後13年を経過すると保守契約の対象外となるため、点検契約へ移行する。
移行の対象設備及び移行年度は、下記の通り

移行年度	設置場所	設置年月日	製造会社名	製造会社型式	数量
2014	ラグビー場クラブハウス会議室	2000.10.23	三洋電機株式会社	SGP-CH450H1N	1台
		2001.3.17	ヤンマーディーゼル株式会社	YNZJ560EAN	3台
	2001.1.16	YNZJ450EAN		1台	
2015	博物館	2002.3.19		YNZP450E2N	1台
			YNZP280E2N	2台	

3 保守契約点検実施項目

(1) 年間点検項目

- ア エンジンオイル量の点検
- イ 冷却水量の点検
- ウ 冷却水ホースの点検
- エ 燃料ホースの点検
- オ 排気ガスホースの点検
- カ コンプレッサーの冷媒漏れ点検
- キ 室内機フィルターの点検
- ク 室外機及び室内機異常音及び振動の点検
- ケ エンジンのかかり具合及び異音点検
- コ リモコン機能の確認
- サ 冷暖房能力の確認
- シ 室内機及び室外機の外観確認

(2) 運転時間に応じた点検項目

下記の項目について、点検目安運転時間ごとに実施する。

- ア エンジンオイルの交換
- イ オイルフィルターの交換
- ウ エアエレメントの交換
- エ スパークプラグの交換
- オ 冷却水の交換
- カ 室内機及び室外機ファンの点検

対象機器及び点検目安運転時間一覧

製造会社	製造会社型式	点検目安運転時間
三洋電機 (株)	SGP-CH450H1N	10,000
	SGP-H560M3G	
ヤンマーディーゼル (株)	YNZJ560EAN	
	YNZJ450EAN	
	YNZP450E2N	
	YNZP280E2N	

4 点検契約点検実施項目

上記、3 (1) 及び (2) に記載された項目を毎回実施する

VI-17 シャッター設備保守点検

1 保守点検回数

- (1) 陸上競技場 年間2回(4月、10月実施予定)

2 保守対象設備

- (1) 陸上競技場 6台 トステム鈴木シャッター株式会社製

点検場所	台数	点検回数	寸法	設置年月日
国立霞ヶ丘競技場 陸上競技場				トステム鈴木製
北ゲートシャッター(左)	1	2	横5,640 高4,270	S 55年7月
北ゲートシャッター(右)	1	2	横4,010 高4,270	S 55年7月
南ゲートシャッター(左)	1	2	横5,420 高4,260	S 55年7月
南ゲートシャッター(右)	1	2	横4,645 高4,260	S 55年7月
北器具庫シャッター	1	2	横2,500 高2,000	S 55年7月
ランプ下倉庫シャッター(左)	1	2	横6,670 高3,520	H 6年3月
小計	6			

3 保守点検内容

(1) 電動装置

- ア モーター焼損の有無
- イ 押釦スイッチの取付け状態
- ウ リミットスイッチの作動状態
- エ マグネットスイッチの作動状態
- オ ブレーキコイルの作動状態
- カ 各部への配線状態

(2) 開閉装置

- ア スプロケットの磨耗損傷状態
- イ ローラーチェーンの磨耗損傷状態
- ウ 機械作動状態
- エ 機械ブレーキの状態

(3) スラット及び巻取装置

- ア スラットの歪み摩擦損傷状態
- イ 軸受メタルの取付け状態
- ウ ベアリングの回転状態
- エ 巻き取りシャフトの摩擦損傷状態
- オ ブラケットの摩擦損傷状態

(4) ガイドレール・ケース

- ア ガイドレールの腐食状態
- イ ガイドレールのみくちの状態
- ウ ケース・ガイドレールの取付け状態

(5) 扉関係

- ア そで扉、潜り戸の状態
- イ 錠、バネの状態

VI-18 高圧電気設備試験点検

1 試験点検回数

年1回実施する。

2 試験点検対象設備一覧

高圧電気設備保護継電器動作試験〔国立霞ヶ丘競技場陸上競技場〕

(1)	屋内外キュービクル、高圧受変電設備等点検清掃	1式
(2)	V C B外観点検	25台
(3)	V C S外観点検	7台
(4)	L B S外観点検	1式
(5)	P G S外観点検	22台
(6)	変圧器外観点検	37台
(7)	コンデンサ・リアクトル外観点検	4台
(8)	計器用変圧器、変流器外観点検	1式
(9)	保護継電器動作特性試験	1式
(10)	保護連動試験	1式
(11)	高圧回路絶縁抵抗測定試験	1式
(12)	接地抵抗測定試験	1式
(13)	変圧器絶縁油耐圧酸価測定試験	1式
(14)	試験用仮設電源（運搬費・設置費含む。）	1式
(15)	機器調整費	1式
(16)	消耗品雑材料	1式
(17)	データ作成費	1式

3 一般事項

(1) 共通事項

ア 受注者は、本業務を実施するに当たり、各実施場所の電気主任技術者の指示に従って作業を行うこと。

イ 各施設で必要とする試験用仮設電源は、以下のとおりとする。なお、設置、配線の接続及び撤去は受注者で行うものとし、設置場所については監督職員と事前に打ち合わせを行うこと。

(ア) 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場

20KVA×1/5KVA×1/3KVA×2

ウ 敷設作業に当たっては、営業及び施設安全上支障のないよう実施し、撤去日は当日のすべての業務が終了した後とすること。

エ 各施設で必要とする試験用仮設電源及び試験等で使用する計器類は、受注者側で用意すること。

オ 館内施設の停電準備作業は余裕を持って行い、試験点検業務終了後は復電業務を実施して、機器が正常に作動することを確認すること。

カ 試験点検業務の翌日は、当場の通常業務を行うため、予定時間内に業務を終了すること。

キ 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力すること。なお、軽微な不良箇所とは、主要な部品などの取替えを要しないものであって、比較的容易に修理・補修及び調整できるものとする。

ク キュービクル内、変圧器、高圧コンデンサー、絶縁碍子等機器の清掃は、ウエス等を使用して実施すること。

(2) 試験点検及び測定基準

受注者は、下記の項目の試験点検測定を行うこと。

ア 屋内外キュービクル、高圧受変電設備等点検清掃

(ア) 引込施設

- a 架空・引込用電線の損傷、たるみがないか。
 - b 支持物の損傷、傾斜がないか。
 - c がいし、腕金（木）の損傷、脱落がないか。
 - d 支柱、支線の損傷がないか。
 - e ケーブルの損傷、亀裂、屈曲等がないか。
 - f ケーブル端末処理部の損傷、亀裂、テープ剥離がないか。
 - g ケーブル保護管の損傷、発錆がないか。
 - h 接地線の損傷、発錆がないか。
- (イ) 断路器
- a 本体の損傷、亀裂、変形がないか。
 - b ロック機構の以上がないか。
 - c 固定、可動接触部の以上がないか。
 - d 接地線の損傷、断線がないか。
- (ウ) 遮断器・油入開閉器
- a 本体の損傷、亀裂、汚損、発錆がないか。
 - b 操作機構の異常がないか。
 - c 表示装置の異常がないか。
 - d ロッド、消弧室の損傷、亀裂がないか。
 - e 接触子の損傷、磨耗はないか。
 - f 絶縁油の損傷、油量不足はないか。
 - g 接地線の損傷、断線はないか。
- (エ) 避雷器
- a 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b 接地線の損傷、断線はないか。
- (オ) 母線関係
- a 導体、支持がいし、クランプの損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b フレーム、架台の損傷はないか。
- (カ) 保護継電器
- 本体の損傷、汚損、整定不良はないか。
- (キ) 配電盤
- a 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b 計器の損傷、指示不良はないか。
 - c 開閉器、ヒューズ、M C C Bの損傷、変色等はないか。
 - d 表示灯の損傷、不点はないか。
 - e 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - f 接地線の損傷、断線はないか。
- (ク) その他
- a 受電室建物、キュービクル箱体の損傷、汚損はないか。
 - b 接地線の損傷、断線はないか。
- (ケ) 配線
- a 電線の損傷、たるみ、断線、脱落はないか。
 - b ケーブルの損傷、脱落、屈曲がないか。
 - c 電線管の損傷、腐食はないか。
 - d 接地線の損傷、断線はないか。
- (コ) 分電盤
- a 本体の損傷、汚損、亀裂、腐食はないか。
 - b 開閉器、ヒューズ、M C C B、M g sの損傷、変色はないか。
 - c 計器の損傷、支持不良はないか。
 - d 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - e 接地線の損傷、断線はないか。

- (サ) 負荷機器
 - a 照明器具の損傷、汚損、脱落はないか。
 - b 電動機の損傷、汚損はないか。
 - c 電熱装置の損傷、汚損はないか。
 - d 接地線の損傷、断線はないか。
- イ VCB外観点検
 - (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等がないか。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等に異常はないか。
 - (ウ) 表示
投入時及び遮断時のパイロットランプの確認。
 - (エ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (オ) 接地線取付状態の確認。
 - (カ) 絶縁抵抗の良否。
- ウ VCS外観点検
 - (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等の確認。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等の確認。
 - (ウ) 表示
投入時及び遮断時のパイロットランプの確認。
 - (エ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (オ) 接地線取付状態の確認。
- エ LBS外観点検
 - (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等の確認。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等の確認。
 - (ウ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (エ) 接地線取付状態の確認。
 - (オ) 絶縁抵抗の良否の確認。
- オ PGS外観点検
 - (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形、ガス圧チェック等の確認。
 - (イ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛み等の確認。
 - (ウ) 接地線取付状態の確認。
 - (エ) 絶縁抵抗の良否の確認。
 - (オ) 操作機構の確認(入切操作の確認等)。
- カ 変圧器(乾式含む。)外観点検
 - (ア) 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - (イ) 温度計の損傷、支持不良はないか。
 - (ウ) 油劣化防止装置の損傷。
 - (エ) 取付ボルト及びターミナルの弛み、碍子の傷、汚損等の確認。
 - (オ) コイル表面、絶縁物、引出端子、接続導体等に変色がないか。
 - (カ) ラジエーターの損傷、亀裂、変形、漏油がないか。

- (キ) コイル表面、絶縁物、リード線、吊りボルト、タップ、口出線、コイル等に損傷、ゆるみ、変形がないか。
- (ク) 絶縁油の汚損、油量不足はないか。
- (ケ) 接地線の損傷、断線はないか。
- (コ) 絶縁抵抗の良否の確認。
- (サ) 点検箇所 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場
- a 第1変電室 4台
- ・ 3Φ200kVA
No. H78563901
用途：No. 1 低圧動力
 - ・ 3Φ200kVA
No. H78563902
用途：No. 2 低圧動力
 - ・ 1Φ150kVA
No. H18454902
用途：No. 2 低圧電灯
 - ・ 1Φ150kVA
No. H78564901
用途：No. 1 低圧電灯
- b 第2変電室 4台
- ・ 1Φ300kVA
No. K170915
用途：一般電灯
 - ・ 1Φ150kVA
No. K173950
用途：電灯
 - ・ 3Φ100kVA
No. K197887
用途：一般動力
 - ・ 3Φ75kVA
No. K197093
用途：エレベーター
- c 第3変電室 4台
- ・ 1Φ150kVA
No. K172018
用途：一般電灯
 - ・ 1Φ50kVA
No. K6602753
用途：サウナ電灯
 - ・ 3Φ100kVA
No. K196210
用途：サウナ動力
 - ・ 3Φ150kVA
No. K196157
用途：機械室動力
- d 第4変電室 2台
- ・ 1Φ100kVA
No. K174746
用途：低圧電灯
 - ・ 3Φ150kVA

- No. 195991
用途：低圧動力
- e 第5変電室 2台
 - 3Φ150kVA
No. K192945
用途：No. 2低圧動力マルチ
 - 3Φ30kVA
No. K192931
用途：No. 1低圧動力ナトリウム
- f 第6変電室 7台
 - 1Φ200kVA
No. K171505
用途：一般電灯
 - 3Φ150kVA
No. K194437
用途：冷房動力
 - 3Φ150kVA
No. K194435
用途：一般動力
 - 3Φ150kVA
No. K194434
用途：夜間照明
 - 3Φ30kVA
No. K192402
用途：夜間照明
 - 3Φ150kVA
No. K194425
用途：夜間照明
 - 3Φ30kVA
No. K192398
用途：夜間照明
- g 第7変電室 2台
 - 3Φ150kVA
No. K192946
用途：No. 2低圧動力マルチ
 - 3Φ30kVA
No. K192929
用途：No. 1低圧動力ナトリウム
- h 第8変電室 2台
 - 3Φ100kVA
No. K194982
用途：マルチ
 - 3Φ30kVA
No. K192058
用途：ナトリウム
- i 第9変電室 6台
 - 1Φ150kVA
No. K173121
用途：一般電灯
 - 3Φ75kVA

No. K195874

用途：一般動力

・3Φ100kVA

No. K194978

用途：マルチ

・3Φ30kVA

No. K192006

用途：ナトリウム

・3Φ100kVA

No. K194975

用途：マルチ

・3Φ30kVA

No. K192014

用途：ナトリウム

j 第10変電室 2台

・3Φ100kVA

No. K194989

用途：マルチ

・3Φ30kVA

No. K192013

用途：ナトリウム

k 第11変電室 2台

・1Φ50kVA

No. K170605

用途：低圧電灯

・3Φ100kVA

No. K196917

用途：低圧動力

キ 電力用コンデンサ・リアクトル外観点検

(ア) 本体の損傷、亀裂、変形、汚損、漏油はないか。

(イ) 直列リアクトル、放電抵抗の損傷、亀裂はないか。

(ウ) 接地線の損傷、断線はないか。

ク 計器用変圧器、変流器外観点検

(ア) 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。

(イ) 接地線の損傷、断線はないか。

ケ 保護継電器動作特性試験

以下の項目について、それぞれ測定試験・確認作業を行い、良否判定を行うこと。

(ア) 過電流継電器(OCR)特性試験

a 整定タップ(200%、300%、500%)による最小始動、動作電流、瞬時動作電流測定

b 動作時間の測定

c 遮断器と継電器との連動試験

d 遮断動作の確認

e 表示ランプの確認

(イ) 不足電圧継電器(UVR)特性試験

a 整定タップによる始動電圧、復帰電圧測定

b 整定レバーによる動作特性試験

c 動作時間の測定

d 表示ランプの確認

(ウ) 過電圧継電器特性試験

- a 整定タップによる始動電圧、復帰電圧測定
- b 整定レバーによる動作特性試験
- c 動作時間の測定
- d 表示ランプの確認
- (エ) 地絡電圧継電器特性試験
 - a 整定タップによる最小動作電流測定
 - b 整定レバーによる動作特性試験
 - c 動作時間の測定
 - d 表示ランプの確認
- (オ) 地絡方向継電器特性試験
 - a 各整定タップの動作電流測定及び最小動作電圧測定
 - b 動作時間の測定
 - c 位相特性試験
 - d 遮断動作の確認
 - e 表示ランプの確認
- (カ) 測定箇所 国立霞ヶ丘競技場
 - a 受電室 (C u b)

OCR動作特性試験 (2要素)	23台
DGR動作特性試験	15台
UVR動作特性試験	2台
ELR動作特性試験	10台
 - b 第1変電室 (C u b)

OCR動作特性試験 (2要素)	1台
UVR動作特性試験	1台
ELR動作特性試験	4台
 - c 第2変電室 (C u b)

OCR動作特性試験 (2要素)	2台
UVR動作特性試験	1台
ELR動作特性試験	4台
 - d 電光掲示板 (C u b)

OCR動作特性試験 (2要素)	1台
UVR動作特性試験	1台
ELR動作特性試験	1台
 - e 第3～第11変電室

UVR動作特性試験	9台
-----------	----
- コ 保護連動試験
 - (ア) 高圧系統、低圧系統等の保護装置、保護継電器の強制動作による連動機器の作動確認
 - (イ) 作動時間の確認
 - (ウ) 表示ランプの確認
- サ 高圧回路絶縁抵抗測定試験
 - (ア) 高圧ケーブル、計器用変成器、各種高圧機器、母線等のアース間における絶縁状態を測定
 - (イ) 劣化状況の確認
 - (ウ) 測定箇所 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場
 - a 受電室

本線引込盤	(DS一次～UGS二次側)
予備線引込盤	(DS一次～UGS二次側)
本線引込ケーブル	(引込遮断器二次～受電遮断器一次)
予備線引込ケーブル	(引込遮断器二次～受電遮断器一次)

- 高圧母線一括 (受電遮断器二次～高圧母線)
- b フィーダー盤
コンデンサー (No. 1～No. 4) 用
(VCB二次～ケーブル～SC)
- c 高圧配電盤VCB二次側一括 (12回路)
- ・ 大型映像装置盤
高圧機器一括 (DS 二次側一括)
高圧母線一括
 - ・ 第1変電室
高圧機器一括 (DS 二次～VCB～母線～LBS)
変圧器一括
 - ・ 第2変電室
高圧機器一括 (DS 二次～VCB～母線～LBS)
変圧器一括
 - ・ 第3変電室
高圧機器一括 (DS 二次～VCB～母線～POS～LBS)
変圧器一括
 - ・ 第4変電室
高圧機器一括 (DS 二次～VCB～母線～LBS)
変圧器一括
 - ・ 第5変電室
高圧機器一括 (DS 二次～PGS～母線～LBS)
変圧器一括
引込ケーブル (DS 一次～CVケーブル、第六変電VCB 二次)
 - ・ 第6変電室
高圧機器一括 (DS 二次～VCB～母線～PGS～LBS)
変圧器一括
 - ・ 第7変電室
高圧機器一括 (DS 二次～PGS～LBS)
変圧器一括
引込ケーブル (DS 一次～第六変電 VCB 二次)
 - ・ 第8変電室 (DS 一次～第九変電 VCB 二次)
高圧母線一括
変圧器一括
 - ・ 第9変電室
引込ケーブル (VCB 二次～DS 一次)
高圧母線一括 (DS 二次以降)
変圧器一括
 - ・ 第10変電室
引込ケーブル (DS 一次～第九変電 VCB 二次)
高圧母線一括 (DS 二次以降)
変圧器一括
 - ・ 第11変電室
高圧機器一括 (VCB 以降)
変圧器一括

シ 接地抵抗測定試験

測定箇所別に、接地極側の接地抵抗値の測定を行うこと。

- (ア) A種 10Ω以下
- (イ) B種 600/I g AΩ以下
- (ウ) C種 10Ω以下

- (エ) D種 100Ω以下
- (オ) 測定箇所 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場
- a 受電室・第一変電室・大型映像室・外回り避雷針
 - 高压機器 (EA種)
 - 変圧器 (EB種)
 - V.C.T二次側 (ED種)
 - アレスター (EA種)
 - 補助アース (E_p、E_c)
 - 避雷針No. 1～No. 8 補助アース (EA種)
 - b 第1変電室、第4変電室、第7変電室、第8変電室、第10変電室
 - 高压機器、アース (EA種)
 - 変圧器二次アース (EB種)
 - V.C.T二次アース (ED種)
 - c 第2変電室、第3変電室、第5変電室、第6変電室、第9変電室、第11変電室
 - 高压機器、アース (EA種)
 - 変圧器二次アース (EB種)
 - V.C.T二次アース (ED種)
 - 補助アース (p、c)
- ス 変圧器絶縁油耐圧酸価測定試験
- 以下の測定方法(参考)に基づき、各変電所変圧器の電灯・動力1か所ずつ(2台)実施し、測定箇所の良否判定を行うこと。
- (ア) 変圧器絶縁油酸価度試験
- 変圧器絶縁油試験については、絶縁油酸価度試験及び絶縁耐力試験について実施するものとし、試験手順は以下に参考として記載する。なお、試験を行う際には、ゴム手袋を使用すること。
- a 試験には、簡易酸価測定器を用いて実施すること。
 - b 5ccの試験油を測定器(試験管)に取ること。
 - c 同じ管に、試験油と同量の抽出液を加え、十分攪拌すること。
 - d ビュレット(注射管)に、中和液を規定量入れ、次に試験管に中和液を一目盛ずつ注入して攪拌し、その内容液が赤く変化したとき中和液の注入量をビュレットの目盛から読み取ること。
 - e 目盛の値から酸価度の判定を行う。
- (イ) 絶縁耐力試験
- 高压用の変圧器の絶縁油は、JIS-2320の鉱油を使用しており、絶縁油の絶縁耐力試験は、以下の手順で行うこと。
- a 試験器の電極は、直径12.5mmの球状電極とし、ギャップは2.5mmとする。
 - b カップを試料油で洗浄して、電極の上端が油面下約20mmあたりの位置になるよう試料油を入れ、約3分間放置して油中の泡がなくなってから試験を開始する。
 - c この試験においては、同一変圧器から2個の試料を取り、各試料について5回ずつ計10回の測定を行い、各初回の値を捨てて8回の平均値を求める。
 - d 試験電圧を每秒約3000Vの割合で一樣な速さで上昇させ、絶縁破壊電圧を測定する。なお、連続性を持たない瞬時的な放電を生じることがあっても、その程度のもものは、絶縁破壊とみなさないものとする。
 - e 最初の破壊により試験用変圧器の一次側遮断器が作動し、回路を開放してから約1分間放置し、油中に生じた泡などの消失するのを待って、次の試験を実施する。なお、絶縁耐力の判定の基準は、次のとおりとする。

絶縁耐力の判定

区 分	絶 縁 破 壊 電 圧	判 定	摘 要
使用中の油	20 k v 以上	良 好	—
	15 k v 以上～20 k v 未満	要 注 意	機会を見て、ろ過又は取替え
	15 k v 未満	不 良	至急取替え

(注1) 上記の判定基準は、あくまで目安であり、受注者の測定方法により異なる場合があるため、試験方法については保守業務実施前に監督職員に説明し、承諾を受けること。

(注2) 試験により変圧器中の絶縁油が不足している場合には、補充すること。

VI-19 非常用発電機設備保守点検

- 1 保守点検回数 機器点検（外観点検・機能点検・作動点検） 各現場年1回
機能点検及び総合点検 各現場年1回

- 2 保守対象設備（非常電源（自家発電設備）、非常電源（蓄電池設備））
国立競技場陸上競技場・秩父宮ラグビー場

名 称		台 数	設 置 場 所
非常用自家発電設備	消火栓ポンプ	1台	陸上競技場千駄ヶ谷スロープ（ランプ）下
非常用蓄電池設備	非常用発電機	1台	ラグビー場メインスタンド下電気受変電盤室

なお、施設ごとの施設設備の概要等は、下記「非常用自家発電設備 発電機・エンジン・蓄電池仕様一覧」による。

3 一般事項

- (1) 保守点検における共通事項
- ア 本業務で使用する燃料油脂類は、既存のものを利用する。
 - イ 点検時に判明した箇所の修理や補修、塗装に伴う経費は、保守点検費用とは別途とする。
- (2) 非常電源（自家発電設備）保守点検基準
次に掲げる事項について、確認するものとする。
- ア 機器点検
 - (ア) 設置状況
 - a 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - b 区画等
不燃専用室の区画、防火戸等又はキュービクル式自家発電設備の外箱、扉、換気口等に変形、損傷等がないこと。
 - c 水の浸透、漏れ等の有無
水の浸透、漏れ等がないこと。
 - d 換気装置の機能
換気装置を点検し、適正に行なえること。
 - e 照明設備及び機能
自家発電設備の使用上及び点検上に支障がないこと。
 - f 標識の表示状況等
適正に設けられていること。
 - (イ) 表示
表示が適正であること。
 - (ウ) 自家発電装置（原動機と発電機を連結したものをいう。）
 - a 原動機及び発電機
変形、損傷、脱落、腐食等がないこと。
 - b 冷却装置
 - ・ ラジエータ、配管等
変形、損傷、漏れ、冷却水の著しい汚れ又は腐敗等がないこと。
 - ・ 冷却ファン
機能が正常であること。
 - c 潤滑油類
著しい汚れ、変質、漏れ等がなく、必要量が満たされていること。
 - d その他の付属機器類
変形、損傷、脱落、漏れ、腐食等がないこと。

- (エ) 始動装置
 - a 始動用蓄電池設備
蓄電池設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。
- (オ) 制御装置
 - a 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - b 発電機盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - c 自動始動盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - d 補機盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - e 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - f 表示灯
正常に点灯すること。
 - g 開閉器及び遮断器
変形、損傷、端子の緩み等がなく、開閉機能及び開閉位置が正常であり、かつ、容量は負荷に対して適正であること。
 - h ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - i 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (カ) 保護装置
作動、表示が正常であること。
- (キ) 計器類
変形、損傷等がなく、正常に作動するとともに指示値が適正であること。
- (ク) 燃料容器等
 - a 外形
変形、損傷、漏れ等がないこと。
 - b 燃料貯蔵量
規定の量が確保されていること。
- (ケ) 冷却水タンク
 - a 外形
変形、損傷、漏れ等がないこと。
 - b 水量
規定量が確保されていること。
- (コ) 排気筒
 - a 周囲の状況
周囲に可燃物がおかれていないこと。
 - b 外形
変形、損傷、支持金具の緩み等がないこと。
 - c 貫通部
遮熱保護部の断熱材等に変形、損傷、脱落等がないこと。
- (サ) 配管
変形、損傷、漏れ等がないこと。
配管内部のクリーニングを必要に応じて実施すること。
- (シ) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (ス) 接地

- 著しい腐食、断線等がないこと。
- (セ) 始動性能
 - 確実に始動し、始動時間が適正で、かつ電圧確立が正常であること。
- (ソ) 運転性能
 - 漏油、異臭、不規則音、異常な振動等がなく、運転が正常であること。
- (タ) 停止性能
 - a 手動停止
 - 手動停止装置により確実に停止し、停止動作等に異常がないこと。
 - b 自動停止（自動停止できる自家発電設備に限る。）
 - 確実に停止し、停止動作等に異常がないこと。
- (チ) 耐震措置
 - アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく耐震措置が適正に行われていること。
- (ツ) 予備品等
 - 予備品及び回路図等が備えてあること。
- イ 総合点検
 - 機器点検のほか、次の事項について確認すること。
 - (ア) 接地抵抗
 - a 接地抵抗値が適正であること。
 - b 接地線の太さ及びD種抵抗値を確認すること。
 - (イ) 絶縁抵抗
 - 絶縁抵抗値が適正であること。
 - (ウ) 始動装置
 - a 始動用蓄電池設備
 - 蓄電池設備の総合点検の基準に準じていること。
 - b 始動用補助装置
 - 確実に作動すること。
 - (エ) 保護装置
 - 作動値が設定値どおりであること。及び表示警報機動作の確認とシーケンステストを行うこと。
 - (オ) 負荷運転
 - a 運転状況
 - 漏油、異臭、不規則音、異常な振動、発熱等がなく、運転が正常であること。
 - b 換気
 - 給気及び排気の様子が適正であること。
 - c 負荷容量測定
 - ダミー負荷はかけずに、必要に応じてポンプ負荷運転を行うこと。
 - d 電圧・周波数計
 - ・ 無負荷より全負荷をかけた場合の電圧と周波数の変動測定を行うこと。
 - ・ 実負荷時の電圧、周波数を測定すること。
 - e 電圧調整範囲
 - ・ 無負荷時、実負荷時の電圧調整範囲を測定すること。
 - f タイマー
 - ・ 停電より始動及び電圧確立までの時間調整を行うこと。
 - ・ 商用電源復電より電源切替までの時間調整及び停止確認を行うこと。
- (3) 非常電源（蓄電池設備）点検基準
 - 次に掲げる事項について、確認するものとする。
 - ア 機器点検
 - (ア) 設置状況
 - a 周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

b 区画等

不燃専用室の区画、防火戸等又はキュービクル式自家発電設備の外箱、扉、換気口等に変形、損傷等がないこと。また、配線・空調用ダクト等が区画を貫通する箇所の隙間は、不燃材料で防火上有効に埋め戻してあること。

c 水の浸透、漏れ等の有無

水が浸透し、または漏れ等がないこと。

d 換気装置の機能

換気装置を点検し、適正に行えること。

(イ) 蓄電池

a 外形

電そう、ふた等に亀裂・変形などの損傷及び漏液等がないこと。

b 表示

蓄電池設備である旨の標識が設けられ、触媒栓等の交換期限の表示を確認すること。(期限内であっても同様とする。)

c 電解液

全セルについて、電解液量及び比重が基準内にあるかどうか確認する。

d 総電圧

浮動充電中の総電圧を測定し、その良否を確認すること。

e セル電圧

浮動充電中のセル電圧が適正であるか確認すること。

f 負荷容量

実負荷測定を行うこと。

g 均等充電

必要に応じて実施すること。ただし、過充電とならないように実施すること。

(ウ) 充電装置

a 外形

架台及び外箱の変形、損傷、漏れ、腐食等がないこと。

b 表示

充電装置の表示が適正であること。

c 開閉器・遮断器

変形、損傷、端子の緩み等がなく、開閉機能及び開閉位置が正常であり、かつ、容量は負荷に対して適正であること。

d 交流入力電圧

50Hz、3Φ200V電源の入力電圧、電流の測定を行うこと。

e トリクル・浮動充電電圧

正常な浮動充電状態での電圧を確認すること。

f 均等充電電圧

均等充電中の電圧電流を測定すること。

g 出力電流

全負荷出力時の出力電流を測定すること。

h 負荷電圧

全負荷出力時の負荷電圧を測定すること。

i 負荷電流

全負荷出力時の負荷電流を測定すること。

j 自動充電切り替え

均等充電より浮動充電に切り替え、異常のないことを確認すること。

k 接地

著しい腐食、断線等がないこと。

(エ) 結線接続

- 断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (オ) 耐震措置
 - アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (カ) 予備品等
 - 予備品及び回路図等が備えてあること。
- イ 総合点検
 - 機器点検のほか、次の事項について確認すること。
 - (ア) 接地抵抗
 - a 接地抵抗値が適正であること。
 - b 接地線の太さ及びD種抵抗値を確認すること。
 - (イ) 絶縁抵抗
 - 絶縁抵抗値が適正であること。
 - (ウ) 容量
 - 負荷容量測定を行うこと。
 - (エ) 電圧・周波数計
 - 実負荷時の電圧・周波数を測定すること。
 - (オ) 電圧調整範囲
 - 実負荷時の電圧調整範囲を測定すること。
 - (カ) タイマー
 - タイマー設定による動作確認を行うこと。

非常用自家発電設備 発電機・エンジン・蓄電池仕様一覧

番 号		1		2	
名 称		消火栓用 起動用発電機		スプリンクラー南側 起動用発電機	
製造メーカー		ヤンマーディーゼル株式会社		ヤンマーディーゼル株式会社	
設置年月日		平成8年		昭和51年	
設置場所		千駄ヶ谷スロープ下		ラグビー場電気室奥	
発 電 機 仕 様	メーカ型番	YAP250G		YFG60	
	出力 kVA	200		50	
	電圧 V	200		200	
	電流 A	578		144	
	周波数 Hz	50		50	
	回転速度 rpm	1,500		1,500	
	極数 p	4P		4P	
相数 Φ	5		3		
エ ン ジ ン 仕 様	メーカ型番	ヤンマーディーゼル 6HAL-2-T		ヤンマーパーキンス 6-354I	
	総排気量 cc	13140		5800	
	型式	水冷 4サイクル		水冷 4サイクル	
	定格出力 ps	245		65	
	燃料用油	軽油		軽油	
	燃料消費量 l/h	46		175gr/ps hr	
	燃料タンク容量 l	125		200	
	エンジンオイル種類	10W-30			
	エンジンオイル消費量 l/h				
	エンジンオイル油量 l	29			
	冷却方式	ラジエター		ラジエター	
	冷却水量(エンジン) l				
冷却水量(ラジエター) l					
蓄 電 池 仕 様	出力電圧 V	24		24	
	型番	HS-200E		HS-150E	
	容量 Ah	200		150	
	種類	シール型据置鉛蓄電池		シール型据置鉛蓄電池	
	個数	12		12	
	製造年月日	1996年11月		1997年6月	
	触媒せん交換年月日	1996年11月		1997年6月	
	製造メーカー	ユアサコーポレーション		ユアサコーポレーション	
製造番号	969-3273		975-3168		

VI-20 消防用設備等点検

1 業務概要

消防法（昭和23年7月24日法律第186号）、同法施行令・規則等に基づき実施する。

2 点検回数

- | | |
|---------------|----------------------------|
| (1) 消防用設備点検業務 | 外観機能点検 年1回、総合点検 年1回実施 |
| (2) 防火対象物点検業務 | 本部事務所、国立霞ヶ丘競技場、ラグビー場、年1回実施 |
| (3) 防災管理点検業務 | 国立霞ヶ丘競技場 年1回実施 |

3 消防用設備点検業務 施設別点検箇所一覧

(国立霞ヶ丘競技場陸上競技場・ラグビー場・東テニスコート・西テニスコート)

ア 排煙設備

番号	名 称	数量・単位		
1	連動制御盤・連動操作盤（1回線）	4台		
2	煙感知器	6個		
3	防火戸 シングル・連動式	6台		
4	電源装置 予備又は非常電源	4個		
5	配線点検、絶縁測定	1式		
6	連動制御盤・連動操作盤（1回線）	3台		
7	防火シャッター（連動式）（下記内訳）	3台		
8	電源装置 予備又は非常電源	3個		
9	音響装置（貴賓室・メトロ・ラウンジ）	3台		
10	配線点検、絶縁測定	1式		
11	防火シャッター・防火戸	設置場所 数量・単位		
11	防火戸	1階中央ホール廊下	1台	
	〃	ダッグアウト南	1台	
	〃	北器具庫内地下道入口	1台	
	〃	2階貴賓室1号ELV前	1台	
	〃	博物館事務所入口前	1台	
	〃	競技場運営管理事務所入口	1台	
	〃	2階記者階段	1台	
	〃	3階記者階段	1台	
	〃	防火シャッター	2階記者階段	1台
	〃	〃	3階記者階段	1台
〃	〃	1階旧メトロ食堂内	1台	
12	防火ダンパー（下記内訳）	67台		
12	ダンパー取付系統ダクト名称	設置場所	数量・単位	
	1階変電室排気	1階旧サウナ機械室	1台	
	1階室内水泳場ロビー排気	2階備品倉庫シャフト内	1台	
	室内水泳場ロビー便所排気	〃	1台	
	2階施設管理・運営調整課女子職員更衣室排気	〃	1台	
	施設管理・運営調整課男子職員更衣室・シャワー室排気	2階男女便所内	1台	
	1階事業課会議室、更衣室排気	〃	1台	
	1階旧メトロ便所排気	〃	1台	
	旧メトロ厨房排気	〃	1台	
	旧メトロ便所排気	〃	2台	
	1階印刷室、新聞記者室排気	2階ラウンジB倉庫内	1台	

	印刷室、新聞記者室給気	〃	1台
1 2	2階会議室前給湯室	1階給湯室天井内	2台
	2階東京都サッカー協会内湯沸室	2階女子更衣室天井内	1台
	〃 内男女更衣室排気	〃	1台
	1階第二クラブルームロビー	1階ロビー天井内	1台
	第二クラブルーム女子更衣室	1階女子更衣室内	1台
	〃 男子更衣室	1階男子更衣室内	1台
	1階室内水泳場男子シャワー浴室排気	2階プール見学者室	1台
	〃 男子シャワー便所排気	〃	1台
	〃 男子シャワー更衣室吸気	〃	1台
	〃 指導員室排気	〃	1台
	1階トレーニングセンター男子浴室吸排気	1階トレーニングセンター男子浴室内	4台
	1階トレーニングセンター女子浴室吸排気	1階トレーニングセンター女子浴室内	4台
	1階救護室トレーナールーム吸排気	受水槽横天井内	5台
	アスリートフロア 排気	受水槽横階段下天井内	1台
	機械・電気室作業場吸気	機械係資料室作業場天井内	6台
	機械・電気室作業場排気	機械係資料室天井内	3台
	室内水泳場暖房温風 (往)	室内水泳場機械室上部	3台
	室内水泳場暖房温風 (還)	〃	1 5台
	室内水泳場天井排気	室内水泳場天井機械室	2台
	室内水泳場機械室吸気	室内水泳場機械室入口上部	1台
防火ダンパー合計			6 7台

イ 自動火災報知設備

・陸上競技場

番号	名 称	数量・単位
1	受信機 R-8型147回線	1台
2	主中継器盤	1台
3	中継盤	18台
4	電鈴 (地区音響装置)	70個
5	スポット型感知器(差動・補償式)	343個
6	スポット型感知器(定温式)	135個
7	煙式感知器 (イオン化・光電式)	154個
8	発信機 P型1・2級 (巡回式)	60個
9	消火栓起動連動装置	1式
10	常用電源	1式
11	予備電源又は非常電源	1式
12	配線点検、絶縁測定	1式

・ラグビー場クラブハウス

番号	名 称	数量・単位
1	受信機 P型1級3回線	1台
2	副受信機 (表示機) 3回線	1台
3	スポット型感知器(差動・補償式)	14個
4	スポット型感知器(定温式)	1個
5	煙式感知器 (イオン化・光電式)	6個
6	発信機 P型1・2級 (巡回式)	2個

7	電鈴 (地区音響装置)	3個
8	常用電源	1式
9	予備電源又は非常電源	1式
10	配線点検、絶縁測定	1式

・ラグビー場スタンド

番号	名 称	数量・単位
1	受信機 P型1級27回線	1台
2	副受信機 (表示機) 27回線	1台
3	スポット型感知器(差動・補償式)	203個
4	スポット型感知器(定温式)	22個
5	煙式感知器 (イオン化・光電式)	16個
6	発信機 P型1・2級 (巡回式)	20個
7	電鈴 (地区音響装置)	23個
8	消火栓起動連動装置	1式
9	常用電源	1式
10	予備電源又は非常電源	1式
11	配線点検、絶縁測定	1式

ウ ハロゲン化物消火設備 (ハロン1301消火設備)

・陸上競技場

5階 新オペレーションルーム 680 / 40kg × 2本

写真判定室 680 / 40kg × 1本

番号	名 称	数量・単位
1	ハロゲンガス容器	3本
2	容器弁開放装置 電磁式	3式
3	容器弁開放装置 ガス圧式	3式
4	起動用小容器	1本
5	起動用開放器	3個
6	起動用操作函	3個
7	スピーカー	2個
8	連動盤 1回線2面	2面
9	音声盤	1台
10	ダンパー	2個
11	放出表示灯	3個
12	噴射ヘッド	3個
13	電源装置	1式
14	作動試験	1式
15	配線点検、絶縁測定	1式
16	容器本体 放出窒素ガス	1本
17	容器本体 付属部品交換	1本
18	起動容器	1本
19	放出試験費	1式

エ 誘導灯及び誘導標識設備

名 称	設 置 場 所	数 量
陸上競技場	誘導灯 避難口(160)・通路(83)	243個
ラグビー場	誘導灯 避難口 (60)・通路 (6)	66個
配線点検・絶縁測定	陸上競技場	1式

	ラグビー場	1式
--	-------	----

オ 削除 (粉末消火設備)

カ 屋内消火栓設備

・陸上競技場

◎ 屋内消火栓設備 箱54個 下記参照

盤・ポンプ 18.5KW 1基

0.85立方m/m 屋外ランプ下ポンプ室

番号	設置場所	番号	設置場所
1	5階スカイラウンジA前	31	3階 25ゲート右
2	スカイラウンジB前	32	27ゲート右
3	エレベーターNo. 1前	33	29ゲート右
4	ディレクター室前	34	2ゲート前
5	グリーンシートA前	35	4ゲート前
6	4階 31ゲート右	36	ラウンジA内
7	33ゲート右	37	6ゲート左
8	35ゲート右	38	8ゲート右
9	38ゲート左	39	11ゲート右
10	40ゲート左	40	14ゲート左
11	3階冷却塔横	41	1階大会議室前
12	16ゲート右	42	更衣室A右
13	18ゲート真向柱	43	第二クラブルーム左
14	18ゲート右	44	トレセンロッカー前
15	20・21ゲート中間	45	トレセン旧救護室左
16	21ゲート真向柱	46	新フロア前
17	23ゲート左	47	指導室右
18	2階博物館階段上右	48	トレセン練習場中央
19	博物館FL-2-2側	49	制御室前
20	展示室中央	50	プール機械室
21	図書館シャワー室前	51	体育館ロビー横
22	貴賓室前	52	体育館フロア左
23	サッカー協会事務所内	53	体育館フロア奥
24	体育施設協会事務所内	54	トレセン男子更衣室
25	管理備品倉庫左		
26	管理・運営調整課事務所内		
27	体育館階段上		
28	1階プール受付女子トイレ前		
29	事業課会議室左		
30	小会議室2前		

・その他

番号	名称	数量・単位
1	加圧送水装置ポンプモーター	1組
2	呼水装置	1台
3	放水試験	1式
4	操作盤	1台
5	常用電源	1式
6	配線点検、絶縁測定	1式
7	起動装置・起動スイッチ	54個

8	表示灯	54個
9	地下式屋外消火栓（給水口）	3基
10	散水栓	2基

・ラグビー場

◎ 屋内消火栓設備 箱11個 下記参照

盤・ポンプ 18.5KW 0.63立方m/m 1階機械室

番号	設置場所	番号	設置場所
1	1階ラグビー協会前	7	2階4ゲート後面
2	南側給湯機置場脇	8	6ゲート～7ゲート間
3	ロッカールームC外側	9	3階スタンド内上階部
4	北通路出入口脇	10	〃
5	東テニス場管理事務所前方	11	〃
6	2階1ゲート～2ゲート間		

・その他

番号	名 称	数量・単位
1	加圧送水装置ポンプモーター	1組
2	呼水装置	1台
3	放水試験	1式
4	操作盤	1台
5	常用電源	1台
6	配線点検、絶縁測定	1式
7	起動装置・起動スイッチ	11個
8	表示灯	11個

キ スプリンクラー設備

・陸上競技場

ポンプユニット 100φ×900ℓ/min×99m×30KW

末端試験弁 3箇所 5階 空調機械室横 屋外ベランダ西側

3階 ラウンジA アラーム弁

1階 ホール 保管庫2内

ウェイトトレーニングルーム内

散水ヘッド 489個（閉鎖型）

送水口 屋外ランプ下 双口型・埋込 1基

番号	設置場所	ヘッド数	番号	設置場所	ヘッド数
1	1階小1会議室	16個	6	会議室通路他	26個
2	小2会議室	16個	7	中央ホール周り	66個
3	小3会議室	16個	8	清掃倉庫から記録室	23個
4	小4会議室	16個	9	事業課保管庫	8個
5	大会議室	39個	10	給湯室・脇通路	4個
11	大会本部裏通路	13個	22	スカイラウンジ前通路天井	3個
12	記者室	6個	23	旧オペレーション室	9個
13	表彰控室	3個	24	アナウンス室	6個
14	大会本部内	18個	25	男女更衣室	各1個 計2個
15	電気機材室・器具庫	4個	26	スタジオ2	4個
16	コピー室周り	8個	27	スタジオ3	1個
17	ウェイトトレーニング室	108個	28	スタジオ4	2個

1	階部合計	390個	29	スタジオ5	2個
18	2階ラウンジB裏通路	8個	30	ディレクタールーム	2個
2	階部合計	8個	31	グリーンシートB・C・D	各2個 計6個
19	3階ラウンジA内	31個	32	グリーンシート前通路天井	4個
3	階部合計	31個	5階部合計		60個
20	5階スカイラウンジ Room1～8	各2個 計16個			
21	ケータリングサービス室	3個			

・その他

番号	名 称	数量・単位
1	加圧送水装置ポンプモーター	1組
2	自動起動装置	1式
3	末端試験弁	4箇所
4	送水口	1基
5	流水検知装置 自動警報弁	4台
6	操作盤	1面
7	圧力スイッチ	4個
8	配線点検、絶縁測定	1式
9	一斉開放弁	4台
10	手動開放弁	3台
11	呼水装置	1台
12	常用電源	1式
13	連動試験	1式

ク ガス漏れ火災警報設備

名 称	設 置 場 所	数 量
受信機GR型13回線 (予備電源内蔵)	警備室	1台
受信機G型5回線 (予備電源内蔵)	制御室	1台
予備電源		2式
常用電源		2式
配線点検、絶縁測定		2式
警報装置		23台
検知器一般型	陸上競技場1階地下ピット	11台
	1階トレセンボイラー(1) プールボイラー (2)	3台
	3階犬走り	8台
	5階機械室	1台
		23台

ケ 消火器設備

・粉末消火器 (加圧式)	10型	190本
・粉末消火器 (加圧式)	15型	10本
・粉末消火器 (加圧式)	20型	11本
・粉末消火器 (加圧式)	50型	3本

- ・ハロンNH1A型 1本
- ・ハロン2型 5本
- ・機械泡 3型 20本
- ・機械泡10型 12本 計252本

なお、放射能力点検後、放射詰替えを行うものとする。なお、点検の対象は、機能点検をしたもののうち、50%とする。

重量及び指示圧力値に欠陥がなければ、放射能力点検は省略するものとする。

【陸上競技場】

番号	型	区分	場 所	番号	型	区分	場 所
115	10	1階	プールロビー	169	10	1階	本部記者室
116	10	1階	プール男子更衣室	274	10	1階	中央ホール女子便所
117	10	1階	プール女子更衣室	193	10	1階	北器具庫
118	10	1階	事業課女子更衣室入口	270	10	1階	シャワー室前廊下
125	10	1階	旧レストランメトロ	271	10	1階	シャワー室前廊下
197	10	1階	南污水ポンプ室	192	10	1階	スポーツショップ
198	10	1階	北污水ポンプ室	75	20	1階	トレセン地下ピット
126	10	1階	警備室	76	20	1階	トレセン地下ピット
127	10	1階	事業課事務室	141	10	1階	トレセン受付ロビー
128	10	1階	事業課給湯室	142	10	1階	トレセン男子更衣室
125	10	1階	事業課事務室廊下	143	10	1階	トレセン男子更衣室
126	10	1階	事業課事務室廊下	144	10	1階	トレセン女子更衣室
33	ハロン 2型	1階	旧電話交換室	145	10	1階	アスリートフロア通路
194	10	1階	南器具倉庫	146	10	1階	トレセン新フロア
195	10	1階	代々木門階段下倉庫	147	10	1階	トレセン指導員室
196	10	1階	代々木門階段下倉庫	148	10	1階	トレーニング場女子
42	10	1階	体育館ガス給湯室	149	10	1階	トレーニング場男子
44	10	1階	体育館ガス給湯室	150	10	1階	トレーニング場男子
108	10	1階	体育館受付ロビー	151	10	1階	トレセン旧救護室
109	10	1階	体育館フロアー	184	10	1階	ダッグアウトトレセン入口
110	10	1階	体育館フロアー	199	10	1階	北污水ポンプ室
114	10	1階	レストランオリンピア	152	10	1階	ランプ下ポンプ室
44-1	10	1階	第4変電室	41	15	1階	ランプ下ポンプ室
154	10	1階	小会議室1	215	10	1階	第11変電所
155	10	1階	小会議室2	153	10	1階	ランプ下発電機室
156	10	1階	小会議室3	203	10	1階	写真屋現像室
157	10	1階	小会議室4	204	10	1階	ランプ下器具庫
158	10	1階	大会議室	205	10	1階	ランプ下器具庫
159	10	1階	会議室前給湯室	215-1	10	1階	北一門屋外キュービクル
160	10	1階	予備室(1)	65	50	1階	トレセン機械室
161	10	1階	書庫	71	10	1階	トレセン機械室
73	20	1階	保管庫(2)	72	20	1階	トレセン機械室

74	20	1階	保管庫(2)	43	20	1階	第1変電室
162	10	1階	暗室	64	50	1階	第1変電室
163	10	1階	暗室	212	10	1階	第1変電室
213	10	1階	第2変電室	224	10	1階	制御室内給湯室前
164	10	1階	大会本部	211	10	1階	制御室内
165	15	1階	本部記録室	208	10	1階	制御室資料室前
166	10	1階	大会用防災本部	209	10	1階	電気資材置場
167	10	1階	本部気送管室	210	10	1階	機械資材置場
168	10	1階	本部裏放送器具庫	207	10	1階	第3変電室前機械室
78	20	1階	プール機械室	214	10	1階	第3変電室
77	20	1階	プール機械室	63	50	1階	プール機械室
131	10	1階	博物館入口	1階部合計			87本
1	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口	6	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口
2	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口	7	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口
3	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口	8	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口
4	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口	9	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口
5	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口	10	機械泡3型	2階	運営調整・施設管理事務所入口
119	10	2階	運営・施設管理課男子更衣室	176	10	2階	貴賓室
120	10	2階	運営・施設管理課会議室	177	10	2階	貴賓室
121	10	2階	運営・施設管理課事務所	132	10	2階	博物館倉庫
122	10	2階	運営・施設管理課給湯室前	133	10	2階	博物館展示場
123	10	2階	運営・施設管理課ロビー	134	10	2階	博物館展示場
201	10	2階	体育施設協会	135	10	2階	博物館展示場
202	10	2階	体育施設協会	136	10	2階	博物館展示場
170	10	2階	労働組合事務所	137	10	2階	博物館通路
172	10	2階	日本スポーツクラブ協会	138	10	2階	博物館図書庫
173	10	2階	東京都サッカー協会内	139	10	2階	博物館図書閲覧室
174	10	2階	東京都サッカー協会内	140	10	2階	博物館事務室
175	10	2階	ラウンジB内	113	10	2階	レストランオリンピア
111	10	2階	体育館休憩室	114	10	2階	レストランオリンピア
112	10	2階	第一クラブルーム	140-1	ハロンNH1A	2階	博物館特別展示場
				2階部合計			38本
178	10	3階	ラウンジA	191	10	3階	青山門指導室

45	15	3階	第5変電所	260	10	3階	大会運営管理室1 女子更衣室
46	15	3階	第6変電所	261	10	3階	大会運営管理室1 男子更衣室
47	15	3階	第7変電所	262	10	3階	大会運営管理室1 休息室
185	10	3階	3階回廊A売店	263	10	3階	大会運営管理室2
186	10	3階	3階回廊B売店	264	10	3階	大会運営管理室2
187	10	3階	3階回廊C売店	265	10	3階	大会運営管理室2
188	10	3階	3階回廊D売店	189-1	10	3階	吸収冷温水機室
273	10	3階	3階回廊G売店	189-2	10	3階	吸収式冷温水発生機
275	10	3階	3階回廊F売店	266	10	3階	千駄ヶ谷門プログラム 売り場
189	10	3階	クラブハウス	267	10	3階	代々木門プログラム 売り場
190	10	3階	委託業者控室	268	10	3階	青山門プログラム売 り場
				3階部合計			24本
221	10	4階	バック予備室南	36	ハロン 2型	4階	電光掲示盤塔屋
223	10	4階	バック予備室北	37	ハロン 2型	4階	電光掲示盤塔屋
200	10	4階	4階回廊E売店	179	10	4階	4階指揮室
180	10	4階	警察署警備本部	229	10	4階	4階指揮室
230	10	4階	消防署警戒本部	4階部合計			9本
35	ハロン 2型	5階	場内放送機器室	269	10	5階	グリーンシートD入 口
34	ハロン 2型	5階	オペレーションルーム (1)	272	10	5階	グリーンシートA入 口
182	10	5階	場内アナウンス室	278	10	5階	スタジオ501入口
183	10	5階	写真判定室	279	10	5階	ディレクター室入口
225	10	5階	ケータリングサービスル ーム	48	15	5階	第8変電室
226	10	5階	スカイラウンジB入口	49	15	5階	第9変電室
227	10	5階	スカイラウンジルーム7 前	50	15	5階	第10変電室
228	10	5階	ケータリングサービスル ーム入口	5階部合計			15本
79	20	屋上	第1エレベーター機械室	80	20	屋上	第2エレベーター機 械室
				屋上部合計			2本

【ラグビー場】

番号	型	区分	場 所	番号	型	区分	場 所
21	機械泡 10型	1階	西スタンドだれでも トイレ前	233	10	1階	ロッカールームD前 南通路外部ドア内
22	機械泡 10型	1階	玄関通路オープンル ーム5入口脇	234	10	1階	北通路南側ドア内
23	機械泡 10型	1階	南通路外部ドア外	235	10	1階	北通路外部ドア内
24	機械泡 10型	1階	ロッカールームC前	236	10	1階	シミズオクト控室
25	機械泡 10型	1階	北スタンドN-1入 口	237	10	1階	機械室(消火栓ポンプ) 内
26	機械泡 10型	1階	北スタンドN-4番 入口	238	10	1階	電気室前
27	機械泡 10型	1階	東スタンド3番ゲ ート入口	239	10	1階	発電機室
28	機械泡 10型	1階	東スタンド7ゲ ート入口	241	10	1階	東スタンド1番ゲ ート
29	機械泡 10型	1階	南スタンド下東	242	10	1階	C売店
30	機械泡 10型	1階	南スタンド下中央	243	10	1階	東スタンド5番ゲ ート
31	機械泡 10型	1階	南スタンド下西側	244	10	1階	D売店
10	10	1階	玄関通路オープンル ーム4入口脇	245	15	1階	東スタンド10番ゲ ート下変電室
230	10	1階	男子トイレ前	246	10	1階	東スタンド9番ゲ ート下変電室
231	10	1階	受水槽室前	260	10	1階	電気室内
232	10	1階	北側給湯機置場	1階部合計			29本
8	10	2階	スモーキングルームA	251	10	2階	3ゲート入口
9	10	2階	スモーキングルームB	252	10	2階	A売店
247	10	2階	南スタンド上東	253	10	2階	B売店
248	10	2階	南スタンド上中央	254	10	2階	5ゲート入口
249	10	2階	南スタンド上西	255	10	2階	6ゲート入口
250	10	2階	2ゲート入口	2階部合計			11本
20	機械泡 10型	3階	ビデオ判定室前	258	10	3階	警察詰所階段脇
256	10	3階	場内放送室階段下	259	10	3階	女子トイレ前
257	10	3階	放送室3前通路	3階部合計			5本

【ラグビー場クラブハウス】

番号	型	区分	場 所	番号	型	区分	場 所
5 1	1 0	1階	ラグビー協会玄関ホール	1 5	機械泡 3型	1階	玄関ホール
5 2	1 0	1階	ラグビー協会給湯室	1 6	機械泡 3型	1階	玄関ホール
5 3	1 0	1階	関東ラグビー協会前廊下	1 7	機械泡 3型	1階	玄関ホール
1 1	機械泡 3型	1階	玄関ホール	1 8	機械泡 3型	1階	玄関ホール
1 2	機械泡 3型	1階	玄関ホール	1 9	機械泡 3型	1階	玄関ホール
1 3	機械泡 3型	1階	玄関ホール	2 0	機械泡 3型	1階	玄関ホール
1 4	機械泡 3型	1階	玄関ホール	1階部合計			13本
5 4	1 0	2階	会議室	5 6	1 0	2階	食堂
5 5	1 0	2階	ホール	5 7	1 0	2階	厨房
				2階部合計			4本

【テニス場東コートクラブハウス】

番号	型	区分	場 所	番号	型	区分	場 所
9 1	1 0	1階	事務所内	9 4	1 0	1階	更衣室入口
9 2	1 0	1階	キュービクル用	9 5	1 5	1階	ボイラー用 (外)
9 3	1 0	1階	給湯室	9 6	2 0	1階	ボイラー用 (外)
				1階部合計			6本
9 7	1 0	2階	ホール	9 8	1 0	2階	休息室
				2階部合計			2本

【テニス場西コートクラブハウス】

番号	型	区分	場 所	番号	型	区分	場 所
1 0 1	1 0	1階	女子更衣室前	1 0 3	1 0	1階	機械室
1 0 2	1 0	1階	男子更衣室前	1 0 7	1 5	1階	機械室
				1階部合計			4本
1 0 4	1 0	2階	ロビー	1 0 6	1 0	2階	女子トイレ前
1 0 5	1 0	2階	事務所内	2階部合計			3本

コ 連結送水管設備・消防用水

【陸上競技場】

- ◎ 連結送水管設備 12基
- ◎ 防火用水採水口 2基
ランプ下 (埋込式1基、スタンド式1基)
- ◎ 連結送水管設備送水口 3基
 - ・1階 トレセン用男子貸ロッカー前
 - ・1階 陸上更衣室前
 - ・会議室前

(注) 上記設備については、今後実施される施設整備工事により、現状の設備等が変更となる場合がある。

4 防火対象物点検業務 施設別点検箇所一覧

- (1) 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場
- ア 独立行政法人日本スポーツ振興センター本部事務所
4,442.64㎡
 - イ 陸上競技場
39,937.42㎡
 - ウ 倉庫
304.00㎡
 - 合計 44,684.06㎡

番号	名 称	数量・単位
1	基本料金	1式
2	観覧場 500㎡未満	1式
3	観覧場 500㎡以上100㎡増す毎	442式

- (2) 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場
- ア ラグビー場スタンド
19,783.75㎡
 - イ 東テニスコートクラブハウス
445.56㎡
 - ウ ラグビー場クラブハウス
989.22㎡
 - 合計 21,218.53㎡

番号	名 称	数量・単位
1	基本料金	1式
2	観覧場 500㎡未満	1式
3	観覧場 500㎡以上100㎡増す毎	208式

5 防災管理点検業務

- (1) 対象施設：独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場
- (2) 規 模：鉄筋コンクリート造り 5階建
- 敷地面積 71,943㎡
 - 建築面積 33,716㎡
 - 延床面積 51,581㎡
 - 収容人員 54,224席 (平成23年7月30日現在)

6 消防用設備点検業務 共通事項及び消防用設備別点検基準

- (1) 一般事項（点検共通事項）
 - ア 消防法等関係法令の設置に係る基準に従って設置されていることを確認すること。
 - イ 他の消防用設備等の設置により、設置しないこととしたものについては、当該消防用設備等の設置について確認すること。
 - ウ 目視により防火対象物又はその部分に、設置の有無を確認すること。
 - エ 消防設備については、年度内に実施される施設整備工事により、現状の設備等が変更となる場合がある。
- (2) 消防用設備別点検基準
 - ア 消火器具
 - (ア) 機能点検
次の事項について確認すること。
 - a 設置状況
 - (a) 設置場所
通行又は避難に支障がなく、かつ、消火器については消火薬剤が凍結、変質等のおそれの少ない場所で、使用に際して容易に持ち出すことができる位置にあること。
 - (b) 設置間隔
防火対象物の各部分からそれぞれ当該消火器具に至る歩行距離が規定の数値以下であること。
 - (c) 適応性
設置した場所の消火に適応する消火器具であること。
 - (d) 耐震措置（転倒により消火薬剤が漏出するおそれのある消火器に限る。）
震動等による転倒を防止するための適当な措置が講じられていること。
 - b 表示及び標識
損傷、汚損、脱落、不鮮明なもの等がなく、所定のものが設けられていること。
 - c 消火器の外形
 - (a) 本体容器
消火薬剤の漏れ、変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 安全栓の封
損傷、脱落等がなく、確実に取り付けられていること。
 - (c) 安全栓
変形、損傷等がなく、確実に装着されていること。
 - (d) 使用済みの表示装置
変形、損傷、脱落等がなく、作動していないこと。
 - (e) 押し金具及びレバー等の操作装置
変形、損傷等がなく、確実にセットされていること。
 - (f) キャップ
変形、損傷等がなく、本体容器と緊結されていること。
 - (g) ホース
変形、損傷、老化、詰まり等がなく、本体容器と緊結されていること。
 - (h) ノズル、ホーン及びノズル栓
変形、損傷、老化、詰まり等がなく、ホースと緊結されており、二酸化炭素消火器にあつては、ホーン握りの脱落がないこと。
 - (i) 指示圧力計
変形、損傷等がなく、指示圧力値が適正であること。
 - (j) 圧力調整器
変形、損傷等がないこと。
 - (k) 安全弁

- 変形、損傷等がなく、本体容器と緊結されていること。
- (l) 保持装置
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、消火器を容易に取りはずせること。
- (m) 車輪（車載式消火器に限る。）
 - 変形、損傷等がなく、円滑に回転すること。
- (n) ガス導入管（車載式消火器に限る。）
 - 変形、損傷等がなく、確実に取り付けられていること。
- d 消火器の内部及び機能
 - 消火器のうち製造年から3年（化学泡消火器にあつては、設置後1年）を経過したもの又は消火器の外形の点検において安全栓及び安全栓の封の緊結部等に異常が認められたものについて実施すること。
 - この場合において、3年を経過したものうち、蓄圧式の消火器（二酸化炭素消火器及びハロゲン化物消火器を除く。）、及び加圧式の粉末消火器にあつては、抜取り方式により点検を行うことができる。
 - (a) 本体容器及び内筒等
 - ① 本体容器
 - 内面に腐食、防錆材料の脱落等がないこと。
 - ② 内筒等
 - 損傷、腐食、漏れ等がないこと。
 - ③ 液面表示
 - 明確にされていること。
 - (b) 消火薬剤
 - ① 性状
 - 変色、腐敗、沈澱物、汚れ等がなく、粉末消火薬剤にあつては、固化がないこと。
 - ② 消火薬剤量
 - 所定量あること。
 - (c) 加圧用ガス容器
 - 著しい腐食がなく、加圧用ガスが所定量あること。
 - (d) カッター及び押し金具
 - 変形、損傷等がなく、操作用のレバー、ハンドル等を操作した場合に、カッター及び押し金具が確実に作動すること。
 - (e) ホース
 - ホース及びホース接続部に詰まり等がないこと。
 - (f) 開閉式ノズル及び切替式ノズル
 - 開閉操作又は切替操作が容易にできること。
 - (g) 指示圧力計
 - 正常に作動すること。
 - (h) 使用済みの表示装置
 - 正常に作動すること。
 - (i) 圧力調整器
 - 正常に作動すること。
 - (j) 安全弁及び減圧孔（排圧栓を含む。）
 - 変形、損傷、詰まり等がなく、確実に作動すること。
 - (k) 粉上り防止用封板
 - 変形、損傷等がなく、確実に取り付けられていること。
 - (l) パッキン
 - 変形、損傷、老化等がないこと。
 - (m) サイホン管及びガス導入管
 - 変形、損傷、詰まり等がなく、確実に取り付けられていること。

- (n) ろ過網
損傷、腐食、詰まり等がないこと。
- (o) 放射能力
二酸化炭素消火器、ハロゲン化物消火器及び車載式の消火器以外の消火器については、放射試験を抜取り方式により実施し、放射能力に異常がないこと。
- e 簡易消火用具
 - (a) 外形
水バケツ及び水槽に、変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 水量等
水槽の水、乾燥砂、膨張ひる石又は膨張真珠岩が規定量あること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うこと。
- イ 屋内消火栓設備
次の事項について確認すること。
 - (ア) 機能点検
 - a 水源
 - (a) 貯水槽
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 水量
規定量が確保されていること。
 - (c) 水状
著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がないこと。
 - (d) 給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - (e) 水位計
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (f) 圧力計（圧力水槽方式のものに限る。）
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (g) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - b 加圧送水装置（ポンプ方式）
 - (a) 電動機の制御装置
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電圧計及び電流計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - ⑤ 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - ⑥ ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常

であること。

- ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
- ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- ⑪ 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。

(b) 起動装置

- ① 直接操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
- ② 遠隔操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがなく、操作部が消火栓箱内部又はその直近に設けられていること。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
- ③ 遠隔起動部令第11条第3項第2号の基準により設置される屋内消火栓（以下「2号消火栓」という。）及び消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第12条第1項第7号へただし書の規定に適合する消火栓（以下「簡易操作性1号消火栓」という。）に限る。）
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 機能
正常であること。
- ④ 起動用水圧開閉装置
 - ・ 圧力スイッチ
変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が設計図書のとおりであること。
 - ・ 起動用圧力タンク
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がなく、圧力計の指示値が適正であること。
 - ・ 機能
作動圧力値が適正であること。

(c) 電動機（ポンプ方式）

- ① 外形

- 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 回転軸
回転が円滑であること。
- ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- ④ 軸継手
緩み等がなく、機能が正常であること。
- ⑤ 機能
正常であること。
- (d) ポンプ
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 回転軸
回転が円滑であること。
 - ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
 - ④ グランド部
著しい漏水がないこと。
 - ⑤ 連成計及び圧力計
正常に作動すること。
 - ⑥ 性能
適正であること。
- (e) 呼水装置
 - ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
 - ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ⑤ フート弁
吸水に障害となる異物の付着、詰まり等がなく、逆止効果が正常であること。
 - ⑥ 性能試験装置
変形、損傷、腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ⑦ 高架水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が得られること。
 - ⑧ 圧力水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が確保されており、かつ、圧力の自然低下防止装置が正常に作動すること。
- c 減圧のための措置
減圧弁等に変形、損傷、漏れ等がないこと。
- d 配管等
 - (a) 管及び管継手
漏れ、変形、損傷等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 支持金具及び吊り金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。

- (c) バルブ類
 - 漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- (d) ろ過装置
 - ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
- (e) 逃し配管
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
- e 屋内消火栓箱等
 - (a) 消火栓箱
 - ・ 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
 - 変形、損傷等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ・ 表示
 - 適正であること。
 - (b) ホース及びノズル
 - ・ 外形
 - 令第 11 条第 3 項第 1 号の基準により設置される屋内消火栓（簡易操作性 1 号消火栓を除く。）ホース及びノズルは必要本数が正常に収納され、変形、損傷、著しい腐食等がなく、接続部の着脱が容易にできること。
 - 簡易操作性 1 号消火栓及び 2 号消火栓
 - ホース及びノズルの手元開閉装置に変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に収納されていること。
 - 操作性(簡易操作性 1 号消火栓及び 2 号消火栓に限る。)
 - ノズルの手元開閉装置の操作が容易にでき、ホースの延長、格納が容易にできること。
 - ・ ホースの耐圧性能（ホース（簡易操作性 1 号消火栓及び 2 号消火栓のホースを除く。）の製造年の末日から 10 年を経過した日以降に点検を行う場合に限る。ただし、ホースの耐圧性能に関する点検を行ってから 3 年を経過していない場合を除く。）所定の水圧をかけた場合において、変形、損傷又は著しい漏水等がないこと。
 - (c) ホース及びノズル
 - ・ 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
 - 変形、損傷等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ・ 標識
 - 正しく標識がなされていること。
 - ・ 消火栓開閉弁
 - 漏れ、変形、損傷等がなく、開閉操作が容易にできること。
 - (d) 始動表示灯
 - 変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯すること。
 - (e) 使用方法の表示
 - 適正に取り付けられていること。
 - (f) 耐震措置
 - アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
 - 機能点検と同様の項目を行うほか、非常電源に切り替えた状態で、直接操作部、遠隔操作部又は遠隔起動部により加圧送水装置を起動させ、任意の屋内消火栓に

より放水し、次の事項について確認すること。

a ポンプ方式

(a) 起動性能等

- ① 加圧送水装置
正常に作動すること。
- ② 表示、警報等
適正に行われること。
- ③ 電動機の運転電流
適正であること。
- ④ 運転状況
運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

(b) 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

(c) 放水量

規定量以上であること。

(d) 減圧のための措置

機能が正常であること。

b 高架水槽方式及び圧力水槽方式

(a) 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

(b) 放水量

規定量以上であること。

(c) 減圧のための措置

機能が正常であること。

ウ 消防用水

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 水源

(a) 貯水槽

変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。

(b) 水量

異常等がなく、必要量があること。

(c) 水状

異常等がないこと。

(a) 給水装置

変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。

b 吸管投入孔・採水口

(a) 周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

(b) 吸管投入口

投入口の状況を確認する。

(c) 採水口

① 本体

本体に異常がないこと。

② 開閉弁

開閉弁が正常に起動すること。

(d) 標識

正しく標識があること。

(イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うこと。

エ 連結送水管設備

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 送水口

- (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- (b) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (c) 本体
適正であること。
- (d) 標識
正しく標識があること。

b 放水用器具格納箱等

(a) 放水用器具格納箱

- ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ③ 標識
正しく標識があること。

(b) ホース・ノズル

- ① 外形・機能
変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に利用できること。
- ② ホースの耐圧性能

(c) 放水口

- ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ③ 標識
正しく標識があること。
- ④ 開閉弁
開閉弁が正常に起動すること。

(d) 格納箱

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

c 加圧送水装置

(a) 電動機の制御装置

- ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ③ 表示
適正であること。
- ④ 電圧計及び電流計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
- ⑤ 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
- ⑥ ヒューズ類

損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。

- ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
- ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- ⑪ 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。

(b) 起動装置

- ① 直接操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
- ② 遠隔操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがなく、操作部が消火栓箱内部又はその直近に設けられていること。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。

(c) 電動機

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 回転軸
回転が円滑であること。
- ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- ④ 軸継手
緩み等がなく、機能が正常であること。
- ⑤ 機能
正常であること。

(d) ポンプ

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 回転軸
回転が円滑であること。
- ③ 軸受部

- 潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- ④ グランド部
著しい漏水がないこと。
 - ⑤ 連成計及び圧力計
正常に作動すること。
 - ⑥ 性能
適正であること。
- (e) 呼水装置
- ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
 - ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- f 起動装置
- (a) 中間水槽
- ① 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ② 水状
異常等がなく、必要量があること。
- (b) 給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- (c) 水位計
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
- (d) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- e 配管等
- (a) 管及び管継手
- ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 配管の耐圧性能
- (b) 支持金具及び吊り金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
- (c) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- (d) ろ過装置
ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
- (e) 逃し配管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
- f 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
- a 加圧送水装置

- 正常に作動すること。
 - b 電動機の運転電流
適正であること。
 - c 運転状況
運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。
- オ スプリンクラー設備
- (ア) 機能点検
次の事項について確認すること。
 - a 水源
 - (a) 貯水槽
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 水量
規定量が確保されていること。
 - (c) 水状
著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がないこと。
 - (d) 給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - (e) 水位計
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (f) 圧力計（圧力水槽方式のものに限る。）
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (g) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - b 加圧送水装置（ポンプ方式）
 - (a) 電動機の制御装置
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - ⑤ 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - ⑥ ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - ⑪ 予備品等

予備品、回路図等が備えてあること。

(b) 起動装置

① 手動式起動操作部

- ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
- ・ 表示
適正であること。
- ・ 機能
正常であること。

② 自動式起動装置

- ・ 起動用水圧開閉装置
 - ※ 圧カスイッチ
変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が設計図書のとおりであること。
 - ※ 起動用圧カタンク
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がなく、圧力計の指示値が適正であること。
 - ※ 機能
作動圧力値が適正であること。
- ・ 火災感知装置
 - ※ 感知器
自動火災報知設備の機器点検の基準に準じ、機能が正常であること。
 - ※ 閉鎖型スプリンクラーヘッド
オ（ア）及び（イ）に準じた事項に適合していること。

(c) 電動機（ポンプ方式）

① 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

② 回転軸

回転が円滑であること。

③ 軸受部

潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。

④ 軸継手

緩み等がなく、機能が正常であること。

⑤ 機能

正常であること。

(d) ポンプ

① 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

② 回転軸

回転が円滑であること。

③ 軸受部

潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。

④ グランド部

著しい漏水がないこと。

⑤ 連成計及び圧力計

正常に作動すること。

⑥ 性能

- 適正であること。
- (e) 呼水装置
 - ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
 - ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ⑤ フート弁
吸水に障害となる異物の付着、詰まり等がなく、逆止効果が正常であること。
 - (f) 性能試験装置
変形、損傷、腐食等がなく、機能が正常であること。
 - (g) 高架水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が得られること。
 - (h) 圧力水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が確保されており、かつ、圧力の自然低下防止装置が正常に作動すること。
 - c 減圧のための措置
減圧弁等に変形、損傷、漏れ等がないこと。
 - d 配管等
 - (a) 管及び管継手
漏れ、変形、損傷等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
 - (c) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - (d) ろ過装置
ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
 - (e) 逃し配管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
 - (f) 流水検知装置二次側配管（乾式又は予作動式のものに限る。）
排水が適正に行われること。
 - (g) 標識
制御弁及び末端試験弁である旨の標識が適正に設けられていること。
 - e 送水口
 - (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び消防ポンプ自動車の接近の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
漏れ、変形、損傷、パッキンの老化等がなく、異物が入っておらず、かつ、ホース等が容易に着脱できること。
 - (c) 標識
適正に設けられていること。
 - f スプリンクラーヘッド
 - (a) 外形

漏れ、変形、損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。

- (b) 感熱障害
ヘッドの周囲に感熱を妨げるものがないこと。
 - (c) 散水分布障害
ヘッドの周囲に散水分布を妨げるものがないこと。
 - (d) 未警戒部分
ヘッドが設けられていない部分がないこと。
 - (e) 適応性
設置場所に適応するヘッドが設けられていること。
- g 流水検知装置及び圧力検知装置
- (a) バルブ本体及び附属品
漏れ、変形、損傷等がなく、圧力計の指示値が適正であり、かつ、機能が正常であること。
 - (b) リターディング・チャンバー
変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、オートドリップ等による排水が有効であること。
 - (c) 圧力スイッチ
変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が設計図書のとおりであり、かつ、作動圧力値が適正であること。
 - (d) 音響警報装置及び表示装置
機能が正常であること。
 - (e) 減圧警報装置
作動圧力及び警報が適正であること。
- h 一斉開放弁（電磁弁を含む。）
- 漏れ、変形、損傷、著しい腐食、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
- i 排水設備（放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備に限る。）
- 損傷、詰まり等がなく、機能が正常であること。
- j 補助散水栓箱等
- (a) 補助散水栓箱
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ 表示
適正であること。
 - (b) ホース及びノズル
 - ① 外形
ホース、ノズル及びノズルの手元開閉装置に変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に収納されていること。
 - ② 操作性
ノズルの手元開閉装置の操作が容易にでき、ホースの延長、格納が容易にできること。
 - ③ 補助散水栓開閉弁
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉操作が容易にできること。
 - ④ 表示灯
変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。
 - ⑤ 使用方法の表示
適正に取り付けられていること。

k 耐震措置

アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。

(イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。

a 閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、末端試験弁の開放操作等により起動させ、次の事項について確認すること。

(a) ポンプ方式

① 起動性能等

・ 加圧送水装置

正常に作動すること。

・ 表示、警報等

適正に行われること。

・ 電動機の運転電流

適正であること。

・ 運転状況

運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

② 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。

③ 減圧のための措置

機能が正常であること。

(b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式

① 表示、警報等

適正に行われること。

② 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。

③ 減圧のための措置

機能が正常であること。

b 開放型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、手動式起動操作部の操作又は自動式起動装置の作動により起動させ、次の事項について確認すること。

(a) ポンプ方式

① 起動性能等

・ 加圧送水装置

正常に作動すること。

・ 表示、警報等

適正に行われること。

・ 電動機の運転電流

適正であること。

・ 運転状況

運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

② 一斉開放弁

正常に作動すること。

③ 減圧のための措置

機能が正常であること。

(b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式

① 表示、警報等

- 適正に行われること。
 - ② 一斉開放弁
 - 正常に作動すること。
 - ③ 減圧のための措置
 - 機能が正常であること。
 - c 補助散水栓
 - 非常電源に切り替えた状態で、補助散水栓を操作することにより加圧送水装置を起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) ポンプ方式
 - ① 起動性能等
 - ・ 加圧送水装置
 - 正常に作動すること。
 - ・ 表示、警報等
 - 適正に行われること。
 - ・ 電動機の運転電流
 - 適正であること。
 - ・ 運転状況
 - 運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。
 - ② 放水圧力
 - 規定圧力範囲内であること。
 - ③ 放水量
 - 規定量以上であること。
 - ④ 減圧のための措置
 - 機能が正常であること。
 - (b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式
 - ① 表示、警報等
 - 適正に行われること。
 - ② 放水圧力
 - 規定圧力範囲内であること。
 - ③ 放水量
 - 規定量以上であること。
 - ④ 減圧のための措置
 - 機能が正常であること。
- カ ハロゲン化物消火設備
 - 次の事項について確認すること。
 - (ア) 機能点検
 - 次の事項について確認すること。
 - a 蓄圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等
 - (a) 消火剤貯蔵容器
 - ① 周囲の状況
 - 防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ② 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ③ 表示及び標識
 - 適正に設けられていること。
 - (b) 消火剤量
 - 規定量以上貯蔵されていること。

- (c) 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (d) 容器弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ② 電気式
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- (e) 指示圧力計
変形、損傷等がなく、正常に作動すること。
- (f) 連結管・集合管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、接続部の緩み等がないこと。
- b ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等
 - (a) 消火剤貯蔵タンク
 - ① 周囲の状況
防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ③ 表示及び標識
適正に設けられていること。
 - ④ 安全装置
放出口のつまり等がないかを確認すること。
 - (b) 消火剤量
規定量以上貯蔵されていること。
 - (c) 放出弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (d) 放出弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - (e) バルブ類
変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - (f) 加圧用ガス容器等
 - ① 加圧用ガス容器
 - ・ 周囲の状況
防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ・ 表示
適正に設けられていること。

- ② ガス量
規定量以上貯蔵されていること。
 - ③ 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ④ 容器弁開放装置
 - ・ 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ・ 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ・ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ⑤ 圧力調整器
変形、損傷、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 連結管・集合管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、接続部の緩み等がないこと。
- c 起動用ガス容器等
- (a) 起動用ガス容器
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器収納箱に設けられているもの
にあっては、扉の開閉が確実にできること。
 - ② 表示
適正に設けられていること。
 - (b) ガス量
規定量以上貯蔵されていること。
 - (c) 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (d) 容器弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の容器弁開放装置
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ③ 手動式の容器弁開放装置
ピストンロッド及び破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動するこ
と。
- d 選択弁
- (a) 本体
 - ① 外形
変形、損傷、締付部の緩み等がないこと。
 - ② 表示
適正に設けられていること。
 - ③ 機能
正常であること。
 - (b) 開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- e 操作管及び逆止弁

- (ア) 外形
変形、損傷、接続部の緩み等がなく、取付位置及び方向等が適正であること。
- (イ) 機能
正常であること。
- f 起動装置
 - (a) 手動式起動装置
 - ① 周囲の状況
操作箱の周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 操作箱
変形、損傷、著しい腐食等がなく、確実に固定され、かつ、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - ⑤ 音響警報起動用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 放出用スイッチ及び非常停止用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑦ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑧ 保護カバー
有機ガラス等による保護措置に変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (b) 自動式起動装置
 - ① 火災感知装置
自動火災報知設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。
 - ② 自動・手動切替装置
変形、損傷、脱落等がなく、切替位置及び切替機能が正常であること。
 - ③ 自動・手動切替表示灯
正常に点灯すること。
- g 警報装置
 - (a) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (b) 音響警報
正常に鳴動し、その音圧が適正であること。
 - (c) 音声警報
正常に鳴動し、その音圧が適正で、かつ、起動したときに注意音を発し、その後音声を発すること。
- h 制御盤
 - (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (c) 表示
適正であること。
 - (d) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - (e) 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開

閉機能が正常であること。

- (f) ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (g) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - (h) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (i) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (j) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - (k) 遅延装置
設定が適正であること。
 - (l) 自動・手動切替機能
正常であること。
 - (m) 放出制御機能
正常であること。
 - (n) 制御盤用音響警報装置
機能が正常であること。
 - (o) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- i 配管等
- (a) 管及び管継手
損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
- j 配管の安全装置等
- (a) 安全装置
放出口のつまり等がないこと。
 - (b) 破壊板
変形、損傷、脱落等がないこと。
- k 消火剤等排出措置
消火剤等の排出措置が確認できること。
- l 放出表示灯
適正な位置に設けられ、変形、損傷、脱落等がなく、かつ、正常に点灯すること。
- m 噴射ヘッド
- (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食、つまり等がないこと。
 - (b) 放射障害
周囲に放射障害となるものがないこと。
- n 防護区画
- (a) 区画変更等
開口部の区画変更等がないこと。
 - (b) 開口部の自動閉鎖装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気で作動するもの
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。

- ③ ガス圧で作動するもの
 - ピストンロッド及び破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- o 非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
 - 適正であること。
 - (c) 端子電圧
 - 規定値の範囲内であること。
 - (d) 切替装置
 - 常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
 - (e) 充電装置
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
 - (f) 結線接続
 - 変形、損傷、緩み、著しい腐食、焼損等がないこと。
- p ホース等
 - (a) 収納の状況
 - ホースの引出し、格納等が容易にできること。
 - (b) 格納箱
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - (c) ホース
 - 変形、損傷、老化、接続部の緩み等がなく、所定の長さのものであること。
 - (d) ホースリール
 - ホースの引出し、格納等が容易にできること。
 - (e) ノズル
 - 著しい腐食、詰まり等がなく、危害防止のための措置がされていること。
 - (f) ノズル開閉弁
 - 開閉操作が容易にできること。
- q 表示灯及び標識（移動式に限る。）
 - 適正に設けられていること。
- r 耐震措置
 - アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
 - 機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - a 全域放出方式及び局所放出方式
 - 非常電源に切り替えた状態で起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) 全域放出方式
 - ① 警報装置
 - 確実に鳴動すること。
 - ② 遅延装置
 - 確実に作動すること。
 - ③ 開口部の自動閉鎖装置等
 - 正常に作動し、換気装置が確実に停止すること。
 - ④ 起動装置及び選択弁
 - 確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ⑤ 配管及び配管接続部
 - 通気状態で漏れがないこと。
 - ⑥ 放出表示灯

- 正常に点灯すること。
- (b) 局所放出方式
 - ① 警報装置
 - 確実に鳴動すること。
 - ② 起動装置及び選択弁
 - 確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ③ 配管及び配管接続部
 - 通気状態で漏れがないこと。
- b 移動式
 - 手動式起動操作部の操作により起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) ノズル開閉弁
 - 異常がなく、試験用ガスが放射されること。
 - (b) ホース及びホース接続部
 - 試験用ガスの漏れがないこと。
- キ 自動火災報知設備
 - 次の事項について確認すること。
 - (ア) 機能点検
 - a 予備電源及び非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
 - 規定値以上であること。
 - (c) 端子電圧
 - 規定値の範囲内であること。
 - (d) 切替装置
 - 常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
 - (e) 充電装置（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
 - (f) 結線接続
 - 変形、損傷、緩み、著しい腐食、焼損等がないこと。
 - b 受信機及び中継器
 - (a) 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
 - 変形、損傷等がないこと。
 - (c) 表示
 - 適正であること。
 - (d) 警戒区域の表示装置
 - 汚損、不鮮明な部分等がないこと。
 - (e) 電圧計
 - 変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - (f) スイッチ類
 - 端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - (g) ヒューズ類
 - 損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (h) 継電器（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
 - 脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。

- (i) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (j) 通話装置
受信機相互間、発信機等との通話が明瞭に行えること。
 - (k) 結線接続（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (l) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - (m) 附属装置
火災信号又は火災情報信号が正常に受信でき、かつ、相互に機能障害がないこと。
 - (n) 火災表示等（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
 - ① 蓄積式
蓄積機能及び火災表示が適正であること。
 - ② アナログ式
火災表示が適正であること。
 - ③ 二信号式
第一信号及び第二信号による火災表示が適正であること。
 - ④ その他
火災表示が適正であること。
 - (o) 注意表示（アナログ式の自動火災報知設備のうち、自動試験機能を有しないものに限る。）
適正であること。
 - (p) 回路導通（常時断線監視機能を有する自動火災報知設備を除く。）
試験用計器の指示又は確認灯の点灯により導通すること。
 - (q) 設定表示温度等（アナログ式の自動火災報知設備に限る。）
感知器の設定表示温度等が適正であること。
 - (r) 感知器の作動等の表示（遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に限る。）
感知器の作動及び警戒区域の表示が適正であること。
 - (s) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- c 感知器
- (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 警戒状況
 - ① 未警戒部分
未警戒の部分がないこと。
 - ② 感知区域
設定が適正であること。
 - ③ 適応性
設置場所に適応する感知器が設けられていること。
 - ④ 機能障害
機能障害となるものがないこと。
 - (c) 熱感知器（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る熱感知器又は多信号感知器を除く。）
 - ① スポット型
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
 - ② 分布型
 - ・ 空気管式

作動及び作動継続の機能が正常であり、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

- ・ 熱電対式及び熱半導体式

作動、警戒区域の表示及び回路合成抵抗値が適正であること。

③ 感知線型

作動、警戒区域の表示及び回路合成抵抗値が適正であること。

- (d) 煙感知器（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る煙感知器又は多信号感知器を除く。）

① スポット型

確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

② 分離型

確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

- (e) 炎感知器（自動試験機能又は遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る炎感知器を除く。）

確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

- (f) 多信号感知器及び複合式感知器（自動試験機能又は遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る多信号感知器及び複合式感知器を除く。）

その有する性能に応じて、(c)及び(d)に準じた事項に適合していること。

- (g) 感知器（遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る感知器に限る。）

感知器の作動及び警戒区域の表示が適正であること。

d 発信機

- (a) 周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

- (b) 外形

変形、脱落、著しい腐食、押しボタンの保護板の損傷等がないこと。

- (c) 表示

適正であること。

- (d) 押しボタン及び送受話器

押しボタン又は送受話器を操作した際、確実に作動すること。なお、確認灯のあるものにあつては、点灯すること。

- (e) 表示灯

変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。

e 音響装置

- (a) 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

- (b) 取付状態

脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。

- (c) 音圧等

音圧、音色及び音声が正常であり、他の機械等の音と区別して聞き取れること。

- (d) 鳴動

鳴動方式どおり地区音響装置が鳴動すること。

- f 蓄積機能（蓄積機能を有する自動火災報知設備のうち、自動試験機能を有しないものに限る。）

- (a) 感知器が作動したときの火災表示までの時間が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。

- (b) アナログ式の自動火災報知設備にあつては、(a)に準ずるほか、注意表示までの時間が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。

- g 二信号機能（二信号機能を有する自動火災報知設備のうち、自動試験機能を

有しないものに限る。)

第一信号及び第二信号による火災表示が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。

h 自動試験機能（自動試験機能を有する自動火災報知設備に限る。）

次の事項に係る異常が記録装置に記録されていないこと。

- (a) 予備電源及び非常電源（内蔵型のものに限る。）
- (b) 受信機の火災表示
- (c) 受信機の注意表示（アナログ式の自動火災報知設備に限る。）
- (d) 受信機及び中継器の制御機能及び電路
- (e) 感知器
- (f) 感知器回路及びベル回路

(イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。

a 同時作動

機能が正常であること。

b 煙感知器、煙複合式感知器又は熱煙複合式感知器の感度（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）

感度が正常であること。

c 地区音響装置の音圧

規定値以上であること。

d 総合作動（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）

非常電源に切り替えた状態で、任意の感知器を加熱又は加煙した場合に、火災表示、注意表示（アナログ式の自動火災報知設備に限る。）及び音響装置の鳴動が正常であること。

ク 誘導灯及び誘導標識

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 誘導灯

(a) 外箱及び表示面

① 種類

所定の種類のものが適正に設置されていること。

② 視認障害等

所定の位置に設置されており、間仕切り、広告物、装飾等による視認障害がないこと。

③ 外形

変形、損傷、脱落、著しい汚損等がないこと。

④ 表示

適正であること。

(b) 非常電源（内蔵型のものに限る。）

① 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

② 表示

適正であること。

③ 機能

正常であること。

(c) 光源

汚損、劣化、ちらつき、影等がなく、正常に点灯していること。

(d) 点検スイッチ

変形、損傷、脱落等がなく、切替機能が正常であること。

(e) ヒューズ類

- 損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- (f) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (g) 信号装置等（消灯機能、点滅機能、誘導音機能、減光機能等を作動させるための移報装置をいう。）
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ③ 機能
正常であること。
- b 誘導標識
- (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい汚損等がないこと。
 - (b) 視認障害等
所定の位置に設置されており、間仕切り、広告物、装飾等による視認障害がないこと。
 - (c) 採光
識別に十分な明るさがあること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うこと。
- ケ 防排煙設備
- (ア) 機能点検
次の事項について確認すること。
- a 設置状況
- (a) 防煙区画壁
 - ① 固定壁
変形、損傷等がなく、間仕切りの変更等により撤去されていないこと。
 - (b) 可動壁
 - ① 周囲の状況
周囲に可動障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ③ 機能
正常であること。
- b 排煙口及び給気口
- (a) 周囲の状況
周囲に排煙上障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 機能
排煙ダンパーの取付部に損傷、緩み等がなく、作動が正常であること。
- c 風道
- (a) 周囲の状況
可燃物が接触していないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (c) 支持部
緩み等がないこと。
 - (d) 防火ダンパー

- 取付部に緩み、脱落等がなく、開閉機能が正常であること。
- (e) 接続部
パッキン等の損傷、脱落等がないこと。
- d 電動機の制御装置
- (a) 制御盤
- ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 表示
適正にされていること。
- (c) 電圧計及び電流計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
- (d) 開閉器及びスイッチ類
端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
- (e) ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- (f) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (g) 表示灯
正常に点灯すること。
- (h) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (i) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- (j) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- e 起動装置
- (a) 自動式起動装置
煙感知器は、自動火災報知設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。
- (b) 手動式起動装置
- ① 手動操作箱
- ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正にされていること。
- ② ハンドル及びレバー等
損傷、脱落等がなく、操作が容易にできること。
- f 排煙機及び給気機
- (a) 外形
回転羽根及び電動機に変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 電動機
- ① 回転軸
回転が円滑であること。
- ② 軸受部

- 潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- (c) 動力伝達装置
 - 変形、損傷等がなく、プーリ、Vベルトの機能が正常であること。
- (d) 機能
 - 正常であること。
- g 回転羽根
 - (a) 回転軸
 - 回転が円滑であること。
 - (b) 軸受部
 - 潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- h 排煙出口
 - 周囲に排煙上障害となるものがないこと。
- (イ) 総合点検
 - 機能点検と同様の項目を行うほか、非常電源に切り替えた状態で、自動又は手動の起動装置の操作により、任意の区画で排煙機及び給気機の作動試験を行い、次の事項について確認すること。
 - a 排煙機及び給気機
 - 確実に起動すること。
 - b 可動壁
 - 確実に作動すること。
 - c 電動機の運転電流
 - 適正であること。
 - d 運転状況
 - 運転中に不規則若しくは不連続な雑音又は異常な振動がないこと。
 - e 回転羽根
 - 回転が正常であること。
- コ 防火戸・防火シャッター設備
 - (ア) 機能点検
 - 次の事項について確認すること。
 - a 電源
 - (a) 交流
 - ① 開閉器の専用表示
 - 防火戸設備用の表示があること。
 - ② 結線接続
 - 端子との接続に緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ③ 自動遮断器
 - 変形、損傷等がなく、正常であること。
 - (b) 充電装置
 - ① 変電帯
 - 周囲に排煙上障害となるものがないこと。
 - ② 製流帯
 - 変形、損傷等がないこと。
 - ③ 計器の表示
 - 適正にされていること。
 - ④ ヒューズ類
 - 損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑤ 結線接続
 - 端子との接続に緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (c) 蓄電池設備

- ① 専用開閉器
破損、過熱等がないこと。また、ヒューズ類が規定の種類及び容量のものであること。
 - ② 密閉型蓄電池
破損、過熱等がないこと。また、ヒューズ類が規定の種類及び容量のものであること。
 - ③ 自動切替装置
常用電源を停止した際に、自動的に非常電源に切り替り、常用電源を復旧した際に、自動的に切り替ることを確認する。
 - ④ 結線状況
機器に至る配線の途中で、他の負荷の配線を分岐させていないか、また破損等がないこと。
- b 連動制御盤
- (a) 位置・周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 電源電圧
適正にされていること。
 - (c) スイッチ・ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (d) 地区作動試験
機能が正常であること。
 - (e) 予備電源試験
機能が正常であること。
 - (f) 遠隔制御試験
機能が正常であること。
 - (g) ランプ類
正常に点灯すること。
 - (h) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- c 感知器
- (a) 未設置箇所
未設置の箇所がないかどうか。
 - (b) 取付位置
取付位置が正しい位置にあること。
 - (c) 変形・損傷等
変形、損傷等がないこと。
 - (d) 機能障害
機能に障害がなく、正常であること。
 - (e) 作動試験
 - ① 煙式感知器
正常に起動すること。
 - ② 熱式感知器
正常に起動すること。
- d 防火戸自動装置
- (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。

- (d) 防火戸
正常に機能すること。
- (e) 障害
障害がないこと。
- e シャッター
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 防火戸
正常に機能すること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- f 可動式防煙垂壁
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 垂れ壁
異常がなく、正常であること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- g 非常口開錠装置
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 保護カバー
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 取扱説明
取扱説明が付近に表示されていること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- h 防火ダンパー
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 駆動部
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
- i その他
 - (a) 防煙区画図
回路図等が備えられていること。
 - (b) 予備品
予備品が備えてあること。
- (イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。

- a 同時作動
 - 確実に作動すること。
 - b 煙感知器感度
 - 確実に作動すること。
 - c 総合作動
 - 適正であること。
- サ 粉末消火設備
- (ア) 機能点検
 - 次の事項について確認すること。
 - a 蓄圧式粉末消火剤貯蔵容器等
 - (a) 消火剤貯蔵容器
 - ① 周囲の状況
 - 防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ② 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ③ 表示及び標識
 - 適正に設けられていること。
 - (b) 消火剤量
 - 規定量以上貯蔵されていること。
 - (c) 容器弁
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (d) 容器弁開放装置
 - ① 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ② 電気式
 - 端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式
 - ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - (e) 指示圧力計
 - 変形、損傷等がなく、正常に作動すること。
 - (f) 連結管・集合管
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、接続部の緩み等がないこと。
 - b 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等
 - (a) 消火剤貯蔵タンク
 - ① 周囲の状況
 - 防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ② 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ③ 表示及び標識
 - 適正に設けられていること。
 - ④ 安全装置
 - 放出口のつまり等がないかを確認すること。
 - (b) 消火剤量
 - 規定量以上貯蔵されていること。

- (c) 放出弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (d) 放出弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- (e) バルブ類
変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- (f) 加圧用ガス容器等
 - ① 加圧用ガス容器
 - ・ 周囲の状況
防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ・ 表示
適正に設けられていること。
 - ② ガス量
規定量以上貯蔵されていること。
 - ③ 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ④ 容器弁開放装置
 - ・ 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ・ 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ・ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ⑤ 圧力調整器
変形、損傷、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 連結管・集合管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、接続部の緩み等がないこと。
 - ⑦ 定圧作動装置
変形、損傷、脱落等がなく、機能が正常であること。
- c 起動用ガス容器等
 - (a) 起動用ガス容器
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器収納箱に設けられているもの
にあっては、扉の開閉が確実にできること。
 - ② 表示
適正に設けられていること。
 - (b) ガス量
規定量以上貯蔵されていること。
 - (c) 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

- (d) 容器弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の容器弁開放装置
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ③ 手動式の容器弁開放装置
ピストンロッド及び破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- d 選択弁
 - (a) 本体
 - ① 外形
変形、損傷、締付部の緩み等がないこと。
 - ② 表示
適正であること。
 - ③ 機能
正常であること。
 - (b) 開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- e 操作管及び逆止弁
 - (a) 外形
変形、損傷、接続部の緩み等がなく、取付位置及び方向等が適正であること。
 - (b) 機能
正常であること。
- f 起動装置
 - (a) 手動式起動装置
 - ① 周囲の状況
操作箱の周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 操作箱
変形、損傷、著しい腐食等がなく、確実に固定され、かつ、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - ⑤ 音響警報起動用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 放出用スイッチ及び非常停止用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑦ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑧ 保護カバー
有機ガラス等による保護措置に変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (b) 自動式起動装置
 - ① 火災感知装置

- 自動火災報知設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。
- ② 自動・手動切替装置
変形、損傷、脱落等がなく、切替位置及び切替機能が正常であること。
 - ③ 自動・手動切替表示灯
正常に点灯すること。
- g 警報装置
- (a) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (b) 音響警報
正常に鳴動し、その音圧が適正であること。
 - (c) 音声警報
正常に鳴動し、その音圧が適正で、かつ、起動したときに注意音を発し、その後音声を発すること。
- h 制御盤
- (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (c) 表示
適正であること。
 - (d) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - (e) 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - (f) ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (g) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - (h) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (i) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (j) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - (k) 遅延装置
設定が適正であること。
 - (l) 自動・手動切替機能
正常であること。
 - (m) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- i 配管等
- (a) 管及び管継手
損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
- j 配管の安全装置等
- (a) 安全装置

- 放出口のつまり等がないこと。
- (b) 破壊板
 - 変形、損傷、脱落等がないこと。
- k 放出表示灯
 - 適正な位置に設けられ、変形、損傷、脱落等がなく、かつ、正常に点灯すること。
- l 噴射ヘッド
 - (a) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食、つまり等がないこと。
 - (b) 放射障害
 - 周囲に放射障害となるものがないこと。
- m 防護区画
 - (a) 区画変更等
 - 開口部の区画変更等がないこと。
 - (b) 開口部の自動閉鎖装置
 - ① 外形
 - 変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気で作動するもの
 - 端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧で作動するもの
 - ピストンロッド及び破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- n 非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
 - 適正であること。
 - (c) 端子電圧
 - 規定値の範囲内であること。
 - (d) 切替装置
 - 常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切替ること。
 - (e) 充電装置
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
 - (f) 結線接続
 - 変形、損傷、緩み、著しい腐食、焼損等がないこと。
- o ホース等
 - (a) 収納の状況
 - ホースの引出し、格納等が容易にできること。
 - (b) 格納箱
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - (c) ホース
 - 変形、損傷、老化、接続部の緩み等がなく、所定の長さのものであること。
 - (d) ホースリール
 - ホースの引出し、格納等が容易にできること。
 - (e) ノズル
 - 著しい腐食、詰まり等がなく、危害防止のための措置がされていること。
 - (f) ノズル開閉弁
 - 開閉操作が容易にできること。

- p 表示灯及び標識（移動式に限る。）
適正に設けられていること。
 - q 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
- a 全域放出方式及び局所放出方式
非常電源に切り替えた状態で起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) 全域放出方式
 - ① 警報装置
確実に鳴動すること。
 - ② 遅延装置
確実に作動すること。
 - ③ 開口部の自動閉鎖装置等
正常に作動し、換気装置が確実に停止すること。
 - ④ 起動装置及び選択弁
確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ⑤ 配管及び配管接続部
通気状態で漏れがないこと。
 - ⑥ 放出表示灯
正常に点灯すること。
 - (b) 局所放出方式
 - ① 警報装置
確実に鳴動すること。
 - ② 起動装置及び選択弁
確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ③ 配管及び配管接続部
通気状態で漏れがないこと。
 - b 移動式
手動式起動操作部の操作により起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) ノズル開閉弁
異常がなく、試験用ガスが放射されること。
 - (b) ホース及びホース接続部
試験用ガスの漏れがないこと。
- シ ガス漏れ火災警報設備
次の事項について確認すること。
- (ア) 機能点検
 - a 予備電源及び非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
適正であること。
 - (c) 端子電圧
規定値以上であること。
 - (d) 切替装置
常用電源を停電状態にしたときに、自動的に予備電源又は非常電源に切り替わり、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
 - (e) 充電装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。

- (f) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- b 受信機及び中継器
 - (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 表示
適正であること。
 - (d) 警戒区域の表示装置
汚損、不鮮明な部分等がないこと。
 - (e) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - (f) スイッチ類
端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - (g) ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (h) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - (i) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (j) 通話装置
受信機相互間の通話が明瞭に行なえること。
 - (k) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (l) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - (m) 附属装置
ガス漏れ信号が正常に移信でき、かつ、相互に機能障害がないこと。
 - (n) ガス漏れ表示
適正であること。
 - (o) 回路導通
試験用計器の指示又は確認灯の点検により導通すること。
 - (p) 故障表示
適正であること。
 - (q) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- c ガス漏れ検知器
 - (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 警戒状況
 - ① 未警戒部分
未警戒の部分がないこと。
 - ② 設置場所及び設置位置
適正であること。
 - ③ 適応性
検知対象ガスの性状に適応するガス漏れ検知器が設けられていること。
 - ④ 機能障害

機能障害となる覆い等がないこと。

- (c) 作動等
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

d 警報装置

(a) 音声警報装置

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 取付状態
脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。
- ③ 増幅器、操作部
機能が正常であること。
- ④ 音圧等
音圧、音色及び音声が正常であり、他の機械等の音と区別して聞き取れること。

(b) ガス漏れ表示灯

変形、損傷、脱落等がなく、正常に点灯し、かつ、容易に識別できること。

(c) 検知区域警報装置

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 取付状態
脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。
- ③ 音圧等
音圧及び音色が他の機械等の音と区別して聞き取れること。
- ④ 鳴動区域
適正であること。

(イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。

(a) 同時作動

機能が正常であること。

(b) 検知区域警報装置の音圧

規定値以上であること。

(c) 総合作動

非常電源に切り替えた状態で、任意のガス漏れ検知器を作動させた場合に、ガス漏れ表示及び警報装置の作動が正常であること。

(3) 防火対象物点検基準

ア 防火対象物点検表

点検対象となる防火対象物の各階層別に点検を行うこと。点検表には、防火管理者、立会者、点検日時、用途、床面積、点検する部分の床面積、防火対象物概要等必要事項を記載すること。

イ 点検項目

次の事項について調査確認し、報告書に基づき適否等点検結果と状況及び措置内容を記載すること。点検項目が該当しない場合には、「該当なし」と記載すること。

(ア) 防火管理者の選任（解任）、消防計画作成（変更）の届出状況

(イ) 消防計画

- a 自衛消防の組織
- b 火災予防上の自主検査
- c 消防設備等又は特殊消防用設備等の点検及び整備
- d 避難施設の維持管理及びその案内
- e 防火上の構造の維持管理

- f 収容人員の適正化
- g 防火上必要な教育
- h 消火、通報及び避難訓練
- i 消火活動、通報連絡及び避難誘導
- j 消防機関との連絡
- k 工事中の火気使用又は取扱いの監督
- l 防火管理に関し必要な事項
- m 防火管理業務の一部委託
- n 権原の範囲
- o 地震防災対策強化地域に所在する防火対象物
 - (a) 自衛消防の組織
 - (b) 情報等の伝達
 - (c) 避難誘導
 - (d) 施設及び設備の点検及び整備
 - (e) 応急対策
 - (f) 防災訓練
 - (g) 教育及び広報
- p 防火管理者
 - (a) 消火訓練及び避難訓練の実施回数
 - (b) 消火訓練及び避難訓練を実施する場合の消防機関への通報
- (ウ) 共同防火管理協議事項
作成、届出の状況
- (エ) 避難上必要な施設及び防火戸の管理
- (オ) 防災物品の表示
- (カ) 圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの届出
- (キ) 消防用設備等
下記の項目について、法第17条の2の5第1項の適用の有無、法第17条の3第1項の適用の有無及び適否等の判定について調査すること。
 - a 消火器・簡易消火用具
 - b 屋内消火栓設備
 - c スプリンクラー設備
 - d 水噴霧消火設備等
 - e 屋外消火栓設備
 - f 動力消防ポンプ設備
 - g 自動火災報知設備
 - h ガス漏れ火災報知設備
 - i 漏電火災警報器
 - j 消防機関へ通報する火災報知設備
 - k 非常警報器具・非常警報設備
 - l 避難器具
 - m 誘導灯・誘導標識
 - n 消防用水
 - o 排煙設備
 - p 連結散水設備
 - q 連結送水管
 - r 非常コンセント設備
 - s 無線通信補助設備
- (ク) 消防用設備等
令第29条の4第1項の必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等について、必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の

概要、及び適否等の判定について調査すること。

- (ケ) 令第32条の適用について、適用とされる消防用設備等、及び適否等の判定について調査すること。
- (コ) 特殊消防用設備等について、法第17条第3項の特殊消防用設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。
- (サ) 消防用設備等又は特殊消防用設備等
以下の項目について、適用される消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。
 - a 設置の届出
 - b 消防機関の検査
- (シ) 火を使用する設備・器具等
下記の項目について、適用の有無及び適否等の判定について調査すること。
 - a 炉
 - b 厨房設備
 - c ボイラー
 - d ストーブ
 - e 壁付暖炉
 - f 温風暖房機
 - g ヒートポンプ冷暖房機
 - h 乾燥設備
 - i サウナ設備
 - j 簡易湯沸設備
 - k 給湯湯沸設備
 - l 燃料電池発電設備
 - m ふろがま
 - n 火花を生ずる設備
 - o 放電加工機
 - p 変電設備
 - q 内燃機関を原動力とする発電設備
 - r 蓄電池設備
 - s ネオン管灯設備
 - t 舞台装置等の電気設備
 - u 避難設備
 - v 水素ガスを充てんする設備
 - w 液体燃料を使用する器具
 - x 固体燃料を使用する器具
 - y 気体燃料を使用する器具
 - z 電気を熱源とする器具
- (ス) 火を使用する設備・器具等について、法第22条の2適用の有無、及び適否等の判定について調査すること。
- (セ) 火の使用の制限等
下記の項目について、適否等の判定について調査すること。
 - a 喫煙等
 - b がん具用煙火
 - c 化学実験等
 - d 溶接作業等
- (ソ) 少量危険物等
下記の項目について、適否等の判定について調査すること。
 - a 指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱い
 - b 指定可燃物の貯蔵及び取扱い

- c 少量危険物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備
- d 指定可燃物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備
- e 指定可燃物の保安計画の作成等
- f 条例第34条の4の適用について、適用される少量危険物等、及び適否等の判定について調査すること。

(タ) 消防用設備等

下記の項目について、法第17条の2の5第1項の適用の有無、法第17条の3第1項の適用の有無及び適否等の判定について調査すること。

ただし、消火器具、大型消火器、非常警報設備、非難器具、誘導灯については、適否等の判定のみとする。

- a 消火器具
- b 大型消火器
- c 屋内消火栓設備
- d スプリンクラー設備
- e 水噴霧消火設備等
- f 動力消防ポンプ設備
- g 自動火災報知設備
- h 非常警報設備
- i 避難器具
- j 誘導灯
- k 排煙設備
- l 連結送水管
- m 非常コンセント設備
- n 無線通信補助設備
- o 条例第47条の適用について、適用される消防用設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。

(4) 防災管理点検基準

ア 防災管理点検表

点検対象となる防災管理対象物の各階層別に点検を行うこと。点検表には、防災管理者、立会者、点検年月日、用途、床面積、点検する部分の床面積、防災管理対象物の概要等必要事項を記載すること。

イ 点検項目

次の事項について調査確認し、点検票に基づき適否等点検結果と状況及び措置内容を記載すること。点検項目が該当しない場合には、「該当なし」と記載すること。

(ア) 届出

- a 防火管理者の選任（解任）
- b 消防計画作成（変更）
- c 自衛消防組織の設置

(イ) 消防計画

- a 自衛消防の組織
- b 避難施設の維持管理及びその案内
- c 収容人員の適正化
- d 防火管理上必要な教育
- e 避難訓練その他必要な訓練
- f 関係機関との連絡
- g 訓練結果の検証及び消防計画の見直し
- h 防火管理に関し必要な事項
- i 地震発生時の被害想定及び対策
- j 地震対策のための自主検査
- k 地震対策のための整備及び資機材の点検並びに整備

- l 備品の落下、転倒及び移動の防止措置
- m 地震発生時の応急措置
- n 地震対策に関し必要な事項
- o 特殊な災害の発生時の通報連絡及び避難誘導
- p 自衛消防組織
 - (a) 活動要領
 - (b) 要員の教育及び訓練
 - (c) 業務に関し必要な事項
- q 共同自衛消防組織
 - (a) 協議会の設置及び運営
 - (b) 統括管理者の選任
 - (c) 業務を行う範囲
 - (d) 運営に関し必要な事項
- r 防災管理業務の一部委託
- s 権原の範囲
- t 地震防災対策強化地域に所在する防火管理対象物
 - (a) 自衛消防の組織
 - (b) 情報等の伝達
 - (c) 避難誘導
 - (d) 施設及び設備の点検及び整備
 - (e) 応急対策
 - (f) 防火訓練
 - (g) 教育及び広報
- u 防火管理者
 - (a) 避難訓練の実施回数
 - (b) 避難訓練を実施する場合の消防機関への通報
- (ウ) 共同防災管理協議事項
作成、届出の状況
- (エ) 避難上必要な施設及び防火戸の管理

VI-2 1 放送設備及びITV・映像設備保守点検

1 保守点検回数

(1) 競技用放送設備（陸上競技場及びラグビー場）	年1回
(2) 業務用放送設備（陸上競技場）	年1回
(3) 非常放送設備（陸上競技場及びラグビー場）	年2回
(4) ITV設備（陸上競技場及びラグビー場）	年1回

2 保守点検対象設備一覧

(1) 競技用放送設備	
ア 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	
(ア) 既設部点検	1式
(イ) 調整卓及び周辺機器	1式
(ウ) 入出力パッチ架	1式
(エ) 出力調整架	1式
(オ) 電力増幅架4	1式
(カ) 電力増幅架5	1式
(キ) 電力増幅架6	1式
(ク) 電力増幅架7	1式
(ケ) 出力監視盤 特注	1式
(コ) アナウンス室ワゴン設備	1式
(サ) マイク各種設備	1式
(シ) スピーカー各種設備	1式
(ス) マイク回線設備	1式
イ 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場	
(ア) 電力増幅架（非常放送兼）	1式
(イ) スピーカー（クリアホーン、非常放送兼）	19台
(ウ) スピーカー（ホーン、非常放送兼）	13台
(エ) スピーカー（スタンド、非常放送兼）	14台
(オ) 非常用制御架	1式
(2) 業務用放送設備	
ア 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	
(ア) 音響調整卓及び周辺機器	1式
(イ) 電力増幅架	1式
(ウ) スピーカー（ホーン10w）	43台
(エ) スピーカー（ホーン15w）	8台
(オ) スピーカー（ホーン3w）	27台
(カ) レピーター設備	3台
(キ) テープレコーダー卓	1式
(3) 非常用放送設備	
ア 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	
(ア) 非常放送制御架1	1式
(イ) 非常放送制御架2	1式
(ウ) 非常放送制御架3 非常電源部	1式
(エ) 非常放送制御架4 電力増幅	1式
(オ) 場内用リモコン部	2式
(カ) 場内用トランペットスピーカー	62台
イ 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場警備	
(ア) 本体非常放送盤	1式
(イ) 非常電源部	5台
(ウ) 電力増幅器	1台
(エ) 警備関係リモコン部	1式

(オ) 警備関係スピーカー	46台
(カ) 警備関係トランペットスピーカー	3台
ウ 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場	
(ア) 電力増幅架1 (競技用放送兼)	1式
(イ) 電力増幅架2 (競技用放送兼)	1式
(ウ) スピーカー (クリアホーン、競技用放送兼)	14台
(エ) スピーカー (ホーン、競技用放送兼)	13台
(オ) スピーカー (スタンド、競技用放送兼)	19台
(カ) 室内スピーカー	1式
(キ) 非常用制御架 (競技用設備除く)	1式
(ク) 非常用リモコン	1式
(4) ITV設備	
ア 国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	
(ア) ITV架	1架
(イ) 電源制御ユニット	2台
(ウ) ネットワークディスクレコーダー	3台
(エ) ネットワークビデオレコーダー	3台
(オ) メディアコンバーター	26台
(カ) 屋内ネットワークカメラ	12台
(キ) 屋外ネットワークカメラ	20台
(ク) 操作パソコン	7台
(ケ) 19型液晶モニター	4台
(コ) 42型プラズマディスプレイ	7台
(サ) 32型液晶ディスプレイ	5台
イ 国立霞ヶ丘競技場ラグビー場・西テニス場	
(ア) ITV架	1架
(イ) 電源制御ユニット	1台
(ウ) ネットワークディスクレコーダー	1台
(エ) メディアコンバーター	10台
(オ) 屋内ネットワークカメラ	1台
(カ) 屋外ネットワークカメラ	13台
(キ) 操作パソコン	1台
(ク) 19型液晶モニター	1台
(ケ) 42型プラズマディスプレイ	1台

3 一般事項

(1) 共通事項

ア 消防用設備等の保守点検業務は、「消防法」「同法施行令」「同法施行規則」及びこれらに基づく告示等に定めるところにより、行うこと。

イ 本業務を実施するに当たり、施設設備に汚損・損傷の恐れのある箇所は、あらかじめ適切な養生を施すこと。また、施設設備に汚損、損傷を与えた場合は、受注者の責任により原状に復すること。

ウ 本業務終了後は、周辺の片付け及び清掃を行なうこと。

(2) 点検事項

ア 放送設備の点検基準

(ア) 共通点検項目

a 外観点検

(a) 外形

変形、損傷、腐食等がないか確認後、清掃すること。

(b) 電源電圧

電源電圧が適正であるか確認、調整を行い、不良箇所については

- 測定、処理をすること。
- (c) スイッチ類
 - ON/OFF位置正常であるか確認、調整を行い全接点箇所ofクリーニング処置をすること。
- (d) 表示
 - スイッチ等の名称の表示が適正であるか確認、調整すること。
- (e) 接続箇所
 - 各コネクター等の接続が正常であるか確認、調整を行い、全コネクターピン、プラグの清掃をすること。
- (f) 周囲の状況
 - 点検機器の周囲に点検上及び使用上の障害がないか確認すること。
- b 機能点検
 - (a) スイッチ類
 - ON/OFF機能が正常であるか確認、調整をすること。
 - (b) ボリューム類
 - ボリューム操作による音の増減が正常であるか確認、調整を行い、接点箇所全数の接点クリーニング処置をすること。
 - (c) 表示灯
 - スイッチ、ボリューム等の操作によりLED、ランプが正常に動作することの確認、調整を行い、不良箇所については点検補修をすること。
 - (d) 音響機器
 - 各種音源の動作点検が正常に行われることを確認すること。
 - また、各機器の分解清掃（ピックアップレンズ、走行系等）をすること。
 - 全機器の調整を実施すること。
 - (e) 音圧
 - スピーカー音が正常に出力されていることの確認を行い、音圧測定器により点検実施すること。不良箇所については測定、処置を行う。
 - (f) 選択機能
 - スピーカー出力系統ごとに選択動作が正常に行われることの確認及び調整を行い不良箇所については測定、処置を行うこと。
 - (g) 切換動作
 - 競技用又は業務用放送から非常用放送への切換が正常に行われることの確認及び調整を行い、不良箇所については測定、処置を行うこと。
- (イ) 設備別点検項目
 - a 競技用放送設備（陸上競技場・ラグビー場）
 - (a) マイクコンセント
 - ① 各マイクコンセントの動作が正常に行われることを確認、調整すること。
 - ② 回線チェックを行い位相状態及びレベルの確認を行うこと。
 - なお、不良箇所については測定、処置をすること。
 - (b) 入出力パッチ
 - ① 各入出力の動作が正常に行われていることを確認、調整すること。
 - ② 接点箇所については清掃を行うこと。
 - なお、不良箇所については測定、処置をすること。
 - b 業務用放送設備（陸上競技場）
 - (a) レピーター
 - ① 各レピーターの動作が正常に行われることを確認、調整すること。
 - ② 接点箇所については清掃を行うこと。
 - なお、不良箇所については測定、処置をすること。
 - c 非常用放送設備

- (a) スピーカー回線のインピーダンス、絶縁抵抗を測定すること。
 - (b) 電力増幅器用バッテリーの電圧を測定すること。
 - (c) 不良箇所については測定、処置をすること。
- (ウ) 総合点検
- a 総合動作確認
 - (a) 各設備を通常使用状態にさせ、音声及び各機器の連動動作が正常に行われていることを確認、調整すること。
 - (b) 非常放送設備起動時の各機器が正常に動作することを確認、調整すること。
- イ ITV設備の点検基準
- (ア) 外観点検
- ア 外形
 - 変形、損傷、腐食等がないか確認後、清掃すること。
 - イ 電源電圧
 - 電源電圧が適正であるかどうか確認、調整を行い、不良箇所については調査、処置をすること。
 - ウ スイッチ類
 - ON/OFF位置正常であるか確認、調整を行い、全接点箇所のクリーニング処置をすること。
 - エ 表示
 - スイッチ等の名称の表示が適正であることを確認、調整すること。
 - オ 接続箇所
 - 各コネクタ等の接続が正常であるか確認、調整を行い全コネクタ、ピン、プラグの清掃をすること。
 - カ 周囲の状況
 - 点検機器の周囲に点検上及び使用上の障害がないか確認すること。
- (2) 機能点検
- ア スイッチ類
 - ON/OFF機能が正常であるか確認、調整をすること。
 - イ 表示灯
 - スイッチの操作によりLED、ランプが正常に動作することの確認を行い不良箇所については点検補修をすること。
 - ウ 選択機能
 - 各カメラの映像選択が正常に行われることを確認、清掃すること。
 - なお、不良箇所については測定、処置をすること。
 - エ 映像機能
 - カメラの映像状態が正常であることを確認すること。
 - 不良箇所については測定、処置をすること。
 - オ カメラ本体
 - カメラレンズ、回転台等の動作が正常に機能しているか確認、清掃をすること。なお、不良箇所については測定、処置をすること。
 - カ 映像表示
 - (ア) カメラによって撮影された映像が正常に写し出されていることを確認すること。
 - (イ) モニターへのカラーバーを用いた色再現状態を調整すること。
 - (ウ) モニター画面の清掃を行うこと。
 - なお、不良箇所については測定、処置をすること。
- (3) 総合点検
- 各設備を連動させて映像の出力・表示が正常に行われることを確認、調整すること。なお、不良箇所については測定、処置をすること。

VI-22 構内電話交換機設備保守点検

1 保守点検回数 (陸上競技場及びラグビー場・テニス場)

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) 電話交換機 (整流器・蓄電池含む) | 月1回 (年12回) |
| (2) 配電盤 | 年1回 |
| (3) 構内線路 | 年2回 |
| (4) 内線電話 | 年2回 |
| (5) 機器清掃 | 年1回 |

2 保守対象設備

(1) 陸上競技場

- ア 電子交換機E-250 (富士通製)
- イ 局線 (INS64) 8回線実装
- ウ 局線 (アナログ) 4回線実装
- エ 内線 (多機能) 80回線実装
- オ 内線 (一般型) 96回線実装
- カ 専用線 6回線実装
- キ 電話機 多機能電話機 63台、一般電話機83台
- ク その他 配線盤1式 構内路線1式

(2) ラグビー場及び東テニス場

- ア 電子交換機 E-230 (富士通製)
- イ 局線 (アナログ) 4回線実装
- ウ 内線 (多機能) 8回線実装
- エ 内線 (一般型) 16回線実装
- オ 専用線 1回線実装
- カ 電話機 多機能電話機4台、一般電話機2台
- キ その他 配線盤1式 構内路線1式

(3) ラグビー場西スタンド

- ア 電子交換機: RM10S (富士通製)
- イ 局線 (アナログ) 機能なし
- ウ 内線 (多機能) 16回線実装
- エ 内線 (一般型) 14回線実装
- オ 専用線 2回線実装
- カ 電話機 多機能電話機5台、一般電話機14台
- キ その他 配線盤1式 構内路線1式

3 点検内容

(1) 電子交換機の点検 (整流器・蓄電池含む。)

- ア 発着信通話試験を行うこと。
- イ 各種信号の確認を行うこと。
- ウ 稼動状態の確認を行うこと。
- エ 内線接続試験を行うこと。
- オ 私設線データの確認を行うこと。
- カ 各部清掃を行うこと。
- キ 充電電圧電流の確認を行うこと。
- ク 蓄電池の点検を行うこと。

(2) 配線盤の点検

- ア 端子表ジャンパー線処理
- イ 各部清掃を行うこと。
- ウ 絶縁測定

(3) 構内線路の点検

- ア 配線盤端子の点検を行うこと。
- イ 構内電線路の点検を行うこと。

- (4) 局線表示板
 - ア 各種機能の動作確認
 - イ 各種ランプの点検
- (5) 内線電話の点検
 - ア 通話状況及び雑音等の試験を行うこと。
- (6) 機器の清掃
 - ア 交換機設備を含む関連機器の清掃を行うこと。

VI-23 エレベーター設備保守点検

1 保守点検回数

- (1) 陸上競技場：定期検査1回/年、定期点検12回/年
- (2) ラグビー場：定期検査1回/年、定期点検4回/年、遠隔点検12回/年

2 保守点検設備一覧

- (1) 陸上競技場 乗用（車椅子仕様）エレベーター（F. M） 1台
 - ア 日本エレベーター製造株式会社製 平成23年製
 - イ マシンルームレス ロープ式 可変電圧可変周波数制御方式
 - ウ P15-CO-60（1,000kg、15名、60m/min、1～5階 5箇所）
 - エ 管制運転装置（地震（P、S波リスタート運転機能）・火災・停電）付
 - オ かが内、視覚障害者対策（音声合成装置）・防犯カメラ・冷房装置付
- (2) 陸上競技場 人荷用エレベーター（P. O. G） 1台
 - ア 日本エレベーター製造株式会社製 平成23年製
 - イ マシンルームレス ロープ式 可変電圧可変周波数制御方式
 - ウ P15-CO-60（1,150kg、17名、60m/min、1～5階 5箇所）
 - エ 管制運転装置（地震（P、S波リスタート運転機能）・火災・停電）付
 - オ かが内、視覚障害者対策（音声合成装置）・防犯カメラ付
- (3) ラグビー場 乗用（車椅子仕様）エレベーター（F. M） 1台
 - ア 東芝エレベーター株式会社製 平成21年製
 - イ マシンルームレス 油圧式
 - ウ SR9-2S60（600kg、9名、60m/min、1～3階 3箇所）
 - エ 管制運転装置（地震（P波リスタート運転機能）・火災・停電）付
 - オ かが内、視覚障害者対策（音声合成装置）付

3 一般事項

- (1) 点検共通事項
 - ア 本業務を実施するに当たり、施設設備に汚損・損傷の恐れのある箇所は、あらかじめ適切な養生を施すこと。また、施設設備に汚損・損傷を与えた場合は、受注者の責任により原状に復すること。
 - イ 本業務終了後は、周辺の片付け及び清掃を行うこと。
- (2) 点検項目
 - ア 陸上競技場 乗用エレベーター（F. M）
定員15名、積載量1,000kg、電動機容量6.2kw
調整・取替
 - (ア) 電動機及び電動発電機関係
 - (イ) 巻上機関係
 - (ウ) 制動機関係
 - (エ) 調速機関係
 - (オ) フロアコントローラー関係
 - (カ) 受電盤、制御盤、信号盤関係
 - (キ) ワイヤロープ関係
 - (ク) かが関係
 - (ケ) 昇降機関係
 - (コ) 乗り場関係
 - (サ) 配線関係
 - (シ) その他
 - イ 陸上競技場 人荷用エレベーター（P. O. G）
定員17名、積載量1,150kg、電動機容量7.1kw

調整・注油

- (ア) 巻上機、電動機、電動発電機、調速機、制御盤
 - (イ) 各種ワイヤーロープ、リミットスイッチ、ファイナルリミットスイッチ、レール、ウエート
 - (ウ) 各階扉装置
 - (エ) 開閉装置
 - (オ) 消耗部品（受注者負担）
 - (カ) 主電動機、電動発電機用カーボン削子
 - (キ) 主接触器用固定側・可動側接点
 - (ク) 中型リード線付接点及びカーボン接点
 - (ケ) 小型リード線付接点及び固定側接点
 - (コ) 扉開閉用電動機カーボン削子
 - (サ) 主リード線
 - (シ) プラグインリレー
 - (ス) 信号用電球
 - (セ) リミットスイッチ接点、ファイナルリミットスイッチ接点、ドアスイッチ点
- 検
- (ソ) 油脂類（ギヤ油は補充用）
 - (タ) ウェス
 - (チ) 各種ヒューズ
 - (ツ) かが内照明用蛍光灯

ウ ラグビー場 乗用エレベーター（F. M）

定員9名、積載量600kg、電動機容量3.7kw

調整・取替

- (ア) 電動機及び電動発電機関係
- (イ) 油圧機関係
- (ウ) 制動機関係
- (エ) 調速機関係
- (オ) フロアコントローラー関係
- (カ) 受電盤、制御盤、信号盤関係
- (キ) かが関係
- (ク) 昇降路関係
- (ケ) 乗り場関係
- (コ) 配線関係
- (サ) 付加装置（各完成運転装置、オートアナウンス等）
- (シ) その他

VI-24 水泳場浄化装置保守点検

1 保守点検回数 年間2回

2 保守対象設備 国立霞ヶ丘競技場
プール濾過装置

KPF-TA-1700型
(平成13年設置、栗田工業(株)製)

3 点検項目

- (1) ポンプ類点検
- (2) エアー自動弁点検及び調整
 - ア バタフライ弁点検調整
 - イ 計装用エアー配管部点検調整
 - ウ 計装用システム部点検調整
 - エ 計装用空気源部点検調整
 - (ア) コンプレッサー
 - (イ) オートドレントラップ
 - (ウ) エアードライヤー
- (3) 制御盤点検
 - シーケンサー動作点検調整
- (4) 塩素滅菌装置制御盤点検調整
- (5) 自動注入装置点検、校正、調整
- (6) 各測定機器、レベルスイッチ、電極、流量計、センサー等点検調整及び清掃
- (7) 逆洗状況確認
- (8) 絶縁測定、クランプ測定

ラグビー有料駐車場自動料金精算システム保守点検 点検項目

駐車場発券機

案内放送動作
発券動作（券送り、カッター）
駐車券印字、データ書込動作
パスカード読取動作
廃券処理動作
各種ランプ及び表示、時刻

カーゲート

ゲートの自動開閉動作
ゲートの手動開閉動作
アームキャッチャーの動作
メカ系統の状態
トルクリミッターの滑り

出口読取機

案内放送動作
シャッターの開閉動作
駐車券・パスカードの読取動作
ラグタイムの確認
廃券処理動作
各種ランプ及び表示、時刻
不良券・未清算券の処理動作

その他周辺機器

パスカードリーダーの動作
カード書込機の動作
入口表示灯
出庫表示灯
監視盤

料金精算機

案内放送動作
シャッターの開閉動作
駐車券読取、印字動作
パスカード読取動作
料金表示動作
コイン読取動作
つり銭払出動作
紙幣読取及び金庫収納動作
精算中止・駐車券紛失動作
操作パネル機能
時計歩進及び時刻調整
各種ランプ及び表示機能
ジャーナルプリンター動作
精算及び集計機能
満空車制御機能
その他の電気系統の状態
その他のメカ系統の状態
電源電圧

感知器・ループ

車両感知器の動作
ループコイルの状態

陸上競技場電光表示設備映像システム明細

No.	機器名称	機器品番	数量	点検内容	点検予定	備考
1	大型映像表示装置					
1-1	大型映像表示部					
(1)	LEDユニット	AZ-LU4002	1472 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・色再現性確認 ・階調確認 ・輝度確認 ・表示状態確認	実施 実施 実施 実施 実施	
(2)	ラインドライブユニット	AZ-DU2300	4 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
1-2	同上設置架台	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-3	表示制御盤					
(1)	制御架(制御部)					
a)	10インチモニター	WV-GM1020	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・色再現性確認	実施 実施	
b)	スクリーンオペレーションパネル	AZ-ST1210	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
c)	光伝送装置	HOL-310	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・光伝送信号の送受信状態確認	実施 実施	
d)	光コネクタ板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・光伝送信号の送受信状態確認	実施 実施	
e)	中継端子板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
f)	電源制御ユニット	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
g)	電源スイッチ板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
h)	架本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	インターホン	VL-571K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認 ・音声状態確認	実施 実施 実施	
(3)	表示制御盤 本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-4	分電盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-5	受電盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	点検内容	点検予定	備考
1-6	PSコントロール盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-7	換気制御盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
1-8	搭時計	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
1-9	45分競技時計	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
1-10	ランニングタイマー	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-11	換気設備					
(1)	サーキュレーター	FY-50GTV3	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	吸気ファン	FY50GTV3	8 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	電動シャッター	FYGEST503	8 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	排気ファン	FY30GSU3	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(5)	電動シャッター	FY-GEST503	12 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-12	照明設備					
(1)	照明器具	M-FBS3-321(PN1)	28 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	照明器具	FSS9-322(PN1)	12 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
1-13	信号中継端子盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
2	映像情報システム					
2-1	映像機器収納架1					
(1)	VTR1(ヘーカム)	PVW-2800	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・映像信号入出力確認 ・VTR制御動作確認	実施 実施 実施 実施	
(2)	VDR	VDR-V100A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
(3)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・モニタ映像確認	実施 実施 実施	
(4)	VTR1スイッチャーパネル	RCP2401A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(5)	S-VHS1スイッチャーパネル	RCP2401A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(6)	S-VHS2スイッチャーパネル	RCP2401A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(7)	VTR2(デジタルヘーカム)	DVW-A500	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・映像信号入出力確認 ・VTR制御動作確認	実施 実施 実施 実施	
(8)	業務用S-VHS1	AG-DS555	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・映像信号入出力確認 ・VTR制御動作確認	実施 実施 実施 実施	
(9)	業務用S-VHS2	AG-DS555	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・映像信号入出力確認 ・VTR制御動作確認	実施 実施 実施 実施	
(10)	電源制御ユニット	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(11)	架本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
映像機器収納架2						
(12)	マトリクススイッチャー	RSM2416A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(13)	音声ジャック板	32WB-F	6 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(14)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・モニタ映像確認	実施 実施 実施	
(15)	インカムパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(16)	VTR編集機	PVE-500	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(17)	音声分配器	ADA-230	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
(18)	電源制御ユニット	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(19)	架本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
映像機器収納架3						
(20)	3次元特殊効果装置	DFS-700	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・特殊効果動作確認	実施 実施	
(21)	特殊効果発生器本体	AS-6512Pro	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・特殊効果動作確認	実施 実施	
(22)	映像ジャック板	261U-DVJW	8 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(23)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・モニタ映像確認	実施 実施 実施	
(24)	フレームメモリ	AS-3800	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(25)	映像分配器(EQA)	AV-UC02	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(26)	映像分配器(VDA)	AV-UC01	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(27)	映像分配器(VDA)	VDA-106(M)	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(28)	架本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
映像機器収納架4						
(29)	同期信号発生器	410BB	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施	
(30)	タイムベースコレクター	AS-3800	4台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施	
(31)	U/Vチューナー	NV-HV5	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・チューナー動作確認	実施	
(32)	BSチューナー	NV-HXB10	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・チューナー動作確認	実施	
(33)	CD/MDデッキ	MXD-D40	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施	
(34)	トランス板(音声)	特注	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施	
(35)	トランス板(映像)	特注	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施	
(36)	カメラハッチ板	特注	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施	
(37)	外部接続コネクタ板	特注	1台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施	
(38)	架本体	特注	1台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
乙-2	表示データ処理装置架					
(1)	ランニングタイマ制御器	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(2)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(3)	スクリーンオペレーションパネル	AZ-ST1210	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(4)	大型映像表示部フレームパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(5)	スイッチングHUB	FS708XL	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ネットワーク接続確認	実施 実施	
(6)	6ポートHUB	MR820TLX	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ネットワーク接続確認	実施 実施	
(7)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(8)	競技/CG生成パソコン	6842-62J	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異常等確認 ・ネットワーク接続確認 ・制御動作確認	実施 実施 実施 実施	
(9)	RGB分配器	DD-240D	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(10)	RGBスイッチャー	DS-311	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
(11)	スクリーンコントロールユニット	AZ-SU2300	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(12)	光伝送装置	HOL-300	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・光信号送受信状態確認	実施 実施	
(13)	光コネクタ板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・光信号送受信状態確認	実施 実施	
(14)	電源制御ユニット	WU-L61	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(15)	無停電電源装置	SHU701	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・バッテリー充電確認	実施 実施	
(16)	電源スイッチ板	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(17)	インターホン	VL-471K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(18)	中継端子板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
(19)	架本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
2-3	表示制御卓1					
(1)	カメラコントローラー	AW-RP501	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(2)	カメラコントローラー	RCP-TX7	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(3)	波形モニター	5860V	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・計測器動作確認	実施 実施	
(4)	ヘッドレスコープ	5850V	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・計測器動作確認	実施 実施	
(5)	VEスイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(6)	ビデオ文字発生器スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(7)	ビデオプリンタースイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(8)	TBCリモコン	UVR-60	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・リモコン動作確認	実施 実施	
(9)	TBCリモコン	BVR-50	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・リモコン動作確認	実施 実施	
(10)	カメラベースステーション	CCU-TX7	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(11)	インカムパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(12)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
	表示制御卓2					
(13)	スロコントローラー	DTR-3000	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(14)	持込スロコントローラー用ベース	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(15)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(16)	VDRスイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(17)	VTR2スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(18)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
表示制御卓3						
(19)	3次元特殊効果装置操作パネル	DFS-700	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・特殊効果動作確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(20)	MTX3スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(21)	MTX4スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(22)	プリセレクトスイッチャー1	AG-SW100	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(23)	プリセレクトスイッチャー2	AG-SW100	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(24)	制御パネル	RS-422-1U-16	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(25)	U/Bラインコンバーター	LA-80	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(26)	B/Uラインコンバーター	LA-81	4 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(27)	インカムパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(28)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
表示制御卓4						
(29)	特殊効果発生器操作パネル	AS-6512Pro	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・特殊効果動作確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(30)	MTX1スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(31)	MTX2スイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認 ・スイッチング動作確認	実施 実施 実施	
(32)	LINEスイッチャーパネル	RCP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(33)	ビジュアルオーバーションパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(34)	リレー/F	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(35)	電源制御ユニット	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(36)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
表示制御卓5						
(37)	音声ミキサー	SRP-V110	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
(38)	ノンリアスリッシャーパネル	ROP2401AV	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(39)	音声モニター	VU-10	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
(40)	パワーアンプ	PA-20MK II	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・音声増幅確認	実施 実施 実施	
(41)	インカム本体	MS-232	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(42)	電源操作パネル	WU-L61	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(43)	インカムI/F	IF4-B-4	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(44)	クレーI/F	AIF-20T	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(45)	インカム分配板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
(46)	インカムパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
(47)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
2-4 モニター棚						
(1)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	27 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(2)	14インチカラーモニター	BM-H1400SA	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(3)	クレー表示板	特注	30 台	・タリ一切替動作確認	実施	
(4)	モニタースピーカー	WS-A10-K	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(5)	棚本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
2-5 ビデオ文字発生卓						
(1)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(2)	ビデオ文字発生器	BC-7100B	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
(3)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	10インチカラーモニター	TM-1015BT	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(5)	卓本体	GD-1081K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
2-6	コピーカメラ/ビデオプリンター卓					
(1)	コピーカメラ	HI-500E	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	10インチカラーモニター	WV-CM102D	1 台	・映像信号入出力確認	実施	
(3)	ビデオプリンター	NV-MPX5-S	1 台	・モニタ映像確認	実施	
(4)	卓本体	GD-871K	1 台	・プリンタ動作確認	実施	
2-7	プリンター卓					
(1)	カラーレーザープリンター	4100N	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・プリンタ動作確認	実施 実施	
(2)	卓本体	GD-881K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
2-8	サーバーコンピュータ卓					
(1)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(2)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	サーバーコンピュータ	6841-TJJ	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認	実施 実施	
(4)	卓本体	GD-881K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(5)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
2-9	編集用パソコン卓1					
(1)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・ディスプレイ表示状態確認 ・外観、取付状態確認、清掃	実施 実施	
(2)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	イメージスキャナ	ES-6000H	1 台	・ディスプレイ表示状態確認 ・スキャナー動作確認	実施 実施	
(4)	編集用パソコン	6841-TJJ	1 台	・HDD、FDD異音等確認 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(5)	卓本体	GD-1281K	1 台	・ディスプレイ表示状態確認	実施	
(6)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・ディスプレイ表示状態確認	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
Z-10 編集用パソコン2						
(1)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ状態確認	実施 実施	
(2)	キーボード・マウス		1 台	・HDD、FDD異音等確認	実施	
(3)	MO	MOF-RM640	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	DVD-RAM	DVDRM-Hx9.4G	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・MO動作確認	実施 実施	
(5)	編集用パソコン	6841-TJJ	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認	実施 実施	
(6)	卓本体	GD-881K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(7)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-11 競技表示操作卓						
(1)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(2)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	10インチカラーモニター	WV-CM1020	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(4)	競技表示操作パソコン	6841-TJJ	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認	実施 実施	
(5)	卓本体	GD-1081K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(6)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-12 得点/時計操作卓						
(1)	得点操作盤	2626-T2J	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(2)	45分競技時計操作盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(3)	ランニングタイマー操作盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(4)	卓本体	GD-1281K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
Z-13	ノリニア編集卓					
(1)	21インチCRT	6652-U3N	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニター映像確認	実施 実施	
(2)	モニタースピーカー	EAB-MPC57USB	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声出力確認	実施 実施	
(3)	キーボード		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	14インチカラーモニター	BM-H1400SA	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(5)	ノリニア編集機	REXCEED MODEL1000	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認	実施 実施	
(6)	ブレイクアウトボックス	BX0002	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(7)	ジョグアンドシャトルコントローラー	JD-1	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
(8)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(9)	卓本体	GD-1282K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-14	競技I/Fパソコン卓					
(1)	競技I/Fパソコン		1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施 実施	
(2)	卓本体	GD-1283K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-15	無停電電源装置	DE-U302JS	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・バッテリー充電確認	実施 実施	
Z-16	映像情報システム分電盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-17	時計制御器	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-18	信号端子盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-19	日本陸運情報処理システム卓					
(1)	日本陸運情報処理システム		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	サブテーブル	GA-S08K	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	卓本体	GD-1681K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
Z-20	簡易操作システム					
(1)	10インチカラーモニター	WV-CM1020	4 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(2)	インカムパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(3)	ビジュアルオペレーションパネル	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(4)	ビデオスイッチャ	SW-320F	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
(5)	S-VHS VTR	NV-SVB10	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確 ・モニタ映像確認	実施 実施 実施	
(6)	映像分配器	AV-UC02	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確	実施 実施	
(7)	ラインコンバータ	LA-40MK II	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確	実施 実施	
(8)	8ポートHUB	ME820TLX	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ネットワーク接続確認	実施 実施	
(9)	外部接続コネクタ盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(10)	電源制御ユニット	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(11)	卓本体	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
	簡易PC卓1					
(12)	無停電電源装置	DE-U501ZP2A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・バッテリー充電確認	実施 実施	
(13)	MO	MOF-RM640	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・MO動作確認	実施 実施	
(14)	DVD-RAM	DVDRM-Hx8 4G	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・DVD-RAM動作確認	実施 実施	
(15)	17インチCRT	LCM-17TS2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ディスプレイ表示状態確認	実施 実施	
(16)	キーボード・マウス		1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(17)	簡易操作パソコン	6841-TJJ	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・HDD、FDD異音等確認	実施 実施	
(18)	簡易PC卓1	GD-1081K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(19)	CPUスタンド	CP-012K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機器名称	機器品番	数量	内容	点検予定	備考
	簡易PC卓2					
(20)	得点操作盤	2628-T2J	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(21)	45分競技時計操作盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(22)	ランニングタイマー操作盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
(23)	簡易PC卓2	GD-1281K	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
Z-21	簡易操作卓接続盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・操作盤動作確認	実施 実施	
Z-22	カラコネクタ盤1~3	特注	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-23	制御室コネクタプレート	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-24	整備室コネクタプレート	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-25	業務課コネクタプレート	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-26	本部役員室コネクタプレート	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-27	管理/庶務課コネクタプレート	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-28	アナウンス室コネクタ盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-29	中継車端子盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-30	写真判定室コネクタ盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-31	決勝ライン付近コネクタ盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	
Z-32	放送室音声信号中継盤	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・入出力端子確認	実施 実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
3	場内カメラシステム					
3-1	移動式カメラ(18倍ズーム、エクステンダー付)					
(1)	カメラ本体	DXC-D35	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・カメラ映像確認	実施	
(2)	1.5インチビューファインダー	DXF-801	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ファインダー映像確認	実施	
(3)	5インチビューファインダー	DXF-51	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ファインダー映像確認	実施	
(4)	トライアックスアダプター	CA-TX7	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(5)	三脚アダプター	Vision8	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(6)	18倍ズームレンズ	YJ18x9B IRS	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(7)	三脚	VIN-8AP2	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(8)	ドリー	3497-3E	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ドリー点灯確認	実施	
(9)	フォーカスリモートコントロールユニット	FPD-400	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施	
(10)	ドライブユニット	FPM-77	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(11)	ズームデマンド	ZSD-15M	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施	
(12)	ヘッドセット	MT-12MFB	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施	
3-2	移動式カメラ(33倍ズーム、エクステンダー付)					
(1)	カメラ本体	DXC-D35	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・カメラ映像確認	実施	
(2)	1.5インチビューファインダー	DXF-51	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ファインダー映像確認	実施	
(3)	トライアックスアダプター	CA-TX7	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	三脚アダプター	VCT-U14	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(5)	33倍ズームレンズ	J33a × 11B4 IAS	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(6)	三脚	Vision11	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(7)	ドリー	3497-3E	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・ドリー点灯確認	実施	
(8)	フォーカスリモートコントロールユニット	FPD-400	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施	
(9)	ズームデマンド	ZSD-300M	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施	
(10)	ヘッドセット	MT-12MFB	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	内 容	点検予定	備 考
3-3	カメラケーブルラム					
(1)	カメラケーブル100m	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(2)	カメラケーブル50m	特注	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	カメラケーブル20m	特注	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
3-4	インカム装置					
(1)	ヘルムバック	RS-501	8 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(2)	ヘッドセット	OC-26C	8 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・相互通話確認	実施 実施	
(3)	同上ケーブル(メス-オス)	EC02	8 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
3-5	ハンディカメラ(ホームビデオ)					
(1)	ハンディカメラ(ホームビデオ)	NV-MX3000	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・カメラ動作確認	実施 実施	
(2)	アクセサリキット	VW-MPX30	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
3-6	監視カメラ					
(1)	監視カメラ	AW-E300	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・カメラ動作確認	実施 実施	
(2)	17倍レンズ	TZ1705SSB/P	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(3)	ハウジング	AW-CH600	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
(4)	屋外回転台	AW-PH600	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・レンズ、回転台動作確認	実施 実施	
3-7	監視カメラ用モニター					
(1)	17インチカラーモニター	TM-1700S	5 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認	実施 実施	
(2)	モニター-TV用架台	TY-GN2103	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	点 検 内 容	点 検 予 定	備 考
4	モニタTVシステム					
	映像収納架					
1	10型モニタ	WV-CM1020	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	映像切替器	WJ-SW208	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
3	カラコンローラ	AW-RP501	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・制御動作確認	実施 実施	
4	カラコンローラ用ACアダプター	AW-PS301	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
5	映像分配器	WJ-300C	4 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・映像信号入出力確認	実施 実施	
6	アンプ	WA-H120	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認 ・音声増幅確認	実施 実施 実施	
7	音声分配器	TS-3216	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
8	音声変換器(U/B)	UBC-150	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
9	電源制御部	WU-L67	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
10	PDP用電源コントロール部	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
11	端子板	特注	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
	プラスマディスプレイ(天吊り型)					
1	プラスマディスプレイ	TH-42PWD4	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	屋外スピーカ	WS-B10T	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
3	電源制御器	WU-R40A	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
	プラスマディスプレイB(壁面型)					
1	プラスマディスプレイ	TH-42PWD4	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	屋外スピーカ	WS-B10T	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
3	電源制御器	WU-R40A	2 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

No.	機 器 名 称	機 器 品 番	数 量	点 検 内 容	点検予定	備 考
プラスディスプレイ(壁面型)						
1	プラスディスプレイ	TH-42PWD4	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	屋外スピーカー	WS-B10T	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声出力確認	実施 実施	
3	電源制御器	WU-R40A	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
プラスディスプレイ(移動式スタンド型)						
1	プラスディスプレイ	TH-42PWD4	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	AVセレクター	RF-AV510	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
3	音声変換器(B/U)	BUC-150	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
モニタTV E(テーブル型)						
1	29型モニタTV	TM-2935FH	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	AVセレクター	RF-AV510	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
3	音声変換器(B/U)	BUC-150	3 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・音声信号入出力確認	実施 実施	
モニタTV E(キャビネット型)						
1	29型モニタTV	TM-2935FH	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・モニタ映像確認 ・映像信号入出力確認	実施 実施 実施	
2	4分割ユニット	WJ-MS424	2 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・スイッチング動作確認	実施 実施	
屋内監視用3CCDカメラ						
1	コンパネカメラ	AW-E600	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・カメラ動作確認	実施 実施	
2	ズームレンズ	S20×6.4BMD	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・レンズ動作確認	実施 実施	
3	カメラハウジング	AW-CH600	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	
4	回転台	AW-PH600	1 台	・外観、取付状態確認、清掃 ・回転台動作確認	実施 実施	
5	屋外回転台用ACアダプター	AW-PS600	1 台	・外観、取付状態確認、清掃	実施	

ラグビー場電光表示設備映像システム明細

NO.	名 称	機器品番	単位	数量	点検回数	内 容
1	大型映像装置					<ul style="list-style-type: none"> ・外観、取付状態確認 ・電源電圧測定 ・電源盤動作確認 ・制御状態確認 ・LED点灯確認(球切れ、色確認等) ・表示状態確認 ・全体動作確認
	LED表示部					
	LEDユニット	特型	式	1	1回/年	
	ドライバ基板	特型	式	1	1回/年	
	LEDコントローラ	TRLC	台	1	1回/年	
	スイッチコントローラ	TRSC	台	1	1回/年	
	分電盤	特型	式	1	1回/年	
	電源盤	特型	式	1	1回/年	
	塔時計	特型	台	1	1回/年	
	45分競技時計	特型	台	1	1回/年	
	ランニングタイマー	特型	台	1	1回/年	
	信号端子盤	特型	式	1	1回/年	
	換気設備					
	吸気口	-	式	1	1回/年	
	排気用ファン	-	式	1	1回/年	
	照明器具	-	式	1	1回/年	

NO.	名 称	機器品番	単位	数量	点検回数	内 容
2	映像システム					・外観、取付状態確認
2-1	送出機器					・映像信号入出力確認
	マルチフォーマットVTR	J-3/902	台	1	1回/年	・音声信号入出力確認
	DVCVAM VTR	DSR-1800	台	2	1回/年	・VTR制御動作確認
	SDI入出力ポート*	DSBK-1801	枚	2	1回/年	・ソフト動作確認
	S-VHS VCR	BR-S800DX	台	1	1回/年	・モニタ映像確認
	同上用ラックマウントキット	RMM-131	個	2	-	・パソコン動作確認
	同上用ラックマウントキット	SA-K65	個	1	-	・チューナー動作確認
	DVD-RAMレコーダー	DMR-E30	台	1	-	
	CD/CD-RWレコーダー*	CDR-W66	台	1	-	
	MDレコーダー	MDS-E12/8	台	1	-	
	テロップシステムPC	BC-8900	台	1	1回/年	
	テロップシステム用ディスプレイ	SDM-M51	台	1	1回/年	
	SCSIインターフェース	BC-Z2203	枚	1	1回/年	
	テロップシステムMODドライブ*	BC-Z2145	台	1	1回/年	
	テロップシステムイメージスキャナー	BC-Z2125	台	1	1回/年	
	リモートコントロールユニット	BC-Z2141	式	1	1回/年	
	スポーツコーダーソフトウェア	特型	式	1	1回/年	
	得点表示用ソフトウェア/PC	PCV-RX76L7	式	1	1回/年	
	競技盤操作用ソフトウェア/PC	PCV-RX76L7	式	1	1回/年	
	登録用ソフトウェア/PC	PCV-RX76L7	式	1	1回/年	
	DVD-RAM/RDドライブ	LF-D321JD	台	4	-	
	グラフィックイコライザー	GQ2015A	台	1	-	
	コンプレッサー/リミッターレベラ	320A	台	1	-	
	オーディオレコーダー	AR-200	台	1	-	
	ACアダプター	ACI-100C	個	1	-	
	ラックマウントキット	RAD-50	個	1	-	
	TVチューナーユニット	TU-1041J	台	1	1回/年	
	同上用ラックマウントキット	MB-510	個	1	-	
	CGシステムPC	PCV-RX76L7	式	1	1回/年	
	DVD-RAM/RDドライブ	LF-D321JD	台	1	-	
	カラープリンター	LP-7800CN	台	1	-	

NO.	名 称	機器品番	単位	数量	点検回数	内 容
2-2	映像・音声加工機器					・外観、取付状態確認
	映像エフェクトコントローラ	DFS-700A	台	1	1回/年	・映像信号入出力確認
	CPSTボード	BKDF-702	枚	1	1回/年	・音声信号入出力確認
	2ch DMEボード	BKDF-711	枚	1	1回/年	・特殊効果動作確認
	3Dエフェクトボード	BKDF-712	枚	1	1回/年	・VTR制御動作確認
	マトリクススイッチャー	SW-1010AV	台	1	1回/年	・モニタ映像確認
	マトリクスセクタパネル	RC-10	台	1	1回/年	・スイッチャー動作確認
	マトリクスセクタパネル	RCS-10	台	1	1回/年	
	オーディオミキサー	GF24/12	台	1	1回/年	
	VTRリモートコントローラ	PVE-500	台	1	1回/年	
2-3	モニター(V/A)機器					・外観、取付状態確認
	WFM/VS Super	WVR500	台	1	-	・映像信号入出力確認
	同上用ラックマウントケース	TVGR11A	個	1	-	・音声信号入出力確認
	13型LCDモニター	UB-13VC20	台	2	1回/年	・モニタ映像確認
	9型カラーモニター	PVM-9042Q	台	2	1回/年	
	4連液晶モニター	LM-4400R	台	4	1回/年	
	ラックマウントキット	MB-520	個	1	-	
	パワードモニタースピーカー	SMS-1P	台	2	1回/年	
	アンプスピーカー	AMS-100	台	1	1回/年	
	アナログボード	BKAM-101	枚	1	1回/年	
2-4	アナウンスブース機器					・外観、取付状態確認
	マイクフォン	F-780	台	2	1回/年	・音声信号入出力確認
	同上用マイクスタンド	F-33CN	台	2	1回/年	・モニタ映像確認
	ヘッドフォン	MDR-Z600	台	2	1回/年	
	カフボックス	SS-4265	台	2	1回/年	
	ACアダプター	PS-M12	個	2	1回/年	
	13型LCDモニター	LC-13C3-S	台	1	1回/年	

NO.	名 称	機器品番	単位	数量	点検回数	内 容
2-5	システム関係機器					・外観、取付状態確認
	1ch SDI VDAボード	BKPF-L603	枚	3	1回/年	・映像信号入出力確認
	2ch SDI VDAボード	BKPF-L612	枚	3	1回/年	・音声信号入出力確認
	アナログ VDAボード	BKPF-L703A	枚	20	1回/年	
	アナログ ADAボード	BKPF-L753A	枚	4	1回/年	
	ペリフェラルユニット	PFV-L10	台	3	1回/年	
	オーディオレベルコンバーター	SRP-200LC	台	4	1回/年	
	映像ジャックパネル	特型	台	5	1回/年	
	音声ジャックパネル	特型	台	2	1回/年	
	システムラック	1750/BS	台	3	-	
	表示操作卓	特型	卓	1	-	
	音声操作卓	特型	卓	1	-	
	コンピュータ操作卓	特注	卓	1	-	
	ACブレーカユニット	SRP-D4000	台	3	1回/年	
	UPS	SU1400RMJ	台	1	1回/年	
	SGメインフレーム	TG700/88	台	1	1回/年	
	アナログGEN LOCKモジュール	AGL7/88	枚	1	1回/年	
	ブラックシネレーターモジュール	BG7/88/CB	枚	1	1回/年	
2-6	ビデオサーバー/ストリーミング 関係機器					・外観、取付状態確認
	ビデオサーバー—システムソフトウェア/PC	特型	式	1	1回/年	・映像信号入出力確認
	ビデオサーバー	VSR-2000	台	1	1回/年	・音声信号入出力確認
	9G HDDユニット	BKSH-209G	台	5	1回/年	・ビデオサーバー動作確認
	SDIインプットボード	BKSR-2020	枚	1	1回/年	・モニタ映像確認
	アナログインプットボード	BKSR-2021	枚	1	1回/年	・パソコン動作確認
	アナログアウトプットボード	BKSR-2031	枚	2	1回/年	・ソフト動作確認
	ネットワークボード	BKSR-2070	枚	1	1回/年	
	13インチLCDモニター	LC-13C3-S	台	1	1回/年	
	DVD-RAM/RDドライブ	LF-D321JD	台	1	1回/年	

NO.	名 称	機器品番	単位	数量	点検回数	内 容
2-7	遠隔操作カメラ関連					
	電動CCDカラーカメラ	FC13U	台	2	1回/年	・カメラ動作確認
	シーンマネージャー	FHC13	台	1	1回/年	・旋回機能動作確認
	電源BOX	特型	台	2	1回/年	
	旋回台取付台	特型	台	2	1回/年	
2-8	中継車・LED送出関係機器					
	フィールド用コネクタボックス	特型	箱	4	-	
	スタジオコネクタボックス	特型	箱	1	-	
	カメラパネル	特型	箱	1	-	
	中継車用コネクタボックス	特型	箱	2	-	
2-9	送出室内機器					・外観、取付状態確認
	ハードディスクレコーダー	Viper Basic	台	2	-	・映像信号入出力確認
	3:1コンプレッションオプション	上記付属品	式	2	-	・音声信号入出力確認
	18GB HDD	TP-18GCW	台	2	-	・スイッチャー動作確認
	リムーバブルベイクセット	上記付属品	式	2	-	・マルチビューワ動作確認
	リモートコントローラ	上記付属品	台	2	-	
	スキャンコンバータ	EDC-3000	台	1	1回/年	
	コネクタパネル	特型	箱	1	-	
	RGBスイッチャー	DS-311	台	1	1回/年	
	4画面マルチビューワ	MV-40F	台	1	1回/年	
	ラインレシーバ	LR-122	台	1	-	
	映像分配機	VDA-108	台	1	-	
	タイムベースレクタ	FA-350	台	1	1回/年	
	パワーテストロビューター	SRP-D4000	台	2	1回/年	

国立霞ヶ丘競技場吸収式冷温水発生機 機器仕様表

作業工程		ア		上		技		場		場		場	
作	業	工	程	ア	上	技	場	場	場	場	場	場	場
形	式	CH-G100H	CH-V200ULL	CH-VX50P	CH-V20	YCHV-20EMSHQ	CH-G30	CH-D20					
構	R	T	100+100	50	20	20	30	20					
製	造	メ	一	力	矢崎総業株式会社製								
品	名	二重効用吸収式冷温水機アロエース											
設	置	年	月	日	平成元年3月	平成6年3月	平成10年3月	平成5年3月	平成7年3月	昭和63年6月	昭和58年		
設	置	台	数	所	1基	1基	3基	1基	各1基計2基	1基	1基		
設	置	場	所		3階回廊	3階回廊	ランプ下人工芝横	メインスタンド5Fキャビナー	大会運営管理室(1)(2)	クラブハウス横	1階機械室内		
冷	凍	能	力	Kcal/h	302,400	604,800	176	60,480	60,480	90,720	60,480	60,480	
加	熱	能	力	Kcal/h	362,880	492,140	211	72,580	72,580	79,260	52,840	52,840	
再	生	器	伝	熱	面	積	m ²	9.75×2	9.75	3.26	3.26	3.84	—
電	源	3相200V50/60Hz											
能	力	制	御	方	式	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御	Hi-Low-Off制御
		加	熱	時		冷	凍	時		冷	凍	時	
		加	熱	時		ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御	ON-OFF制御
キ	ヤ	ビ	ネ	ツ	屋内外兼用型、溶融亜鉛メッキ鋼板にリン酸亜鉛被膜処理後、ポリブタジエン系塗料電着塗装、アクリル樹脂系塗料静電塗装、マンセルカラー5Y7/1相当								
燃	料	種	類		都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A	都市ガス13A
消	費	電	力	kw	3.06	4.60	11.7	1.03	5.4	1.10	0.98	0.98	
そ	の	他			冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷却塔一体型 冷温水・冷却水ポンプ内蔵	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷却塔一体型 冷温水・冷却水ポンプ内蔵	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台	冷温水ポンプ1台 冷却水ポンプ1台

トレーニングセンターサウナ・浴槽設備、プール採暖設備保守点検
保守対象設備一覧

1 トレーニングセンター

(1) 浴槽濾過設備

ア 濾過設備	4基 (男・女)	
ジャグジー (男女)	濾過機	2台 (中山産業(株)製 STS-18AC)
水風呂 (男女)	濾過機	2台 (中山産業(株)製 STN-8A)
ジャグジー (男)	循環ポンプ	1台 ((株)荏原製作所製 50SQGD51.5)
ジャグジー (女)	循環ポンプ	1台 ((株)荏原製作所製 50SQD51.5)
水風呂 (男女)	循環ポンプ	2台 ((株)荏原製作所製 40SQGD5.75)
	滅菌ポンプ	4台 ((株)タクミナ製 PX-31-VFC-HW)
ジャグジー (男女)	熱交装置	2台 (東西商事(株)製 5060CFW1000000)
水風呂 (男女)	熱交装置	2台
	集毛器	4台
イ ジェットバス設備	2基 (男・女)	
	ポンプ	2台
	(男)	((株)荏原製作所製 50×40FDGP52.2)
	(女)	((株)荏原製作所製 40×32FDGP51.5)
	集毛器	2台
ウ バイブラバス設備	2基 (男・女)	
	ブローアー	2台 (中山産業(株)製 TSA-65 2.2kw)
エ 制御盤	総合制御盤	1面
(2) サウナストーブ設備	2基 (男・女)	
	熱源装置	2台
	(男)	((株)メス製 FL-180 220V 18kw)
	(女)	((株)メス製 FL-150 220V 15kw)
	制御盤	1面

2 水泳場

採暖設備

	2基 (男・女)	モトヤマ製
	濾過機	2台 (製 STN-8H)
	循環ポンプ	2台 (製 40SQGD5.75)
	滅菌ポンプ	2台 (タクミナ製 PX-31-VFC-HW)
	熱交装置	2組 (東西商事(株)製 3060SSW1000000)
	集毛器	2台
	制御盤	1面

電 気 設 備 一 覧 表

電気設備（陸上競技場）

名 称	設 備 内 容
受変電設備	1 受電電圧 3相 6, 600V 2 高圧分電盤 26面 3 低圧分電盤 32面 4 変圧器総容量 電灯 1, 450KVAV 動力 2, 660KVAV 電力 300KVAV
低圧電力設備	1 分電盤 108面 2 動力制御盤 90面 3 動力盤 6面 4 外灯 53基
避雷設備	1 突針 5基 2 棟上導体 1, 100m 3 接地極 10箇所
自家発電設備	1 発電機 1台 定格出力 200KVA 電圧 200/100V 2 ディーゼルエンジン（6HAL2-T） 形式 立形水冷4サイクル 出力 245PS 3 盤類 発電機盤 1面 自動始動盤 1面 4 直流電源装置 1組 蓄電池 形式 HS-200 個数 12セル 容量 24V 200Ah 5 燃料装置 主燃料タンク 125ℓ 燃料消費量 47.2ℓ/h 潤滑方式 強制循環方式 始動方式 電気始動式 燃料 軽油

電気設備（陸上競技場）

名 称	設 備 内 容
直流電源設備	1 整流装置 3φ 200V 100A 1台 2 蓄電池 形式 MSE-200 個数 54セル 容量 200AH
夜間照明灯設備	1 灯数 676灯 2 電球種別 マルチハロゲン灯 524灯 (M1000/BH-SC) 高圧ナトリウム灯 140灯 (NH940L) 白熱灯 12灯 (IL11000) 3 総容量 721.8kw 4 平均照度（初期） 2,000Lx
電光表示設備	1 塔屋サイズ w30.8×h8.3m 2 表示面サイズ 20.4×7.3m 3 時計サイズ φ2.5m 4 45分計 φ2.5m 5 ランニングタイマー 3.18×0.7m 6 表示素子発光ダイオード (LEDピュアグリーン仕様) 7 絵間隔 40m/m 8 輝度調整 16段階 9 表示諧調 1,024階調 10 視認距離 20~250m 11 最大消費電力 230kwh
イベント用電源設備	1 イベント用電灯盤 6面 2 コンセントボックス 1面 3 売店用動力コンセント盤 12面

電気設備（陸上競技場）

名 称	設 備 内 容
拡声システム構成	1 音声 一式 2 電力増幅器（100W×4ch） 1台 3 ワイヤレス受信機（4ch） 2台 4 FM/AMチューナー 1台 5 入出力パッチ部 1台 6 デジタルデレイ 1台 7 出力調整架 一式 8 電力増幅器1（300×300W） 一式 9 電力増幅器2-1（360wH i - z） 一式 電力増幅器2-2（300×300W） 一式 10 電力増幅器3（120×120W） 一式 11 電力増幅器4（120×120W） 一式 12 出力監視盤 一式 13 スピーカー 一式
中央監視盤 CRT表示装置	1 画面サイズ 21インチ 2 解像度 1280×1024ドット
MUC（マンマシンユニット コントローラー）	1 処理装置 32ビットCPU 2 主記憶装置 48MB
メッセージプリンター	1 印字方法 インパクトドットマトリックス方式 2 用紙サイズ 15インチ
ロギングプリンター	1 印字方法 電子写真方式 2 用紙サイズ A3単票紙
MUC（メインコントロール エンジン）	1 処理装置 32ビットCPU 2 主記憶装置 4MB
グラフィックパネル	1 材質モザイク（電力系） 2 表示方法 LED法式
UPS	1 出力 5KVA
監視カメラ設備 （ITV）	1 ITV架 1架 2 ネットワークディスクレコーダー 3台 3 ネットワークビデオレコーダー 3台 4 増設ユニット 3台 5 レコーダーサイドHUB 1台 6 電源制御ユニット 2台 7 UPS 8台 8 メディアコンバーター 26台 9 屋内ネットワークカメラ 12台 10 屋外ネットワークカメラ 20台

	11	HUB盤	12台
	12	HUB	13台
	13	SPD盤	2台
	14	電源用SPD	2個
	15	LAN用SPD	2個
	16	操作パソコン	7台
	17	19型液晶モニター	4台
	18	42型プラズマディスプレイ	7台
	19	32型液晶ディスプレイ	5台
	20	SPB/MC盤	2台

電気設備（ラグビー場）

名 称	設 備 内 容
受変電設備	1 受電電圧 3相 6, 600V 2 高圧・低圧配電盤 11面
電力設備	1 分電盤 13面 2 動力制御盤 12面 3 外灯 21基
避雷設備	1 突針 3基 2 接地極 3箇所
自家発電設備	1 発電機 1台 定格出力 50KVA 電圧 200V 2 ディーゼルエンジン 始動方式 電気式 冷却方式 水冷式 出力 65PS 3 盤類 発電機盤 1面 自動始動盤 1面 4 直流電源装置 1組 蓄電池 形式 HS-150E 個数 12セル 容量 150Ah 5 燃料装置 主燃料タンク 200リットル 燃料 軽油
直流電源設備	1 整流装置 3φ 200V 30A 1台 2 蓄電池 形式 HS120-6E 個数 54セル 容量 120AH

電気設備（ラグビー場）

名 称	設 備 内 容
夜間照明設備	
照明塔	1 塔数 4基 2 高さ (本体30m+避雷針3m) 33m 3 材質 STK400 (一般構造用炭素鋼管)
ランプ	1 電球数 36灯/塔×4基 144灯 2 電球種類 メタルハイドランプ (1.5kw)
分電盤	1 屋外自立盤 (照明塔足元設置) 4台 2 塔上設置盤 (鉄塔背面取付) 4台
電源	仮設用電源車 (375KVA/台) 3台
照度	平均照度 (初期水平面) 1,000Lx
電光表示設備	1 塔屋サイズ w15.7×h8.0m 2 表示面サイズ 12.4×7.2m 3 時計サイズ φ2.0m 4 45分計 φ2.0m 5 ランニングタイマー 2.4×0.4m 6 表示素子発光ダイオード (LEDピュアグリーン仕様) 7 絵間隔 25m/m 8 輝度調整 16段階 9 表示諧調 1,024階調 10 視認距離 20~180m 11 最大消費電力 93kwh
監視カメラ設備 (ITV)	1 ITV架 1架 2 ネットワークディスクレコーダー 1台 3 増設ユニット 1台 4 レコーダーサイドHUB 1台 5 電源制御ユニット 1台 6 UPS 2台 7 メディアコンバーター 10台 8 屋内ネットワークカメラ 1台 9 屋外ネットワークカメラ 12台 10 HUB盤 5台 11 HUB 5台 12 SPD盤 1台 13 電源用SPD 1個

	14 操作パソコン	1台
	15 19型液晶モニター	1台
	16 42型プラズマディスプレイ	1台

電気設備（ラグビー場クラブハウス）

名 称	設 備 内 容	
電気設備	1 分電盤	3面
	2 動力制御盤	2面

電気設備（東テニス場）

名 称	設 備 内 容	
受変電設備	1 受電電圧 3相	6, 600V
	2 高圧・低圧配電盤	3面
電力設備	1 分電盤	2面
	2 動力制御盤	1面

電気設備（西テニス場）

名 称	設 備 内 容	
電力設備	1 分電盤	2面
	2 動力制御盤	1面
	3 外灯	1基
監視カメラ設備 (ITV)	1 屋外ネットワークカメラ	1台
	2 HUB盤	1台
	3 HUB	4台

電気設備（本部事務所）

名 称	設 備 内 容
電灯分電盤	6面 各階FR室設置
動力制御盤	1面（1000W×2050H×350D×4面） 地下2階機械室設置
警報盤	1面（12窓） 1階警備室設置
避雷設備	突針 1基 棟上導体 60.4m 接地極 4箇所
受変電設備 （電気室内）	受変電圧 3相 6,600V 高圧受電盤 1面 低圧電灯盤 2面 低圧動力盤 1面 低圧非常保安動力盤 1面 低圧非常保安電灯盤 1面
非常用発電機	出力 150KVA 電圧 200/100V 形式 立型水冷4サイクル 出力 200PS 燃料 軽油
非常用発電機始動用蓄電池	形式 HS200E-12 容量 200Ah 電圧 24V
非常照明用蓄電池	形式 MSE100-6 54セル 容量 100AH/HR 電圧 108V
無停電電源装置	形式 インバーター強制空冷 容量 20KVA 電圧 100V

機 械 設 備 一 覧 表

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
消火栓ポンプ (TM-L5004)	吐出量0.6m ³ /m 全揚程8.5m	200V 18.5kw	1
スプリンクラーポンプ (100MSF5530)	吐出量600 $\frac{1}{2}$ l/m 全揚程10.9m	200V 30kw	1
北汚水槽 汚水ポンプ (NVM-BLO) (100DL511)	吐出量1.5m ³ /m 全揚程1.6m	200V 11kw 200V 11kw	1 1
南汚水槽 汚水ポンプ (NVM-BLO)	吐出量1m ³ /m 全揚程1.4m	200V 7.5kw	2
博物館展示場系統			
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	3
ガスヒートポンプパッケージ (16馬力マルチ室外機)	冷房能力 45kw 暖房能力 53kw 送風量310m ³ /min	200V0.15 ×3kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量202, 633m ³ /min	200V 0.135kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (10馬力マルチ室外機)	冷房能力 28kw 暖房能力 33.5kw 送風量160m ³ /min	200V0.15 ×2kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	2
ガスヒートポンプパッケージ (10馬力マルチ室外機)	冷房能力 28kw 暖房能力 33.5kw 送風量160m ³ /min	200V 0.15 ×2kw	1
空冷パッケージ (床置直吹型室内機)	冷房能力 16, 200Kcal/m ³ 暖房能力 12kw 送風量70m ³ /min	200V 12kw	1
(収蔵庫室内機)	送風量140m ³ /min	200V0.18kw	1

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
空冷パッケージ (室外機)	圧縮機	200V 5.5kw	1
ウォータークーラー RW-222PD型	性能 16リットル/h	100V 260w	5
製氷器 (1F医務室)	IN-30J	100V 305w	1
ファンコイルユニット (中央ホール)	冷房能力3,120Kcal/h 暖房能力1,400Kcal/h	100V 66w	13
空調換気扇 (中央ホール) (ロスナイ)	250×580m ³ /h×9mAq	100V 315w	1
エアカーテン (中央ホール)	最大吹出量 9.5m/s	100V 45w	1
ファンコイルユニット (小1~大会議室)	冷房能力5,000Kcal/h	100V 136w	14
空調換気扇 (ロスナイ) (小1~大会議室)	250 ^Φ ×1,080m ³ /h×9mAq	100V 545w	7
吸収冷温水器 (50Rt×50Rt×50Rt)	冷凍能力151,200Kcal/h 暖房能力123,040Kcal/h	200V 13kw	3
冷温水ポンプ	458.2リットル/min×16m	200V 5.5kw	3
冷却水ポンプ	761.8リットル/min	200V 2.2kw	3
ファンコイルユニット (選手更衣室A~F) 天井埋込みカセット(#1200)	定流量弁付 冷凍能力151,200Kcal/h 暖房能力123,040Kcal/h 風量21m ³ /min	100V 159kw	8
換気扇	250φ900m ³ /h	100V 26w	15
ガス湯沸器 (暗室)	ガス消費量38,000Kcal/h	100V 65w	1
排気ファン (暗室)	風量13m ³ /h	200V 0.2kw	1
暗室ファンコイル天吊	ヤザキ	100V	2

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
ファンコイルユニット FCU-1 (ドーピングルーム)	冷房能力1,600Kcal/m ³ 暖房能力1,930Kcal/m ³	100V 50w	1
換気扇 (トイレ内) (ドーピングルーム)	風量200m ³ /h 静圧8mmAg	100V 25w	1
ファンコイルユニット FCU-2 (待合室)	冷房能力2,400Kcal/m ³ 暖房能力2,880Kcal/m ³	100V 57w	1
換気扇・有圧 (待合室)	風量100m ³ /h 静圧4mmAg	100V 14w	2
換気扇 (待合室男・女トイレ)	風量200m ³ /h 静圧6mmAg	100V 42w	4
写真室系統 ガス湯沸器・屋外壁掛け式 16号 (写真室)	ガス消費量30,000~60,000Kcal/h	100V 57w	1
GHP エアコン・室外機 (写真室)	冷房能力290w 暖房能力290w	200V 290w	1
GHP エアコン・室内機 一方向吹出 (写真室)	冷房能力8.0kw 暖房能力9.5kw	100V 545w	1
天井ダクト扇 (写真室)	風量50~450m ³ /h 静圧14mmAg	100V 82w	1
排気ファン・ラインファン (会議室前男女トイレ)	風量540m ³ /h 静圧12mmH ₂ O	100V 0.08kw	2
排気ファン・ラインファン 正面玄関ロビー女子トイレ	風量420m ³ /h 静圧9mmH ₂ O	100V 0.08kw	1
排気ファン・ラインファン 正面玄関ロビー男子トイレ	風量420m ³ /h 静圧11.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
排気ファン・ラインファン 正面玄関ロビー倉庫	風量90m ³ /h 静圧7mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン ダックアウト第2コーナー 男子トイレ	風量390m ³ /h 静圧10.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン ダックアウト第2コーナー 女子トイレ	風量380m ³ /h 静圧10.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン ダックアウト第3コーナー 男子トイレ	風量320m ³ /h 静圧11.0mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン ダックアウト第3コーナー 女子トイレ	風量380m ³ /h 静圧10.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン 博物館前身障害者用トイレ	風量160m ³ /h 静圧6mmH ₂ O	100V 25w	1
排気ファン・ラインファン 博物館前男・女トイレ	風量470m ³ /h 静圧6mmH ₂ O	100V 50w	2
天井換気扇(会議室前トイレ)	風量30m ³ /h 静圧6.5mmH ₂ O	100V 9.4w	1
排気ファン(記者室)	風量4.2m ³ /h 静圧10.0mmH ₂ O	100V 30w	1
床置ファンコイル(事業課)	FW33型	100V 25w	2

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
床置ファンコイル (事業課)	FW63型	100V 55w	2
床置ファンコイル (事業課)	FW123型	100V 110w	2
換気扇 (事業課)	三菱 25RK3-M	100V	4
換気扇 (事業課)	三菱 VD-152 ₅	100V 15.5w	2
ガス湯沸器 (事業課)	KG-510FES 13A 19,000Kcal/h	100V 69w	1
排気ファン (事業課男・女更衣室)	風量250m ³ /h 静圧15mmAg	100V 65w	2
排気ファン (事業課トイレ)	静圧10mmAg	100V 35w	1
排気天井扇 (事業課流し)	静圧6mmAg	100V 40w	1
給湯器排気 (事業課)	静圧4mmAg	100V 37w	1
ファンコイルユニット (医務・予備室)	冷房能力5,700Kcal/h 暖房能力14,100Kcal/h 風量21m ³ /h	100V 143w	2
換気扇 (キーパー室)	V-132 グランド器具庫控室設備あり	100V×40w	1
FCU-1 ファンコイルユニット 天吊露出型 (記録室)	冷房能力4,650Kcal/h 暖房能力7,500Kcal/h 風量1,020m ³ /h 冷温水量15.5ℓ/min	100V 76w	3
FCU-2 ファンコイルユニット 天吊露出型 (記録室)	冷房能力1,800Kcal/h 暖房能力2,950Kcal/h 風量340m ³ /h 冷温水量6.0ℓ/min	100V 37w	1
FCU-3 ファンコイルユニット 天吊露出型 (大会本部役員室)	冷房能力6,600Kcal/h 暖房能力11,000Kcal/h 風量1,360m ³ /h 冷温水量22ℓ/min	100V 108w	1

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
FCU-4 ファンコイルユニット カセット型 (予備室・表彰控室)	冷房能力4,800Kcal/h 暖房能力7,800Kcal/h 風量1,020m ³ /h 冷温水量15ℓ/min	100V 86w	2
FCU-5 ファンコイルユニット (記者室)	冷房能力9,100Kcal/h 暖房能力14,600Kcal/h 風量2,040m ³ /h 冷温水量30ℓ/min	100V 159w	2
換気扇天井埋込型 (大会本部役員室)	風量200m ³ /h 静圧8mmAg	100V 25w	3
給水系統 インバーター加圧給水ポンプ (犬走り)	吐出量1,334m ³ /m 全揚程44m	200V 18.5kw	3
吸気ファン・ラインファン (犬走り)	風量4,800m ³ /h	200V 0.6w	1
排気ファン・ラインファン (犬走り)	風量4,800m ³ /h	200V 0.6w	1
排水ポンプ (犬走り)	吐出量250ℓ/min 全揚程10m	200V 1.5kw	2
圧力タンク (犬走り)	600ℓ 8.0kg/cm ²		1
受水槽・FRP (犬走り)	87.5m ³ (有効水量70m ³)		2
グラウンド散水ポンプ あづま TMS-MD	口径 125/100mm 吐出量0.70m ³ /m 全揚程100m	200V 22kw	1
地下道湧水排水ポンプ あづま SP-SF	口径 40mm 吐出量0.12m ³ /m 全揚程9m	200V 0.75kw	1
ファンコイルユニット 日本ピーマックSF600 (事業課会議室)	冷房能力4,000Kcal/h 暖房能力6,500Kcal/h 風量16m ³ /h	100V160w	1
ファンコイルユニット 日本ピーマックSF600 (事業課男子更衣室)	冷房能力4,000Kcal/h 暖房能力6,500Kcal/h 風量16m ³ /h	100V 160w	1

国立霞ヶ丘競技場 1F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
ファンコイルユニット 日本ピーマックSF600 (事業課女子更衣室)	冷房能力4,000Kcal/h 暖房能力6,500Kcal/h 風量16m ³ /h	100V 160w	1
制御室系統 ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力 22.4kw 暖房能力 28.0kw ガス消費量2.25m ³ N/h	200V 0.92kw 200V 1.0kw	1
室内機	冷房能力 11.2kw	200V 0.212kw	2
	暖房能力 13.2kw	200V 0.171kw	2
ルームエアコン壁掛 (宿直室)	冷房能力2.2kw 暖房能力3.4kw COMP出力0.6kw	100V 585w 100V 795w	1
空調換気扇天吊形	210cmH×12mm(H20)	100V91w	1
	210cmH×12mm(H20)	100V 138w	2
レンジフードファン	400cmH×6mm(H20)	100V 77w	1
天井埋込形換気扇	50cmH×6mm(H20)	100V 0.009kw	2
有圧換気扇	450cmH	100V 15w	1
資材置場 ファンコイルユニット	冷房能力 24.7kw 暖房能力 47.6kw	200V 0.55kw	1
資料室パッケージ	屋内機 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw	200V 1.6kw	1
	屋外機	200V 1.1kw	1
送風機(資材置場)	4,050CMH×170Pa	200V 1.5kw	1
片吸込シロッコファン(#2)	4,050CMH×200Pa	200V 1.5kw	1
中央監視装置 CRT表示装置	ibmax-mxII 21型(21インチ) (ジョンソンコントロールズ社製)		
基本操作	総合ビル管理制御システム		
メッセージプリンター	C・R・T画面タッチ式及、タッチシートパネル 印字方式		

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
空冷ヒートポンプエアコン・ 天井カセット2方向(警備室)	冷房能力14.0kw 暖房能力16.0kw 室内機ファン0.04kw×2	200V 4.5kw	1
空冷ヒートポンプエアコン・ 壁掛ルームエアコン(警備室)	冷房能力0.9~2.8kw 暖房能力0.9~4.1kw	100V 1.3kw	1
警備室換気扇	EX-25RK3-C		2
天井換気扇(プール受付控室) 低騒音フラットパネル	100φ×80CMH×50PA	100V 0.014kw	1
体育館関係用 真空式給湯温水機	缶体圧力100,000Kcal/h 吐出量0.032m ³ /m	100V ×0.14kw	1
温水循環ポンプ (32MDPA25.4S)	吐出量0.05m ³ /m	100V 0.4kw	1
貯湯槽	3t		1
ファンコイルユニット (ロビー)	冷房能力9,072Kcal/h 暖房能力12,240Kcal/h 風量30.2m ³ /h	100V 440w	1
ファンコイルユニット (談話室)	冷房能力3,300Kcal/h 暖房能力6,150Kcal/h 風量8.5m ³ /h	100V 56w	1
ファンコイルユニット (男子更衣室)	冷房能力6,350Kcal/h 暖房能力12,000Kcal/h 風量17m ³ /h	100V 17w	1
ファンコイルユニット (女子更衣室)	冷房能力4,500Kcal/h 暖房能力8,600Kcal/h 風量11.3m ³ /h	100V 49w	1
ファンコイルユニット (指導員室)	冷房能力2,500Kcal/h 暖房能力4,600Kcal/h 風量5.7m ³ /h	100V 36w	1
冷水器	RW-222PD形 性能16 $\frac{1}{2}$ l/h	100V 260w	1

国立霞ヶ丘競技場 1F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
消火栓用水槽	38.9m ³		1
スプリンクラー用水槽	38.9m ³		1
防火用水槽	165.6m ³		1
グラウンド散水水槽 (A)	250m ³ 6.9×10.0×2.4		1
グラウンド散水水槽 (B)	250m ³		1
北汚水分離槽 RC	87.78m ³ 7.7×4.0×2.85		1
南汚水分離槽 RC	53.9m ³ 7.7×4.0×1.75		1

国立霞ヶ丘競技場 1F系統 (22年度改修)

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
【ランプ下事務室】			
空冷ヒートポンプエアコン・天井カセット2方向	冷房能力14.0kw 暖房能力16.0kw 室内機ファン0.12kw	200V 3.6kw	2
空調換気扇 (全熱交換器)	200Φ×360m ³ /h×180Pa	100V 360w	1
ストレートダクトファン	150Φ×230m ³ /h×100Pa	100V 60w	1
レンジフードファン	EA: 150Φ×300m ³ /h×170Pa OA: 150Φ×250m ³ /h×70Pa	100V 180w	1
電気温水器	貯湯式電気温水器 (先止式) 貯湯量30ℓ	200V3kw	1
【更衣室H・G】			
排風機	天井埋込形 150φ×180m ³ /h×140Pa	100V50w	2
排風機	天井埋込形 150φ×100m ³ /h×80Pa	100V50w	1
排風機	天井埋込形 150φ×180m ³ /h×80Pa	100V50w	1
ストレートシロッコファン	天井埋込形 200φ×780m ³ /h×160Pa	100V 200w	1
ストレートシロッコファン	天井埋込形 200φ×550m ³ /h×120Pa	100V130w	1

国立霞ヶ丘競技場 2F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
サッカー協会 大型ガス給湯器	GO-501WQ-F 能力96,000Kcal/h	100V 170w	1
サッカー協会 湯沸器	RTS-3S・D 8,300Kcal×15A		1
レンジフード			1
男女更衣室換気扇			2
体育館 ファンコイルユニット 天井カセットタイプ 2方向吹出	冷房能力 4,990Kcal/h 暖房能力 7,850Kcal/h 冷温水量 18 $\frac{1}{2}$ l/min 風量 20.5m ³ /min	100V 150w	5
体育館 ガス給湯器	PH-5TB (29) 9,800Kcal/h		1
体育館 ガスコンロ	RTS-320NA-L 8,300Kcal/h		1
体育館 窓側吸気送風機	E-20RK 風量 290m ³ /h	100V 14w	7
体育館 窓側排気送風機	E-20RK 風量 450m ³ /h	100V 22w	7
体育館 換気	VI-150M. C 風量 110m ³ /h	100V 46w	1
体育館 倉庫排気	JF-25BS 風量 1,110m ³ /h	100V 46w	1
排気ファン・ラインファン 体育館クラブルーム 男子トイレ	風量380m ³ /h 静圧10.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
排気ファン・ラインファン 体育館クラブルーム 女子トイレ	風量380m ³ /h 静圧10.5mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
ファンコイルユニット (クラブルーム)	冷房能力6,900Kcal/h 暖房能力11,700Kcal/h 風量22.5m ³ /h	100V 250w	4
図書・博物館男女トイレ 排気ファン・ラインファン	風量 460m ³ /h 静圧 13.5mmH ₂ O	100V 0.08kw	2
図書・博物館脱衣室 排気ファン・シロッコファン	風量 970m ³ /h 静圧 10mmH ₂ O	200V 0.2kw	2

国立霞ヶ丘競技場 2F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
図書・博物館湯沸室			
ガス湯沸器	HON-1号 貯湯式6, 000kcal×15A		1
ガス湯沸器	PH-24号A×45, 000kcal/h		1
換気扇	風量 260m ³ /h 静圧 8mmH ₂ O	100V 42w	2
図書・博物館 ユニットシャワー用 天井換気扇	風量 20m ³ /h 静圧 6.5mmH ₂ O	100V 42w	2
図書博物館 エアハンドリングユニット 加湿器付き	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 65,000Kcal/h 風量 135m ³ /h	200V 2.2kw	1
運営調整・施設管理課機械室 エアハンドリングユニット	天井カセット4方向吹出型 冷房能力 10,550Kcal/h 暖房能力 10,350Kcal/h 風量 24,100CMN×70mmAg 循環水量 280 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$ 加湿器 21kg/h	200V 11kw	1
運営調整・施設管理課 ファンコイルユニット 会議室 ホール 収納コーナー	天井カセット4方向吹出型 冷房能力 9.31kw 暖房能力 17.63kw 水量 26.7 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$	100V 209w	4
運営調整・施設管理課 ファンコイルユニット 月刊資料室 スポーツセンター 会議室 NO2	天井カセット4方向吹出型 冷房能力 8.27kw 暖房能力 15.58kw 水量 23.7 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$	100V 185w	4
運営調整・施設管理課 ファンコイルユニット 運営調整・施設管理課 場長室 投票部資料室 予備室	天井カセット4方向吹出型 冷房能力 7.22kw 暖房能力 13.52kw 水量 20.7 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$	100V 145w	6

国立霞ヶ丘競技場 2F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
運営調整・施設管理課男子更衣室 ファンコイルユニット	天井カセット2方向吹出型 冷房能力 5.34kw 暖房能力 9.79kw 水量 15.4ℓ/min	100V 0.077kw	2
運営調整・施設管理課男子更衣室女子更衣室 ファンコイルユニット	天井カセット2方向吹出型 冷房能力 3.69kw 暖房能力 6.80kw 水量 10.7ℓ/min	100V 0.049kw	1
運営調整・施設管理課玄関ホール ファンコイルユニット	天井埋込型 冷房能力 3.69kw 暖房能力 6.80kw 水量 10.7ℓ/min	100V 0.045kw	1
運営調整・施設管理課加湿装置	カセット形空調機組込 加湿量 1.2ℓ/h	200V 0.045kw	12
運営調整・施設管理課加湿装置	カセット形空調機接続型 加湿量 20ℓ/h	200V 50kw	4
運営調整・施設管理課男子更衣室 天井換気扇	低音フルフラットパネル 150φ×500CMH×85Pa	100V 0.075kw	1
運営調整・施設管理課天井換気扇 会議室 NO. 1 収納コーナー	低騒音フルフラットパネル 150φ×350CMH×80Pa	100V 54w	3
運営調整・施設管理課天井換気扇 男女トイレ	低騒音型 150φ×330CMH×180Pa	100V 0.074kw	2
運営調整・施設管理課給湯室 天井換気扇	低騒音オール金属型 150φ×250CMH×60Pa	100V 3w	1
運営調整・施設管理課天井換気扇 事務室 女子更衣室 会議室 NO. 2	低騒音フルフラットパネル 150φ×250CMH×80Pa	100V 37w	7
運営調整・施設管理課天井換気扇 男女脱衣シャワー室	低騒音フルフラットパネル 150φ×220CMH×100Pa	100V 37w	2

国立霞ヶ丘競技場 2F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
スポーツ博物館 ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	2
ガスヒートポンプパッケージ (16馬力マルチ室外機)	冷房能力 45kw 暖房能力 53kw 送風量310m ³ /min	200V0.5 ×3kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	2
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量202, 633m ³ /min	200V 0.135kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (10馬力マルチ室外機)	冷房能力 28kw 暖房能力 33.5kw 送風量160m ³ /min	200V 0.15×2kw	1
ガスヒートポンプパッケージ (天吊型室内機)	冷房能力 14kw 暖房能力 17kw 送風量232, 833m ³ /min	200V 0.135kw	2
ガスヒートポンプパッケージ (10馬力マルチ室外機)	冷房能力 28kw 暖房能力 33.5kw 送風量160m ³ /min	200V 0.15 ×2kw	1
収蔵庫 空冷パッケージ (床置直吹型室内機)	冷房能力 16, 200Kcal/m ³ 暖房能力 12kw 送風量70m ³ /min 圧縮機5.5kw	200V 12kw	1
空冷パッケージ (室外機)	送風量140m ³ /min	200V 0.18kw	1
運営調整・施設管理課 天井換気扇 場長室その他	低騒音フルフラットパネル 150φ×150CMH×60Pa	100V 0.021kw	7
運営調整・施設管理課 天井換気扇 男女シャワー室	低騒音フルフラットパネル 100φ×80CMH×85Pa	100V 0.022kw	4
運営調整・施設管理課事務室 有圧換気扇	業務用電動シャッタ付 20cm×350CMH×10Pa	100V 0.018kw	4

国立霞ヶ丘競技場 2F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
Bラウンジ 有圧換気扇	業務用電動シャッタ付 20cm×350CMH×10Pa	100V 0.018kw	2
皇族・貴賓室 瞬間ガス湯沸器	300φ×1, 200m ³ /h		1
皇族・貴賓室 換気扇		100V 30w	4
皇族・貴賓室 吸気ファン	風量780m ³ /h	100V 69w	1
皇族・貴賓室 吸気ファン	風量1,260m ³ /h	100V 80w	1
皇族室 ファンコイルユニット	冷房能力 2,470Kcal/h 暖房能力 5,790Kcal/h 風量 12m ³ /h	100V 54w	2
貴賓室 ファンコイルユニット	冷房能力 2,470Kcal/h 暖房能力 5,790Kcal/h 風量 12m ³ /h	100V 54w	2
サッカー協会 大型給湯器排気ファン	TFM-30 風量750m ³ /h	100V 65w	1
組合事務所系統 排気ファン	風量 1,140m ³ /h	100V 25w	1
組合事務所 吸気ファン	風量 430m ³ /h	100V 16w	1
組合事務所 ファンコイル	冷房能力 2,910kcal/h 暖房能力 4,940kcal/h 風量 15,3m ³ /min	100V 90w	2
組合事務所 ラインファン	風量 920m ³ /h	100V 0.15kw	1
体育施設協会系統 ファンコイルユニット	天井カセットタイプ2方向吹出 冷房能力 4,990kcal/h 暖房能力 7,850kcal/h 冷温水量 18 $\frac{1}{2}$ l/min 風量 20,5m ³ /min	100V 150w	5

国立霞ヶ丘競技場 2F系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
ガスコンロ	RTS-320NA-L 8, 300kcal/h		1
ガス給湯器	PH-5TB (29) 9, 800kcal/h		1
体育施設協会 送排風機 窓側給気	E-20RK ₄ 風量 290m ³ /h	100V 14w	1
窓側排気	E-20RK ₄ 風量 450m ³ /h	100V 22w	1
換気扇	VI-150MC 風量 110m ³ /h	100V 46w	1
倉庫排気	JF-25BS 風量 1, 110m ³ /h	100V 71w	1
オリンピア ファンコイルユニット (MH-2)	冷房能力 6, 900kcal/h 暖房能力 11, 700kcal/h 風量 22.5m ³ /m	100V 250w	4
排気ファン (VD-20ZXP2-W)	風量 486m ³ /h	100V 54w	7
天吊埋込みミニバン	(MH-2)	100V 250w	8
博物館展示場男子トイレ 排気ファン・ラインファン	風量 310m ³ /h 静圧 10mmH ₂ O	100V 0.04kw	2
博物館展示場女子トイレ 排気ファン・ラインファン	風量 270m ³ /h 静圧 10mmH ₂ O	100V 0.04kw	1
博物館 湯沸器	HON-1号貯湯式 6, 000Kcal/h		1
	PH-24号A 45, 000Kcal/h		1
貸事務室 エアハンドリングユニット	FCV-291SZK06-B (特) 冷房能力 122.68kw 暖房能力 120.40kw	200V 11kw	1
送風機	風量 942rpm		

国立霞ヶ丘競技場 3F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
回廊売店 (ABDFG) 給湯器	19,000Kcal/h	100V 46w	5
回廊売店 (ABCD) 換気扇有圧	1,300m ³ /h×30cm	100V 50w	4
回廊売店 (FG) 換気扇有圧	1,300m ³ /h×40cm	100V 200w	2
吸収冷温水機 (50t×50t)	冷凍能力303,400Kcal/h 暖房能力362,880Kcal/h		1
冷却塔	冷却能力566,604Kcal/h	200V 600w	1
冷却水ポンプ	125φ×1,525 ^{リットル} /min×18m	200V 7.5kw	1
冷温水ポンプ	65φ/100φ×1,800min×50m	200V 22kw	1
吸収冷温水機 (CH-V200ULL) 冷却塔	冷凍能力604,800Kcal/h 加熱能力429,140Kcal/h 冷却能力548,532Kcal/h	200V 3.14kw	2
冷温水ポンプ	100A×1,100 ^{リットル} /min×67m	200V 22.0kw	2
冷却水ポンプ	125A×1,550 ^{リットル} /min×15m	200V 7.5kw	2
管理運営室 (NO. 1) ガス焚冷温水機	冷房能力60,480Kcal/h 暖房能力72,580Kcal/h	200V 6.1kw	1
管理運営室 ファンコイルユニット	冷房能力6,880Kcal/h 暖房能力10,790Kcal/h	100V 136w	4
管理運営室 ファンコイルユニット	冷房能力3,440Kcal/h 暖房能力5,810Kcal/h	100V 66w	1
管理運営室 ファンコイルユニット	冷房能力2,515Kcal/h 暖房能力4,130Kcal/h	100V 50w	1
管理運営室 ファンコイルユニット	冷房能力1,935Kcal/h 暖房能力3,200Kcal/h	100V 50w	4
管理運営室 天井換気扇	300CMH	100V 25w	3
	150CMH	100V 14w	3
	460CMH	100V 74w	1
	130CMH	100V 16w	2
	212CMH	100V 22w	2

国立霞ヶ丘競技場 3F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
管理運営室 (NO. 2) ガス焚冷温水機	冷凍能力 60, 480 Kcal/h	200V 6.1kw	1
管理運営室 ファンコイルユニット	暖房能力 72, 580 Kcal/h	100V 136w	4
管理運営室 ファンコイルユニット	冷凍能力 60, 480 Kcal/h 暖房能力 72, 580 Kcal/h	100V 127w	2
管理運営室 天井換気扇	冷凍能力 9, 100 Kcal/h 暖房能力 15, 000 Kcal/h	400 CMH	100V 42w
A ラウンジ 換気扇		100V	4
A ラウンジ ファンコイルユニット	冷凍能力 9, 48 Kcal/h 暖房能力 15, 390 Kcal/h	100V 365w	5
A ラウンジガス湯沸器	ガス消費量 9, 800 Kcal/h	100V	1
アクアエース	弱電型 DC ソレノイド電磁サイホン ホーロー製ハイタンク (15 ^{リットル}) ホーロー製ハイタンク (20 ^{リットル})		3 1 3 0
(内 訳)			
3階回廊 201	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	2
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	3
202	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	4
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	2
203	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	4
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	8
204	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	2
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	9
205	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	2
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	4
206	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	2
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	4
207	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	
208	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	
209	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	
210	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	
211	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	

国立霞ヶ丘競技場 3F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
3F 回廊トイレ エバララインファン	NO. 3 LFM 風量 1, 200 m ³ /h 静圧 12.0 mmA g	100V 150w	1 9
3F 回廊トイレ エバララインファン	NO. 2 LFM 風量 800 m ³ /h 静圧 12.0 mmA g	100V 80w	1 9
3F 回廊トイレ エバララインファン	NO. 3 LFM 風量 1, 700 m ³ /h 静圧 35.0 mmA g	100V 280w	1 3
休養室 ガスヒートエアコン (TS-4032U)	冷房能力 3.2 kw 暖房能力 4, 200 K c a l / h	100V 1.35w	1
ファンコイル	KF-100-30-4N		2
換気扇 (10BSD)	風量 15 m ³ /m i n	0.7A	2
コンロ (RTS-3AH-AR)	定格 8, 200 K c a l 口径 15 A		1
給湯器 (PH-5号-3F(2))	定格 9, 800 K c a l 口径 15 A		1
ガストーブ (RN-945(U))	定格 4, 550 K c a l 口径 13 A		1

国立霞ヶ丘競技場 4F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
E売店 給湯器	能力30,000Kcal/h	100V 34w	1
E売店 換気扇	1,300m ³ /h×30cm	100V 50w	1
警察・消防本部 ファンコイルユニット	冷房能力 4,900Kcal/h 暖房能力 6,300Kcal/h	100V 56w	2
スタジオ ファンコイルユニット		100V 13w	2
アクアエース SSC3K-30型	弱電型DCソノレイド電磁サイホン ホーロー製ハイタンク (15 ^{リットル}) (20 ^{リットル})	DC30V 0.2A	7 34
(内 訳)			
4階回廊401	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	4
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	
4階回廊402	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	3
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	2
4階回廊403	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	4
4階回廊404	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	5
4階回廊405	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	4
4階回廊406	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	5
4階回廊407	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	4
4階回廊408	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	5
4階回廊409	ホーロー製ハイタンク	15 ^{リットル}	
	ホーロー製ハイタンク	20 ^{リットル}	5

国立霞ヶ丘競技場 5F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
吸収式冷温水発生機	二重効用ガス焚 (CH-V20) 13A 冷房能力 109,728Kcal/h 暖房能力 72,580Kcal/h	200V 1.03kw	1
冷却塔 CT-V20EN	冷却能力 109,728Kcal/h 循環水量 304.8 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$	200V 0.86kw	1
冷温水ポンプ	多段タービンポンプ 50A \times 200 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$ \times 27.0m	200V 2.2kw	1
冷却水ポンプ	50A \times 310 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$ \times 16.5m	200V 2.2kw	1
膨張タンク	SUS製100 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$		1
加圧ポンプ	小型定圧給水 20 $\frac{\text{L}}{\text{min}}$ \times 1.3kg/cm ²		1
ファンコイルユニット	天井カセット両吹 (KN-400)	100V 0.07kw	8
ファンコイルユニット	天井露出形 (C-300)	100V 0.05kw	2
炬火台 吸気ファン	風量720m ³ /h	100V 400w	1
第一エレベーター塔屋 排気ファン	風量2,200m ³ /h 静圧6mmAg	100V 100w	1
第二エレベーター塔屋 排気ファン	風量3,000m ³ /h 静圧5mmAg	100V 200w	1
ロープ式エレベーター1号機	乗用方向性乗合全自動方式 定員 15人 積載荷重1,000kg 定格速度60m/min カゴ内法 横幅1,600 \times 奥行1,500	200V6.2kw	1
ロープ式エレベーター2号機	入荷方向性乗合全自動方式 定員 17人 積載荷重1,150kg 定格速度60m/min カゴ寸法横幅1,800 \times 奥行1,500	200V 7.1kw	1
エレベーター監視盤	機械室・警備室		2

国立霞ヶ丘競技場 5F 系統

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
写真判定室			
PAC-1 (3馬力) 室外機	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 5,000Kcal/h	200V 2.76kw	1
室内機	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 5,000Kcal/h	200V 139w	2
オペレーションルーム			
PAC-1 (3馬力) 室外機	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 5,000Kcal/h	200V 2.67kw	1
室内機	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 5,000Kcal/h	200V 139w	2
GHP 室外機	冷房能力 12.5kw 暖房能力 14.0kw	200V 4.41kw	1
スタジオ503 室内機壁掛形	冷房能力 4,500Kcal/h 暖房能力 5,000Kcal/h	200V 55w	1
GHP (13馬力)	冷房能力 33.5kw 暖房能力 40.0kw	200V 1.19kw	1
GHP (10馬力)	冷房能力 33.5kw 暖房能力 40.0kw	200V 1.0kw	1
グリーンシートB・C・D スタジオ504・505	冷房能力 3,600Kcal/h 暖房能力 4,200Kcal/h	200V 82w	5
ファンコイルユニット ディレクター室	冷房能力 2,800Kcal/h 暖房能力 3,400Kcal/h	200V 92w	1
倉庫 (旧オペレータ室) ルーム1~8 場内アナウンス スタジオ502		100V 36w 100V 36w 100V 36w 100V 36w	4 8 2 2
ケータリング ガス瞬間湯沸器	13A 30,000Kcal/h	100V 41w	1
大型映像装置内 換気扇	有圧扇50cm型 風量7,200m ³ /h 有圧扇30cm型 風量1,740m ³ /h	200V 750w 100V 50w	10 2

国立霞ヶ丘競技場 トレーニングセンター関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
GHP パッケージ (屋外機)	冷房能力 56kw (20馬力) 暖房能力 67kw	200V 1.26kw	3
GHP パッケージ (屋外機)	冷房能力 45kw (16馬力) 暖房能力 53kw	200V 1.26kw	1
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.5kw	200V 0.161kw	4
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw	200V 0.083kw	1
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw	200V 0.14kw	1
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.3kw	200V 0.161kw	1
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.7kw	200V 0.14kw	1
GHP パッケージ (屋内機)	冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.4kw	200V 0.14kw	1
集中リモコン	機能 GHP1～4制御	100V 20A	1
エアハンドリングユニット AHU-1	冷房能力 118,000Kcal/h 暖房能力 101,000Kcal/h 冷温水量 390ℓ/min	200V	1
SA ファン送風機	12,500m ³ /h×40mA g	200V 5.5kw	
RA ファン送風機	12,500m ³ /h×40mA g	200V 3.7kw	
換気扇	有圧扇FD付 780m ³ /h×25cm	100V 25w	1
排水用ポンプ	40DSA5.25S	100V 250w	2
エアハンドリングユニット AHU-2	冷房能力 175,700Kcal/h 暖房能力 182,000Kcal/h 加湿量 62.3kgKcal/h 冷却器 I486×2460ℓ×28 ^T SAC 加熱器 I486×2460ℓ×28 ^T SAC 送風機 FMV-3.5#×1連 排水ポンプ 40DSA5.25S	200V 11.0kw 100V 250w	1 2
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 700m ³ /h 静圧210Pa	100V 0.545kw	1
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 400m ³ /h 静圧120Pa	100V 0.27kw	1
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 650m ³ /h 静圧160Pa	100V 0.525kw	2
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 840m ³ /h 静圧130Pa	100V 0.525kw	3
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 825m ³ /h 静圧150Pa	100V 0.525kw	4
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 650m ³ /h 静圧130Pa	100V 0.435kw	2
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 900m ³ /h 静圧130Pa	100V 0.469kw	1
空調換気扇 (ロスナイ)	風量 1,000m ³ /h 静圧110Pa	100V 0.469kw	1
排気ファン 天吊型シロッコファン	#1 1/4 風量 400m ³ /H 静圧60Pa	100V 0.074kw	1

国立霞ヶ丘競技場 トレーニングセンター関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
排気ファン 天吊型シロッコファン	# 1 1/2 風量 450m ³ /h 静圧140Pa	100V 0.097kw	2
排気ファン 天吊型シロッコファン	# 1 風量 150m ³ /h 静圧90Pa	100V 0.036kw	2
排気ファン 天吊型シロッコファン	# 1 3/4 風量 1,200m ³ /h 静圧70Pa	100V 0.329kw	1
排気ファン 天吊型シロッコファン	# 1 1/4 風量 450m ³ /h 静圧100Pa	100V 0.074kw	1
給気ファン 天吊型シロッコファン	# 1 3/4 風量 1,200m ³ /h 静圧70Pa	100V 0.329kw	1
天井カセットFCU J36型 13HP	冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw	200V 0.08kw	21
J45型 16HP	冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.3kw	200V 0.08kw	6
J56型 20HP	冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.7kw	200V 0.10kw	8
水冷チラー (男・女冷水槽系統)	冷房能力 37.5kw 冷水量 110ℓ/min (12→7℃) 冷却水量140ℓ/min (30→35℃) 圧縮機 5.5kw	200V 10.5kw 200V 0.15kw	2 2
冷却塔 (男・女冷水槽系統)	冷却能力 49.0kw 冷却水量 140ℓ/min (30→35℃) 送風機 4,890m ³ /h	200V 0.15kw w	2 2
冷水循環ポンプ (ライン型) (男・女冷水槽系統)	40φ×110ℓ/min×170KPa	200V 2.2kw	4
冷却水循環ポンプ (ライン型) (男・女冷水槽系統)	40φ×140ℓ/min×250KPa	200V 1.5kw	4
温水循環ポンプ (ライン型) (男・女冷水槽系統)	40φ×220ℓ/min×160KPa	200V 1.5kw	4
膨張タンク (ダイヤフラム式) (男・女ジャグジー温水系統)	100ℓ 圧力0.78MPa		1
排水ポンプ (水中ポンプ)	40φ×100ℓ/min×50KPa	200V 0.25kw	2
真空式温水発生機	350kw (300,000Kcal/h) 熱交能力 77kw (66,200Kcal/h)	× 2	2

国立霞ヶ丘競技場 トレーニングセンター関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
貯湯槽	5 t		2
濾過装置 (男・女ジャグジー系統)	ステライト砂濾過器 (珪砂) 処理水量 250 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min (15m ³ /h) 循環ポンプ能力 50 ϕ ×250 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min	200V 1.5kw	2
濾過装置 (男・女冷水槽系統)	ステライト砂濾過器 (珪砂) 処理水量80 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min (4.8m ³ /h) ポンプ能力32 ϕ ×80 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×76.5KPa	200V 0.75kw	2
熱交換器 (男・女ジャグジー系統)	交換熱量 38.4kw		2
熱交換器 (男・女冷水槽系統)	交換熱量 32.4kw		2
滅菌器 (男・女ジャグジー系統) (男・女冷水槽系統)	タンク一体型 30cc/min	100V 10VA	4
ジェットポンプ (男子ジャグジー系統)	50 ϕ ×40 ϕ 216 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×319KPa	200V 2.2kw	1
ジェットポンプ (女子ジャグジー系統)	40 ϕ ×32 ϕ 144 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×284KPa	200V 1.5kw	1
バイブラブローア (男・女ジャグジー系統)	65 ϕ ×2.0m ³ /min×16.7KPa	200V 2.2kw	2
男女浴室換気扇	EF-30BSXB-F 1, 680m ³ /h	100V 53w	4
冷水器	RW-222PD形 性能 16 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /h	100V 260w	4

国立霞ヶ丘競技場 プール関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
真空式温水発生機	581kw (500,000Kcal/h) 必要能力昇温 (60℃~70℃) 365ℓ/min 暖房 (60℃~70℃) 230ℓ/min 給湯 (30℃~73℃) 85ℓ/min 伝熱面積 9.9㎡	200V 1.5kw	3
貯湯槽	容量 5,000ℓ (1500φ) ステンレスクラッド鋼板		1
循環ポンプ (昇温)	ラインポンプ 65φ×365ℓ/min×230KPa	200V 3.7kw	3
循環ポンプ (暖房)	ラインポンプ 40φ×230ℓ/min×200KPa	200V 1.5kw	3
循環ポンプ (給湯)	ラインポンプ 32φ×85ℓ/min×80KPa	200V 0.25kw	3
循環ポンプ (給湯)	ラインポンプ 32φ×40ℓ/min	200V 0.55kw	1
膨張タンク (昇温)	200ℓ 0.5KPa		1
膨張タンク (暖房)	200ℓ 0.5KPa		1
膨張タンク (給湯)	300ℓ 0.5KPa		1
還水ポンプ (水中型)	70φ×500ℓ/min×35m	200V 7.5kw	2
濾過器 (プール用)	50m³/h		2
濾過器 (採暖槽用)	9.6m³/h		2
循環ポンプ (渦巻) プール用	100φ×100m³/h×25m	200V 11.0kw	2
〃 〃 採暖槽用	80ℓ/min	200V 0.75kw	2
熱交換器	プレート式 365kw		2
滅菌機 (ユニット)	100mℓ/min×0.69MPa	100V 500VA	1
凝集剤注入器	30mℓ/min×1.0MPa	100V 500VA	2
採暖槽滅菌機 (ユニット)	100ℓ 吐出30mℓ/min	100V 15w	2
空調機	暖房能力 375kw 送風量 28,500m³/h×500Pa	200V 15kw	1
温水コンベクター	暖房能力 2.7kw (2,340Kcal/h)		8
〃	暖房能力 2.2kw (1,920Kcal/h)		26
〃	暖房能力 1.7kw (1,480Kcal/h)		3
ファンコイルユニット男子	冷房能力 3,450Kcal/h 暖房能力 5,040Kcal/h		2
ファンコイルユニット女子	冷房能力 4.58kw 暖房能力 6.69kw		2

国立霞ヶ丘競技場 プール関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
パッケージ (天吊)	冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw	200V 3.7kw	1
排水ポンプ (水中型)	50φ×200 ^{リットル} /min×17m	200V 1.5kw	2
エアコンプレッサー (逆洗用)	0.69MPa (7kg/cm ²)	200V 600w	1
吸気ファン (シロッコ)	#4×14, 250m ³ /h×320Pa	200V 3.7kw	1
吸気ファン (シロッコ)	#3×8, 600m ³ /h×340Pa	200V 2.2kw	1
排気ファン (有圧)	1, 430m ³ /h×50Pa	200V 0.20kw	10
排気ファン (シロッコ)	#3×6, 500m ³ /h×150Pa	200V 1.5kw	1
排気ファン (ライン)	#3×450m ³ /h×160Pa	100V 150w	1
排気ファン (ライン)	#2×200m ³ /h×120Pa	100V 40kw	1
ファンコイルユニット (床置)	冷房能力 24.7kw 暖房能力 47.6kw	200V 0.55kw	2
送風機 (シロッコ)	4, 050CMH×170Pa	200V 1.5	1
〃	4, 050CMH×200Pa	200V 1.5	1
救護室ファンコイルユニット	冷房能力 4.01kw 暖房能力 5.86kw	100V 160w	1
プール天井換気ファン	風量 1, 400m ³ /h×410Pa	200V 0.75	3
救護室換気扇	風量 600m ³ /h	100V 74w	1
見学室天井内排気ファン	風量 1, 200m ³ /h×15mmA g	100V 280w	2
凝集剤注入タンク	200 ^{リットル}		1
次亜塩素注入タンク	200 ^{リットル}		1
次亜塩素注入タンク	100 ^{リットル}		2
次亜塩素貯蔵タンク	2, 000 ^{リットル}		1
プール	550m ³ 25×13×1.6m		1
プール用バランシングタンク			1
プール用還水槽			1

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
上水受水槽	FRP製 容量36t		1
上水揚水ポンプ	口径80φ 水量 700ℓ/min 揚程43m	100V 11kw	2
高置水槽	FRP製 容量23t		1
雑用水受水槽	コンクリート製 容量130t		1
北スタンド汚水槽	コンクリート製 容量10t		1
汚物排水ポンプ	口径65φ 水量300ℓ/min 揚程16m	200V 3.7kw	2
雨水排水槽	コンクリート製 容量20ℓ		1
雨水排水ポンプ	口径150φ 水量2,500ℓ/min 揚程12m	200V 15kw	2
グラウンド散水受水槽	コンクリート製 容量200t		1
芝散水ポンプ	口径100φ 水量700ℓ/min 揚程87m	200V 22kw	2
浸透水集水ピット	コンクリート製 容量20t		1
浸透雨水移送ポンプ	口径40φ 水量150ℓ/min 揚程13m	200V 1.5kw	2
浸透貯水槽	FRP製 容量150t		1
雑用水加圧ユニット	口径80φ 水量1,100ℓ/min 揚程30m	200V 5.5kw	2
消火水槽	コンクリート製 容量48t		1
消火栓補給水槽	FRP製 容量0.6t		1
消火栓ポンプ	口径100φ 水量750ℓ/min 揚程63m	200V 18.5kw	1
電気室排風機 EF-7	軸流ファン 風量2,000m ³ /h	100V 0.4kw	1
汚水ポンプ室換気扇 EF-8	風量546m ³ /h	100V 0.018kw	1
消火栓ポンプ室排風機 EF-9	軸流ファン 風量1,100m ³ /h	100V 0.1kw	1
受水槽室換気扇 EF-6	風量900m ³ /h	100V 0.018kw	1

国立霞ヶ丘競技場 ラグビー場

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
北スタンドトイレ排風機	軸流ファン 風量1, 700m ³ /h	200V 0.3kw	2
バックスタンドトイレ排風機	軸流ファン 風量2, 400m ³ /h	200V 0.3kw	4
バックスタンドトイレ排風機	軸流ファン 風量2, 000m ³ /h	200V 0.3kw	2
身障者トイレ換気扇	天井扇 風量240m ³ /h	100V	2
バックスタンドポンプ室 排風機	軸流ファン 風量1, 500m ³ /h	200V 0.3kw	2
南スタンドトイレ排風機男子	ストレートシロッコファン 風量800m ³ /h	100V 0.1kw	2
南スタンドトイレ排風機女子	ストレートシロッコファン 風量620m ³ /h	100V 65w	2
南スタンド小便器センサー	光電センサー 58073R (S)	100V 1.25A	14
製氷機 IM-30J	能力18kg	100V 0.3kw	1
冷水器 WP-52ADI	容量5.2ℓ	100V 0.2kw	1
メインスタンド2F トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量750m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド2F トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量760m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド2F トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量855m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド2F トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量870m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド2F トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量720m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド2F トイレ排風機	中間取付ダクトファン 風量600m ³ /h	100V 0.1kw	2
メインスタンド記者 トイレ排風機	ストレートシロッコファン 風量720m ³ /h	100V 0.05kw	1
メインスタンド貴賓室 トイレ排風機	天井換気扇 風量150m ³ /h	100V 0.024kw	1
屋外トイレ排風機	軸流ファン 風量400m ³ /h	100V 0.05kw	2
クラブハウスガス給湯器	屋外壁掛け形 19,000Kcal/h	100V	1
クラブハウス ガスヒートポンプエアコン	床置き形 冷房能力 45.0kw 暖房能力 53.0kw	200V 0.4 ×2kw	1
クラブハウス ガスヒートポンプエアコン	天井カセット形 冷房能力 9.0kw 暖房能力 10.6kw	200V 0.4kw	6

国立霞ヶ丘競技場 ラグビー場

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
クラブハウス 空冷ヒートポンプエアコン	壁掛け形 冷房能力 7. 1 k w 暖房能力 8. 0 k w	200V 1.9kw	1
クラブハウス 天井換気扇	風量 4 2 0 m ³ /h	100V 0.061kw	1
天井換気扇	風量 3 1 0 m ³ /h	100V 0.061kw	1
天井換気扇	風量 2 9 0 m ³ /h	100V 0.041kw	3
天井換気扇	風量 2 4 0 m ³ /h	100V 0.032kw	1
クラブハウストイレ換気扇	風量 8 m ³ /h	100V 0.015kw	3
バック売店排風機 チューブラファン	1, 4 2 0 r p m 1 9 m ³ /m i n	200V0.2kw	1
北スタンド身障者トイレ	VD-2 0 ZB ₅ -2 VD-2 3 ZB ₅ -2	100V 42w 100V 74w	1 2
クラブハウスアクアエース SSC3K-30型	弱電形 DC ソレノイド電磁サイフォン	DC30 V0.2A	2 9
(内訳)			
バックスタンド男子トイレ	ホーロー製ハイタンク 1 5 $\frac{リットル}{トイレット}$		1 2
北スタンド男子トイレ	ホーロー製ハイタンク 1 5 $\frac{リットル}{トイレット}$		3
メインスタンド男子トイレ	ホーロー製ハイタンク 1 5 $\frac{リットル}{トイレット}$		1 2
メインスタンド女子トイレ	ホーロー製ハイタンク 1 5 $\frac{リットル}{トイレット}$		2
バック身障者トイレ	排気ファン 2 3 ZB ₅ -2	100V74/82w	2
放送室 (電光掲示操作室) パッケージ RAS-4062ASD	冷房能力 4. 0 k w 暖房能力 6. 0 k w	200V 4kw	1
雑用水・芝散水循環ポンプ	8 0 φ 6 5 0 $\frac{リットル}{分}$ /mm×9 m	200V 2.2kw	2
流通型残留塩素計	RM-3 1		2

国立霞ヶ丘競技場 ラグビー場（20年度 西スタンド改修工事 設置）

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
【給排水設備】			
加圧給水ポンプユニット （受水槽室）	指定末端圧力一定インバーター制御 4台ロータリー運転（3台同時） 40φ×80φ 570ℓ/min 38m	200V 2.2kw×3	1
圧力タンク	アキュムレータ 18.6ℓ		5
排水水中ポンプ （グラウンド入退場口）	汚水用 自動交互並列運転 50φ×100ℓ/min×10m	200V 0.75kw	2
消火用補助水槽 （屋上 大屋根下部設置）	FRP製単板パネルタンク 耐震1.5G 1×1×1mH（有効200ℓ以上）		1
給湯ユニット （X6通り）	ガス瞬間湯沸器ユニット FEタイプ 50号×4台 ガス消費量446.4kw	100V 1.944kw	1
給湯循環ポンプユニット （X6通り）	給湯ユニットと連動 屋外据置設置型 25φ×8ℓ/min×3m	100V 190w	1
給湯ユニット （X3通り）	ガス瞬間湯沸器ユニット FEタイプ 50号×4台 ガス消費量446.4kw	100V 1.944kw	1
給湯循環ポンプユニット （X3通り）	給湯ユニットと連動 屋外据置設置型 25φ×8ℓ/min×3m	100V 190w	1
電気温水器 （3階男・女トイレ）	貯湯式電気温水器（先止式） 貯湯量6ℓ	100V 1.1kw	2
製氷機 （製氷機室）	空冷式 キューブアイスメーカー 製氷能力 210kg/日 貯氷量 170kg	200V 1.04kw	4
屋内消火栓ボックス （1階通路・練習スペース）	鋼板製 総合型 800×1400×300		2

国立霞ヶ丘競技場 ラグビー場（20年度 西スタンド改修工事 設置）

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
【空調換気設備】			
ガスヒートポンプエアコン 室外機	ビル用マルチタイプ ガス消費量 39.8kw 能力：冷房 56.0 kw 暖房 63.0 kw	200V 1.29kw	1
室内機（ロッカールーム A・B）	天井カセット形 4方向吹出 能力：冷房 14.0 kw 暖房 16.0 kw	200V 0.14kw	4
ガスヒートポンプエアコン 室外機	ビル用マルチタイプ ガス消費量 39.8kw 能力：冷房 56.0 kw 暖房 63.0 kw	200V 1.29kw	1
室内機（ロッカールーム C・D）	天井カセット形 4方向吹出 能力：冷房 14.0 kw 暖房 16.0 kw	200V 0.14kw	4
ガスヒートポンプエアコン 室外機	ビル用マルチタイプ ガス消費量 39.8kw 能力：冷房 56.0 kw 暖房 63.0 kw	200V 1.29kw	1
室内機（ドームシングルルーム）	ビルトイン形 能力：冷房 9.0 kw 暖房 10.0 kw	200V 0.14kw	1
室内機（オープンスルーム 3）	天井カセット形 能力：冷房 7.1 kw 暖房 8.0 kw	200V 0.08kw	1
室内機（ ” 1・2・4）	天井カセット形 能力：冷房 5.6 kw 暖房 6.3 kw	200V 0.04kw	3
室内機（医務室）	天井カセット形 能力：冷房 4.5 kw 暖房 5.0 kw	200V 0.03kw	1
室内機（レフリーロッカールーム）	天井カセット形 能力：冷房 8.0 kw 暖房 9.0 kw	200V 0.12kw	1
ガスヒートポンプエアコン 室外機	ビル用マルチタイプ ガス消費量 39.8kw 能力：冷房 56.0 kw 暖房 63.0 kw	200V 1.29kw	1
室内機（プレスルーム）	天井カセット形 能力：冷房 11.2 kw 暖房 12.5 kw	200V 0.14kw	2
室内機（オープンスルーム 6）	天井カセット形 能力：冷房 8.0 kw 暖房 9.0 kw	200V 0.08kw	2
室内機（オープンスルーム 5）	天井カセット形 能力：冷房 5.6 kw 暖房 6.3 kw	200V 0.04kw	2
ヒートポンプ式エアコン （ラウンジA・B）	空冷 同時ツインタイプ 能力：冷房 14.0 kw 暖房 16.0 kw 天井カセット形 能力：冷房 7.1 kw 暖房 8.0 kw	200V 11.62kw 200V 2.50kw	2 (4)
ヒートポンプ式エアコン （貴賓室）	空冷 シングルタイプ 能力：冷房 7.1 kw 暖房 8.0 kw 天井埋込ダケ外形 能力：冷房 7.1 kw 暖房 8.0 kw	200V 3.89kw 200V 1.80kw	1 (1)
ルームエアコン （放送室 1～4） （警察官詰所）	壁掛形 能力：冷房 2.5 kw 暖房 2.8 kw	100V 1.05kw 100V 0.75kw	4 1
全熱交換器（ラウンジA・B）	天井埋込形 200φ×500 m ³ /h×150 Pa	100V 0.36kw	2
【昇降設備】			
エレベーター	乗用全自動（SR9-2S60）車いす兼用 積載量（定員）600kg（9人） 定格速度60m/min 寸法：カゴ 1,050×1,520×2,250 出入口 800×2000	200V 3.7kw	1

国立霞ヶ丘競技場 東テニスコート関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台 数
真空式給湯温水器	缶体圧力 100,000 Kcal/h	100V 140w	1
過熱給湯ポンプ	吐出量 0.14 m ³ /m	200V 0.2kw	1
冷温水発生機 (CH-G30)	冷凍能力 90,720 Kcal/h 過熱能力 79,260 Kcal/h	200V	1
冷却塔 (CT-D600ML)	冷却能力 169,992 Kcal/h 循環水量 472.2 リットル/min	200V 0.6kw	1
冷温水ポンプ (エバラ)	吐出量 0.33 m ³ /m 2,480 リットル/min 9.9A	220V 2.2kw	1
冷却水ポンプ	吐出量 0.43 m ³ /m	200V 2.2kw	1
貯湯槽	容量 1.5 t		1
蓄熱槽	容量 1.0 t		1
膨張タンク	容量 100 リットル		1
ファンコイル C-800 天吊型	冷房能力 6,270 Kcal/h 暖房能力 9,250 Kcal/h	100V 0.1kw	4
ファンコイル C-600 天吊型	冷房能力 4,420 Kcal/h 暖房能力 6,360 Kcal/h	100V 0.76kw	5
ファンコイル C-300 天吊型	冷房能力 2,280 Kcal/h 暖房能力 3,470 Kcal/h	100V 0.43kw	1
室内給排風機	風量 排気 660 m ³ /h 吸気 430 m ³ /h	100V 21w 100V 14w	4
湯沸器排風機	風量 450 m ³ /h	100V 21w	1
サーキュレーター	風量 175 m ³ /h	100V 19w	5
室内排風機	風量 684 m ³ /h	100V 23w	2
換気扇	風量 1,200 m ³ /h	100V 32w	5
換気扇	風量 900 m ³ /h	100V 25w	4
換気扇	風量 546 m ³ /h	100V 25w	3
冷水器	RW-220P 容量 20 リットル	100V 0.235w	1

国立霞ヶ丘競技場 東テニスコート関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
ファンコイル 床置型	冷房能力 2, 280Kcal/h 暖房能力 3, 470Kcal/h	100V 0.09kw	3
貯湯式給湯器	湯沸用 7, 100Kcal/h	w	1
換気扇	9.9m ³ /min	100V15.5w	1
電気給湯器 (イトミック)	ET-20N4BJR-BT	100V 5kw	1

国立霞ヶ丘競技場 西テニスコート関係

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
真空式給湯温水器	缶体圧力100,000Kcal/h	100V 140w	1
給湯ポンプ	吐出量 0.04m ³ /m	200V 0.2kw	1
温水ポンプ	吐出量 0.11m ³ /m	200V 0.2kw	1
貯湯槽	容量 2 t		1
冷温水発生機 (CH-D20)	冷凍能力 60,480Kcal/h 過熱能力 52,840Kcal/h	200V 0.98kw	1
冷温水循環ポンプ	吐出量 0.14m ³ /m	200V 01.5kw	1
冷却塔 (CT-D600ML)	冷凍能力 115,580Kcal/h 冷却水量 275.2ℓ/h	200V 0.3kw	1
冷却水ポンプ	水量275ℓ/min×揚程18m	200V 2.2kw	1
ファンコイル (カセット形)	冷房能力 6,600Kcal/h 暖房能力 10,500Kcal/h	100V 0.056kw	10
ファンコイル (床置露出型)	冷房能力 4,830Kcal/h 暖房能力 7,250Kcal/h	100V 0.066kw	1
パッケージエアハンユニット	床置形	100V 0.193kw	1
排風機	斜流ダクトファン 風量800m ³ /h	200V 0.4kw	3
排風機	中間取付ダクトファン 風量540m ³ /h	100V 0.16kw	1
排風機	天井扇 風量360m ³ /h	100V 0.069kw	2
排風機	天井扇 風量200m ³ /h	100V 0.069kw	2
排風機	天井扇 風量810m ³ /h	100V5w	1
送風機	斜流ダクトファン 風量800m ³ /h	200V 0.4kw	3
送風機	有圧換気扇 風量1,000m ³ /h	200V 5w	1
冷水器	RW-200P 容量8ℓ	100V 32.0w	1

温水シャワー用温度調整設備

機 器 名	仕 様	電 動 機	台数
トレセン系	TM440B-20 (TOTO社)		5
ミキシングバルブ	TM440B-25 (TOTO社)		7
	TM440B-35 (TOTO社)		1
シャワーヘッド	男・女立シャワーTB17R (TOTO社)		12
	男・女座シャワーTB17R (TOTO社)		13
シャワー温調セット	男・女立シャワーTMF49C2X (TOTO社)		12
	男・女立シャワーTMF49WX (TOTO社)		13
体育館			
ミキシングバルブ	19068EX (グローエ社)		1
シャワーヘッド	男子シャワー (TOTO社)		5
	女子シャワー (グローエ社)		5
シャワー温調セット	男子シャワーTMJ40CX (TOTO社)		5
東テニスコート			
シャワーヘッド	男・女シャワー (グローエ社)		17
西テニスコート			
ミキシングバルブ	19068EX (グローエ社)		4
シャワーヘッド	男・女シャワー (グローエ社)		20
プール			
シャワーヘッド	RT-38-F06 (レオナード社)		2
シャワー補給ユニット	40-40SRADA567 (レオナード社)		2
給湯用温調ユニット	RADA32RMX-50 (レオナード社)		3
シャワーヘッド	男・女シャワー (レオナード社)		19
シャワー温調セット	男・女 ORAS1060100ER-2 (レオナード社)		19
陸上選手更衣室			
シャワーヘッド (A~F)	(レオナード社)		23
シャワー温調セット	RAD32RMX-50 (レオナード社)		23

本部事務所 機械設備(空調換気設備・その他)

エアハンドリングユニット

設置場所	記号	能力	台数	備考
B1F FR室 (外調機)	AHU-1	送風機:2,150m ³ /H 冷却能力:19,000kcal/H 加熱能力:23,000kcal/H	1	フィルター
1F FR室 (外調機)	AHU-2	送風機:3,300m ³ /H 冷却能力:14,500kcal/H 加熱能力:18,000kcal/H	1	フィルター 全熱交換器
2F FR室 (外調機)	AHU-3	送風機:4,650m ³ /H 冷却能力:20,000kcal/H 加熱能力:25,000kcal/H	1	フィルター 全熱交換器
3F FR室 (外調機)	AHU-4	送風機:4,300m ³ /H 冷却能力:19,000kcal/H 加熱能力:23,000kcal/H	1	フィルター 全熱交換器
4F FR室 (外調機)	AHU-5	送風機:3,200m ³ /H 冷却能力:14,000kcal/H 加熱能力:17,000kcal/H	1	フィルター 全熱交換器

ファンコイルユニット(天井埋込型)

設置場所	記号	能力	台数	備考
B2F CPU 事務室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	2	高性能フィルター組込み
B1F 男子 更衣室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	2	高性能フィルター組込み
B1F 女子 更衣室	FCU-4	冷房能力:顕熱1,970kcal/H 全熱2,280kcal/H 暖房能力:3,600kcal/H	2	高性能フィルター組込み 施設課付近
B1F 第五 会議室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	8	高性能フィルター組込み
B1F 第六 会議室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	7	高性能フィルター組込み
B1F 第七 会議室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	5	高性能フィルター組込み
1F 財務部	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	14	高性能フィルター組込み
	FCU-4	冷房能力:顕熱1,970kcal/H 全熱2,280kcal/H 暖房能力:3,600kcal/H	2	高性能フィルター組込み 施設課付近
1F 財務部 部長室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	1	高性能フィルター組込み
1F 財務部 会議室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み
1F 第一会議室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み
1F EVホール	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	1	高性能フィルター組込み 階段前廊下付近
	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み 風除室前付近
1F 学校安全部	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	8	高性能フィルター組込み
2F 総務部	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	8	高性能フィルター組込み
2F 総務部 部長室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み
2F 総務部 会議室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み
2F 廊下	FCU-2	冷房能力:顕熱1,030kcal/H 全熱1,220kcal/H 暖房能力:1,930kcal/H	1	高性能フィルター組込み
2F 秘書室	FCU-2	冷房能力:顕熱1,030kcal/H 全熱1,220kcal/H 暖房能力:1,930kcal/H	1	高性能フィルター組込み
3F toto経営 管理室	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	4	高性能フィルター組込み
3F toto経営 管理室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	1	高性能フィルター組込み
3F 助成課	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H	3	高性能フィルター組込み

		暖房能力:7,850kcal/H		
3F 会議室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	2	高性能フィルター組込み
3F 栄養協議会 給食会連合会	FCU-8	冷房能力:顕熱1,350kcal/H 全熱1,480kcal/H 暖房能力:2,460kcal/H	4	高性能フィルター組込み
3F EVホール	FCU-3	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	1	高性能フィルター組込み
3F 東京支所	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	11	高性能フィルター組込み
3F 東京支所	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	1	高性能フィルター組込み
4F toto 鑑定事務処理室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	4	高性能フィルター組込み
4F スポーツ振興事業部 事業企画課分室	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	2	高性能フィルター組込み
4F toto 会員事務局	FCU-6	冷房能力:顕熱2,680kcal/H 全熱2,910kcal/H 暖房能力:4,940kcal/H	3	高性能フィルター組込み
4F EVホール	FCU-8	冷房能力:顕熱3,940kcal/H 全熱4,990kcal/H 暖房能力:7,850kcal/H	2	高性能フィルター組込み
4F スポーツ 振興事業部	FCU-4	冷房能力:顕熱1,970kcal/H 全熱2,280kcal/H 暖房能力:3,600kcal/H	2	高性能フィルター組込み
4F スポーツ 振興事業部	FCU-8	冷房能力:顕熱1,350kcal/H 全熱1,480kcal/H 暖房能力:2,460kcal/H	1	高性能フィルター組込み

パッケージ型空調機(室外機・室内機)

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
屋上 (室外機)	ACP-1 (PUH- 35FK)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:3,150kcal/H 暖房能力:3,750kcal/H	1	スプリング架台 コンクリート架台
1F 警備室 (室内機)	ACP-1-35 (PDH- 35EKV)	型式:カセット型 冷房能力:3,150kcal/H 暖房能力:3,750kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
屋上 (室外機)	ACP-2 (PUHY- 250K-C)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:25,000kcal/H 暖房能力:28,000kcal/H	1	スプリング架台 コンクリート架台
B1F ドライバー 控室(室内機)	ACP-2-40 (PEHY-)	型式:天井埋込型 冷房能力:4,000kcal/H 暖房能力:4,500kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
B1F 控室 (室内機)	ACP-2-50 (PEHY- 50K-A)	型式:天井埋込型 冷房能力:5,000kcal/H 暖房能力:5,600kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
B1F スポーツ振興事業部 会議室(室内機)	ACP-2-50 (PEHY- 50K-A)	型式:天井埋込型 冷房能力:5,000kcal/H 暖房能力:5,600kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
B1F 女子休憩室 (室内機)	ACP-2-50 (PEHY- 50K-A)	型式:天井埋込型 冷房能力:5,000kcal/H 暖房能力:5,600kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
B1F 男子休憩室 (室内機)	ACP-2-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
屋上 (室外機)	ACP-3 (PUHY- 250K-C)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:25,000kcal/H 暖房能力:28,000kcal/H	1	スプリング架台
2F 役員室(1)~(3) (室内機)	ACP-3-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	3	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
屋上 (室外機)	ACP-4 (PUHY- 250K-C)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:25,000kcal/H 暖房能力:28,000kcal/H	1	スプリング架台
2F 役員室(4) (室内機)	ACP-4-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
2F 応接室 (室内機)	ACP-4-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付

2F 役員室(6) (室内機)	ACP-4-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
屋上 (室外機)	ACP-5 (PUHY- 250K-C)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:25,000kcal/H 暖房能力:28,000kcal/H	1	スプリング架台
2F 特別会議室 (室内機)	ACP-5-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	2	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
2F 役員室(5) (室内機)	ACP-5-80 (PEHY- 80K-A1)	型式:天井埋込型 冷房能力:8,000kcal/H 暖房能力:9,000kcal/H	1	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
屋上 (室外機)	ACP-6 (PUHY- 200K-C)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:20,000kcal/H 暖房能力:22,400kcal/H	1	スプリング架台
2F 理事長室 (室内機)	ACP-6-50 (PEHY- 50K-A)	型式:天井埋込型 冷房能力:5,000kcal/H 暖房能力:5,600kcal/H	3	フィルター:NBS65% ドレンアップメカ付
4F 事業企画課分室 (室内機)	ACP-1 (AIU- AP1121H)	型式:天井埋込型 冷房能力:10.0kw 暖房能力:11.2kw	1	ドレンアップメカ付
4F toto事務処理室 (室内機)	ACP-2 (AIU- AP1121H)	型式:天井埋込型 冷房能力:10.0kw 暖房能力:11.2kw	1	ドレンアップメカ付
4F バルコニー (室外機)	ACP-1・2 (ROA- AP1121H)	型式:空冷ヒートポンプ 冷房能力:10.0kw 暖房能力:11.2kw	2	スプリング架台
4F toto事務処理室 (室内機)	ACP-3 (AIU- AP801H)	型式:天井埋込型 冷房能力:7.1kw 暖房能力:8.0kw	1	ドレンアップメカ付
4F バルコニー (室外機)	ACP-3 (ROA- AP802H)	型式:天井埋込型 冷房能力:7.1kw 暖房能力:8.0kw	1	スプリング架台
4F toto会員事務局 (室内機)	ACP-4 (AIU- AP801H)	型式:天井埋込型 冷房能力:6.25kw 暖房能力:7.0kw	2	ドレンアップメカ付 ツインタイプ
4F バルコニー (室外機)	ACP-4 (ROA- AP802H)	型式:天井埋込型 冷房能力:12.5kw 暖房能力:14.0kw	1	スプリング架台

空調換気扇(天井埋込型)

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
4F FR室	HEU-1 (LGH-200RS4D)	風量:350φ X1600m ³ /H	1	全熱交換率:80%
1F 警備室	AEX-1 (LGH-25RK)	風量:200φ X100m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(0.61kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F 女子休憩室	AEX-2 (LGH-50RK)	風量:200φ X200m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F 控室	AEX-2 (LGH-50RK)	風量:200φ X200m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F スポーツ振興事業部 会議室	AEX-2 (LGH-50RK)	風量:200φ X200m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F ドライバー 控室	AEX-2 (LGH-50RK)	風量:200φ X200m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F 男子休憩室	AEX-3 (LGH-50RK)	風量:200φ X300m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
1F 財務部 経理課付近	AEX-3 (LGH-50RK)	風量:200φ X300m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	1	全熱交換率:60%
1F 財務部 主計課付近	AEX-5 (LGH-65RK)	風量:250φ X400m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.25kg/H)	1	全熱交換率:60%
B1F 第七 会議室	AEX-5 (LGH-65RK)	風量:250φ X400m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.25kg/H)	2	全熱交換率:60%
B1F 第六 会議室	AEX-6 (LGH-65RK)	風量:250φ X400m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	2	全熱交換率:60%
B1F 第五 会議室	AEX-7 (LGH-65RK)	風量:250φ X400m ³ /H 加湿器:透湿膜式加湿器(1.03kg/H)	2	全熱交換率:60%

冷温水発生機

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 機械室	RB-1 (SUV- EL90EHA)	型式:ガス焚冷温水発生機 冷凍能力:243,000kcal/H 加熱能力:179,000kcal/H 冷水温度:7℃ 温水温度:55℃ 冷温水循環水量:810 ㍓/分 損失水量:8 mH ₂ O 冷却水循環水量:1,460 ㍓/分 (入口32℃ 出口37.5℃)	2	コンクリート基礎 台数制御用 デジタルコントローラー

冷却塔

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
屋上	CT-1 (SDW- R90ASS)	型式:角型冷却塔(超低騒音形) 冷却能力:467,000kcal/H 冷却水温度:入口37.5℃ 出口32℃ 冷却水量:1,420 ㍓/分 補給水量:14.1 ㍓/分	2	コンクリート基礎 スプリング防振架台

冷温水ポンプ

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 機械室	CHP-1 (100× 80IBLK)	型式:渦巻ポンプ 口径:100φ × 80φ 水量:810 ㍓/分 揚程 30 mH ₂ O	2	コンクリート基礎 スプリング防振架台

冷却水ポンプ

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 機械室	CHP-1 (150× 100IBLJA)	型式:渦巻ポンプ 口径:150φ × 100φ 水量:1,420 ㍓/分 揚程 20 mH ₂ O	2	コンクリート基礎 スプリング防振架台

冷温水ヘッダー

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 機械室	HCH-1(往)	寸法:300φ×2.020L(架台750H付) 最高使用圧:10kg/cm ² (溶融亜鉛) 材質:配管用炭素鋼鋼管 付属品:圧力計 溶解栓付 タッピング:150×1,100×2 水抜き用 50A 将来用 100A	1	コンクリート基礎
B2F 機械室	CHR-1(還)	寸法:300φ×2.270L(架台750H付) 最高使用圧:10kg/cm ² (溶融亜鉛) 材質:配管用炭素鋼鋼管 付属品:圧力計 溶解栓付 タッピング:150×1,100×2, 50×1 水抜き用 50A 将来用 100A	1	コンクリート基礎

冷却水薬注装置

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
屋上	WTP-1 (ICS-1)	薬注ポンプ 薬注タンク:100ℓ 制御盤:薬注タイマー方式 付属品:PVC製ボックス 他附属品一式	2	コンクリート基礎

膨張タンク

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
屋上	EXT-1	呼称:1.2 m ³ 実容量:0.8 m ³ 材質:鋼板製 内面処理:亜鉛, アルミニウム合金溶射 マンホール:600φ 外梯子	1	コンクリート基礎

送風機

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 発電機室	SF-1	型式:シロッコファン(天吊) No. :#3 風量:6,100m ³ /H 静圧:20mmAg	1	スプリング防振 非常用
B2F 発電機室	SF-1-A	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:700m ³ /H 静圧:20mmAg	1	一般用
B2F 機械室	SF-2	型式:消音ボックス付シロッコファン(床置) No. :#4 風量:8,000m ³ /H 静圧:20mmAg	1	コンクリート基礎
B2F 消火ポンプ室	SF-3	型式:消音ボックス付シロッコファン(床置) No. :#1・1/2 風量:2,800m ³ /H 静圧:30mmAg	1	コンクリート基礎 スプリング防振
B2F EV機械室	SF-5	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:700m ³ /H 静圧:20mmAg	2	一般用
B2F 廊下	SF-8	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,200m ³ /H 静圧:10mmAg	1	
B2F コンピューター室	SF-9	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:250m ³ /H 静圧:20mmAg	1	

B2F 事務室	SF-10	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2・1/2 風量:200m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F 消火ポンプ室	SF-11	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:500m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F 電気室	SF-12	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2・1/2 風量:4,500m3/H 静圧:20mmAg	1	スプリング防振
B2F MDF室	SF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:300m3/H 静圧:10mmAg	1	
B1F FR室	SF-15	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,100m3/H 静圧:10mmAg	2	ブースターファン

排風機

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B2F 発電機室	EF-1	型式:シロッコファン(天吊) No. :#3 風量:5,000m3/H 静圧:20mmAg	1	スプリング防振 非常用
B2F 発電機室	EF-1-A	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:700m3/H 静圧:20mmAg	1	一般用
B2F 機械室	EF-2	型式:消音ボックス付シロッコファン(天吊) No. :#2・1/2 風量:6,200m3/H 静圧:20mmAg	1	コンクリート基礎 スプリング防振
B2F 書庫	EF-3	型式:消音ボックス付シロッコファン(天吊) No. :#2 風量:2,500m3/H 静圧:30mmAg	1	スプリング防振
B2F EV機械室	EF-5	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#4 風量:2,400m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F コンピューター室	EF-9	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:250m3/H 静圧:20mmAg	1	
3F 事務庫	EF-9	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:250m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F 事務室	EF-10	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:200m3/H 静圧:10mmAg	1	
3F 倉庫	EF-10	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:200m3/H 静圧:10mmAg	1	

4F 倉庫	EF-10	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:200m3/H 静圧:10mmAg	1	
1F 便所	EF-11	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,200m3/H 静圧:30mmAg	1	
B2F 電気室	EF-12	型式:消音ボックス付シロッコファン(床置) No. :#2・1/2 風量:4,500m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
B1F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
1F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
2F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
3F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
4F 便所	EF-14	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:1,000m3/H 静圧:30mmAg	1	
B2F 倉庫	EF-15	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:300m3/H 静圧:20mmAg	1	
B2F 消火ポンプ室	EF-17	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#3 風量:500m3/H 静圧:25mmAg	1	
B1F MDF室	EF-18	型式:消音ボックス付ラインファン(天吊) No. :#2 風量:300m3/H 静圧:10mmAg	1	
B1F シャワー室	EFT-13	型式:消音ボックス付耐湿形ストレート～ No. :#3 280φ ～シロッコファン(天吊) 風量:800m3/H 静圧:15mmAg	1	

排煙機

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
屋上	SEF-1	型式:排煙ファン(モーター駆動) No. : #5・1/2 風量:2,600m ³ /H 静圧:80mmAg	1	コンクリート基礎

天井扇

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
B1F DS	EFT-1	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×300m ³ /H 静圧:10mmAg	1	
1F 財務部会議室	EFT-1	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×300m ³ /H 静圧:10mmAg	1	
3F全国栄養士協議会 全国学校給食会連合会	EFT-1	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×300m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
3F 会議室	EFT-1	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×300m ³ /H 静圧:10mmAg	1	
2F 総務部会議室	EFT-2	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×400m ³ /H 静圧:10mmAg	1	
2F 特別会議室	EFT-2	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×400m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
3F 助成課	EFT-2	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×400m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
1F 会議室	EFT-3	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×500m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
1F 学校安全部	EFT-3	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×500m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
4F スポーツ振興事業部 事業企画課分室	EFT-4	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×100m ³ /H 静圧:10mmAg	2	
4F toto 鑑定事務処理室	EF-1	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×100m ³ /H 静圧:60pa	1	
4F toto 鑑定事務処理室内倉庫	EF-2	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:100φ×120m ³ /H 静圧:60pa	1	
4F toto 会員事務局	EF-3	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:150φ×200m ³ /H 静圧:60pa	1	
B2F～4F給湯室	EFT-5	型式:天井埋込型外用換気扇 風量:100φ×100m ³ /H 静圧:10mmAg	7	

自動制御機器類

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
各FR室 各事務室等			-	空調換気設備用

昇降機設備

設置場所	記号(型番)	能力	台数	備考
			1	

本部事務所 機械設備(給排水衛生設備)

受水タンク

設置場所	記号	能力	台数	備考
B2F 機械室	RT-1	FRP製パネルタンク(複合パネル) 4,000×2,000×2,000(呼称:16m ³ 有効:13m ³) 中仕切板付2槽式(600φ鍵付マンホール蓋～ ～梯子通気口)×2 平架台共 耐震 2/3G	1	コンクリート基礎

加圧給水ユニット

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	WFP-1	65φ×50φ×420ℓ/分×50m 単独交互運転 制御盤、圧力タンク共 吐出圧一定型	1	コンクリート基礎 65UNRMS557.5(エバラ)

汚水ポンプ

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	DP-1	65φ×200ℓ/分×12m(水中ポンプ) 自動交互同時運転 脱着装置付 SUSガイトレール 水中ケーブル 30m	2	タイマー併用 65DF51.5(エバラ)

雑排水ポンプ

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	DP-2	50φ×200ℓ/分×12m(水中ポンプ) 自動交互同時運転 脱着装置付 SUSガイトレール 水中ケーブル 30m	2	タイマー併用 50DN5.75(エバラ)

湧水ポンプ

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	DP-2	50φ×150ℓ/分×12m(水中ポンプ) 自動交互同時運転 脱着装置付 SUSガイトレール 水中ケーブル 30m	2	50DS5.75(エバラ)

雨水ポンプ

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	DP-4	80φ×500ℓ/分×12m(水中ポンプ) 自動交互同時運転 脱着装置付 SUSガイトレール 水中ケーブル 30m	2	80DS52.2(エバラ)

ガス温水ユニット

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 機械室	DP-4	80φ×500ℓ/分×12m(水中ポンプ) 自動交互同時運転 脱着装置付 SUSガイトレール 水中ケーブル 30m	2	80DS52.2(エバラ)

壁掛型電気湯沸器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
給湯室、2F休憩室	EH-2	壁掛型 貯湯量:20ℓ ガス消費量:6,000kcal/H 付属品:マルチマイコン式制御	7	EW-20N2(イトミック)

小型電気湯沸器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子便所 女子便所	EH-1	洗面 手洗い用温水器 貯湯量:20ℓ ウイークリ-タイマー付逃し弁用トラップ共	12	ES-20N2(イミック)

給水ヘッド

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子便所 女子便所	WH-1	寸法:150φ×1500L 最高使用圧:10kg/cm ² 材質:SGP-VA 付属品:圧力計 タッピング:100A×2 80φ×2 水抜用20A、～ ～将来用40A	12	コンクリート基礎

消火用補助タンク

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
屋上	FT-1	鉄製タンク 耐震 1.0G 1,000×1,000×1,000(呼称:1m ³ 有効:0.7m ³) 鍵付マンホール蓋 通気口外梯子 架台 500H 溶融亜鉛メッキ鋼管仕上げ	1	コンクリート基礎

消火ポンプユニット

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F消火ポンプ室	FP-1	50φ×300ℓ/分×60m 呼水槽(容量100ℓ) 水温上昇防止用逃し装置 ポンプ性能試験装置 連成計 制御盤 他 標準附属品一式(消防法適合品)	1	コンクリート基礎 50MSFU 555.5A(エハラ)

屋内1号消火栓

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F～4F 廊下	H-1	埋込型:HB-1A(消防法適合品)	10	

大型消火器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
B2F 電気室	EU-1	Co2 50型 能力単位 B-6C	1	

和風大便器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子・女子便所		S570B他附属品一式 耐火カバー共	11	C750VF

洋風大便器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子・女子便所		S810 TCF810 他附属品一式	12	C811B

身障者大便器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
身障者便所		TEF66L TES21BF TCF105 T110BMLI T110BCI 他附属品一式	1	C48AS

小便器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子便所		TEL96 TEC5 他附属品一式	16	U370

洗面器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子・女子便所		TL680 他附属品一式	19	L525CF

身障者用洗面器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
身障者便所		TEL41A 他附属品一式	1	L103A

掃除用流し

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男子・女子便所		T23AE20 TK22 他附属品一式	6	SK22A

シャワーセット

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男女シャワー室		サーモスタット付 他附属品一式	6	TM840CS

自在水栓

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
給湯室・休憩室			14	T136S13, T136LS13

散水栓

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
屋外		散水栓ボックス共 キー付	4	T27C13

鏡

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
機械室 男女更衣室		耐蝕型 608×760	21	TS119F14

傾斜鏡

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
身障者便所			1	LM530

水石鹸入れ

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
機械室			1	TS126AR
男子・女子便所			20	TS126BD

紙巻器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
身障者便所		ワンタッチ式	24	A460
男子・女子便所				

流し台

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
給湯室・休憩室			7	

水栓

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男女更衣室			2	T200S13
機械室			1	T2613

手洗器

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
機械室		T205 他附属品一式	1	L5D

洗濯パン

設置場所	記号	能力	台数	備考・型番
男女更衣室			2	PW40G

表-1 電気設備監視業務（運転・監視）

対象設備	運転・監視内容
照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線	分電盤、制御盤、配線器具類、照明器具等の焼損、汚損及び取付状態の監視を行い、必要に応じランプの交換、器具等の清掃等を行う
受変電設備高圧機器 変圧器	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常がある場合は過電流等の有無を調査する。
交流遮断機、負荷遮断機	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、漏油等の有無を点検する。 ・開閉表示状態（表示灯）及び作動回数を点検する。
断路器	<ul style="list-style-type: none"> ・碍子の汚損、き裂、取付けボルトの脱落等の有無を点検する。 ・端子、刃の接触部、刃の開き止め及び操作部の過熱、変色、損傷、変形及び錆の有無を点検する。なお、過熱、変色等の異常がある場合は電流等の記録を調査する。
計器用変成器、計器用変圧器、変流器、零相変流器等	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、異常振動等の有無を点検し異常がある場合は原因を調査する。 ・汚れ、損傷、き裂、過熱、変色、漏油等の異常の有無を点検する。
指示計器、表示操作、保護継電器	<ul style="list-style-type: none"> ・操作、切換スイッチ等の状態を点検する。 ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復帰する。 ・配電盤等の信号灯、表示灯類の点検状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。
高圧カットアウトスイッチ、電力ヒューズ	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、損傷及び変形の有無を点検する。 ・端子、ヒューズ筒（接触部）の過熱及び変色の有無を点検し、異常がある場合は原因を調査する。
高圧進相コンデンサ	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。
直列リアクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異常振動等の有無を点検する。
受変電設備低圧機器 開閉器類 漏電遮断機、電磁接触器、配線用遮断機	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、損傷、過熱、変色等の有無を点検する。 ・開閉表示状態（指示及び点灯）を確認する。 ・異音、異臭、異常振動等がある場合は原因を調査する。
計器用変成器 計器用変圧器、変流器、零相変流器等	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、異常振動等の有無を点検し異常がある場合は原因を調査する。 ・汚れ、損傷、き裂、過熱、変色、漏油等の異常の有無を点検する。
指示計器、表示操作保護継電器	<ul style="list-style-type: none"> ・操作、切換スイッチ等の状態を点検する。 ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復帰する。 ・配電盤等の信号灯、表示灯類の点検状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。
低圧進相コンデンサ	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。

自家発電設備 非常用発電設備	共通台板、台上に搭載された機器等の変形、損傷、脱落等の有無を点検する。 燃料油及び潤滑油の漏れの有無を点検する。 冷却水の有無を点検する。 接地線及びその他の配線の緩み、損傷及び断線の有無を点検する。
配電盤類 機側盤を含む。	<ul style="list-style-type: none"> ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復帰する。 ・遮断機、切替用開閉器等の開閉状態が正常であることを確認する。 ・表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。 ・警報作動状態を試験用押しボタン等により点検し、確点検し、確実に動作することを確認する。 ・手動断路器の接触面の変色、開き止め状態、汚損等の有無を点検する。
補機附属装置 始動用蓄電池設備 ・充電装置	<ul style="list-style-type: none"> ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。 ・警報作動状態を試験用押しボタン等により点検し、確点検し、確実に動作することを確認する。操作、切替スイッチ等の状態を点検する。 ・汚れ、損傷及び過熱による温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。 ・充電中の蓄電池総電圧や充電電流の適否を、各計器指示値等により確認する。
蓄電池	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。 ・蓄電池の電解液面を点検し最高・最低液面線内にあることを確認する。液面が中間以下の場合は精製水を補充する。 ・蓄電池の端子の緩みの有無を点検する。
燃料タンク、燃料、移送ポンプ等	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク、ポンプ及び配管の油漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。 ・油量を点検し、必要な油量が不足している場合は、給油する。
ラジエター	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジエターの水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。 ・ベルトの張り具合を点検し、ベルトが緩んでいる場合は調整する。 ・ラジエター排風口に障害物の有無を点検する。
換気装置	<ul style="list-style-type: none"> ・自然換気口の開口部の状況又は機械換気装置の運転が適正であることを手動運転により確認する。 ・給・排気ファンが、自家発電装置の運転と連動して運転できることを確認する。
排気管、消音器	<ul style="list-style-type: none"> ・排気管等の過熱部周囲に可燃物が置かれてないことを確認する。なお、貫通部の断熱材保護部に変形、損傷、脱落等の有無を確認する。

排気管、消音器	<ul style="list-style-type: none"> ・排気管等の支持金具の緩み、変形、損傷及び変色の有無を点検する。
バルブ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種バルブの開閉状態が正常の位置にすることを確認する。
試運転	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電自動保守運転後（5分）は、始動時間の確認をする。 ・運転中、電圧計、周波数等の計器の指示値が適正であることを確認する。 ・回転数、温度、圧力等を付属の各計器により始動前及び運転時に指示値を確認する。 ・試運転終了後、スイッチ、ハンドル等を自動始動側に切り替えて運転待機状態にあることを確認する。
直流電源装置 整流装置	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。 ・トリクル充電又は浮動充電中の蓄電池総電圧や充電電流の適否を各計器指示値等により確認する。 ・操作、切替スイッチ等の状態を確認する。 ・自然換気又は機械換気が適正であることを確認する。なお、周囲温度が40℃を超える場合は、窓等を開くなどの応急処置をとる。 ・表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。
蓄電池	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。 ・蓄電池の電解液面を点検し、最高・最低液面線内にあることを確認する。液面が中間以下の場合は精製水を補する。（陰極吸引式シール形蓄電池は除く。） ・蓄電池の端子の緩みの有無を点検する。
構内電話交換設備	<ul style="list-style-type: none"> ・機械類の塵埃、腐食、浸水等の有無の点検を行う。また、障害事故が発生した場合、速やかに対処するとともに記録を残すものとする。 ・電話機の移設等の軽微な保守及び工事を行う。
構内配電線路・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・架空線、引込線及び超架線の他の造営物・植物との離隔距離、たるみ、損傷等の有無を点検する。 ・電柱、支持物等の損傷、傾斜、腐朽、脱落等の有無を点検する。 ・ケーブル本体及び端末部の損傷、腐食、コンパウンド漏れ及び他の工作物との離隔の適否を点検する。 ・接地線の緩み、損傷及び断線の有無を点検する。 ・マンホール及びハンドホールの蓋の損傷の有無を点検する。また、蓋を開けて、構造体のひび割れ及び浸水の有無を点検する。
外灯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯状態を点検し、不点の場合には、調査を行い軽微な故障は修理を行う。また、球切れの場合は別途交換の手配をする。 ・損傷、破損、錆、腐食及び取付けボルトの緩みの有無を点検する。 ・なお、緩みがある場合は増し締めする。
中央監視盤設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
照明制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
場内監視設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。

表一 2 機械設備監視業務（運転・監視）

対象設備・機器	運転・監視内容
真空式温水発生機及び無圧式温水発生器	
起動前	・ 指針に異常のない。
連成計（真空式に限る。）	・ ガラス及び文字盤に汚れ及び損傷のない。
水面計	・ 水位が規定の水位にある。
燃料及び給水系統	・ 弁の開放状態が正常である。 ・ 配管接続部から燃料又は水漏れがない。
ボイラー室の換気	・ 換気状態が良好に維持されている。
煙道ダンパ	・ 全開の状態にある。
燃料	・ ガスだきボイラーにあつては、一時側ガス圧力が正常である。
起動及び運転中	・ 起動時のプレパージ及び点火動作が正常である。
起動操作	・ 停止時の消火動作が正常である。
供給及び設定温水温度	・ 規定の許容範囲にある。
焼焼状態	・ 燃焼音並びに火炎の形状及び色が正常である。
給水及び燃料系統	・ 水又は燃料漏れがない。
燃焼ガス	・ 煙室、爆発扉、掃除口扉、煙道等からの漏れがない。
運転終了時の作業 温風暖房機	・ 燃焼室内部に汚れ及び変形がない。 ・ バーナーに異音及び異常振動がない。 ・ 附属配管及び弁に損傷及び漏れがない。 ・ 燃焼状態に異常がない。 ・ コンビネーションコントロールの設定温度に異常がない。 ・ プロテクトリレーの作動が良好である。
冷熱源機器	
起動前	・ 指針に狂いのない。
圧力計及び温度計	・ ガラス及び文字盤に汚れのない。
冷水及び冷却水配管系統	・ 各種弁の開閉状況が運転に支障のない。 ・ 配管接続部、機器水質部等より水漏れがない。
電源	・ 電圧が規定の容量範囲内にある。また、開閉器の位置に異常がない。
燃料	・ 燃料を必要とする機器にあつては、燃料タンクの保有量が適切である。
ヒータ	・ 油、クランクケースその他余熱を必要とする部分のヒータが規定時間通電されている。
運転中	・ 各部の圧力及び温度が規定の許容範囲内にある。 ・ 配管に漏れ、振動等の異常がない。 ・ 運転時に音及び振動に異常がない。 ・ 運転時の負荷状態に異常がない。 ・ 運転記録から系内に空気の浸入が認められる場合は、抽気装置の運転をする。
運転終了時の作業	・ 運転を停止するに際しては、関連機器の所定の停止順序に従い行う。 ・ 弁類を所定の開閉位置にする。 ・ 電源開閉器を規定の位置にする。

冷暖房関連機器 熱交換器、貯湯槽及びヘッダー	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音及び異常振動がない。 ・温水又は給湯温度、水頭圧に異常がない。 ・貯湯槽に外部電源方式の腐食装置を設けている場合にあつては、電源ランプ及び電流計に異常がなく、スイッチを切った場合に電圧計の指針が0に戻る。
冷却塔	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーシングに異常振動がない。 ・水槽に水漏れがなく、水位に異常がない。 ・送風機の各部に異音又は異常振動がなく、羽根車の回転が円滑である。 ・電圧の変動が定格電圧の±10%以内である。 ・運転電流が定格電圧値以下にある。 ・凍結防止装置のヒータの作動電流が定格電流値以下にある。
ユニット形及びコンパクト形空気調和機	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音及び異常振動がない。 ・本体ケーシング、ダクト接続部等に空気漏れがない。 ・運転電流が定格電流値以下であり、通常範囲にある。 ・換気・吸気及び冷温水入口・出口温度差に異常がない。
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・各部に異音及び異常振動がない。 ・軸封部からの水漏れが適当である。 ・電動機に異常発熱がない。 ・運転電流が定格電流値以下にある。
送排風機	<ul style="list-style-type: none"> ・各部に異音及び以上振動がない。 ・運転電流が定格電流値以下である。 ・Vベルトのバタツキがない。
全熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・異常及び異常振動がない。 ・駆動装置（モータ、チェーン、ベルト）に異常がない。
給排水衛生機器ポンプ 共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各部に異常及び異常振動がない。 ・運転電流が定格電流値以下にある。
揚水ポンプ及び給湯ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・軸封部からの水漏れが適当である。 ・電動機に異常発熱がない。
昇降機エレベーター 戸	<ul style="list-style-type: none"> ・戸の開閉が円滑で異常及び異常振動がない。 ・戸閉め安全装置が正常に作動する。 ・敷居溝にゴミや異物がある場合は清掃する。
乗場	<ul style="list-style-type: none"> ・乗場表示器に球切れ等の異常がない。球切れがある場合は交換する。 ・乗場ボタン、3方枠、戸及び敷居に損傷等がない。
かご	<ul style="list-style-type: none"> ・戸並びにかごの周壁、天井及び床に剥離、損傷等がない。 ・汚れがある場合は清掃する。 ・操作盤及び換気装置に損傷がなく、作動に異常がない。 ・照明及び位置表示器に球切れ等の異常がない。球切れがある場合は交換する。 ・定員、積載荷重及び注意事項が正しく掲示されている。

連絡装置	<ul style="list-style-type: none">・ベル又はブザーが清浄に鳴動する。・インターホン又は電話機での通話が良好である。
運行状況	<ul style="list-style-type: none">・加速及び減速が円滑で、走行中振動、音等に異常がない。・着床状態に異常がない。

表-3 中央監視制御設備（運転・監視）

運転・監視項目	運転・監視内容	周期
監視制御盤類 外観	<ul style="list-style-type: none"> ・監視制御盤類の塵埃、腐食、浸水等の有無の点検並びに温湿度調整装置等の確認を行う。 ・監視制御盤類に異音、異臭及び異常振動の有無を点検する。 	1 D
		1 D
監視操作	<ul style="list-style-type: none"> ・機械等の正常な運転状態を監視し、必要に応じて制御する。また、計器類（電圧計、電流計、記録計等）の記録等設備の総合監視を行う。 ・警報等の異常発報時の迅速な対応を図る。 	1 D
		1 D
装置、機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・CRT・キーボード等に画面異常、異臭及び異音の有無を点検し、異常な温度上昇及び作動の確認を行う。 ・プリンタの用紙量・印字確認、オンラインスイッチ等の確認を行う。 ・プリンタの換気ファンの動作確認及び印字リボンの点検を行う。 ・ハードコピー装置の換気ファンの動作確認を行う。 ・CPU、ハードディスク、フロッピーディスク、ドライブ（装置）等の異音及び異常振動の有無を点検し、異常な温度上昇及び動作モニタの確認を行う。 ・キャラクタ表示器類（ニキシー管、光点表示器、プラズマ表示器、セグメント表示器等）のエレメント消失の有無を点検し、輝度確認を行う。 ・表示灯（ランプ類）のランプテストを行う。 ・開閉機器（配線用遮断器、電磁接触器及びコントロールスイッチ、押しボタン等）の破損の有無を点検し、動作及び接点状態の確認を行う。 	1 D
		1 D
		1 W
		1 W
		1 W
		1 W
		1 W
		1 W
電源装置	<ul style="list-style-type: none"> ・無停電電源装置の出力特性（入力電圧、直流電圧、出力電圧、出力電流、出力周波数等）を確認する。 ・無停電電源装置の蓄電池の液面を点検し、最高・最低液面線の間以下の場合には精製水を補充する。（陰極吸収式シールは除く。） 	1 W
		1 W

表一4 電気設備監視業務（日常点検・保守）

対象設備	点検及び保守内容
照明器具 構造一般	<ul style="list-style-type: none"> ・汚損、損傷及び発錆状況の有無を点検する。 ・反射板及び透光性カバーの汚損及び変色の有無を点検し、汚れていれば清掃する。
部品 安定器	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースに著しい錆、変形及び変色の有無を点検する。 ・点検時の異常なうなり音、管球の異常なチラツキ等の有無を点検する。
ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ランプが装着されていることを確認し、球切れがあれば交換する。
スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチの異常の有無を点検する。
分電盤・開閉器箱 キャビネット	<ul style="list-style-type: none"> ・盤が壁や床に、しっかり固定されているか点検する。 ・盤等の汚れ、損傷、錆、変色等の有無を点検する。なお、錆落とし等、汚れがある場合は清掃する。 ・雨水浸水、結露等の有無を点検する。 ・外箱の過熱、振動音等の有無を点検する。 ・固定状態を点検する。
部品 母線、分岐導体、盤内配線、支持物全般	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、異物や塵埃の堆積等の有無を点検する。 ・異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。
端子台	<ul style="list-style-type: none"> ・異臭及び変色の有無を点検し、端子部緩みの増締めを行う。
機器 遮断機、継電器、電磁接触器、リモコン、タイマー	<ul style="list-style-type: none"> ・テストボタン（漏電遮断器等）による動作の確認を行う。 ・異常なうなり音、発熱、異臭、変色等の有無を点検する。 ・機器取付けの良否を点検し、端子等の緩みの増締めを行う。
電気時計	<ul style="list-style-type: none"> ・据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。 ・親、子時計の指示誤差等の調整を行う。
放送設備	<ul style="list-style-type: none"> ・据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。 ・表示装置、ランプ等の異常の有無を点検する。 ・マイクロホンの損傷及びコードの接続状態を点検する。 ・スピーカの据付け状態、汚れ及び損傷の有無を点検する。 ・配線状態及び損傷の有無を点検する。 ・音量、明瞭度等の確認を行う
構内配電線路・通信線路 ハンドホール、マンホール	<ul style="list-style-type: none"> ・き裂、損傷又は沈下の有無を点検する。 ・周辺地盤の沈下の有無を点検する。 ・ハンドホール等の蓋及び金物の取付け状態の良否、錆、腐食等の劣化の有無を点検する。 ・ハンドホール等内部のケーブル、接地線の損傷劣化等の有無を点検する。

インターホン設備	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の取付け状態の良否及び汚損、損傷等の有無を点検する。 ・音量、明瞭度、雑音、漏話、混線等の有無を点検する。
テレビ共同受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・増幅器の発熱、異音及び損傷の有無を点検する。 ・機器の接栓等の緩みを点検し、増締めを行う。 ・アンテナ等の損傷、錆等の有無を点検する。また、支持部材、支持ボルト等の劣化、損傷及び緩みの有無を点検する。緩みがあれば増締めを行う。
外灯設備 灯具	<ul style="list-style-type: none"> ・灯具の変形、破損、腐食等の有無を点検する。 ・安定器収納部の浸水又はその形跡の有無を点検し、浸水又は形跡がある場合は防水パッキン等を交換する。 ・安定器の絶縁不良等でランプが不点の場合は安定器を交換する。
支持柱	<ul style="list-style-type: none"> ・ポール内蔵の配線用遮断器等及び配線の接続の良否を点検する。 ・沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。 ・変形、破損、腐食等の有無を点検する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動点滅器等（タイマー含む。）の動作を点検する。

表－5 機械設備監視業務（日常点検・保守）

対象設備	点検及び保守内容	周期
吸収式冷温水発生機 外観状況 本体及び附属品	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 	1 M
温度計及び圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・破損の有無を点検する。 	
保温及び保冷材	<ul style="list-style-type: none"> ・保温及び保冷材の損傷及び脱落の有無を点検する。 	
動力盤	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房又は暖房の切り換えが誤っていないことを確認する。 	
冷温水及び冷却水系統	<ul style="list-style-type: none"> ・出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。 ・各水室部に水漏れのないことを確認する。 	
パッケージ空調機 (空冷ヒートポンプ式) 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。 	1 M
加湿器給水	<ul style="list-style-type: none"> ・給水止弁の開閉を確認する。 	
排水系統	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、発錆、腐食等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 	
ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。支障がある場合は清掃する。 	
空調機 (AHU) 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。 	1 M
冷温水	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水の循環に異常のないことを確認する。 	
排水系統(ドレンパン)	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、発錆、腐食等の有無を点検する。汚れが軽微な場合は清掃する。 	
ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。支障がある場合は清掃する。 	
操作盤	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ及び異物の付着がある場合は清掃する。 	
送風機	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み等によるバタつき音の有無を確認する。緩みがある場合は調整する。 ・音、振動等の異常の有無を確認する。給油不足の場合は補充する。 ・汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 	
真空式温水発生機 外観状況 ケーシング	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ及び燃焼ガス漏れ並びに掃除口付近の焼損の有無を点検する。 	1 M
熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・接続部の水漏れの有無を点検する。 ・逃し弁の損傷等劣化の有無を点検する。 	

制御安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・温度調節器の作動の良否を点検する。作動不良の場合は調節する。 ・溶解栓及び温度ヒューズの異常の有無を点検する。(真空式のものに限る。) ・抽気及び安全スイッチの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。(真空式のものに限る。) ・低水位スイッチの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。 	
送排風機 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ・腐食やボルトの緩みの有無を点検する。腐食が軽度の場合は補修する。緩みがある場合は増締めする。 ・防振材の破損や劣化(き裂等)の有無を点検する。 ・給油の必要なファンについては、注油(グリース)及び補給する。 ・防振装置のストッパーの緩み、劣化の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・天井吊りの場合の転倒防止、吊り支持などの金具の緩み及び腐食の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 	1 M (随時)
電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・電動機が外部から調査できる場合は、発熱の異常を点検する。 ・運転電流が、定格値以下であることを確認する。 	
軸受	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱、音及び振動の異常の有無を点検する。 ・給油形の場合は油を補充又は交換する。 	
Vベルト(電動機直動形のものを除く。)	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み、摩耗及び損傷の有無を点検する。緩みがある場合は調整する。 	
Vベルトカバー	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、損傷等の有無を確認する。 	
Vプーリ	<ul style="list-style-type: none"> ・摩耗、損傷等の劣化の有無を点検する。 	
シロッコファン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ及び変形、発錆等の劣化の有無を点検する。汚れのある場合は清掃する。 ・ボルトの緩み、腐食等の劣化の有無を点検する。 ・ケーシング等に接触していないか確認する。 	
給排水ポンプ 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・ア固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・イ防振装置の変形、劣化等を点検する。 	1 M
本体	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド漏れが正常であることを確認する。漏れが多い場合は増締めを行い調整する。 ・シェルの結露水、グラウンド漏れ等の排水が排水管に流れていることを点検する。 ・腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。 	(随)

本体	<ul style="list-style-type: none"> ・軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無を点検する。 ・主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の±10%以内であることを確認する。 ・運転電流が定格電流以下であることを確認する。 ・給油の必要なポンプについては、注油及び補給を行う。 ・ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。 	(随時)
電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食及び損傷の有無を点検する。 ・円滑に回転することを確認する。 ・回転方向が正回転であることを確認する。 	
制御機器（小形給水ポンプユニットに限る。） 制御盤	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁開閉器の接点の劣化の有無を点検する。 ・イ表示ランプの点灯の良否を点検する。点灯不良の場合は交換する。 	
圧力発信器	<ul style="list-style-type: none"> ・指示値に狂いが無いことを確認する。 ・機能の異常の有無を点検する。 	
膨張タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。 	
圧力計、連成計又は真空計	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食及び損傷の有無を点検する。 ・指示値に狂いが無いことを確認する。 	
全熱交換器 固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合は増締めする。 	1M
外観の状況 本体及び点検口	<ul style="list-style-type: none"> ・発錆、腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 	
フィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・詰まりや破損等の有無を点検する。汚れや劣化が軽微な場合は清掃又は補修する。 	
熱交換エレメント	<ul style="list-style-type: none"> ・詰まりや破損等劣化の有無を点検する。汚れや劣化が軽微な場合は清掃又は補修する。 	
ファンコイルユニット及びファンコンベクター 外観の状況 本体	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。 ・固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等を点検する。 	1M
保温・吸音材	<ul style="list-style-type: none"> ・破損の有無を点検する。破損が軽微な場合は補修する。 	
吹出しグリル	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、破損等の劣化の有無を点検する。 	
送風機 ファンライナ	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ及び発錆、腐食、変形等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ・回転バランスの良否を点検する。異常な場合は調整する。 	
電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・音、振動等の異常の有無を点検する。 ・回転がスムーズであることを確認する。異常のないことを確認する。 	

熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水コイルの破損や腐食の劣化の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 	1 M
排水系統 ドレンパン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、発錆、腐食等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 	
ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。支障がある場合は清掃する。 	
5エアフィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、破損等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ・枠の損傷等の劣化の有無を点検する。 	
電装部品 電気配線	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷、過熱、劣化等の有無を点検する。損傷の場合は補修する。 	
接続端子	<ul style="list-style-type: none"> ・端子部の緩みの有無を点検する。緩みのある場合は増締め又はかしめを強める。 	
操作スイッチ、運転表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷及び破損の有無を点検する。 ・表示灯の点灯状態を確認する。球切れの場合は交換する。 ・風量切換え等の作動の良否を点検する。 	
止め弁・流量調整弁	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷及び破損の有無を点検する。 ・エア抜き弁及びドレン抜き弁の良否を点検する。空気溜りの場合はエア抜きを調整する。 	
衛生設備器具 洗面器、手洗器、掃除流し 及び台所流し	<ul style="list-style-type: none"> ・き裂、破損等の劣化の有無を点検する。 ・器具、排水金具、排水管、トラップ等の接続部の緩み及び腐食、破損等の劣化の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・排水のひき具合及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は附属配管を清掃する。 ・トラップの封水の良否を点検する。 	随時
小便器及び大便器	<ul style="list-style-type: none"> ・き裂、破損等の劣化の有無を点検する。 ・便器のフランジ及びボルトの緩み及び破損の有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・洗浄管及び便器の接続部の水漏れの有無を点検する。 ・排水のひき具合及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は附属配管を清掃する。 ・トラップの封水の良否及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は附属配管を清掃する。 ・節水装置（自動洗浄）作動の良否を点検する。 	

シスタンク及び洗浄弁	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク内の汚れ及びボールタップのピストン部の詰まりの有無を点検する。 ・洗浄管の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 ・弁を操作して排水状態の良否を点検する。排水不良の場合は調整する。 ・弁を操作してピストン及びハンドルノブの作動の良否を点検する。 ・逆流防止器の空気取入口の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 ・ボールタップの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。 	随時
受水タンク、高置タンク 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・き裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・架台の発錆、腐食等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 ・架台のたわみ及び基礎部隙間の有無を点検する。 	
本体	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れ、外面の発錆、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 ・接続金具、接合ボルトの緩み、腐食等を点検する。緩みがある場合は増締めする。 ・内・外部補強材の緩み、変形及び内面の腐食、損傷等の劣化異常を点検する。軽微の場合は補修する。 ・マンホールの密閉状態及び施錠の良否を点検する。密閉又は施錠不良の場合は、パッキン又は錠を交換する。 	6M
付属装置 ボールタップ及び定水位 弁	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水、変形、損傷等の劣化の有無並びに作動の良否を点検する。浸水がある場合は調整する。 ・水の供給を停止したとき、水漏れ及び衝撃のないことを確認する。水漏れ又は衝撃のある場合は調整する。 	
水面制御及び警報装置（フ ロートスイッチ、レベルス イッチ、電極棒）	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。汚れがある場合は洗浄する。 ・水位電極部、パイロット管などの接続部の緩み及び腐食について点検する。 ・作動の良否を点検する。作動不良の場合は点検する。 	
付属配管	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。 ・防虫網の詰まり、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 	
配管接続部	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 	

ガス湯沸器 固定部	<ul style="list-style-type: none"> 固定金具、固定ボルトの緩み・変形・変色等を点検する。緩みがある場合は増し締めする。 	1 M
外筒及び内筒	<ul style="list-style-type: none"> 外筒の汚れ、詰まり等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 発錆、腐食等の劣化を点検する。 内筒の湯垢の付着の有無を点検する。 	
弁又は栓	<ul style="list-style-type: none"> ガス及び水漏れの有無並びに開閉の良否を点検する。 	
温度調節ハンドル	<ul style="list-style-type: none"> 弁又は栓に異常のないことを確認のうえ口火を点火し、ハンドルを調整して給湯温度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 	
口火及びバーナー	<ul style="list-style-type: none"> 口火及びバーナー点火の良否を点検する。 ノズルの詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 	
吸熱板	<ul style="list-style-type: none"> ガス圧の適否及び排気状態の良否を点検する。煤付着の有無を点検する。また付着がある場合清掃する。 	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> 排気ファンが停止した場合に、燃焼器へのガスの供給を自動的に遮断する装置を設けている場合には、その作動の良否を点検する。 	
ボールタップ	<ul style="list-style-type: none"> 浸水、変形及び水漏れの有無を点検する。 作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。 	
配管接続部	<ul style="list-style-type: none"> ガス及び水漏れの有無を点検する。 変形、破損等の有無を点検する。 	
汚水槽、雑排水槽 本体	<ul style="list-style-type: none"> 内部の浮遊物及び沈殿物の状況を点検する。 マンホールの密閉状態の良否を点検する。密閉の場合は、補修又はパッキンを交換する。 	1 M
水面制御及び警報装置（フロートスイッチ、レベルスイッチ、電極棒）	<ul style="list-style-type: none"> 破損及び腐食の有無を点検する。 作動の良否を点検する。 	
配管・配管接続部	<ul style="list-style-type: none"> ア水漏れ及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 イ発錆、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 ウ配管接続部の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。 エ防虫網の目詰まりがある場合は清掃する。 	

濾過装置 本体及び付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腐食、変形、破損及び漏水を目視し、異常の有無を確認する。 ・ 圧力計、差圧計の点検及び定格範囲内であることを確認する。 ・ 配管等の接続部分の水漏れの有無を点検する。水漏れがある場合は増締め等を行う。 ・ 濾過流量が下限を下回った場合は逆洗洗浄を行う。 ・ 異常音及び異常振動の有無の確認をする。 ・ 濾過器内に空気溜りができるため、空気抜きを行う。 	随時
プール設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水位、水温、室温、外気、PH、塩素濃度の測定記録は営業に支障を来ないように行う。 ・ プール水入口温度と出口温度を点検し、その値が許容範囲内にあることを確認する。 ・ プール内昇降階段・壁面・水底・循環吸込口蓋の確認 ・ プール水替え時には、水抜き及び水張りを行う。 ・ プール還元槽及びバランシングタンクの清掃を行う。 	毎時 随時
滅菌装置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊泳用プールの衛生基準に従い、維持管理を行う。 ・ 薬液タンク内の薬液量を点検し、不足の場合は補充する。注入ポンプに空気が入った場合は空気抜きを行う。 	随時
凝集剤注入装置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 凝集剤タンク内の薬液量の補充を行う。 ・ 注入ポンプに空気が溜まった場合は、空気抜きを行う。 	随時
空気圧縮機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機が定格圧力で停止することを確認する。 	随時
集毛器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詰まりの有無を確認し、詰まりがある場合は清掃する。 	随時
循環ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機が正常回転であることを確認する。 ・ 異常音及び異常振動の有無を確認する。 ・ 電源電圧の変動が定格の±10%以内にあることを確認する。 	随時

表－6 本部事務所日常点検・保守作業項目

項目	適用	周期
電気設備		
照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤及び幹線	「共仕」第3編第3章表3.2.1の該当事項 照明器具のランプ切れがある場合は交換する。交換時には、反射板及びカバー等の清掃を行う。	「共仕」による (月1)
受変電設備(盤類、母線、変圧器、遮断器、進相コンデンサ、直列リアクトル等)	「共仕」第3編第3章表3.3.1の該当事項	「共仕」による (毎日・週1・月1)
非常用発電機設備(発電機、地下水槽、冷却水槽及び冷却水ポンプ)	「共仕」第3編第3章表3.4.1の該当事項	月1
蓄電池設備(非常照明用・非常用発電機始動用)	「共仕」第3編第5章表5.1.1の該当事項 整流器の表示灯類の点灯状態を点検する。	月1
外灯設備	「共仕」第3編第3章表3.9.1の該当事項 外灯用タイマーの点灯時刻のセットを行い、点検する。	「共仕」による (毎日又は月1)
雷保護設備	「共仕」第3編第3章表3.11.1の該当事項	「共仕」による (月1)
電気時計設備	親時計(警備室内設置)と子時計(各室設置)に誤差がある場合は、調整し、時刻の表示を事務所内で統一する。	随時
防災設備		
非常用照明設備	照明器具の破損、変形及び腐食の有無を点検する。照明器具の取付け状態及び使用ランプが適正であることを確認する。 充電表示灯のあるものは、点灯を確認する。	随時
警報盤	予備電源(蓄電池)の容量が減少した場合、感知器等により警報が発報した場合、作動表示灯が点灯しない場合及び移報信号が出ない場合は、原因を調査し、監督職員に報告する。	随時
防火戸・ダンパ・感知器等	著しい変形、損傷、腐食等の有無を点検する。防火戸、ダンパの手動による閉鎖が正常に作動することを確認する。また、感知器誤作動時にダンパが作動した場合は、手動にて復帰し、担当職員に報告する。	随時
非常放送設備	適正に作動しない場合は、原因を調査し、監督職員に報告する。	随時
機械設備		
直焚き吸収冷温水機	「共仕」第3編第4章表4.2.1及び表4.2.2の該当事項	「共仕」による (毎日)
空調換気設備(空気調和等関連機器)	「共仕」第3編第4章表4.3.2の該当事項	「共仕」による (週1・月1)
受水槽・汚水槽・雑排水槽	「共仕」第3編第4章表4.4.2の該当事項	「共仕」による (月1)
雨水槽・湧水槽	「共仕」第3編第4章表4.4.2に準ずる	月1
ガス温水ユニット	「共仕」第2編第4章表4.5.8の周期I「1M」の項目	「共仕」による (月1)
電気湯沸器	内部及び外観、水漏れ並びに作動の良否を点検する。	月1
水栓等端末器具	吐水量を調整する。破損した場合は交換する。	随時
衛生器具等	「共仕」第2編第4章表4.5.11の該当事項	「共仕」による (年2)
残留塩素測定及び水質検査	「共仕」第3編第4章表4.4.2の該当事項	毎日

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 警備業務 警備業務巡回要領

時 間	業 務 内 容	巡 視 場 所	留 意 事 項	備 考
5:30	北車門開門			
6:00	代々木開門			
7:00	南車門落り戸開門			
7:30~	受付業務	警備室内	①来場者への対応 ②鍵の貸出し ③運営調整課及び事業課金庫の鍵渡し	
7:30~8:30	[朝の巡視] 場内外全般巡視 ラグビー場巡視	警備室、こみ集積所、体育館外周、運営調整課、施設管理課出入口、正面玄関、図書館入口、北シャッター、博物館出入口、トレーニングセンター入口、ラング下関係、千駄ヶ谷門、3F回廊各売店、倉庫、北二門、青山門、大会運営管理室、青山門指押室、南三門、ハックススタンド4F及び売店倉庫、クラブハウス(スタンド飲食売店休室)、1F会議室廊下、会議室、大会本部、中央ホール、東、西テニス場、ラグビー場駐車場、ラグビー場更衣室、通用口、ラグビー場選手通路、ラグビー場北スタンド、ラグビー場東スタンド通路、ラグビー場南スタンド、ラグビー場西スタンド、ラグビー場南スタンド、ラグビー場西スタンド、ラグビー場グラウンド人工芝、ラグビー場クラブハウス会議室、警備室	各出入口及び窓ガラスの破損、不審者の有無、売店倉庫等の扉の破損の有無等を点検すること。 ・駐車禁止、立入禁止区域の鉄柵、カラーコーン、ロープの確認、調整 ・不当駐車の確認	前日大会が開催された場合、使用した場所を必ず点検する。
10:30~11:30	[午前の巡視] 場内外全般巡視	警備室、エレベーター、2F貴賓室、3FラウンジA、4Fスタジアム、5Fスカイラウンジ、エレベーター、陸上更衣室、トレーニングセンター駐車場、ハックススタンド4F、3F回廊、大会運営管理室、休養室、千駄ヶ谷門、ラング下関係、中央門、体育館関係、代々木門駐車場、警備室	各室の施設を確認し、火気の点検、各設備灯及び消火栓ランプの確認、消火栓位置の確認、窓ガラス及び扉内外設備の破損、場内外の清掃等を確認すること。	特に盗難、火災に注意すること。
12:00~	ラグビー場巡視	駐車場、東、西テニス場、ラグビー場駐車場、ラグビー場更衣室、通用口、ラグビー場選手通路、ラグビー場北スタンド、ラグビー場東スタンド通路、ラグビー場南スタンド、ラグビー場西スタンド、ラグビー場グラウンド人工芝、ラグビー場クラブハウス会議室、警備室		
13:30~14:30	[午後の巡視] 場内外全般巡視	【午前の巡視と同じ】警備室、エレベーター、2F貴賓室、3FラウンジA、4Fスタジアム、5Fスカイラウンジ、エレベーター、陸上更衣室、トレーニングセンター駐車場、ハックススタンド4F、3F回廊、大会運営管理室、休養室、千駄ヶ谷門、ラング下関係、中央門、体育館関係、代々木門駐車場、警備室		
15:00~	ラグビー場巡視	【12時からの巡視と同じ】駐車場、東、西テニス場、ラグビー場駐車場、ラグビー場更衣室、通用口、ラグビー場選手通路、ラグビー場北スタンド、ラグビー場東スタンド通路、ラグビー場南スタンド、ラグビー場西スタンド、ラグビー場グラウンド人工芝、ラグビー場クラブハウス会議室、警備室		
16:30~17:30		各退場箇所点検		
17:30~18:30		南車門落り戸開門、各退場箇所点検		
19:00頃		旧食堂(メトロ) 出入り口及び火気の点検をすること。		
20:20~21:20		各退場箇所、3F回廊を点検し平日は、21:00に3F回廊トレーニングセンター入口階段を施設を点検すること。(土曜日は19:30、日曜日は18:30とする。)		大会開催日は、使用した場所を必ず点検する。
21:00頃		オリンピック出入り口及び窓の施設、ガス元栓(1カ所)、換気扇、照明、及び火気の点検をすること。		
21:30~22:30	[夜の巡視]	警備室、体育館、水泳場、南シャッター、南シャッター、南器具庫、2F各テナント、2F運営調整課、施設管理課出入り口、第2クラブハウス、トレーニングセンター、トレーニングセンター入口、トレーニングセンター駐留所、北一門開門、ラング下関係、3F回廊、大会運営管理室、青山門指押室、青山門指押室、青山門指押室、青山門指押室、大会こみ集積所、体育館、タックアウト、警備室、西テニス場クラブハウス1F、2F及びヒートコート、東テニス場クラブハウス1F、2F及びヒートコート、ラグビー場コンコース、選手関係諸室、各倉庫、3F放送関係諸室、警備室	・不当駐車、各出入り口及び窓の施設確認、ガス元栓、換気扇、電気コンロ、ドライヤー、空調、照明、火気等を点検すること。 ・大会開催日は、使用した場所を必ず点検すること。 ・浮浪者等不法入場者の確認(特にラグビー場)	
22:00	代々木開門			
22:30	北車門開門			通常業務勤務者は24:00~5:00仮眠
3:00	[深夜の巡視]	警備室、西テニス場クラブハウス1F、2F及びヒートコート、東テニス場クラブハウス1F、2F及びヒートコート、ラグビー場(コンコース、選手関係諸室、各倉庫、3F放送関係諸室)、警備室	・浮浪者等不法入場者の確認	

日本スポーツ振興センター本部事務所 警備業務マニュアル（平日）

(1) 日勤者

時間	業務内容
08:30	上番、前日の勤務者との引継後交替し、受付業務開始 前回勤務日以降の警備日誌及び引継ぎノートに目を通す。 出勤簿の該当箇所に署名、捺印する。
08:30	照明パターン確認、操作
09:00	待機
10:00	受付業務
11:00	待機
12:00	受付業務
13:00	待機
14:00	受付業務
15:00	定時巡回、B1階体兼室施錠、その後待機
16:00	受付業務、新聞（夕刊）振分け 役員室分（読売新聞1部、日経新聞4部）がそろったら秘書室に連絡する。
17:00	待機
17:15	裏口施錠
17:30	当直勤務者へ引継ぎ、下番
(2) 当直勤務者	
時間	業務内容
08:30	上番、前日の勤務者との引継後交替し、受付業務開始 前回勤務日以降の警備日誌及び引継ぎノートに目を通し、財務部調達管財課へ日誌、入 管記録等を提出する。 出勤簿の該当箇所に署名、捺印する。
10:00	定時巡回、B1階体兼室施錠、B1階ドライバークラス内のシャワースイッチを入れる。 その後待機
11:00	受付業務
12:00	待機
13:00	受付業務
14:00	待機
15:00	受付業務、新聞（夕刊）振分け
16:00	待機
17:00	受付業務
17:15	照明を夜パターンへ切替、センターライストスイッチを入れる。
17:20	日勤者との引継ぎ
19:00	「toto」看板収納、玄関扉（両開き）施錠
22:00	自動扉自動施錠（表示灯にて確認） 北車門閉鎖（車門、通門ともに「かんぬき」をし、施錠はしない。通門の南京錠は 持ち帰る。） 定時巡回、B1階ドライバークラス内のシャワースイッチを切る。
22:55	北車門施錠（未退館者がいる場合は車門のみ施錠、通門は「かんぬき」の状態とする。）
23:00	定時連絡 — 23:00～5:00の間、最大で6時間の仮眠をとることができる。 ただし、未退館者がいる場合は休憩程度とし、退館の都度対応する。
00:30	北車門完全施錠（未退館者がいる場合は、退館の都度対応する。）
05:00	定時巡回、北車門及び裏口解錠 室内清掃、警備日誌記入
06:25	受付業務、照明操作
06:30	自動扉自動解錠（表示灯にて確認）
06:30頃	新聞（朝刊）振分け
07:00	玄関扉（両開き）解錠、「toto」看板設置
07:30	定時連絡
08:30	引継ぎ、下番

日本スポーツ振興センター本部事務所 警備業務マニュアル（休館日）

当務者

時間	業務内容
08:30	上番、前日の勤務者との引継後交替し、受付業務開始 前回勤務日以降の警備日誌及び引継ぎノートに目を通す。 出勤簿の該当箇所に署名、捺印する。 — 終日、休日勤務者対応及び待機 —
10:00	定時巡回、各部屋（職員等が出動している部屋を除く）へ新聞を配達
15:00	定時巡回、各部屋（職員等が出動している部屋を除く）へ郵便物、宅配便等を配達
16:00	新聞（夕刊）振分け
22:00	北車門施錠（未退館者がいる場合は、通門とともに「かんぬき」をし、施錠はしない。通 用門の南京錠は持ち帰る。） 定時巡回
22:55	北車門施錠確認（未退館者がいる場合は、通門は「かんぬき」の状態とする。）
23:00	定時連絡 — 23:00～5:00の間、最大で6時間の仮眠をとることができる。 ただし、未退館者がいる場合は休憩程度とし、退館の都度対応する。
00:30	北車門完全施錠（未退館者がいる場合は、退館の都度対応する。） <翌日も休館日の場合>
05:00	定時巡回、北車門及び裏口解錠 室内清掃
06:25	受付業務、照明操作
06:30	自動扉自動解錠（表示灯にて確認）
06:30頃	新聞（朝刊）振分け、警備日誌記入
07:00	新聞（朝刊）振分け、室内清掃、警備 日誌記入 玄関扉（両開き）解錠、「toto」看板 設置
07:30	定時連絡
08:30	引継ぎ、下番

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 清掃業務 作業基準表

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃													備考						
					弾性床・硬質床(硬質床)	弾性床・硬質床(硬質床)	アタリリーナ	スタントン等	ジャウールーム	建物外部	付着物等	表面洗浄	一般床洗浄	剥離洗浄	織機床洗浄	建築物外部	床の清掃(洗浄)							
日常清掃業務																								
陸上競技場																								
	人工芝練習場	1F	人工芝	450																			実施日:木曜日	
	トイレ(北一門・会議室前・ダッグアウト)	1F	石材	82												年2	○							実施日:定休日を除く毎日
	園地	1F	アスファルト等	40,481				○														○	○	補込み内の殆い掃きを行う。 実施日:月・水・金曜日
	回廊(階段含む。)	3F	ウレタン・アスファルト	9,125				○														○	○	備品:掃除用具・ゴミトレー 実施日:月・水・金曜日
	クラブルーム内会議室	2F	長尺シート	56											年1		○							実施日:第4火曜日
体育館																								
	フロア	1F	木材	1,026				○																
	入口・受付	1F	磁器タイル	24														○						○
	ロビー・階段	1F	長尺シート	65				○																
	指導員控室	1F	長尺シート	5				○																
	トイレ	1F	磁器タイル	21				○																
	見学室	1F	長尺シート	12				○																
	男女更衣室	1F	長尺シート	66				○																
	男女シャワー一室	1F	長尺シート・ユニットシャワー	28																				
事業課																								
	事務室・会議室・受付	1F	カーペット	295				○																
	通路	1F	Pタイル	105				○																
	給湯室	1F	長尺シート	8				○																
	男女トイレ	1F	磁器タイル	12				○																
	男女更衣室	1F	Pタイル	45				○																
	男女シャワー一室	1F	磁器タイル	17				○																
	窓ガラス	1F	ガラス	46																				
運営調整課・施設管理課																								
	階段・玄関	2F	石材	28				○																
	風除室・ホール	2F	石材	23				○																

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 清掃業務 作業基準表

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (m ²)	床の清掃 (洗浄)												備考
					弾性床・更硬質床	(弹性床・硬質床)	繊維床	一般床	表一般床	付着物等	建物外部	シャワーリム	スタン	アリーナ	建床	フロアマット	
大会清掃業務 (ラゲージ場) (清掃要求伝票により指示された日に実施)																	
大会事前清掃																	
事前	こみ箱等設置	1~2F														監視員指示箇所にて5000大型ごみ箱を袋をセツトの上設置する。	
コンコース・園地及び観客用トイレ巡回清掃																	
巡回	西・東・南・北スタンド、観客用トイレ	1~2F		10,206												○ 開場後、2時間おきに巡回する。	
スタンド清掃・コンコース清掃																	
A1~4	スタンド	1~3F		合計													
C1~4	スタンド下通路	1~3F		23,023													
C-5	雨天練習場	1F		350													
観客用トイレ清掃																	
B1~4	観客用トイレ	1~2F	磁器タイル・コンクリート	954												トイレットペーパーは蓋ヶ丘競技場青山門倉庫から適宜運搬する。	
大会清掃 (その他)																	
D1~6	選手ロッカールーム (A~D)	1F	防滑塩ビシート	403												102+101+100+100m ²	
D1~6	選手シャワールーム (A・B)	1F	磁器タイル・防汚シート	144												足拭きマット交換洗濯(以下同じ)	
D1~6	選手トイレ (A~D)	1F	防汚塩ビシート	108												27m ² ×4	
E-1	北通路	1F	防汚塩ビシート	79													
E-2	南通路	1F	防汚塩ビシート	67													
F-1	レフリーロッカールーム	1F	防汚塩ビシート	29													
F-2	レフリートイレ・シャワー	1F	防汚塩ビシート	18												大・小便器×各1、シャワーユニット×2、化粧台、シャワーヘッドは、タオルで水	
G	医務室	1F	Pタイル	39													
H	ドーピングコントロールルーム	1F	Pタイル	44												大便器×2	
I	オーブンルーム(1・2・3)	1F	Pタイル	70													
J	オーブンルーム(4)	1F	Pタイル	26													
K	オーブンルーム(5)(トイレ含む)	1F	Pタイル	55												大便器×1、化粧台×1	
L	オーブンルーム(6)(トイレ含む)	1F	Pタイル	93												大便器×1、化粧台×1	
M	プレスルーム	1F	Oフロアケットタイル	108													
N	グラウンド通路(ロッカールーム前通路 入ローグクラウド間)	1F	防汚シート・人工芝	85													

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 清掃業務 作業基準表

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃								床の清掃(洗浄)											その他
					(弾性床・更替式床)	(弾性床・硬質床)	タイル	フローリング	カーペット	その他	フローリング	カーペット	その他	フローリング	カーペット	その他	フローリング	カーペット	その他	フローリング	カーペット	その他		
N	玄関エントランスホール・通路	1F	せっき質タイル	107	○																			1F~3Fエレベーターホールを含む
O	玄関エントランスホール階段	1~3F	Pタイル	132	○						○													扉:3階通路出入口・1階出入口部
P	スモークングルーム(A・B)	2F	防塵塗装	48	○			○																各24㎡
Q	貴賓室	3F	カーペット	31	○																			座席-8
Q	新貴賓室トイレ	3F	磁器質タイル	7	○																			小×1、大×1、化粧台
R	ラウンジ(A)(B)	3F	Pタイル	122	○																			可動間仕切り
S	男子トイレ(3階)	3F	磁器質タイル	8	○																			小×2、大×1、化粧台
S	女子トイレ(3階)	3F	磁器質タイル	7	○																			大×2、化粧台
T-1	バルコニーシート	3F	防汚塩ビシート	50	○																			
T-2	座席カバー取外・取付	3F	塩ビカバー																					カバー(40席)の付着物除去・清掃を含む
U	放送操作室	3F	カーペットタイル	27	○																			
V1~4	放送室(1)~(4)	3F	長尺シート	各11	○																			
W	サービスマン(2)	3F	木材・コンクリート	23	○																			
X	ビデオ判定室	3F	木材	9	○																			
Y	消防控室	3F	木材	9	○																			
Z	警察官詰所	3F	長尺シート	9	○																			
BA	3階通路	3F	コンクリート	158	○																			
BB	旧貴賓室トイレ	3F	石材	4	○																			
BC	記者用トイレ	3F	磁器質タイル	10	○																			
CA	クラブハウス2階会議室	離れ2F	長尺シート	188	○																			
CB	2階貴賓室(トイレ含む)	離れ2F	カーペット・長尺シート	22	○			○																
CC	2階トイレ	離れ2F	長尺シート	15	○																			
CD	2階ホール(階段を含む)	離れ2F	長尺シート	32	○																			1階~2階までの階段を含む

国立霞ヶ丘競技場管理・運營業務一式 清掃業務 作業内容

作業項目	作業内容
床の清掃	
弾性床・硬質床	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」a.「部分水拭き」による。
弾性床・硬質床(便所・更衣室)	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」b.「全面水拭き」による。
繊維床	「共仕」第4編第2章表2.1.3の1.「除塵」及び2.1.3の2.「しみ取り」による。しみ取りは監督職員と協議する。
アリーナ	フロアダスター又はフロアマップで掃き、集めたごみは所定の場所まで搬出する。
スタンド等	掃き掃除によりごみを収集し、集めたごみは所定の場所に搬出する。
シャワールーム	適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きをする。
建物外部	掃き掃除によりごみ、落ち葉等を収集し、集めたごみは所定の場所に搬出する。
浴室	適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きをする。
拾い掃き	巡回して粗ごみを拾う。
付着物等	床材を傷つけないように除去する。
床の清掃(洗浄)	
表面洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.1の4.「洗浄」a.「表面洗浄」による。
一般床洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.2の4.「洗浄」c.「一般床洗浄」による。
剥離洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.1の4.「洗浄」b.「剥離洗浄」による。 床維持材塗布回数は、2層(第一体育館)3層(第二体育館・事務棟)とする。
繊維床洗浄	床全面を洗浄し、汚れを除去する。方法は監督職員と協議する。
建物外部	「共仕」第4編第2章表3.4.2「床・洗浄」による。必要に応じ高圧洗浄を実施する。
全面水拭き	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」b.「全面水拭き」による。
しみ取り	「共仕」第4編第2章表2.1.3の2.「しみ取り」による。しみ取りは監督職員と協議する。
浴室	適正洗剤を用いて特殊洗浄を行う。
プールサイド	汚水等をプール水槽内へ入れないよう留意の上、洗剤とデッキブラシで汚れを除去し、水洗いを行う。
フロアマット	真空掃除機で吸塵する。
扉ガラス	汚れの目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
扉	汚れの目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
ガラス	汚れの目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
ガラス洗浄	「共仕」第4編第2章表3.1.1「窓ガラス洗浄」による。
什器備品	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。
カウンター等	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。 (受付カウンター、記念品売店売り場、チケットボックス内の什器等)
座席	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。
ロッカー	内部のごみを収集し、タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。
灰皿	吸殻を収集し、灰皿はタオルで拭く。必要に応じ吸殻に水をかけ、灰皿に水を張る。
ごみ箱・ごみ収集	「共仕」第4編第2章表2.2.1(A)の2.「床以外の清掃」e.「ごみ箱・ごみ収集」及び2.3.1「ごみ収集」各項目による。 ごみ箱の袋を交換し、周辺の異常の有無を確認する。
サッシ金物等	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。汚れた部分は水又は適正洗剤を用いて拭く。
壁	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。
芸術作品	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。
サイン	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。
吹出口及び吸込口	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。
カーテン	付着した汚れを除去し、カーテンを閉めた状態にする。
手すり	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。
窓台	「共仕」第4編第2章表2.2.8(A)の2.「床以外の清掃」b.「窓台・除塵」及び「窓台・拭き」による。
洗面台	スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄の上、タオルで拭く。
鏡	適正洗剤を用いて乾拭きする。
衛生陶器	適正洗剤を用いて洗浄し、拭く。
小便器下シート敷き	男子用小便器下石材部に、汚れ除去シート(サニタリーシート)を貼り付け、交換する。(4・10月)
衛生消耗品	トイレトーパー、水石鹼及び防臭剤を補充する。
汚物容器	内容物を収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。
流し台	中性洗剤を用いてスポンジタワシで丁寧に洗浄し、タオルで拭く。
厨芥容器	厨芥を洗浄し、容器を適正洗剤で洗浄する。
排水口・排水溝	ごみを除去し、目皿を水拭き又は水洗いする。
水中クリーナー	水中クリーナーをセットし、無人清掃を行い、終了後引き上げる。 クリーナーのパーツ点検等を行う。
水面浮遊物	水面の浮遊物の有無を確認し、これを除去する。
スノコ面	洗剤及びデッキブラシで汚れを除去し、モップ等で拭き、水切りを行う。
給湯業務	清掃後、ヒーターの指導点火、浴槽の給湯・給水等を行う。(平日:10時～、土日祝日:7時～)
大理石部	汚れを適正洗剤を用いて除去し、乾拭きして仕上げる。
自販機周辺	周辺の汚れた部分を水拭き及び乾拭きする。
除草	園地業務期間外及び雑草が目立つ場合、手で除草する。
備品整理	プールサイドの備品類の整理及びロイヤルボックス内の椅子の移動を行う。
園地その他	石段、石垣内にある小石、コンクリート片等を収集し、所定の場所に搬出する。 看板類が正規に設置されているか確認し、汚れ、落書き等がある場合は除去する。
巡回その他	場内に落ちたごみを拾う。 洗面器及び便器のつまりがある場合は取り除き、周辺の汚れを除去する。
清掃補助業務	監督職員の指示により、清掃関連の補助的な作業を行う。発注は半日又は1日を単位とする。

No	部分別	室名	床材	面積 (㎡)	作業内容 (「共仕」第4編第2章及び第3章各表参照) (「共仕」第4編第2章及び第3章各表参照)	周期	予定 回数
1	役員室・特別会議室	役員個室・応接室 特別会議室	絨維床	279	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」に準ずる。		
2	各部会議室(財務・総務)	秘書コーナー・役員室廊下 会議室	絨維床	55	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」による。		
3	財務部	会議室	絨維床	63	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」に準ずる。		
4	総務部	事務室・部長室	絨維床	60	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」による。		
5	学校安全部	事務室・部長室	絨維床	277	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
6	事務室3階(toto経営管理室)	事務室・部長室	絨維床	236	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
7	東京支所	事務室	絨維床	217	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
8	全国学校給食会連合会	事務室・会議室	絨維床	90	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
9	全国学校栄養士協議会	事務室	絨維床	276	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
10	4階、スポーツ振興事業部・事務処理室	事務室	絨維床	48	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
11	3階、スポーツ振興事業部分室(助成課)	事務室	絨維床	16	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
12	第五会議室	(事務室として使用)	絨維床	226	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
13	第六会議室	(事務室として使用)	絨維床	94	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
14	会議室	会議室	絨維床	122	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
15	男女休養室・ドライブ室	量・木部分	弾性床	105	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
16	警備室	弾性床部分	弾性床	22	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
17	男女更衣室、脱衣室、シャワー室	警備室	弾性床	45	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」に準ずる。		
18	4階、倉庫	男女更衣室	弾性床	9	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
19	屋外部分	男女脱衣室	弾性床	137	表2.2.2.10(A)「浴室、シャワールーム及び脱衣室(日常清掃)」による。		
20	共用部分	男女シャワー室 (更衣室として使用) 事務所周り・駐輪場 玄関ホール	弾性床 硬質床 硬質床	13 17 2	表2.2.2.10(A)「浴室、シャワールーム及び脱衣室(日常清掃)」による。 表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」による。	1/日	244
21	健康安全部会議室	廊下	弾性床	798	表3.4.3「構内通路(日常清掃)」による。		
22	第七会議室前室	廊内階段	弾性床	136	表2.2.1(A)「玄関ホール(日常清掃及び日常巡回清掃)」1.及び2.による。		
23	非常階段(喫煙スペース含む。)	始湯室	弾性床	322	表2.2.4(A)「階段(日常清掃)」による。		
24	CPU室	男女化粧室	弾性床	83	表2.2.8(A)「階段(日常清掃)」による。		
25	CPU室	エレベーター	弾性床	38	表2.2.6(A)「湯沸室(日常清掃及び日常巡回清掃)」1.及び2.による。(2.a.流し台は含まない。)		
26	資料室	健康安全部会議室	弾性床	133	表2.2.5(A)「便所及び洗面所(日常清掃及び日常巡回清掃)」1.及び2.による。		
27	バルコニー	第七会議室前室	弾性床	1(台)	表2.2.7(A)「エレベーター(日常清掃及び日常巡回清掃)」1.及び2.による。		
28	共通倉庫	非常階段	硬質床	30	表2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」による。		
29	外窓ガラス	CPU室	硬質床	24	表2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」による。		
30	一般床洗浄	資料室	硬質床	109	表2.2.8(A)「階段(日常清掃)」及び表2.2.11(A)「喫煙スペース(日常清掃及び日常巡回清掃)」1.及び2.による。	週1	53
31	床面表面洗浄	ミーティングルーム他	硬質床	36	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」による。		
32	床面剥離洗浄	コンピュータ室	硬質床	44	表2.2.2.2(A)「事務室(日常清掃)」に準ずる。		
		バルコニー(3階・4階)	硬質床	22	表2.2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」に準ずる。	月1	12
		共通倉庫	硬質床	198	表3.4.1「玄関周り(日常清掃)」に準ずる。	年4	4
		立ち作業可(1階・バルコニー)	硬質床	196	表2.2.3(A)「会議室(日常清掃)」に準ずる。	年4	4
		その他	-	200	表3.1.1「窓ガラス(定期清掃)」による。	年4	4
		硬質床部分(No20玄関ホール)	硬質床	212	表3.1.1「窓ガラス(定期清掃)」による。	年4	4
		弾性床部分(No14~18,20)	弾性床	136	表2.1.2の4.「洗浄」c.「一般床洗浄」による。	年4	4
		弾性床部分(No14~18,20)	弾性床	805	表2.1.1の4.「洗浄」a.「表面洗浄」による。	年3	3
			弾性床	805	表2.1.1の4.「洗浄」b.「剥離洗浄」による。	年1	1

※収集したごみは、構内指定場所までごみ収集(作業内容は表2.3.1「ごみ収集作業」)による。

国立霞ヶ丘競技場管理・運營業務一式 各種環境測定 検査施設・回数一覧表

検査内容	検査項目	回数/年	検査施設	検査場所	面積
空気環境測定	温熱環境・空気清浄度	6回	陸上競技場	日本体育施設協会	115m ²
	"	6回	"	運営調整課・施設管理課事務所	576m ²
	"	6回	"	事業課事務所	482m ²
	"	6回	"	レストランオリンピア	110m ²
	"	6回	"	室内水泳場	水槽部 25m×13m
	"	6回	"	制御室	140m ²
	"	6回	"	トレーニング場	1,168m ²
	"	6回	"	トレーニングセンターロビー	440m ²
	"	6回	"	トレーニングセンター男子更衣室	500m ²
	"	6回	"	トレーニングセンター女子更衣室	
	"	6回	"	ランプ下事務所	75m ²
	"	6回	"	スポーツ博物館事務所	94m ²
"	6回	"	スポーツ博物館内振興事業部事務室	270m ²	
"	6回	"	外気		
飲料水水質検査	15項目	1回	"	ダックアウト休憩室前流し	
	10項目	1回	"	"	
	消毒副生成物12項目	1回	"	"	
給湯水水質検査	15項目	1回	"	プール男子更衣室	
	10項目	1回	"	"	
	消毒副生成物12項目	1回	"	"	
	15項目	1回	"	トレーニングセンター男子更衣室	
	10項目	1回	"	"	
	消毒副生成物12項目	1回	"	"	
	15項目	1回	"	体育館男子シャワー室	
プール水水質検査	10項目	1回	"	"	
	消毒副生成物12項目	1回	"	"	
	遊離残留塩素他 総トリハロメタン	24回	"	室内水泳場（対角2箇所）で採水	水槽部 25m×13m
レジオネラ菌	2回	"	室内水泳場（対角2箇所）で採水		
レジオネラ属菌検査	"	2回	"	室内水泳場（対角2箇所）で採水	
	"	1回	"	室内水泳場男子採暖槽	
	"	1回	"	室内水泳場女子採暖槽	
	"	1回	"	トレーニングセンター男子浴槽濾過器	
	"	1回	"	トレーニングセンター女子浴槽濾過器	
	"	1回	"	トレーニングセンター男子冷水槽濾過器	
	"	1回	"	トレーニングセンター女子冷水槽濾過器	
	"	1回	"	グラウンド散水用地下ピット	
	"	3回	"	冷却塔30ORt（3箇所）	
	"	3回	"	冷却塔15ORt（3箇所）	
	"	1回	"	冷却塔5F2ORt	
	"	1回	"	冷却塔運営管理室1	
	"	1回	"	冷却塔運営管理室2	
"	2回	"	冷却塔水冷チラー用（各2箇所）		
雑用水水質検査	濁度・大腸菌	6回	"	グラウンド散水用地下ピット	
空気環境測定	温熱環境・空気清浄度	6回	ラグビー場	プレスルーム	108m ²
	"	6回	"	レフェリーロッカールーム	29m ²
	"	6回	"	ロッカールーム A	102m ²
	"	6回	"	ロッカールーム B	101m ²
	"	6回	"	ロッカールーム C	100m ²
	"	6回	"	ロッカールーム D	100m ²
	"	6回	"	オープンルーム 1～3	70m ²
	"	6回	"	オープンルーム 4	26m ²
	"	6回	"	オープンルーム 5	55m ²
	"	6回	"	オープンルーム 6	93m ²
"	6回	"	外気		
飲料水水質検査	15項目	2回	"	東スタンド下売店・女子トイレA手洗器	2箇所×1回
	10項目	2回	"	"	"
	消毒副生成物12項目	2回	"	"	"
給湯水水質検査	15項目	2回	"	選手トイレA・D洗面器	2箇所×1回
	10項目	2回	"	"	"
	消毒副生成物12項目	2回	"	"	"
雑用水水質検査	濁度・大腸菌	6回	ラグビー場	バックスタンド下売店奥	
	"	6回	"	散水槽	
レジオネラ属菌検査	レジオネラ菌	1回	ラグビー場	散水槽	
	"	1回	東テニスコート	冷却塔	
	"	1回	西テニスコート	冷却塔	

※ 飲料水及び給湯水水質検査の10項目とは、1回目に15項目の検査を行ない省略不可項目以外の5項目において基準値に適合していた場合は次回の検査時には省略不可項目10項目の検査で可の意であり、適合していない場合は15項目の検査実施をしなければならない。

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 環境衛生管理等業務 受水槽、貯湯槽、汚水槽等清掃回数 概要一覧

1 受水槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m ³)／槽数	有効容積(m ³)	材質・構造等	実施回数／実施月(予定)	備 考
陸上競技場	受水槽(No. 1水槽)	犬走りポンプ室	87.5m ³	70.0m ³	FRP製	年1回 / 11月	
	受水槽(No. 2水槽)	"	87.5m ³	70.0m ³	FRP製	年1回 / 11月	
ラグビー場	受水槽	メインスタンド下1階	36.0m ³ (2槽計) (18.0m ³ ×2)	27.0m ³ (2槽計) (13.5m ³ ×2)	FRP製	年1回 / 10月	ラグビー場メインスタンド断水 (ただし、ラグビー場クラブハウス及び 西テニスコートを除く)
	高置水槽	メインスタンド屋根下	23.0m ³ (1槽)	18.5m ³ (1槽)	FRP製	年1回 / 10月	ラグビー場メインスタンド断水 (ただし、ラグビー場クラブハウス及び 西テニスコートを除く)
西テニス場	受水槽	屋外	3.0m ³ (1槽)	2.4m ³ (1槽)	FRP製	年1回 / 10月	全施設断水
	高置水槽	屋上架台	2.2m ³ (1槽)	1.6m ³ (1槽)	FRP製	年1回 / 10月	全施設断水
ラグビー場	雑用水槽	バックスタンドポンプ室	159.0m ³ (2槽計)	129.0m ³ (2槽計) (47.47m ³ /81.33m ³)	RC構造・地下水槽	年1回 / 10月	

2 汚水槽・雑排水槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m ³)	有効容積(m ³)	材質・構造等	実施回数／実施月(予定)	備 考
陸上競技場	南汚水分離槽	南汚水ポンプ室	53.9m ³	—	RC構造・地下水槽	年3回 / 5月・10月・2月	
	北汚水分離槽	北汚水ポンプ室	87.78m ³	—	RC構造・地下水槽		
ラグビー場	汚水槽	北スタンド下	10.0m ³	—	RC構造・地下水槽	年3回 / 5月・10月・2月	

(注) 実施月は予定であり、当场開催行事との関連があるため、担当職員との協議により実施時期を決定するものとする。

(注) 清掃費には、廃棄物処理費を含むものとする。

(注) 排出される汚泥参考量：陸上競技場：4,500ℓ/回、ラグビー場：300ℓ/回

3 貯湯槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m ³)	有効容積(m ³)	材質・構造等	実施回数/実施月(予定)	備考(断水箇所等)
陸上競技場	トレニングセンター貯湯槽 No. 1、No. 2	トレセン機械室	10.0m ³ (2槽) (5.0m ³ ×2)	10.0m ³ (2槽) (5.0m ³ ×2)	SUS製 電気防食装置付	年1回 / 5月	陸上競技場更衣室シャワー トレニングセンターシャワー 及び浴槽
	室内水泳場貯湯槽	プール機械室	5.0m ³ (1槽)	5.0m ³ (1槽)	SUS製 電気防食装置付	年1回 / 6月	事業課・運営調整課・施設管理男女更衣 室シャワー プール男女更衣室シャワー 及び手洗器
	体育館貯湯槽	体育館ボイラー室	3.0m ³ (1槽)	3.0m ³ (1槽)	SUS製	年1回 / 6月	男女更衣室シャワー及び手洗器
東テニス場	貯湯槽	東テニス場	1.5m ³ (1槽)	1.5m ³ (1槽)	SUS製	年1回 / 5月	東テニス場男女更衣室シャワー
西テニス場	貯湯槽	機械室	2.0m ³ (1槽)	2.0m ³ (1槽)	SUS製	年1回 / 5月	西テニス場男女更衣室シャワー

(注) 各所マンホールパッキンを取り替えるものとする。

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 空調用エアフィルター定期清掃 空調設置場所及び清掃回数表

場 所	機 種	フィルター枚数	清掃回数(1年間)				エアフィルター材質	備 考
			1回目	2回目	3回目	4回目		
(陸上競技場)								
貸事務所(東京都サッカー協会、スポーツクラブ協会)	エアハンドリングユニット	12	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
組合事務所	ファンコイル	3	○	○	○	○	サラネット	清掃
	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
施設協会	ファンコイル	3	○	○	○	○	サラネット	清掃
体育科学センター	〃	1	○	○	○	○	〃	〃
事業課事務所	〃	8	○	○	○	○	〃	〃
〃 会議室	〃	2	○	○	○	○	〃	〃
〃 会議室	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
警備室	〃	2	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
〃	冷暖房機	2	○	○	○	○	サラネット	清掃
予備室2	ファンコイル	2					ファイレドロン	交換
オリンピア・クラブルーム	〃	19	○	○	○	○	〃	〃
博物館・図書館	エアハンドリングユニット	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	除湿機	2	○	○	○	○	〃	〃
旧理髪室	ファンコイル	4					サラネット	清掃
制御室	GHPエアコン	4	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	4	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
宿直室	冷暖房機	2	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
旧休養室	ファンコイル	5	○				〃	〃
プール見学室	GHPエアコン	2	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
プール指導員室	ファンコイル	2	○	○	○	○	サラネット	清掃
プール	エアハンドリングユニット	9	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
第2クラブルーム	ファンコイル	2	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
トレーニングセンター	エアハンドリングユニット	20	○	○	○	○	ファイレドロン	交換
〃	〃	10	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	3	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	1	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	1	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	4	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	2	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	7	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	6	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	3	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	1	○	○	○	○	〃	〃
〃	GHPエアコン	10	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	4	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	1	○	○	○	○	〃	〃

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 空調用エアフィルター定期清掃 空調設置場所及び清掃回数表

場 所	機 種	フィルター枚数	清掃回数 (1年間)				エアフィルター材質	備 考
			1回目	2回目	3回目	4回目		
会議室 No. 1	ファンコイル	6	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
〃 No. 2	ファンコイル	6	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
〃 No. 3	ファンコイル	6	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
〃 No. 4	ファンコイル	6	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
大会議室	ファンコイル	18	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃	ロスナイ	6	○	○	○	○	ファイレド	交換
予備室	ファンコイル	1	○	○	○	○	〃	交換
記者室	〃	3	○	○	○	○	サラネット	清掃
大会運営本部室	〃	8	○	○	○	○	〃	〃
〃	エアハンドリングユニット	1	○	○	○	○	〃	〃
表彰控室	ファンコイル	1	○	○	○	○	〃	〃
中央玄関ホール	〃	26	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
医務室 (選手更衣室側)	〃	1	○	○	○	○	〃	〃
ドーピングルーム	〃	2	○	○	○	○	〃	〃
選手更衣室	〃	12	○	○	○	○	サラネット	清掃
貴賓室	ファンコイル	12	○	○	○	○	〃	〃
ラウンジA	〃	5	○	○	○	○	〃	〃
ラウンジB	〃	9	○	○	○	○	〃	〃
警備本部 (消防本部及び警備本部)	ロスナイ	2	○	○	○	○	〃	〃
4階指揮室	ファンコイル	2	○	○	○	○	〃	〃
5階場内アナウンス室	〃	2	○	○	○	○	〃	〃
記録室	〃	1	○	○	○	○	〃	〃
オペレーションルーム	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
〃	ロスナイ	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
スカイラウンジ (北側)	ファンコイル	10	○	○	○	○	サラネット	清掃
〃 (南側)	GHPエアコン	3	○	○	○	○	〃	〃
予備室	〃	6	○	○	○	○	〃	〃
写真判定室	〃	2	○	○	○	○	〃	〃
ダイレクター室	〃	1	○	○	○	○	〃	〃
スタジオ (No. 2・3・4・5)	ファンコイル	8	○	○	○	○	〃	〃
大会運営管理室 (1)	〃	7	○	○	○	○	〃	〃
大会運営管理室 (2)	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
同上2階青山スタジオ	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
2F施設管理・運営調整課事務室	〃	24	○	○	○	○	〃	〃
陸上競技場合計		404						
		ファイレド	158	155	154	155		交換
		サラネット	231	176	229	183		清掃
		合計	389	331	383	338		

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 空調用エアフィルター定期清掃 空調設置場所及び清掃回数表

場 所	機 種	フィルター枚数	清掃回数 (1年間)				エアフィルター材質	備 考
			1回目	2回目	3回目	4回目		
(ラグビー場)								
選手ロッカールーム A~D	天井カセット4方向吹出	8	○	○	○	○	清掃	GHPエアコン 室内器 8台
レフェリーロッカールーム	天井カセット2方向吹出	1		○	○	○	"	" 1台
医務室	天井カセット4方向吹出	1		○	○	○	"	" 1台
ドーピングコントロールルーム	ビルトイン型	1		○	○	○	"	" 1台
オープンルーム 1・2・4	天井カセット4方向吹出	3		○	○	○	"	" 3台
オープンルーム 3	"	1		○	○	○	"	" 1台
オープンルーム 5	"	2		○	○	○	"	" 2台
オープンルーム 6	"	2		○	○	○	"	" 2台
プレスルーム	"	2		○	○	○	"	" 2台
ラウンジ A・B	"	4		○	○	○	"	EHPエアコン 室内器 4台
"	天井埋込形	2		○	○	○	"	" 全熱交換機 (ロスナイ) 2台(2分割)
メインスタンド貴賓室	天井埋込ダクト形	1		○	○	○	"	" EHPエアコン 室内器 1台(2分割)
クラブハウス 2F会議室	GHPエアコン	6	○	○	○	○	"	"
" 2F貴賓室	冷暖房機	1	○	○	○	○	"	"
"	ロスナイ	1	○	○	○	○	"	"
ラグビー場合計								
		36						
	フィルター	0	0	0	0	0	交換	
	サランネット	8	0	36	33	33	清掃	
	合計	8	0	36	33	33		

国立霞ヶ丘競技場管理・運営業務一式 空調用エアフィルター定期清掃 空調設置場所及び清掃回数表

場 所	機 種	フィルター枚数	清掃回数 (1年間)				エアフィルター材質	備 考
			1回目	2回目	3回目	4回目		
(東テニス場)								
更衣室	ファンコイル	6	○	○	○	○	サラネット	清掃
事務室	〃	2	○	○	○	○	〃	〃
ロビー	〃	2	○	○	○	○	ファイレド	交換
2 F 談話室	〃	3	○	○	○	○	サラネット	清掃
東テニス場合計								
		13						
		ファイレド	2	2	2	2		交換
		サラネット	11	11	11	11		清掃
		合計	13	13	13	13		
(西テニス場)								
1 F 男子更衣室	ファンコイル	4	○	○	○	○	サラネット	清掃
1 F 女子更衣室	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
2 F ホール	〃	4	○	○	○	○	〃	〃
〃	エアハンドリングユニット	1	○	○	○	○	〃	〃
2 F 受付	ファンコイル	1	○	○	○	○	〃	〃
2 F 休養室	〃	1	○	○	○	○	〃	〃
1 F 男子更衣室	ロスナイ	6	○	○	○	○	ファイレド	交換
1 F 女子更衣室	〃	6	○	○	○	○	〃	〃
2 F ホール	〃	6	○	○	○	○	〃	〃
西テニス場合計								
		33						
		ファイレド	18	18	18	18		交換
		サラネット	15	15	15	15		清掃
		合計	33	33	33	33		
年間清掃枚数総合計								
		486						
		ファイレド	178	175	174	175		交換
		サラネット	265	202	291	242		清掃
		合計	443	377	465	417		

国立霞ヶ丘競技場体育館床用モップ交換作業

摘 用	寸 法	1回の交換		交換 曜日	交換 周期	設置 場所	年 間 交 換 回 数				
		数 量	単 位				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
床用モップ(オイルタイプ)	90×34 cm	3	本	月曜日	1週	体育館	52回	52回	53回	53回	52回

- ※交換作業日には大会等により変更する場合があります。
- ※交換作業の実施日については、監督職員と協議の上決定することとする。
- ※上記の寸法については、あくまでも目安とする。

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）

行事等一覧（H 2 0 ～ H 2 2）

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成20年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
4月2日	2008Jリーグ デビジョン1第4節 東京ヴェルディ VS ジュビロ磐田	9,731	中段
4月5日	第41回東京六大学対抗陸上競技大会	※ 1,150	メイン
4月19日	第71回 東京陸上競技選手権大会	※ 3,050	メイン
4月20日		2,800	
5月3日	2008Jリーグ デビジョン1第10節 東京ヴェルディ VS 横浜Fマリノス	21,300	中段
5月17日	第87回 関東学生陸上競技選手権大会	7,200	メイン
5月18日		4,500	
5月24日		4,200	
5月25日		4,200	
5月31日	リポビタンDチャレンジ2008(ラグビー)ジャパンXV VS クラシックオールブラックス	14,773	全段
6月8日	ナビスコカップ 東京ヴェルディ VS FC東京	12,956	中段
6月12日	国際親善試合 U-23日本代表 VS U-23カメルーン代表	16,266	中段
6月20日	第59回 早慶サッカー定期戦 慶応義塾体育会サッカー部 VS早稲田大学ア式蹴球部	9,832	中段
6月22日	IRBパシフィックネーションズカップ2008 TOSHIBAジャパンラウンド 日本代表 vs フィジー代表	11,777	全段
6月28日	2008Jリーグ デビジョン1 第 節 柏レイソル VS 浦和レッズ	37,629	全段
7月5日	NIKEフィジカルスタジアム2008(6:00~18:00)	※ 730	トラック
7月6日	日仏交流150周年ラグビーフランス大学選抜来日シリーズ 早稲田大学 V Sフランス大学選抜	4,654	中段
7月10日	日仏交流150周年ラグビーフランス大学選抜来日シリーズ 日本選抜 V Sフランス大学選抜	4,557	中段
7月13日	関東マスターズ陸上競技会	※ 1,270	メイン
7月16日	2008Jリーグ デビジョン1 第17節 FC東京 VS ガンバ大阪	28,268	中段
7月29日	キリンチャレンジカップ(U-23) 日本代表 VS アルゼンチン代表	43,965	全段
8月2日	サッカー ジョモカップ2008 オールスター 日韓戦	28,313	メイン
8月6日	第36回 関東中学校陸上競技大会	※ 5,000	中段
8月7日		5,000	
8月7日	2008神宮外苑花火大会	18,959	メイン
8月16日	第43回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会	1,650	メイン
8月17日		※ 1,650	
8月18日		1,650	
8月23日	2008Jリーグ デビジョン1 第22節 FC東京 VS 東京ヴェルディ	18,998	中段
8月27日	2008Jリーグ デビジョン1 第23節 東京ヴェルディ VS 浦和レッズ	27,095	中段
8月29日	第24回全国小学生陸上競技交流大会	※ 1,200	中段
8月30日		10,500	
9月5日	アラシコンサート「ARASHI AROUND ASIA 2008」	50,487	全段
9月6日		56,239	
9月12日	第77回 日本学生陸上競技対抗選手権大会	7,600	中段
9月13日		3,000	
9月14日		2,000	
9月15日	第20回記念 東京マスターズ陸上競技選手権大会	※ 1,300	メイン
9月20日	第19回関東学生新人陸上競技選手権大会	※ 1,050	中段
9月21日		1,275	
9月23日	2008Jリーグ デビジョン1 第26節 横浜F・マリノス VS 川崎フロンターレ	21,096	中段
9月27日	2008Jリーグ デビジョン1 第27節 柏レイソル VS 川崎フロンターレ	24,955	中段
9月28日	豊島区民陸上競技大会	※ 2,300	メイン
9月30日	第60回 荒川区立中学校連合体育大会	※ 3,600	メイン
10月3日	第61回 渋谷区立中学校陸上競技大会	※ 1,700	メイン
10月4日	第45回 東京スポーツ祭典陸上競技大会	※ 2,000	メイン
10月5日	2008Jリーグ デビジョン1 第39節 横浜FC VS セレッソ大阪	20,359	中段
10月6日	第46回 練馬区中学校総合体育大会陸上競技大会	※ 2,159	メイン
10月9日	千代田区小中学校陸上競技大会	※ 1,600	メイン

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成20年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
10月11日	高円宮杯 第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 2試合	5,861	中段
10月12日	関東学連秋季オープン競技会	※ 1,000	中段
10月19日	ニュートリライト東京10Kハロウィンラン2008	※ 7,150	メイン
10月26日	グリーンリボン ランニングフェスティバル	※ 3,140	メイン
11月1日	2008 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 決勝 大分トリニータ VS 清水エスパルス	45,533	全段
11月3日	祝日(文化の日) 第3回 東京アスレチックカーニバル	※ 3,180	メイン
11月9日	第26回 日本盲人マラソン大会/CFJカップ神宮外苑ロードレース	※ 825	メイン
11月16日	第30回 東京国際女子マラソン記念大会	※ 10,000	メイン
11月24日	振替休日(勤労感謝の日) FIT チャリティラン	※ 40,000	メイン
11月29日	10,000m記録挑戦競技会兼2008ロングディスタンス大会	※ 1,100	メイン
12月7日	関東大学ラグビー対抗戦 明治大学 VS 早稲田大学	22,001	全段
12月11日	FIFAクラブワールドカップ ジャパン2008 アデレード・ユナイテッド(オーストラリア) VS ワイタケレ・ユナイテッド(ニュージラント)	21,103	全段
12月13日	FIFAクラブワールドカップ ジャパン2008 アル・アハリ(エジプト) VS パチューカ(メキシコ)	30,988	全段
12月17日	FIFAクラブワールドカップ ジャパン2008 パチューカ(メキシコ) VS リガ・デ・キト(エクアドル) 準決勝	34,783	全段
12月29日	第88回 天皇杯 全日本サッカー選手権 準決勝 横浜マリノス VS ガンバ大阪 第20回 高円宮杯 全日本ユース(U-15)サッカー選手権 FC東京 U-15 VS アルビレックス	20,609	中段
12月30日	第87回 全国高等学校サッカー選手権大会 開会式 開幕線 鹿島学園(茨城) VS 一条(奈良)	9,207	中段
1月1日	第88回 天皇杯 全日本サッカー選手権 決勝 ガンバ大阪 VS 柏レイソル 第30回 全日本女子サッカー選手権 決勝 日テレ・ベレーゼ VS INACレオネッセ	44,976	全段
1月2日	第45回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 準決勝 早稲田 VS 東海 帝京 VS 法政	23,462	全段
1月10日	第45回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 決勝 帝京大学 VS 早稲田大学	22,979	全段
1月11日	第58回 全日本大学サッカー選手権大会 決勝 筑波大学 VS 中央大学 第17回 全日本大学女子サッカー選手権大会 決勝 日本体育大学 VS 早稲田大学	8,532	中段
1月12日	第87回 全国高等学校サッカー選手権大会 決勝 鹿児島城西 VS 広島皆実	41,322	全段
1月25日	第7回 新宿シティハーフマラソン	※ 12,000	中段
2月4日	キリンチャレンジカップ 2009 ALL FOR2010 日本代表 VS フィンランド代表	35,302	全段
2月28日	フジゼロックススーパーカップ2009 鹿島アントラーズ VS ガンバ大阪	37,655	全段
3月1日	JFAキッズ(U-6) サッカーフェスティバル2009	※ 5,860	メイン
3月25日	2009 J2リーグ 第4節 栃木SC VS アビスパ福岡	2,300	中段
3月29日	2009 J2リーグ 第5節 東京ヴェルディ VS 栃木SC	4,799	中段
	年 間 合 計	1,063,210	

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成21年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
4月18日	2009 Jリーグ デビジョン1第6節 FC東京 VS ジェフユナイテッド千葉	27,636	中段
5月2日	第72回 東京陸上競技選手権大会	※ 4,450	メイン
5月3日		4,360	
5月5日	2009 Jリーグ デビジョン1第10節 柏レイソル VS 浦和レッズ	32,854	中段
5月16日	第88回 関東学生陸上競技選手権大会	7,500	メイン
5月17日		7,200	
5月23日		5,500	
5月24日		7,500	
5月31日	キリンカップサッカー2009 日本代表 VS ベルギー代表	42,520	全
6月3日	ナビスコカップ 予選 FC東京 VS モンテディオ山形	14,259	中段
6月14日	2009Jリーグ デビジョン2 東京ヴェルディ VS 水戸ホーリーホック	5,891	中段
6月24日	2009Jリーグ デビジョン2 東京ヴェルディ VS 湘南	4,723	中段
6月27日	2009Jリーグ デビジョン1 第15節 FC東京 VS 清水エスパルス	28,987	中段
6月28日	第60回 早慶サッカー定期戦 慶応義塾体育会サッカー部 VS早稲田大学ア式蹴球部	8,971	中段
7月5日	石原裕次郎23回忌イベント(法要)	※ 88,932	中段
7月11日	2009Jリーグ デビジョン2 東京ヴェルディ VS 徳島ヴォルティス	7,182	中段
7月12日	関東マスターズ陸上競技会	※ 962	メイン
7月26日	全国7大学対抗陸上競技大会	※ 800	
8月6日	日刊スポーツ主催 第30回記念大会 2009神宮外苑花火大会	26,841	
8月14日	第44回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会	1,110	メイン
8月15日		※ 1,260	
8月16日		1,010	
8月22日	2009Jリーグ デビジョン1 第23節 柏レイソル VS 横浜F・マリノス	22,601	中段
8月23日	2009Jリーグ デビジョン2 第35節 東京ヴェルディ VS カターレ富山	5,914	中段
8月28日	アラシコンサート「ARASHI Anniversary To 5×10」	53,713	全
8月29日		52,753	
8月30日		51,932	
9月4日	第78回 日本学生陸上競技対抗選手権大会	1,980	中段
9月5日		4,090	
9月6日		3,690	
9月11日	東京2009アジアユースパラゲームズ(陸上競技)	2,450	中段
9月12日		※ 1,300	
9月13日		1,300	
9月18日	第20回関東学生新人陸上競技選手権大会	670	中段
9月19日		※ 1,800	
9月20日		1,750	
9月23日	AFCチャンピオンズリーグ2009 川崎フロンターレ VS 名古屋グランパス	18,320	中段
9月25日	第63回 台東区中学校連合陸上競技大会	※ 750	メイン
9月26日	新宿区民総合体育大会陸上競技大会 新宿トリムマラソン、ピポ・ユニバーサル駅伝	※ 1,200	中段
9月27日	第27回 東京マスターズ陸上競技選手権大会	※ 960	メイン
9月28日	第47回 練馬区中学校生徒総合体育大会陸上競技大会	※ 1,020	メイン
9月29日	第61回 荒川区中学校連合体育大会	※ 3,625	メイン
9月30日	第41回 中野区中学校連合陸上競技大会	※ 800	メイン
10月2日	第62回 渋谷区立中学校陸上競技大会	※ 1,300	メイン
10月4日	グリーンリボン ランニングフェスティバル	※ 3,390	メイン
10月4日	2009 Jリーグデビジョン2 第43節 東京ヴェルディ VS ヴァンフォーレ甲府	7,850	中段
10月7日	平成21年度 港区立中学校連合体育大会	※ 690	メイン
10月10日	高円宮杯 第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会(準決勝)2試合	4,698	中段
10月11日	第49回豊島区民陸上競技大会兼第57回豊島区中学校陸上競技大会	※ 2,945	メイン
10月12日	関東学連秋季オープン競技会	※ 1,400	中段

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成21年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
10月18日	神宮外苑'09 EKIDEN 20K	※ 9,550	メイン
10月20日	平成21年度 第55回 渋谷区立小学校陸上記録会	※ 1,550	メイン
10月24日	第46回東京スポーツ祭典陸上競技大会	※ 1,080	メイン
10月25日	2009 Jリーグディビジョン2 第47節 横浜FC VS セレッソ大阪	3,584	中段
10月31日	ブレディスローカップ東京2009	44,449	全段
11月3日	2009 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 決勝	44,919	全段
11月7日	AFCチャンピオンズリーグ2009決勝	26,023	全段
11月14日	走快感発信基地@東京・国立競技場	※ 1,020	メイン
11月15日	第4回 東京アスレチックカーニバル	※ 3,160	メイン
11月22日	国立競技場 ファンランDAY 2009	※ 450	
11月28日	10,000m記録挑戦競技会	※ 1,050	メイン
11月29日	FIT チャリティラン	※ 4,520	メイン
12月6日	東京大学対抗戦 早稲田大 VS 明治大	23,494	全段
12月12日	ユニクロサッカーキッズ	※ 6,900	メイン
12月13日	第27回 JBMA神宮外苑ロードレース	※ 3,600	メイン
12月29日	第89回 天皇杯 全日本サッカー選手権 準決勝 第21回 高円宮杯 全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 決勝	25,878	全段
12月30日	平成21年度 第88回全国高校サッカー選手権大会 開会式・開幕戦	12,394	中段
1月1日	第89回 天皇杯 全日本サッカー選手権大会 決勝 第31回 全日本女子サッカー選手権大会 決勝	42,140	全段
1月2日	第46回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 準決勝	22,097	全段
1月6日	第58回 全日本大学サッカー選手権大会 決勝	6,282	中段
1月9日	第88回 全国高校サッカー選手権大会 準決勝	21,739	全段
1月10日	第46回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 決勝	17,569	全段
1月11日	第88回 全国高校サッカー選手権大会 決勝	43,635	全段
1月31日	第8回 新宿シティハーフマラソン	※ 22,500	中段
2月7日	東アジアサッカー選手権2010決勝大会 韓国 VS 香港 東アジア女子サッカー選手権2010決勝大会 韓国 VS チャイニーズ・タイペイ	2,728	中段
2月11日	東アジアサッカー選手権2010決勝大会 日本 VS 香港 東アジア女子サッカー選手権2010決勝大会 日本 VS チャイニーズ・タイペイ	16,368	中段
2月14日	東アジアサッカー選手権2010決勝大会 中国 VS 香港 日本 VS 韓国	42,951	全段
2月27日	FUJI XEROX SUPER CUP 2010 鹿島アントラーズ VS ガンバ大阪	34,634	全段
3月28日	デンソーカップ 第7回日韓定期戦	3,001	中段
3月31日	ヤマザキナビスコカップ 予選リーグ FC東京 VS 名古屋	12,291	中段
	年 間 合 計	1,086,895	

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成22年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
4月3日	東京六大学対抗陸上競技会	※ 1,000	メイン
4月12日	DIESEL BLACK GOLD COLLECTION	1,322	
5月1日	第73回東京陸上選手権大会 兼 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会	※ 4,250	メイン
5月2日		6,270	
5月4日	国立競技場ジャンボフリーマーケット	1,106	
5月9日	第28回 東京マスターズ陸上選手権大会	※ 1,208	メイン
5月15日	第89回 関東学生陸上競技選手権大会	3,200	メイン
5月16日		3,600	
5月22日		5,200	
5月23日		5,200	
5月30日	2010Jリーグ デビジョン2 東京V VS 横浜FC	6,761	中段
6月5日	JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2010「ユニクロサッカーキッズ in 国立競技場	※ 6,735	中段
6月8日	国学院高等学校陸上競技大会	※ 3,360	メイン
6月19日	ワールドカップ パブリックビューイング イン 東京2010	13,189	中段
6月25日	第61回 早慶サッカー定期戦	10,567	中段
6月26日	秩父宮盃第42回全日本大学駅伝対抗選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会	※ 1,050	メイン
7月18日	第1回東京ナイター陸上 兼 第65回国民体育大会東京都代表選手選考会	6,900	中段
7月28日	2010Jリーグ デビジョン1 第15節 FC東京 VS ジュビロ磐田	26,534	中段
8月4日	ヤマザキナビスコカップ 王者決定戦 FC東京 VS リガ・デ・キト	19,423	
8月13日	第44回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会	3,133	
8月14日		※ 3,574	
8月15日		3,269	
8月15日	2010Jリーグディビジョン2 第22節 東京ヴェルディ vs コンサドーレ札幌	7,902	中段
8月19日	2010神宮外苑花火大会	23,876	
8月21日	2009神宮外苑花火大会後夜祭 アラシコンサート	53,589	
8月22日		50,484	
8月25日	東京私立中学高等学校対抗陸上競技選手権大会	※ 5,150	
8月26日		5,150	
8月28日	第26回 全国小学生陸上競技交流大会	※ 17,000	
9月3日	アラシコンサート	100,000	全段
9月4日			
9月10日	第79回 日本学生陸上競技対抗選手権大会	22,500	中段
9月11日			
9月12日			
9月14日	第21回関東学生新人陸上競技選手権大会	※ 10,250	中段
9月15日			
9月16日	第31回 全日本マスターズ陸上競技選手権大会	※ 4,950	メイン
9月17日			
9月18日			
9月19日			
9月20日	新宿区民総合体育大会陸上競技大会新宿トリムマラソン	※ 1,000	メイン
9月23日	第50回豊島区民陸上競技大会兼第58回豊島区中学校陸上競技大会	※ 2,570	メイン
9月24日	第62回 荒川区中学校連合体育大会	※ 4,100	メイン
9月26日	2010 Jリーグディビジョン2 第28節 横浜FC VS カターレ富山	10,809	中段
9月28日	第64回 台東区中学校連合陸上競技大会	※ 1,000	メイン
9月29日	第48回 練馬区中学校生徒総合体育大会陸上競技大会	※ 1,050	メイン
10月1日	平成22年度 千代田区小中学校陸上競技大会	※ 1,188	メイン
10月3日	2010 Jリーグディビジョン1 第26節 FC東京 VS 湘南	21,075	中段
10月4日	第63回 大田区立中学校陸上競技選手権大会	※ 2,000	メイン

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）行事等一覧

平成22年度

利用日	行 事 名	有料入場者数 ※ 無料行事	スタンド区分
10月5日	第63回 渋谷区立中学校陸上競技大会	※ 1,810	メイン
10月6日	港区立中学校連合体育大会	※ 1,000	メイン
10月9日	第21回 高円宮杯 全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 準決勝	4,720	中段
10月10日	第11回 東京夢舞いマラソン大会	※ 1,520	メイン
10月15日	第64回 目黒区中学校連合体育大会	※ 2,800	メイン
10月17日	国立競技場 ファンランDAY 2010	※ 550	メイン
10月22日	第56回 渋谷区立小学校陸上記録会	※ 1,350	メイン
10月24日	グリーンリボン ランニングフェスティバル	※ 4,075	メイン
10月31日	東京女子陸上競技大会	※ 4,500	メイン
11月3日	2010 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 決勝	39,767	全段
11月7日	FIT チャリティラン	※ 6,550	メイン
11月13日	AFC CHAMPIONS LEAGUE 決勝	27,308	中段
11月14日	第5回 東京アスレチックカーニバル	※ 4,380	メイン
11月21日	2010オリンピックデーラン東京大会	※ 2,900	メイン
11月27日	10,000m記録挑戦競技会	※ 1,500	メイン
12月5日	関東大学ラグビー対抗戦 明治大 VS 早稲田大	37,156	全段
12月12日	第28回 JBMA 神宮外苑ロードレース	※ 2,300	メイン
12月19日	2010 神宮外苑 EKIDEN 20K	※ 13,000	
12月29日	第90回 天皇杯 全日本サッカー選手権 準決勝 第21回 高円宮杯 全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 決勝	25,120	中段
12月30日	第89回 全国高校サッカー選手権大会 開会式・開幕戦	13,532	中段
1月1日	第90回 天皇杯 全日本サッカー選手権大会 決勝 第32回 全日本女子サッカー選手権大会 決勝	41,348	全段
1月2日	第47回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 準決勝	28,466	全段
1月5日	第59回 全日本大学サッカー選手権大会 決勝 第19回 全日本大学女子サッカー選手権大会 決勝	5,519	中段
1月8日	第89回 全国高校サッカー選手権大会 準決勝	20,221	全段
1月9日	第47回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 決勝	25,458	全段
1月10日	第89回 全国高校サッカー選手権大会 決勝	35,687	全段
1月30日	第9回 新宿シティハーフマラソン	※ 10,000	中段
	2月は改修工事のため行事なし		
3月29日	キリンチャレンジカップ2011 日本代表 VS ニュージーランド代表 (3.11東日本大震災により中止)		
	年 間 合 計	845,031	

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）

行事等一覧（H20～H22）

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成20年度

大会日	行 事 名	
4月	4月ラグビー利用 7日(無料)	1,445
5月4日	秩父宮ラグビー場BIGフリーマーケット	1,500
5月5日	第7回東日本大学セブンス	2,980
6月	利用なし	
7月	利用なし	
8月8日	2008神宮外苑花火大会	14,944
9月5日	トップリーグ 東芝×三洋【N】	15,017
9月12日	トップリーグ NEC×横河電機	4,089
9月13日	関東大学対抗戦 明治×成蹊・早稲田×立教	5,631
9月15日	関東大学リーグ戦 法政×大東文化大学	2,208
9月20日	トップリーグ 東芝×九州電力・クボタ×サントリー	7,727
9月21日	関東大学対抗戦 日大×拓殖	630
9月23日	関東大学対抗戦 慶応×筑波 関東大学リーグ戦 流経×東海	4,194
10月4日	関東大学リーグ戦 関東学院大学×大東文化大学／東海大学×中央大学	3,412
10月5日	関東大学対抗戦 帝京大学×日本体育大学	1,038
10月10日	トップリーグ NEC×クボタ	4,020
10月11日	関東大学リーグ戦 法政大学×東海大学	2,183
10月12日	関東大学リーグ戦 関東学院大学×拓殖大学	1,608
10月13日	トップリーグ 横河電機×ヤマハ／日本IBM×サントリー	7,589
10月18日	トップリーグ クボタ×コカ・コーラW／東芝×NEC	8,223
10月19日	関東大学対抗戦 早稲田大学×筑波大学／帝京大学×慶應義塾大学	7,904
10月25日	トップリーグ 日本IBM×東芝	4,859
10月26日	関東大学対抗戦 明治大学×日本体育大学	2,238
11月1日	関東大学対抗戦 筑波大学×立教大学／早稲田大学×帝京大学	7,037
11月2日	関東大学対抗戦 慶應義塾大学×明治大学	6,795
11月3日	関東大学リーグ戦 関東学院大学×法政大学	4,102
11月8日	トップイースト 東京ガス×NTTコミュニケーションズ	2,701
11月9日	関東大学リーグ戦 拓殖大学×東海大学	1,003
11月15日	トップイースト 釜石SW×サントリーフーズ／三菱重工相模原×秋田NB	1,923
11月16日	全国高校大会東京都大会決勝 関東大学対抗戦 帝京大学×明治大学	8,314
11月22日	リポビタンDチャレンジ2008 日本代表×アメリカ代表	11,970
11月23日	関東大学対抗戦 早稲田大学×慶應義塾大学	20,411
11月24日	トップイースト11 東京ガス×栗田工業	677
11月29日	トップイースト11 三菱重工相模原×セコム トップリーグ 横河電機×日本IBM	3,549
11月30日	関東大学リーグ戦 関東学院大学×東海大学	5,373
12月6日	トップイースト11 JAL×東京ガス トップリーグ 東芝×横河電機	4,288
12月13日	大学ジュニア選手権 決勝 トップイースト11 リコー×NTTコミュニケーションズ	4,170
12月14日	トップリーグ 日本IBM×クボタ／サントリー×近鉄	3,161
12月20日	全国大学ラグビーフットボール選手権大会 1回戦 2試合	7,732
12月21日	トップイースト11 リコー×セコム トップリーグ サントリー×NEC	7,389
12月25日	東日本中学生大会	1,115
11月27日	トップイースト11 セコム×NTTコミュニケーションズ／リコー×三菱重工	3,278
11月28日	全国大学ラグビーフットボール選手権大会 2回戦 2試合	8,540
1月3日	トップリーグ 日本IBM×トヨタ／サントリー×神戸製鋼	9,691

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成20年度

大会日	行 事 名	
1月4日	トップリーグ 横河電機×クボタ	3,773
1月11日	トップリーグ NEC×コカ・コーラW	3,250
1月17日	トップチャレンジ NTT×三菱重工／リコー×マツダ	2,904
1月18日	トップリーグ NEC×サニックス／東芝×三洋	12,661
2月1日	全国クラブ選手権 決勝 トップリーグプレーオフTマイクロソフトカップ準決勝	12,591
2月7日	第46回日本ラグビーフットボール選手権大会 1回戦 2試合	7,525
2月8日	トップリーグプレーオフトーナメントマイクロソフトカップ決勝	17,385
2月15日	第46回日本ラグビーフットボール選手権大会 2回戦 2試合	14,300
2月28日	第46回日本ラグビーフットボール選手権大会 決勝	12,207
3月	西スタンド改修工事のため利用なし	
	年 間 合 計	313,254

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成21年度

大会日	行 事 名	
4月	西スタンド改修工事のため利用なし	
5月	西スタンド改修工事のため利用なし	
6月5日	IRBジュニアワールドカップ プールB 1回戦2試合【N】	9,274
6月9日	IRBジュニアワールドカップ プールB 2回戦2試合【N】	10,856
6月13日	IRBジュニアワールドカップ プールB 3回戦2試合【N】	15,390
6月17日	IRBジュニアワールドカップ 準決勝 2試合【N】	8,446
6月21日	IRBジュニアワールドカップ 決勝/3位決定戦	11,400
7月	利用なし	
8月6日	2009神宮外苑花火大会	14,623
9月12日	トップリーグ クボタ×ヤマハ発動機【N】	1,926
9月13日	関東大学対抗戦 成蹊×早稲田・立教×帝京【N】	4,153
9月19日	トップリーグ サントリー×九州電力・リコー×NEC【N】	5,861
9月20日	トップイーストリーグ 横河武蔵×キャノン	1,738
9月25日	トップリーグ リコー×神戸製鋼	5,169
9月26日	トップリーグ クボタ×福岡サンニクス・東芝×トヨタ自動車	6,222
9月27日	関東大学対抗戦 筑波×帝京	1,051
10月4日	青山スポーツ祭り	3,000
10月9日	トップリーグ サントリー VS ホンダ	4,431
10月10日	トップリーグ リコー VS ホンダ NEC VS クボタ	5,221
10月12日	関東大学リーグ戦 流通経済大 VS 関東学院大 関東大学対抗戦 日体大 VS 慶応	5,467
10月17日	トップリーグ サントリー VS トヨタ 東芝 VS 近鉄	7,805
10月18日	関東大学リーグ戦 中央大 VS 東海大 関東大学対抗戦 日体大 VS 帝京	1,907
10月20日	MIHARAYASUGIRO 2010S/S Collection	700
10月24日	トップリーグ リコー VS 九州電力 サントリー VS クボタ	5,569
10月25日	イーストリーグ NTTコミュニケーションズ VS サントリーフーズ	1,243
10月31日	イーストリーグ 栗田工業 VS 日本IBM 関東大学対抗戦 帝京 VS 早稲田	9,342
11月1日	関東大学対抗戦 明治大 VS 関東学院大	9,664
11月3日	イーストリーグ 東京ガス VS キャノン 関東大学対抗戦 法政大 VS 関東学院大	5,339
11月7日	関東大学リーグ戦 東海大 VS 日本大 関東大学対抗戦 日体大 VS 早稲田	4,774
11月8日	イーストリーグ 三菱重工相模原 VS 日本IBM	965
11月14日	関東大学リーグ戦 日本大 VS 法政大 関東学院大 VS 東海大	3,283
11月15日	トップイースト11 釜石 VS サントリーフーズ 三菱重工相模原 VS 秋田	6,272
11月21日	リポビタンDチャレンジ 2009 日本代表 VS カナダ代表	10,278
11月22日	関東大学リーグ戦 大東文化大 VS 拓殖大	4,031
11月23日	関東大学対抗戦 慶応大 VS 早稲田	20,684
11月28日	トップイースト NTTコミュニケーションズ VS 三菱重工相模原 トップリーグ 三洋電機 VS 神戸製鋼	7,976
11月29日	トップイースト 三菱重工相模原 VS セコム トップリーグ 横河電機 VS 日本IBM	3,416
12月5日	関東大学対抗戦 筑波大 VS 日体大 慶応大 VS 帝京	5,050
12月12日	トップリーグ 東芝 VS クボタ	4,316
12月13日	大学ジュニア選手権決勝 イーストリーグ 東京ガス VS セコム	3,388
12月19日	トップリーグ NEC VS 福岡サンニクス クボタ VS リコー	5,129

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成21年度

大会日	行 事 名	
12月20日	大学選手権 1回戦2試合	7,608
12月23日	東日本中学校順決勝 イーストリーグ サントリーフーズ VS 釜石SWRC	3,516
12月26日	イーストリーグ 秋田ノーザンブレッツ VS 日本航空 NTTコミュニケーションズ VS 横川武蔵野	5,025
12月27日	大学選手権 2回戦2試合	22,059
1月9日	トップリーグ NEC VS ヤマハ サントリー VS 三洋電機	12,694
1月11日	イーストリーグ プレーオフ 三菱重工 VS 横河武蔵野	1,460
1月23日	ワイルドカードトーナメントファイナル クボタ VS NEC 神戸製鋼 VS コカ・コーラ	5,630
1月24日	トップリーグ プレーオフトーナメント セミファイナル 東芝 VS サントリー	9,824
1月30日	トップチャレンジ 横河武蔵野 VS NTTドコモ NTTコミュニケーションズ VS 豊田自動織機	4,989
1月31日	トップリーグ プレーオフトーナメント ファイナル 三洋電機 VS 東芝	18,175
2月7日	第47回 日本選手権大会1回戦 帝京大 VS 六甲ファイティングブル	5,073
2月13日	トップリーグ入替戦 リコー VS マツダ	1,199
2月14日	第47回 日本選手権大会2回戦	7,933
2月20日	女子7人制代表セレクションマッチ	7,148
2月28日	第47回 日本選手権大会 決勝	11,479
3月22日	全日中法専四大学対抗 全中央大 VS 全専修大 全法政大 VS 全日本大	1,068
	年 間 合 計	360,239

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成22年度

大会日	行 事 名	
4月3日	全早慶明三大学対抗戦 全慶応大 VS 全早稲田大	3,073
4月11日	全早慶明三大学対抗戦 全明治大 VS 全慶応大	2,324
4月18日	全早慶明三大学対抗戦 全早稲田大 VS 全明治大	4,650
4月25日	セブンス フェスティバル2010 in TOKYO	3,080
5月8日	HSBC アジア五カ国対抗 2010 日本代表 VS アラビアンゴルフ代表	5,437
5月9日	東日本大学セブン	2,361
5月15日	HSBC アジア五カ国対抗 2010 日本代表 VS カザフスタン代表	6,336
5月22日	HSBC アジア五カ国対抗 2010 日本代表 VS 香港代表	9,509
6月19日	第17回 郡上おどり IN青山	5,060
6月20日		4,060
7月	7月利用なし	
8月19日	2010神宮外苑花火大会	20,000
9月3日	トップリーグ 東芝 VS 三洋電機	13,840
9月10日	トップリーグ リコー VS サントリー	5,644
9月11日	トップリーグ クボタ VS NEC 東芝 VS NTT	7,600
9月12日	関東大学対抗戦A 慶応大 VS 成蹊 早稲田 VS 立教	4,472
9月17日	トップリーグ NTT VS クボタ	4,528
9月18日	トップリーグ リコー VS 福岡 三洋電機 VS ヤマハ	5,535
9月19日	関東大学対抗戦A 明治大 VS 筑波大	3,769
10月1日	トップリーグ NEC VS 東芝	7,392
10月2日	トップリーグ リコー VS コカ・コーラ サントリー VS 豊田自動織機	4,617
10月10日	関東大学リーグ戦 法政大 VS 拓殖大 中央大 VS 関東学院大	2,710
10月11日	イーストリーグ 釜石RFC VS 日本IBM 秋田 VS 栗田工業	2,523
10月16日	トップリーグ クボタ VS 豊田自動織機 NEC VS VS 三洋電機	6,689
10月17日	関東大学対抗戦A 帝京大 VS 筑波大	1,488
11月23日	トップリーグ サントリー VS ヤマハ 東芝 VS クボタ	6,796
10月24日	イーストリーグ 横河武蔵野 VS JAL	1,497
10月30日	リポビタンDチャレンジ 日本代表 VS サモア代表	3,939
10月31日	関東大学リーグ戦 流通経済大 VS 東海大 関東学院大 VS 法政大	2,990
11月3日	関東大学対抗戦 帝京大 VS 早稲田大 慶応大 VS 明治大	20,726
11月6日	リポビタンDチャレンジ 日本代表 VS ロシア代表	6,386
11月7日	イーストリーグ 日野自動車 VS 横河武蔵野 三菱重工相模原 VS 東京ガス	1,817
11月13日	イーストリーグ セコム VS キヤノン 東京ガス VS サントリーフーズ	2,169
11月14日	全国高校大会都予選1区2区決勝	7,152
11月20日	関東大学リーグ戦 法政大 VS 東海大	2,022
11月21日	東日本トップクラブ選手権決勝／関東大学対抗戦 帝京大 VS 明治大	6,804
11月23日	関東大学対抗戦 早稲田大 VS 慶応大	19,426
11月27日	トップリーグ リコー VS トヨタ自動車 サントリー VS NTTコミュニケーションズ	7,000
11月28日	関東大学リーグ戦 法政大 VS 関東大	3,000
12月4日	関東大学対抗戦 日体大 VS 筑波大 帝京大 VS 慶応大	5,731
12月11日	トップリーグ 東芝 VS 神戸製鋼 三洋電機 VS サントリー	13,251
12月12日	大学ジュニア選手権決勝／トッピーイースト 三菱重工 VS 横河武蔵野	2,192
12月19日	第47回 全国大学選手権大会 2回戦2試合	6,433

国立霞ヶ丘競技場（ラグビー場）行事等一覧

平成22年度

大会日	行 事 名	
12月23日	東日本中学生大会 準決勝 2試合	1,100
12月25日	トップリーグ NTTコミュニケーションズ VS ヤマハ NEC VS 近鉄	5,324
12月26日	第47回 全国大学選手権大会 2回戦2試合	5,000
1月3日	トップチャレンジ 東京ガス VS ホンダ	1,268
1月10日	トップリーグ 三洋電機 VS トヨタ自動車 東芝 VS サントリー	12,824
1月15日	トップチャレンジ	3,000
1月22日	トップリーグ ワイルドカード Or プレーオフトーナメント セミファイナル	7,449
1月23日	トップリーグ ワイルドカード Or プレーオフトーナメント セミファイナル	5,600
1月30日	トップリーグ プレーオフトーナメント ファイナル	10,000
2月6日	第48回 日本選手権大会 1回戦2試合	8,178
2月12日	トップリーグ 入替戦 NTTコミュニケーションズ VS キヤノン	2,784
2月13日	第48回 日本選手権大会 2回戦2試合	7,870
2月19日	第48回 日本選手権大会 準決勝1試合	7,372
2月27日	第48回 日本選手権大会 決勝 第7回 サントリーカップ 全国小学生タグラグビー選手権大会	14,477
	3.11東日本大震災により行事中止(三地域対抗戦、三惑対抗ラグビー大会、港区タグラグビー大会)	
	年 間 合 計	348,274

国立代々木競技場 管理・運營業務

要求水準書（案）

独立行政法人日本スポーツ振興センター

目次

1. 総則	1
1.1. 本書の位置付け	1
1.2. 業務概要	1
1.3. 費用分担	4
2. 運營業務	7
2.1. 室内水泳場業務	8
2.2. 事業課窓口業務	11
3. 保守管理業務	12
園地整備業務	13
3.2. 施設環境整備業務	14
3.3. 有料駐車場管理業務	15
3.4. 定期点検等及び保守業務	17
3.5. 設備運転監視及び日常保守点検業務	18
4. 警備業務	22
5. 清掃業務	26
5.1. 清掃業務	27
6. 環境衛生管理業務	29
6.1. 各種環境測定	30
6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務	31
6.3. 害虫防駆除及び消毒作業	32
6.4. 空調用エアフィルター交換作業	34
6.5. 清掃用床モップ等の交換	35

1. 総則

1.1. 本書の位置付け

本要求水準書は、国立代々木競技場の管理・運営にかかる業務内容を示したものである。

1.2. 業務概要

(1) 業務名

国立代々木競技場管理・運営業務一式

(2) 対象施設

独立行政法人日本スポーツ振興センター

国立代々木競技場	東京都渋谷区神南二丁目1番1号
----------	-----------------

(3) 営業日・営業時間

施設	業務実施日	休業日	施設貸出時間
水泳場	営業日	第2・第4火曜日 12月28日～1月4日	10:00～20:30

(4) 対象業務

本要求水準書の対象業務は、以下のとおりである。

運営業務	室内水泳場業務（有料事業運営業務） 事業課窓口業務
保守管理業務	園地整備業務 施設環境整備業務 有料駐車場管理業務 定期点検等及び保守業務 設備運転監視及び日常点検業務
警備業務	警備業務
清掃業務	清掃業務
環境衛生管理業務	各種環境測定 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務 害虫防駆除・消毒作業 空調用エアフィルター交換作業 清掃用床モップ等の交換

(5) 共通仕様書の適用

本要求水準書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築保全業務共通仕様書（平成20年版）」を適用する。その際、「監督員」を、本業務の監督職員である独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「NAASH」という。）の監督職員と読み替えるものとする。

(6) 提出書類2

次の書類を作成し、定められた期日までに監督職員に提出する。

提出書類	内容	提出期日
業務計画書	業務実施時期及び方法、実施体制など	当該年度開始 30 日前まで (委託期間の開始日を含む年度は委託期間の開始日の 14 日前まで)
緊急対応連絡表		業務開始前まで
防災マニュアル		協議の上、業務開始後 1 か月以内まで
警備計画書		業務開始前まで
作業報告書	日報 (日計表、警備日誌を含む)	翌日の 10 時まで
	月報	翌月の 5 日まで
	年報	翌月の 10 日まで

なお、作業報告書として以下の書類を整備し、常時閲覧が可能なように保管を行う。

業務項目	記録書類
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画・報告書類 ・ 業務日誌 ・ 監督職員との打合せ記録簿
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付名簿
保守管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンテナンス用台帳類 ・ 事故・修繕・更新記録等 ・ 電気機械設備月例点検記録 ・ 運転記録簿 ・ 計測記録簿 ・ 点検記録簿
警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備日誌 ・ 出入者名簿 ・ 鍵授受簿 ・ 拾得物台帳 ・ 遺失物届出書 ・ 自主点検チェック票 (火気、避難障害・閉鎖障害)

(7) 自己モニタリングの実施

自己モニタリングの方法をまとめた自己モニタリング計画書 (日次、定期、臨時) を、契約締結後 1 ヶ月以内に監督職員に提出する。また、その内容に変更のある場合は、変更点を速やかに監督職員に報告する。

(8) 収入金の入金

本業務における利用者等からの収入金は、日計表にまとめるとともに、翌朝 9 時までに N A A S H へ入金する。

(9) 業務責任者及び法定資格者等の選任

- ・ 業務の実施に先立ち、総合責任者及び別紙1-1のとおり対象業務別に業務責任者を選任し、書面をもって監督職員に通知する。業務責任者に変更があった場合も同様とする。
- ・ 総合責任者は施設に常駐するものとし、不在の場合における代理人を定める。
- ・ 別紙1-2のとおり、業務実施上必要な法定資格者等を選任し、必要な業務を行う。

(10) 実施体制の構築

- ・ 業務の実施に際して、法的に必要な資格を有する人員、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を配置し、適切な業務実施体制を構築する。

(11) 緊急時の措置

- ・ 災害、設備の異常及び施設営業に対する支障等の緊急事態に対する連絡体制、対応方法について、監督職員とあらかじめ協議して定めておく。
- ・ 緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるものとする。この場合は、直ちに監督職員に報告する。
- ・ 緊急時の措置に要する費用の負担は、監督職員との協議による。

(12) 環境への配慮

- ・ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）（平成12年法律第100号）に基づき、環境負荷の低減に努める。
- ・ その他、節水・節電等、光熱給水の低減に努める。

(13) その他の一般共通事項

- ・ 本要求水準書及び共通仕様書に定めがない事項及び業務が困難な部分等の対応については、事前に監督職員と協議する。
- ・ 業務計画の作成及び業務の実施は、施設運営及び施設において開催される行事に関する事項を十分把握し、その支障とならないように行う。
- ・ 官公署の検査がある場合は、NAASHの指示により立会い等に協力する。
- ・ 施設において開催される行事の打合せに参画し、監督職員の監督下において、行事主催者等との調整を図り、円滑に業務を実施する。
- ・ 業務の実施に当たっては、各業務で使用する控室等諸室及び業務の実施場所の清掃、整理整頓及び周辺環境整備に努める。
- ・ 各施設・各機器の安全な運用を確保するための改修、並びに工事が必要と認める時は速やかに意見を付してNAASHに報告し、その指示を受ける。
- ・ 本業務における現金及び過不足金等の取扱いについては、以下のとおりとする。
 - ✓ 釣銭は、民間事業者の責任において準備し、これを保管する。

- ✓ 売上金に不足を生じた場合、不足金は民間事業者が負担する。
- ✓ 売上金に過剰金が生じる場合は、N A A S Hに納める。
- ・ 一時保管してから3ヶ月が経過した拾得物を処分する必要がある場合には、別紙1-3に記載の上、監督職員に廃棄処分リストとともに提出する。
- ・ 民間事業者は、業務担当者に対し、身分を証明する名札等を着用させる。

1.3. 費用分担

各業務におけるN A A S H及び民間事業者の費用負担は以下の通り。

	区分	N A A S H負担	民間事業者負担
運営 業務	窓口・ 受付・ 巡回業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更衣室用足拭きマット ・ 循環水配管用滅菌消毒剤、応急用医薬品類 ・ 男女更衣室ロッカー(2列3段6人用、男女各25台)、ドライヤー、ベンチ等営業用備品 ・ コースロープ ・ プール水槽清掃用クリーナー3台(プールロボット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫
	水泳教室等の 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ プールフロア(大) 9台 ・ プールフロア(小) 12台 <li style="text-align: center;">合 計 21台 ・ ビート板(大) 219枚 ・ ビート板(中) 35枚 ・ ビート板(小) 17枚 <li style="text-align: center;">合 計 281枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫、釣銭、ポット
	アンケート調 査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート用紙投入箱 	アンケートの実施にかかる費用
	事業課窓口業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務に必要なものは準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉛筆・消しゴム等事務用消耗品
保守 管理 業務	園地整備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽及び樹木等維持管理用に必要な工具類や資材用燃料一式 ・ 園地整備用薬剤
	施設環境整備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼をかける業務内容により必要なもの。
	有料駐車場管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料駐車場有料駐車場自動料金精算システム ・ 機器予備部品(停止バー) ・ カラーコーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫 ・ 駐車券、集計用ロール紙、パスカードなど営業消耗品一式
	設備運転監視及び日常 点検業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍光灯、乾電池等電気設備維持消耗品一式 ・ フラッシュバルブ等機械設備維持消耗品一式 ・ プール等水質維持管理用薬剤 ・ 排水管洗浄剤 ・ 非常用発電機に使用する燃料(軽油) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械工具類、計測機器、遊離残留塩素測定用機材など、日常点検業務に必要なもの。 ・ 次亜塩素酸ソーダ

設備 保守 点検 業務	設備保守点検業務	軽微な不良箇所の復旧を除く修理及び修繕（要求水準書で別に定めるものを除く。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽微な不良箇所の復旧 ・ 要求水準書で消耗品の定期交換を明記しているもの
警備 業務	警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各所鍵（約1,500本） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備員用制服一式等警備業務で必要なもの。
清掃 業務	清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃・大会清掃等で補充が必要なトイレトーパー、ゴミ収集袋 ・ ごみ箱、汚物入れ、スタンド式灰皿、プール水槽清掃用クリーナー3台（プールロボット） ・ 施設内外に設置されている分別用ごみ箱、及び汚物入れ ・ 体育館スタンド清掃用ダストモップ、ハンドモップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会業務で使用する防臭剤、石鹼水 ・ 男子小便器用サニタリーシート ・ 真空掃除機、軍手、箒、ちりとり、雑巾、洗剤等清掃業務に必要な消耗品。 ・ 清掃業務に要する機材（定期清掃用特殊機械、リヤカー等ゴミ運搬用車両など。） ・ 床用モップ（ノンオイルモップ）、足拭きマット（オイルタイプ、ノンオイルタイプ）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ分別処理の過程において出されたびんかんペットボトルや不燃物の処理費用、可燃ごみ等の一般廃棄物の処理費用 	
環境 衛生 等管 理業 務	環境衛生等管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検査に使用する試薬や害虫防駆除剤
共通	控室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無償で貸与する。貸与する施設は以下のとおりとする。 ① 委託業者控室（本部） ② 清掃員控室 ③ 園地控室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 控室退去時による原状復帰にかかる費用
	備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場に備えられているAED ・ 各諸室内線電話 ・ 中央監視室及び事業課事務所内外線電話 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業課窓口業務を除く業務で使用するパソコン、プリンター、ファクシミリ等の消耗品（プリンタートナー、コピー用紙、感熱紙等含む。）
	事務用品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務遂行上必要な事務用消耗品
	消耗品	各現場に必要なランプ類、乾電池等、監督職員が貸与したコピー機等で使用する用紙・消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出退勤記録簿、業務日誌等記録用紙 ・ 各種業務に必要なユニホーム等被服類一式
	設備類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用監視モニター設備一式 ・ 消防用監視設備一式 	
	修繕費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各業務において発見された修繕箇所の補修費用一式（ただし、民間事業者側の過失によるものを除く。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者側の過失による修繕費用一式

	光熱水費等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務運営上必要とする光熱水費 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 控室使用における清掃費、ごみ処理費、及び蛍光灯・トイレトーパーなど消耗品費 ・ 委託業者控室（本部）で使用する水道光熱水費、通信費
	その他費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の雇用等に要する一切の経費 ・ 従業員の資格取得に必要とする経費、及び監督官庁への手続きに要する一切の経費 ・ 租税公課、保険料等業務を維持運営していくための必要経費

2. 運營業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 業務の遂行に際しては、細心の注意を持って館内の安全・秩序を維持する。
- 業務の実施に当たっては、利用者に不快感を与えないように、統一した清潔な服装を着用し丁寧でわかりやすい説明を行うなどの接客サービスを維持する。
- 受付において、利用者を待たせることなく速やかに対応する。
- 他の業務との連絡調整を適切に行い、本業務の範囲内において利用者の要望に速やかに対応する。
- 対象業務以外の内容については、速やかに監督職員に報告する。
- 利用申込前に当たっては、大会等の都合を確認の上、日程が重複することがないようにする。
- 利用団体の希望日時等が重なった場合の調整において、公平性を保つ。
- 利用者からの料金徴収において間違いがないように正確に管理及び記録する。
- 業務環境を常に清潔かつ整理整頓された状態に保つ。
- 水泳教室等については、民間事業者自らが運営方法、需要動向などを勘案した上で、民間事業者が提案する。なお、施設利用時間は、本要求水準書に定める業務時間内となる。
- 水泳教室等のプログラムは、利用者がスポーツを親しみ、また楽しみながら健康増進や競技力向上を図ることが出来るような魅力的な内容とする。
- 水泳教室等のプログラムの実施に際しては、必要に応じて指導員などの専門技能保有者を適切に配置し、快適で質の高いサービスを提供する。
- 利用者アンケートの標本数は、各施設100人程度とする。

2.1. 室内水泳場業務

1) 業務概要

室内水泳場の受付業務及び館内の巡回業務を行うものとし、利用者への適切な案内業務、避難誘導等の安全確保、日常清掃等を通じて、サービスの向上及び衛生管理に努める。また、水泳教室等の実施を行う。

なお、行事の開催状況によっては、屋内水泳場等が使用できなくなる場合がある。

(1) 業務実施場所

業務実施場所は、室内水泳場受付及び室内水泳場内とする。

(2) 利用料金の設定及び民間事業者の収入

屋内水泳場における料金設定については、民間事業者の提案に基づき設定するものとし、NAASHと民間事業者の協議の上、変更できるものとする。収入はNAASHに帰属し、民間事業者は、契約書に定める委託費により運営を行う。ただし、基準額（過年度の平均収入となる69,600千円）を超える収入が得られた場合には、その超過金額の50%をNAASHが民間事業者に追加で支払う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	業務内容	NAASH	民間事業者
(1) 室内水泳場受付・巡回業務	受付業務	△承諾	○
	巡回業務	△指示	○
	その他業務		○
(2) 水泳教室等の実施		△承諾	○
(3) 利用者アンケート調査		△承認	○

3) 業務内容

(1) 室内水泳場受付・巡回業務

受付業務	営業前	<ul style="list-style-type: none"> 必要な諸室の鍵を警備室から受け取り、開場準備を行う。 足洗槽に給水する。 監督職員から受け取った週間予定表をロビー内の掲示板に掲示する。 水中クリーナーをプールから取り出し所定の場所に置き、集塵袋を清掃する。
	営業中	<p>水泳教室利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の入退場管理 受講証の提示を求め、入退場の管理を行う。受講証忘れの利用者に対しては、所定の方法に従って対応する。 利用者数のカウントを行い、日誌に記載する。 <p>団体利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者は、営業前に利用申込み団体及び入金状況を確認する。 確認後、プール受付の利用予定表に利用団体名等を記載する。 団体責任者が利用者を引率し、入場させた後受付ける。団体利用の責任者には、団体利用報告書に必要事項を記入してもらう。遅れてきた利用

		<p>者に対しては、団体の受講者証を提示の上、入場を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体利用者のカウントを申告させ、利用時間・利用人数等を日誌に記載する。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の入場から完全退場まで、受付に常駐し、無断入場や不審者の侵入がないように十分監視をする。 ・ 利用者がケガ等を申告してきた場合には、応急処置を行う。利用者の疾病の状況によっては、警備室と連携して救急手配をかける。 ・ コインロッカー等の利用のため、利用者が両替を申し出た場合には対応する。 ・ 利用者の遺失物の問い合わせがあった場合には、対応する。水泳場に保管していない場合には、警備室をご案内する。 ・ 靴袋の回収と補充を行う。 ・ 利用者に対する室内水泳場の施設見学や、水泳教室・団体利用のご案内があった場合には対応する。 ・ 入口前広場、ロビー内の危険行為、立入禁止区域への立入等については、速やかに中止させ、周辺についても監視し適切に対応する。 ・ 利用者が鍵の紛失により更衣室ロッカーの開錠を申し出た場合は、適宜対応する。 ・ 節水、節電に留意し、使用していない時間帯にはこまめに対応する。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場内を点検し施錠を行う。 ・ 更衣室ロッカーを全て調べ、荷物がある場合は忘れ物と同様の処置をする。 ・ 団体利用報告書を事業課と警備室に提出する。
巡回業務		<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回は、10:00～20:00 の間で、1 時間ごとに行う。 ・ 巡回順路は次の通りとする。 ・ (ロビー) → (男女更衣室) → (トイレ・シャワー室) → (足洗槽) → (監視室・見学室) → (プールサイド) → (関係者通路) → (入口前広場)
	営業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャワー室・更衣室等で盗撮行為を発見した場合は、直ちに監督職員に通報する。 ・ ロッカーキーの紛失及びケーシング故障時の対応をする。ロッカーキーの紛失の場合には、利用者に実費負担をお願いする。また、未施錠で利用している利用者を発見した場合には、施錠するよう呼び掛けを行う。 ・ 利用者が、更衣室ロッカーの鍵を紛失した等の申し出があった場合には、監督 職員、若しくは警備員立会いのもと、本人の使用ロッカーを確認(氏名及びロッカー内部の持ち物等の申告)し、ロッカーを開錠する。 ・ 営業日は1時間ごとに、PH、残留塩素、水温、室温、湿度等の測定を行い、受付ロビーの掲示板及び日誌に記録する。 ・ 利用日程と実際の利用状況を照らし合わせ、予定外の利用があった場合は、監督職員に確認する。また、利用上の注意事項に反する行為が見られた場合は、利用者に注意を喚起する。度重なる場合は、監督職員に連絡する。 ・ 節水、節電に留意し、使用していない時間帯にはこまめに対応する。
	営業後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足洗槽の水を抜く。 ・ プールサイド及び水底等に異常がないことを確認する。 ・ 水底清掃機(プールロボット)をプール内にセットする。 ・ 各施設を点検し、更衣室や見学室等の照明、空調等の電源を切り、施錠する。
その他業務		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督職員及び中央監視室と連絡を密にし、室内水泳場業務の円滑化を図る。

(2) 水泳教室等の実施

プログラムの企画立案	<ul style="list-style-type: none">・ 水泳教室等プログラムの運営など、利用者のニーズに応じたプログラム内容を企画する。・ 企画内容は事前に監督職員に提出し、承諾を得る。・ なお、平成24年度におけるプログラム内容は、原則として平成23年度の内容を基準とする。
受付	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の受付を行う。
利用料金管理	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者から利用料金を徴収し、適切に管理する。・ 徴収した利用料金及び日計表は、あらかじめ定めた方法で納入及び報告する。
プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none">・ 民間事業者が水泳教室等を企画する場合、企画内容に基づいて実施する。
管理業務	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者に対し、監督職員が定める利用規則等の遵守・徹底を図る。

(3) 利用者アンケート調査

配布・回収	<ul style="list-style-type: none">・ 本施設の利用者を対象として、アンケート用紙の配布・回収を行う。
-------	---

2.2. 事業課窓口業務

1) 業務概要

施設利用に係る受付及び事務処理等の業務を行う。

(1) 業務実施場所

業務実施場所は、代々木事業課事務所内とする。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	N A A S H	民間事業者
事業課窓口業務		○

3) 業務内容

営業前	<ul style="list-style-type: none"> 出勤後直ちに代々木事業課事務所内のコピー機、OA 機器、照明、空調等の電源を入れ、事務所の開場準備をする。 警備室から手提げ金庫を受け取り、つり銭の確認等受付準備をする。
営業中	<ul style="list-style-type: none"> 受付対応業務 <ul style="list-style-type: none"> 第一体育館、第二体育館の行事に対するお客様からの電話での問い合わせ、FAX 等の対応を行う。 第一体育館、第二体育館の利用に関する問い合わせを、担当者に取り次ぐ。 室内水泳場、会議室、撮影等の施設の利用申込み手続きを行う。 室内水泳場の利用に関する団体登録業務及び、水泳教室の新規及び継続手続きを行う。 現金入金が発生する場合の現金処理及び領収書の発行業務を行う。 施設見学希望者の対応（受付・案内・実施報告書の作成）を行う。 事務処理業務 <ul style="list-style-type: none"> 施設利用に係る事務処理及び書類作成を行う。 水泳場、会議室、撮影等の利用申込手続及び入金手続を行う。 関係する鍵類、腕章、駐車券等の貸し出し及び返却の受理を行う。 場内各所に設置されている自動販売機（飲料）のトラブルに対処する。
終了時に行う確認業務	<ul style="list-style-type: none"> 監督職員立会いのもと、当日の収入金及びつり銭を確認の上、手提げ金庫の施錠後、警備室で保管してもらう。 代々木事業課事務所内の施錠及びコピー機OA機器、照明、空調等の電源を切る。

3. 保守管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 敷地内の樹木を良好な状態に保つ。
- 敷地内の樹木の美観を保つとともに、利用者及び通行者等の安全を確保する。
- 業務は、施設利用に支障のない日時、時間帯に実施する。
- 大会、イベント等の日程に応じて、その開催に支障がないように整備を行う。
- 常に保守管理のための機器用具等を利用可能とするとともに、整理整頓された状態を維持する。
- 作業実施の際には、安全に十分配慮し、事故などがないようにする。
- 常に快適な施設環境を維持することが出来るよう、施設及び設備機器を常に良好な状態に保つ。
- 園地整備業務における作業計画は、以下の内容を参考として把握した上で作成する。
 - ・ 枝枯れの有無
 - ・ 葉色及び葉の大きさの異常等の有無
 - ・ 倒木の可能性の有無
 - ・ 芝生については、淡黄色又は裸地部分の有無
 - ・ 樹木や芝生の病害及び害虫の有無
 - ・ 枝葉による建物等への支障の有無
 - ・ 樹姿の状態の良否
- 民間事業者は、園地作業の従事者に対し、除草剤・殺虫剤等の薬剤管理及びその取扱いについて、十分注意するよう指示するとともに、その使用に当たっては常に監督職員と協議する。
- 駐車場内を常時巡回し、盗難、火災、不正行為等が起こらないよう注意するとともに、公開時間内は常に利用可能な状態とする。
- 監督職員から要請がある場合は、第一体育館・第二体育館の利用団体との行事打合せ会、N A A S Hが実施する施設改修工事等の定例会議、また国や東京都が主催するビル衛生管理講習会や電気の保安に関する講習会に出席する。また、必要に応じて、設計業者及び施工業者に対する図面の抛出、現地調査同行に協力する。
- 機器又は設備の運転については、性能及び規格に適した燃料及び補給材を用い、取扱説明書に従い適正に操作する。
- 設備に故障、欠陥等が発生した場合は、迅速に復旧作業を行い、監督職員に報告する。復旧が不可能な場合は、点検・保守を行い、その原因及び修繕等の対応策について監督職員に報告する。
- 運転・監視の内容の定めがない設備については、納入機器メーカーの取扱説明書による。
- 点検及び保守の終了後は、必要な機器等の清掃及び後片付けに伴う機器周辺等の清掃を行う。
- 電気設備の点検・保守については、原則として停電して安全な状態で作業を行うものとし、やむを得ず活線状態で作業するときは絶縁用防具、保護用具等を用いて行う。停電予告等の関係方面への連絡は十分余裕をもって行い、復旧後は完全に元の状態になっていることを確認する。
- 保守点検に伴い、交換を必要とする部品、パッキン類等は各製造メーカーの推奨品を使用する。

3.1. 園地整備業務

1) 業務概要

施設内の園地の美観を維持する業務を行う。

(1) 作業の範囲

別紙 3-1 の範囲内とする。

(2) 業務実施期間

業務実施期間は、4月～11月とする。

(3) 作業時間

イベント本行日以外の平日(月曜から金曜)の9時00分～17時00分とする。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
低木の刈り込み		○
除草作業		○
除草剤の散布	△協議	○
害虫駆除・殺虫剤の散布	△協議	○

3) 業務内容

低木の刈り込み	<ul style="list-style-type: none">・ 刈り込みは、樹木の育成状態を見て行う。・ 植込みに蜂の巣を発見した場合には駆除する。巣の大きさ等により駆除が難しい場合には、人が立ち入らないよう安全確保を行い、駆除の方法を監督職員と協議する。・ 刈り取った枝・葉は速やかに、指定のごみ集積所へ搬出する。・ 樹木の生育状況によっては、水撒き作業を実施する。
除草作業	<ul style="list-style-type: none">・ 手抜き除草に当たっては、根を残さないよう丁寧に抜き取る。・ 機械による除草については、樹木を損傷しないよう注意して実施する。・ 作業中捨てられた空き缶、空きビン等の廃棄物を発見した場合は除去し、作業終了後回収・分別の上、指定のごみ集積所へ搬出する。
除草剤の散布 作業	<ul style="list-style-type: none">・ 除草剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。・ 適切な濃度でむらなく均一に散布する。・ 散布の際には、他の樹木にかからないよう十分注意する。
病虫害駆除業務	<ul style="list-style-type: none">・ 除草剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。・ 病虫害が発生した場合は、その駆除について監督職員と協議する。

3.2. 施設環境整備業務

1) 業務概要

NAASHで行われる各種作業の補助や、行事にて使用する器具の整理整頓及び用具の設置撤去作業などを行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
体育器具及び用具の整理整頓業務	△依頼	○
第二体育館バスケットゴール設置・撤去業務	△依頼	○

3) 主な業務内容

体育器具及び用具の整理整頓業務	<ul style="list-style-type: none">・ 行事等で使用する体育器具の整理整頓及び用具の設置を行う。・ 第一体育館東西倉庫、第二体育館東西倉庫の整理作業を行う。・ 施設管理課倉庫、第一体育館B2階コントロールルーム等の備品の整理・移動作業を行う。
第二体育館バスケットゴール設置・撤去業務	<ul style="list-style-type: none">・ 監督職員が実施する利用団体との行事打合せ用紙に基づき、第二体育館で開催されるバスケットボール主催試合の際の電動バスケットゴールの搬入設置作業、及び行事終了後の撤去作業を行う。

3.3. 有料駐車場管理業務

1) 業務概要

有料駐車場の管理全般を行うものとし、利用者への適切な案内業務、安全確保、料金徴収、駐車場エリアの日常清掃等、サービスの向上、良好な環境維持と保全に努める。

(1) 有料駐車場管理条件

公開日：年末年始を除く毎日

公開時間：9：00～21：00

※ NAASHの都合により公開時間の繰上げ又は延長する場合がある。

(2) 駐車料金

30分まで200円とし、以後30分の利用をする毎に200円を加えた額を徴収する。ただし、NAASHの都合により料金は変更する場合がある。その際には、民間事業者に事前に通知する。

(3) 駐車場規模

面積：1812.37㎡

最大駐車台数：58台

(第一体育館利用団体の13台スペースの利用がある場合には、45台)

駐車可能車両：高さ2.5m以内、普通車両に限る(大型車両不可)

(4) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
公開開始前		○
入庫に関する事項		○
管制装置に関する事項		○
駐車券紛失に関する事項		○
事故処理	△協議	○
その他	△協議	○
公開終了後		○

(5) 業務内容

公開開始前	<ul style="list-style-type: none"> 営業日に第一体育館にイベント開催により13台スペースを使用する場合には、ステンレスゲートを閉鎖して、13台分を確保する。合わせて、その営業日の満車表示登録を45台に設定変更する。 管制装置の作動試験を行う。(通電、満車表示、放送、遮断機、料金収納箱等) 遮断機、門扉等の錠をはずす。 従業員は、駐車場内すべてを巡回し、ほうき等で清掃し、落ちているごみを回収する。
-------	--

入庫に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口が混雑するときは、それを整理する。 ・ 2.5 m以上の車両の入場、若しくは普通車両ではない車両の入場と思われる場合には、利用者に対しお断りをする。 ・ 満車表示は、利用状況等を勘案しセットする。 ・ 利用者が駐車位置を必ず守るよう注意する。 ・ 駐車場内を常時巡回し、盗難、火災、不正行為等が起こらないよう注意する。 ・ 公開終了時までに出庫するように案内する。
管制装置に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車券記録用紙の確認を常時行い、公開に支障がないよう留意する。 ・ 駐車券記録用紙は、厳重に保管する。 ・ 釣銭は十分用意し、公開に支障がないよう留意する。 ・ 入庫日時の刻記精算金額は、駐車券に明瞭に記載しておく。また、利用者が領収書の発行を求めたときは、領収書を発行する。
駐車券紛失に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として公開開始時間からの料金を徴収する。 ・ 利用者の住所、氏名、車のナンバー、検査証、運転免許証番号等を記録する。 ・ 紛失後一週間以内に駐車券を持参したときは、徴収した料金と、実際に徴収すべき料金との差額の払い戻しをする。この場合は、利用者から必ず領収書を徴収し、翌日の現金受払簿に明記する。
事故処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場内において、事故が発生した場合は、原則として、当事者間で解決してもらう。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掃き掃除によりごみ、落ち葉、紙屑、排水溝のごみ等を除去する。また、回収したごみ類は指定のごみ集積所へ分別して搬出する。 ・ アスファルトコンクリート面に飲食物、ガム類、汚物等が付着している時はそれを除去する。 ・ 翌日が休業日の場合、若しくはイベント等により有料駐車場を全面貸し出す場合には、その旨入口に表示する。
公開終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管制装置等の事後処置及び施錠を確実に行う。 ・ 管制装置の不要な電源及びピロティの照明・外灯を消す。 ・ 出庫しない車については、注意書を窓に貼付すると同時に、車のナンバー及び車種などを控えておく。 ・ 売上金は、民間事業者の責任において保管する。なお、翌朝の9時までに入金する。ただし、土・日・祝日を除く。

3.4. 定期点検等及び保守業務

1) 業務概要

電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
電気設備・機械設備定期点検等及び保守業務	△実施日時協議	○

3) 業務内容

(1) 電気設備・機械設備定期点検等及び保守業務

一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 対象設備、試験点検箇所及び測定基準等は、別紙3-2による。 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力する。
対象設備	<ul style="list-style-type: none"> 有料駐車場自動料金精算システム 第一体育館（東ランプ）客席昇降装置 第一体育館（西ランプ）客席昇降装置 小便器洗浄水節水用機器（FM節水器） 第二体育館移動観覧席電動移動席 500kW常用ガス発電設備等 ターボ式冷凍機 機械設備中央監視盤装置 吸収式冷温水機 照明設備制御システム 大規模放水銃消火システム 電気中央監視装置 可変速給水システム 第二体育館電光得点表示装置（別紙3-3による。） 附属棟会議室用吸収式冷温水機 第二体育館電動油圧式バスケットゴール 油圧式高所作業台 シャッター設備 高圧電気設備 非常用発電機設備（別紙3-4による。） 消防用設備等 放送設備（業務用・非常用）及びITV設備 構内電話交換機設備 第一体育館内部エレベーター設備 第一体育館外部エレベーター設備 水泳場浄化装置 レストラン及び売店厨房機器 第一体育館大型映像表示設備（別紙3-5による。） 太陽光発電システム

3.5. 設備運転監視及び日常保守点検業務

1) 業務概要

各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。

(1) 設備運転・監視日数・時間

- ・ 設備監視日は365日とする（平成27年度は366日とする）。
- ・ 運転監視時間は、原則として8：00～22：00とし、その他は次のとおりとする。

施設名	利用日数・時間
第一体育館（機械棟含む）・ 第二体育館・会議室	・ 各競技会、コンサート等のイベント開催時は、本行設営から撤去時に至るまでとする。また空調及び館内照明等の操作運転は、各競技会、コンサート等の主催者と協議の上決定した時間又はNAASHの指示した時間までとする。
室内水泳場及び事務棟・連絡棟	・ NAASHの指示による増減がある。また空調日及び運転時間は、NAASHの定めるところによる。
園地周り（外灯、屋外変電棟、 分電盤、弱電設備、受水槽）	・ 1日1回巡視する。

(2) 一般事項

電気設備に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAASHは、民間事業者側が選任する電気主任技術者に対し、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実にを行うことを条件に、次の権限を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ア 自家用電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するに当たり、電気主任技術者の意見を尊重する。 イ 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、電気主任技術者とその保安のためにする指示に従う。 ウ 場内の屋外広告物の維持管理について、条例に基づく職務を代行する。
機械設備等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築物環境衛生管理技術者が主に実施する業務は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ア 所轄監督官公署に対する対応及び書類提出業務 イ 法令上必要な点検の実施 ウ 年間管理計画の策定及び実施 エ 保健所等の立入検査（年数回）の対応 オ 東京都の立入検査（2年に1回）の対応 カ 煤煙排出量調査書類の作成 キ 飲料水貯水槽等維持管理状況報告書の作成 ・ 冷凍保安責任者及び代理者が主に実施する業務は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ア 高圧ガスの製造に係る保安に関する管理 イ 所轄監督官公署に対する対応及び書類提出 ウ 東京都の立入検査（3年に1回）の対応

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	作業内容	NAASH	民間事業者
(1) 運転・監視	電気設備運転監視業務		○
	機械設備運転監視業務		○
	中央監視制御設備運転監視業務		○
(2) 日常点検・保守	電気設備日常点検・保守業務		○
	機械設備日常点検・保守業務		○
(3)その他作業			○

3) 業務内容

(1) 運転・監視

共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転に係る取扱いを法令で定めている場合には、当該法令の定めるところによる。 ・ 運転開始前若しくは運転終了直後又は運転中において、巡視その他必要な状態監視を行う。 ・ 日常巡視は、分電盤、制御盤、配線器具類、照明器具等の焼損、汚損、取付状態の監視を行い、必要に応じランプの交換、器具等の清掃・汚れの除去、調整、増し締め、注油等を行う。また、機器の運転状況に合わせて、下記の項目について測定・記録等を行う（毎日）。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 残留塩素等の測定 (2) 真空式温水ヒーターの点検及び記録 (3) ターボ式冷凍機の点検及び記録 (4) 吸収式冷温水発生機の運転及び記録 (5) 常用ガス発電設備の運転及び記録 (6) 室内水泳場濾過設備の点検及び記録 (7) 室内水泳場水の験水及び記録、各吐、出口の点検 (8) 場内各所点検 (9) 各所不点球の交換 ・ 機器又は設備の運転については、性能及び規格に適した燃料及び補給材を用い、取扱説明書に従い、適正に操作する。 ・ 設備に故障や欠陥等が生じた場合には、原因を追究し、監督職員に報告する。復旧が可能であれば対処し、不可能な場合には、定期点検及び保守業務によるものとし、監督職員の判断に委ねる。 ・ 運転・監視の内容の定めがない設備については、納入機器メーカーの取扱説明書による。
電気設備運転監視業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の項目及び内容は、別紙3-6の表-1による。 ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-7による。
機械設備運転監視業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の項目及び内容は、別紙3-6の表-2による。 ・ 運転・監視記録は、別紙3-6の表-3による。 ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-8による。
中央監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転・監視の対象設備は、別紙3-6の表-4による。 ・ 監視制御設備の運転・監視に当たっては、建築設備の監視制御を停止することなく行う。

(2) 日常点検・保守

共通	次に掲げる設備の部分については、点検を省略できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 改め口のない、天井裏又は安易に出入りのできる点検口のない床下にあるもの。 ・ 機械室及び配管配線室内に存在する機器で、点検に立入ることが極めて困難な場所にあるもの。 ・ 電気が通電されていて点検することが危険な場所にあるもの。 ・ 付近に運転を停止することが極めて困難な状況にある機器が存し、点検することが危険な場所にあるもの。
電気設備日常点検・保守業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は、別紙3-6の表-5による。 ・ 対象設備は、別紙3-7による。
機械設備日常点検・保守業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象設備は、別紙3-8による。

(3) その他作業

以下の作業について、適宜行う。

その他作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内水泳場濾過器逆洗作業 ・ 室内水泳場凝集剤の補給作業 ・ 第一体育館用照明用リモコンのプログラミング作業 ・ 給排水設備の詰まり除去等、不具合の復旧作業 ・ 空調機フィルター清掃 ・ 各給排気口の清掃 ・ 更衣室ドライヤーの点検・清掃 ・ 冷却塔の洗浄作業 ・ 各機器のグリスアップ作業等 ・ 各機器のVベルト点検調整及び交換作業 ・ 簡単な営繕作業 ・ 第一体育館、第二体育館利用者用・会議室利用者用音響機器の使用不能時の復旧や使用方法説明 ・ バスケット用電光得点表示盤操作機器の使用使用方法説明 ・ 第一体育館用照明用リモコンの操作方法説明 ・ 次亜塩素酸ソーダの購入・補給手続きを行う。 ・ ①次亜塩素酸ソーダは、有効塩素12%以上溶液 食塩分1%以下 ・ ②1回取引数量は600kg以下とし、タンクローリー納入とし、受入口(約1m)から行う。 ・ ③次亜塩素酸ソーダ購入実績(参考) <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年度 5,380kg 年9回搬入 ・ 平成19年度 6,170kg 年10回搬入 ・ 平成20年度 6,120kg 年10回搬入 ・ 平成21年度 6,620kg 年11回搬入 ・ 平成22年度 6,130kg 年9回搬入
各種資料の提出、官公署届出書類の代行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各光熱費の月間使用量の集計(電気・ガス・水道) ・ テナント及び第一体育館・第二体育館利用団体に請求する臨時電気・臨時水道のデータ(使用量)管理、及び請求内訳資料の作成 ・ 各使用量を施設別及びテナント別に振分け ・ 年間電気・ガス・水道料金及び各消耗品費(管球、配管機器、薬品等)の試算

	<ul style="list-style-type: none">・ 建物の権限者や代表者が変更となった場合、若しくは室内水泳場等を休業する場合など、官公署に届出を行う必要が生じた際は、各種法令に基づき書類を作成し、その届出事務を代行する。
--	---

4. 警備業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 施設内外の秩序及び規律を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止に務める。
- 24時間365日（平成27年度は366日）、保安警備が円滑に実施できる体制とする。ただし、人員の配置を含め、必ずしも1年を通して同一の体制を求めるものではない。
- 原則として、民間事業者が有人による警備を適切に実施し、安全性確保に務める。
- 業務の実施に当たっては、状況を的確に把握し、適切に判断の上、施設環境及び機能を阻害することのないようにする。
- 施設としての防犯、利用者の安全確保を十分に行える、法的に必要な資格を有する人員や、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を適切に配置する。
- 利用者の利便に配慮しながら、事件、事故を防止する観点で業務を実施する。
- 火災や地震等の災害発生時には、利用者等に対し、状況に応じて迅速で的確な避難誘導を行う。
- （室内水泳場利用者等への避難・誘導については、第一体育館・第二体育館において行事があるにかかわらず、当該職員、警備室の職員、及び水泳場受付従業員が行う。行事開催時には、行事主催者等が別途雇った警備員・行事関係者が、警備室の職員と館内放送等連携を図りながら、行事関係者・観客への避難指示・誘導を行う。）
- 社員教育、研修により本業務に従事する者の意識、知識及び技術の向上を図る。

1) 業務概要

警備業務は、施設警備全般を行うもので、利用者に対して適切な受付・案内業務を行うとともに、場内外の巡回業務を行い、施設の安全確保、有事の際や緊急時の避難誘導、緊急連絡等を通じて、サービスの向上、良好な環境維持と保全を図る。

通常警備業務・夜間警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来者、緊急時等に対応できるよう常時2名以上の勤務とし、警備室には常時1名以上配置する。 ・ 仮眠時間は5時間程度とするが、催事によっては取れない場合がある。
臨時警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一体育館や第二体育館で開催されるイベント（特にコンサートなどの文化的行事）について、開場時間から公演終了までの時間に増員して、以下の業務を行う。

各門等の開閉門時間は以下の通り。

場所名	開門	閉門
北門	6時00分	23時00分
南門	9時00分	21時00分
西門	9時00分	フットサルコート事業者が実施する。
渋谷門	7時00分	19時00分
北車門	第一体育館主催者によって実施する。	第一体育館主催者によって実施する。

ただし、第一体育館及び第二体育館で催事が行われる場合には、行事打合せ用紙を確認の上、開閉門時間を変更するものとする。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	業務内容	NAASH	民間事業者
(1) 通常警備業務・夜間警備業務	防犯・防災監視		○
	鍵管理	△指示	○
	出入管理	△指示	○
	遺失物の取り扱い		○
	巡回監視		○
	各種災害時の対応		○
	手提げ金庫の管理		○
	その他		○
(2) 臨時警備業務		△指示	○
(3) その他業務		△指示	○

3) 業務内容

(1) 通常警備業務・夜間警備業務

業務項目	業務内容
防犯・防災監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯監視システムの監視卓、防災監視盤等の情報に基づく異常発生等の識別を行う。 ・ 異常発生時に現場に急行し、内容を確認する。
鍵管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日時、氏名を貸出・返却簿に記入し、返却時は、破損の有無を確認の上、貸出・返却簿に記入する。 ・ 鍵の破損又は紛失の届出があった時は、届出用紙に記入をさせ、監督職員に

	連絡する。
出入管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備室前を通る外来者には必ず用務を尋ね、その用務先を適切に案内する。挙動不審者には、氏名及び用件等を尋ね、不審な場合には監督職員に連絡を取り、その適切な処置を行う。この場合においても言葉遣い等の対応に十分留意する。 ・ 器具、機材を搬出入する者で事前に連絡がない場合には、その搬出入を止めさせ、監督職員に確認の上、その指示に従う。 ・ 会議室の利用団体があった場合には、入金確認の有無を事業課と確認し、利用受付を行い、会議室鍵の開閉を代行する。会議室の利用終了後、報告書の提出を受け、鍵の施錠を行う。
遺失物の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺失物の受付を行う。 ・ 室内水泳場、第一体育館、第二体育館からの遺失物についての受付を行う。 ・ 遺失物を受け取った際には、受け渡し簿に記載する。 ・ 受け渡し簿に記載後、現金・貴重品があった場合には、遺失物を持ってきた人と中身を確認し、金庫に保管する。 ・ 遺失物は、種類別に区分けを行い、ビニール袋に入れて、荷札を付けて一定期間保管する。 ・ 現金・貴重品は、警備室で指定の用紙に金額と名称を記入して、代々木事業課責任者に確認後、警察へ届出る。 ・ 拾得物の廃棄処分については、法律上の保管期間3か月経過後、毎月月末に保管されていた廃棄予定の遺失物を準備し、処分する。
巡回監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ N A A S Hが指定した時間に、定時に場内外を巡回する。 ・ 巡回の経路については別紙4-1による。 ・ 別紙4-2に基づく確認項目について、目視による消防検査の自主検査チェックを行う。 ・ 不当に駐車している車両については、車両番号を記録し、警告ビラを貼付する等、必要な措置をとる。 ・ 各室の照明及び空調の消し忘れを確認する。 ・ 夜間における巡回については、特にごみ集積所の火気に留意する。
各種災害時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風接近前後に施設の安全確認を行う。 ・ 地震発生後は、施設の安全確認を行う。 ・ 火災発生の場合は、直ちに消防機関へ通報するとともに、代々木事業課長に報告し、速やかな初期消火活動ができるよう努め、警備室内放送設備を使用して入場者に対し、火災情報等に関する放送を行う。 ・ 自動火災報知機配置場所の把握と操作方法、スプリンクラー作動時の対応、防排煙設備の対応、大規模放水銃作動時の対応、二酸化炭素消火設備操作方法、ガス漏れ警報器監視盤発報時等の対応などを迅速に行えるようにする。 ・ イベントや室内水泳場にて怪我人や病人が発生し、救急要請があった場合には、警備室から119番通報する。警備員は現場に急行し、救急車を現場へ誘導する。 ・ 現場に急行した警備員は、疾病者の状況把握と救急隊の所属と搬送場所を確認し、報告する。 ・ イベント主催者等が事故報告書を持ってきた場合には、警備室で受理した時間、提出者を記載して、代々木事業課に提出する。 ・ AX、BOXX、マッスルシアターのイベントにて疾病者が発生した場合には、連絡のみ受ける。また、事故報告があった場合には、報告書をもらい代々木事業課に報告する。
手提げ金庫の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手提げ金庫及び手提げ金庫の鍵は、封印した袋等を預かり、警備室に設置してある金庫に保管する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国旗及びN A A S H旗を、正面玄関上回廊のポールに、朝9時00分に掲揚

	<p>し、16時30分に降下する。荒天の場合や、監督職員より別途指示があった場合には、その指示に従う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備管理業務担当者が退庁した後、施設利用終了又は大会事後清掃終了を確認の上、照明及び空調の消し忘れ等を確認する。 ・ 第一体育館における南選手更衣室内身障者便所、B 1 階南ロビーみんなのトイレ、1 階コンコース南西身障者便所、及び室内水泳場前屋外便所内トイレ身障者便所から、呼び出し表示が点灯した場合、警備員は至急現場に駆け付け、一次対応を行う。状況に応じて、来場者搬出のための救急手配等迅速に行う。 ・ 新設エレベーター 1 号機 2 号機内から、呼び出し用インターホンが鳴った場合、警備員はその受け答えを行った後至急現場に駆け付け、状況把握を行うとともに、中央監視室や保守点検業者への連絡など、迅速に対応する。
--	--

(2) 臨時警備業務

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一体育館や第二体育館で開催されるイベント（特にコンサートなどの文化的行事）について、開場時間から公演終了までの時間に増員して、以下の業務を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①当直警備業務の補佐を行う。 ②N A A S H施設周辺で人出の多いイベントが行われる時の警戒・整理 ③受付・モニターによる場内外の巡視を行う。 ④公演中に誤って自動火災報知設備等が発報した際に、会場での混乱を来さないよう、防災設備監視盤の警戒を行う。 ⑤万が一発報した場合には、警備員が現場に急行して現場の確認と状況を把握し、無線にて連絡し、火災報知機設備・非常放送設備の操作を行う。 ⑥その他、監督職員が別途必要と判断し、その指示があった事項を行う。
----	--

(3) その他業務

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストラン閉店後、業者が提出する火災予防関係報告書の記入内容を確認して、受理する。 ・ N A A S Hの自衛消防隊長から防災について要請があった時は、警備室内放送設備を使用して、入場者に対して地震に関係ある警戒宣言発令等の情報に関する放送を行う。 ・ 非常放送等に当たっては、定められた放送用語により行う。 ・ 工事実施に関すること、設備の保守日時や改造に関すること、イベント等による情報の変更等については別途監督職員から指示し、問題がある事項については協議する。
----	---

5. 清掃業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】 P

- 建物内部の各部位について日常的に除塵を行い、ごみ、埃、汚れが目立たない状態を保つ。
- 建物・備品等の破損がない状態を保つ。
- 建物・備品等が破損した場合は、直ちに監督職員に報告し、その指示に従う。
- 清掃器具及び使用材料は、作業内容並びに建築材質に適したものを使用する。
- 清掃作業は、法令等に定められた安全基準を満たす方法により行う。
- 清掃作業は、施設運営に支障がない時間帯及び方法により行う。
- 清掃作業は要求水準書に記載のない事項であっても、美観上、衛生上、又は建物の管理上必要と認められた箇所、その他軽微なものについても実施する。
- 通常のコ清掃作業終了後は、定期的に清掃対象箇所を巡回し、汚れがあった場合は直ちに対応する。また、監督職員から指示があった場合についても同様とする。

5.1. 清掃業務

1) 業務概要

清掃業務は、以下の6業務からなる。

日常清掃業務	・ 除塵、拭き、ゴミの収集等の日常的な作業により、汚れ進行度の早い場所や部位の汚れを除去する。
定期清掃業務	・ 除塵、拭き、洗浄、保護剤の塗布等の定期的な作業により、日常的な清掃では除去困難な汚れや汚れ進行度の遅い場所・部位の汚れを除去するとともに、建築物部材を保護する。
大会事前清掃業務	・ 原則として行事と行事の間が7日以上経過している場合、又は監督職員が行事前に清掃を入れる必要があると判断した場合に、重点的又はスポット的に行う。
大会巡回清掃業務	・ 観客用トイレ見回り及び回廊通路見回りについて行う業務で、行事開催中の合間に実施する。
大会事後清掃業務	・ 原則として行事ごとに実施する業務で、行事終了後にスタンド・アリーナ・コンコース・使用エリアのトイレ等の清掃及びごみの分別処理を行い、施設を原状復帰させる。
周辺道路清掃業務	・ NAASHの行事開催に伴い周囲の公道において、歩道上や植え込みのごみ回収を行い、周辺環境の美化を目的として行う。

(1) 業務実施日・時間

業務種別	業務実施日	業務時間
ア 日常清掃	365日（平成27年度は366日）	平日8:30までに終了とする。営業施設は、営業時間開始前までとする。
イ 定期清掃	通年	行事のない平日8:00～17:00の間とする。
ウ 大会清掃業務	行事開催日	行事開催日（平日土日祝日含む。）の開場前から行事終了後）

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
清掃業務	△協議・承諾	○

3) 業務内容

作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各業務における作業場所及び作業内容は、別紙5-1及び5-2による。 ・ あらかじめ監督職員に実施場所及び作業項目提出し、その承諾を得た上で実施する。 ・ 本業務は営業施設を対象としているため、作業内容が「共通仕様書」による項目その他の各作業項目において、作業場所の汚れ及び廃棄物の排出状況等を十分把握して作業を実施する。
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業終了後は、椅子等を整理し、窓及び扉等の戸締り並びに火元確認を行い、必要のない照明は消灯する。 ・ 2m以上の高所作業を行う場合には、労働安全衛生法に配慮し、業務担当者に対してヘルメットの着用など必要な措置を講じる。また、監督職員と十分打合せの上作業を実施する。 ・ 使用する薬剤は、リン酸塩を含まないものを使用する。 ・ 回収したごみ類は、一般廃棄物（可燃ごみ）、資源ごみ（びん・かん・ペットボトル・古紙雑誌ダンボール）、不燃ごみ（傘等廃プラスチック類）に分別処

	<p>理を行い、構内指定ごみ集積所へ搬出する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 作業中は、作業に伴う他の汚損（洗浄時の洗剤の付着及び収集・運搬時の液漏れ等）の発生防止に細心の注意を払い、汚損が発生した場合は速やかに原状に復する。
--	--

6. 環境衛生管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 施設的环境を常に最良の状態に保つため、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（昭和45年法律第20号（以下「ビル管理法」という。））及び「労働安全衛生法」「水道法」「水質汚濁防止法」「大気汚染防止法」等の関係法令に基づき、必要な検査・作業を実施する。

6.1. 各種環境測定

1) 業務概要

対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく各種環境測定を行う。

測定回数・検査項目は、別紙6-1による。

2) 業務項目及び役割分担

業務内容	NAASH	民間事業者
空気環境測定		○
飲料水水質検査		○
給湯水水質検査		○
プール水水質検査		○
レジオネラ属菌検査		○
煤煙測定		○

3) 業務内容

空気環境測定	<ul style="list-style-type: none"> 測定場所における、浮遊粉じんの量・一酸化炭素の含有量・二酸化炭素の含有量・温度・相対湿度・気流
飲料水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 省略不可項目（10項目） 一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・塩化物イオン・有機物（全有機体炭素（TOC）の量）・pH値・味・臭気・色度・濁度・重金属（4項目） 鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・鉄及びその化合物・銅及びその化合物 蒸発残留物（1項目） 消毒副生成物（12項目）（6/1～9/30の間に実施） クロロホルム・ジブロモクロロメタン・ブロモジクロロメタン・ブロモホルム・総トリハロメタン・クロロ酢酸・ジクロロ酢酸・臭素酸・トリクロロ酢酸・ホルムアルデヒド・シアン化物イオン及び塩化シアン・塩素酸 その他（毎回実施） 採水時刻・水温・気温・残留塩素
給湯水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水と同様の項目を行う。
プール水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> 一般細菌・大腸菌・pH値・濁度・過マンガン酸カリウム消費量・残留塩素・外観・採水時間・総トリハロメタン・
レジオネラ属菌検査	<ul style="list-style-type: none"> レジオネラ属菌の数、採水時刻
煤煙測定	<ul style="list-style-type: none"> 排出ガス量（$\text{m}^3\text{N}/\text{h}$）・煤じん濃度（$\text{g}/\text{m}^3\text{N}$）・窒素酸化物濃度（PPm/容積比） その他、排ガス温度・排ガス水分量・排ガス流速・湿り排ガス量・乾き排ガス量・排ガス組成（酸素濃度・二酸化炭素濃度・一酸化炭素濃度・窒素濃度・空気比）

6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務

1) 業務概要

(1) 清掃施設・回数

別紙6-2による。

(2) 法令及びその関係諸法令等

本業務は、ビル管理法及び水道法（昭和43年法律第97号）第16条等関係諸法令に基づき実施する。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
受水槽の清掃		○
汚水槽の清掃		○
貯湯槽の清掃		○

3) 業務内容

共通	<ul style="list-style-type: none"> 受水槽清掃及び貯湯槽清掃業務に当たる作業員は、腸内細菌培養検査を実施し、赤痢菌・サルモネラ菌・O-157・パラチルス・腸チフスについて陰性である者とする。
受水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 清掃作業中に、水槽内外の点検及び給水管、ボールタップ、タラップ、点検口、満減水警報装置等の錆落とし清掃及び点検・作動確認を行う。 清掃作業完了後、水張りを行い、水質検査（「残留塩素」「色度」「濁度」「臭気」「味」）の5項目を行う。 高置水槽の清掃は、受水槽の清掃と同一の日に行うものとし、また受水槽の清掃を行った後に行う。 受水槽清掃後、水槽の天井、壁及び底に破損等がないか点検する。
汚水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 槽内の沈殿物、浮遊物質及び油脂類、その他異物を除去し、場外搬出する。 槽内の水洗い清掃を、1回行う。 排水ポンプ（8台）、槽内配管、点検口、フロートスイッチ等の水洗い清掃及び点検を行う。 汚水槽清掃後、水槽の天井、壁及び底に破損等がないか点検する。 汚水槽清掃後、点検口及び付近通路の水洗い清掃を行う。
貯湯槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容は受水槽に準ずる。 各所マンホールパッキンの交換を行う。

6.3. 害虫防駆除及び消毒作業

1) 業務概要

(1) 作業回数

害虫等防駆除および消毒作業の回数、スケジュールは下表に従う。

項目	月												計	備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
害虫等防駆除	生息調査	○				○	○	○				○	○	6	
	事前調査		○					○						2	
	定期施行			○					○					2	
	効果判定				○					○				2	
消毒				○						○			2		

(2) 準拠する法令等

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「ビル管理法」等の関係法令に基づいて業務を行う。

(3) 作業場所

- ・ 本業務の対象範囲は、別紙6-3の赤塗り部分とする。
- ・ 下記の場所は、重点作業場所とする。

業務項目	区分	作業場所	面積 (㎡)
ゴキブリ及びネズミの防駆除	第一体育館 地下2階	・ 医務室・化粧室A B・男女シャワー室・役員室A B・流し台室・中央監視盤室・清掃員控室・用具庫・特別室(役員控室)・選手控室1~6・レセプションルーム・ミーティングルーム・給湯室・便所(10箇所)・自動販売機(3箇所、4台)	1,537
	第一体育館 地下1階	・ 貴賓室・ラウンジ・給湯室(貴賓室)・南北ロビー・職員休養室・便所(6箇所)、南ロビーみんなのトイレ1箇所	2,183
	第一体育館 1階	・ 身障者便所(4㎡×2ヶ所)・自動販売機(2箇所各2台)、渋谷口原宿口3角ブース(計2箇所)	52
	第二体育館 地下1階	・ 選手控室A~D・役員控室・来賓室・スタッフルーム・自動販売機(1箇所、2台)・便所(4箇所)、西便所身障者便所	541
	事務棟及び 付属棟 地下 1階	・ 事務室・会議室・警備室・男女更衣室・給湯室・事業課会議室・応接室・電話交換機室・ミーティングルーム・機械室・ドーピングルーム・書庫・附属棟会議室(会議室(3室)、会議室1、便所(2箇所)、身障者便所、従業員控室、従業員便所、自動販売機(2箇所、3台)・便所(2箇所)	1,540
	室内水泳場	・ 男女更衣室・シャワー室・機械室・トレンチ排水槽(5m3)・便所(2箇所)	401
	園地係員控室		35

	ゴミ集積場		113
	屋外便所	・ 屋外園地便所 (32㎡) ・ 原宿口前園地便所 (73㎡) ・ 室内水泳場ロビー前屋外便所 (男子・女子・多目的便所計3箇所)	122
	フットサルコートクラブハウス	・ 男子更衣室 (29㎡)、女子更衣室 (20㎡)、シャワー室男女 (27㎡、7㎡)、便所2箇所 (17㎡)、受付事務所 (17㎡)	117
チョウバエ及びチカイエカの防駆除	第一体育館地下2階	・ 特別室汚水槽 (3m3) ・ 東ランプ汚水槽 (7m3)	
	第一体育館地下3階	・ 西便所汚水槽 (30m3) ・ トレンチ汚水槽 (5m3)	
	室内水泳場	・ 機械室 (128㎡) (濾過機室)	
消毒	第一体育館地下2階	・ 医務室 ・ ドーピングルーム	74
	事務棟	・ ドーピングルーム	43

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
害虫防駆除及び消毒作業		○

3) 業務内容

処理法及び使用薬剤等は以下のとおりとする。

作業区分	処理法	使用薬剤	成分
ゴキブリ防駆除	設置法他	固形剤・ベイト剤	ヒドラメチルノン他
ネズミ防駆除	喫食・接触法	殺鼠剤 固形剤	クマリン系
チョウバエ、チカイエカ防駆除	設置法他	蒸散剤・水和剤・乳剤	フェニトロチオン他
アカイエカ、小型アカイエカ、ヒトスジシマカ等	残留噴霧法	水和剤・乳剤	フェニトロチオン、ジクロルボス他
消毒作業	殺菌消毒剤散布処理	テゴー 5 1 又は同等品	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン

6.4. 空調用エアフィルター交換作業

1) 業務概要

(1) 作業回数

別紙 6-4 に基づき、清掃及び交換を実施する。

(2) 作業場所

別紙 6-4 による。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
空調用エアフィルター交換作業		○

3) 作業内容

全般	<ul style="list-style-type: none">・ 新品のエアフィルターを納入し、使用中のエアフィルターと交換取り付けを行う。納入するエアフィルターは、重量法 80% 以上の品とする。サラフィルターについては清掃を行う。・ 使用済みエアフィルターは場外廃棄処分とする。・ エアフィルター固定用枠で腐食の著しいものは、監督職員に報告し、予備品の支給を受け、取り替える。・ 各実施月におけるエアフィルターの交換及び清掃の枚数、サイズ、場所は別紙 6-4 のとおりとする。
----	--

6.5. 清掃用床モップ等の交換

1) 業務概要

(1) 作業回数

別紙 6-5 に基づき、交換を実施する。

(2) 作業場所

別紙 6-5 による。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
清掃用床モップ等の交換		○

3) 作業内容

全般	<ul style="list-style-type: none">・ 専門業者が洗浄・再生処理した床用モップ及びマットを納入し、使用中の床用モップと交換を行う。・ 交換の本数・周期・実施曜日・年間回数・納入場所は、別紙 6-5 のとおりとする。
----	--

選任を要する業務別の業務責任者

業務分類	業務内容	選任を要する責任者
運営業務	(運営業務の各業務共通)	室内水泳場業務運営責任者
		事業課窓口業務責任者
保守管理業務	園地整備業務	園地整備業務責任者
	有料駐車場管理業務	有料駐車場業務責任者
	設備運転監視及び日常点検保守業務	設備運転監視及び日常点検保守業務責任者
	設備保守点検業務	設備保守点検業務総括責任者
警備業務		警備業務責任者
清掃業務		清掃業務責任者
環境衛生等管理業務		環境衛生等管理業務総括責任者

※各責任者の兼務については、業務の質を確保できる範囲で可とします。

国立代々木競技場管理・運営業務一式

要求水準書 別紙

独立行政法人日本スポーツ振興センター

要求水準書 別紙一覧

第1 業務概要及び業務条件等

- 別紙1-1 選任を要する業務別の業務責任者
- 別紙1-2 選任を要する法定資格者
- 別紙1-3 拾得物廃棄処分申請書

第2 運營業務

別紙なし

第3 保守管理業務

- 別紙3-1 園地整備作業実施場所
- 別紙3-2 設備定期点検業務内容
- 別紙3-3 第二体育館電光得点表示装置保守点検チェックリスト
- 別紙3-4 国立代々木競技場非常用発電機設備仕様表
- 別紙3-5 国立代々木競技場第一体育館大型映像表示設備システム系統図他資料
- 別紙3-6 設備日常点検業務内容
- 別紙3-7 電気設備一覧表
- 別紙3-8 機械設備一覧表

第4 警備業務

- 別紙4-1 警備巡回要領
- 別紙4-2 チェック票

第5 清掃業務

- 別紙5-1 清掃作業実施基準表
- 別紙5-2 清掃作業内容

第6 環境衛生管理等業務

- 別紙6-1 各種環境測定 検査施設・回数一覧表
- 別紙6-2 受水槽・貯湯槽・汚水槽等清掃業務概要一覧
- 別紙6-3 害虫駆除消毒作業 作業場所見取図
- 別紙6-4 空調設置場所及び清掃回数
- 別紙5-5 清掃用床モップ等交換作業一覧

図面

- 別紙7-1 国立代々木競技場平面図
- 別紙7-2 電気設備機器配置図（高圧単線結線図含む）
- 別紙7-3 機械設備機器配置図

参考資料

- 参考1 委託業務予定回数表 **※未添付**
- 参考2-1 国立代々木競技場（第一体育館）行事等一覧（H20～H22）
- 参考2-2 国立代々木競技場（第二体育館）行事等一覧（H20～H22）

選任を要する業務別の業務責任者

業務分類	業務内容	選任を要する責任者
運営業務	(運営業務の各業務共通)	室内水泳場業務運営責任者
		事業課窓口業務責任者
保守管理業務	園地整備業務	園地整備業務責任者
	有料駐車場管理業務	有料駐車場業務責任者
	設備運転監視及び日常点検保守業務	設備運転監視及び日常点検保守業務責任者
	設備保守点検業務	設備保守点検業務総括責任者
警備業務		警備業務責任者
清掃業務		清掃業務責任者
環境衛生等管理業務		環境衛生等管理業務総括責任者

※各責任者の兼務については、業務の質を確保できる範囲で可とします。

選任を要する法定資格者

業務分類	業務内容		選任を要する法定資格者		
保守管理業務	設備運転監視及び日常点検保守業務		第3種又は第2種電気主任技術者		
					建築物環境衛生管理技術者
					第二種冷凍機械責任者
	設備保守点検業務		空調自動制御設備	第2種電気工事士	
			消防設備	消防設備士又は消防設備点検資格者	
			エレベーター	一級又は二級建築士	
(右記のうちいずれか)			建築基準適合判定資格者		
		昇降機検査資格者			
警備業務			防災センター要員		
					自衛消防技術認定証保有者
清掃業務			ビルクリーニング技能士		
環境衛生等管理業務	害虫駆除		防除作業監督者		
					毒物薬物取扱責任者
					ペストコントロール技術者

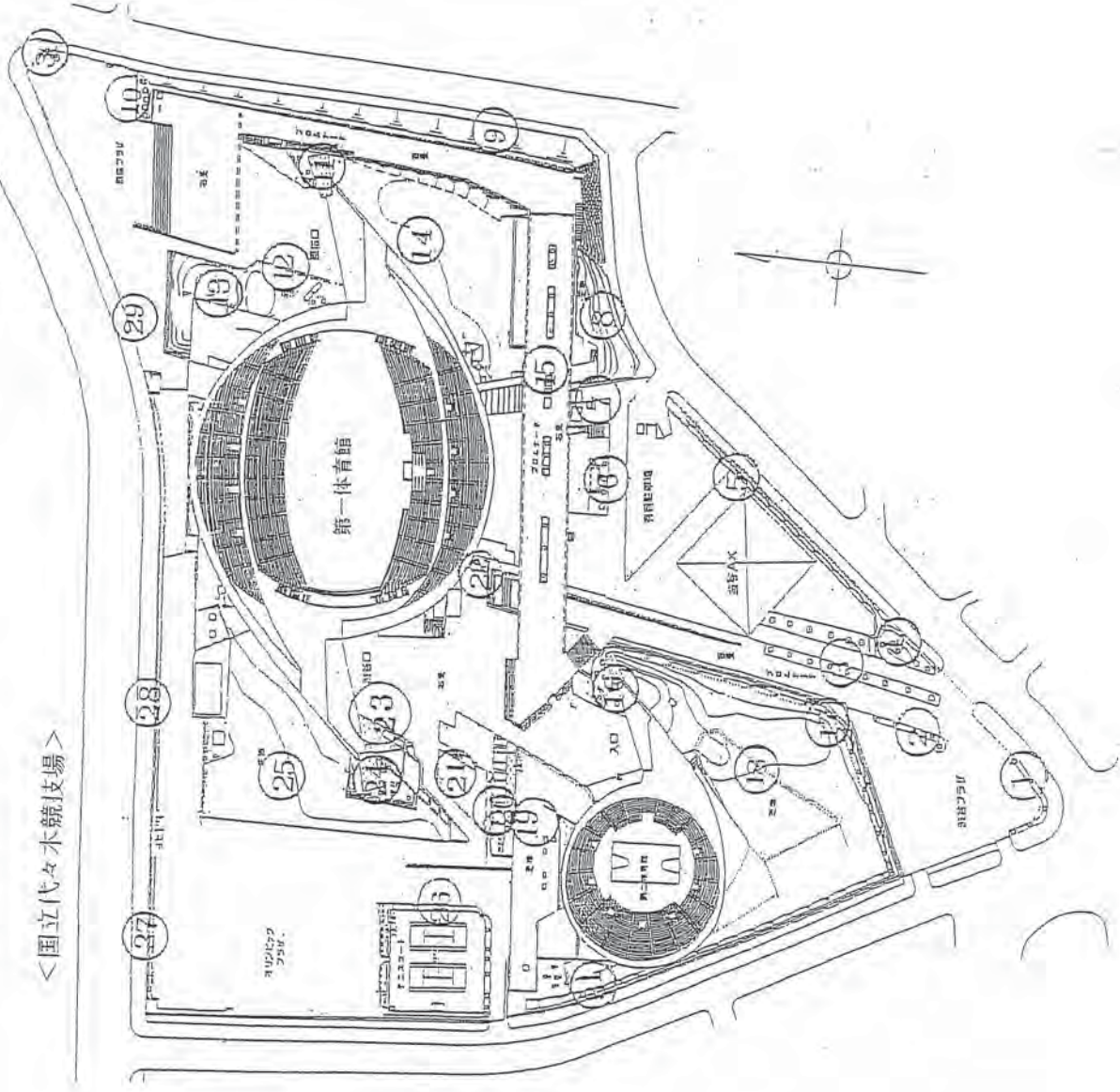
拾得物廃棄処分申請書

申請年月日	平成		年		月		日		
処分年月日	平成		年		月		日		
廃棄対象期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
廃棄処分品	内容は別紙のとおり								
遺失物取扱責任者	上記拾得物の廃棄処分を申請します。								
備考	所属	国立競技場代々木事業課							
	氏名	印							

取扱者	廃棄処分実行者

園地整備作業実施場所

<国立代々木競技場>



【別紙3-1】

番号	場所	主な植栽樹木	面積(m ²)
1	渋谷プラザ前植込み	オオムラサキツツジ	99
2	渋谷プラザ前植込み	オオムラサキツツジ	68
3	渋谷ロード植込み	オオムラサキツツジ・アマリカハナミズキ(8本)	322
4	有料駐車場 築山	オオムラサキツツジ・ピラカンサ	306
5	有料駐車場 土手	アマリカハナミズキ(25本)	80
6	出改札前植込み	オオムラサキツツジ・ツゲ・トウダンツツジ	71
7	駐輪場植込み	オオムラサキツツジ	710
8	体協前斜面植込み	オオムラサキツツジ・トウダンツツジ・ツゲ	180
9	山の手線側のり面	オオムラサキツツジ・ツゲ	56
10	原宿口アンカーブロック	ピラカンサ・オオムラサキツツジ・アマリカハナミズキ(4本)	42
11	原宿口園地	オオムラサキツツジ・ピラカンサ	1,300
12	原宿口園地 (上)	芝生・オオムラサキツツジ・樺(3本)	130
13	室内水泳場園地	アマリカハナミズキ(20本)・カイズカイブキ(4本)	160
14	プロムナード花壇	オオムラサキツツジ・トウダンツツジ・ツゲ・アマリカハナミズキ(7本)	60
15	第二体育館正面植込み	オオムラサキツツジ・トウダンツツジ・ツゲ	7,414
16	第二体育館園地植込み	芝・オオムラサキツツジ・ツゲ・アマリカハナミズキ(12本)	1,564
17	第二体育館園地	芝	1,564
18	専務棟上園地	芝・オオムラサキツツジ	900
19	専務棟前土手	芝	150
20	渋谷口前園地	芝・オオムラサキツツジ・ピラカンサ・アマリカハナミズキ(11本)	123
21	警備室前植込み	アマリカハナミズキ(2本)	3,367
22	渋谷口前植込み	芝・オオムラサキツツジ	100
23	渋谷口アンカーブロック	オオムラサキツツジ	60
24	北門側園地	ツゲ・アマリカハナミズキ(13本)	837
25	北門側外側	ツゲ・アマリカハナミズキ(53本)	25
26	北門側外側 (北門～東ランプ)	ツゲ	39
27	北門側外側 (東ランプ～原宿門)	ツゲ・ヒメカラヤスギ(11本)	670
28	北門側外側 (原宿門～電話ボックス)	ツゲ・オオムラサキツツジ・アマリカハナミズキ(5本)	
29	北門側外側 (西門～西車門)		
30	西側通路土手		
31	西側通路土手		

設備保守点検業務

1 有料駐車場自動料金精算システム保守点検

1 保守点検回数	6回/年（偶数月に実施）	
2 保守対象設備	アマノパーキングシステム 自動料金精算システム（SYS-75N）	
	料金精算機（NT-7700）	1台
	駐車券発行機（TF-2800N）	1台
	カーゲート（NT-1500）	2台
	ゲートバーキャッチャー（NT-1900）	2台
	入口表示灯	1台
	出庫注意灯	1台

3 一般事項

- (1) 自動料金精算システムが、正常な状態で稼動するよう保守点検を行うこと。
- (2) 保守点検業務による交換部品（駐車券及び集計用ロール紙を除く）は、受注者の負担とする。
- (3) 定期保守
 - ア 2ヶ月に1回（原則として第4火曜日）技術員を派遣し、機器の点検を実施すること。
 - イ 点検実施月は、偶数月とする。
- (4) 緊急保守

緊急対応受付時間は、平日・休日（祝日を含む）の9時00分から22時00分とする。

4 点検項目

- (1) 駐車場発券機
 - ア 案内放送動作
 - イ 発券動作（券送り、カッター）
 - ウ 駐車券印字、データ書込動作
 - エ パスカード読取動作
 - オ 廃券処理動作
 - カ 各種ランプ及び表示、時刻
- (2) カーゲート
 - ア ゲートの自動開閉動作
 - イ ゲートの手動開閉動作
 - ウ アームキャッチャーの動作
 - エ メカ系統の状態
 - オ トルクリミッターの滑り
- (3) 出口読取機
 - ア 案内放送動作
 - イ シャッターの開閉動作
 - ウ 駐車券・パスカードの読取動作
 - エ ラグタイムの確認
 - オ 廃券処理動作
 - カ 各種ランプ及び表示、時刻
 - キ 不良券・未清算券の処理動作

- (4) その他周辺機器
 - ア パスカードリーダーの動作
 - イ カード書込機の動作
 - ウ 入口表示灯
 - エ 出庫表示灯
 - オ 監視盤
- (5) 料金精算機
 - ア 案内放送動作
 - イ シャッターの開閉動作
 - ウ 駐車券読取、印字動作
 - エ パスカード読取動作
 - オ 料金表示動作
 - カ コイン読取動作
 - キ つり銭払出動作
 - ク 紙幣読取及び金庫収納動作
 - ケ 精算中止・駐車券紛失動作
 - コ 操作パネル機能
 - サ 時計歩進及び時刻調整
 - シ 各種ランプ及び表示機能
 - ス ジャーナルプリンター動作
 - セ 精算及び集計機能
 - ソ 満空車制御機能
 - タ その他の電気系統の状態
 - チ その他のメカ系統の状態
 - ツ 電源電圧
- (6) 感知器・ループ
 - ア 車両感知器の動作
 - イ ループコイルの状態

2 第一体育館（東ランプ）客席昇降装置保守点検

- 1 保守点検回数 1回/年
- 2 保守対象設備 第一体育館（東ランプ）客席昇降装置 1基
株式会社コトブキ製 設置年 平成元年

3 点検項目

- (1) 本体外観
- ア モートルシリンダー支柱に変形、損傷はないか。
 - イ 床に汚れ、損傷はないか。
 - ウ 椅子に汚れ、損傷はないか。
 - エ 手摺に変形、損傷はないか。
 - オ フロントパネルに変形、損傷はないか。
 - カ 収納時、建物との揃いは良いか。
 - キ 上昇時、左右の揃いは良いか。
 - ク 本体フレームに変形、損傷はないか。
 - ケ 本体フレーム蝶番に変形、損傷はないか。
 - コ モートルシリンダーカバーに変形、損傷はないか。
 - サ 本体フレームと建物との間隔は正常か。
- (2) 接合部ボルト・ナット
- ア フレームの緩みはないか。
 - イ 手摺の緩みはないか。
 - ウ フロントパネルの緩みはないか。
 - エ 椅子組立各部の緩みはないか。
 - オ 蝶番取付に緩みはないか。
 - カ モートルシリンダー先端金具に緩みはないか。
 - キ モートルシリンダークレビス金具に緩みはないか。
- (3) 制御装置
- ア 制御盤に損傷はないか。
 - イ スイッチボックスに損傷はないか。
 - ウ 配管に損傷はないか。
 - エ リミットスイッチに損傷はないか。
 - オ リミットスイッチの取付に緩みはないか。
 - カ リミットスイッチは正常に動くか。
 - キ 配線の取付金具に緩みはないか。
 - ク 上昇、収納、停止の各スイッチの機能は正常か。
 - ケ 作動中ブザーの鳴りは正常か。
 - コ 非常停止の確認。
 - サ リレー等の損傷はないか。
 - シ 表示灯の球切れはないか。
- (4) 駆動装置
- ア モートルシリンダーに変形、損傷はないか。
 - イ 作動の際、モーターに異常な発熱はないか。
 - ウ 作動の際、各部より異常音の発生はないか。
 - エ ギヤ部の注油は十分であるか。
 - オ 軸受部の注油は十分であるか。（ボールネジ）
 - カ ボルト、ナット類に緩みはないか。
- (5) その他
- 蝶番部分及びブストッパー部分にゴミ等の蓄積はないか。

3 第一体育館（西ランプ）客席昇降装置保守点検

- 1 保守点検回数 1回/年
- 2 保守対象設備 客席昇降装置1基
森平舞台機構株式会社製

3 点検項目

(1) 点検対象の装置部品名については以下のとおりとする。

- ア 機械架台
- イ 電動機
- ウ カップリング
- エ Vプーリ・Vベルト
- オ 減速機
- カ ブレーキ
- キ ギア類
- ク 駆動軸・軸受
- ケ ガイドレール
- コ ガイドローラ
- サ ラックギヤー
- シ フレーム関係
- ス 操作盤
- セ 制御盤
- ソ リミットスイッチ
- タ 保安スイッチ

(2) 点検対象部品の作業内容は、以下の項目とする。

- ア 全般にわたる外観目視点検
- イ 機能点検
- ウ 機械類の点検整備
- エ 装置各部の点検整備
- オ 各部取付状態の確認
- カ ボルト類の締付状態確認
- キ 機械・ピット内・鋼元周辺の清掃
- ク 異物の確認・除去
- ケ 給油・給脂
- コ 安全装置類の作動試験
- サ 負荷電流測定
- シ 絶縁抵抗測定
- ス 制御盤・操作盤の点検
- セ 総合運転確認

4 小便器洗浄水節水用機器（FM節水器）保守点検

1 保守点検回数 1回/年

2 保守対象設備設置場所及び数量

点検場所	型式等	検出器 (センサー)	電磁弁
1 第一体育館			
南東アリーナ	M型 : SF型 200V	1個	1個
北西アリーナ	GSP型 : SF型 200V	1個	1個
正面玄関	M型 : SF型 200V	1個	1個
合計		3個	3個

3 点検項目

(1) 検出器（センサー）

- ア 外観点検
- イ スイッチ類の確認
- ウ 初期放水の確認
- エ ランプ類の確認
- オ 感度の確認
- カ バルブの確認
- キ 時間の確認
- ク 補助の確認
- ケ ヒューズ類の確認

(2) 電磁弁

- ア 外観点検
- イ コイルの確認
- ウ パッキンの確認
- エ プランジヤーの確認
- オ パックレスの確認
- カ 弁座の確認
- キ ガスケットの確認
- ク Uパッキンの確認
- ケ ケレップの確認
- コ 弁体の確認
- サ ボールタップの確認
- シ 給水量の確認
- ス 消音管の確認

5 第二体育館移動観覧席保守点検

- 1 保守点検回数 1回/年
- 2 保守対象設備 第二体育館移動観覧席（314席）
愛知株式会社製
品番：AHB-A5200
平成22年8月新設

3 点検項目

基本的な点検は、以下のとおりとし、目視点検やパーツ等の緩みやガタツキの点検を行い、補充及び増し締め作業を行うとともに、必要箇所へのグリスアップ作業、駆動装置等の動作確認、出入り誤差の調整作業、清掃を行うこと。

(1) 主要構造体

ア 本体

- (ア) 本体フレームに、変形・金属疲労・スライド下部摩耗はないか。
- (イ) デッキサポートに変形・金属疲労はないか。
- (ウ) キャンチレバーに変形・金属疲労はないか。
- (エ) 筋カインに、変形・金属疲労はないか。
- (オ) 車輪に、摩耗・変形・Cリングの脱落はないか。

イ 各機能部

- (ア) 脚部ロック板に、摩耗・変形・機能・Cリングの脱落はないか。
- (イ) 平行装置に、変形・機能・ベアリング取付状態に異常はないか。
- (ウ) 各段ストッパーに、変形・取付状態・異音等異常がないか。
- (エ) 段受ローラー変形・取付状態・異音等異常がないか。

ウ 床部

- (ア) アルミデッキに、変形・デッキ部の浮き・歩行異音等異常がないか。
- (イ) カーペットに、変色・剥がれ・破れなどがないか。

エ 建築取付部

- (ア) フロアアタッチメントに、変形や取付状態など異常がないか。
- (イ) 壁面固定金物に、変形や取付状態など異常がないか。
- (ウ) 天井固定金物に、変形や取付状態など異常がないか。

(2) 駆動装置本体部

- ア モーターに、変形や取付状態など異常がないか。
- イ キャタピラーパットに、消耗・変形・破損など異常がないか。
- ウ 圧縮バネについて、取付状態やバランスなど異常がないか。
- エ チェーンについて、張り具合や取付状態に異常がないか。

(3) 起倒装置イス部

- ア モーターに、変形や取付状態など異常がないか。
- イ ギヤーに、変形や摩耗はないか。
- ウ 起倒スプリングに、変形や金属疲労はないか。
- エ リンクに、変形・Cリングの脱落はないか。

(4) 電気設備

- ア 電気回路部の開閉リミットスイッチについて、取付状態やバランスに異常がないか。
- イ 電気回路部の起倒リミットスイッチ（AHP）について、取付状態やバランスに異常がないか。
- ウ 配線のたるみ具合やねじれ、変形・発熱などの異常はないか。
- エ 配管の取付状態に異常はないか。
- オ 制御盤各機器の状態や、配線取付状態に異常はないか。

(5) 上体イス部

- ア 座の張地の破損、汚れがなく、木部の状態は良いか。

- イ 背の張地の破損、汚れがなく、木部の状態は良いか。
 - ウ フレームの破損がないか、取付状態は良いか。
 - エ 座回転アームに変形や破損がなく、可動状態は良いか。
 - オ イスカバーに変形や破損がないか。
- (6) 可動時の作動状態
- ア 収納時の位置ずれはないか。
 - イ 使用時の位置ずれはないか。
 - ウ 各段の変則作動状態に異常はないか。
 - エ イスの起立作動状態に異常はないか。
- (7) 安全装置
- ア 各部のペンダントスイッチの使用状況、収納、停止各作動について異常はないか。
 - イ 各信号音について、作動状況に異常はないか。
- (8) その他
- ア 手すり（着脱式）について、変形・破損・機能に異常はないか。
 - イ 手すり（ソケット）について、変形・金属疲労・ノブボルト取付状態に異常はないか。
 - ウ スライドパネルsについて、変形・破損・機能に異常がないか。
 - エ 置き式ステップに、変形・破損がないか。
 - オ テーブルに、変形・破損がないか。
 - カ 建築幕板に、変形・破損がないか。
 - キ ブロック間部幕板に、変形・破損がないか。埋め込みナットに異常はないか。
 - ク サイドパネル部幕板に、変形・破損・機能に、異常はないか。
 - ケ 通路部幕板の取付状態、可動状態に異常がないか。

6 500kW常用ガス発電設備等保守点検

1 保守点検回数 1回/年

2 保守対象設備

500kW常用発電設備

ア 常用ガス機関及び補機一式

イ 常用発電装置及び補機一式

ウ デマンド制御装置

エ 高圧受変電設備 (配電盤絶縁抵抗測定、保護継電器)

(ア) 機械棟 (受電盤、配電盤1～2、変圧器盤1～4)

(イ) 第一体育館 (送風機変圧器盤)

(ウ) 保護継電器 (機械棟、第一体育館)

オ 直流電源装置 (蓄電池)

(ア) 機械棟B1F 50AH

(イ) 機械棟B1F 400AH

(ウ) 第一体育館2F蓄電池室 200AH

3 一般共通事項

- (1) 保守対象設備に係るソフトウェアについては、株式会社東芝の知的財産権があるので、当該権利の使用がある場合は、受注者の責においてこれを行うこと。

4 点検項目

- (1) 常用ガス機関及び補機

ア 総合点検

(ア) 外観目視点検

(イ) 燃料ガス漏れ点検

(ウ) 冷却水、潤滑油漏れ点検

(エ) 各部ボルト、ナットの緩み点検

(オ) 換気状況の点検

(カ) 異常音、発熱、振動点検

(キ) 弁、コックの開閉状況点検

(ク) 運転状態の点検、確認

(ケ) 始動、停止、運転確認

(コ) 保護装置の動作確認

- (2) 燃料ガス供給系統

ア ガス供給配管ユニット、ガスコンプレッサー

(ア) 主ガスフィルタ、開放、内部の清掃点検

(イ) Vベルトの張り、振動及び磨耗状況

(ウ) クランクケースオイルの汚れ状況、オイル量確認

(エ) 冷却水量、異常音、振動、発熱、弛み、洩れ、圧力点検

(オ) 圧力計、温度計の指示値確認

- (3) ガス機関

ア 計器類

(ア) 回転計

指示値点検、確認

(イ) 各種圧力計

指示値点検、確認

(ウ) 各種温度計

指示値点検、確認

(エ) その他の計器類

指示値点検確認

イ 空燃比制御装置

エンジン制御用マイコン、表示データの点検、確認

ウ 電源装置

始動用バッテリー

- (ア) 電解液液面の点検、確認
- (イ) 電解液の比重計測
- (ウ) 電圧確認 (充電)

エ 点火装置

- (ア) パルサ
点火時期の確認
- (イ) イグナイタ
端子の緩み点検
- (ウ) 点火コイル
端子の緩み点検
- (エ) プラグコード
外観の目視点検

オ シリンダヘッド関係

- (ア) チェックバルブの洗浄
- (イ) 吸気弁・排気弁の隙間点検、調整

カ 調速装置

- (ア) 電子ガバナの電磁ピックアップ点検
- (イ) スロットルバルブ
 - a リンケージの緩み、ガタ点検
 - b レバーシール部への注油
 - c 内部点検

キ 潤滑油系統

- (ア) 油量の点検
- (イ) 潤滑油圧力の点検、確認
- (ウ) 潤滑油コシ器
 - a バイパスフィルタ交換
 - b エレメント交換
- (エ) クランクケース内部点検
- (オ) プライミングポンプ作動確認

ク 冷却水系統

- (ア) 回収熱交の汚れ状況点検、確認
- (イ) 余剰熱交の汚れ状況点検、確認
- (ウ) 冷却水膨張タンク、水位の点検、確認
- (エ) 冷却水温調弁の作動点検
- (オ) 薬注入、薬注ポンプ作動確認

ケ 給気系統

- (ア) 給気マニホールド
始動補助管のドレン抜き
- (イ) ベンチュリミキサ
分解、清掃、点検
- (ウ) 給気フィルタの洗浄

(4) 発電装置及び補機

- ア 電圧、電流、電力が定格値内にて運転されているか点検、確認
- イ 接地線の緩み、たわみはないか確認

(5) 運転状況

- ア 始動時、運転時に異音、異臭がないか点検、確認
- イ 始動時、運転時に平常と異なる振動や振幅の増大がないか点検、確認
- (6) 固定子
 - ア 外観
 - (ア) 固定子の汚れがないか点検
 - (イ) 据付、各部のボルトに緩みがないか点検
 - (ウ) 端子箱
 - 締付部の緩み、変色がないか点検
 - (エ) 配線、配管
 - 外傷、変色、腐食、油漏れがないか点検
 - (オ) 温度計及び温測素子
 - 汚れ、断線がないか点検
 - イ 巻線
 - (ア) 口出し線
 - 損傷、変色、割れがないか点検
 - (イ) 絶縁抵抗
 - 絶縁抵抗測定及び固定子巻線の清掃
- (7) 回転子
 - ア 巻線
 - 絶縁抵抗測定及び回転子巻線の清掃
 - イ その他
 - 締付ボルトに緩みがないか点検
- (8) 軸受
 - ア ころがり軸受
 - (ア) 磨耗粉の流出、劣化、異常な変色がないか点検
 - (イ) 目視、触覚により錆、異常摩擦、過熱変色がないか点検
 - (ウ) 温度計、触覚、聴覚により平常値と異なる温度上昇、振動、音響の増大がないか点検
- (9) ブラシレス励磁機
 - ア 巻線
 - (ア) 外観、内部の目視による点検
 - (イ) 固定子、回転子、巻線の目視、触覚による点検
 - (ウ) 口出し線及び接続部の目視、触覚による点検
 - イ 回転整流器
 - (ア) 整流器
 - 締付緩み、リード線の断線がないか点検
 - (イ) 接続部
 - 締付緩み、リード線の断線がないか点検
 - (ウ) 絶縁抵抗測定
 - 0.5Ω以上
- (10) 発電機盤内外部全般
 - ア 盤内外部の扉、鍵及び換気ファンに錆、変形、破損、汚損、腐食等の異常がないか、また、盤面計器に異常値、破損等がないか点検
 - イ 遮断器
 - 投入動作の点検、確認
 - ウ 器具類
 - (ア) 接触器、補助継電器
 - 動作不良、破損、損傷等がないか、また、留め金具が正常であることを点検、確認
 - (イ) 計器用PT、CT

- 変形、加熱変色、損傷等
- (ウ) ヒューズ
断線、クリップの錆
- (エ) 抵抗器類
断線、劣化等
- (オ) 保護継電器
内部のほこり、接触不良等
- (カ) 表示灯
グローブ破損、球切
- (キ) 計器
錆、変色の点検及び零点確認
- (ク) 調整器類
変色、汚損、基板の過熱変色等
- (ケ) 電動操作可変抵抗器
- エ 絶縁接地測定
主回路、補機回路の絶縁接地測定
- オ 運転
 - (ア) 始動、停止試験
異常がないか確認
 - (イ) 計器
動作指示の確認
 - (ウ) 電圧調整範囲
±5%以内であることを確認
 - (エ) 周波数調整
±5%程度の調整が安定してできるか確認
 - (オ) 遮断器
入、切動作が正常であるか確認
 - (カ) 故障保護装置
表示、警報、トリップ、停止の動作が正常であるか確認
 - (キ) 自動運転
自動モードによる運転で自動始動、投入及び自動遮断・停止が確実にできるか確認
 - (ク) 負荷運転
運転に異常がないか確認
 - (ケ) 並列運転
系統連系運転の確認
- カ 継電器
作動確認試験
- キ シーケンス
動作試験
- (11) 励磁用関係の点検、確認
 - ア 器具部品
 - (ア) 補助変圧器
汚損、変色検
 - (イ) リアクトル
スペーサーの枯れ、コイルのガタ
 - (ウ) 変流器
汚損、変色
 - (エ) 自動電圧調整器 (AVR)
静特性試験、動特性試験

- (オ) シリコン整流器
破損、絶縁部に異常がないか点検
- イ 配線関係
初期励磁回路の器具、部品に異常がないか点検
- (12) 常用発電設備用監視盤・系統連係盤
 - ア 機器収納盤 (H I P) の点検、確認
 - (ア) 外観及び内部機器の清掃
 - (イ) 各種ケーブル・コネクタの装着状況
 - (ウ) 電源・電圧
 - イ 内蔵プリンタの点検、確認
 - (ア) 外観及び内部機器の清掃
 - (イ) 各種ケーブル・コネクタの接続状況
 - (ウ) 電源電圧
 - (エ) ディップスイッチの設定
 - (オ) オンラインによる機器動作状態
 - (カ) セルフテストによる印字ヘッドの状態
 - ウ CPU部 (FP3100) の点検、確認
 - エ ローカルオブジェクトコントローラ (LOC) の点検、確認
 - (ア) 外観及び内部機器の清掃
 - (イ) 各種ケーブル・コネクタの装着状況
 - (ウ) 電源電圧
 - (エ) 各伝送基板の動作状況
 - オ デマンド監視装置の点検、確認
 - (ア) 外観及び内部機器の点検、清掃
 - (イ) 各種ケーブル・コネクタの装着状況
 - (ウ) 電源、設置端子等の締め付け
 - (エ) 各表示類
 - (オ) メッセージプリンタ
 - (カ) 警報出力
 - (キ) 制御リレー
 - (ク) 制御
 - (ケ) 停電補償用電池電圧
 - (コ) 入力電源電圧
 - (サ) 入出力信号
- (13) 系統連係盤
系統連係盤点検仕様書は、高圧受変電設備の点検・測定及び手入れ基準に準じる。
- (14) 直流電源装置整流器
 - ア 設置環境の確認
 - (ア) 塵埃、温度、換気、振動等
 - (イ) 盤の保有距離
 - イ 盤内外の確認
構造、各部品の変形、キズ、亀裂、発錆、異音、異臭、異常温度
 - ウ 運転状態における特性確認
 - (ア) 交流入力電圧の測定及び検相
 - (イ) 直流出力電圧 (蓄電池、負荷) の測定
 - (ウ) 直流出力電流 (蓄電池、整流器、負荷) の確認
 - エ 清掃
盤内外の塵埃、汚れの除去
 - オ 絶縁抵抗の確認
 - (ア) 交流入力、接地

- (イ) 直流出力、接地
- カ 機械的動作の確認
 - (ア) 扉の開閉及び引出しを必要とするものの動作
 - (イ) 接触器、開閉器、切替器の動作
- キ 各部締付、ハンダ付の確認
 - 各端子部、取付部のボルト、ナット、ビス類の締付状態及びハンダ付の状態
- ク 直流出力電圧特性の確認
 - (ア) 自動電圧設定値の確認（浮動充電、均等充電）
 - (イ) 手動電圧調整範囲
- ケ 直流出力電流特性の確認
 - 最大垂下電流
- コ 自動均等充電回路の動作確認
 - (ア) 回復充電の動作
 - (イ) 手動切替の動作
- サ 電圧波形の確認
 - 直流出力（転流）電圧
- シ 部品特性の確認
 - (ア) 保護継電器類の動作
 - (イ) 直流電圧計の誤差
- ス 電氣的動作の確認
 - (ア) 運転、停止時及び各切替操作時の動作
 - (イ) 保護連動の動作
 - (ウ) 表示灯、表示器の点灯、表示
- セ 最終確認
 - (ア) 自動電圧設定値の確認（浮動、均等充電）、直流出力電圧、電流の安定性
- (15) 蓄電池
 - ア 設置環境の確認
 - (ア) 塵埃、温度、換気、振動等
 - (イ) 盤、架台の保有距離
 - イ 蓄電池収納部の確認
 - (ア) キュービクル、台車、架台、端子台等の変形、変色、キズ、亀裂、発錆、腐食
 - (イ) 扉の開閉、台車引出しの状態
 - ウ 蓄電池の外観確認
 - (ア) 電槽
 - 蓋、各部パッキンの変形、亀裂
 - (イ) 端子
 - ボルト、ナット、接続ケーブルの腐食、発錆
 - (ウ) 封口部の亀裂、はがれ
 - (エ) 触媒栓の変形、亀裂
 - (オ) 排気栓、液口栓の変形、亀裂
 - (カ) 温度センサー
 - a 減液警報電極の取付状態
 - b 損傷、変形
 - エ 蓄電池の内部確認
 - (ア) 極群の亀裂、損傷
 - (イ) セパレーター、スペーサーの変形、亀裂、損傷
 - (ウ) 活物質の沈殿量
 - (エ) 電解液の濁り、変色
 - (オ) 電解液面位
 - オ 浮動充電状態における特性確認

- (ア) 充電電圧の測定
 - a 総電圧
 - b 単電池電圧
- (イ) 電解液比重、温度の測定
- カ 端子部の締付確認
 - (ア) 蓄電池端子のボルト、ナット
 - (イ) 端子台のボルト、ナット、ビス
- キ 清掃
 - 蓄電池収納部及び蓄電池本体の塵埃、汚れ
- ク 最終確認
 - 総充電電圧の測定 (浮動、均等充電)

7 冷凍機保守点検

1 保守点検回数	シーズンイン点検（本体整備・試運転前調整）	1回/年
	シーズンオン巡回点検	2回/年
	シーズンオフ巡回点検	1回/年

2 保守対象設備

ターボ式冷凍機 2台

機名 : RTBF025

製番 : B091241801-1/2・2/2

平成22年3月新設

3 点検項目

(1) シーズンイン点検（本体整備・試運転前調整）

ア 本体標準整備

(ア) 本体点検整備

a 外観点検

- ・ 損傷、発錆等の有無を確認する。
- ・ 固定金具の劣化、固定ボルト、防振材、ストッパー等の緩みがないか。緩みがあった場合には、増し締めする。

b クーラチューブ洗浄及び水室内点検

- ・ クーラチューブを、毛ブラシや中性洗剤にて洗浄する。
- ・ クーラ水室内ガスケット、仕切りゴム、防触亜鉛板を交換する。
- ・ 必要に応じて塗装補修を行う。

c コンデンサチューブ洗浄及び水室内点検

- ・ コンデンサチューブを、毛ブラシや中性洗剤にて洗浄する。
- ・ コンデンサ水室内ガスケット、仕切りゴム、防触亜鉛板を交換する。
- ・ 必要に応じて塗装補修を行う。

d 温水コンデンサチューブ洗浄及び水室内点検

- ・ 温水コンデンサチューブを、毛ブラシや中性洗剤にて洗浄する。
- ・ 温水コンデンサ水室内ガスケット、仕切りゴムを交換する。
- ・ 必要に応じて塗装補修を行う。

e 冷媒系統点検

- ・ 回収時に、各熱交換器の流量が確保されていることを確認する。
- ・ 冷媒を回収する。
- ・ 遊離水分の有無を確認する。
- ・ 溶存油量を確認する。
- ・ 冷媒フィルタエレメント、冷媒フィルタ用Oリング、ドライヤなどの整備部品を交換する。

f 潤滑油系統点検

- ・ 潤滑油を抽出する。
- ・ 潤滑油を分析する。
- ・ オイルフィルタ用エレメント、オイルフィルタ用ガスケット、オイルフィルタ用

Oリング、エジェクタフィルタエレメント、エジェクタフィルタ用Oリングなどの

整備部品を交換する。

g 抽気回収装置系統点検

- ・ フロート弁の作動を確認する。
- ・ フロートボールの気密を確認する。
- ・ フロート室フランジ用Oリング、フロート室フランジ用ガスケット、パイプラ

イ

ンフィルタエレメント、パイプラインフィルタ用Oリングなどの整備部品を交換する。

h 操作盤電気整備

- ・ 操作盤内を清掃する。
- ・ 端子に緩みがないことを確認する。緩みがあった場合には、増し締めする。
- ・ 絶縁抵抗値を測定する。
- ・ 供給電源電圧を測定する。
- ・ 相間バランスを確認する。
- ・ タイマ・サーマルリレーの設定値を確認する。
- ・ 操作盤設定項目の確認と設定を行う。
- ・ センサ（温度・圧力）の表示値を確認する。
- ・ バックアップバッテリーを点検する。
- ・ シーケンスチェックを実施する。

i 保安装置類点検

- ・ 圧力スイッチ・サーモスタットの設定値を確認する。
- ・ 減断水スイッチの実作動値を確認する。

j 運転モードの切り替え

- ・ 運転モードの切替を確認する。

(イ) 気密試験

a 圧力試験

- ・ 機内を加圧し、漏れのないことを確認する。

b 真空試験

- ・ 機内を真空ポンプにて抽気する。
- ・ 真空放置後の真空降下値を確認する。
(機内真空値 Pa [a b s] 、 機内温度 °C)

c 露点試験

- ・ 露点温度を確認する。
- ・ 測定値（測定箇所と温度（°C））を記録する。
- ・ 使用窒素ガス露点温度を測定する。

d 電動機盤整備

- ・ 電動機盤内を清掃する。
- ・ 端子に緩みがないことを確認する。緩みがあった場合には、増し締めする。
- ・ 主接点に剥離、溶損及び異常磨耗がないことを確認する。
- ・ 絶縁抵抗値を測定する。
- ・ 盤内の電圧計で電圧を確認する。
- ・ タイマの設定値を確認する。
- ・ アークシュート・絶縁バリアの取付状態を確認する。
- ・ シーケンスチェックを実施する。

e インバータ整備

- ・ インバータ盤内を清掃する。
- ・ 端子及びコネクタの緩みがないことを確認する。緩みがあった場合には、増し締めする。
- ・ 絶縁抵抗値を測定する。
- ・ OCRの設定値を確認する。
- ・ 冷却ファンサーマルの設定値を確認する。
- ・ 供給電源電圧を測定する。
- ・ 相間バランスを確認する。

- ・ 冷却ファンの回転方向を確認する。
- ・ 冷却ファンの運転電流値が定格以下であることを確認する。
- ・ シーケンスチェックを実施する。
- ・ エアフィルタを整備する。

イ 試運転調整

(ア) 試運転前点検

- 操作盤電気系統点検
 - ・ 絶縁抵抗値を確認する。
 - ・ センサ（温度・圧力）の表示値を確認する。
- 電動機盤電気系統点検
 - ・ 絶縁抵抗値を確認する。
 - ・ アークシュート、絶縁バリアの取付状態を確認する。
- インバータ盤電気系統点検
 - ・ 絶縁抵抗値を確認する。
 - ・ 冷却ファンの回転方向を確認する。
 - ・ 冷却ファンの運転電流が定格以下であることを確認する。
 - ・ 冷却ファンのリミットスイッチの作動状態を確認する。
- 保安装置点検

以下の減断水スイッチの実作動値（オフ・オン）を確認する。

 - ・ 冷水減断水スイッチ
 - ・ ブライン減断水スイッチ
 - ・ 冷却水減断水スイッチ
 - ・ 温水減断水スイッチ
- 運転モード確認
 - ・ 冷専、熱回収、製氷、冷房、暖房別の運転モードを確認する。
 - ・ 操作盤の目標温度、温調停止温度、温調復帰温度について、冷水、温水、製氷別に確認する。
- 潤滑油注入
 - ・ 注入前に、機内不凝縮ガスを真空ポンプにて抽気すること。
- 冷媒注入
 - ・ オイルタンクの温度を確認すること。
 - ・ 注入前に、機内圧力を確認し、冷媒全量を回収すること。
 - ・ 注入時に、各熱交換器の流量が確保されていることを確認すること。
 - ・ 冷媒を注入すること。
- モータ回転方向及び電流値確認
 - ・ ポンプ、圧縮機の回転方向を確認すること。
 - ・ ポンプ、圧縮機の運転電流値が定格以下であることを確認すること。

(イ) 試運転調整

- 不凝縮ガス抽気
 - ・ 機内不凝縮ガスをフロン回収装置にて抽気すること。
- 抽気回収装置点検
 - ・ 抽気回収装置の作動確認
 - ・ 作動回数を確認すること。
- 冷媒系統点検
 - ・ 冷却水出口と冷水（ブライン）出口の温度差を確認すること。
 - ・ 主電動機冷却冷媒の状態を確認すること。
- 冷水（ブライン）系統点検
 - ・ 冷水（ブライン）入口と冷水（ブライン）出口の温度差を確認すること。
 - ・ クーラLTDを確認すること。
 - ・ 冷水（ブライン）出口温度 － 冷媒蒸発温度 を確認すること。

- e 冷却水系統点検
 - ・ 流量を確認すること。
 - ・ 冷却水出口と冷却水入口の温度差を確認すること。
 - ・ コンデンサLTDを確認すること。
 - ・ 冷媒凝縮温度 - 冷却水出口温度 を確認すること。
 - ・ 冷却水入口温度の変動を確認すること。 ($\sim^{\circ}\text{C} / \text{min}$)
 - f 温水系統点検
 - ・ 流量を確認すること。
 - ・ 温水出口と温水入口の温度差を確認すること。
 - ・ 温水コンデンサLTDを確認すること。
 - ・ 冷媒凝縮温度 - 温水出口温度 を確認すること。
 - g 総合運転調整及び運転データ記録
 - ・ 容量制御、限流制御及び圧力制御が機能することを確認すること。
 - ・ 異音、異音振動のない事を確認すること。
 - ・ 総合的な運転状況を確認すること。
 - ・ 運転データを記録すること。
 - ・ サービスツール (DAIS) にてデータを保存すること。
- (2) シーズンオン巡回点検
- ア 圧縮機点検
 - (ア) オイルタンクの油面を確認する。
 - (イ) 全油圧を確認する。
 - (ウ) オイルタンク温度を確認する。
 - (エ) 軸受温度を確認する。
 - (オ) オイルポットの油面を確認する。
 - イ 運転試験
 - (ア) 容量制御及び限流制御及び圧力制御が機能していることを確認する。
 - (イ) 異音、異常振動のないことを確認する。
 - (ウ) 総合的な運転状況を確認する。
 - (エ) 運転データを記録する。
 - ウ 冷媒系統点検
 - (ア) 冷却水出口と冷水 (ブライン) 出口の温度差を確認する。
 - (イ) 主電動機冷却冷媒の状態を確認する。
 - エ 抽気回収装置点検
 - (ア) 抽気回収装置の作動確認を行う。
 - (イ) 作動回数を確認する。
 - (ウ) 遊離水分の有無を確認する。
 - オ 冷水 (ブライン) 系統点検
 - (ア) 流量を確認する。
 - (イ) 冷水 (ブライン) 入口と冷水 (ブライン) 出口の温度差を確認する。
 - (ウ) クーラLTDを確認する。
 - カ 冷却水系統点検
 - (ア) 流量を確認する。
 - (イ) 冷却水出口と冷却水入口の温度差を確認する。
 - (ウ) コンデンサLTDを確認する。
 - (エ) 冷却水入口温度の変動を確認すること。 ($\underline{\quad}^{\circ}\text{C} \sim \underline{\quad}^{\circ}\text{C} / \text{min}$)
 - キ 温水系統点検
 - (ア) 流量を確認する。
 - (イ) 温水出口と温水入口の温度差を確認する。
 - (ウ) 温水コンデンサLTDを確認する。
- (3) シーズンオフ巡回点検

ア 圧縮機点検

- (ア) オイルタンクの油面を確認する。
- (イ) オイルタンク温度を確認する。
- (ウ) オイルポットの油面を確認する。

イ 冷媒系統点検

- (ア) 機内圧力を確認する。
- (イ) 冷媒温度を確認する。

ウ 冷水系統点検

- (ア) ドレン弁が全開であることを確認する。

エ 冷却水系統点検

- (ア) ドレン弁が全開であることを確認する。

オ 温水系統点検

- (ア) ドレン弁が全開であることを確認する。

8 機械設備中央監視盤装置保守点検

1 保守点検回数 1回/年とする。

2 保守点検対象機器及び系統

機械設備中央監視盤装置

株式会社 山武製

平成14年度更新

(1) セントラル系統

ア	中央監視装置SAVIC-net20EV	1台
イ	中央監視装置SAVIC-netEVm30	1台
ウ	設備統合コントローラUIC	1台
エ	ホストインターフェイスマスターHIM	1台
オ	グラフィックドライバーGDR	1台

(2) ローカル制御系統

ア	1DGP-B3-1	1面
イ	1DGP-B2-1	1面
ウ	1DGP-B2-2	1面
エ	1DGP-B2-3	1面
オ	1DGP-B2-4	1面
カ	1DGP-B2-5	1面
キ	1DGP-B2-6	1面
ク	1DGP-B2-7	1面
ケ	1DGP-B2-8	1面
コ	1DGP-B1-1	1面
サ	1DGP-B1-2	1面
シ	1DGP-B1-3	1面
ス	1DGP-B1-4	1面
セ	1DGP-B1-5	1面
ソ	1DGP-B1-6	1面
タ	2DGP-B1-1	1面
チ	2DGP-B1-2	1面
ツ	2DGP-B1-3	1面
テ	2DGP-B1-4	1面
ト	2DGP-B1-5	1面
ナ	2DGP-B1-6	1面
ニ	2DGP-B1-7	1面
ヌ	2DGP-B1-8	1面
ネ	2DGP-B1-9	1面
ノ	2DGP-B1-10	1面
ハ	2DGP-B1-11	1面
ヒ	2DGP-B1-12	1面

3 点検項目

(1) 保守点検整備内容

ア セントラル系統

(ア) 中央監視装置(savic-net20EV)

中央監視装置の点検整備は、システム機構ユニット単位のH/W(ハードウェア)

ア) S/W(ソフトウェア)について実施し、総合的にリモートコントローラとの通信及び、制御の確認を行うこと。

(2) 中央監視装置

- ア MCL(メインコンソール)の点検内容
 - (ア) 各プリント板のLED表示点灯状態の確認
 - (イ) 各プリント板のスイッチ設定の確認
 - (ウ) 各コネクタ・ケーブルの取付け状態の確認
 - (エ) MODユニットの機能及び動作点検
 - (オ) FDDユニットの機能及び動作点検
 - (カ) HDDユニットの機能及び動作点検
 - (キ) FDDファイルのロード・セーブ動作の確認
 - (ク) HDDファイルのロード・セーブ動作の確認
 - (ケ) MODユニットのヘッドの清掃
 - (コ) スピーカーアラーム音量の調整及び機能点検
- イ PDU(電源ユニット)の点検内容
 - (ア) 受電ランプ表示の点灯常態の確認
 - (イ) 各端子の締付け状態の確認及び増締め
 - (ウ) 各出力電圧の確認及び調整
 - (エ) ユニット本体の清掃
- ウ CRT (カラーディスプレイ) の点検内容
 - (ア) 各コネクタ、ケーブルの接続状態の確認
 - (イ) 各部の清掃
 - (ウ) CRT画面カラー、コントラスト水平位置の確認及び調整
 - (エ) ユニット本体の消磁
- エ KB(キーボードユニット)の点検内容
 - (ア) キーボード表面部の汚れの清掃
 - (イ) キースイッチ操作による機能点検
 - (ウ) 各コネクタ部の取付け状態の確認
 - (エ) 各押しボタンによる機能点検
- オ MS(マウス)点検内容
 - (ア) 各コネクタ・ケーブルの接続状態確認
 - (イ) 各部の清掃
 - (ウ) カーソルの移動状態のチェック
 - (エ) クリック動作のチェック
- カ S/W (ソフトウェア) 機能点検及び制御点検内容
 - (ア) CRT表示機能及び状態確認
 - (イ) プリンター、プログラムによる印字の確認
 - (ウ) 警報音、外部出力の点検及び確認
 - (エ) グループファイルの確認
 - (オ) イベントプログラム等の確認
 - (カ) タイムプログラム及びタイムテーブル等の確認
 - (キ) サマリグラフ表示状態及び画面移行の確認
 - (ク) CPA設定による制御結果の確認
 - (ケ) アナログH/L監視の状態確認及びデータの確認
 - (コ) 運転時間積算のデータファイルの確認
 - (サ) 画面予約機能の確認
 - (シ) 火災入力の確認とプログラム実行の確認
 - (ス) 復電制御の確認
 - (セ) 日報/月報データの確認及び印字状態の確認
 - (ソ) 季節切替制御動作の確認
- キ MPR(メッセージプリンター)・LPR(ロギングプリンター)点検内容
 - (ア) 印字状態の確認及びプリンターリボンの交換
 - (イ) 各プリントプログラムによるプリント状態の確認

- (ウ) 各部清掃及び注油
- (エ) ユニット本体の清掃
- (3) ア U I C(設備統合コントローラ)点検内容
 - (ア) 各プリント板のLED表示、点灯状態の確認
 - (イ) 受電ランプ表示の点灯状態の確認
 - (ウ) 各コネクタ、ケーブルの取付け状態の確認
 - (エ) メモリバックアップバッテリーの電圧確認及び定期交換
 - (オ) ユニット本体の清掃
- イ ANN(アナンシェータ)点検内容
 - (ア) 信号ケーブル接続部の確認
 - (イ) 伝送電圧の確認
 - (ウ) 伝送電源スイッチの確認
 - (エ) カードの確認
- ウ GDR(グラフィックドライバー)点検内容
 - (ア) 信号ケーブル接続部の確認
 - (イ) 伝送電圧の確認
 - (ウ) 伝送電源スイッチの設定確認
 - (エ) カードの確認
- エ UPS(無停電電源装置)点検内容
 - (ア) 変色、変形、断線、破損、腐食の点検及び整備
 - (イ) 盤全体の清掃
- (4) ローカル制御盤系統 (DGP盤)
 - ア 発停ポイントの点検内容

NET20EVよりON/OFF信号を出し、リモートユニット及びBMIFの確認(計装状況及びシステムの状態を確認する。)運転確認信号(動力ポイントからの戻り信号)を確認すること。
 - イ 状態/警報ポイントの点検内容

擬似信号または、試験信号を動力盤に、シーケンス回路より出力させてnet20EV側にて動作確認をすること。警報信号が直接出せない場合は、端子台にて試験を行うこと。
 - ウ 温湿度計測ポイントの点検内容

アスマン通風式乾湿計(又は測定器)にて、温湿度検出器を測定し中央監視盤(net20EV)の表示と誤差チェックを行うこと。誤差が生じている場合は、チェッカーにて中央表示を確認すること。

これによって、リモートユニット入力モジュールカードの校正又は検出器本体の良否を判断すること。
 - エ 電圧、電流、電力、力率計測ポイントの点検内容

電力盤(キュービクル盤)のメータ表示にて、信号変換器の出力校正を行い、中央側の表示を確認すること。積算値の場合も各メーターカウンタ値と校正をおこなうこと。
 - オ 設定ポイントの点検内容

リモートユニットの出力値を中央側にて設定変更した場合に相当する出力値に対し確認し校正すること。この点検に伴い、制御機器(ローカル機器)の入力へ繋ぎ、その機器の出力を確認すること。

9 吸収式冷温水機保守点検

1 保守点検回数	暖冷切替整備	1回/年
	冷房中間点検	1回/年
	冷暖切替整備	1回/年
	暖房中間点検	1回/年
	チューブ清掃	1回/年
2 保守対象設備	日立製作所製	
	HAU-BGN700VTB 700RT	2台
	セ番：BE135777、135778	
	遠隔監視装置付 平成12年度新設	

3 点検項目

- (1) 暖冷切替整備
 - ア 総合外観点検
 - イ 電気機器絶縁抵抗測定
 - ウ 冷房切替操作
 - エ 燃焼装置点検調整
 - オ 抽気機能点検
 - カ インヒビタ調整（調整量は分析結果による。）
 - キ 気密確認
 - ク 溶液サンプリング分析
 - ケ 運転調整・運転記録採取
 - コ 保護リレー回路及び温度計の点検、調整
 - サ 冷水及び冷却水の pH 測定
- (2) 冷房中間点検
 - ア 運転記録の点検、確認
 - イ 運転状況確認及び記録
 - ウ 溶液量、冷媒量確認及び調整
 - エ 抽気機能点検
 - オ 機密確認
 - カ 燃焼装置点検
 - キ 保護リレー回路及び温調計の点検、調整
 - ク 冷水、冷却水の pH 測定及び電気伝導度測定
- (3) 冷暖切替整備
 - ア 総合外観点検
 - イ 電気機器絶縁抵抗測定
 - ウ 暖房切替操作
 - エ 燃焼装置点検調整
 - オ 抽気電磁弁及びスピンドル弁の O リング点検調整
 - カ 気密確認
 - キ 溶液サンプリング分析
 - ク 運転調整及び運転記録採取
 - ケ 保護リレー回路及び温度計の点検調整
 - コ 温水の pH 測定
- (4) 暖房中間点検
 - ア 運転記録の点検確認
 - イ 運転調整及び運転記録採取
 - ウ 機密確認

- エ 燃焼装置作動点検調整
- オ 保護リレー回路及び温調計の点検、調整
- カ 温水の ph 測定
- (5) チューブ清掃
- (6) 消耗品及び消耗部品 一式
 - 以下の部品は、保守点検費用に含むものとする。
 - ア フレームロッド (又はフレームアイ)
 - イ バーナーコントロールリレー
 - ウ スパークロッド
 - エ 抽気電磁弁
 - オ 抽気アスピレータ
 - カ 棒温度計
 - キ 補助リレー
 - ク ランプ、ヒューズ
 - ケ 補充冷媒
 - コ サンプリング補充溶液
 - サ インヒビタ
 - シ 簡易洗淨薬品
 - ス 遠隔監視装置バッテリー
 - セ バッテリー付電動弁のバッテリー

10 照明設備制御システム保守点検

1 保守点検回数 1回/年とする。

2 保守対象設備

照明設備制御システム M E S L - S システム機器一式

東芝ライテック株式会社製

平成13年度更新

照明主操作卓 2面 第一体育館

副操作卓 1面 第二体育館

制御端末機器

ア 分電盤17面 第一体育館

イ 端末機17面 第二体育館

ウ 分電盤22面 共用部76

壁スイッチ 1式 全体

3 点検項目

(1) 照明主操作卓

ア 設置環境点検

(ア) 障害物の有無

(イ) 可燃物の有無

(ウ) 周囲温度

(エ) 周囲湿度

イ 装置

(ア) 箱体の取付状況

(イ) 箱体の損傷、汚損、発錆、腐食の有無

(ウ) 扉の開閉状況及び清掃

(エ) 部品ユニットの取付状況、コネクタの接合状況及び端子台の増縮

(オ) 浸水、小動物進入形跡有無確認

(カ) 盤内清掃

(キ) 部品ユニットの取付状況

(ク) コネクタの接合状況

(ケ) 端子台の増締め

ウ 電圧測定

(ア) 入力電源電圧測定

(イ) DC電源電圧測定 (パネル用、伝送用、プリンタ用)

(ウ) 伝送信号電圧測定 (4系統)

(エ) 増幅器出力電圧測定 (4系統)

(オ) リモコントランス電圧

(カ) バッテリー電圧

(キ) バッテリー有効期限の確認

エ 絶縁抵抗測定

オ 設定、警報等

(ア) システム異常

a システム異常発生の有無

b 端末異常発生の有無

c 通信ポート異常の有無

(イ) システム設定状況確認

a 伝送系統数

b スイッチパネル (操作卓用)

c スイッチパネル (動作モードスイッチ付)

- d スイッチパネル（グラフィックパネルLED用）
- e LEDモニタパネル（64モニタ）
- f グラフィックモニタパネル
- (ウ) 各伝送系統別に登録端末を確認（4系統）
- (エ) 時計同期機能の有無
- (オ) データ保管用FDの有無
- カ 機能試験
 - (ア) タッチパネル操作機能
 - a 画面OFF操作で画面が消えること。
 - b 画面上をタッチすることにより、画面の表示、操作の有無
 - (イ) 液晶表示画面
 - a 機能上支障なく表示すること。
 - (ウ) スイッチ操作機能
 - (エ) LED表示機能
 - (オ) 警報ブザー機能
 - (カ) プリンター
 - (キ) 時計機能
 - (ク) 停電保障機能
 - (ケ) 伝送信号線短絡異常
 - (コ) タイムスケジュール
 - a 年間スケジュールの設定
 - b 週間スケジュールの設定
 - c 日スケジュールの設定
 - (サ) 割付設定機能
- (2) 副操作卓
 - ア 設置環境点検
 - (ア) 障害物の有無
 - (イ) 可燃物の有無
 - (ウ) 周囲温度、湿度
 - イ 装置
 - (ア) 箱体の取付状況
 - (イ) 箱体の損傷、汚損、発錆、腐食の有無
 - (ウ) 扉の開閉状況及び清掃
 - (エ) 部品ユニットの取付状況、コネクタの接合状況及び端子台の増縮
 - ウ 電圧測定
 - (ア) 入力電源電圧
 - (イ) DC電源電圧
 - (ウ) 伝送信号電圧
- (3) 制御端末機器
 - ア インタフェース試験項目
 - (ア) RANの接続、光配線、電源配線の接続
画面による確認とテスターによる電圧チェック
 - (イ) HIS2、SIF2、リモートステーションの接続
HIS画面にて正常の有無確認
 - (ウ) リモートステーション及び変換器盤にて入出力確認
 - a DC（デジタル入力）
リモートステーション盤内端子台にて接点を短絡しHIS画面、GPに表示されることを確認
 - b DIO（機器操作出力）
HIS画面、GPより機器の発停を行い、変換器盤内端子台より、DC48

- V出力されることをテスターにて確認
- (エ) 現場機器の操作、状態表示の確認
 - a DC (デジタル入力)
現場機器の動作または照明盤内端子台を短絡し、H I S画面に表示されることを確認
 - b D I O (機器操作出力)
H I S画面により機器の操作を行い、現場機器にて機器の状態の確認
 - (4) 増し締め箇所
 - (ア) 照明主操作卓
 - a 電源端子部
 - b 伝送信号端子部
 - (イ) 副操作卓
 - a 電源端子部
 - b 伝送信号端子部
 - (ウ) 制御端末機器 (第一体育館分電盤 1 7 面、第二体育館端末機 1 7 台、共用部分分電盤 2 2 面)
 - a 電源端子部
 - b 伝送信号端子部

1.1 大規模放水銃消火システム保守点検

1 保守点検回数	機器点検 (A)	1回/年
	総合点検 (B)	1回/年

2 保守対象設備	大規模放水銃消火システム ホーチキ株式会社製 平成4年12月設置
----------	--

3 点検項目

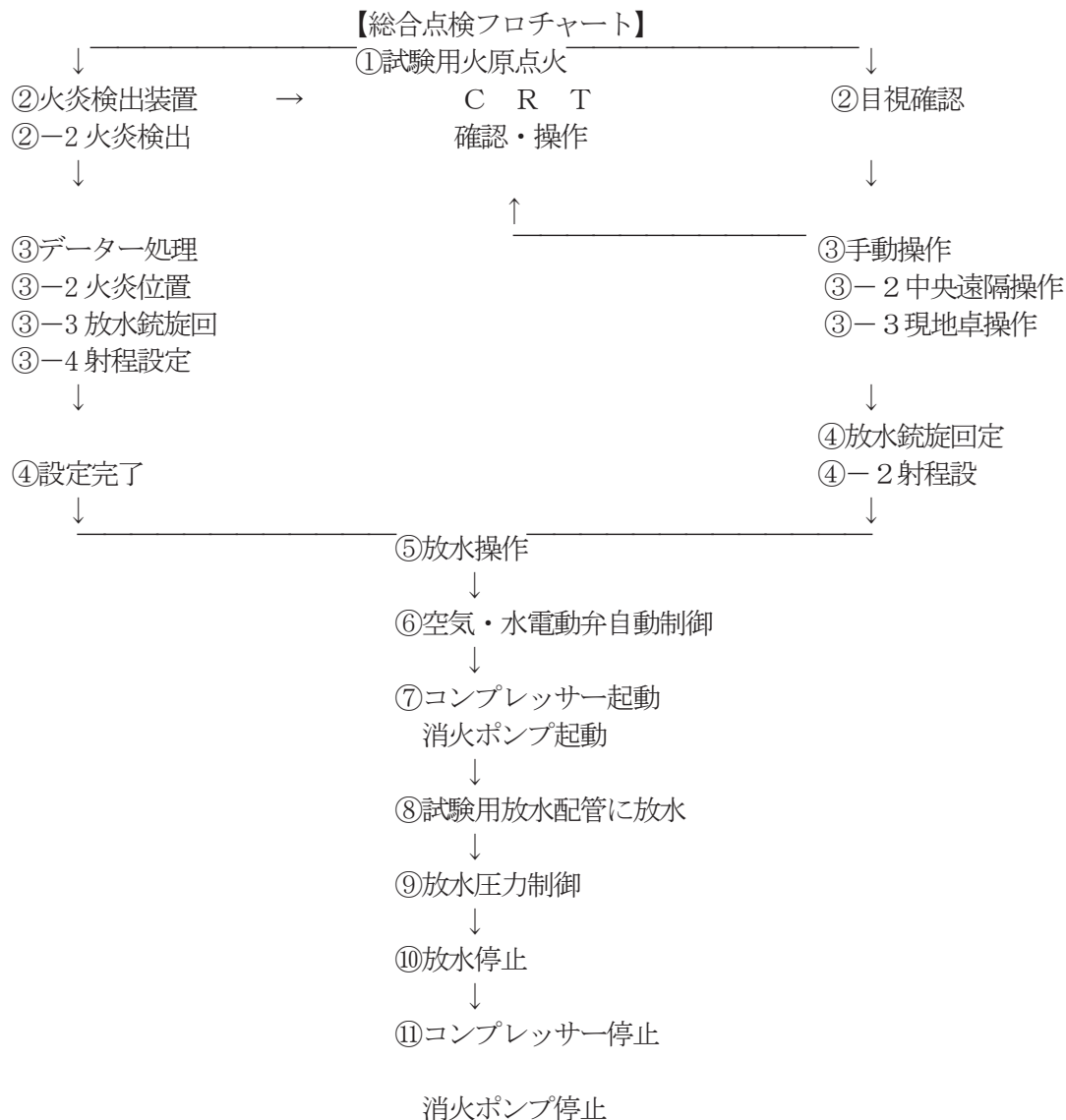
- (1) システム監視制御盤
 - ア 外観・機能点検概要及び総合点検概要
 - イ 周囲の状況確認
 - ウ 外観・内部の変形損傷の有無確認
 - エ 各部の規定電圧・計器指示確認
 - オ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - カ スイッチ類・ヒューズ類・表示灯等の作動・点灯動作確認、テストプログラムによる機能試験
 - キ ライトペン・操作卓等の操作による機能試験
- (2) 放水銃中央操作卓
 - ア 周囲の状況確認
 - イ 外観の変形損傷の有無確認
 - ウ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - エ スイッチ類・ヒューズ類・表示灯等の作動・点灯動作確認、システム監視制御盤のテストプログラムによる機能試験時
 - オ 入力機器・表示機器の機能の適正確認
 - カ 各盤間の通話装置の動作確認
- (3) 放水銃現地操作卓
 - ア 周囲の状況確認
 - イ 外観の変形損傷の有無確認
 - ウ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - エ スイッチ類・ヒューズ類・表示灯等の作動・点灯動作確認、システム監視制御盤のテストプログラムによる機能試験時
 - オ 入力機器・表示機器の機能の適正確認
 - カ 各盤間の通話装置の動作確認
- (4) 20インチモニター・プリンター
 - ア 周囲の状況確認
 - イ 外観の変形損傷の有無確認
 - ウ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - エ システム監視制御盤のテストプログラムによる機能試験時
 - オ 面表示・入力操作の適正確認配線の脱落・損傷の有無確認
 - カ 輝度調整
 - キ 印字の品位色の適正確認
- (5) 放水銃装置制御盤関係
 - 6-2 放水銃装置周辺機器
 - 6-3 圧力センサー
 - 6-4 放水圧力制御弁
 - 6-5 空気圧制御弁
 - 6-6 点検ゲート弁
 - 6-7 流量計
 - 6-8 自動排水弁

- ア 周囲の状況確認
 - イ 外観・内部の変形損傷の有無確認
 - ウ 配線脱落・損傷の有無確認
 - エ スイッチ類・ヒューズ類・表示灯等の作動・点灯動作確認
 - オ 放水銃中央及び現地操作卓の操作による作動の確認
- (6) 走査型火炎検出器
- ア 周囲の状況
 - イ 外観・内部の変形損傷の有無確認
 - ウ 各部の規定電圧確認
 - エ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - オ セルフチェックプログラムによる動作確認
 - カ 旋回装置の動作確認
- (7) 主水槽
- ポンプ室関係
- 7-2 加圧送水装置制御盤
 - 7-3 加圧送水装置
 - 7-4 呼水装置
 - 7-5 補助加圧ポンプ
 - 7-6 送水口
 - 7-7 空気圧縮装置
 - 7-8 レギュレーター
 - 7-9 一次圧制御弁
 - 7-10 配線点検×2
- ア 周囲の状況確認
 - イ 水位・水状の確認
 - ウ 外観・内部の変形損傷の有無確認
 - エ 開閉器・スイッチ類・ヒューズ類・継電器類・表示灯等の確認
 - オ 作制御盤動・点灯動作確認
 - カ 各部の規定電圧・計器指示確認
 - キ 配線の脱落・損傷の有無確認
 - ク 配水管の外観変形損傷の有無確認
 - ケ 各端末機器毎の機器点検操作による機能試験
- (8) 擬似放水試験
- 総合点検概要のとおり
- 総合連動試験
- (9) 消火装置自動点検
- システム関係
- 9-2 自動点検盤
 - 9-3 フロッピーディスクユニット
 - 9-4 流量フローセンサー
 - 9-5 フロースイッチ
 - 9-6 回転数検出器
 - 9-7 圧力センサー
 - 9-8 DC電動弁
 - 9-9 AC電動弁
 - 9-10 自動点検警報器
 - 9-11 配線点検×2
- ア 周囲の状況確認
 - イ 外観・内部の変形損傷の有無確認
 - ウ 配線の脱落・損傷の有無確認

- エ 自動点検盤よりの機器点検操作による作動確認
 総合点検のみ → (自動点検盤よりの点検指令による作動の確認)

機 器 名 称 総 合 点 検 概 要

擬似放水試験
 総合連動試験



- ・各動作毎のCRT画面表示・印字記録の確認。
- ・CRT画面表示と各端末器・火点位置等の確認。
- ・火点を移動して点検を行う。

1 2 電気中央監視装置保守点検

- 1 保守点検回数 1回/年
- 2 保守対象設備 東芝BUILDAC-GTシステム
平成13年3月設置

3 点検項目

- (1) オペレーターコンソール
- ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - エ 電源、接地端子などの締付確認
 - オ 電源電圧の測定
- (2) ヒューマンインターフェースステーション HIS1 FA3100A
- ア 各部清掃
 - イ ケーブル、コネクタ類の装置状態確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ CPU冷却ファンの動作確認/交換
 - オ CPUエアフィルタの清掃
 - カ 電源電圧の測定
 - キ 停止/起動動作確認
 - (ア) CPUメインスイッチをOFFにして、正常にCPUが停止することを確認
(シャットダウンシーケンス確認)
 - (イ) CPUメインスイッチをONにして、正常に起動し各基板のLEDが正常に点灯することを確認
 - ク CRT表示機能確認
 - (ア) 輝度、コントラストの調整、確認
 - (イ) 色ムラ、焼付き等の状態確認
 - ケ フロッピーディスクドライブ
ヘッドのクリーニング
 - コ 内蔵ハードディスクパック
異常音確認
 - サ プロセスデータ/RAS情報
 - (ア) HD内容の保存
 - (イ) RAS情報の収集
 - シ テストプログラムによる動作確認
 - (ア) ROM CHECKSUM TEST
 - (イ) RAM CONSTANT DATA R/W TEST
 - (ウ) キャッシュメモリテスト
 - (エ) V-RAM R/W TEST
 - (オ) HDD READ TEST
- (3) サーバステーション SVS FA3100A
- ア 各部清掃
 - イ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ CPU冷却ファンの動作確認/交換
 - オ CPUエアフィルタの清掃/交換
 - カ 電源電圧測定
 - キ 停止/起動動作確認
 - (ア) CPUメインスイッチをOFFにして、正常にCPUが停止することを確認

- (シャットダウンシーケンス確認)
- (イ) CPUメインスイッチをONにして、正常に起動し各基板のLEDが正常に点灯することを確認
- ク CRT表示機能確認
 - (ア) 輝度、コントラストの調整、確認
 - (イ) 色ムラ、焼き付き等の状態確認
- ケ フロッピーディスクドライブ
 - ヘッドのクリーニング
- コ 内蔵ハードディスクパック
 - 異常音確認
- サ プロセスデータ/RAS情報
 - (ア) HD内容の保存(データカセット又は光磁気ディスク)
 - (イ) RAS情報の収集
- シ テストプログラムによる動作確認
 - (ア) ROM CHECKSUM TEST
 - (イ) RAM CONSTANT DATA R/W TEST
 - (ウ) キャッシュメモリテスト
 - (エ) V-RAM R/W TEST
 - (オ) HDD READ TEST
- (4) シリアルインターフェースステーション S I F F A 3 1 0 0 A
 - ア 各部清掃
 - イ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ CPU冷却ファンの動作確認/交換
 - オ CPUエアフィルタの清掃
 - カ 電源電圧の測定
 - キ 停止/起動動作確認
 - (ア) CPUメインスイッチをOFFにして、正常にCPUが停止することを確認
(シャットダウンシーケンス確認)
 - (イ) CPUメインスイッチをONにして、正常に起動し各基板のLEDが正常に点灯することを確認
 - ク CRT表示機能確認
 - (ア) 輝度、コントラストの調整、確認
 - (イ) 色ムラ、焼き付き等の状態確認
 - ケ フロッピーディスクドライブ
 - ヘッドのクリーニング
 - コ 内蔵ハードディスクパック
 - 異常音確認
 - サ プロセスデータ/RAS情報
 - (ア) HD内容の保存
 - (イ) RAS情報の収集
 - シ テストプログラムによる動作確認
 - (ア) ROM CHECKSUM TEST
 - (イ) RAM CONSTANT DATA R/W TEST
 - (ウ) キャッシュメモリテスト
 - (エ) V-RAM R/W TEST
 - (オ) HDD READ TEST
- (5) 作表プリンター EPSON LP-8300C
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認

- ウ 電源、接地端子などの締付確認
- エ 冷却ファンの動作確認
- オ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
- カ 各部ギアの確認
- キ 機構部
 - (ア) 定着器ローラの動作確認
 - (イ) 給紙ローラ、ガイド部の動作確認
 - (ウ) レジストローラの状態確認
 - (エ) 転写ガイドの状態確認
 - (オ) 搬送部の動作確認
- ク 印字テスト
 - (ア) セルフテスト機能による印字テスト
 - (イ) オンラインテスト機能による印字テスト
- ケ 部品交換
 - 軽微な部品に消耗等が見られた場合は、交換すること。
- (6) グラフィックパネル
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - オ パネル部・スイッチ部
 - (ア) モザイクグラフィック歪み等修正
 - (イ) LED接続、取付状態確認
 - (ウ) LED表示確認
 - (エ) デジタル表示機動作確認
 - (オ) スイッチ動作確認
 - (カ) 点灯式スイッチLED点灯確認
 - カ 電源部
 - 電源電圧の測定
- (7) グラフィックパネルコントローラ PROSEC-T3
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - オ LED点灯状態の確認
 - カ プログラム、データ保存
 - キ RUN/HALT動作確認
 - ク イベント履歴情報確認とクリア
 - ケ 入力電源電圧の測定 (MCCB)
 - コ CPU部電源電圧の測定
- (8) 無停電電源装置 2kVA - UPS-1~4 (4台)
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - オ ユニット内部目視点検
 - (ア) プリント基板、主回路用品、ファン、電解コンデンサー、バッテリー、ファン配線等の変色、損傷、汚損、塵埃の有無点検
 - (イ) ユニット内部清掃
 - カ バッテリー開放電圧

- キ LED表示確認
- インバータ運転、省エネ運転
- ク 入出力電圧測定
- ケ バイパス運転
- コ 制御電源電圧制定
- サ バッテリ充電電圧の測定
- シ 主回路直流電圧の測定
- ス 冷却ファン動作点検
- セ 起動時のバッテリーテスト確認
- ソ 停電バックアップ動作確認
- タ 入出力電流測定 (実効値、ピーク値)
- チ LED電流レベルメーター確認
- (9) ローカルオブジェクトコントローラ LOC
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ ケーブル、コネクタ類の装着状態確認
 - オ 設定確認
 - (ア) LONアドレス (ロータリスイッチ)
 - (イ) IPアドレス
 - (ウ) TOSLINE-S20 SN-221
 - カ 電源電圧の測定
 - キ LED表示確認
 - ク LOCバージョン確認
- (10) ゲートウェイ
 - ア 各部清掃
 - イ 異臭、異音の確認
 - ウ 電源、接地端子などの締付確認
 - エ ケーブル、コネクタ類の装置状態確認
 - オ 設定確認
 - イーサネットアドレス
 - カ 電源電圧の測定
 - キ GWステータス確認
 - ク GWバージョン確認

13 可変速給水システム保守点検

- 1 保守点検回数 2回/年（4月、10月実施予定）
- 2 保守対象設備 可変速給水システム（日立ミスターウオータエース） 1台
日立製 型式 UTV-B BF125G-15×2A
平成10年度設置

3 点検項目

下記項目を点検確認し、不具合が有る場合は調整・較正を行うこと。

- (1) ポンプ軸封部（水漏れの有無、軸受温度、潤滑油量）
- (2) ポンプ締切圧力、起動及び停止圧力
- (3) 負荷電流電圧値（最低速度時、最高速度時）
- (4) 絶縁抵抗値
- (5) 設定値及び測定値
- (6) 制御盤
- (7) 制御機器（圧力センサー、圧力タンク、電磁弁、空気補給回路等）
- (8) 配管及び弁類
- (9) 防振装置
- (10) 起動停止状態
- (11) 芯出し
- (12) 外観、異音・異常振動・異常発熱の有無

1.4 第二体育館電光得点表示装置保守点検

- 1 保守点検回数 4回/年
保守点検日は、主要なバスケットボール大会開催日に合わせて実施する。

- 2 保守対象設備 電光得点表示装置
セイコータイムシステム株式会社製
平成20年3月更新

品 名	形 式	数 量
壁掛型室内競技表示盤	ST-800	2台
競技操作盤 (時間操作盤付)	ST-830	1台
チーム名・メッセージ入力装置	ST-832	1台
24秒ルール表示装置	ST-737B	2台
24秒ルール操作盤	ST-737B	1台
タイムアウト請求装置	TM-800	1台
ブザー装置	BM-800	1台

- 3 点検項目
別紙3-7に基づき保守点検を行うこと。

15 附属棟会議室用吸収式冷温水機保守点検

1 保守点検回数	冷房イン点検	年1回 (4月実施予定)
	冷房オン点検	年1回 (8月実施予定)
	暖房イン点検	年1回 (10月実施予定)
	冷却水系ブラシ洗浄	年1回 (3月実施予定)

2 保守対象設備	吸収式冷温水発生機	1基
	サンヨー製 SUW-H30LP-5SE	
	平成17年3月設置	

3 点検項目

(1) 冷房イン点検

- ア 本体関係の確認 (本体外観損傷の有無・機器設置状況・切替弁等の確認)
- イ 真空度の確認及び抽気作業
- ウ 燃料配管系統ガス漏れ点検
- エ 電気系統の確認 (ポンプ・バーナ類の絶縁抵抗・電流値等測定)
- オ 燃焼関係の確認 (機器類点検、動作・燃焼状態確認、調整)
- カ 排ガス分析、調整 (O₂、CO₂)
- キ 起動・停止動作の確認 (付帯設備・燃焼・各ポンプ・希釈停止)
- ク 安全停止回路動作確認 (各フロースイッチ・インターロック、圧力異常)
- ケ 運転データ (運転時間、発停回数、冷水・温水・冷却塔ファン発停等温度設定)
- コ 付帯設備点検確認 (冷温水系・冷却水系・冷却塔点検、冷却水系弁切替)
- サ 炉内点検
- シ 作業完了後確認 (測定ロプラグ止処理、ガス漏れの有無)
- ス 吸収液サンプリング作業
- セ 試運転データ
 - (ア) 温度 (外気、冷温水・冷却水出入口、再生器、希液、凝縮器出口、排気ガス)
 - (イ) 圧力 (吸収液ポンプ)
 - (ウ) 電流 (吸収液・冷媒・冷温水・冷却水ポンプ、冷却塔ファン)
 - (エ) 温度差 (凝縮器出口温度－冷却水出口温度、希液温度－冷却水入口温度)
 - (オ) その他 (インバーター周波数、制御弁開度、希液濃度)

(2) 冷房オン点検

- ア 本体外観確認 (損傷の有無)
- イ 真空度の確認及び抽気作業
- ウ 燃料配管系統ガス漏れ点検
- エ 燃焼状態の確認 (調整)
- オ 排ガス分析、調整 (O₂、CO₂)
- カ 運転データ (運転時間、発停回数、冷水・温水・冷却塔ファン発停等温度設定)
- キ 付帯設備点検確認 (冷温水系・冷却水系・冷却塔点検)
- ク 作業完了後確認 (測定ロプラグ止処理、ガス漏れの有無)
- ケ 試運転データ
 - (ア) 温度 (外気、冷温水・冷却水出入口、再生器、希液、凝縮器出口、排気ガス)
 - (イ) 圧力 (吸収液ポンプ)
 - (ウ) 電流 (吸収液・冷媒・冷温水・冷却水ポンプ、冷却塔ファン)
 - (エ) 温度差 (凝縮器出口温度－冷却水出口温度、希液温度－冷却水入口温度)
 - (オ) その他 (インバーター周波数、制御弁開度、希液濃度)

(3) 暖房イン点検

- ア 本体関係の確認 (本体外観損傷の有無・機器設置状況・切替弁等の確認)
- イ 真空度の確認及び抽気作業
- ウ 燃料配管系統ガス漏れ点検

- エ 電気系統の確認（ポンプ・バーナ類の絶縁抵抗・電流値等測定）
- オ 燃焼関係の確認（機器類点検、動作・燃焼状態確認、調整）
- カ 排ガス分析、調整（O₂、CO₂）
- キ 起動・停止動作の確認（付帯設備・燃焼・各ポンプ・希釈停止）
- ク 安全停止回路動作確認（各フロースイッチ・インターロック、圧力異常）
- ケ 運転データ（運転時間、発停回数、冷水・温水・冷却塔ファン発停等温度設定）
- コ 付帯設備点検確認（冷温水系点検、冷却水系弁切替）
- サ 炉内点検
- シ 作業完了後確認（測定ロプラグ止処理、ガス漏れの有無）
- ス 試運転データ
 - （ア） 温度（外気、冷温水出入口、再生器、希液、排気ガス）
 - （イ） 圧力（吸収液ポンプ）
 - （ウ） 電流（吸収液ポンプ・バーナーモーター・冷温水ポンプ）
 - （エ） その他（インバーター周波数、制御弁開度）
- （4） 冷却水系（吸収器、凝縮器）ブラシ洗浄
 - ア 伝熱管内の汚れ確認及び写真撮影、水室内・管板部の腐食確認及び写真撮影
 - イ ブラシ及び高圧洗浄器にて伝熱管内清掃（伝熱管内のスライム除去）
 - ウ 吸収器・凝縮器伝熱管の汚れ落ち確認及び写真撮影
 - エ 吸収器・凝縮器の水カバーヘッダーパッキンの交換・取付
 - オ 冷却水系統（吸収器・凝縮器）の水張り・水漏れ確認
 - カ 機械周りの清掃

16 第二体育館電動油圧式バスケットゴール保守点検

- 1 保守点検回数 2回/年（9月、3月実施予定）
- 2 保守対象設備 電動油圧式バスケットゴール 一對
セノー株式会社製 製番YE999901
平成17年3月設置

3 点検作業

下記の事項について点検し、良否判定を行うとともに、不良箇所があった場合には指摘事項を報告すること。

- (1) 回転部の油切れや損傷がないか。
- (2) 滑車の損傷及び磨耗、回転軸の油切れはないか。
- (3) キャスターの損傷はないか。
- (4) 溶接部分の損傷はないか。
- (5) 枠のゆがみはないか。
- (6) ボルトのゆがみや変形はないか。
- (7) 高圧ホースの損傷はないか。
- (8) 油圧シリンダーの損傷はないか。
- (9) 板の調整（高さ・ゆがみ）
- (10) 板の損傷はないか。
- (11) ネオプレンゴムの損傷はないか。
- (12) セイフティーカバーの損傷はないか。
- (13) Vベルトの損傷はないか。
- (14) 安全装置が作動するか。
- (15) 電気系統の損傷はないか。
- (16) その他

17 油圧式高所作業台保守点検

- 1 保守点検回数 1回/年
- 2 保守対象設備 油圧式高所作業台 1台
株式会社ミヨシ製 NTR-100
昭和59年3月設置

3 点検項目

以下の項目について、目視・聴診・操作等により点検し、点検結果について良否判定すること。
補修等が必要な箇所については、別記記載すること。

(1) 電動機関係

- ア 電動機本体
振動、異音、発熱、ブラシ磨耗、取付け状況の確認。絶縁測定の実施。
- イ 駆動用ベルト、カップリング
たわみ、損傷、磨耗、芯ずれ、変形、取付け状況の確認。
- ウ マグネット、スイッチ
機能、接点損傷、接点磨耗の確認。
- エ 保護装置
ブレーカー等の作動状況の確認。
- オ 制御盤
機器損傷、取付け状況の確認。
- カ バッテリー
液量、比重、損傷、腐食、液漏れ状況等の確認。
- キ 充電器
機能、異音、ブレーカー作動状況の確認。
- ク 配線
接続部の緩み、損傷状況等の確認。

(2) 下部台

- ア 車軸
亀裂、変形、磨耗、ネジ損傷等の確認。
- イ タイヤ
亀裂、変形、偏磨耗、リム等の損傷、ベアリングのガタ等の確認。
- ウ 自走装置
異音、発熱、磨耗、油漏れ等の確認。
- エ ロッドアーム、ナックル
亀裂、損傷、曲がり、連結部ガタ等の確認。
- オ 旋回板
損傷、磨耗、隙間等の確認。
- カ 舵取車輪
ステアリング角度の確認。
- キ 駐車ブレーキ
効き状態の確認。
- ク 台板
亀裂、変形、取付け状況の確認。

(3) 作業装置

- ア シリンダー
曲がり（全体箇所）、ねじれ、打コン、パッキンの油漏れ等の確認。
- イ 手摺り
亀裂、変形、作動、固定金具等の確認。
- ウ 作業テーブル

- 亀裂、変形、作動状況の確認。
- エ スライド旋回装置
 - 異音、変形、ロック作動、減速機等の損傷状況の確認。
- オ 起伏装置
 - 異音、亀裂、変形、シリンダー曲がり、パッキンの油漏れ等の確認。
- カ エアー抜き口
 - 油漏れ、プラグ損傷等の確認。
- (4) 油圧装置
 - ア 作業油タンク
 - 油量、汚れ、錆び、油漏れ等の確認。
 - イ フィルター
 - 目詰まり、汚れ、損傷等の確認。
 - ウ 配管
 - 亀裂、損傷、ねじれ、シール部の油漏れ等の確認。
 - エ 油圧ポンプ
 - 振動、異音、発熱、シール部の油漏れ等の確認。
 - オ 油圧モーター
 - 振動、異音、発熱、油漏れ等の確認。
 - カ 各弁体
 - 作動、亀裂、損傷、シール部の油漏れ等の確認。
 - キ 回転継手
 - 回転状態、油漏れ等の確認。
- (5) 走査装置
 - ア 操作レバー、押釦等
 - ストローク、ガタ、破損、取付け状況の確認。
 - イ 操作ペンダント、コード、パンタグラフ
 - 亀裂、損傷、磨耗、老化、取付け状態、ボルト損傷、曲がり等の確認。
- (6) 安全装置等
 - ア アウトリガー
 - 作動、損傷、曲がり状況の確認。
 - イ 手動降下装置
 - 作動シール部油漏れの確認。
 - ウ 手動上昇装置
 - 作動シール部油漏れの確認。
 - エ 水準器
 - 作動、損傷、取付け状況の確認。
 - オ その他規制装置
 - 作動、損傷、変形状況の確認（圧力計・油面計、リミットスイッチ。）。)
 - カ 非常はしご
 - 引っかかり、亀裂、変形等の確認。
 - キ ロックピン
 - 作動、ピン変形の確認。
 - ク ジャッキ
 - 亀裂、変形、磨耗等の確認。
- (7) 総合
 - ア 外観
 - 錆び、剥離、汚れ等の確認。
 - イ 総合テスト
 - 上昇、下降、沈下、リリーフ圧等の確認。(Mp a)

18 シャッター設備保守点検

1 保守点検回数 2回/年（4月、10月実施予定）

2 保守対象設備

点検場所	台数	点検回数	寸法	設置年月日
国立代々木競技場 第一体育館				文化シャッター(株製)
東ランプシャッター	1台	2回	横 3,440 高 4,700	H 14年 1月
西ランプシャッター	1台	2回	横 8,430 高 4,680	H 6年 2月
北新倉庫シャッター（東1、西1）	2台	2回	横 4,220 高 2,400	H 5年1 1月
室内プール入口シャッター	1台	2回	横 2,430 高 2,480	H 6年1 2月
計	5台			

3 点検項目

(1) 電動装置

- ア モーター焼損の有無
- イ 押釦スイッチの取付け状態
- ウ リミットスイッチの作動状態
- エ マグネットスイッチの作動状態
- オ ブレーキコイルの作動状態
- カ 各部への配線状態

(2) 開閉装置

- ア スプロケットの磨耗損傷状態
- イ ローラーチェーンの磨耗損傷状態
- ウ 機械作動状態
- エ 機械ブレーキの状態

(3) スラット及び巻取装置

- ア スラットの歪み摩擦損傷状態
- イ 軸受メタルの取付け状態
- ウ ベアリングの回転状態
- エ 巻き取りシャフトの摩擦損傷状態
- オ ブラケットの摩擦損傷状態

(4) ガイドレール・ケース

- ア ガイドレールの腐食状態
- イ ガイドレールのみくちの状態
- ウ ケース・ガイドレールの取付け状態

(5) 扉関係

- ア そで扉、潜り戸の状態
- イ 錠、バネの状態

19 高圧電気設備試験点検

1 試験点検回数 1回/年

2 試験点検対象設備一覧

(1)	屋内外キュービクル、高圧受変電設備等点検清掃	1式
(2)	V C B外観点検	30台
(3)	A S外観点検	7台
(4)	L B S外観点検	1式
(5)	変圧器外観点検	34台
(6)	コンデンサ・リアクトル外観点検	5台
(7)	計器用変圧器、変流器外観点検	1式
(8)	保護継電器動作特性試験	1式
(9)	保護連動試験	1式
(10)	高圧回路絶縁抵抗測定試験	1式
(11)	接地抵抗測定試験	1式
(12)	変圧器絶縁油耐圧酸価測定試験	1式
(13)	試験用仮設電源（運搬費・設置費含む。）	1式
(14)	機器調整費	1式
(15)	消耗品雑材料	1式
(16)	データ作成費	1式

3 点検項目

(1) 共通事項

- ア 受注者は、本業務を実施するに当たり、各実施場所の電気主任技術者の指示に従って作業を行うこと。
- イ 各施設で必要とする試験用仮設電源は、以下のとおりとする。なお、現場への運搬費、仮設電源の設置及び配線の接続・撤去作業については受注者で行うものとし、監督職員と事前に打ち合わせを行うこと。
5KVA×1/3KVA×2
- ウ 敷設作業に当たっては、営業及び施設安全上支障のないよう実施し、撤去日は当日のすべての業務が終了した後とすること。
- エ 各施設で必要とする試験用仮設電源及び試験等で使用する計器類は、受注者側で用意すること。
- オ 館内施設の停電準備作業は余裕を持って行い、試験点検業務終了後は復電業務を実施して、機器が正常に作動することを確認すること。
- カ 試験点検業務の翌日は、当場の通常業務を行うため、予定時間内に業務を終了すること。
- キ 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力すること。なお、軽微な不良箇所とは、主要な部品などの取替えを要しないものであって、比較的容易に修理・補修及び調整できるものとする。
- ク キュービクル内、変圧器、高圧コンデンサー、絶縁碍子等機器の清掃は、ウエス等を使用して実施すること。

(2) 試験点検及び測定基準

- 受注者は、下記の項目の試験点検測定を行うこと。
- ア 屋内外キュービクル、高圧受変電設備等点検清掃
- (ア) 引込施設
- 架空・引込用電線の損傷、たるみがないか。
 - 支持物の損傷、傾斜がないか。
 - がいし、腕金（木）の損傷、脱落がないか。

- d 支柱、支線の損傷がないか。
- e ケーブルの損傷、亀裂、屈曲等がないか。
- f ケーブル端末処理部の損傷、亀裂、テープ剥離がないか。
- g ケーブル保護管の損傷、発錆がないか。
- h 接地線の損傷、発錆がないか。
- (イ) 断路器
 - a 本体の損傷、亀裂、変形がないか。
 - b ロック機構の以上がないか。
 - c 固定、可動接触部の以上がないか。
 - d 接地線の損傷、断線がないか。
- (ウ) 遮断器・油入開閉器
 - a 本体の損傷、亀裂、汚損、発錆がないか。
 - b 操作機構の異常がないか。
 - c 表示装置の異常がないか。
 - d ロッド、消弧室の損傷、亀裂がないか。
 - e 接触子の損傷、磨耗はないか。
 - f 絶縁油の損傷、油量不足はないか。
 - g 接地線の損傷、断線はないか。
- (エ) 避雷器
 - a 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b 接地線の損傷、断線はないか。
- (オ) 母線関係
 - a 導体、支持がいし、クランプの損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b フレーム、架台の損傷はないか。
- (カ) 保護継電器
 - 本体の損傷、汚損、整定不良はないか。
- (キ) 配電盤
 - a 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
 - b 計器の損傷、指示不良はないか。
 - c 開閉器、ヒューズ、MCCBの損傷、変色等はないか。
 - d 表示灯の損傷、不点はないか。
 - e 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - f 接地線の損傷、断線はないか。
- (ク) その他
 - a 受電室建物、キュービクル箱体の損傷、汚損はないか。
 - b 接地線の損傷、断線はないか。
- (ケ) 配線
 - a 電線の損傷、たるみ、断線、脱落はないか。
 - b ケーブルの損傷、脱落、屈曲がないか。
 - c 電線管の損傷、腐食はないか。
 - d 接地線の損傷、断線はないか。
- (コ) 分電盤
 - a 本体の損傷、汚損、亀裂、腐食はないか。
 - b 開閉器、ヒューズ、MCCB、Mg sの損傷、変色はないか。
 - c 計器の損傷、支持不良はないか。
 - d 盤内配線の損傷、断線はないか。
 - e 接地線の損傷、断線はないか。
- (サ) 負荷機器
 - a 照明器具の損傷、汚損、脱落はないか。
 - b 電動機の損傷、汚損はないか。

- c 電熱装置の損傷、汚損はないか。
 - d 接地線の損傷、断線はないか。
- イ VCB外観点検
- (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等がないか。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等に異常はないか。
 - (ウ) 表示
投入時及び遮断時のパイロットランプの確認。
 - (エ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (オ) 接地線取付状態の確認。
 - (カ) 絶縁抵抗の良否。
- ウ VCS外観点検
- (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等の確認。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等の確認。
 - (ウ) 表示
投入時及び遮断時のパイロットランプの確認。
 - (エ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (オ) 接地線取付状態の確認。
- エ AS外観点検
- (ア) 外見上の異常の確認
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等の確認。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等の確認。
 - (ウ) 表示
投入時及び遮断時のパイロットランプ等の確認。
 - (エ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛み、がいしの傷等の確認。
- オ LBS外観点検
- (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形等の確認。
 - (イ) 操作回路
投入機構、遮断機構、配線状態等の確認。
 - (ウ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛みの確認。
 - (エ) 接地線取付状態の確認。
 - (オ) 絶縁抵抗の良否の確認。
- カ PGS外観点検
- (ア) 外見上の異常
損傷、亀裂、汚損、過熱、異音、異臭、発錆、変形、ガス圧チェック等の確認。
 - (イ) ブッシング
取付ボルト及びターミナルの弛み等の確認。
 - (ウ) 接地線取付状態の確認。
 - (エ) 絶縁抵抗の良否の確認。
 - (オ) 操作機構の確認（入切操作の確認等）。
- キ 変圧器（乾式含む。）外観点検

- (ア) 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。
- (イ) 温度計の損傷、支持不良はないか。
- (ウ) 油劣化防止装置の損傷。
- (エ) 取付ボルト及びターミナルの弛み、碍子の傷、汚損等の確認。
- (オ) コイル表面、絶縁物、引出端子、接続導体等に変色がないか。
- (カ) ラジエーターの損傷、亀裂、変形、漏油がないか。
- (キ) コイル表面、絶縁物、リード線、吊りボルト、タップ、口出線、コイル等に損傷、ゆるみ、変形がないか。
- (ク) 絶縁油の汚損、油量不足はないか。
- (ケ) 接地線の損傷、断線はないか。
- (コ) 絶縁抵抗の良否の確認。
- (サ) 点検箇所
 - a 第一変圧器室 9台
 - ・ 3Φ500kVA
HCTR-S3 81062446
用途：冷凍機
 - ・ 3Φ100kVA
JIS-4304 8522251
用途：電光掲示盤表示灯
 - ・ 3Φ200kVA
HTCR-S5 93010294
用途：屋外灯照明（電灯）
 - ・ 1Φ200kVA
HCR-S5 90024812
用途：一般電灯LA（電灯）
 - ・ 1Φ300kVA
HCR-S5 90021021
用途：一般照明LA（電灯）
 - ・ 1Φ50kVA
JEC-204-1978 90023738
用途：常夜灯（電灯）
 - ・ 3Φ400kVA
HCTR-S5 90023740
用途：設備動力（動力）
 - ・ 3Φ400kVA
HCTR-S5 90023741
用途：空調動力（動力）
 - ・ 3Φ/1Φ30kVA
JEC-204-1978 83040573
用途：所内電源盤（電灯・動力）
 - b 第二変圧器室 8台
 - ・ 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068150
用途：天井照明（1） 電灯-TR-1
 - ・ 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068148
用途：天井照明（1） 電灯-TR-2
 - ・ 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068152
用途：天井照明（2） 電灯-TR-3

- 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068158
用途：天井照明（2） 電灯-TR-4
- 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068085
用途：天井照明（3） 電灯-TR-8
- 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068151
用途：天井照明（4） 電灯-TR-5
- 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068149
用途：天井照明（4） 電灯-TR-6
- 3Φ150kVA
HCTR-S21 01068159
用途：天井照明（5） 電灯-TR-7
- c 北口ビー電源室 3台
 - 1Φ200kVA
HCR-S5 93065673
用途：照明盤低圧電灯盤
 - 3Φ200kVA
HCTR-S5 93076711
用途：設備動力 動力No. 1
 - 3Φ300kVA
HCTR-S5 93077838
用途：設備動力 動力No. 2
- d イベント用電源 4台
 - 1Φ150kVA
HCR-S4 87076268
用途：仮設照明 電灯-TR-1
 - 1Φ150kVA
HCR-S4 87074758
用途：仮設照明 電灯-TR-2
 - 1Φ150kVA
HCR-S4 87074760
用途：仮設照明 電灯-TR-3
 - 3Φ100kVA
HCTR-S4 87066649
用途：仮設動力（動力）
- e 第二体育館変圧器室 4台
 - 1Φ200kVA
HCR-S5 90022996
用途：天井照明
 - 1Φ100kVA
HCR-S3 83063225
用途：第二体育館用照明
 - 3Φ300kVA
HCR-S5 95005780
用途：第二体育館用動力
 - 1Φ200kVA
HCR-S4 86054551

用途：展示用照明

f 防災分電盤 3台

・1Φ20kVA

PSK-K8 93072033

用途：所内照明 低圧電灯盤

・3Φ300kVA

HCTR-S5 93075786

用途：スプリンクラー、放水銃動力No. 1、低圧動力No. 1

・3Φ20kVA

PT5-K8 93035510

用途：設備動力 動力No. 2、低圧動力No. 2

g 非常補機盤 2台

・3Φ/1Φ20kVA

KCTS AR62852GR-1

用途：発電機 電灯主幹

・3Φ20kVA

KCT AR62852GR-2

用途：発電機 動力主幹

h 電光掲示盤室 1台

・1Φ5kVA

16099

用途：室内電灯

ク 電力用コンデンサ・リアクトル外観点検

(ア) 本体の損傷、亀裂、変形、汚損、漏油はないか。

(イ) 直列リアクトル、放電抵抗の損傷、亀裂はないか。

(ウ) 接地線の損傷、断線はないか。

ケ 計器用変圧器、変流器外観点検

(ア) 本体の損傷、亀裂、汚損はないか。

(イ) 接地線の損傷、断線はないか。

コ 保護継電器動作特性試験

以下の項目について、それぞれ測定試験・確認作業を行い、良否判定を行うこと。

(ア) 過電流継電器 (OCR) 特性試験

a 整定タップ (200%、300%、500%) による最小始動、動作電流、瞬時動作電流測定

b 動作時間の測定

c 遮断器と継電器との連動試験

d 遮断動作の確認

e 表示ランプの確認

(イ) 不足電圧継電器 (UVR) 特性試験

a 整定タップによる始動電圧、復帰電圧測定

b 整定レバーによる動作特性試験

c 動作時間の測定

d 表示ランプの確認

(ウ) 過電圧継電器特性試験

a 整定タップによる始動電圧、復帰電圧測定

b 整定レバーによる動作特性試験

c 動作時間の測定

d 表示ランプの確認

(エ) 地絡電圧継電器特性試験

a 整定タップによる最小動作電流測定

- b 整定レバーによる動作特性試験
- c 動作時間の測定
- d 表示ランプの確認
- (オ) 地絡方向継電器特性試験
 - a 各整定タップの動作電流測定及び最小動作電圧測定
 - b 動作時間の測定
 - c 位相特性試験
 - d 遮断動作の確認
 - e 表示ランプの確認
- (カ) 測定箇所
 - a 受電室 (C u b)

OCR動作特性試験 (2要素)	34台
OCR動作特性試験	10台
DGR動作特性試験	15台
GR動作特性試験	1台
UVR動作特性試験	3台
 - b 第二体育館変電室

OCR動作特性試験 (2要素)	2台
-----------------	----
 - c イベント変電室 (C u b)

OCR動作特性試験	2台
-----------	----
 - d ロビー変電室 (C u b)

OCR動作特性試験	2台
-----------	----
 - e 電光掲示板変電室 (C u b)

OCR動作特性試験	1台
-----------	----
 - f 防災電源変電室 (C u b)

OCR動作特性試験	1台
-----------	----
- コ 保護連動試験
 - (ア) 高圧系統、低圧系統等の保護装置、保護継電器の強制動作による連動機器の作動確認
 - (イ) 作動時間の確認
 - (ウ) 表示ランプの確認
 - サ 高圧回路絶縁抵抗測定試験
 - (ア) 高圧ケーブル、計器用変成器、各種高圧機器、母線等のアース間における絶縁状態を測定
 - (イ) 劣化状況の確認
 - (ウ) 測定箇所 国立代々木競技場
 - a 受電室
 - 本線引込ケーブル
 - 予備線引込ケーブル
 - 高圧機器一括
 - 高圧母線一括
 - 高圧配電盤VCB二次側一括 (17回路)
 - コンデンサー (No. 1~No. 5)
 - タイトランス (送風機用)
 - b 二次変電室
 - 防災分岐盤
 - 第二変電室
 - 第二体育館変電室
 - 防災電源変電室
 - イベント用電源室

北ロビー変電室
電光掲示盤変電室

ス 接地抵抗測定試験

測定箇所別に、接地極側の接地抵抗値の測定を行うこと。

- (ア) A種 10Ω以下
- (イ) B種 600/I g AΩ以下
- (ウ) C種 10Ω以下
- (エ) D種 100Ω以下
- (オ) 測定箇所 国立代々木競技場
 - a 受電室
 - b 第2変電室
 - c 第二体育館変電室
 - d イベント変電室
 - e ロビー変電室
 - f 電光掲示板変電室
 - g 防災電源変電室

セ 変圧器絶縁油耐圧酸価測定試験

以下の測定方法（参考）に基づき、各変電所変圧器の電灯・動力1か所ずつ（2台）実施し、測定箇所の良否判定を行うこと。

(ア) 変圧器絶縁油酸価度試験

変圧器絶縁油試験については、絶縁油酸価度試験及び絶縁耐力試験について実施するものとし、試験手順は以下に参考として記載する。なお、試験を行う際には、ゴム手袋を使用すること。

- a 試験には、簡易酸価測定器を用いて実施すること。
- b 5 c cの試験油を測定器（試験管）に取ること。
- c 同じ管に、試験油と同量の抽出液を加え、十分攪拌すること。
- d ビュレット（注射管）に、中和液を規定量入れ、次に試験管に中和液を一目盛ずつ注入して攪拌し、その内容液が赤く変化したとき中和液の注入量をビュレットの目盛から読み取ること。
- e 目盛の値から酸価度の判定を行う。

(イ) 絶縁耐力試験

高圧用の変圧器の絶縁油は、J I S - 2 3 2 0 の鉱油を使用しており、絶縁油の絶縁耐力試験は、以下の手順で行うこと。

- a 試験器の電極は、直径12.5mmの球状電極とし、ギャップは2.5mmとする。
- b カップを試料油で洗浄して、電極の上端が油面下約20mmあたりの位置になるよう試料油を入れ、約3分間放置して油中の泡がなくなってから試験を開始する。
- c この試験においては、同一変圧器から2個の試料を取り、各試料について5回ずつ計10回の測定を行い、各初回の値を捨てて8回の平均値を求める。
- d 試験電圧を每秒約3000Vの割合で一様な速さで上昇させ、絶縁破壊電圧を測定する。なお、連続性を持たない瞬時的な放電を生じることがあっても、その程度のものは、絶縁破壊とみなさないものとする。
- e 最初の破壊により試験用変圧器の一次側遮断器が作動し、回路を開放してから約1分間放置し、油中に生じた泡などの消失するのを待って、次の試験を実施する。なお、絶縁耐力の判定の基準は、次のとおりとする。

絶縁耐力の判定

区分	絶縁破壊電圧	判定	摘要
使用中の油	20 k v以上	良好	—
	15 k v以上～20 k v未満	要注意	機会を見て、ろ過又は取替え
	15 k v未満	不良	至急取替え

(注1) 上記の判定基準は、あくまで目安であり、受注者の測定方法により異なる場合があるため、試験方法については保守業務実施前に監督職員に説明し、承諾を受けること。

(注2) 試験により変圧器中の絶縁油が不足している場合には、補充すること。

20 非常用発電機設備保守点検

- 1 保守点検回数 機器点検（外観点検・機能点検・作動点検） 1回/年
機能点検及び総合点検 1回/年

2 保守対象設備（非常電源（自家発電設備）、非常電源（蓄電池設備））

名 称		台数	設 置 場 所
非常用自家発電設備 非常用蓄電池設備	消火栓ポンプ	1台	室内水泳場中庭
	放水銃	1台	機械棟
	排煙ファン	1台	第一体育館B1階北ロビー東側便所裏
	スプリンクラー北側	1台	機械棟
	スプリンクラー南側	1台	室内水泳場機械室

なお、施設ごとの施設設備の概要等は、別紙3-8による。

3 点検項目

(1) 非常電源（自家発電設備）保守点検基準

次に掲げる事項について、確認するものとする。

ア 機器点検

(ア) 設置状況

- a 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- b 区画等
不燃専用室の区画、防火戸等又はキュービクル式自家発電設備の外箱、扉、換気口等に変形、損傷等がないこと。
- c 水の浸透、漏れ等の有無
水の浸透、漏れ等がないこと。
- d 換気装置の機能
換気装置を点検し、適正に行なえること。
- e 照明設備及び機能
自家発電設備の使用上及び点検上に支障がないこと。
- f 標識の表示状況等
適正に設けられていること。

(イ) 表示

表示が適正であること。

(ウ) 自家発電装置（原動機と発電機を連結したものをいう。）

- a 原動機及び発電機
変形、損傷、脱落、腐食等がないこと。
- b 冷却装置
 - ・ ラジエータ、配管等
変形、損傷、漏れ、冷却水の著しい汚れ又は腐敗等がないこと。
 - ・ 冷却ファン
機能が正常であること。
- c 潤滑油類
著しい汚れ、変質、漏れ等がなく、必要量が満たされていること。
- d その他の付属機器類
変形、損傷、脱落、漏れ、腐食等がないこと。

(エ) 始動装置

- a 始動用蓄電池設備

蓄電池設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。

- (オ) 制御装置
 - a 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - b 発電機盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - c 自動始動盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - d 補機盤
変形、損傷、端子の緩み、著しい腐食等がないこと。
 - e 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - f 表示灯
正常に点灯すること。
 - g 開閉器及び遮断器
変形、損傷、端子の緩み等がなく、開閉機能及び開閉位置が正常であり、かつ、容量は負荷に対して適正であること。
 - h ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - i 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (カ) 保護装置
作動、表示が正常であること。
- (キ) 計器類
変形、損傷等がなく、正常に作動するとともに指示値が適正であること。
- (ク) 燃料容器等
 - a 外形
変形、損傷、漏れ等がないこと。
 - b 燃料貯蔵量
規定の量が確保されていること。
- (ケ) 冷却水タンク
 - a 外形
変形、損傷、漏れ等がないこと。
 - b 水量
規定量が確保されていること。
- (コ) 排気筒
 - a 周囲の状況
周囲に可燃物がおかれていないこと。
 - b 外形
変形、損傷、支持金具の緩み等がないこと。
 - c 貫通部
遮熱保護部の断熱材等に変形、損傷、脱落等がないこと。
- (サ) 配管
変形、損傷、漏れ等がないこと。
配管内部のクリーニングを必要に応じて実施すること。
- (シ) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (ス) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。

- (セ) 始動性能
確実に始動し、始動時間が適正で、かつ電圧確立が正常であること。
 - (ソ) 運転性能
漏油、異臭、不規則音、異常な振動等がなく、運転が正常であること。
 - (タ) 停止性能
 - a 手動停止
手動停止装置により確実に停止し、停止動作等に異常がないこと。
 - b 自動停止（自動停止できる自家発電設備に限る。）
確実に停止し、停止動作等に異常がないこと。
 - (チ) 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく耐震措置が適正に行われていること。
 - (ツ) 予備品等
予備品及び回路図等が備えてあること。
- イ 総合点検
機器点検のほか、次の事項について確認すること。
- (ア) 接地抵抗
 - a 接地抵抗値が適正であること。
 - b 接地線の太さ及びD種抵抗値を確認すること。
 - (イ) 絶縁抵抗
絶縁抵抗値が適正であること。
 - (ウ) 始動装置
 - a 始動用蓄電池設備
蓄電池設備の総合点検の基準に準じていること。
 - b 始動用補助装置
確実に作動すること。
 - (エ) 保護装置
作動値が設定値どおりであること。及び表示警報機動作の確認とシーケンステストを行うこと。
 - (オ) 負荷運転
 - a 運転状況
漏油、異臭、不規則音、異常な振動、発熱等がなく、運転が正常であること。
 - b 換気
給気及び排気の様子が適正であること。
 - c 負荷容量測定
ダミー負荷はかけずに、必要に応じてポンプ負荷運転を行うこと。
 - d 電圧・周波数計
 - ・ 無負荷より全負荷をかけた場合の電圧と周波数の変動測定を行うこと。
 - ・ 実負荷時の電圧、周波数を測定すること。
 - e 電圧調整範囲
 - ・ 無負荷時、実負荷時の電圧調整範囲を測定すること。
 - f タイマー
 - ・ 停電より始動及び電圧確立までの時間調整を行うこと。
 - ・ 商用電源復電より電源切替えまでの時間調整及び停止確認を行うこと。
- (2) 非常電源（蓄電池設備）点検基準
次に掲げる事項について、確認するものとする。
- ア 機器点検
- (ア) 設置状況
 - a 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

- b 区画等
 - 不燃専用室の区画、防火戸等又はキュービクル式自家発電設備の外箱、扉、換気口等に変形、損傷等がないこと。また、配線・空調用ダクト等が区画を貫通する箇所の隙間は、不燃材料で防火上有効に埋め戻してあること。
- c 水の浸透、漏れ等の有無
 - 水が浸透し、または漏れ等がないこと。
- d 換気装置の機能
 - 換気装置を点検し、適正に行なえること。
- (イ) 蓄電池
 - a 外形
 - 電そう、ふた等に亀裂・変形などの損傷及び漏液等がないこと。
 - b 表示
 - 蓄電池設備である旨の標識が設けられ、触媒栓等の交換期限の表示を確認すること。(期限内であっても同様とする。)
 - c 電解液
 - 全セルについて、電解液量及び比重が基準内にあるかどうか確認する。
 - d 総電圧
 - 浮動充電中の総電圧を測定し、その良否を確認すること。
 - e セル電圧
 - 浮動充電中のセル電圧が適正であるか確認すること。
 - f 負荷容量
 - 実負荷測定を行うこと。
 - g 均等充電
 - 必要に応じて実施すること。ただし、過充電とならないように実施すること。
- (ウ) 充電装置
 - a 外形
 - 架台及び外箱の変形、損傷、漏れ、腐食等がないこと。
 - b 表示
 - 充電装置の表示が適正であること。
 - c 開閉器・遮断器
 - 変形、損傷、端子の緩み等がなく、開閉機能及び開閉位置が正常であり、かつ、容量は負荷に対して適正であること。
 - d 交流入力電圧
 - 50Hz、3Φ200V電源の入力電圧、電流の測定を行うこと。
 - e トリクル・浮動充電電圧
 - 正常な浮動充電状態での電圧を確認すること。
 - f 均等充電電圧
 - 均等充電中の電圧電流を測定すること。
 - g 出力電流
 - 全負荷出力時の出力電流を測定すること。
 - h 負荷電圧
 - 全負荷出力時の負荷電圧を測定すること。
 - i 負荷電流
 - 全負荷出力時の負荷電流を測定すること。
 - j 自動充電切り替え
 - 均等充電より浮動充電に切り替え、異常のないことを確認すること。
 - k 接地
 - 著しい腐食、断線等がないこと。
- (エ) 結線接続
 - 断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。

- (オ) 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (カ) 予備品等
予備品及び回路図等が備えてあること。
- イ 総合点検
機器点検のほか、次の事項について確認すること。
 - (ア) 接地抵抗
 - a 接地抵抗値が適正であること。
 - b 接地線の太さ及びD種抵抗値を確認すること。
 - (イ) 絶縁抵抗
絶縁抵抗値が適正であること。
 - (ウ) 容量
負荷容量測定を行うこと。
 - (エ) 電圧・周波数計
実負荷時の電圧・周波数を測定すること。
 - (オ) 電圧調整範囲
実負荷時の電圧調整範囲を測定すること。
 - (カ) タイマー
タイマー設定による動作確認を行うこと。

2.1 消防用設備等点検

1 保守点検回数

- (1) 消防用設備点検
 外観機能点検 1回/年
 総合点検 1回/年
- (2) 防火対象物点検 1回/年

2 消防用設備点検業務 施設別点検箇所一覧

(1) 排煙・防排煙設備

番号	名 称	数量・単位
1	定温式スポット型感知器	114個
2	煙式光電式感知器	25個
3	シャッター連動式	41台
4	防火扉 シングル・連動式	38台
5	排煙口	7台
6	手動装置 (シャッター用、垂れ壁用、排煙機用)	50台
7	可動垂れ壁 煙連動式 緩降式	2枚
8	ダンパー	66個
9	排煙機	1基
10	排煙機起動盤	1基
11	非常電源	1式
12	電源装置	1式
13	配線点検、絶縁測定	1式

(2) 自動火災報知設備

番号	名 称	数量・単位
1	受信機 複合GR型 (防排煙連動)	1台
2	中継器盤	3面
3	定温式スポット型感知器	127個
4	煙感知器 (非蓄積・蓄積型含む。)	356個
5	電鈴 (地区音響装置)	22個
6	差動式分布型感知器	2個
7	差動式スポット型感知器 (差動式)	25個
8	発信機 (P型1級)	63個
9	消火栓起動装置	1式
10	非常用電源	1式
11	常用電源	1式
12	配線点検、絶縁測定	1式

(3) 二酸化炭素消火設備

番号	名 称	数量・単位
1	二酸化炭素容器	22本
2	起動用小容器	2本
3	起動用操作箱	2個
4	連動盤 2回線	1面
5	配線点検、絶縁測定	1式
6	不還弁	2個
7	放出表示灯	5台

8	ヘッド	15個
9	容器本体 放出CO2	3本
10	容器本体 付属品交換	1本
11	容器弁開放器	22個
12	起動用開放器 ガス圧式	2個
13	モーターサイレン	2個
14	電源装置	1式
15	圧力スイッチ	4個
16	ダンパー	11個
17	選択弁 ガス圧式	2個
18	作動試験	1式
19	容器本体 耐圧試験	3本

(4) 誘導灯・足下灯及び誘導標識設備

名 称	設 置 場 所	数量・単位
誘導灯	避難口誘導灯	118台
	廊下、階段、室内通路誘導灯	142台
	仮設用誘導灯	4台
足下灯	第一体育館 北側客席	152台
	第一体育館 南側客席	156台
	第二体育館 各席	50台
電源装置	第一体育館 北側蓄電池室	1台
電源装置	第一体育館 南側蓄電池室	1台
	第二体育館 東倉庫	1台
誘導灯信号装置 (予備電源内蔵型)	中央監視室 2台	3台
	警備室 1台	
誘導標識	第一体育館	6台
予備電源		1式
常用電源		1式
配線点検、絶縁測定		1式

(5) ガス漏れ火災警報設備

名 称	設 置 場 所	数量・単位
受信機G型11回線	事務棟 警備室	1式
受信機4回線	機械棟 階段室	1式
予備電源		2式
常用電源		2式
配線点検、絶縁測定		2式
検知器一般型 検知区域警報装置	第一体育館 ボイラー室	3個
	第一体育館 マシンハッチ貫通部	1個
	第一体育館 濾過器用ESV	1個
	第一体育館 濾過器室	3個
	第一体育館 正面玄関ピット内	1個
	第一体育館 ガバナー室	2個
	旧一般食堂 厨房	2個
	旧一般食堂 ガスメーター室	1個
	レストラン 厨房・ピット	3個
	南カフェテリア 厨房	1個

	冷温水発生機 No. 1	1個
	冷温水発生機 No. 2	1個
	発電機室	1個
	ポンプ室	1個

(6) 屋内消火栓設備

◎ 屋内消火栓設備 箱63個 下記参照

盤・ポンプ15KW 0.9立方m/m 第一体育館B2機械室

番号	設置場所	番号	設置場所
1	アリーナ通路(機械室裏)	30	北コンコース(中央)
2	アリーナ通路(北西トイレ裏)	31	北コンコース(東側)
3	アリーナ通路(北西倉庫裏)	32	観客出入口(原宿口)
4	アリーナ通路(北中央)	33	インフォメーション(原宿口)
5	東ランプ	34	南コンコース(東側)
6	アリーナ通路(北東倉庫裏)	35	南ロビー(東側)
7	アリーナ通路(北東隅)	36	南ロビー(西側)
8	アリーナ通路(電気室裏)	37	南コンコース(中央)
9	室内水泳場内	38	南コンコース(西側)
10	室内水泳場女子更衣室通路	39	2F観客席上通路(南西側)
11	第一体育館玄関ホール (プール、スケート入口)	40	2F観客席上通路(南中央)
		41	2F観客席上通路(南東側)
12	第一体育館更衣室 (女子側、貸靴倉庫脇)	42	2F観客席上通路(北東側)
		43	2F観客席上通路(北中央)
13	指令機械室脇通路(東側)	44	2F観客席上通路(北西側)
14	第一体育館更衣室 (男子側、南倉庫脇)	45	事務棟給湯室脇
		46	第二体育館出入口(事務棟前)
15	第一体育館玄関ホール (貴賓室、役員入口)	47	第二体育館東倉庫前
		48	第二体育館ロビー(北側)
16	ボイラー室	48	第二体育館西倉庫脇
17	第一体育館北ロビー倉庫 (熱交換器前)	50	第二体育館ロビー(西側)
		51	第二体育館ロビー(南側)
18	B1F東テラス(北側)	52	第二体育館観客出入口
19	B1F東テラス(南側)	53	第二体育館観客席上段通路(南東)
20	第一会議室	54	第二体育館観客席上段通路(西南)
21	貴賓室前室	55	第二体育館観客席上段通路(西北)
22	貴賓室通路	56	第二体育館観客席上段通路(北東)
23	B1F通路(電光盤前南側)	57	レストラン
24	B1F通路(電光盤前北側)	58	旧一般食堂内
25	インフォメーション(渋谷口)	59	旧一般食堂カフェテリア
26	観客出入口(渋谷口)	60	第二会議室外壁
27	北コンコース(西側)	61	第一体育館北ロビー倉庫 西入口脇(B2F)
28	北ロビー(西側)		
29	北ロビー(東側)	62	第一体育館北ロビー
		63	第二水泳場濾過機室

・その他

番号	名 称	数量・単位
1	加圧送水装置ポンプモーター	1組
2	呼水装置	1台
3	放水試験	1式
4	操作盤	1面
5	常用電源	1式
6	配線点検、絶縁測定	1式
7	起動装置・起動スイッチ	63個
8	表示灯	63個

(7) スプリンクラー設備

【場内北側】

- ・ ポンプユニット
100φ×900ℓ/min×78m×18.5KW×50Hz
- ・ 補助水槽 FRP製(サドイチパル) ヒシタンク GSB型
1,000W×1,000D×1,500H=1.5m³
- ・ アラーム弁 100A×2箇所 (B1Fポンプ弁室)
- ・ 末端試験弁 25A×2箇所 (B1F排煙機室、B2F東ランプ倉庫)
- ・ 散水ヘッド 500個
- ・ 送水口 1基 65A 埋込双口型

設置場所・北側B2F		ヘッド数	設置場所・北側B1F		ヘッド数
1	北側倉庫	93個	1	北ロビー	127個
2	ミーティングルーム	12個	2	通路	34個
3	控室(1)	9個	3	制御弁室	3個
4	控室(2)	9個	4	売店・パントリー	8個
5	控室(3)	7個	計		172個
6	控室(4)	9個			
7	控室(5)	9個			
8	控室(6)	6個			
9	レセプションルーム	6個			
10	特別室	20個			
11	通路	15個			
12	給湯室	4個			
13	倉庫	1個			
14	売店	6個			
15	ロビー	18個			
16	東ランプ	29個			
17	西ランプ	50個			
18	キュービクル前室	7個			
19	東倉庫	6個			
20	東トイレ入口	10個			
21	東トイレ奥倉庫	2個			
計		328個			

【場内南側】

- ・ ポンプユニット
100φ×900ℓ/min×78m×18.5KW×50Hz

- ・ 補助水槽 FRP製 (サドイッチパ 初) ヒシタンク GSB型
1,000W×1,000D×1,500H=1.5m³
- ・ アラーム弁 100A×2箇所 (B1Fバックヤード、B2Fポンプ室内)
- ・ 末端試験弁 25A×3箇所 (B1F中庭、B2F機械室内、清掃員控室)
- ・ 散水ヘッド 581個
- ・ 送水口 1基 双口スタンド方 65A×65A×100A
- ・ 2号屋内消火栓 40A (750W×230D×1,250H)

設置場所・南側B2F	ヘッド数	設置場所・南側B1F	ヘッド数
1 玄関ロビー	36個	1 附属棟会議室(1)～(3) 会議室1、倉庫	67個
2 化粧室(A)	3個	2 第一体育館カフェテリア	28個
3 化粧室(B)	4個	3 第一体育館カフェテリア厨 房	4個
4 救護室	4個	4 一般食堂横サービスヤード	26個
5 南倉庫	9個	5 従業員事務室	4個
6 貸靴倉庫	15個	6 日本スポーツ仲裁機構	12個
7 役員室(A)	4個	7 日本オリンピックズ協会	12個
8 役員室(B)	4個	8 南ロビー	62個
9 中庭通路・男	10個	9 バンドタイ	8個
10 中庭通路・女	10個		
11 監視室前通路	16個		
12 更衣室	122個	計	227個
13 更衣室内倉庫	6個	設置場所・室内水泳場	ヘッド数
14 司令機械室倉庫	3個	1 女子更衣室	21個
15 正面玄関	28個	2 男子更衣室	16個
16 役員通路	15個	3 出入口	4個
17 パテーション収納庫	2個	4 プール連絡通路	14個
18 清掃用具収納庫	1個	5 ロッカー控室	2個
19 電気室倉庫	2個	6 倉庫	3個
計	294個	計	60個

・その他

番号	名 称	数量・単位
1	加圧送水装置ポンプモーター	2組
2	自動起動装置	2組
3	補助散水栓	1台
4	操作盤	2面
5	圧力スイッチ	2個
6	配線点検、絶縁測定	2式
7	流水検知装置	2台
8	送水口	2台
9	呼水装置	2組
10	常用電源	2式
11	0連動試験	2式

(8) 消火器設備

- ・ 粉末消火器 (加圧式) 4型 5本
- ・ 粉末消火器 (加圧式) 10型 114本
- ・ 粉末消火器 (加圧式) 15型 2本

- ・ 粉末消火器（加圧式） 20型 1本
- ・ 粉末消火器（加圧式） 50型 6本
- ・ 粉末消火器（加圧式） 100型 4本
- ・ 強化液消火器 3型 4本

4型・10型・15型・20型から10%を、交換又は放射詰替えとする。

なお、交換は後日とし、交換する消火器については、点検報告書に基づき後日監督職員と協議するものとし、本数はおおむね10本とする。

【第一体育館】

(注) 番号は、現場に設置されている場所の管理番号である。

番号	型	区分	消火器	番号	型	区分	消火器
1	10	1階	コンコース	35	20	B2階	中央監視室
2	10	1階	コンコース	36	50	B2階	ボイラー室
3	10	1階	コンコース	37	50	B2階	ボイラー室
4	10	1階	コンコース	38	10	B2階	G倉庫
5	10	1階	コンコース	39	10	B2階	ダクトスペース前
6	10	1階	コンコース	40	10	B2階	清掃控室
7	10	1階	コンコース	41	10	B2階	中央監視室
8	10	1階	コンコース	42	10	B2階	司令機械室
9	10	B1階	蓄電池室西	43	10	B2階	役員室脇
10	10	B1階	換気機械室	44	10	B2階	給水室前
11	10	B1階	アラム弁室前	45	10	B2階	貸靴倉庫
12	10	B1階	売店中通路	46	10	B2階	南更衣室
13	10	B1階	北ロビー	47	10	B2階	医務室前
14	10	B1階	北ロビー	48	10	B2階	A倉庫
15	10	B1階	蓄電池室前	49	10	B2階	ボイラー室
16	10	B1階	ラウンジ前	50	10	B2階	ボイラー室
17	10	B1階	ロイヤルボックス	51	10	B2階	ボイラー室
18	10	B1階	来賓室	52	10	B2階	電光掲示板下
19	50	B2階	イベント電源室	53	10	B2階	電光掲示板下
20	10	B1階	来賓室	54	10	B2階	玄関ホール
21	50	外	ポンプ室	55	10	B2階	玄関ホール
22	10	B1階	南ロビー	56	10	B2階	スポーツショップ
24	10	B1階	南ロビー	57	10	B2階	メインホール
25	10	B2階	濾過機室前	58	10	外	サブ濾過機室
26	10	B2階	ポンプ室前	59	10	外	北非常用発電機置場
27	10	B2階	北ロビー倉庫	60	10	外	サブ濾過機室
28	10	B2階	北ロビー倉庫	61	10	外	ガバナー室左
29	10	B2階	選手控室	62	10	B1階	スポーツ仲裁機構
30	10	B2階	選手控室	63	10	B1階	オリンピック協会
31	10	B2階	給湯室	64	10	B1階	旧一般食堂
32	50	B2階	第二変電室	65	10	B1階	旧一般食堂
33	50	B2階	中央監視室	66	10	B1階	旧一般食堂
34	10	B2階	東ランプ	67	10	B1階	旧一般食堂
68	10	B1階	旧一般食堂カフェテリア	114	10	B2階	イベント電源室
69	10	B1階	旧一般食堂カフェテリア	116	4	B1階	旧一般食堂厨房

			リア				
70	10	B1階	旧一般食堂カフェテリア	117	4	B1階	旧一般食堂厨房
71	10	外	有料駐車場	119	10	B1階	北ロビー東女子トイレ奥
72	10	外	業者控室	121	10	B2階	北ロビー倉庫
80	10	外	北非常用発電機置	122	10	B2階	室内水泳場通路
86	10	B1階	北ロビー西女子トイレ奥	123	10	外	サブ濾過機室
92	15	B2階	中央監視室	124	SKW3	B2階	室内水泳場更衣室男
93	15	B2階	中央監視室	125	SKW3	B2階	室内水泳場更衣室女
101	10	外	園地控室	136	SKW3	B1階	南カフェテリア厨房
106	10	外	休養室	137	10	B1階	南カフェテリア
107	10	外	旧食堂発生機室	138	10	B1階	北ロビー売店
				139	10	B2階	北アリーナ売店

【第二体育館・事務棟】

(注) 番号は、現場に設置されている場所の管理番号である。

番号	型	区分	消火器	番号	型	区分	消火器
73	10	1階	正面テンパー	99	10	事務棟	応接室前
74	10	B1階	来賓室前	100	10	事務棟	ドーピングルーム前
75	10	B1階	選手控室通路	102	10	B1階	2体スタッフルーム
76	10	B1階	役員室前	103	10	B1階	2体西倉庫
77	10	B1階	東倉庫前	108	4	事務棟	レストラン厨房
78	10	B1階	東倉庫	126	4	事務棟	事業課給湯室
79	10	B1階	ロビーテンパー	23	10	事務棟	予備(警備室)
81	10	B1階	ロビーテンパー	104	10	事務棟	予備(警備室)
82	10	B1階	ロビーテンパー	105	10	事務棟	予備(警備室)
83	10	B1階	2体スタッフルーム	111	4	事務棟	予備(警備室)
84	10	事務棟	レストラン	115	10	事務棟	予備(警備室)
85	10	事務棟	レストラン厨房	127	10	機械棟	1階階段室
87	10	事務棟	警備室	128	10	機械棟	B1階段室
88	10	事務棟	警備室	129	10	機械棟	B1階発電機室
89	10	事務棟	第二会議室入口	130	100	機械棟	B1階発電機室
90	10	事務棟	管理課倉庫入口	131	100	機械棟	B1階変電室
91	10	事務棟	給湯室前	132	10	機械棟	B2階階段室
94	10	事務棟	給湯室前	133	10	機械棟	B2階階段室
95	10	事務棟	事業課前	134	100	機械棟	B2階階段室
96	10	事務棟	事業課前	135	100	機械棟	B2階階段室
97	10	事務棟	応接室前	140	SKW3	事務棟	南カフェテリア厨房
98	10	事務棟	第二電気室	141	10	事務棟	南カフェテリア
				142	10	1階	第二体育館売店

(9) 連結送水管設備・消防用水

- ◎ 連結送水管設備放水口 4箇所
 - ・ インフォメーション (渋谷口)
 - ・ 旧一般食堂内
 - ・ インフォメーション (原宿口)
 - ・ 第二体育館観客出入口
- ◎ 防火用水採水口 2組
旧一般食堂サービスヤード側
- ◎ 連結送水管設備送水口 3組
双口埋込型×2、双口スタンド型×1
 - ・ 正面玄関横
 - ・ クーリングタワー横
 - ・ 原宿口スロープ

(10) 簡易自動消火装置 (フード・ダクト用、小型レンジ・フライヤー用)

- ◎ 設置場所 2箇所
事務棟1階レストラン厨房内、第一体育館B1階南カフェテリア厨房内
フード・ダクト用、小型レンジ・フライヤー用
- ◎ 製品名
 - ・ 業務厨房用簡易自動消火装置
 - ・ 株式会社クラコ製 シティーエース25
- ◎ 放出方式
 - ・ 固定式 (連動)
- ◎ 放出時間
 - ・ 32秒 (HDK)
- ◎ 放出用ガス圧
 - ・ 蓄圧式
- ◎ 操作盤
 - ・ 設置位置 : 厨房内1個
 - ・ 電源電圧 : DC-24V
 - ・ 起動方式 : 自動・手動
 - ・ 警報装置 : 電子ブザー (操作盤内蔵)
 - ・ 感知器個数 : 4個、
- ◎ 制御盤
 - ・ 設置場所 : 厨房内格納箱、
 - ・ 電源電圧 : AC-100V
 - ・ 付属装置 : 連動ユニット基板、増設移報出力リレー基板
- ◎ 消火剤
 - ・ 種別 : 強化液、薬剂量 : 1本30、容器本数8本
- ◎ 貯蔵容器
 - ・ 設置場所 : 厨房内格納箱
 - ・ 寸法 : 高さ384mm×最大径127mm
 - ・ 内容積 : 4.15ℓ
 - ・ 板厚材質 : SUS304、1.2t
 - ・ 容器本体 : レストラン厨房 8本 薬剂量合計240
南カフェテリア厨房 8本 薬剂量合計240
- ◎ 常用電源
 - ・ 種別 : AC-100V (専用)
 - ・ 開閉器 : NFB20A
- ◎ 配管
 - ・ 管の材質及び開口 : リン脱酸銅継目無管
JIS H3300 10Φ
 - ・ 継手の方式及び材質 : リングジョイント
 - ・ 形状及び基準の長さ : 外径10Φ、内径8Φ、強化液1.2m
- ◎ ノズル
 - ・ ノズルの材質 : C3604 快削黄銅棒
 - ・ ノズルの個数 :
フード8個、ダクト4個、グリスフィルタ4個、小型レンジ・フライヤー4個 計20個2ヶ所合計40個
(レストラン厨房及び南カフェテリアとも同数)
- ◎ 感知器
 - ・ 感知器個数 : ダクト内センサー4個
 - ・ 使用電線 : HP (耐熱) 0.9Φ×2C
 - ・ 感知方式 : サーミスター180℃
(レストラン厨房及び南カフェテリアとも同数)

番号	名 称	数量・単位
1	操作盤	2台
2	制御盤	2組
3	消火剤容器本体	16本
4	貯蔵容器	2面
5	常用電源	2式
6	配線点検、絶縁測定	2式
7	ノズル	40個
8	感知器	8個
9	起動装置	2式
10	起動スイッチ	2式
11	連動試験	2式

3 防火対象物点検業務 施設別点検箇所一覧

- (1) 第一体育館
28,753.90㎡
 - (2) 第二体育館
5,644.19㎡
 - (3) 事務棟他
5,786.12㎡
 - (4) 機械棟
483.87㎡
- 合 計 40,667.89㎡

番号	名 称	数量・単位
1	基本料金	1式
2	観覧場 500㎡未満	1式
3	観覧場 500㎡以上100㎡増す毎	402式

4 消防用設備点検業務 共通事項及び消防用設備別点検基準

- (1) 一般事項 (点検共通事項)
 - ア 消防法等関係法令の設置に係る基準に従って設置されていることを確認すること。
 - イ 他の消防用設備等の設置により、設置しないこととしたものについては、当該消防用設備等の設置について確認すること。
 - ウ 目視により防火対象物又はその部分に、設置の有無を確認すること。
 - エ 消防設備については、年度内に実施される施設整備工事により、現状の設備等が変更となる場合がある。
- (2) 消防用設備別点検基準
 - ア 消火器具
 - (ア) 機能点検
 - 次の事項について確認すること。
 - a 設置状況
 - (a) 設置場所
 - 通行又は避難に支障がなく、かつ、消火器については消火薬剤が凍結、変質等のおそれの少ない場所で、使用に際して容易に持ち出すことができる位置にあること。
 - (b) 設置間隔
 - 防火対象物の各部分からそれぞれ当該消火器具に至る歩行距離が規定の数値以下であること。

- (c) 適応性
設置した場所の消火に適応する消火器具であること。
- (d) 耐震措置(転倒により消火薬剤が漏出するおそれのある消火器に限る。)
震動等による転倒を防止するための適当な措置が講じられていること。
- b 表示及び標識
損傷、汚損、脱落、不鮮明なもの等がなく、所定のものが設けられていること。
- c 消火器の外形
 - (a) 本体容器
消火薬剤の漏れ、変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 安全栓の封
損傷、脱落等がなく、確実に取り付けられていること。
 - (c) 安全栓
変形、損傷等がなく、確実に装着されていること。
 - (d) 使用済みの表示装置
変形、損傷、脱落等がなく、作動していないこと。
 - (e) 押し金具及びレバー等の操作装置
変形、損傷等がなく、確実にセットされていること。
 - (f) キャップ
変形、損傷等がなく、本体容器と緊結されていること。
 - (g) ホース
変形、損傷、老化、詰まり等がなく、本体容器と緊結されていること。
 - (h) ノズル、ホーン及びノズル栓
変形、損傷、老化、詰まり等がなく、ホースと緊結されており、二酸化炭素消火器にあつては、ホーン握りの脱落がないこと。
 - (i) 指示圧力計
変形、損傷等がなく、指示圧力値が適正であること。
 - (j) 圧力調整器
変形、損傷等がないこと。
 - (k) 安全弁
変形、損傷等がなく、本体容器と緊結されていること。
 - (l) 保持装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、消火器を容易に取りはずせること。
 - (m) 車輪(車載式消火器に限る。)
変形、損傷等がなく、円滑に回転すること。
 - (n) ガス導入管(車載式消火器に限る。)
変形、損傷等がなく、確実に取り付けられていること。
- d 消火器の内部及び機能
消火器のうち製造年から3年(化学泡消火器にあつては、設置後1年)を経過したもの又は消火器の外形の点検において安全栓及び安全栓の封の緊結部等に異常が認められたものについて実施すること。
この場合において、3年を経過したもののうち、蓄圧式の消火器(二酸化炭素消火器及びハロゲン化物消火器を除く。)、及び加圧式の粉末消火器にあつては、抜取り方式により点検を行うことができる。
 - (a) 本体容器及び内筒等
 - ① 本体容器
内面に腐食、防錆材料^錆の脱落等がないこと。
 - ② 内筒等
損傷、腐食、漏れ等がないこと。
 - ③ 液面表示

明確にされていること。

- (b) 消火薬剤
 - ① 性状
変色、腐敗、沈澱物、汚れ等がなく、粉末消火薬剤にあつては、固化がないこと。
 - ② 消火薬剤量
所定量あること。
- (c) 加圧用ガス容器
著しい腐食がなく、加圧用ガスが所定量あること。
- (d) カッター及び押し金具
変形、損傷等がなく、操作用のレバー、ハンドル等を操作した場合に、カッター及び押し金具が確実に作動すること。
- (e) ホース
ホース及びホース接続部に詰まり等がないこと。
- (f) 開閉式ノズル及び切替式ノズル
開閉操作又は切替操作が容易にできること。
- (g) 指示圧力計
正常に作動すること。
- (h) 使用済みの表示装置
正常に作動すること。
- (i) 圧力調整器
正常に作動すること。
- (j) 安全弁・減圧孔（排圧栓を含む。）
変形、損傷、詰まり等がなく、確実に作動すること。
- (k) 粉上り防止用封板
変形、損傷等がなく、確実に取り付けられていること。
- (l) パッキン
変形、損傷、老化等がないこと。
- (m) サイホン管及びガス導入管
変形、損傷、詰まり等がなく、確実に取り付けられていること。
- (n) ろ過網
損傷、腐食、詰まり等がないこと。
- (o) 放射能力
二酸化炭素消火器、ハロゲン化物消火器及び車載式の消火器以外の消火器については、放射試験を抜取り方式により実施し、放射能力に異常がないこと。

e 簡易消火用具

- (a) 外形
水バケツ及び水槽に、変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 水量等
水槽の水、乾燥砂、膨張ひる石又は膨張真珠岩が規定量あること。

- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うこと。

イ 屋内消火栓設備

次の事項について確認すること。

- (ア) 機能点検
 - a 水源
 - (a) 貯水槽
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 水量
規定量が確保されていること。

- (c) 水状
著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がないこと。
 - (d) 給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - (e) 水位計
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (f) 圧力計(圧力水槽方式のものに限る。)
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (g) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- b 加圧送水装置 (ポンプ方式)
- (a) 電動機の制御装置
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電圧計及び電流計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - ⑤ 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - ⑥ ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - ⑪ 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
 - (b) 起動装置
 - ① 直接操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
 - ② 遠隔操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがなく、操作部が消火栓箱内

部又はその直近に設けられていること。

- ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
- ・ 表示
適正であること。
- ・ 機能
正常であること。

③ 遠隔起動部

- ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
- ・ 機能
正常であること。

④ 起動用水圧開閉装置

- ・ 圧力スイッチ
変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が適正であること。
- ・ 起動用圧力タンク
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がなく、圧力計の指示値が適正であること。
- ・ 機能
作動圧力値が適正であること。

(c) 電動機（ポンプ方式）

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 回転軸
回転が円滑であること。
- ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- ④ 軸継手
緩み等がなく、機能が正常であること。
- ⑤ 機能
正常であること。

(d) ポンプ

- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ② 回転軸
回転が円滑であること。
- ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- ④ グランド部
著しい漏水がないこと。
- ⑤ 連成計・圧力計
正常に作動すること。
- ⑥ 性能
適正であること。

(e) 呼水装置

- ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。

- ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- ⑤ フート弁
吸水に障害となる異物の付着、詰まり等がなく、逆止効果が正常であること。
- ⑥ 性能試験装置
変形、損傷、腐食等がなく、機能が正常であること。
- ⑦ 高架水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が得られること。
- ⑧ 圧力水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が確保されており、かつ、圧力の自然低下防止装置が正常に作動すること。
- c 減圧のための措置
減圧弁等に変形、損傷、漏れ等がないこと。
- d 配管等
 - ① 管及び管継手
漏れ、変形、損傷等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - ② 支持金具・つり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
 - ③ バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ④ ろ過装置
ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
 - ⑤ 逃し配管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
- e 屋内消火栓箱等
 - ① 消火栓箱
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ② ホース及びノズル
 - ・ 外形
消防法令第11条第3項第1号の基準により設置される屋内消火栓（簡易操作性1号消火栓を除く。）ホース及びノズルは必要本数が正常に収納され、変形、損傷、著しい腐食等がなく、接続部の着脱が容易にできること。
簡易操作性1号消火栓及び2号消火栓
ホース及びノズルの手元開閉装置に変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に収納されていること。
 - ・ 操作性(簡易操作性1号消火栓及び2号消火栓に限る。)
ノズルの手元開閉装置の操作が容易にでき、ホースの延長、格納が容易に

できること。

・ ホースの耐圧性能

ホース（簡易操作性1号消火栓及び2号消火栓のホースを除く。）の製造年の末日から10年を経過した日以降に点検を行う場合に限る。ただし、ホースの耐圧性能に関する点検を行ってから3年を経過していない場合を除く。）所定の水圧をかけた場合において、変形、損傷又は著しい漏水等がないこと。

③ 消火栓開閉弁

漏れ、変形、損傷等がなく、開閉操作が容易にできること。

④ 表示灯

変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯すること。

④ 始動表示灯

変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯すること。

⑤ 使用方法の表示

適正に取り付けられていること。

⑥ 耐震措置

アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。

(イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、非常電源に切り替えた状態で、直接操作部、遠隔操作部又は遠隔起動部により加圧送水装置を起動させ、任意の屋内消火栓により放水し、次の事項について確認すること。

a ポンプ方式

(a) 起動性能等

① 加圧送水装置

正常に作動すること。

② 表示、警報等

適正に行われること。

③ 電動機の運転電流

適正であること。

④ 運転状況

運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

(b) 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

(c) 放水量

規定量以上であること。

(d) 減圧のための措置

機能が正常であること。

b 高架水槽方式及び圧力水槽方式

(a) 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

(b) 放水量

規定量以上であること。

(c) 減圧のための措置

機能が正常であること。

ウ 消防用水

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 水源

(a) 貯水槽

- 変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
- (b) 水量
 - 異常等がなく、必要量があること。
- (c) 水状
 - 異常等がないこと。
- (a) 給水装置
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- b 吸管投入孔・採水口
 - (a) 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 吸管投入口
 - 投入口の状況を確認する。
 - (c) 採水口
 - ① 本体
 - 本体に異常がないこと。
 - ② 開閉弁
 - 開閉弁が正常に起動すること。
 - (d) 標識
 - 正しく標識があること。
- (イ) 総合点検
 - 機能点検と同様の項目を行うこと。
- エ 連結送水管設備
 - 次の事項について確認すること。
 - (ア) 機能点検
 - a 送水口
 - (a) 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (c) 本体
 - 適正であること。
 - (d) 標識
 - 正しく標識があること。
 - b 放水用器具格納箱等
 - (a) 放水用器具格納箱
 - ① 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 標識
 - 正しく標識があること。
 - (b) ホース・ノズル
 - ① 外形・機能
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に利用できること。
 - ② ホースの耐圧性能
 - 所定の水圧をかけた場合において、変形、損傷又は著しい漏水等がないこと。
 - (c) 放水口
 - ① 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- ③ 標識
正しく標識があること。
- ④ 開閉弁
開閉弁が正常に起動すること。
- (d) 格納箱
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- c 加圧送水装置
 - (a) 電動機の制御装置
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電圧計・電流計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - ⑤ 開閉器・スイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - ⑥ ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - ⑪ 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
 - (b) 起動装置
 - ① 直接操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
 - ② 遠隔操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがなく、操作部が消火栓箱内部又はその直近に設けられていること。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。

- ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
- (c) 電動機
- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 回転軸
回転が円滑であること。
 - ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
 - ④ 軸継手
緩み等がなく、機能が正常であること。
 - ⑤ 機能
正常であること。
- (d) ポンプ
- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 回転軸
回転が円滑であること。
 - ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
 - ④ グランド部
著しい漏水がないこと。
 - ⑤ 連成計及び圧力計
正常に作動すること。
 - ⑥ 性能
適正であること。
- (e) 呼水装置
- ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
 - ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- f 中間水槽等
- (a) 中間水槽
- ① 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ② 水状
異常等がなく、必要量があること。
- (b) 給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
- (c) 水位計
変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
- (d) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易に

- きること。
- e 配管等
 - (a) 管及び管継手
 - ① 外形
 - 変形、損傷等がないこと。
 - ② 配管の耐圧性能
 - (b) 支持金具及び吊り金具
 - 脱落、曲がり、緩み等がないこと。
 - (c) バルブ類
 - 漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - (d) ろ過装置
 - ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
 - (e) 逃し配管
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
- f 耐震措置
 - アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
 - 機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - a 加圧送水装置
 - 正常に作動すること。
 - b 電動機の運転電流
 - 適正であること。
 - c 運転状況
 - 運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。
- オ スプリンクラー設備
 - (ア) 機能点検
 - 次の事項について確認すること。
 - a 水源
 - (a) 貯水槽
 - 変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 水量
 - 規定量が確保されていること。
 - (c) 水状
 - 著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がないこと。
 - (d) 給水装置
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - (e) 水位計
 - 変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (f) 圧力計(圧力水槽方式のものに限る。)
 - 変形、損傷等がなく、指示値が適正で、かつ、正常に作動すること。
 - (g) バルブ類
 - 漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - b 加圧送水装置(ポンプ方式)
 - (a) 電動機の制御装置
 - ① 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - ⑤ 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - ⑥ ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - ⑦ 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - ⑧ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑨ 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - ⑩ 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - ⑪ 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- (b) 起動装置
- ① 手動式起動操作部
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正であること。
 - ・ 機能
正常であること。
 - ② 自動式起動装置
 - ・ 起動用水圧開閉装置
 - ※ 圧力スイッチ
変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が設計図書のとおりであること。
 - ※ 起動用圧力タンク
変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がなく、圧力計の指示値が適正であること。
 - ※ 機能
作動圧力値が適正であること。
 - ・ 火災感知装置
 - ※ 感知器
自動火災報知設備の機器点検の基準に準じ、機能が正常であること。
 - ※ 閉鎖型スプリンクラーヘッド
オ（ア）及び（イ）に準じた事項に適合していること。
- (c) 電動機（ポンプ方式）
- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

- ② 回転軸
回転が円滑であること。
 - ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
 - ④ 軸継手
緩み等がなく、機能が正常であること。
 - ⑤ 機能
正常であること。
- (d) ポンプ
- ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 回転軸
回転が円滑であること。
 - ③ 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
 - ④ グランド部
著しい漏水がないこと。
 - ⑤ 連成計及び圧力計
正常に作動すること。
 - ⑥ 性能
適正であること。
- (e) 呼水装置
- ① 呼水槽
変形、損傷、漏水、著しい腐食等がなく、水量が規定量以上あること。
 - ② バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
 - ③ 自動給水装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ④ 減水警報装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。
 - ⑤ フート弁
吸水に障害となる異物の付着、詰まり等がなく、逆止効果が正常であること。
- (f) 性能試験装置
変形、損傷、腐食等がなく、機能が正常であること。
- (g) 高架水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が得られること。
- (h) 圧力水槽方式
変形、損傷、腐食、漏水等がなく、所定の圧力が確保されており、かつ、圧力の自然低下防止装置が正常に作動すること。
- c 減圧のための措置
減圧弁等に変形、損傷、漏れ等がないこと。
- d 配管等
- (a) 管及び管継手
漏れ、変形、損傷等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
 - (c) バルブ類
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にで

- きること。
- (d) ろ過装置
 - ろ過網の変形、損傷、異物の堆積等がないこと。
- (e) 逃し配管
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、逃し水量が適正であること。
- (f) 流水検知装置二次側配管(乾式又は予作動式のものに限る。)
 - 排水が適正に行われること。
- (g) 標識
 - 制御弁及び末端試験弁である旨の標識が適正に設けられていること。
- e 送水ロ
 - (a) 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び消防ポンプ自動車の接近の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
 - 漏れ、変形、損傷、パッキンの老化等がなく、異物が入っておらず、かつ、ホース等が容易に着脱できること。
 - (c) 標識
 - 適正に設けられていること。
- f スプリンクラーヘッド
 - (a) 外形
 - 漏れ、変形、損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。
 - (b) 感熱障害
 - ヘッドの周囲に感熱を妨げるものがないこと。
 - (c) 散水分布障害
 - ヘッドの周囲に散水分布を妨げるものがないこと。
 - (d) 未警戒部分
 - ヘッドが設けられていない部分がないこと。
 - (e) 適応性
 - 設置場所に適応するヘッドが設けられていること。
- g 流水検知装置・圧力検知装置
 - (a) バルブ本体・附属品
 - 漏れ、変形、損傷等がなく、圧力計の指示値が適正であり、かつ、機能が正常であること。
 - (b) リターディング・チャンバー
 - 変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、オートドリップ等による排水が有効であること。
 - (c) 圧力スイッチ
 - 変形、損傷、端子の緩み等がなく、設定圧力値が設計図書のとおりであり、かつ、作動圧力値が適正であること。
 - (d) 音響警報装置及び表示装置
 - 機能が正常であること。
 - (e) 減圧警報装置
 - 作動圧力及び警報が適正であること。
- h 一斉開放弁(電磁弁を含む。)
 - 漏れ、変形、損傷、著しい腐食、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
- i 排水設備(放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備に限る。)
 - 損傷、詰まり等がなく、機能が正常であること。
- j 補助散水栓箱等

- (a) 補助散水栓箱
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ 表示
適正であること。
- (b) ホース・ノズル
 - ① 外形
ホース、ノズル及びノズルの手元開閉装置に変形、損傷、著しい腐食等がなく、正常に収納されていること。
 - ② 操作性
ノズルの手元開閉装置の操作が容易にでき、ホースの延長、格納が容易にできること。
 - ③ 補助散水栓開閉弁
漏れ、変形、損傷等がなく、開閉操作が容易にできること。
 - ④ 表示灯
変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。
 - ⑤ 使用方法の表示
適正に取り付けられていること。
- k 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - a 閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備
非常電源に切り替えた状態で、末端試験弁の開放操作等により起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) ポンプ方式
 - ① 起動性能等
 - ・ 加圧送水装置
正常に作動すること。
 - ・ 表示、警報等
適正に行われること。
 - ・ 電動機の運転電流
適正であること。
 - ・ 運転状況
運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。
 - ② 放水圧力
末端試験弁において規定圧力範囲内であること。
 - ③ 減圧のための措置
機能が正常であること。
 - (b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式
 - ① 表示、警報等
適正に行われること。
 - ② 放水圧力
末端試験弁において規定圧力範囲内であること。
 - ③ 減圧のための措置
機能が正常であること。

b 開放型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、手動式起動操作部の操作又は自動式起動装置の作動により起動させ、次の事項について確認すること。

(a) ポンプ方式

① 起動性能等

- ・ 加圧送水装置
正常に作動すること。
- ・ 表示、警報等
適正に行われること。
- ・ 電動機の運転電流
適正であること。
- ・ 運転状況
運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

② 一斉開放弁

正常に作動すること。

③ 減圧のための措置

機能が正常であること。

(b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式

① 表示、警報等

適正に行われること。

② 一斉開放弁

正常に作動すること。

③ 減圧のための措置

機能が正常であること。

c 補助散水栓

非常電源に切り替えた状態で、補助散水栓を操作することにより加圧送水装置を起動させ、次の事項について確認すること。

(a) ポンプ方式

① 起動性能等

- ・ 加圧送水装置
正常に作動すること。
- ・ 表示、警報等
適正に行われること。
- ・ 電動機の運転電流
適正であること。
- ・ 運転状況
運転中に不規則な若しくは不連続な雑音、異常な振動又は発熱等がないこと。

② 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

③ 放水量

規定量以上であること。

④ 減圧のための措置

機能が正常であること。

(b) 高架水槽方式及び圧力水槽方式

① 表示、警報等

適正に行われること。

② 放水圧力

規定圧力範囲内であること。

- ③ 放水量
規定量以上であること。
- ④ 減圧のための措置
機能が正常であること。

カ 自動火災報知設備

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 予備電源・非常電源（内蔵型のものに限る。）

- (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 表示
規定値以上であること。
- (c) 端子電圧
規定値の範囲内であること。
- (d) 切替装置
常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
- (e) 充電装置（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
- (f) 結線接続
変形、損傷、緩み、著しい腐食、焼損等がないこと。

b 受信機及び中継器

- (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- (b) 外形
変形、損傷等がないこと。
- (c) 表示
適正であること。
- (d) 警戒区域の表示装置
汚損、不鮮明な部分等がないこと。
- (e) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
- (f) スイッチ類
端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
- (g) ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- (h) 継電器（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (i) 表示灯
正常に点灯すること。
- (j) 通話装置
受信機相互間、発信機等との通話が明瞭に行えること。
- (k) 結線接続（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (l) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- (m) 附属装置
火災信号又は火災情報信号が正常に受信でき、かつ、相互に機能障害がないこと。

- (n) 火災表示等（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
 - ① 蓄積式
蓄積機能及び火災表示が適正であること。
 - ② アナログ式
火災表示が適正であること。
 - ③ 二信号式
第一信号及び第二信号による火災表示が適正であること。
 - ④ その他
火災表示が適正であること。
 - (o) 注意表示（アナログ式の自動火災報知設備のうち、自動試験機能を有しないものに限る。）
適正であること。
 - (p) 回路導通（常時断線監視機能を有する自動火災報知設備を除く。）
試験用計器の指示又は確認灯の点灯により導通すること。
 - (q) 設定表示温度等（アナログ式の自動火災報知設備に限る。）
感知器の設定表示温度等が適正であること。
 - (r) 感知器の作動等の表示（遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に限る。）
感知器の作動及び警戒区域の表示が適正であること。
 - (s) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- c 感知器
- (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 警戒状況
 - ① 未警戒部分
未警戒の部分がないこと。
 - ② 感知区域
設定が適正であること。
 - ③ 適応性
設置場所に適応する感知器が設けられていること。
 - ④ 機能障害
機能障害となるものがないこと。
 - (c) 熱感知器（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る熱感知器又は多信号感知器を除く。）
 - ① スポット型
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
 - ② 分布型
 - ・ 空気管式
作動及び作動継続の機能が正常であり、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
 - ・ 熱電対式及び熱半導体式
作動、警戒区域の表示及び回路合成抵抗値が適正であること。
 - ③ 感知線型
作動、警戒区域の表示及び回路合成抵抗値が適正であること。
 - (d) 煙感知器（自動試験機能若しくは遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る煙感知器又は多信号感知器を除く。）
 - ① スポット型
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
 - ② 分離型
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。

- (e) 炎感知器(自動試験機能又は遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る炎感知器を除く。)
 - 確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
- (f) 多信号感知器及び複合式感知器(自動試験機能又は遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る多信号感知器及び複合式感知器を除く。)
 - その有する性能に応じて、(ウ)及び(エ)に準じた事項に適合していること。
- (g) 感知器(遠隔試験機能を有する自動火災報知設備に係る感知器に限る。)
 - 感知器の作動及び警戒区域の表示が適正であること。
- d 発信機
 - (a) 周囲の状況
 - 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
 - 変形、脱落、著しい腐食、押しボタンの保護板の損傷等がないこと。
 - (c) 表示
 - 適正であること。
 - (d) 押しボタン及び送受話器
 - 押しボタン又は送受話器を操作した際、確実に作動すること。なお、確認灯のあるものにあつては、点灯すること。
 - (e) 表示灯
 - 変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。
- e 音響装置
 - (a) 外形
 - 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 取付状態
 - 脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。
 - (c) 音圧等
 - 音圧、音色及び音声が正常であり、他の機械等の音と区別して聞き取れること。
 - (d) 鳴動
 - 鳴動方式どおり地区音響装置が鳴動すること。
- f 蓄積機能(蓄積機能を有する自動火災報知設備のうち、自動試験機能を有しないものに限る。)
 - (a) 感知器が作動したときの火災表示までの時間が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。
 - (b) アナログ式の自動火災報知設備にあつては、アに準ずるほか、注意表示までの時間が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。
- g 二信号機能(二信号機能を有する自動火災報知設備のうち、自動試験機能を有しないものに限る。)
 - 第一信号及び第二信号による火災表示が適正であり、かつ、発信機を作動させたときの火災表示の状況が正常であること。
- h 自動試験機能(自動試験機能を有する自動火災報知設備に限る。)
 - 次の事項に係る異常が記録装置に記録されていないこと。
 - (a) 予備電源及び非常電源(内蔵型のものに限る。)
 - (b) 受信機の火災表示
 - (c) 受信機の注意表示(アナログ式の自動火災報知設備に限る。)
 - (d) 受信機及び中継器の制御機能及び電路
 - (e) 感知器
 - (f) 感知器回路及びベル回路
- (イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。

- a 同時作動
機能が正常であること。
- b 煙感知器、煙複合式感知器又は熱煙複合式感知器の感度（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
感度が正常であること。
- c 地区音響装置の音圧
規定値以上であること。
- d 総合作動（自動試験機能を有する自動火災報知設備を除く。）
非常電源に切り替えた状態で、任意の感知器を加熱又は加煙した場合に、火災表示、注意表示（アナログ式の自動火災報知設備に限る。）及び音響装置の鳴動が正常であること。

キ 誘導灯及び誘導標識

次の事項について確認すること。

(ア) 機能点検

a 誘導灯

(a) 外箱・表示面

① 種類

所定の種類のものが適正に設置されていること。

② 視認障害等

所定の位置に設置されており、間仕切り、広告物、装飾等による視認障害がないこと。

③ 外形

変形、損傷、脱落、著しい汚損等がないこと。

④ 表示

適正であること。

(b) 非常電源（内蔵型のものに限る。）

① 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

② 表示

適正であること。

③ 機能

正常であること。

(c) 光源

汚損、劣化、ちらつき、影等がなく、正常に点灯していること。

(d) 点検スイッチ

変形、損傷、脱落等がなく、切替機能が正常であること。

(e) ヒューズ類

損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。

(f) 結線接続

断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。

(g) 信号装置等（消灯機能、点滅機能、誘導音機能、減光機能等を作動させるための移報装置をいう。）

① 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

② 結線接続

断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。

③ 機能

正常であること。

b 誘導標識

- (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい汚損等がないこと。
- (b) 視認障害等
所定の位置に設置されており、間仕切り、広告物、装飾等による視認障害がないこと。
- (c) 採光
識別に十分な明るさがあること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うこと。
- ク 防排煙設備
 - (ア) 機能点検
次の事項について確認すること。
 - a 設置状況
 - (a) 防煙区画壁
 - ① 固定壁
変形、損傷等がなく、間仕切りの変更等により撤去されていないこと。
 - (b) 可動壁
 - ① 周囲の状況
周囲に可動障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ③ 機能
正常であること。
 - b 排煙口・給気口
 - (a) 周囲の状況
周囲に排煙上障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 機能
排煙ダンパーの取付部に損傷、緩み等がなく、作動が正常であること。
 - c 風道
 - (a) 周囲の状況
可燃物が接触していないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (c) 支持部
緩み等がないこと。
 - (d) 防火ダンパー
取付部に緩み、脱落等がなく、開閉機能が正常であること。
 - (e) 接続部
パッキン等の損傷、脱落等がないこと。
 - d 電動機の制御装置
 - (a) 制御盤
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
適正にされていること。
 - (c) 電圧計及び電流計

- 変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
- (d) 開閉器及びスイッチ類
端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
- (e) ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- (f) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (g) 表示灯
正常に点灯すること。
- (h) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (i) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- (j) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- e 起動装置
- (a) 自動式起動装置
煙感知器は、自動火災報知設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。
- (b) 手動式起動装置
- ① 手動操作箱
 - ・ 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ・ 外形
変形、損傷等がないこと。
 - ・ 表示
適正にされていること。
 - ② ハンドル・レバー等
損傷、脱落等がなく、操作が容易にできること。
- f 排煙機及び給気機
- (a) 外形
回転羽根及び電動機に変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 電動機
- ① 回転軸
回転が円滑であること。
 - ② 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- (c) 動力伝達装置
変形、損傷等がなく、プーリ、Vベルトの機能が正常であること。
- (d) 機能
正常であること。
- g 回転羽根等
- (a) 回転軸
回転が円滑であること。
- (b) 軸受部
潤滑油に著しい汚れ、変質等がなく、必要量が満たされていること。
- h 排煙出口
周囲に排煙上障害となるものがないこと。
- (イ) 総合点検

機能点検と同様の項目を行うほか、非常電源に切り替えた状態で、自動又は手動の起動装置の操作により、任意の区画で排煙機及び給気機の作動試験を行い、次の事項について確認すること。

- a 排煙機及び給気機
確実に起動すること。
- b 可動壁
確実に作動すること。
- c 電動機の運転電流
適正であること。
- d 運転状況
運転中に不規則若しくは不連続な雑音又は異常な振動がないこと。
- e 回転羽根
回転が正常であること。

ケ 防火戸・防火シャッター設備

(ア) 機能点検

次の事項について確認すること。

a 電源

(a) 交流

- ① 開閉器の専用表示
防火戸設備用の表示があること。
- ② 結線接続
端子との接続に緩み、脱落、損傷等がないこと。
- ③ 自動遮断器
変形、損傷等がなく、正常であること。

(b) 充電装置

- ① 変電帯
周囲に排煙上障害となるものがないこと。
- ② 製流帯
変形、損傷等がないこと。
- ③ 計器の表示
適正にされていること。
- ④ ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- ⑤ 結線接続
端子との接続に緩み、脱落、損傷等がないこと。

(c) 蓄電池設備

- ① 専用開閉器
破損、過熱等がないこと。また、ヒューズ類が規定の種類及び容量のものであること。
- ② 密閉型蓄電池
破損、過熱等がないこと。また、ヒューズ類が規定の種類及び容量のものであること。
- ③ 自動切替装置
常用電源を停止した際に、自動的に非常電源に切り替り、常用電源を復旧した際に、自動的に切り替ることを確認する。
- ④ 結線状況
機器に至る配線の途中で、他の負荷の配線を分岐させていないか、また破損等がないこと。

b 連動制御盤

(a) 位置・周囲の状況

- 周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- (b) 電源電圧
適正にされていること。
 - (c) スイッチ・ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (d) 地区作動試験
機能が正常であること。
 - (e) 予備電源試験
機能が正常であること。
 - (f) 遠隔制御試験
機能が正常であること。
 - (g) ランプ類
正常に点灯すること。
 - (h) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- c 感知器
- (a) 未設置箇所
未設置の箇所がないかどうか。
 - (b) 取付位置
取付位置が正しい位置にあること。
 - (c) 変形・損傷等
変形、損傷等がないこと。
 - (d) 機能障害
機能に障害がなく、正常であること。
 - (e) 作動試験
 - ① 煙式感知器
正常に起動すること。
 - ② 熱式感知器
正常に起動すること。
- d 防火戸自動装置
- (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 防火戸
正常に機能すること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- e シャッター
- (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 防火戸
正常に機能すること。
 - (e) 障害

- 障害がないこと。
- f 可動式防煙垂壁
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 外観
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 垂れ壁
異常がなく、正常であること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- g 非常口開錠装置
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 保護カバー
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
 - (d) 取扱説明
取扱説明が付近に表示されていること。
 - (e) 障害
障害がないこと。
- h 防火ダンパー
 - (a) 取付状況
取付位置が正しい位置にあること。
 - (b) 駆動部
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 作動試験
機能が正常であること。
- i その他
 - (a) 防煙区画図
回路図等が備えられていること。
 - (b) 予備品
予備品が備えてあること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - a 同時作動
確実に作動すること。
 - b 煙感知器感度
確実に作動すること。
 - c 総合作動
適正であること。
- コ ガス漏れ火災警報設備
次の事項について確認すること。
 - (ア) 機能点検
 - a 予備電源及び非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示

- 適正であること。
- (c) 端子電圧
規定値以上であること。
- (d) 切替装置
常用電源を停電状態にしたときに、自動的に予備電源又は非常電源に切り替わり、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
- (e) 充電装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
- (f) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- b 受信機及び中継器
 - (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 外形
変形、損傷等がないこと。
 - (c) 表示
適正であること。
 - (d) 警戒区域の表示装置
汚損、不鮮明な部分等がないこと。
 - (e) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
 - (f) スイッチ類
端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
 - (g) ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
 - (h) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
 - (i) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (j) 通話装置
受信機相互間の通話が明瞭に行なえること。
 - (k) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
 - (l) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
 - (m) 附属装置
ガス漏れ信号が正常に移信でき、かつ、相互に機能障害がないこと。
 - (n) ガス漏れ表示
適正であること。
 - (o) 回路導通
試験用計器の指示又は確認灯の点検により導通すること。
 - (p) 故障表示
適正であること。
 - (q) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。
- c ガス漏れ検知器
 - (a) 外形
変形、損傷、脱落、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 警戒状況

- ① 未警戒部分
未警戒の部分がないこと。
- ② 設置場所及び設置位置
適正であること。
- ③ 適応性
検知対象ガスの性状に適応するガス漏れ検知器が設けられていること。
- ④ 機能障害
機能障害となる覆い等がないこと。
- (c) 作動等
確実に作動し、かつ、警戒区域の表示が適正であること。
- d 警報装置
 - (a) 音声警報装置
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 取付状態
脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。
 - ③ 増幅器、操作部
機能が正常であること。
 - ④ 音圧等
音圧、音色及び音声が正常であり、他の機械等の音と区別して聞き取れること。
 - (b) ガス漏れ表示灯
変形、損傷、脱落等がなく、正常に点灯し、かつ、容易に識別できること。
 - (c) 検知区域警報装置
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ② 取付状態
脱落等がなく、音響効果を妨げるものがないこと。
 - ③ 音圧等
音圧及び音色が他の機械等の音と区別して聞き取れること。
 - ④ 鳴動区域
適正であること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - (a) 同時作動
機能が正常であること。
 - (b) 検知区域警報装置の音圧
規定値以上であること。
 - (c) 総合作動
非常電源に切り替えた状態で、任意のガス漏れ検知器を作動させた場合に、ガス漏れ表示及び警報装置の作動が正常であること。
- サ 二酸化炭素消火設備
次の事項について確認すること。
 - (ア) 機器点検
次の事項について確認すること。
 - a 消火剤貯蔵容器等
 - (a) 消火剤貯蔵容器
 - ① 周囲の状況
防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。

- ② 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
- ③ 表示及び標識
適正に設けられていること。
- (b) 高圧式（常温で貯蔵するものに限る。）
 - ① 消火剤量
規定量以上貯蔵されていること。
 - ② 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ③ 容器弁開放装置
 - ・ 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ・ 電気式の容器弁開放装置
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ・ ガス圧式の容器弁開放装置
ピストンロッド及び破開針に変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- (c) 低圧式（二酸化炭素を低温で貯蔵するものに限る。）
 - ① 消火剤量
規定量以上貯蔵されていること。
 - ② 液面計及び圧力計
変形、損傷等がなく、正常に作動すること。
 - ③ 圧力警報装置、安全装置等
変形、損傷等がなく、作動圧力値が適正で、かつ、機能が正常であること。
 - ④ 自動冷凍機
変形、損傷、著しい腐食等がなく、作動温度が適正で、かつ、機能が正常であること。
 - ⑤ 放出弁
変形、損傷、締付部の緩み等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 放出弁開放装置
 - ・ 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ・ 電気式の放出弁開放装置
端子の緩み、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ⑦ ガス圧式の放出弁開放装置
ピストンロッド及び破開針に変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ⑧ バルブ類
変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- (d) 連結管・集合管
変形、損傷、著しい腐食等がなく、かつ、接続部の緩み等がないこと。
- b 起動用ガス容器等
 - (a) 起動用ガス容器
 - ① 外形
変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器収納箱に設けられているものにあつては、扉の開閉が確実にできること。
 - ② 表示
適正に設けられていること。
 - (b) ガス量
規定量以上貯蔵されていること。

- (c) 容器弁
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (d) 容器弁開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の容器弁開放装置
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
 - ③ 手動式の容器弁開放装置
ピストンロッド及び破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- c 選択弁
 - (a) 本体
 - ① 外形
変形、損傷、締付部の緩み等がないこと。
 - ② 表示
適正であること。
 - ③ 機能
正常であること。
 - (b) 開放装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 電気式の開放装置
端子の緩み等がなく、確実に作動すること。
 - ③ ガス圧式の開放装置
ピストンロッド等の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- d 操作管及び逆止弁
 - (a) 外形
変形、損傷、接続部の緩み等がなく、取付位置及び方向等が適正であること。
 - (b) 機能
正常であること。
- e 起動装置
 - (a) 手動式起動装置
 - ① 周囲の状況
操作箱の周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 操作箱
変形、損傷、著しい腐食等がなく、確実に固定され、かつ、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ 表示
適正であること。
 - ④ 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - ⑤ 音響警報起動用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑥ 放出用スイッチ及び非常停止用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - ⑦ 表示灯
正常に点灯すること。
 - ⑧ 保護カバー
有機ガラス等による保護措置に変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (b) 自動式起動装置
 - ① 火災感知装置

自動火災報知設備の機器点検の基準に準じた事項に適合していること。

- ② 自動・手動切替装置
変形、損傷、脱落等がなく、切替位置及び切替機能が正常であること。
- ③ 自動・手動切替表示灯
正常に点灯すること。

f 警報装置

- (a) 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
- (b) 音響警報
正常に鳴動し、その音圧が適正であること。
- (c) 音声警報
正常に鳴動し、その音圧が適正で、かつ、起動したときに注意音を発しその後音声を発すること。

g 制御盤

- (a) 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
- (b) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (c) 表示
適正であること。
- (d) 電圧計
変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。
- (e) 開閉器及びスイッチ類
変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。
- (f) ヒューズ類
損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- (g) 継電器
脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。
- (h) 表示灯
正常に点灯すること。
- (i) 結線接続
断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。
- (j) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- (k) 遅延装置
設定が適正であること。
- (l) 自動・手動切替機能
正常であること。
- (m) 放出制御機能
正常であること。
- (n) 制御盤用音響警報装置
機能が正常であること。
- (o) 予備品等
予備品、回路図等が備えてあること。

h 配管等

- (a) 管及び管継手
損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。

- (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。
- (c) 閉止弁（二酸化炭素を放射する不活性ガス消火設備に限る。）
変形、損傷、著しい腐食等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。
- i 配管の安全装置等
 - (a) 安全装置
放出口のつまり等がないこと。
 - (b) 破壊板
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - (c) 消火剤等排出措置
適正な位置に設けてあること。
- j 放出表示灯
適正な位置に設けられ、変形、損傷、脱落等がなく、かつ、正常に点灯すること。
- k 噴射ヘッド
 - (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食、つまり等がないこと。
 - (b) 放射障害
周囲に放射障害となるものがないこと。
 - (c) 防護区画
 - ① 区画変更等
防護区画及び開口部面積の変更がないこと。
 - ② 開口部の自動閉鎖装置
 - ・ 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - ・ 電気で作動するもの
端子の緩み等がなく、機能が正常であること。
 - ・ ガス圧で作動するもの
機能が正常であること。
- l 防護区画に隣接する部分の保安措置（二酸化炭素を放射する不活性ガス消火設備に限る。）
 - (a) 設定範囲
適正に定められていること。
 - (b) 保安措置
 - ① 消火剤排出措置
適正な位置に設けてあること。
 - ② 放出表示灯
適正な位置に設けられ、変形、損傷、脱落等がなく、かつ、正常に点灯すること。
 - ③ 警報装置
 - ・ 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ・ 音響警報
正常に鳴動し、その音圧が適正であること。
 - ・ 音声警報
正常に鳴動し、その音圧が適正で、かつ起動したときに必ず注意音を発した後、音声を発すること。
 - (c) 注意銘板
適正な位置に設けられ、損傷、脱落、汚損等がないこと。
- m 非常電源（内蔵型のものに限る。）

- (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
- (b) 表示
適正であること。
- (c) 端子電圧
規定値の範囲内であること。
- (d) 切替装置
常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。
- (e) 充電装置
変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
- (f) 結線接続
変形、損傷、緩み、著しい腐食、焼損等がないこと。
- (g) ホース、ホースリール、ノズル及びノズル開閉弁
 - ① 周囲の状況
周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - ② 格納箱
変形、損傷、著しい腐食等がなく、扉の開閉が容易にできること。
 - ③ ホース
変形、損傷、老化、接続部の緩み等がなく、所定の長さのものであること。
- (h) ホースリール
ホースの引出し、格納等が容易にできること。
- (i) ノズル
著しい腐食、詰まり等がなく、危害防止のための措置がされていること。
- (j) ノズル開閉弁
開閉操作が容易にできること。
- n 表示灯及び標識（移動式に限る。）
適正に設けられていること。
- o 耐震措置
アンカーボルト、可とう管継手等に変形、損傷、著しい腐食等がなく、耐震措置が適正に行われていること。
- (イ) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うほか、次の事項について確認すること。
 - a 全域放出方式及び局所放出方式
非常電源に切り替えた状態で起動させ、次の事項について確認すること。
 - (a) 全域放出方式
 - ① 警報装置
確実に鳴動すること。
 - ② 遅延装置
確実に作動すること。
 - ③ 開口部の自動閉鎖装置等
正常に作動し、換気装置が確実に停止すること。
 - ④ 起動装置及び選択弁
確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ⑤ 配管及び配管接続部
通気状態で漏れがないこと。
 - ⑥ 放出表示灯
正常に点灯すること。
 - (b) 局所放出方式
 - ① 警報装置

- ② 確実に鳴動すること。
 - ② 起動装置及び選択弁
 - ① 確実に作動し、試験用ガスが放射されること。
 - ③ 配管及び配管接続部
 - ① 通気状態で漏れないこと。
- b 移動式
- 手動式起動操作部の操作により起動させ、次の事項について確認すること。
- (a) ノズル開閉弁
 - ① 異常がなく、試験用ガスが放射されること。
 - (b) ホース及びホース接続部
 - ① 試験用ガスの漏れないこと。
- シ 簡易自動消火装置
- (ア) 機能点検
- 次の事項について確認すること。
- a 非常電源（内蔵型のものに限る。）
 - (a) 外形
 - ① 変形、損傷、著しい腐食等がないこと。
 - (b) 表示
 - ① 適正であること。
 - (c) 端子電圧
 - ① 規定値の範囲内であること。
 - (d) 切替装置
 - ① 常用電源を停電状態にしたときに自動的に非常電源に切替り、常用電源を復旧したときに自動的に常用電源に切替ること。
 - (e) 充電装置
 - ① 変形、損傷、著しい腐食等がなく、異常な発熱等がないこと。
 - b 本体装置
 - (a) 設置場所
 - ① 適正に設けられていること。
 - (b) 周囲の状況
 - ① 防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - (c) 薬剤容器
 - ① 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定され、表示が適正に設けられていること。
 - (d) 圧力方式
 - ① 適正であること。
 - (e) 加圧用ガス容器
 - ① 周囲の状況
 - ① 防護区画以外の場所に設置されており、周囲の温度、湿度等が著しく高くなく、かつ、直射日光、雨水等がかかるおそれがないこと。
 - ② 外形
 - ① 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されていること。
 - ③ 表示
 - ① 適正に設けられていること。
 - (f) 指示圧力計
 - ① 変形、損傷等がなく、正常に作動すること。
 - (g) 外形
 - ① 変形、損傷、著しい腐食等がなく、容器本体は取付枠に確実に固定されてい

- ること。
- (h) 電源
正常であること。
- (i) 表示
適正に設けられていること。
- (j) 接地
著しい腐食、断線等がないこと。
- (k) 表示灯
正常に点灯していること。
- (l) 警報装置
 - ① 外形
変形、損傷、脱落等がないこと。
 - ② 音響警報
正常に鳴動し、その音圧が適正であること。
 - ③ 音声警報
正常に鳴動し、その音圧が適正で、かつ、起動したときに注意音を発し、その後音声を発すること。
- (m) 作動部
機能が正常であること。
- (n) ヒューズ類
損傷、熔断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。
- c 感知器
簡易自動消火装置の基準に適合し、正常に機能すること。
- d 手動起動装置
 - (a) 周囲の状況
操作箱の周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。
 - (b) 操作箱
変形、損傷、著しい腐食等がなく、確実に固定され、かつ、扉の開閉が容易にできること。
 - (c) 表示
適正であること。
 - (d) 電源表示灯
正常に点灯していること。
 - (e) 音響警報起動用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - (f) 放出用スイッチ及び非常停止用スイッチ
変形、損傷、端子の緩み、脱落等がなく、機能が正常であること。
 - (g) 表示灯
正常に点灯すること。
 - (h) 保護カバー
有機ガラス等による保護措置に変形、損傷、脱落等がないこと。
- e 配線
損傷、著しい腐食等がなく、脱落、曲がり、緩み等がないこと。
- f ノズル
 - (a) 外形
変形、損傷、著しい腐食、つまり等がないこと。
 - (b) 放射障害
周囲に放射障害となるものがないこと。
- g 導管
 - (a) 管及び管継手

損傷、著しい腐食等がなく、他のものの支え、吊り等に利用されていないこと。

- (b) 支持金具及びつり金具
脱落、曲がり、緩み等がないこと。

h 連動設備

- (a) ガス遮断弁
端子の緩み、破開針の変形、損傷等がなく、確実に作動すること。
- (b) 電源遮断
正常に作動すること。
- (c) ファン停止
正常に作動すること。
- (d) ダンパー閉鎖
正常に作動すること。
- (e) 移報表示
発報時に警備室に正しく表示されること。

- (ア) 総合点検
機能点検と同様の項目を行うこと。

(3) 防火対象物点検基準

ア 防火対象物点検表

点検対象となる防火対象物の各階層別に点検を行うこと。点検表には、防火管理者、立会者、点検日時、用途、床面積、点検する部分の床面積、防火対象物概要等必要事項を記載すること。

イ 点検項目

次の事項について調査確認し、報告書に基づき適否等点検結果と状況及び措置内容を記載すること。点検項目が該当しない場合には、「該当なし」と記載すること。

- (ア) 防火管理者の選任（解任）、消防計画作成（変更）の届出状況

(イ) 消防計画

- a 自衛消防の組織
- b 火災予防上の自主検査
- c 消防設備等又は特殊消防用設備等の点検及び整備
- d 避難施設の維持管理及びその案内
- e 防火上の構造の維持管理
- f 収容人員の適正化
- g 防火上必要な教育
- h 消火、通報及び避難訓練
- i 消火活動、通報連絡及び避難誘導
- j 消防機関との連絡
- k 工事中の火気使用又は取扱いの監督
- l 防火管理に関し必要な事項
- m 防火管理業務の一部委託
- n 権原の範囲
- o 地震防災対策強化地域に所在する防火対象物
 - (a) 自衛消防の組織
 - (b) 情報等の伝達
 - (c) 避難誘導
 - (d) 施設及び設備の点検及び整備
 - (e) 応急対策
 - (f) 防災訓練
 - (g) 教育及び広報
- p 防火管理者

- (a) 消火訓練及び避難訓練の実施回数
- (b) 消火訓練及び避難訓練を実施する場合の消防機関への通報
- (ウ) 共同防火管理協議事項
作成、届出の状況
- (エ) 避難上必要な施設及び防火戸の管理
- (オ) 防災物品の表示
- (カ) 圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの届出
- (キ) 消防用設備等
下記の項目について、法第17条の2の5第1項の適用の有無、法第17条の3第1項の適用の有無及び適否等の判定について調査すること。
 - a 消火器・簡易消火用具
 - b 屋内消火栓設備
 - c スプリンクラー設備
 - d 水噴霧消火設備等
 - e 屋外消火栓設備
 - f 動力消防ポンプ設備
 - g 自動火災報知設備
 - h ガス漏れ火災報知設備
 - i 漏電火災警報器
 - j 消防機関へ通報する火災報知設備
 - k 非常警報器具・非常警報設備
 - l 避難器具
 - m 誘導灯・誘導標識
 - n 消防用水
 - o 排煙設備
 - p 連結散水設備
 - q 連結送水管
 - r 非常コンセント設備
 - s 無線通信補助設備
- (ク) 消防用設備等
消防法施行令第29条の4第1項の必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等について、必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。
- (ケ) 消防法施行令第32条の適用について、適用とされる消防用設備等、及び適否等の判定について調査すること。
- (コ) 特殊消防用設備等について、消防法第17条第3項の特殊消防用設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。
- (サ) 消防用設備等又は特殊消防用設備等
以下の項目について、適用される消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要及び適否等の判定について調査すること。
 - a 設置の届出
 - b 消防機関の検査
- (シ) 火を使用する設備・器具等
下記の項目について、適用の有無及び適否等の判定について調査すること。
 - a 炉
 - b 厨房設備
 - c ボイラー
 - d ストープ
 - e 壁付暖炉
 - f 温風暖房機

- g ヒートポンプ冷暖房機
- h 乾燥設備
- i サウナ設備
- j 簡易湯沸設備
- k 給湯湯沸設備
- l 燃料電池発電設備
- m ふろがま
- n 火花を生ずる設備
- o 放電加工機
- p 変電設備
- q 内燃機関を原動力とする発電設備
- r 蓄電池設備
- s ネオン管灯設備
- t 舞台装置等の電気設備
- u 避難設備
- v 水素ガスを充てんする設備
- w 液体燃料を使用する器具
- x 固体燃料を使用する器具
- y 気体燃料を使用する器具
- z 電気を熱源とする器具

(ス) 火を使用する設備・器具等について、東京都火災予防条例条例第22条の2適用の有無、及び適否等の判定について調査すること。

(セ) 火の使用の制限等

下記の項目について、適否等の判定について調査すること。

- a 喫煙等
- b がん具用煙火
- c 化学実験等
- d 溶接作業等

(ソ) 少量危険物等

下記の項目について、適否等の判定について調査すること。

- a 指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱い
- b 指定可燃物の貯蔵及び取扱い
- c 少量危険物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備
- d 指定可燃物貯蔵取扱所の位置、構造及び設備
- e 指定可燃物の保安計画の作成等
- f 東京都火災予防条例条例第34条の4の適用について、適用される少量危険物等及び適否等の判定について調査すること。

(タ) 消防用設備等

下記の項目について、消防法第17条の2の5第1項の適用の有無、また消防法第17条の3第1項の適用の有無及び適否等の判定について調査すること。

ただし、消火器具、大型消火器、非常警報設備、非難器具、誘導灯については、適否等の判定のみとする。

- a 消火器具
- b 大型消火器
- c 屋内消火栓設備
- d スプリンクラー設備
- e 水噴霧消火設備等
- f 動力消防ポンプ設備
- g 自動火災報知設備
- h 非常警報設備

- i 避難器具
- j 誘導灯
- k 排煙設備
- l 連結送水管
- m 非常コンセント設備
- n 無線通信補助設備
- o 東京都火災予防条例条例第47条の適用について、適用される消防用設備等の概要、及び適否等の判定について調査すること。

2.2 放送設備及びI T V設備保守点検

1 保守点検回数

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) 業務用放送設備 (アリーナ放送設備) | 1回/年 |
| (2) 非常用放送設備 | 2回/年 (外観点検、総合点検) |
| (3) I T V設備 | 1回/年 |

2 保守点検対象設備一覧

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 業務用放送設備 (アリーナ放送設備) | |
| ア 第一体育館 | |
| (ア) 音響調整卓 (12ch) | 1式 |
| (イ) 電力増幅器120W, 9面200W, 4面 | 1式 |
| (ウ) 入力ジャック盤 | 1式 |
| (エ) 各所スピーカー | 1式 |
| (オ) ワイヤレスチューナー | 2台 |
| イ 第二体育館 | |
| (ア) 音響調整卓 (8ch×2) | 1式 |
| (イ) 電力増幅器200W×2, 240W×1 | 1式 |
| (ウ) 制御電源パネル | 1式 |
| (エ) 入力ジャック盤 | 1式 |
| (オ) 各所スピーカー | 1式 |
| (カ) ワイヤレスチューナー | 4台 |
| (キ) 移動式音響調整卓 | 1台 |
| (2) 非常用放送設備 | |
| ア 警備室非常放送操作盤 | 1式 |
| イ 電力増幅器 (360W×3) | 1式 |
| ウ 旧食堂非常カトリレー (旧一般食堂) | 1台 |
| エ 食堂非常カトリレー (旧職員食堂) | 1台 |
| オ 室内水泳場非常カトリレー | 1台 |
| カ 第一体育館非常カトリレー | 1台 |
| キ 第二体育館非常カトリレー | 1台 |
| ク 各所スピーカー | 1式 |
| ケ 非常用バッテリー | 1式 |
| (3) I T V (場内外監視カメラ) 設備 | |
| 平成22年3月新設 | |
| 株式会社東芝製、松下電器株式会社製 | |
| ア 32型液晶カラーモニター | 5台 |
| イ 19型液晶カラーモニター | 9台 |
| ウ 100インチカラーモニター | 1台 |
| エ 50インチカラーモニター | 4台 |
| オ ハードディスクレコーダー | 1台 |
| カ システムコントローラー | 3台 |
| キ 4画面ユニット | 5台 |
| ク シーケンシャルスイッチャー | 6台 |
| ケ マトリックススイッチャー | 1式 |
| コ 端子盤ユニット | 3式 |
| サ 電源制御ユニット | 3台 |
| シ 選局ユニット | 8台 |
| ス 機器収納架 | 4式 |
| セ 映像分配器 | 14台 |
| ソ 回転台 | 6台 |

タ	ハウジング	6台
チ	屋外用レシーバー	3台
ツ	ワイパー制御電源部	1式
テ	ワイパー本体	1式
ト	カラーカメラ	14台
ナ	リレーBOX	8台

3 点検項目

(1) 放送設備の点検基準

ア 共通点検項目

(ア) 外観点検

a 外形

変形、損傷、腐食等がないか確認後、清掃すること。

b 電源電圧

電源電圧が適正であるか確認、調整を行い、不良箇所については測定、処理をすること。

c スイッチ類

ON/OFF位置正常であるか確認、調整を行い全接点箇所のクリーニング処置をすること。

d 表示

スイッチ等の名称の表示が適正であるか確認、調整すること。

e 接続箇所

各コネクタ等の接続が正常であるか確認、調整を行い、全コネクタピン、プラグの清掃をすること。

f 周囲の状況

点検機器の周囲に点検上及び使用上の障害がないか確認すること。

(イ) 機能点検

a スイッチ類

ON/OFF機能が正常であるか確認、調整をすること。

b ボリューム類

ボリューム操作による音の増減が正常であるか確認、調整を行い、接点箇所全数の接点クリーニング処置をすること。

c 表示灯

スイッチ、ボリューム等の操作によりLED、ランプが正常に動作することの確認、調整を行い、不良箇所については点検補修をすること。

d 音響機器

各種音源の動作点検が正常に行われることを確認すること。

また、各機器の分解清掃（ピックアップレンズ、走行系等）をすること。全機器の調整を実施すること。

e 音圧

スピーカー音が正常に出力されていることの確認を行い、音圧測定器により点検実施すること。不良箇所については測定、処置を行うこと。

f 選択機能

スピーカー出力系統ごとに選択動作が正常に行われることの確認、及び調整を行い不良箇所については測定、処置を行うこと。

g 切換動作

競技用又は業務用放送から非常用放送への切換が正常に行われることの確認、及び調整を行い、不良箇所については測定、処置を行うこと。

イ 設備別点検項目

- (ア) アリーナ放送設備（第一体育館・第二体育館）
 - a 音声調整卓、電力増幅器は歪率、S/N比及び周波数特性を測定すること。
 - b スピーカー回線についてはインピーダンス、絶縁抵抗を測定すること。
 - c 不良箇所については測定、処置をすること。
- (イ) 非常用放送設備
 - a スピーカー回線のインピーダンス、絶縁抵抗を測定すること。
 - b 電力増幅器用バッテリーの電圧を測定すること。
 - c 不良箇所については測定、処置をすること。
- (ウ) 総合点検
 - a 総合動作確認
 - (a) 各設備を通常使用状態にさせ、音声及び各機器の連動動作が正常に行われていることを確認、調整すること。
 - (b) 非常放送設備起動時の各機器が正常に動作することを確認、調整すること。

ウ I T V設備の点検基準

- (ア) 固定式カメラ（カラーカメラ、コンビネーションカメラ、一体型カラーカメラ）
 - a 外観に異常がないか確認する。
 - b フォーカスが適正であることを確認する。
 - c カラー用の場合には、バランス動作を確認し、現場の照明に合わせた適切な色温度が設定されていることを確認する。
 - d 監視対象の映像が白つぶれとなっていないことを確認する。
 - e 映像画面上に、監視障害となるような焼付け、白点、黒点等がないことを確認する。
 - f ケーブルの破損、及びコネクタ部の緩みやがたつきがないか確認する。
 - g 支持金物、支柱、取付部のぐらつき、傾きやさび、腐食の有無並びに、ネジの緩みや紛失がないか確認する。
 - h スイッチ及び表示灯を確認する。
 - i 電源電圧を確認する。
 - J 総合動作を確認する。
- (イ) レンズ【固定焦点、手動ズーム、電動ズーム他】
 - a 外観に異常がないか確認する。
 - b 各レンズ固定のアイリス、フォーカス、ズーム機構等の機能が正常に動作することを確認する。
 - c レンズ締付け及びロックが確実になされていることを確認する。
 - d レンズ面に汚れがないことを確認する。
- (ウ) ハウジング【屋内型、屋外型】
 - a 外観に異常がないか確認する。
 - b 前面ガラスの破損、及びケースの取付ボルトの緩みがないことを確認する。
 - c ケースの腐食、水漏れ、及び配線の異常がないことを確認する。
 - d ワイパー、デフロスタ及びヒータの機能動作を確認する。
 - e 空冷ファンの作動状況（異常音、異常発熱、通風孔の閉塞）の良否を確認する。
 - f 支持金物、支柱、取付部のぐらつき、傾きやさび、腐食の有無を確認する。
- (エ) カラービデオモニター
 - a 外観に異常がないか確認する。
 - b 通常の映像であることを確認する。
 - c 解像度の低下、ノイズ及び画面歪みのないことを確認する。
 - d 明るさ、コントラスト、色の濃さ、及び色合いが正確に調整できることを確認する。
 - e カラーモニターでは、ホワイトバランス及びブラックバランスを確認する。
 - f ケーブルの破損、及びコネクタ部の緩み、ネジの締付け状況等を点検し、終端スイッチを確認する。

- g 電源のON-OFF、画面の明るさ、コントラスト等を点検する。
- (オ) シーケンシャルスイッチャー
 - a 外観に異常がないか確認する。
 - b シーケンシャル切り替え動作を確認する。
 - c スイッチ及びボリューム動作を確認する。
 - d ケーブルの破損、及びコネクタ部の緩みやがたつきがないか確認する。
 - e 外観に異常がないか確認する。
 - f 総合動作を確認する。
- (カ) 選局ユニット
 - a スイッチ及び表示灯を確認する。
 - b 外観に異常がないか確認する。
 - c 総合動作を確認する。
- (キ) 電源制御ユニット
 - a 電源電圧を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 外観に異常がないか確認する。
 - d 総合動作を確認する。
- (ク) 映像分配器
 - a スイッチ及び表示灯を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 総合動作を確認する。
- (ケ) 機器収納架
 - a 外観に異常がないか確認する。
- (コ) 屋外用レシーバー
 - a 電源電圧を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 取付状態を確認する。
 - d 外観に異常がないか確認する。
 - e 総合動作を確認する。
- (サ) カメラ旋回装置（回転台）
 - a 回転台動作を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 取付状態を確認する。
 - d 外観に異常がないか確認する。
 - e 総合動作を確認する。
- (シ) リレーBOX
 - a 電源電圧を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 取付状態を確認する。
 - d 外観に異常がないか確認する。
 - e 総合動作を確認する。
- (ス) ハードディスクレコーダー
 - a 再生、録画動作を確認する。
 - b 内部設定を確認する。
 - c 使用時間を確認する。
 - d 放熱ファン動作を確認する。
 - e コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - f 外観に異常がないか確認する。
 - g 総合動作を確認する。
- (セ) マトリックススイッチャー

- a 外観に異常がないか確認する。
 - b スイッチ及び表示灯を確認する。
 - c コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - d 総合動作を確認する。
- (ソ) システムコントローラ
- a 各制御動作を確認する。
 - b ディスプレイ表示状態を確認する。
 - c コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - d 外観に異常がないか確認する。
 - e 総合動作を確認する。
- (タ) 端子盤ユニット
- a 電源電圧を確認する。
 - b コネクタ及びケーブル接続状態を確認する。
 - c 外観に異常がないか確認する。
 - d 総合動作を確認する。
- (チ) 4画面ユニット
- a スイッチ及び表示灯を確認する。
 - b 外観に異常がないか確認する。
 - c 総合動作を確認する。

2.3 構内電話交換機設備保守

1 保守点検回数

- | | |
|-------------------|------------|
| (1) 電子交換機（蓄電池含む。） | 1回/月（年12回） |
| (2) 曲線表示盤 | 1回/月（年12回） |
| (3) 配電盤 | 1回/年 |
| (4) 構内線路 | 2回/年 |
| (5) 内線電話 | 2回/年 |
| (6) 機器清掃 | 1回/年 |

2 保守対象設備

- (1) 電子交換機 CX2540（日立製）
- (2) 局線(アナログ) 24回線実装
- (3) 内線(多機能) 64回線実装
- (4) 内線(一般型) 96回線実装
- (5) 電話機109台（多機能電話機42台 一般電話機67台）
- (6) 局線表示盤3面
- (7) その他 配線盤1式、構内路線1式

3 点検項目

- (1) 電子交換機の点検（整流器・蓄電池含む。）
 - ア 発着信通話試験を行うこと。
 - イ 各種信号の確認を行うこと。
 - ウ 稼動状態の確認を行うこと。
 - エ 内線接続試験を行うこと。
 - オ 私設線データの確認を行うこと。
 - カ 各部清掃を行うこと。
 - キ 充電電圧電流の確認を行うこと。
 - ク 蓄電池の点検を行うこと。
- (2) 配線盤の点検
 - ア 端子表ジャンパー線処理
 - イ 各部清掃を行うこと。
 - ウ 絶縁測定
- (3) 構内線路の点検
 - ア 配線盤端子の点検を行うこと。
 - イ 構内電線路の点検を行うこと。
- (4) 局線表示板
 - ア 各種機能の動作確認
 - イ 各種ランプの点検
- (5) 内線電話の点検
通話状況及び雑音等の試験を行うこと。
- (6) 機器の清掃
交換機設備を含む関連機器の清掃を行うこと。

2.4 第一体育館内部エレベーター設備保守点検

1 保守点検回数 点検回数 6回/年（うち定期検査 1回/年を含む。）

2 保守点検設備

- (1) 人荷用エレベーター (P. O. G)
- (2) 日本エレベーター製造株式会社製（平成17年度更新）
- (3) 機械室付ロープ式
- (4) 可変電可変周波数制御方式
- (5) VFⅢ（250kg）－45m/min－2F
- (6) 地震時（S波）管制装置、監視盤付
- (7) 定員3名、積載量250kg、電動機容量2.7kw

3 点検項目

下記の項目について、注油及び調整を行うこと。

- (1) 巻上機、電動機、電動発電機、調速機、フロアコントローラー、制御盤
- (2) 各種ワイヤーロープ、リミットスイッチ、ファイナルリミットスイッチ、レール、ウエー
ト
- (3) 各階扉装置
- (4) 開閉装置
- (5) 消耗部品（発注者負担）
- (6) 主電動機、電動発電機用カーボン削子
- (7) 主接触器用固定側・可動側接点
- (8) 中型リード線付接点及びカーボン接点
- (9) 小型リード線付接点及び固定側接点
- (10) 扉開閉用電動機カーボン削子
- (11) 主リード線
- (12) プラグインリレー
- (13) 信号用電球
- (14) リミットスイッチ接点、ファイナルリミットスイッチ接点、ドアスイッチ点検
- (15) 油脂類（ギヤー油は補充用）
- (15) ウェス
- (16) 各種ヒューズ
- (17) かが内照明用蛍光灯

25 第一体育館外部エレベーター設備保守点検

- 1 保守点検回数 点検回数 1回/3ヶ月 (うち定期検査 1回/年を含む)
機械での遠隔監視 1回/1ヶ月

2 保守点検設備

- (1) 乗用兼車いす用エレベーター (フルメンテナンス)
- (2) 株式会社日立ビルシステム製 (平成22年3月新設)
- (3) 機械室レス 交流中速エレベーター (1号機・2号機)
- (4) 型式 : UAP-11-CO45
- (5) 1号機: 積載量750kg-45m/min-2F 定員11名
2号機: 積載量750kg-45m/min-2F 定員11名
- (6) 地震時管制運転装置、停電時自動着床装置、火災管制運転装置付き (1号機・2号機)
2号機のみクーラーシステム付き
- (7) 電動機容量3.5kW (1号機・2号機)

3 一般事項

- (1) 請負者は、保守点検を実施するに当たり、故障等緊急時においても最短の停止時間でエレベーターを復旧する緊急措置を行えるよう、必要な交換部品 (製造メーカー純正部品) 等を保管すること。
- (2) 請負者は、保守点検業務を実施するに当たり、使用しているエレベーターに関する技術資料や製品に関する情報提供を速やかに行うこと。
- (3) 請負者は、安全に作業を行うために、必要な専門知識を有し、安全教育を受けた者を業務に当たらせること。
- (4) 本業務を実施するに当たり、施設設備に汚損・損傷の恐れのある箇所は、あらかじめ適切な養生を施すこと。また、施設設備に汚損・損傷を与えた場合は、請負者の責任により原状に復すること。
- (5) 本業務終了後は、周辺の片付け及び清掃を行うこと。
- (6) フルメンテナンス契約の体制について
 - ア 24時間エレベーターの運行状況を確認し、監視し、性能診断を行える体制であること。
 - イ 当場の設備に当たる技術員については、緊急依頼から24時間以内に現場に駆け付けられるよう、緊急出動に備えた体制を整えておくこと。
 - ウ エレベーターの運行状況に際し異常や状態変化を受信した場合には、速やかに技術員を現場に派遣し、確認を行うこと。
 - エ エレベーターに利用者が閉じ込められた場合には、エレベーターかご内と請負者サービスセンターとの間で直接通話し、迅速に対応すること。

4 点検項目

- (1) リモートメンテナンス
 - ア 非常時の直接通話
 - イ 遠隔監視
 - 常時運行状況を監視し、以下の以上が発生した場合には速やかに専門技術者を現地に派遣すること。
 - (ア) 閉じ込め故障
 - (イ) 起動不能故障
 - (ウ) 安全装置作動
 - (エ) 電源系統異常故障
 - (オ) ドア開閉異常
 - ウ 異常の兆候診断

リモートメンテナンスでの常時運行状況や各機器を診断し、以下の内容について診断結果を分析して対策を行うこと。

- (ア) 走行性能診断
 - ①起動状態、②加速状態、③定常走行速度、④速度の変動、⑤減速状況
 - (イ) 利用状態診断
 - ①行き先ボタンや乗場ボタンの作動異常、②走行中非常停止、③マイコントラブル、④インターホンバッテリー電圧低下
 - (ウ) 乗り心地診断
 - ①荷重センサー異常、②起動時の反転
 - (エ) 経年変化診断
 - ①コンタクタ作動状態、②ドア開閉時間
 - (オ) ブレーキ精密診断
 - ①制動力診断、②固渋状態診断
 - (カ) 乗り心地自動調整
- エ その他機能
- (ア) ヘリオスレスキュー（遠隔閉じ込め救出機能）

リモートメンテナンスシステムにより検知する「エレベーター閉じ込め故障」信号を受信したときに、閉じ込められている乗客を救出するため、かご内の状況を直接通話で確認しながら、遠隔で最寄階までエレベーターを操作すること。
 - (イ) ヘリオスドライブ（地震時自動診断・復旧システム機能）

地震時管制運転機能により、地震感知器が一定以上の揺れを感知して最寄階停止後運転休止となり、一定時間内に前記揺れより大きい上限値以上の揺れがなかった場合、リモートメンテナンスシステムにより自動診断運転を実施し、エレベーターの運転に支障がないと判断したときに仮復旧すること。なお、本復旧については、技術員を派遣して点検を実施すること。

(2) 定期点検及びリモートメンテナンス作業の点検項目

区分	作業の対象	主な作業内容	リモートメンテナンス
かご	運転状態	運転性能点検	○
		着床状態・レベル点検	○
		定常走行速度・速度変動点検	○
		起動・加速・減速状態点検	○
	外部への連絡装置	呼出し・通話確認	
		バッテリー状態確認	○
		電話回線チェック	○
	停電灯装置	点灯・照度確認	
	内装・照明・ファン	各機器点検	
		天井扇回転状態点検	
	操作盤・表示ランプ	押ボタンスイッチ状態点検	○
		かご内停止・各操作スイッチ作動状態確認	○
		かご位置表示装置点検	
	戸・敷居	かごの戸・天枠外観点検	
		戸開閉状態・スイッチ相互位置点検	○
戸レール・ハンガー・振れ止めローラ点検			

		駆動ロープ点検、グリス塗布	
		かごの戸シュー・戸当りゴム点検	
		かごの戸相互間・戸と前柱間隙間確認	
	戸閉め安全装置	戸閉め安全装置作動状態点検	○
		戸閉め安全装置コード点検	
		光電装置作動状態確認	○
		光電装置コード点検	
過負荷ドア反転装置作動状態確認		○	
	過負荷ドア反転装置コード点検		
かご上	かご上環境状況	汚損状態点検、清掃	
	戸の開閉装置	戸の開閉装置作動状態・駆動機構点検	○
		モータのブラシ・コンミ点検	
		ロータリーエンコーダ点検	
	ガイドシュー	かご上ガイドシュー点検	○
	給油器（オイラー）	給油器点検、注油	
	かご上機器	かご上停止・操作スイッチ作動状態確認	
かご上制御機器点検			
天井扇点検、清掃			
乗場	戸の開閉状態	音・振動点検	
		開閉状態・速度点検	○
	戸・敷居	乗場の戸・三方枠外観点検	
		戸クローザ機能・自閉力点検・注油	
		戸レール・ハンガー・振れ止めローラ点検	
		駆動ロープ点検、グリス塗布	
		戸のシュー・戸当たりゴム点検	
	乗場の戸相互間・戸と三方枠隙間確認		
	ドアインターロックスイッチ	ロック機構点検	
		スイッチ作動状態点検	○
乗場ボタン・表示ランプ	インジケータ・押ボタン点検（ランプ含む。）	○	
	ホールランタン点検		
かご下	かご下機器	かご下ガイドシュー点検	
		かご下プーリ回転状態・溝点検	
	非常止装置	非常止装置点検、注油	
昇降路・ピット	環境状況	非常・常備工具・部品の確認	
		昇降路環境状況点検	
		昇降路内清掃	
		ピット内清掃	
	制御盤	ピット内汚損状況・各機器点検	
		盤内機器の外観点検	
		マイコン内トラブル履歴確認・点検 （メンテナンスコンピューター等によるデータ収集診断）	○
		主接触器作動状態・点検	○
	各リレー作動状態点検	○	

		冷却ファン点検		
		各ターミナル・端子確認		
		リモートメンテナンスシステム盤内外観点検		
	電動機		電動機運転・発熱状態点検	
			電動機口出し線点検	
			電動機軸受グリス給油	
			鋼車回転状態・溝点検	
			ロータリーエンコーダ回転状態点検	
	ブレーキ		作動状態点検	○
			制動点検	○
			ブレーキスイッチ点検	○
			オーバーホール	
			ライニング摩耗状態点検	
			各ピン・軸受部傷、摩耗状態点検	
			配線・端子・ターミナル点検	
	昇降路・ピット	頂部プーリ	頂部プーリ回転状態・溝点検	
		おもり吊り車	おもり吊り車回転状態・溝点検	
主・調速機ロープ		主ロープ取付部・テンション点検		
		各ロープ摩耗・錆・素線切れ状態点検		
ガイドレール		接合部・段差・給油状態点検		
つり合おもり		つり合おもりガイドシュー点検		
		おもり押え金具取付け・固定状態点検		
リミットスイッチ		取付状態点検		
		作動状態点検	○	
移動ケーブル		芯線状態点検	○	
調速機			回転状態点検	
			各ピン部点検、注油	
			スイッチ点検・減衰効果確認	
			配線端子・ターミナル確認	
テンションプーリ		調速機テンションプーリ点検		
緩衝器		固定状況点検		
		油量点検		

(3) 昇降路内の清掃

区 分	作業の対象範囲	作業の内容
かご	戸、敷居、戸閉め安全装置	ほうき、ウエス、専用清掃工具を使用する。
かご上	戸の開閉装置、ガイドシュー、かご上機器	
乗場	戸、敷居、ドアインターロックスイッチ	
かご下	かご下機器、非常止機器	
昇降路・ピット	制御盤、電動機、ブレーキ、調速機、主・調速機ロープ、ガイドレール、ブラケット、つり合おもり、各プーリ・スイッチ、緩衝器	

三方枠、操作盤、戸・側板、敷居溝		ほうき又はウエス、ハンディモップ等を使用しての清掃(定期点検の都度、簡易清掃)
------------------	--	---

その他、補充用油脂一切(作動油、マシン油、グリス類)、ヒューズ類、ランプ類(発光ダイオードを除く)、ウエス等作業に必要な消耗品を補充すること。

(4) 付加仕様点検

付加装置・付加仕様点検	① 車椅子兼用	障害者用押ボタン、ドア開時間
	② 火災時管制運転装置	機能確認
	③ 地震時管制運転装置	機能確認、バッテリー電圧、乾燥剤確認
	④ 停電時自動着床装置	バッテリーの補水・電圧・外観、充電器、機械室換気等確認、NLによる運転確認
	⑤ 自動復旧運転機能	機能確認

5 エレベーターの構成機器や部品の修理又は取替項目

下記の各々の修理又は取替項目に関しては、稼働頻度に応じて集積された稼働データを基に設定した周期で、適切な補修計画を立てて実施するとともに、定期点検の結果も考慮して機器の性能維持のため部品交換等必要と判断した場合には、技術員を派遣して修理、または部品交換を行うこと。

区分	修理の対象(装置名)	作業の内容
かご	外部連絡装置	インターホン電池取替
		インターホン(子機)取替
	停電灯装置	停電灯電池取替
		停電灯用ランプ取替
	操作盤	かご位置表示器プリント板取替
		カラー液晶インジケータ
		運転盤押ボタン(階床・開・閉ボタンなど)取替 操作スイッチ取替
	かごの戸	かご側ドアハンガー取替
		ゲートスイッチ取替
		ベルトプーリ(駆動側・従動側)取替
		ローププーリ(駆動側・従動側)取替
		ストッパーボルト取替 戸開力保持装置取替

かご		戸開力保持装置用ローラ取替
		ドアマシンカムスイッチ（クローズ・オープン用）取替
		戸ガイドシュー取替
		戸当りゴム取替
	戸閉め安全装置	戸閉め安全装置マイクロスイッチ取替
		戸閉め安全装置コード取替
		ガイドチェーン取替
	照明装置・ファン	照明用ソケット取替
		照明用スターター取替
		かご照明機器（安定器）取替
かご内ファン取替		
かご上	戸の開閉装置	ドアマシンVベルト取替
		ドアマシン駆動ベルト取替
	ガイドシュー	ガイドシュー（かご側）取替
	かご上機器	器具BOX内プリント板取替
		器具BOX内主開閉器取替
		ソリットステートリレー取替
		着床装置取替
		手摺りスイッチ取替
		給油装置・パッド取替
	かご下	かご下機器
かご下防振ゴム取替		
かごプーリシールドベアリング取替		
乗場	乗場の戸	乗場の戸ロック装置用ローラ取替
		乗場の戸スイッチ取替
		乗場の戸ハンガー取替
		乗場の戸ローププーリ取替
		乗場の戸ロープ取替
		乗場の戸クローザーバネ取替
		戸ガイドシュー取替
		戸当りゴム取替
	乗場ボタン・表示器	階床表示器プリント板取替
		乗場押ボタン取替
昇降路・ピット	制御盤	トランジスタ冷却ファン取替
		主開閉器取替
		電磁接触器取替
		接触器取替
		定電圧装置一式取替
		制御用プリント板取替
		抵抗取替
		回生抵抗取替
		コンデンサ取替
		整流器取替
コンバータ取替		

		インバータスイッチング素子取替
		ブレーキ開放バッテリー取替
		バリスタ取替
		ヒューズ取替
		ノイズフィルタ取替
		ホールCT取替
昇降路・ ピット	電動機	モータ端子BOXゴム取替
		鋼車修正
		軸受けベアリング取替
		モータ用回転数検出機・パッキン取替
		防振ゴム（モータ側）取替
	ブレーキ	電磁ブレーキコイル取替
		電磁ブレーキライニング取替
		ゴムカバー・シート取替
	頂部プーリ	頂部プーリシールドベアリング取替
	かご・おもり吊り車	つり合いおもりシールドベアリング取替
		吊り車シールドベアリング取替
	主・調速機ロープ	主ロープ取替
		調速機ロープ取替
		主ロープ切り詰め
		調速機ロープ切り詰め
	移動ケーブル	移動ケーブル取替
	昇降路内スイッチ	終端階強制減速停止装置取替
		行き過ぎ防止用装置取替
		かご停止用装置取替
	調速機	調速機スイッチ
ガイドプーリベアリング取替		
ウェートプーリベアリング取替		
ピット各機器	ピットフロートスイッチ取替	
	ピットスイッチ取替	
つり合いおもり	ガイドシュー（つり合いおもり側）取替	
その他	インターホン	インターホン（親機）取替

26 水泳場浄化装置保守点検

1 保守点検回数

- (1) プール濾過装置 1回/年
- (2) オゾン浄化システム 1回/年

2 保守対象設備

- (1) プール濾過装置 KPF-TA-1700型
栗田工業株式会社製
平成6年度設置
- (2) オゾン浄化システム SP-50型
栗田工業株式会社製
平成6年設置

3 点検項目

- (1) プール濾過装置 KPF-TA-1700型
 - ア ポンプ類点検
 - イ エア自動弁点検及び調整
 - (ア) バタフライ弁点検調整
 - (イ) 計装用エア配管部点検調整
 - (ウ) 計装用システム部点検調整
 - (エ) 計装用空気源部点検調整
 - a コンプレッサー
 - b オートドレントラップ
 - c エアドライヤー
 - ウ 制御盤点検
 - シーケンス動作点検調整
 - エ 自動濃度測定器点検調整 (塩素・PH・ORP)
 - (ア) 各数値較正作業
 - (イ) センサー等点検調整及び清掃
 - オ 自動注入装置点検、校正、調整
 - カ 逆洗状況確認
 - キ 絶縁測定、クランプ測定
- (2) プールオゾン浄化システム SP-50型
 - ア オゾン発生機 (SG-01B)
 - (ア) 一般点検事項
 - a 内部清掃の実施
 - b ガス流量計の清掃
 - c 継手部点検
 - d 内部配線点検
 - e シーケンス確認
 - f オゾン濃度測定確認
 - (イ) 特別点検事項
 - a 冷却ファン (コネクターケーブル) 交換の実施
 - イ PSA酸素発生 (SE-00B)
 - (ア) 一般点検事項
 - a ミストフィルター交換
 - b ドレン排出用サイレンサー交換
 - c 排気用サイレンサー交換
 - d 継手部点検
 - e シーケンス確認

- f 電磁弁（一次側）交換
- ウ 空気圧縮機（0.75OU-8.5T）
 - （ア） 一般点検事項
 - a Vベルト交換
 - b 吸入フィルター交換・納入
 - c クランク室フィルター交換・納入
 - d 継手部点検
- エ オゾン処理装置
 - （ア） 一般点検事項
 - a 排オゾン分解材交換
 - b 水流量計清掃

27 レストラン及び売店厨房機器保守点検

1 保守点検回数

各現場年1回実施する。

2 保守点検対象設備

(1) 設置場所

国立代々木競技場レストラン

(2) 設置時期

2007年12月

(3) 設備経過年数

1年

(4) 製造会社名

ホシザキ東京株式会社

(5) 保守対象設備

ア キューブアイスメーカー

(ア) 数量 1台

(イ) 型式 IM-220M

(ウ) 寸法 W700×D670×H1610

(エ) 場所 レストラン

イ チップアイスメーカー

(ア) 数量 7台

(イ) 型式 CM-100F 2台

CM-100F-50 5台

(ウ) 寸法 CM-100F W600×D600×H850

CM-100F-50 W900×D600×H850

(エ) 場所 CM-100F-50

第二体育館売店1台、北アリーナ売店1台、南カフェテリア売店2台、レストラン1台

CM-100F

北ロビー売店2台

ウ テーブル型冷蔵庫

(ア) 数量 1台

(イ) 型式 RT-180SDE

(ウ) 寸法 W1800×D750×H850

(エ) 場所 北アリーナ売店1台

エ テーブル型冷蔵庫

(ア) 数量 2台

(イ) 型式 RT-180SNE

(ウ) 寸法 W1800×D600×H850

(エ) 場所 北ロビー売店2台

オ テーブル型冷蔵庫

(ア) 数量 3台

(イ) 型式 RT-150SDE

(ウ) 寸法 W1500×D750×H850

(エ) 場所 北アリーナ売店2台、レストラン1台

カ テーブル型冷蔵庫

(ア) 数量 5台

(イ) 型式 RT-150PNE

(ウ) 寸法 W1500×D600×H850

(エ) 場所 第二体育館売店1台、南カフェテリア売店2台、北ロビー売店2台

キ テーブル型冷蔵庫

- (ア) 数量 2台
- (イ) 型式 RT-120SDE
- (ウ) 寸法 W1200×D750×H850
- (エ) 場所 レストラン2台

ク テーブル型冷蔵庫

- (ア) 数量 2台
- (イ) 型式 RT-120SNE
- (ウ) 寸法 W1200×D600×H850
- (エ) 場所 南カフェテリア売店1台、レストラン1台

ケ テーブル型冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 RT-120PNE
- (ウ) 寸法 W1200×D600×H850
- (エ) 場所 北アリーナ売店1台

コ テーブル型冷凍庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 FT-120SDE
- (ウ) 寸法 W1200×D750×H850
- (エ) 場所 レストラン

サ 縦型冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HR-150CXT
- (ウ) 寸法 W1500×D650×H1890
- (エ) 場所 レストラン

シ 縦型冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HR-150CX
- (ウ) 寸法 W1500×D650×H1890
- (エ) 場所 北アリーナ売店

ス 縦型冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HR-120CXT
- (ウ) 寸法 W1200×D650×H1890
- (エ) 場所 レストラン

セ 縦型冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HR-120X3
- (ウ) 寸法 W1200×D800×H1890
- (エ) 場所 北ロビー売店

ソ 縦型冷凍庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HF-120XT3
- (ウ) 寸法 W1200×D650×H1890
- (エ) 場所 レストラン1台

タ 縦型冷凍庫

- (ア) 数量 2台
- (イ) 型式 HF-120X3
- (ウ) 寸法 W1200×D650×H1890
- (エ) 場所 北ロビー売店1台、北アリーナ売店1台

チ 縦型冷凍庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HF-150XT3
- (ウ) 寸法 W1500×D650×H1890
- (エ) 場所 レストラン1台

ツ 縦型冷凍冷蔵庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HRF-63CXT
- (ウ) 寸法 W625×D650×H1890
- (エ) 場所 第二体育館売店1台

テ 縦型冷凍冷蔵庫

- (ア) 数量 2台
- (イ) 型式 HF-90CXT
- (ウ) 寸法 W900×D650×H1890
- (エ) 場所 南カフェテリア売店2台

ト 冷蔵ショーケース

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 RSC-120C
- (ウ) 寸法 W1200×D650×H1880
- (エ) 場所 北アリーナ売店1台

ナ 冷蔵ショーケース

- (ア) 数量 2台
- (イ) 型式 RSC-90C
- (ウ) 寸法 W900×D650×H1880
- (エ) 場所 南カフェテリア売店2台

ニ 食器洗浄機

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 JWE-400TUA3
- (ウ) 寸法 W600×D600×H800
- (エ) 場所 レストラン1台

ヌ 消毒保管庫

- (ア) 数量 1台
- (イ) 型式 HSB-10SA3-1
- (ウ) 寸法 W900×D550×H1900
- (エ) 場所 レストラン1台

ネ 浄水器カートリッジ

- (ア) 数量 8台
- (イ) 型式 AS-10S (キューブアイスメーカー用)
- (ウ) 寸法 W150×D123×H265
- (エ) 場所 第二体育館売店1台、北アリーナ売店1台、南カフェテリア売店2台、
レストラン2台、北ロビー売店2台

ノ 浄水器カートリッジ

- (ア) 数量 6台
- (イ) 型式 LH-15 (コーヒーマシン用)
- (ウ) 寸法 W150×D123×H335
- (エ) 場所 第二体育館売店1台、南カフェテリア売店2台、レストラン1台、北ロビー売店2台

3 保守点検共通事項

- (1) 当场において、年1回実施する停電作業を行う際には、監督職員から要請があった場合には、技術員を派遣し立会いを行うこと。

4 点検項目

- (1) 点検機器保守点検共通項目
- ア 運転電圧の確認
 - イ 運転電流の確認
 - ウ 電源コードの確認
 - エ アースの確認
 - オ 絶縁抵抗測定の確認
 - カ 周囲温度の状況
 - キ 凝縮器詰まり状況の確認
 - ク エアフィルターの確認
 - ケ 異常音の確認
 - コ 機内の水漏れ、排水詰まり、ストレーナの確認
 - サ 自動給水弁の確認
 - シ クリーンUP
- (2) 製氷機
- ア 製氷状態の確認
 - イ 除氷検知確認
 - ウ 貯氷検知確認
 - エ ウォーターバルブの確認
 - オ ポンプモーターの確認
 - カ 水皿駆動部の確認
 - キ 切換スイッチの確認
 - ク ファンモーターの確認
 - ケ ギャードモーターの確認
 - コ フロートスイッチの確認
 - サ 給水ホースの確認
 - シ 電装箱や排水皿の汚れ確認
 - ス 付属品や排水ホースの状況
- (3) 冷凍冷蔵庫
- ア 設定温度の確認
 - イ 庫内温度の確認
 - ウ 庫内ファンの確認
 - エ 冷気循環状況の確認
 - オ 霜付状態の確認
 - カ デフロスト動作の確認
 - キ 凝縮ファンの確認
 - ク ファン固定ゴムの確認
 - ケ 蛍光灯ソケットの確認
 - コ ブライン量の確認
 - サ 電装箱や操作パネルの汚れ確認
- (4) 食器洗浄機
- ア 洗浄ポンプの確認
 - イ すすぎポンプの確認
 - ウ ノズル類の確認
 - エ タンク内の汚れの確認
 - オ フィルター汚れの確認

- カ 電極の確認
 - キ ウォーターバルブの確認
 - ク ヒーターの確認
 - ケ 操作パネルの確認
 - コ 洗剤供給装置の確認
 - サ 付属品や排水ホースの状況
 - シ 給湯温度の確認
 - ス WBガス圧の確認
 - セ 換気状況の確認
- (5) 浄水器カートリッジの交換
- ア 各現場に設置されている製氷機、チップアイスメーカー、コーヒーマシンの浄水器を全て年1回交換すること。

28 第一体育館大型映像表示設備保守点検

1 保守点検回数

年間1回とし、大型映像装置・映像システムを含む総合点検とする。

2 保守点検対象設備

- (1) 設置場所
国立代々木競技場第一体育館
- (2) 設置時期
2010年3月
- (3) 設備経過年数
1年
- (4) 製造会社名
株式会社東芝
- (5) 大型映像表示装置寸法
縦10.3m×横12.476m 表示面積128.50m²
- (6) 表示面寸法
縦5.7m×横10.5m 表示面積59.85m²
- (7) 表示素子
フルカラーLED素子（ピュアグリーン使用）
- (8) 素子間隔
絵素ピッチ15mm、ドットピッチ7.5mm
- (9) 表示ドット数
縦768ドット×横1,408ドット
- (10) 素子密度
17,785ドット/m²
- (11) 画面アスペクト比
約16:9
- (12) 輝度設定
最大輝度を3,000cd/m²とし、8段階設定
- (13) 素子寿命
50,000時間以上
- (14) 表示階調
4,096階調
- (15) 水平走査線
768本
- (16) 映像コマ数
60コマ/秒
- (17) 視認角度
水平方向 ±60°
垂直方法 +15°、-30°
- (18) 視認距離
最少（混色距離）15m
- (19) 表示制御方式
クリアビジョン方式準拠
- (20) 入力電源
3φ3W6.6kV入力とし、68kVA
(表示面輝度5,000cd/m²時)

3 定期点検の主な概要

- (1) 大型映像装置側機器（詳細は、別紙3-9システム系統図参照）
 - ア 表示ユニット、LED表示部 1式
 - イ 分岐盤、照明分電盤 1式
 - ウ 受信制御盤（装置） 1式
 - エ インターホン設備 1式
 - オ 光端子盤、信号端子盤、電源分岐盤 1式
 - カ 表示板内照明設備 1式
 - キ インターホン設備 1式
- (2) 映像入力システム機器
 - ア 制御装置及びコンピューターシステム（映像入力システム）

(ア)	映像機器収納架	1 式
(イ)	表示制御端末卓	1 式
(ウ)	コピーカメラ卓他	1 式
(エ)	操作室信号端子盤	1 式
(オ)	サーバー	1 式
(カ)	ルーティングスイッチャー、スイッチャー	1 式
(キ)	操作パソコン、時刻管理パソコン、ウイルスチェック用パソコン	1 式
(ク)	無停電電源装置	1 式
(ケ)	無線 LAN アクセスポイント	1 式
(コ)	光変換部	1 式
(サ)	インターホン設備	1 式
イ ビデオシステム機器		
(ア)	モニター棚	1 式
(イ)	9 インチ・17 インチモニター	1 式
(ウ)	ノンリニア編集機	1 式
(エ)	ビデオ文字発生器	1 式
(オ)	映像操作卓	1 式
(カ)	VTR	1 式
(キ)	波形モニター、ベクトルスコープ	1 式
(ク)	静止画作成卓	1 式
ウ カメラ設備		
(ア)	移動カメラ	1 式
(イ)	監視カメラ、監視カメラ用コントローラー	1 式
(ウ)	監視カメラ用モニター	1 式
(エ)	カメラ中継端子盤	1 式
(オ)	ハンディ旋回カメラ、旋回カメラ用コントローラー	1 式
(カ)	カメラ中継箱	1 式
(キ)	カメラ端子盤	1 式
(ク)	コンピューターシステム HUB	1 式
エ 音声機器		
(ア)	音響機器収納架	1 式
(イ)	音声制御パネル	1 式
(ウ)	入力選択スイッチパネル	1 式

4 点検項目

ア 大型映像装置保守点検

(ア) 表示画面点検

- a 表示ユニットのコネクターを確認すること。
- b 表示ユニットの背面の点検を行うこと。
- c 表示ユニットファンの点検を行うこと。
- d 接続ケーブルの確認を行うこと。

- e 機器背面の清掃を行うこと。
- (イ) 分岐盤、照明分電盤点検
 - a 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - b 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - c 電源電圧の測定を行うこと。
 - d 接続端子部の確認を行うこと。
 - e 機器の清掃を行うこと。
- (ウ) 受信制御盤点検
 - a 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - b 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - c 電源電圧の測定を行うこと。
 - d 接続端子部の確認を行うこと。
 - e 光リンクの接続確認他、機能が正常に稼動するか試験を行うこと。
 - f 機器の清掃を行うこと。
- (エ) その他設備点検
 - a 大型映像表示装置内を清掃すること。
 - b インターホン設備の点検を行うこと。
 - c 予備部品の確認を行うこと。
 - d 表示板内部照明の確認を行うこと。
- イ 映像入力システム保守点検
 - (ア) 制御装置及びコンピューターシステム保守点検
 - a 映像機器収納架
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 電源操作パネルの手動にて、LED表示装置の電源がON/OFFできることを確認すること。
 - ・ 電源電圧測定を行うこと。
 - ・ 映像機器の点検を行うこと。
 - ・ 光機器の点検を行うこと。
 - ・ 機能試験を行うこと。
 - ・ 各機器の清掃を行うこと。
 - ・ VTR機器の点検を行うこと。
 - ・ PCVC機器の点検を行うこと。
 - ・ サーバー機器の点検を行うこと。
 - ・ パソコン機器については、内部電池の電圧を確認すること。
 - ・ 端子台ねじの緩みチェックを行うとともに、緩んでいる場合には増し締めを行うこと。
 - ・ 電源、信号コネクタに異常がないことを確認すること。
 - b 映像操作卓
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ スイッチャーに異常がないか点検を行うこと。
 - ・ ノンリニア編集機に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ タイトラの内部点検を行うこと。
 - ・ 各機器の清掃を行うこと。
 - ・ 各機器の動作確認を行うこと。
 - c 表示制御端末卓
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 表示制御端末機器に異常がないか点検を行うこと。

- ・ 電源電圧測定を行うこと。
- ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 機能試験を行うこと。
 - ・ 無停電電源装置の確認を行うこと（停電時動作確認を含む。）。
 - ・ 各機器の清掃を行うこと。
 - ・ パソコン機器については、内部電池の電圧を確認すること。
- d コピーカメラ卓
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ コピーカメラに異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 機能試験を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
- e 操作室信号端子盤
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
- f 操作室分電盤
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 電源電圧測定を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
- (イ) ビデオシステム機器保守点検（場内モニターを含む。）
 - a モニター棚点検
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ モニターに異常がないか点検を行うこと。
 - ・ タリー表示について点検を行うこと。
 - ・ 各機器の清掃を行うこと。
 - b その他設備
 - ・ インターホン設備の点検を行うこと。
 - ・ 予備部品の確認を行うこと。
 - ・ 場内モニターの清掃、表示の確認を行うこと。
- (ウ) カメラ設備点検
 - a ハンディカメラ
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 出力信号の確認を行うこと。
 - ・ カメラ機能の確認を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
 - ・ ケース、付属品の確認を行うこと。
 - b カメラコントローラ
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 機能試験を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
 - c カメラ中継盤
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 信号の送出を確認すること。

- ・ コネクタ一部の確認を行うこと。
- ・ 機器の清掃を行うこと。
- d カメラ端子盤
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 信号の送出手を確認すること。
 - ・ コネクタ一部の確認を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
- e ワイヤレス機器
 - ・ アクセスポイント外部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ ノートパソコンの外部点検を行うこと。
 - ・ 機能試験を行うこと。
 - ・ 機器の清掃を行うこと。
- f 監視カメラ（HD・アナログ）点検
 - ・ 外観に異常がないか点検を行うこと。
- ・ 内部に異常がないか点検を行うこと。
 - ・ 電源電圧の測定を行うこと。
 - ・ 接続端子部の確認を行うこと。
 - ・ 機能が正常に稼動するか試験を行うこと。
 - ・ 監視カメラ映像モニターに、監視カメラの映像が正常に表示されていることを確認すること。
- ・ 機器の清掃を行うこと。
- (エ) 音声機器点検
 - a 音声架外観に異常がないか点検を行うこと。
 - b 音声架内部に異常がないか点検を行うこと。
 - c 機器の接続端子部の確認を行うこと。
 - d 各種操作スイッチの確認を行うこと。
 - e 電圧測定を行うこと。
 - f 各機器の点検を行うこと。
 - g スピーカーより選択された音声が出力することを確認すること。

29 国立代々木競技場太陽光発電システム保守点検

1 保守点検回数

年間2回とする。

2 保守点検対象設備

(1) 設置場所

第一体育館南カフェテリア上部、室内水泳場チャージングエリア、北門側園地

(2) 設置時期

出力55kW（平成22年10月）、主力44kW（平成23年3月）

(3) 設備経過年数

11か月

(4) 製造会社名

シャープ株式会社製

(5) システム概要

- ア 連携する電力系統 : 高圧一般配電線（三相3線、6.6kV、50Hz）
- イ 発電所の種類 : 太陽電池発電所
- ウ 設備容量 : 太陽電池容量15kW
パワーコンディショナ容量 20kW、45kW
発電容量 99.0kW
- エ 太陽電池パネル架台A 陸屋根用（2分割設置） 3組 南カフェテリア上部
W9.256m×H2.013m/1組
太陽電池パネル架台B 陸屋根用（2分割設置） 21組 チャージングエリア
W14.121m×H2.700m/1組
- オ 太陽電池パネル架台B 陸屋根用 216組 第一体育館北門側
園地 W16.52m×H9.94m/1組
- カ 太陽電池モジュール
- ・結晶系シリコン太陽電池（南カフェテリア上部・チャージングエリア）
 - 容量 : 15kW以上
 - 外形寸法 : W1.318m×H1.004m/1枚
 - 公称最大出力 : 180.0W
 - 公称最大出力動作電圧 : 24.2V
 - 公称最大出力動作電流 : 7.44A
 - 公称開放電圧 : 29.5V
 - 公称開放電流 : 8.10A
 - ・単結晶系シリコン太陽電池（第一体育館北門側園地）
 - 容量 : 45kW以上
 - 外形寸法 : W1.318m×H1.004m/1枚
 - 公称最大出力 : 210.0W
 - 公称最大出力動作電圧 : 28.5V
 - 公称最大出力動作電流 : 7.35A
- キ 接続箱（1） 一式（南カフェテリア上部・チャージングエリア）
- ・構造 : 屋外壁掛形
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・回路数 : 製造者標準
 - ・収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード
配線用遮断器、誘導避雷保護器
その他製造者標準
- ク 接続箱（2） 一式（第一体育館北門側園地）
- ・構造 : 屋外壁掛形（SUS製）
 - ・材質 : 鋼板製

- ・回路数 : 製造者標準
 - ・収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード
配線用遮断器、誘導避雷保護器、その他製造者標準
- ケ 集電箱 一式 (第一体育館北門側園地)
- ・構造 : 屋外壁掛形 (SUS製)
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・回路数 : 製造者標準
 - ・収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード
配線用遮断器、誘導避雷保護器、その他製造者標準
- コ パワーコンディショナ 一式 20.0 kW以上 (中央監視室裏旧発電機室)
- ・構造 : 屋内自立式
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・種類 : 防災対応型系統連係パワーコンディショナ
 - ・容量 : 20.0 kW以上
 - ・定格 : 100%連続
 - ・外形寸法 : W600×H1900×D700
- ① 連系運転
- 最大電力追従機能 : DC 200～400V
 - 定格容量 : 20 kW以上
 - 出力基本波力率 : 0.95以上
(定格～1/8出力時、無効電力制御時、0.85以上)
 - 電流歪率 : 総合5%以下、各次3%以下
 - 過負荷耐量 : 110%
 - インバータ方式 : 電圧型電流制御方式
 - 電力制御方式 : 最大電力追従制御
 - 総合効率 : 92%
 - 絶縁方式 : 非絶縁
 - 解列方式 : 内蔵電磁開閉器による
 - 起動条件 : 330V (Hモード) 10秒
 - 停止条件 : 5%20分
- ② 自立運転
- 動作電圧範囲 : 200V～500V
 - 相数・定格容量 : 三相3線、20 kW以上
 - 定格電圧 : 202V
 - 定電圧制度 : ±8%以内
 - 定格負荷力率 : 1.0
 - 負荷力率変動範囲 : 0.7～1.0 (遅れ)
 - 電圧波形歪 : 5%以下
 - インバータ方式 : 電圧型電流制御方式
- ③ 充電方式
- 定格充電電圧 : 300V (120セル×2.5V/セル)
 - 出力電圧制度 : ±1.5%以内 (定格入出力時)
 - 定格電流 : 50A
- サ パワーコンディショナ 一式 45.0 kW以上 (機械棟地下1階)
- ・構造 : 屋内自立式
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・種類 : 並列運転対応型系統連係ユニットインバータ
 - ・容量 : 45.0 kW以上
 - ・運転入力電圧範囲 : DC 250～350V程度
 - ・外形寸法 : W1200×H1800×D700

- ・出力電圧 : 三相3線202V
 - ・電力変換効率 : 90%以上
 - ・出力基本波力率 : 0.95以上
 - ・高調波許容範囲 : 電流総合5%、各次3%以下
 - ・(電流歪率)
 - ・電力制御方式 : 最大電力追従制御
 - ・保護機能 : 系統連系保護方式
- シ 連係保護装置 (インバータに内蔵) 一式 既設変圧器盤 (2) 内
- ・インバータ方式 : 低圧配電線用逆潮流あり方式
 - ・運転制御機能 : 構内及び系統異常による連系しゃ断
 - ・収納保護継電器 : 「系統連系技術要件ガイドライン」に沿って設置
 - ・指示計 : 直流電圧計 (太陽電池出力)
- 直流電圧計 (太陽電池出力)
交流電圧・電流・電力・周波数
- ・保護機能 : 系統連系保護方式
- ス 蓄電池
- ・名称 : 制御弁式据置鉛蓄電池
 - ・型式 : 長寿命形MSE
 - ・電圧・容量 : 2V 1000Ah / 10HR
 - ・数量 : 120セル
 - ・外形寸法 : H168×W466×D168
- セ 蓄電池盤 中央監視室裏旧発電機室
- ・構造 : 屋内自立型両面保守
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・外形寸法 : W4200×H1900×D1200
 - ・数量 : 1面 (列盤)
- ソ 自動切替盤 (屋外電灯切替盤)
- ・構造 : 屋内壁掛型
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・外形寸法 : W500×H400×D160
 - ・収納機器 : 電磁接触器、ブレーカー、タイマー等
 - ・数量 : 1面
- タ 電力計測盤
- ・構造 : 屋内壁掛型
 - ・材質 : 鋼板製
 - ・外形寸法 : W500×H400×D160
 - ・収納機器 : 交流電力トランスジューサー、交流積算電力計
 - ・数量 : 1面

3 定期点検の主な概要

- | | |
|----------------|----|
| (1) 太陽電池アレイ | 一式 |
| (2) 接続箱 | 一式 |
| (3) パワーコンディショナ | 一式 |
| (4) 接地 | 一式 |

4 点検項目

- (1) 太陽電池アレイ
- ア 表面の汚れ、破損がないか目視確認し、絶縁抵抗測定を実施すること。

- イ 架台の腐食、さびがないか目視確認し、開放電圧測定を実施すること。
 - ウ 外部配線の損傷がないか目視にて確認すること。
 - エ 接地線の損傷、接地端子の緩みがないか目視にて点検すること。
- (2) 接続箱
- ア 外箱の腐食、さびがないか目視確認し、絶縁抵抗測定を実施すること。
 - イ 外部配線の損傷がないか目視にて確認すること。
 - ウ 接地線の損傷、接地端子の緩みがないか目視にて点検すること。
- (3) パワーコンディショナ
- ア 外箱の腐食、さびがないか目視確認し、表示部の動作確認を行うこと。
 - イ 外部配線の損傷がないか目視にて確認し、絶縁抵抗測定を実施すること。
 - ウ 接地線の損傷、接地端子の緩みがないか目視にて点検し、停電復電の動作確認を実施すること。
 - エ 動作時の異音・異臭がないか確認すること。
 - オ 換気口フィルタが目詰まりがないか確認すること。
 - カ 設置環境の確認（水分や高温箇所）をすること。
- (4) 接地
- 配線の損傷がないか目視にて確認し、接地抵抗測定を実施すること。

国立代々木競技場 第二体育館

定期点検・保守チェックリスト

実施日： 年 月 日

作業員： _____

壁掛型室内競技表示盤(西側)ST-800

シリアルNo.1037

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪み、前面アクリルの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを受信し、表示するか(信号入力波形の確認) 2面連動した時の表示に、異常はないか	
4. 表示ユニット	ドット抜け、輝度のむらはないか	
5. 取付状態	ボルト及び、ナットの緩みはないか	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10%	
	DC 24v 回路電圧 ±10%	
	DC 12v 回路電圧 ±10%	
	DC 5v 回路電圧 ±10%	

壁掛型室内競技表示盤(東側)ST-800

シリアルNo.1033

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪み、前面アクリルの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを受信し、表示するか(信号入力波形の確認) 2面連動した時の表示に、異常はないか	
4. 表示ユニット	ドット抜け、輝度のむらはないか	
5. 取付状態	ボルト及び、ナットの緩みはないか	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10%	
	DC 24v 回路電圧 ±10%	
	DC 12v 回路電圧 ±10%	
	DC 5v 回路電圧 ±10%	

競技操作盤(ST-830バスケットボール専用)

シリアルNo.21210

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを、表示盤へ送信するか	
4. 液晶モニター	入力通り表示するか	
	表示不良はないか	
5. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか	
	クランプの状態	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10%	
	DC 6v 回路電圧 ±10%	

時間操作盤(ST-830)

シリアルNo.1022

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを、表示盤へ送信するか	
4. 液晶モニター	入力通り表示するか	
	表示不良はないか	
5. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか	
	クランプの状態	
6. 電圧測定	DC 6v 回路電圧 ±10%	

チーム名・メッセージ入力装置(ST-832)

EPSON PC-586 NOTE AT-C1LR

シリアルNo.2K80000847

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを、表示盤へ送信するか	
4. 液晶モニター	入力通り表示するか	
	表示不良はないか	
5. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか	
	クランプの状態	
6. 電圧測定	DC 12v 回路電圧 ±10%	

24秒ルール表示装置(東側)ST-737B

シリアルNo.13009-2

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪み、前面アクリルの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを受信し、表示するか	
	2面連動した時の表示に、異常はないか	
4. 表示ユニット	表示不良はないか	
5. 取付状態	ボルト及び、ナットの緩みはないか	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10%	
	DC 24v 回路電圧 ±10%	
	DC 12v 回路電圧 ±10%	
	DC 5v 回路電圧 ±10%	

24秒ルール表示装置(西側)ST-737B

シリアルNo.13009-1

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪み、前面アクリルの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを受信し、表示するか	
	2面連動した時の表示に、異常はないか	
4. 表示ユニット	表示不良はないか	
5. 取付状態	ボルト及び、ナットの緩みはないか	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10%	
	DC 24v 回路電圧 ±10%	
	DC 12v 回路電圧 ±10%	
	DC 5v 回路電圧 ±10%	

24秒ルール操作盤(ST-737B)

シリアルNo.12921-5

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確にデータを、表示盤へ送信するか	
4. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか クランプの状態	
5. 電圧測定	DC 24v 回路電圧 ±10%	

タイムアウト請求装置(TM-800)

シリアルNo.12954

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確に表示するか	
4. 表示ユニット	輝度のむらはないか	
5. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか クランプの状態	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10% DC 12v 回路電圧 ±10%	

ブザー装置(BM-800)

シリアルNo.12951

点検箇所	点検項目	結果
1. 外装	割れ、曲がり、歪みの状態	
2. コネクター	割れ、曲がり、歪み、腐食、接触状態	
3. 機能	正確に音を発生するか	
4. スピーカー	音割れしないか	
5. 付属ケーブル	断線、被覆破損はないか クランプの状態	
6. 電圧測定	AC 100v 入力電圧 ±10% DC 12v 回路電圧 ±10%	

【 備 考 】

国立代々木競技場非常用自家発電設備発電機・エンジン機器仕様表

【別紙3-4】

番号 名称 製造メーカー 設置年月日 設置場所	G-1 消火栓ポンプ 起動用発電機		G-2 スプリングラ-南側 起動用発電機		G-3 放水栓ポンプ 起動用発電機		G-4 スプリングラ-北側 起動用発電機		G-5 排煙ファン 起動用発電機	
	Yanmar 昭和62年3月31日 サブプール中庭	Yanmar 平成7年3月6日 サブプール機械室	西芝電機 平成5年3月26日 機械棟	西芝電機 平成6年2月 機械棟	西芝電機 平成6年1月25日 北ロビー東側便所裏	西芝電機 平成5年3月26日 機械棟	西芝電機 平成6年2月 機械棟	西芝電機 平成6年1月25日 北ロビー東側便所裏	西芝電機 平成6年1月25日 北ロビー東側便所裏	西芝電機 平成6年1月25日 北ロビー東側便所裏
発電機仕様	出力 YAP100ESSS 100 kVA	出力 NPF4-110QRN 95	出力 NPF4-450WRN 350	出力 NPF4-110WRN 95	出力 NPF4-110WRN 95	出力 NPF4-450WRN 350	出力 NPF4-110WRN 95	出力 NPF4-110WRN 95	出力 NPF4-110WRN 95	
	電圧 210/100 V	電圧 200 V	電圧 400 V	電圧 400 V	電圧 400 V	電圧 400 V	電圧 400 V	電圧 400 V	電圧 400 V	
	電流 275 A	電流 275 A	電流 507 A	電流 137 A	電流 137 A	電流 507 A	電流 137 A	電流 137 A	電流 246 A	
	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	周波数 50 Hz	
	回転速度 3,000 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 1,500 rpm	回転速度 3,000 rpm	
	極数 2	極数 4	極数 4	極数 4	極数 4	極数 4	極数 4	極数 4	極数 2	
	相数 3/1	相数 3	相数 3	相数 3	相数 3	相数 3	相数 3	相数 3	相数 3	
エンジン仕様	エンジン Yanmarディーゼル 4T112TL-GH 3,000 cc	エンジン 三菱自動車工業 6D-14T 6,557 cc	エンジン 三菱重工 S6B3-PTA 14,600 cc	エンジン 三菱自動車工業 6D-14T 6,557 cc	エンジン 三菱自動車工業 6D-14T 6,557 cc	エンジン 三菱重工 S6B3-PTA 14,600 cc	エンジン 三菱自動車工業 6D-14T 6,557 cc	エンジン 三菱自動車工業 6D-14T 6,557 cc	エンジン Yanmarディーゼル 4T112TL-GH 4,728 cc	
	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	冷却方式 水冷 4サイクル	
	定格出力 121 ps	定格出力 125 ps	定格出力 460 ps	定格出力 125 ps	定格出力 125 ps	定格出力 460 ps	定格出力 125 ps	定格出力 125 ps	定格出力 125 ps	
	燃料消費量 軽油 27.9 l/h	燃料消費量 軽油 25.3 l/h	燃料消費量 A重油 81.7 l/h	燃料消費量 軽油 25.3 l/h	燃料消費量 軽油 25.3 l/h	燃料消費量 A重油 81.7 l/h	燃料消費量 軽油 25.3 l/h	燃料消費量 軽油 25.3 l/h	燃料消費量 軽油 27.7 l/h	
	燃料タンク容量 75 l	燃料タンク容量 10W-30 15 l	燃料タンク容量 220 l	燃料タンク容量 58 l	燃料タンク容量 58 l	燃料タンク容量 220 l	燃料タンク容量 58 l	燃料タンク容量 58 l	燃料タンク容量 58 l	
	エンジンオイル種類 10W-30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	エンジンオイル種類 SAE30	
	エンジンオイル消費量 15 l/h	エンジンオイル消費量 13.5 l/h	エンジンオイル消費量 50 l/h	エンジンオイル消費量 13.5 l/h	エンジンオイル消費量 13.5 l/h	エンジンオイル消費量 50 l/h	エンジンオイル消費量 13.5 l/h	エンジンオイル消費量 13.5 l/h	エンジンオイル消費量 15 l/h	
	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	冷却方式 ラジエータ	
	冷却水量(エンジン) 13	冷却水量(エンジン) 18	冷却水量(エンジン) 30	冷却水量(エンジン) 13	冷却水量(エンジン) 13	冷却水量(エンジン) 30	冷却水量(エンジン) 13	冷却水量(エンジン) 13	冷却水量(エンジン) 9.4	
	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 41	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 41	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 18	冷却水量(ラジエータ) 8.6	
蓄電池仕様	出力 DC12	出力 DC24	出力 DC24	出力 DC24	出力 DC24	出力 DC24	出力 DC24	出力 DC12	出力 DC12	
	電圧 HS-150E 150 V	電圧 HS-120-6E 120 V	電圧 HS-200E 200 V	電圧 HS-120-6E 120 V	電圧 HS-120-6E 120 V	電圧 HS-200E 200 V	電圧 HS-120-6E 120 V	電圧 HS-60-6E 60 V	電圧 HS-60-6E 60 V	
	容量 6 Ah	容量 6 Ah	容量 12 Ah	容量 12 Ah	容量 12 Ah	容量 12 Ah	容量 12 Ah	容量 12 Ah	容量 4 Ah	
	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 シール型据置鉛蓄電池	種類 陰極吸収式シール型鉛蓄電池	
	製造年月日 1996年3月	製造年月日 1994年10月	製造年月日 2002年4月	製造年月日 1994年10月	製造年月日 1994年10月	製造年月日 2002年4月	製造年月日 2002年4月	製造年月日 1999年7月	製造年月日 1999年7月	
	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	触媒せん交換年月日 古河電池	
	製造メーカー 4250	製造メーカー 948-3570	製造メーカー 936-3415	製造メーカー 948-3570	製造メーカー 948-3570	製造メーカー 936-3415	製造メーカー 938-3466	製造メーカー 938-3466	製造メーカー 996-3344	

表-1 電気設備運転監視業務

対象設備	運転・監視記録内容
照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線	<ul style="list-style-type: none"> ・焼損、汚損、取付状態の監視を行い、必要に応じてランプの交換、器具等の清掃等を行う。
受変電設備高圧機器 変圧器 交流遮断器、負荷遮断器 断路器 計器用変成器計器用変圧器、変流器、零相変流器等 指示計器、表示操作保護継電器 高圧カットアウトスイッチ、電力フューズ 高圧進相コンデンサ直列リアクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭及び異常振動の有無を点検し、異常がある場合は過電流等の有無を調査する。 ・異音、異臭、漏油等の有無を点検する。 ・開閉表示状態（表示灯）及び作動回数を点検する。 ・碍子の汚損、き裂及び取付けボルトの脱落等の有無を点検する。 ・端子、刃の接触部、刃の開き止め及び操作部の過熱、変色、損傷、変形及び錆の有無を点検する。なお、過熱、変色等の異常がある場合は電流等の記録を調査する。 ・異音、異臭、異常振動等の有無を点検し異常がある場合は原因を調査する。 ・汚れ、損傷、き裂、過熱、変色、漏油等の異常の有無を点検する。 ・操作、切換スイッチ等の状態を点検する。 ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復帰する。 ・配電盤等の信号灯、表示灯類の点検状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。 ・汚れ、損傷、変形の有無を点検する。 ・端子、フューズ筒（接触部）の過熱及び変色の有無を点検し、異常がある場合は原因を調査する。 ・異音、異臭、変形、膨らみ等の有無を点検する。 ・異音、異常振動等の有無を点検する。
受変電設備低圧機器 開閉器類 配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器 計器用変成器 計器用変圧器、変流器零相変流器等 指示計器、表示操作保護継電器 低圧進相コンデンサ	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異臭、損傷、過熱、変色等の有無を点検する。 ・開閉表示状態（指示、点灯）を確認する。 ・異音、異臭、異常振動等の有無を点検し、異常がある場合は、原因を調査する。 ・受変電設備高圧機器に準ずる。 ・異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検する。
自家発電設備 ガス発電設備 系統連携運転含む。 非常用発電設備 ガス発電原動機含む。	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。 ・共通台板、台上に搭載された機器等の変形、損傷、脱落等の有無を点検する。 ・燃料油及び潤滑油の漏れの有無を点検する。 ・冷却水の漏れの有無を点検する。 ・接地線及びその他の配線の緩み、損傷及び断線の有無を点検する。

配電盤類 機側盤を含む。	<ul style="list-style-type: none"> ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・保護継電器の動作表示を点検し、動作表示がある場合は原因を調査し復帰する。 ・遮断器、切替用開閉器等の開閉状態が正常であることを確認する。 ・自家発電装置が始動及び自動運転待機状態（切替スイッチの自動側位置等）にあることを確認する。 ・表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。 ・警報作動状態を試験用押しボタン等により点検し、確実に動作することを確認する。 ・手動断路器の接触面の変色、開き止め状態、汚損等の有無を点検する。
補機付属装置 始動用蓄電池設備充電装置	<ul style="list-style-type: none"> ・各計器の指示値の適否を点検する。 ・表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。 ・警報作動状態を試験用押しボタン等により点検し、確実に動作することを確認する。 ・操作、切替スイッチ等の状態を点検する。 ・汚れ、損傷、過熱による温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。 ・充電中の蓄電池総電圧や充電電流の適否を各計器指示値等により確認する。
燃料タンク、燃料移送ポンプ等	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク、ポンプ及び配管の油漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。 ・油量を点検し、必要な油量が不足している場合は給油する。
ラジエータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジエータの水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。 ・ベルトの張り具合を点検し、ベルトが緩んでいる場合は調整する。 ・ラジエータ排風口の障害物の有無を点検する。
冷却水タンク冷却塔、冷却水、ポンプ塔	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク、機器及び配管の水漏れ、変形、損傷等の有無を点検する。 ・冷却水を点検し、必要な水量が不足している場合は給水する。
換気装置	<ul style="list-style-type: none"> ・自然換気口の開口部の状況又は機械換気装置の運転が適正であることを手動運転により確認する。 ・給・排気ファンが、自家発電装置の運転と連動して運転できることを確認する。
排気管、消音器	<ul style="list-style-type: none"> ・排気管等の過熱部周囲に可燃物が置かれていないことを確認する。なお、貫通部の断熱材保護部に変形、損傷、脱落等の有無を点検する。 ・排気管等の支持金具の緩み、変形、損傷及び変色の有無を点検する。
バルブ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種バルブの開閉状態が正常の位置にあることを確認する。

<p>試運転</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電自動保守運転後（5分）は、始動時間の確認をする。 ・運転中、電圧計、周波数等の計器の指示値が適正であることを確認する。 ・回転数、温度、圧力等を付属の各計器により始動前及び運転時に指示値を確認する。 ・試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等を自動始動側に切り替えて運転待機状態にあることを確認する。
<p>太陽光発電設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽電池アレイ ・ 接続箱、集電箱 ・ パワーコンディショナ ・ 蓄電池 ・ 発電状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表面の汚れ、破損、変色、落ち葉等の有無を点検する。 ・ 外部配線の損傷の有無を点検する。 ・ 外部配線の損傷の有無を点検する。 ・ 外部配線の損傷の有無を点検する。 ・ 動作時の異常音、異臭等の有無を点検する。 ・ 下記、蓄電池点検要領による。 ・ 指示計器又は表示により、正常に発電していることを点検する。
<p>直流電源装置 整流装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れ、損傷、過熱等の温度上昇、変形、異音、異臭、腐食等の有無を点検する。 ・ トリクル充電又は浮動充電中の蓄電池総電圧や充電電流の適否を各計器指示値等により確認する。 ・ 操作、切替スイッチ等の状態を確認する。 ・ 自然換気又は機械換気が適正であることを確認する。周囲温度が40° Cを超える場合は、窓等を開くなどの応急処置をとる。 ・ 表示灯類の点灯状態を目視及びランプチェックにより点検し、球切れがある場合は交換する。
<p>蓄電池</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検する。 ・ 蓄電池の電解液面を点検し、最高・最低液面線内にあることを確認する。液面が中間以下の場合は精製水を補充する（陰極吸収式シール形蓄電池は除く。）。 ・ 蓄電池の端子の緩みの有無を点検する。
<p>構内電話交換設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械類の塵埃、腐食、浸水等の有無の点検を行う。障害事故が発生した場合、速やかに対処するとともに記録を残す。 ・ 電話機等の移設、内線番号の変更等の軽微な保守及び工事を行う。
<p>構内配電線路通信線路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 架空線、引込線及びちようか線と他の造営物及び樹木との離隔距離、弛み、損傷等の有無を点検する。 ・ 電柱、支持物等の損傷、傾斜、腐朽、脱落等の有無を点検する。 ・ ケーブル本体及び端末部の損傷、腐食、コンパウンド漏れ、他の工作物との離隔の適否を点検する。 ・ 接地線の緩み、損傷及び断線の有無を点検する。 ・ マンホール及びハンドホールの蓋の損傷の有無を点検する。また、蓋を開けて、構造体のひび割れ及び浸水の有無を点検する。

外灯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯状態を点検し、不点灯の場合には、調査を行い軽微な故障は修理を行う。球切れが高所の場合は別途交換の手配をする。 ・損傷、破損、錆、腐食及び取付けボルトの緩みの有無を点検する。なお、緩みがある場合は増締めする。
中央監視盤設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
照明制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
場内外監視設備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
大型映像表示装置	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
電動可動席	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。
第二体育館電光得点表示盤	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの取扱説明書による。

表一 2 機械設備運転監視業務

対象設備	運転・監視内容
<p>温熱源機器（鋼製ボイラー）</p> <p>起動前</p> <p>圧力計、水高計及び温度計</p> <p>水面計及び連絡配管</p> <p>ボイラー水位</p> <p>燃料及び給水系統</p> <p>バーナー</p> <p>ボイラー燃焼室</p> <p>煙道ダンパー</p> <p>ボイラー室の換気</p> <p>燃料</p> <p>給水タンク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針に狂いの有無を点検する。 ・ ガラス及び文字板に汚れ及び損傷の有無を点検する。 ・ コック又は弁の開閉状態が正常であることを確認する。 ・ 水面計及び水面制御装置の機能の異常の有無を点検する。 ・ 水面計の水位が安全定水位置にあることを確認する。 ・ 弁の開閉状態が正常であることを確認する。 ・ 配管接続部等から燃料又水漏れの有無を点検する。 ・ 燃料噴射ノズルから燃料漏れの有無を点検する。 ・ 耐火材の脱落、カーボンの付着等の有無を点検する。 ・ ダンパーの開き具合及び固定状態の異常の有無を点検する。 ・ 換気状態が良好に維持されている。 ・ ガス焚きボイラーの一次側ガス圧力が正常であることを確認する。 ・ パイロットバーナーを付属するボイラーの、点火用燃料源の状態の異常の有無を点検する。 ・ 水位が常用水位以上にあることを確認する。 ・ 入口及び出口弁が確実に開いていることを確認する。 ・ 弁及び配管から漏れの有無を点検する。
<p>起動時</p> <p>プレパージ動作</p> <p>バーナー</p> <p>燃焼安全装置</p> <p>水面計</p> <p>水面計取付水柱管及び連絡配管</p> <p>空気抜き装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動作時間の異常の有無を点検する。 ・ 比例制御又はH i - L o w - O f f 制御方式のボイラーにあっては、プレパージ中に空気ダンパが十分な開度まで開いている。 ・ 点火スパーク及びパイロットバーナーの火炎の色及び大きさの異常の有無を点検する。 ・ 主バーナーの点火時、バックファイヤー、著しい黒煙の発生、焼音及び振動等がなくスムーズに点火する。 ・ 主バーナーの燃焼中に火炎検出器の受光面を遮蔽した場合に、直ちに安全遮断弁が閉止し、バーナーが消炎する。 ・ 水面計の水側、高温水側及び吹出し側コックの開・閉操作をした場合に、水及び高温水側の流通状態の異常の有無を点検する。 ・ 連絡配管、弁及びコック等から水又は蒸気の漏れの有無を点検する。 ・ 水柱管及び水位検出器下部の吹出し弁を開き、内部に付着するスケールその他の異物の清掃を行う。 ・ 空気抜き弁及びその接続配管からの漏れの有無を点検する。
<p>ボイラー運転中</p> <p>常時監視</p> <p>水位制御装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラーの圧力（温水ボイラーにあっては温度）及び水位並びに燃焼状態を常時監視する。 ・ 給水装置及び自動水位制御装置の機能が正常で、ボイラー水位が規定の位置に保持されている。

バーナーの自動発停止動作	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラ圧力又は温度が変化するとき、規定の圧力又は温度でバーナーが自動的に停止又は起動する。
バーナー燃焼量制御	<ul style="list-style-type: none"> ・比例制御又はH i - L o w - O f f 燃焼量制御を行うボイラーにあつては、ボイラーの圧力又は温度の変化によりバーナーが規定の燃焼量で制御される。
安全弁、逃し弁及び逃がし管	<ul style="list-style-type: none"> ・安全弁に前漏れの有無を点検する。 ・取付け部等に漏れの有無を点検する。 ・逃し弁に漏れ及び凍結のおそれの有無を点検する。
燃焼用空気及び燃焼ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・風道、風箱等から燃焼空気の漏れの有無を点検する。 ・ボイラー外周部及び煙道から燃焼ガスの漏れの有無を点検する。
水質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品メーカーの取扱説明書により適正な水質に保持する。
冷熱源設備 (チリングユニット、直焚吸収冷温水機)	<ul style="list-style-type: none"> ・指針に狂いの有無を点検する。 ・ガラス及び文字板に汚れの有無を点検する。
起動前の作業	
圧力計及び温度計	
冷水及び冷却水配管系	<ul style="list-style-type: none"> ・各種弁の開閉状況が運転に支障の有無を点検する。 ・配管接続部、機器水室等より水漏れの有無を点検する。 ・電圧が規定の許容範囲内にある。
電源	
ヒーター	<ul style="list-style-type: none"> ・油、クランクケースその他予余熱を必要とする部分のヒーターが規定時間通電されている。
運転中の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の圧力及び温度が規定の許容範囲以内にある。 ・配管に、漏れ、振動等の異常の有無を点検する。 ・運転時に音及び振動等の異常の有無を点検する。 ・運転時の負荷状況の異常の有無を点検する。 ・運転記録から系内に空気の侵入が認められる場合は、抽気装置の運転を行う。
運転終了時の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・運転停止に際しては、関連機器の所定の停止順序に従い行う。 ・機器類を所定の開閉位置にする。 ・電源開閉器を規定の位置にする。
冷暖房関連機器	
熱交換器、貯湯槽及びヘッダー	<ul style="list-style-type: none"> ・異音及び異常振動の有無を点検する。 ・機器の一時側湯水温度・圧力及び二次側湯水温度・圧力の異常の有無を点検する。 ・温水又は給湯温度、水頭圧及び蒸気圧力の異常の有無を点検する。 ・貯湯槽に外部電源方式の防食装置を設けている場合にあつては、電源ランプ及び電流計に異常がなく、スイッチを切った場合に電圧計の指針が0点に戻る。
冷却塔	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーシングに異常振動の有無を点検する。 ・水槽に水漏れがなく、水位の異常の有無を点検する。 ・送風機の各部に異音又は異常振動がなく、羽根車の回転が円滑である。 ・電圧の変動が定格電圧の±10%以内にある。 ・運転電流が定格電流値以下にある。 ・凍結防止装置のヒータの作動電流が定格電流値以下にある。

<p>ユニット型及びコンパクト型空気調和機</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異音、異常振動の有無を点検する。 ・本体ケーシング、ダクト接続部等に空気漏れの有無を点検する。 ・運転電流が定格電流値以下であり、通常範囲にある。 ・還気・給気及び冷温水入口・出口温度差の異常の有無を点検する。
<p>空気清浄装置</p> <p>ポンプ</p> <p>送風機</p> <p>全熱交換器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力損失が規定値以下である。 ・自動巻取型エアフィルターにあつては、巻取完了表示灯が点灯していない。 ・濾材誘電型エアフィルター及び電気集塵器にあつては、巻取完了表示灯及び荷電表示灯が点灯している。また、コンパクト型空調機用電気集塵機は荷電表示灯が点灯している。 ・各部に異音及び異常振動の有無を点検する。 ・軸封部からの水漏れが適当である。 ・電動機に異常発熱の有無を点検する。 ・運転電流が定格電流値以下にある。 ・各部に異音及び異常振動の有無を点検する。 ・運転電流が定格電流値以下。また、通常と著しい相違の有無を点検する。 ・Vベルトのバタツキの有無を点検する。 ・異音、異常振動の有無を点検する。 ・駆動装置（モーター、チェーン、ベルト）の異常の有無を点検する。
<p>給排水衛生機器</p> <p>ポンプ</p> <p>揚水ポンプ及び給湯ポンプ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部に異音及び異常振動の有無を点検する。 ・運転電流が定格電流値以下にある。 ・軸封部からの漏水量が適当である。 ・電動機に異常発熱の有無を点検する。
<p>室内水泳場濾過設備</p> <p>濾過器装置</p> <p>濾過器</p> <p>濾過循環ポンプ</p> <p>集毛器</p> <p>塩素滅菌装置</p> <p>水質監視装置</p> <p>オゾン滅菌器</p> <p>エアークンプレッサー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に逆洗運転を行う。 ・濾過運転が停止した場合逆洗を行う。 ・利用客数その他の条件による水の汚れ具合で逆洗を行う。 ・適切な水温を保持するため熱交換器で加温する。 ・蓋・弁類及び配管のボルトの取付け・締込みが十分である。 ・濾過機・フランジ及び配管等から水漏れの有無を点検する。 ・計器及び表示灯の指示どおり作動している。 ・ポンプの項による。 ・詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。 ・メーカーの取扱説明書による。 ・メーカーの取扱説明書による。 ・メーカーの取扱説明書による。 ・異音及び異常振動がないことを確認する。 ・空気漏れがないことを確認する。
<p>エレベーター</p> <p>戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戸の開閉が円滑で異音及び異振動の有無を点検する。 ・戸閉め安全装置が正常に作動する。

乗場	<ul style="list-style-type: none"> ・敷居溝にごみや異物がある場合は清掃する。 ・乗場表示器に球切れ等の異常の有無を点検する。球切れがある場合は交換する。 ・乗場ボタン、三方枠、戸及び敷居に損傷等の有無を点検する。
かご 連絡装置 運行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・戸、かごの周壁、天井及び床に剥離、損傷等の有無を点検する。 ・汚れがある場合は清掃する。 ・操作盤及び換気装置に損傷がなく、作動の異常の有無を点検する。 ・照明及び位置表示器に球切れ等の異常の有無を点検する。球切れがある場合は交換する。 ・定員、積載荷重及び注意事項が正しく掲示されている。 ・ベル又はブザーが正常に鳴る。 ・インターホン又は電話器での通話が良好である。 ・着床状態の異常の有無を点検する。 ・加速及び減速が円滑で、走行中において、振動、音等の異常の有無を点検する。

表-3 機械設備監視業務（運転・監視記録）

機器の種別	運転・監視記録内容
鋼製ボイラー	ボイラー温水温度、膨張タンク及び給水タンク水位、圧力、循環ポンプの電流、吐出及び吸入圧力、燃料計の指針、ダンパー開度、煤煙濃度、天候、ボイラー室温度、外気温度
チリングユニット	冷水入口、出口温度及び圧力、冷却水入口、出口温度 圧力、蒸発及び凝縮圧力、潤滑油圧力、電源電圧 圧縮機電流、機械室温度、外気温度
直焚き吸収冷温水機	冷温水入口及び出口温度、冷却水入口及び出口温度 高温再生器温度及び圧力 高温再生器、吸収器及び蒸発器液面、燃料計の指針 外気温度、機械室温度

表一4 中央監視制御設備

項目	運転・監視内容
外観	<ul style="list-style-type: none"> ・監視制御盤類について塵埃、腐食、浸水等の有無の点検及び温湿度調整装置等の確認を行う。
監視操作	<ul style="list-style-type: none"> ・監視制御盤類について異音、異臭及び異常振動の有無を点検する。 ・機械等の正常な運転状態を監視し、必要に応じて制御する。また、計器類（電圧計、電流計、記録計等）の記録など設備の総合監視を行う。 ・警報等の異常発報時の迅速な対応を図る。
装置、機器等	<ul style="list-style-type: none"> ・CRT・キーボード等について画面の異常、異臭及び異音の有無を点検し、異常な温度上昇及び作動の確認を行う。 ・プリンターの用紙量・印字確認、オンラインスイッチ等の確認を行う。 ・プリンターの換気ファンの動作確認、印字リボンの点検を行う。 ・ハードコピー装置の換気ファンの動作確認を行う。 ・CPU、ハードディスク、フロッピーディスク、ドライブ（装置）等の異音及び異常振動の有無を点検し、異常な温度上昇及び動作モニタの確認を行う。 ・キャラクター表示器類（ニキシー管、光点表示器、プラズマ表示器、セグメント表示器等）のエLEMENT消失の有無を点検し、輝度確認を行う。 ・表示灯（ランプ類）のランプテストを行う。 ・開閉機器（配線用遮断器、電磁接触器等及びコントロールスイッチ、押しボタン等）の破損の有無を点検し、動作及び接点状態の確認を行う。
電源装置	<ul style="list-style-type: none"> ・無停電電源装置の出力特性（入力電圧、直流電圧、出力電圧、出力電流、出力周波数等）を確認する。

表一 5 電気・機械設備日常点検・保守業務

対象設備	点検及び保守内容
<p>照明器具 構造一般</p> <p>部品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定器 ・ランプ ・進相コンデンサー ・ソケット ・スイッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚損、損傷及び発錆状況の有無を点検する。 ・反射板及び透光性カバーの汚損及び変色の有無を点検し、汚れていれば清掃する。 ・取付けボルト及び脱落防止装置等の緩み又は腐食の有無を点検し、緩みがある場合は増締めを行う。 ・ケースについて著しい錆、変形及び変色の有無を点検する。 ・点検時の異常な唸り音、管球の異常なチラツキ等の有無を点検する。 ・専用ランプが装着されていることを確認し、球切れがあれば交換する。 ・コンデンサーケースの変形、膨らみ及び漏油の有無を点検する。 ・変形、ひび割れ、破損等の有無を点検する。 ・スイッチに異常の有無を点検する。
<p>分電盤・開閉器箱 キャビネット</p> <p>導電部</p> <p>母線、分岐導体、盤内配線、支持物全般</p> <p>端子台</p> <p>機器</p> <p>遮断器、継電器、電磁接触器、タイマー、リモコン、変圧器等</p> <p>絶縁抵抗測定</p> <p>接地抵抗測定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・盤が壁や床に、しっかり固定されているか点検する。しっかり固定されていない場合は、据付けボルトを締め直す。 ・盤等の汚れ、損傷、錆、変色等の有無を点検する。なお錆落とし等、汚れがある場合は清掃する。 ・雨水浸水、結露等の有無を点検する。 ・外箱の過熱、振動音等の有無を点検する。 ・汚れ、異物や塵埃の堆積等の有無を点検する。 ・異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。 ・異臭及び変色の有無を点検し、端子部緩みの増締めを行う ・汚損、損傷及び発錆状況の有無を点検する。 ・反射板及び透光性カバーの汚損及び変色の有無を点検し、汚れていれば清掃する。 ・取付けボルト及び脱落防止装置等の緩み又は腐食の有無を点検し、緩みがある場合は増締めを行う。 ・母線、分岐導体の各相互間及び各分岐回路の電線と大地間を開閉器等で区切ることのできる電路毎に500V絶縁抵抗計（使用電圧400V以上は1,000V絶縁抵抗計）により測定し、1MΩ以上であることを確認する。 ・接地極（C種、D種接地工事等）の接地抵抗測定を行う。
<p>電気時計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。 ・親、子時計の指示誤差等の調整を行う。
<p>放送設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。 ・表示装置、ランプ等の異常の有無を点検する。 ・マイクロホンの損傷及びコードの接続状態を点検する。 ・スピーカーの据付け状態、汚れ及び損傷の有無を点検する。 ・配線状態及び損傷の有無を点検する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・音量、明瞭度等の確認を行う。
構内配電線路・通信線路 ハンドホール・マンホール等	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、損傷又は沈下の有無を点検する。 ・周辺地盤の沈下の有無を点検する。 ・ハンドホール等の蓋及び金物の取付け状態の良否、錆及び腐食等の劣化の有無を点検する。 ・ハンドホール等内部のケーブル、接地線の損傷劣化等の有無を点検する。
インターホン設備	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の取付け状態の良否及び汚損、損傷等の有無を点検する。 ・音量、明瞭度、雑音、漏話、混線等の異常の有無を点検する。
テレビ共同受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・増幅器の発熱、異音及び損傷の有無を点検する。 ・機器の接栓等の緩みを点検し、増締めを行う。 ・アンテナ等の損傷、錆等の有無を点検する。また、支持部材、支持ボルト等の劣化、損傷及び緩みの有無を点検する。緩みがあれば増締めを行う。
外灯設備 灯具 支持柱 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・灯具の変形、破損、腐食等の有無を点検する。 ・安定器収納部の浸水又はその形跡の有無を点検し、浸水又は形跡がある場合は防水パッキン等を交換する。 ・安定器の絶縁不良等でランプが不点灯の場合は安定器を交換する。 ・ポール内蔵の配線用遮断器等及び配線の接続の良否を点検する。 ・沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。 ・変形、破損及び腐食等の有無を点検する。 ・自動点滅器等（タイマー含む。）の動作を点検する。
場内外監視設備 カメラ モニター等	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の取付け状態の良否及び汚損、損傷等の有無を点検する。 ・映像状態、レンズ動作、ワイパー動作、デフロスター動作、回転台動作の良否を点検する。 ・汚損、損傷等の有無を点検する。 ・映像状態、各スイッチ類の動作の良否を点検する。 ・選局ユニットの動作、スイッチ及び表示灯、ディスプレイ表示状態の確認を行う。

電気設備一覧表

名 称	設備内容	
受変電設備		
1 受電電圧 (本線、予備選)	6. 6KV	
2 契約電力 (本線、予備選)	1700KW	
3 受電用真空遮断器 (本線、予備線)	7. 2KV 600A 12. 5KV × 2台	
4 受電用真空遮断器	7. 2KV 600A 12. 5KV × 1台	
5 高圧配電盤 真空遮断器		
(1) 受電室	7. 2KV 600A 12. 5KV × 17台	
(2) 第二体育館	7. 2KV 600A 12. 5KV × 2台	
(3) イベント室	7. 2KV 600A 12. 5KV × 1台	
(4) 北ロビー	7. 2KV 600A 12. 5KV × 1台	
(5) 防災盤	7. 2KV 600A 12. 5KV × 1台	
(6) 機械棟	7. 2KV 600A 12. 5KV × 3台	
(7) 機械棟系統連系用	7. 2KV 600A 12. 5KV × 2台	
電力設備		
(1) 電灯分電盤	72面	
(2) 動力制御盤	63面	
(3) エレベーター制御盤	2面	
(4) 外灯 (屋外照明)	49台	
}	6灯用 LEDHF400W	5台
	4灯用 LEDHF300W	3台
	1灯用 LEDHF400W 角形投光器	4台
	1灯用LED MF250W	28台
	2灯用LED MF250W	6台
	ソーラーライトLED M35W	2台
(5) 電気設備ハンドホール	63個	

太陽光発電設備

No.	名 称	能 力 等	備 考
1	<p>システム概要</p> <p>連携する電力系統 : 高圧一般配電線 (三相3線、6.6kV、50Hz)</p> <p>発電所の種類 : 太陽電池発電所</p> <p>設備容量 : 太陽電池容量15kW パワーコンディショナ容量 20kW、45kW</p> <p>発電容量</p>	99.0 kW	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池パネル架台A 陸屋根用(2分割設置) W9.256m×H2.013m/1組 ・太陽電池パネル架台B 陸屋根用(2分割設置) W14.121m×H2.700m/1組 ・太陽電池パネル架台 陸屋根用 W16.52m×H9.94m/1組 	<p>3.0 組</p> <p>21.0 組</p> <p>216.0 組</p>	<p>南カフェテリア上部</p> <p>チャーミングエリア</p> <p>第一体育館北門側園地</p>
3	<p>太陽電池モジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結晶系シリコン太陽電池 容 量 : 15kW以上 外形寸法 : W1.318m×H1.004m/1枚 <ul style="list-style-type: none"> ・公称最大出力 : 180.0W ・公称最大出力動作電圧 : 24.2V ・公称最大出力動作電流 : 7.44A ・公称開放電圧 : 29.5V ・公称開放電流 : 8.10A ・単結晶系シリコン太陽電池 容 量 : 45kW以上 外形寸法 : W1.318m×H1.004m/1枚 <ul style="list-style-type: none"> ・公称最大出力 : 210.0W ・公称最大出力動作電圧 : 28.5V ・公称最大出力動作電流 : 7.35A 		<p>南カフェテリア上部</p> <p>チャーミングエリア</p> <p>第一体育館北門側園地</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・接続箱(1) 構 造 : 屋外壁掛形 材 質 : 鋼板製 回路数 : 製造者標準 収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード 配線用遮断器、誘導避雷保護器 その他製造者標準 ・接続箱(2) 構 造 : 屋外壁掛形(SUS製) 材 質 : 製造者標準 	<p>1.0 式</p> <p>1.0 式</p>	<p>南カフェテリア上部</p> <p>チャーミングエリア</p> <p>第一体育館北門側園地</p>

	<p>回路数 : 製造者標準</p> <p>収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード 配線用遮断器、誘導避雷保護器 その他製造者標準</p>		
5	<p>集電箱</p> <p>構造 : 屋外壁掛形 (SUS製)</p> <p>材質 : 製造者標準</p> <p>回路数 : 製造者標準</p> <p>収納機器 : 入力回路断路端子、逆流防止ダイオード 配線用遮断器、誘導避雷保護器 その他製造者標準</p>	1.0 式	第一体育館北門側園地
6	<p>・パワーコンディショナ (1)</p> <p>構造 : 屋内自立式</p> <p>材質 : 鋼板製</p> <p>種類 : 防災対応型系統連係パワーコンディショナ</p> <p>容量 : 20 kW以上</p> <p>定格 : 100%連続</p> <p>外形寸法 : W600×H1900×D700</p> <p>(1) 連系運転</p> <p>最大電力追従機能 : DC 200～400V</p> <p>定格容量 : 20 kW以上</p> <p>出力基本波力率 : 0.95以上 (定格～1/8出力時、無効電力制御時、0.85以上)</p> <p>電流歪率 : 総合5%以下、各次3%以下</p> <p>過負荷耐量 : 110%</p> <p>インバータ方式 : 電圧型電流制御方式</p> <p>電力制御方式 : 最大電力追従制御</p> <p>総合効率 : 92%</p> <p>絶縁方式 : 非絶縁</p> <p>解列方式 : 内蔵電磁開閉器による</p> <p>起動条件 : 330V (Hモード) 10秒</p> <p>停止条件 : 5%20分</p> <p>(2) 自立運転</p> <p>動作電圧範囲 : 200V～500V</p> <p>相数・定格容量 : 三相3線、20 kW以上</p> <p>定格電圧 : 202V</p> <p>定電圧制度 : ±8%以内</p> <p>定格負荷力率 : 1.0</p> <p>負荷力率変動範囲 : 0.7～1.0 (遅れ)</p> <p>電圧波形歪 : 5%以下</p> <p>インバータ方式 : 電圧型電流制御方式</p>	20.0 kW以上	中央監視室裏旧発電機室

	<p>(3) 充電運転 定格充電電圧 : 300V (120セル×2.5V/セル) 出力電圧制度 : ±1.5%以内 (定格入出力時) 定格電流 : 50A</p> <p>・パワーコンディショナ (2)</p> <p>構造 : 屋内自立式 材質 : 鋼板製 種類 : 並列運転対応型系統連係ユニットインバータ 容量 : 45kW以上 運転入力電圧範囲 : DC250~350V程度 外形寸法 : W1200×H1800×D700 出力電圧 : 三相3線202V 電力変換効率 : 90%以上 出力基本波力率 : 0.95以上 高調波許容範囲 : 電流総合5%、各次3%以下 (電流歪率) 電力制御方式 : 最大電力追従制御 保護機能 : 系統連係保護方式</p> <p>・連係保護装置 (インバータに内蔵)</p> <p>インバータ方式 : 低圧配電線用逆潮流あり方式 運転制御機能 : 構内及び系統異常による連系しゃ断 収納保護継電器 : 「系統連係技術要件ガイドライン」に沿って設置</p> <p>指示計 : 直流電圧計 (太陽電池出力) 直流電流計 (太陽電池出力) 交流電圧・電流・電力・周波数 電力計 (インバータ出力)</p> <p>保護機能 : 系統連係保護方式</p>	<p>45.0 kW以上</p> <p>1.0 式</p>	<p>機械棟地下1階</p> <p>既設変圧器盤 (2) 内</p>
7	<p>蓄電池</p> <p>名称 : 制御弁式据置鉛蓄電池 型式 : 長寿命形MSE 電圧・容量 : 2V 1000Ah/10HR 数量 : 120セル 外形寸法 : H168×W466×D168</p>		
8	<p>蓄電池盤</p> <p>構造 : 屋内自立型両面保守 材質 : 鋼板製 外形寸法 : W4200×H1900×D1200 数量 : 1面 (列盤)</p>	<p>1.0 面</p>	<p>中央監視室裏旧発電機室</p>

9	<p>自動切替盤（屋外電灯切替盤）</p> <p>構造：屋内壁掛型</p> <p>材質：鋼板製</p> <p>外形寸法：W500×H400×D160</p> <p>収納機器：電磁接触器、ブレーカー、タイマー等</p> <p>数量：1面</p>	1.0面	
10	<p>電力計測盤</p> <p>構造：屋内壁掛型</p> <p>材質：鋼板製</p> <p>外形寸法：W500×H400×D160</p> <p>収納機器：交流電力トランスジューサー 交流積算電力計</p> <p>数量：1面</p>	1.0面	

発電設備

名 称	設備内容
発電設備	
1 ガス発電機設備	<p>1 式</p> <p>① 同期発電機 1 台</p> <p>定格出力 5 0 0 K W</p> <p>電圧 6 6 0 0 V</p> <p>② エンジン機関 1 台</p> <p>立形単動水冷 4 サイクル火花点火式</p> <p>出力 7 4 0 P S</p> <p>燃料 都市ガス A 1 3</p> <p>③ 盤類</p> <p>発電機盤 1 面</p> <p>同期盤 1 面</p> <p>補機盤 1 面</p> <p>始動用直流電源盤 1 面</p>
2 消火栓ポンプ起動用 発電機(非常用)	<p>1 式</p> <p>① 発電機 1 台</p> <p>定格出力 1 0 0 K V A</p> <p>電圧 2 1 0 / 1 0 0 V</p> <p>② エンジン機関 1 台</p> <p>水冷 4 サイクル</p> <p>出力 1 2 1 P S</p> <p>燃料 軽油</p> <p>③ 蓄電池 1 式</p> <p>シール型据置鉛蓄電池</p> <p>出力 D C 1 2 V</p>
3 南側スプリンクラー 起動用発電機(非常用)	<p>1 式</p> <p>① 発電機 1 台</p> <p>定格出力 9 5 K V A</p> <p>電圧 2 0 0 V</p> <p>② エンジン機関 1 台</p> <p>水冷 4 サイクル</p>

	出力	1 2 5 P S	
	燃料	軽油	
	③ 蓄電池		1 式
	シール型据置鉛蓄電池		
	出力	D C 2 4 V	
4 放水銃	1 式		
起動用発電機(非常用)	① 発電機		1 台
	定格出力	3 5 0 K V A	
	電圧	4 0 0 V	
	② エンジン機関		1 台
	水冷4サイクル		
	出力	4 6 0 P S	
	燃料	A重油	
	③ 蓄電池		1 式
	シール型据置鉛蓄電池		
	出力	D C 2 4 V	
5 北側スプリンクラー	1 式		
起動用発電機(非常用)	① 発電機		1 台
	定格出力	9 5 K V A	
	電圧	2 0 0 V	
	② エンジン機関		1 台
	水冷4サイクル		
	出力	1 2 5 P S	
	燃料	軽油	
	③ 蓄電池		1 式
	シール型据置鉛蓄電池		
	出力	D C 2 4 V	
6 北側控室排煙ファン用	1 式		
起動用発電機(非常用)	① 発電機		1 台
	定格出力	8 5 K V A	
	電圧	2 0 0 V	

② エンジン機関	1 台
水冷 4 サイクル	
出力	1 2 5 P S
燃料	軽油
③ 蓄電池	1 式
シール型据置鉛蓄電池	
出力	D C 2 4 V

中央監視設備(電力用)

名 称	設備内容
1 オペレータコンソール	1式 ① 形式 O Aデスクタイプ ×1台 ② TFT液晶ディスプレイ19型-D 19型 ×1台 ③ 入力装置 キーボード ×1台 ④ ポインターデバイス マウス ×1台 ⑤ 外部記憶装置 光磁気ディスク(内臓) ⑥ 制御装置 ヒューマンインタフェース ステーション(H I S) ×1台
2 ヒューマンインタフェースステーション(H I S)	1台 ① 形式 F A 3 1 0 0 ② CPU 32ビットプロセッサ ③ メインメモリー 256MB ④ 補助記憶装置 ハードディスク(4.34GB) フロッピーディスクドライブ (3.5型、1.44MB対応) ⑤ 表示文字種 英数カナ文字、漢字 (J I S第1、第2水準) ⑥ インタフェース E t h e r n e t (イーサネット)
3 ゲートウェイ	1台(インターフェース盤に収納) ① CPU 32ビットプロセッサ ② 伝送インターフェース 幹線 E t h e r n e t (イーサネット)
4 A3カラープリンタ	1式 ① 印字方式 オゾンレス・ローラ方式 ② 印字文字種 英数カナ文字、漢字 (J I S第1、第2水準)
5 サーバステーション(S V S)	1式(インターフェース盤に収納) ① CPU 32ビットプロセッサ ② 主メモリ 384Mバイト ③ ハードディスク 2GBミラー×1
6 上位インターフェース装置(S I F)	1式(インターフェース盤に収納) ① CPU 32ビットプロセッサ ② 主メモリ 384Mバイト ③ ハードディスク 4.34GBミラー×1

名 称	設備内容
名 称	設備内容
7 下位インターフェース装置(HIM)	1式(インターフェース盤に収納) ① CPU 32ビットプロセッサ ② 主メモリ 128Mバイト ③ ハードディスク 4.34GBミラー×1
8 グラフィックパネル(GP)	1式(グラパネコンソール卓に収納) ① 表示パネル形式 モザイクタイル ② 操作パネル形式 シルク印刷
9 グラフィックパネルコントローラ(GPC)	1式(グラパネコンソール卓に収納) ① 数値演算プロセッサ 16ビットマイクロプロセッサ ② 31.5kステップ
10 UPS装置	1式 ① 電源容量 7.5KVA 10分電源バックアップ ② 入出力電源 入力 単相AC200V 出力 単相3線AC200V/100V
11 スコットトランス	1台(中央監視分電盤内に収納) ① 形式 RNCTQ(スコット) ② 入出力電源 入力 三相AC210V 出力 単相3線AC200V/105V ③ 容量 10KVA

中央監視設備(照明用)	
名 称	設備内容
1 オペレータコンソール	1式 ① 形式 OAデスクタイプ ×1台 ② TFT液晶ディスプレイ19型-D 19型 ×1台 ③ 入力装置 キーボード ×1台 ④ ポインターデバイス マウス ×1台 ⑤ 外部記憶装置 光磁気ディスク(内臓) ⑥ 制御装置 ヒューマンインタフェース ステーション(HIS) ×1台
2 ヒューマンインタフェースステーション(HIS)	1台 ① 形式 FA3100 ② CPU 32ビットプロセッサ ③ メインメモリー 256MB ④ 補助記憶装置 ハードディスク(10GB) フロッピーディスクドライブ (3.5型、1.44MB対応) ⑤ 表示文字種 英数カナ文字、漢字 (JIS第1、第2水準) ⑥ インタフェース Ethernet(イーサネット)
3 上位インターフェイス装置(BAC-netGW)	1式(オペコン下部に収納) ① CPU 32ビットプロセッサ ② 主メモリ 384Mバイト ③ ハードディスク 4.34GBミラー×1
4 リモート入出力ステーション(SR-S6・S8)	1式 ① 形式 LOC(CRT系統) ② LOC ローカルオブジェクトコントローラ
5 グラフィックパネル(GP)	1式(グラパネコンソール卓に収納) ① 表示パネル形式 ② 操作パネル形式

直流電源設備

名 称	設備内容
1 第一体育館高压制御用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC200V 25.5A 出力 DC120.5V 50A ② 蓄電池 陰極吸収式シール形鉛蓄電池 MSE200 54個 200AH
2 第一体育館 アリーナ灯用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC210V 10.7A 出力 DC120.5V 20A ② 蓄電池 陰極吸収式シール形鉛蓄電池 MSE150 54個 150AH
3 第一体育館南足下灯用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC100V 700W 出力 DC118V 5A ② 蓄電池 シール形ペースト HS-30-6E 54セル 30AH
4 第一体育館北足下灯用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC100V 700W 出力 DC118V 5A ② 蓄電池 シール形ペースト HS-30-6E 54セル 30AH
5 第二体育館アリーナ 足下灯用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC100V 700W 出力 DC118V 5A ② 蓄電池 シール形ペースト HS-50-6E 54セル 50AH
6 機械棟高压制御用	1式 ① 整流器 入力 3φ AC210V 5.3A 出力 DC120.5V 10A ② 蓄電池 陰極吸収式シール形鉛蓄電池 MSE-50-12 54個 50AH

名 称	設備内容
名 称	設備内容
2 第二体育館	<p>② ロッカー型音響調整卓 1 式 使用電源 AC100V 50/60HZ モニターパネル 1 式 デジタルイコライザー 1 台 マトリックスミキサー 1 台 オートマチックマイクロホンミキサー 8 回路×2 台 ライン出力 録音・TVライン用各 1 回路</p> <p>③ 移動式音響調整卓 1 卓 マイクラインミキサー 1 台 (10CH) MDデッキ 1 台 CDデッキ 1 台 カセットデッキ 1 台</p> <p>④ 壁型マイクコンセント 7 箇所(6CH アリーナ面壁等) ⑤ アリーナ天井スピーカ 1 式 (6 台) ⑥アリーナ天井フロア方向スピーカ 1 式 (6 台) ⑦ 壁掛スピーカ (アッテネータ付) 3 台 ⑧ 天井埋込スピーカ (アッテネータ付) 10 台 ⑨ 持込機材用レベル変換装置 1 台 ⑩ ワイヤレスマイク 4 CH ⑪ MD/CDデッキ 1 台</p>
3 非常・業務用	<p>① 非常放送設備本体 1 式 使用電源 入力 AC100V 50/60HZ 出力 DC24V 360Wパワーアンプ 3 台 入力回路 非常・業務兼用 マイク×1 アナウンスマシン×1 マイク入力×1・AM/FM×1</p> <p>② スピーカ出力 非常・業務兼用 30 回路</p> <p>③ アリーナスピーカ 2 式 (第一、第二体育館) ④ 天井埋込、壁掛スピーカ 第一体方面 30 第二体方面 13 第一体更衣室、プール等方面 92 附属等方面 21</p>

名 称	設備内容
名 称	設備内容
3 非常・業務用	⑤ プロセニウムスピーカ 7台 (屋外灯) ⑥ 非常用バッテリー 6台(密閉式ニッケル蓄電池 DC24V) 6000mAh/5時間率)
4 第一体育館原宿口	壁掛型アンプ 使用電源 AC100V 50/60HZ 消費電力 60W ワイヤレスチューナー 1台 受信方式 スーパーヘテロダイン水晶発振方式 入力回路 マイク×2・ライン×1
5 室内水泳場	床置型アンプ 使用電源 AC100V 50/60HZ 消費電力 120W 入力回路 マイク×3・ライン×4
6 その他	
(1) 第二体育館正面 入口放送設備	1式
(2) 会議室5 放送設備	1式

防災設備

名 称	設備内容
1 自動火災報知設備	① 複合GR型受信機 1面 防排煙連動型 ② 中継器盤 3面 ③ 感知器 差動式分布型 2個 差動式スポット型 25個 定温式スポット型 137個 煙式スポット型 364個 ④ 発信機 67個 ⑤ 消火栓起動装置 1式
2 排煙・防排煙設備	① 感知器 定温式スポット型 113個 煙式光電式 24個 ② シャッター(連動式) 40台 ③ 防火扉(連動式) 38台 ④ 排煙口 7台 ⑤ 可動垂れ壁(連動式) 2枚 ⑥ ダンパー 66個 ⑦ 排煙機 1基
3 二酸化炭素消火設備	① 制御機器 1式 ② 二酸化炭素容器 22本×48kg
4 ガス漏れ火災警報設備	① G型受信機(予備電源内臓) 2面 ② 検知機(一般型) 21個
5 誘導灯設備	① 通路誘導灯・避難口誘導灯 267台 誘導灯信号装置 4台 ② 足下灯 439台

第一体育館大型映像表示装置・第二体育館電光得点表示装置

名 称	設備内容
第二体育館電光得点表示装置	
1 室内競技表示装置	1 式 ① 壁掛型室内競技表示装置(チャンネルベース含む) 1 台 ② 競技操作盤 1 台 ③ 時間操作盤 1 台 ④ チーム名入力装置 1 台 方式 Windows XP
2 24秒ルール表示装置	1 式 ① ゲームクロック付30秒ルール表示盤 1 台 ② 24秒ルール操作盤 1 台
3 タイムアウト請求機	1 式 ① タイムアウト表示機 1 台 ② タイムアウト請求器 2 台
4 ブザー装置	1 式 ① ブザー装置本体 1 台 ② ブザースイッチ 1 台
5 オフィシャル用 テーブル	1 式

名 称	設備内容
第一体育館大型映像表示装置	
1 室内競技表示装置	1 式 ① 表示面寸法 縦5.7m×横10.5m 表示面積59.8㎡ ② 表示素子 : フルカラーLED素子 (ピュアグリーン使用)
2 大型映像表示制御システム	
ア デジタルシステム機器	① 大型映像画像処理装置 1 式 ② 表示制御端末 (PC1、PC2) 2 式 ③ サーバコンピュータ 2 式 ④ 無停電電源装置 1 式 ⑤ 電源制御部 1 式 ⑥ 光変換盤 1 式 ⑦ インターホン (親機1、子機1) 1 式 ⑧ ウィルスチェック用パソコン (ノートパソコン) 1 式 ⑨ 時刻管理パソコン 1 式 ⑩ コンピュータシステムHUB 2 式 ⑪ 無線LANアクセスポイント 6 式 ⑫ 競技表示端末 (PC3~PC7) 5 式
イ ビデオシステム機器	① モニター棚 1 式 ② 9インチカラーモニター 18 台 ③ 17インチカラーモニター 3 台 ④ 映像操作卓 1 式 ⑤ ビデオ文字発生器 (映像操作卓に実装) 1 式 ⑥ ノンリニア編集機 (映像操作卓に実装) 1 式 ⑦ 静止画作成卓 (映像操作卓に実装) 1 式 ⑧ 波形モニター、ベクトルスコープ (映像操作卓に実装) 1 式 ⑨ VTR1 (民生用HDDレコーダ) 映像機器収納架に実装 1 台 ⑩ VTR2 (ハイビジョン対応) 映像機器収納架に実装 1 台 ⑪ 映像機器収納架 (スイッチャ、分配器等) 1 式 ⑫ HD旋回カメラ (CCU含む) 1 式 ⑬ カメラ中継箱 1 式 ⑭ 移動カメラ 2 式 ⑮ カメラ端子盤 4 式 ⑯ 北側中継端子盤 1 面 ⑰ 渋谷側中継端子盤 1 面 ⑱ 映像表示装置用監視カメラ (東側) 1 台 ⑲ 映像表示装置上部設置用監視カメラ 1 台 ⑳ 操作室 (司令室) 信号端子盤 1 面 ㉑ 9分割装置 (映像機器収納架に実装) 1 台 ㉒ CAMセレクトパネル (映像操作卓に実装) 1 台 ㉓ モニター電源制御パネル (映像機器収納架に実装) 1 台

その他設備（場内外監視カメラ設備・構内電話交換機設備・電気時計設備・天井照明・テレビ共聴設備・第二体育館アリーナ電動可動席）

名 称	設備内容
場内外監視カメラ設備	
1 32型液晶カラーモニター	数量 5台 設置場所 警備室1台、事業課2台、北側選手控室1台、受託業者事務所1台
2 19型液晶カラーモニター	数量 9台 設置場所 警備室3台、事業課4台、中央監視室2台
3 100インチカラーモニター	数量 1台 設置場所 第一体育館北ロビー1台
4 50インチカラーモニター	数量 4台 設置場所 第一体育館北ロビー2台、南ロビー2台
5 ハードディスクレコーダ	数量 1台 設置場所 警備室1台
6 システムコントローラ	数量 3台 設置場所 警備室1台、事業課1台、中央監視室1台
7 4画面ユニット	数量 5台 設置場所 警備室1台、事業課4台
8 シーケンシャルスイッチャー 2系統分配	数量 6台 設置場所 警備室6台
9 マトリクススイッチャー	数量 1式 設置場所 警備室
10 端子盤ユニット	数量 3式 設置場所 警備室、事業課、中央監視室
11 電源制御ユニット	数量 3台 設置場所 警備室、事業課、中央監視室
12 選局ユニット	数量 8台 設置場所 事業室、応接室、事務棟ドーピング検査室、機械室、 第一体育館南選手更衣室、北側特別室、北側選手控室、受託業者事務所
13 機器収納架	数量 4式 設置場所 警備室2式、事業課1式、中央監視室1式
14 映像分配器	数量 14台

名 称	設備内容
15 回転台	数量 6台
16 ハウジング	数量 6台
17 屋外レシーバー	数量 3台
18 ワイパー制御電源部	数量 1式
19 ワイパー本体	数量 1式
20 カラーカメラ	数量 14台 (うち屋外用コンビネーションカメラ10台) 設置場所 警備室、事業課、中央監視室 映像方式 インターライン転送方式
21 リレーBOX	数量 3台
名 称	設備内容
構内電話交換機設備	
1 交換機本体	型式 電子式構内交換機 方式 制御方式 蓄積プログラム制御方式 通話路方式 時分割方式 中継方式 分散中継方式 内線数 容量 200・実装 100 局線数 容量 20・実装 14 電源 AC100V 定格出力 DC48V ±5V 非常用バッテリー 密閉型 鉛蓄電池 DC48V
2 局線表示盤	3面
3 配線盤	67面
名 称	設備内容
電気時計設備	
1 電気時計	① 親時計 形式 QC-665RS 水晶発信 1台 ② 子時計 6回路 47台 ③ 電源部 AC100V DC24V(メモリー用バッテリー内臓)
2 記念時計塔	① 親時計 形式 QT-220R 水晶発信 ② 子時計 4面 2回路 ③ 電源部 AC100V DC25, 5V(メモリー用バッテリー内臓)

名 称	設備内容
天井照明	
1 第一体育館	① メタルハライド1.5kw 178台 ② メタルハライド1.0kw 294台 ③ 水銀灯 136台 ④ ハロゲンライト 80台 ⑤ 天井裏投光器 100台
2 第二体育館	① メタルハライド1.0kw 96台 ② 保安灯 12台 ② 非常灯 4台
3 第二水泳場	① メタルハライド1.0kw 27台 ② 非常灯 (IL40W) 14台 ③ 保安灯 (JD500W) 14台 ④ 光補償灯 (200V用 5SL-201) 14台
名 称	設備内容
テレビ共聴設備	① UHFアンテナ 1基 ② VHFアンテナ 1基 ③ BSアンテナ 1基 ④ BSヘッドエンド 1基 ⑤ RMX-3 1基 ⑥ 混合器 1基 ⑦ 増幅器 (LA-110) 6基 ⑧ 2分配器 2個 ⑨ 4分配器 1個 ⑩ 6分配器 (BSW-D6) 1個 ⑪ 1分岐器 (D-772、D-772A) 4個 ⑫ 2分岐器 (D-774A) 2個 ⑬ 直列ユニット (中間) 5個 ⑭ テレビ端子 16個 ⑮ 機器収納箱 5箱

名 称	設備内容
第二体育館アリーナ電動可動席	①電動式ロールバックスタンド
	Aブロック 4段 7. 227m 2ブロック 72席
	Bブロック 4段 5. 222m 3ブロック 108席
	Cブロック 4段 7. 278m 1ブロック 36席
	Dブロック 4段 7. 277m 2ブロック 72席
	Eブロック 4段 3. 110m 2ブロック 26席
	合 計 10ブロック 314席
	②本体主要部材
	背 高密度ポリエチレンブロー成形品
	座 木製
	パッド生地 ビニルレザー
	前帯板
	リブ
	表面 t1. 6 パンチングメタル 合成樹脂焼付塗装仕上
	厚さ30 ロックウール(32kg) 墨ガラスクロス巻き
	通路部帯板 t12 ナラ化粧合板 クリアラッカー塗装仕上
	(両面貼り、木目方向:縦、木口は同色塗装仕上)
	床仕上 t2. 8 ビニル床シート
	床下地 t18 合板
	支柱 100×50×2. 3 角鋼管 合成樹脂焼付塗装仕上
	アーム t4. 5 鋼板曲げ加工品 合成樹脂焼付塗装仕上
	ローラーカバー t3. 2 鋼板曲げ加工品 合成樹脂焼付塗装仕上
	走行ローラー Φ100 ウレタンゴム車輪
	フロントビーム 50×50×t6 等辺山形鋼 合成樹脂焼付塗装仕上
	リアビーム 200×50×t3. 2 軽薄形鋼 合成樹脂焼付塗装仕上
	プレーシング 50×50×t2. 3 角鋼管 合成樹脂焼付塗装仕上
	フロントパネル t2 パンチングメタル 合成樹脂焼付塗装仕上
③その他	
制御盤 2面	
駆動用モーター 3相200V 0. 2kw	
駆動方法 自走式	
操作方法 リモートスイッチ	
建築床仕上材 フローリング	
設置階数 1階	

機械設備一覧表

空調機

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1	AHU-1	貴賓室空調機	5.50 kw	パッケージ型空調機
2	AHU-3	アリーナ西側空調機	75.00 kw	構造物利用型空調機 (INV制御)
3	AHU-4	アリーナ東側空調機	75.00 kw	構造物利用型空調機
4	AHU-5	バルコニー空調機	22.00 kw	構造物利用型空調機
5	AHU-6	バルコニー空調機	22.00 kw	構造物利用型空調機
6	AHU-11	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
7	AHU-12	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
8	AHU-13	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
9	AHU-14	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
10	AHU-15	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
11	AHU-16	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
12	AHU-17	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
13	AHU-18	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
14	AHU-19	第二体育館空調機	7.50 kw	パッケージ型空調機
15	AHU-20	会議室5 空調機	2.20 kw	パッケージ型空調機
16	AHU-30	室内水泳場空調機	11.00 kw	パッケージ型空調機
17	AHU-31	附属棟会議室空調機	5.50 kw	パッケージ型空調機

ファンコイルユニット

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1		北ロビーFCUNo.1	1.50 kw	床置ダクト形
2		北ロビーFCUNo.2	1.50 kw	床置ダクト形
3		北ロビーFCUNo.3	1.50 kw	床置ダクト形
4		北ロビーFCUNo.4	1.50 kw	床置ダクト形
5		南ロビーFCUNo.1	1.50 kw	床置ダクト形
6		南ロビーFCUNo.2	1.50 kw	床置ダクト形
7		南ロビーFCUNo.3	0.75 kw	床置型

全熱交換機

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1	AEX-1	北ロビー	7.40 kw	パッケージ型全熱交換機
2	AEX-2	北控室北側	7.40 kw	パッケージ型全熱交換機
3	AEX-3	北控室南側	3.00 kw	パッケージ型全熱交換機

送風機

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1	FS-1	ボイラー室送風機	5.50 kw	片吸込シロッコファン
2	FS-2	電気室送風機	11.00 kw	片吸込シロッコファン
3	FS-3	更衣室送風機	2.20 kw	片吸込シロッコファン
4	FS-4	北カフェテリア送風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
5	FS-5	濾過機室送風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
6	FS-6	ポンプ室送風機	0.27 kw	ラインファン
7	FS-7	北倉庫送風機	3.70 kw	片吸込シロッコファン
8	FS-8	B 2 売店送風機	0.75 kw	ラインファン
9	FS-10	選手控室送風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
10	FS-20	室内水泳場発電機室送風機	2.20 kw	片吸込シロッコファン
11	FS-21	室内水泳場濾過機室送風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
12	0F-3	室内水泳場男子更衣室送風機	0.25 kw	ラインファン
13	0F-4	室内水泳場女子更衣室送風機	0.25 kw	ラインファン
14	FS-22	レストラン厨房送風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
15		イベント電源室送風機	0.27 kw	有圧扇
16	F-1-1	室内水泳場天井送風機No.1	0.40 kw	片吸込シロッコファン
17	F-1-2	室内水泳場天井送風機No.2	0.40 kw	片吸込シロッコファン
18	F-1-3	室内水泳場天井送風機No.3	0.40 kw	片吸込シロッコファン
19	FS-1-1	冷温水発生機No.1室送風機	2.20 kw	ラインファン
20	FS-1-2	冷温水発生機No.2室送風機	2.20 kw	ラインファン
21	FS-2	機械棟電気室送風機	2.20 kw	ラインファン
22	FS-3	機械棟発電機室送風機	5.50 kw	ラインファン

PAC (1)

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	MAC-1	特別室PAC室外機	16.0 kw	
		特別室PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
		レセプションルームPAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
		控室(4)PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
		控室(5)PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
		控室(6)PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
2	MAC-2	選手控室用PAC室外機No.1～No. 4	31.5 kw	
		ミーティングルームPAC室内機No.1	10.0 kw	天井埋込形
		ミーティングルームPAC室内機No.2	10.0 kw	天井埋込形
		控室(1)PAC室内機	10.0 kw	天井埋込形
		控室(2)PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
		控室(3)PAC室内機	16.0 kw	天井埋込形
3	AC-1	南更衣室用PAC室外機No.1	28.0 kw	
		女子更衣室PAC室内機No.3	9.0 kw	天井カセット形
		役員室(B)PAC室内機	4.5 kw	天井カセット形
		女子更衣室PAC室内機No.1	9.0 kw	天井カセット形
		女子更衣室PAC室内機No.2	9.0 kw	天井カセット形
4	AC-2	南更衣室用PAC室外機No.2	28.0 kw	
		東側化粧室(B)PAC室内機	4.5 kw	天井カセット形
		女子更衣室PAC室内機No.4	4.5 kw	天井カセット形
		女子更衣室PAC室内機No.5	4.5 kw	天井カセット形
5	AC-3	南更衣室用PAC室外機No.3	28.0 kw	
		男子更衣室PAC室内機No.1	9.0 kw	天井カセット形
		男子更衣室PAC室内機No.2	9.0 kw	天井カセット形
		男子更衣室PAC室内機No.3	9.0 kw	天井カセット形
		役員室(A)PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
6	AC-4	南更衣室用PAC室外機No.4	28.0 kw	
		医務室PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
		西側化粧室(B)PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
		ドーピングルーム検査待合室PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
		ドーピングルーム作業室(1)PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
		ドーピングルーム作業室(2)PAC室内機	9.0 kw	天井カセット形
		男子更衣室PAC室内機No.4	2.8 kw	天井カセット形
男子更衣室PAC室内機No.5	2.8 kw	天井カセット形		

PAC (2)

No.	機番	名 称	能力	備 考
7	AC-5	南更衣室用PAC室外機No.5	28.0 kw	
		更衣室玄関ホールPAC室内機No.1	9.0 kw	天井カセット形
		更衣室玄関ホールPAC室内機No.2	9.0 kw	天井カセット形
		更衣室玄関ホールPAC室内機No.3	9.0 kw	天井カセット形
8	AC-6	南カフェテリア用PAC室外機	58.1 kw	
		南カフェテリアPAC室内機No.1	14.5 kw	天井カセット形
		南カフェテリアPAC室内機No.2	14.5 kw	天井カセット形
		南カフェテリアPAC室内機No.3	14.5 kw	天井カセット形
		南カフェテリアPAC室内機No.4	7.3 kw	天井カセット形
		南カフェテリアPAC室内機No.5	11.6 kw	天井カセット形

9	PAC-1	正面玄関用PAC室外機	11.2 kw	
	PAC-1-1-1	正面玄関PAC室内機No.1	5.0 kw	天井カセット形
	PAC-1-1-2	正面玄関PAC室内機No.2	5.0 kw	天井カセット形
10	PAC-3-1	機械棟発電機室PAC室外機No.1	37.5 kw	
		機械棟発電機室PAC室内機No.1	37.5 kw	床置形 (冷房専用)
11	PAC-3-2	機械棟発電機室PAC室外機No.2	37.5 kw	
		機械棟発電機室PAC室内機No.2	37.5 kw	床置形 (冷房専用)
12	OAC-1	室内水泳場更衣室用PAC室外機	31.5 kw	
	AC-1	室内水泳場男子更衣室用PAC室内機No.1	5.0 kw	天井カセット形
		室内水泳場男子更衣室用PAC室内機No.2	5.0 kw	天井カセット形
		室内水泳場男子更衣室用PAC室内機No.3	5.0 kw	天井カセット形
	AC-2	室内水泳場女子更衣室用PAC室内機No.1	6.3 kw	天井カセット形
		室内水泳場女子更衣室用PAC室内機No.2	6.3 kw	天井カセット形
		室内水泳場女子更衣室用PAC室内機No.3	6.3 kw	天井カセット形
	AC-3	室内水泳場従業員控室用PAC室内機	2.5 kw	天井カセット形
13		園地控室	2.9 kw	
14		機械司令室	12.5 kw	
15		競技司令室	8.0 kw	
16		中央監視室	14.5 kw	天井カセット形
17		中央監視室	3.6 kw	天井カセット形
18		中央監視室	3.6 kw	天井カセット形
19		清掃控室 室外機	4.5 kw	
		清掃控室 室内機	4.5 kw	天吊カセット形
20		日本スポーツ仲裁機構	20.0 kw	
21		日本オリンピックズ協会	20.0 kw	
22	PAC-1	清掃員控室室外機 No.1	8.0 kw	
23	PAC-a	清掃員控室更衣室男子 室内機 No.1	2.2 kw	壁掛形
	PAC-a	清掃員控室更衣室女子 室内機 No.2	2.2 kw	壁掛形
23	PAC-2	清掃員控室室外機 No.2	8.0 kw	
	PAC-b	清掃員控室洋室 (大) 室内機	5.6 kw	壁掛形
	PAC-c	清掃員控室洋室 (小) 室内機	4.5 kw	壁掛形

PAC (3)

No.	機番	名称	能力	備考
24		プール事務室	2.2 kw	
25		有料駐車場	5.0 kw	
26		室内水泳場司令室	7.1 kw	
27		委託員室	5.6 kw	
28		渋谷ロケットボックス	3.6 kw	
29		原宿ロケットボックス	3.6 kw	
30	PAC-1	附属棟会議室室外機	22.4 kw	
	PAC-1-1	附属棟会議室(1)室内機	7.1 kw	床置形
	PAC-1-2	附属棟会議室(2)室内機	7.1 kw	床置形
	PAC-1-3	附属棟会議室(3)室内機	7.1 kw	床置形
31	PAC-2	附属棟会議室(4)室外機	26.0 kw	
	PAC-2-1	附属棟会議室(4)室内機No.1	2.8 kw	4方向カセット形
	PAC-2-2	附属棟会議室(4)室内機No.2	2.8 kw	4方向カセット形
32	PAC-3	附属棟事務室室外機	2.8 kw	
	PAC-3	附属棟事務室室内機	2.8 kw	壁掛形

33		第二体選手控室系PAC室外機	56.0 kw	
		選手控室(A)PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		選手控室(B)PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		役員室PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		役員控室PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		選手控室(C)PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		選手控室(D)PAC室内機	7.1 kw	天井カセット形
		来賓室PAC室内機No.1	5.6 kw	床置形
		来賓室PAC室内機No.2	5.6 kw	床置形
34	PAC-1	第二体西控室PAC室外機	10.0 kw	
		第二体西控室PAC室内機No.1	5.0 kw	天井カセット形
		第二体西控室PAC室内機No.2	5.0 kw	天井カセット形
35	PAC-2	ドーピングルームPAC室外機	5.0 kw	
		ドーピングルームPAC室内機	2.50 kw	
		ドーピングルームPAC室内機	2.50 kw	
36		ドーピングルームPAC	4.0 kw	天井カセット形
37		レストラン系PAC室外機	58.0 kw	
		レストランPAC室内機No.1	29.0 kw	壁ビルトイン形
		レストランPAC室内機No.2	7.3 kw	床置形
		レストランPAC室内機No.3	7.3 kw	床置形
		レストランPAC室内機No.4	7.3 kw	床置形
		レストランPAC室内機No.5	7.3 kw	床置形
38		第二体育館チケットボックス	3.6 kw	
39		機械室	3.6 kw	
40		警備室	9.3 kw	
41		警備室(仮眠室)	0.84 kw	

GHP

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	GHP-1	ガスヒーポン室外機No.1	22.40 KW	
		機械室GHP室内機	2.80 KW	天井カセット形
		電話交換機室GHP室内機	2.80 KW	天井カセット形
		応接室GHP室内機No.1	2.80 KW	天井カセット形
		応接室GHP室内機No.2	2.80 KW	天井カセット形
		ミーティングルームA、GHP室内機No.1	2.80 KW	天井カセット形
		ミーティングルームA、GHP室内機No.2	2.80 KW	天井カセット形
		ミーティングルームB、GHP室内機No.1	2.80 KW	天井カセット形
		ミーティングルームB、GHP室内機No.2	2.80 KW	天井カセット形
2	GHP-2	ガスヒーポン室外機No.2	56.00 KW	
		事業課GHP室内機No.1	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.2	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.3	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.4	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.5	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.6	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.7	3.60 KW	天井カセット形
		事業課GHP室内機No.8	3.60 KW	天井カセット形
		事業課書庫GHP室内機No.1	3.60 KW	天井カセット形
		事業課書庫GHP室内機No.2	3.60 KW	天井カセット形

		打合せコーナー-GHP室内機No.1	3.60 KW	天井カセット形
		打合せコーナー-GHP室内機No.2	3.60 KW	天井カセット形
		事業課会議室GHP室内機No.1	2.80 KW	天井カセット形
		事業課会議室GHP室内機No.2	2.80 KW	天井カセット形
		事業課会議室GHP室内機No.3	2.80 KW	天井カセット形
		事業課会議室GHP室内機No.4	2.80 KW	天井カセット形
		男子更衣室GHP室内機No.1	2.80 KW	天井カセット形
		男子更衣室GHP室内機No.2	2.80 KW	天井カセット形
		女子更衣室GHP室内機	2.80 KW	天井カセット形

全熱交換機（ロスナイ）

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1		事業課	0.154 kw	天吊カセット形全熱交換機
2		事業課	0.154 kw	天吊カセット形全熱交換機
3		事業課	0.154 kw	天吊カセット形全熱交換機
4		ミーティングルームB	0.154 kw	天吊カセット形全熱交換機

排風機・排煙機(1)

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1	FE-1	ボイラー室排風機	7.50 kw	片吸込シロッコファン
2	FE-2	南西便所排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
3	FE-3a	貴賓室排風機	0.90 kw	ラインファン
4	FE-3b	ラウンジ排風機	0.90 kw	ラインファン
5	FE-4	電気室排風機	11.00 kw	片吸込シロッコファン
6	FE-5	バッテリー室排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
7	FE-6	南東便所排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
8	FE-7a	南ロビー排煙機	0.10 kw	有圧扇
9	FE-7b	南ロビー排煙機	0.10 kw	有圧扇
10	FE-8a	南ロビー排煙機	0.10 kw	有圧扇
11	FE-8b	南ロビー排煙機	0.10 kw	有圧扇
12	FE-9	北西便所排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
13	FE-10	北東便所排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
14	FE-11	北西倉庫排風機	3.70 kw	片吸込シロッコファン
15	FE-12a	更衣室排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
16	FE-12b	更衣室便所排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
17	FE-13	イベント電源室排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
18	FE-14	北カフェテリア排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
19	FE-15	西倉庫排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
20	FE-16	濾過機室排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
21	FE-17	ポンプ室排風機	0.27 kw	ラインファン
22	FE-18	北倉庫排風機	3.70 kw	片吸込シロッコファン
23	FE-19	北東アリーナ男子便所排風機	0.27 kw	ラインファン
24	FE-20	給湯室排風機	0.08 kw	ラインファン
25	FE-21	北東アリーナ女子便所排風機	0.40 kw	ラインファン
26	FE-22	B 2 売店排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
27	FE-23	特別室便所排風機	0.08 kw	ラインファン
28	FE-30	アリーナ西側排風機	30.00 kw	両吸込シロッコファン
29	FE-31	アリーナ東側排風機	30.00 kw	両吸込シロッコファン (INV制御)
30	FE-32	アリーナ天井排風機	11.00 kw	両吸込シロッコファン
31	FE-33	アリーナ天井排風機	11.00 kw	両吸込シロッコファン
32		第一体育館第二変電室排気	0.40 kw	有圧扇
33	FE-40	ロビー排気No.1	2.20 kw	片吸込シロッコファン
34	FE-41	ロビー排気No.2	2.20 kw	片吸込シロッコファン
35	FE-42	選手控室排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
36	FE-43	床下排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
37	FE-44	玄関排風機	3.70 kw	片吸込シロッコファン
38	FE-45	第二体育館東南倉庫排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
39	FE-46	第二体育館東南便所排風機	1.50 kw	片吸込シロッコファン
40	FE-47	第二体育館男子便所排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
41	FE-48	第二体育館女子便所排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
42	FE-49	第二変電室排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン

43	FE-50	来賓室排風機	0.40 kw	片吸込シロッコファン
44	FE-51	レストラン厨房排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
45	FE-52	事務棟更衣室排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
46	FE-53	事務棟便所排風機	0.30 kw	片吸込シロッコファン
47		ドーピングルーム	0.15 kw	片吸込シロッコファン

排風機・排煙機(2)

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
48	FE-60	室内水泳場排風機	7.50 kw	片吸込シロッコファン
49	FE-61	室内水泳場便所排風機	0.28 kw	ラインファン
50	FE-62	室内水泳場男子更衣室排風機	0.09 kw	ラインファン
51	FE-63	室内水泳場女子更衣室排風機	0.09 kw	ラインファン
52	FE-5	室内水泳場女子更衣室排風機	0.30 kw	片吸込シロッコファン
53	FE-64	室内水泳場発電機室排風機	0.20 kw	片吸込シロッコファン
54	FE-65	室内水泳場濾過機室排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
55	FE-66	南カフェテリア前便所排風機	0.27 kw	片吸込シロッコファン
56	FE-67	南カフェテリア排風機	0.75 kw	片吸込シロッコファン
57	FE-3	附属棟会議室入口脇男女便所排風機	0.13 kw	ラインファン
58	FE-4	附属棟会議室(1)横倉庫排風機	0.17 kw	ラインファン
59	DF-1	附属棟会議室(4)横倉庫排風機	0.039 kw	天井扇
60		ブライントーク室排風機	0.35 kw	ラインファン
61		給水ポンプ室排気ファン	2.20 kw	片吸込シロッコファン
62		北ロビー排煙機No.1-1	0.09 kw	ラインファン
63		北ロビー排煙機No.1-2	0.09 kw	ラインファン
64		北ロビー排煙機No.1-3	0.09 kw	ラインファン
65		北ロビー排煙機No.1-4	0.09 kw	ラインファン
66		北ロビー排煙機No.1-5	0.09 kw	ラインファン
67		北ロビー排煙機No.1-6	0.09 kw	ラインファン
68		北ロビー排煙機No.1-7	0.09 kw	ラインファン
69		北ロビー排煙機No.1-8	0.09 kw	ラインファン
70		北ロビー排煙機No.1-9	0.09 kw	ラインファン
71		北ロビー排煙機No.1-10	0.09 kw	ラインファン
72		北ロビー排煙機No.1-11	0.09 kw	ラインファン
73		北ロビー排煙機No.1-12	0.09 kw	ラインファン
74		北ロビー排煙機No.1-13	0.09 kw	ラインファン
75		北ロビー排煙機No.1-14	0.09 kw	ラインファン
76		北ロビー排煙機No.1-15	0.09 kw	ラインファン
77		北ロビー排煙機No.1-16	0.09 kw	ラインファン
78		北ロビー排煙機No.2-1	0.09 kw	ラインファン
79		北ロビー排煙機No.2-2	0.09 kw	ラインファン
80		北ロビー排煙機No.2-3	0.09 kw	ラインファン
81		北ロビー排煙機No.2-4	0.09 kw	ラインファン
82		北ロビー排煙機No.2-5	0.09 kw	ラインファン
83		北ロビー排煙機No.2-6	0.09 kw	ラインファン

84		北ロビー排煙機No.2-7	0.09 kw	ラインファン
85		北ロビー排煙機No.2-8	0.09 kw	ラインファン
86		北ロビー排煙機No.2-9	0.09 kw	ラインファン
87		北ロビー排煙機No.2-10	0.09 kw	ラインファン
88		北ロビー排煙機No.2-11	0.09 kw	ラインファン
89		北ロビー排煙機No.2-12	0.09 kw	ラインファン
90		北ロビー排煙機No.2-13	0.09 kw	ラインファン
91		北ロビー排煙機No.2-14	0.09 kw	ラインファン
92		北ロビー排煙機No.2-15	0.09 kw	ラインファン
93		北ロビー排煙機No.2-16	0.09 kw	ラインファン
94	FE-1-1	冷温水発生機No.1室排風機	2.20 kw	ラインファン

排風機・排煙機(3)

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
95	FE-1-2	冷温水発生機No.2室排風機	2.20 kw	ラインファン
96	FE-2	機械棟電気室排風機	2.20 kw	ラインファン
97	FE-3	機械棟発電機室排風機	5.50 kw	ラインファン
98	FE-4	機械棟ポンプ室排風機	0.25 kw	ラインファン
99	DF-1	清掃員控室 男子更衣室	0.021 kw	天井扇
100		清掃員控室 女子更衣室	0.021 kw	天井扇
101		清掃員控室 洋室(大)	0.021 kw	天井扇
102		清掃員控室 洋室(小)	0.021 kw	天井扇
103	DF-2	清掃員控室 シャワー室男子	0.0145 kw	天井扇
104		清掃員控室 シャワー室女子	0.0145 kw	天井扇
105	DF-3	清掃員控室 便所	1.0145 kw	天井扇
106	DF-4	清掃員控室 湯沸室	0.032 kw	天井扇
107		室内水泳場正面ロビー前階段下屋外男子	0.160 kw	ストレートシロッコファン

熱源

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	R-1	ターボ冷凍機No.1	125 kw	冷凍容量 633kw
2	R-2	ターボ冷凍機No.2	125 kw	冷凍容量 633kw
3	CT-1	冷凍機用冷却塔No.1	900 kw	冷却塔ファン7.5kw×1、FRP製角型
4	CT-2	冷凍機用冷却塔No.2	900 kw	冷却塔ファン7.5kw×1、FRP製角型
5	RH-1	冷温水発生機No.1	700 USRT	ガス焚吸収式冷温水発生機
6	RH-2	冷温水発生機No.2	700 USRT	ガス焚吸収式冷温水発生機
7	RH-3	冷温水発生機No.3	30 USRT	ガス焚冷温水発生機（冷却塔一体型）
8	CT-1	冷温水発生機用No.1	4,395 kw	冷却塔ファン5.5kw×4
9	CT-2	冷温水発生機用No.2	4,395 kw	冷却塔ファン5.5kw×4
10		園地控室温水ボイラー	4.40 kw	電気式温水ボイラー
11	CHR-1	空冷ヒートポンプチラー	12 HP	冷房能力33.5KW、暖房能力42.5KW
12	CHR-2-1	空冷ヒートポンプチラー	20 HP	冷房能力45.0KW、暖房能力50.0KW
13	CHR-2-2	空冷ヒートポンプチラー	20 HP	冷房能力45.0KW、暖房能力50.0KW
14	BO-1	バックヒーター	1,160 kw	鋼板製真空式温水ボイラー
15	BO-2	バックヒーター	1,160 kw	鋼板製真空式温水ボイラー

第二種圧力容器

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	EXT-1	密閉型隔膜式膨張タンク	0.78 Mpa	内容積500ℓ / サブプール温水
2	EXT-2	密閉型隔膜式膨張タンク	0.49 Mpa	内容積16.6ℓ / 会議室
3	EXT-3	密閉型隔膜式膨張タンク	0.49 Mpa	内容積16.6ℓ / 来賓室

熱交換器

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	TEX-1	サブプール用（プレート式）	465 kw	一次側80℃・伝熱面積19.35㎡

冷却水水質管理

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		発生機用導電率給水ユニットNo.1		
2		発生機用導電率給水ユニットNo.2		
3		発生機用薬注ユニットNo.1		
4		発生機用薬注ユニットNo.2		
5		冷凍機用導電率給水ユニットNo.1		
6		冷凍機用導電率給水ユニットNo.2		
7	TS-1	冷凍機用薬注ユニットNo.1	0.022 kw	クーリングタワー室
8	TS-2	冷凍機用薬注ユニットNo.2	0.022 kw	クーリングタワー室

受水槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		飲料水用受水槽	80 m3	FRPサンドイッチパネル型
2		サブプール用受水槽	m3	コンクリート製

一般貯湯槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	ST-1	ストレージタンクNo.1	5 m3	加熱コイルなし
2	ST-2	ストレージタンクNo.2	5 m3	加熱コイルなし

蓄熱槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		冷房用蓄熱槽	200 m3	コンクリート製

汚水槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		第一体育館 西汚水槽	30 m3	コンクリート製
2		第一体育館 トレンチ排水槽	5 m3	コンクリート製
3		第一体育館 北東便所汚水槽	7 m3	コンクリート製
4		第一体育館 特別室汚水槽	3 m3	コンクリート製

ブライン水槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		ブライン水槽	60.0 m3	コンクリート製
2		ブライン溶解槽	20.0 m3	コンクリート製

屋外汚水枡・雑排水枡

No.		名 称	数量	備 考
1		汚水枡	28.0 か所	マンホール蓋：鋳鉄製防臭型
2		雑排水枡	19.0 か所	マンホール蓋：鋳鉄製防臭型

給水・冷暖房・給湯用ポンプ

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1		給水ポンプNo.1	15.00 kw	上水給水用
2		給水ポンプNo.2	15.00 kw	上水給水用
3		給水ポンプNo.3	15.00 kw	上水給水用
4		サブプール給水ポンプNo.1	2.20 kw	インドア50給水用 (水中ポンプ)
5		サブプール給水ポンプNo.2	2.20 kw	インドア51給水用 (水中ポンプ)
6	HWP-1	給湯循環ポンプNo.1	0.75 kw	
7	HWP-2	給湯循環ポンプNo.2	0.75 kw	
8		ストレージ攪拌ポンプNo.1	0.20 kw	
9		ストレージ攪拌ポンプNo.2	0.20 kw	
10	BP2-1	ブライン二次ポンプNo.1	15.00 kw	スケートリンク用
11	BP2-2	ブライン二次ポンプNo.2	15.00 kw	スケートリンク用
12		ブライン回収ポンプ	5.50 kw	スケートリンク用
13		ブライン補給ポンプ	0.75 kw	溶解槽→ブライン水槽 (水中ポンプ)
14		ブライン返送ポンプ	0.75 kw	ブライン水槽→溶解槽 (水中ポンプ)
15	CDP-1	冷凍機用冷却水ポンプNo.1	18.50 kw	
16	CDP-2	冷凍機用冷却水ポンプNo.2	18.50 kw	
17	CP-1	冷凍機用冷水ポンプNo.1	3.70 kw	
18	CP-2	冷凍機用冷水ポンプNo.2	3.70 kw	
19	CHP-1	冷凍機用冷温水ポンプNo.1	7.50 kw	
20	CHP-2	冷凍機用冷温水ポンプNo.2	7.50 kw	
21	CHP-1-1	一次冷温水ポンプNo.1	22.00 kw	第一体冷暖房用
22	CHP-1-2	一次冷温水ポンプNo.2	22.00 kw	第一体冷暖房用
23	CHP-2-1	二次冷温水ポンプNo.1	45.00 kw	第一体冷暖房用 (INV制御)
24	CHP-2-2	二次冷温水ポンプNo.2	45.00 kw	第一体冷暖房用 (INV制御)
25	CDP-1	発生機用冷却水ポンプNo.1	45.00 kw	
26	CDP-2	発生機用冷却水ポンプNo.2	45.00 kw	
27	TP-1	プール用温水ポンプ	7.50 kw	インドア50用 片吸込渦巻ポンプ
28	TP-2	プール用温水ポンプ	7.50 kw	インドア50用 片吸込渦巻ポンプ
29	STP-1	給湯一次ポンプ	1.50 kw	ステンレス製ラインポンプ
30	STP-2	給湯一次ポンプ	1.50 kw	ステンレス製ラインポンプ
31	CHP-1	冷温水ポンプ	2.20 kw	会議室空冷ヒートポンプチラー用
32	CHP-2	冷温水ポンプ	1.50 kw	来賓室空冷ヒートポンプチラー用
33	CHP-3	冷温水ポンプ	1.50 kw	来賓室空冷ヒートポンプチラー用

各種排水ポンプ

No.	機番	名 称	定格出力	備 考
1		西便所排水ポンプNo.1	3.70 kw	水中ポンプ
2		西便所排水ポンプNo.2	3.70 kw	水中ポンプ
3		トレンチ排水ポンプNo.1	3.70 kw	水中ポンプ
4		トレンチ排水ポンプNo.2	3.70 kw	水中ポンプ
5		アリーナ東便所排水ポンプNo.1	5.50 kw	水中ポンプ

6		アリーナ東便所排水ポンプNo.2	5.50 kw	水中ポンプ
7		特別室排水ポンプNo.1	0.75 kw	水中ポンプ
8		特別室排水ポンプNo.2	0.75 kw	水中ポンプ
9		逆洗槽排水ポンプNo.1	5.50 kw	水中ポンプ
10		逆洗槽排水ポンプNo.2	5.50 kw	水中ポンプ
11		プール配管ヒート槽排水ポンプ	0.25 kw	水中ポンプ
12		飛込プール排水ポンプ	0.75 kw	水中ポンプ
13		サブトレンチ排水ポンプNo.1	0.75 kw	水中ポンプ
14		サブトレンチ排水ポンプNo.2	0.75 kw	水中ポンプ
15		西デットマン排水ポンプ	kw	水中ポンプ
16		西アンカー排水ポンプ	kw	水中ポンプ
17		東デットマン排水ポンプ	kw	水中ポンプ
18		東アンカー排水ポンプ	kw	水中ポンプ
19	PD-1-1	機械棟雑排水ポンプNo.1	1.50 kw	水中ポンプ
20	PD-1-2	機械棟雑排水ポンプNo.2	1.50 kw	水中ポンプ
21	PD-2-1	機械棟雨水排水ポンプNo.1	1.50 kw	水中ポンプ
22	PD-2-2	機械棟雨水排水ポンプNo.2	1.50 kw	水中ポンプ
23		冷凍機用冷却塔室排水ポンプ	0.25 kw	水中ポンプ
24		南スプリンクラーポンプ室排水ポンプ	0.25 kw	水中ポンプ

プール濾過設備

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1	SF-1A	循環濾過器A	59.7 m ³ /h	全自動砂式
2	SF-1B	循環濾過器B	59.7 m ³ /h	全自動砂式
3	SF-2	オーバーフロー濾過器	59.7 m ³ /h	全自動砂式
4	HC-1A	A号用ヘアキャッチャー		バスケット形
5	HC-1B	B号用ヘアキャッチャー		バスケット形
6	HC-2	オーバーフロー用ヘアキャッチャー		バスケット形
7	FP-1A	A号用循環ポンプ	7.5 kw	
8	FP-1B	B号用循環ポンプ	7.5 kw	
9	FP-2	オーバーフロー用循環ポンプ	7.5 kw	
10	CHC-1	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	125 CC/min	ダイヤフラム式
11	CHG-1a	濾過助剤注入ポンプ(A号用)	15 CC/min	ダイヤフラム式
12	CHG-1b	濾過助剤注入ポンプ(B号用)	15 CC/min	ダイヤフラム式
13	CHG-2	濾過助剤注入ポンプ(オーバー)	15 CC/min	ダイヤフラム式
14	C-1	計装用コンプレッサー		75L/min×0.93Mpa (圧力開閉器式)
15	AD-1	エアドライヤー	0.28 m ³ /min	
16	PM-1	水質モニター		ORP計・残留塩素計・PH計
17	O-1	循環濾過用オゾン滅菌器	50 g-03/H	板式無声放電式
18	T-1	オーバーフロータンク	28 m ³	F R P パネルタンク
19	WT-1	次亜塩素酸ソーダ貯槽	1 m ³	PE製円筒立型
20	WT-2	濾過助剤貯槽	200 L	PVC製角型

屋内消火栓設備・連結送水管設備(1)

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1	消火栓No.1	第一体育館B2F 移動席裏通路		
2	消火栓No.2	第一体育館B2F 暖房室脇		
3	消火栓No.3	第一体育館B2F 通路①		
4	消火栓No.4	第一体育館B2F 通路②		
5	消火栓No.5	第一体育館B2F 通路③		
6	消火栓No.6	第一体育館B2F 通路④		
7	消火栓No.7	第一体育館B2F 通路⑤		
8	消火栓No.8	第一体育館B2F 通路⑥		
9	消火栓No.9	第一体育館B2F サブプール内		
10	消火栓No.10	第一体育館B2F サブ女子更衣室		
11	消火栓No.11	第一体育館B2F メインホール		
12	消火栓No.12	第一体育館B2F 貸靴倉庫脇		
13	消火栓No.13	第一体育館B2F 司令室倉庫脇		
14	消火栓No.14	第一体育館B2F A倉庫脇		
15	消火栓No.15	第一体育館B2F 玄関ホール		
16	消火栓No.16	第一体育館B2F ボイラー室		
17	消火栓No.17	第一体育館B2F 北ロビー倉庫内		
18	消火栓No.18	第一体育館B1F 飛込台裏①		
19	消火栓No.19	第一体育館B1F 飛込台裏②		
20	消火栓No.20	第一体育館B1F 第一会議室		
21	消火栓No.21	第一体育館B1F 貴賓室		
22	消火栓No.22	第一体育館B1F 貴賓室通路		
23	消火栓No.23	第一体育館B1F 中通路①		
24	消火栓No.24	第一体育館B1F 中通路②		
25	消火栓No.25	第一体育館 1F 渋谷口テンパ①		消防隊用連結送水管採水口併設
26	消火栓No.26	第一体育館 1F 渋谷口テンパ②		
27	消火栓No.27	第一体育館 1F 北コンコース①		
28	消火栓No.28	第一体育館 1F 北ロビー①		
29	消火栓No.29	第一体育館 1F 北ロビー②		
30	消火栓No.30	第一体育館 1F 北コンコース②		
31	消火栓No.31	第一体育館 1F 北コンコース③		
32	消火栓No.32	第一体育館 1F 原宿口テンパ①		
33	消火栓No.33	第一体育館 1F 原宿口テンパ②		消防隊用連結送水管採水口併設
34	消火栓No.34	第一体育館 1F 南コンコース①		
35	消火栓No.35	第一体育館 1F 南ロビー①		
36	消火栓No.36	第一体育館 1F 南ロビー②		
37	消火栓No.37	第一体育館 1F 南コンコース②		
38	消火栓No.38	第一体育館 1F 南コンコース③		
39	消火栓No.39	第一体育館 2F 南側観客席①		
40	消火栓No.40	第一体育館 2F 南側観客席②		

屋内消火栓設備・連結送水管設備（２）

No.	機番	名 称	能 力	備 考
41	消火栓No.41	第一体育館 2F 南側観客席③		
42	消火栓No.42	第一体育館 2F 北側観客席①		
43	消火栓No.43	第一体育館 2F 北側観客席②		
44	消火栓No.44	第一体育館 2F 北側観客席③		
45	消火栓No.45	事務棟 通路①		
46	消火栓No.46	事務棟 通路②		
47	消火栓No.47	第二体育館B1F 東倉庫前		
48	消火栓No.48	第二体育館B1F ロビー		
49	消火栓No.49	第二体育館B1F 西倉庫前		
50	消火栓No.50	第二体育館B1F ロビーテンパ①		
51	消火栓No.51	第二体育館B1F ロビーテンパ②		
52	消火栓No.52	第二体育館 1F 正面テンパ		消防隊用連結送水管採水口併設
53	消火栓No.53	第二体育館 1F 観客席上部①		
54	消火栓No.54	第二体育館 1F 観客席上部②		
55	消火栓No.55	第二体育館 1F 観客席上部③		
56	消火栓No.56	第二体育館 1F 観客席上部④		
57	消火栓No.57	レストラン		
58	消火栓No.58	レストラン①		消防隊用連結送水管採水口併設
59	消火栓No.59	レストラン②		
60	消火栓No.60	事務棟 第二会議室		
61	消火栓No.61	第一体育館B2F ポンプ室前		
62	消火栓No.62	第一体育館B1F 北ロビー③		
63		正面入口横連結送水管送採水口		消火栓併設型配管
64		冷却塔前連結送水管送採水口		消火栓併設型配管
65		原宿口スロープ 連結送水管送採水口		消火栓併設型配管
66		消火栓ポンプ	15 kw	

スプリンクラー設備

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1		第一体育館北側B2F用自動警報弁		
2		第一体育館北側B1F用自動警報弁		
3		第一体育館南側B2F用自動警報弁		
4		第一体育館南側B1F用自動警報弁		
5	補助散水栓	サブプール濾過器室		
6		北側スプリンクラー用ポンプ	18.5 kw	
7		南側スプリンクラー用ポンプ	18.5 kw	
8		第一体育館北側SP系統補給水槽	1 m3	F R P パネルタンク
9		第一体育館南側SP系統補給水槽	1 m3	F R P パネルタンク
10		北側SP系統用送水口		
11		南側SP系統用送水口		

放水銃設備

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1		監視制御盤		
2		放水銃操作卓		
3		放水銃		
4		走査型火炎検出器（北側）		
5		走査型火炎検出器（南側）		
6		放水銃用ポンプ	132.0 kw	
7		補助加圧ポンプ	18.5 kw	
8		エアコンプレッサー	18.5 kw	
9		放水銃用送水口		

消防水槽

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		屋内消火栓用消防水槽	20 m3	
2		北SP・放水銃用消防水槽	80 m3	コンクリート製
3		南スプリンクラー用消防水槽	16 m3	コンクリート製

消防水利

No.	機番	名 称	能力	備 考
1		消防隊用採水口	2 口	単口型×2
2		貯水槽	750 m3	インドア50プール

排煙設備

No.	機番	名 称	能力	備 考
1	FSM-24	北控室排煙機	30.00 kw	片吸込シロッコファン

トイレ・シャワー・手洗い (1)

No.	場 所	洋便器	和便器	身障者用	小便器	手洗い	S K	シャワー
1	第一体育館 北西アリーナ男子	2	1	1	4	3		
2	第一体育館 北西アリーナ女子	2	3	1		3	1	
3	第一体育館 北東アリーナ男子	2	1		8	3		
4	第一体育館 北東アリーナ女子	29	3			19	1	
5	第一体育館 特別室	1				2		1
6	第一体育館 南東アリーナ男子	2	1	1	4	3		
7	第一体育館 南東アリーナ女子	2	3	1		3	1	
8	第一体育館 シャワー室男子/脱衣室					1		6
9	第一体育館 シャワー室女子/脱衣室					1		6
10	第一体育館 男子女子便所・身障者便所	2		1		3		
11	第一体育館 医務室					1		
12	第一体育館 ドーピングルーム検体採取室	2				2		
13	第一体育館 正面玄関脇 男子	1	1		2	2		
14	第一体育館 正面玄関脇 女子	1	1			2		
15	第一体育館 機械室		1			1		
16	第一体育館 電気室	1			1	1	1	
17	第一体育館 北ロビー西側男子	2	1		6	4	1	
18	第一体育館 北ロビー西側女子	18	1			9		
19	第一体育館 北ロビー東側男子	2	1		6	4	1	
20	第一体育館 北ロビー東側女子	18	1			9		
21	第一体育館 北東身障者			1		1		
22	第一体育館 南西身障者			1		1		
23	第一体育館 南ロビー西側男子	3	1		7	3	1	
24	第一体育館 南ロビー西側女子	8	3			5		
25	第一体育館 南ロビー東側男子	5	1		7	4	1	
26	第一体育館 南ロビーみんなのトイレ			1		1		
27	第一体育館 南ロビー東側女子	15	2			5		
28	第一体育館 貴賓室男子	2			3	2		
29	第一体育館 貴賓室女子	2				2	1	
30	第一体育館 清掃員控室		1					
31	第一体育館 原宿口屋外男子	2			6	4	1	
32	第一体育館 原宿口屋外女子	6	1			4	1	
33	第一体育館 渋谷口屋外男子	1	1		3	2	1	
34	第一体育館 渋谷口屋外女子	2	1			2		
35	室内水泳場正面ロビー前階段下屋外男子	1			1	1	1	
36	室内水泳場正面ロビー前階段下屋外女子	1				1		
37	室内水泳場正面ロビー前階段下屋外多機能			1		2		
38	室内水泳場 更衣室男子	1	1		4	4		11

トイレ・シャワー・手洗い (2)

No.	場 所	洋便器	和便器	身障者用	小便器	手洗い	S K	シャワー
39	室内水泳場 更衣室女子	2	2			3		9
40	室内水泳場 強制シャワー男子							8
41	室内水泳場 強制シャワー女子							8
42	室内水泳場 関係者通路男子	1			1	1		
43	室内水泳場 関係者通路女子	1				1		
44	附属棟会議室入口脇男子	1			3	2	1	
45	附属棟会議室入口脇女子	3				3		
46	附属棟会議室入口脇身障者			1		1		
47	南カフェテリア前 男子	2			3	2	1	
48	南カフェテリア前 女子	2				1		
49	附属棟 従業員	1			1	1		
50	第二体育館 1F身障者			1		1		
51	第二体育館 西便所男子	6			13	4	1	
52	第二体育館 西便所身障者			1		1		
53	第二体育館 西便所女子	12				8	1	
54	第二体育館 東便所男子	2	1		16	7	1	
55	第二体育館 東便所女子	11	2			11	1	
56	第二体育館 来賓室	1				2		
57	第二体育館 選手控室A	1			1	1		2
58	第二体育館 選手控室B	1			1	1		2
59	第二体育館 選手控室C	1				1		2
60	第二体育館 選手控室D	1				1		2
61	第二体育館 役員控室	1			1	1		2
62	事務棟 男子	1	2		5	3	1	
63	事務棟 女子	1	2			3		
64	事務棟 ドーピングルーム	2				2	1	
65	レストラン 男子	1			1	1		
66	レストラン 女子	1				1		
67	レストラン 従業員		1			1		
68	園地控室	1						1
	合 計	193	41	12	108	185	21	60

水道量水器

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1	CFL-001	レストラン	65 A	パルス発信機付
2	CFL-002	第二体育館 西便所	65 A	()
3	CFL-003	事務棟 テニス更衣室	40 A	パルス発信機付
4	CFL-004	第二体育館 東便所	80 A	パルス発信機付
5	CFL-005	事務棟系統	100 A	パルス発信機付
6	CFL-006	第一体育館 南正面系統	100 A	パルス発信機付
7	CFL-007	室内水泳場	100 A	パルス発信機付
8	CFL-008	南カフェテリア横 便所	50 A	パルス発信機付
9	CFL-009	第一体育館 正面屋外便所	50 A	パルス発信機付
10		室内水泳場正面ロビー前階段下屋外便所	40 A	パルス発信機、量水器BOX付
11	CFL-011	南カフェテリア	25 A	パルス発信機付
12	CFL-012	室内水泳場受水槽	80 A	パルス発信機付
13	CFL-014	メインプール受水槽	150 A	パルス発信機付
14	CFL-015	直結遠隔測定用	40 A	パルス発信機付
15	CFL-017	給水ヘッダー親	200 A	パルス発信機付
16	CFL-018	第一体育館 南ロビー東便所	80 A	パルス発信機付
17	CFL-019	ストレージタンク	125 A	パルス発信機付
18	CFL-020	第一体育館 南東アリーナ系統	50 A	パルス発信機付
19	CFL-021	第一体育館 南東アリーナ便所	50 A	パルス発信機付
20	CFL-022	第一体育館 北西アリーナ系統	65 A	パルス発信機付
21	CFL-023	第一体育館 北西アリーナ便所	50 A	パルス発信機付
22	CFL-024	第一体育館 メインプールシャワー室	80 A	パルス発信機付
23	CFL-025	第一体育館 冷凍機用冷却塔	50 A	パルス発信機付
24	CFL-027	第一体育館 北ロビー系統	100 A	パルス発信機付
25	CFL-029	第一体育館 北東アリーナ便所	50 A	パルス発信機付
26	CFL-030	渋谷口屋外便所	50 A	パルス発信機付
27	CFL-親	都水道給水親	200 A	パルス発信機付 (東京都水道局所有)
28		都水道直結	40 A	(東京都水道局所有)
29		都水受水槽	200 A	パルス発信機付
30		サブプール補給水	50 A	パルス発信機付
31		発生機用冷却水給水	75 A	パルス発信機付
32		発生機用冷却水排水	65 A	パルス発信機付
33		オリンピックプラザ主幹	80 A	パルス発信機付
34		オリンピックプラザ (主幹80A) 2次側 No. 1	80 A	
35		オリンピックプラザ (主幹80A) 2次側 No. 2	80 A	
36		第一体育館 B2売店	40 A	パルス発信機付
37		第一体育館 北カフェテリア	40 A	パルス発信機付
38		第二体育館 売店	20 A	パルス発信機付
39		ターボ冷凍機用冷却水給水	50 A	パルス発信機付
40		ターボ冷凍機用冷却水排水	65 A	パルス発信機付
41		食堂発生機用冷却水給水	25 A	パルス発信機付
42		食堂発生機用冷却水排水	40 A	パルス発信機付

ガスメーター

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1		中圧ガスボイラー	600 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
2		中圧ガス発電機	150 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
3		中圧ガス冷温水発生機No.1	250 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
4		中圧ガス冷温水発生機No.2	250 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
5		低圧ガスGHP	16 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
6		低圧ガス第一食堂	25 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
7		低圧ガス南カフェテリア	10 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
8		低圧ガス食堂用冷温水発生機	10 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)
9		低圧ガス第二食堂	16 号	パルス発信機付 (東京ガス所有)

中央監視設備

No.	機番	名 称	能 力	備 考
1	MCU	中央監視盤装置（機械室）		
2	MCU	中央監視盤装置（電気室）		
3	UIC	設備統合コントローラー		
4	1-DGP-B3-1(1)	機械棟DGP(1)		
5	1-DGP-B3-1(2)	機械棟DGP(2)		
6	1-DGP-B2-1(1)	第一体育館 ボイラー室DGP(1)		
7	1-DGP-B2-1(2)	第一体育館 ボイラー室DGP(2)		
8	1-DGP-B2-1(3)	第一体育館 ボイラー室DGP(3)		
9	1-DGP-B2-1(4)	第一体育館 ボイラー室DGP(4)		
10	1-DGP-B2-1(5)	第一体育館 ボイラー室DGP(5)		
11	1-DGP-B2-1(6)	第一体育館 ボイラー室DGP(6)		
12	1-DGP-B2-2(1)	第一体育館 B2北西機械室DGP(1)		
13	1-DGP-B2-2(2)	第一体育館 B2北西機械室DGP(2)		
14	1-DGP-B2-3	第一体育館 B2北東機械室DGP		
15	1-DGP-B2-4	第一体育館 ブラインク室DGP		
16	1-DGP-B2-5	第一体育館 電気室DGP		
17	1-DGP-B2-6	第一体育館 インドア50DGP		
18	1-DGP-B2-7	第一体育館 インドア50トレンチDGP		
19	1-DGP-B2-8	第一体育館 インドア50濾過器室DGP		
20	1-DGP-B1-1	第一体育館 B1南西機械室DGP		
21	1-DGP-B1-2	第一体育館 B1北西機械室DGP		
22	1-DGP-B1-3	第一体育館 B1北東機械室DGP		
23	1-DGP-B1-4	第一体育館 B1南東機械室DGP		
24	1-DGP-B1-5	第一体育館 冷凍機CT室DGP		
25	1-DGP-B1-6(1)	第一体育館 給水ポンプ室DGP(1)		
26	1-DGP-B1-6(2)	第一体育館 給水ポンプ室DGP(2)		
27	1-DGP-B1-7	第一体育館 旧第一食堂機械室		
28	2-DGP-B1-1	第二体育館 変電室DGP		
29	2-DGP-B1-2	第二体育館 第二会議室DGP		
30	2-DGP-B1-3	第二体育館 階段室DGP		
31	2-DGP-B1-4	第二体育館 AHU-11室DGP		
32	2-DGP-B1-5	第二体育館 AHU-12室DGP		
33	2-DGP-B1-6	第二体育館 AHU-13室DGP		
34	2-DGP-B1-7	第二体育館 AHU-14室DGP		
35	2-DGP-B1-8	第二体育館 AHU-15室DGP		
36	2-DGP-B1-9	第二体育館 AHU-16室DGP		
37	2-DGP-B1-10	第二体育館 AHU-17室DGP		
38	2-DGP-B1-11	第二体育館 AHU-18室DGP		
39	2-DGP-B1-12	第二体育館 AHU-19室DGP		

エレベーター設備

No.	機番	名 称	能 力	
1	EV-1	乗用兼車いす用エレベーター 機械室レス インバーター制御方式 型式：P-11-CO45 積載質量：750kg-45m/min-B2F・B1F 初期微動感知地震時管制運転付（P波及びS波） 定員：11名 電動機容量 リモートメンテナンスインターフェース付 同時通話式インターホン	3.5kW	日立ビルシステム㈱製 第一体育館外構部
2	EV-2	乗用兼車いす用エレベーター 機械室レス インバーター制御方式 型式：P-11-CO45 積載質量：750kg-45m/min-B2F・B1F・1F 初期微動感知地震時管制運転付（P波及びS波） 定員：11名 電動機容量 リモートメンテナンスインターフェース付 同時通話式インターホン	3.5kW	日立ビルシステム㈱製 第一体育館外構部
3	EV-3	人荷用エレベーター 機械室付ロープ式 可変電可変周波数制御方式 型式：VFⅢ 積載質量：250kg-45m/min-B2F・2F 地震時S波管制装置、監視盤付 定員：3名 電動機容量 同時通話式インターホン	2.7kW	日本エレベーター製造㈱製 第一体育館渋谷口側

警備巡回業務巡回要領

時 間	業 務 内 容	巡 視 場 所 ・ 経 路	留 意 事 項	備 考
8:00	上		業務引継ぎ(申し送りは詳細に行う。)・預かり金庫確認	
8:30~	受付業務	警 備 室 内	①来場者への対応 ②鍵の貸出し(清掃控室、休養室、駐車場一括、西小門、医務室、プール・スケート改札、第一体育館利用団体、第二水泳場指令室)等 ③庶務課及び業務課の金庫渡し	
9:30~11:00	<午前の巡視> 場内外全般巡視	警備室 → 北側2階席上部通路 → 原宿口 → 南側2階席上部通路 → 北コンコース → 北ロビー → 南コンコース → 南ロビー → 貴賓室及び第一会議室 → 貴賓室裏階段 → アリーナ指令室から左手に曲がる → 西階段裏階段 → 西ランプ → 東ランプ → 東階段裏階段 → 清掃控室 → 男女更衣室 → 正面アンバー → 改札ロビーから外へ → 売店階段昇る → *1 プロムナードを原宿口へ → *2 原宿口を左へ → 北車門 → 聴集練場 → オリジナルピクアラザ → 渋谷口便所 → *3 第二体育館入口 → 第二食堂屋上 → 有料駐車場入口 → 渋谷アラザ → 西門 → テニスコート前 → 事務棟真入口 → *4 事務棟境 → 第二体育館ロビー → 芝地 → スタンド上部通路 → 第二体育館アンバー → 役員及び選手控室 → 事務棟 → 警備室	【一般的な留意事項】 火気点検、施設確認、誘導灯・消火栓ランプの球切れ、消火栓の確認、消火器・感知器位置の確認、浮浪者・不審者への注意、清掃確認、ガラス・屋外設備の破損、入場者の携帯品の紛失処置、設備の故障(ガス・水道・電気)等、危険物貯蔵所の安全、無許可貼紙の撤去等 学生・勤人が昼休みを利用して、野球・サッカー等をするところがあるので注意する。 *1 芝地立入禁止の確認 *2 原宿口鉄柵ピスの欠落の有無 *3 チケットボックスの確認 *4 大会・水泳教室等の入場者の確認	* 適時放送により注意
13:15~14:00	<午後の巡視> 第二体育館外周中心	午前の巡視参照	①渋谷口地下便所に浮浪者が荷物を置いていっていることがある。 ②第二体育館前の池で子供が遊んでいることがある。 ③正面入口前の植込みより芝地への通り抜け禁止 ④シンパヤアラザ付近の球技禁止	
14:30~15:30	第一体育館外周中心	警備室 → *12 センタープロムナード → *3 原宿プロムナード → *4 原宿口アンバー → 原宿口屋外消火栓 → *5 原宿口案内板[原宿口広場] → 電話ボックス → *6 鉄柵の外周 → 北門 → 鉄柵の内周を東ランプへ → *7 東ランプ出口 → 西ランプ出口 → *8 聴集練場 → オリジナルピクアラザ裏広場 → 北門 → オリジナルピクアラザ西側柵沿い歩道 → NHK御門 → テニスコート → *9 オリジナルピクアラザ → 渋谷プロムナード → 渋谷アラザ → *10~*12 外周歩道沿い → 原宿口案内板 → 原宿プロムナード → *13 第二水泳場階段段[下] → *14 サービスヤード[505裏口] → *15 乙の事務所 → *16 改札・正面玄関 → スポーツ売店階段[上がる] → 警備室	*1 第二会議室屋上に浮浪者が荷物を置いていっていることがある。 *2 プロムナード花壇で休んでいる浮浪者に注意 *3 原宿口アンカーより屋上へ侵入防止 *4 浮浪者に注意 *5 ①広場で無許可球技等の禁止 ②無許可貼紙の撤去 *6 ①ピスの欠落の有無 ②ガムテープ、無許可貼紙の撤去 ③地下タンク貯蔵所及びび灯油・ガソリン貯蔵タンクの安全に注意 *7 東西ランプ周辺の非煙操作盤あり *8 火気に注意 *9 浮浪者が寝具を置いていっていることがある *10 落書きに注意 *11 無許可貼紙に留意 *12 ①落書きに注意 ②岸記念体育会館前石垣への登攀防止 *13 ①落書きに注意 ②浮浪者の侵入防止 *14 浮浪者の荷物がある。 *15 自販機破損の有無 *16 浮浪者注意	

時 間	業 務 内 容	巡 視 場 所 ・ 経 路	留 意 事 項	備 考
15:30～16:00	<第二体育館内巡視>	警備室 → 事務棟 → 西便所・西倉庫 → *1 ロビー → *2 芝地 → 正面テニスパール → スタンド後部一周 → 東倉庫 → *3 役員選手控室(5ヶ所) → 来賓室 → 事務棟 → 警備室	*1 ①天井の感知器が、バスケット練習で脱落していることがある ②ロビー窓際の清掃 *2 ①東便所外側芝地の階段付近に、浮浪者が荷物を置いていていることがある ②廊外者立入禁止 *3 ①消火器の位置が移動していることがある ②役員室の感知器が、煙草の煙で発報し、防火戸が閉まることがある * 施設・設備の損傷、故障の有無 * 入場者の携帯品が紛失しないような処置、不審者への注意 * 火気点検	
16:00～16:30	<巡 視> 第一体育館1F・B2	警備室 → 正面テニスパール → 出札ロビー → 男女更衣室 → アリーナー一周 → 貴賓室裏階段 → 貴賓室 → 南ロビー → 南コンコース → 便所 → 北コンコース → 警備室		
16:00～16:40	作業報告書・警備日誌記入作成			
18:10～18:40	西側通用門閉鎖及び巡視	警備室 → 管理課事務室 → 談話室 → *1 休養室 → *2 理髪室 → テニス更衣室 → 西側通用門 → 渋谷口便所施設 → 警備室	*1 冷暖房、TV *2 理髪室にガス・電気・冷暖房あり	
17:00～	受付業務・消防機器の監視		* 20:10 第二水泳場専用利用の入場者報告(業務課事業第二係) * 21:00 有料駐車場閉鎖(大会開催等により延長営業あり) 継 *1 スポーツ売店の外観確認	大会開催日は、使用した場所を必ず点検 * 適時放送により注意
20:00～21:00	<夜の巡視> 第一体育館	警備室 → 出札ロビー → *1 乙の控室 → 階段下便所施設 → 第二水泳場内 → 南側選手更衣室 → アリーナー → 西暖房室 → 西ランブ → 塵集機場 → *2 東ランブ → 北側選手更衣室 → 東暖房室 → 清掃控室 → 南コンコース → 渋谷口 → 北コンコース → 原宿口 → 南ロビー・貴賓室・同裏階段 → 南側選手更衣室 → 医務室 → 正面テニスパール → 警備室 警備室 → 女子更衣室 → *1 男子更衣室 → *2 湯沸室 → *3 スタッフルーム → *4 事務室(庄務課・管理課・業務課) → *5 場長室 → *6 電話機棟 → 事務棟裏入口 → 事務棟・第二体育館環境 → 西便所・西倉庫 → ロビー → 東便所 → 第二体育館正面テニスパール → スタンド後部通路一周 → *7 東倉庫 → *8 役員・選手控室(5ヶ所) → *9 事務棟 → 警備室	*1 冷暖房機その他、排風機もあり。尚冷暖房は女子更衣室にもあり *2 ガスの元栓、排風機もあり *3 中庭出口、冷暖房機もあり *4 中庭出口(6ヶ所)カーテン閉めているので施設の確認に注意 *5 中庭出口(2ヶ所) 冷暖房機もあり *6 中庭出口、冷暖房機もあり *7～*9 電気の消し忘れに注意	
21:30～21:50	<北門閉鎖・巡視>	警備室 → *1 北門 → *2 センタープロムナード(B1)とその下B2 → *3 有料駐車場 → 警備室 * 警備室内スイッチによる。	*1 周辺に無許可駐車の有無 *2 浮浪者の有無 *3 不審者の有無	
22:30 24:00～5:00	誘導灯消灯 仮 眠		* 電気係職員が退室したのち、催物の事後清掃終了確認のうえ、指令室分電盤で天井照明の消灯等を行う。 * 催物の設置・撤去終了後確認のうえ、指令室分電盤で天井照明の消灯等を行う。 * 電気関係警報装置(警備室に設置)が作動した場合、ただちに電気室内のモニターで作動位置を確認のうえ、電気係職員に電話連絡を行い、協議により業務を行う。	

時 間	業 務 内 容	巡 視 場 所 ・ 経 路	留 意 事 項	備 考
6:00~7:00	朝の巡視 第一体育館 第二体育館 事 務 棟	警備室 → 第一体育館北コンコース → 仮設便所 → 原宿ロタンパー → 南ロビー → 渋谷ロタンパー → 第二体育館正面ランパー → 二階席上部通路一周 → ロビー → 事務棟内外 → 警備室 西側通門・北門・渋谷口便所・階段下便所 *警備室内スイッチによる。	* 部外者の侵入の形跡、ガラスの破損の有無、屋内より外周の異常の有無の確認 * 大の散歩、浮浪者等の立ち入り防止	
8:30	下 番		* 業務申し送り * 警備日誌、作業報告書の提出	

自主検査チェック票（日常） 「火気関係」 平成 年 月

実施責任者		担当区域			巡回区域内			
日	曜日	実施事項						
		ガス器具 ホースの劣 化	電気器具配 線の劣化・ 損傷	火気設備器 具の設置・ 使用状況	タバコの吸 殻処理	倉庫等の施 錠の確認	就業時の火 気の確認	その他（共用部分の 可燃物の有無等）
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								

備考 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告すること。

凡例 ○ 良好 × 不備 ● 即時改修

防火管理者	
-------	--

自主検査チェック票（日常） 「閉鎖障害等」 平成 年 月

実施責任者		担当区域				巡回区域内（第一体育館）						
日	曜日	避難障害及び閉鎖障害等										備考
		避難口		廊下避難通路		階段		防火戸		防火シャッター		
		地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												

備考 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告すること。

凡例 ○ 良好 × 不備 ● 即時改修

防火管理者	
-------	--

自主検査チェック票（日常） 「閉鎖障害等」 平成 年 月

実施責任者		担当区域				巡回区域内（第二体育館）						
日	曜日	避難障害及び閉鎖障害等										備考
		避難口		廊下避難通路		階段		防火戸		防火シャッター		
		地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	地下 1階	地下 2階	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												

備考 不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告すること。

凡例 ○ 良好 × 不備 ● 即時改修

防火管理者	
-------	--

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	フロアマット	扉ガラス	ガラス洗浄	什器備品	カウンター等	ロッカー	ゴミ箱・ごみ収集	サイフォン	吹出口及び吸込口	手すり	洗面台	鏡	衛生器具	小便器下シートの敷き	衛生消耗品	汚物容器	流し台	厨房器具	排水口・排水溝	水中クリーナー	水面浮遊物	スノコ	大理石部	自販機	除菌	備品整理	園地その他	巡回その他	備考
----	------	---	------	-----------	------	----------	--------	------	-------	------	--------	------	----------	-------	----------	-----	-----	---	------	------------	-------	------	-----	------	---------	---------	-------	-----	------	-----	----	------	-------	-------	----

A3:園地日常巡回清掃 (実施日:毎日)

A3	各入口前広場(原宿口・渋谷口・第二体育館正面・西倉庫前)	1F・B1F	敷石	8,650																															
A3	フロムナムード	1F	敷石	4,500																				年2										排水溝;プロムナムードの南北側の蓋を外して清掃する。	
A3	屋外便所渋谷口	屋外B1F	磁器タイル	50																															
A3	構内道路	屋外B1F	アスファルトコンクリート	1,260																															排水口;構内道路の排水桁
A3	園地	屋外B1F	芝、樹木	24,174																															エレベーター;扉部や押しボタン部等の清掃を行う。

B 第一体育館大空清掃業務 (清掃要求法票により指示された日に実施)

B1:大空事前清掃 B4:大空事後清掃

B1-4	アリーナ面	B2F	寄木	4,000																																		
B1-4	シャワー室(男・女)	B2F	磁器タイル+樹脂製スノコ	60																																		
B1-4	身障者便所+男子女子便所	B2F	長尺シート	19																																		
B1-4	司令室横便所(2ヶ所)	B2F	磁器タイル	55																																		
B1-4	正面玄関ホール便所	B2F	磁器タイル	25																																		
B1-4	南ロビー便所(東西男子女子便所各2箇所+みんなのトイレ各1箇所)	B1F	ビニル床タイル	203																																	ジェットタオル、ベジニーシートの拭き掃除を含む。	
B1-4	北ロビー便所(東西2箇所)	B1F	磁器タイル	203																																ジェットタオル、ベジニーシートの拭き掃除を含む。		

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
B1-4	B2車庫便所	B2F	磁器タイル	55	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	B2東ランプ便所	B2F	磁器タイル	190	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	B2西側便所	B2F	磁器タイル	55	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	コンコース身障者便所(南北)	1F	長尺シート	8	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	屋外便所(原宿口)	屋外B1F	磁器タイル	50	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
A3	屋外便所渋谷口	屋外B1F	磁器タイル	50	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	スタンド(1・2階)(身障者席南北 2箇所含む。)	1・2F	磁器タイル+ゴム シート+ビニル床タ イル	4,420	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	南北ロビー	B1F	ビニル床タイル	1,900	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	特別室(シャワー室及びトイレを 含む。)	B2F	ゴムタイル・長尺 シート	65	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	北側運手控室廻り(特別室以外)	B2F	長尺シート	615	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	コンコース	1F	磁器タイル	3,900	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	東西ランプ通路	B2F	コンクリート	320	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	ダッグアウト(アリーナ外周)	B2F	ウレタン系塗り床+ ノンスリップタイル	340	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	中庭前通路・階段	B2F・屋外B1F	磁器タイル	360	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	競技役員控室(A・B)	B2F	長尺シート	302	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	
B1-4	機械室前通路	B2F	ウレタン系塗り床	110	弾性床・硬質床 裏床(硬質床)	シャワー スタンションド アリーナ等	

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃		床の清掃(洗浄)		洗面台	手すり	洗面台	衛生器具	衛生器具 消耗品	汚物容器	流し台	排水口・排水溝	水中クリーナー	水面浮遊物	スノコ	大理石部	自販機	備品整理	巡回その他	備考
					弾性床・硬質床 (樹脂床)	弾性床・硬質床 (樹脂床)	弾性床・硬質床 (樹脂床)	弾性床・硬質床 (樹脂床)																
B8: 第一体育館ドレーピング検査他清掃																								
B8-①	ドレーピング検査待合室、作業室	B2F	長尺シート	49																				
B8-②	ドレーピング検査待合室	B2F	長尺シート	28																				
B9: 第一体育館来賓室清掃																								
B9	来賓室・ラウンジ便所	B1F	磁器タイル	35																				
B10: 第一体育館周回道路清掃																								
B10	敷地周回歩道	場外	アスファルト舗装 み等	※																				※五輪歩道橋下から北門先の境界線までの間を作業範囲とする。
C: 第二体育館大会清掃業務 (清掃要求伝票により指示された日に実施)																								
C1: 大会事前清掃 C4: 大会事後清掃																								
C1-4	玄関ホール (チケットBOXを含む)	1F	磁器タイル	300																				記念品売店売り場を含む
C1-4	コンコース	1F	ビニル床タイル/ 大理石	450																				コンコース入口三角コーナーの天板部(大理石)拭き取り等を含む。
C1-4	ロビー	B1F	磁器タイル	747																				
C1-4	スタンド(身障者席4席含む。)	1F	ビニル床タイル/ 床コムタイル	1,700																				記念品売店売り場を含む スタンド中通路部落下防止壁天板部 の拭き取りを含む。
C7	1階身障者便所	B1F	内部:ビニル床 シート/通路部:磁 器タイル	30																				身障者トイレ壁・建具の拭き取り、通 路部壁面の拭き取りを含む。
C1-4	フロアー	1F	香木	1,000																				
C1-4	移動席及び収納スペース	1F	香木	267																				
C1-4	食堂連絡通路	B1F	磁器タイル	80																				

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (m ²)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
C1-4	西控室	B1F	長尺シート	50	弾性床、硬質床、複合質床 シャワールーム スタンションド アリーナ等	ブルーサイド 建物外部 全面水拭き 剥離洗浄 一般床洗浄 表層物等 建物外部	
C1-4	更衣室前廊下	B1F	長尺シート	60			
C1-4	更衣室(役員室・スタッフルームを含む。)	B1F	長尺シート	84			
C1-4	東側便所(前室含む。)	B1F	ビニール床シート	160			
C1-4	西側便所(身障者トイレ含む。)	B1F	ビニール床シート	152			身障者トイレ、器具、ベビーカー等の拭き取りを含む。
C1-4	更衣室(シャワー室含む)便所	B1F	磁器タイル	33			
C1-4	ウォームアップ走路	1F	人工芝	334			
C1-4	喫煙スペース	1F	コンクリート	40			
C2:巡回清掃(8時間) C3:巡回清掃(4時間)							
C2-3	(大会事前・事後清掃の箇所及び来賓室)						行事(本行)時間中に2時間おきに巡回する。
C5:第二体育館団体利用清掃							
C5	玄関ホール (チケットBOXを含む。)	1F	磁器タイル	300			記念品売店売り場を含む
C5	ロビー	B1F	磁器タイル	747			
C5	フロアー	1F	香木	1,000			
C5	更衣室前廊下	B1F	長尺シート	60			
C5	更衣室(役員室・スタッフルームを含む。)	B1F	長尺シート	84			

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
C5	東側便所(前室含む。)	B1F	ビニール床シート	160	弾性床・硬質床(床)	全面水洗拭き	
C5	西側便所(身障者トイレ含む。)	B1F	ビニール床シート	152	シャワー・トイレ等	全面水洗拭き	身障者トイレ壁・建具、ペヒューチエア等の拭き取りを含む。
C5	更衣室(シャワー室含む)便所	B1F	磁器タイル	33	アクリル・樹脂等	全面水洗拭き	

C6:第二体育館来賓室清掃

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
C6	来賓室・貴賓室便所	B1F	ホモニアタイル・大理石	53	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	

D 第一体育館・第二体育館大会館室清掃業務

(清掃要求伝票により指示された日に実施)

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
D1	ドーベンホール(トイレ含む)	B1F	ビニール床シート	43	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	
D2	ミーティングルームA	B1F	ビニール床シート	50	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	
D3	ミーティングルームB	B1F	ビニール床シート	27	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	
D4	応接室	B1F	ジュータン	28	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	
D5	会議室 5	B1F	長尺シート	117	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	
D6	事務横便所(トイレ2箇所)	B1F	磁器タイル	50	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	

E 附属棟会議室清掃業務

(清掃要求伝票により指示された日に実施)

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃	床の清掃(洗浄)	備考
E1	共用部(廊下・男子女子便所・身障者便所)	B1F	ビニール床シート	167	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	共用部入口扉の清掃を含む。
E2	会議室 1	B1F	タイルカーペット	71	エポキシ樹脂床	全面水洗拭き	しみ取りまし、しみ取り剤を用いて行う。 適量、間仕切りの拭き取りを行う。

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃			床の清掃(洗浄)			備考																																
					弾直性床・硬質床・樹脂床	スタンプ・リノール等	シャワー・アルミ等	付着物等	表面洗浄	剥離	全建物外部	建物外部	ブルサイド	フロアマット	原ガラス	ガラス洗浄	什器備品	カウンタート等	ロッカー	ゴミ箱・ごみ収集	サッシ・金物等	芸術作品	サイフォン	吹出口及び吸込口	手すり	洗面台	鏡	衛生器具	小便器下シート敷き	衛生消耗品	汚物容器	流し台	厨芥器	排水口・排水溝	水中クリーナー	水面浮遊物	スノコ部	大理石	自販機	除菌	備品整理	巡回その他	
E3	会議室 2	B1F	タイルカーペット	67	○			適			○					○		○	○		○															○							しみ取りをしみ取り剤を用いて行う。 適宜、間仕切りの拭き取りを行う。
E4	会議室 3	B1F	タイルカーペット	55	○			適			○					○		○	○		○																	○				しみ取りをしみ取り剤を用いて行う。 適宜、間仕切りの拭き取りを行う。	
E5	会議室 4	B1F	タイルカーペット	91	○			適			○					○		○	○		○																○				しみ取りをしみ取り剤を用いて行う。 適宜、間仕切りの拭き取りを行う。		
F 定期清掃業務等																																											
F1: 第一体育館玄関ロビー清掃																																											
F1	第一体育館玄関ロビー	B2F	磁器タイル	887	○				○		○							○	○	○	○																			記念品売店売り場を含む			
F2: 第一体育館スタンド水洗清掃 F3: 第一体育館コンコース水洗清掃																																											
F2	第一体育館スタンド	1・2F	ビニル床タイル	1,058							○										○																						
F3	第一体育館コンコース	1F	磁器タイル	3,900							○										○																						
F4: 第一体育館南ロビー清掃 F5: 第一体育館北ロビー清掃																																											
F4	第一体育館南ロビー	B1F	ビニル床タイル	740							○										○																				剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない		
F5	第一体育館北ロビー	B1F	ビニル床タイル	1,160							○										○																			剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない			
F6: 第一体育館南選手更衣室 F7: 第一体育館北控室(1)～(4)、レゼプションルーム、ミーティングルーム、特別室清掃																																											
F6	競技役員控室(A・B)	B2F	長尺シート	302							○										○																						
F6	南更衣室	B2F	長尺シート	500							○										○																						
F7	特別室(シャワー室及びトイレを含む。)	B2F	ゴムタイル	65							○										○																						

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (m ²)	床の清掃		床の清掃(洗浄)		フロアマット	扉ガラス	ガラス洗浄	什器備品	カウンタ等	ロッカー	床皿	こみ箱・こみ収集	サッシ・金物等	芸術作品	吹き出し口	カーテン	手すり	洗面台	鏡	衛生機器	小便器	衛生用紙	汚物容器	流し台	排水器具	排水口・排水溝	水中クリーナー	水面浮遊物	スノコ	大理石部	自販機	自販機	掃除機	備品整理	床のその他	巡回その他	備考
					弾性床、硬質床、複合床	弾性床、硬質床	全面水洗	剥離																																	

F 定期清掃業務等

F9: 第二体育館玄関ホール水洗清掃 F10: 第二体育館ロビー水洗清掃 F11: 第二体育館コンコース水洗清掃

F9	第二体育館玄関ホール(チケットBOXを含む。)		磁器タイル	300							○																																		
F10	第二体育館ロビー		磁器タイル	747							○																																		
F11	第二体育館コンコース		ビニル床タイル/大理石	450							○																																		コンコース入口三角コーナーの天板部(大理石)拭き取り等を含む。

F12 第二体育館定期清掃

F12	玄関ホール		磁器タイル	300							○																																							
F12	コンコース		ビニル床タイル/大理石	450							○																																		コンコース入口三角コーナーの天板部(大理石)拭き取り等を含む。					
F12	ロビー		磁器タイル	747							○																																							
F12	スタンド(身障者席4席含む。)		ビニル床タイル/床ゴムタイル	1,700							○	年1																																						
F12	1階身障者便所		内部・ビニル床シート/通路部:磁器タイル	30	○						○	年1																																						
F12	フロア		香木	1,000																																														
F12	移動席・収納スペース		香木	267																																														
F12	食堂連絡通路		磁器タイル	80								○																																						
F12	西控室		長尺シート	50																																														
F12	東側便所(前室含む。)		ビニル床シート	160																																														

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	床の清掃		床の清掃(洗浄)										備考																						
					弾性床、 軟質床 (硬質床)	繊維床 アクリル ナイロン 等	セラミック タイル等	建物外 部等	付着物 洗浄等	剥離 洗浄	全 面 拭 き	建物外 部	ブルック サイド	フロア マット	原 位 洗 浄	ガラス 洗 浄		什器備 品	カウン ター等	ロッカ ー	灰皿 ・ こみ箱 ・ こみ 収集	サッシ ・ 金物 等	壁 紙	芸術 作品	吹出口 及び 吸込 口	手すり	洗面 台	鏡	衛生器 具	下 消 器	トイレ 敷 き	衛生器 具	汚物 容器	洗面 台	排水器 具	排水 溝	水中ク リー ナー	水面浮 遊物	スノコ 部
F14	室内水泳場プールサイド	B1F	磁器タイル	230																																			目洗い場排水口、プールサイドオーバーフロー排水口の高压洗浄作業を実施する。
F14	室内水泳場男女更衣室	B2F	磁器タイル	132																																		屋外マンホール排水口の高压洗浄のほか、更衣室内の排水溝、洗面台排水口の高压洗浄作業を実施する。	
F14	室内水泳場男女シャワー室	B2F	磁器タイル	40																																	男女シャワーブース排水口の高压洗浄作業を実施する。		
F14	室内水泳場水槽内	B1F	磁器タイル	※																																	※(プール機械)50mm×12m床新設000㎡水深1.25m。壁面部清掃を含む。 なお、環排水溝の蓋の安全点検作業・清掃を実施する。		
F14	室内水泳場シャワー室(男子/女子)2箇所	B2F	磁器タイル	44																																	更衣室内の排水溝、洗面台排水口の高压洗浄作業を実施する。		

F15 事務機定期清掃

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	清掃周期	清掃内容	備考
F15	管理事務室・廊下(ホールを含む)・会議室・予約室・電話機械室・スタッフルーム・職員更衣室	B1F	ビニルフロア	767	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない
F15	整備室前ロビー・職員更衣室(シャワー室含む)・湯沸室	B1F	磁器タイル	110	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない
F15	応接室	B1F	ジュータン	28			
F15	ドーパーンタクルーム(トイレ含む)	B1F	ビニル床シート リウム貼	43	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない
F15	ミーティングルームA	B1F	ビニル床シート リウム貼	50	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない
F15	ミーティングルームB	B1F	ビニル床シート リウム貼	27	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない
F15	事務所貸付部分	B1F	Pタイル	132	年1	剥離洗浄	剥離洗浄時は表面洗浄は実施しない

(清掃要求伝票により指示された日に実施)

F16 附属会議室定期清掃

記号	作業場所	階	床材質等	面積 (㎡)	清掃周期	清掃内容	備考
F16	共用部廊下・男子女子トイレ、身障者便所	B1F	ビニル床シート	167	年1	剥離洗浄	
F16	会議室 1	B1F	タイルカーペット	71			しみ取り部については、必要に応じてハイパンプ等による補修を行う。また、適宜間仕切りの損傷取りを行う。

清掃作業内容

【別紙5-2】

作業項目	作業内容
床の清掃	
弾性床・硬質床	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」a.「部分水拭き」による。
弾性床・硬質床(便所・更衣室)	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」b.「全面水拭き」による。
繊維床	「共仕」第4編第2章表2.1.3の1.「除塵」及び2.1.3の2.「しみ取り」による。しみ取りは監督職員と協議する。
アリーナ	真空掃除機及びフロアモップで掃き、集めたごみは所定の場所まで搬出する。
スタンド等	掃き掃除によりごみを収集し、集めたごみは所定の場所に搬出する。
シャワールーム	適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きをする。
建物外部	掃き掃除によりごみ、落ち葉等を収集し、集めたごみは所定の場所に搬出する。
付着物等	床材を傷つけないように除去する。
床の清掃(洗浄)	
表面洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.1の4.「洗浄」a.「表面洗浄」による。
一般床洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.2の4.「洗浄」c.「一般床洗浄」による。
剥離洗浄	「共仕」第4編第2章表2.1.1の4.「洗浄」b.「剥離洗浄」による。 床維持材塗布回数は、2層(第一体育館)3層(第二体育館・事務棟)とする。
全面水拭き	「共仕」第4編第2章表2.1.1の1.「除塵」及び2.1.1の2.「水拭き」b.「全面水拭き」による。
建物外部	「共仕」第4編第2章表3.4.2「床・洗浄」による。
プールサイド	汚水等をプール水槽内へ入れないよう留意の上、洗剤とデッキブラシで汚れを除去し、水洗いを行う。
フロアマット	真空掃除機で吸塵する。
扉ガラス	汚れが目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
扉	汚れが目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
ガラス	汚れが目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。必要に応じ適正洗剤を使用する。
ガラス洗浄	「共仕」第4編第2章表3.1.1「窓ガラス洗浄」による。
什器備品	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。
カウンター等	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。
座席	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。
ロッカー	内部のごみを収集し、タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。
灰皿	吸殻を収集し、灰皿はタオルで拭く。必要に応じ吸殻に水をかけ、灰皿に水を張る。
ごみ箱・ごみ収集	「共仕」第4編第2章表2.2.1(A)の2.「床以外の清掃」e.「ごみ箱・ごみ収集」及び2.3.1「ごみ収集」各項目による。 ごみ箱の袋を交換し、周辺の異常の有無を確認する。
サッシ金物等	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。汚れた部分は水又は適正洗剤を用いて拭く。
壁	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。
芸術作品	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。
サイン	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。
吹出口及び吸込口	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。
カーテン	付着した汚れを除去し、カーテンを閉めた状態にする。
手すり	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。
窓台	「共仕」第4編第2章表2.2.8(A)の2.「床以外の清掃」b.「窓台・除塵」及び「窓台・拭き」による。
洗面台	スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄の上、タオルで拭く。
鏡	適正洗剤を用いて乾拭きする。
衛生陶器	適正洗剤を用いて洗浄し、拭く。
小便器下シート敷き	男子用小便器下石材部に、汚れ除去シート(サニタリーシート)を貼り付け、交換する。(4・10月)
衛生消耗品	トイレットペーパー、水石鹸及び防臭剤を補充する。
汚物容器	内容物を収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。
流し台	中性洗剤を用いてスポンジタワシで丁寧に洗浄し、タオルで拭く。
厨芥容器	厨芥を洗浄し、容器を適正洗剤で洗浄する。
排水口・排水溝	ごみを除去し、目皿を水拭き又は水洗いする。
水中クリーナー	水中クリーナーをセットし、無人清掃を行い、終了後引き上げる。 クリーナーのパーツ点検等を行う。
水面浮遊物	水面の浮遊物の有無を確認し、これを除去する。
スノコ面	洗剤及びデッキブラシで汚れを除去し、モップ等で拭き、水切りを行う。
大理石部	汚れを適正洗剤を用いて除去し、乾拭きして仕上げる。
自販機周辺	周辺の汚れた部分を水拭き及び乾拭きする。
除草	園地業務期間外及び雑草が目立つ場合、手で除草する。
備品整理	プールサイドの備品類の整理及びロイヤルボックス内の椅子の移動を行う。
園地その他	石段、石垣内にある小石、コンクリート片等を収集し、所定の場所に搬出する。 看板類が正規に設置されているか確認し、汚れ、落書き等がある場合は除去する。
巡回その他	場内に落ちたごみを拾う。 洗面器及び便器のつまりがある場合は取り除き、周辺の汚れを除去する。

国立代々木競技場 各種環境測定 検査施設・回数一覧表

検査内容	検査項目	回数/年	検査場所	面積
空気環境測定	温熱環境・空気清浄度	6回	第一体育館(4箇所)アリーナ面	4,420㎡
	〃	6回	第二体育館(3箇所)アリーナ面	1,600㎡
	〃	6回	事務所棟	767㎡
	〃	6回	警備室	
	〃	6回	会議室 5	117㎡
	〃	6回	会議室 1~4	419㎡
	〃	6回	室内水泳場	水槽部 50m×12m
	〃	6回	食堂	270㎡
	〃	6回	外気	
飲料水水質検査	15項目	1回	室内水泳場	
	〃	1回	食堂	
	〃	1回	中央監視室(給湯)	
	〃	1回	事業課(給湯)	
	10項目	1回	室内水泳場	
	〃	1回	食堂	
	〃	1回	中央監視室(給湯)	
	〃	1回	事業課(給湯)	
	消毒副生成物11項目	1回	室内水泳場	
	〃	1回	食堂	
	〃	1回	中央監視室(給湯)	
	〃	1回	事業課(給湯)	
プール水水質検査	遊離残留塩素他	24回	室内水泳場(対角2箇所)で採水)	水槽部 50m×12m
	総トリハロメタン	2回	室内水泳場(対角2箇所)で採水)	
レジオネラ属菌検査	レジオネラ菌	2回	室内水泳場(対角2箇所)で採水)	
	〃	2回	冷却塔(スクリュウ冷凍機 2箇所)	
	〃	2回	冷却塔(第一体 発生機 2箇所)	
	〃	1回	冷却塔(常用発電機)	
	〃	1回	冷却塔(附属棟会議室)	
煤煙測定	排出ガス量	2回	冷温水発生機1号機	
	煤じん濃度	〃	冷温水発生機2号機	
	窒素酸化物	〃	発電機	
	〃	〃	真空式温水ヒーター No. 1	
	〃	〃	真空式温水ヒーター No. 2	

※ 飲料水及び給湯水水質検査の10項目とは、1回目に15項目の検査を行ない省略不可項目以外の5項目において基準値に適合していた場合は次回の検査時には省略不可項目10項目の検査で可の意であり、適合していない場合は、15項目の検査を実施しなければならない。

国立代々木競技場受水槽・貯湯槽及び汚水槽等の清掃業務委託 概要一覧

1 受水槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m³)／槽数	有効容積(m³)	材質・構造等	実施回数／実施月(予定)	備 考
国立代々木競技場 第一体育館	受水槽	屋外ポンプ室横	100.0m³(2槽) 56m×1、4.2m×1	80.0m³(2槽) 45.7m×1、34.3m×1	FRP製	年1回 / 3月	2槽式

2 汚水槽・雑排水槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m³)	有効容積(m³)	材質・構造等	実施回数／実施月(予定)	備 考
国立代々木競技場 第一体育館	西汚水槽	地下3階トレンチ周り	30m³(1槽)	—	RC構造・地下水槽	年3回 / 6月・11月・3月	
	東汚水槽	地下2階	7m³(1槽)	—	RC構造・地下水槽		
	トレンチ汚水槽	地下3階トレンチ周り	5m³(1槽)	—	RC構造・地下水槽		
	特別室汚水槽	地下2階	3m³(1槽)	—	RC構造・地下水槽		

(注) 開催行事との関連があるため、当該担当職員との協議により、実施時期を決定とする。

(注) 清掃費には、廃棄物処理費を含むものとする。

(注) 排出される汚水槽の汚泥参考量：代々木：1,000L/4槽1回

3 貯湯槽清掃業務

場 所	名 称	設置場所	容積(m³)	有効容積(m³)	材質・構造等	実施回数／実施月(予定)	備 考(断水箇所等)
国立代々木競技場 第一体育館	貯湯槽 No. 1	機械室	6.0m³(1槽)	6.0m³(1槽)	SUS製 電気防食装置付	年1回 / 調整	第一種圧力容器のため、ボイラー性能 検査直後に実施する。
	貯湯槽 No. 2		6.0m³(1槽)	6.0m³(1槽)	SUS製 電気防食装置付	年1回 / 調整	第一種圧力容器のため、ボイラー性能 検査直後に実施する。

(注) 各所マンホールバルブを取り替えるものとする。

空調設置場所及び清掃回数（国立代々木競技場）

場 所	機 種	フィルター枚数	新品交換 (◎) 及び清掃 (○) 回数				エアフィルター材質	エアフィルターサイズ (mm)	備考
			1回目	2回目	3回目	4回目			
(代々木競技場)									
室内水泳場トレンチ	室内水泳場空調機	10	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
会議室 5	会議室空調機	1	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
	会議室空調機	1	◎	◎	◎	◎	610*305*20		
第一体育館B 2階北東機械室	第一体育館東側75kw空調機	74	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
第一体育館B 2階南西機械室	第一体育館西側75kw空調機	75	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
第一体育館冷房熱源機械棟	第一体育館熱源機械送風機	18	◎	◎	◎	◎	610*610*20	4箇所	
第一体育館東B 1階バルコニー	第一体育館バルコニー空調機	24	◎	◎	◎	◎	590*590*20		
	第一体育館バルコニー空調機	12	◎	◎	◎	◎	590*590*20		
第一体育館北アリーナ厨房	給排気ファン	2	◎	◎	◎	◎	495*495*20		
第一体育館北ロビー厨房	給排気ファン	4	◎	◎	◎	◎	395*395*20		
第一体育館南カテドラル厨房	給排気ファン	4	◎	◎	◎	◎	390*390*20		
食堂厨房	給排気ファン	16	◎	◎	◎	◎	480*335*20		
第一体育館B 1階南東機械室	電気室空調機	24	◎	◎	◎	◎	500*500*20		
第一体育館B 1階南西機械室	来賓室空調機 (ボイラー室給気)	23	◎	◎	◎	◎	500*500*20		
第一体育館B 2階北側倉庫西側	給排気ファン	2	◎	◎	◎	◎	660*600*20	給気側	
	給排気ファン	6	◎	◎	◎	◎	420*340*20	排気側	
第一体育館B 2階北側倉庫東側	給排気ファン	2	◎	◎	◎	◎	590*490*20	給気側	
	給排気ファン	2	◎	◎	◎	◎	590*490*20	排気側	
第一体育館B 1階北側通路	給排気ファン	2	◎	◎	◎	◎	660*600*20	給気側	
	給排気ファン	6	◎	◎	◎	◎	420*340*20	排気側	
第一体育館中庭会議室側	給排気ファン	8	◎	◎	◎	◎	630*460*20		
第一体育館南ロビー	ファンコイル	2	◎	◎	◎	◎	1460*560*10		
	ファンコイル	4	◎	◎	◎	◎	830*190*10		
第一体育館北ロビー	ファンコイル	4	◎	◎	◎	◎	1460*560*10		
第二体育館観客席床下	第二体育館空調機	54	◎	◎	◎	◎	545*520*20	6枚/台	
第二体育館選手控室	給排気ファン	1	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
附属棟会議室 4	天井カセット	4	◎	◎	◎	◎	610*610*20		
スタッフルーム	天井カセット	4	◎	◎	◎	◎	855*325		
事業課	天井カセット	16	◎	◎	◎	◎	855*325		
応接室	天井カセット	2	◎	◎	◎	◎	855*325		
電話機械室	天井カセット	1	◎	◎	◎	◎	855*325		
予備室	天井カセット	1	◎	◎	◎	◎	855*325		
警備室	天井カセット	2	◎	◎	◎	◎	470*460		
職員更衣室 (男)	天井カセット	2	◎	◎	◎	◎	855*325		
職員更衣室 (女)	天井カセット	1	◎	◎	◎	◎	855*325		
	交換 (◎)	フィルター 385	385	385	385	385			
		サランネット 0	0	0	0	0			
	合 計	385	385	385	385	385			
	清掃 (○)	フィルター 0	0	0	0	0			
		サランネット 29	0	0	29	0			
	合 計	29	0	29	0	0			

※交換するフィルターについては、重量法80%以上の品とする。
 ※本業務は、3年間同様の範囲を同回数実施とする。

国立代々木競技場清掃用床モップ等交換作業 一覧

適 用	寸 法	1回の交換数量(単位:本)	交換曜日	月交換周期	年間交換回数				
					平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
床用モップ(ノンオイルタイプ)	90×34 cm	10	水曜日	4週	12	12	12	12	12
床用モップ(ノンオイルタイプ)	〃	5	水曜日	1週	52	52	53	53	52
足拭マット(ノンオイルタイプ)	120×180 cm	6	水曜日	2週	28	28	28	29	28
足拭マット(オイルタイプ)	120×180 cm	3	水曜日	2週	28	28	28	29	28
足拭マット(オイルタイプ)	120×180 cm	3	木曜日	2週	27	28	28	29	28

※交換作業日については、イベント等により変更する場合があります。

※交換作業の実施日については、監督職員と協議の上決定すること。

※上記の寸法については、あくまで目安とする。

適 用	設置場所
床用モップ(ノンオイルタイプ)	第一体育館
床用モップ(ノンオイルタイプ)	第二体育館
足拭マット(ノンオイルタイプ)	第二体育館(アリーナ入口)
足拭マット(オイルタイプ)	警備室、事務所西入口、第二体育館通路)
足拭マット(オイルタイプ)	第二体育館入口

月日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考
4	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	ISU WORLD TEAM TROPHY 2009 フィギュアスケート国際対抗戦 日本スケート連盟	
5	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	安室奈美恵 キョードー東京
6	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	体障全日本個人総合選手権 日本スケート連盟	
7	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	体障全日本個人総合選手権 日本スケート連盟	
8	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	EXILE キョードー東京	
9	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	TOKYO GIFTS COLLECTION キョードー東京	
10	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	全日本ジュニア新体操 日本体操協会
11	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	全日本ジュニア新体操 日本体操協会	
12	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	2009 ISUグランプリファイナル 日本スケート連盟
1	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	天皇杯・皇后杯全日本総合バスケケットボール選手権大会 バスケケットボール協会
2	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	電光掲示板・前障：パリアフリー工事
3	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	電光掲示板・前障：パリアフリー工事
月日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計日数 268日

※1 消防設備保守点検
※2 シャッター・放送設備保守点検
※3 昇降機・森平舞台・汚水溜保守点検
※4 暖房切替工事&ITV保守点検
・11/18 10:00～渋谷区障害者防炎訓練
・11/18 10:00～渋谷区障害者防炎訓練
・11/18 10:00～渋谷区障害者防炎訓練

平成20年度 第2体育館行事予定表

Table with columns for date (月/日) and event details (色分, BB, BB以外, 興行のスポーツ, 一般利用, 団体利用, 団体, ☆特別清掃定期点検等, 便). Rows are numbered 1-12 and 1-3, listing various sports events and school activities.

平成22年度 第二体育館行事予定表

20110223現在

凡例⇒

バスケット

バスケット以外

興行的スポーツ

一般利用

特別清掃・点検等

重要事項

図体利用

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
4	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30
1	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
5	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31
6	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	6/31
7	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31
8	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
9	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	9/31
10	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31
11	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	11/31
12	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31
1	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
2	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	2/30	2/31
3	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

管理・運營業務

要求水準書（案）

独立行政法人日本スポーツ振興センター

目次

1. 総則	1
1.1. 本書の位置付け	1
1.2. 業務概要	1
1.3. 費用分担	5
2. 運營業務	7
2.1. 受付等業務	8
2.2. 宿泊施設運營業務	11
3. 保守管理業務	15
3.1. 園地整備業務	16
3.2. 施設環境整備業務	18
3.3. 定期点検等及び保守業務	19
3.4. 設備運転監視及び日常保守・点検業務	22
4. 警備業務	26
5. 清掃業務	29
5.1. 日常清掃業務	30
5.2. 大会清掃業務	32
6. 環境衛生管理業務	33
6.1. 各種環境測定	34
6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務	35
6.3. 害虫防駆除・消毒作業	36
6.4. クリーニング業務	37
6.5. 吸収冷温水機及びボイラーばい煙等測定調査	38

1. 総則

1.1. 本書の位置付け

本要求水準書は、国立スポーツ科学センター及びナショナルトレーニングセンターの管理・運営にかかる業務内容を示したものである。

1.2. 業務概要

(1) 業務名

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター管理・運営業務一式

(2) 対象施設

国立スポーツ科学センター (JISS)

JISS 屋内施設 (宿泊施設を含む)	東京都北区西が丘三丁目15番1号
JISS 屋外施設	サッカー場事務棟、テニス場クラブハウス、フットサル更衣室、フットサル練習場
戸田艇庫・合宿室	埼玉県戸田市戸田公園4番9号

ナショナルトレーニングセンター (NTC)

陸上トレーニング場	東京都北区赤羽西五丁目2番15号
屋内トレーニングセンター (屋内テニスコートを含む)	東京都北区西が丘三丁目15番1号
宿泊施設	東京都北区西が丘三丁目9番14号

(3) 営業日・営業時間

施設	業務	業務実施日	定休日	施設貸出時間
JISS 屋内施設	総合案内・受付	毎日	なし	8:40~21:00
	リハビリテーション室	営業日	12月28日 ~1月4日	9:00~20:00
	ビジターセンター	営業日	12月29日 ~1月3日	9:00~17:00
	宿泊	毎日	なし	24時間
JISS 屋外施設	テニス場クラブハウス	営業日	毎月第2・第4火曜日 12月28日 ~1月4日	3月~9月: 9:00~19:00 10月~2月: 9:00~18:00
	フットサルコート	営業日	毎月第2・第4火曜日 12月28日 ~1月4日	8:30~20:30
NTC 屋内トレーニングセンター	総合案内・受付	毎日	なし	8:40~21:00
NTC 屋内テニスコ	競技団体利用	毎日	なし	9:00~21:00

ート 屋内テニスコート	一般利用	営業日	毎月第2・ 第4火曜日 12月28日 ～1月4日	10:00～21:00
NTC 宿泊施設	宿泊	毎日	なし	24時間
戸田艇庫・合宿室	宿泊	営業日	12月29日 ～1月3日	24時間
戸田艇庫 (トレーニングルーム 含む)	受付	営業日	12月29日 ～1月3日	9:00～21:00

(4) 対象業務

本要求水準書の対象業務は、以下のとおりである。

運營業務	受付等業務（有料事業運營業務を含む。）
	宿泊施設運營業務
保守管理業務	園地整備業務
	施設環境整備業務
	定期点検等及び保守業務
	設備運転監視及び日常保守点検業務
警備業務	警備業務
清掃業務	日常清掃業務
	サッカー場清掃業務
環境衛生管理業務	各種環境測定
	受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務
	害虫防駆除・消毒作業
	クリーニング業務
	吸収冷温水機及びボイラーばい煙等測定調査

(5) 共通仕様書の適用

本要求水準書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築保全業務共通仕様書（平成20年版）」を適用する。その際、「監督員」を、本業務の監督職員である独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「NAASH」という。）の監督職員と読み替えるものとする。

(6) 提出書類

次の書類を作成し、定められた期日までに監督職員に提出する。

提出書類	内容	提出期日
業務計画書	業務実施時期及び方法、実施体制など	当該年度開始30日前まで（委託期間の開始日を含む年度は委託期間の開始日の14日前まで）
緊急対応連絡表		業務開始前まで
防災マニュアル		協議の上、業務開始後1か月以内まで
警備計画書		業務開始前まで
作業報告書	日報（日計表、警備日誌を含む）	翌日の10時まで
	月報	翌月の5日まで

	年報		翌月の10日まで
--	----	--	----------

なお、作業報告書として以下の書類を整備し、常時閲覧が可能なように保管を行う。

業務項目	記録書類
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画・報告書類 ・ 業務日誌 ・ 監督職員との打合せ記録簿
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付名簿 ・ セキュリティーカード受払簿 ・ ビジターセンター受付簿
保守管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンテナンス用台帳類 ・ 事故・修繕・更新記録等 ・ 運転記録簿 ・ 計測記録簿 ・ 点検記録簿
警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警備日誌 ・ 出入者名簿 ・ 鍵授受簿 ・ 拾得物台帳 ・ 遺失物届出書

(7) 自己モニタリングの実施

自己モニタリングの方法をまとめた自己モニタリング計画書（日次、定期、臨時）を、契約締結後1ヶ月以内に監督職員に提出する。また、その内容に変更のある場合は、変更点を速やかに監督職員に報告する。

(8) 収入金の入金

本業務における利用者等からの収入金は、日計表にまとめるとともに、翌朝9時までにNAASHへ入金する。ただし、戸田艇庫に関する収入金は、1週間に1回NAASHへ入金する。

(9) 業務責任者及び法定資格者等の選任

- ・ 業務の実施に先立ち、総合責任者及び別紙1-1のとおり対象業務別に業務責任者を選任し、書面をもって監督職員に通知する。業務責任者に変更があった場合も同様とする。
- ・ 総合責任者はJISS施設に常駐するものとし、不在の場合における代理人を定める。ただし、戸田艇庫はこの限りではない。
- ・ 別紙1-2のとおり、業務実施上必要な法定資格者等を選任し、必要な業務を行う。

(10) 実施体制の構築

- ・ 業務の実施に際して、法的に必要な資格を有する人員、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を配置し、適切な業務実施体制を構築する。

(11) 緊急時の措置

- ・ 災害、設備の異常及び施設営業に対する支障等の緊急事態に対する連絡体制、対応方法について、監督職員とあらかじめ協議して定めておく。
- ・ 緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるものとする。この場合は、直ちに監督職員に報告する。
- ・ 緊急時の措置に要する費用の負担は、監督職員との協議による。

(12) 環境への配慮

- ・ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）（平成12年法律第100号）に基づき、環境負荷の低減に努める。
- ・ その他、節水・節電等、光熱給水の低減に努める。

(13) その他の一般共通事項

- ・ 本要求水準書及び共仕に定めがない事項及び業務が困難な部分等の対応については、事前に監督職員と協議する。
- ・ 業務計画の作成及び業務の実施は、施設運営及び施設において開催される行事に関する事項を十分把握し、その支障とならないように行う。
- ・ 総合責任者は施設に常駐するものとし、不在の場合における代理人を定める。ただし、戸田艇庫はこの限りではない。
- ・ 官公署の検査がある場合は、監督職員の指示により立会い等に協力する。
- ・ 施設において開催される行事の打合せに参画し、監督職員の監督下において、行事主催者等との調整を図り、円滑に業務を実施する。
- ・ 業務の実施に当たっては、各業務で使用する控室等諸室及び業務の実施場所の清掃、整理整頓及び周辺環境整備に努める。
- ・ 各施設・各機器の安全な運用を確保するための改修、並びに工事が必要と認める時は速やかに意見を付して監督職員に報告し、その指示を受ける。
- ・ 本業務における現金及び過不足金等の取扱いについては、以下のとおりとする。
 - ✓ 釣銭は、民間事業者の責任において準備し、これを保管する。
 - ✓ 売上金に不足を生じた場合、不足金は民間事業者が負担する。
 - ✓ 売上金に過剰金が生じる場合は、NAASHに納める。
- ・ 一時保管してから3ヶ月が経過した拾得物を処分する必要がある場合には、別紙1-3に記載の上、監督職員に廃棄処分リストとともに提出する。
- ・ 民間事業者は、業務担当者に対し、監督職員が発行するセキュリティーカードを着用させる。

1.3. 費用分担

各業務における NAASH 及び民間事業者の費用負担は以下の通り。

区分		NAASH負担	民間事業者負担	
運営 業務	受付等 業務	共通	全般	共通：制服
		JISS総合案内・受付業務	有料コピー機、手提げ金庫、セキュリティカード、スケジュール用パソコン、釣銭	業務に必要な消耗品
		リハビリテーション室受付業務	共通項目：備品参照	業務に必要な消耗品
		テニス場受付業務	共通項目：備品参照	手提げ金庫、釣銭、ポット
		フットサルコート運営業務	共通項目：備品参照	手提げ金庫、釣銭、ポット フットサル教室等の実施にかかる費用
		戸田艇庫受付業務	共通項目：備品参照	手提げ金庫、釣銭
		屋内トレーニングセンター総合案内・受付業務	セキュリティカード、スケジュール用パソコン	業務に必要な消耗品
		アンケート調査の実施	なし	アンケートの実施にかかる費用
		宿泊施設総合案内・受付業務	セキュリティカード	業務に必要な消耗品
		戸田艇庫・合宿室	共通：備品参照	なし
宿泊施設 運営 業務	共通	フロント等備品（別紙1-4参照）	制服、釣銭、手提げ金庫	
	JISS宿泊施設	ホテルシステム用パソコン、低酸素システム用パソコン	テレビ	
	NTC宿泊施設	ホテルシステム用パソコン		
保守 管理 業務	共通	整備機器（別紙1-4参照）、燃料 除雪業務：除雪用スコップ、除雪機、除雪用燃料		
	園地整備業務	薬剤（除草・殺虫剤）、肥料	樹木選定用道具、剪定用補助具等	
	施設環境整備業務	館内施設器具整備業務：要求水準書に明記された、施設器具及び消耗品	なし	
	設備運転監視及び日常保守点検業務	共通：業務用整備器具（別紙1-4参照）、燃料	工具類、計測・測定用機器・機材その他業務に必要なもの。	
	定期点検等及び保守業務	軽微な不良箇所の復旧を除く修理及び修繕（要求水準書で別に定めるものを除く。）	軽微な不良箇所の復旧 要求水準書に定期交換を記載している消耗品	
警備 業務	警備業務	共通：セキュリティシステム用パソコン	警備員用制服、装備品、護身用具、テレビ	
清掃 業務	清掃業務	衛生消耗品（トイレトーパー、水石鹸等）	清掃に使用する資機材（掃除機、ポリッシャー、ブロアー、ゴミ運搬車、作業着、軍手、箒、モップ、雑巾等）	

環境衛生管理等業務	環境衛生管理等業務	該当なし	空気環境測定機器、照度測定機器、水質検査機器、検査試薬、害虫防駆除剤
共通	控室等	<p>1 下記の業務用控室を無償で貸与する。(一部共用)</p> <p>①民間事業者②清掃③警備④園地整備⑤設備運転監視及び保守点検⑥受付</p> <p>2 宿直室 ①警備②宿泊施設運営③設備運転監視及び保守点検</p> <p>3 更衣室 (一部共用) ①民間事業者②警備③清掃④宿泊施設運営⑤設備運転監視及び保守点検</p> <p>4 ユニットシャワー (一部共用)</p>	退去時の現状復旧費用
	備品	整備機器 (別紙1-4参照)、内線電話、AED、業務要備品 (男女更衣室ロッカー、ベンチ等)、控室 (流し台、ミニキッチン、ソファ、椅子、テーブル、ロッカー)	民間事業者控室等で通常業務に要するもの (机、椅子、パソコン、プリンター、ファックス、外線電話等、洗濯機、冷蔵庫等)
	事務用品	該当なし	業務遂行上必要な事務用消耗品
	消耗品	各現場に必要なランプ類、乾電池等、監督職員が貸与したコピー機等で使用する用紙・消耗品	民間事業者内部の人事管理に係る通信、複写、印刷に使用する消耗品等
	光熱水費等	業務の実施に必要な光熱水費、通信、複写、印刷費	民間事業者内部の人事管理に係る通信、複写、印刷費

2. 運營業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 業務の遂行に際しては、細心の注意を持って館内の安全・秩序を維持する。
- 業務の実施に当たっては、利用者に不快感を与えないように、統一した清潔な服装を着用し、丁寧でわかりやすい説明を行うなどの接客サービスを維持する。
- 受付において、利用者を待たせることなく速やかに対応する。
- 他の業務との連絡調整を適切に行い、本業務の範囲内において利用者からの要求に対して速やかに対応する。
- 対象業務以外の内容については、速やかに監督職員に報告する。
- 利用者からの料金徴収において間違いがないようにする。
- 業務環境を常に清潔かつ整理整頓された状態に保つ。
- 貸出備品は常に清潔、破損がない状態にしておく。
- 備品を清潔かつ整理整頓された状態にしておく。
- 利用者が必要とする情報を十分に提供する。
- 常に備品等を清潔な状態に保つとともに、正常に稼働することを確認する。
- 定められた消耗品の調達・管理をし、業務に支障のないようにする。
- 施設の良好な環境を保持するため、建物・備品等の破損及び汚損等がない状態を保つ。
- 建物・備品等を破損した場合は、直ちに監督職員に報告し、その指示に従う。
- フットサルコート運営については、民間事業者自らが運営方法、需要動向などを勘案した上で、民間事業者が提案する。なお、施設利用時間は、本要求水準書に定める業務時間内となる。また、サッカー大会時のサブグラウンドとして使用するため、これを最優先として監督職員と協議する。
- フットサルコートで実施するプログラムは、利用者がスポーツを親しみ、また楽しみながら健康増進や競技力向上を図ることが出来るような魅力的な内容とする。
- フットサルコートでのプログラムの実施に際しては、必要に応じて指導員などの専門技能保有者を適切に配置し、快適で質の高いサービスを提供する。
- 利用者アンケートの標本数は、各施設100人程度とする。

2.1. 受付等業務

1) 業務概要

本施設の来訪者及び施設宿泊者を対象とした、受付等の業務を行う。来訪者及び施設宿泊者の要望に応じて速やかに対応する。また、フットサルコートの実務業務を行う。

(1) 業務実施場所

業務実施場所は、各施設受付カウンター及びその施設内とする。

(2) 利用料金の設定及び民間事業者の収入

フットサルコートにおける料金設定については、民間事業者の提案に基づき設定するものとし、NAASHと民間事業者の協議の上、変更できるものとする。収入はNAASHに帰属し、民間事業者は、契約書に定める委託費により運営を行う。ただし、基準額（過年度の平均収入となる9,200千円）を超える収入が得られた場合には、その超過金額の50%をNAASHが民間事業者に追加で支払う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
(1) JISS 総合案内・受付業務	△指示	○
(2) リハビリテーション室受付業務		○
(3) ビジターセンター説明・案内業務	指示	○
(4) テニス場受付業務（屋内テニスコート含む）		○
(5) フットサルコート運営業務（有料事業運営業務）	△承諾	○
(6) 戸田艇庫受付業務（トレーニングルーム含む）		○
(7) 屋内トレーニングセンター総合案内・受付業務	△指定	○
(8) 利用者アンケート調査（全受付共通）	△承認	○

3) 業務内容

(1) JISS 総合案内・受付業務

総合案内・受付	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者及び施設利用者の案内を行う。 受付及びセキュリティーカードの受払いを行う。 館内見学希望者の受付を行う。 講習会や記者会見等のメディア関係者への案内を行う。 宅配便の取次を行う。
館内見学希望者の受付及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 監督職員の指示に基づき、館内見学希望者の案内及び説明を行う。

(2) リハビリテーション室受付業務

受付	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の受付案内を行う。
----	--

(3) ビジターセンター説明・案内業務

① 業務内容

館内見学希望者の案内及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 監督職員の指示に基づき、日程調整等の事前準備や館内見学希望者の案内及び説明を行う。
----------------	---

平日の案内及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回午前と午後の指定した日時に行う。 日時については、前々週の木曜日に指定する。
毎月の案内及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の第2及び第4日曜日に行う。
不定期の案内及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 年間48回を上限とし、1月の実施回数は最高で6回までとする。 日時については、実施日の10日前までに指定する。

(4) テニス場受付業務（屋内テニスコート含む）

受付	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者、個人利用者及び団体利用者の受付を行う。 団体登録の受付を行う。
利用料金管理	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から利用料金を徴収し、適切に管理する。 徴収した利用料金について日計表を作成する。 徴収した徴収料金及び日計表は、あらかじめ定めた方法で納入及び報告する。
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対し、監督職員が定める利用規則等の遵守・徹底を図る。

(5) フットサルコート運営業務（有料事業運営業務）

運営内容の企画立案	<ul style="list-style-type: none"> コートの時間貸しやフットサル教室等プログラムの運営など、利用者のニーズに応じた運営内容を企画する。 企画内容は事前に監督職員に提出し、承諾を得る。
受付	<ul style="list-style-type: none"> 個人利用者及び団体利用者の受付を行う。 団体登録の受付を行う。
利用料金管理	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から利用料金を徴収し、適切に管理する。 徴収した利用料金及び日計表は、あらかじめ定めた方法で納入及び報告する。
プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者がフットサル教室等プログラムを企画する場合、企画内容に基づいて実施する。
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対し、監督職員が定める利用規則等の遵守・徹底を図る。

(6) 戸田艇庫受付業務

受付	<ul style="list-style-type: none"> 個人利用者及び団体利用者の受付を行う。（トレーニングルーム含む） 団体登録の受付を行う。 艇庫、合宿室、更衣室、ロッカー、ホール、トレーニングルームの利用受付を行う。
利用料金管理	<ul style="list-style-type: none"> 利用者から利用料金を徴収し、適切に管理する。 徴収した利用料金について日計表を作成する。 徴収した徴収料金及び日計表は、あらかじめ定めた方法で納入及び報告する。
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対し、監督職員が定める利用規則等の遵守・徹底を図る。 利用者の利用状況に応じ、注意事項の放送を適宜行う。 艇の保管状況を把握し、適切な管理に努める。 浴室の給湯器の点火、消火及び点検を行う。 更衣室及び浴室の点検（忘れ物があった場合は、警備室に届ける。）を行う。

(7) 屋内トレーニングセンター総合案内・受付業務

総合案内・受付	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者及び施設利用者の案内を行う。 受付及びセキュリティーカードの受払いを行う。 講習会や記者会見等のメディア関係者への案内を行う。 宅配便の取次を行う。
---------	--

(8) 利用者アンケート調査

配布・回収	・ 本施設の利用者を対象として、アンケート用紙の配布・回収を行う。
-------	-----------------------------------

2.2. 宿泊施設運營業務

1) 業務概要

宿泊施設の運営・管理業務を円滑に行うことを目的とし、施設内の適正な利用、秩序の維持、火災、盗難予防・取締り及び警戒に当たる。

(1) 営業時間

区 分	JISS宿泊施設	NTC宿泊施設	戸田艇庫合宿室
フロント窓口業務時間	6:00～21:00	6:00～21:00	6:00～21:00
フロント宿直業務時間	21:00～翌6:00	21:00～翌6:00	—
チェックイン	15:00以降	15:00以降	16:00以降
チェックアウト	10:00以前	10:00以前	10:00以前
浴室利用時間	14:00～23:00	12:00～24:00	14:00～23:00

(2) 業務実施場所

業務実施場所は、フロント及び宿泊施設内とする。

2) 業務項目及び役割分担

業務内容	業務項目	NAASH	民間事業者
(1) 消耗品の仕入れ・在庫 管理	仕入れ	△確認	○
	検品		○
	在庫管理	△確認	○
(2) フロント業務	宿泊者の受入れ準備と連絡調整	△指示	○
	客室チェックイン業務		○
	ルームキーの受け渡し		○
	食券の受渡し		○
	各種案内業務		○
	貸出備品の管理		○
	客室のアメニティー補充、リネンの交換要望への対応		○
	宅配便取次ぎ		○
	客室チェックアウト業務		○
	緊急時の対応		○
	忘れ物の管理		○
	課金精算		○
	電話等の取次ぎ		○
	宿泊者の病気・怪我等の場合の対応	△指示	○
	フロント宿直業務		○
	宿泊料金等の清算補助業務	△指示	○
低酸素宿泊室の濃度管理業務	△指示	○	
(3) その他の業務	コインランドリー管理業務		○
	有料コピー機管理業務		○
	製氷機の管理		○
	新聞・雑誌の管理		○
	リネンの管理		○
	不法侵入・盗難の防止業務		○

	設備管理業務		○
	マッサージルーム及び研修室等の管理		○
(4) 浴室整備業務	サウナの温度管理		○
	脱衣室内管理		○
	見回り業務	△事故発生時の指示	○
	衛生管理		○
(5) 安全管理業務	安全管理業務		○
(6) 環境整備業務	環境整備業務	△指示	○
	寝具等整備業務（戸田艇庫・合宿室）		○

業務内容

(1) 消耗品の仕入れ・在庫管理

仕入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間事業者は、消耗品の仕入れを行う。 ・ 仕入れに際しては、必要に応じ購入計画書を作成して、監督職員へ提出し、承認を受ける。
検品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納品時は数量のほか、表示、消費期限等を点検し監督職員へ報告する。
在庫管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な在庫管理を実施するとともに、在庫状況を定期的に監督職員へ報告し、確認を得る。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる消耗品は、別紙2-1による。

(2) フロント業務

宿泊者の受入れ準備と連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合宿室宿泊者の情報を基に、客室整備業務、環境整備業務及び食堂等との連絡調整を行う。 ・ 必要に応じて、客室に宿泊団体名、宿泊者名等を掲示する。 ・ 宿泊者等の予約の変更連絡があった場合は、必ずその場で訂正し、必要な手配をする。 ・ 監督職員の指示に従い、低酸素運転の事前準備を行う。
客室チェックイン業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロントで到着した宿泊者の氏名・団体名・人数・利用日数・出発日等の確認を行い、チェックイン処理を行う。
ルームキーの受け渡し	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックイン時に、本人であることを確認しルームキーを渡す。・チェックアウト時に、ルームキーを回収する。
食券の受渡し	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックイン時に、本人であることを確認し食券を渡す。
各種案内業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設概要、館内利用の案内を行う。 ・ 交通機関等、交通情報の案内を行う。
貸出備品の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛布等の要望があった場合は、客室番号と宿泊者名、団体名、貸出物、品名、数等を控えて貸し出す。 ・ 使用した毛布はたたんでリネン室に保管する。 ・ 貸出物については、返却時に破損等を点検する。 ・ 品目は別紙詳細による。
客室のアメニティー補充、リネンの交換 要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊者から要望があった場合は、客室アメニティー類、リネン類の未使用のものを渡す。
宅配便取次ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配便の取次ぎを行う。 ・ 宿泊予定者から送られてきた荷物は保管し、到着前に部屋へ置く。
客室チェックアウト業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課金分の精算終了後、チェックアウト処理を行う。

緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浴室・トイレ等の非常用ブザーが発報したときは、直ちに現場確認を行い適切な対応をとる。 ・ 宿泊者が客室へ鍵を忘れた場合は、マスターキーで開ける。
忘れ物の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物・落し物は、遺失物取扱規程に沿って発見した場所と時間を記録し、フロントで管理する。
課金精算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊者に丁寧に説明し料金を受取る。 ・ 徴収した徴収料金及び日計表は、あらかじめ監督職員と定めた方法で、納入及び報告する。
電話等の取次ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外線電話の取次ぎ、FAX の取次ぎを行う。
宿泊者の病気・怪我等の場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督職員へ連絡し、その指示に従う。
フロント宿直業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊者から客室の不具合の申出があった場合、これを点検し、状況に応じて予備室の手配をする。 ・ オートロック未施錠の客室に対し、施錠案内を行う。
宿泊料金等の清算補助業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊者から宿泊料金等の清算の申出があった場合、これを確認し、利用料金の清算業務を行う。
低酸素宿泊室の酸素濃度管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督職員の指示により酸素濃度の設定依頼があった場合、内容を確認のうえ、適正な酸素濃度設定管理を行う。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設に設置したホテルシステムの概要は、別紙2-2による。 ・ 低酸素システム概要は、別紙2-3による。

(3) その他の業務

コインランドリー管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ JISS 宿泊施設のコインランドリー利用料金の回収を行い、民間事業者専用金庫に保管し JISS へ入金する。
有料コピー機管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ NTC 宿泊施設の1階図書・学習室及びインターネットコーナーに設置する有料コピー機の利用料金の回収を行い、民間事業者専用金庫に保管し JISS へ入金する。
製氷機の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書に基づき、NTC 宿泊施設のランドリー室、JISS 宿泊施設の給湯室に設置されている製氷機の衛生管理に努める。
新聞・雑誌の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各階ラウンジに設置する新聞、雑誌の交換を行う。新聞は毎日交換するものとし、雑誌は新刊号が出たときに交換する。
リネンの管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ リネンサプライ業者とのリネン類の受払いを行う。 ・ リネン室は常に整理整頓し、衛生管理に努める。 ・ 適宜館内を巡回し、所定場所以外に放置されたリネン品の回収に努める。
不法侵入・盗難の防止業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不審物・障害物がある場合の撤去を行う。不審物の扱いについては、安全性を十分に配慮する。 ・ 不法侵入の取締まりや盗難の防止に努める。
設備管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設の設備に不具合を発見した場合は、監督職員に連絡する。ただし、軽微なものについては適宜対処する。 ・ 客室内金庫用電池の交換、ブラケット、足下灯の電球の交換を行う。 ・ 上記消耗品の在庫管理を行う。
マッサージルーム及び研修室等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッサージルーム、研修室及びミーティングルームの利用受付を行う。

浴室整備業務

サウナの温度管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時間内の温度管理を適切に行うとともに、必要な場合は温度調整を行う。
脱衣室内管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱衣かご、ドライヤー等浴室・脱衣室内の備品は、常に整理整頓を行う。 ・ 脱衣室内の体重計・ドライヤー・扇風機・時計等の器具の点検を行う。

見回り業務	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認のため、浴室内の見回りを定期的に行う。その際に、男性用浴室は男性、女性用浴室は女性が見回りを行う。
衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 浴室の衛生管理に努める。 脱衣室内の足拭き用マットは、使用状況により適時交換する。

(4) 安全管理業務

安全管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務終了後は、火の元、戸締まり等を確認する。
--------	--

(5) 環境整備業務

環境整備業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の床、床以外及び窓の清掃並びにごみの収集及び分別運搬の業務を行う。 作業項目及び周期は、別紙 2 - 4 による。 各作業項目の業務詳細は、別紙 2 - 5 による。 業務時間は、原則として 8:00～17:00 とする。 通常の清掃作業終了後は、定期的に清掃対象箇所を巡回し、汚れがあった場合は直ちに対応する。また、監督職員から指示があった場合についても同様とする。 電球等の球切れの確認・交換を行う。
寝具等整備業務 (戸田艇庫・合宿所)	<ul style="list-style-type: none"> 寝具等を整備する。 業務日は、4月～10月及び3月(1回/2日) 11月～2月(1回/週)、139日/年とする。
備品整備 (リラクゼーションルーム)	<ul style="list-style-type: none"> リクライナー(15台)用の紙シート及びバスタオルの交換(1回/日)

3. 保守管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 対象施設を、日常の利用や大会運営に支障のない良好な状態に保つ。
- 敷地内の樹木を良好な状態に保つ。
- 敷地内の樹木の美観を保つとともに、利用者及び通行者等の安全を確保する。
- 業務は、施設利用に支障のない日時、時間帯に実施する。
- 大会の日程に応じて、大会の開催に支障がないように整備を行う。
- 常に保守管理のための機器用具等を利用可能とするとともに、整理整頓された状態を維持する。
- 作業実施の際には、安全に十分配慮し、事故などがないようにする。
- 常に快適な施設環境を維持することが出来るよう、施設及び設備機器を常に良好な状態に保つ。
- 園地整備業務における作業計画は、以下の内容を参考として把握した上で作成する。
 - ・ 枝枯れの有無
 - ・ 葉色及び葉の大きさの異常等の有無
 - ・ 倒木の可能性の有無
 - ・ 樹木の病害及び害虫の有無
 - ・ 枝葉による建物等への支障の有無
 - ・ 樹姿の状態の良否
- 民間事業者は、園地作業の従事者に対し、除草剤・殺虫剤等の薬剤管理及びその取扱いについて、十分注意するよう指示するとともに、その使用に当たっては常に監督職員と協議する。
- 駐車場内を常時巡回し、盗難、火災、不正行為等が起こらないよう注意するとともに、公開時間内は常に利用可能な状態とする。
- 監督職員から要請がある場合は、改修工事等の打合せ会議に出席する。また、必要に応じて、設計業者及び施工業者に対する図面の抛出、現地調査同行に協力する。
- 機器又は設備の運転については、性能及び規格に適した燃料及び補給材を用い、取扱説明書に従い適正に操作する。
- 設備に故障、欠陥等が発生した場合は、迅速に復旧作業を行い、監督職員に報告する。復旧が不可能な場合は、点検・保守を行い、その原因及び修繕等の対応策について監督職員に報告する。
- 運転・監視の内容の定めがない設備については、納入機器メーカーの取扱説明書による。
- 点検及び保守の終了後は、必要な機器等の清掃及び後片付けに伴う機器周辺等の清掃を行う。
- 電気設備の点検・保守については、原則として停電して安全な状態で作業を行うものとし、やむを得ず活線状態で作業するときは絶縁用防具、保護用具等を用いて行う。停電予告等の関係方面への連絡は、十分余裕をもって行き、復旧後は完全に元の状態になっていることを確認する。
- 保守点検に伴い、交換を必要とする部品、パッキン類等は各製造メーカーの推奨品を使用する。

3.1. 園地整備業務

1) 業務概要

テニス場、サッカー場、フットサルコート・更衣室、陸上トレーニング場、屋内テニスコート、宿泊施設の園地の清掃・整備及び国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンター各施設及び戸田艇庫・合宿室の周辺の園地整備並びに園地の維持管理を適切に実施する。

2) 業務項目及び役割分担

業務内容	業務項目	NAASH	民間事業者
(1)清掃・整備業務		△指示	○
(2) 整枝・剪定、除草、除草剤散布、害虫駆除	樹木類の整枝・剪定作業		○
	除草作業		○
	施肥作業		○
	除草剤の散布作業	△協議	○
	病虫害駆除業務・殺虫剤の散布	△協議	○
(3) 除雪業務			○

3) 業務内容

(1) 清掃・整備業務

① テニス場、サッカー場、フットサルコート

項目	業務日	業務時間	業務内容
テニス場	随時	8:00～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ブラッシングを実施の上、コートラインの清掃（周辺を含む。）を行う。なお、本業務は開場1時間前から実施する。 オムニサンドの補充（随時）を行う。 関係用具類の整理・整頓及び補修整備を行う。
テニス場クラブハウス便所、更衣室、シャワー室	営業日	8:00～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> テニス場クラブハウス更衣室（シャワー室含む。）のシャワー使用可能な準備を行う。 シャワー室給湯器の点火、消火及び点検を行う。 テニス場周辺の石拾い、雑草等の取り除き清掃を行う。 更衣室及びシャワー室の点検（忘れ物があった場合は、警備室に届ける。）を行う。
サッカー場	営業日	8:00～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> サッカー場整備業務補助その他監督職員から指示がある場合、場内及び園地の清掃、ゴミ収集及び指定集積場への運搬（定時巡回を含む）を行う。 フェンス、案内板、その他施設の清掃及び点検を行う。
フットサルコート	営業日	8:00～ 20:30	<ul style="list-style-type: none"> 練習場の人工芝の清掃（周辺を含む。）を行う。なお、本業務は、開場15分前までに完了する。 関係用具類の整理・整頓及び補修整備
フットサル更衣室、シャワー室、便所	営業日	8:00～ 20:30	<ul style="list-style-type: none"> フットサル更衣室（シャワー室含む。）のシャワー使用可能な準備を行う。 シャワー室給湯器の点火、消火及び点検 フットサル場周辺の雑草の取り除き等を含む清掃 更衣室及びシャワー室の点検（忘れ物があった場合は、警備室に届ける。）
戸田艇庫、		8:00～ 20:30	<ul style="list-style-type: none"> 艇庫周辺の雑草の取り除き等を含む清掃 艇庫、倉庫内の整理整頓し、良好な状態を維持する。

② 陸上トレーニング場

項目	業務日	業務時間	業務内容
陸上トレーニング場	毎日	8:00～ 17:00	・ 場内園地の清掃 ・ ゴミ収集及び指定集積場への運搬（定時巡回を行う） ・ 植え込みの散水 ・ フェンス、案内板その他施設の清掃及び点検

③ 屋内テニスコート

項目	業務日	業務時間	業務内容
屋内テニスコート	営業日	8:00～ 17:00	・ ハードコート及びレッドクレイコートの清掃及び整備（周辺を含む。）を行う。なお、本業務は、開場1時間前から実施するものとする。

④ 宿泊施設の園地

項目	業務日	業務時間	業務内容
宿泊施設の園地	随時 (毎日)	8:00～ 17:00	・ 植え込みの散水 ・ フェンス、案内板その他施設の清掃及び点検

(2) 整枝・剪定、除草、除草剤散布、害虫駆除

樹木類の整枝・剪定作業	・ 敷地内植栽域に繁茂した樹木（低木寄せ植え・中・高木）、及び屋上植栽の枝葉を適宜、整枝・剪定・刈込を行い、樹形を整え景観を保持する。
除草作業	・ 敷地内植栽域（低木寄せ植え、樹木下、芝生地）に繁茂した雑草を除去し周辺の景観を保持する。 ・ 作業中捨てられた空き缶、空きビン等の廃棄物を発見した場合は除去し、作業終了後回収・分別の上、指定のごみ集積所へ搬出する。
施肥作業	・ 敷地内植栽域（低木寄せ植え、中・高木木、芝生地）の生育状況を見極め、最も効果のある時期に実施する。
除草剤の散布作業	・ 除草剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。 ・ 薬剤による除草については、容器ラベルに記載の用法、用量を守り、安全使用を心掛け適切な濃度で、むらなく散布する。 ・ 散布の際は、天候にも注意し風による飛散、雨による流亡を避け、必要最小限の使用で処理する。
病虫害駆除業務	・ 殺虫剤の散布に当たっては実施計画を監督職員と協議し、作業実施前に場内掲示板等を実施計画を掲示して周知する。 ・ 敷地内植栽域（低木寄せ植え、樹木地、芝生地）に発生した病気、害虫による被害を防止するため、薬剤散布、切除を行う。 ・ 薬剤使用については、害虫発生区域を特定し必要以上に使用しない。また、容器ラベルに記載の用法、用量を守り、安全使用を心掛け、適切な濃度でむらなく散布する。 ・ 散布の際は、天候にも注意し風による飛散、雨による流亡を避け、必要最小限の使用で処理する。
備考	・ 発生した廃棄物は速やかに回収し、別紙3-1まで搬出する。 ・ 各業務場所は、別紙3-2による。

(3) 除雪業務

① 利用者動線の確保及び除雪

対象施設	業務日
国立スポーツ科学センター サッカー場 テニス場・フットサルコート 陸上トレーニング場 屋内トレーニングセンター 宿泊施設 戸田艇庫・合宿室 アーチェリー実験場	<ul style="list-style-type: none"> 降雪日及び監督職員の指示による

3.2. 施設環境整備業務

1) 業務概要

施設内の器具等の整備を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務内容	NAASH	民間事業者
施設環境整備業務	△指示	○

3) 業務内容

施設	業務項目	予定回数	作業内容
競泳プール (基本形:コース ロープ8コース 設置、可動床の操 作:水深は1.3m ~2.0m)	一般利用	19回/年	<ul style="list-style-type: none"> 50m用コースロープ設置及び撤去 21m用コースロープ設置及び撤去
	水球・その他	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> 水球用フィールドの設置及び撤去 プールシートカバーの敷設及び撤去 プール用具の片付け
	可動床の操作	266回/年	<ul style="list-style-type: none"> 水深1.3mを基準として水深を変更し、基準水深に戻す。(基本:水深は一般を1.3m、競泳を1.5m、水球を2.0mとする。) 可動床を操作する際に、プール内に設置してあるプールフロアをプール外に移動

3.3. 定期点検等及び保守業務

1) 業務概要

施設内外の建築設備について、安全かつ効率的な施設を提供するために定期的な点検と保守を行う。
また、電気・機械設備の安定的な運転を図るため、定期点検等及び保守を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
(1) 建築定期点検等及び保守業務	△承諾	○
(2) 電気設備定期点検等及び保守業務	△実施日時協議	○
(3) 機械設備定期点検等及び保守業務	△実施日時協議	○

3) 業務内容

(1) 建築定期点検等及び保守業務

一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 点検巡回を行う場合には、別紙3-3に記載された点検場所を巡回する。 点検巡回は、原則として目視及び指触等により行う。 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力する。なお、軽微な不良箇所とは、主要な部品などの取替えを要しないものであつて、比較的容易に修理・補修及び調整できるものとする。
対象部位	<ul style="list-style-type: none"> 屋根 外壁 軒天井及びひさし下端 外部床 屋外階段 バルコニー 外部建具 エキスパンションジョイント 内壁・柱・梁 内部天井 内部床 内部階段 内部建具 電動シャッター等(別紙3-4による) 基礎(玄関ポーチ・犬走り等) 外構等
備考	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドア保守点検については、別紙3-5による。

(2) 電気設備定期点検等及び保守

一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 本業務中に不良箇所が発見された場合は、その措置について監督職員と協議し、軽微な不良箇所については、点検中に修理・補修及び調整を行うなど、事態の解決に協力する。
対象設備	<p>詳細な対象設備機器及び点検内容等は以下の別紙による。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保守対象機器構成内訳(構内電話交換機設備)(別紙3-6による) 保守点検内容及び周期(構内電話交換機設備)(別紙3-7による) 受変電設備一覧及び結線図等(別紙3-8による)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用冷蔵庫及び製氷機（別紙３－９による） ・ 自家用発電機設備の地下タンク気密試験（別紙３－１０による） ・ 自家用非常用発電機設備（別紙３－１１による）
--	--

共通仕様書以外に特に保守点検が必要となる項目は以下の通り。

業務項目	業務内容
受変電設備試験点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受変電設備関係の試験点検測定を行い、機器、配線、制御機器の安全管理維持を図る。 ・ 目視点検及び清掃 ・ 仮設用発電機の敷設及び撤去 ・ 仮設配線敷設盛替接続及び撤去 ・ 点検測定結果報告書作成提出
ＩＴＶ設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館内の監視カメラ・ビデオ装置等を効果的に稼働させ、館内の保安管理システム及び単体機器の外観、機能・動作試験点検調整等を行う。 ・ 保守点検機器及び点検基準は、別紙３－１２のとおり。
総合ビル管理システム保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合ビル管理システムが正常に機能するよう、システムの点検調整をする。 ・ 点検は、年２回行う。なお実施に当たっては、事前に作業届出書を提出し承諾を得る。 ・ 点検項目及び参考図面は、別紙３－１３のとおり。 ・ 保守期間内に、本設備に故障及び何らかの原因で機能不良となり異常が発生した場合は、当センターの要請により速やかに技術員を派遣し、正常な機能に復旧する。
自家用非常用発電機設備の地下貯蔵タンク気密試験点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場養生、業務エリアの確保 ・ 気密点検 ・ 検知管の点検清掃 ・ タンク上部マンホール内点検 ・ 配管ピット内点検 ・ 報告書・写真作成提出 ・ 点検機器及び設置場所は、別紙３－１０のとおり。
戸田艇庫自家用電気工作物の保安管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用電気工作物保安管理業務委託 ・ 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため保安規程を定め、それを守らなければならない。 ・ 漏電事故防止 高圧（ＡＣ６，６００Ｖ）受変電設備は、粉塵等が、碍子、電線、機器に付着し湿気が加わると、漏電事故の原因となるため、各設備機器の点検及び清掃を行うものである。 ・ 点検項目及び基準は、別紙３－１４による。

(3) 機械設備定期点検等及び保守業務

対象設備	<p>点検対象となる各設備機器及び点検内容等は以下の別紙による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備（別紙３－１５による） ・ 空調自動制御設備（別紙３－１６、１７及び１８による） ・ エレベーター（別紙３－１９による） ・ 消防設備（別紙３－２０による） ・ 直焚吸収冷温水機（別紙３－２１による） ・ 空気熱源ヒートポンプユニット（別紙３－２２による） ・ ボイラー及び第一圧力容器（別紙３－２３による） ・ 厨房除害施設フローシート、設備機器（別紙３－２４による） ・ 水処理装置（別紙３－２５による）
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水冷スクリー冷却機（別紙３－２６による） ・ 冷水器（別紙３－２７による） ・ 冷水器設置場所図（別紙３－２８による） ・ 送風機設備（別紙３－２９による） ・ 真空式温水発生機（別紙３－３０による） ・ 中央集塵装置概要（別紙３－３１による） ・ 中央集塵装置設備一覧（別紙３－３２による） ・ 水泳場浄化装置設備（別紙３－３３による） ・ 氷蓄熱スクリーヒートポンプ設備（別紙３－３４による） ・ ターボ冷凍機設備（別紙３－３５による） ・ 人工炭酸泉ろ過装置（別紙３－３６による） ・ ジャグジープールろ過装置（別紙３－３７による） ・ 自動灌水装置（別紙３－３８による）
空調自動制御設備 保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ JISS 及び NTC に設置されている空調自動制御装置の機能を最適な状態に維持するため、遠隔からリモート点検を行い、データ収集装置・制御評価システムを活用し、制御データの収集と蓄積・評価を行う。 ・ 詳細な制御データを通じた安定性、追従性、不具合性を診断して報告を行い、それらのデータを基に現場での確認作業、冷暖房の切り替え作業、必要に応じた緊急対応をおこない、館内の室内環境を適正に維持するため、空調機械設備の自動制御機器について保守点検を行う。
業務用冷蔵庫及び 製氷機保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機器を常に正常に稼働させるため、定期的に機器の外観、機能及び動作点検を行い、調整を実施する ・ 対象となる保守点検機器のうち、ホンザキ製品の点検時及び不具合発生時における外装部品以外の交換部品はすべて民間事業者の負担とする。 ・ 対象となる保守点検機器のうち、SANYO 製品の点検時及び不具合発生時における交換部品は別途契約とする。
水泳場浄化装置保 守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内トレーニングセンターに設置された、プールろ過設備の点検・保守業務を実施する ・ 保守に必要な消耗品及び材料は以下のものとする：パッキン、潤滑油、ウエス、ランプ、ヒューズ、吐出弁、吸入弁、ピストンリング、ライタリング、ガスケット、ピストンピン、呼吸弁、吸入フィルターエレメント、エアフィルターその他これに類するものとする。 ・ 塩素等の薬剤は、支給品とする。

3.4. 設備運転監視及び日常保守・点検業務

1) 業務概要

各施設の電気設備・空調設備・給排水衛生・防災設備等、その他建築等諸設備の安全かつ効率的な運転監視・操作、記録管理を実施する。

(1) 業務条件及び日数・時間

- ・ 設備監視日は365日とする（平成27年度は366日とする）。
- ・ 運転監視時間は次のとおりとする。

施設名	業務条件及び日数・時間
屋内トレーニングセンター 陸上トレーニング場 宿泊施設 JISS 屋内施設	営業日：24時間（ただし、17時～9時は、施設ごとに通常要員及び緊急時要員の2名で対応） 非営業日：8時00分～17時00分（日直2名で対応）
サッカー場事務棟	サッカー場試合開催日（予定日数70日～80日・うちナイター4日） 昼間試合日：9時00分～18時00分 ナイター試合日13時00分～22時00分
屋内テニスコート テニス場クラブハウス	定休日、年末年始、電気の設備点検日を除く毎日 屋内テニスコート：9時00分～21時00分 テニス場クラブハウス：9時00分～18時00分

(2) 冷暖房の運転日

施設名	冷房	暖房
屋内トレーニングセンター JISS 屋内施設 陸上トレーニング場 宿泊施設	5月1日～10月31日 ※切替期間を1週間程度想定する。	11月1日～3月31日 ※切替期間を1週間程度想定する。
サッカー場事務棟	5月1日～10月31日のサッカー場試合開催日	11月1日～3月31日のサッカー場試合開催日
フットサル更衣室 屋内テニスコート テニス場クラブハウス	6月15日～9月30日	11月15日～3月31日
戸田艇庫・合宿	9時00分～21時00分	

(3) 冷暖房の運転時間

施設名	運転時間
屋内トレーニングセンター JISS 屋内施設	7時00分～22時00分
陸上トレーニング場	8時00分～18時00分（通常） 17時00分～22時00分（夜間）
宿泊施設	1日24時間
サッカー場事務棟	9時00分～18時00分（昼間試合日） 13時00分～22時00分（ナイター試合日）
フットサル更衣室	9時00分～21時00分
屋内テニスコート	9時00分～22時00分（競技団体利用） 9時00分～21時00分（団体利用）
テニス場クラブハウス	9時00分～21時00分

戸田艇庫・合宿	9時00分～21時00分
---------	--------------

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
(1) 建築日常点検・保守		○
(2) 電気設備運転・監視及び日常点検・保守		○
(3) 機械設備運転・監視及び日常点検・保守		○
(4) 監視制御設備運転・監視及び日常点検・保守		○

3) 業務内容

(1) 建築日常点検・保守

対象部位 (屋内トレーニン グセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸屋根 ・ 外壁 ・ 屋外階段 ・ バルコニー ・ 視覚障害者誘導用ブロック ・ 建具 ・ エキスパンションジョイント金物
対象部位 (宿泊施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸屋根 ・ トップライト ・ 外壁 ・ 屋外階段 ・ バルコニー ・ 視覚障害者誘導用ブロック ・ 建具 ・ エキスパンションジョイント金物
対象部位 (JISS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸屋根
対象部位 (陸上トレーニン グ場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸屋根 ・ 外壁 ・ 建具

(2) 電気設備運転・監視及び日常点検・保守

対象設備 (屋内トレーニン グセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線 ・ 受変電設備 ・ 自家発電設備 ・ 直流電源設備（静止型電源設備） ・ 太陽光発電設備 ・ 構内配線電路・通信線路 ・ 避雷設備”
対象設備 (宿泊施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線 ・ 受変電設備 ・ 自家発電設備 ・ 直流電源設備（静止型電源設備） ・ 構内配線電路・通信線路 ・ 外灯設備 ・ 避雷設備”
対象設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電灯・動力設備 照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線

(JISS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受変電設備 特高、高圧、低圧 ・ 自家発電設備 ・ 直流電源設備 整流装置・蓄電池 ・ 構内配電線路・通信線路 ・ 外灯設備 ・ 避雷設備 ・ 監視制御設備 中央監視設備、無停電電源設備
対象設備 (陸上トレーニン グ場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明器具、分電盤、開閉器箱、制御盤、幹線 ・ 受変電設備 ・ 構内配電線路・通信線路 ・ 外灯設備

(3) 機械設備運転・監視及び日常点検・保守

対象設備 (屋内トレーニン グセンター及び宿 泊施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温熱源機器 (真空式温水発生機) ・ 冷熱源機器 (直焚き吸収冷温水機、ターボ冷凍機、ビルマルチパッケージ、ガスエンジン式パッケージ、氷蓄熱ユニット他) ・ 空気調和等関連機器 (冷却塔、ユニット形空調機、ポンプ、熱交換器、貯湯槽、ヘッダー、送風機、ファンユニット他) ・ 給排水衛生機器 (ポンプ、水槽、水質の維持) ・ 循環ろ過装置
対象設備 (JISS)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温熱源機器 (鋼製ボイラー) ・ 冷熱源機器 (チリングユニット、空気熱源ヒートポンプユニット、直焚き吸収冷温水機) ・ 冷暖房関連機器 (熱交換器、貯湯槽、冷却塔、ヘッダー、ユニット形空気調和機、空気清浄装置、ポンプ、送風機・全熱交換器、顕熱交換ユニット) ・ 給排水衛生機器 (ポンプ) ・ 低酸素システム (宿泊室) ・ 分電 ・ 空気圧縮機 ・ 操作監視盤 ・ 安全装置 ・ 中水ろ過設備 ・ ろ過装置 ・ ろ過ポンプ ・ 集毛器 ・ 塩素滅菌装置 ・ エアコンプレッサー ・ 制御盤 ・ プールろ過設備 ・ 熱交換器 ・ 水質監視装置 ・ 塩素注入装置 ・ 調整液注入装置 ・ 滅菌剤注入装置 ・ オゾン装置 ・ オゾン加圧ポンプ ・ 浴槽ろ過設備 ・ 昇降機 (エレベーター) ・ 硬水軟化装置
対象設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷熱源機器 (パッケージ形空気調和機、ガスエンジン式パッケージ形空気調

(陸上トレーニング場)	和機) ・ 空気調和等関連機器 (送風機、全熱交換器ユニット) ・ 給排水衛生機器 (ポンプ)
-------------	---

(4) 監視制御設備運転・監視及び日常点検・保守

運転監視及び点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監視制御設備の運転・監視に当たっては、建築設備の監視制御を停止することなく行う。また、防災関係監視設備の監視も行う。 ・ 防災関係設備の監視内容は下記のとおりとし、対応に当たっては、警備業務と連携して対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ア 自動火災報知盤異常警報監視及び初期対応 イ 防災設備異常警報監視及び初期対応 ウ 監視カメラ設備操作、監視及び初期対応 エ 防犯設備異常監視及び初期対応 オ 非常火災放送設備操作及び初期対応 カ トイレ緊急呼出し設備及び初期対応
----------	---

4. 警備業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 施設内外の秩序及び規律を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止に務める。
- 365日24時間、保安警備が円滑に実施できる体制とする。ただし、人員の配置を含め、必ずしも365日24時間を通して同一の体制を求めるものではない。
- 原則として民間事業者が有人警備を行い、より安全性を高めるため既存の警備機器を併用して行う。
- 業務の実施に当たっては、状況を的確に把握し、適切に判断の上、施設環境及び機能を阻害することのないようにする。
- 施設としての防犯、利用者の安全確保を十分に行える、法的に必要な資格を有する人員や、業務に必要な能力、資質、経験を有する人員を適切に配置する。
- 利用者の利便に配慮しながら、事件、事故を防止する観点で業務を実施する。
- 火災や地震等の災害発生時には、利用者等に対し、状況に応じて迅速で的確な避難誘導を行う。
- 実施業務の結果を記録、提出、保管する。
- 社員教育、研修により本業務に従事する者の意識、知識及び技術の向上を図る。

1) 業務概要

警備業務は、施設警備全般を行うもので、利用者に対して適切な受付・案内業務を行うとともに、場内外の巡回業務を行い、施設の安全確保、有事の際や緊急時の避難誘導、緊急連絡等を通じて、サービスの向上、良好な環境維持と保全を図る。

常駐警備	JISS 屋内施設、陸上トレーニング場、屋内トレーニングセンター、宿泊施設、戸田艇庫・合宿室
巡回警備	JISS 屋外施設、屋内テニスコート

戸田艇庫・合宿室には、消防法に基づく防火管理者資格を有する者を配置し、消防法令に定められた防火対象物の防火上の管理も併せて行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務内容	業務項目	NAASH	民間事業者
(1) 常駐警備業務	防犯・防災監視		○
	鍵管理	△指示	○
	出入管理		○
	遺失物の取り扱い		○
	各種災害時の対応		○
	その他	△指示	○
(2) 巡回警備業務	駐車場管理		○
	巡回監視		○

3) 業務内容

(1) 常駐警備業務

防犯・防災監視	・ 防犯及び防災設備の監視を行う。
鍵管理	・ 預託された施設の鍵を管理する。
出入管理	・ 施設の人、物及び車両の出入りの管理を行う。 ・ 門及び玄関出入口等の施錠または開錠を行う（下記参照※）。
遺失物の取り扱い	・ 遺失物の受付を行う。
各種災害時の対応	・ 本業務の履行場所は、東京都により災害時の避難場所に指定されているので、近辺において大地震、大火等が発生した場合は、直ちに全ての門を開放し、避難者を収容する。
その他	・ 警備上必要と認められる業務、及び監督職員の指示による関連業務を行う。

※施設出入口の施開錠の時間

施設出入口の施開錠の時間は下表による。ただし、施設休業日及びサッカー場の大会開催日については、別途協議するものとする。また、テニス場営業時間変更の場合も同様とする。

施設	場所	開錠時間	施錠時間	備考
JISS 屋内施設	正門	6 : 30	23 : 00	
	西門	8 : 00	20 : 00	
	北門	8 : 00	22 : 00	
	南門1	8 : 00	20 : 00	
	南門2	8 : 00	20 : 00	
	正面玄関	8 : 30	21 : 00	
	通用口	8 : 00	18 : 00	
陸上トレーニング	門扉-1（敷地出入口）	8 : 00	22 : 00	常時開放

施設	場所	開錠時間	施錠時間	備考
場	門扉－２（施設出入口）	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	門扉－３（自動車出入口） ※	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	門扉－４（敷地出入口）	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	門扉－５（通用口）	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	門扉－６（通用口）	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	門扉－７（施設出入口）	８：００	２２：００	随時対応 （セキュリティ）
	緊急時出入口（３か所）	常時閉		震災時開放
屋内トレーニングセンター	エントランス入口	８：３０	２１：００	
	通用口	８：００	１８：００	
宿泊施設	正門	６：３０	２３：００	
	西門	８：００	２２：００	
	エントランス入口	８：３０	２１：００	
	通用口	８：００	１８：００	
戸田艇庫・合宿室	エントランス入口	８：３０	２１：００	
	通用口	８：００	１８：００	

(2) 巡回警備業務

駐車場管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場内の巡回を行う。 ・ 駐車禁止区域の設定及び必要に応じた注意喚起を行う。
巡回監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者及び不審物の発見及び適正処理、安全確認等を行う。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸田艇庫・合宿室には、消防法に基づく防火管理者資格を有する者を配置し、消防法令に定められた防火対象物の防火上の管理も併せて行う。

5. 清掃業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 建物内部の各部位について日常的に除塵を行い、ごみ、埃、汚れが目立たない状態を保つ。
- 建物・備品等の破損がない状態を保つ。
- 建物・備品等を破損した場合は、直ちに監督職員に報告し、その指示に従う。
- 清掃器具及び使用材料は、作業内容並びに建築材質に適したものを使用する。
- 清掃作業は、法令等に定められた安全基準を満たす方法により行う。
- 清掃作業は要求水準書に記載のない事項であっても、美観上、衛生上、又は建物の管理上必要と認められた箇所、その他軽微なものについても実施する。
- 通常のコ掃作業終了後は、定期的に清掃対象箇所を巡回し、汚れがあった場合は直ちに対応する。また、監督職員から指示があった場合についても同様とする。

5.1. 日常・定期清掃業務

1) 業務概要

施設内外の床、床以外及び窓の清掃並びにごみの収集及び分別運搬の業務を行う。

(1) 清掃業務日

業務場所		業務日
JISS 屋内施設		<ul style="list-style-type: none"> 原則として土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く営業日。 ただし、共用部は毎日清掃業務を行い、プール、研究体育館、トレーニング体育館、それらに関する更衣室等は、年末年始（12月29日～1月3日）も清掃業務日とする。
JISS 屋外施設	テニス場クラブハウス	原則として一般利用の営業日とする。
	フットサル更衣室・練習場	原則として団体利用の営業日とする。
陸上トレーニング場		<ul style="list-style-type: none"> 清掃業務日は、土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く営業日。 ただし、共用部は毎日清掃業務を行い、各専用利用施設、ウエイトトレーニング場それらに関する更衣室等は、年末年始（12月29日～1月3日）も清掃業務日とする。
屋内トレーニングセンター		<ul style="list-style-type: none"> 原則として土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く営業日。 ただし、共用部は毎日清掃業務を行い、プール、各専用利用施設、ウエイトトレーニング場それらに関する更衣室等は、年末年始（12月29日～1月3日）も清掃業務日とする。
	内、屋内テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> 各専用利用施設は、原則として土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く営業日。 ただし、共用部は毎日清掃業務を行い、関係する更衣室等は、年末年始（12月29日～1月3日）も清掃業務日とする。団体利用施設は、原則として団体利用の営業日とする。
戸田艇庫・合宿室		<ul style="list-style-type: none"> 原則として土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く営業日。 ただし、共用部及びトレーニングルーム等は毎日清掃業務を行い、合宿室、艇庫、それらに関する更衣室等は、年末年始（12月29日～1月3日）も清掃業務日とする。

(2) 清掃業務時間

8:00～17:00 とする。（時間外作業を行う場合は、監督職員に報告するものとする。）

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
清掃作業		○
医療ごみの収集		○
ごみ分別及び搬出補助作業		○
JISS 屋内施設のクリニック		○

3) 業務内容

作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容は、別紙 5-1 による。 ・ あらかじめ監督職員に実施場所及び作業項目提出し、その承諾を得た上で実施する。 ・ 本業務は営業施設を対象としているため、作業内容が「共仕」による項目その他の各作業項目において、作業場所の汚れ及び廃棄物の排出状況等を十分把握して作業を実施する。
医療ごみの収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ JISS 地下 1 階及び 1 階の診療エリアで発生する医療ごみの収集については、各部屋で集めたものを、指定のセーフティーボックスまで運搬するものとする。(別に、管理規程を制定し実施する。)
ごみ分別及び搬出補助作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ集積場に集積したごみを下記のとおり分別するとともに、ごみを場外に搬出する補助を行う。 ・ ごみ集積場に集積した、ビニール袋（未分別ごみ）を開き、燃えるごみ、缶、びん等に分別する。 ・ 燃えるごみは、そのまま収集車で搬出する。 ・ 缶、びん及びペットボトルは、さらに分別の上、ビニール袋に入れ、所定の場集積する。 ・ 竹かごを所定の場所に戻し、ごみ数量を確認する。 ・ 上記作業終了後、集積所及びその周辺を清掃する。
JISS 屋内施設のクリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容は、別紙 5-2 による。 ・ MRI 室の清掃を行う場合は、金属類等は持ち込まないよう注意する。

5.2. サッカー場清掃業務

1) 業務概要

JISS 屋外施設のサッカー場の清掃業務は、大会日のサッカー場事務棟、スタンド及びスタンド便所の事前清掃と事後清掃及び大会以外はサッカー場事務棟諸室の清掃を行うものである。

(1) 業務時間

業務内容	業務日	業務時間
サッカー場大会事前清掃業務（ゴミ収集業務を含む）	随時	8：00～17：00
サッカー場大会事後清掃業務（行事中作業・ゴミ収集業務を含む。）	大会日	・9：00～作業終了まで ・13：00～作業終了まで
サッカー場大会以外事務棟諸室清掃業務	随時	8：00～17：00

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
サッカー場事前清掃業務	△指示	○
サッカー場事後清掃業務	△指示	○
サッカー場大会以外事務棟諸室清掃業務	△指示	○

3) 業務内容

全般	・ 作業項目は、別紙5-1による。
サッカー場大会事前清掃業務	・ サッカー場の事前清掃業務と各門、各室の開錠及び更衣室内シャワーの準備、衛生消耗品の補充を行う。
サッカー場大会事後清掃業務	・ 各門、各室の開錠及び更衣室内シャワーの準備を行う。 ・ 事務棟、便所の清掃、点検及び衛生消耗品の補充を行う。 ・ その他、監督職員から指示がある作業を行う。
サッカー場大会以外事務棟諸室清掃業務	・ 選手控室等の清掃を行う。
備考	・ 行事終了後の作業は、終了後速やかに実施する。ただし、翌日に行事のない場合においては、監督職員と協議の上、実施日を変更することができる。 ・ サッカー場試合回数は年間70～80回程度を想定する。

6. 環境衛生管理業務

民間事業者は、本業務の実施に当たり、次の要求水準を満たす業務を提供する。

【要求水準】

- 施設的环境を常に最良の状態に保つため、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（昭和45年法律第20号（以下「ビル管理法」という。））及び「労働安全衛生法」「水道法」「水質汚濁防止法」等の関係法令に基づき、必要な検査・作業を実施する。

6.1. 各種環境測定

1) 業務概要

対象施設の環境を常に良好な状態に保つため、法令に基づく環境測定及び諸室の環境細則測定を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
空気環境測定		○
飲料水水質検査		○
給湯水水質検査		○
プール水水質検査		○

3) 業務内容

空気環境測定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浮遊粉じんの量・一酸化炭素の含有量・二酸化炭素の含有量・温度・相対湿度・気流
飲料水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省略不可項目（10項目） ・ 一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・塩化物イオン・有機物（全有機体炭素（TOC）の量）・pH値・味・臭気・色度・濁度 ・ 重金属（4項目）鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・鉄及びその化合物・銅及びその化合物 ・ 蒸発残留物（1項目） ・ 消毒副生成物（11項目）（6/1～9/30の間に実施）クロロホルム・ジブロモクロロメタン・ブロモジクロロメタン・ブロモホルム・総トリハロメタン・クロロ酢酸・ジクロロ酢酸・臭素酸・トリクロロ酢酸・ホルムアルデヒド・シアン化物イオン及び塩化シアン ・ その他（毎回実施）水温・気温
給湯水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲料水と同様の項目を行う。
プール水水質検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水素イオン濃度・濁度・遊離残留塩素濃度・有機物等（過マンガン酸カリウム（KMnO₄）消費量）・総トリハロメタン・大腸菌・一般細菌
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測定箇所・回数については、別紙6-1及び別紙6-2による。

6.2. 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務

1) 業務概要

(1) 清掃施設・回数

別紙6-3による。

(2) 法令及びその関係諸法令等

本業務は、ビル管理法及び水道法（昭和43年法律第97号）第16条等関係諸法令に基づき実施する。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
受水槽及び高置水槽の清掃		○
雑排水槽の清掃		○
汚水槽の清掃		○
貯湯槽の清掃		○

3) 業務内容

受水槽及び高置水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 清掃作業中に、水槽内外の点検及び給水管、ボールタップ、タラップ、点検口、満減水警報装置等の錆落とし清掃及び点検・作動確認を行う。 清掃作業完了後、水張りを行い、水質検査（「残留塩素」「色度」「濁度」「臭気」「味」）の5項目を行う。 高置水槽の清掃は、受水槽の清掃と同一の日に行うものとし、また受水槽の清掃を行った後に行う。
雑排水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 槽内の沈殿物及び天井・壁面・底部等に付着した錆、汚れ付着物の除去・清掃の上、場外搬出する。 槽内の水洗い清掃を行う。 槽内の清掃終了後、塩素薬剤にて2回以上の消毒を行う。なお、消毒の間隔は1時間以上空ける。 洗浄に用いた水及び消毒排水の除去は、完全にタンク外に排除するとともに、タンク周辺の清掃を行う。 清掃作業中に、水槽内外の点検及び給水管、ボールタップ、タラップ、点検口、満減水警報装置等の錆落とし清掃及び点検・作動確認を行う。
汚水槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 槽内の沈殿物、浮遊物質及び油脂類、その他異物を除去し、場外搬出する。 槽内の水洗い清掃を、1回行う。 排水ポンプ、槽内配管、点検口、フロートスイッチ等の水洗い清掃及び点検を行う。 汚水槽清掃後、水槽の天井、壁、及び底の破損等がないか点検する。 汚水槽清掃後、点検口及び付近通路の水洗い清掃を行う。
貯湯槽の清掃	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容は受水槽に準ずる。 各所マンホールパッキンを取り替える。
備考	<ul style="list-style-type: none"> 受水槽清掃及び貯湯槽清掃業務に当たる作業員は、腸内細菌培養検査を実施し、赤痢菌・サルモネラ菌・O-157・パラチフス・腸チフスについて陰性である者とする。

6.3. 害虫防駆除・消毒作業

1) 業務概要

国立スポーツ科学センター各施設建物内及びナショナルトレーニングセンター各施設建物内の害虫の駆除及び発生の予防を行い、衛生環境を整えるものである。

(1) 業務の時間帯

原則として8：30～17：00とする。休日（土・日・祝祭日）に業務を行う場合及び時間帯を超過する場合は、監督職員と協議する。

(2) 作業予定

別紙6-4による。

(3) 準拠する法令等

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「ビル管理法」等の関係法令に基づいて業務を行う。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
事前調査		○
駆除・予防		○
効果判定		○
定期調査		○
その他	△	○

3) 業務内容

事前調査	・ 捕獲用トラップ及び粘着シートの配置を行い、ゴキブリ、ネズミ等有害生物の侵入状況を確認する。
駆除・予防	・ 有害生物侵入場所の薬剤交換及び表皮形成阻害剤を噴霧散布する。使用薬剤は、ゴキブリ用毒餌剤・捕獲用トラップネズミ捕獲用粘着シート表皮形成阻害剤（ジフルベンズロン水和剤）。
効果判定	・ 作業後、速やかに報告書を取りまとめ、害虫駆除の結果を報告するとともに食毒剤、捕獲用トラップ及び粘着シートの交換を行う。
定期調査	・ 有害生物の生息状況を確認するとともに、設置してある食毒剤、捕獲用トラップ及び粘着シートの交換を行う。 ・ 配置は、別紙6-5による。
その他	・ 別紙6-6に記載されていない場所においても、必要と思われるものについては、監督職員と協議する。

6.4. クリーニング業務

1) 業務概要

JISS スポーツクリニック、栄養指導食堂、喫茶室、宿泊室（リネン類除く。）、NTC 宿泊施設（リネン類除く）及び戸田艇庫・合宿室で発生する洗濯物について、クリーニングを行うものである。

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
クリーニング業務	△確認	○

3) 業務内容

収集及び納品日	<ul style="list-style-type: none">・ JISS スポーツクリニック、栄養指導食堂及び喫茶室については、週 2 回火曜日及び金曜日に行う。（祝日を除く。）・ JISS 宿泊室及び NTC 宿泊施設については、随時行う。・ 戸田艇庫・合宿室については、週 1 回月曜日に行う。（祝日を除く。）・ 緊急を要する場合は、監督職員の指示により処理する。
収集及び納品時間	<ul style="list-style-type: none">・ JISS スポーツクリニック、栄養指導食堂、喫茶室、宿泊室及び NTC 宿泊施設については、15 時から 17 時までに行う。・ 戸田艇庫については、9 時から 17 時までに行う。
対象物及び周期	<ul style="list-style-type: none">・ 別紙 6 - 7 による。
数量確認	<ul style="list-style-type: none">・ 収集及び納品に際しては、監督職員から品物と数量の確認を受ける。

6.5. 吸収冷温水機及びボイラーばい煙等測定調査

1) 業務概要

概要大気汚染防止法の定めるところにより、ばい煙発生施設の排ガス流量等及び窒素酸化物濃度、ばいじん濃度等の測定を行う。

設置場所	機器	機種	9月	12月	3月
JISS	鋼製ボイラー①	ヒラカワガイダム (株) MPボイラー	○	×	○
	鋼製ボイラー②	804	○	×	○
	鋼製ボイラー③	MPボイラー801	×	○	○
	吸収冷温水機①	(株) 荏原製作所 RCDGN032E	○	×	○
	吸収冷温水機②		○	×	○
屋内トレーニングセンター	吸収冷温水機①	川重冷熱工業 (株) ΣTEG-300	○	×	○
	吸収冷温水機②	0DN5C	○	×	○
	真空式温水発生機①	昭和鉄工 (株) CVM-N9002G	○	×	○
	真空式温水発生機②	-3	○	×	○
宿泊施設	真空式温水発生機①	昭和鉄工 (株) CVL-N22502	○	×	○
	真空式温水発生機②	G-3	○	×	○

2) 業務項目及び役割分担

業務項目	NAASH	民間事業者
吸収冷温水機及びボイラーばい煙等測定調査	△指示	○

3) 業務内容及び要求水準

① 業務内容

測定項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排ガス温度 (°C) ・ 排ガス中の水分量 (%) ・ 平均流速 (m/s) ・ 排ガスの静圧 (kPa) ・ 排ガス流量 (湿りガス及び乾きガス : m³N/h) ・ ばいじん濃度 (実測及び換算 : g/m³N) (実測 O₂ : %) ・ 窒素酸化物濃度 (実測及び換算 : ppm) (実測 O₂ : %) ・ 硫黄酸化物 (濃度 : ppm) (量 : m³N/h) ・ 塩化水素濃度 (実測及び換算 : mg/m³N) 実測 O₂ : %) ・ 乾きガス組成 (CO₂・O₂・N₂ : %) ・ 空気比
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測定を行うに際しては、当該設備の概要、運転状況を十分に把握し、危険のないよう実施する。 ・ 測定位置、資料採取方法及び分析方法等については、関係諸法令に基づき正確に行う。 ・ 測定で異常を認めた場合は、監督職員に報告し、その指示に従う。

国立スポーツ科学センター・ナショナル
トレーニングセンター管理・運営業務一式
要求水準書 別紙

要求水準書 別紙一覧

第1 業務概要及び業務条件等

- 別紙1-1 選任を要する業務別の業務責任者
- 別紙1-2 選任を要する法定資格者
- 別紙1-3 拾得物廃棄処分申請書
- 別紙1-4 発注者の負担による貸与する物品

第2 運営業務

- 別紙2-1 消耗品一覧
- 別紙2-2 ホテルシステム概要
- 別紙2-3 J I S S低酸素システム概要
- 別紙2-4 作業項目及び周期、窓ガラス面積
- 別紙2-5 宿泊施設の客室整備業務及び環境整備業務詳細

第3 保守管理業務

- 別紙3-1 廃棄物構内指定場所
- 別紙3-2 植栽域の配置
- 別紙3-3 保全調書
- 別紙3-4 電動シャッター等設備保守点検
- 別紙3-5 自動ドア設備保守点検機器及び点検内容
- 別紙3-6 保守対象機器構成内訳（構内電話交換機設備）
- 別紙3-7 保守点検内容及び周期（構内電話交換機設備）
- 別紙3-8 受変電設備一覧及び結線図等
- 別紙3-9 業務用冷蔵庫及び製氷機構成内訳
- 別紙3-10 自家用発電設備の地下タンク気密試験
- 別紙3-11 自家用非常用発電機設備等保守点検
- 別紙3-12 機器構成表及び点検基準（ITV設備）内訳明細表
- 別紙3-13 点検項目及び参考図面（総合ビル管理システム）
- 別紙3-14 保安全管理業務の細目及び基準
- 別紙3-15 空調設備一覧
- 別紙3-16 保守点検作業内容（空調自動制御設備）
- 別紙3-17 点検対象機器一覧（空調自動制御設備）
- 別紙3-18 点検対象機器一覧（空調自動制御設備）
- 別紙3-19 エレベーター保守点検項目
- 別紙3-20 消防設備保守点検対象
- 別紙3-21 直焚吸収冷温水機保守点検
- 別紙3-22 点検回数及び保守点検項目一覧（空気熱源ヒートポンプユニット）
- 別紙3-23 ボイラー及び第一圧力容器の性能検査に伴う点検整備使用及び図面
- 別紙3-24 厨房除害施設フローシート、設備機器一覧及び保守点検要領一覧表
- 別紙3-25 水処理装置の保守点検
- 別紙3-26 水冷スクリー冷却機
- 別紙3-27 冷水器点検内容及び設置場所

- 別紙 3-28 冷水器設置場所図面
- 別紙 3-29 送風機設備一覧
- 別紙 3-30 真空式温水発生機保守点検・設備機器配置図
- 別紙 3-31 中央集塵装置概要及び本体機器構成
- 別紙 3-32 中央集塵装置設備一覧
- 別紙 3-33 水泳場浄化装置設備一覧
- 別紙 3-34 氷蓄熱スクリーンヒートポンプ設備一覧
- 別紙 3-35 ターボ冷凍機設備一覧
- 別紙 3-36 人工炭酸泉ろ過装置保守点検
- 別紙 3-37 ジャグジープールろ過装置保守点検
- 別紙 3-38 自動灌水装置保守点検

第4 警備業務

別紙なし

第5 清掃業務

- 別紙 5-1 清掃業務（作業項目及び周期）
- 別紙 5-2 クリニック内清掃仕様

第6 環境衛生管理等業務

- 別紙 6-1 空気環境測定・照度測定箇所一覧表
- 別紙 6-2 貯水槽清掃・水質測定検査
- 別紙 6-3 受水槽・高置水槽・貯湯槽・汚水槽・雑排水槽清掃施設・回数一覧
- 別紙 6-4 J I S S ・ N T C 害虫駆除年間作業予定
- 別紙 6-5 害虫駆除配置図
- 別紙 6-6 使用薬剤・資材数量表
- 別紙 6-7 クリーニング対象物周期・予定数量

参考資料

- 別紙 7-1 施設図面
- 別紙 7-2 対象設備一覧

選任を要する業務別の業務責任者

業務分類	業務内容	選任を要する責任者
運営業務	受付等業務	J I S S 総合案内・受付業務責任者
		戸田艇庫・合宿室受付業務責任者
		N T C 総合案内・受付業務責任者
	宿泊施設運営業務	宿泊施設運営業務責任者
保守管理業務	園地整備業務	園地整備業務責任者
	雑役業務	雑役業務責任者
	設備運転監視及び日常点検保守業務	設備運転監視及び日常点検保守業務責任者
	設備保守点検業務	設備保守点検業務責任者
警備業務	警備業務	警備業務責任者
清掃業務	清掃業務	清掃業務責任者
環境衛生管理等業務	環境衛生管理等業務	環境衛生管理等業務責任者

※各責任者の兼務については、業務の質を確保できる範囲で可とします。

選任を要する法定資格者等

業務分類	業務内容	選任を要する法定資格者等
保守管理業務	設備運転監視及び日常点検保守業務	<ul style="list-style-type: none"> * 第3種又は第2種電気主任技術者 * 建築物環境衛生管理技術者 * エネルギー管理士又は技術管理者 * 防災センター要員 * 一級ボイラー技士 * 乙類四種危険物取扱者 * 冷暖房熱源機取扱者 * 第一種圧力容器取扱者
	設備保守点検業務	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調自動制御得設備保守点検 ・ エレベーター保守点検 (右記のうちいずれか) 	<ul style="list-style-type: none"> * 第2種電気工事士 * 一級建築士若しくは二級建築士又は国土交通大臣が定める資格を有する者 * 建築基準適合判定資格者 * 建築設備士 * 建築設備検査資格者 * 特殊建築物調査資格者 * 昇降機検査資格者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備保守点検 	* 消防設備士及び消防設備点検資格者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受変電設備試験点検 	* 電気主任技術者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラー及び第一種圧力容器の性能検査に伴う点検整備 	* ボイラー整備士
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用非常用発電機設備の地下貯蔵タンク気密試験点検 	* 電気主任技術者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用非常用発電機設備の試験点検 	* 電気主任技術者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸田艇庫自家用電気工作物の保安管理業務 	* 電気主任技術者
警備業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常駐警備業務 	<ul style="list-style-type: none"> * 警備業法指定講習修了者 * 自衛消防技術認定証保有者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回警備業務 	<ul style="list-style-type: none"> * 防災センター要員 * 甲種防火管理者(戸田艇庫・合宿室)
清掃等業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃業務 	<ul style="list-style-type: none"> * ビルクリーニング技能士 * 病院清掃受託責任者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期清掃業務 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会清掃業務 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃補助業務 	
環境衛生管理等業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種環境測定 	<ul style="list-style-type: none"> * 空気環境測定実施者 * 作業環境測定士
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受水槽、高置水槽、汚水槽等清掃業務 	<ul style="list-style-type: none"> * 貯水槽清掃作業監督者 * 貯水槽水道衛生管理士 * 建築物飲料水水質検査業
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 害虫駆除業務・消毒業務 	<ul style="list-style-type: none"> * 防除作業監督者 * 毒物薬物取扱責任者 * ペストコントロール技術者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吸収冷温水機及びボイラーばい煙等測定調査 	* 公害防止管理者

拾得物廃棄処分申請書

申請年月日	平成		年		月		日		
処分年月日	平成		年		月		日		
廃棄対象期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
廃棄処分品	内容は別紙のとおり								
遺失物取扱責任者	上記拾得物の廃棄処分を申請します。								
備考	所属	国立スポーツ科学センター運営部運営調整課							
	氏名	印							

取扱者	廃棄処分実行者

国立スポーツ科学センターの管理・運営業務の実施に要した設備・備品

使用場所	使用設備・備品	数量
警備室	パソコン	2
	モニター	2
	セキュリティ	1
	プリンター	1
	金庫	1
	電話	2
	PHS	4
	椅子	3
	非常用メガホン	1
警備宿直室	2段ベッド	1
	除湿器	1
	テレビ	1
	冷蔵庫	1
	電話	1
	机	2
	椅子	7
	ホワイトボード	1
警備控え室	机	4
	椅子	15
	キャビネット	1
	衝立	1
	ロッカー	17
	テレビ	1
	長椅子	6
	下駄箱	2
	レンジ	1
	冷蔵庫	1
	ホワイトボード	1
	中央監視室	テレビ
ノートパソコン		1
モニター		2
キャビネット		3
ロッカー6人用		1
2段ベッド		1
PHS		5
ホワイトボード		1
電話		2
書棚		1
机		2
椅子		7
		テレビ
	洗濯機	1

中央監視・清掃控室	乾燥機	1
	冷蔵庫	1
	ソファベッド	1
	ロッカー	18
	机	6
	椅子	19
	長椅子	5
	食器棚	1
	本棚	1
	下駄箱	2
	レンジ	1
	雑誌ラック	1
	キャビネット	1
	電話	1
	ノートPC	1
	PHS	2
	椅子	7
サッカー場キーパー室	冷蔵庫	1
	電子レンジ	1
	洗濯機	1
	乾燥機	1
	事務机	1
	椅子(肘付き)	3
	長机	1
	長椅子	2
	椅子(肘なし)	0
	ロッカー	11
	下駄箱	1
	テレビ	1
	園地・屋外施設	乗用動力噴霧器
小型耕運機		1
バンカー均し機		1
車両等整備用具		1
パワーブロー		4
手押し式ロータリーモア		2
ヘッジトリマー		3
チェーンマット		1
リヤカー		2
散水用具		1
清掃用具		1
コートローラー		1
電気自動車		2
刈払い機		5
小型発電機		1
チェンソー		1

	電気トリマー	5
	散布機	2
	除雪機	1
	高圧洗浄機	2
	コンプレッサー	1
Bクラブハウス	イス(肘付き)	2
	キャビネット	1
	給湯器	8
	書類棚	3
	洗濯機	1
	ソファ	6
	テーブル	11
	テレビ	1
	電気ポット	1
	電子レンジ	1
	長椅子	4
	パソコン	1
	プリンター	1
	ラミネーター	1
	冷蔵庫	1
	ロッカー	2
	内線電話	1
宿泊フロント・清掃控室	テーブル	2
	長椅子	1
	椅子	10
	事務机	3
	パソコン	1
	ロッカー	9
	プリンター	1
	コピー機	1
戸田艇庫・合宿室	長イス	3
	ファックス	1
	プリンター	1
	冷蔵庫	2
	テレビ	1
	パソコン	1
	モニター	1
	電話	1
	スチールケース	1
	2段式ケース	1
	ロッカー	3
	スチール食器棚	2
	机	4
	金庫	1
	テーブル	1

	イス	4
	袖机	2
	スチール棚	2
	二段ベッド	1
	書棚2段	2
	書棚平段	2
	ホワイトボード	3
	電子レンジ	1
	キャスター付きイス	3
	傘立て	1

ナショナルトレーニングセンター屋内トレーニング施設

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量
中央監視室	事務机	5
	袖机	5
	椅子	7
	テーブル	1
	モニター	1
	デスクトップパソコン	5
	複合機	1
	電話	1
	ラック	8
	ロッカー(3連)	2
	ゴミ箱	1
	業者控室	金庫
袖机		1
椅子		12
テーブル		3
ベッド		2
テレビ		1
テレビ台		1
壁面ラック		3
ロッカー(3連)		5
冷蔵庫		1
パーテーション		1
流し		1
ゴミ箱		2
女子更衣室		ロッカー(3連)
1階受付	椅子	4
	袖机	2
	キャビネット	2
	電話	2
	デスクトップパソコン	1
	モニター	1
	キーボックス	1

	ゴミ箱	2
	時計	1
	ペン立て	1
エントランス受付	椅子	2
	時計	1
	袖机	1
	デスクトップパソコン	1
	電話	1
	ゴミ箱	1
	PHS	1

ナショナルトレーニングセンター宿泊施設

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量
ホテルフロント	折り畳みテーブル	1
	椅子	5
	モニター	1
	デスクトップパソコン	2
	複合機	1
	ホテルシステムパソコン	1
	ルームインジケーター	2
	電話	2
	ワゴン	1
事務室	机	5
	椅子	5
	袖机	4
	壁面ラック	4
	冷蔵庫	1
	レンジ	1
	ポット	1
	流し	1
	机	1
	ゴミ箱	6
	椅子	1
	プリンター	1
	デスクトップパソコン	3
	JISS情報端末	1
	男子ロッカー室	ロッカー(3連)
ベンチ		2
スノコ		1
洗面台		1
女子ロッカー室	ロッカー(3連×2段)	11
	ベンチ	2
	スノコ	5
	パイプコート掛け	1
	洗面台	1

業者控室	テーブル	1
	椅子	2
	ソファ	1
	机	1
	ベッド	1
	ホワイトボード	1
	冷蔵庫	1
	電話	1
	ゴミ箱	1
	時計	1
	休養室	テーブル
電話		1
ゴミ箱		1
警備室	椅子	1
	デスクトップパソコン	2
	壁面ラック	2
	電話	1
	ゴミ箱	1

ナショナルトレーニングセンター陸上トレーニング場

使用場所	使用設備・備品・消耗品	数量
管理室	PHS	3
	コピー機(下記複合機と同一)	1
	時計	1
	ノートPC	1
	複合機	1
	机	3
	椅子	3
	電話	1
	テーブル	1
	折り畳み椅子	4
	ロッカー(4連)	1
	壁面ラック	2
	ゴミ箱	2
	流し	1
控室	デスク	2
	OAテーブル	2
	チェア	14
	コルクボード	2
	ホワイトボード	2
	分別ペール(オープン式)	2
	分別ペール(丸プッシュ式)	2
ロッカー室	ロッカー6人用	9

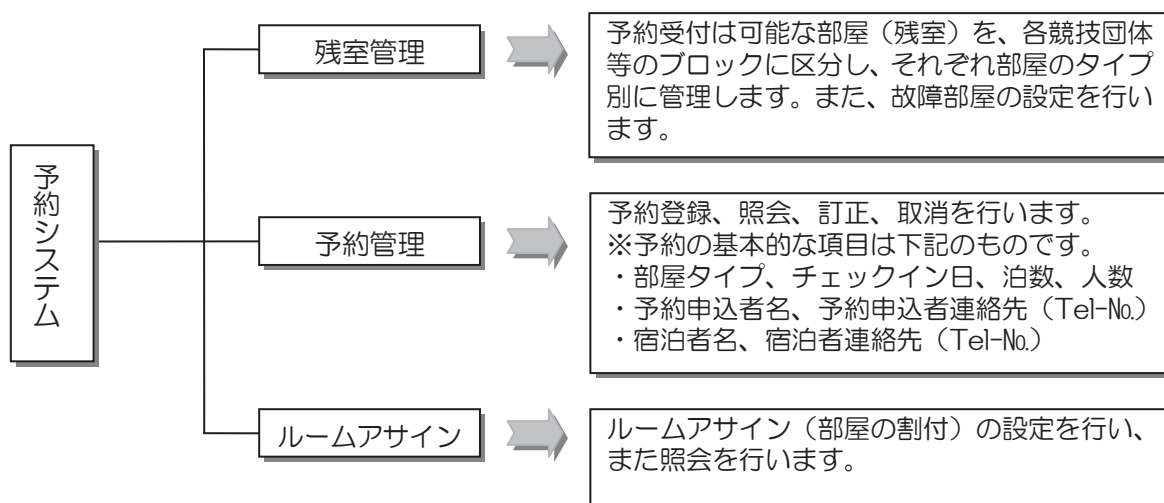
消耗品一覧

番号	消耗品名	備考
1	シャンプー	個
2	リンス	個
3	リンスインシャンプー	個
4	ボディーウォッシュ	個
5	ボディーソープ	個
6	歯ブラシ	本
7	石鹸	個
8	詰替用ハーフティッシュ	個
9	ハーフティッシュボックス	入
10	紙オシボリ	枚
11	タオル	個
12	半ソバ枕	枚
13	洋布巾	枚
14	シャワーカーテン	個
15	トイレクリーナー	個
16	消臭剤	個
17	除菌・漂白剤	個
18	粉石鹸	個
19	ポリ袋	束
20	ダスタークロス	個
21	シューズブラシ	個
22	スリッパ(使い捨て・トイレ用等)	足

ホテルシステムの概要

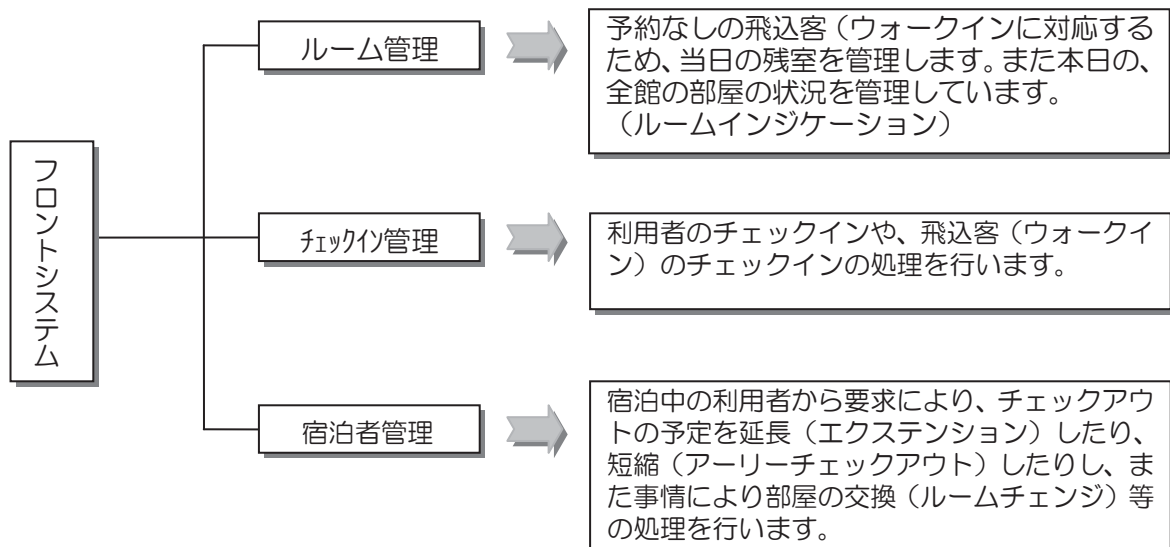
1 予約システムの機能（NTC 宿泊施設、JISS 宿泊施設）

宿泊可能な客室の管理、予約の登録・変更に対してのブロックルームの管理を行います。画面上で最新の予約状況を把握し、正確なルームコントロールを行います。また、予約を容易かつ正確に登録し、宿泊客の問い合わせに対する的確なインフォメーションを迅速に行う事及び宿泊客に対するサービスの強化を目的とします。



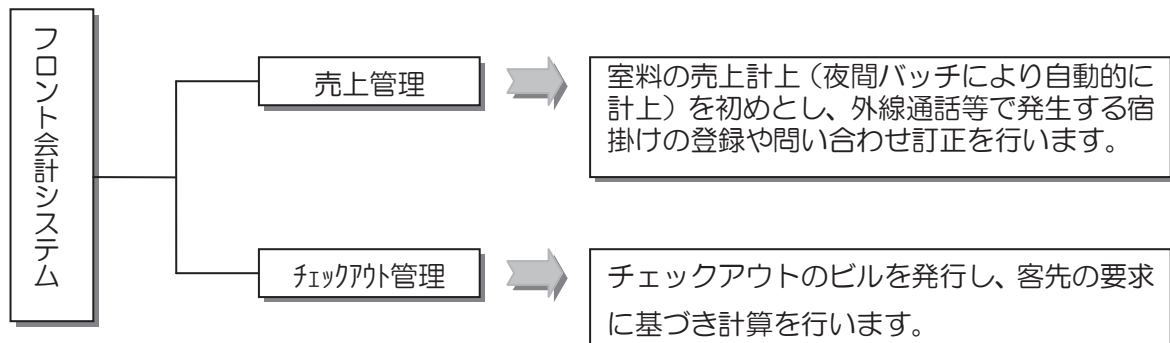
2 フロントシステムの機能（JISS 宿泊施設）

フロントシステムでの業務は宿泊客に対して部屋を割り振るチェックイン業務が主ですが、その他に当日の残室状況の管理、ルームチェンジに関する処理、宿泊客に対するインフォメーションなどがあります。



3 フロント会計システム機能（JISS 宿泊施設）

フロント会計システム業務は、宿泊客に関する一連の会計情報を迅速に処理しチェックアウト時に素早くビル発行を行うチェックアウト業務が主です。



4 フロント統計システム機能（JISS 宿泊施設）

フロント統計システムは、各種統計資料によって、客室稼働率、売上等の分析を行い、将来の営業戦略に役立てることができます。

J I S S 低酸素システム概要

ユーザーズマニュアル

国立スポーツ科学センター機械設備
(空調) 工事空気調和設備 様
低酸素宿泊室
THS-3000



- ユーザーズマニュアルをよく読んでから操作してください。
- 使用上の安全に関する注意事項は、製品を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。
- いつでも使用できるように大切に保管してください。

製造 No : 3090001862

オーダー : 03090-63812

タハイ エスベック 株式会社

責任範囲

このユーザーズマニュアルに記載された取扱方法を必ず遵守して本装置をご使用ください。万一、ユーザーズマニュアルに記載されている以外の内容でご使用され、事故または故障が発生した場合、タバイエスペック株式会社は一切の責任を負いません。このマニュアルに記載されていない事項および禁止事項は、実施しないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

著作権

このマニュアルの著作権は、タバイエスペック株式会社が所有しています。当社の書面による同意なしには、このマニュアルの一部または全部の複製および転載を禁じます。


© 1998. 9. 3 TABAI ESPEC CORP.

お知らせ

- このマニュアルの内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

目 次

第1章 ご使用時の注意

 必ずお読みください。

- 1.1 試験室に入れてはいけない物質 -----1-1
- 1.2 ご使用者の安全について -----1-3
- 1.3 装置の性能について -----1-5
- 1.4 装置の保護について -----1-7
- 1.5 警告表示ラベルについて -----1-8
- 1.6 外部出力端子について -----1-9
- 1.7 接地工事（装置設置時の注意事項） -1-10
- 1.8 電源工事（装置設置時の注意事項） -1-10

第2章 概 要

- 2.1 低酸素発生原理 -----2-2
- 2.2 低酸素制御システムとは -----2-3

第3章 各部の名称とその働き

- 3.1 操 作 部 -----3-2
- 3.2 外部の名称 -----3-3
- 3.3 調節器セットアップ項目 -----3-5
- 3.4 調節器パラメーター一覧 -----3-6

第4章 運転をしてみよう

- 4.1 運転前の確認をする -----4-2
- 4.2 心理室及び運動室酸素濃度警報器を
を設定する --4-2
- 4.3 心理室及び運動室炭酸ガス
濃度警報器を設定する --4-3

- 4.4 低酸素制御システムを運転する ----- 4-3
- 4.5 低酸素制御システムを停止する ----- 4-5

第5章 日常の保守・点検

- 5.1 漏電遮断機の動作テスト ----- 5-1
- 5.2 酸素濃度警報動作テスト ----- 5-2
- 5.3 炭酸ガス濃度指示警報動作テスト --- 5-3
- 5.4 O₂センサーの交換 ----- 5-4
- 5.5 CO₂センサーの交換 ----- 5-4
- 5.6 低酸素空気発生装置内フィルターの交換 -- 5-4
- 5.7 空気圧縮機の点検 ----- 5-5
- 5.8 心理室 O₂・CO₂センサー用サブリング動作確認 5-5
- 5.9 低酸素制御システム定期点検 ----- 5-5

第6章 故障とその処置

- 6.1 アラームで表示される故障等 ----- 6-2
- 6.2 保安装置の種類と取付位置 ----- 6-3
- 6.3 操作パネルの異常表示 ----- 6-4
- 6.4 その他の異常 ----- 6-5

付 録

- A. 主な仕様 -----付録-2
- B. 装備品説明 -----付録-3
- ※ 組立外観図




はじめに

このマニュアルは、本装置をご使用になる方に正しい使い方をご理解いただくために書かれています。このマニュアルを熟読することにより、装置の機能を十分に引き出してご利用ください。



このマニュアルは、次のようにしてお読みください。

- 安全に関する事項は、次のようなシンボルマークを付けて表しています。

- 危険の状態を表示するもの


 高度の危険	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合。
 危険	取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。
 注意	取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

- 行動を直接規定するもの

 禁止	危険の発生回避のために特定の行為の禁止を表す場合。
 必ず実施	危険の発生回避のための特定の行為の義務付け（指示）を表す場合。

- 記録計等については、メーカーの取扱説明書を付属しています。必要に応じてご覧ください。

1

 必ずお読みください。

ご使用時の注意

装置を安全にお使いいただくための注意事項について説明します。使用者、被験者、装置に事故が発生するのを予防するために、必ずお読みください。

1.1 試験室に入れてはいけない物質

禁 止

次に掲げる爆発性物質および可燃性物質、さらにそれらを含む物質は、室内に絶対に入れてください。また、これらの物質を装置付近に放置しないでください。

爆発、火災の原因となります。

爆 発 性 物 質



爆発性の物

1. ニトログリコール、ニトログリセリン、ニトロセルロース、その他爆発性の硝酸エステル類。
2. トリニトロベンゼン、トリニトロトルエン、ピクリン酸、その他の爆発性のニトロ化合物。
3. 過酢酸、メチルエチルケトン過酸化物、過酸化ベンゾイル、その他の有機過酸化物。

つづく

⚠ 禁 止

つづき

可燃性物質



発火性の物

金属「リチウム」、金属「カリウム」、金属「ナトリウム」、黄りん、硫化りん、赤りん、セルロイド類、炭化カルシウム（別名カーバイド）、りん化石灰、マグネシウム粉、アルミニウム粉、マグネシウム粉およびアルミニウム粉以外の金属粉、亜二チオン酸ナトリウム（別名ハイドロサルファイト）



酸化性の物

1. 塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、塩素酸アンモニウム、その他の塩素酸塩類
2. 過塩素酸カリウム、過塩素酸ナトリウム、過塩素酸アンモニウム、その他の過塩素酸塩類
3. 過酸化カリウム、過酸化ナトリウム、過酸化バリウム、その他の無機過酸化物
4. 硝酸カリウム、硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウム、その他の硝酸塩類
5. 亜塩素酸ナトリウム、その他の亜塩素酸塩類
6. 次亜塩素酸カルシウム、その他の次亜塩素酸塩類



引火性の物

1. エチルエーテル、ガソリン、アセトアルデヒド、酸化プロピレン、二硫化炭素その他の引火点が零下30度未満の物
2. ノルマルヘキサン、酸化エチレン、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトンその他の引火点が零下30度以上0度未満の物
3. メタノール、エタノール、キシレン、酢酸ベンチル（別名酢酸アミル）その他の引火点が0度以上30度未満の物
4. 灯油、軽油、テレピン油、イソベンチルアルコール（別名イソアミルアルコール）、酢酸、その他の引火点が30度以上65度未満の物



可燃性のガス

（水素、アセチレン、エチレン、メタン、エタン、プロパン、ブタンその他の温度15度、1気圧において気体である可燃性のものをいう。）

【労働安全衛生施行令第6条別表より抜粋】

1.2 ご使用者の安全について

本装置をお使いになられるときは、次の事項をお守りください。

危 険

- 被験者保護の為、低酸素制御システム運転中試験室内の O_2 ・ CO_2 濃度を常に監視しています。
正確な濃度管理を行う為、心理室内のサンプリング空気吸込口や運動室センサー部を塞いだりしないで下さい。
また、正確な濃度管理を行う為、サンプリング空気吸込口付近に近づかないで下さい。
- 低酸素試験を連続長時間行った場合、試験室周囲及び機械室内が通常より低酸素状態になる可能性があります。
低酸素制御システム運転中は、試験室周囲及び機械室の換気を十分に行ってください。
- 被験者保護のため、入室人員仕様は必ず厳守してください。

注 意

- 機会室内に入る場合は窓を開ける等、十分換気を行って入室して下さい。
- 試験室内にストーブ等の燃焼機器を入れた場合、燃焼ガスにより試験室内空気が汚染され、被験者が危険な状態になります。
低酸素制御システム運転中は、試験室内に持込まないで下さい。

⚠ 必ず実施

- 低酸素制御システムのご使用に際し、装置の操作・保守・安全管理等のため、専任オペレータを選出し、必ず専任オペレータ立合いの下で運転を行ってください。
また、被験者入室中は、専任オペレータが常時被験者の状態を確認し、異常がある場合は速やかに試験を中止し、被験者の安全を確保してください。
専任オペレータは、下記条件を満たす人を選出するのが望ましい。
 - ①低酸素環境に関する専門知識を有している。
 - ②酸素欠乏危険作業主任者（労働省）の資格を有している。
- 装置の正常な運転の確認、異常の発見と保守等の為、下記書類を作成し、その運用を徹底して下さい。
 - ①利用マニュアル（運転マニュアル・利用申請書等）
 - ②利用計画書
- 被験者に対して試験内容を十分説明し、理解を得た上で試験を行う為、下記内容を徹底して下さい。
 - ①低酸素環境試験の説明（効果・安全性・危険性等）
 - ②試験内容に対する同意書の署名と捺印
 - ③問診表等による体調チェック
- 低酸素試験終了時、試験室内の強制換気を行い、室内酸素濃度を大気状態に戻してください。

1.3 装置の性能について



禁 止

- 低酸素制御システム運転中に試験室空調器を運転した場合、低酸素仕様は保証外となります。
この状態では試験室内への外気取込み量が増加する為、低酸素制御システム運転中の試験室内温度仕様が満足できない可能性もあります。




注 意

- 低酸素制御システムの性能を十分発揮するため、試験室排気ダクト以外からの低酸素空気の漏洩が無い事を確認してください。
- 低酸素制御システムの性能を十分発揮するため、低酸素制御システム運転時、試験室排気ダクト系のモータダンパを必ず『開』、給気ダクト系のモータダンパを必ず『閉』にして下さい。
(但し、送風機は給気・排気共停止)
また、試験室内排気口は塞がないで下さい。
- O₂・CO₂センサーの寿命は約3年です。センサーが壊れますと低酸素空気の酸素濃度管理及び試験室内CO₂測定が不可となりますので、定期的に交換してください。



実 施

- 低酸素制御システム運転中、低酸素空気の試験室外への流出を少なくするため、試験室扉の開閉は出来るだけ短時間で行ってください。
- 運動室の低酸素制御システムを運転する場合、試験室内設置のエアコンを2台共運転してください。
エアコンを運転せずに低酸素制御システムを運転した場合、酸素濃度の制御が悪くなります。

 禁 止

- 低酸素制御システム運転時(ダンパスイッチ『閉』時)に試験室空調器を運転しますと、空調器へのダクトが遮断されているため、空調機器の故障の原因となります。
低酸素制御システム運転中に試験室空調器を運転する場合、必ずダンパスイッチを『開』にしてください。
但し、低酸素制御システム運転中に試験室空調器を運転した場合、低酸素仕様は保証外となります。
- 低酸素制御システム運転中に試験室空調器を運転しない場合、試験室内の温度制御が出来ません。(心理室)
この状態で試験室内に発熱体がある場合、試験室内温度が上昇してしまいますので、空調器停止時は発熱体を試験室に持ち込まないで下さい。
もしこれを怠りますと、試験室内温度が異常に上昇し、最悪の場合火災になることがあります。
- 運動室はエアコンを運転する事により、試験室内温度をコントロール可能です。
但し、エアコンの能力以上の発熱体がある場合、試験室内温度が上昇してしまいますので、エアコン停止時または必要以上に大きな発熱体(エアコンの能力以上の発熱体)を試験室に持ちこまないで下さい。
もしこれを怠りますと、試験室温度が異常に上昇し、最悪の場合火災になることがあります。

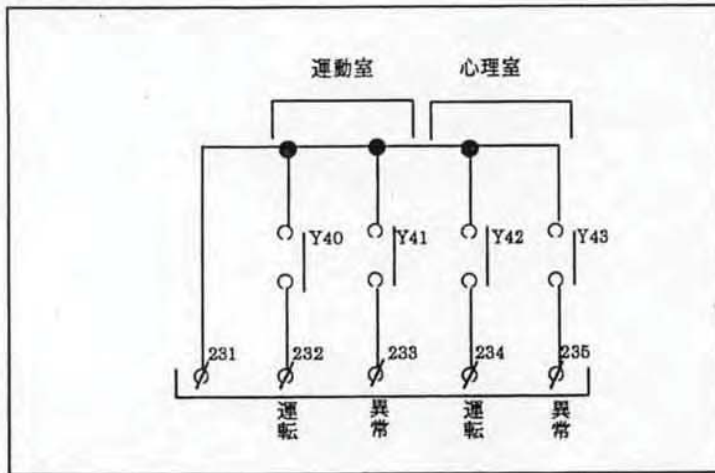
1.5 警告表示ラベルについて

注 意

本装置にはラベル・シール等により、警告表示を行っています。
警告ラベルを破損又は紛失した場合、または警告表示が読めなくなった場合は、お買い上げ代行店またはタバイエスペックサービス株式会社までご連絡下さい。代替品（有償）を送付させていただきます。

1.6 外部出力端子について

① 外部出力端子



(1) 運動室運転端子 (端子No.231-232)

目的： 運動室の低酸素制御システムが正常運転中であることを外部に知らせるために使用します。

動作： 正常運転時のみ 接点閉

接点容量： AC250V 1A(抵抗負荷)

(2) 運動室異常端子 (端子No.231-233)

目的： 外部に保安装置の作動をブザーやランプ表示させる場合の制御信号に使用します。

動作： 異常発生時に接点閉

接点容量： AC250V 1A(抵抗負荷)

(3) 心理室運転端子 (端子No.231-234)

目的： 心理室の低酸素制御システムが正常運転中であることを外部に知らせるために使用します。

動作： 正常運転時のみ 接点閉

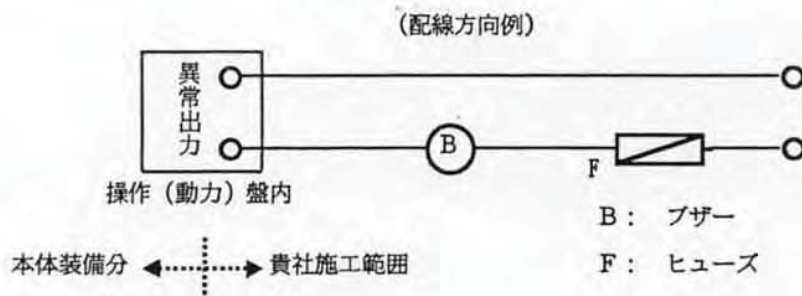
接点容量： AC250V 1A(抵抗負荷)

(4) 心理室異常端子 (端子No.231-235)

目的： 外部に保安装置の作動をブザーやランプ表示させる場合の制御信号に使用します。

動作： 異常発生時に接点閉

接点容量： AC250V 1A(抵抗負荷)



1.7 接地工事 (装置設置時の注意事項)

漏電したときの感電防止、また電子回路へのノイズ防止のため接地します。
接地線を動力盤あるいは受電盤のアース端子に接続してください。

⚠ 危 険

- 接地しませんでした、漏電したときに漏電しゃ断器が働きません。
感電するおそれがありますので、必ず接地してください。
- ガス管には接続しないでください。
爆発するおそれがあります。
- 漏電しゃ断器を装備していない機器との接地の共用はしないでください。
- 接地線が機器間を渡るような配線はしないでください。

1.8 電源工事 (装置設置時の注意事項)

- ① 電源設備の電圧変動幅が、定格電圧の±10%以内であることを確認してください。
- ② 仕様書に記載されている電源容量が確保されていることを確認してください。
- ③ 一次側電源を試験室動力盤 (あるいは分電盤) に接続してください。
このときに、各相を間違えないように注意してください。

2

概 要

低酸素制御システムの概要、本装置の特徴を説明しています。
正しく理解していただくために、はじめてご使用になられる場合にお読みください。

2.1 低酸素発生原理 (2-4参照)

大気中には約 21%の酸素が含まれています。酸素が通りにくい特殊な膜(酸素分離膜)に加圧された空気を流すことにより、酸素濃度が大気(約 21%)よりも低い低酸素空気を作り出すことができます。

※この過程の副産物として、酸素濃度が大気(約 21%)よりも高い高酸素空気も出来ませんが、使用せず排気します。

本制御システムでは、酸素分離膜で製造された低酸素空気と、大気を混合する事により、仕様範囲内の任意の低酸素空気を作り出すことができます。

2.2 低酸素制御システムとは (2-5参照)

低酸素制御システムとは、試験エリア内空気の酸素濃度を仕様範囲内で任意に制御する事が出来る試験装置です。

本システムは、低酸素空気製造部・低酸素空気濃度制御部・低酸素試験雰囲気部(低酸素室)により構成されています。

《低酸素空気製造部》

空気圧縮機及び低酸素空気発生装置から構成されています。

空気圧縮機に取りこまれた空気は加圧され、高圧な圧縮空気となって低酸素空気発生装置に送られます。

低酸素空気発生装置内にはフィルター・酸素分離膜等があります。

フィルターによりごみ・油分・においが取除かれた圧縮空気は、減圧弁で適正な圧力に減圧され、酸素分離膜を通過する事で低酸素空気が製造されます。

この時高酸素空気が出来ませんが、本制御システムでは屋外に排気します。

《低酸素空気濃度制御部》

切替弁・混合ボックス・比例式MD(モータダンバ)・大気導入ファンで構成されています。

低酸素空気発生装置で製造された低酸素空気は、混合ボックスに送られます。

※低酸素試験を行わない時は混合ボックスには送られず、切替弁により屋外に排気されます。

また、混合ボックスには大気導入ファンにより大気が送られてきます。

比例式MDの開度を調節する事により、混合ボックス内に取りこむ大気の量が調節され、低酸素空気と大気を混合する事で設定された酸素濃度の制御を行います。

《低酸素試験雰囲気部》

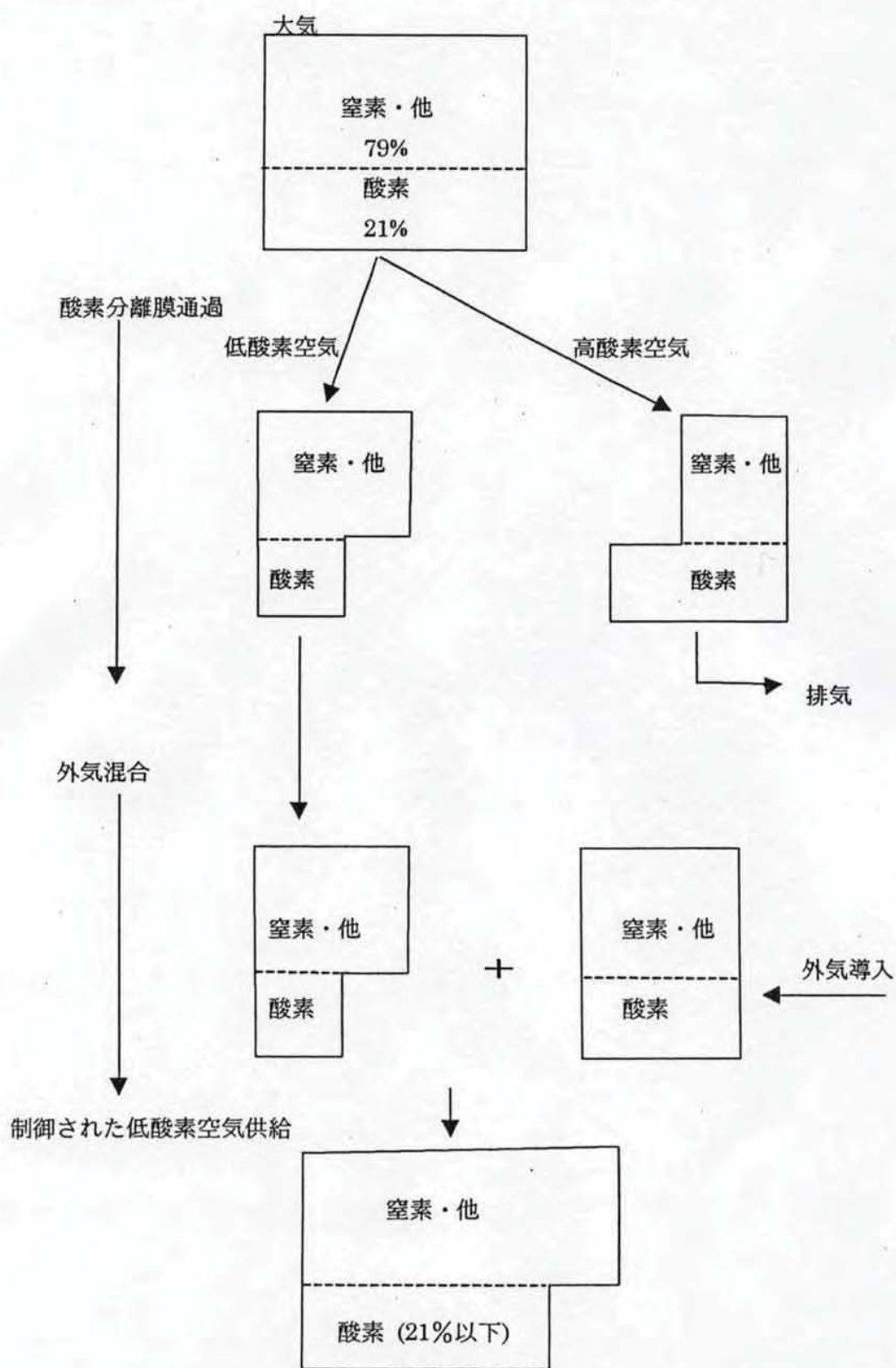
混合ボックス内で制御された低酸素空気は、被験者の居る低酸素室へと送られます。

低酸素室内には酸素センサーが装備されており、室内の酸素濃度を常時監視しています。

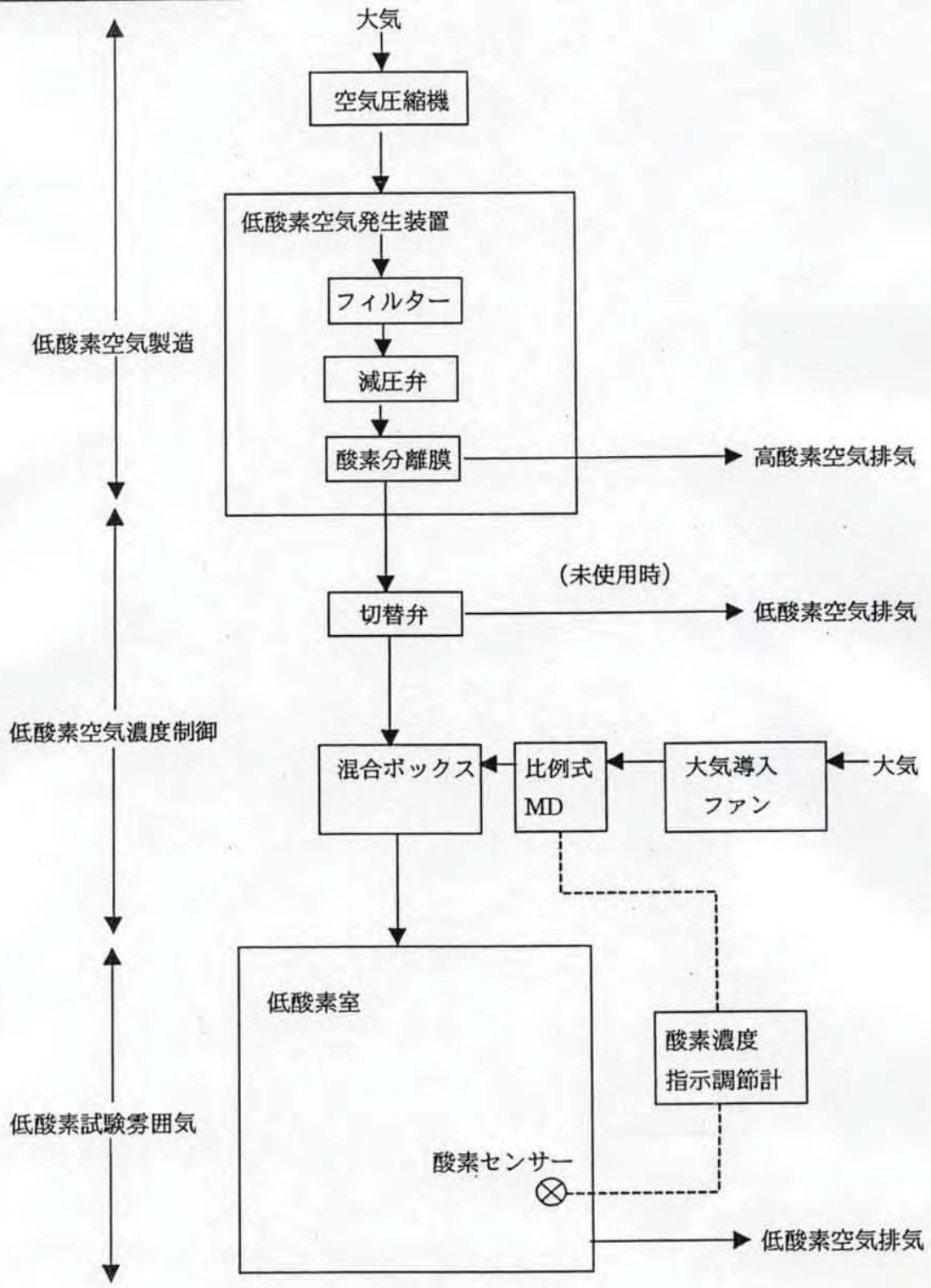
酸素センサーからの信号は酸素濃度指示調節計に送られ、酸素濃度を一定に保つ様比例式MDの開度を調節します。

低酸素室内を循環した低酸素空気は、最終的に屋外に排気されます。

低酸素発生原理



低酸素制御システム



3

各部の名称と その働き

装置各部について、名称と働きを詳しく説明します。

操作中または本書を読んでいるときに、各部の詳しい説明が必要な場合
にお読みください。

3.1 各部の名称（低酸素装置監視盤）

AC100V 電源表示灯

AC100V 電源がONになっていることを表示します。

機械室1 異常ランプ

6 F 北側機械室内で保安回路が動作したことを表示します。

機械室2 異常ランプ

5 F 北側機械室内で保安回路が動作したことを表示します。

機械室3 異常ランプ

6 F 南側機械室内で保安回路が動作したことを表示します。

機械室4 異常ランプ

5 F 南側機械室内で保安回路が動作したことを表示します。

623号室-640号室アナシエータパネル

623号室-640号室の運転/異常内容を表示します。

603号室-620号室アナシエータパネル

603号室-620号室の運転/異常内容を表示します。

523号室-540号室アナシエータパネル

523号室-540号室の運転/異常内容を表示します。

503号室-520号室アナシエータパネル

503号室-520号室の運転/異常内容を表示します。

ブザー停止スイッチ

盤表面にある警報ブザーを停止するためのスイッチです。

警報ブザー

警報ブザーには連続/断続の2種類があります。

断続——宿泊室内の非常連絡スイッチが押された場合

連続——非常連絡スイッチ以外の異常があった場合

酸素濃度指示調節器

503-520号室、523-540号室

603-620号室、623-640号室

の計72台あります。

各宿泊室の酸素濃度の制御を行います。また酸素濃度警報(固定)を設定します。

操作の詳細については別冊の取り扱い説明書をご覧ください。

運転スイッチ

各宿泊室毎にあります。このスイッチを押すと該当する宿泊室の酸素濃度の制御が始まります。

運転を停止するときはもう一度押してください。

異常表示灯

該当する宿泊室の保安回路が働いたことを表示します。

主電源表示灯

503-511号室、512-520号室

523-531号室、532-540号室

603-611号室、612-620号室

623-631号室、632-640号室

の計8個あります。各グループの主電源スイッチがONになっていることを表示します。

記録計

各宿泊室内の酸素濃度をモニターするための記録計です。

宿泊室を運転すると記録が始まります。

記録計RS232Cコネクタ

記録計用RS232Cコネクタです。

3.2 低酸素宿泊室分電盤

AC200V電源表示灯 (AC200V系 2系統)

分電盤内ブレーカONで点灯します。

空気圧縮機1(電流計)

空気圧縮機1の運転電流値を指示します。

空気圧縮機2(電流計)

空気圧縮機2の運転電流値を指示します。

エアコン(電流計)

機械室用パッケージエアコンの運転電流値を指示します。

排気扇1(電流計)

空気圧縮機1用排気扇の運転電流値を指示します。

排気扇2(電流計)

空気圧縮機2用排気扇の運転電流値を指示します。

積算時間計

低酸素システムの運転時間を積算表示します。

3.3 宿泊室室内表示器

高度指示器

宿泊室内の酸素濃度を概算の高度で指示します。

非常連絡スイッチ

宿泊者の外部に知らせるためのスイッチです。このスイッチを押すと

- 低酸素空気の供給停止
- 一般空調の導入
- 6F低酸素装置操作監視盤へ警報表示/ブザー鳴動
- 1F中央監視室の特殊空調設備主操作盤へ警報表示/ブザー鳴動
- 1F警備員室の警報盤へ警報表示/ブザー鳴動

となります。

運転表示灯

宿泊室が低酸素運転をしていることを表示します。

酸素濃度異常表示灯

宿泊室内の酸素濃度が異常に低下し保安回路が働いたことを表示します。

機械室異常表示灯

機械室で異常があることを表示します。

3.4 中継盤

酸素センサー

宿泊室の酸素濃度を検出します。

内蔵ブザー

酸素濃度が異常に低下すると鳴り、宿泊者に異常を知らせます。

3.5 特殊実験室設備主操作盤（1）

低酸素宿泊室用主操作盤

主電源スイッチ、表示灯

宿泊室

603-611、612-620、623-631、632-640

503-511、512-520、512-520、532-540

のグループ毎に個別にあります。

各グループの主電源スイッチです。

運転表示灯

宿泊室

603-611、612-620、623-631、632-640

503-511、512-520、512-520、532-540

のグループ毎に個別にあります。

各グループの内 1 室でも運転すると点灯します。

異常表示灯

宿泊室

603-611、612-620、623-631、632-640

503-511、512-520、512-520、532-540

のグループ毎に個別にあります。

各グループの内 1 室でも異常があると点灯します。

ブザー停止スイッチ

特殊実験室設備主操作盤（1）に内蔵されている警報ブザーの停止スイッチです。

内臓ブザー

内臓ブザーには連続／断続の2種類があります。

断続——宿泊室内の非常連絡スイッチが押された場合

連続——非常連絡スイッチ以外の異常があった場合

4

運転を してみよう

基本的な運転のしかたについて説明します。

4.1 低酸素宿泊室の操作概要

低酸素宿泊室全72室は9室を一つのグループとして、グループ単位で運転操作を行います。1グループ9室につき、1台の空気圧縮機及び1台の低酸素空気発生装置があり、宿泊室に低酸素空気と酸素濃度コントロール用圧縮空気を供給します。1グループ9室の内、低酸素運転をする宿泊室数は任意に決められます。グループは下表となります。

宿泊室
503-511の9室
512-520の9室
523-531の9室
532-540の9室
603-611の9室
612-620の9室
623-631の9室
632-640の9室

4.2 運転前の確認をする

低酸素宿泊室を運転する場合、事前に下記内容を確認してください。

①1F中央監視室、主操作盤の運転するグループの主電源スイッチ入れる。

②低酸素宿泊室分電盤内の電源ブレーカ（ELB1,2）を入れる。

ブレーカのレバーを上げて、ON状態にして下さい。

ONにすると分電盤上の受電表示灯が点灯します。

（低酸素宿泊室分電盤は全部で4面あります）

②低酸素装置監視盤内の電源ブレーカ（MCB1）を入れる。

ブレーカのレバーを上げて、ON状態にして下さい。

ONにすると低酸素装置監視盤上の受電表示灯が点灯します。

4.3 低酸素宿泊室の酸素濃度警報を確認する

低酸素宿泊室内が異常な酸素濃度状態になるのを防ぐための保安装置です。

酸素濃度指示警報器のイベント1（EVI）に設定します。（デジタル指示調節計

SDC20/21取扱説明書の「6-9 イベント設定値を変更する」を参照してください。）

（動作テストを行う以外は設定を変更しないで下さい）

①13.4%（相当高度3600m）に設定されていることを確認してください。

4.4 低酸素宿泊室を運転する

①酸素濃度指示調節器を操作し、運転する酸素濃度を入力する。

『表4-1 高度と酸素濃度』を参考に、運転酸素濃度を選定してください。

運転する酸素濃度は酸素濃度指示調節器のSPに設定します。

濃度設定値を変更。SP/EV 押す。▽△で (ENT) (DSP) を押す。設定値が表示される。

上段表示 PV(現在値)。

下段表示 SV(設定値)/OUT(MV出力)は、DPS で入れ替わる。

(デジタル指示調節計 SDC20/21 取扱説明書の「6-6 SP を変更する(シングル SP の場合)」を参照して下さい。)

(酸素濃度設定用パソコンを使い運転酸素濃度を設定する場合は別冊の取扱説明書をご覧下さい。)

②低酸素装置監視盤上の運転する宿泊室の電源スイッチを入れる。

『運転』スイッチが点灯し、空気圧縮機が運転を開始します。低酸素空気発生装置に圧縮空気が供給されて低酸素空気の製造が開始されます。

表4-1 高度と酸素濃度 (高度0mを基準にした場合)

高度 (m)	酸素濃度 (%)
1500	17.4
1600	17.2
1700	17.0
1800	16.8
1900	16.6
2000	16.4
2100	16.3
2200	16.1
2300	15.9
2400	15.7
2500	15.4
2600	15.3
2700	15.1
2800	14.9
2900	14.7
3000	14.4
3100	14.3
3200	14.1
3300	13.9
3400	13.8
3500	13.6

4.5 低酸素宿泊室を停止する

①停止する低酸素宿泊室の電源スイッチをoffにする。

※該当する宿泊室の『運転』表示灯が消灯し、低酸素宿泊室への低酸素空気供給がストップします。

※運転後の宿泊者に異常がない事を確認してください。

グループ内すべての宿泊室の運転が停止すると空気圧縮機が運転を停止し、低酸素空気発生装置での低酸素空気の製造が停止します。

②低酸素宿泊室内の換気を行う。

運転終了時、低酸素宿泊室内を換気し酸素濃度を必ず大気状態に戻して終了してください。

③1F中央監視室、主操作盤の該当するグループの宿泊室主電源スイッチをoffしてください。

4.6 低酸素宿泊室の酸素濃度警報について

低酸素宿泊室内が異常な低酸素状態になるのを防ぐため、酸素濃度警報機能を装備してあります。自動設定される酸素濃度1段目、2段目警及び、酸素濃度指示調節器のイベント(EVI)です。

(イベントEVIは動作テストを行う以外は設定を変更しないで下さい。)

①酸素濃度1段目警報

設定酸素濃度-0.5%に自動的に設定されます。

運転中にこの酸素濃度以下になると該当する宿泊室内への低酸素濃度空気の供給が停止します。酸素濃度が復帰すれば通常どおりの運転に戻ります。

②酸素濃度2段目警報

設定酸素濃度-1%に自動的に設定されます。

運転中にこの酸素濃度以下になると低酸素運転を中止し一般空調に切り替わります。

③酸素濃度下限警報(イベントEVIに設定)

酸素濃度13.4%(相当高度約3600m)に設定されています。

運転中にこの酸素濃度以下になると低酸素運転を中止し一般空調に切り替わります。

ます。

5

日常の保守・ 点検

日常の保守・点検について説明します。

装置を常に最良の状態でお使いいただくために大切な項目です。

5.1 漏電しゃ断器の動作テスト

この装置では漏電しゃ断器を電源ブレーカとして使用しています。

ここでは、漏電しゃ断器としての機能を確認します。

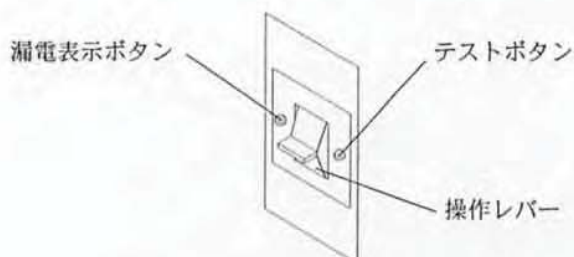
1ヶ月に1回漏電しゃ断器の動作テストしておきます。

低酸素装置監視盤の宿泊室電源スイッチを切にしたまま、電源ブレーカをONにして

テストボタンを軽く押すと、瞬時にOFFになり漏電表示ボタンが突出します。

この操作でOFFにならないときは一次側電源が正常に接続されているかどうかを確認してください。

・このテストにより OFF になった場合は、操作レバーは ON と OFF の中間位置に止まっています。電源を入れる場合には、一旦レバーを OFF 側にたおしてから、ON にしてください。



5.2 酸素濃度警報動作テスト

1ヶ月に1回、酸素濃度警報の動作テストを行います。

低酸素宿泊室に、各1個ずつ装備されています。各室の酸素濃度警報を下記要領でテストします。

- ①『4.4 低酸素宿泊室を運転する』を参考に、運転します。
- ②低酸素宿泊室酸素濃度指示調節器イベント EV1 を、現在の酸素濃度(指示値)よりも高く設定します。
- ③酸素濃度指示調節器が正常な場合、アラームが鳴動し、ブザーで異常を知らせると共に、各宿泊室の『異常』表示灯が点灯し、アナンスエータにその内容が表示されます。

※低酸素宿泊室内への低酸素空気供給は停止し、一般空調を供給する事により室内の酸素濃度を上昇させます。

- ④アラームを解除するには、まず操作監視盤上の『ブザー停止』スイッチを押してブザーを停止した後、低酸素宿泊室を停止させます。(電源スイッチを off にする)
- ⑤低酸素宿泊室酸素濃度指示調節器の警報酸素濃度(EV1)を元に戻します。(13.4%に設定します)

この状態でシステムが復帰されますので、低酸素宿泊室を正常に運転する事が可能です。

5.3 O₂センサーの交換

O₂センサーは消耗品であり、保証期間は3年です。

3年毎に新しいセンサーと交換してください。

お買い上げ代行店またはタバイエスバックサービス株式会社までご連絡下さい。

5.4 低酸素空気発生装置内フィルターの交換

低酸素空気発生装置内には、圧縮空気中のごみ・油分・におい等の除去のため、フィルターが設置されています。

フィルターにごみ・油分が付着すると圧縮空気が流れにくくなり、分離膜にかかる圧力が低下し、規定量の低酸素空気の製造が出来なくなり、試験室内の酸素濃度が目的の酸素濃度まで低下しなくなる等の問題が発生します。

フィルターの交換時期は、低酸素空気発生装置内の差圧計(フィルター入出の差圧測定)により判断します。

表面取付差圧計：正常範囲 0～0.07MPa

フィルター1 差圧計：正常範囲 0～0.035MPa

フィルター2 差圧計：正常範囲 0～0.035MPa

低酸素宿泊室運転開始時、又は1ヶ月に1回の割合で確認していただき、差圧計の針がレッドゾーンを示している場合交換時期となります。

フィルターの交換方法は、別冊の機器取扱説明書を参照願います。

5.5 空気圧縮機の点検

低酸素空気製造の為、常に正常動作する事が必要であり、空気圧縮機が故障しますと低酸素宿泊室の運転が出来なくなります。

そのため、日常的な運用管理が重要であり、あわせて定期点検を確実にを行うことにより、予防保全を図ってください。

点検項目・時期等の詳細は、別冊の機器取扱説明書を参照願います。

5.6 低酸素宿泊室定期点検

低酸素宿泊室を末永くご使用していただくため、定期点検(1年毎)をお勧め致します。

お買い上げ代行店またはタバイエスベックサービス株式会社までご連絡下さい。

6

故障とその処置

本装置には、ブザーで知らせるとともに、故障内容をランプやアナウンシエータで表示します。

故障について、原因およびその処置を説明します。

なお、次の場合は、お買上げ代行店またはタバイエスベックサービス株式会社までご連絡ください。

- ・処置しても装置が正常に動作しないとき
- ・本文中「サービスコール」と書かれた故障のとき

危 険

- 故障の処置をするときは、次のことを厳守してください。

一次側電源の処置をするときは、一次側電源の電源開閉器を必ず切ってから行ってください。電源が入った状態で故障の処置をすると、感電するおそれがあり、非常に危険です。

6.1 アラームで表示される故障等

① 保安回路概要

低酸素宿泊室全72室は9室を一つのグループとして、グループ単位で運転操作を行います。保安回路もグループ9室単位の動作となります。空気圧縮機等宿泊室に低酸素空気を供給している装置の保安回路が働いた場合はそのグループ全体の低酸素運転が停止し、非常連絡スイッチ等の宿泊室内個別の保安が働いた場合は該当する宿泊室の運転のみが停止することになります。

グループは下表となります。

宿泊室
503-511の9室
512-520の9室
523-531の9室
532-540の9室
603-611の9室
612-620の9室
623-631の9室
632-640の9室

② 動作(機械室内の保安回路が動作した場合)

保安装置が動作すると、該当するグループ内の低酸素宿泊室すべての運転を中止します。

ただし、保安回路、計装回路は通電されたままで、トラブル状態の保持、現在の酸素濃度のモニターは行われます。

(1) 低酸素空気の供給が遮断されます。

該当するグループ内全ての低酸素宿泊室の低酸素制御システムがすぐに停止します。

(2) 低酸素装置監視盤の機械室異常ランプが点灯します。

(3) アナライザに異常内容が表示されます。

(4) 記録計は低酸素宿泊室内の酸素濃度の記録を続けます。

③ 処置(機械室内の保安回路が動作した場合)

(1) 低酸素宿泊室内の安全を確認してください。

アナライザで異常内容を確認してください。

(2) ブザーが鳴っているときは警報リセットスイッチを押してブザーを止めてください。

(3) 該当するグループの低酸素宿泊室の電源スイッチを全てOffにしてください。

異常表示灯及び、アナンシエータの表示が消えます。

(異常履歴画面では過去の異常を確認することができます)

(4) 表示している異常個別表示から6.2アラーム一覧表(1/2)を見てトラブル原因を除いてください。

処理の困難な場合は、サービスコール願います。

④ 動作(低酸素宿泊室内の保安回路が動作した場合)

保安装置が動作すると、該当する低酸素宿泊室の運転を中止します。

ただし、保安回路、計装回路は通電されたままで、トラブル状態の保持、現在の酸素濃度のモニターは行われます。

(1) 該当する定差酸素宿泊室内への低酸素空気の供給が遮断されます。

グループ内の正常な低酸素宿泊室は運転を継続します。

(2) 低酸素装置監視盤の該当する低酸素宿泊室の異常ランプが点灯します。

(3) アナンシエータに異常内容が表示されます。

(4) 記録計は低酸素宿泊室内の酸素濃度の記録を続けます。

③ 処置(低酸素宿泊室内の保安回路が動作した場合)

(1) 低酸素宿泊室内の安全を確認してください。

アナンシエータで異常内容を確認してください。

(2) ブザーが鳴っているときは警報リセットスイッチを押してブザーを止めてください。

(3) 該当する低酸素宿泊室の電源スイッチをOffにしてください。

異常表示灯、アナンシエータの表示が消えます。

(異常履歴画面では過去の異常を確認することができます)

(4) 表示している異常表示から6.2アラーム一覧表(2/2)を見てトラブル原因を除いてください。

処理の困難な場合は、サービスコール願います。

6.2アラーム一覧表 (1/2)

機械室内アナンシエータ表示一覧

アナンシエータ表示	警報動作 異常 警否	内容	保安装置	警報発出場所	処置	推定原因
廊下MDアンサー異常	●	廊下モーターダンパーのアンサー信号がない	MD	廊下軽天内	該当するグループの電源を全てoffする	MDの故障 24V回路が電流、過負荷
24V回路異常	●	廊下モーターダンパー用電源回路異常	CP1	機械室分電盤		機械室火災発生 MVの故障
FD動作	●	ファイアーダンパー動作	FD	機械室		
アンサー異常(MV611)	●	MVのアンサー信号がない	MV611	機械室		
アンサー異常(MV612)	●	MVのアンサー信号がない	MV612	機械室		
アンサー異常(MV613)	●	MVのアンサー信号がない	MV613	機械室		
アンサー異常(MV614)	●	MVのアンサー信号がない	MV614	機械室		
供給元酸素濃度警報器1異常	●	供給元酸素濃度低下	C611	機械室分電盤		低酸素発生 装置の異常
CO濃度警報器1異常(COS611)	●	CO濃度上昇	COS611	機械室		空気圧縮機の異常
空気圧縮機1異常(AC611)	●	圧縮機ユニット内部保安回路動作 圧縮機運転アンサー信号がない	AC611	空気圧縮機		
ドライア1異常	●	圧縮機内漏ドライア異常	(AC611)	空気圧縮機		ドライアの異常 低酸素発生 装置の異常 MVの故障
圧縮空気1圧力上昇	●	圧縮空気圧力上昇	PS	機械室		
アンサー異常(MV621)	●	MVのアンサー信号がない	MV621	機械室		
アンサー異常(MV622)	●	MVのアンサー信号がない	MV622	機械室		
アンサー異常(MV623)	●	MVのアンサー信号がない	MV623	機械室		
アンサー異常(MV624)	●	MVのアンサー信号がない	MV624	機械室		
供給元酸素濃度警報器2異常	●	供給元酸素濃度低下		機械室分電盤		低酸素発生 装置の異常
CO濃度警報器2異常(COS621)	●	CO濃度上昇	COS621	機械室		空気圧縮機の異常
空気圧縮機2異常(AC621)	●	圧縮機ユニット内部保安回路動作 圧縮機運転アンサー信号がない	AC621	空気圧縮機		
ドライア2異常	●	圧縮機内漏ドライア異常	(AC621)	空気圧縮機		ドライアの異常 低酸素発生 装置の異常 空気圧縮機の異常
圧縮空気2圧力上昇	●	圧縮空気圧力上昇	PS	機械室		
空気圧縮機1警報(AC611)	●		AC611	空気圧縮機		
空気圧縮機2警報(AC621)	●		AC621	空気圧縮機		
排気7/11警報(DF611)	●	排気ファンブレーカトリップ	MCB1	機械室分電盤	ブレーカのリセット	排熱ファンの過負荷
	●	排気ファンサーマルリレートリップ	THR1			
排気7/12警報(DF621)	●	排気ファンブレーカトリップ	MCB2	機械室分電盤	ブレーカのリセット	
	●	排気ファンサーマルリレートリップ	THR2			
バックジェアコン警報	●	バックジェアコン回路ブレーカトリップ	MCB4	機械室分電盤	ブレーカのリセット	エアコン回路ブレーカリセット
CO濃度警報器1警報(COS611)	●	CO警報器の故障	COS611	機械室	該当するグループの電源を全て	空気圧縮機の異常
CO濃度警報器2警報(COS621)	●	CO警報器の故障	COS621	機械室		
警出		警報内容が表示するのみで運転を継続します				
警止		運転を中止します				

6.2アラーム一覧表 (2/2) 低酸素宿泊室アナンシエータ表示一覧

アナンシエータ表示	警報動作		内容	保安装置	警報発生場所	処置	推定原因
	異常	警消					
???号室酸素濃度異常1段目		●	宿泊室内酸素濃度低下	シーケンスソフト	低酸素装置監視盤	該当する宿泊室の電源をoffする 宿泊室内酸素濃度<(設定値-0.5)になっていないか確認する	低酸素運転中に酸素濃度を変更した
???号室酸素濃度異常2段目	●		宿泊室内酸素濃度低下	シーケンスソフト	低酸素装置監視盤	該当する宿泊室の電源をoffする 宿泊室内酸素濃度<(設定値-1)になっていないか確認する	低酸素運転中に酸素濃度を変更した
???号室酸素濃度異常(固定)	●		宿泊室内酸素濃度低下	各宿泊室酸素濃度指示調節器	低酸素装置監視盤	該当する宿泊室の電源をoffする	酸素濃度指示調節器の故障
???号室非常連絡スイッチ	●		非常連絡スイッチが押された	S1	宿泊室	宿泊室内を確認する	非常連絡スイッチが押された
???号室CP1トリップ	●		宿泊室内24V回路用サーキットブレーカトリップ	CP1	宿泊室中継盤	サーキットブレーカのリセット	宿泊室内MV回路の異常
???号室MD0アンサー異常	●		MDのアンサー信号がない	MO0	宿泊室	該当する宿泊室の電源をoffする	MVの故障
???号室MD1アンサー異常	●		MDのアンサー信号がない	MO1	宿泊室		
???号室MD2アンサー異常	●		MDのアンサー信号がない	MO2	宿泊室		
???号室MD3アンサー異常	●		MDのアンサー信号がない	MO3	宿泊室		
???号室3方井アンサー異常	●		3方井のアンサー信号がない	MV	宿泊室		
???は宿泊室番号を表す							
警消---警報内容を表示するのみで運転を継続します							
異常---運転を中止します							

6.3 その他の故障

異常表示できないもの、また故障と勘違いしやすい操作ミスについて説明します。

故障内容	検定原因	処置	参照
電源ブレーカが入らない	・ブレーカがトリップ状態になっている	いったんOFF状態にしてからレバーを上げる	5.1項
	・漏電している 絶縁が低下している	サービスコール	
酸素濃度指示調節器が表示しない	・一次側電源が入っていない	一次側電源を入れる	
	・電源ブレーカが入っていない	電源ブレーカを入れる	4.1項
酸素濃度が下がらない	・低酸素宿泊室の運転酸素濃度を 確認する	外気が入っていないか確認する サービスコール	

NTC表-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

作業対象		弾性床				硬質床				繊維床				予定数量				面積
階数	作業項目 清掃対象室 室名	日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		(㎡)
		除帯・自在掃 707Gステア 掃除機	水拭き 部分	全面 拭き	表面 洗浄	除帯・自在掃 707Gステア 掃除機	水拭き 部分	全面 拭き	表面 洗浄	除帯・自在掃 707Gステア 掃除機	水拭き 部分	全面 拭き	表面 洗浄	除帯・自在掃 707Gステア 掃除機	水拭き 部分	全面 拭き	表面 洗浄	
B1F	消火ポンプ室																	
	空調機械室(1)						1/月											
	空調機械室(2)						1/月											
	浴室過熱機機室						1/月											
	熱原機械室						1/月											
	電気室						1/月											
	発電機室						1/月											
	チャイナバー室 1,2,3,4						1/月											
I 1F	風除室																	
	フロント						1/日	1/日										21
	クローゼット						1/日	1/日										158
	喫茶						1/日	1/日										21
	廊下(1)						1/日	1/日										18
	廊下(4)						1/日	1/日										69
	事務室						1/日	1/日										7
	E.Vホール(1)						1/日	1/日										55
	サニタリー室						1/日	1/日										20
	給湯室						1/日	1/日										6
	控室						1/日	1/日										4
	休憩室						1/日	1/日										15
	警備室						1/日	1/日										10
	ロッカー室(1)(2)						1/日	1/日										9
	倉庫(1)						1/日	1/日										4
	倉庫(2)						1/日	1/日										4
	男子便所(1)						1/日	1/日										18
	女子便所(1)、(S K)						1/日	1/日										18
	身障者便所(1)						1/日	1/日										5
	便所WC(1)(2)						1/日	1/日										4
	廊下(2)						1/日	1/日										49
	ロビー						1/日	1/日										8
	倉庫(5)						1/日	1/日										3
	脱衣室前室						1/日	1/日										16
	脱衣室廊下						1/日	1/日										12
	男子・女子更衣室						1/日	1/日										41
	倉庫(6)(8)						1/日	1/日										8
	便所WC(5)(6)						1/日	1/日										4
	男子浴室						1/日	1/日										140
	女子浴室						1/日	1/日										154
	男子フロント/更衣室						1/日	1/日										23
	女子フロント/更衣室						1/日	1/日										24
	E.Vホール(2)						1/日	1/日										26
	廊下(6)						1/日	1/日										48
	廊下(7)						1/日	1/日										24
	A、B階段						1/日	1/日										56
	C階段						1/日	1/日										27
	Eレベーター						1/日	1/日										4
	D階段						1/日	1/日										27
	C階段						1/日	1/日										18
	G階段						1/日	1/日										4
	インターネットコーナー						1/日	1/年										15
	図書学習室						1/日	1/年										59

N T C 表-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

階数	作業対象 作業項目 清掃対象室	弾性床			硬質床			繊維床			予定数量			日常清掃		面積 (㎡)				
		日常 清掃 回数	定期 清掃 回数	清掃 周期	日常 清掃 回数	定期 清掃 回数	清掃 周期	日常 清掃 回数	定期 清掃 回数	清掃 周期	H24	H25	H26	H27	H28					
	宿直室 (ツイン) (1)			1/日			1/日	1/年	全面洗浄	1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	200
	宿直室 (ツイン) (2)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	18
	宿直室 (バス、トイレ)		1/日									364	12	364	12	365	12	365	12	91
	マツサージュ室 (1)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	20
	マツサージュ室 (2)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	23
	リビンジュールーム (1)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	35
	リビンジュールーム (2)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	35
	ランドリー (1)					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	17
	ランドリー (2)					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	15
	ランドリー (3)					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	17
	リネン庫 (1)					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	21
	リネン庫 (2)					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	21
	廊下 (1)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	133
	E.Vホール (1)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	15
	E.Vホール (2)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	69
	E.Vホール (3)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	15
	個室 (1) ~ (3)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	36
	グループ個室 (1) ~ (4)					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	85
	リビング					1/日				1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	365	1	82
	階段											364	12	364	12	365	12	365	12	3
	収納					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	1
	シャワー室					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	8
	更衣室		1/日							1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	8
	洗面室		1/日							1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	9
	便所		1/日							1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	13
4 F	A、B階段											364	1	364	1	365	1	365	1	56
	C階段					1/日				1/日	1/月	364	12	364	12	365	12	365	12	27
	E.Vホール (3)											364	1	364	1	365	1	365	1	40
	D階段											364	1	364	1	365	1	365	1	18
	宿直室 (シングル)											364	1	364	1	365	1	365	1	137
	宿直室 (ツイン) (1)											364	1	364	1	365	1	365	1	182
	宿直室 (ツイン) (2)											364	1	364	1	365	1	365	1	18
	宿直室 (バス、トイレ)											364	12	364	12	365	12	365	12	91
	マツサージュ室 (1)											364	1	364	1	365	1	365	1	20
	マツサージュ室 (2)											364	1	364	1	365	1	365	1	23
	リビンジュールーム (1)											364	1	364	1	365	1	365	1	35
	リビンジュールーム (2)											364	1	364	1	365	1	365	1	35
	ランドリー (1)											364	12	364	12	365	12	365	12	15
	ランドリー (2)											364	12	364	12	365	12	365	12	15
	ランドリー (3)											364	12	364	12	365	12	365	12	17
	リネン庫 (1)											364	12	364	12	365	12	365	12	21
	リネン庫 (2)											364	12	364	12	365	12	365	12	21
	廊下 (1)											364	12	364	12	365	12	365	12	133
	E.Vホール (1)											364	1	364	1	365	1	365	1	15
	E.Vホール (2)											364	1	364	1	365	1	365	1	69
	E.Vホール (3)											364	1	364	1	365	1	365	1	15
	個室 (1) ~ (3)											364	1	364	1	365	1	365	1	36
	グループ個室 (1) ~ (4)											364	1	364	1	365	1	365	1	85
	リビング											364	12	364	12	365	12	365	12	3
	階段											364	12	364	12	365	12	365	12	1
	収納											364	12	364	12	365	12	365	12	1

N T C 表-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

作業対象 作業項目 清掃対象室		弾性床			硬質床			織維床			予定数量			面積			
		階数	室名	日常清掃 除塵 帯・自在 掃 フロアスター	日常清掃 真空 掃除機	水拭き 部分	水拭き 全 面	定期清掃 表面 洗浄	定期清掃 表面 洗浄	日常清掃 除塵 真空 掃除機	日常清掃 全面 洗浄 クローニング	日常清掃 掃 (回)	定期清掃 掃 (回)	日常清掃 掃 (回)	定期清掃 掃 (回)	面積 (㎡)	
																	日常清掃 掃 (回)
	シヤワー室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	8
	脱衣室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	8
	洗面室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	9
	便所	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	13
	A、B階段	織維床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	56
	C、D階段	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	45
5 F	宿舎室 (シングル)	織維床															
	宿舎室 (ツイン) (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	96
	宿舎室 (ツイン) (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	146
	宿舎室 バス、トイレ	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	66
	マツサージ室 (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	20
	マツサージ室 (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	23
	リビングルーム (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	35
	リビングルーム (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	41
	和室 (517)	織維床									364	1	364	1	365	1	35
	和室 (518)	織維床									364	1	364	1	365	1	35
	和室 前室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	14
	便所	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	18
	収納	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	6
	ランドリ- (1)	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	17
	ランドリ- (2)	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	15
	ランドリ- (3)	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	17
	リネン庫 (1)	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	21
	リネン庫 (2)	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	21
	廊下 (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	133
	E Vホール (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	15
	廊下 (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	84
	E Vホ-ル(2)	織維床									364	1	364	1	365	1	15
	個室 (1) ~ (3)	織維床									364	1	364	1	365	1	36
	グループ個室 (1) ~ (4)	織維床									364	1	364	1	365	1	85
	リビング	織維床									364	1	364	1	365	1	82
	廊下	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	3
	収納	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	1
	シヤワー室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	8
	脱衣室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	8
	洗面室	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	9
	便所	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	13
	A、B階段	織維床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	1	364	1	365	1	56
	C、D階段	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	45
6 F	宿舎室 (シングル)	織維床															
	宿舎室 (ツイン) (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	96
	宿舎室 (ツイン) (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	146
	宿舎室 バス、トイレ	弾性床	1/日	1/日	1/日	1/日	1/月	1/月	1/日	1/年	364	12	364	12	365	12	66
	マツサージ室 (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	20
	マツサージ室 (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	23
	リビングルーム (1)	織維床									364	1	364	1	365	1	35
	リビングルーム (2)	織維床									364	1	364	1	365	1	41
	和室 (617)	織維床									364	1	364	1	365	1	35
	和室 (618)	織維床									364	1	364	1	365	1	35

階数	作業対象 清掃対象	弾性床				硬質床				繊維床				予定数量				面積 (㎡)
		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		
		除菌・自在 掃除機	拭き 全面	拭き 全面	洗浄 表面 洗浄	除菌・自在 掃除機	拭き 部分	拭き 全面	洗浄 表面 洗浄	真空 掃除機	清掃 全面	日常清掃 定期清掃	日常清掃 定期清掃	日常清掃 定期清掃	日常清掃 定期清掃	日常清掃 定期清掃	日常清掃 定期清掃	
	4階トピアスリート																	
	宿泊関係																	
	EVホール	繊維床																
	廊下10	繊維床																
	階段	繊維床																
	宿泊室1																	
	424号室	繊維床																
	425号室	繊維床																
	426号室	繊維床																
	427号室	繊維床																
	428号室	繊維床																
	429号室	繊維床																
	430号室	繊維床																
	431号室	繊維床																
	432号室	繊維床																
	433号室	繊維床																
	434号室	繊維床																
	435号室	繊維床																
	436号室	繊維床																
	437号室	繊維床																
	438号室	繊維床																
	439号室	繊維床																
	440号室	繊維床																
	441号室	繊維床																
	442号室	繊維床																
	443号室	繊維床																
	444号室	繊維床																
	445号室	繊維床																
	446号室	繊維床																
	4階宿泊室ハス、トイレ	弾性床																
	リビング(4)	弾性床																
	階段	繊維床																
	マッサー	繊維床																
	ランドリー(6)	弾性床	1/日															
	ランドリー(7)	弾性床	1/日															
	リネン	弾性床	1/日															
	倉庫(5)	弾性床	1/日															
	5階トピアスリート																	
	宿泊関係																	
	EVホール	繊維床																
	廊下11	繊維床																
	階段	繊維床																
	宿泊室1																	
	520号室	繊維床																
	521号室	繊維床																
	522号室	繊維床																
	523号室	繊維床																
	524号室	繊維床																
	525号室	繊維床																
	526号室	繊維床																
	527号室	繊維床																
	528号室	繊維床																
	529号室	繊維床																
	530号室	繊維床																
	531号室	繊維床																
	532号室	繊維床																
	533号室	繊維床																
	534号室	繊維床																
	535号室	繊維床																
	536号室	繊維床																
	537号室	繊維床																
	538号室	繊維床																
	539号室	繊維床																

階数	作業対象		弾性床				硬質床				繊維床				予定数量				面積						
	室名	室番号	日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃								
			除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄							
	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄	除尘・自在機	拭き	拭き	洗浄									
	540号室	繊維床																336	1	336	1	13			
	541号室	繊維床																	336	1	336	1	14		
	542号室	繊維床																		336	1	336	1	12	
	543号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	544号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	545号室	繊維床																			336	1	336	1	15
	546号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	547号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	548号室	繊維床																			336	1	336	1	15
	5階宿泊室ハス、トイレ	弾性床																			336	1	336	1	99
	リネン(9)	繊維床																			336	1	336	1	31
	マッサーージ	繊維床																			336	1	336	1	19
	ランドリー(8)	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	9
	ランドリー(9)	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	10
	リネン	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	8
	6階																								
	宿泊関係																								
	EVホール	繊維床																			336	1	336	1	
	廊下12	繊維床																			336	1	336	1	
	階段	繊維床																			336	1	336	1	24
	宿泊室1																								
	620号室	繊維床																			336	1	336	1	14
	621号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	622号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	623号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	624号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	625号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	626号室	繊維床																			336	1	336	1	14
	627号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	628号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	629号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	630号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	631号室	繊維床																			336	1	336	1	14
	632号室	繊維床																			336	1	336	1	15
	633号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	634号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	635号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	636号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	637号室	繊維床																			336	1	336	1	14
	638号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	639号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	640号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	641号室	繊維床																			336	1	336	1	14
	642号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	643号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	644号室	繊維床																			336	1	336	1	12
	645号室	繊維床																			336	1	336	1	15
	646号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	647号室	繊維床																			336	1	336	1	13
	648号室	繊維床																			336	1	336	1	15
	6階宿泊室ハス、トイレ	弾性床																			336	1	336	1	99
	リネン(6)	繊維床																			336	1	336	1	31
	マッサーージ	繊維床																			336	1	336	1	19
	ランドリー(10)	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	9
	ランドリー(11)	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	10
	リネン	弾性床	1/日		1/月																336	12	336	12	8
	7階																								
	宿泊関係																								
	EVホール	繊維床																			336	1	336	1	162
	廊下13	繊維床																			336	1	336	1	
	階段	繊維床																			336	1	336	1	24
	宿泊室1																								

階数	作業対象 室名	作業対象目室		弾性床				硬質床				繊維床				予定数量				面積 (㎡)					
		清掃対象	床仕上	日常清掃	水拭き	全面	表面 洗浄	除菌 消毒 DET-3B-	真空 掃除機	日常清掃	水拭き	全面	表面 洗浄	除菌 消毒 DET-3B-	真空 掃除機	日常清掃	定期清掃	全面 洗浄	日常清掃		定期清掃	全面 洗浄	日常清掃	定期清掃	日常清掃
				帯・自在 罫 DET-3B-	真空 掃除機	部分	全面	表面 洗浄	帯・自在 罫 DET-3B-	真空 掃除機	部分	全面	表面 洗浄	帯・自在 罫 DET-3B-	真空 掃除機	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃
																	H24	H25	H26	H27	H28				
	720号室	繊維床																							
	721号室	繊維床																							
	722号室	繊維床																							
	723号室	繊維床																							
	724号室	繊維床																							
	725号室	繊維床																							
	726号室	繊維床																							
	727号室	繊維床																							
	728号室	繊維床																							
	729号室	繊維床																							
	730号室	繊維床																							
	731号室	繊維床																							
	732号室	繊維床																							
	733号室	繊維床																							
	734号室	繊維床																							
	735号室	繊維床																							
	736号室	繊維床																							
	737号室	繊維床																							
	738号室	繊維床																							
	739号室	繊維床																							
	740号室	繊維床																							
	741号室	繊維床																							
	742号室	繊維床																							
	743号室	繊維床																							
	744号室	繊維床																							
	745号室	繊維床																							
	746号室	繊維床																							
	747号室	繊維床																							
	748号室	繊維床																							
	7階階泊室	弾性床																							
	リビング(7)	弾性床																							
	ランナー(12)	繊維床																							
	ランナー(13)	弾性床																							
	リネン	弾性床																							

N T C 表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	壁	ドア	扉	作業項目			H 2 4			H 2 5			H 2 6			H 2 7			H 2 8			面積 (㎡)
				日常	定期	不定期	日常	定期	不定期	日常	定期	不定期	日常	定期	不定期	日常	定期	不定期	日常	定期	不定期	
				日	週	月	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	
清掃対象室	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	
B1F																						
消防ポンプ室				1/																		27
空調機機室(1)				1/																		18
空調機機室(2)				1/																		4
浴室の湯機械室				1/																		
熱源機機室				1/																		
更衣室				1/																		
浴室機室				1/																		
チャイナパー室 1,2,3,4				1/																		
C階段				1/																		
D階段				1/																		
G階段				1/																		
I F				1/																		
風除室				1/																		21.0
エントランスロビー				1/																		158.0
フロント				1/																		21.0
クローク				1/																		18.0
喫茶				1/																		69.0
廊下				1/																		7.0
廊下 (1)				1/																		267.0
廊下 (4)				1/																		55.0
事務室				1/																		20.0
EV車庫(1)				1/																		6.0
ホース室				1/																		4.0
給湯室				1/																		15.0
控室				1/																		10.0
休憩室				1/																		8.6
警備室				1/																		47.5
ロッカー室 (1) (2)				1/																		4.0
倉庫 (1)				1/																		10.0
倉庫 (2)				1/																		17.9
男子便所 (1)				1/																		17.9
女子便所 (1)				1/																		5.0
身障者便所 (1)				1/																		4.0
備所WC (1) (2)				1/																		49.3
廊下 (2)				1/																		
倉庫				1/																		
カプエテリアコート- ハイキングコート-				1/																		7.8
倉庫 (5)				1/																		3.0
更衣室前室				1/																		15.6
脱衣室階段				1/																		12.0
男子・女子脱衣室				1/																		40.5
倉庫 (6) (8)				1/																		8.0

N T C表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	壁	ドア		照明器具	吸込出入口	灰皿	ごみ箱	金属部分	鏡		衛生陶器	衛生消耗品	汚容器	流し台	冷水器	厨房	機械・作	扉溝	手摺	予定数量							面積 (㎡)
		日常	定期						H24	H25										H26	H27	H28					
作業項目	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期		
	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分	部分		部分
清掃対象室																											
便所(5)		1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	4.3	
男子浴室		1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	140.0	
女子浴室		1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	1/	154.0	
男子更衣室																										23.0	
女子更衣室																										24.0	
E.V.ホール																										25.6	
廊下																										48.0	
廊下																										24.0	
A. B階段																										56.0	
C階段																										27.0	
エレベーター																										4台	
IF																											
インターネットコーナー																										15	
図書・学習室																										59	
倉庫																										10	
男子便所(2)																										35	
女子便所																										24	
身体者便所																										5	
(SK)																										2	
E.V.ホール(3)																										30	
ミーティング室(1)																										28	
ミーティング室(2)																										34	
廊下(3)																										37	
D階段																										18	
D扉																										41	
エレベーター																										1台	
2F																										95.9	
宿泊室 (ツイン)																										145.8	
宿泊室 (ツイン) (1)																										17.9	
宿泊室 (ツイン) (2)																										66.0	
宿泊室 スツ、トイレ																										19.6	
マッサージ室																										35.0	
リビングルーム																										16.8	
ランドリ- (1)																										15.0	
ランドリ- (2)																										21.0	
リネン庫 (1)																										21.0	
リネン庫 (2)																										133.0	
廊下 (1)																										15.0	
EVホール (1)																										33.0	
EVホール (2)																										36.0	
個室 (1) ~ (3)																										85.0	
グループ個室 (1) ~ (4)																										81.8	
リビング																										3.0	
廊下																										1.0	
収納																										8.0	
シャワー室																										8.0	
脱衣室																										9.0	
洗面室																										13.0	
便所																										56.0	
A. B階段																										27.0	
C階段																											
2F																										184	
小研修室(1)																										90	
ロビー																										20	
EVホール(3)																										15	
倉庫																										95	
小研修室(3)																										43	
ミーティング室																											

NTC表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

Table with columns: 作業対象 (Target Work), フロア/壁 (Floor/Wall), 扉/窓 (Door/Window), 照明器具 (Lighting), 吸引出口 (Suction Outlet), 灰皿 (Ash Tray), ごみ箱 (Trash Can), 金属部分 (Metal Parts), 洗剤台 (Detergent Tray), 鏡 (Mirror), 衛生陶器 (Sanitary Ware), 衛生消耗品 (Sanitary Consumables), 汚物容器 (Waste Container), 流し台 (Sink), 冷水器 (Cold Water Dispenser), 厨房収集 (Kitchen Collection), 機室 (Mechanical Room), 扉溝 (Door Groove), 手摺 (Handrail), 予定数量 (Forecasted Quantity), 面積 (Area).

NTC表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	壁	ドア	扉ガラス	照明器具	吸込出口	ゴミ箱	金属部分	洗面台	鏡	衛生陶器	衛生消耗品	汚物容器	流し台	冷水器	厨房収集	機作	原摺	手摺	予定数量								面積 (㎡)		
																			H24		H25		H26		H27			H28	
																			日	定期	日	定期	日	定期	日	定期		日	定期
作業項目	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期	日	定期				
清掃対象室	拭分	除塵	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分	拭分				
食堂・厨房関係諸室																													
廊下1																													
冷蔵庫																													
冷凍庫																													
食品庫																													
事務室																													
宿直室1																													
宿直室 H.A.、トイレ																													
宿直室2																													
宿直室 H.A.、トイレ																													
機材室																													
廊下																													
下処理室																													
食品保管庫																													
洗浄室																													
食堂																													
休憩関係																													
踏込み																													
休憩室1																													
休憩室2																													
ドレーンコントロール室関係																													
血液採取室																													
待合室																													
作業室1																													
作業室2																													
採尿室1																													
採尿室2																													
宿泊関係																													
EVホール																													
廊下2																													
階段																													
N-WC																													
M-WC																													
多目的WC																													
F-WC																													
廊下3																													
森母室(RA室)																													
1階宿泊室 H.A.、トイレ																													
2階																													
宿泊関係(西側)																													
宿泊室1																													
221号室																													
222号室																													
223号室																													
224号室																													
宿泊室3																													
218号室																													
219号室																													
220号室																													
倉庫(1)																													
ランドリー(1)																													
廊下4																													
宿泊関係(東側)																													
EVホール																													
廊下5																													
階段																													

NTC表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	壁	フロア	扉ガラス	什器備品	照明器具	吸込出口	ごみ箱	金属部分	洗面台	鏡	衛生陶器	衛生消耗品	汚物容器	流し台	冷水器	耐芥子収集	機作・盤履	原摺	手摺	予定数量			面積					
																				H24	H25	H26						
作業項目	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	H24	H25	H26	H27	H28			
720号室					1/		1/															336		336		336	1	0
730号室					1/		1/															336		336		336	1	0
731号室					1/		1/															336		336		336	1	0
732号室					1/		1/															336		336		336	1	0
733号室					1/		1/															336		336		336	1	0
734号室					1/		1/															336		336		336	1	0
735号室					1/		1/															336		336		336	1	0
736号室					1/		1/															336		336		336	1	0
737号室					1/		1/															336		336		336	1	0
738号室					1/		1/															336		336		336	1	0
739号室					1/		1/															336		336		336	1	0
740号室					1/		1/															336		336		336	1	0
741号室					1/		1/															336		336		336	1	0
742号室					1/		1/															336		336		336	1	0
743号室					1/		1/															336		336		336	1	0
744号室					1/		1/															336		336		336	1	0
745号室					1/		1/															336		336		336	1	0
746号室					1/		1/															336		336		336	1	0
747号室					1/		1/															336		336		336	1	0
748号室					1/		1/															336		336		336	1	0
7階油室		1/			1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/	1/								336		336		336	1	0
リビンダ(7)					1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/									336		336		336	1	30
マップー					1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/									336		336		336	1	19
ランドリー(12)					1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/									336		336		336	1	9
ランドリー(13)					1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/									336		336		336	1	10
リネン					1/		1/		1/	1/	1/	1/	1/									336		336		336	1	B

N T C 表 - 3 建物外部の清掃場所の作業項目及び周期

作業項目 清掃場所	除塵	部分水拭き	洗淨	拾い桶き	水やり	予定数量 (回)					備考
						H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	
玄関周り				1 / 日		364	364	365	364	365	
1F 屋外テラス				1 / 日		364	364	365	364	365	
1F 食堂屋外デッキ				1 / 日		364	364	365	364	365	
2F 屋上テラス (1)				1 / 日		364	364	365	364	365	
2F 屋上テラス (2)				1 / 日		364	364	365	364	365	
2F 屋外通路デッキ				1 / 日		364	364	365	364	365	
構内通路				1 / 日		364	364	365	364	365	191.4㎡
駐車場				1 / 日		364	364	365	364	365	271.9㎡
1F 中庭				1 / 日		364	364	365	364	365	76㎡
ドライエリア				1 / 日		364	364	365	364	365	187㎡

N T C 表 - 3 建物外部の清掃場所の作業項目及び周期

南館 清掃場所	作業項目	除塵	部分水拭き	洗浄	拭い掃き	水やり	予定数量(回)				備考	
							H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7		H 2 8
前庭					1/日		364	364	365	364	365	175㎡

表-4 窓面積計算表

(JISS)

棟	階	室名	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)	数量	備考
宿泊施設	5F~RF	宿泊施設 (ホテル部門)			269.140	4回/年	内窓面積 H24~H28
		計					

(NTC)

棟	階	室名	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)	数量	備考
宿泊施設	1F~6F	宿泊施設 (ホテル部門)			579.500	4回/年	H24~H28
宿泊施設	1F~3F	宿泊施設 (管理部門)			59.500	4回/年	H24~H28
		計					

表-4 窓面積計算表

(NTC南館・設備棟)

棟	階	室名	高さ (m)	面積 (㎡)	備考	数量
宿泊施設	1F～7F	宿泊施設 (ホテル部門)		2270.195		4回/年
宿泊施設	1F～3F	宿泊施設 (管理部門)		49.629		4回/年
計						

南館ガラス面積内訳

建具記号	横W (m)	縦H (m)	面積㎡	片面・両面	ガラス面積/枚	か所数	清掃面積㎡
SD 7	2.31	2.1	4.851	2	9.702	1	10
SD 8	1.9	2.1	3.99	2	7.98	1	8
SD 2 3	2.46	2	4.92	2	9.84	2	20
SD 2 7	3	2.1	6.3	2	12.6	4	50
SD 2 8	2.1	2.1	4.41	2	8.82	1	9
SD 3 9	1.66	0.6	0.996	2	1.992	1	2
SD 4 1	1.53	2.1	3.213	2	6.426	1	6
SD 4 2	3	2.04	6.12	2	12.24	1	12
LSD 3	0.2	0.8	0.16	2	0.32	1	0
LSD 4	1.2	2.1	2.52	2	5.04	2	10
AD 1	0.9	2	1.8	2	3.6	3	11
SDD 1	1.8	2.1	3.78	2	7.56	1	8
SDD 2	1	0.8	0.8	2	1.6	1	2
AW 1	1.5	2.4	3.6	2	7.2	1	7
AW 2	2	2.4	4.8	2	9.6	2	19
AW 3	2	2.4	4.8	2	9.6	1	10
AW 4	2	2.4	4.8	2	9.6	6	58
AW 5	1.5	2.4	3.6	2	7.2	2	14
AW 6	0.8	2.4	1.92	2	3.84	3	12
AW 7	1.5	2.4	3.6	2	7.2	6	43
AW 8	1.35	2.4	3.24	2	6.48	2	13
AW 9	1.5	2.4	3.6	2	7.2	86	619
AW 1 0	1.5	2.4	3.6	2	7.2	45	324
AW 1 1	1.4	2.4	3.36	2	6.72	9	60

表-4 窓面積計算表

AW12	2.3	2.7	6.21	2	12.42	6	75
AW13	1.5	2.4	3.6	2	7.2	4	29
AW14	0.8	2.4	1.92	2	3.84	10	38
AW15	0.8	2.4	1.92	2	3.84	6	23
AW16	1.5	0.5	0.75	2	1.5	3	5
AW17	1.68	2.7	4.536	2	9.072	6	54
AW18	2.35	0.6	1.41	2	2.82	1	3
AW19	1.75	0.9	1.575	2	3.15	1	3
AW20	1.15	0.6	0.69	2	1.38	1	1
AW21	2	2.45	4.9	2	9.8	4	39
AW22	2	2.45	4.9	2	9.8	2	20
AW23	1.5	2.4	3.6	2	7.2	3	22
AW24	1.68	2.7	4.536	2	9.072	6	54
AW25	1	0.5	0.5	2	1	3	3
AW26	1.35	2.4	3.24	2	6.48	1	6
AW27	5.1	1.9	9.69	2	19.38	2	39
AW28	3.1	1.9	5.89	2	11.78	1	12
ACW1	14.92	7.3	108.916	2	217.832	1	218
ACW3	0.88	7.3	6.424	1	6.424	1	6
ACW4	2.5	5	12.5	2	25	1	25
ACW5	8.25	3.6	29.7	2	59.4	1	59
ACW6	8.25	0.9	7.425	1	7.425	1	7
ACW7	3.5	3.57	12.495	2	24.99	1	25
ACW8	3.5	3.15	11.025	2	22.05	5	110
ACW9	4.825	3.6	17.37	2	34.74	1	35
ACW10	2.665	2.15	5.72975	1	5.72975	1	6
ACW11	3.5	1.825	6.3875	2	12.775	2	26
南ガラス面積合計							2,270
外部窓ガラス面積							2,132
内部窓ガラス面積							138

表-4 窓面積計算表

設備棟ガラス面積内訳

建具記号	横W (m)	縦H (m)	面積㎡	片面・両面	ガラス面積/枚	か所数	清掃面積㎡
LSD 1	1.2	2.1	2.52	2	5.04	1	5
LSD 2	0.07	0.76	0.0532	2	0.1064	1	0
LSD 3	0.07	0.76	0.0532	2	0.1064	1	0
LSD 4	0.12	0.12	0.0144	2	0.0288	1	0
AW 1	0.79	0.79	0.6241	2	1.2482	2	2
AW 2	0.84	1.55	1.302	2	2.604	4	10
AW 3	0.84	1.55	1.302	2	2.604	2	5
AW 4	0.84	1.55	1.302	2	2.604	2	5
AW 5	0.84	1.55	1.302	2	2.604	2	5
AW 6	0.79	0.79	0.6241	2	1.2482	4	5
AW 7	1.23	0.3	0.369	2	0.738	1	1
AD 1	2.4	2.1	5.04	2	10.08	1	10
南ガラス面積合計							49.6
外部窓ガラス面積							44.3
内部窓ガラス面積							5.3

宿泊施設の客室整備業務及び環境整備業務詳細

1 業務

(1) 共通事項

フロントとの連携を密にし、効率的に実施すること。

(2) 客室整備業務

① 基本事項

- ア JISS 宿泊施設の低酸素運転中の場合は、監督職員の指示に従うこと。
- イ NTC 宿泊施設の運用は、財団法人日本オリンピック委員会(以下、「JOC」という。)が行うため、密接な連絡、調整を行うこと。
- ウ 忘れ物は、フロントへ引き継ぐこと。

② 宿泊室内

下記の方法により、常に清潔の保持に努めること。ただし、連泊の場合の客室整備は原則として2日に1回実施すること。

区分	作業内容
床：洋室（カーペット） 和室（畳、一部フローリング）	・真空掃除機で吸塵する。
壁	・鳥毛はたき又は静電除塵具等で除塵する。 ・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
障子	・鳥毛はたき又は静電除塵具等で除塵する。
什器備品	・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。 ・汚れた部分を水拭きする。 ・各部屋の備品類を基本の配置場所へ整える。
ゴミ箱	・内容物を回収し、容器を拭く。
鏡	・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ・から拭きする。
金属部分	・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。
照明器具	・鳥毛はたき又は静電除塵具等で除塵する。 ・専用洗剤を用いて、管球、反射板やカバー等を拭く。 ・球切れの確認・交換を行う。
アメニティー類の交換	・設置していたものを回収し、新品を設置する。
ベッドメイク	・シーツ、枕カバーの交換、ベッドメイクを行う。 ・毛布がある場合は回収する。 ・NTC 宿泊施設の簡易ベッドの設置及び撤去、シーツ、枕カバーの交換、ベッドメイクを行う。

タオル類の交換	・使用済みのバスマット、バスタオル、フェイスタオル等をクリーニング済みのものと交換する。
入り口ドア	・鍵の点検を行う。 ・ノブの手垢をタオルで拭きとる。
電化製品	・正常に稼働するかどうか点検する。 ・から拭きし、汚れ、ほこりをとる。
クローゼット	・全体をから拭きする。
冷蔵庫	・内容物を出し、全体を拭き上げる。
金庫	・内容物を出し、全体を拭き上げる。 ・鍵の点検を行う。
カーテン	・開閉検査を行う。 ・ドレープを固定する。
窓ガラス（建物内部）	・ガラス全面、サッシを専用洗剤を使って拭き上げる。 ・破損を点検する。 ・鍵の開閉を確認する。
洗面台・浴槽	・スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。
ユニットバス内の鏡	・洗浄後、拭き上げる。
トイレ	・スポンジで擦り洗い流し、拭き上げる。
ユニットバス内の床・壁	・スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。 ・適宜専用洗剤で排水溝の洗浄を行う。
衛生陶器・水栓	・専用洗剤を用いて洗浄後、拭き上げる。
衛生消耗品	・トイレットペーパー、石鹼類を補充する。
汚物容器	・内容物を処理し、容器を洗浄する。
シャワーカーテン	・洗浄し、拭き上げる。
リネンの回収	・シーツ、枕カバー、バスマット、毛布カバー、タオル類は、回収し、指定の場所へ運搬する。
スリッパの清掃	・スリッパを拭く。

(3) 環境整備業務

① 基本事項

- ア 低酸素運転中の場合は、監督職員の指示に従うこと。
- イ 忘れ物は、フロントへ引き継ぐこと。

② ランドリー室及びコインランドリー

下記の方法により、常に清潔の保持に努めること。

区分	作業内容
床：ビニール床シート	・自在箒又は真空掃除機で吸塵する。 ・床全体をフロアダスター又はモップで拭き上げる。

	・適宜専用洗剤で排水溝の洗浄を行う。
壁・扉・棚	・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
洗濯機・乾燥機	・全体的に拭き上げる。 ・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ・フィルターのごみを取る。 ・給水ホース接続口を洗浄する。 ・取り扱い説明書に基づき、衛生管理に努める。
洗面台	・専用洗剤を用いてスポンジで洗浄し、拭き上げる。
ゴミ箱	・内容物を回収し、容器を拭く。

③ リネン庫

下記の方法により、常に清潔の保持に努めること。

区分	作業内容
床：ビニール床シート	・自在箒又は真空掃除機で吸塵する。 ・床全体をフロアダスター又はモップで丁寧に拭き上げる。
壁	・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
棚・カート	・水又は専用洗剤を用いて拭く。
その他	・室内の収納品を整理整頓する。

④ 屋上（JISS 宿泊施設：厨房側のみ）

下記の方法により、常に清潔の保持に努めること。

区分	作業内容
床：石器質タイル	・巡回してゴミを拾い集める。
ベンチ	・タオルで拭き上げる。

⑤ 浴室整備

下記の方法により、常に清潔の保持に努めること。

ア 浴室内

清掃部分	作業内容
床・浴槽：花崗岩張り、磁器質タイル	・浴槽は湯を抜き、専用洗剤を用いてデッキブラシ又はポリッシャーを用いて汚れを落とす。 ・適宜専用洗剤で排水溝の洗浄を行う。
壁	・専用洗剤を用いて、デッキブラシ、スポンジで汚れを落とす。
洗面台・扉・鏡・窓	・専用洗剤を用いて、スポンジで汚れを落とす。
シャワー	・専用洗剤を用いて、スポンジで汚れを落とす。 ・ノズルを指定の方向・位置に固定する。

腰掛け、洗面器・シャンプートレー	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤を用いて、スポンジで汚れを落とす。 ・定位置へ整理整頓する。
衛生消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ・随時補充する。
サウナ内床・壁	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップで床及び壁全面にむらのないように塗布する。 ・2回以上水拭きを行って洗剤分を完全に除去する。
サウナ内計器類	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで拭き上げる。

イ 浴室脱衣室整備

区分	作業内容
床：籐カーペット、竹タイル	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機で吸塵する。 ・床全体をフロアダスター又はモップで拭き上げる。
壁	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
バスマット	<ul style="list-style-type: none"> ・随時交換する。
扉ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤で拭く。
什器備品	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。 ・定位置に設置する。
ゴミ箱	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物を回収し、容器を拭く。
金属部分	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。
扉及び便所へだて	<ul style="list-style-type: none"> ・水又は専用洗剤を用いて拭く。
照明器具	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥毛はたき又は静電除塵具等で除塵する。 ・専用洗剤を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭く。 ・球切れの確認を行う。
電化製品	<ul style="list-style-type: none"> ・正常に稼働するかどうか点検する。 ・から拭きし、汚れ、ほこりをとる。
窓（建物内部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス全面、サッシを専用洗剤を使って拭き上げる。 ・破損点検を行う。 ・鍵の開閉を確認する。
洗面台	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。
鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤で拭き上げる。
衛生陶器及び水栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤を用いて洗浄し拭き上げる。 ・金属類を拭き上げる。 ・センサー等メッキ類はから拭きする。
衛生消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレットペーパーや水石鹼等を補充する。
汚物容器	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物を処理し、容器を洗浄し、拭く。
扉溝	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機等で吸塵する。
タオル類の交換	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みのバスマット、バスタオル、フェイスタオル等をクリーニング済みのものと交換する。

⑥ 共通部分

以下の部分については、下記の表に基づき、常に清潔の保持に努めること。

- ア ラウンジ
- イ 廊下
- ウ 給湯室
- エ 自販機コーナー
- オ トイレ
- カ マッサージ室
- キ 研修室
- ク ミーティング室
- ケ ロビー・エントランス
- コ リビング
- サ カウンセリングルーム
- シ 休憩室(南館)

区分	作業内容
弾性床及び硬質床	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機で吸塵する。 ・自在箒、フロアダスター（ダストモップ）等で拭く。 ・汚水や水滴などが付着した部分をモップで拭く。
繊維床	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機で吸塵する。
窓ガラス（建物内部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス全面、サッシを専用洗剤で拭き上げる。 ・破損を点検する。 ・鍵の開閉の確認をする。
壁	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
フロアマット	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機で吸塵する。 ・洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を用いる場合はすすいだ後、十分に乾燥させること。
扉ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで水拭き又はから拭きする。
什器備品	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。 ・タオルで水拭きする。 ・設置位置を整える。
ゴミ箱	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物を回収し、容器を拭く。
金属部分	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル、ダストクロス等でほこりをとる。
扉及び便所へだて	<ul style="list-style-type: none"> ・水又は専用洗剤を用いて拭く。
照明器具	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥毛はたき又は静電除塵具等で除塵する。 ・専用洗剤を用いて、管球、反射板やカバーなどを拭く。 ・球切れの確認、交換を行う。

電化製品	<ul style="list-style-type: none"> ・正常に稼働するかどうかを点検する。 ・から拭きし、汚れ、ほこりをとる。
カーテン	<ul style="list-style-type: none"> ・開閉検査を行う。 ・ドレープを固定する。
窓ガラス（建物内側）	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス全面、サッシを専用洗剤を使って拭き上げる。 ・破損を点検する。 ・鍵の開閉を確認する。
洗面台	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。
鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤を用いて拭き上げる。
衛生陶器及び水栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・専用洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。 ・金属部分を拭く。 ・センサー等メッキ類はから拭きとする。
衛生消耗品	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトーパーや水石鹼等を補充する。
汚物容器	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物を処理し、容器を洗浄して拭く。
製氷機	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱い説明書に基づき、衛生管理に努める。
流し台	<ul style="list-style-type: none"> ・中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
排水溝	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜専用洗剤で洗浄を行う。
扉溝	<ul style="list-style-type: none"> ・真空掃除機等で吸塵する。
手すり	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで水拭きする。
厨芥容器	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物を回収後洗浄し、容器を拭く。

⑦ ゴミ収集

収集したゴミは塵芥、厨芥等を区別（可燃物、缶、びん、その他の不燃物、新聞雑誌、ダンボール等に分別する。）して、指定のゴミ集積場まで運搬すること。
 なお、上記作業終了後は、ゴミ集積場及びその周辺を清掃すること。

JISS屋内施設保全調書

点検場所		屋内施設	点検項目	数量
建	(B2-1) ろ過機室	外壁	金属製カーテンウォール	9,658㎡
	(B1-1) 競泳プール		塗装	9,658㎡
	(B1-2) シンクロナイストスイングプール	屋外階段	仕上げ及び構造体	22回
	(B1-3) アーチェリー, 射撃練習場	建具	扉及び枠	684箇所
	(B1-4) ポートカヌー実験場	内部天井	ボード類	17,849㎡
	(B1-5) 窒素ガスボンベ庫	内部床	ビニルタイル	11,168㎡
	(B1-6) 熱源機械室		カーペット	1,781㎡
	(B1-7) ポンプ室		フローリング	4,900㎡
一 般	(B1-8) ボイラー室			
	(B1-9) 電気室			
	(B1-10) AC機械室1・2			
	(B1-11) 発電機室			
	(B1-12) MRI検査室(CT・X線室含)			
	(1-1) 陸上実験場			
	(1-2) バイオメカニクス実験室			
	(1-3) AC機械室			
	(1-4) リハビリテーション室			
	(1-5) 警備室			
	(1-6) 委託業者事務室1・2・3			
	(1-7) 職員休養室1・2			
	(1-8) 電話交換機室			
	(1-9) 中央監視室			
	(1-10) AC機械室1・2			
	(1-11) 倉庫1・2・3・4			
	(1-12) クリニック事務室(薬剤室・資料室含)			
	(1-13) メディカルチェック室			
	(1-14) 研究室(歯科・眼科・耳鼻科)			
	(1-15) 研究室・会議室			
	(1-16) 心理カウンセリング室			
	(1-17) 栄養指導室			
	(1-18) 高圧治療室			
	(1-19) 洗浄・除菌室			
	(1-20) ドーピングコントロール室			
(1-21) 心電図室				
(1-22) 検査室(婦人科)				
(1-23) 研究員室(外科1・外科2・超音波・内科)				
(1-24) ナースステーション				
(1-25) AC機械室1・2				
(1-27) エントランスホール(最上階まで)				

建	(2-1) 体力科学実験室1・2	
	(2-2) 形態測定室・実験室	
	(2-3) エルゴメーター実験室	
	(2-4) リハビリテーション室	
	(2-5) フェンシング練習場・TR	
	(2-6) 更衣室(男・女)	
	(2-7) AC機械室1・2・3	
	(2-8) 倉庫1・2	
	(2-9) 研修室A・B・C・D	
	(2-10) 喫茶室	
築	(3-1) 生化学実験室	
	(3-2) 生理学実験室	
	(3-3) 環境制御室	
	(3-4) 温湿度実験室	
	(3-5) 気圧実験室	
	(3-6) 機械室	
	(3-7) 情報サービス室	
	(3-8) システムハード室	
	(3-9) 保管室1・2	
	(3-10) 研究員室・会議室	
	(3-11) システム研究室	
	(3-12) 更衣室(一般利用者)	
	(3-13) 新体操・トランポリン場	
	(3-14) 新体操TR・トランポリン場TR	
	(3-15) 映像編集室1・2・3	
	(3-16) 映像分析室・バーチャルトレーニング室	
	(3-17) 心理学研究室・実験室	
一	(3-18) 機械室	
	(3-19) AC機械室1・2	
	(4-1) アンチ・ドーピング JADA	
	(4-2) WADA	
	(4-3) JOC控え室	
	(4-4) 研究室1~3	
	(4-5) 研究体育館	
	(4-6) AC機械室3・4	
	(4-7) トレーニング体育館	
	(4-8) 低酸素トレーニング室	
	(4-9) 高酸素室	
	(4-11) 科学部研究員室7~11	
	(4-15) 機械室	
	(4-16) AC機械室1・2	
	般	(5-1) 宿泊室(501~540)
		(5-2) 湯沸・自販機・洗濯室(南北)
(5-3) 機械室(南北)		
(5-4) リネン庫		
(5-5) AC機械室1・2		
(6-2) 宿泊室(601~640)		
(6-3) 湯沸・自販機・洗濯室(南北)		
(6-4) 機械室(南北)		
(6-5) リネン庫1・2		
(6-6) AC機械室1・2		
(6-7) バルコニー(南北)		
(7-1) レストラン		
(7-2) 浴室(男・女)		
(7-3) 食堂請負控室		
(7-4) AC機械室		
(屋-1) 屋上		

JISS屋外施設保全調書

点 検 場 所		屋内施設	点検項目	数量
建	サッカー場	外壁	塗装	4298㎡
	(サ-3) 選手控室1・2・3・4	建具	扉及び枠	22箇所
	(サ-4) シャワー室(東西)	内部天井	ボード類	388㎡
	(サ-5) 審判室	内部床	ビニルタイル	388㎡
	(サ-6) ホール			
	(サ-7) キーパー室			
	(サ-8) 大会事務室			
	(サ-9) プレスルーム			
	(サ-10) 電気室			
	(サ-11) 応接室			
	(サ-12) 作業場			
	(サ-13) 倉庫(東・西)			
	一	設備棟	屋内施設	点検項目
(AコートB1-2) 受付		屋外階段	仕上げ及び構造体	2回
(AコートB1-3) 更衣室(男・女)		建具	扉及び枠	22箇所
(設B1-1) 請負業者控室1・2		内部天井	ボード類	388㎡
(設B1-2) 倉庫1・2		内部床	ビニルタイル	388㎡
(設B1-3) ポンプ室1・2				
(設B1-4) 特高受変電室				
(設B1-5) ポンプ室				
テニス場クラブハウス				
(Bコート1-2) 更衣室(男・女)		屋内施設	点検項目	数量
般	(Bコート1-3) 事務室	外壁	塗装	263
	(Bコート1-4) ボイラー室	屋外階段	仕上げ及び構造体	2回
	(Bコート2-1) ロビー	建具	扉及び枠	11箇所
	(Bコート2-2) 脱衣室	内部天井	ボード類	153㎡
		内部床	ビニルタイル	153㎡

戸田艇庫・合宿室保全調書

点検場所		屋内施設	点検項目	数量
建	(1-1) 艇庫1~11	外壁	塗装	1,324㎡
	(1-2) 管理事務室	屋外階段	仕上げ及び構造体	6回
	(1-3) 更衣室(男・女)	建具	扉及び枠	54箇所
	(1-4) ボイラー室	内部天井	ボード類	2,718㎡
	(1-5) ポンプ室	内部床	ビニルタイル	2,718㎡
一般	(1-6) 受電室(盤・キュービクル)			
	(2-1) 合宿室(201~219)			
	(2-2) 浴室(男・女)			
	(2-3) リネン室			
	(2-4) 化粧室(男・女)			
	(2-5) 調理室			
	(2-6) バルコニー			
	(外-1) 棧橋			

NTC屋外施設保全調書

点検場所		屋外トレーニング施設	点検項目	数量	
建	(1-1)	管理室	外壁	塗装	1,038㎡
	(1-2)	男子WC	屋外階段	仕上げ及び構造体	1回
	(1-3)	男子更衣室	建具	扉及び枠	41箇所
	(1-4)	SK	内部天井	ボード類	669㎡
	(1-5)	身障者用便所	内部床	ビニルタイル	669㎡
築	(1-6)	シャワー室(男)			
	(1-7)	便所(男)			
	(1-8)	湯沸室			
	(1-9)	シャワー室(女)			
	(1-10)	便所(女)			
	(1-11)	女子WC			
	(1-12)	女子更衣室			
	(1-13)	研修室			
	(1-14)	TR			
	(1-15)	階段			
一 般	(1-16)	マッサージ室			
	(1-17)	ウェイトトレーニングルーム			
	(1-18)	器具庫2			
	(1-19)	電気室			
	(1-20)	倉庫1			
	(1-21)	器具庫1			
	(1-22)	ごみ置場			
	(1-23)	倉庫2			

屋内施設保全調書

点検場所		NTC屋内施設	点検項目	数量		
建	(1-1)	B1F	外壁	塗装(建具含む)	14,682㎡	
	(B1-1)	25mプール	屋外階段	仕上げ及び構造体	0回	
	(B1-2)	監視員室兼器具庫	建具	扉及び枠	601箇所	
	(B1-3)	男女WC(1)	内部天井	ボード類	23,883㎡	
	(B1-4)	前室(2)	内部床	ビニルタイル	18,826㎡	
	(B1-5)	プール更衣室・WC(男女)				
	(B1-6)	シャワー室(男女)				
	(B1-7)	前室(1)				
	(B1-8)	ボクシング				
	(B1-9)	テクニカルルーム(1)				
	(B1-10)	前室(3)(4)				
	(B1-11)	ウェイトトレーニング				
	(B1-12)	ウェイトトレーニングスタッフルーム				
	(B1-13)	前室(5)				
	(B1-14)	ウェイトリフティング				
	(B1-15)	テクニカルルーム(2)				
	(B1-16)	器具庫(1)				
	(B1-17)	前室(6)				
	(B1-18)	レスリング				
	(B1-19)	テクニカルルーム(3)				
	(B1-20)	器具庫(2)				
	(B1-21)	ラウンジ(1)(2)				
	(B1-22)	ろ過機械室				
	(B1-23)	衛生機械室				
	(B1-24)	ボイラー室				
	(B1-25)	熱源機械室				
	(B1-26)	サーバ室				
	(B1-27)	発電機室				
	(B1-28)	電気室				
	(B1-29)	中央監視室				
	(B1-30)	休憩室				
	(B1-31)	廊下(1)(2)(3)				
	(B1-32)	空調機械室(1)~(3)				
	(B1-33)	前室(7)				
	(B1-34)	前室(8)				
	一	(B1-35)	倉庫(1)(2)			
		(B1-36)	男女更衣・ロッカー・シャワー			
		(B1-37)	男女WC(2)			
		(B1-38)	H-WC			
(B1-39)		階段				
般		1F				
	(1-1)	前室(1)				
	(1-2)	柔道				
	(1-3)	テクニカルルーム(1)				

建	(1-4)	器具庫(1)	
	(1-5)	前室(2)	
	(1-6)	卓球	
	(1-7)	テクニカルルーム(2)	
	(1-8)	グルーイングルーム	
	(1-9)	器具庫(2)	
	(1-10)	ラウンジ	
	(1-11)	風除室	
	(1-12)	エントランスホール	
	(1-13)	男女WC(2)	
	(1-14)	H-WC(2)	
	(1-15)	EVホール(2)兼前室(3)	
	(1-16)	前室(4)	
	(1-17)	EVホール(1)	
	(1-18)	大研修室	
	(1-19)	研修室(1)～(6)	
	(1-20)	研修室(1)～(4)収納	
	(1-21)	コーチ室	
	(1-22)	事務室	
	(1-23)	応接室	
	(1-24)	ミーティングルーム	
	(1-25)	湯沸し室	
	(1-26)	委託業者控室	
	(1-27)	記者控室	
	(1-28)	廊下(1)	
	(1-29)	廊下(2)	
	(1-30)	廊下(3)	
	(1-31)	廊下(4)	
	築	(1-32)	倉庫(1)～(3)
		(1-33)	倉庫(4)
		(1-34)	空調機械室(1)～(6)
		(1-35)	男女更衣室
		(1-36)	男女WC(3)
		(1-37)	男女WC(1)・H-WC(1)
		(1-38)	男女更衣・シャワー・ロッカー
		(1-39)	階段
			2F
	一	(2-1)	EVホール
(2-2)		連絡通路1	
(2-3)		階段	
		3F	
(3-1)		前室(1)	
般	(3-2)	ハンドボール	
	(3-3)	テクニカルルーム(1)	
	(3-4)	器具庫(1)	
	(3-5)	前室(2)	
	(3-6)	バスケットボール	
	(3-7)	テクニカルルーム(2)	
	(3-8)	器具庫(2)	
	(3-9)	前室(3)(4)	
	(3-10)	共用コート	
	(3-11)	器具庫(3)	
	(3-12)	ラウンジ(1)(2)	
	(3-13)	ロビー・EVホール兼前室(10)	
	(3-14)	廊下	
	(3-15)	前室(7)	
	(3-16)	EVホール兼前室(9)	
	(3-17)	前室(5)(6)	
	(3-18)	前室(8)	
	(3-19)	倉庫	
	(3-20)	男女WC(1)・H-WC(1)	
	(3-21)	男女更衣・シャワー・ロッカー	
	(3-22)	階段	
	(3-23)	空調機械室(1)～(6)	
	4F		
(4-1)	前室(3)		
(4-2)	体操		
(4-3)	テクニカルルーム(1)(2)		
(4-4)	器具庫(1)		
(4-5)	前室(2)		

建	(4-6)	バレーボール	
	(4-7)	テクニカルルーム(3)	
	(4-8)	器具庫(2)	
	(4-9)	前室(3)	
	(4-10)	バトミントン	
	(4-11)	テクニカルルーム(4)	
	(4-12)	器具庫(3)	
	(4-13)	器具庫(4)	
	(4-14)	ラウンジ(1)(2)	
	(4-15)	アスリートラウンジ	
	(4-16)	廊下・前室(6)	
	(4-17)	EVホール兼前室(8)	
	(4-18)	前室(4)(5)(7)	
	(4-19)	倉庫(1)(2)(3)	
	(4-20)	男女WC(1)・H-WC(1)	
	(4-21)	男女更衣・シャワー・ロッカー	
	(4-22)	階段	
	(4-23)	空調機械室(1)～(6)	
	築		フットサル更衣室
		(フ-1)	更衣室(A)(B)
		(フ-2)	シャワー
		(フ-3)	WC(W)(M)
			ごみ置場
一		(ゴ-1)	ビン・カン・ペットボトル
		(ゴ-2)	廃プラ
		(ゴ-3)	ダンボール・新聞雑誌・コピー用紙
		(ゴ-4)	一般廃棄物
		(ゴ-5)	厨芥
	(ゴ-6)	再利用廃棄物	
		連絡通路2	
般	(通-1)	連絡通路2	
	(通-2)	階段	
		屋内テニスコート	
	(T-1)	テクニカルルーム	
(T-2)	器具庫		

NTC宿泊施設保全調書

点検場所		NTC宿泊施設	点検項目	数量		
	(1-1)	1F	外壁	塗装(建具含む)	12,015㎡	
	(1-1)	風除室	屋外階段	仕上げ及び構造体	24回	
	(1-2)	エントランスロビー	建具	扉及び枠	866箇所	
	(1-3)	フロント	内部天井	ボード類	7,685㎡	
	(1-4)	クローク	内部床	ビニルタイル	2,035㎡	
建	(1-5)	喫茶				
	(1-6)	売店				
	(1-7)	廊下(1)				
	(1-8)	廊下(4)				
	(1-9)	事務室				
	(1-10)	EVホール(1)				
	(1-11)	サーバー室				
	(1-12)	給湯室				
	(1-13)	控室				
	(1-14)	休憩室				
	(1-15)	警備室				
	築	(1-16)	ロッカー室(1)(2)			
		(1-17)	倉庫(1)			
		(1-18)	倉庫(2)			
		(1-19)	男子便所(1)			
		(1-20)	女子便所(1)、(SK)			
		(1-21)	身障者便所(1)			
		(1-22)	便所WC(1)(2)			
		(1-23)	廊下(2)			
		(1-24)	食堂			
		一	(1-25)	カフェテリアコーナー		
	(1-26)		バイキングコーナー			
	(1-27)		食堂事務室			
(1-28)	休憩室					
(1-29)	盛付室(1)(2)(3)					
(1-30)	盛付室(4)					
(1-31)	廊下(3)					
(1-32)	サニタリー					
(1-33)	倉庫(3)					
般	(1-34)		検収室			
	(1-35)	食品庫				
	(1-36)	下処理室				
	(1-37)	調理室				
	(1-38)	洗浄室				
	(1-39)	冷蔵庫				
	(1-40)	冷凍庫				
	(1-41)	便所WC(3)(4)				
	(1-42)	ロビー				
	(1-43)	倉庫(5)				

建	(1-44)	脱衣室前室	
	(1-45)	脱衣室踏込	
	(1-46)	男子・女子脱衣室	
	(1-47)	倉庫(6)(8)	
	(1-48)	便所WC(5)(6)	
	(1-49)	男子浴室	
	(1-50)	女子浴室	
	(1-51)	男子コンデিশョニング室	
	(1-52)	女子コンデিশョニング室	
	(1-53)	EVホール(2)	
	(1-54)	廊下(6)	
	(1-55)	廊下(7)	
	(1-56)	A、B階段	
	(1-57)	C階段	
	(1-58)	エレベーター	
	築	(2-1)	2F
		(2-2)	宿泊室(シングル)
(2-3)		宿泊室(ツイン)(1)	
(2-4)		宿泊室(ツイン)(2)	
(2-5)		宿泊室 バス、トイレ	
(2-6)		マッサージ室(1)	
(2-7)		リビングルーム	
(2-8)		ランドリー(1)	
(2-9)		ランドリー(2)	
(2-10)		リネン庫(1)	
(2-11)		リネン庫(2)	
(2-12)		廊下(1)	
(2-13)		EVホール(1)	
(2-14)		EVホール(2)	
(2-15)		個室(1)～(3)	
(2-16)		グループ個室(1)～(4)	
(2-17)		リビング	
(2-18)		踏込	
(2-19)		収納	
(2-20)		シャワー室	
(2-21)		脱衣室	
(2-22)		洗面室	
(2-23)		便所	
一般		(2-24)	A、B階段
	(2-25)	C階段	
		3F	
	(3-1)	宿泊室(シングル)	
	(3-2)	宿泊室(ツイン)(1)	
	(3-3)	宿泊室(ツイン)(2)	
	(3-4)	宿泊室 バス、トイレ	
	(3-5)	マッサージ室(1)	
	(3-6)	マッサージ室(2)	
	(3-7)	リビングルーム(1)	
	(3-8)	リビングルーム(2)	
	(3-9)	ランドリー(1)	
	(3-10)	ランドリー(2)	
	(3-11)	ランドリー(3)	
	(3-12)	リネン庫(1)	
	(3-13)	リネン庫(2)	
	(3-14)	廊下(1)	
	(3-15)	EVホール(1)	
(3-16)	廊下(2)		
(3-17)	EVホール(2)		
(3-18)	個室(1)～(3)		
(3-19)	グループ個室(1)～(4)		

	(3-20)	リビング	
	(3-21)	踏込	
	(3-22)	収納	
	(3-23)	シャワー室	
	(3-24)	脱衣室	
	(3-25)	洗面室	
	(3-26)	便所	
	(3-27)	A、B階段	
	(3-28)	C階段	
建		4F	
	(4-1)	宿泊室 (シングル)	
	(4-2)	宿泊室 (ツイン) (1)	
	(4-3)	宿泊室 (ツイン) (2)	
	(4-4)	宿泊室 バス、トイレ	
	(4-5)	マッサージ室(1)	
	(4-6)	マッサージ室(2)	
	(4-7)	リビングルーム(1)	
	(4-8)	リビングルーム(2)	
	(4-9)	ランドリー(1)	
築	(4-10)	ランドリー(2)	
	(4-11)	ランドリー(3)	
	(4-12)	リネン庫(1)	
	(4-13)	リネン庫(2)	
	(4-14)	廊下(1)	
	(4-15)	EVホール(1)	
	(4-16)	廊下(2)	
	(4-17)	EVホール(2)	
	(4-18)	個室(1)～(3)	
	(4-19)	グループ個室(1)～(4)	
一	(4-20)	リビング	
	(4-21)	踏込	
	(4-22)	収納	
	(4-23)	シャワー室	
	(4-24)	脱衣室	
	(4-25)	洗面室	
	(4-26)	便所	
	(4-27)	A、B階段	
	(4-28)	C、D階段	
般		5F	
	(5-1)	宿泊室 (シングル)	
	(5-2)	宿泊室 (ツイン) (1)	
	(5-3)	宿泊室 (ツイン) (2)	
	(5-4)	宿泊室 バス、トイレ	
	(5-5)	マッサージ室(1)	
	(5-6)	マッサージ室(2)	
	(5-7)	リビングルーム(1)	
	(5-8)	リビングルーム(2)	
	(5-9)	和室(517)	
(5-10)	和室(518)		
(5-11)	和室 前室		
(5-12)	便所		
(5-13)	収納		
(5-14)	ランドリー(1)		
(5-15)	ランドリー(2)		
(5-16)	ランドリー(3)		
(5-17)	リネン庫(1)		
(5-18)	リネン庫(2)		
(5-19)	廊下(1)		
(5-20)	EVホール(1)		

建	(5-21)	廊下(2)
	(5-22)	EVホール(2)
	(5-23)	個室(1)～(3)
	(5-24)	グループ個室(1)～(4)
	(5-25)	リビング
	(5-26)	踏込
	(5-27)	収納
	(5-28)	シャワー室
	(5-29)	脱衣室
	(5-30)	洗面室
	(5-31)	便所
	(5-32)	A、B階段
(5-33)	C、D階段	
築		
		6F
	(6-1)	宿泊室 (シングル)
	(6-2)	宿泊室 (ツイン) (1)
	(6-3)	宿泊室 (ツイン) (2)
	(6-4)	宿泊室 バス、トイレ
	(6-5)	マッサージ室(1)
	(6-6)	マッサージ室(2)
	(6-7)	リビングルーム(1)
	(6-8)	リビングルーム(2)
	(6-9)	和室(617)
	(6-10)	和室(618)
	(6-11)	和室 前室
	(6-12)	便所
	(6-13)	収納
	(6-14)	ランドリー(1)
	(6-15)	ランドリー(2)
	(6-16)	ランドリー(3)
	(6-17)	リネン庫(1)
	(6-18)	リネン庫(2)
	(6-19)	廊下(1)
	(6-20)	EVホール(1)
	(6-21)	廊下(2)
	(6-22)	EVホール(2)
	(6-23)	個室(1)～(3)
	(6-24)	グループ個室(1)～(4)
(6-25)	リビング	
(6-26)	踏込	
(6-27)	収納	
(6-28)	シャワー室	
(6-29)	脱衣室	
(6-30)	洗面室	
(6-31)	便所	
一般		
	(6-32)	A、B階段
	(6-33)	C、D階段
		6F 小計

NTC宿泊施設(南館・設備棟)保全調書

点 検 場 所		NTC宿泊施設(南館・設備棟)	点検項目	数量		
一 般 建 築		1階	外壁	塗装(建具含む) 4,665㎡		
	(1-1)	食堂・厨房関係諸室	屋外階段	仕上げ及び構造体 5回		
	(1-2)	廊下1	建具	扉及び枠 701箇所		
	(1-3)	冷蔵庫	内部天井	ボード類 4,511㎡		
	(1-4)	冷凍庫	内部床	ビニルタイル 583㎡		
	(1-5)	食品庫				
	(1-6)	事務室				
	(1-7)	宿直室1				
	(1-8)	宿泊室 パス、トイレ				
	(1-9)	宿直室2				
	(1-10)	宿泊室 パス、トイレ				
	(1-11)	機械室				
	(1-12)	前室				
	(1-13)	下処理室				
	(1-14)	食品保管庫				
	(1-15)	洗浄室				
	(1-16)	食堂				
	(1-17)	休憩関係				
	(1-18)	踏込み				
	(1-19)	休憩室1				
	(1-20)	踏込み				
	(1-21)	休憩室2				
	(1-22)	血液採取室				ドーピングコントロール室関係
	(1-23)	待合室				
	(1-24)	作業室1				
	(1-25)	作業室2				
	(1-26)	採尿室1				
	(1-27)	採尿室2				
	(1-28)	EVホール				宿泊関係
	(1-29)	廊下2				
	(1-30)	階段				
	(1-31)	M-WC				
	(1-32)	多目的WC				
	(1-33)	F-WC				
	(1-34)	廊下3				
	(1-35)	寮母室(RA室)				
(1-36)	1階宿泊室 パス、トイレ					
		2階	宿泊関係(西側)			
(2-1)		221号室	宿泊室1			
(2-2)		222号室				
(2-3)		223号室				
(2-4)		224号室				
(2-5)		218号室	宿泊室3			

建	(2-6)	219号室		
	(2-7)	220号室		
	(2-8)	倉庫(1)		
	(2-9)	ランドリー(1)		
	(2-10)	廊下4		
	(2-11)	EVホール	宿泊関係(東側)	
	(2-12)	廊下5		
	(2-13)	階段		
	(2-14)	225-1号室	個室	
	(2-15)	225-2号室		
	(2-16)	225-3号室		
	(2-17)	225-4号室	宿泊室2	
	(2-18)	225-5号室		
	(2-19)	225-6号室		
	(2-20)	リビング(1)		
	(2-21)	倉庫(2)		
	(2-22)	WC		
	(2-23)	洗面		
	(2-24)	ランドリー(2)		
	(2-25)	脱衣室(1)		
	(2-26)	シャワー(1)		
	(2-27)	廊下6		
	一 般		3階	
		(3-1)	廊下7	宿泊関係
		(3-2)	踏込み	
		(3-3)	324-1号室	個室
		(3-4)	324-2号室	
(3-5)		324-3号室		
(3-6)		324-4号室	宿泊室2	
(3-7)		324-5号室		
(3-8)		324-6号室		
(3-9)		324-7号室		
(3-10)		324-8号室		
(3-11)		324-9号室		
(3-12)		リビング		
(3-13)		WC		
(3-14)		洗面		
(3-15)		シャワー(2)		
(3-16)		脱衣室(2)		
(3-17)		ランドリー(3)		
(3-18)		ランドリー(4)		
(3-19)		倉庫(3)		
(3-20)		EVホール		
(3-21)		廊下8		
(3-22)		階段		
(3-23)		踏込み		
(3-24)		廊下9		
(3-25)		325-1号室	個室	
(3-26)		325-2号室		
(3-27)		325-3号室		
(3-28)		325-4号室	宿泊室2	
(3-29)		325-5号室		
(3-30)		325-6号室		
(3-31)		リビング(がんばんルーム)		
(3-32)		倉庫(4)		
(3-33)		WC		
(3-34)		洗面		
(3-35)		ランドリー(5)		
(3-36)		シャワー(3)		
(3-37)	脱衣室(3)			

建 築		4階	4階トップアスリート 宿泊関係
	(4-1)	EVホール	
	(4-2)	廊下10	
	(4-3)	階段	
	(4-4)	424号室	宿泊室1
	(4-5)	425号室	
	(4-6)	426号室	
	(4-7)	427号室	
	(4-8)	428号室	
	(4-9)	429号室	
	(4-10)	430号室	
	(4-11)	431号室	
	(4-12)	432号室	
	(4-13)	433号室	
	(4-14)	434号室	
	(4-15)	435号室	
	(4-16)	436号室	
	(4-17)	437号室	
	(4-18)	438号室	
	(4-19)	439号室	
	(4-20)	440号室	
	(4-21)	441号室	
	(4-22)	442号室	
	(4-23)	443号室	
	(4-24)	444号室	
	(4-25)	445号室	
	(4-26)	446号室	
	(4-27)	4階宿泊室 バス、トイレ	
	(4-28)	リビング(4)	
	(4-29)	階段	
	(4-30)	マッサージ	
	(4-31)	ランドリー(6)	
	(4-32)	ランドリー(7)	
	(4-33)	リネン	
(4-34)	倉庫(5)		
一 般		5階	5階トップアスリート 宿泊関係
	(5-1)	EVホール	
	(5-2)	廊下11	
	(5-3)	階段	
	(5-4)	520号室	
	(5-5)	521号室	宿泊室1
	(5-6)	522号室	
	(5-7)	523号室	
	(5-8)	524号室	
	(5-9)	525号室	
	(5-10)	526号室	
	(5-11)	527号室	
	(5-12)	528号室	
	(5-13)	529号室	
	(5-14)	530号室	
	(5-15)	531号室	
	(5-16)	532号室	
	(5-17)	533号室	
	(5-18)	534号室	
	(5-19)	535号室	
	(5-20)	536号室	
	(5-21)	537号室	
	(5-22)	538号室	
	(5-23)	539号室	
	(5-24)	540号室	
	(5-25)	541号室	
(5-26)	542号室		

建	(5-27)	543号室		
	(5-28)	544号室		
	(5-29)	545号室		
	(5-30)	546号室		
	(5-31)	547号室		
	(5-32)	548号室		
	(5-33)	5階宿泊室 バス、トイレ		
	(5-34)	リビング(5)		
	(5-35)	マッサージ		
	(5-36)	ランドリー(8)		
	(5-37)	ランドリー(9)		
	(5-38)	リネン		
		6階		6階トップアスリート
	(6-1)	EVホール		宿泊関係
	(6-2)	廊下12		
	(6-3)	階段		
	築	(6-4)	620号室	
(6-5)		621号室	宿泊室1	
(6-6)		622号室		
(6-7)		623号室		
(6-8)		624号室		
(6-9)		625号室		
(6-10)		626号室		
(6-11)		627号室		
(6-12)		628号室		
(6-13)		629号室		
(6-14)		630号室		
(6-15)		631号室		
(6-16)		632号室		
(6-17)		633号室		
(6-18)		634号室		
(6-19)		635号室		
(6-20)		636号室		
(6-21)		637号室		
(6-22)		638号室		
(6-23)		639号室		
一		(6-24)	640号室	
		(6-25)	641号室	
		(6-26)	642号室	
		(6-27)	643号室	
		(6-28)	644号室	
		(6-29)	645号室	
		(6-30)	646号室	
		(6-31)	647号室	
		(6-32)	648号室	
		(6-33)	6階宿泊室 バス、トイレ	
		(6-34)	リビング(6)	
		(6-35)	マッサージ	
	(6-36)	ランドリー(10)		
	(6-37)	ランドリー(11)		
般	(6-38)	リネン		
		7階		7階トップアスリート
	(7-1)	EVホール		宿泊関係
	(7-2)	廊下13		
	(7-3)	階段		
	(7-4)	720号室	宿泊室1	
	(7-5)	721号室		
	(7-6)	722号室		
	(7-7)	723号室		
	(7-8)	724号室		
	(7-9)	725号室		

建	(7-10)	726号室	
	(7-11)	727号室	
	(7-12)	728号室	
	(7-13)	729号室	
	(7-14)	730号室	
	(7-15)	731号室	
	(7-16)	732号室	
	(7-17)	733号室	
	(7-18)	734号室	
	(7-19)	735号室	
	(7-20)	736号室	
	(7-21)	737号室	
	(7-22)	738号室	
	(7-23)	739号室	
	(7-24)	740号室	
	(7-25)	741号室	
	(7-26)	742号室	
	(7-27)	743号室	
	(7-28)	744号室	
	(7-29)	745号室	
	(7-30)	746号室	
	(7-31)	747号室	
	(7-32)	748号室	
	築	(7-33)	7階宿泊室 バス、トイレ
		(7-34)	リビング(7)
		(7-35)	マッサージ
		(7-36)	ランドリー(12)
		(7-37)	ランドリー(13)
		(7-38)	リネン
			地下1階
	(B1-1)	受水槽室	
(B1-2)	倉庫1		
(B1-3)	配線ピット		
	1階		
(1-1)	一般ごみ置場		
(1-2)	生ごみ置場		
(1-3)	倉庫2		
(1-4)	喫煙室		
	2階		
(2-1)	控室		
(2-2)	ロッカー室兼控室		
(2-3)	ロッカー室		
(2-4)	倉庫3		
(2-5)	WC		
(2-6)	前室		
	3階		
(3-1)	倉庫4		
	4階		
(4-1)	電気室		
一			
般			

(仮称)アーチェリー競技実験場保全調書

点検場所		NTC宿泊施設(南館・設備棟)	点検項目	数量
建 築 一 般	1F	外壁	塗装(建具含む)	528㎡
		屋外階段	仕上げ及び構造体	4回
	射場	建具	扉及び枠	41箇所
		ホール・通路	内部天井	ボード類
	男子便所	内部床	ビニルタイル	107㎡
	女子便所			
	物入			
	倉庫			
	2F			
	ミーティングルーム			
	男子更衣室			
	女子更衣室			
	シャワーコーナー			
	通路			
	階段			
1F				
2F	機材倉庫			
	的場			
	機材倉庫			

電動シャッター等設備保守点検

- 1 業務概要** 施設内に設置されている、電動シャッター等設備の整備を行い、非常時に防火区画として、役割を果たせるようにするもの
- 2 特記事項** (1) 保守点検業務は、消防法、同施行令、同法施行規則及び、これに基づく告示等に定めるところにより実施すること。
 (2) 点検要領書を参照のこと。
 (3) 点検は年2回実施し、点検結果報告書2部を作成し提出すること。

点検要領書

種別	点検項目	点検内容
外観	1 点検状況	点検口の有無及び取付位置が適切で開閉に支障がないこと。
	2 降下位置障害	シャッターの降下ラインと障害となる物品との距離が適切であること。
	3 操作障害	押しボタンと手同開閉装置の取り付け位置。
	4 警告表示・操作説明ラベル	正しく添付されているか。
	5 カウンター	実際に開閉してカウントするか確認。
機能	1 開閉器	固定ボルトの緩み、取付部の溶接の剥がれ、モーターの加熱と異常音。その他の変形、損傷及び汚れがないこと。
	2 ブレーキ装置	中間停止ができソレノイドが正常に働くこと。
	3 手同装置	チェーン又はハンドルが開閉器にセットされているか、支障なく操作できるか。操作方法の表示があり判読できること。
	4 スプロケット・ローラーチェーン	スプロケット相互の芯のずれ、変形及び破損の確認。 スピルキイの状態 ローラーチェーンの錆び、磨耗や緩みの状態とジョイントの確認。
	5 巻取りシャフト・ブラケット	シャフトに曲損、片寄り及びブラケットの取り合いに無理がないこと。 固定状態、アンカー、固定ボルトの緩み、変形、損傷が無く円滑に回転すること。
	6 スラット・吊り元	スラットの片寄り,方下がり、変形、損傷がないこと。 端金物の状態 シャフトに確実に固定されているか。
	7 座板	変形、損傷が無いこと。座板ネジは確実に締まっているか。
	8 ケース・まぐさ・押し車	ケース、まぐさに変形損傷がないこと。押し車の磨耗、取付回転状態。
	9 ガイドレール	ガイドレールに変形損傷が無いこと。呑み口の開き状態。

	1 0 制御盤	盤、ボックス、の変形、損傷が無いこと。端子の緩み等制御盤の作動状態の確認。
	1 1 リミットスイッチ	リミットチェーンの張り具合、スプロケットとの芯のずれ。
	1 2 押しボタンスイッチ	蓋、施錠に良否。押し具合、接点及び端子の緩みの確認。
	1 3 手動閉鎖装置	変形、損傷が無いこと。閉鎖確認を実際に行う。表示有無の確認。
	1 4 自動閉鎖装置	変形、損傷が無いこと。連動部分は確実に接続され自動閉鎖ができること。
	1 5 連動制御器・バッテリー	変形、損傷が無いこと。バッテリーの耐用年数と容量の確認。
作動	1 遮煙装置	遮煙材煙返しの破損、硬化、接触状況の確認。
	2 降下状況	電動、手動及び自動閉鎖により円滑に降下すること。異常音の発生が無いこと。
	3 降下速度	3.0～7.0m/min、であること。
	4 巻上状況	電動・手動操作により円滑に巻き上がること。
	5 障害物感知装置	手動確認とバッテリーの容量の確認。タッチアップの確認。

3 設置場所及び設置機器数

(1) J I S S

- | | |
|------------------|-----|
| 1) 電動防火防煙シャッター | 57台 |
| 2) 重量電動シャッター | 3台 |
| 3) 電動・手動サインスライダー | 9台 |

(2) N T C

- | | |
|--|-----|
| 1) 屋内トレーニングセンター
電動防火シャッター | 2台 |
| 2) 宿泊施設
電動防火シャッター | 12台 |
| 3) 宿泊施設増築南館
電動防火シャッター
SS1:W4600×H1840
SS2:W2005×H2990
電源：3φAC200V (50/60HZ)
定格電流：SS1(1.16A) SS2(0.81A)
起動電流：SS1(3.16A) SS2(2.72A)
仕様：防火(防災)火報連動 (共通)
避難時停止装置あり (SS2のみ) | 2台 |
| 4) 陸上トレーニング場
重量電動シャッター | 6台 |

自動ドア設備保守点検機器及び点検内容

1 自動ドア点検機器

(1) 国立スポーツ科学センター		
1)	正面玄関風除室	(両引き) 2台
2)	リハビリテーション室入口	(片引き) 1台
(2) ナショナルトレーニングセンター		
1) 屋内トレーニングセンター		
①	正面玄関風除室	(両引き) 2台
②	4号エレベーター前	(片引き) 1台
③	関係者入口	(片引き) 1台
④	選手入口	(両引き) 1台
⑤	JOC 事務室入口	(両引き) 1台
2) 宿泊施設 (アスリートヴィレッジ) (増築南館)		
①	正面玄関風除室	(両引き) 2台
②	東館浴室入口	(両引き) 1台
③	客室エレベーター前	(二重片引き) 2台
④	食堂入口	(両引き) 1台
⑤	食堂出口	(片引き) 1台
⑥	男女浴室入口	(片引き) 2台
⑦	EV ホール	(片引き) 1台
⑧	廊下 2	(片引き) 1台
⑨	食堂	(片引き) 1台
⑩	待合室	(片引き) 1台

2 保守点検部

- (1) 駆動装置 (ドアエンジン本体)
- (2) 制御装置 (コントロールシャーシー)
- (3) 検出装置 (センサースイッチ等)
- (4) 連結機構 (レール、吊車等)
- (5) 消耗部品等

3 保守点検内容

- (1) ドアエンジン本体及び各部の点検調整
- (2) ドアエンジン開閉速度、クッション作動の異常有無の点検調整
- (3) センサーエリアの確認及び調整
- (4) オイル漏れ、エア漏れの点検調整
- (5) オイル、潤滑油不足の点検補充

- (6) ドアが当たってないか、擦れてないか点検整備
- (7) 消耗度の著しい部品はないか点検
- (8) その他の点検及び調整

品名・形状・数量・備考

品名形状	数量	備考
自動ドア定期点検DS-75型	2台	J I S S 正面玄関
自動ドア定期点検 DS-75 型	1台	J I S S リハビリ
自動ドア定期点検 DS-75・150 型	6台	屋内トレーニングセンター
両引自動ドア定期点検 FA-20	4台	N T C 宿泊施設
両引自動ドア定期点検 FA-20	3台	N T C 宿泊施設
二重片自動引自動ドア定期点検 160KLDM0	2台	N T C 宿泊施設
片自動引自動ドア定期点検	4台	N T C 宿泊施設増築南館

構内電話交換機設備保守対象機器構成内訳等

1. 構内電話交換機本体

OKI-DISCOVERY01 TypeMA	1式
一般局線回路	16回線実装
INS1500局線回路	2回線実装
一般内線回路	320回線実装
一般内線回路 (ホテル仕様)	208回線実装
多機能内線回路	96回線実装
PHS内線回路	112回線実装
LD専用線回路	8回線実装
ページング回路	16回線実装
PBレシーバ回路	8回線実装
音声ガイダンス回路	16回線実装
遠隔保守回路	1回線実装

2. 電源装置

交換機本体に内蔵	1式
----------	----

3. 周辺機器

保守コンソール	1式
課金用コンソール	1式
保守用プリンタ	1台
ホテルコンピュータ接続用モデム	1台

4. 電話機

一般電話機	191台
多機能電話機	84台
PHS電話機	105台
PHSアンテナ	105基

※PHSは全施設 (陸上トレーニング場を含む。) において使用可能な設定になっている。

5. 付帯設備

陸上トレーニング場 電話交換設備

※本設備は1. 本体と専用回線 (2回線) により内線通話が可能である。なお、遠隔監視診断の対象外である。

構内電話交換機 (HITACHI CX9000S)	1式
停電用多機能電話機 (HI-24D-TELPF)	1台
多機能電話機 (HI-24D-TELS D)	1台
一般アナログ電話 (A99-0498JP)	11台
PHSアンテナ	11基

構内電話交換設備保守点検内容及び周期

構内電話交換設備の保守点検内容について以下に示す。点検周期については、以下のとおり（1M）とあるものは1回/月、（6M）とあるものは1回/6月、（1Y）とあるものは1回/年行うものとする。

1. 外観

- (1) 装置及び各部の緩みの有無を点検する。 (1M)
- (2) 装置架及び各部の汚損、損傷、腐食等の有無を点検する。 (1M)
- (3) 固定金具の劣化、固定ボルト等の緩みの有無を点検する。 (1M)
- (4) エアフィルタの汚れ、目詰まり等の有無を点検する。 (1M)
- (5) 各部品、プリント基板、配線等の汚損、損害、過熱、変色等の有無を点検する。 (6M)

2. 機能

- (1) 中央処理系
 - ア. ファン、センサ動作及び回転状況が正常であることを確認する。 (1M)
 - イ. 障害表示試験は、システムの稼動に影響しない範囲の擬似障害を発生させ、警報表示及び障害情報を確認する。 (6M)
 - ウ. 内線データ/内線サービスクラスの出力整備及び時計機能を確認する (1M)
- (2) 通話路系（装置が接続されているもの） (6M)
 - ア. 内線電話機は試験内線より発信接続を行い、誤接続の有無及び通話品質を確認する。また、試験内線への着信接続を行い、着信音、鳴動及び応答を確認する。 (1M)
 - イ. 局線トランク試験は、次により行う。
 - (ア) 局線（専用線含む）の発信接続を行い、誤接続の有無及び通話品質を確認する。 (1M)
 - (イ) 局線（専用線含む）の着信接続を行い、応答を確認する。 (1M)
 - ウ. ページングトランクの捕捉、呼出音声の状態を確認する。 (1M)
 - エ. 各種音声ガイダンスの通話品質を確認する。 (1M)

3. 電源装置

- (1) 交換機架内電圧電源を確認する。 (1M)
- (2) 整流器出力電圧を確認する。 (1M)
- (3) 蓄電池の損傷、漏液、汚損等の有無、バッテリーの電圧を点検する。 (1M)

4. 入出力装置

- (1) 保守コンソールにより下記の確認を行う。
 - ア. 障害情報を出力確認する。 (1M)
 - イ. キーボードの汚れ及びランプの点灯状態、ディスプレイの汚れ及び状態表示を確認する。 (1M)
- (2) 課金コンソールの動作確認を行う。 (1M)

5. その他

- (1) MDF等の各端子の状態を点検する。 (6M)
- (2) 交換機室の温度、湿度等が規定の範囲内であることを確認する。 (1Y)
- (3) 構内電話交換設備の原簿を更新する。 (1Y)

業務用冷蔵庫及び製氷機構成内訳

No.	品目内訳	メーカー	型番	数量	単位	設置場所
1	チップアイスディ スペンサー	ホシザキ	DCM-60F	1	台	JISS7F レストラン
2	給茶機	ホシザキ	AT-250HA	1	台	JISS7F レストラン
3	業務用冷凍冷蔵庫	ホシザキ	HRF-150SFT3	1	台	JISS7F 厨房
4	業務用冷凍庫	ホシザキ	HF-180S3	1	台	JISS7F 厨房
5	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-150S-ML	1	台	JISS7F 厨房
6	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-150S-ML	1	台	JISS7F 厨房
7	製氷機	ホシザキ	IM-95TL-1	1	台	JISS7F 厨房
8	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-150ST-6D	1	台	JISS7F 厨房
9	業務用冷蔵庫	SANYO	SRR-EVP1281	1	台	JISS7F 厨房
10	業務用冷蔵庫	SANYO	SRR-EVP1281	1	台	JISS7F 厨房
11	業務用電子レンジ	ホシザキ	HMN-18A	1	台	JISS7F 厨房
12	製氷機	ホシザキ	IM-95L-1	1	台	JISS7F 厨房
13	自動氷販売機	ホシザキ	DIM-50C	1	台	JISS6F 南
14	自動氷販売機	ホシザキ	DIM-50C	1	台	JISS6F 北
15	自動氷販売機	ホシザキ	DIM-50C	1	台	JISS5F 南
16	自動氷販売機	ホシザキ	DIM-50C	1	台	JISS5F 北
17	フレークアイスマ シン	ホシザキ	FM-510AE-G-1	1	台	JISS4F トレ体
18	フレークアイスマ シン	ホシザキ	FM-510AE-G-1	1	台	JISS3F 研究体育館
19	フレークアイスマ シン	ホシザキ	FM-510AE-G-1	1	台	JISS2F 更衣室付近
20	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-63ST3	1	台	JISS2F 喫茶
21	業務用冷凍庫	ホシザキ	HF-90ST3	1	台	JISS2F 喫茶
22	製氷機	SANYO	STM-S67	1	台	JISS2F 喫茶
23	業務用冷蔵庫	SANYO	SUC-EV1261S	1	台	JISS2F 喫茶
24	フレークアイスマ シン	ホシザキ	FM-510AE-G-1	1	台	JISS1F 陸上競技練習 場
25	フレークアイスマ	ホシザキ	FM-120F-50	1	台	JISS1F リハ室

	シン					
26	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-550AF	1	台	NTC 陸上トレーニング場 1F
27	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-120F-50	1	台	NTC 陸上トレーニング場 1F
28	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-120F-50	1	台	NTC 陸上トレーニング場 1F
29	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-120CX-4D4D	3	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
30	業務用冷蔵庫	ホシザキ	HR-150CX-4D4D	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
31	業務用冷凍庫	ホシザキ	HF-90XT3	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
32	業務用冷凍庫	ホシザキ	HF-75X	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
33	業務用冷凍冷蔵庫	ホシザキ	HRF-120X	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
34	テーブル形冷蔵庫	ホシザキ	RT-150SDE	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
35	テーブル形冷凍冷蔵庫	ホシザキ	RFT-120SDE	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
36	プレハブ冷蔵庫	ホシザキ	HUS-15RA-UC	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
37	プレハブ冷蔵庫	ホシザキ	HUS-22FA-UC	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
38	チップアイスメーカー	ホシザキ	CM-100F	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
39	製氷機	ホシザキ	IM-230AL-1	1	台	NTC 宿泊施設 1F 食堂
40	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-120F-50	9	台	NTC 宿泊施設各階ランドリー
41	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-550AF	7	台	NTC 屋内トレーニングセンター各階ラウンジ
42	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-550AF	1	台	屋内テニスコート器具庫
43	フレークアイスマシン	ホシザキ	FM-120F-50	9	台	NTC 宿泊施設南館
			合計	33	台	

自家用非常用発電機設備等保守点検

1 業務概要

J I S S 及び N T C 宿泊施設内に設置されている自家用非常用発電機設備の機能が正常に維持

され、緊急時に対応できるように消防法第17条の3の3の規定に基づく試験点検を行うものである。

2 場 所

- (1) J I S S (地下1階：発電機室)
- (2) 戸田艇庫・合宿室 (1階： 発電機室)
- (3) 屋内トレーニングセンター (地下1階： 発電機室)
- (4) 宿泊施設 (地下1階： 発電機室)

3 対象設備

- (1) J I S S : 非常用ガスタービン発電機設備 (C N T - 7 5 0 E R)
 - 1) 交流発電機 (株) 明電舎
 - 2) ガスタービン機関及び補機類 (株) 新潟鐵鋼所
 - 3) 配電盤 (発電機盤・自動始動盤) (株) 明電舎
 - 4) 配電盤 (始動用蓄電池盤) 日本電池 (株)
- (2) 戸田艇庫 : 非常用ディーゼル発電機設備 (P G - 2 0 X - R S)
 - 1) 交流発電機 (株) 三菱電機
 - 2) ディーゼル機関及び補機類 (株) 三菱電機
 - 3) 配電盤 (発電機盤・自動始動盤) (株) 三菱電機・(株) 山形電機製作所
 - 4) 配電盤 (始動用蓄電池盤) (株) 三菱電機
- (3) 屋内トレーニングセンター : 非常用ディーゼル発電機設備 (R a d × A Y 2 0 L - E T × 6 2 5 k V A)
 - 1) 交流発電機 (株) 明電舎
 - 2) ディーゼル機関及び補機類 ヤンマー (株)
 - 3) 配電盤 (発電機盤・自動始動盤) (株) 明電舎
 - 4) 配電盤 (始動用直流電池盤) ユアサM&B (株)
- (4) 宿泊施設 : 非常用ディーゼル発電機設備 (R a d × A Y 2 0 L - E T × 6 2 5 k V A)
 - 1) 交流発電機 (株) 明電舎
 - 2) ディーゼル機関及び補機類 ヤンマー (株)
 - 3) 配電盤 (発電機盤・自動始動盤) (株) 明電舎
 - 4) 配電盤 (始動用直流電池盤) ユアサM&B (株)

4 特記事項

- (1) 電気設備は、電気事業法による自家用電気工作物の維持及び運用についての保安規定、電気通信事業法、及び労働安全衛生規則等を遵守して、適正にその点検及び保守を行うものとする。
- (2) 電気設備の点検及び保守は、原則として停電して安全な状態で作業を行うものとし、やむを

- 得ず活線状態で作業するときは、絶縁用防具、保護具等を用いて行うものとする。
- (3) 停電予告等の関係方面への連絡は、十分余裕をもって行い、復旧後は完全に元の状態になっていることを確認するものとする。

5 点検及び保守

- (1) 点検及び保守内容は、「建築保全業務共通仕様書（平成20年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」（以下、「共仕」という。）及び「消防用設備等の点検要領の全部改正について」（平成14年6月11日付け消防予第172号。以下「通達」という。）によるものとし、その点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は下表（表-1）によるものとする。なお、修理等の措置の項は本業務に含まないものとする。
- (2) ダミー実負荷試験車の置き場所は、監督職員と協議して指示に従うこと。
- (3) 発電機試験点検終了は、監督職員の検査合格の時とし、終了後は速やかに下記書類を提出すること。

ア	試験点検結果成績表	—————	2部
イ	業務写真（ウ含む。）	—————	1部
ウ	発生材の処分	—————	1部
エ	「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件（昭和50年消防庁告示第14号、「消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成16年消防庁告示第9号）」の定める結果報告書（総括表及び点検者一覧表を含む。）及び点検票		
		—————	各3部

表-1 点検及び保守

点検設備	点検及び保守内容	点検周期
自家発電設備	「共仕」第2編第3章第4節及び第5節並びに同第6章第2節に記載されているものの該当事項及び「通達」別添「消防用設備等の点検要領」第24及び第25に定める事項	「共仕」の規定による。

- 注(1) 6月1回の点検及び保守は、始動性能の確認、外観点検及び各構成機器等の機能点検を行うものとする。
- 始動性能の確認においては、常用電源が停電してから所定の時間内に発電電圧が確立することを確認し、5分程度の無負荷運転を行い運転状態の良否及び故障の有無を確認するものとする。
- (2) 年1回の点検及び保守は、自家発電設備全体の機能及び性能を確認する

ものとする。

なお、原動機は無負荷運転によるカーボンの付着、オイルアップ等の除去するために

定負荷運転を行い、その間の運転状態の良否及び故障の有無を確認するものとする。

なお、負荷試験は、既存設備（既存設備を使用出来ない場合は、別途協議する）を用

いて行うものとする。

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
4) JISS棟			
液晶モニター		36	台
デジタルディスクレコーダー		6	台
4画面分割ユニット		22	台
システムコントローラー		3	台
マトリクススイッチャー		1	台
カメラ駆動ユニット		8	台
アラーム制御部・電源部		3	台
運用支援PC		4	台
スイッチングHUB		1	台
無停電電源装置(UPS)		4	台
電源制御ユニット		11	台
メディアコンバーター		2	台
屋内固定カメラ		63	台
屋内コンビネーションカメラ		12	台
屋外コンビネーションカメラ		12	台
小 計			

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
2) ナショナルトレーニングセンター 屋内トレーニング			
① 中央監視室 ITV架			
カラー4画面分割ユニット		21	台
カメラ駆動ユニット		4	台
デジタルディスクレコーダー		5	台
キャラクタージェネレーション		1	台
システムコントローラー		2	台
マトリクススイッチャー		1	台
ケーブル補償器		2	台
映像分配器		3	台
② 17型液晶モニター		13	台
③ システムコントローラー		2	台
④ ドーム型カラーカメラ		28	台
⑤⑥ 屋内コンビネーションカメラ		24	台
⑦⑧⑨ 屋外コンビネーションカメラ		7	台
⑩ 13型液晶モニター		1	台
小 計			

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
1)ナショナルトレーニングセンター 宿泊施設			
①警備室内 ITV架			
カラー4画面分割ユニット		14	台
ケーブル補償器		2	台
カメラ駆動ユニット		7	台
デジタルディスクレコーダー		4	台
キャラクタージェネレーション		1	台
システムコントローラー		1	台
マトリクススイッチャー		1	台
②17型液晶モニター		7	台
③システムコントローラー		1	台
④ドーム型カラーカメラ		44	台
⑤防滴カラーカメラ		3	台
⑥屋外コンビネーションカラーカメラ		5	台
⑦13型液晶モニター	(1F受付カウンター)	1	台
⑧17型液晶モニター	(JISS設置)	4	台
システムコントローラー	(JISS設置)	3	台
ケーブル補償器	(JISS設置)	4	台
小 計			

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
1) ナショナルトレーニングセンター 宿泊施設			
① 宿泊施設(南館)ITV架			
カラー4画面分割ユニット		9	台
ケーブル補償器			台
デジタルディスクレコーダー		2	台
カメラ駆動ユニット		4	台
電源駆動ユニット		1	台
システムコントローラー			台
マトリクススイッチャー			台
② 17型液晶モニター	事務室内	1	台
システムコントローラー	事務室内	1	台
③ ドーム型カラーカメラ	標準18、広角11	29	台
④ 電動カラーカメラ	屋外用・ポール取付	1	台
⑤ 屋外ハウジング付カメラ	設備棟	1	台
⑥ 17型液晶モニター	(1F 寮母室)	1	台
ケーブル補償器	(JISS設置)	1	台
小	計		

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
4) 戸田艇庫			
20型液晶モニター	(JISS内1台設置)	2	台
9局デジタルレコーダー		1	台
ノートパソコン	(JISS設置)	1	台
マルチスイッチャー	(JISS設置)	1	台
リモートインターフェイスユニット		1	台
インターフェイスユニット		1	台
ネットワークビデオトランスミッター		6	台
ネットワークビデオレシーバー	(JISS設置)	6	台
リモートコントローラー		1	台
カメラドライブユニット		1	台
スイッチングHUB	(JISS内1台設置)	2	台
24Vアダプター		3	台
主電源パネル	(JISS内1台設置)	2	台
屋内固定カメラ		1	台
屋内コンビネーションカメラ		1	台
屋外固定カメラ		2	台
屋外コンビネーションカメラ		2	台
小 計			

内訳明細表 (ITV設備)

仕様	規格	数量	単位
5)陸上競技場			
20型液晶モニター	(JISS内1台設置)	2	台
デジタルレコーダー(16局用)		1	台
マルチスイッチャー	(JISS設置)	1	台
システムコントローラー		1	台
リモートコントローラー	(JISS内1台設置)	2	台
24Vアダプター	(JISS内11台設置)	22	台
ネットワークビデオトランスミッター	(JISS設置)	11	台
ネットワークビデオレシーバー		11	台
パソコン	(JISS設置)	1	台
スイッチングHUB		2	台
電源制御部	(JISS設置)	1	台
パワーディストリビューター		1	台
接続端子盤		1	台
IPインターカム交換機		1	台
IPインターカム子機	(JISS設置)	1	台
屋内コンビネーションカメラ		6	台
屋外コンビネーションカメラ		4	台
小 計			

総合ビル管理システム点検項目

No	機器名	項目	点検内容
1	メインコントロールユニット (CPU/CRT)	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
		コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
		電源灯点検	ランプ切れのないこと
		ファン点検	正常に回転すること
		表示部点検	輝度が適切なこと 文字表示が正常なこと 色むらのないこと 極端な色ズレのないこと 画面のちらつき、ゆがみ等のないこと
		FDD 点検	ランプ切れのないこと 異常音のないこと 動作が正常なこと
		HDD 点検	ランプ切れがないこと 異常音がないこと 運用にてエラーのないこと
		CD-ROMドライブ点検	ランプ切れのないこと 異常音がないこと 動作が正常なこと
		キーボード点検	ランプ切れのないこと キーボード打鍵にて正常表示すること ファンクションキー動作が正常なこと
		マウス点検	マウス動作が正常なこと
		I/F 部点検	TP にてエラーのないこと RS-M との通信にてエラーのないこと
論理部点検	メモリのライト/リードチェックが正常なこと 時刻が正常なこと スピーカー出力が正常なこと		

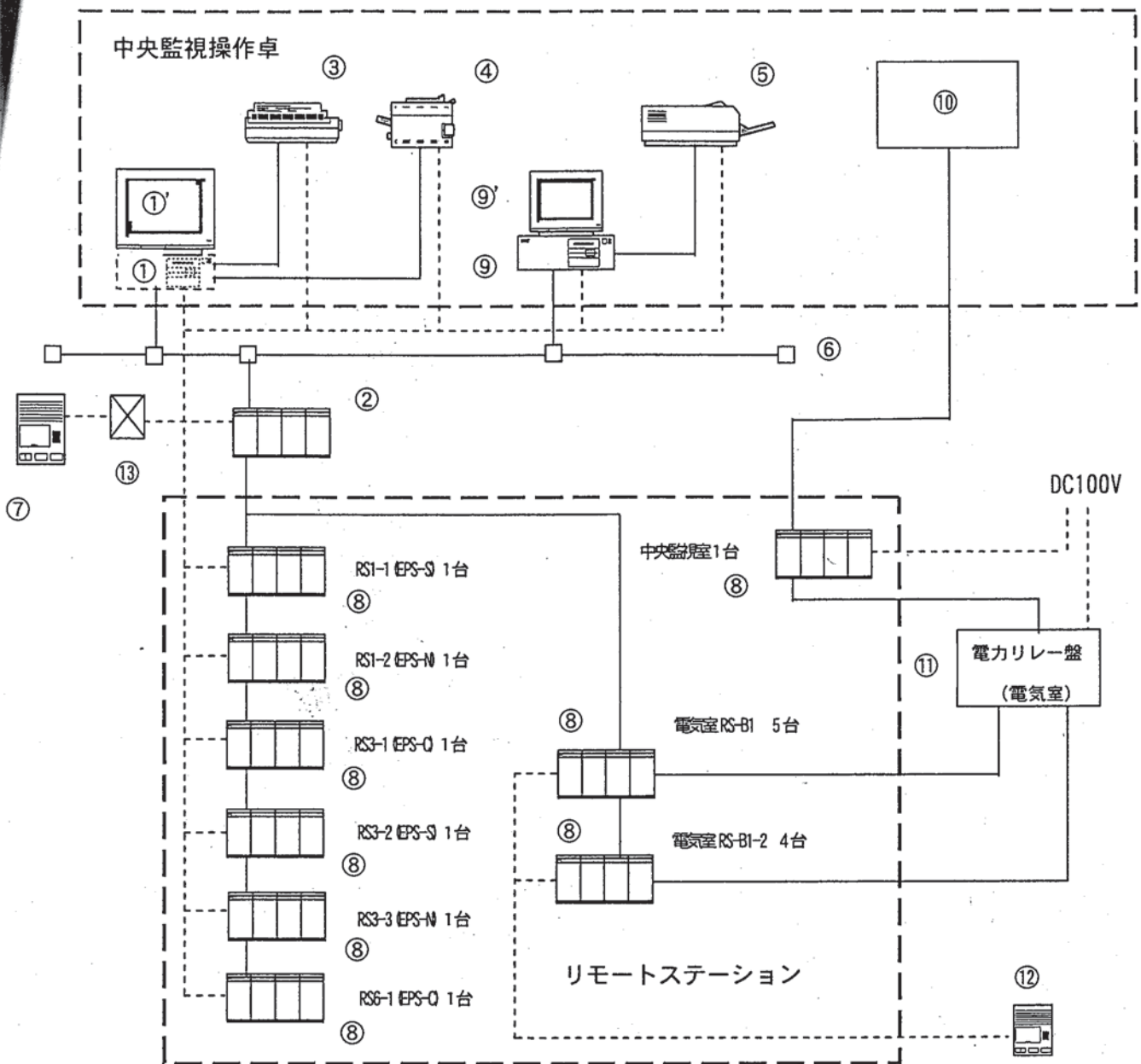
2 中央監視操作卓	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子・コネクタ点検 (HUB)	接触不良、ゆるみのないこと
	ランプ点検 (HUB)	ランプ切れのないこと
	総合動作確認 (HUB)	通常運用にて問題のないこと
	総合動作点検	CRT 表示、APE 印字で正常なこと
3 リモートステーションマスター (RS-M)	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ユニット基盤・コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	自己診断点検	動作状況表示 LED が正常状態であること
	上位通信点検	通信状態表示 LED が正常状態であること
	下位通信点検	通信状態表示 LED が正常状態であること
	警報出力動作点検	各種警報出力動作が正常なこと
	総合動作点検	CPU ユニット LED 及びセンターメッセージで正常であること
4 アラームプリンタ (AEP)	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	ホームポジションセンサ清掃	ホコリ、紙屑などの除去
	印字ヘッド清掃	紙屑、インク、リボン屑等の除去
	コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	リボン張力点検	折れや極端なたるみのないこと
	リボンガイド点検	変形のないこと
	リボン切替え点検	混色、かすれのないこと
	ペーパーエンド検出点検	用紙断で確実に検出すること
	紙送り動作点検	紙送りが正常なこと

	印字動作点検	全文字ドッド欠け、むらのないこと
	テスト印字動作点検	テスト印字にて異常のないこと
	総合動作点検	運用に異常のないこと
5 ロギングプリンタ (LEP)	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	ペーパーエンド検出点検	用紙断で確実に検出すること
	紙送り動作点検	紙送りが正常なこと
	印字動作点検	全文字ドッド欠け、むらのないこと
	テスト印字動作点検	テスト印字にて異常のないこと
	総合動作点検	運用に異常のないこと
6 カラーハードコピープリンター (CHC)	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	ペーパーエンド検出点検	用紙断で確実に検出すること
	紙送り動作点検	紙送りが正常なこと
	印字動作点検	全文字ドッド欠け、むらのないこと
	テスト印字動作点検	テスト印字にて異常のないこと
	総合動作点検	運用にて異常のないこと
7 無停電電源装置 (UPS)	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ユニット・基盤・コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	冷却ファン点検	異常音なく正常に回転すること
	バッテリー点検	バッテリーの容量が充分あること

	総合動作点検	AC断にてバッテリー運転に切り替わること
	スイッチ位置点検	通常運用位置にあること
8 リモートステーション (RS)	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ユニット・基盤・コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	自己診断点検	動作状況表示LEDが正常状態であること
	上位通信点検	通信状態表示LEDが正常状態であること
	監視/警報入力動作点検	端子盤から疑似入力し保守端末でリードが正常であること
	計測入力動作点検	端子盤から疑似入力し保守端末でリードが正常であること
	積算入力動作点検	端子盤から疑似入力し保守端末でリードが正常であること
	制御出力動作点検	保守端末から疑似出力し端子盤で出力が正常であること
	計測出力動作点検	保守端末から疑似出力し端子盤で出力が正常であること
	抵抗出力動作点検	運用にて正常なこと
	総合動作点検	CPU ユニット LED 及びセンターメッセージで正常であること
9 BMS	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	電源灯点検	ランプ切れのないこと
	ファン点検	正常に回転すること
	表示部点検	輝度が適切なこと 文字表示が正常なこと 色むらのないこと 極端な色ズレのないこと 画面ちらつき、ゆがみ等のないこと

	FDD点検	ランプ切れのないこと 異常音のないこと 動作が正常なこと
9 BMS	HDD点検	ランプ切れのないこと 異常音のないこと 運用にてエラーがないこと
	CD-ROM点検	ランプ切れのないこと 異常音のないこと 動作が正常なこと
	MO点検	ランプ切れのないこと 異常音のないこと 動作が正常なこと
	キーボード点検	ランプ切れのないこと キーボード打鍵にて正常表示すること ファンクションキー動作が正常なこと
	マウス点検	マウス動作が正常あること
	I/F部点検	TPにてエラーのないこと RS-Mとの通信にてエラーのないこと
	論理部点検	メモリのライト/リードチェックが正常なこと 時刻が正常なこと スピーカー出力が正常なこと
10 グラフィックパネル (GP)	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ユニット・基盤・コネクタ点検	接触不良、ゆるみのないこと
	スイッチ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	ランプ点検	ランプ切れのないこと
	自己診断点検	動作状況表示LEDが正常状態であること
	監視/警報入力動作点検	端子盤から疑似入力し保守端末でリードが正常であること
	計測入力動作点検	端子盤から疑似入力し保守端末

		未でリードが正常であること
	制御出力動作点検	保守端末より疑似出力し端子板で出力が正常であること
	総合動作点検	CPU ユニット LED 及びセンターメッセージで正常であること
11 電力リレー盤 (RY)	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ブレーカ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	総合動作点検	通常運用にて問題のないこと
12 UPS用分電盤回路 UPSB	電源電圧の測定	デジタルテスターにて測定
	各部清掃	ホコリ、汚れの除去
	端子点検	ねじのゆるみのないこと
	ブレーカ点検	接触不良、ゆるみ、ガタのないこと
	総合動作点検	通常運用にて問題のないこと



- ①メインコントロールユニット (CPU)
- ①' カラーCRT
- ②リモートステーションマスタ (RS-M)
- ③アラームプリンタ (AEP)
- ④ロギングプリンタ (LEP)
- ⑤カラーハードコピープリンタ (CHC)
- ⑥ネットワーク (Ether-NET)
- ⑦無停電電源装置 (3 KVA) (UPS)
- ⑧リモートステーション (SRS)
- ⑨BMS (BMS)
- ⑨' カラーCRT
- ⑩グラフィックパネル (GP)
- ⑪電力リレー盤 (RY)
- ⑫無停電電源装置 (500VA) (UPS)
- ⑬UPS用分電盤回路

2.2 システム構成機器仕様

No	装置記号	装置名称	装置機能概要	装置仕様概要	備考
1	CPU/ CRT	メイン コントロール ユニット	各種ビル設備の状況表示および条件設定などのオペレータとの会話を行い、システムの統合管理(システムサーバー)と、マンマシンインターフェース管理の全てを行います。	表示ビューアー:21インチ 解像度:1280×1024ドット以上 今回使用解像度:1024×768ドット 表示色:65000色以上 処理部:32ビット 動作クロック:500MHz 主メモリ:96MB 電源:AC100V±10V,55W 補助記憶装置: ハードディスク8GB以上 フロッピーディスク1MB×1台 汎用キーボード、マウス	if Station BD
2	RS-M	リモート ステーション マスター	水平分散された自系統のシステム管理及び本RS-M管理下の情報をCPUへ転送を行います。	処理部:16ビット 数値演算プロセッサ:32ビット RS通信速度:250Kbps×1回線 イーサネット通信速度:10Mbps (IEEE802.3準拠) 電源:AC100V±10V,50VA	別仕様書 4YY6033- 2360A001
3	AEP	アラーム プリンタ (雑印字装置)	警報プリンタとしてタイムリーに発生する各種ビル設備の状況変化や操作記録を印字したり、また蓄積された情報を任意印字します。	印字方式:ドットマトリクス方式 文字種類:ANK+漢字 印字速度:250字(ANK)/秒 111字(漢字)/秒 印字用紙:連続紙4.0~16インチ 印字色:4色以上 重量:12.3Kg インターフェース: セントロニクス準拠 電源:AC100V±10V,0.25KVA	スター精密(株) JS-2002CL
4	LEP	ロギングプリンタ (作表用印字装置)	作表プリンタとして計測データを日報/月報等の形状で記録します。	印字方式:半導体電子ビーム走査 電子写真方式 文字種類:ANK+漢字 印字速度:12.4枚/分(A4) 印字用紙:A4,A3カット紙 解像度:400DPI以上 インターフェース: セントロニクス準拠 重量:20.5Kg 電源:AC100V±10V,0.78KVA	セイコー エプソン(株) LP-8300F

沖電気工業株式会社

図番:
4YY6033-2359A001

12
/ 49

No	装置記号	装置名称	装置機能概要	装置仕様概要	備考
5	CHC	カラーハードコピープリンタ	画面上に表示された情報をイメージ通りに印刷します。	印字方式:ノンインパクト溶融型 熱転写方式 印字速度:約45秒(A4サイズ) 印字色:最大256色以上 インターフェース:アナログビデオ信号入力 電源:AC100±10V 280W	神鋼電機(株) CHC-543V2
6	Ether-NET	ネットワーク	分散型システム構成とする為の各伝送路機能ノード間のコミュニケーションを提供します。	伝送速度:10Mbps 通信仕様:イーサネット (IEEE802.3準拠)	
7	UPS	無停電電源装置	センター装置とリモートステーションの停電対策用の無停電電源装置です。	3KVA 入力電圧:AC100V 出力電圧:AC100V	サンケン電気(株) SAU302
8	RS	リモートステーション	各種ビル設備と直接接続され、設備の監視、制御(スケジューリング、間欠運転等)を行います。	ユニット構成:各種ボード 最大7枚/台 設置方式:自立型 RS-Mインターフェース: 250KBPS/回線 RS接続台数:16RS/回線 電源:UPS電源 AC100V,50VA	別仕様書 4YY6033- 2360A001
9	BMS	BMS	メインコントロールユニットの情報を、LAN経由で受信し、履歴管理、エネルギー管理、保全支援等の建物運用管理の支援を行います。	表示ビューアー:17インチ 解像度:1024×768ドット 表示色:65000色以上 処理部:32ビット 動作クロック:500MHz 主メモリ:64MB以上 LANインターフェース:イーサネット 通信速度10Mbps (IEEE802.3準拠) 電源:AC100V±10V,55W	If Station BD
10	GP	グラフィックパネル	受変電設備の状態を直接表示ランプにて点灯し監視を行います。	表示:発光ダイオード 投入、運転:赤 遮断、停止:緑 警報、故障:橙フリッカー パネル:15mm×15mm モザイククイル式 電源:DC100V	別仕様書 4YY6033- 2359A002
11	RY	電力リレー盤	受変電設備の状態を増幅し、GPとRSに出力します。	リレー数:180ヶ 電源:DC100V	別仕様書 4YY6033- 2360A001
12	UPSB	UPS用分電回路	UPSからの電源を各装置に分配します。	RS-M内に組込	別仕様書 4YY6033- 2360A001

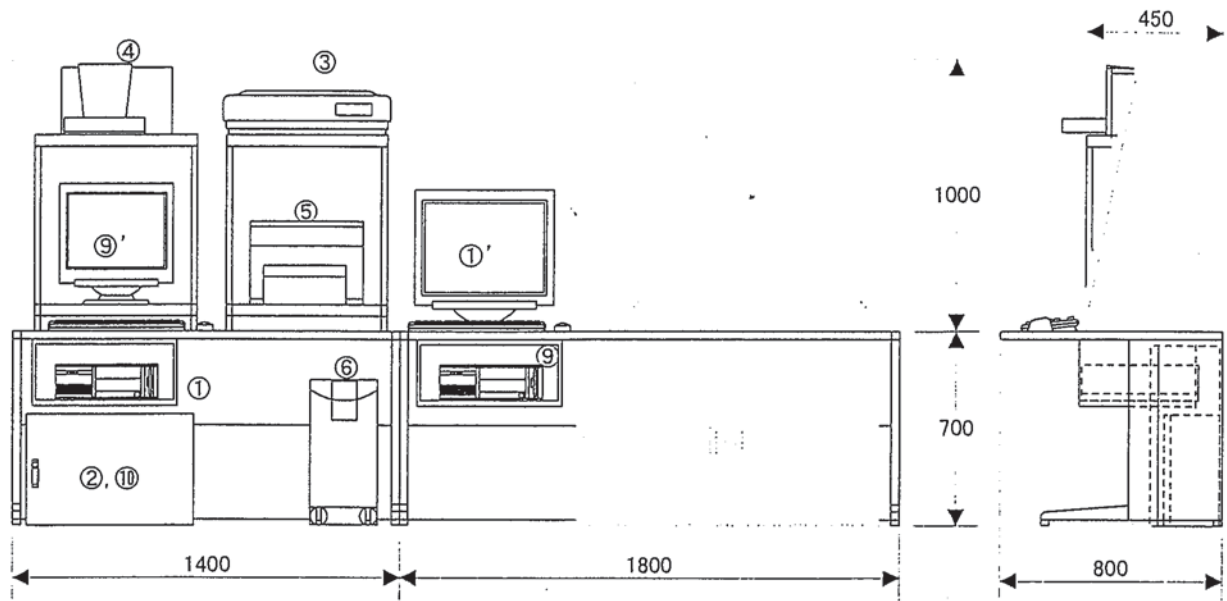
沖電気工業株式会社

図番:

4YY6033-2359A001

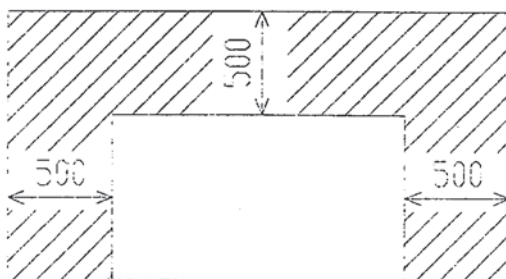
13 / 49

2.3 中央監視盤姿図



- ①メインコントロールユニット (CPU)
- ①'カラーCRT
- ②リモートステーションマスタ (RS-M) 塗装色 マンセル N7.25 半ツヤ
- ③アラームプリンタ (AEP)
- ④ロギングプリンタ (LEP)
- ⑤カラーハードコピー (CHC)
- ⑥無停電電源装置 (UPS)
- ⑨BMS (BMS)
- ⑨'カラーCRT
- ⑩UPS用分電回路 (RS-M内に組込)

メンテナンススペース



正面

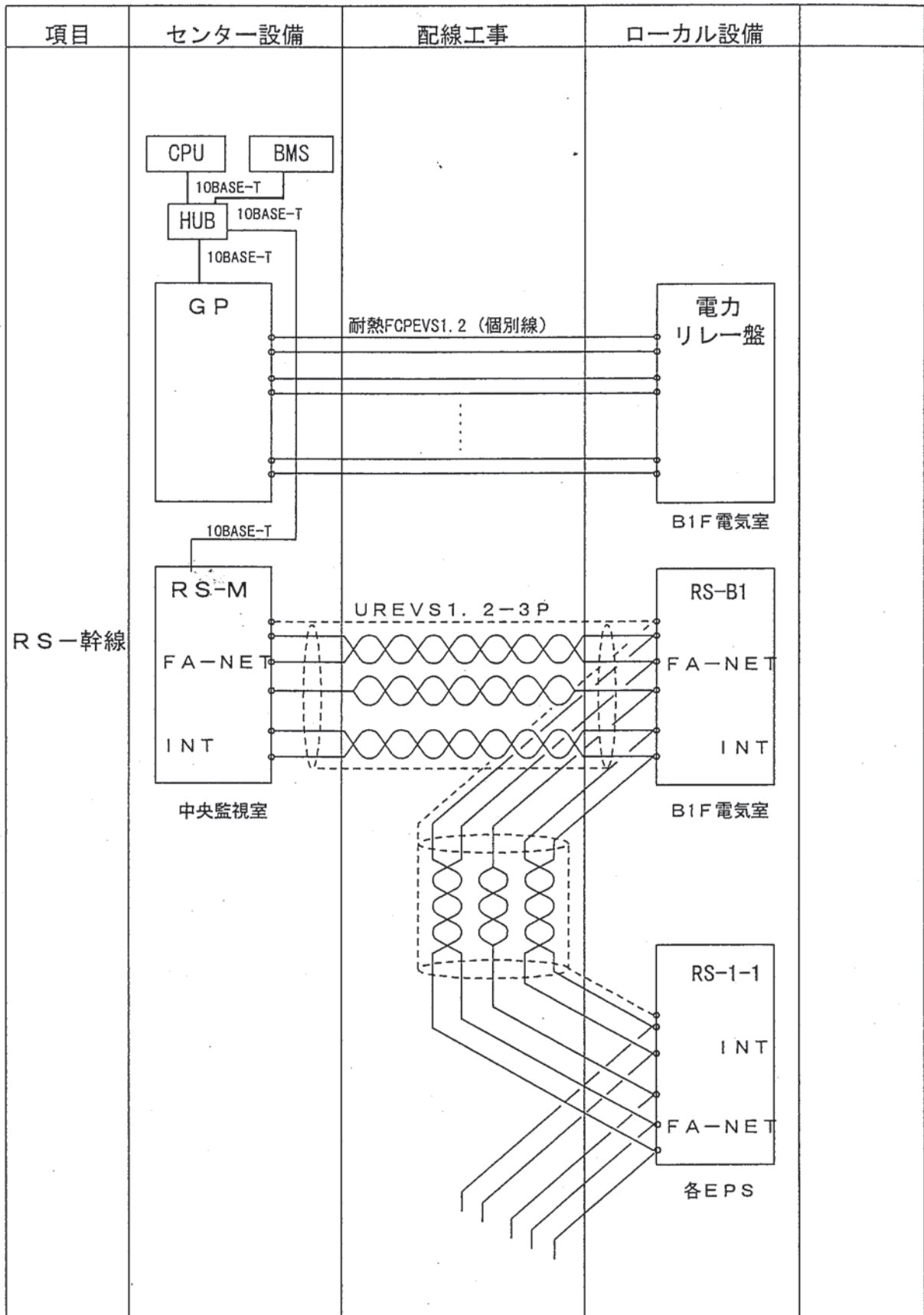
沖電気工業株式会社

図番：
4YY6033-2359A001

14
/ 49

3. インターフェース

3.1 幹線インターフェース



保安管理業務の細目及び基準

月次点検及び年次点検

No-1

電気工作物	点検方法	月次(隔月) 点検	年次点検		
			A	B	
受 電 設 備	責任分界となる区分開閉器 引込線等 〔架空電線・支持物・ケーブル〕	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○*1	○
		区分開閉器動作試験		○*1	○
		保護継電器動作試験		○*1	○
		保護継電器動作特性試験			○
	断路器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○*1	○
	遮断器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	開閉器	動作試験		○	○
		内部点検			○
		絶縁油の点検・試験			○*4
	電力ヒューズ	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	計器用変成器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	変圧器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
		内部点検			○
		絶縁油の点検・試験			○*4
電力用コンデンサ	外観点検	○	○	○	
	絶縁抵抗測定		○	○	
避雷器	外観点検	○	○	○	
	絶縁抵抗測定		○	○	
母線	外観点検	○	○	○	
	絶縁抵抗測定		○	○	
その他(高圧機器)	外観点検	○	○	○	
	絶縁抵抗測定		○	○	
配電盤 制御回路	外観点検	○	○	○	
	絶縁抵抗測定		○	○	
	保護継電器動作試験		○	○	
	保護継電器動作特性試験			○	
	計器校正試験			○	
受電設備の建物・室 キュービクルの金属箱	外観点検	○	○	○	
	接地装置	○	○	○	
接地装置	外観点検	○	○	○	
	接地抵抗測定		○*2	○	
配電設備	架空電線・支持物・ケーブル	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	断路器・遮断機 開閉器・変圧器	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	計器用変成器			○	
	電力用コンデンサ			○*4	
	その他(高圧機器)				
	接地装置	外観点検	○	○	○
接地抵抗測定			○*2	○	

電 気 工 作 物		点 検 方 法	月次(隔月) 点 検	年次点検	
				A	B
非 常 用 発 電 装 置	原動機 付属装置	外観点検	○	○	○
		始動試験	○*3	○*3	○*3
		機関保護継電器動作試験		○	○
	発電機 励磁装置 接地装置	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
		接地抵抗測定		○*2	○
	遮断器 開閉器 配電盤 制御装置等	外観点検	○	○	○
		保護継電器動作試験		○	○
		保護継電器動作特性試験			○
		制御装置試験		○	○
その他は受電設備に準ずる					
蓄 電 池 設 備	本 体	外観点検	○	○	○
		液量点検	○	○	○
		電圧・比重測定		○	○
		液温測定		○	○
	充電装置 付属装置 接地装置	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
		接地抵抗測定		○*2	○
電 気 使 用 場 所 の 設 備	電動機類・電熱装置	外観点検	○	○	○
		絶縁抵抗測定		○	○
	電気溶接機 照明装置	接地抵抗測定		○*2	○
		配線・配線器具		常時	
	その他の機器				
	接地装置				

- (注) (1)「外観点検」とは、主として目視により点検することをいう。
 (2) * 1を付した項目は、停電範囲により実施しないことがある。
 (3) * 2を付した項目は、過去の実績によりその一部又は全部を省略することがある。
 (4) * 3を付した項目は、受注者が実施するほか、受注者の指導を受けて発注者が必要に応じて実施するものとする。
 (5) * 4を付した項目は、PCB混入の恐れがある場合は試験を省略することがある。
 (6)「絶縁監視」とは、変圧器のB種設置工事の接地扇似絶縁監視装置を取付、低圧電路、の絶縁状態を監視することをいう。
 (7)変圧器の2次側以降の低圧電路(電気使用場所の設備を含む)と大地間との絶縁測定は、絶縁監視装置の監視記録により換えることがある。

空調設備一覧

304 台

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
	型式	規格	数量	
空調機				新晃工業(株)
ユニット型	PH-11	ユニット型空気調和機 風量 9,700/9,700m ³ /h 電動機出力 5.5/3.7kW	1	
	PH-32	ユニット型空気調和機 風量 26,100/26,100m ³ /h 電動機出力 22/22kW	1	
	PH-25	ユニット型空気調和機 風量 21,600/21,600m ³ /h 電動機出力 15/11kW	2	
	PH-9	ユニット型空気調和機 風量 7,750/7,750m ³ /h 電動機出力 3.7/3.7kW	2	
	PH-40	ユニット型空気調和機 風量 30,800/30,800m ³ /h 電動機出力 15/15kW	1	
	PH-32	ユニット型空気調和機 風量 26,600/26,600m ³ /h 電動機出力 15/11kW	2	
	PH-45	ユニット型空気調和機 風量 38,300/38,300m ³ /h 電動機出力 22/22kW	2	
	PH-21	ユニット型空気調和機 風量 18,200/18,200m ³ /h 電動機出力 11/7.5kW	2	
	PH-20	ユニット型空気調和機 風量 15,400/15,400m ³ /h 電動機出力 7.5/5.5kW	2	
	PH-20	ユニット型空気調和機 風量 15,600/15,600m ³ /h 電動機出力 11/5.5kW	2	
コンパクト型	AJ 300-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 16,700m ³ /h 電動機出力 11kW	1	
	AJ 60-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 3,000m ³ /h 電動機出力 2.2kW	2	
	AJ 125-EV-BD	コンパクト型空気調和機 風量 6,000/6,000m ³ /h 電動機出力 5.5/3.7kW	1	
	AJ 300-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 15,700/15,700m ³ /h 電動機出力 11/11kW	1	
	AJ 60-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 2,700m ³ /h 電動機出力 1.5kW	1	
	AJ 40-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 1,400m ³ /h 電動機出力 0.75kW	1	
	AJ 60-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 2,500m ³ /h 電動機出力 1.5kW	1	
	AJ 125-AO-BD	コンパクト型空気調和機 風量 7,450m ³ /h 電動機出力 5.5kW	1	

	AJ 40-AO-BD	コンパクト型空気調和機	3	
		風量 1,500m ³ /h		
		電動機出力 0.75kW		
	AJ 80-AO-BD	コンパクト型空気調和機	1	
		風量 4,500m ³ /h		
		電動機出力 3.7kW		
ファンコイル ユニット	SCR-300-PB-6F-K	天井隠蔽型	11	新晃工業(株)
		風量430m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.042kW		
	SCR-400-PB-6F-K	天井隠蔽型	5	
		風量560m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.056kW		
	SCR-800-PB-6F-K	天井隠蔽型	9	
		風量1050m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.106kW		
	SCR-800-PB-6F-K	天井隠蔽型	66	
		風量1050m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.106kW		
	SCR-800-PB-6F-K	天井隠蔽型	3	
		風量1050m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.106kW		
	CP-200-B-6F-K	天井カセット型	1	
		風量315m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.047kW		
	CP-400-B-6F-K	天井カセット型	6	
		風量615m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.089kW		
	CP-800-B-6F-K	天井カセット型	16	
		風量1135m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.133kW		
パッケージ類				
ガス式 マルチパッケージ	YNZP560G2N	室外機	1	東テク(株)
		冷房能力 56.0kW		
		暖房能力 63.0kW		
		燃料消費量 40.7/41.8kW		
		消費電力3Φ200V 1.30kW		
	YZDP112M	室内機(天井埋込ダ外型)	4	
		冷房能力 11.2kW		
		暖房能力 12.5kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZDP112M	室内機(天井埋込ダ外型)	2	
		冷房能力 11.2kW		
		暖房能力 12.5kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZCP45MB	室内機(天井カセット型)	6	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
	YNZP450G2N	室外機	1	

		冷房能力 45.0kW		
		暖房能力 50.0kW		
		燃料消費量 30.0/33.0kW		
		消費電力3Φ200V 1.19kW		
	YZDP112M	室内機(天井埋込ダクト外型)	3	
		冷房能力 11.2kW		
		暖房能力 12.5kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
	YNZP180G1N	室外機	1	
		冷房能力 18.0kW		
		暖房能力 20.0kW		
		燃料消費量 14.2/13.7kW		
		消費電力1Φ200V 0.50kW		
	YZCP56MB	室内機(天井カセット型)	2	
		冷房能力 5.6kW		
		暖房能力 6.3kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZCP45MB	室内機(天井カセット型)	4	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
	YNZP280G3N	室外機	5	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
109	YZDP71MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	15	
		冷房能力 7.1kW		
		暖房能力 8.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.16kW		
108	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZDP56MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	4	
		冷房能力 5.6kW		
		暖房能力 6.3kW		
		消費電力1Φ200V 0.16kW		
110	YNZP355G3N	室外機	2	
		冷房能力 35.5kW		
		暖房能力 40.0kW		
		燃料消費量 26.1/25.7kW		
		消費電力3Φ200V 0.81kW		
	YZDP71MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	8	
		冷房能力 7.1kW		
		暖房能力 8.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.16kW		
111	YNZP355G3N	室外機	2	
		冷房能力 35.5kW		
		暖房能力 40.0kW		
		燃料消費量 26.1/25.7kW		
		消費電力3Φ200V 0.81kW		
	YZDP71MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	8	
		冷房能力 7.1kW		

		暖房能力 8.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.16kW		
112	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
	YZCP45MB	消費電力3Φ200V 0.68kW		
		室内機(天井カセット型)	4	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
113	YNZP355G3N	室外機	2	
		冷房能力 35.5kW		
		暖房能力 40.0kW		
		燃料消費量 26.1/25.7kW		
		消費電力3Φ200V 0.81kW		
	YZCP71MB	室内機(天井カセット型)	2	
		冷房能力 7.1kW		
		暖房能力 8.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
113-2	YZCP56MB	室内機(天井カセット型)	2	
		冷房能力 5.6kW		
		暖房能力 6.3kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
114	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZCP56MB	室内機(天井カセット型)	4	
		冷房能力 5.6kW		
		暖房能力 6.3kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
115	YNZP450G2N	室外機	1	
		冷房能力 45.0kW		
		暖房能力 50.0kW		
		燃料消費量 30.0/33.0kW		
		消費電力3Φ200V 1.19kW		
	YZCP28MB	室内機(天井カセット型)	2	
		冷房能力 2.8kW		
		暖房能力 3.2kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
	YZDP45MA	室内機(天井埋込ダクト型)	1	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.1kW		
	YZCP36MB	室内機(天井カセット型)	4	
		冷房能力 3.6kW		
		暖房能力 4.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
	YZCP56MB	室内機(天井カセット型)	2	
		冷房能力 5.6kW		
		暖房能力 6.3kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
301,302	YNZP280G3N	室外機	2	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZCP45MB	室内機(天井カセット型)	8	

		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
303,304	YNZP355G3N	室外機	2	
		冷房能力 35.5kW		
		暖房能力 40.0kW		
		燃料消費量 26.1/25.7kW		
		消費電力3Φ200V 0.81kW		
	YZDP90MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	6	
		冷房能力 9.0kW		
		暖房能力 10.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
401,402,403	YNZP180G1N	室外機	3	
		冷房能力 18.0kW		
		暖房能力 20.0kW		
		燃料消費量 14.2/13.7kW		
		消費電力1Φ200V 0.50kW		
	YZCP45MB	室内機(天井カセット型)	6	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
404	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZCP45MB	室内機(天井カセット型)	4	
		冷房能力 4.5kW		
		暖房能力 5.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.056kW		
405	YNZP280G3N	室外機	1	
		冷房能力 28.0kW		
		暖房能力 31.5kW		
		燃料消費量 21.2/21.8kW		
		消費電力3Φ200V 0.68kW		
	YZDP90MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	3	
		冷房能力 9.0kW		
		暖房能力 10.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
406	YNZP355G3N	室外機	1	
		冷房能力 35.5kW		
		暖房能力 40.0kW		
		燃料消費量 26.1/25.7kW		
		消費電力3Φ200V 0.81kW		
	YZDP90MA	室内機(天井埋込ダクト外型)	3	
		冷房能力 9.0kW		
		暖房能力 10.0kW		
		消費電力1Φ200V 0.27kW		
電気式 マルチパッケージ	RAS-NP160FS1	室外機	1	日立アプライアンス(株)
		冷房能力 16.0kW		
		暖房能力 18.0kW		
		電源出力3Φ200V 3+0.16kW		
	RCI-AP50K	室内機	2	
		冷房能力 5.0kW		
		暖房能力 5.6kW		
		電源出力1Φ200V 0.056kW		
	RAS-NP280FSA1 (冷房専用型)	室外機	5	
		冷房能力 28.0kW		
		電源出力3Φ200V 6+0.38kW		
	RPD-AP280K	室内機	5	

		冷房能力 28.0kW		
		電源出力3Φ200V 0.55kW		
	RAS-NP224FSA1 (冷房専用型)	室外機	1	
		冷房能力 22.4kW		
		電源出力3Φ200V 4.8+0.38kW		
	RCI-AP56K	室内機	3	
		冷房能力 5.6kW		
		電源出力3Φ200V 0.056kW		
(テニスコート)	RAS-NP140FS1	室外機	1	
		冷房能力 14.0kW		
		暖房能力 16.0kW		
		電源出力3Φ200V 3+0.16kW		
(テニスコート)	SZVYP1120C	空冷式ヒートポンプ	1	ダイキン工業(株)
		冷房能力 100kW		
		暖房能力 112kW		
		圧縮機 (3.9+4.5) × 2 + (4.5 × 2) kW		
		屋内送風機 11kW × 1台		
		屋外送風機 0.75kW × 4台		

空調設備一覧

301 台

4

名称	型式・規格・数量等	
●コンパクト形空調機 ACC - 101 (エントランスロビー系統)	形式 冷却能力 60.2kW 加熱能力 65.2kW 給気ファン 4500m ³ /h 機外静圧 300Pa 冷温水量 187L/min 加湿器(水気化式) 41.0kg/h 冷却時コイル入口空気温度 33.4°CDB 26.1°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.0°CDB 14.5°CWB 加熱時コイル入口空気温度 0.0°CDB -2.9°CWB 加熱時コイル出口空気温度 42.9°CDB 17.4°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・3.7kW	1 台
ACC - 102 (1階 男子浴室系統)	形式 加熱能力 49.6kW 給気ファン 3000m ³ /h 機外静圧 300Pa 温水量 72L/min 加熱時コイル入口空気温度 -1.2°CDB -4.5°CWB 加熱時コイル出口空気温度 45.8°CDB 25.9°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・1.5kW	1 台
ACC - 103 (1階 女子浴室系統)	形式 加熱能力 54.5kW 給気ファン 3200m ³ /h 機外静圧 300Pa 温水量 79L/min 加熱時コイル入口空気温度 -1.2°CDB -4.5°CWB 加熱時コイル出口空気温度 45.8°CDB 25.9°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・1.5kW	1 台
ACC - 104 (1階 食堂系統)	形式 冷却能力 135.1kW 加熱能力 146.3kW 給気ファン 10100m ³ /h 機外静圧 350Pa 冷温水量 420L/min 加湿器(水気化式) 92.0kg/h 冷却時コイル入口空気温度 33.4°CDB 26.1°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.0°CDB 14.5°CWB 加熱時コイル入口空気温度 0.0°CDB -2.9°CWB 加熱時コイル出口空気温度 42.9°CDB 17.4°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・7.5kW	1 台

名称	型式・規格・数量等	
<p>●コンパクト形空気調和機 ACC-105(2~6階西棟宿泊室系統)</p>	<p>形式 冷却能力 217.3kW 加熱能力 125.8kW 給気ファン 16250m³/h 機外静圧 400Pa 冷温水量 623L/min 加湿器(水気化式) 92.0kg/h 冷却時コイル入口空気温度 33.4°CDB26.1°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.0°CDB14.5°CWB 加熱時コイル入口空気温度 0.0°CDB-2.9°CWB 加熱時コイル出口空気温度 22.9°CDB9.6°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) インバーター組込動力操作盤 3φ200V・11kW 蒸気加湿器 3φ200V・(48.8×2)+(18.8×1)kW</p>	<p>1 台</p>
<p>ACC-106(2~6階東棟宿泊室系統)</p>	<p>形式 冷却能力 240kW 加熱能力 138.9kW 給気ファン 17950m³/h 機外静圧 400Pa 冷温水量 688/min 加湿器(水気化式) 92.0kg/h 冷却時コイル入口空気温度 33.4°CDB26.1°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.0°CDB14.5°CWB 加熱時コイル入口空気温度 0.0°CDB-2.9°CWB 加熱時コイル出口空気温度 22.9°CDB9.6°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) インバーター組込動力操作盤 3φ200V・11kW 蒸気加湿器 3φ200V・(48.8×2)+(26.3×1)kW</p>	<p>1 台</p>
<p>ACU-101(1階厨房系統)</p>	<p>形式 冷却能力 259.5kW 加熱能力 208.6kW 給気ファン 17950m³/h 機外静圧 380Pa 冷却時コイル入口空気温度 33.4°CDB26.1°CWB 冷却時コイル出口空気温度 13.7°CDB13.3°CWB 加熱時コイル入口空気温度 -1.2°CDB-4.5°CWB 加熱時コイル出口空気温度 33.2°CDB13.4°CWB エアフィルター プレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) ヒートポンプ制御盤(給気温度制御) 3φ200V・11kW</p>	<p>1 台</p>
<p>●水熱源ヒートポンプユニット MPAC-1</p>	<p>天井埋込みダクト形 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.6kw 熱源水 9.0L/min コイル損失水頭 32.0kPa 送風機 風量600m³/h 機外静圧 75Pa エアフィルタ 比色法65% 3φ200V・1.02kW</p>	<p>156 台</p>
<p>MPAC-2-1</p>	<p>天井埋込みダクト形 冷房能力 6.0kw 暖房能力 7.1kw 熱源水 18.0L/min コイル損失水頭 19.0kPa 送風機 風量960m³/h 機外静圧 100.Pa エアフィルタ 比色法65% 3φ200V・1.74kW</p>	<p>54 台</p>

名 称	型式・規格・数量等	
●水熱源ヒートポンプユニット MPAC-2-2	天井カセット形 冷房能力 6.0kw 暖房能力 7.3kw 熱 源 水 18.0L/min コイル損失水頭 25.0kPa 送 風 機 風量810m ³ /h 機外静圧 0.Pa エアフィルタ 比色法65% 3φ200V・1.87kW	25 台
MPAC-3	天井埋込みダクト形 冷房能力 9.0kw 暖房能力 10.0kw 熱 源 水 35.0L/min コイル損失水頭 21.9kPa 送 風 機 風量1590m ³ /h 機外静圧 120Pa エアフィルタ 比色法65% 3φ200V・2.64kW	12 台

名 称	型式・規格・数量等	
●マルチパッケージ形空調和機 ACP-1(1階フロント・事務室系統)	冷暖兼用型 冷房 14.0KW 暖房 16.0KW 3φ200V・3.88kW	1 台
ACP-1-2 1階事務室	天井カセット型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 1φ200V・0.05kW	2 台
ACP-1-3 1階フロント	天井埋込みダクト型 冷房 4.5KW 暖房 5.0KW 1φ200V・0.2kW	1 台
ACP-2(1階フロント・事務室系統)	冷暖兼用型 冷房 40.0KW 暖房 45.0KW 3φ200V・12.1kW	1 台
ACP-2-1 1階ロッカー室(男子)	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.0KW 1φ200V・0.12kW	1 台
ACP-2-2 1階ロッカー室(女子)	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.0KW 1φ200V・0.12kW	1 台
ACP-2-3 1階警備室	天井カセット型 冷房 2.8KW 暖房 3.2KW 1φ200V・0.09kW	1 台
ACP-2-4 1階休憩室	天井カセット型 冷房 2.8KW 暖房 3.2KW 1φ200V・0.09kW	1 台
ACP-2-5 1階控室	天井カセット型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 1φ200V・0.09kW	1 台
ACP-2-6 1階廊下(2)	天井カセット型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 1φ200V・0.09kW	2 台
ACP-3(厨房系統)	冷暖フリー型 冷房 50.0KW 暖房 56.0KW 3φ200V・14.6kW	1 台
ACP-3-1 1階下処理室 ・洗浄室	天井埋込みダクト型 冷房 9.0KW 暖房 10.0KW 1φ200V・0.47kW	2 台
ACP-3-2 1階盛付室	天井埋込みダクト型 冷房 4.5KW 暖房 5.0KW 1φ200V・0.20kW	2 台
ACP-3-3 1階調理室	天井吊型 冷房 8.0KW 暖房 9.0KW 1φ200V・0.13kW	2 台

名 称	型式・規格・数量等	
●マルチパッケージ形空調和機 ACP-4(1階厨房事務室系統)	冷暖兼用型 冷房 14.0KW 暖房 16.0KW 3φ200V・3.88kW	1 台
ACP-4-1 厨房休憩室	天井カセット型 冷房 2.2KW 暖房 2.5KW 1φ200V・0.08kW	1 台
ACP-4-2 厨房事務室	天井カセット型 冷房 2.2KW 暖房 2.5KW 1φ200V・0.08kW	1 台
ACP-4-3 厨房検収室	天井カセット型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 1φ200V・0.09kW	1 台
●空冷パッケージ形空調和機 ACP-5(B1階電気室系統)	冷房専用型 冷房 28.0KW 3φ200V・7.17kW	2 台
ACP-5-13 電気室	床置き型 冷房 28.0KW	2 台
ACP-6(1階サーバールーム系統)	冷暖兼用型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 3φ200V・1.12kW	1 台
ACP-6-1 サーバールーム	天井カセット型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW	1 台
●ガス式マルチパッケージ形空調和機 GHP-1(1階図書・学習室系統)	冷暖兼用型 冷房 18.0KW 暖房 21.2KW 1φ200V・0.5kW	1 台
GHP-1-1 図書・学習室	天井埋込みダクト型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	3 台
GHP-2(1階ミーティングルーム系統)	冷暖兼用型 冷房 18.0KW 暖房 21.2KW 1φ200V・0.5kW	1 台
GHP-2-1 ミーティングルーム(1)	天井埋込みダクト型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	2 台
GHP-2-2 ミーティングルーム(2)	天井埋込みダクト型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	2 台

名 称	型式・規格・数量等	
●ガス式マルチパッケージ形空調和機 GHP-3(2階小研修室系統)	冷暖兼用型 冷房 56.0KW 暖房 67.0KW 3φ200V・1.3kW	1 台
GHP-3-1 小研修室(1)	天井カセット型 冷房 7.1KW 暖房 8.5KW 1φ200V・0.26kW	4 台
GHP-3-2 小研修室(2)	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	4 台
GHP-4(2階研修系統)	冷暖兼用型 冷房 45.0KW 暖房 53.0KW 3φ200V・1.2kW	1 台
GHP-4-1 小研修室(3)	天井カセット型 冷房 5.6KW 暖房 6.7KW 1φ200V・0.2kW	5 台
GHP-4-2 カウンセリングルーム	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	2 台
GHP-5(2階ミーティングルーム系統)	冷暖兼用型 冷房 35.5KW 暖房 42.5KW 3φ200V・0.81kW	1 台
GHP-5-1 ミーティングルーム(3)	天井カセット型 冷房 5.6KW 暖房 6.7KW 1φ200V・0.2kW	2 台
GHP-5-2 ミーティングルーム(4)	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.2kW	3 台
GHP-5-3 喫煙室	天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.3KW 1φ200V・0.12kW	1 台
GHP-6(2階ロビー外気処理系統)	冷暖兼用型 冷房 56.0KW 暖房 67.0KW 3φ200V・1.3kW	1 台
GHP-6-1 ロビー	天井埋込みダクト型 冷房 28.0KW 暖房 23.3KW 1φ200V・0.73kW	2 台

空調設備一覧

229 台

名 称		
ユニット形空気調和機 ACC-2 (1~7階東側宿泊室系統)	形式 冷却能力 149.2kW 加熱能力 72.1kW 給気ファン 10400m ³ /h 機外静圧 650Pa 冷温水量 428L/min 加湿器(電極式蒸気加湿) 94.3kg/h(有効) 冷却時コイル入口空気温度 34.4°CDB 27.0°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.4°CDB 14.9°CWB 加熱時コイル入口空気温度 2.0°CDB -2.5°CWB 加熱時コイル出口空気温度 22.5°CDB 8.9°CWB エアフィルタプレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・5.5kW	1 台
コンパクト形空気調和機 ACC-3 (1階食堂系統)	形式 冷却能力 33.9kW 加熱能力 31.3kW 給気ファン 5100m ³ /h 機外静圧 500Pa 冷温水量 98L/min 加湿器(水気化式加湿) 11.0kg/h(有効) 冷却時コイル入口空気温度 28.0°CDB 20.6°CWB 冷却時コイル出口空気温度 14.5°CDB 14.0°CWB 加熱時コイル入口空気温度 17.3°CDB 10.1°CWB 加熱時コイル出口空気温度 35.4°CDB 17.2°CWB エアフィルタプレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・3.7kW	1 台
ユニット形空気調和機 ACU-1 (1階厨房室系統)	形式 冷却能力 104.7kW 加熱能力 50.6kW 給気ファン 7300m ³ /h 機外静圧 550Pa 室外機ユニ圧縮機 送風機 冷却時コイル入口空気温度 34.4°CDB 27.0°CWB 冷却時コイル出口空気温度 15.4°CDB 14.9°CWB 加熱時コイル入口空気温度 2.0°CDB -2.5°CWB 加熱時コイル出口空気温度 22.5°CDB 8.9°CWB エアフィルタプレ+折込み形中性能フィルター 付属品 予備フィルター(プレ、メイン共100%) 3φ200V・3.7kW	1 台
●水熱源ヒートポンプユニット MPAC-1	天井埋込みダクト形 冷房能力 2.5kw 暖房能力 3.0kw	170 台

MPAC-2	<p>熱源水 9.0L/min コイル損失水頭 32.0kPa 送風機 風量600m3/h 機外静圧 75Pa エアフィルタ比色法65% 3φ200V・0.7kW</p> <p>天井埋込みダクト形 冷房能力 5.0kw 暖房能力 6.0kw 熱源水 18.0L/min コイル損失水頭 19.0kPa 送風機 風量960m3/h 機外静圧 100Pa エアフィルタ比色法65% 3φ200V・1.5kW</p>	15	台
●水熱源ヒートポンプユニット MPAC-3	<p>天井カセット形 冷房能力 2.5kw 暖房能力 3.0kw 熱源水 9L/min コイル損失水頭 34.5kPa 送風機 風量600m3/h 機外静圧 0Pa エアフィルタ比色法65% 3φ200V・0.7kW</p>	9	台
●マルチパッケージ形空調和機 ACP-1-1 (1階検査室系統)	<p>冷暖兼用型 冷房 16.0KW 暖房 18.0KW 3φ200V・3.4kW</p>	1	台
ACP-1-1a 1階血液採取室	<p>天井カセット型 冷房 2.8KW 暖房 3.2KW 1φ200V・0.015kW</p>	1	台
ACP-1-1b 1階待合室	<p>天井埋込みダクト型 冷房 3.6KW 暖房 4.0KW 1φ200V・0.015kW</p>	2	台
ACP-1-1c 1階作業室1	<p>天井埋込みダクト型 冷房 2.2KW 暖房 2.5KW 1φ200V・0.010kW</p>	1	台
ACP-1-1d 1階作業室2	<p>天井埋込みダクト型 冷房 2.2KW 暖房 2.5KW 1φ200V・0.010kW</p>	1	台
ACP-1-2 (1階休憩室系統)	<p>冷暖兼用型 冷房 40.0KW 暖房 45.0KW 3φ200V・(3.9+3.9)×1kW</p>	1	台
ACP-1-2a 1階休憩室1	<p>天井カセット型 冷房 4.5KW 暖房 5.0KW 1φ200V・0.020kW</p>	5	台
ACP-1-2b 1階休憩室2	<p>天井カセット型</p>	2	台

	冷房 8.0KW 暖房 9.0KW 1 φ 200V・0.040kW		
ACP-1-3 (1階厨房系統)	冷暖兼用型 冷房 33.5KW 暖房 37.5KW 3 φ 200V・7.2kW	1	台
ACP-1-3a 1階厨房	厨房天吊型 冷房 8.0KW 暖房 8.0KW 1 φ 200V・0.06kW	4	台
ACP-2-1 (2階設備棟控室系統)	冷暖兼用型 冷房 45.0KW 暖房 50.0KW 3 φ 200V・(4.5+4.4) × 1kW	1	台
ACP-2-1a 設備棟 ロッカー室	天井カセット型 冷房 5.6KW 暖房 6.3KW 1 φ 200V・0.02kW	1	台
ACP-2-1b 設備棟 ロッカー室兼控室	天井カセット型 冷房 7.1KW 暖房 8.0KW 1 φ 200V・0.03kW	1	台
●マルチパッケージ形空調和機 ACP-2-1c 設備棟 控室	天井カセット型 冷房 7.1KW 暖房 8.0KW 1 φ 200V・0.03kW	1	台
ACP-4-1 (4階設備棟電気室系統)	冷暖兼用型 冷房 45.0KW 暖房 50.0KW 1 φ 200V・(4.5+4.4) × 1kW	1	台
ACP-4-1a 設備棟 電気室	床置型 冷房 28.0KW 暖房 31.5KW 1 φ 200V・1.5kW	2	台
●パッケージ形空調和機 PAC1-1 (1階宿直室1系統)	冷暖兼用型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1 φ 200V・0.06kW	1	台
PAC1-1 (1階宿直室1系統)	天井カセット型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1 φ 200V・0.02kW	1	台
PAC1-2 (1階宿直室2系統)	冷暖兼用型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1 φ 200V・0.06kW	1	台

PAC1-2 (1階宿直室2系統)	天井カセット型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1φ200V・0.02kW	1	台
PAC1-3 (1階事務室系統)	冷暖兼用型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1φ200V・0.06kW	1	台
PAC1-3 (1階事務室系統)	天井カセット型 冷房 4.0KW 暖房 4.5KW 1φ200V・0.02kW	1	台

保守点検作業内容

中央監視システム系統

(1) H/W機能点検 (ハードウェア)

中央監視装置の点検整備は、システム機構ユニット単位のH/W (ハードウェア) 及びS/W (ソフトウェア) にて実施し、総合的にリモートコントローラとの通信及び制御を確認すること。

ア MCL (メインコンソール)

H/W構成

点 検 項 目	点 検 内 容
MCL	1. 各プリント板のLED表示点灯状態の確認 2. 各プリント板のスイッチ設定の確認 3. 各コネクタ及びケーブルの取付状態確認 4. MODユニットの機能及び動作確認 5. FDDユニットの機能及び動作確認 6. HDDユニットの機能及び動作確認 7. FDDファイルのロード/セーブ動作の確認 8. HDDファイルのロード/セーブ動作の確認 9. MODユニットのヘッドの清掃 10. FDDユニットのヘッドの清掃 11. スピーカーアラム音量の調整及び機能点検 12. 冷却ファンの取付け及び動作状態の確認 13. 各部清掃

イ PDU

H/W構成

点 検 項 目	点 検 内 容
PDU	1. 受電ランプ表示の点灯状態の確認 2. 各端子の締付状態の確認及び増締め 3. 各出力電圧の確認及び調整 4. ユニット本体の清掃

ウ CRT カラーディスプレイ

H/W構成

点 検 項 目	点 検 内 容
CRTユニット	1. 各コネクタ及びケーブルの接続状態確認 2. 各部清掃 3. CRT画面カラー、コントラスト水平位置等の確認調整 4. ユニット本体の消磁

エ KB

H/W構成

点 検 項 目	点 検 内 容
KB	1. キーボード表面部の汚れの清掃 2. キースイッチ操作による機能の点検 3. 各コネクタ部の取付状態の確認 4. 各押しボタンによる機能点検

オ MS

H/W構成

点検項目	点検内容
MS	1. 各コネクタ及びケーブルの接続状態確認 2. 各部清掃 3. カーソルの移動状態のチェック 4. クリック動作チェック

カ PRT (プリンター)

H/W構成

点検項目	点検内容
プリンター	1. 印字状態の確認及びプリンターリボンの交換 2. 各プリントプログラムによるプリント状態の確認 3. 各部清掃及び注油 4. ユニット本体の清掃

キ INT

H/W構成

点検項目	点検内容
INT	1. 各子機との相互通話の確認 2. 各コネクタ及びケーブルの取付状態の確認 3. ユニット本体の清掃

ク IOU

H/W構成

点検項目	点検内容
IOU	1. 受電ランプ表示の点灯状態の確認 2. 各端子の締付状態の確認及び増締め 3. 各出力電圧の確認及び調整 4. ユニット本体の清掃

ケ UIC

H/W構成

点検項目	点検内容
UIC	1. 各プリント板のLED表示及び点灯状態の確認 2. 受電ランプ表示の点灯状態の確認 3. 各コネクタ、ケーブルの取付状態の確認 4. メモリバックアップバッテリーの電圧確認 5. ユニット本体の清掃

(2) S/W機能点検及び制御点検内容 (ソフトウェア)

ア CRT表示機能及び状態確認

イ プリンター及びプログラムによる印字確認

ウ 警報音及び外部出力の点検及び確認

エ グループファイルの確認

オ イベントプログラム等の確認

カ タイムプログラム及びタイムテーブル等の確認

キ サマリグラフ表示状態及び画面移行の確認

ク アナログH/L監視の状態確認及びデータの確認

- ケ 運転時間積算のデータファイル確認
- コ 画面予約機能の確認
- サ 火災入力の確認とプログラム実行の確認
- シ 復電制御の確認
- ス 日報及び月報データの確認並びに印字状態の確認
- セ 季節切替制御動作の確認

(3) 自動制御機器

No	機 器 名	点 検 内 容
1	温度調節器／湿度調節器 ・T675A ・T613C	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 配線端子の緩み点検及び増締め 4. 内蔵機器可動部分の動作確認 5. 比例帯又はディファレンシャルの点検 6. 実測データに対する点検校正 7. 調節器と操作部等関連部分とループ作動点検 8. 規定値の誤差点検 9. 最適値の設定 10. 実制御における制御状態での点検及び確認
2	操作部 ・M6285A／Q455F ・ VY5110B / VY5110F ・M7410C／VY5912A	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体清掃 3. リンケージ組立状態の確認並びにストローク調整及び回転角度の調整 4. モーターの回転作動及び回転角度の点検 5. ポテンシオメーター接点の清掃及び点検 6. バランシングリレー作動点検 7. 調節器と操作部等の作動点検 8. 実制御における制御状態での点検及び確認
3	自動制御用調節弁 ・VY5065D ・VY6100D／N-20W 32W ・VY6100B ・VY5063D	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. じんあいの除去 3. グランド部漏れ点検 4. バルブストローク作動点検及び閉止位置での漏れ点検及び調整 5. 検出器又は発信器、調節計、操作部等関連部とのループ作動点検及び調整 6. 実制御における制御状態での点検及び確認
4	圧力検出器／発信器 ・PY7000C ・PYY-CL13	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 配線端子の緩み点検及び増締め 3. 実測又は標準試験器による誤差点検 4. 操作部等関連部とのループ作動点検及び調整 5. 実制御における制御状態での点検及び確認

5	調節計 ・C40-50G ・R31-5G ・R31-2G ・7010B	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 配線端子の緩み点検及び増締め 4. 電源電圧及び各制御電圧の点検 5. 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認 6. 軽故障、アラーム状態、システムエラー値の点検及び確認 7. 制御パラメータ及び制御プログラムの作動確認 8. 上位伝送状態の点検確認 9. 各入出力信号（発停、警報、アナログ）に対する調節計の作動点検 10. 操作部等関連部とのループ作動点検及び調整 11. 実測データに対する点検校正 12. 操作部等関連部とのループ作動点検及び調整 13. 最適値の設定 14. 実制御における制御状態での点検及び確認
6	温度検出器／温度発信器 ・ TY7830B / TY7832H ・ HY7801A / HY7803T ・ HY7901A / HY7903T ・ HY7000T / TY7003Z ・TY7800C	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 配線端子の緩み点検及び増締め 3. 実測又は標準試験器による誤差点検 4. 伝送電圧の点検 5. コントローラとの伝送状態の点検確認 6. 操作部等関連部とのループ作動点検及び調整 7. 実制御における制御状態での点検及び確認
7	コントローラ ・WY7211B ・WY7206B ・WY7205W	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 配線端子の緩み点検及び増締め 4. 電源電圧及び各制御電圧の点検並びにバックアップ電池の点検 5. 各ファイルのデリート状態及びエラー状態の確認 6. 軽故障、アラーム状態及びシステムエラー値の点検、確認 7. 制御パラメータ及び制御プログラムの作動確認 8. 上位伝送状態の点検確認 9. 各センサ及び変換器との伝送状態の点検及び確認 10. アナログデータに対する誤差試験 11. 各入出力信号（発停、警報、アナログ）に対する調節計の作動点検 12. 発信器、コントローラ、変換器、操作部等関連

		部とのループ作動試験 13. 規定値の設定 14. 最適値の設定 15. 実制御における制御状態での点検及び確認
8	操作器 ・HCB ・615X-M ・VFR ・DN2E ・M940B ・DN3 ・MY6040A / QY9000A	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. リンケージ組立状態の確認並びにストローク調整及び回転角度の調整 4. モータの回転作動及び回転角度点検 5. ポテンションメータ接触の清掃及び点検 6. 伝送電源の点検 7. コントローラとの伝送状態の点検及び調整 8. 発信器、コントローラ、変換器、操作部等関連部とのループ作動試験 9. 実制御における制御状態での点検及び確認
9	感震装置 ・V-725	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 試験操作による動作確認
10	電磁流量計 ・MGG11D/ MGG10C	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 試験操作による動作確認
11	変換機 ・RY7910S	1. 外観目視点検及び取付状態の確認 2. 本体の清掃 3. 電源、電圧・各制御電圧の確認 4. 入力、出力信号の確認 5. 変換パラメータの点検校正

1 2	<p>熱源監視系統 環水槽制御(BS-1・2) 環水槽制御(BS-3) B2F床暖(HE-1) パネヒータ(HE-2) 熱交系統 ACU-B1-1 1 電気室 ACU-1-1 エントランス ACU-1-3 事務室 ACU-2-3 喫茶ラウンジ ACU-2-4 喫茶室厨房 ACU-2-6 研修室 ACU-3-2 3階情報システム室 事務室 ACU-3-3 3階心理実験室 フィルム分析室 ACU-3-6 研究体育館 ACU-3-7 情報システムハード室 メディア保管室 ACU-4-1 競技種目別研究室 ACU-4-2 競技種目別研究室 会議室 ACU-6-1 アトリウム ACU-7-1 レストラン ACU-7-2 7階ELVホール 廊下、ラウンジ ACU-7-3 厨房</p>	<p>1. 実測又は標準試験器による誤差点検 2. 発信機・コントローラ・変換機・操作部等 関連部とのループ作動点検</p>
-----	--	--

保守点検対象機器一覧

空調自動制御機器

中央監視系統

計装・系統名	名称	数量
中央監視装置 Savic-net20EV	主制御装置	1台
	メッセージプリンター	1台
	プリンター	2台
	カラーグラフィックディスプレイ	1台
	設備統合コントローラ	3台

同上ポイント一覧

オン・オフ状態／警報ポイント	134点
オン・オフ状態／ポイント	252点
設定ポイント	292点
状態・警報ポイント	166点
状態ポイント	85点
警報ポイント	198点
温度計測ポイント	238点
湿度計測ポイント	28点
その他 計測ポイント	28点
積算ポイント	42点
合計	1,463点

JISS空調自動制御設備点検対象機器一覧

名称	型式	数量
熱源廻り制御		1 式
シーケンサー		2 台
配管温度検出器	TY7830B	2 台
PT入力変換機	RY7910P	1 台
アイソレータ	RY7910S	4 台
電磁流量計	MGG11D/MGG10C	1 台
圧力指示調節計	R31-5G	1 台
圧力発信機	JTG940A	2 台
DC24V電源	RY7910D	2 台
ゲージ型2方弁	HCB	1 台
圧力・温度調節計	C40-5G	1 台
電気式偏心軸回転形調節計	VFR	1 台
電動ハタフライ弁 (OKM製)	615X-M	1 台
熱源廻り制御(2)冷温水(定時)系統		1 式
配管温度検出器	空調自動制御設備	2 台
PT入力変換機	RY7910P	1 台
アイソレータ	RY7910S	4 台
電磁流量計	MGG11D/MGG10C	1 台
圧力指示調節計	R31-5G	1 台
圧力発信機	JTG940A	2 台
DC24V電源	RY7910D	2 台
ゲージ型2方弁	HCB	1 台
圧力・温度調節計	C40-5G	1 台
電気式偏心軸回転形調節弁	VFR	1 台
電動ハタフライ弁 (OKM製)	615X-M	1 台
熱源廻り制御(3)冷温水(24H)系統		1 式
配管温度検出器	TY7830B	2 台
PT入力変換機	RY7910P	1 台
アイソレータ	RY7910S	4 台
電磁流量計	MGG11D/MGG10C	1 台
圧力指示調節計	R31-5G	1 台
圧力発信機	JTG940A	2 台
DC24V電源	RY7910D	2 台
ゲージ型2方弁	HCB	1 台
圧力・温度調節計	C40-5G	1 台
電気式偏心軸回転形調節弁	VFR	1 台
電動ハタフライ弁 (OKM製)	615X-M	1 台
熱源廻り制御(4)温水系統		1 式
配管温度検出器	TY7830B	2 台
PT入力変換機	RY7910P	1 台
アイソレータ	RY7910S	4 台
電磁流量計	MGG11D/MGG10C	1 台
圧力指示調節計	R31-5G	1 台
圧力発信機	JTG940A	2 台
DC24V電源	RY7910D	2 台
ゲージ型2方弁	HCB	1 台
圧力・温度調節計	C40-5G	1 台
電気式偏心軸回転形調節弁	VFR	1 台
電動ハタフライ弁 (OKM製)	615X-M	1 台
熱源廻り制御(5)DHCP-1系統		1 式
デジタル指示調節計	R31-5G	3 台
配管温度検出器	TY7830B	7 台
アイソレータ	RY7910S	2 台

名称	型式	数量
電動バタフライ弁(OKM製)	CRV-10	4台
レシオバイアス	RY7910B	2台
高トルク形操作器	MY9403A	1台
混合三方便	VY5065D	1台
熱源廻り制御(6)HCP-1系統		1式
デジタル指示調節計	R31-5G	1台
配管温度検出器	TY7830B	3台
アイソレータ	RY7910S	1台
電動バタフライ弁(OKM製)	CRV-10	2台
レシオバイアス	RY7910B	1台
熱源廻り制御(7)RB-1系統		1式
デジタル指示調節計	R31-5G	1台
配管温度検出器	TY7830B	3台
アイソレータ	RY7910S	1台
電動バタフライ弁(OKM製)	CRV-10	2台
レシオバイアス	RY7910B	1台
熱源廻り制御(8)RB-2系統		1式
デジタル指示調節計	R31-5G	1台
配管温度検出器	TY7830B	3台
アイソレータ	RY7910S	1台
電動バタフライ弁(OKM製)	CRV-10	2台
レシオバイアス	RY7910B	1台
熱源廻り制御(9)ボイラー、その他系統		1式
デジタル指示調節器	WY7211B	1台
配管温度検出器	TY7830B	6台
蒸気流量計	VXW	1台
圧力発信機	JTG940A	1台
DC24V電源	RY7910D	1台
電磁流量計	MGG11D/MGG10C	2台
熱源廻り制御(10)蓄熱槽系統		1式
電磁弁	FMPSV	4台
電極リレー	61F	4台
PT測温抵抗体	PT100	4台
熱源監視		1式
環水槽制御(BS-1・2)		1式
環水槽制御(BS-3)		1式
貯湯槽制御系統		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
配管温度検出器	TY7830B	4台
モジュトロールモータ	M6285A	2台
弁リンゲージ	Q455F	2台
2方弁	VY5063D	2台
B2F床暖(HE-1)・パネルヒータ(HE-2)熱交系統		1式
シンクロプール熱交(HU-3-A,B)系統		1式
B2F 50mプール熱交(F-1-A,B・2-A,B)系統		1式
デジタル指示調節計器	WY7211B	2台
配管温度検出器	TY7832H	5台
電動ボール弁	VY6100D	4台
モジュトロールモータ	M6285A	4台
弁リンゲージ	Q455F	4台

名称	型式	数量
2方弁	VY5063D	4台
電動バタフライ弁(OKM製)	CRV-10	4台
高トルク形操作器	MY9403A	1台
混合三方弁	VY5065D	1台
7F浴室(男子・女子)熱交系統		1式
デジタル指示調節計	R31-5G	2台
配管温度検出器	TY7830B	2台
アイソレータ	RY7910S	2台
電動ボール弁	VY6100D	2台
モジュトロールモータ	M6285A	2台
弁リンゲージ	Q455F	2台
2方弁	VY5063D	2台
ACU-B1-1・B1-2 50mプール系統		1式
デジタル指示調節器	WY7211B	2台
温度検出器	TY7832H	4台
挿入形湿度発信機	HY7803T	2台
電動2方弁	VY5110F	2台
ダンパ操作器	MY6040A	7台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	6台
差圧スイッチ	PYY-CL13	2台
ACU-B1-3・B1-4シンクロプール系統		1式
デジタル指示調節器	WY7211B	2台
温度検出器	TY7832H	4台
挿入形湿度発信器	HY7803T	2台
電動2方弁	VY5110F	2台
ダンパ操作器	MY6040A	7台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	6台
差圧スイッチ	PYY-CL13	2台
ACU-B1-5ポートカヌー系統		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
温度検出器	TY7803Z	1台
挿入形湿度発信器	HY7801Z	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンゲージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-B1-6 MRI室2系統		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
温度検出器	TY7832H	1台
挿入形湿度発信器	HY7803T	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンゲージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	2台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-B1-7 X線技師室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台

名称	型式	数量
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
VAV制御系統(8set)		1式
デジタル式調節器	WY7206C	16台
室内形温度検出器	TY7003T	8台
ACU-B1-9 更衣室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-B1-10 射撃・アーチェリー練習場		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7803Z	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-B1-11 電気室		1式
ACU-B1-12 B1階MRI室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-1 エントランス		1式
ACU-1-2 医療室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	2台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-3 事務室		1式
ACU-1-4 休養室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台

名称	型式	数量
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	2台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-5 バイオメカニクス実験室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-6 水治療法室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-7 リハビリテーション室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-8 陸上競技実験室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-1-9 陸上競技実験室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台

名称	型式	数量
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-2-1 測定室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
VAV制御系統(12set)		1式
デジタル式調節器	WY7206C	24台
室内形温度検出器	TY7003T	12台
ACU-2-2 レスリング・柔道練習場		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-2-3 喫茶ラウンジ		1式
ACU-2-4 喫茶室厨房		1式
ACU-2-5 更衣室・廊下		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-2-6 研修室		1式
ACU-2-7 フェンシング練習場		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台

名称	型式	数量
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
VAV制御系統(2set)		1式
デジタル式調節器	WY7206C	3台
室内形温度検出器	TY7003T	2台
ACU-2-8 ウェートリフティング・ボクシング練習場		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
VAV制御系統(5set)		1式
デジタル式調節器	WY7206C	5台
室内形温度検出器	TY7003T	4台
ACU-3-1 生化学実験室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形露点温度発信器	HYT7903T	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	1台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	1台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	1台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
DC24V電源	RY7910D	1台
VAV制御系統(8set)		1式
デジタル式調節器	WY7206C	8台
室内型温度検出器	TY7003T	6台
ACU-3-2 情報システム室・事務室		1式
ACU-3-3 スポーツ心理実験室・フィルム分析室		1式
ACU-3-5 研究体育館・更衣室		1式
デジタル式調節器	WY7211B	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1台
電動2方弁	VY5110F	2台
モジュトロールモータ	M6285A	1台
弁リンケージ	Q455F	1台
2方弁	VY5063D	1台
ダンパ操作器	MY6040A	3台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1台
ACU-3-6 研究体育館		1式
ACU-3-7 情報システムハード室・メディア保管室		1式
ACU-4-1 競技種目別研究室		1式
ACU-4-2 競技種目別研究室・会議室		1式

名称	型式	数量
ACU-4-3 体操競技練習場		1 式
デジタル式調節器	WY7211B	1 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1 台
電動2方弁	VY5110F	2 台
モジュトロールモータ	M6285A	1 台
弁リンケージ	Q455F	1 台
2方弁	VY5063D	1 台
ダンパ操作器	MY6040A	9 台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3 台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1 台
ACU-4-4 トレーニング体育館		1 式
デジタル式調節器	WY7211B	1 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1 台
電動2方弁	VY5110F	2 台
モジュトロールモータ	M6285A	1 台
弁リンケージ	Q455F	1 台
2方弁	VY5063D	1 台
ダンパ操作器	MY6040A	9 台
補助ポテンシオメータ	QY9000A	3 台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1 台
ACU-5-1 5・6階宿泊室		1 式
デジタル式調節器	WY7211B	1 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1 台
微差圧発信器	PY7000C	1 台
DC24V電源	RY7910D	1 台
電動2方弁	VY5110F	1 台
モジュトロールモータ	M6285A	1 台
弁リンケージ	Q455F	1 台
2方弁	VY5063D	1 台
ダンパ操作器	MY6040A	1 台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1 台
ACU-5-2 5・6階宿泊室		1 式
デジタル式調節器	WY7211B	1 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台
挿入形湿度発信器	HY7801C	1 台
微差圧発信器	PY7000C	1 台
DC24V電源	RY7910D	1 台
電動2方弁	VY5110F	1 台
モジュトロールモータ	M6285A	1 台
弁リンケージ	Q455F	1 台
2方弁	VY5063D	1 台
ダンパ操作器	MY6040A	1 台
差圧スイッチ	PYY-CL13	1 台
ACU-6-1 アトリウム		1 式
ACU-7-1 レストラン		1 式
ACU-7-2 7F ELVホール・廊下・ラウンジ		1 式
ACU-7-3 厨房		1 式
CU-1・CU-2		1 式
デジタル式調節器	WY7211B	1 台

名称	型式	数量
挿入形温度検出器	TY7800C	2台
電動2方弁	VY5110F	4台
差圧スイッチ	PYY-CL13	2台
ファンコイルユニットゾーン制御A		1式
デジタル式調節器	WY7250W	126台
ネオパネル	QY7205A	126台
室内型温度検出器	TY7000T	6台
ユニット用温度検出器	LY7202A	120台
アクチュエータ	M7410C	126台
2方弁	VY5912A	126台
ファンコイルユニットゾーン制御B		1式
デジタル式調節器	WY7205W	9台
室内型温度検出器	TY7000T	4台
ユニット用温度検出器	LY7202A	5台
アクチュエータ	M7410C	9台
2方弁	VY5912A	9台
ファンコイルユニットゾーン制御C		1式
デジタル式調節器	WY7205W	39台
室内型温度検出器	TY7000T	11台
ユニット用温度検出器	LY7202A	28台
アクチュエータ	M7410C	78台
2方弁	VY5912A	78台
ファンコイルユニットゾーン制御D		1式
デジタル式調節器	WY7205W	24台
室内型温度検出器	TY7000T	24台
アクチュエータ	M7410C	24台
2方弁	VY5912A	24台

エレベーター保守点検

1 業務概要

館内に設置されているエレベーター（以下「設備」という。）を正常かつ良好な運転状態に保つよう保守点検業務を実施するものである。

2 場 所

- (1) J I S S
- (2) N T C
 - 1) 屋内トレーニングセンター
 - 2) 宿泊施設

3 点検内容

- (1) リモート点検（オンライン利用）

対象設備の運行状況を常時記録し、記録を基に月1回、当該設備を構成する機器及び運転状態を点検すること。
- (2) 定期点検

1年に4回（3か月に1回）、定期的に現場点検及び手入れ保全（注油、調整、清掃等）を行うこと。点検内容は、別紙3-9「エレベーター保守点検項目」のとおりとする。
- (3) 総合点検

1年に1回、対象設備について、建築基準法第12条第3項の規定に基づく検査を行うこと。点検内容は、「昇降機の定期検査報告における検査及び定期点検における点検の項目、事項、方法並びに結果の判定基準並びに検査結果表を定める件」（平成20年国土交通省告示第283号）の規定による。

4 特記事項

- (1) 点検対象設備
 - 1) J I S S（三菱電機株式会社）
 - ① 1号機（ロープ式エレベーター）

乗用、1000kg、90m/min、8停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
火災時管制運転装置
 - ② 2号機（ロープ式エレベーター）

乗用、1000kg、90m/min、8停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
火災時管制運転装置
 - ③ 3号機（ロープ式エレベーター）

人荷用、1150kg、60m/min、8停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
火災時管制運転装置
停電時自動着床装置
 - ④ 4号機（油圧間接式エレベーター）

人荷用（寝台）、1000kg、45m/min、2停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）

火災時管制運転装置
停電時自動着床装置

2) 屋内トレーニングセンター (東芝エレベーター株式会社)

- ① A-1号機 (ロープ式エレベーター)
乗用兼車椅子用、1000kg、105m/min、4停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
停電時自動着床装置
- ② A-2号機 (ロープ式エレベーター)
乗用兼車椅子用、1000kg、105m/min、4停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
停電時自動着床装置
- ③ A-3号機 (ロープ式エレベーター)
人荷用、3、600kg、60m/min、4停止 2方向
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
停電時自動着床装置
- ④ A-4号機 (油圧間接式エレベーター)
乗用兼車椅子用、1000kg、45m/min、3停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
停電時自動着床装置

3) 宿泊施設 (日本エレベーター製造株式会社)

- ① B-1号機 (ロープ式エレベーター)
乗用、900kg、60m/min、6停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置
- ② B-2号機 (ロープ式エレベーター)
乗用、900kg、60m/min、6停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置
- ③ B-3号機 (ロープ式エレベーター)
乗用、900kg、60m/min、6停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置
- ④ B-4号機 (ロープ式エレベーター)
乗用、900kg、60m/min、6停止
地震時管制運転装置 (Pセンサー付き)
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置

- ⑤ B-5号機（ロープ式エレベーター）
乗用、900kg、60m/min、3停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置

宿泊施設増築南館（株式会社 日立製作所）

- ⑥ B-6号機（ロープ式エレベーター）
乗用、1000kg、60m/min、7停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
時管制運転装置
冠水管制運転装置
- ⑦ B-7号機（ロープ式エレベーター）
乗用、1000kg、60m/min、7停止
地震時管制運転装置（Pセンサー付き）
火災時管制運転装置
冠水管制運転装置

I エレベーター保守点検項目

- 1 機械室内環境状態
- 2 機械室内各機器状態
 - (1) 制御盤
 - (2) パワーユニット
 - (3) 電動機
- 3 かが運行状態
- 4 戸の開閉状態
- 5 かが関連機器状態
 - (1) 押しボタン
 - (2) 位地表示器
 - (3) 照明
 - (4) 停電灯
 - (5) かが上状態確認
 - (6) 救出口
- 6 外部連絡装置
- 7 かが室意匠
- 8 乗場意匠
- 9 乗場関連機器状態
 - (1) 押しボタン
 - (2) 位地表示器
 - (3) 戸のインターロック
- 10 昇降路内関連機器状態
 - (1) 上・下部リミットスイッチ
 - (2) 油圧ジャッキ
 - (3) 非常止め装置
 - (4) ロープ
 - (5) レール
- 11 ピット内環境状態
- 12 附加装置ほか機器動作状態
 - (1) 遠隔監視制御装置
 - (2) 地震時管制運転装置
 - (3) 停電時自動着床装置
 - (4) 火災時管制運転装置

II エレベーターリモート点検内容

- 1 制御関連機器（機械室）
 - (1) 機器温度
 - (2) ブレーキ（バルブ）動作状態
 - (3) 接触器動作状態
 - (4) 制御機器動作状態
- 2 かが関連機器
 - (1) 戸の開閉状態
 - (2) 押しボタン動作状態
 - (3) ドアスイッチ動作状態
 - (4) 照明灯点灯状態
 - (5) インターホン電源電圧状態
 - (6) 停電灯点灯状態
- 3 乗場関連機器
 - (1) 戸の開閉状態
 - (2) 押ボタン動作状態
 - (3) ドアスイッチ動作状態
- 4 昇降路内関連機器
 - (1) 安全スイッチ動作状態
- 5 運転状態
 - (1) 起動状態
 - (2) 加速状態
 - (3) 一定速走行状態
 - (4) 減速状態
 - (5) 着床状態

ロープ式エレベーター（リニアモーター式
エレベーターを除く。）検査表

検査年月日

年 月 日

登録番号				検査年月日			
整理番号				年 月 日		第 号機	
建物名							
番号	検査項目・装置	指摘	既存不適格	番号	検査項目・装置	指摘	既存不適格
1	機 械 室			● 4.7	※ かごのガイドシュー（ローラー）	A. B. C	—
● 1.1	機械室への通路・出入口戸	A. C		● 4.8	かごつり車	A. B. C	—
● 1.2	機械室内の照明・換気・整備	A. B. C		● 4.9	ガイドレール・ブラケット	A. B. C	—
● 1.3	※ 手巻きハンドル等	A. C	—	● 4.10	錠外し装置	A. B. C	—
● 1.4	※ 受電盤・制御盤	A. B. C	—	● 4.11	ドアインターロックスイッチ	A. C	—
1.5	階床選択機	A. B. C	—	4.12	ドアクローザー	A. B. C	—
1.6	※減速歯車	A. B. C	—	● 4.13	乗場の戸及び敷居	A. B. C	—
● 1.7	※綱 車（巻胴）	A. B. C	—	● 4.14	昇降路周壁	A. B. C	—
1.8	※軸 受	A. B. C	—	● 4.15	昇降路内の耐震対策	A. B. C	—
● 1.9	※ブレーキ	A. B. C	—	4.16	※ 移動ケーブル及び取付部	A. B. C	—
● 1.10	※ そらせ車	A. B. C	—	● 4.17	つり合いおもり各部	A. B. C	—
1.11	※ 電 動 機	A. B. C	—	4.18	※ つり合いおもり非常止め装置	A. B. C	—
1.12	※ 電動発電機	A. B. C	—	● 4.19	つり合いおもりのつり車	A. B. C	—
● 1.13	機械室機器の耐震対策	A. B. C		4.20	戸の開閉装置	A. B. C	—
1.14	主索の巻過ぎ検出装置（巻胴）	A. B. C	—				
				5	乗 場		
2	共 通			5.1	乗場ボタン及び表示器	A. B. C	—
● 2.1	調速機 ※かご側	A. B. C	—	5.2	光電装置等	A. C	—
2.2	※つり合いおもり側	A. B. C	—	● 5.3	非常解錠装置	A. C	—
● 2.3	※ 主索及びその取付部	A. B. C	—				
● 2.4	※ 主索の緩み検出装置	A. B. C	—	6	ピ ッ ト		
● 2.5	※ はかり装置	A. B. C		● 6.1	緩衝器	A. B. C	—
● 2.6	※ かご非常止め装置	A. B. C	—	● 6.2	ガバナーロープ用及びその他の張り車	A. B. C	—
				6.3	ピット床	A. B. C	—
3	か ご 室			● 6.4	底部安全距離確保スイッチ	A. C	—
● 3.1	かご室の周壁・天井及び床	A. B. C	—	● 6.5	下部ファイナルリミットスイッチ	A. C	—
● 3.2	かごの戸及び敷居	A. B. C	—	● 6.6	非常止めロープ	A. B. C	—
● 3.3	かごの戸のスイッチ	A. C	—	● 6.7	かご下綱車	A. B. C	—
3.4	戸閉め安全装置	A. B. C	—	● 6.8	つり合いロープ（鎖）及び取付部	A. B. C	—
● 3.5	※ 床合わせ補正装置	A. C	—	● 6.9	つり合いおもり底部すき間	A. B. C	—
● 3.6	車止め・光電装置等	A. C	—	6.10	※ 移動ケーブル及び取付部	A. B. C	—
● 3.7	かご操作盤及び表示器	A. B. C	—	● 6.11	ピット内の耐震対策	A. B. C	—
● 3.8	外部への連絡装置	A. B. C	—				
● 3.9	停止スイッチ	A. C	—	7	非常用エレベーター		
● 3.10	用途・積載量・定員等の標識	A. C	—	● 7.1	かご呼び戻し装置	A. C	—
● 3.11	停電灯装置	A. C		● 7.2	一次消防運転	A. C	—
● 3.12	かご床先と昇降路壁との水平距離	A. C		● 7.3	二次消防運転（速度： m/min）	A. C	—
● 3.13	トランク室の周壁・天井及び床	A. B. C		● 7.4	非常標識及び表示灯	A. C	—
				● 7.5	予備電源確認	A. C	—
4	か ご 上			8	その他		
● 4.1	かご上安全スイッチ	A. C	—	● 8.1	地震時管制運転装置	A. C	—
● 4.2	頂部安全距離確保スイッチ	A. C	—	8.2	火災時管制運転装置	A. C	—
● 4.3	上部ファイナルリミットスイッチ	A. C	—	8.3	停電時自動着床装置	A. C	—
● 4.4	※ 頂部綱車	A. B. C	—	● 8.4	乗場戸の遮煙構造	A. C	—
● 4.5	ガバナーロープ	A. B. C	—				
● 4.6	非常救出口	A. B. C					

(注意)

- 番号欄●印の指摘Aは指摘なし、Bは指摘なし(要注意)、Cは指摘ありの状態を、番号欄●印のないものは、指摘Aは良好、Bは要注意、Cは要修理の状態を表す。いずれも指摘欄の該当記号を○で囲み、B、Cの場合は、定期検査成績表の特記事項欄に注記すること。また、Cの指摘ありで既存不適格に該当する場合、「既存不適格」欄に「レ」マークを入れること。
- 番号欄●印は、建築基準法に基づき特定行政庁に報告すべき検査項目・装置を表す。
- 検査項目・装置欄※印は、駆動方式・機種により装置の有無又は設置箇所が異なるものを示す。検査はその設置場所で行うこと。
- 不要事項は抹消すること。

登録番号		油圧エレベーター検査表				検査年月日	
整理番号						年	月
建物名		第 号機					
番号	検査項目・装置	指摘	既存 不適合	番号	検査項目・装置	指摘	既存 不適合
1	機 械 室			● 4.3	上部ファイナルリミットスイッチ	A. C	—
● 1.1	機械室への通路・出入口戸	A. C		● 4.4	ブランジャーリミットスイッチ	A. C	—
● 1.2	機械室内の照明・換気・整備	A. B. C		● 4.5	※ 頂部綱車	A. B. C	—
● 1.3	受電盤・制御盤	A. B. C	—	● 4.6	※ ブランジャー頂部綱車（鎖車）	A. B. C	—
● 1.4	空転防止装置	A. C	—	● 4.7	※ ガバナーロープ	A. B. C	—
1.5	※ 階床選択機	A. B. C	—	● 4.8	非常救出口	A. B. C	
1.6	油 電動機・ポンプ	A. B. C	—	● 4.9	※ かごのガイドシュー（ローラー）	A. B. C	—
● 1.7	圧 圧 力 計	A. B. C	—	● 4.10	ガイドレール・ブラケット	A. B. C	—
● 1.8	安 全 弁	A. C	—	● 4.11	錠外し装置	A. B. C	—
● 1.9	逆 止 弁	A. C	—	● 4.12	ドアインターロックスイッチ	A. C	—
1.10	流量制御弁	A. B. C	—	4.13	ドアクローザー	A. B. C	—
1.11	手動下降弁	A. B. C	—	● 4.14	乗場の戸及び敷居	A. B. C	—
● 1.12	油タンク・油温	A. B. C	—	● 4.15	昇降路周壁	A. B. C	—
● 1.13	圧力配管・高圧ゴムホース	A. B. C	—	● 4.16	昇降路内の耐震対策	A. B. C	
● 1.14	機械室機器の耐震対策	A. B. C		4.17	※ 移動ケーブル及び取付部	A. B. C	—
				4.18	戸の開閉装置	A. B. C	—
2	共 通			5	乗 場		
● 2.1	※ 調速機	A. B. C	—	5.1	乗場ボタン及び表示器	A. B. C	—
● 2.2	※ 主索（鎖）及びその取付部	A. B. C	—	5.2	光電装置等	A. C	—
● 2.3	※ 主索（鎖）の緩み検出装置	A. B. C		● 5.3	非常解錠装置	A. C	—
● 2.4	※ はかり装置	A. B. C					
● 2.5	※ ブランジャー	A. B. C	—	6	ピ ッ ト		
● 2.6	※ ブランジャーストッパー	A. C	—	● 6.1	保守用停止スイッチ	A. C	—
● 2.7	※ シリンダー	A. B. C	—	6.2	ピット冠水スイッチ	A. C	—
				● 6.3	緩衝器	A. B. C	—
3	か ご 室			● 6.4	ガバナーロープ用及びその他の張り車	A. B. C	—
● 3.1	かご室の周壁・天井及び床	A. B. C	—	6.5	ピット床	A. B. C	—
● 3.2	かごの戸及び敷居	A. B. C	—	● 6.6	底部安全距離確保スイッチ	A. C	—
● 3.3	かごの戸のスイッチ	A. C	—	● 6.7	下部ファイナルリミットスイッチ	A. C	—
3.4	戸閉め安全装置	A. B. C	—	● 6.8	かご非常止め装置	A. B. C	—
● 3.5	※ 床合わせ補正装置	A. C	—	● 6.9	※ かご下綱車	A. B. C	—
3.6	※ ドアゾーン行き過ぎ制限装置	A. C	—	● 6.10	※ シリンダー下部綱車	A. B. C	—
● 3.7	車止め・光電装置等	A. C	—	6.11	※ 移動ケーブル及び取付部	A. B. C	—
● 3.8	かご操作盤及び表示器	A. B. C	—	● 6.12	ピット内の耐震対策	A. B. C	
● 3.9	外部への連絡装置	A. B. C	—				
● 3.10	停止スイッチ	A. C	—	7	そ の 他		
● 3.11	用途・積載量・定員等の標識	A. C	—	● 7.1	地震時管制運転装置	A. C	
● 3.12	停電灯装置	A. C		7.2	火災時管制運転装置	A. C	—
● 3.13	かご床先と昇降路壁との水平距離	A. C		7.3	停電時自動着床装置	A. C	—
● 3.14	トランク室の周壁・天井及び床	A. B. C		7.4	※ 制御盤開放スイッチ	A. C	—
				● 7.5	乗場戸の遮煙構造	A. C	
4	か ご 上						
● 4.1	かご上安全スイッチ	A. C	—				
● 4.2	頂部安全距離確保スイッチ	A. C	—				

(注意)

- 1 番号欄●印の指摘Aは指摘なし、Bは指摘なし(要注意)、Cは指摘ありの状態を、番号欄●印のないものは、指摘Aは良好、Bは要注意、Cは要修理の状態を表す。いずれも指摘欄の該当記号を○で囲み、B、Cの場合は、定期検査成績表の特記事項欄に注記すること。また、Cの指摘ありで既存不適合に該当する場合、「既存不適合」欄に「レ」マークを入れること。
- 2 番号欄●印は、建築基準法に基づき特定行政庁に報告すべき検査項目・装置を表す。
- 3 検査項目・装置欄※印は、駆動方式・機種により装置の有無又は設置箇所が異なるものを示す。検査はその設置場所で行うこと。
- 4 不要事項は抹消すること。

消防設備保守点検対象

① JISS(本館)

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	75	本
	強化液消火器(3L型)	76	本
	粉末消火器(50型)	4	本
2	屋内消火栓設備		
	加圧送水ポンプ	1	組
	呼水装置	1	台
	操作盤	1	台
	消火栓(屋内型)	50	台
	放水試験	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検	1	式
3	スプリンクラー設備		
	加圧送水ポンプ	1	組
	起動装置	1	式
	操作盤	1	台
	流水検知装置(自動警報弁)	2	台
	流水検知装置(流水作動弁)	2	台
	流水検知装置(圧力スイッチ)	2	台
	スプリンクラーヘッド閉鎖、開放型	307	個
	呼水装置	1	台
	送水口	1	個
	放水試験(管末テスト弁)	1	式
	放水試験(補助散水栓)	1	式
	補助高架水槽	1	台
	常用電源	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
4	不活性ガス消火設備		
	窒素ガス容器	34	本
	加圧用窒素ガス容器	34	本
	選択弁	7	個
	噴射ヘッド	38	個
	容器弁開放装置	7	個
	起動用開放装置	7	個
	起動用操作箱	7	個
	モーターサイレン	9	個
	放出表示灯	17	個
	圧力スイッチ	7	式
	ダンパー ヒストンリリーザー	22	台
	放出試験	1	式

	作動試験	1	式
	電源装置	1	式
	定温式スポット型感知器	24	個
	不還弁	6	個
	操作盤	1	式
	配線点検	1	式
5	自動火災報知設備		
	受信機NR-22型NR-22L	1	台
	表示器 R型	3	台
	中継器 R型	130	個
	非常電話盤	50	回線
	定温式スポット型感知器	52	個
	煙感知器(イオン式、光電式)	181	個
	煙感知器(自動試験機能付)	544	個
	熱感知器(自動試験機能付)	154	台
	光電式分離型感知器	9	個
	炎感知器	3	個
	発信機(巡回付)	54	個
	表示灯	66	個
	非常電話盤	43	個
	消火栓起動装置	3	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
6	ガス漏れ火災警報設備		個
	ガス漏れ検知器(一般型)	16	式
	同時作動試験 2箇所同時に作動	1	式
	総合作動試験 呼び電源で作動	1	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	予備電源	1	式
	配線点検	1	式
7	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部	1	式
	非常放送操作部	1	台
	遠隔操作盤	3	個
	スピーカー	480	個
	音量調整器	198	式
	電源装置(常用電源)	1	式
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	
8	誘導灯設備		
	誘導標識	10	個
	誘導灯	321	個
	配線点検(絶縁測定)	1	式
9	防排煙設備		
	定温式スポット型感知器	11	個

	煙感知器	68	個
	防火シャッター(連動型感知器)	57	台
	防火戸ラッチ 煙連動付 S型	11	台
	排煙口	11	台
	防火ダンパー	28	台
	排煙機(大)ファンモーター組	6	基
	起動盤(スターデルタ組)	6	基
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
10	連結送水管		
	送水口	1	式
	放水口	14	台
11	消防用水		
	採水口	2	個
	加圧送水装置	1	式
	操作盤	1	式
	呼水装置	1	式
	配線点検	1	式
12	防災監視盤設備		
	CRT装置表示部(モニター)	1	式
	CRT装置操作部	1	式
	CRT装置制御部	1	式
	電源部(安定化電源)	1	式
13	非常用電源(自家発電設備)		
	非常用ガスタービン発電設備 CNT-750ER(新潟鐵工所 現・新潟原動機) 発電機出力 750kVA 原動機出力 662kw	1	式
14	非常用電源(蓄電池設備)		
	始動用蓄電池盤 BROS04015TBG(日本電池 現・GS ユアサ) 蓄電池 MSE-200(24セル×2セット)(日本電池 現・GS ユアサ) 容量 200Ah(10時間率)	1	式

② JISS(設備棟)

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	6	本
	強化液消火器(3L型)	2	本
2	スプリンクラー設備		
	加圧送水ポンプ	1	組
	起動装置	1	式
	操作盤	1	台
	流水検知装置(自動警報弁)	2	台
	流水検知装置(流水作動弁)	2	台
	流水検知装置(圧カスイッチ)	2	台
	スプリンクラーヘッド閉鎖、開放型	112	個
	補助散水栓	3	台
	呼水装置	1	台
	送水口	1	個
	放水試験(管末テスト弁)	1	式
	放水試験(補助散水栓)	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
	補助加圧送水装置	1	組
	補助操作盤	1	式
	受水槽	1	式
3	不活性ガス消火設備		
	窒素ガス容器	40	本
	加圧用窒素ガス容器	40	本
	噴射ヘッド	10	個
	容器弁開放装置	1	個
	起動用開放装置	1	個
	起動用操作箱	1	個
	モーターサイレン	2	個
	放出表示灯	3	個
	圧カスイッチ	1	式
	ダンパー ヒストンリリーザー	2	台
	放出試験	1	式
	作動試験	1	式
	電源装置	1	式
	定温式スポット型感知器	10	個
	不還弁	1	個
	操作盤	1	式
	配線点検	1	式

③ サッカー場

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	5	本
	強化液消火器(3L型)	4	本
2	屋内消火栓		
	加圧送水ポンプ(本館兼用)	-	組
	呼水装置(本館兼用)	-	台
	操作盤(本館兼用)	-	台
	補助高架水槽(本館兼用)	-	台
	消火栓(屋内型)	3	台
	起動用スイッチ	3	個
	表示灯	3	個
	放水試験	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検	1	式
3	自動火災報知設備		
	受信機 R型	1	台
	定温式スポット型感知器	6	個
	煙感知器(自動試験機能付)	44	個
	発信機	3	個
	表示灯	3	個
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
4	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンプ) 360W	1	式
	スピーカー回線	1	式
	スピーカー	27	個
	音量調整器	2	個
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
5	誘導灯設備		
	誘導灯	15	個
	配線点検	1	式

④ テニスコートクラブハウス

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	2	本

⑤ 戸田艇庫・合宿室

	機器名(規格)	数量	単位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	16	本
	強化液消火器(6L型)	7	本
	粉末消火器(20型)	2	本
2	屋内消火栓		
	加圧送水ポンプ	1	組
	呼水装置	1	台
	操作盤	1	台
	消火栓(屋内型)	13	台
	起動用スイッチ	13	個
	表示灯	13	個
	放水試験	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検	1	式
3	自動火災報知設備		
	受信機P-1級(20回線)	1	台
	表示器(20回線)	1	台
	差動式スポット型感知器	143	個
	定温式スポット型感知器	13	個
	煙感知器	7	個
	発信機(P-1, 2級)	12	個
	表示灯	12	個
	電鈴	13	個
	消火栓起動装置	1	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
4	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンプ)	1	式
	非常放送操作部(SP回線)	1	個
	スピーカー	43	個
	電源装置(常用電源)	1	式
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
5	避難器具設備		
	避難梯子 2Fロープ又は金属	6	台
6	誘導灯設備		
	誘導灯	11	個
	配線点検	1	式
7	消防機関へ通報する火災報知設備		
	非常通報機本体	1	台

	押し釘	1	個
	発砲確認ランプ	1	個
	電鈴	1	個
	消防通報試験	1	式
	予備電源	1	式
	配線点検	1	式
8	非常用電源(自家発電設備)		
	非常用発電設備 PG-20X-RS(三菱電機) 発電機出力 20kVA 原動機出力 27ps	1	式
9	非常用電源(蓄電池設備)		
	充電装置 U-BTC-1E(三菱電機) 蓄電池 HS-40-6E(12 個)(古河電池) 24Ah(1 時間率)	1	式

⑥ 屋内トレーニングセンター

	機器名(規格)	数量	単位
1	消火器具		
	粉末消火器(10型)	85	本
	強化液消火器(3L型)	69	本
	粉末消火器(50型)	3	本
2	屋内消火栓設備		
	加圧送水ポンプ	1	組
	補助加圧送水装置	1	組
	呼水装置	2	台
	操作盤	2	台
	補助高架水槽	1	台
	消火栓(屋内型)	42	台
	起動用スイッチ	42	個
	表示灯	42	個
	放水試験	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検	1	式
3	自動火災報知設備		
	受信機 GR型 532L/668L	1	台
	表示器 R型	1	台
	中継器 R型	8	個
	定温式スポット型感知器	52	個
	煙感知器(光電分離型)	40	個
	煙感知器(自動試験機能付)	485	個
	熱感知器(自動試験機能付)	30	個
	光電式分離型感知器	9	個
	発信機(巡回付)	45	個
	表示灯	66	個
	消火栓起動装置	2	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
4	防排煙設備		
	受信機(自火報盤併設)		
	煙感知器	28	個
	防火シャッター(連動型感知器)	12	台
	防火戸ラッチ 煙連動付 S型	16	台
	排煙口	30	台
	手動装置	30	台
	防火ダンパー	1	台
	排煙機(大)ファンモーター組	1	基
	起動盤(スターデルタ組)	1	基

	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
5	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンプ) 720W	1	式
	スピーカー回線	1	式
	スピーカー	294	個
	音量調整器	43	個
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検費(絶縁測定)	1	式
6	避難器具設備		
	緩降機 3F	3	台
	緩降機 4F	5	台
7	誘導灯設備		
	誘導灯	139	台
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
8	連結散水設備		
	加圧送水ポンプ(屋内栓兼用)	-	
	起動装置(屋内栓兼用)	-	
	操作盤(屋内栓兼用)	-	
	流水検知装置(自動警報弁)	2	台
	圧力スイッチ	2	台
	散水ヘッド(閉鎖型)	503	個
	呼水装置(屋内栓兼用)	-	台
	送水口	1	個
	常用電源(屋内栓兼用)		式
	配線点検(絶縁測定)(屋内栓兼用)		式
9	連結送水管		
	送水口	4	台
	放水口(ホース無し)	12	台
10	非常用電源(自家発電設備)		
	非常用ディーゼル発電設備 AY20L-ET(ヤンマー) 発電機出力 625kVA 機関出力 544kw	1	式
11	非常用電源(蓄電池設備)		
	直流電源装置 SWSB24-10-200(ユアサ M&B) 蓄電池 MSE-200 (12セル)容量 200Ah(10時間率)	1	式

⑦ 屋内テニスコート

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	6	本
	強化液消火器(3L型)	6	本
2	屋内消火栓設備		
	加圧送水ポンプ(本館兼用)	-	組
	呼水装置(本館兼用)	-	台
	操作盤(本館兼用)	-	台
	補助高架水槽(本館兼用)	-	台
	消火栓(屋内型)	5	台
	起動用スイッチ	5	個
	表示灯	5	個
	放水試験	1	式
	常用電源	1	式
	配線点検	1	式
3	自動火災報知設備		
	受信機 GR型 65L/73L	1	台
	表示器 R型	1	台
	中継器 R型	1	個
	煙感知器(自動試験機能付)	63	個
	発信機(巡回付)	5	個
	表示灯	5	個
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
4	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンブ)	1	式
	スピーカー回線	1	式
	スピーカー	10	個
	音量調整器	2	個
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
5	誘導灯設備		
	誘導灯	7	台
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式

⑧ NTC宿泊施設

	機 器 名 (規 格)	数 量	単 位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	41	本
	強化液消火器(3L型)	31	本
	粉末消火器(50型)	2	本
2	簡易自動消火装置(フード・ダクト等用)		
	装置本体	12	台
	制御盤	2	面
	感知器	5	個
	ノズル	31	個
	手動起動装置	2	台
	常用電源	1	式
	連動試験	1	式
	配線点検	1	式
3	スプリンクラー設備		
	加圧送水ポンプ	1	組
	補助加圧送水装置	1	組
	呼水装置	1	台
	起動装置	2	式
	操作盤	2	台
	流水検知装置(流水作動弁)	2	台
	圧カスイッチ	2	台
	スプリンクラーヘッド(閉鎖型)	1189	個
	スプリンクラーヘッド(開放型)	14	個
	一斉開放弁(減圧開)	2	台
	手動開放弁	14	台
	補助散水栓	45	台
	送水口	1	個
	放水試験(管末テスト弁)	1	式
	放水試験(補助散水栓)	1	式
	補助高架水槽	1	台
	常用電源	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
4	自動火災報知設備		
	受信機 GR 型 522L/627L	1	台
	表示器 R型	1	台
	中継器 R型	12	個
	定温式スポット型感知器(防水)	2	個
	差動式スポット型感知器	3	個
	煙感知器(自動試験機能付)	447	個
	熱感知器(自動試験機能付)	30	個
	発信機(巡回付)	18	個

	表示灯	32	個
	消火栓起動装置	1	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
5	防排煙設備		
	受信機(自火報盤併設)		
	煙感知器	32	個
	防火シャッター(連動型感知器)	12	台
	防火戸ラッチ 煙連動付 S型	16	台
	防火ダンパー	10	台
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
6	消防機関へ通報する火災報知設備		
	非常通報機本体	1	台
	押し釦	1	個
	発砲確認ランプ	1	個
	電鈴	1	個
	消防通報試験	1	式
	予備電源	1	式
	配線点検	1	式
7	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンプ) 480W	1	式
	スピーカー回線	1	式
	スピーカー	365	個
	音量調整器	42	個
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
8	誘導灯設備		
	誘導灯	156	台
	誘導標識	2	枚
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
9	連結送水管		
	送水口	2	台
	放水口(ホース無し)	10	台
10	非常用電源(自家発電設備)		
	非常用ディーゼル発電設備 AY20L-ET(ヤンマー)発電機出力 625kVA 機関出力 544kw	1	式
11	非常用電源(蓄電池設備)		
	直流電源装置 SWSB24-10-200(ユアサ M&B) 蓄電池 MSE-200(12セル) 容量 200Ah(10時間率)	1	式

⑧ NTC宿泊施設(増築南館)

	機器名(規格)	数量	単位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	18	本
	強化液消火器(3L型)	17	本
	粉末消火器(50型)	1	本
2	簡易自動消火装置(フード・ダクト等用)		
	装置本体		台
	制御盤		面
	感知器		個
	ノズル		個
	手動起動装置		台
	常用電源		式
	連動試験		式
	配線点検		式
3	スプリンクラー設備		
	加圧送水ポンプ		組
	補助加圧送水装置	1	組
	呼水装置	1	台
	起動装置	1	式
	操作盤	1	台
	流水検知装置(流水作動弁)		台
	圧カスイッチ		台
	スプリンクラーヘッド(閉鎖型)	808	個
	スプリンクラーヘッド(開放型)	8	個
	一斉開放弁(減圧開)	1	台
	手動開放弁		台
	補助散水栓	23	台
	送水口	1	個
	放水試験(管末テスト弁)	1	式
	放水試験(補助散水栓)	1	式
	補助高架水槽	1	台
	常用電源	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
4	自動火災報知設備		
	受信機 GR型 522L/627L	1	台
	表示器 R型	1	台
	中継器 R型	8	個
	定温式スポット型感知器(防水)		個
	差動式スポット型感知器	1	個
	煙感知器(自動試験機能付)	380	個
	熱感知器(自動試験機能付)	41	個
	発信機(巡回付)	16	個
	表示灯	7	個

	消火栓起動装置	1	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池設備)	1	式
	配線点検	1	式
5	防排煙設備		
	受信機(自火報盤併設)		
	煙感知器	12	個
	防火シャッター(連動型感知器)	11	台
	防火戸ラッチ 煙連動付 S型	17	台
	防火ダンパー	11	台
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
6	消防機関へ通報する火災報知設備		
	非常通報機本体		台
	押し釦		個
	発砲確認ランプ		個
	電鈴		個
	消防通報試験		式
	予備電源		式
	配線点検		式
7	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンプ) 840W	1	式
	スピーカー回線	1	式
	スピーカー	244	個
	音量調整器	15	個
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
8	誘導灯設備		
	誘導灯	58	台
	誘導標識		枚
	電源装置	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
9	連結送水管		
	送水口	1	台
	放水口(ホース無し)	7	台
10	非常用電源(自家発電設備)		
	非常用ディーゼル発電設備 AY20L-ET(ヤンマー)発電機出力 625kVA 機関出力 544kw		式
11	非常用電源(蓄電池設備)		
	直流電源装置 SWSB24-10-200(ユアサ M&B) 蓄電池 MSE-200(12 セル) 容量 200Ah(10 時間率)		式

⑨ フットサルコート更衣室

	機器名(規格)	数量	単位
1	消火器		
	粉末消火器(10型)	1	本
	強化液消火器(3L型)	1	本

⑩ 陸上トレーニング場

	機器名(規格)	数量	単位
1	消火器		
	粉末消火器	17	本
2	パッケージ型消火設備		
	パッケージ型消火設備本体	3	台
	ノズル	3	台
	ホースリール	3	台
	表示灯	3	個
	起動試験	1	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
3	自動火災報知設備	1	台
	受信機P-1級 5回線	1	個
	差動式スポット型感知器	17	個
	定温式スポット型感知器	3	個
	煙感知器(イオン式、光電式)	2	個
	発信機(P-1・2級)	4	個
	表示灯	4	式
	常用電源(交流電源)	1	式
	非常電源(蓄電池電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式
4	非常警報器具・設備(非常放送)		
	非常放送操作部(アンブ)	1	式
	非常放送操作部(SP回線)	1	式
	スピーカー	23	個
	電源装置(常用電源)	1	式
	電源装置(非常電源)	1	式
	配線点検(絶縁測定)	1	式

直焚吸収冷温水機保守点検

- 1 概 要** 吸収冷温水機の性能を常に最良の状態にして、快適な室内環境を維持するため、保守点検を行うものである。

2 点 検 回 数

- | | |
|-------------------|--------------|
| (1) 冷房前切替整備・試運転調整 | 1年1回（5月） |
| (2) 暖房前切替整備・試運転調整 | 1年1回（11月） |
| (3) 冷房シーズン中巡回点検 | 1年1回（5月～9月） |
| (4) 暖房シーズン中巡回点検 | 1年1回（11月～3月） |

3 機種及び台数

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| (1) 吸収冷温水機（株）荏原製作所 RCD-GN032E） | 2台（JISS） |
| (2) 吸収冷温水機（川重冷熱工業（株）ΣTEG-3000DN5C） | 2台（NTC屋内トレーニングセンター） |
| (3) 吸収冷温水機（株）荏原製作所 RCPGN011P） | 2台（NTC宿泊施設） |
| (4) 吸収冷温水機（川重冷熱工業（株）ΣMPG-60EH5） | 2台（NTC宿泊施設増築南館） |

4 特 記 事 項

- (1) 保守点検業務は、「危険物の規制に関する政令」、「同規則」、「ガス事業法」及び「液化石油ガス
の保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の定めるところにより実施すること。
- (2) 保守点検業務の内容は、次表「点検項目一覧」に従い行うこと。

点 検 項 目	内 容
1 冷房前切替整備・試運転調整 (1) 本体点検整備 ア 外観点検 イ 本体バルブ切替 ウ 保安装置類確認 エ ガス配管漏洩試験	破損、発錆等状況点検 冷暖房切替バルブを冷房位置に切替（2箇所） 圧力スイッチ点検 サーモスタット点検 温度センサ点検・盤内設定値確認 火災検出器等点検 （外部漏れ試験） 規定圧力に加圧し、配管外部に漏れのないことを確認 （安全遮断弁内部漏れ試験） 規定圧力に加圧し、遮断弁越しに漏れのないこと

<p>オ 電機整備</p>	<p>を確認</p>
<p>カ 溶液調整</p>	<p>操作盤外観点検、盤内清掃 操作盤回路、動力回路の絶縁測定 サーマル設定値確認 盤内設定値確認</p>
<p>(2) 冷房試運転調整</p>	<p>温度センサ表示確認 分析結果を基に適正值へ調整</p>
<p>ア 燃焼確認及び調整</p>	<p>燃焼状態確認後、調整</p>
<p>イ 不凝縮ガス抽気</p>	<p>機内不凝縮ガスを真空ポンプにて抽気</p>
<p>ウ 機密確認</p>	<p>アブソーバロス測定による。</p>
<p>エ 総合試運転調整及びデータ採取</p>	<p>補機連動、インターロック、遠方発停等確認 自動制御確認 総合試運転確認及び冷媒量調整</p>
<p>(3) 報告書作成・提出</p>	<p>運転データ採取</p>

3) 吸収冷温水機のチューブ内面にスケールが付着すると、吸収冷温水機の効率を低下させ

たり、腐食による気密不良の原因となったりするため、チューブ洗浄を行うこと。

点検回数及び点検項目一覧
空気熱源ヒートポンプユニット

1 点検回数

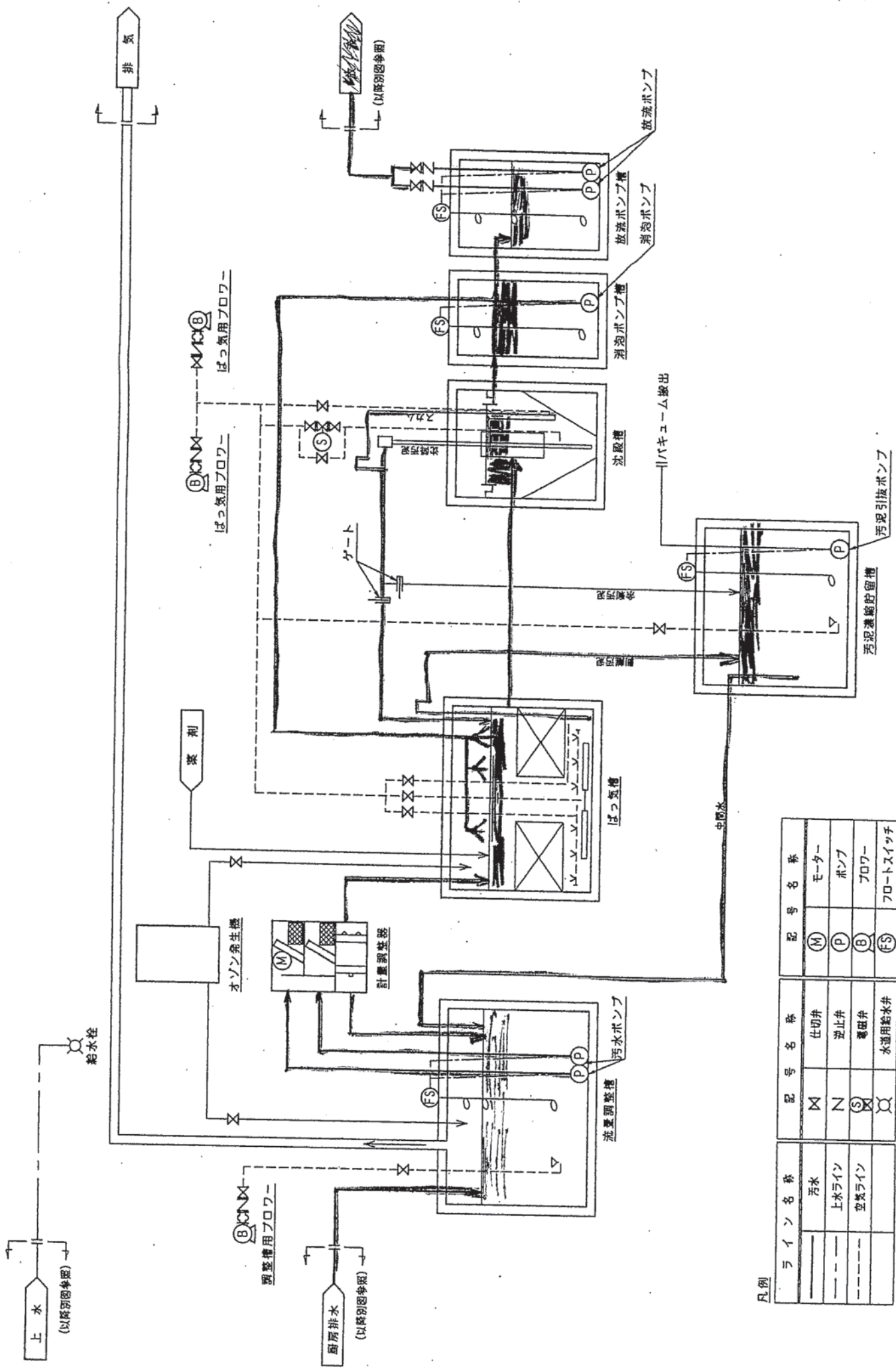
冷房前点検	年1回（5月）
暖房前点検	年1回（11月）
安全弁法定点検	年1回

2 点検項目

次表のとおりとする。

点 検 項 目	内 容
1 冷房前点検（5月）	
（1）圧縮機の点検	1) モーター絶縁点検 2) 振動・騒音点検 3) 開度計点検
（2）空気熱交換器の点検	1) ファンモーターの点検 2) ファン羽根の点検 3) ファン汚れ具合の点検
（3）フィルターの点検	1) 油フィルター点検・交換 2) 液フィルター・吸込みガス濾過器点検
（4）計測器・保安計器の点検	1) 圧力・温度センサーの点検 2) 保安計器設定の点検 3) 調節計器設定の点検 4) 油ヒーター絶縁点検
（5）弁類系点検	1) 電子膨張弁・電動弁の作動及び漏れ点検 2) 電磁弁のグラウンド部の漏れ点検・増締め 3) 塞止弁のグラウンド部の漏れ点検・増締め
（6）冷媒・油の点検	1) 冷媒量の点検・補充 2) 冷凍機油量の点検・補充 3) 冷凍機油の性状点検
（7）盤関係の点検	1) シーケンサーの点検 2) 配線取付けネジの増締め 3) 電磁接触器の接点点検及び絶縁確認
（8）試運転調整	
（9）運転状況の点検	

<p>2 暖房前点検（11月）</p> <p>（1）圧縮機の点検</p> <p>（2）空気熱交換器の点検</p> <p>（3）フィルターの点検</p> <p>（4）計測器・保安計器の点検</p> <p>（5）弁類系点検</p> <p>（6）冷媒・油の点検</p> <p>（7）盤関係の点検</p> <p>（8）試運転調整</p> <p>（9）運転状況の点検</p>	<p>1） モーター絶縁点検</p> <p>2） 振動・騒音点検</p> <p>3） 開度計点検</p> <p>1） ファンモーターの点検</p> <p>2） ファン羽根の点検</p> <p>3） ファン汚れ具合の点検</p> <p>1） 油フィルターの点検・交換</p> <p>1） 圧力・温度センサーの点検</p> <p>2） 保安計器設定の点検</p> <p>3） 調節計器設定の点検</p> <p>4） 油ヒーターの絶縁点検</p> <p>1） 電子膨張弁・電動弁の作動及び漏れ点検</p> <p>2） 電磁弁のグラウンド部の漏れ点検・増締め</p> <p>3） 塞止弁のグラウンド部の漏れ点検・増締め</p> <p>1） 冷媒量の点検・補充</p> <p>2） 冷凍機油量の点検・補充</p> <p>1） シーケンサーの点検</p> <p>2） 配線取付けネジの増締め</p> <p>3） 電磁接触器の接点点検及び絶縁確認</p>
<p>3 安全弁法定点検</p> <p>（1）法定検査</p> <p>（2）試運転調整</p>	<p>1） 吐出・吸込・油差圧SWの点検</p> <p>2） 断水リレーの点検</p> <p>3） 安全弁の点検</p> <p style="margin-left: 20px;">a 安全弁の取外し</p> <p style="margin-left: 20px;">b 安全弁の校正 40A, 32A（認定工場）</p> <p style="margin-left: 20px;">c 安全弁の取付け</p> <p>4） 吐出・吸込・給油圧力センサーの点検</p>



凡例

ライン名称	記号名称	記号名称
汚水	M	モーター
上水ライン	N	ポンプ
空焚ライン	S	フロー
	V	ポートスイッチ
		水道用給水井

別表1 設備機器一覧表

(厨房除害施設 40m³/日)

No	名 称	メ ー カ ー	型 式	数 量
1	自動スクリーン	コミュニケーターサービス(株)	27.0m ³ /h×25kW	1
2	スクリーンユニット	(株)ニューテック	PVC製	1
3	流量調整ポンプ	新明和工業(株)	50A×0.1m ³ /min×4Aq×0.25kW	2
4	消泡ポンプ	新明和工業(株)	40A×0.1m ³ /min×6Aq×0.25kW	1
5	放流ポンプ	新明和工業(株)	65A×0.2m ³ /min×23Aq×2.2kW	2
6	汚泥引抜ポンプ	新明和工業(株)	80A×0.3m ³ /min×23Aq×5.5kW	1
7	ぼっ気ブロワー	(株)アンレット	65A×2.2m ³ /min×20kPa×2.2kW	2
8	調整ブロワー	(株)アンレット	40A×0.5m ³ /min×20kPa×0.75kW	1
9	オゾン発生装置	(株)ロキテクノ	3g/h×100V	1
10	接触材	三菱樹脂(株)	PVC製	1
11	散気装置	ニューアドバンス(株)	P.P製	14
12	消泡ノズル	ニューアドバンス(株)	ジュラコン樹脂製	7
13	フロートスイッチ	新明和工業(株)	P.P製	10
14	スカムスキマー	ニューアドバンス(株)	PVC製	1
15	スライドバルブ	コミュニケーターサービス(株)	ABS製	2
16	気水分離器	ニューアドバンス(株)	PVC製	1
17	センターウェル	関西化工(株)	PVC製	1
18	越流トラフ	関西化工(株)	PVC製	1
19	FRP点検蓋	タキロン(株)	FRP製	20
20	動力制御盤	(株)堀内電機製作所	屋内簡易防水型	1

別表2 保守点検要領一覧表
(厨房除害施設 40m³/日)

設備機器		定期点検保守要領
1	流量調整槽 ・流量調整ポンプ ・調整槽用ブロー ・流量調整槽(計量槽)	・調整ポンプ自動運転時の騒音、振動発生の有無
		・電流計の振れの有無
		・フロートコントローラーの作動状態チェック
		・調整ブロー振動、空気量の調節
		・計量槽水量調節、清掃
2	ばっ気槽 ・ばっ気槽 ・ばっ気ブロー ・散気管	・槽内汚泥状態チェック、SV測定
		・槽内菌状況観察
		・MLSS、SV測定
		・薬剤補給量検討
		・槽内散気状況チェック、給気量調節
・槽内発泡状況チェック		
3	沈殿槽 ・沈殿槽	・スカム除去
		・処理水質チェック
		・汚泥返送量調節
		・余剰汚泥引き抜きの要否
4	消泡ポンプ槽 ・消泡ポンプ ・フロートスイッチ	・消泡ポンプ自動運転時の騒音、振動発生の有無
		・フロートスイッチの作動状態チェック
		・消泡ノズル散水状況チェック
5	放流ポンプ槽 ・放流ポンプ ・フロートスイッチ	・放流ポンプ自動運転時の騒音、振動発生の有無
		・フロートスイッチの作動状態チェック
		・放流ポンプ排水量チェック
6	汚泥濃縮貯留槽 ・散気装置 ・汚泥引抜ポンプ	・槽内汚泥量チェック、搬出の要否
		・上澄水の引き抜きの要否
		・散気量の調節
7	オゾン発生機	・O ₃ 発生量チェック
		・排気処理ガスの臭気の有無
		・送気量チェック
8	電気盤	・各機器の電流値測定記録
		・絶縁抵抗の測定 (水中ポンプ以外は3ヶ月に1回実施)
		・盤内結露の有無
		・各メーター類点検
		・配線端子、配線点検
9	その他	・水質分析 分析項目：PH、SS、BOD、n-Hexane抽出物質
		・配管、電気系統チェック

3. 機器一覧
3-1 仕様表

機器名称	仕様
ばっ気ブロワ	80A×3.70kW×3.76m ³ /min×0.03MPa × 2台
攪拌ブロワ	40A×1.50kW×1.10m ³ /min×0.02MPa × 1台
原水ポンプ	50A×0.75kW×0.34m ³ /min×4mH × 2台
計量ポンプ	50A×0.25kW×0.14m ³ /min×4mH × 2台
微細目スクリーン	2.5mm×0.025kW×27m ³ /hr × 1台
放流ポンプ	40A×0.25kW×0.17m ³ /min×4mH × 2台
循環ポンプ	50A×0.25kW×0.15m ³ /min×4mH × 1台
フロートスイッチ(4m)	ケーブル4m × 9個
フロートスイッチ(6m)	ケーブル6m × 3個
脱臭装置	150A×0.40kW×7.0m ³ /min × 1台

3-2 運転方法

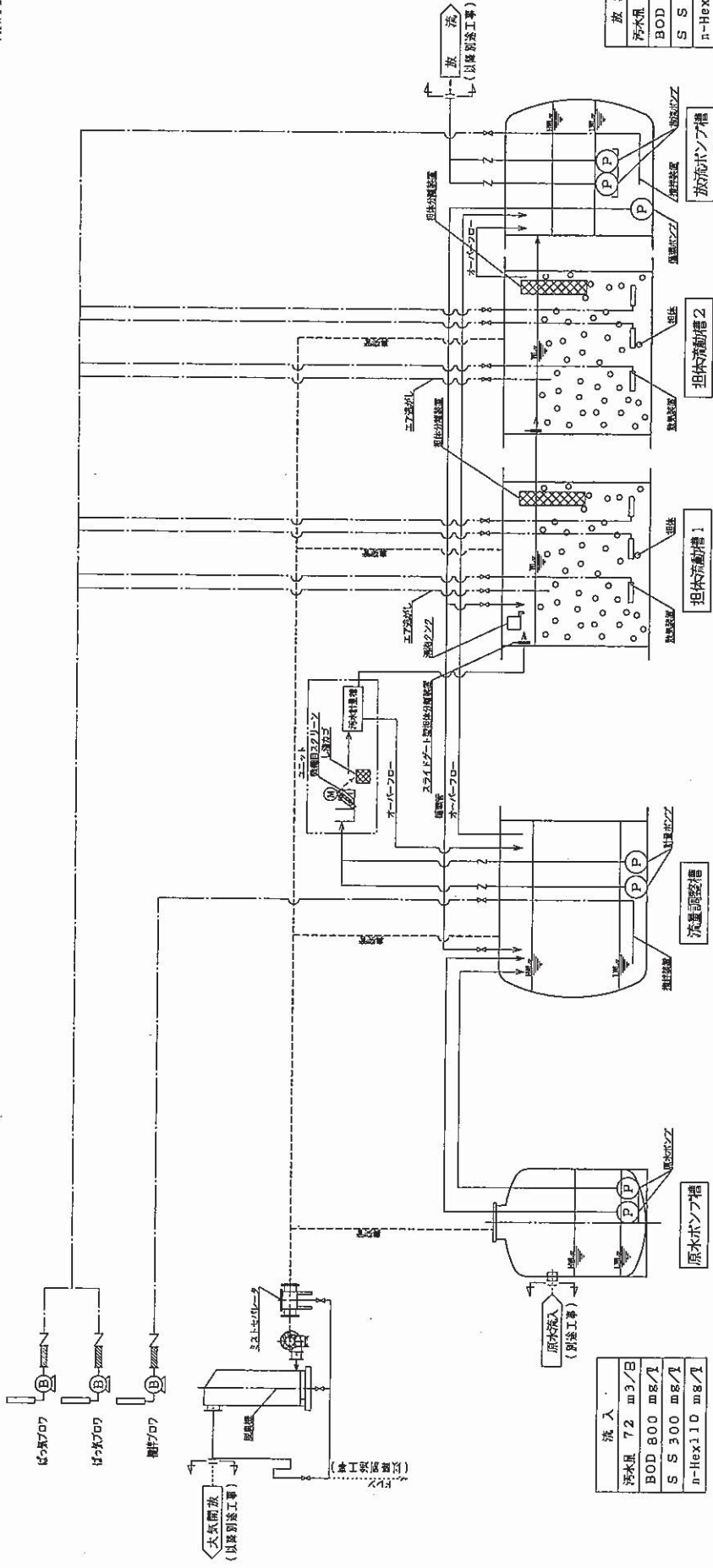
機器名称	運転方法
ばっ気ブロワ	自動交互連続運転及び間欠運転・2台同時運転可
攪拌ブロワ	手動及び自動運転
原水ポンプ	手動及び自動交互及び満水時同時運転
計量ポンプ	手動及び自動交互及び満水時同時運転
放流ポンプ	手動及び自動交互及び満水時同時運転
循環ポンプ	タイマーによる自動運転 手動及び自動
微細目スクリーン	計量ポンプ連動運転
脱臭装置	連続運転

4. 付属設備一覧

槽名称	付属設備
原水ポンプ槽	攪拌装置、ポンプ、フロート
流量調整槽	計量調整装置、攪拌装置、ポンプ、フロート
担体流動槽	担体、散気装置、担体分離装置、フロート
放流ポンプ槽	攪拌装置、ポンプ、フロート

変更履歴
 2.
 3.
 4.
 5.

TKW1345C



流入	
汚水量	72 m ³ /日
BOD	800 mg/l
S S	300 mg/l
n-Hex	110 mg/l

放流 (基準値)	
汚水量	72 m ³ /日
BOD	600 mg/l
S S	600 mg/l
n-Hex	30 mg/l

フローシート

工事名称 ナショナルトレーニングセンター(白鳥)建設工事計画
 厨房除害設備
 その他附属設備(衛生)工事

名称 フローシート図

設計年月日 H22.02.

縮尺 N.S

TKW1345C-X

主要原案

1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

排水処理装置 TKW1345C

処理水量	72.0	m ³ /d
処理速度		
処理時間		
処理水量 (mg/L)	BOD S S P-H	
	800 300 110	
処理水量 (mg/L)	S S S S S S	
	600 600 600 600 600 600	

設備名称	実効容量
G.P. 曝気装置	2.62 m ³
R.T. 脱硝装置	48.36 m ³
H.P. 脱色装置	48.21 m ³
H.P. 脱色装置	3.60 m ³

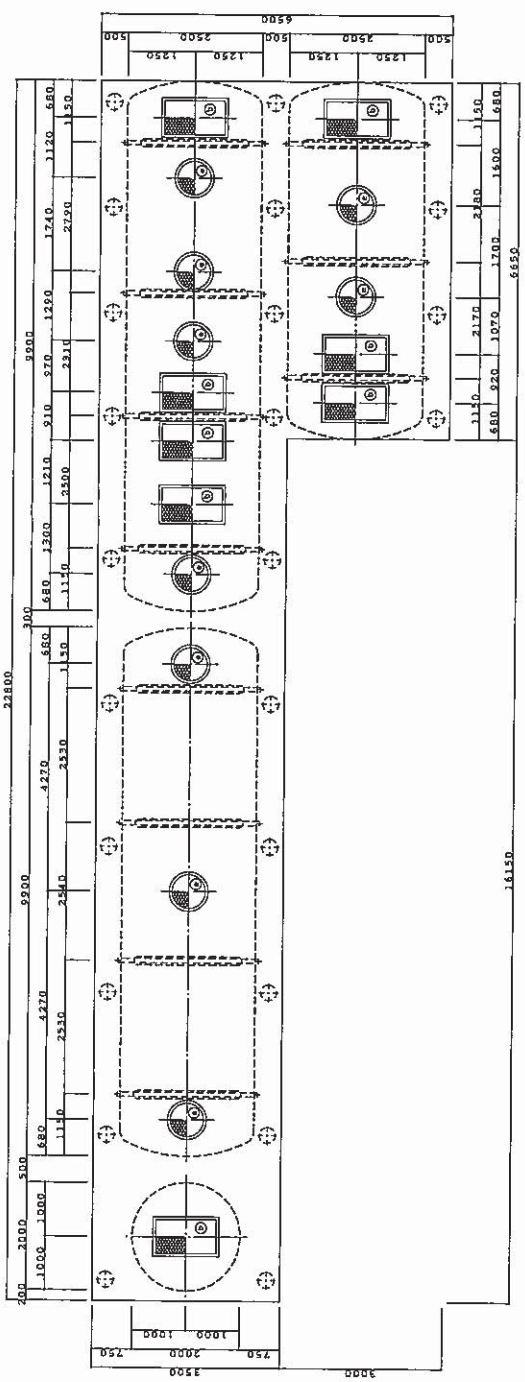
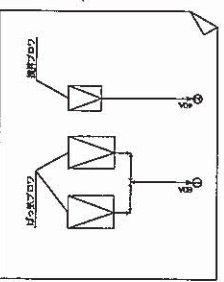
規格名称	仕 様
曝気装置	60A x 3, 76W x 5, 70W x 24
脱硝装置	40A x 1, 10W x 1, 50W x 14
脱色装置	50A x 0, 34W x 0, 75W x 24
脱色装置	50A x 0, 34W x 0, 75W x 24
脱色装置	40A x 0, 14W x 0, 25W x 24
脱色装置	40A x 0, 14W x 0, 25W x 24
脱色装置	150A x 7, 0W x 0, 40W x 14
脱色装置	650W x 650D x 1650H x 14

設備	寸 法	設置位置	材質
G	700 x 1,200	9,500W x 1,800D	FRP
B	600	9,500W x 1,800D	FRP

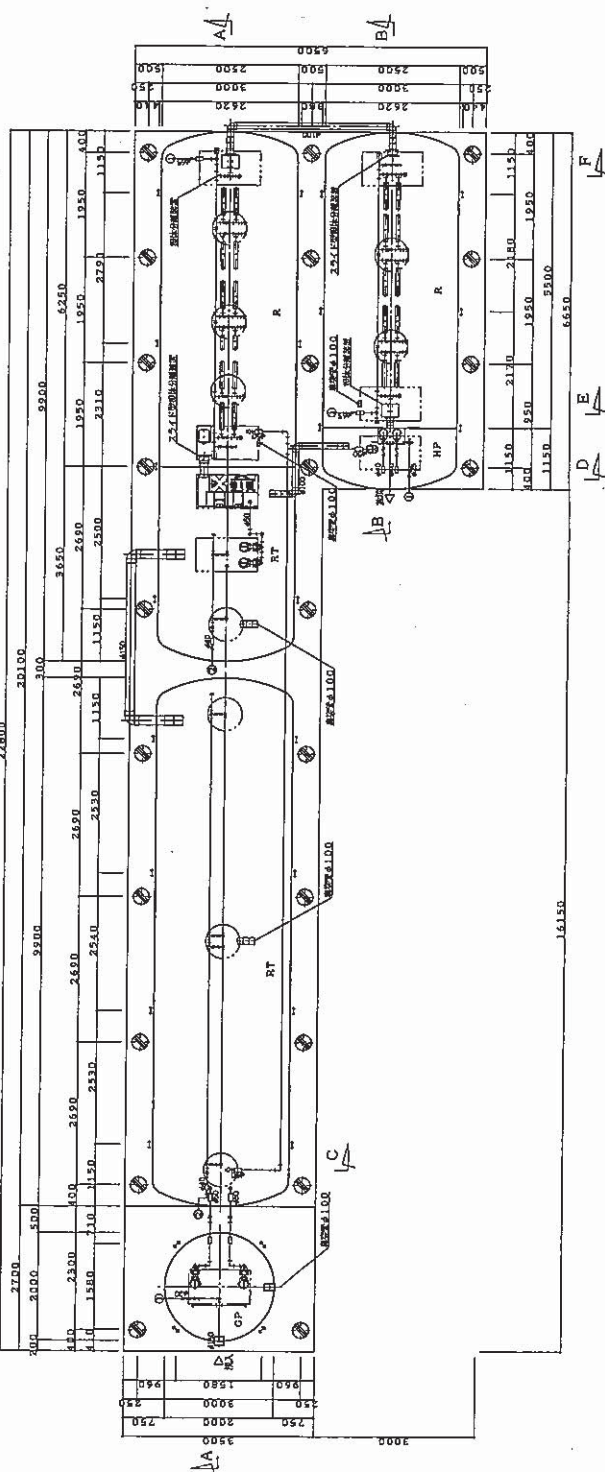
設備仕様 (ワロワロ) SGP
 設置位置: 655H1-VF-075H1-VI
 種別: X-付仕様

- 注1) 仕様は T-20 規格とする。
- 注2) 脱硝装置は3相900Vとする。
- 注3) 脱硝装置の寸法は図面に示す。
- 注4) 脱硝装置の寸法は 90 ㎝以内とする。
- 注5) 脱硝装置、脱色装置は、水切とする。
- 注6) 脱色装置は、脱色装置は、水切とする。
- 注7) 脱色装置は、脱色装置は、水切とする。
- 注8) 脱色装置は、脱色装置は、水切とする。
- 注9) 脱色装置は、脱色装置は、水切とする。

ブロウ通り配管図



平面図 1/50



立面図 1/50

工事名称: ナショナルトレーニングセンター 他施設建設計画
 その他施設設備 (衛生) 工事

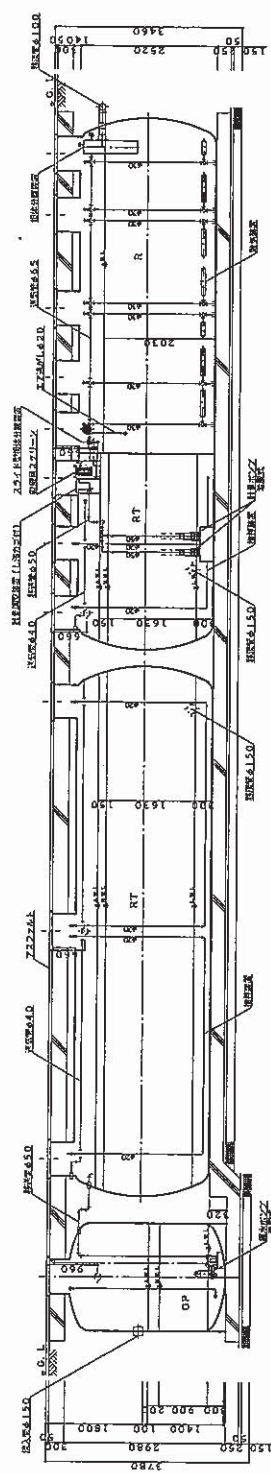
名称: 厨房除害設備
 構造図 1

設計年月日: H22.02.
 図番: TKW1345C-F1

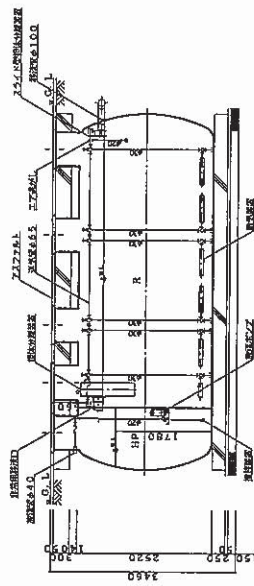
縮尺: 1/50

アサヒ工業株式会社

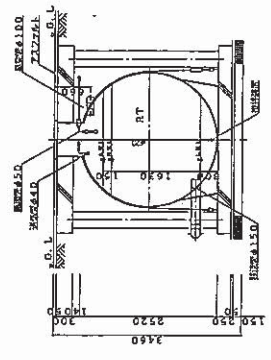
TKW1347C



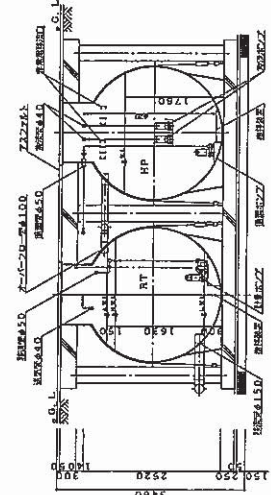
A-A断面図 1/50



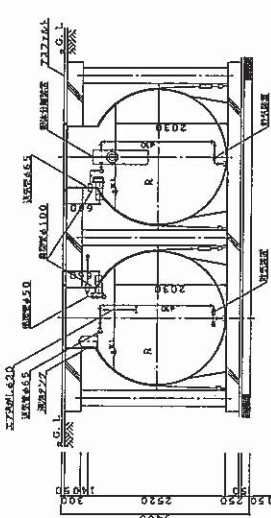
B-B断面図 1/50



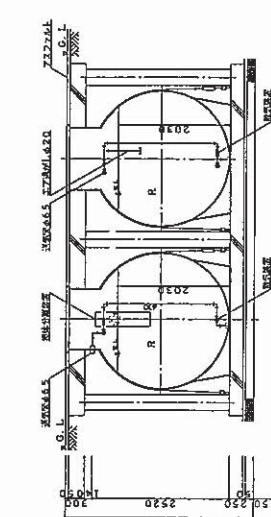
C-C断面図 1/50



D-D断面図 1/50



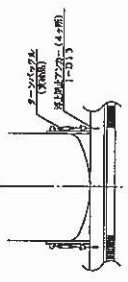
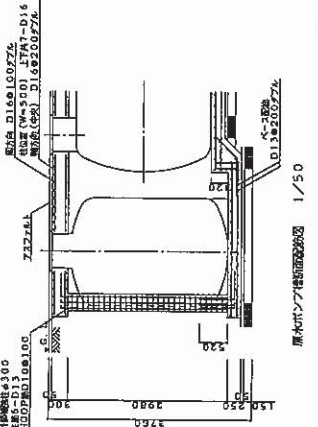
E-E断面図 1/50



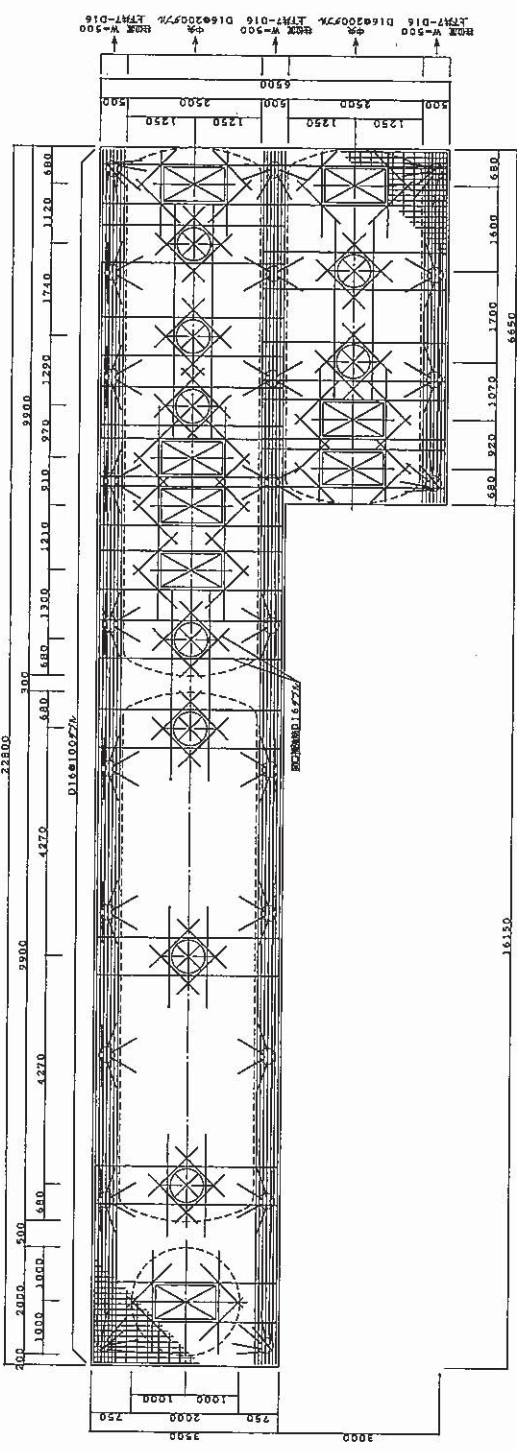
F-F断面図 1/50

工事名称	ナショナルレニシングセンター自治体建築計画 その附属施設 (衛生) 工事		
名称	厨房除害設備		
設計年月日	H22.03		
設計	図	表	欄 1/50
TKW1347C-P2			
アヅハ-工業株式会社			

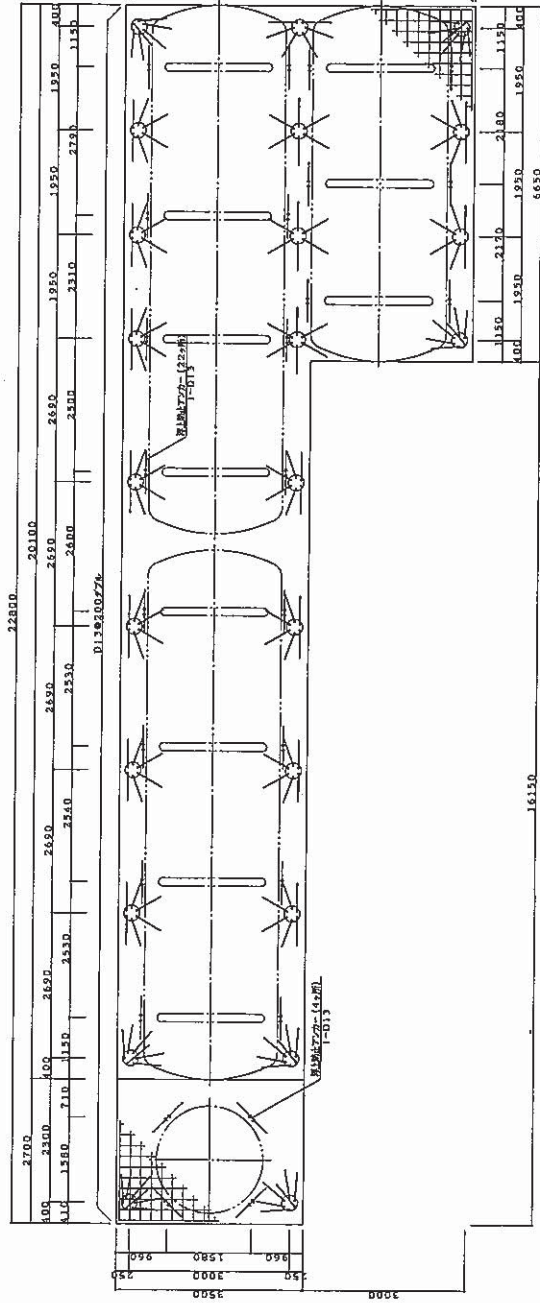
1	変更履歴
2	
3	
4	
5	



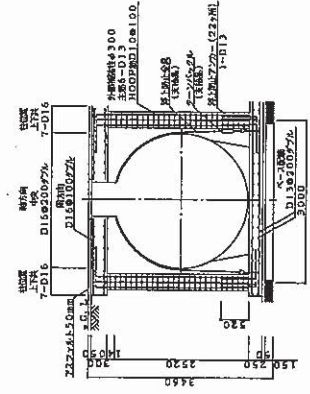
基礎スラブ配筋断面図 1/50



スラブ配筋図 1/50



スラブ配筋図 1/50

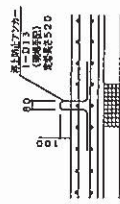


柱配筋断面図 1/50

TXWH1345C

一般事項	FC=21N/mm ²
コンクリート	SD295A
鉄筋	A374
細目筋	A374 40
圧入距離	K=260
圧入深さ	40d
圧入位置	100%RC 40-0

(注) 図中の G.L. は基礎面直下の仕上レベルを示す

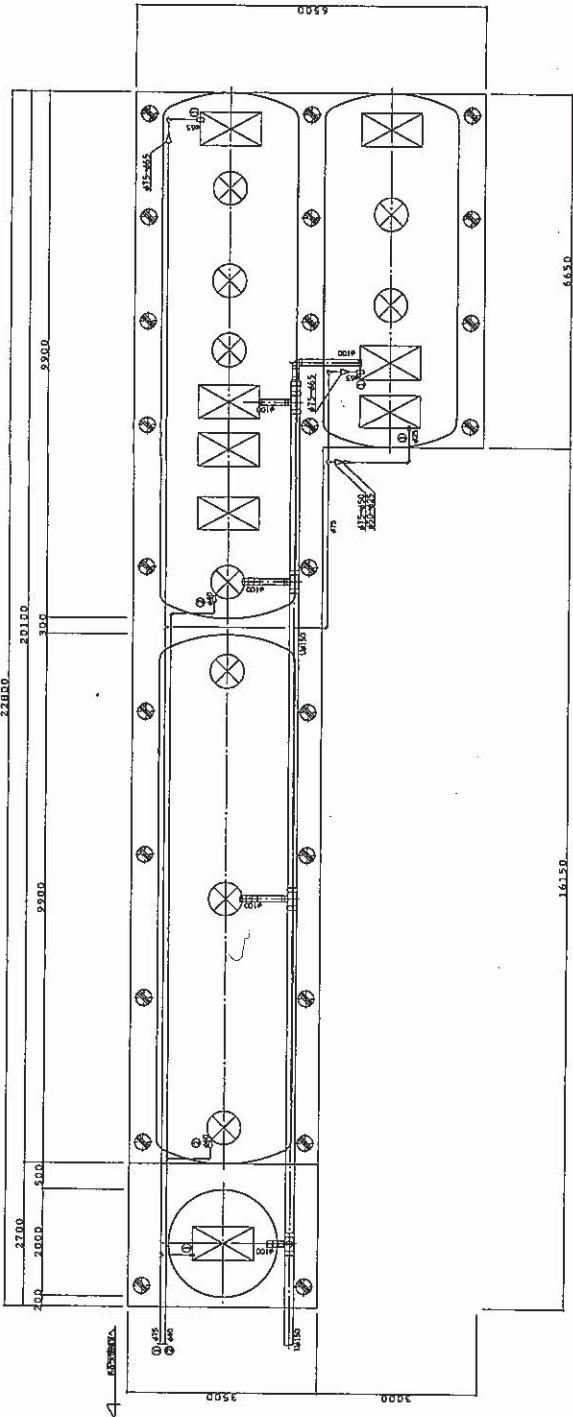


スラブ止アγκ配筋図 1/30

工事名称	テリトリーレーニングセンター（高層建設） その他建設設備（衛生）工事		
名称	厨房除害設備		
設計年月日	図	製	保
H22.02.28	寸	相	尺
	1	5	0
TXWH1345C-H			図

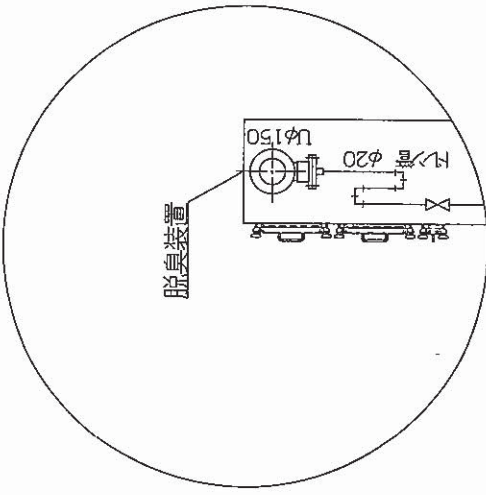
アグリフ工業株式会社

1.	作業原簿
2.	
3.	
4.	
5.	

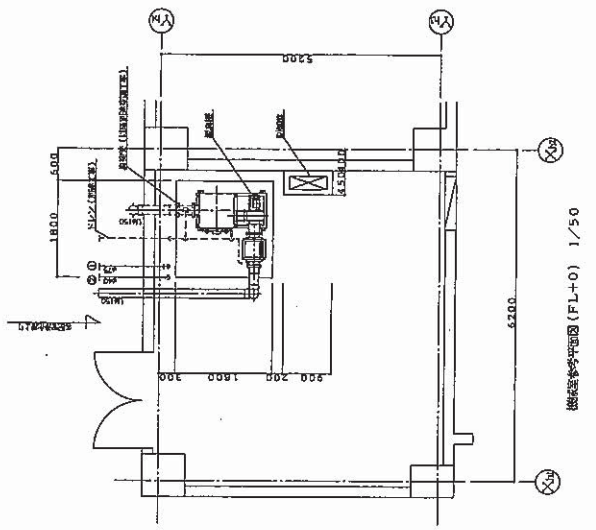


配管系統図 1/50

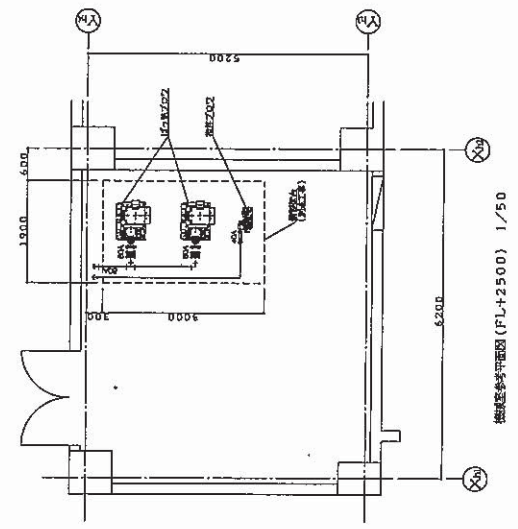
A表示.....設備用配管線管 (SCP等)
 △表示.....器具用配管線管 (VVP等)
 □表示.....器具用配管線管 (VUP等)



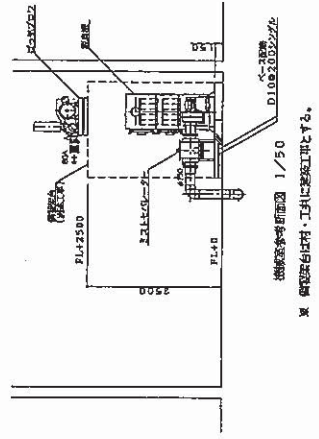
脱臭装置付ガスライン工事断面図



機室基準平面図 (FL+0) 1/50



機室基準平面図 (FL+2500) 1/50



機室基準断面図 1/50

* 備品架台付付、工事に要領工事とする。

工事名称	ナショナルトレートレーニンングセフ二倍自動燃焼器取付工事 その他機室設備 (衛生) 工事	
名称	厨房除害設備	
設計年月日	図	納
H22.02.	図	納
縮尺	縮尺 1/50	
番	図 TKN13450-A	

アサヒ工業株式会社

水処理装置の保守点検

機器別点検項目

1 冷却水処理装置

点 検 部 位	点 検 項 目	
薬注ポンプ	1	ポンプヘッド点検
	2	ダイヤフラム損傷等の点検、分解清掃
	3	サクシオン側継手部点検、分解清掃
	4	デリベリ側継手部点検、分解清掃
	5	エア抜き部点検、分解清掃
	6	吐出量調整ダイヤル作動点検
	7	モーター作動点検
	8	メインフレーム点検
薬液タンク	1	内部目視点検
	2	サクシオンバルブ作動点検
	3	薬液投入口、蓋点検
	4	本体の損傷、漏れ点検
その他	1	サイフォン止めチャッキ弁作動点検
	2	ブレードホース損傷、継手部漏れ点検
操作盤	1	ブレーカー作動点検
	2	サーマル、マグネット作動点検
	3	タイマー作動、設定確認
	4	スイッチ作動点検
	5	各種表示灯状況確認
	6	配線、端子の損傷と緩み状況点検

2 自動型硬水軟水化装置

点 検 部 位	点 検 項 目	
本体	1	各部水漏れ点検
	2	接続配管、継手部点検
	3	圧力計作動点検
	4	接続チューブ、スリーブ点検
	5	エゼクタ作動、エゼクタパッキン点検
	6	アッパーピストンバルブ作動点検
	7	ローアピストンバルブ作動点検

	8	バルブモーター作動点検	
	9	アクチュエーター作動点検	
	10	ドライブカム作動点検	
	11	リミットスイッチ作動点検	
	12	コントロールタイマー作動点検	
	13	コントロールボックス作動点検	
	14	樹脂性能検査	
再生剤溶解槽	1	槽本体破損、水漏れ点検	
	2	支持石、砂確認	
	3	フートチャッキ弁作動点検	
	4	オーバーフローパイプ部点検	
総合運転調整	1	再生行程確認	逆洗
	2		薬注、押出し
	3		洗浄
	4		注水
	5	硬度判定	

3 水質分析

名 称	摘 要
①JISS	
一般水質分析(20検体)	2系統 月1回(4~11月)
	1系統 月1回(12~3月)
レジオネラ属菌分析(8検体)	2系統 年2回(CT-1~2)
	4系統 年1回(CT-3~6)
②NTC屋内トレセン	
一般水質分析(64検体)	6系統 月1回(4~11月)
	4系統(CT1-3~4、CT2-1~2) 月1回(12~3月)
レジオネラ属菌分析(12検体)	6系統 年2回
③NTC宿泊施設	
一般水質分析(36検体)	3系統 月1回(4~11月)
	1系統(CT) 月1回(12月~3月)
レジオネラ属菌分析(12検体)	3系統 年2回

水処理装置等一覧

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
	型式	規格	数量	
冷却塔（屋内トレーニングセンター）	SKB-150GS	冷却容量 983kW 出力 5.5kW	4 台	空研工業(株)
	SKB-150S	冷却容量 686kW 出力 3.7kW	2 台	
● 冷却塔（宿泊施設） （東棟 R階） CT-1	圧縮式用超低騒音型・密閉配管型 騒音値 冷却能力 冷却水量 水平震度 付 属 品	66.0dB (A) 本体側面より 2m、高さ 1.5m 907kW 2600 / min (37.0°C→32.0°C) 外気温度 27.0°C (WB) 2.0G スプリング防振架台 3 φ 200V・(5.5+1.5)x2 kW 1 φ 100V・16W	1 台	空研工業(株)
● 冷却水処理装置 （宿泊施設） （直だき吸収冷温水機 系統）	38mL / min × タンク容量	1MPa 150L 1 φ 200V・0.2kVA	2 台	東西化学産業(株)

水冷スクリー冷却機保守点検業務実施要領

1 オンライン診断・監視

オンライン診断監視装置を使って保守機器の運転状況をエアネットコントロールセンターにて24時間体制で監視し、保守機器の故障を予知・予防するとともに、下記の事項を行う。

- (1) 異常及び故障予知発報時の出動
- (2) 運転データの定期報告
- (3) 運転データを蓄積・分析し保全計画を提案する。

2 オフライン定期点検作業

(1) オンライン診断・監視できないか所、項目を現地で点検する。それぞれの項目の点検回数は、下記のとおりとする。

(ア) 運転調整作業	年2回
(イ) 運転日誌の分析	年2回
(ウ) ユニット全体のガス漏れ確認	年2回
(エ) 振動騒音測定	年2回
(オ) 膨張弁調整	年2回
(カ) モーター部測定、点検作業	年2回
(キ) 保護装置動作確認作業	年2回
(ク) 高圧盤各部点検、動作確認	年2回

(2) 下記項目については、オンライン診断データを基に、エアネットオンライン診断報告書にて報告する。

- (ア) 各部温度データ
- (イ) 各部圧力データ
- (ウ) 圧縮機運転積算時間データ

3 整備作業 (年1回)

- (1) 安全弁の試験
- (2) 圧力計、練成計の試験
- (3) 溶液分析

4 その他の点検作業

- (1) 空気熱交換器薬品洗浄
 - (ア) コンデンサーブラシ洗浄

- (2) 通常整備作業

定期点検作業以外の点検、補修、整備等をいい、その主たるものは下記のとおりとする。

- (ア) 消耗部品の調達及び交換、調整修復作業、潤滑油等
- (イ) 故障発生時の修復作業
- (ウ) 消耗、疲労等により障害発生が予測される箇所の調整修復作業
- (エ) 正常運転するための冷媒、油の補充

冷水器点検内容及び設置場所

I 点検内容

- 1 コンデンサーの清掃
- 2 外装清掃
- 3 電気回路絶縁抵抗値測定
- 4 運転電流測定
- 5 水漏れ検査
- 6 冷水サーモスタットのチェック
- 7 水量調整
- 8 冷水タンクドレン作業
- 9 タイマー作動確認
- 10 電磁弁作動確認
- 11 残留塩素測定
- 12 冷媒ガスリークチェック

II 設置場所

- 1 国立スポーツ科学センター屋内施設

1F	リハビリテーション室	P8AM	1台
2F	アスリート更衣室前廊下	P8AM	1台
3F	研究体育館前ホール	P8AM	1台
4F	トレーニング体育館前廊下	P8AM	1台

- 2 国立スポーツ科学センター屋外施設

テニス場クラブハウス 1F	ホール	RWF-D51P	1台
---------------	-----	----------	----

- 3 屋内トレーニングセンター

B1F	ウェイトトレーニング	P8AM	1台
	ラウンジ(1)	P8AM	1台
	ラウンジ(2)	P8AM	1台
1F	柔道場	P8FA	3台
	ラウンジ(1)	P8AM	1台
2F	ラウンジ(1)	P8AM	1台
	ラウンジ(2)	P8AM	1台
3F	ラウンジ(1)	P8AM	1台
	ラウンジ(2)	P8AM	1台

送風機設備一覧

送排風機

104 台

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数	設置場所
		形式	設置位置	サイズ φ #	風量 m ³ /H	静圧 mmH ₂ O	相一電圧 φ-V	出力 kW		
FR-B1-1	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	6	39,800	58	3-200	15	1	B2Fろ過機室
FR-B1-2	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	6	37,500	34	3-200	11	1	B2Fろ過機室
FR-B1-5	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	3	9,190	47	3-200	3.7	1	B2Fローイングタンク
FR-B1-6	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	4・1/2	14,000	35	3-200	3.7	1	B1FAC機械室
FR-1-1	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	3	7,450	37	3-200	3.7	1	1FAC機械室(3)
FR-1-2	レターンファン	斜流送風機形	床置	2・1/2	5,380	33	3-200	32.2	1	1FAC機械室(4)
FR-1-3	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	6	36,000	54	3-200	15	1	4FAC機械室(3)
FR-1-4	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	6	35,500	53	3-200	15	1	4FAC機械室(4)
FR-3-1	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	5・1/2	27,600	35	3-200	11	1	3FAC機械室(2)
FR-3-2	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	5	28,500	37	3-200	15	1	6FAC機械室(2)
FRS-1-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,100	21	3-200	0.75	1	1FAC機械室(1)
FRS-6-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	1,850	13	3-200	0.4	1	6FAC機械室(1)
FRE-B1-1	レターン排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1・1/2	120	29	3-200	0.4	1	B1FFAC機械室
FRE-B1-2	レターン排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	240	10	3-200	0.035	1	B1MRI室
FRE-1-2	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,220	24	3-200	0.75	1	1FAC機械室(2)
FRE-2-1	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	1	530	18	1-100	0.4	1	2FAC機械室(2)
FRE-3-1	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	1・1/2	1,070	22	1-100	0.4	1	3FAC機械室(1)
FRE-3-3	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1・1/4	360	23	1-100	0.2	1	3FAC機械室(1)
FS-B2-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	5	17,200	29	3-200	5.5	1	B2FACろ過機室
FS-B2-2	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,690	17	3-200	0.75	1	B2FAC受水槽室系統
FE-5-1	排気ファン	軸流送風機形(浴室用)	天吊		100	7	1-100	0.031	40	
FE-6-1	排気ファン	軸流送風機形(浴室用)	天吊		100	7	1-100	0.031	40	
FSM-6-1	排煙機	軸流式ルーフファン	床置	560	7,200	12	3-200	1.5	1	
FSM-6-2	排煙機	軸流式ルーフファン	床置	560	7,200	12	3-200	1.5	1	
FSM-R-1	排煙機	片吸込遠心送風機形	床置	3・1/2	10,600	95	3-200	5.5	1	
FSM-R-2	排煙機	片吸込遠心送風機形	床置	5	11,700	80	3-200	3.7	1	

送風機設備一覧(屋内トレーニングセンター)

209 台

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
	型式	規格	数量	
送風機				株ミツヤ送風機製作所
シロッコファン類	MF#31/2-4	遠心送風機 風量 12,000m ³ /h 電源出力3Φ200V 3.7kW	1	
	MF#41/2-4	遠心送風機 風量 21,600m ³ /h 電源出力3Φ200V 11kW	1	
	MF#21/2-4	遠心送風機 風量 12,000m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MF#31/2-4	遠心送風機 風量 11,200m ³ /h 電源出力3Φ200V 3.7kW	1	
	NM#11/2-1	遠心送風機 風量 2,100m ³ /h 電源出力3Φ200V 0.75kW	1	
	APS#1120-1	遠心送風機 風量 63,500m ³ /h 電源出力3Φ200V 11kW	1	
	MFU#2001-1	遠心送風機 風量 3,000m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MFU#1501-1	遠心送風機 風量 1,800m ³ /h 電源出力3Φ200V 0.75kW	2	
	MFU#1501-1	遠心送風機 風量 2,100m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MF#31/2-4	遠心送風機(排気) 風量 12,000m ³ /h 電源出力3Φ200V 3.7kW	1	
	MF#41/2-4	遠心送風機(排気) 風量 21,600m ³ /h 電源出力3Φ200V 11kW	1	
	MF#31/2-4	遠心送風機(排気) 風量 11,200m ³ /h 電源出力3Φ200V 3.7kW	1	
	NM#11/2-1	遠心送風機(排気) 風量 2,100m ³ /h 電源出力3Φ200V 0.75kW	1	
	VFM#11/2-1	遠心送風機(排気) 風量 15,500m ³ /h 電源出力3Φ200V 7.5kW	1	
	MFU#2001-1	遠心送風機(排気) 風量 3,000m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MFU#1501-1	遠心送風機(排気) 風量 1,800m ³ /h 電源出力3Φ200V 0.75kW	2	
	MFU#1501-1	遠心送風機(排気) 風量 2,100m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MF#11/2-4	遠心送風機(排気) 風量 2,600m ³ /h 電源出力3Φ200V 1.5kW	1	
	MF#11/2-4	遠心送風機(排気)	1	

		風量 1,400m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.75kW		
	MF#1-4	遠心送風機(排気)	6	
		風量 750m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.4kW		
	MFU#2001-1	遠心送風機(排気)	1	
		風量 3,350m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 1.5kW		
	MFU#2001-1	遠心送風機(排気)	1	
		風量 2,200m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.75kW		
	LLE#8-4M	遠心送風機	1	
	(排煙機)	風量63,000m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 30kW		
消音ボックス付類	HFS-90SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量450m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.15kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.27kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量150m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.045kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量550m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	4	
		風量450m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	4	
		風量350m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	3	
		風量400m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	6	
		風量250m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機	4	
		風量400m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.045kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機	4	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.045kW		
	HFS-150TU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量1250m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.3kW		
	HFS-120TU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量400m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.24kW		
	HFS-150SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量1000m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.3kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量500m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.15kW		
	MFU#1501-1	消音ボックス付送風機(排気)	1	

		風量2050m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.75kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量150m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.27kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量450m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.27kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.15kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量100m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.045kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	2	
		風量500m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	3	
		風量550m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-320TU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量2500m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 1.0kW		
	HFS-150SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量1000m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.3kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	5	
		風量350m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.15kW		
	HFS-100SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量250m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.18kW		
	HFS-260TU	消音ボックス付送風機(排気)	3	
		風量2300m ³ /h		
		電源出力3Φ 200V 0.75kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機(排気)	3	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.045kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	4	
		風量450m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	3	
		風量400m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	2	
		風量600m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.065kW		
	HFS-150SU	消音ボックス付送風機(排気)	2	
		風量1100m ³ /h		
		電源出力3Φ 100V 0.3kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機(排気)	4	

		風量250m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.065kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機(排気)	2	
		風量400m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.045kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量550m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.15kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機(排気)	1	
		風量150m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.045kW		
	HFS-50SU	消音ボックス付送風機(排気)	2	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.045kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量150m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.27kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量250m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.27kW		
	HFS-120SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.27kW		
	HFS-150SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.3kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量250m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.15kW		
	HFS-90SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.15kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	5	
		風量200m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量150m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.065kW		
	HFS-65SU	消音ボックス付送風機	1	
		風量260m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.065kW		
有圧扇・天井扇	EF-40ETB2-Q	有圧換気扇	1	三菱電機(株)
		風量2900m ³ /h		
		電源出力3Φ200V 0.4kW		
	EF-40DTB2	有圧換気扇(排気)	1	
		風量2900m ³ /h		
		電源出力3Φ200V 0.2kW		
	BFS-80WSU	消音ボックス付送風機	18	
	(同時給排気)	風量500m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.2kW		
	VD-10ZC7	天井埋込形換気扇	4	
		風量50m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.0084kW		
	VD-20ZC7	天井埋込形換気扇	2	
		風量300m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.039kW		
	EF-40ETB2-Q	有圧換気扇	2	
		風量350m ³ /h		
		電源出力3Φ100V 0.025kW		
デリバントファン	DPAC-040PF-50-37S	デリバントファンユニット	8	日本フレクト(株)

		風量5400m ³ /h		
		電源出力3Φ200V 3.7kW		
	DPAC-040PF-50-55S	デリバントファンユニット	2	
		風量6500m ³ /h		
		電源出力3Φ200V 5.5kW		
	DPAC-045PF-50-55S	デリバントファンユニット	2	
		風量7300m ³ /h		
		電源出力3Φ200V 5.5kW		
全熱交換器類				三菱電機(株)
	LPB-350KX3-50	床置ビルトイン形 加湿付タイプ	1	
		給排気量 3,000m ³ /h		
		消費電力3Φ200V 2.09kW		
	LPB-350KX3-50	床置ビルトイン形 加湿付タイプ	1	
		給排気量 2,700m ³ /h		
		消費電力3Φ200V 2.09kW		
	LPB-500KX3-50	床置ビルトイン形 加湿付タイプ	1	
		給排気量 4,500m ³ /h		
		消費電力3Φ200V 3.99kW		
	LPB-500KX3-50	床置ビルトイン形 加湿付タイプ	1	
		給排気量 4,000m ³ /h		
		消費電力3Φ200V 3.99kW		
	LPB-500KX3-50	床置ビルトイン形 加湿付タイプ	1	
		給排気量 3,800m ³ /h		
		消費電力3Φ200V 3.99kW		
	LGH-15RX4	天吊埋込形 マイコンタイプ	1	
		給排気量 100m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.091kW		
	LGH-25RX4	天吊埋込形 マイコンタイプ	2	
		給排気量 200m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.114kW		
	LGH-25RKX3	天吊埋込形 マイコンタイプ	5	
		給排気量 250m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.115kW		
	LGH-50RKX3	天吊埋込形 マイコンタイプ	6	
		給排気量 300m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.215kW		
	LGH-50RKX3	天吊埋込形 マイコンタイプ	6	
		給排気量 350m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.215kW		
	LGH-50RKX3	天吊埋込形 マイコンタイプ	7	
		給排気量 400m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.225kW		
	LGH-65RKX3	天吊埋込形 マイコンタイプ	12	
		給排気量 450m ³ /h		
		消費電力3Φ100V 0.3kW		

送風機設備一覧(宿泊施設)

65 台

名称	型式・規格・数量等	製造業者名
●コンパクト形空気調和機 ●定風量装置 CAV-1	形式 風速センサー式(全閉機能付) 風量 150m ³ /h 1φ100V・8.2VA	1台 17台 新晃工業(株) 東プレ(株)
CAV-2	風速センサー式(全閉機能付) 風量 200m ³ /h 1φ100V・8.2VA	2台
CAV-3	風速センサー式(全閉機能付) 風量 300m ³ /h 1φ100V・8.2VA	4台
CAV-4	風速センサー式(全閉機能付) 風量 400m ³ /h 1φ100V・8.2VA	1台
CAV-5	風速センサー式(全閉機能付) 風量 650m ³ /h 1φ100V・8.2VA	5台
CAV-6	風速センサー式(全閉機能付) 風量 750m ³ /h 1φ100V・8.2VA	7台
CAV-6	風速センサー式(全閉機能付) 風量 750m ³ /h 1φ100V・8.2VA	7台
CAV-7	風速センサー式(全閉機能付) 風量 900m ³ /h 1φ100V・8.2VA	10台
CAV-8	風速センサー式(全閉機能付) 風量 1000m ³ /h 1φ100V・8.2VA	2台
CAV-9	風速センサー式(全閉機能付) 風量 1150m ³ /h 1φ100V・8.2VA	7台
CAV-10	風速センサー式(全閉機能付) 風量 1250m ³ /h 1φ100V・8.2VA	2台

送風機設備一覧(宿泊施設南館)

126 台

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
●定風量装置 CAV-1	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 100m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	東ブレ(株)
CAV-2	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1350m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-3	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 700m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-4	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 700m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-5	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1250m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-6	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 300m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-7	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 2000m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-8	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1250m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-9	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 300m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-10	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1400m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-11	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 450m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-12	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 600m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-13	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 300m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	
CAV-14	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 900m ³ /h 1φ100V・6.0VA	1	台	

CAV-15	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1900m ³ /h 1φ100V・6.0VA	3	台	
CAV-16	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 450m ³ /h 1φ100V・6.0VA	3	台	
●定風量装置 CAV-17	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 1000m ³ /h 1φ100V・6.0VA	3	台	東プレ(株)
CAV-18	風速センサー式(消音BOX、全閉機能付) 風量 350m ³ /h 1φ100V・6.0VA	3	台	
●消音ボックス付送風機 FS-1(1F機械室系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2× 900 m ³ /h x 150 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.22kW	1	台	パナソニックエコシステムズ(株)
FS-2(2,3F脱衣室(1)(2)(3)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4× 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.051kW	3	台	
●遠心送風機 FS-S-1(B1F受水槽室系統)	片吸込天吊形 極数 4P #1 1/2× 1900 m ³ /h x 200 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.75kW	1	台	株ミツヤ送風機製作所
FS-S-2(1F 一般ゴミ庫系統)	片吸込両持形 極数 4P #1 1/2× 1800 m ³ /h x 200 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.4kW	1	台	
●消音ボックス付送風機 FS-S-3(1F 生ゴミ庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2× 1150 m ³ /h x 150 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.262kW	1	台	パナソニックエコシステムズ(株)
FS-S-4(2F 倉庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2× 600 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.138kW	1	台	
FS-S-5(3F 倉庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2× 1350 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.262kW	1	台	
●遠心送風機 FS-S-6(4F電気室系統)	片吸込天吊形 極数 4P #3/4× 5400 m ³ /h x 200 Pa 付属品 スプリング防振架台 3φ200V・1.5kW	1	台	株ミツヤ送風機製作所
●消音ボックス付送風機 FE-1(1F機械室系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2× 900 m ³ /h x 150 Pa 付属品 防振吊り金具	1	台	パナソニックエコシステムズ(株)

	3φ200V・0.220kW		
FE-2(2F ランドリー(2)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×500 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1	台
FE-3(3F ランドリー(5)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×500 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1	台
●換気扇 FE-4(1F 食品庫系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 200 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.37kW	1	台
●遠心送風機 FE-5 (1F 洗浄室他系統)	片吸込床置形 極数 4P #2 1/2×7300 m ³ /h x 450 Pa 付属品 スプリング防振架台 3φ200V・3.7kW	1	台
●消音ボックス付送風機 FE-6(1F 採尿室1、2系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×300 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.051kW	2	台
●遠心送風機 FE-7 (1F 食堂系統)	片吸込天吊形 極数 4P #2 1/2×5100 m ³ /h x 300 Pa 付属品 スプリング防振架台 3φ200V・2.2kW	1	台
●消音ボックス付送風機 FE-8(1F M-WC系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×350 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1	台
FE-9(1F F-WC系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.051kW	1	台
FE-10(1F 多目的WC系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 ×150 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.031kW	1	台
●換気扇 FE-11(2,3,4,5,6,7F EPS系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 200 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.34kW	6	台
●消音ボックス付送風機 FE-12(2F ランドリー(1)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4×450 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1	台

●換気扇 FE-13(2F 倉庫(1)系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.042kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
FE-14(2,3F 宿泊室2系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 100 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.0295kW	24 台	
FE-15(2,3F 個室系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 50 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.020kW	9 台	
FE-16(2F 倉庫(2)系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 100 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.027kW	1 台	
●消音ボックス付送風機 FE-17(2F WC・洗面系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 x 600 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.096kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
●換気扇 FE-18(3F 倉庫(3)(4)系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 100 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.027kW	2 台	パナソニックエコシステムズ(株)
●消音ボックス付送風機 FE-19(3F ランドリー(3)(4)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 x 350 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	2 台	パナソニックエコシステムズ(株)
FE-20(3F WC・洗面系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 x 600 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.096kW	1 台	
FE-21(3F WC・洗面系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 x 550 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1 台	
FE-22(2,3Fシャワーブース (1)(2)(3)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P 耐湿 #1 1/4 x 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.051kW	3 台	
●換気扇 FE-23(4F マッサージ室系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 150 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.027kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
FE-24(4F ランドリー(6)系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具	1 台	

	1φ100V・0.042kW		
●消音ボックス付送風機 FE-25(4Fランドリー(7)系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 × 450 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.073kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
●換気扇 FE-26(4F リネン系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 200 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.042kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
●換気扇 FE-27(4F 倉庫(5)系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.042kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
FE-28(5Fマッサージ室系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 150 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.027kW	3 台	
FE-29(5~7Fランドリー系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.042kW	3 台	
FE-30(5~7Fランドリー系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 250 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.042kW	3 台	
FE-31(5~7Fリネン系統)	天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 100 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ100V・0.027kW	3 台	
●遠心送風機 FE-S-1 (B1F 受水槽系統)	片吸込天吊形 極数 4P #1 1/2 × 1900 m ³ /h x 200 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.75kW	1 台	株)ミツヤ送風機製作所
FE-S-2(1F 一般ゴミ庫系統)	片吸込天吊形 極数 4P #1 1/2 × 1800 m ³ /h x 150 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.75kW	1 台	
●消音ボックス付送風機 FE-S-3 (1F 生ゴミ庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2 × 1150 m ³ /h x 150 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.262kW	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
FE-S-4 (2F 倉庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2 × 600 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 3φ200V・0.138kW	1 台	
FE-S-5 (3F 倉庫系統)	小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2 × 1350 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具	1 台	

	3φ 200V・0.262kW		
<p>●遠心送風機 FE-S-6 (4F 電気室系統)</p>	<p>片吸込天吊形 極数 4P #3 × 5400 m³/h x 200 Pa 付属品 スプリング防振架台 3φ 200V・1.5kW</p>	1 台	(株)ミツヤ送風機製作所
<p>●消音ボックス付送風機 FE-S-7 (B1F 倉庫系統)</p>	<p>小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/4 × 450 m³/h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ 100V・0.073kW</p>	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
<p>FE-S-8 (1F 倉庫系統)</p>	<p>小型遠心送風機 天吊形 極数 4P #1 1/2 × 550 m³/h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ 100V・0.073kW</p>	1 台	
<p>●換気扇 FE-S-9 (1F 喫煙室系統)</p>	<p>天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 200 m³/h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ 100V・0.042kW</p>	1 台	パナソニックエコシステムズ(株)
<p>FE-S-10 (2F WC系統)</p>	<p>天井扇(低騒音型) 天吊形 極数 4P 100 m³/h x 100 Pa 付属品 防振吊り金具 1φ 100V・0.030kW</p>	1 台	

真空式温水発生機保守点検

1 業務概要

宿泊施設に設置された、真空式温水発生機の点検・保守業務を実施するものとする。

2 場 所

- (1) 宿泊施設
- (2) 屋内トレーニングセンター

3 施設概要

別紙3-30-1、2「設備機器配置図」参照

4 点検及び保守

- (1) 点検及び保守内容は、「建築保全業務共通仕様書（平成20年版国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修）」によるものとし、その点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は下記（表-1）によるものとする。なお、修理等の措置の項は本業務に含まないものとする。

表-1 点検及び保守

点 検 設 備	点 検 及 び 保 守 内 容	点 検 周 期
真空式温水発生機	「共仕」第2編第4章表4.2.3に記載されているものの該当事項	「共仕」の規定による。

- (2) 点検・保守の対象設備は下記（表-2）によるものとする。

表-2 点検・保守対象設備

名 称	型式・規格・数量等	製造業者名
●真空式温水発生機 (B1F 熱源機械室) (BHW-1) 宿泊施設	鋳鉄製 3回路 定格出力:2,500kw 暖房回路:525kw 50℃→60℃ 750L/min 給湯回路:1,500kw 5℃→60℃ 390L/min 昇温回路:290kw 50℃→60℃ 420L/min 最高使用圧力:700kPa 燃料消費量:3,200kw(中圧ガス13A) Hi-Lo-OFF 制御 3φ200V・11kW	2台 昭和鉄工(株)
●真空式温水発生器 (B1F ホイラー室) (BH-	鋳鉄製 3回路 定格出力:1,047kw 暖房回路:216kw 60℃→80℃	2台 昭和鉄工(株)

<p>1) 屋内トレーニングセンター</p>	<p>150L/min 給湯回路:460kw 5°C→60°C 120L/min 給湯回路:307kw 50°C→60°C 440L/min 最高使用圧力:給湯 1.0MPa、暖房・循環 0.5Mpa 燃料消費量:99.6m³/h (中圧ガス13A) Hi-Lo-OFF 制御 3φ 200V・2.2kW</p>	
----------------------------	---	--

5 特記事項

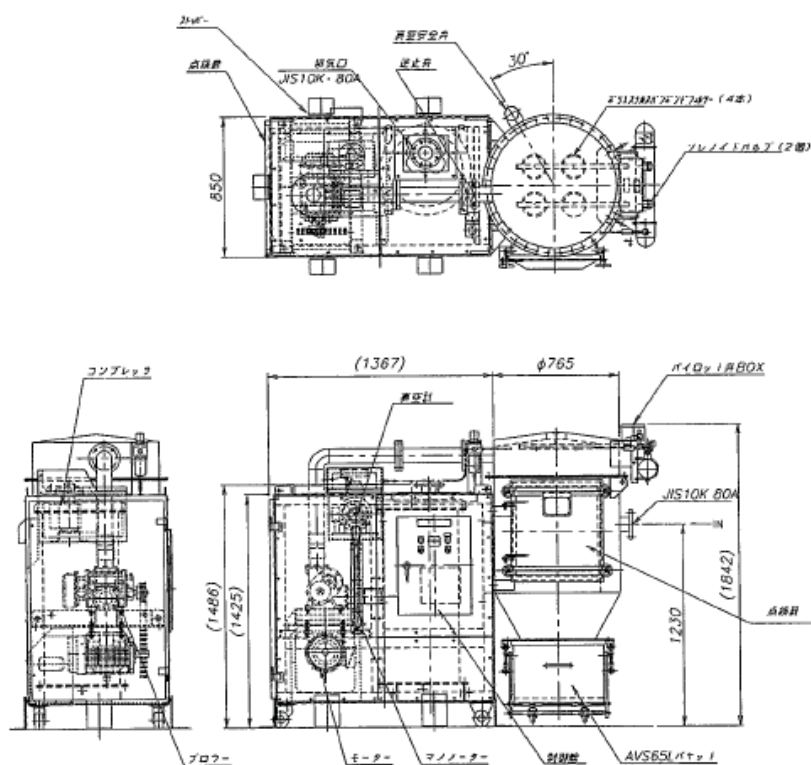
(1) 点検は、年4回行うこと。

中央集塵装置概要

1. 装置概要

本装置は、ルーツブロワを使用して建屋内各所清掃口から捕集した一般粉塵を、1箇所に回収し、清掃作業の省力化及び効率化を目的とする集塵機です。

1) 本体機器構成



各吸込口で吸引された粉塵は、空気と共に配管中を通り吸込口より本装置に入ってきます。吸込口よりバグフィルタに入った粉塵は、内部のフィルタにより粉塵と清浄な空気とに分離されます。清浄な空気は、ルーツブロワと通り排気口より排気され、捕集された粉塵はAVS65Lバケツへ貯留されます。

付帯計器としては、コンプレッサー・マンノメータ・圧力ゲージ・真空安全弁等がついています。

中央集塵装置設備一覧

名 称	型式・規格・数量等		製造業者 名
●中央集塵設備 (B1F ウェイトリフティング) (3F 体操)	一体型集塵機 処理風量:6.5 m ³ /min 粉塵吸込み箇所: B1F 壁用 4 箇所 3F 床用 18 箇所 ※最大使用 2 台同時 制御盤共 3 φ 200V・7.5kw 3 φ 200V・0.4kw	2 台	アマノ(株)
	ホータブル集塵機 (B1F ウェイトリフティング) インバーター制御風量可変式 ろ布材質:ポリエステルスパンボンド 1 φ 100V・0.4kw (モーター入力 100V、出力 200V 仕様)	6 台	
	(3F 体操) インバーター制御風量可変式 ろ布材質:ポリエステルスパンボンド 1 φ 100V・0.4kw (モーター入力 100V、出力 200V 仕様)	11 台	

水泳場浄化装置設備一覧

名 称	型式・規格・数量等		製造業者名	
●ろ過装置 (B1F 衛生機械室)	雨水ろ過	ろ過塔 SUS304 製(400φ × 1,000H) ろ過能力:6.0 m ³ /h(セラミック系ろ過剤) 3φ 200V・2.5kVA ろ過ポンプ: 40φ × 40φ × 100L/min × 20m 3φ 200V・1.5kW	1 基	東西化学産業 (株) 他
(WF-1)				
(WF-1-1)	25m フールろ過	ろ過塔:SS400 製(内面 FRP ライニング) 1,800φ × 1,525H(自動洗浄) 循環水量:80 m ³ /h(セラミック系ろ過剤)	1 基	
(WF-1-2)		ろ過塔:SS400 製(内面 FRP ライニング) 1,050φ × 1,525H(自動洗浄) 循環水量:35 m ³ /h(セラミック系ろ過剤)	1 基	
(FWP-1-1)		ろ過ポンプ: 100φ × 80φ × 1,334L/min × 22m 3φ 200V・7.5kW	1 台	
(FWP-1-2)		ろ過ポンプ: 65φ × 50φ × 0.584L/min × 18m 3φ 200V・3.7kW	1 台	
(PWS-1)		水質監視装置:残留塩素,pH,ORP 測定 測定範囲:0~3mg/L(ホーラルグラフ法) 1φ 100V・0.1kVA	1 台	
(NU-1)		清澄剤注入装置 電磁定量ポンプ:3mL/min × 1.0Mpa 1φ 200V・7W	1 式 1 台	
(NU-2)		薬品タンク:PVC 製 25L 投薬助剤注入装置 電磁定量ポンプ:65mL/min × 0.7Mpa 1φ 200V・20W	1 式 1 台	
(NU-3)		薬品タンク:PE 製 200L 投薬剤注入装置 電磁定量ポンプ:35mL/min × 0.5Mpa 1φ 200V・20W	1 式 1 台	

空気熱源回収型氷蓄熱スクリーヒートポンプ設備一覧

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
	型式	規格	数量	
スクリー冷凍機 (氷蓄熱ユニット)	NS-M510AWIR	熱回収スクリーヒートポンプ [°]	2	日本熱源システム (株)
	室内機	冷却能力 350kW		
		消費電力 1,130kW		
	GVHC 082C/2X4-N(D)	横吸込み型	2	
	室外機	スクリーヒートポンプ		

ターボ冷凍機設備一覧

名称	型式・規格・数量等			製造業者名
	型式	規格	数量	
ターボ冷凍機	HC-F300GX (成績係数 6.0 以上)	高効率型 冷凍容量 1,055kW	1	日立アプライアンス (株)
		出力 160kW		

人工炭酸泉ろ過装置保守点検

1 業務概要

屋内トレーニングセンター人工炭酸泉ろ過装置の性能を、常に最良の状態に維持するよう保守点検を行うものである。

2 場 所

屋内トレーニングセンター（地下1階：ろ過機室）

3 機種及び台数

名 称	型式・規格・数量等	製造業者名
(WF-1-1)	人工炭酸ろ過塔:FRP製 450φ×860H 循環水量:8.0 m ³ /h(セラミック系ろ過剤) ろ過ポンプ: 134L/min×17m 3φ200V・1.5kW 操作盤 3φ200V・2.5kVA	1 基 1 台
(SA-2)	高度衛生処理管理装置 1φ200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置	1 式
	電磁定量ポンプ 3L/min×1.0Mpa 1φ200V・7W	1 台
(CO-2)	炭酸泉製造装置 膜炭酸ガス溶解法 製造能力:64L/min 1φ200V・3.5kW	1 式

4 点検及び保守

点検及び保守内容は、「共仕」によるものとし、その点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は次表（表-1）によるものとする。なお、修理等の措置の項は本業務に含まないものとする。

表-1 点検及び保守

点 検 設 備	点 検 及 び 保 守 内 容	点 検 周 期
循環ろ過装置	「共仕」第2編第4章表4.5.10 に記載されているものの該当事項	「共仕」の規定による。

5 特記事項

- (1) 点検は、年2回行うこと。
- (2) 別紙「設備機器配置図」参照

ジャグジープールろ過装置保守点検

1 業務概要

空気熱源ヒートポンプユニットの性能を常に最良の状態にして、快適な室内環境を維持するため、保守点検を行うものである。

2 場 所

- (1) 屋内トレーニングセンター (地下1階：ろ過機室)
 (2) 宿泊施設 (地下1階：ろ過機室)

3 機種及び台数

屋内トレーニングセンター

名 称	型式・規格・数量等	製造業者名	
(WF-1-1) ●ろ過装置	ジャグジープールろ過 ろ過塔:FRP 製 850φ×998H 循環水量:23.0 m ³ /h(セラミック系ろ過剤) ろ過ポンプ: 384L/min×17m 3φ200V・2.2kW 操作盤 3φ200V・3.5kVA	1 基 1 台	東西化学産業(株)、他
(SA-3)	高度衛生処理管理装置 1φ200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置	1 式	
(JP-3)	電磁定量ポンプ 3L/min×1.0Mpa 1φ200V・7W	1 台	
(JP-3)	ジェットポンプ 片吸込渦巻 50φ×40φ×210L/min×24m 3φ200V・2.2kW	1 台	
(BU-3)	ハイブラフロー 65φ×2, 320L/min×9.8kPa 3φ200V・1.5kW	1 台	
●ろ過装置 (B1F ろ過機 械室) (WF-7)	女子ジャグジーろ過装置 ろ過塔 FRP 製(850φ×998H) ろ過能力:17.0 m ³ /h(セラミック系ろ過剤) 3φ200V・15.0kVA ろ過ポンプ:	1 基	東西化学産業(株)

(SA-7)		0.284 m ³ /min×17m 3φ 200V・2.2kW 高度衛生処理管理装置	1 式
		1φ 200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置	
		電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa	1 台
(JP-7)		1φ 200V・7W ジェットポンプ	1 台
		片吸込渦巻 65φ×50φ×0.60 m ³ /min×24m	
(BU-7)		3φ 200V・5.5kW ハイ圧フロー	1 台
		50φ×1.76 m ³ /min×9.8kPa 3φ 200V・2.2kW	
	男子水風呂ろ過装置	ろ過塔 FRP 製(450φ×860H) ろ過能力:3.2 m ³ /h(セラミック系ろ過剤)	1 基
(WF-8)		3φ 200V・1.5kVA ろ過ポンプ: 0.054 m ³ /min×17m	
(SA-8)		3φ 200V・0.75kW 高度衛生処理管理装置	1 式
		1φ 200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置	
		電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa	1 台
		1φ 200V・7W	
	女子水風呂ろ過装置	ろ過塔 FRP 製(450φ×860H) ろ過能力:5.4 m ³ /h(セラミック系ろ過剤)	1 基
(WF-9)		3φ 200V・1.5kVA ろ過ポンプ: 0.090 m ³ /min×17m	
(SA-9)		3φ 200V・0.75kW 高度衛生処理管理装置	1 式
		1φ 200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置	
		電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa	1 台
		1φ 200V・7W	

宿泊施設

名 称	型式・規格・数量等	製造業者名
●ろ過装置 (B1F ろ過機 械室) (NU-4)	殺菌剤注入装 1 置 タンク:PVC製 タンク容量:300L ポンプ:35mL/min×0.5Mpa 1φ200V・20W	1 式 東西化学産業(株)
(WF-4)	男子浴槽ろ過 1 装置 ろ過塔 FRP製(1,100φ×988H) ろ過能力:45.0 m ³ /h(セラミック系ろ 過剤) 3φ200V・5.5kVA ろ過ポンプ: 0.75 m ³ /min×17m	1 基
(SA-4)	高度衛生処理管理装置 1φ200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置 電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa 1φ200V・7W	1 式 1 台
(WF-5)	女子浴槽ろ過 1 装置 ろ過塔 FRP製(1,100φ×988H) ろ過能力:45.0 m ³ /h(セラミック系ろ 過剤) 3φ200V・5.5kVA ろ過ポンプ: 0.75 m ³ /min×17m	1 基
(SA-5)	高度衛生処理管理装置 1φ200V・0.15kVA 残留塩素測定+酸化剤注入装置 電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa 1φ200V・7W	1 式 1 台
(WF-6)	男子ジャグジー 1 ろ過装置 ろ過塔 FRP製(850φ×998H) ろ過能力:17.0 m ³ /h(セラミック系ろ 過剤) 3φ200V・15.0kVA ろ過ポンプ: 0.284 m ³ /min×17m	1 基
(SA-6)	高度衛生処理管理装置 1φ200V・0.15kVA	1 式

	残留塩素測定+酸化剤注入装置 電磁定量ポンプ 3mL/min×1.0Mpa 1φ200V・7W	1台	
(JP-6)	ジェットポンプ 片吸込渦巻 65φ×50φ×0.60 m ³ /min×24m 3φ200V・5.5kW	1台	
(BU-6)	ハイアラフロー 50φ×1.76 m ³ /min×9.8kPa 3φ200V・2.2kW	1台	

4 点検及び保守

点検及び保守内容は、「共仕」によるものとし、その点検を行う設備及び点検・保守内容の適用範囲は次表（表－1）によるものとする。なお、修理等の措置の項は本業務に含まないものとする。

表－1 点検及び保守

点検設備	点検及び保守内容	点検周期
循環ろ過装置	「共仕」第2編第4章表4.5.10 に記載されているものの該当事項	「共仕」の規定による。

5 特記事項

- (1) 点検は、年4回行うこと。
- (2) 別紙「設備機器配置図」参照

自動灌水装置保守点検

1 業務概要

NTCの各施設に設置された、自動灌水装置の点検・保守業務を実施するものとする。

2 場 所

- (1) 屋内トレーニングセンター
- (2) 宿泊施設
- (3) 陸上トレーニング場
- (4) 屋内テニスコート

3 機種及び台数

名 称	型式・規格・数量等	製造業者名
●自動灌水装置 (各所外部)	年間デジタル式コントローラ 雨センサー、電磁弁、点滴ホース 1F 西面緑化 2F 西面、南面、北面屋上緑化 3F 西面、南面、北面屋上緑化 テニスコート西面 宿泊施設屋上庭園 陸上トレーニング場	1 式 東邦レオ(株)

4 点検、保守業務

点検・保守基準表

機器名称	点検及び保守内容	点検周期			
		1/月	1/月	1/6月	1/年
1. 制御盤	①固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合は増締めする。 ②盤に汚れ、損傷、錆、変色等の有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。 ③盤内機器の取付良否、異音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。 取付ビスに緩みがある場合は増締めする。 ④配線端子の締付ビスに緩みがないか点検する。緩みがある場合は増締めする。 ⑤機器全般の電流値の測定を行い規定値によることを確認する。 ⑥機器全般の絶縁抵抗測定を行い規定値以上であることを確認する。			○	
2. 雨量センサー	①取付状態の良否、腐食、変形、損傷の有無を点検する。取付状態不良の場合は調整する。 ②機器試験を行い、正常に機能することを確認する。			○	

3. 電磁弁	①電磁弁ボックス（蓋共）の破損等を点検する。 ②電磁弁を作動させ正常に作動することを確認する。 ③制御線等に断線等が発生していないかテスターを用いて点検する。			○	
4. 灌水ホース	①灌水を行い、正常に灌水を行うことを確認する。 ②ホースに劣化、損傷等が発生していないか確認する。			○ ○ ○	

5 特記事項

点検は、年2回行うこと。

作業項目及び周期(JISS)

(JISS施設)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度・平成28年度)

表-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)
国立スポーツ科学センター (屋内施設)

清掃対象室	作業項目	乗性床				硬質床				B24予定数量				B25予定数量				B27予定数量				B28予定数量				面積 (㎡)			
		除塵	真空掃除機	水拭き	定期清掃	除塵	真空掃除機	水拭き	定期清掃	日常清掃	水拭き	全面	全面	全面	全面	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃		日常清掃	定期清掃	
B-1 射撃・アーチェリー練習場	床・天井	1/月	1/月	1/月	1/年	1/月	1/月	1/月	1/年																			22.4	
1 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			32.0	
2 窓・ドア	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			1,465.6	
3 天井	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			131.0	
4 壁・廊下	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			760.4	
5 窓・ドア	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			43.7	
6 天井	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			48.1	
7 壁・廊下	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			560.0	
8 窓・ドア	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			232.6	
9 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			43.8	
10 壁・廊下	ビニール床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			80.9	
11 窓・ドア	壁	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			21.6	
12 天井	フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			1,337.9	
13 壁・廊下	フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			99.9	
14 窓・ドア	フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			30.1	
15 天井	フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			33.1	
16 壁・廊下	ビニール床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			6.9	
17 窓・ドア	ビニール床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			16.2	
18 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			23.5	
19 壁・廊下	特殊フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			951.5	
20 窓・ドア	特殊フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			86.6	
21 天井	特殊フロアリング床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			16.8	
22 壁・廊下	フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			724.5	
23 窓・ドア	フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																			10.0	
24 天井	特殊フロアリング床シート	1/日	1/日	1/日	1/月	1/日	1/日	1/日	1/月																				
実験室・研究室関係																													
B-1 B-1 射撃・アーチェリー練習場	合成樹脂塗床	2/月	2/月	2/月	1/年	2/月	2/月	2/月	1/年																			78.0	
1 射撃・アーチェリー練習場	ビニール床シート	2/月	2/月	2/月	1/月	2/月	2/月	2/月	1/月																			10.0	
2 壁・廊下	ビニール床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																			23.9	
3 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
4 天井	ビニール床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
5 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
6 窓・ドア	ビニール床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
7 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
8 壁・廊下	ビニール床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
9 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
10 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
11 壁・廊下	ビニール床シート	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
12 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
13 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
14 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
15 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
16 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
17 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
18 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
19 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
20 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
21 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
22 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
23 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
24 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
25 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
26 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
27 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
28 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
29 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
30 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
31 天井	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
32 壁・廊下	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				
33 窓・ドア	合成樹脂塗床	1/週	1/週	1/週	1/年	1/週	1/週	1/週	1/年																				

表-1 清掃対象室（作業項目及び周期（床の清掃））
国立先進科学センター（屋外施設）

作業項目	弾性床								硬質床				繊維床				面積 (㎡)												
	日常清掃				定期点検				日常清掃				定期点検				繊維床												
階数	作業対象	室名	床仕上	除塵	真空掃除機	水拭き部分	水拭き全面	洗浄表面	洗浄全面	自在掃	除塵	真空掃除機	部分	全面	日常清掃	定期清掃	洗浄	全面	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃	日常清掃	定期清掃			
1階	清潔対象室	通手控室4	ゴム	78/年						78/年					78	78			78	78			78	78	78	78	44.72		
		通手控室便所 4	ビニール床シート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	2.56	
		ブラウソドキハバ一室	ビニール床シート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	36.71	
		ユニットバス	コンクリート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	2.85	
		ブラウソド整備用具置場	コンクリート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	21.00	
		身障者用便所	ビニール床シート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	6.75	
		倉庫IV	コンクリート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	14.00	
		倉庫I	コンクリート	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	14.00	
		外通路	ゴム	78/年						78/年						78	78			78	78			78	78	78	78	202.59	
		サウナ一場																											
		スタンプ便所	磁器質タイル								78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78	78	164.0
		通手ベンチ	コンクリート								78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78	20.0	
		フィールド	芝								78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78	10806.0	
		スタンプ	コンクリート								78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78	3460.0	
		土手									78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78	1.5	
		※スタンプは拾い掃きとする									78/年					78/年	78	78			78	78			78	78	78		
		設備棟																											
				便所 (男・女)	ビニール床シート +花崗岩の便器						1/月	1/月	1/月	1/日				335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12
リラクゼーションルーム	ビニール床								1/月	1/月	1/日					365	9	364	12	364	12	365	12	364	12	364	12	180.0	
ホール・廊下	ビニール床								1/日	1/月						335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12	207.9	
テニスクラフトハウス																													
更衣室 (男・女)	ビニール床スタイル								1/月	1/月	1/日					335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12	36.4	
便所 (男・女)	磁器質タイル						1/月	1/月	1/日					335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12	18.1			
シャワールーム (男・女)	コンクリート						1/日	1/月	1/日					335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12	29.6			
ホール・ロビー	ビニール床						1/日	1/月	1/日					335	12	334	12	334	12	335	12	334	12	334	12	334	12	93.4	

表-2 清掃対象室・作業項目及び周期(床以外の清掃)

作業対象	作業項目	壁・フロアマット	扉ガラス	什器備品	照明器具	吸入口	灰皿	ごみ箱	金属部分	天井部分	手洗設備	鏡	衛生陶器	衛生用品	汚物容器	流し台	浄水器	断熱処理	扉・扉裏	手摺り	ロッカー	人工芝	H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積 (㎡)	
																							日次	定期	日次	定期	日次	定期		日次
清掃対象室																														
医学研究関係																														
B-1階																														
	受付(X線)						1/日								246			245							244			244		16.5
	待合・顕下		1/日												246	246		245	245					244	244		244		86.9	
	前室(更衣含む)																												16.6	
	MRI検査室 1. 2																									51		51		67.5
	X線検査室(1) (2) (更衣含む)																												66.0	
	CT検査室(更衣含む)																												30.0	
	臓器顕下・研究員室						1/日								246	246		245						244	244		244		98.4	
	便所(男・女)						1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	246	246	246	245	245					244	244		244	244	16.2	
	1階																													
	ナーズステーション						1/日								246	246		245						244	244		244		30.0	
	心理カウンセリング						1/週								51	51		51						51	51		51		15.4	
	研究員室						1/日								246	246		245	245					244	244		244	244	102.8	
	相談室・栄養指導室						1/日								246	246		245						244	244		244		29.6	
	高圧洗浄室・前室						1/週								51	51		51						51	51		51		38.0	
	便所(男・女)						1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	1/日	246	246	246	245	245					244	244		244	244	16.2	
	洗浄・消毒室						1/週								51	51		51						51	51		51		18.0	
	処置室						1/週								51	51		51						51	51		51		48.0	
	材料室						1/週								51	51		51						51	51		51		38.8	
	1-ヘンゲントレーサ室						1/週								51	51		51						51	51		51		76.6	
	相談室 (1)~(3)						1/週								51	51		51						51	51		51		25.2	
	読書室						1/週								51	51		51						51	51		51		14.6	
	心臓図室						1/日								246	246		245						244	244		244		93.1	
	検査室(婦人科)						1/週								51	51		51						51	51		51		25.0	
	待合・顕下		1/日												246	246	246	245	245					244	244		244	244	383.0	
	体泉室						1/日								246	246		245						244	244		244		12.5	
	受付・事務室						1/日								246	246	246	245	245					244	244		244	244	43.2	
	退席室						1/日								246	246		245				1/日			244	244		244		5.2
	薬師室						1/日								246	246		245						244	244		244		10.8	
	集団利用が、自好チャック室						1/週								51	51		51						51	51		51		33.6	
	会議室						1/日								246	246		245						244	244		244		23.2	
	資料室														51	51		51						51	51		51		59.2	
	人機室						1/週								246	246		245						244	244		244		4.0	
	研究室・研究員室						1/日								246	246	246	245	245					244	244		244	244	121.8	

表-2 清掃対象室・作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	作業項目	壁		フロアマット		廊ガラス		什器備品		照明		吸込口		灰皿	ゴミ箱	金属部分		車窓のサッシ	手洗装置		衛生機器	衛生用品	汚物容器	流し台	浄水器	肝油処理	扉・扉の裏面	手摺り	ロッカー	人工芝	H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積 (㎡)
		日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期			日次	定期		日次	定期											日次	定期	日次	定期	日次	定期	
清掃対象	部分拭き	日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期	日次	定期																		242	242	242	242	242	242	38.5
受付 (理学療法)																																					49.0
研修室 (旧水治療)																																				237.6	
研修室 (物産・運動療法)																																				26.2	
待合																																				13.5	
更衣コーナー																																					
講習棟器具室																																					
B-1 階																																					1250.0
※5.0mプール																																					664.0
※フール部屋																																				18.0	
探検室																																				40.0	
※ (TR)																																				65.0	
エレクトロニクス																																					
指導室 (更衣含む)																																					32.0
更衣・便所・シャワー・通路																																					143.1
※シンクロプール																																				750.0	
※フール部屋																																					850.8
※ミーティングルーム・更衣室・廊下																																					128.0
※エレクトロニクス																																				8.0	
読書室(更衣)																																				8.9	
射撃・ボウ・射撃練習場																																					22.4
前室																																					32.0
1 階																																					
路上機具庫																																					1465.6
上・下・中・下・更衣																																				131.0	
2 階																																					
※フエンシング練習場																																					700.4
倉庫																																					15.7
※TR																																					
※廊下																																					40.0
※リハビリ(旧F222F・ボウ)																																					507.6
更衣室(1)(2)																																					232.6
シャワー室																																					43.8
便所																																					80.9
サウナ																																					21.6
3 階																																					
※新体操・トランポリン(旧)																																					1337.9
※ (TR)																																					99.9
更衣室(1)(2)																																					30.1

表-2. 清掃対象室・作業項目及び周期 (床以外の清掃)
国立スポーツ科学センター (屋内施設)

作業対象	壁		フロアマット		扉ガラス		什器備品		照明器具		吸入口・吸出口		灰皿		ごみ箱		金属部分		扉の枠		手洗い		浄水器		排水処理		扉・扉・扉		手すり		ロッカー		人工芝		面積 (㎡)					
	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期						
作業項目	部分拭き	除塵	除塵	除塵	全面清掃	全面清掃	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き	拭き							
洗面コーナー(1)(2)																																				33.1				
便所(身着用)																																				6.9				
シャワー室																																				23.5				
便所																																				14.8				
4階																																				951.5				
※研究体室(旧体操競技棟)																																				55.6				
低酸素トレーニング室																																				16.8				
加室																																				724.5				
トレーニング体室																																				10.0				
指導員室																																				10.0				
実験・研究開発																																					23.9			
B-11階																																								
B-11-1実験場																																								
調理学																																								
データ管理室																																								
2階																																								
体力測定受付																																								
形態測定室																																								
水中体重測定室																																								
一般体力測定室																																								
エコーカメラ実験室																																								
便所																																								
※研究室																																								
3階																																								
運動生理実験室・気圧実験室																																								
実験ハース・生理学実験室																																								
生化学実験室																																								
※研究室																																								
スポーツ心理実験室																																								
無酸素実験室																																								
E110分析室(A)~(E)																																								
便所(男・女)																																								
4階																																								
競技種目別研究室(1)~(2)																																								
(4月~6月)																																								
競技種目別研究室(3)~(6)																																								
(7月~3月)																																								
※研究室(7)~(10)																																								

表-2. 清掃対象室・作業項目及び周期 (床以外の清掃)
国立ミナソト科学センター (屋内施設)

作業対象 作業項目	壁		フロアマット		扉ガラス		什器備品		照明 器具		吸込口 吹出口		灰皿		ごみ 箱	金属 部分		車洗い機 所・たき	手洗い機	塵 籠	衛生 陶器	衛生用 耗品	汚物 容器	流し 台	浄水 器	研弁 処理	機・扉 操作板	手摺 り	ロッカ ー	人工 芝	H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積 (㎡)											
	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期		日常	定期														日常	定期	日常	定期	日常	定期		日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	
各員研究員兼外国研究員室															246																244	244	244	244			80.0											
会議室 (1)															246																				242	242	244	244			75.9							
会議室 (2)															24																					24	24	24	24			98.0						
準備室															24																					24	24	24	24			19.6						
工作室															246	246																			242	242	244	244			60.9							
講義室															246									1/1日											242	242	244	244			4.8							
※研究室 増設機材室															246																							242	242	244	244			100.0				
映像視聴カーベス室															246																					246	246	246	246									
H-17室															1/1日																					245	245	244	244			29.3						
MT・LD保管室																																											81.0					
FD保管室																																											25.2					
資料室																																											12.6					
研究室															51																							51	51	51	51			53.6				
部長室・研究員室															246																													16.8				
事務室															246																												53.6					
事務部支の他(1階)																																											51.6					
事務室															105																													179.6				
倉庫・倉庫																																												12.4				
運営部長室															105	105																												24.8				
センター長室															108	105																												45.0				
会議室																																													32.0			
ラウンジ															105																													93.6				
会議室															246	246																												10.5				
湯沸室															246									1/1日																					35.0			
更衣室(男・女)															70	70																												18.6				
職員保養室 (1)															51	51																												10.4				
職員保養室 (2)																																													21.0			
事務職室																																													7.5			
中央監視室																																																
2階															246																																	
研修室 (C、D)															246																																	
研修室 (A、B)															246																																	
準備室																																																
外部																																																
共用部															365	365																																
B-1 (便所(女性用))															365	365																																
1F 便所(中央)															365	365																																
2F 便所(両サイド)															365	365																																

表-2 清掃対象室・作業項目及び周期（床以外の清掃）
国立スポーツ科学センター（屋外施設）

作業対象	作業項目	定期		日常		週日		週日		週日		週日		週日		週日		週日		週日		週日		週日		面積 (㎡)	
		部分 拭き	除塵 吸引	フロア マット	扉ガラス	什器備品	照明 器具 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除		吸引 掃除
		掃除 吸引	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除	吸引 掃除		
選手控室1		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	39,80	
選手控室便所1																										2,24	
シャワー室1・2		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	13,90	
選手控室2		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	39,80	
選手控室便所2																										2,24	
電気室																										21,50	
大会事務室		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	103,20	
応接室		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	14,50	
審判室		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	11,70	
シャワー室		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	13,50	
男子便所		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	14,00	
ホール		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	49,70	
中央廊下		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	9,86	
女子便所		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	14,30	
給湯室		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	2,90	
プレスルーム		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	63,70	
選手控室3		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	43,70	
選手控室便所3		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	2,72	
シャワー室3・4		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	13,90	
選手控室4		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	44,70	
選手控室便所4		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	2,56	
カウンタートキーパー室																										36,70	
ユニットバス																											
カウンタートキーパー室																										21,00	
身体着便用所		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	6,75	
倉庫IV																										14,00	
倉庫I																										14,00	
外通路																										202,60	
サッカースタンド		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	164,00	
選手ベンチ		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	26,00	
フェールド																										10806,00	
スタンド		78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	78/年	3460,00	
土手																										1,50	
設備棟																											
便所(男・女)																										39,60	
リクゼーションルーム																											
																										307,90	

作業項目及び周期 (陸上トレーニング場)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度・平成28年度)

表一-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

階数	作業対象 清掃対象室	単性床				質床				織維床				H2.4予定数量		H2.5予定数量		H2.6予定数量		H2.7予定数量		H2.8予定数量		面積 (㎡)	
		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃		定期清掃		日常清掃			
		除塵・自走掃帚・ATV等	真空掃除機	拭き洗	表面洗浄	拭き洗	表面洗浄	除塵	真空掃除機	拭き洗	表面洗浄	除塵	真空掃除機	拭き洗	表面洗浄	除塵	真空掃除機	拭き洗	表面洗浄	除塵	真空掃除機	拭き洗	表面洗浄		
1F	管理室	3/週		3/週	1/年										105	1	105	1	102	1	102	1	102	1	24
	男性床	1/日		1/日	1/月										365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	13
	男性WC	1/日		1/日	1/月										365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	29
	男子更衣室	1/日		1/日	1/月										365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	2
	SK	1/日		1/日	1/月										365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	5
	身障者用便所	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	9
	シャワー室(男)	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	2
	便所(男)	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	6
	湯沸室	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	9
	シャワー室(女)	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	2
	便所(女)	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	13
	女子WC	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	29
	女子更衣室	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	52
	研修室	1/日		1/日	1/月				1/日		1/月				365	12	364	12	364	12	365	12	364	12	47
	TR	1/日		1/日	1/月				1/週		1/年				52	1	52	1	52	1	52	1	52	1	18
	階段	3/週		3/週	1/年				3/週		1/月				105	1	105	1	102	1	102	1	102	1	26
	マッシャージ室 ウェイトトレーニングルーム	3/週		3/週	1/年				3/週		1/月				105	1	105	1	102	1	102	1	102	1	65
	器具庫2														12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	81
	電気室														12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	39
	倉庫1														12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	60
	器具庫1														12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	109
	ごみ置場								1/週		1/月				52	12	52	12	52	12	52	12	52	12	14
	倉庫2								1/週		1/月				12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	60
	玄関ホール								1/週		1/月				52	12	52	12	52	12	52	12	52	12	311
															合計		合計		合計		合計		合計		1,025

表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃) 階上トレンニング場

作業対象 清掃対象室	作業項目	壁	フロア	ドア	照明器具	吸込口	ロッソ	医箱	ゴミ箱	金属部分	洗面台	鏡	衛生陶器	消毒器	汚物容器	流し台	赤い水拭き	拭き取り	拭き取り	手摺	H24予定数量		H25予定数量		H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積 (㎡)
																					ごみ (回)	日常清掃 (回)	ごみ (回)	日常清掃 (回)	ごみ (回)	日常清掃 (回)	ごみ (回)	日常清掃 (回)	ごみ (回)	日常清掃 (回)	
1F	整理室																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	24
	男子EC																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	13
	男子更衣室																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	29
	SK																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	2
	身障者用便所																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	5
	シャワー室(男)																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	9
	便所(男)																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	2
	湯浴室																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	6
	シャワー室(女)																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	9
	便所(女)																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	2
	女子EC																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	13
	女子更衣室																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	29
	研修室																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	52
	TR																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	47
	階段																					365	52	12	364	52	12	364	52	12	18
	マッパージ室																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	26
	ヘルプルーム																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	65
	器具庫2																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	81
	更衣室																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	39
	倉庫																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	60
	器具庫1																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	109
	更衣室																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	14
	器具庫2																					365	105	12	364	102	12	364	102	12	60
	玄関ホール																					365	364	12	364	365	12	364	365	12	311
																						365	364	12	364	365	12	364	365	12	合計
																						365	364	12	364	365	12	364	365	12	合計

表-3 建物外部の清掃場所の作業項目及び周期
陸上トレーニング場

作業項目 清掃場所	除塵	部分水拭き	洗浄	拾い掃き	水やり	備考
車路				1 / 日		(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)
屋上				1 / 月		(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)
トラック、フィールド				1 / 日		(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)

表-4 窓面積計算表
陸上トレーニング場

棟	階	室名	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)	数量	数量倍面積 (㎡)	備考
NTC1F						4回/年	67.800	(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)
計							67.800	

作業項目及び周期

(屋内トレーニングセンター)
(屋内テニスコート・フットサルコート・ゴミ庫)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度・平成28年度)

表1-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

階数	作業対象 清掃対象	床		硬質床		雑・自己用 清掃機		雑・自己用 清掃機		H27予定数量 回数	H28予定数量 回数
		日常 清掃 回数	定期 清掃 回数	表面 洗浄	全面 洗浄	ホソバカ 掃除機	真空 掃除機	定期 清掃 回数	全面 洗浄		
B1F	25mプール			3/週	1/月	3/週	1/月			156	156
	監視員室兼器具庫			3/週	1/月					156	156
	男女WC (1)			3/週	1/月					365	364
	前室(2)			3/週	1/月					156	156
	シヤワー室(男女)			1/日	1/月					364	364
	前室(1)			3/週	1/月					156	156
	弾性床			3/週	1/月					156	156
	ボクシング			3/週	1/月					156	156
	テカニカルルーム (1)			1/日	1/月					364	364
	前室(12) (4)			1/日	1/月					364	364
	ウェアトレトレーニング			1/日	1/月					364	364
	ウェイトトレーニング			1/日	1/月					364	364
	前室(6)			3/週	1/月					156	156
	ウェイトリフトメイン			3/週	1/月					156	156
	テカニカルルーム(2)			1/日	1/月					364	364
	器具庫(1)			3/週	1/月					156	156
前室(6)			3/週	1/月					156	156	
レスリング			3/週	1/月					156	156	
テカニカルルーム (12)			3/週	1/月					156	156	
器具庫(2)			1/日	1/月					364	364	
ラウンジ(1) (2)									364	364	
ろ過機械室									364	364	
衛生機械室									364	364	
ボイラー室									364	364	
熱源機械室									364	364	
カーパス室									364	364	
発電機室									364	364	
電気室									364	364	
中央監視室			3/週	1/月					365	365	
休憩室			3/週	1/月					365	365	
廊下(1) (2) (12)			1/日	1/月					364	364	
空調機械室(1)～(12)			3/週	1/月					156	156	
前室(7)			3/週	1/月					156	156	
前室(8)			3/週	1/月					156	156	
倉庫(1) (2)									364	364	
男女更衣・リカー・シャワー									364	364	
男女WC (2)			1/日	1/月					364	364	
H-WC			1/日	1/月					364	364	
階段									364	364	
1F											
	前室(1)			3/週	1/月					156	156
	柔道			3/週	1/月					156	156
	テカニカルルーム (1)									156	156
	器具庫(1)			3/週	1/月					156	156
	前室(2)			3/週	1/月					156	156
	卓球			3/週	1/月					156	156
	テカニカルルーム (2)			3/週	1/月					156	156
	器具庫(2)			3/週	1/月					156	156
	ラウンジ									364	364
	風除室									364	364
	エントランスホール									364	364
	男女WC (2)									364	364
	H-WC (2)									364	364
	E.V.R室(2)兼前室(12)									364	364

表一-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

階数	作業対象 清掃対象室 室名	佛性床				硬質床				雑・雑床				室内トレーニングセンター						
		除塵 掃 帚・自在掃 帚	日常 掃除 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	除塵 掃 帚	日常 掃除 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	雑・雑床 掃除機	日常 清掃 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	雑・雑床 掃除機	日常 清掃 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	定期 清掃 機	
4 F	空調機械室(1)～(6) 硬質床																			
	前室(12) 雑性床	3/週	3/週	1/月											156	12	156	12	156	12
	体操 テクニカルルーム(1)(2) 雑性床	3/週	3/週	1/月						3/週	1/年				156	12	156	12	156	12
	器具庫(1) 雑性床			1/月											12	12	12	12	12	12
	前室(2) 雑性床	3/週	3/週	1/月											156	12	156	12	156	12
	パレポール テクニカルルーム(12) 雑性床	3/週	3/週	1/月											156	12	156	12	156	12
	器具庫(2) 雑性床			1/月											12	12	12	12	12	12
	前室(12) 雑性床	3/週	3/週	1/月											156	12	156	12	156	12
	バトミントン 雑性床	3/週	3/週	1/月											156	12	156	12	156	12
	テクニカルルーム(4) 雑性床			1/月											156	12	156	12	156	12
	器具庫(12) 雑性床			1/月											364	12	364	12	364	12
	器具庫(4) 雑性床			1/月											12	12	12	12	12	12
	ラウンジ(1)(2) 雑性床			1/月											364	12	364	12	364	12
	アスリートラウンジ 雑性床			1/月											365	12	365	12	365	12
	廊下・前室(6) 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	E.Vホール兼前室(8) 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	前室(4)(5)(7) 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	倉庫(1)(2)(12) 雑性床	1/日	1/日	1/月											12	12	12	12	12	12
	男女WC(1)・HWC(1) 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	男女更衣室(1)・HWC(1) 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	階段 雑性床	1/日	1/日	1/月											365	12	365	12	365	12
	空調機械室(1)～(6) 硬質床														12	12	12	12	12	12
	フットサル更衣室																			
	更衣室(A)(B) 雑性床	1/日	1/日	1/月											333	12	333	12	333	12
	シャワー 硬質床			1/日	1/日	1/月									333	12	333	12	333	12
	WC(W) 雑性床	1/日	1/日	1/月											333	12	333	12	333	12
	ごみ置場																			
	ドック・ボート・ベツトボ																			
	魔プラ 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	テラセ・新開庫庫・E・H紙 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	一般廃棄物 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	厨水 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	再利用廃棄物 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	連絡通路2																			
	連絡通路2 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	階段 硬質床			1/日	1/日	1/月									365	12	364	12	364	12
	屋内アシコースト																			
	テクニカルルーム 雑性床														156	12	156	12	156	12
	器具庫 硬質床																			

表 2-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

Table with columns for cleaning tasks, frequency, and room numbers. The table is organized into sections by room type (e.g., 25m2, 30m2, 40m2, etc.) and includes detailed instructions for each cleaning step.

県立トレーニングセンター

表-3 建物外部の清掃場所の作業項目及び周期

作業項目 清掃場所	除塵	部分水拭き	洗浄	拭き掃き	水やり	備考	予定数量	面積 (㎡)
玄関周り				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	151
構内通路				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	4,786
駐車場				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	3,049
屋上緑化・テラス・バルコニー				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	670
地上緑化(芝)				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	1,150
ドライエリア				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	427
犬走り				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	545
フラットサルコート(人工芝)				1/日		年末年始・ 甲の定める 日・定休 日除く	(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	1,200
屋内テニスコート				1/日		サンヨナルコート	(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	1,963
				1/日		一般用コート 年末年始・ 甲の定める 日・定休 日除く	(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	1,310
コート外周歩道				1/日			(H24 : 365) (H25 : 364) (H26 : 364) (H27 : 365) (H28 : 364)	274

表-4

窓面積計算表

棟	階	室名	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)	数量	数量倍面積 (㎡)	備考
屋内トレーニングセンター	1F~4F	屋内トレーニングセンター				4回/年	4,034.00	(H24:365) (H25:364) (H26:364) (H27:365) (H28:364)
	2F	連絡通路1				4回/年	111.00	(H24:365) (H25:364) (H26:364) (H27:365) (H28:364)
	1F	連絡通路2				4回/年	228.00	(H24:365) (H25:364) (H26:364) (H27:365) (H28:364)
	1F	フットサル更衣室				4回/年	2.75	(H24:365) (H25:364) (H26:364) (H27:365) (H28:364)
	1F	屋内デニスコート				4回/年	6.70	(H24:365) (H25:364) (H26:364) (H27:365) (H28:364)
計							4,382.45	

作業項目及び周期

(戸田艇庫・合宿室)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度・平成28年度)

表-2 清掃対象室・作業項目及び周期(床以外の清掃) 戸田艇庫・合宿室 (A業務)

作業対象	壁	窓	7077ヤト		廊下		トイレ		ロッカー		洗面所		トイレ		シャワー		洗剤		掃除機		床		ゴミ		合計		
			日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期		日常	定期
作業項目																											
清掃対象室																											
1F																											
艇庫																											
監視室・申込エリア			1/日		1/日																						
廊下																											
委託控室																											
更衣室(男女)																											
更衣室																											
浴室 (0B)																											
備所																											
倉庫																											
ロッカー室(男・女)																											
便所 (男・女)																											
入口ホール																											
多目的ホール																											
トレーニングルーム																											
機材庫																											
物入れ																											
BS																											
2F																											
客室																											
廊下																											
ホール																											
調理室																											
リネン室																											
便所(男・女)																											
洗濯室(男・女)																											
ミーティングルーム																											
外廊下																											
シャワー室(男・女)																											
更衣室(男・女)																											

表-2 清掃対象室・作業項目及び周期(床以外の清掃)

戸田艇庫・合宿室 (B業務)

作業対象	壁		コブヤット		扉/ガラス		什器備品		照明器具		吸出口		ごみ箱	金属部分	へだて及び便所	手洗洗面台	洗濯機乾燥機	鏡	衛生機器	衛生消耗品	汚物容器	流し台	厨水収集	壁・扉・扉枠	手開カー	人工芝	H24予定数量		H25予定数量		H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積			
	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常															定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常	定期	日常		定期	日常	定期
清掃対象室	部分拭き	定期	除塵	定期	洗拭	定期	洗拭	定期	洗拭	定期	洗拭	定期	吸塵	定期	定期												ごみ	B業務	ごみ	B業務	ごみ	B業務	ごみ	B業務	ごみ	B業務	ごみ	B業務		
1.F																																								1,356.6
艇庫																																								26.3
監視室・申込エリア						1/日							1/日																											41.8
廊下																																								22.7
委託控室																																								15.2
更衣室(男女)																																								2.1
脱衣室																																								3.2
浴室(1F)																																								1.7
便所																																								15.2
倉庫																																								35.4
ロッカー室(男・女)													1/日																											46.8
便所(男・女)													1/日																											12.4
入口ホール																																								26.0
多目的ホール																																								174.0
トレーニングルーム																																							12.0	
機材庫																																								0.9
物入れ																																								1.1
PS																																								19.2
2.F																																								
客室																																								900.0
廊下																																								144.0
ホール																																								411.0
調理室																																								62.0
リネン室																																								49.0
便所(男・女)																																								119.4
洗濯室(男・女)																																								24.6
ミーティングルーム																																								18.0
外廊下																																								231.4
シャワー室(男・女)																																								42.8
脱衣室(男・女)																																								23.2

国立スポーツ科学センター

作業項目及び周期(JISS)

(外壁窓面積一覧・内部窓面積一覧)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・平成27年度・平成28年度)

外壁窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

備考：フ…飛散防止フィルム張り オ…オペレーター装置付

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法 W (mm) × H (mm)	予定数量 m ²	備考
南面	50mプール	B-1	AW-90	10,225 × 4,585 × 1	46.88	オ
			AW-91	12,375 × 4,585 × 1	56.73	オ
西面	シカ練習場	B-1	AW-85	6,840 × 4,585 × 2	62.72	オ
			AW-85A	5,385 × 4,585 × 2	49.38	オ
			AW-86	6,840 × 4,585 × 1	31.36	オ
			AW-86A	5,385 × 4,585 × 1	24.69	オ
			AW-87	6,840 × 4,585 × 2	62.72	オ
北面	ホート・カヌー実験場	B-1	AW-30	5,970 × 1,710 × 1	10.20	フ
東面	同上	B-1	AW-19	6,940 × 1,710 × 1	11.86	フ
			AW-50	3,365 × 1,710 × 1	5.75	フ
東面	操作廊下・研究員室	B-1	AW-50	3,365 × 1,710 × 1	5.75	フ
	操作室	B-1	AW-50A	3,365 × 1,710 × 1	5.75	フ
南面	栄養指導相談室	1	AW-33	4,090 × 1,735 × 1	7.09	
	心理カウンセリング室・会議室	1	AW-8	12,375 × 1,735 × 1	21.47	フ
西面	陸上競技実験場	1	SW-2	6,800 × 500 × 3	10.20	フ
				6,800 × 2,285 × 3	46.61	フ
			SW-2A	5,430 × 500 × 3	8.14	フ
				5,430 × 2,285 × 3	37.22	フ
			SW-3	6,860 × 2,285 × 2	31.35	フ
			SW-3A	5,430 × 2,285 × 1	12.40	フ
北面	研究室(理学療法)	1	AW-11A	10,225 × 2,660 × 1	27.19	フ
	〃(水治療)	1	AW-28	4,190 × 1,410 × 1	5.90	フ
	センター長室	1	AW-29	5,970 × 1,735 × 1	10.35	フ
東面	事務室	1	AW-1	37,465 × 1,735 × 1	65.00	フ
	風除室	1	SSD-1	7,720 × 2,100 × 1	16.21	
	エントランスホール	1	ACW-1			
	心電図室他	1	AW-6	23,465 × 1,735 × 1	40.71	フ
南面	エルゴメータ実験室	2	AW-57	1,670 × 1,735 × 1	2.89	フ
	バルコニー	2	AW-70	5,070 × 1,735 × 1	8.79	フ
				850 × 1,940 × 2	3.29	フ
	フェンシング場	2	AW-8	12,375 × 1,735 × 1	21.47	フ
西面	リハビリテーション室	2	AW-73	21,385 × 2,380 × 1	50.89	フ
北面	ウェイトリフティング練習場	2	AW-11	10,225 × 1,735 × 1	17.74	フ
	ラウンジ	2	AW-72	10,535 × 1,735 × 1	18.27	フ、オ
850 × 2,510 × 2				4.26	フ	
	バルコニー	2	AW-65	1,050 × 1,310 × 1	1.37	フ
				850 × 1,983 × 1	1.68	フ
	準備室	2	AW-29	5,970 × 1,735 × 1	10.35	フ

外壁窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

備考：フ…飛散防止フィルム張り オ…オペレーター装置付

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm)	×	H (mm)	×	予定数量	㎡	備考
東面	大研修室	2	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
	大研修室他	2	AW-5	23,040	×	1,735	×	1	39.97		フ
	喫茶室	2	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
	水中体重測定室	2	AW-15	23,040	×	1,735	×	1	39.97		フ
	一般体力測定室	2	AW-5	23,040	×	1,735	×	1	39.97		フ
	エルゴメータ実験室	2	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
南面	機械室	3	AW-95	900	×	1,735	×	1	1.56		フ
	バルコニー	3	AW-70	5,070	×	1,310	×	1	6.64		フ
				850	×	1,940	×	2	3.29		フ
	会議室他	3	AW-8	12,375	×	1,735	×	1	21.47		フ
陸上競技実験場	3	AW-74	10,225	×	2,380	×	1	24.33		フ	
西面	陸上競技実験場	3	AW-80	21,385	×	3,950	×	1	84.47		フ
		3	AW-80A	19,930	×	3,950	×	1	78.72		フ
	研究体育館	3	AW-7A	7,385	×	810	×	1	5.98		フ
		3	AW-7C	5,930	×	810	×	1	4.80		フ
北面	研究体育館	3	AW-81	24,860	×	810	×	1	20.13		フ
	バルコニー	3	AW-65	1,050	×	1,310	×	1	1.37		フ
				850	×	1,985	×	1	1.68		フ
倉庫	3	AW-29	5,970	×	1,735	×	1	10.35		フ	
東面	スポーツ心理実験室	3	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
		3	AW-5	23,040	×	1,735	×	1	39.97		フ
	フィルム分析室	3	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
	生化学実験室	3	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
	生理学実験室	3	AW-5	23,040	×	1,735	×	1	39.97		フ
	気圧実験室	3	AW-15	7,040	×	1,735	×	1	12.21		フ
南面	バルコニー	4	AW-71	6,930	×	1,310	×	1	9.07		フ
				850	×	1,940	×	2	3.29		フ
	研究体育館	4	AW-9	12,375	×	1,735	×	1	21.47		フ
	〃	4	AW-12	10,225	×	1,735	×	1	17.74		フ
西面	研究体育館	4	AW-7	21,385	×	1,735	×	1	37.10		フ
	トレーニング体育館	4	AW-7B	19,930	×	1,735	×	1	34.57		フ
北面	バルコニー	4	AW-71	6,930	×	1,310	×	1	9.07		フ
				850	×	1,940	×	2	3.29		フ
東面	会議室	4	AW-14	7,040	×	1,410	×	1	9.92		フ
	競技種目別研究室	4	AW-2	23,040	×	1,410	×	1	32.48		フ
		4	AW-16	7,040	×	1,410	×	2	19.85		フ
		4	AW-3	23,040	×	1,410	×	1	32.48		フ
	ドーピング調査測定室	4	AW-17	7,040	×	1,410	×	1	9.92		フ
南面	研究体育館	4	AW-10	12,375	×	935	×	1	11.57		フ
		4	AW-13	10,225	×	935	×	1	9.56		フ

外壁窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

備考：フ…飛散防止フィルム張り オ…オペレーター装置付

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm) × H (mm)	予定数量	㎡	備考
西面	研究体育館	4	AW-83	21,385 × 3,150 × 1		67.36		フ
	トレーニング体育館	4	AW-83A	19,930 × 3,150 × 1		62.77		フ
	研究体育館	4	AW-82	21,385 × 4,075 × 1		87.14		フ
北面	新体操・トランポリン	4	AW-84	23,145 × 4,075 × 1		94.31		フ
東面	宿泊室	5	AW-61	1,200 × 1,200 × 26		37.44		
西面	宿泊室	5	AW-61	1,200 × 1,200 × 14		20.16		
北面	ラウンジ	5	AW-53	3,020 × 1,840 × 1		5.55		フ
南面	ラウンジ	5	AW-52	3,020 × 1,840 × 1		5.55		フ
西面	便所	5	AW-63	850 × 1,200 × 4		4.08		
東面	宿泊室	6	AW-61	1,200 × 1,200 × 26		37.44		
西面	宿泊室	6	AW-61	1,200 × 1,200 × 14		20.16		
南北面	ラウンジ	6	AW-59	3,020 × 800 × 2		4.83		オ
西面	便所	6	AW-63	850 × 1,200 × 4		4.08		
東面	アトリウム	6	AW-60	1,400 × 1,200 × 6		10.08		オ
南面	浴室	7	AW-55	3,070 × 1,250 × 2		7.67		フ
	脱衣室・便所	7	AW-62A	400 × 950 × 2		0.76		フ
西面	便所	7	AW-48	2,690 × 400 × 1		1.07		フ
	休憩室	7	AW-18	6,320 × 1,410 × 1		8.91		フ
北面	厨房	7	AW-66	6,800 × 320 × 1		2.17		フ
東面	厨房	7	AW-28A	5,930 × 460 × 1		2.72		フ
北面	レストラン	7	AW-69	2,990 × 2,410 × 1		7.20		フ、オ
東面	レストラン	7	AW-96	24,310 × 1,500 × 1		36.46		フ
	トップライト	R	AW-97	7,430 × 1,450 × 1		10.77		フ
	〃	R	AW-98	6,440 × 1,450 × 1		9.33		フ
	〃	R	AW-99	2,860 × 2,860 × 4		32.71		フ
合 計①						2,246.84	1,977.70	

外壁窓面積予定数量(設備棟) (H24年度～H28年度)

備考：フ…飛散防止フィルム張り オ…オペレーター装置付

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm)	×	H (mm)		予定数量	㎡	備考
北	北側入口	B1	SSD-1	2,890	×	2,475	×	1	7.15		
南	正面入口	B1	SSD-2	2,560	×	2,475	×	1	6.33		
南	ホール	B1	AW-1	8,590	×	1,660	×	1	14.25		
	合 計②								27.73		
	外壁窓総計								2,274.57		①+②

27.73

内部窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

(5～7階は清掃対象外とする)

国立スポーツ科学センター

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm) × H (mm)	予定数量	㎡	備考
	採暖室・見学室	B1	AW-92	13,230 × 6,194 × 1			81.94	フ、オ
	50mプールライトコート	B1	AW-34	4,210 × 1,210 × 1			5.09	
		B1	AW-20	5,820 × 1,210 × 1			7.04	
				850 × 2,360 × 1			2.00	
		B1	AW-45	2,640 × 760 × 1			2.00	
	1,350 × 2,560 × 1					3.45		
	指導員室	B1	SSW-4	4,400 × 1,100 × 1			4.84	
	シンクロ更衣室	B1	AW-23	6,440 × 760 × 1			4.89	
	シンクロライトコート	B1	AW-88	6,740 × 4,585 × 1			30.90	オ
		B1	AW-89	5,210 × 4,585 × 1			23.88	オ
		B1	AW-20	5,820 × 1,210 × 1			7.04	
				850 × 2,360 × 1			2.00	
	B1	AW-34	4,210 × 1,210 × 1			5.09		
	ボート・カヌー実験場	B1	AW-93	5,950 × 1,100 × 1			6.54	
		B1	SW-10	5,200 × 1,100 × 1			5.72	
	バイオメカニクスハード室	1	SW-5	2,000 × 1,100 × 2			4.40	
	待合	1	SSD-4	4,550 × 2,100 × 1			9.55	
	風除室	1	SSD-1	7,720 × 2,100 × 1			16.21	
	エントランスホール・ライトコート	1	AW-54	4,440 × 2,960 × 1			13.14	
		1	AW-54A	4,290 × 2,400 × 1			10.29	
	受付兼事務室	1	AW-46	5,780 × 1,100 × 1			6.35	
	医学研究室・ライトコート	1	AW-21	6,940 × 1,410 × 2			19.57	
		1	AW-35	4,310 × 1,410 × 1			6.07	
		1	AW-36	4,310 × 1,410 × 1			6.07	
	ラウンジ	1	SSW-1	3,000 × 2,975 × 1			8.92	
		1	SSD-2	5,300 × 2,975 × 1			15.76	
	事務室・ライトコート	1	AW-67	6,840 × 1,410 × 1			9.64	
		1	AW-21	6,940 × 1,410 × 1			9.78	
		1	AW-51	3,415 × 1,410 × 1			4.81	
		1	AW-51A	3,415 × 1,410 × 1			4.81	
		1	AW-51B	3,340 × 1,410 × 1			4.70	
		1	AW-36A	4,310 × 1,410 × 1			6.07	
	受付	1	SW-6	1,210 × 1,100 × 2			2.66	
	体力測定・バルコニー	2	AW-56	1,090 × 1,210 × 13			17.14	
		2	AW-5K	3,415 × 810 × 1			2.76	
		2	AW-51D	3,415 × 1,810 × 1			6.18	
	ライトコート	2	AW-37	4,310 × 810 × 1			3.49	
		2	AW-37A	4,310 × 1,810 × 1			7.80	
		2	AW-26	6,940 × 810 × 1			5.62	
		2	AW-26A	6,940 × 1,810 × 1			12.56	
	中央ライトコート	2	AW-41	4,330 × 810 × 1			3.50	
		2	AW-41A	4,330 × 1,810 × 1			7.83	
		2	AW-41B	4,330 × 810 × 1			3.50	
		2	AW-43	4,480 × 1,810 × 2			16.21	

内部窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

(5～7階は清掃対象外とする)

国立スポーツ科学センター

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm) × H (mm)	予定数量	㎡	備考
	展示スペース・ライトコート	2	AW-21	6,940 × 1,410 × 2		19.57		
		2	AW-36	4,310 × 1,410 × 1		6.07		
		2	AW-25	1,900 × 760 × 1		1.44		
		2	AW-24	6,940 × 760 × 1		5.27		
		2	AW-42	805 × 1,410 × 1		1.13		
	アトリウム	2	SSW-2	3,000 × 2,975 × 2		17.85		
	ラウンジ	2	SD-59	1,725 × 2,100 × 1		3.62		
	体力測定受付	2	SW-7	1,200 × 1,100 × 1		1.32		
	喫茶室	2	SSW-3	2,175 × 2,500 × 1		5.43		
		2	SSD-5	1,500 × 2,500 × 1		3.75		
		2	SW-38	6,860 × 2,500 × 1		17.15		
	実験室・バルコニー	3	AW-56	1,090 × 1,210 × 13		17.14		
	実験室・ライトコート	3	AW-21	6,940 × 1,410 × 1		9.78		
		3	AW-22	6,840 × 1,410 × 1		9.64		
		3	AW-36	4,310 × 1,410 × 1		6.07		
	中央ライトコート	3	AW-40	4,380 × 1,410 × 2		12.35		
		3	AW-43	4,480 × 1,810 × 2		16.21		
	受付	3	SW-7	1,200 × 1,100 × 1		1.32		
	廊下	3	SD-59	1,725 × 2,100 × 2		7.24		
	研究体育館・ライトコート	3	AW-21	6,940 × 1,410 × 2		19.57		
		3	AW-26	6,940 × 810 × 1		5.62		
		3	AW-27	6,840 × 810 × 1		5.54		
		3	AW-36	4,310 × 1,410 × 1		6.07		
		3	AW-38	4,310 × 810 × 1		3.49		
	バルコニー	4	AW-56	1,090 × 1,210 × 15		19.78		
	ライトコート	4	AW-37	4,310 × 810 × 1		3.49		
		4	AW-26	6,940 × 810 × 1		5.62		
		4	AW-27	6,840 × 810 × 1		5.54		
	中央ライトコート	4	AW-40	4,380 × 1,410 × 2		12.35		
		4	AW-39	4,480 × 1,410 × 2		12.63		
	トレーニング体育館	4	SW-12	3,670 × 2,100 × 2		15.41		
	受付	4	AW-7	1,200 × 1,100 × 1		1.32		
	ラウンジ	4	SD-60	1,505 × 2,000 × 2		6.02		
	ライトコート	4	AW-21	6,940 × 1,410 × 2		19.57		
		4	AW-78	6,840 × 2,500 × 1		17.10		
		4	AW-75	6,940 × 2,500 × 1		17.35		
		4	AW-77	4,310 × 2,500 × 1		10.77		
		4	AW-44	2,805 × 1,410 × 1		3.95		
	ライトコート			1,435 × 810 × 1		1.16		
		5	AW-77	4,310 × 2,500 × 2		21.55		
		5	AW-75	6,940 × 2,500 × 2		34.70		
		5	AW-76	6,890 × 2,500 × 2		34.45		
		5	AW-79	5,390 × 2,500 × 2		26.95		
	ライトコート	5	AW-32	5,440 × 1,310 × 2		14.25		
		5	SD-61	1,505 × 2,000 × 2		6.02		
		6	AW-77	4,310 × 2,500 × 1		10.77		
		6	AW-75	6,940 × 2,500 × 1		17.35		
		6	AW-76	6,890 × 2,500 × 1		17.22		
		6	AW-79	5,390 × 2,500 × 2		26.95		
	ライトコート	6	AW-32	5,440 × 1,310 × 2		14.25		
6		AW-61	1,200 × 1,200 × 2		2.88			
アトリウム		6	SSW-6	300 × 1,200 × 6		2.16		
管理室		6	SW-8	1,200 × 1,100 × 1		1.32		
ラウンジ		6	SD-62	1,595 × 2,300 × 2		7.33		

内部窓面積予定数量(H24年度～H28年度)

(5～7階は清掃対象外とする)

国立スポーツ科学センター

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm) × H (mm)	予定数量	㎡	備考
	レストラン	7	SSD-6	1,700 × 2,100 × 2		7.14		
	ライトコート	7	AW-31	5,540 × 1,100 × 2		12.18		
	合計①					1,049.98		

内部窓面積予定数量(設備棟) (H24年度～H28年度)

備考：フ…飛散防止フィルム張り オ…オペレーター装置付

取付面	取付室名	取付階	建具記号	寸法	W (mm)	×	H (mm)		面積 m ²	備考
北	北側入口	B1	SSD-1	2,890	×	2,475	×	1	7.15	
南	正面入口	B1	SSD-2	2,560	×	2,475	×	1	6.33	
南	ホール	B1	AW-1	8,590	×	1,660	×	1	14.25	
南	ホール	B1	SD-8	2,399	×	2,675	×	2	12.83	
南	ホール	B1	SD-9	2,399	×	2,675	×	2	12.83	
南	ホール	B1	SD-10	3,624	×	2,675	×	2	19.38	
	合計②								72.77	
	内窓面積総計								1,122.75	①+②

作業項目及び周期

(国立スポーツ科学センター)
((仮称)アーチェリー競技実験場)

予定数量(平成24年度・平成25年度・平成26年度・成27年度・平成28年度)

表-1 清掃対象室 作業項目及び周期 (床の清掃)

階数	作業対象 清掃対象 室名	作業項目 床仕上	作業項目													面積															
			床			硬質			雑床			H24予定数量			H25予定数量			H26予定数量			H27予定数量			H28予定数量							
			除菌・自在着 作業用		真空掃除機		水拭き		表面洗浄		全面洗浄		真空掃除機		水拭き		表面洗浄		全面洗浄		真空掃除機		水拭き		表面洗浄		全面洗浄		面積 (㎡)		
			帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用	帯・自在着 作業用		帯・自在着 作業用	
1F	射場	雑種床					3/週				1/月																				
		ホール・通路	ビニール油化シート	1/日							1/月																			46.08	
		男子便所	ビニール油化シート	1/日							1/月																				17.28
		女子便所	ビニール油化シート	1/日							1/月																				9.01
		物入	ビニール油化シート	1/日							1/月																				8.16
		倉庫	ビニール油化シート	1/日							1/月																				3.24
2F																															
		ミーティングルーム	タイルカーペット																												
		男子更衣室	ビニール油化シート	1/日							1/月																				46.08
		女子更衣室	ビニール油化シート	1/日							1/月																				10.66
		シスターズロッカー	防塵シート	1/日							1/月																				9.36
		通路	ビニール油化シート	1/日							1/月																				10.42
共通																															
		階段									1/月																			8.82	
1F		機材倉庫																													
		射場	防塵塗装									1/月																			27.6
2F		機材倉庫																													

表-2 清掃対象室 作業項目及び周期 (床以外の清掃)

作業対象	作業項目	曜日	時間	作業内容	作業頻度	作業時間	H24予定数量		H25予定数量		H26予定数量		H27予定数量		H28予定数量		面積 (㎡)	
							ごみ (回)	拭き (回)	ごみ (回)	拭き (回)	ごみ (回)	拭き (回)	ごみ (回)	拭き (回)	ごみ (回)	拭き (回)		
清掃対象室	1F 射場 ホーク・通路 男子更衣室 女子更衣室 シャワー・コーナ 通路	床	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	46.08	
		壁	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	17.28
		天井	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	9.00
		窓	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	9.24
		扉	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	7.31
		手すり	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	7.31
		照明器具	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	7.31
		換気器具	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	7.31
		床下	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	7.31
		2F	男子更衣室	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365
清掃対象室	1F 機材倉庫 の場 2F 機材倉庫	床	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	68.16	
		壁	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	27.6	
		天井	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		窓	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		扉	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		手すり	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		照明器具	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		換気器具	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		床下	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	10.42	
		階段	1/1	拭き	1/1	1/1	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	8.82

表-4

窓面積計算表

(仮称)アーチェリー競技実驗場

棟	階	室名	幅 (m)	高さ (m)	面積 (㎡)	数量	数量倍面積 (㎡)	備考	
(仮称)アーチェリー競技実驗場									
	2 F	射場				4回/年	45.28	H24～H28	
	1 F	射場				4回/年	40.93	H24～H28	
	2 F	機材倉庫				4回/年	9.84	H24～H28	
	1 F	機材倉庫				4回/年	9.84	H24～H28	
計								105.89	

クリニック内清掃業務仕様について

良質な医料を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律（平成18年法律第84号）の大幅な改正が行われ、平成19年4月から施行された。

この改正により、各医療機関に対し医療安全の確保に関する事項について、診療所等へ医療安全の方策を講じることが新たに義務付けられ、その概要の中の医療施設における院内感染の防止を図るための一つとして、JISSのクリニック内清掃仕様については、以下のとおりとする。

屋内施設のクリニック内清掃

作業項目	作業内容
クリニック内床	床の清掃は洗剤を用いた湿式清掃を行う。清掃で使用するモップはヘッド交換ができるものとし、使用後のモップヘッドは、80℃の熱水で10分間処理し、乾燥した状態で保管する。床がカーペットで覆われている場合は、掃除機で清掃を行う。
流し	流しは一日一回洗剤を用いて清掃し、周囲は水分を拭き取る。
緊急清掃	血液、体液、排泄物などによる環境の汚染時には、除染と消毒を行う。

(参考)

- 1 日常清掃：毎日行う清掃であり、原則として消毒薬を用いる必要はない。
 - ・手指が高頻度に接触する表面（スイッチ、ドアノブ等）は、1日1回以上の日常清掃を行うほうがよい。
 - ・床の清掃は洗剤を用いた湿式清掃を行う。
 - ・床がカーペットで覆われている場合は、掃除機で清掃を行う。
 - ・床の清掃で使用するモップは、ヘッドを交換できるものを使用するほうが良い。
 - ・使用後のモップヘッドは80℃の熱水で10分間処理するほうが良い。
 - ・モップヘッドは乾燥した状態で保管する。
 - ・床表面はワックスで覆われているほうが良い。
 - ・流しは、中を一日一回は洗剤を用いて清掃し、周囲は水分を拭き取るほうが良い。
 - ・トイレの便器やその周囲は一日一回以上、中性洗剤を使用して洗浄する。
 - ・便座、水洗レバー、ドアノブなどの高頻度接触部位は一日一回以上アルコールベースの消毒薬で清拭するほうが良い。
- 2 定期清掃：一定期間ごとに行う清掃であり消毒薬を用いる必要はない。
 - ・換気口や窓の格子、壁面、棚の上などは目に見える汚染がない限り定期清掃を行う。
 - ・カーテンは目に見える汚染がない限り、年1～2回交換する。
- 3 緊急清掃：血液、体液、排泄物などによる環境の汚染時には、除染と消毒を行う。

空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧

1 空気環境測定

(1) NTC屋内トレーニングセンター

1) 測定点数は下記によるものとする。

外気 2点

室内 17点

2) 測定は、始業前～中時間、中時間～終業後の2回とする。

(2) NTC宿泊施設(増築南館・設備棟含む。)

1) 測定点数は下記によるものとする。

外気 2点

室内 21点

2) 測定は、始業前～中時間、中時間～終業後の2回とする。

(3) 国立スポーツ科学センター

1) 測定点数は下記によるものとする。

外気 2点

室内 28点

2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所一覧」による。

3) 測定は、始業後2時間と終業前2時間の計2回を測定し、その結果の平均値とすること。

(4) NTC陸上トレーニング場

1) 測定点数は、下記による。

外気 2点

室内 7点

2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

3) 測定は、始業後2時間と終業前2時間の計2回を測定し、その結果の平均値とすること。

(5) (仮称)アーチェリー競技実験場

1) 測定点数は、下記による。

外気 2点

室内 4点

2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

3) 測定は、始業後2時間と終業前2時間の計2回を測定し、その結果の平均値とすること。

2 照度測定

(1) NTC屋内トレーニングセンター

1) 測定点数は下記によるものとする。

20点

2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

(2) NTC宿泊施設

1) 測定点数は下記によるものとする。

15点

2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

(3) JISS屋内施設

測定箇所及び点数は下記によるものとする。

1) 国立スポーツ科学センター(58か所)

ア 医学研究室関係(14か所)

B1F 受付(X線)・研究員室、待合・廊下、X線MRI操作廊下

1F ナースステーション、研究員室(内科・外科の2箇所)、栄養指導室、採血室(臨床検査)、
ドーピングコントロール室、待合・廊下、医学受付・事務室、メディカルチェック室、

- 受付(理学療法)、研究室(物療・運動。療法)
- イ 練習場関係(13か所)
- B1F 50mプール、50mプールTR室(仮称)、シンクロプール、射撃・アーチェリー練習場
 - 1F 陸上競技実験場、バイオメカニクスハード室
 - 2F レスリング・柔道練習場、フェンシング練習場、ボクシング練習場、ウェイトリフティング練習場
 - 3F 研究体育館
 - 4F 体操競技練習場、低酸素トレーニング室、トレーニング体育館
- ウ 実験室関係(11か所)
- B1F ボート・カヌー練習場、制御室
 - 2F 体力測定室、形態測定室、一般体力測定室
 - 3F 新体操・トランポリン場(仮称)、温湿度・気圧実験室、生化学実験室、スポーツ心理実験室
 - 4F 研究室(2ヶ所)、アンチドーピング調整室
- エ 情報関係室(6か所)
- 3F VTR分析室、Film&VTR編集室、Film分析室、サービス受付兼事務室、入力作業
- オ 事務部 その他(7か所)
- 1F 事務室、ラウンジ、中央監視室、委託業者事務所控室、警備宿直室、研修室、大研修室
- カ 共用部(7か所)
- 1F エントランスホール
 - 2F ラウンジ、展示スペース、喫茶室、売店
 - 7F レストラン、事務室
- 2) JISS屋外施設(4か所)
- ア 設備棟 メンタルケアルーム、委託業者更衣室前室
 - イ テニス場クラブハウス 受付、玄関

(4) NTC陸上トレーニング場(5か所)

- 1) 測定箇所は下記による。
室内 5か所
- 2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

(5) (仮称)アーチェリー競技実験場(2か所)

- 1) 測定箇所は下記による。
室内 2か所
- 2) 測定箇所は、別紙「空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧」による。

空気環境測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
B 1 F	1	X線待合
	2	50mプール
	3	シンクロプール
	4	シンクロ更衣室
1 F	5	陸上競技場
	6	医療事務室
	7	エントランスホール
	8	運営部ラウンジ
	9	リハビリテーション室
2 F	10	体力科学実験室
	11	フェンシング
	12	男子更衣室
	13	リハビリテーション室
	14	大研修室・喫茶室
3 F	15	生化学実験室
	16	情報システム実験室
	17	新体操・トランポリン
	18	映像編集室
4 F	19	研究体育館
	20	トレーニング体育館
	21	北ラウンジ
	22	研究室411
5 F	23	北ラウンジ
	24	宿泊室のうちいずれか1室
6 F	25	フロント
	26	宿泊室のうちいずれか1室
7 F	27	レストラン
	28	アスリートリフレッシュエリア
外気	1	正面玄関前
	2	通用口前

照度測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
B 1 F	1	受付・研究員室
	2	待合・廊下
	3	X線MRI操作廊下
	4	50mプール
	5	シンクロプール
	6	ボートカヌー実験場
	7	ボートカヌー制御室
	8	射撃・アーチェリー練習場
1 F	9	ナースステーション
	10	研究員室（内科）
	11	研究員室（外科）
	12	栄養指導室
	13	採血室（臨床検査）
	14	ドーピングコントロール室
	15	待合・廊下
	16	医学受付・事務室
	17	陸上競技実験場
	18	バイオメカニクスハード室
	19	受付（理学療法）
	20	研究室（運動療法）
	21	メディカルチェック室
	22	事務室（運営部）
	23	ラウンジ（運営部）
	24	中央監視室
	25	受託業者事務室
26	警備宿直室	
27	エントランスホール	
2 F	28	フェンシング
	29	フェンシング練習場
	30	ボクシング練習場
	31	リハビリテーション室
	32	体重測定室
	33	形態測定室
	34	一般体力測定室
	35	小研究室2
	36	大研究室

	37	ラウンジ
	38	展示スペース
	39	喫茶室
	40	売店
3 F	41	研究体育館
	42	温室度・気圧実験室
	43	生化学実験室
	44	心理学実験室
	45	映像分析室
	46	バーチャルトレーニング室
	47	映像編集室
	48	情報受付兼事務室
	49	システム研究室
	50	資料閲覧室
4 F	51	体操競技練習場
	52	低酸素トレーニング室
	53	トレーニング体育館
	54	研究室 (1) 409
	55	世界アンチドーピングアジア室
	56	アンチドーピング調整室
7 F	57	レストラン
	58	事務室
A棟	59	受付
	60	委託室前室
B棟	61	受付
	62	玄関

空気環境測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
B 1 F	1	25mプール
	2	ボクシング
	3	ウエイトトレーニング1
	4	ウエイトリフティング
	5	レスリング
1 F	6	柔道場
	7	卓球場
	8	研修室前通路
	9	エントランス
	10	事務室
2 F	11	ハンドボール
	12	バスケットボール
	13	共用コート
	14	北側ロビー
3 F	15	体操競技
	16	バレーボール
	17	バドミントン
外気	1	正面玄関前
	2	連絡通路

照度測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
B 1 F	1	25mプール
	2	ボクシング
	3	ウエイトトレーニング
	4	ウエイトリフティング
	5	レスリング
	6	中央監視室
1 F	7	柔道場
	8	卓球場
	9	研修室前通路
	10	大研修室
	11	エントランス
	12	事務室
	13	コーチ室
2 F	14	ハンドボール
	15	バスケットボール
	16	共用コート
	17	北側ロビー
3 F	18	体操競技
	19	バレーボール
	20	バドミントン

NTC アスリート・ヴィレッジ（南館含む。）

空気環境測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
1 F	1	エントランスロビー
	2	インターネットコーナー
	3	勝湯前ロビー
	4	ダイニング
2 F	5	研修室前ロビー
	6	東側宿泊室又は西側宿泊室のうちいずれか1室
	7	西側宿泊室のうちいずれか1室
	8	南側宿泊室のうちいずれか1室
3 F	9	東側宿泊室のうちいずれか1室
	10	西側宿泊室のうちいずれか1室
	11	南側宿泊室のうちいずれか1室
4 F	12	東側宿泊室のうちいずれか1室
	13	西側宿泊室のうちいずれか1室
	14	南側宿泊室のうちいずれか1室
5 F	15	東側宿泊室のうちいずれか1室
	16	西側宿泊室のうちいずれか1室
	17	南側宿泊室のうちいずれか1室
6 F	18	東側宿泊室のうちいずれか1室
	19	西側宿泊室のうちいずれか1室
	20	南側宿泊室のうちいずれか1室
7 F	21	南側宿泊室のうちいずれか1室
外気	1	1 F 正面玄関前
	2	6 F 南非常階段

照度測定箇所一覧		
測 定 箇 所		
階数	No	名 称
1 F	1	エントランスロビー
	2	事務室
	3	ダイニング
	4	バイキングコーナー
	5	図書・学習室
	6	インターネットコーナー
	7	ミーティング室 (1)
	8	ミーティング室 (2)
2 F	9	小研究室 (1)
	10	小研究室 (2)
	11	小研究室 (3)
	12	ミーティング室 (3)
	13	ミーティング室 (4)
	14	カウンセリングルーム
	15	ロビー

NTC陸上トレーニング場

空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧

測 定 箇 所

階数	名称	環境測定箇所	照度測定箇所
1 F			
	管理室	1	1
	男子WC		
	男子更衣室	2	
	SK		
	身障者用便所		
	シャワー室 (男)		
	便所 (男)		
	湯沸室		
	シャワー室 (女)		
	便所 (女)		
	女子WC		
	女子更衣室	3	
	研修室	4	2
	TR	5	3
	階段		
	マッサージ室	6	4
	ウェイトトレーニングルーム	7	5
	器具庫2		
	電気室		
	倉庫1		
	器具庫1		
	ごみ置場		
	倉庫2		
外気	正面玄関前	1	
	通用口前	2	

(仮称) アーチェリー競技実験場

空気環境測定箇所及び照度測定箇所一覧

測 定 箇 所

階数	名称	環境測定箇所	照度測定箇所
1 F			
	1F		
	射場	1	1
	ホール・通路		
	男子便所		
	女子便所		
	物入		
	倉庫		
2F			
	ミーティングルーム	2	2
	男子更衣室	3	
	女子更衣室	4	
	シャワーコーナー		
	通路		
	階段		
1F			
	機材庫		
2F			
	運営倉庫		
1F	的場		
外気	射場ホール前	1	
	アーチェリー場周囲	2	

水質測定検査施設・回数一覧

飲料水・給湯水水質検査

(JISS本館、設備等棟及びNTC屋内、宿泊施設)

ア	本館1回目15項目1検体	1回/年
イ	本館2回目10項目1検体	1回/年
ウ	本館消毒副生成物11項目1検体	1回/年

プール・浴槽一般細菌水質検査

ア	50m競泳プール	2検体	12回/年
イ	シンクロナイズドスイミングプール	2検体	12回/年
ウ	男子浴槽	1検体	1回/年
エ	女子浴槽	1検体	1回/年
オ	ローイングタンク室 (静止槽・回流槽×2)	3検体	2回/年
カ	NTC25mプール	2検体	12回/年
キ	NTCジャグジープール	1検体	12回/年
ク	NTC人工炭酸泉浴槽	1検体	12回/年
ケ	NTC宿泊男子浴槽	1検体	1回/年
コ	NTC宿泊女子浴槽	1検体	1回/年
ケ	NTC宿泊ジャグジー浴槽	1検体	1回/年
コ	NTC宿泊ジャグジー浴槽	1検体	1回/年

レジオネラ菌検査

ア	7階男子浴槽	1検体	2回/年
イ	7階女子浴槽	1検体	2回/年
ウ	50m競泳プール	1検体	2回/年
エ	シンクロナイズドスイミングプール	1検体	2回/年
オ	本館給湯	1検体	2回/年
カ	設備棟給湯	1検体	2回/年
キ	ローイングタンク室 (静止槽・回流槽×2)	3検体	1回/年

ク	N T C 2 5 mプール	1 検体	2 回／年
ケ	N T C ジャグジープール	1 検体	2 回／年
コ	N T C 人工炭酸泉浴槽	1 検体	2 回／年
サ	N T C 屋内給湯	1 検体	2 回／年
シ	N T C 宿泊給湯	1 検体	2 回／年
ス	N T C 宿泊男子浴槽	1 検体	2 回／年
セ	N T C 宿泊女子浴槽	1 検体	2 回／年
ソ	N T C 宿泊ジャグジー浴槽	1 検体	2 回／年
タ	N T C 宿泊ジャグジー浴槽	1 検体	2 回／年

簡易専用水道検査

ア	本館簡易専用水道検査	1 式	1 回／年
イ	設備棟簡易専用水道検査	1 式	1 回／年
ウ	N T C 屋内簡易専用水道検査	1 式	1 回／年
エ	N T C 宿泊簡易専用水道検査	1 式	1 回／年
オ	N T C 宿泊増築（南館・設備棟）簡易専用水道検査	1 式	1 回／年

雑排水水質検査（大腸菌及び濁度）

ア	J I S S 本館雑用水水道検査	1 検体	6 回／年
イ	N T C 屋内簡易専用水道検査	1 検体	6 回／年

受水槽・高置水槽・貯湯槽・汚水槽・雑排水槽清掃施設・回数一覧

I 国立スポーツ科学センター

1 受水槽・高置水槽の清掃

- | | |
|------------------|------|
| (1) 本館受水槽 (35トン) | 1回/年 |
| (2) 本館高架水槽 (7トン) | 1回/年 |
| (3) 設備棟受水槽 (6トン) | 1回/年 |

2 汚水槽・雑排水槽の清掃

(1) 国立スポーツ科学センターB1F

- | | | |
|-----------------|------------------------------|------|
| 1) 空調室床下汚水槽 | (PD-1系統48.96m ³) | 3回/年 |
| 2) 北ライトコート床下汚水槽 | (PD-3系統116.1m ³) | 3回/年 |

(2) 国立スポーツ科学センター設備棟B1F

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1) 汚水槽 (23m ³) | 3回/年 |
| 2) A雑排水槽 (28.3m ³) | 3回/年 |
| 3) B雑排水槽 (26.5m ³) | 3回/年 |

II NTC屋内トレーニングセンターB1F

1 受水槽の清掃

- | | |
|------------|------|
| 受水槽 (40トン) | 1回/年 |
|------------|------|

2 汚水槽・雑排水槽の清掃

(1) 汚水槽

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1) 汚水槽 (5m ³) | 2回/年 |
| 2) 汚水排水槽 (3m ³) | 2回/年 |

(2) 雑排水槽

- | | |
|----------------------------|------|
| 1) 雑排水槽 (5m ³) | 2回/年 |
| 2) 雑排水槽 (5m ³) | 2回/年 |
| 3) 雑排水槽 (5m ³) | 2回/年 |
| 4) 雑排水槽 (5m ³) | 2回/年 |
| 5) 雑排水槽 (5m ³) | 2回/年 |

3 貯湯槽の清掃

- | | |
|----------------|------|
| 貯湯槽 (5.5トン×2基) | 1回/年 |
|----------------|------|

III NTC宿泊施設B1F

1 受水槽の清掃

- | | |
|------------|------|
| 受水槽 (50トン) | 1回/年 |
|------------|------|

- | | | |
|----|---|--------------|
| 2 | 貯湯槽の清掃
貯湯槽（30トン×2基） | 1回/年 |
| 3 | 雑排水槽の清掃
(1) 雑排水槽26トン
(2) 雑排水槽26トン | 1回/年
1回/年 |
| IV | NTC宿泊施設増築設備棟B1F | |
| 1 | 受水槽の清掃
受水槽（25m ³ ×2基） | 1回/年 |
| 2 | 貯湯槽の清掃
貯湯槽（5トン×2基）
貯湯槽（4.2トン） | 1回/年
1回/年 |

害虫駆除年間作業予定表

	JISS本館及び設備棟	テニス場 クラブハウス	サッカー場及び外トイレ	NTC陸上トレーニング場	戸田艇庫・合宿室	NTC屋内トレーニングセンター	NTC宿泊施設アスリート・ヴィレッジ	(仮称)アーチエリー競技
4月	事前調査						事前調査	
5月	駆除・予防	事前調査	事前調査	事前調査	事前調査	事前調査	駆除・予防	事前調査
6月	効果判定	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	効果判定	駆除・予防
7月	定期調査	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	定期調査	効果判定
8月	定期調査						定期調査	
9月	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査
10月	事前調査						事前調査	
11月	駆除・予防	事前調査	事前調査	事前調査	事前調査	事前調査	駆除・予防	事前調査
12月	効果判定	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	駆除・予防	効果判定	駆除・予防
1月	定期調査	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	効果判定	定期調査	効果判定
2月	定期調査						定期調査	
3月	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査	定期調査

使用薬剤・資材数量表

施工現場:国立スポーツ科学センター本館及び設備棟

階	場所	重点区域			一般区域		
		ロートラップ	食毒剤	粘着シート	ロートラップ	食毒剤	
7	厨房	4	4				
	下処理室	3	3				
	食品庫	1	1				
	厨房事務室	1	1				
	厨房用トイレ	1	1				
	洗浄室	4	4				
	カウンター	3	3				
	ホール	4	4				
	リフレッシュエリア	1	1				
	男子トイレ	1	1				
	女子トイレ	1	1				
	男子脱衣室	1	1				
	女子脱衣室	1	1				
6	フロント	2	2				
	宿泊室PS(12箇所)				12	12	
	機械室	1	1				
	湯沸室	2	2				
	自販機コーナー	1	1				
	ランドリー	1	1				
	リネン室	1	1				
	リネン室	1	1				
	宿泊室PS(12箇所)				12	12	
	機械室	1	1				
	湯沸室	2	2				
	自販機コーナー	1	1				
	ランドリー	1	1				
5	宿泊室PS(12箇所)				12	12	
	機械室	1	1				
	湯沸室	2	2				
	自販機コーナー	1	1				
	ランドリー	1	1				
	リネン室	1	1				
	宿泊室PS(12箇所)				12	12	
	機械室	1	1				
	湯沸室	2	2				
	自販機コーナー	1	1				
	ランドリー	1	1				
	4	トレーニング受付	1	1			
		トレーニングルーム	1	1			
男子トイレ(1)		1	1				
女子トイレ(1)		1	1				
男子トイレ(2)		1	1				
女子トイレ(2)		1	1				
研究室		3	3				
湯沸室		2	2				
工学研究室		1	1				
男子トイレ		1	1				
女子トイレ			1				

3	男子トイレ(1)	1	1		
	女子トイレ(1)		1		
	身障者トイレ	1	1		
	男子更衣室	1	1		
	女子更衣室	1	1		
	事務室	1	1		
	男子トイレ(2)	1	1		
	女子トイレ(2)		1		
	男子トイレ(3)	1	1		
	女子トイレ(3)		1		
	男子トイレ(4)	1	1		
	女子トイレ(4)		1		
2	喫茶カウンター	3	3		
	喫茶厨房	2	2		
	倉庫	1	1		
	男子更衣室	1	1		
	男子トイレ(1)	1	1		
	女子更衣室		1		
	女子トイレ(1)		1		
	男子トイレ(2)	1	1		
	女子トイレ(2)		1		
	男子トイレ(3)	1	1		
	女子トイレ(3)		1		
1	湯沸室	2	2		
	男子更衣室	1	1		
	女子更衣室		1		
	女子トイレ		1		
	男子トイレ	1	1		
	自販機コーナー	1	1		
	中央監視室	1	1		
	女子トイレ		1		
	男子トイレ	1	1		
	身障者トイレ		1		
	職員休憩室(1)	1	1		
	清掃作業員控室	1	1		
	委託業者控室(2)	1	1		
	委託業者控室(1)	1	1		
	警備宿直室	1	1		
	受付兼事務室	1	1		
	湯沸室	1	1		
	職員休憩室(2)	1	1		
	宿直室	1	1		
	診察室(4室)			4	4
	研究員室			1	1
	部長室			1	1
	男子トイレ	1	1		
	女子トイレ		1		
	栄養指導室	1	1		
	処置室			1	1
	洗浄室	1	1		
	ドーピングコントロール	1	1		
	検査室			1	1
	婦人科診査室			1	1

B1	MRI受付	1	1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	更衣室(1)	1	1			
	更衣室(2)		1			
	ポンプ室	1	1	1		
	ボイラー室	1	1	1		
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	身障者更衣室		1			
	ボート・カヌー実験場	1	1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	コートコーナー	1	1			
	男子更衣室	1	1			
	女子更衣室		1			
	シンクロ	2	2			
	外廻り			1		
	<設備棟>					
	ボンベ室	1	1	1		
	受付	1	1			
	ポンプ室①	1	1	1		
	ポンプ室②	1	1	1		
	EPS	1	1			
	更衣室	1	1			
	トイレ	2	2			
	倉庫①			1		
	倉庫②			1		
		122	142	8	57	57

使用薬剤・資材数量表

施工現場: ナショナルトレーニングセンター 屋内トレーニングセンター

階	場所	重点区域			一般区域	
		ロートラップ	食毒剤	粘着シート	ロートラップ	食毒剤
4	器具庫(4)	1	1			
	テクニカルルーム(1)	1	1			
	男子ロッカー	1	1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	女子ロッカー		1			
	テクニカルルーム(2)	1	1			
3	テクニカルルーム(1)(2)	2	2			
	器具庫(2)	1	1			
2	男子ロッカー	1	1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	女子ロッカー		1			
	EPS			1		
1	器具庫(1)	1	1	1		
	ミーティングルーム	1	1			
	事務室	1	1			
	受付	1	1			
	業者控え室	1	1			
	女子トイレ		1			
	男子トイレ	1	1			
	男子更衣室	1	1			
	女子更衣室		1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	男子ロッカー一室	1	1			
	女子ロッカー一室		1			
	EPS			1		
	B1	テクニカルルーム(1)(2)	1	1		
男子トイレ		1	1			
女子トイレ			1			
器具庫		1	1			
女子更衣室			1			
男子更衣室		1	1			
男子トイレ		1	1			
プール更衣室(男)		1	1			
プール更衣室(女)		1	1			
女子トイレ			1			
中央監視室		1	1			
スタッフルーム		1	1			
サーバー室				1		
ボイラー室				1		
女子トイレ			1			
監視員室兼器具庫			1	1		
SPS				1		
			28	41	7	

使用薬剤・資材数量表

施工現場: 国立スポーツ科学センター NTC宿泊施設 アスリート・ヴィレッジ

階	場所	重点区域			一般区域	
		ローチトラップ	食毒剤	粘着シート	ローチトラップ	食毒剤
6~R	宿泊室PS				10	10
	ランドリー室(1)	1	1			
	リネン庫(1)	1	1			
	マッサージ室(1)	1	1			
	ランドリー室(2)(3)	2	2			
	マッサージ室(2)	1	1			
	リネン庫(2)	1	1			
	EPS			2		
5	宿泊室PS				8	8
	ランドリー室(1)	1	1			
	リネン庫(1)	1	1			
	宿泊室PS				2	2
	マッサージ室(1)	1	1			
	脱衣室	1	1			
	ランドリー室(2)	1	1			
	宿泊室PS				2	2
	ランドリー室(3)	1	1			
	リネン庫(2)	1	1			
	マッサージ室(2)	1	1			
	トイレ	1	1			
	EPS			2		
4	宿泊室PS				10	10
	ランドリー(1)	1	1			
	リネン庫(1)	1	1			
	マッサージ室(1)	1	1			
	ランドリー室(2)	1	1			
	宿泊室PS				4	4
	ランドリー室(3)	1	1			
	リネン庫(2)	1	1			
	マッサージ室(2)	1	1			
	トイレ	1	1			
	脱衣室	1	1			
	EPS			2		
	3	宿泊室PS				8
ランドリー室(1)		1	1			
リネン庫(1)		1	1			
マッサージ室(1)		1	1			
脱衣室		1	1			
ランドリー室(2)		1	1			
宿泊室PS					2	2
ランドリー室(3)		1	1			
マッサージ室(2)		1	1			
リネン庫(2)		1	1			
トイレ		1	1			
EPS				1		

2	宿泊室PS				8	8
	ランドリー室	1	1			
	リネン室	1	1			
	マッサージ室	1	1			
	女子トイレ		1			
	男子トイレ	1	1			
	ミーティング(2室)	2	2			
	リネン庫	1	1			
	脱衣室	1	1			
	ランドリー室	1	1			
	EPS			1		
1	事務室	1	1			
	食品庫	1	1			
	検収室	1	1			
	冷蔵庫	1	1			
	下処理室	1	1			
	調理室	1	1			
	盛付室	4	4			
	カフェテリアコーナー	1	1			
	食堂	1	1			
	洗淨室	1	1			
	女子脱衣室		1			
	男子脱衣室	1	1			
	男子トイレ	1	1			
	女子トイレ		1			
	ミーティング室(1)	1	1			
	ミーティング室(2)	1	1			
	女子トイレ		1			
	男子トイレ	1	1			
	男子コンデショニング室	1	1			
	女子コンデショニング室		1			
	控え室	1	1			
	給湯室	1	1			
	サーバー室	1	1			
	警備室	1	1			
	事務室	1	1			
	ロッカー室	2	2			
	EPS			2		
B1	消化ポンプ室			1		
	電気室			1		
		69	74	12	54	54

使用薬剤・資材数量表

施工現場: 国立スポーツ科学センター NTC宿泊施設 アスリート・ヴィレッジ(南館)設備

階	場所	重点区域			一般区域	
		ローチトラップ	食毒剤	粘着シート	ローチトラップ	食毒剤
7~R	宿泊室PS				17	17
	マッサージ室	1	1			
	ランドリー室(12)(13)	2	2			
	リネン庫	1	1			
	EPS			3		
6	宿泊室PS				17	17
	マッサージ室	1	1			
	ランドリー室(10)(11)	2	2			
	リネン庫	1	1			
	EPS			3		
5	宿泊室PS				17	17
	マッサージ室	1	1			
	ランドリー室(8)(9)	2	2			
	リネン庫	1	1			
	EPS			3		
4	宿泊室PS				18	18
	マッサージ室	1	1			
	ランドリー室(6)(7)	2	2			
	リネン庫	1	1			
	EPS			3		
3	宿泊室PS				18	18
	ランドリー室(3)(4)(5)	3	3			
	脱衣室(2)(3)	2	2			
	トイレ	2	2			
	EPS			3		
2	宿泊室PS				12	12
	ランドリー室(1)(2)	2	2			
	脱衣室(1)	1	1			
	トイレ	1	1			
	EPS			3		
1	事務室	1	1			
	食品庫	1	1			
	食品保管庫	1	1			
	下処理室	1	1			
	冷蔵庫	1	1			
	冷凍庫	1	1			
	洗浄室	1	1			
	宿直室1, 2PS				1	1
	前室	1	1			
	M-WC	1	1			
	F-WC		1			
	多目的トイレ		1			
	採尿室(1)(2)		2			
	EPS			4		
設備棟4	電気室			1		
設備棟2	トイレ	1	1			
	更衣室	1	1			
	委託業者控室(2)	1	1			
	委託業者控室(1)	1	1			
		▲40	●44	■23	▲100	●100

使用薬剤・資材数量表

施工現場: 国立スポーツ科学センター フットサル・テニスコート

階	場所	重点区域			一般区域	
		ロートラップ	食毒剤	粘着シート	ロートラップ	食毒剤
	フットサル 受付室	1	1			
	テニスコート テクニカルルーム	1	1			
	テニスコート 器具庫	1	1			
	コート周囲			2		
		3	3	2	0	0

使用薬剤・資材数量表

施工現場:(仮称)アーチェリー競技実験場

階	場所	重点区域			一般区域	
		ロートラップ	食毒剤	粘着シート	ロートラップ	食毒剤
1F	射場					
	ホール・通路					
	男子便所	1	1			
	女子便所	1	1			
	物入					
	倉庫			1		
2F	ミーティングルーム	1	1			
	男子更衣室	1	1			
	女子更衣室	1	1			
	シャワーコーナー					
	通路					
階段						
1F	機材庫			1		
2F	運営倉庫			1		
1F	的場	1	1			
	アーチェリー場周囲			2		
		6	6	5	0	0

クリーニング対象物周期・予定数量

(スポーツクリニック)

品名	枚数/回	頻度	年間予定数量
タオルケット	1	1/週	48
バスタオル	6	2/週	576
スポーツタオル	1	2/週	96
フェイスタオル	4	2/週	384
MR I 検査用短パン	6	2/週	576
検査着(上)	2	2/週	192
検査着(下)	1	1/週	48
枕カバー	1	1/週	48
シーツ(含 包交車カバー)	1	1/月	12
診察台カバー	1	1/週	48
毛布カバー(含 包布)	1	1/月	12
長白衣(白)	3	2/週	288
長白衣(青)	1	1/月	12
看護婦白衣(上)	1	1/月	12
看護婦白衣(下)	1	1/月	12
看護婦白衣ワンピース	5	2/週	480
エプロン	1	1/月	12
ケイシー(上)	7	2/週	672
ケイシー(下)	8	2/週	768
ジャケット型白衣	1	2/週	96
高圧酸素治療着	1	2/週	96
スカート	1	1/週	48
カーテン(m ²)	1	1/年	96.675
羽毛掛布団	1	2/年	2
毛布	4	1/年	4

(栄養指導食堂・喫茶室・合宿室)

品名	枚数/回	頻度	年間予定数量
【調理師】			
コックコート	3~5	2/週	480
パンツ	1	1/週	48
前掛け	10	2/週	960
四角巾	2	1/週	96
厨房帽子	2	1/週	96
【レストランパート】			
パンツ	2	2/週	192
シャツ	11	2/年	22
エプロン	2~3	2/週	240
三角巾	2~3	2/週	240
タイ	11	2/年	22
【喫茶】			
パンツ	1	1/週	48
エプロン	2	2/週	192
蝶タイ	9	2/年	18
シャツ	9	2/年	18
【清掃パート】			
チノパン	14	2/年	28
ポロシャツ	14	2/年	28
【レストラン】			
テーブルクロス	4	2/月	96

(戸田艇庫)

品名	枚数/回	頻度	年間予定数量
シーツ	70	1/週	3,360
包布	40	1/週	1,920
枕カバー	85	1/週	4,080
ベッドパッド	6	1/年	6
毛布	200	1/年	200
シャワーカーテン	2	2/年	4
掛け布団	50	1/年	50

(J I S S 宿泊施設)

品目	枚数/回	頻度	年間予定数量
ベッドスプレッド	7	1/年	7
ベッドパット	78	1/年	78
羽毛中芯	78	1/年	78
枕	78	1/年	78
和室用羽毛布団	6	1/年	6
和室用敷布団	6	1/年	6
和室用枕	6	1/年	6
座布団	6	1/年	6
毛布	6	1/年	6

(N T C 宿泊施設)

品目	枚数/回	頻度	年間予定数量
デュベカバー	218	1/年	218
ベッドパット	218	1/年	218
羽毛中芯	218	1/年	218
枕	218	1/年	218
和室用羽毛布団	40	1/年	40
和室用敷布団	40	1/年	40
和室用枕	40	1/年	40
座布団	10	1/年	10
毛布	30	1/年	30
デュベカバー	190	1/年	190
ベッドパット	190	1/年	190
羽毛中芯	190	1/年	190
枕	190	1/年	190
座布団	50	1/年	50
毛布	30	1/年	30

対 象 設 備 一 覧

- (1) 国立スポーツ科学センター
(屋 内 施 設)

電気設備

名 称	設 備 内 容												
1. 電力設備	<table border="0"> <tr> <td>分電盤</td> <td>69</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>動力制御盤</td> <td>50</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>外 灯</td> <td>34</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>ハンドホール</td> <td>57</td> <td>個</td> </tr> </table> <p>※照明器具・配線器具等の巡視範囲は廊下・ホール・便所等の共用部とし、その面積は約4,162㎡である。</p>	分電盤	69	面	動力制御盤	50	面	外 灯	34	基	ハンドホール	57	個
分電盤	69	面											
動力制御盤	50	面											
外 灯	34	基											
ハンドホール	57	個											
2. 避雷設備	<table border="0"> <tr> <td>突 針</td> <td>5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>棟上導体</td> <td>400</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>接 地 極</td> <td>12</td> <td>カ所</td> </tr> </table>	突 針	5	基	棟上導体	400	m	接 地 極	12	カ所			
突 針	5	基											
棟上導体	400	m											
接 地 極	12	カ所											
3. 受変電設備	<table border="0"> <tr> <td>1. 受変電圧</td> <td>3相3線</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>kV</td> </tr> <tr> <td>2. 特高・高圧・低圧配電盤</td> <td>81</td> <td>面</td> </tr> </table>	1. 受変電圧	3相3線			22	kV	2. 特高・高圧・低圧配電盤	81	面			
1. 受変電圧	3相3線												
	22	kV											
2. 特高・高圧・低圧配電盤	81	面											

名称	設備内容		台数	
変電室盤類	記号	盤名	仕様	41面
	①-1	高圧本線引込盤		1面
	①-2	高圧本線受電盤		1面
	②-1	高圧予備線引込盤		1面
	②-2	高圧予備線受電盤		1面
	③	高圧き電盤No1	52FC, 52F1, 52F2	1面
	④	高圧き電盤No2	52F4, 52F5, 52F6	1面
	⑤	高圧き電盤No4-2	蓄熱契約用	1面
	⑥	高圧き電盤No3	52B, 52G, 52FG	1面
	⑦	高圧き電盤No4-1	52F3	1面
	⑧-1	高圧コンデンサ盤No1	sc230kver sr29.9kver	1面
	⑧-2	高圧コンデンサ盤No2	sc230kver sr29.9kver	1面
	⑨-1	高圧コンデンサ盤No3	sc230kver sr29.9kver	1面
	⑨-2	高圧コンデンサ盤No4	sc230kver sr29.9kver	1面
	A	低圧一般電灯盤No1	T1φ 300KVA	1面
	B	低圧一般電灯盤No2	T1φ 300KVA	1面
	C	低圧一般電灯盤No3	T1φ 300KVA	1面
	D-1	低圧一般照明盤No4-1(3相)	T3φ 500KVA	1面
	D-2	低圧一般照明盤No4-2(3相)		1面
	E	スペース		1面
	F	ヒートポンプチラー盤	T3φ 500KVA(415V)	1面
	G	空調機盤No1	T3φ 500KVA	1面
	H	空調機盤No2	T3φ 500KVA	1面
	I	空調機盤No3		1面
	J	衛生・実験・他盤No1	T3φ 500KVA	1面
	K-1	衛生・実験・他盤No2	T3φ 500KVA	1面
	K-2	衛生・実験・他盤No3	T3φ 500KVA	1面
	L	ボート・カヌー実験盤	T3φ 750KVA(415V)	1面
	M	MRI盤	T3φ 100KVA(415V)	1面
	N	X線 CT盤	T3φ 300KVA	1面
	O-1	非常電灯盤-1		1面
	O-2	非常電灯盤-2	Scott T 200KVA	1面
	P-1	非常動力盤		1面
P-2	保安動力盤	T3φ 500KVA	1面	
Q	スペース		1面	
2	直流電源装置(整流装置)		1面	
3	RS-盤		2面	
4	電力リレー盤		2面	
5	接地端子盤		1面	
6	直流電源装置(蓄電池)		1面	

名 称	設 備 内 容					台 数		
受変電設備	記載事項		記載内容					
	受電方式	受電電圧	6600V					
		周波数	50Hz					
		制御方式	VCB・電動パネル操作・DC100V引き外し方式					
	受電盤	配電盤形式	高圧スイッチギア(JEM 1425 CW形)					
		主遮断装置	VCB					
		遮断器分類	真空遮断機 600A					
		定格遮断電流	12.5KA					
	き電盤	面数	4面					
		配電盤形式	高圧スイッチギア(JEM 1425 CW形)					
		遮断機種類	VCB					
		定格遮断電流	12.5KA					
	低圧配電盤	変圧器	相線	三相3線	単相3線	単相3線		スコット
			電圧	6.6/200V	6.6/400V	6.6/200-100V		6.6/200-100V×2
			容量	300・500	300・500・750	300		200
			台数	2台・7台	1台・1台・1台	3台		1台
			種別	モールド	モールド	モールド		モールド
		配電盤形式	高圧スイッチギア(JEM 1425 CY形)					
		面数	19面					
	コンデンサ盤	コンデンサ	電圧	7590V	JEM 1425 (Cx形)			
			相線	三相				
			容量	230KV				
			台数	4台				
		リアクトル	電圧	6600V				
相線			三相					
容量			59.9KV(13%)					
台数			4台					

照明制御設備

名 称	設 備 内 容	台 数
1・照明制御盤	(1)CPU 32ビットマイクロコンピュータ 1台 (2)カラーLCD 1台 表示方式 バックライト付カラーLCD 表示サイズ 10.4インチ 640×480 画素 (3)ミニプリンター(フロッピーディスクドライブ内臓) 1台 (4)アナウンサーター(480窓) 1台	1面
2. 照明操作盤		2面
3. 制御機能	(1)個別制御 (800回線) (2)パターン制御 (200パターン) (3)グループ制御 (750グループ) (4)スケジュール制御 (5)連動制御 (6)強制制御 (7)昼光制御	
4. 監視機能	(1)照明グループ状態監視 (2)照明パターン状態監視 (3)システム異常監視	

自家発電設備

名 称	設 備 内 容	台 数
自家発電設備	<p>(1) 発電機 定格出力 750KVA 電圧 6, 600V</p> <p>(2) ガスタービン 開放単純サイクルー軸式 出力 900PS</p> <p>(3) 盤類 発電機盤 1面 自動始動盤 1面 始動用蓄電池盤 1面</p> <p>(4) 直流電源装置 1組 整流装置 入力 3φ200V 15A 出力 DC 48V 15A 蓄電池 MEX-400 24セル 400AH</p> <p>(5) 燃料装置 主燃料槽 5, 000ℓ(地下貯油槽) 1基 燃料小出槽 1, 950ℓ 1基 燃料移送ポンプ 0. 75kw 2台 燃料返油ポンプ 1. 5kw 2台</p>	<p>1台</p> <p>3面</p> <p>1面</p> <p>1面</p> <p>1面</p> <p>1組</p> <p>1基</p> <p>1基</p> <p>2台</p> <p>2台</p>

直流電源設備

	設 備 内 容	台 数
直流電源設備	(1)整流装置 3φ 200V 50A	1台
	(2)蓄電池 形式 MSE-400 個数 54セル 容量 400AH	1台

本館

太陽光採光装置

機器名称	設備内容	台数
反動駆動装置	外 寸 :巾2800以下 高さ2800以下 重 量 :約700kg以下 耐風強度 :50m/s以上 反射ミラー:強化ガラス t=5 有効2.0㎡以上	2
制御盤(屋外設置型)	定 格:AC100V 50Hz 消 費 電 力:作動時200W以下 常時100W以下 警 報:異常一括とし、中央監視に出力 高度回転角:+5度~+90度以上 方位回転角:+120度~-120度以上	2

ITV装置システム

機器名称	仕 様	台 数
監視装置架内	PVM-20M4J(ビデオモニター)	12台
	MIP-600S(混合分配増幅器)	2台
	DEM-Q100(4波復調器)	12台
	DEM-Q100S(4波復調器RFスイッチ付)	1台
	MV-40E(4分割合成器)	13台
	CPU-3000(制御CPU)	1台
	BLN-2000(通信制御装置)	3台
	RSW-802(リモートスイッチャ)	1台
	DEM-800(8chチューナー)	9台
	VVC-50(周波数変換器)	1台
	SP-170(S/P変換器)	1台
	PSP-200T(電源盤)	1台
	RFM-170T2(RFモデム)	1台
	HSR-1(監視用デジタルレコーダー)	5台
	ITV操作卓内	PC7DV3(CPU)
21インチディスプレイ		1台
HSR-1(再生用デジタルレコーダー)		1台
固定カメラ		40台
遠隔操作カメラ		24台
事務所架内	PVM-20M4J(ビデオモニター)	10台
	DEM-Q100(4波復調器)	10台
	MV-40E(4分割合成器)	10台
	MIP-600S(混合分配増幅器)	2台
	CPU-3000(制御CPU)	1台
	BLN-2000(通信制御装置)	1台
	SP-170(S/P変換器)	1台
	PSP-200T(電源盤)	2台
タッチパネル式操作盤	1台	
警備室架内	PVM-20M4J(ビデオモニター)	10台
	DEM-Q100(4波復調器)	10台
	MV-40E(4分割合成器)	10台
	MIP-600S(混合分配増幅器)	2台
	CPU-3000(制御CPU)	1台
	BLN-2000(通信制御装置)	1台
	SP-170(S/P変換器)	1台
	PSP-200T(電源盤)	2台
タッチパネル式操作盤	1台	

空調設備

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
直焚吸収冷温水器 RB-1・RB-2	冷凍能力 907,000 Kcal/H(300RT) 加熱能力 809,000 Kcal/H 冷温水量 2,160ℓ/min 冷媒ポンプ 溶液ポンプ 抽気ポンプ	3φ-200V 3φ-200V 3φ-200V 3φ-200V 15KVA	2
冷却塔 CT-1 CT-2	低騒音角型内部配管型 冷却能力 1,670,000 Kcal/H 冷却水量 5,100ℓ/min	電動機 5.5KW×2 3φ-200V 冷凍防止ヒーター 3φ-200V 5.0KW×2	2
自動薬注装置 (冷却水処理用) WC-1・WC-2(1)(2)	ユニット形 電源容量 1φ-200V 吐出量 30cc/min 吐出圧力 15kg/cm ² タンク容量 200ℓ	15W	3
空気熱源 ヒートポンプユニット HPC-1	ユニット型 冷凍能力 266,000 Kcal/H 加熱能力 190,000 Kcal/H 冷温水量 452ℓ/min(温) 640ℓ/min(冷)	圧縮機 100KW 3φ-400V 熱交送風機 4.5KW×3 3φ-400V	1
チリングユニット DHPC-1	水冷スクルー熱回収型 冷凍能力 387,000 Kcal/H 329,000 Kcal/H(熱回収時) 加熱能力 428,000 Kcal/H(熱回収時) 冷水量 920ℓ/min 温水量 1,020ℓ/min 冷却水量 1,570ℓ/min	圧縮機 45KW×2 3φ-400V オイルポンプヒーター150W×4 3φ-400V	1
鋼製ボイラー (プール加温、貯湯槽用) Bs-1 Bs-2	炉筒煙管型(蒸気) 定格出力 1,617,000 Kcal/H 最大蒸発量 2.771t/H at80℃ 最高使用圧力 0.981Mpa 伝熱面積 29.2m ² 燃料の種類 都市ガス13A 付属機器 ① 多段渦巻型給水ポンプ φ32mm×60ℓ/min×70m ② ユニット型自動薬注装置 吐出量 12cc/min 吐出圧力 16kg/cm ² タンク容量 50ℓ	押込みファン 11.0KW 3φ-200V 給水ポンプ 2.2KW 3φ-200V 20VA 1φ-100V	2 2 2

空調設備

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
鋼製ボイラー (加湿専用) Bs-3	炉筒煙管型(蒸気) 定格出力 646,000 Kcal/H 最大蒸発量 1.109 t/H at80°C 最高使用圧力 0.981 Mpa 伝熱面積 14.1m ² 燃料の種類 都市ガス13A 押込みファン ① 多段渦巻ポンプ φ40mm×90 l/min×58m ② ユニット型自動薬注装置 吐出量 12cc/min 吐出圧力 16kg/cm ² タンク容量 50ℓ	3.7KW 3φ-200V 3.7KW 3φ-200V 1.1KW 3φ-200V 20VA 1φ-100V	1
硬水軟化装置 Wc-3(Bs-1・Bs-2・Bs-3)	全自動型 処理水量 133ℓ/min	100W 1φ-100V	2
ドレンフィルター DF-1	復水器過装置 SUS304カートリッジ式 通水流量 10m ³ /H 最高使用圧力 5kg/cm ²		1
熱交換器 (床暖房系統) HE-1	U字管式円筒多管形 交換熱量 345,000Kcal/H 温水量 576ℓ/min 損失水頭 1.51mH ₂ O 最高使用水頭 100mH ₂ O 蒸気量 668kg/H(圧力2kg/cm ²)		1
熱交換器 (パネルヒータ系統) HE-2	U字管式円筒多管形 交換熱量 54,500Kcal/H 温水量 40ℓ/min 損失水頭 0.08mH ₂ O 最高使用水頭 100mH ₂ O 蒸気量 106kg/H(圧力2kg/cm ²)		1
還水タンク HWT-1	SUS 304製(中仕切り, 連通口付) 有効容量 2,150ℓ×2 寸法 1,800×1,800×H 1,800		1
還水タンク HWT-2	SUS 304製 有効容量 600ℓ 寸法 1,000×1,000×H 1,000		1

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
プレート型熱交換器 HE-3	蒸気-水熱交換器(SUS316製) 交換熱量:428,000Kcal/H 一次側蒸気量:829kg/H 蒸気圧力:2kg/cm ² 二次側温水量:1,020ℓ/min 温水温度:38℃-45℃		1
熱交換器 (BS-1・BS-2ブロー槽水系統) HE-4	U字管式円筒多管形 交換熱量:27,000Kcal/H 一次側温水量:829kg/H 蒸気圧力:2kg/cm ² 二次側給水量:1,020ℓ/min 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水一次(住)ヘッダー HCH-1-1	SUS製 φ 450 × L 1,700 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(住)ヘッダー HCH-2-1	SUS製 φ 450 × L 4,000 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(住)ヘッダー HCH-2-2	SUS製 φ 250 × L 1,650 最高使用圧力:10kg/cm ²		1

空調設備

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
冷水一次(住)ヘッダー HC-1-1	SUS製 φ 450 × L 2, 700 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷水一次(住)ヘッダー HC-1-2	SUS製 φ 450 × L 1, 960 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷水二次(住)ヘッダー HC-2-1	SUS製 φ 350 × L 2, 700 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水一次(住)ヘッダー HH-1-2	SUS製 φ 450 × L 2, 130 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水二次(住)ヘッダー HH-2-1	SUS製 φ 400 × L 2, 760 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水(還)ヘッダー HCHR-1-1	SUS製 φ 450 × L 730 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷水一次(還)ヘッダー HCR-1-1	SUS製 φ 450 × L 2, 070 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷水一次(還)ヘッダー HCR-1-2	SUS製 φ 450 × L 1, 740 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水一次(還)ヘッダー HHR-1-1	SUS製 φ 450 × L 2, 200 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水一次(還)ヘッダー HHR-1-2	SUS製 φ 450 × L 1, 740 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
蒸気ヘッダー HS-1 (Bs-1, Bs-2系統)	STPG 370製 φ 300 × L 2, 000 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
蒸気ヘッダー HS-2 (Bs-3系統)	STPG 370製 φ 200 × L 2, 000 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(還)ヘッダー HHRC-2-3	SUS製 φ 500 × L 20, 210 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(還)ヘッダー HHRC-2-4	SUS製 φ 500 × L 16, 440 最高使用圧力:10kg/cm ²		1

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
冷水二次(往)ヘッダー HC-2-2	SUS製 φ 500 × L 6, 000 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水二次(還)ヘッダー HHR-2-1	SUS製 φ 500 × L 6, 460 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(還)ヘッダー HCRH-2-1	SUS製 φ 500 × L 20, 210 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷温水二次(還)ヘッダー HCRH-2-2	SUS製 φ 500 × L 20, 210 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
冷水二次(還)ヘッダー HCR-2-2	SUS製 φ 500 × L 5, 300 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
温水二次(往)ヘッダー HH-2-2	SUS製 φ 500 × L 6, 360 最高使用圧力:10kg/cm ²		1
膨張タンク EXT-1 (一般冷温水2次系統)	密閉式隔膜式 膨張量:55L 最小有効容量:220L 最高使用圧力:4kg/cm ²		1
膨張タンク EXT-2 (24時間冷温水2次系統)	密閉式隔膜式 膨張量:11L 最小有効容量:44L 最高使用圧力:4kg/cm ²		1
膨張タンク EXT-3 (年間冷水系統)	密閉式隔膜式 膨張量:22L 最小有効容量:33L 最高使用圧力:4kg/cm ²		1

空調設備

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
冷却水ポンプ(床置) PCD-1、PCD-2	片吸込渦巻形 φ200×φ150×5,000 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×37m 背圧力:35mH ₂ O	5.5kw 3φ-200V	2
冷却水ポンプ(床置) PCD-3	片吸込渦巻形 φ125×φ100×1,570 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×35m 背圧力:35mH ₂ O	18.5kw 3φ-200V	1
冷温水一次ポンプ PCH-1-1 PCH-1-2	片吸込渦巻形(RB-1、2系統) φ150×φ125×2,160 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×36m	30kw 3φ-200V	2
冷温水一次ポンプ PCH-1-3	片吸込渦巻形(HPC-1系統) φ80×φ65×640 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×26m	7.5kw 3φ-200V	1
冷水一次ポンプ PC-1-1	片吸込渦巻形(DHPC-1系統) φ80×φ65×920 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×24m	7.5kw 3φ-200V	1
温水一次ポンプ PH-1-1	片吸込渦巻形(DHPC-1系統) φ100×φ80×1,020 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×26m	11kw 3φ-200V	1
冷温水二次ポンプ PCH-2-1	片吸込渦巻形 φ150×φ125×2,200 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×60m 背圧力:10mH ₂ O	45kw 3φ-200V	3
冷温水二次ポンプ PCH-2-2	片吸込渦巻形 φ65×φ50×450 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×55m 背圧力:10mH ₂ O	11kw 3φ-200V	2
冷水二次ポンプ PC-2-1	片吸込渦巻形 φ80×φ65×940 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×65m 背圧力:10mH ₂ O	18.5kw 3φ-200V	3
温水二次ポンプ PH-2-1	片吸込渦巻形 φ80×φ65×730 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×65m 背圧力:10mH ₂ O	18.5kw 3φ-200V	3
温水ポンプ PH-1	片吸込渦巻形(床暖房系統) φ80×φ65×575 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×48m	11kw 3φ-200V	2
温水ポンプ (パネルヒーター系統)	片吸込渦巻形 φ50×φ40×40 $\frac{\text{リットル}}{\text{分}}$ /min×42m	3.7kw 3φ-200V	2

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
温水ポンプ (プール水温調整系統) PCH-3	片吸込渦巻形 φ 80× φ 65×870 ^{mm} /min×28m	7.5kw 3φ-200V	1
冷温水ポンプ PCH-2-2 (復水ろ過系統)	ライン形 φ 50×180 ^{mm} /min×18m 最高使用温度:90℃	1.5kw 3φ-200V	1
蓄熱槽廻り配管			4組
床暖房設備			9組

空調設備

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-B1-1 (50mプール系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:43,470m ³ /H 外気量:6,000m ³ /H 冷却能力:131,700kcal/H 加熱能力:104,300kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	30kW 0.05kW	50台 1
コイルユニット CU-B1-1 (50mプール観察通路系統)	形式:水平形 設置位置:天吊 送風量:5,730m ³ /H 外気量:810m ³ /H 冷却能力:17,400kcal/H 加熱能力:14,000kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:パネル形		1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-2 (50mプール系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:43,500m ³ /H 外気量:6,000m ³ /H 冷却能力:131,700kcal/H 加熱能力:6,000kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	30kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-3 (シンクロ練習場系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA28,750m ³ /H 送風量:RA28,500m ³ /H 外気量:3,500m ³ /H 冷却能力:76,100kcal/H 加熱能力:83,900kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	18.5kW 11kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 CU-B1-1 (シンクロ練習場観察通路系統)	形式:水平型 設置位置:天吊 送風量:6,520m ³ /H 外気量:12,000m ³ /H 冷却能力:17,300kcal/H 加熱能力:19,000kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:パネル形	30kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-4 (シンクロ練習場系統)	形式:システム型 設置位置:床置 送風量:SA28,800m ³ /H 送風量:RA25,300m ³ /H 外気量:3,500m ³ /H 冷却能力:76,100kcal/H 加熱能力:61,600kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	18.5kW 11kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-B1-5 (ボート・カヌー実験場系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:9,190m ³ /H 外気量:1,810m ³ /H 冷却能力:45,200kcal/H 加熱能力:44,000kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-6 (MRI室2系統)	形式:水平型 設置位置:床置 送風量:3,440m ³ /H 外気量:820m ³ /H 冷却能力:12,400kcal/H 加熱能力:13,600kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	2.2kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-7 (X線検査室他系統)	形式:水平型 設置位置:床置 送風量:14,000m ³ /H 外気量:1,000m ³ /H 冷却能力:54,700kcal/H 加熱能力:30,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	11kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-9 (50mシンクロ更衣室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:7,160m ³ /H 外気量:7,160m ³ /H 冷却能力:84,700kcal/H 加熱能力:54,960kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-10 (射撃アーチェリー系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:5,820m ³ /H 外気量:5,820m ³ /H 冷却能力:61,600kcal/H 加熱能力:52,800kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-B1-11 (電気室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:27,700m ³ /H 外気量: 冷却能力:66,200kcal/H 加熱能力: 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	1.5kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-B1-12 (MRI室1系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:2,570m ³ /H 外気量:240m ³ /H 冷却能力:6,600kcal/H 加熱能力:7,800kcal/H 加湿ユニット:電気発生機 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	1.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-1 (エントランスホール系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:29,040m ³ /H 外気量:2,100m ³ /H 冷却能力:99,000kcal/H 加熱能力:58,600kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	18.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-2 (診療系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:SA8,290m ³ /H 送風量:RA6,750m ³ /H 外気量:8,290m ³ /H 冷却能力:100,000kcal/H 加熱能力:63,700 加湿ユニット: 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	7.5kW 3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-3 (事務室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:10,260m ³ /H 外気量:3,470m ³ /H 冷却能力:68,500kcal/H 加熱能力:34,900kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-4 (中央監視室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:870m ³ /H 外気量:870m ³ /H 冷却能力:9,200kcal/H 加熱能力:8,850kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	0.75kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-5 (バイオメカニクハード室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:7,450m ³ /H 外気量:820m ³ /H 冷却能力:31,000kcal/H 加熱能力:22,700kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	5.5kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 (研究室水治療系統)	形式:水平型 形位置:床置 外気量:1,700m ³ /H 冷却能力:17,800kcal/H 加熱能力:17,300kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-7 (研究室運動療法系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:5,380m ³ /H 外気量:1,560m ³ /H 冷却能力:32,500kcal/H 加熱能力:21,700kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-8 (陸上競技実験場系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:36,000m ³ /H 外気量:2,430m ³ /H 冷却能力:131,000kcal/H 加熱能力:95,100kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	2.2kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-1-9 (陸上競技実験場系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:36,000m ³ /H 外気量:2,430m ³ /H 冷却能力:131,000kcal/H 加熱能力:95,100kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	2.2kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-1 (一般体力測定室系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA19,000m ³ /H 送風量:RA18,200m ³ /H 外気量:2,760m ³ /H 冷却能力:79,200kcal/H 加熱能力:40,800kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	15kW 5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-2 (レスリング・柔道練習場系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA19,000m ³ /H 送風量:RA18,200m ³ /H 外気量:2,760m ³ /H 冷却能力:64,900kcal/H 加熱能力:52,300kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	7.5kW 5.5kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-2-3 (展示スペース・ラウンジ系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:5,650m ³ /H 外気量:1,790m ³ /H 冷却能力:34,200kcal/H 加熱能力:20,600kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形3φ×200V プレフィルター:	3.7kW 0.16kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-4 (喫茶室厨房系統)	形式:コンパクト形 設置位置:床置 送風量:2,200m ³ /H 外気量:2,200m ³ /H 冷却能力:26,700kcal/H 加熱能力:16,200kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	1.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-5 (更衣室系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA4,500m ³ /H 送風量:RA1,600m ³ /H 外気量:4,500m ³ /H 冷却能力:53,400kcal/H 加熱能力:34,700kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.4kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-6 (大研修室系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA8,520m ³ /H 送風量:RA8,520m ³ /H 外気量:7,430m ³ /H 冷却能力:65,500kcal/H 加熱能力:25,800kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	1.1kW 3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-7 (フェンシング練習場系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA9,220m ³ /H 送風量:RA9,220m ³ /H 外気量:2,200m ³ /H 冷却能力:46,500kcal/H 加熱能力:24,400kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	8kW 3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-2-8 (ウェイトリフティング・ボクシング系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA15,300m ³ /H 送風量:RA15,300m ³ /H 外気量:4,620m ³ /H 冷却能力:84,300kcal/H 加熱能力:46,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	11kW 5.5kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-3-1 (生化学実験室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:17,420m ³ /H 外気量:9,370m ³ /H 冷却能力:146,400kcal/H 加熱能力:79,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	11kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-3-2 (映像資料室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:2,270m ³ /H 外気量:2,270m ³ /H 冷却能力:26,900kcal/H 加熱能力:17,200kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	1.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-3-3 (スポーツ心理実験室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:3,260m ³ /H 外気量:3,260m ³ /H 冷却能力:38,700kcal/H 加熱能力:25,100kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-3-5 (研究体育館系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:30,400m ³ /H 外気量:6,780m ³ /H 冷却能力:161,000kcal/H 加熱能力:104,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	22kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-3-6 (研究体育館系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:38,600m ³ /H 外気量:6,700m ³ /H 冷却能力:158,000kcal/H 加熱能力:101,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	18.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-3-7 (ハード室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:13,530m ³ /H 外気量:360m ³ /H 冷却能力:46,000kcal/H 加熱能力:15,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	7.5kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-4-1 (競技種目別研究室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:2,850m ³ /H 外気量:2,850m ³ /H 冷却能力:33,900kcal/H 加熱能力:22,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	2.2kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-4-2 (競技種目別研究室系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:4,670m ³ /H 外気量:4,670m ³ /H 冷却能力:55,300kcal/H 加熱能力:35,900kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-4-3 (体操競技練習場系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA31,200m ³ /H 送風量:RA25,900(22,900)m ³ /H 外気量:8,370m ³ /H 冷却能力:166,000kcal/H 加熱能力:130,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:自動巻取形	18.5kW 15kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-4-4 (トレーニング体育館系統)	形式:システム形 設置位置:床置 送風量:SA31,200m ³ /H 送風量:RA32,100(29,100)m ³ /H 外気量:4,170m ³ /H 冷却能力:138,000kcal/H 加熱能力:122,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置: プレフィルター:パネル形	18.5kW 18.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-4-5 (低酸素トレーニング室系統)	形式:コンパクト形 設置位置:床置 送風量:880m ³ /H 外気量:880m ³ /H 冷却能力:10,600kcal/H 加熱能力:6,100kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	0.75kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-5-1 (5,6階宿泊室1~20系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:5,700m ³ /H 外気量:5,700m ³ /H 冷却能力:67,500kcal/H 加熱能力:48,200kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.05kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
ユニット形空気調和機 ACU-5-2 (5, 6階宿泊室21~40系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:5,400m ³ /H 外気量:5,400m ³ /H 冷却能力:64,000kcal/H 加熱能力:45,600kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	3.7kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-6-1 (2~6階EVホール・廊下系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:9,980m ³ /H 外気量:1,850m ³ /H 冷却能力:60,400kcal/H 加熱能力:44,000kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	7.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-7-1 (レストラン系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:8,820m ³ /H 外気量:3,000m ³ /H 冷却能力:62,300kcal/H 加熱能力:38,900kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:電気集塵器3φ×200V プレフィルター:	5.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-7-2 (7階ELホール・ラウンジ系統)	形式:水平形 設置位置:床置 送風量:2,400m ³ /H 外気量:2,400m ³ /H 冷却能力:29,700kcal/H 加熱能力:22,100kcal/H 加湿ユニット:蒸気スプレー 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:自動巻取形	1.5kW 0.05kW	1
ユニット形空気調和機 ACU-7-3 (レストラン厨房系統)	形式:コンパクト形 設置位置:床置 送風量:13,700m ³ /H 外気量:13,700m ³ /H 冷却能力:162,000kcal/H 加熱能力:94,900kcal/H 加湿ユニット: 空気清浄装置:中性能折込形 プレフィルター:パネル形	11kW	1

機器名称	仕様	電動機	台数
空冷式パッケージ空気調和機	天吊カセット型(MRI) 送風量 840m ³ /H 1φ×200V 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 7.1kW 圧縮機 3φ×200V リモートコントロールスイッチ化粧パネル付	1.8kw	1
空冷式パッケージ空気調和機	天吊カセット型(シンクロプール) 機器消費電力 1φ×200V 20A 50Hz 冷房能力 4.5kW 暖房能力 5.0kW 圧縮機 3φ×200V	1.7kw	1
空冷式パッケージ空気調和機	壁掛型(警備室) 送風量 840m ³ /H 1φ×200V 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3kW 圧縮機 1φ×200V リモートコントロールスイッチ化粧パネル付	1.6kw	1
空冷式パッケージ空気調和機 形名:AIU-AP801H	天井カセット型4方向吹出しタイプ(生化学実験室) 送風量 20.0m ³ /min 1φ×200V 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 9.3kW 圧縮機 1φ×200V	1.4kw	2
空冷式パッケージ空気調和機 形名:AIU-AP801H	天井カセット型4方向吹出しタイプ(生理学実験室) 送風量 20.0m ³ /min 1φ×200V 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 9.3kW 圧縮機 1φ×200V	1.4kw	2
空冷式パッケージ空気調和機 形名:FDKNP501A	壁掛型(3階映像編集室) 送風量 20.0m ³ /min 1φ×200V 冷房能力 7.1 kW 暖房能力 9.3kW 圧縮機 1φ×200V		1

機器名称	仕様	電動機	台数																								
ファンコイルユニット			328																								
1. 床置隠蔽形	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送風量 m3/H</th> <th>冷房能力 kcal/H</th> <th>暖房能力 kcal/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCU-F1-3</td> <td>420</td> <td>1720</td> <td>1760</td> </tr> <tr> <td>FCU-F1-4</td> <td>560</td> <td>2300</td> <td>2350</td> </tr> <tr> <td>FCU-F1-6</td> <td>840</td> <td>3450</td> <td>3510</td> </tr> </tbody> </table>		送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H	FCU-F1-3	420	1720	1760	FCU-F1-4	560	2300	2350	FCU-F1-6	840	3450	3510		67 28 20 19								
	送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H																								
FCU-F1-3	420	1720	1760																								
FCU-F1-4	560	2300	2350																								
FCU-F1-6	840	3450	3510																								
2. 天吊隠蔽形(1コイル)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送風量 m3/H</th> <th>冷房能力 kcal/H</th> <th>暖房能力 kcal/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCU-CI-3</td> <td>420</td> <td>1540</td> <td>2040</td> </tr> <tr> <td>FCU-CI-4</td> <td>560</td> <td>2390</td> <td>2940</td> </tr> <tr> <td>FCU-CI-6</td> <td>840</td> <td>3140</td> <td>4050</td> </tr> <tr> <td>FCU-CI-8</td> <td>1120</td> <td>4830</td> <td>5650</td> </tr> </tbody> </table>		送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H	FCU-CI-3	420	1540	2040	FCU-CI-4	560	2390	2940	FCU-CI-6	840	3140	4050	FCU-CI-8	1120	4830	5650		101 1 45 28 27				
	送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H																								
FCU-CI-3	420	1540	2040																								
FCU-CI-4	560	2390	2940																								
FCU-CI-6	840	3140	4050																								
FCU-CI-8	1120	4830	5650																								
3. 天吊隠蔽形(2コイル)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送風量 m3/H</th> <th>冷房能力 kcal/H</th> <th>暖房能力 kcal/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCU-CI-D-4</td> <td>560</td> <td>2080</td> <td>1590</td> </tr> <tr> <td>FCU-CI-D-6</td> <td>840</td> <td>2490</td> <td>2020</td> </tr> <tr> <td>FCU-CI-D-8</td> <td>1120</td> <td>4030</td> <td>2760</td> </tr> </tbody> </table>		送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H	FCU-CI-D-4	560	2080	1590	FCU-CI-D-6	840	2490	2020	FCU-CI-D-8	1120	4030	2760		123 82 14 27								
	送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H																								
FCU-CI-D-4	560	2080	1590																								
FCU-CI-D-6	840	2490	2020																								
FCU-CI-D-8	1120	4030	2760																								
4. 天井カセット形(1コイル)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送風量 m3/H</th> <th>冷房能力 kcal/H</th> <th>暖房能力 kcal/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCU-CK-4</td> <td>640</td> <td>2710</td> <td>3240</td> </tr> <tr> <td>FCU-CK-6</td> <td>960</td> <td>3140</td> <td>4050</td> </tr> </tbody> </table>		送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H	FCU-CK-4	640	2710	3240	FCU-CK-6	960	3140	4050		14 2 12												
	送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H																								
FCU-CK-4	640	2710	3240																								
FCU-CK-6	960	3140	4050																								
5. 天井カセット形(2コイル)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>送風量 m3/H</th> <th>冷房能力 kcal/H</th> <th>暖房能力 kcal/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FCU-CK-D-2</td> <td>320</td> <td>960</td> <td>790</td> </tr> <tr> <td>FCU-CK-D-3</td> <td>480</td> <td>1260</td> <td>1060</td> </tr> <tr> <td>FCU-CK-D-4</td> <td>640</td> <td>2080</td> <td>1590</td> </tr> <tr> <td>FCU-CK-D-6</td> <td>960</td> <td>2490</td> <td>2020</td> </tr> <tr> <td>FCU-CK-D-8</td> <td>1280</td> <td>4030</td> <td>2760</td> </tr> </tbody> </table>		送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H	FCU-CK-D-2	320	960	790	FCU-CK-D-3	480	1260	1060	FCU-CK-D-4	640	2080	1590	FCU-CK-D-6	960	2490	2020	FCU-CK-D-8	1280	4030	2760		23 5 5 5 5 3
	送風量 m3/H	冷房能力 kcal/H	暖房能力 kcal/H																								
FCU-CK-D-2	320	960	790																								
FCU-CK-D-3	480	1260	1060																								
FCU-CK-D-4	640	2080	1590																								
FCU-CK-D-6	960	2490	2020																								
FCU-CK-D-8	1280	4030	2760																								

機器番号	機器名称	仕 様				電気特性			台数
		形式	設置位置	サイズ φ #	風量 m ³ /H	静圧 mmH ₂ O	相一電圧 φ-V	出力 kW	
FR-B1-1	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	6	39,800	58	3-200	15	1
FR-B1-2	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	6	37,500	34	3-200	11	1
FR-B1-5	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	3	9,190	47	3-200	3.7	1
FR-B1-6	レターンファン	片吸込遠心送風機形	床置	4・1/2	14,000	35	3-200	3.7	1
FR-1-1	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	3	7,450	37	3-200	3.7	1
FR-1-2	レターンファン	斜流送風機形	床置	2・1/2	5,380	33	3-200	32.2	1
FR-1-3	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	6	36,000	54	3-200	15	1
FR-1-4	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	6	35,500	53	3-200	15	1
FR-3-1	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	5・1/2	27,600	35	3-200	11	1
FR-3-2	レターンファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	床置	5	28,500	37	3-200	15	1
FRS-1-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,100	21	3-200	0.75	1
FRS-6-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	1,850	13	3-200	0.4	1
FRE-B1-1	レターン排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1・1/2	120	29	3-200	0.4	1
FRE-B1-2	レターン排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	240	10	3-200	0.035	1
FRE-1-2	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,220	24	3-200	0.75	1
FRE-2-1	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	1	530	18	1-100	0.4	1
FRE-3-1	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	1・1/2	1,070	22	1-100	0.4	1
FRE-3-3	余剰排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1・1/4	360	23	1-100	0.2	1
FS-B2-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	5	17,200	29	3-200	5.5	1
FS-B2-2	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,690	17	3-200	0.75	1
FS-B1-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	4	8,750	17	3-200	2.2	1
FS-B1-2	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	3	4,410	9	3-200	0.75	1
FS-B1-3	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	4	10,700	21	3-200	2.2	1
FS-B1-4	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	3・1/2	7,730	12	3-200	1.5	1
FS-B1-5	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	3	3,480	10	3-200	0.75	1
FS-B1-6	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	5	26,100	26	3-200	7.5	1
FS-B1-7	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1	500	10	3-200	0.4	1
FS-B1-8	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1	500	14	3-200	0.4	1
FS-B1-9	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2・1/2	3,320	19	3-200	0.75	1
FS-B1-10	給気ファン	斜流送風機形	天吊	400	2,830	20	3-200	0.75	
FS-B1-11	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	3・1/2	7,710	11	3-200	1.5	1
FS-B1-12	給気ファン	片吸込遠心送風機形	床置	2	3,500	25	3-200	1.5	1
FS-B1-13	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1	560	12	3-200	0.4	1
FS-B1-14	給気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3	8,500	32	3-200	2.2	1
FS-B1-15	給気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	5,880	10	3-200	1.5	1

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数
		形式	設置位置	サイズ	風量	静圧	相一電圧	出力	
				φ #	m ³ /H	mmH ₂ O			
FS-B1-16	給気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1・1/4	250	21	3-200	0.2	1
FS-B1-17	給気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	810	45	3-200	0.4	1
FS-B1-18	給気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1・1/4	1,200	45	3-200	0.75	1
FS-B1-19	給気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	200	60	10	1-100	0.05	1
FBS-B1-1	給気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	2・1/2				2.2	1
FBS-B1-2	給気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	2・1/2				3.7	1
FS-3-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3	3,150	10	3-200	0.75	1
FS-3-2	給気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	2,350	17	3-200	0.75	1
FS-R-1	給気ファン	斜流送風機形	天吊	400	2,760	9	3-200	0.4	1
FS-R-2	給気ファン	斜流送風機形	天吊	315	1,320	9	3-200	0.25	1
FE-B2-1	排気ファン	片吸込遠心送風機形	床置	5	17,200	27	3-200	3.7	1
FE-B2-2	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,690	33	3-200	1.5	1
FE-B1-1	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2・1/2	5,840	45	3-200	2.2	1
FE-B1-2	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2・1/2	4,410	29	3-200	1.5	1
FE-B1-3	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2・1/2	4,400	22	3-200	1.5	1
FE-B1-4	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	3	7,730	16	3-200	1.5	1
FE-B1-5	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	3,480	16	3-200	0.75	1
FE-B1-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	500	17	3-200	0.4	1
FE-B1-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	500	20	3-200	0.4	1
FE-B1-9	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	3,320	24	3-200	1.5	1
FE-B1-10	排気ファン	斜流送風機形	天吊	400	2,610	20	3-200	0.75	1
FE-B1-11	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3・1/2	7,710	17	3-200	1.5	1
FE-B1-12	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3	5,520	21	3-200	1.5	1
FE-B1-13	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	3,500	21	3-200	0.75	1
FE-B1-17	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2				3.7	1
FE-B1-19	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	16	3-200	0.4	1
FE-B1-20	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	950	18	3-200	0.4	1
FE-B1-21	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	900	17	3-200	0.4	1
FE-B1-22	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	500	15	3-200	0.4	1
FE-B1-23	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	450	18	3-200	0.4	1
FE-B1-24	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1・1/4	200	16	3-200	0.2	1
FE-B1-26	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3・1/2	7,800	21	3-200	3.7	1
FE-B1-28	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3	5,200	25	3-200	2.2	1
FE-B1-30	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	1	560	32	3-200	0.4	1
FE-B1-31	排気ファン	片吸込遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	700	14	3-200	0.4	1
FE-B1-32	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	2	3,500	55	3-200	2.2	1

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数
		形式	設置位置	サイズ	風量	静圧	相一電圧	出力	
				φ #	m ³ /H	mmH ₂ O			
FE-B1-37	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1・1/2	1,700	15	3-200	1.5	1
FE-B1-38	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1・1/2	1,700	15	3-200	0.75	1
FE-B1-39	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	13	1-100	0.02	1
FE-1-1	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	200	18	3-200	0.2	1
FE-1-2	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	300	15	3-200	0.2	1
FE-1-4	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	240	15	3-200	0.2	1
FE-1-5	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	150	13	3-200	0.2	1
FE-1-6	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	200	13	3-200	0.2	1
FE-1-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	150	19	3-200	0.2	1
FE-1-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	1,170	10	3-200	0.4	1
FE-1-9	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	100	12	3-200	0.1	1
FE-1-10	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	430	16	3-200	0.4	1
FE-1-11	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	450	15	3-200	0.4	1
FE-1-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,450	23	3-200	0.4	1
FE-1-13	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	16	3-200	0.4	1
FE-1-14	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	15	3-200	0.4	1
FE-1-15	排気ファン	天井扇			100	5	1-100	0.017	1
FE-1-16	排気ファン	天井扇			100	5	1-100	0.017	1
FE-1-17	排気ファン	天井扇			100	5	1-100	0.017	1
FE-1-18	排気ファン	天井扇			100	5	1-100	0.017	1
FE-1-19	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,050	13	3-200	0.4	1
FE-1-20	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	11	3-200	0.035	1
FE-1-21	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	1	100	13	3-200	0.035	1
FE-1-22	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	810	20	3-200	0.2	1
FE-1-23	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	1	500	35	3-200	0.4	1
FE-1-24	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	200	16	3-200	0.3	1
FE-1-25	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	18	1-200	0.035	1
FE-1-26	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	13	1-100	0.015	1
FE-1-27	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	14	1-100	0.035	1
FE-1-28	排気ファン	斜流送風機形	天吊	250	100	19	1-100	0.06	1
FE-1-29	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	200	13	1-100	0.015	1
FE-1-30	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	13	1-100	0.05	1
FE-1-31	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	13	1-100	0.015	1
FE-1-32	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	15	1-100	0.05	1
FE-1-33	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	151	1-100	0.035	1
FE-1-34	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	16	1-100	0.035	1

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数
		形式	設置位置	サイズ	風量	静圧	相一電圧	出力	
				φ #	m ³ /H	mmH ₂ O			
FE-1-35	排気ファン	斜流送風機形	天吊	250	500	15	1-100	0.06	1
FE-1-36	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	15	1-100	0.015	1
FE-1-37	排気ファン	斜流送風機形	天吊	200	100	15	1-100	0.015	1
FE-2-1	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	2	2,660	53	3-200	1.5	1
FE-2-2	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	400	18	3-200	0.4	1
FE-2-3	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	17	3-200	0.4	1
FE-2-4	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	2,000	15	3-200	0.4	1
FE-2-5	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,600	16	3-200	0.4	1
FE-2-6	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	250	18	3-200	0.2	1
FE-2-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	250	14	3-200	0.1	1
FE-2-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	300	19	3-200	0.2	1
FE-2-9	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	150	100	16	1-100	0.02	1
FE-2-10	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	10	1-100	0.015	1
FE-3-1	排気ファン	耐食FRP製遠心送風機形	床置	1・1/2	1,200	17	3-200	0.4	1
FE-3-3	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	1,910	26	3-200	0.75	1
FE-3-4	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	2,460	17	3-200	0.75	1
FE-3-5	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	850	22	3-200	0.4	1
FE-3-6	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	1,950	21	3-200	0.4	1
FE-3-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	15	3-200	0.4	1
FE-3-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	17	3-200	0.4	1
FE-3-9	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	300	19	3-200	0.2	1
FE-3-10	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	450	21	3-200	0.4	1
FE-3-11	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	3,150	8	3-200	0.75	1
FE-3-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	2,350	10	3-200	0.4	1
FE-3-13	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	1	500	35	3-200	0.4	1
FE-3-14	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	3	7,100	30	3-200	3.7	1
FE-4-2	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,510	24	3-200	0.4	1
FE-4-3	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,510	24	3-200	0.4	1
FE-4-4	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	3	5,350	19	3-200	1.5	1
FE-4-5	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	1,510	24	3-200	0.4	1
FE-4-6	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/2	150	20	3-200	0.2	1
FE-4-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	17	3-200	0.4	1
FE-4-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	800	15	3-200	0.4	1
FE-4-9	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	2,050	27	3-200	0.4	1
FE-4-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	2,050	27	3-200	0.4	1
FE-4-13	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2	3,870	32	3-200	1.5	1

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数
		形式	設置位置	サイズ	風量	静圧	相一電圧	出力	
				φ #	m ³ /H	mmH ₂ O			
FE-4-14	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	300	15	3-200	0.2	1
FE-4-15	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	3,800	20	3-200	0.75	1
FE-4-16	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1・1/4	880	22	3-200	0.2	1
FE-5-1	排気ファン	軸流送風機形(浴室用)	天吊		100	7	1-100	0.031	40
FE-5-11	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1				0.75	1
FE-5-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	400	13	3-200	0.2	1
FE-5-16	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	150	20	3-200	0.2	1
FE-6-1	排気ファン	軸流送風機形(浴室用)	天吊		100	7	1-100	0.031	40
FE-6-11	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊					0.75	1
FE-6-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	400	13	3-200	0.2	1
FE-6-13	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	350	18	3-200	0.2	1
FE-6-15	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	3,350	15	3-200	0.75	1
FE-6-16	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	2・1/2	3,350	15	3-200	0.75	1
FE-6-17	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	150	20	3-200	0.4	1
FE-6-18	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	200	17	3-200	0.2	1
FE-6-19	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	16	1-100	0.035	1
FE-6-20	排気ファン	斜流送風機形(消音形)	天吊	200	100	16	1-100	0.035	1
FE-7-1	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	250	8	3-200	0.1	1
FE-7-2	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	400	12	3-200	0.4	1
FE-7-3	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	750	16	3-200	0.4	1
FE-7-5	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	3・1/2	12,900	40	3-200	5.5	1
FE-7-6	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	床置	2	3,460	38	3-200	1.5	1
FE-7-7	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	150	12	3-200	0.1	1
FE-7-8	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形	天吊	1	200	12	3-200	0.1	1
FE-7-9	排気ファン	天井扇			100	10	3-200	0.4	1
FE-7-10	排気ファン	天井扇			100	10	3-200	0.4	1
FE-7-11	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	250	11	3-200	0.2	1
FE-7-12	排気ファン	片吸込小型遠心送風機形 (消音ボックス付)	天吊	1	300	11	3-200	0.4	1
FE-7-13	排気ファン	天井扇			100	5	1-100	0.4	1
FE-R-1	排気ファン	斜流送風機形	天吊	400	2,760	9	3-200	0.4	1
FE-R-2	排気ファン	斜流送風機形	天吊	315	1,320	9	3-200	0.25	1
FSM-6-1	排煙機	軸流式ルーフファン	床置	560	7,200	12	3-200	1.5	1
FSM-6-2	排煙機	軸流式ルーフファン	床置	560	7,200	12	3-200	1.5	1
FSM-R-1	排煙機	片吸込遠心送風機形	床置	3・1/2	10,600	95	3-200	5.5	1
FSM-R-2	排煙機	片吸込遠心送風機形	床置	5	11,700	80	3-200	3.7	1

空調設備

定・変風量ユニット

53

機器番号	機器名称	仕様			台数	
		形式	設置位置	風量		制御範囲
				m ³ /H		%
CAV-3-1	定風量ユニット	風速センサー一式	天吊	370		1
CAV-3-2	定風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,200		1
VAV-1-1	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,140	100~40・OFF	1
VAV-1-2	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,750	100~40・OFF	1
VAV-1-3	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,840	100~40・OFF	1
VAV-1-4	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	770	100~40・OFF	1
VAV-1-5	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,060	100~40・OFF	1
VAV-1-6	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,080	100~40・OFF	1
VAV-1-7	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	630	100~40・OFF	1
VAV-1-8	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	360	100~40・OFF	1
VAV-2-1, 2	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,600	100~40・OFF	2
VAV-2-3, 4	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,015	100~40・OFF	2
VAV-2-5, 6	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,600	100~40・OFF	2
VAV-2-7, 8	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,130	100~40・OFF	2
VAV-2-9	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,400	100~40・OFF	1
VAV-2-10(1)	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	870	100~40・OFF	1
VAV-2-10(2)	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	770	100~40・OFF	1
VAV-2-11	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	560	100~40・OFF	1
VAV-2-12	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	320	100~40・OFF	1
VAV-2-13	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	760	100~40・OFF	1
VAV-2-14	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	730	100~40・OFF	1
VAV-2-15, 16	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	3,130	100~40・OFF	2
VAV-2-17	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	4,440	100~40・OFF	1
VAV-2-18	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,390	100~40・OFF	2
VAV-2-19	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	4,500	100~40・OFF	1
VAV-2-20	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,100	100~40・OFF	2
VAV-2-21	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,580	100~40・OFF	1
VAV-2-22	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	3,960	100~40・OFF	1

機器番号	機器名称	仕様				台数
		形式	設置位置	風量	制御範囲	
				m ³ /H	%	
VAV-2-23	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	770	100～40・OFF	1
VAV-3-1	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,590	100～40・OFF	
VAV-3-2	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,990	100～40・OFF	1
VAV-3-3	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,660	100～40・OFF	1
VAV-3-4	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	3,510	100～40・OFF	1
VAV-3-5	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,900	100～40・OFF	1
VAV-3-6	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	5,200	100～40・OFF	1
VAV-3-7	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	750	100～40・OFF	1
VAV-3-8	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	12,840	100～40・OFF	1
VAV-7-1	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,060	100～40・OFF	1
VAV-7-2	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	6,760	100～40・OFF	1
DVAV-1-1	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	180	100～40・OFF	1
DVAV-1-2	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	180	100～40・OFF	1
DVAV-1-3	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	230	100～40・OFF	1
DVAV-1-4	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	650	100～40・OFF	1
DVAV-1-5	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	2,210	100～40・OFF	1
DVAV-1-7	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	7,070	100～40・OFF	1
DVAV-1-8	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,760	100～40・OFF	1
DVAV-1-9	変風量ユニット	風速センサー一式	天吊	1,760	100～40・OFF	1

空調設備

機器名称	仕様	電動機	台数
顕熱交換器ユニット	回転形(送風機、自動巻取形、エアフィルタ組込) 給気量 12,000m ³ /H 排気量 13,000m ³ /H	5.5kw 7.5kw エアフィルタ 0.2Kw×2 ローター 0.41kw	1
顕熱交換器ユニット	回転形(送風機、自動巻取形、エアフィルタ組込) 給気量 7,000m ³ /H 排気量 7,000m ³ /H	5.5kw 3.7kw エアフィルタ 0.2Kw×2 ローター 0.2kw	1
全熱交換器	天井陰ぺい静止形 120m ³ /h 90m ³ /h	0.2kw 0.2kw	2 2
温水パネルヒーター	シングルパネル床置型(放熱フィン付) H 70×L 3,000~6,000 H 700×L 1,500~5,500		6 12
加湿器	低酸素トレーニング室 型番:WM-VTB3000 標準加湿能力	3.0/3.1kg/h	2

中央監視制御設備

NO	装置記号	装置名称	装置機能概要	装置仕様概要	数量
1	CPU	中央処理装置	各種ビル設備の状況表示及び条件設定などのオペレーターとの会話を行い、システムの統合管理(システムサーバー)と、マシンインターフェイス管理のすべてを行う。	処理装置:32ビット、ドワサクロック:500MH以上 最大管理点数:800点以上 主記憶容量:128MB以上 操作部:汎用キーボード及びマウス 補助記憶容量:ハードディスク15GB以上 フロッピーディスク1MB×1台 MO(640MB)×1台 警報鳴動:ブザー	1台
2	CRT	表示装置	画面に系統図、グラフ・表・文字等を表示する。	画面サイズ:21インチ以上 解像度:水平1000×垂直700ドット以上 表示色:カラー 画面枚数:20枚以上	1台
3	RS-M	リモートステーションマスター	水平分散された自系統のシステム管理及び本RS-M管理下の情報をCPUへ転送を行う。	処理装置:16ビット以上 数値演算プロセッサ:32ビット以上 RS通信速度:250KBPS以上 イーサネット通信速度:10MBPS(IEEE802.3準拠)	1台
4	PR(M)	雑印字装置	警報プリンタとしてタイムリーに発生する各種ビル設備の状況変化や操作記録を印字したり、形、蓄積された情報を任意に印字する。	印字方式:ドットマトリックス方式 文字種類:英字・数字・かな・記号・漢字 印字数:130字/行以上 印字色:3色以上	1台
5	PR(L)	作表用印字装置	作表プリンタとして、計測データを日報/月報の形状で記録する。	印字方式:レーザ方式 文字種類:英字・数字・かな・記号・漢字(JIS第1、第2水準) 印字用紙:130字/行以上 解像度:400DPI以上	1台
6	HPC	ハードコピー	画面上に表示された情報をイメージどおりに印刷する。	印字方式:カラー 印字色:250色以上 インターフェイス:アナログビデオ信号入力	1台

NO	装置記号	装置名称	装置機能概要	装置仕様概要	数量
7	UPS	無停電電源装置	センター装置とのリモートステーションの停電対策用無停電電源装置。	入力:AC200V 出力:AC100V 補償時間:5分以上	1台
8	RS	リモートステーション	各ビル設備と直接接続され、設備の監視、制御(スケジューリング、欠運転等)を行う。	リモートユニット 入出力ユニット 処理装置:32ビット以上 最大管理点数:320点以上 現場設備とインターフェイス	1台
9	データ管理装置	データ管理装置	メインコントロールユニットの情報を、LAN経由で受信し、履歴管理、エネルギー管理、保全支援等の建物運用管理の支援を行う。	表示ビューア:17インチ(CRT) 解像度:1000×700ドット以上 表示色:カラー 処理装置:32ビット、動作クロック:500MH以上 主記憶容量:64MB LANインターフェイス:10BASE-T以上 補助記憶容量:ハードディスク10GB以上 フロッピーディスク1MB×1台	1台
10	GP	ミニグラフィックパネル	受変電設備の状態を直接表示ランプにて点灯し監視を行う。	表示:発光ダイオード 投入、運転:赤 遮断、停止:緑 警報、故障:オレンジフリッカー パネル:15mm×15mm モザイク方式 7セグメントLED4桁×2	1台
11	RS-T	リモートステーション通信型	他設備の情報の授受を通信にて行う。	処理装置:16ビット以上 数値演算プロセッサ:32ビット以上 RS通信速度:250KBPS以上 インターフェイス:RS-485 通信速度:9600bp以上	1台

監視制御設備(電力用)

名 称	設 備 内 容
1. 中央処理装置(CPU)	1台 ① 語長 32ビット ② 主記憶容量 192MB ③ 補助記憶容量 ハードディスク 8GB ④ 最大管理点数 1,000点
2. 表示装置(CRT)	1台 ① 画面サイズ 20インチ ② 形式 グラフィック CRT ③ 表示色 256色 ④ 画面枚数 20枚以上
3. 雑印字装置(PR(M))	1台 印字方式 ドットインパクト方式
4. 作表用印字装置(PR(L))	1台 印字方式 レーザプリント方式
5. ミニグラフィックパネル	1台 モザイク式
6. ハードコピー(HCP)	1台 印字方式 熱転写方式
7. リモートステーション(RS)	2台 処理装置 32ビット 最大管理点数 320点 リモートユニット 7台 出力処理装置 16ビット
中央監視制御設備(Aクラブハウス用)	

監視制御設備(空調用)

名 称	設 備 内 容
1. 中央監視装置	
(1)中央処理装置(CPU)	1台 ①主処理装置 マイクロプロセッサ ②主記憶容量 96MB以上 ③補助記憶装置(HD) 3. 2GB以上 ④最大管理点数 3, 000点以上
(2)カラーディスプレイ(CRT)	1台 ①CRT 21インチ高解像度型 ②表示色 65000色以上 ③表示文字数 12, 000字 ④グラフィック枚数 80枚
(3)レーザープリンター(LPR)	1台 ①印字方式 半導体レーザービーム送査方式 ②印字速度 自動給紙 A4 12.4枚/分
(4)メッセージプリンター(PRT)	1台 ①印字方式 ドットマトリクス方式 ②印字速度 最大 694CPS
(5)リモート盤(CP)	3面
(6)無停電電源装置(CVCF)	1台 出力容量 3KVA

低酸素システム(宿泊室)

名 称	設 備 内 容
<p>低酸素システム(宿泊室)</p> <p>(1)性能仕様</p> <p>(2)機器仕様</p>	<p>①酸素濃度制御範囲 16.8～14.4%</p> <p>②室内炭素ガス濃度 0.1%以内</p> <p>①分電盤 4面</p> <p>②クーラ 冷房能力 14kw 4面</p> <p>③空気圧縮機 8台 2系統(1系統最大9室) オイルフリー式ロータリ型、冷凍式ドライヤ付 消音型 37kw</p> <p>④低酸素発生装置 8台 2系統(1系統最大9室) 酸素-窒素分離器 クリーンエアユニット(ダスト、ミスト、脱臭) 酸素濃度センサー、酸素濃度指示計 空気タンク、減圧弁、温度計、圧力計</p> <p>⑤酸素濃度制御・指示器(各室設置) 72台 酸素濃度指示調節器 酸素濃度センサー、混合器、流量調節弁</p> <p>⑥操作監視盤 1面 ・酸素濃度指示調節器 72台 ・酸素濃度指示器 4台 ・空気圧縮機運転スイッチ 4個 ・酸素濃度制御指示器 72個</p> <p>⑦安全装置 ・供給空気酸素濃度低下警報装置 1式 ・室内酸素濃度低下警報装置 1式</p>

特殊実験装置

名 称	設 備 内 容		
気圧実験装置	分電盤(UPS2台含)・制御盤 モニタ盤(O ₂ ・CO ₂ ・圧力)		各1面 1面
	空調機		
	送風機	3.7KW	2台
	加熱器:フィンヒーター SUS製	12KW	1台
	加湿器:パン皿加湿器シーズドヒーター	14KW	1台
	補助加湿器:超音波式	18L/h	1台
	冷凍機(R22)		
	半密閉型単段圧縮機(水冷式)	10.8KW	1台
	ルーツブロウ: 3300L/min at 533hPa	7.5KW	2台
	空気圧縮機:吐出量 165L/min	1.5KW	2台
	換気:リングブロウ式	0.55KW	1台
	純水器		
	イオン交換樹脂カートリッジ式 純水採取量:約6650リットル/台		1台
	冷却塔:開放型 2ORT	0.75KW	1台
	凍結防止ヒーター	2.0KW	1台
	冷却水ポンプ	3.7KW	1台
	無刺激実験装置	操作盤(デジタル温湿度調節器・温湿度記録)	
空調機			
送風機		2.2KW	1台
加熱器:フィンヒーター		24KW	1台
冷凍機(R22)			
半密閉型単段圧縮機(水冷式)		4.5KW	2台
冷却塔:開放型 2ORT		0.75KW	1台
凍結防止ヒーター		2.0KW	1台
冷却水ポンプ	3.7KW	1台	
温湿度実験装置	操作盤(デジタル温湿度調節器・温湿度記録)		1面
	空調機		
	送風機	2.2KW	1台
	加熱器:フィンヒーター	24KW	1台
	加湿器:蒸気式	1.2KW	1台
	補助加湿器:超音波式	4.8L/h	1台
	除湿機:乾式吸着式連続再生		1台
	純水器		
	イオン交換樹脂カートリッジ式 純水採取量:約6650リットル/台		1台
	冷凍機(R22)		
	半密閉型単段圧縮機(水冷式)	7.5KW	2台
冷却塔:開放型 3ORT	0.75KW	1台	
凍結防止ヒーター	2.0KW	1台	
冷却水ポンプ	3.7KW	1台	

特殊実験装置

名 称	設 備 内 容		
低酸素トレーニング装置 (1)性能仕様 (2)機器仕様	①酸素濃度制御範囲	17.4～13.6% (高度1500m～3500m)	
	②室内炭素ガス濃度	0.1%以内	
	③最大負荷容量	47kw・55kw	
	①分電盤		1面
	②空気圧縮機		
	水冷式	45KW	2台
	吐出空気量	6.5m ³ /min	
	③冷凍式ドライヤ(R22)	0.84KW	2台
	④低酸素発生装置		2台
	高分子膜酸素分離方式		
	クリーンエアユニット(ダスト、ミスト、脱臭)		
	酸素濃度センサー、酸素濃度指示計		
	空気タンク、減圧弁、温度計、圧力計		
	⑤酸素濃度制御・指示器		1台
	高度指示計・酸素・炭酸ガス濃度指示計		
	酸素・炭酸ガスセンサー・トラブルブザー		
	⑥操作監視盤		1面
	・酸素濃度指示調節器		1台
	・酸素濃度指示器		1台
	・トレーニング室運転スイッチ		2個
	・酸素濃度制御・指示器		2個
	⑦保安装置		
	・供給元低酸素濃度下限警報		1式
	・トレーニング室内低酸素濃度下限警報		1式
	・圧縮空気CO濃度上限警報		1式
	・トレーニング室内非常連絡スイッチ		1式
	⑧冷却水設備		
	・冷却塔:開放型 30RT	0.75KW	1台
	凍結防止ヒーター	2.0KW	1台
	・冷却水ポンプ	3.7KW	1台

衛生設備

機器名称	仕様	電動機	台数
受水タンク	FRP製パネルタンク(複合板) 有効容量 35.0m ³ 4.0m×4.0m×H 3.5m (中仕切付)		1
上水高置タンク	FRP製パネルタンク(複合板) 有効容量 7.0m ³ 1.5m×4.0m×H 2.0m (中仕切付)		1
中水高置タンク	FRP製パネルタンク(複合板) 有効容量 3.0m ³ 1.0m×3.0m×H 2.0m (中仕切付)		1
貯湯槽	呼称容量 5,000 ℓ (SUS444) φ 1,600×2,100 加熱量 275,000Kcal/H 蒸気量 585kg /H		2
上水揚水ポンプ	多段渦巻型 φ 65×290 ℓ/min×71m	11.0kw	2
中水揚水ポンプ	多段渦巻型 φ 40×120 ℓ/min×73m	5.5kw	2
小形給水ポンプユニット	吐出圧力一定方式 φ 40×140 ℓ/min×64m	5.5kw	1
給湯循環ポンプ	ライン形 φ 25×25 ℓ/min×6.0m	0.25kw	1
汚物排水ポンプ	汚物用水中モータポンプ φ 80×200 ℓ/min×13m	2.2kw	2
	φ 80×200 ℓ/min×20m	5.5kw	2
ばっ気用ポンプ	ロータリーブロー φ 32×0.5 ℓ/min×3.0m	1.5kw	4
ボイラーブロー用ポンプ	雑排水用水中モータポンプ φ 80×150 ℓ/min×15.0m	1.5kw	2

衛生設備

機器名称	仕様	電動機	台数
湧水排水ポンプ	汚水用水中モータポンプ		
	φ 50×150 l /min×15. 0m	1. 5kw	2
	φ 50×150 l /min×20. 0m	2. 2kw	2
	φ 50×150 l /min×19. 0m	2. 2kw	2
雨水排水ポンプ	汚水用水中モータポンプ		
	φ 100×710 l /min×16. 0m	5.5kw	2
	φ 80×575 l /min×15. 0m	3. 7kw	2
	φ 80×542 l /min×16. 0m	3. 7kw	2
	φ 80×1000 l /min×20. 0m	5.5kw	2
	φ 100×620 l /min×15. 0m	3. 7kw	2
排水用ポンプ	汚水用水中モータポンプ		
	φ 50×150 l /min×14. 0m	1. 5kw	2
	φ 50×150 l /min×20.0m	3.7kw	2
	φ 50×100 l /min×13. 0m	1. 5kw	4
	φ 100×670 l /min×24. 0m	7. 5kw	2
密閉式膨張タンク	φ 100×750 l /min×21. 0m	7. 5kw	2
	タンク容量 600 l 最高使用圧力 5. 5kg /cm ² 鋼板製、ダイヤフラム		1
給水ヘッダー	SGP製 φ 200×L 1, 500		1
貯湯式電気湯沸器	壁掛型 有効容量 20 l		5
ガス湯沸器	瞬間湯沸器壁掛型		
	加熱能力 30, 000Kcal/H		1
プールろ過配管設備	加熱能力 43, 600Kcal/H		1
	50mプール		1
	シンクロ		1

中水ろ過設備

名 称	設 備 内 容
1. ろ過装置	2式 ろ過水量 9.0m ³ /h ろ過材 活性炭
2. ろ過ポンプ	2台 非自吸式 φ40×9.0m ³ /h×25m×15kw
3. 集毛器	2台 φ65(SUS 304)
4. 塩素滅菌装置	1式 薬注ポンプ ダイヤフラム式 33ml / min×25w×2台 貯槽容量 100 l
5. 制御盤	1面

プールろ過設備

名 称	設 備 内 容
1. ろ過装置(50mプール用)	ろ過水量 125m ³ /H ろ過方式 圧力式 ろ過材 セラミック・活性炭 4台
2. ろ過装置(シンクロプール用)	ろ過水量 184m ³ /H ろ過方式 圧力式 ろ過材 セラミック・活性炭 2台
3. ろ過ポンプ(50mプール用)	インライン渦巻型 φ100×φ100×62.5m ³ /H×30m×15kw 8台
4. ろ過ポンプ(シンクロプール用)	インライン渦巻型 φ100×φ100×92m ³ /H×30m×15kw 4台
5. 熱交換器(50mプール用)	プレート型(蒸気) 交換熱容量 279,000Kcal/H 2次側流量 45m ³ /H プレート式(冷温水) 交換熱容量 220,000Kcal/H 2次側流量 125m ³ /H 4台 1台
6. 熱交換器(シンクロプール用)	プレート型(蒸気) 交換熱容量 220,000Kcal/H 2次側流量 50m ³ /H 2台
7. 水質監視装置	2台 監視内容 遊離残留塩素 PH 酸化還元電位 濁度
8. 塩素注入装置	3台 薬注ポンプ ダイヤフラム式 38ml/min×25w×6台 貯槽容量 200ℓ

プールろ過設備

名 称	設 備 内 容
9. 薬液貯留タンク	貯槽容量 2,000 l 1台
10. オゾン紫外線殺菌装置	50m用 135w×17灯 4台 シンクロ用 135w×17灯 2台
11. 集毛器(別置型)	密閉式 通水流量 125m ³ /h (50mプール用) 2台 92m ³ /h (シンクロプール用) 2台
12. 集毛器(ユニット内)	密閉式 φ200×125m ³ /h 4台 φ200×184m ³ /h 1台
13. エアコンプレッサー	圧力開閉式 410NL/ min×3.75kw 6台
14. 制御盤	50m用 (50KW×2) 4面 シンクロ用 (90KW×1) 2面
15. 弁類	112
16.ろ過管設備	230m

浴槽ろ過設備

名 称	設 備 内 容
1. ろ過ユニット (男子用)	1式 ろ過水量 6.3m ³ /h ろ過材 セラミック・活性炭 ろ過ポンプ φ32×6.3m ³ /H×45m×1.5kw 2台 集毛器 40 1台 制御盤 1面
2. ろ過ユニット (女子用)	1式 ろ過水量 6.3m ³ /h ろ過材 セラミック・活性炭 ろ過ポンプ φ32×6.3m ³ /H×45m×1.5kw 2台 集毛器 40 1台 制御盤 1面
3. 熱交換器	プレート型 交換熱容量 70,000Kcal/H 1台
4. エアコンプレッサー	圧力開閉式 75NL/min×0.75kw 2台
5. 薬注装置	薬注ポンプ 15ml/min×25w 2台 薬液タンク 100 l 1台
4. その他	補給水ユニット 2台 水位調整器 2台 温度感知器 2台 温調2方弁 2個

衛生設備

名 称	設 備 内 容
衛生器具	洋風大便器 54個 和風大便器 18個 身障用大便器 4個 小便器 41個 洗面器 118個 身障用洗面器 3個 手洗器 16個 洗面化粧台 26個 掃除流し 23個 シャワー水栓 90個 混合水栓 49個 立形キャッチ付自在水栓 12個 横水栓 41個 カップリング付横水栓 8個 キー付横水栓 8個 洗眼水栓 13個 散水栓 12個 水栓柱 4個 洗濯パン 10個 水石けん入れ 113個 化粧鏡 28個 ユニットシャワー 10個 ユニットバス 77個

冷水器・製氷機

名 称	設 備 内 容			
1. 冷水器	5台 メーカー 型式 冷水能力 電源	米国OASIS社 日本代理店(株)北栄 P8AM 500cc/分 1Φ100V 0.4KW		
2. 製氷機	10台 型式 電源 消費電力 製氷能力 型式 電源 消費電力 製氷能力 型式 電源 消費電力 製氷能力 型式 電源 消費電力 製氷能力	FM-510AE-G-1 K-2 三相200V 3.9KVA 1580W 室温20℃・水温15℃ 約465kg/日 室温30℃・水温25℃ 約390kg/日 FM-120F 单相100V 0.9KVA 482W 室温20℃・水温15℃ 約105kg/日 室温30℃・水温25℃ 約 86kg/日 FM-120F-50 单相100V 0.9KVA 482W 室温20℃・水温15℃ 約105kg/日 室温30℃・水温25℃ 約 86kg/日 DIM-50C 单相100V 400W 室温20℃・水温15℃ 約 49kg/日 室温30℃・水温25℃ 約 40kg/日	数量 数量 数量 数量	4 1 1 4

厨房除害装置

名 称	設 備 内 容
厨房除害装置	<p>数量 1式</p> <p>機器構成 1による</p> <p>除害能力 40m³/日</p> <p>処理方式 一次処理 自動スクリーン 二次処理 生物処理方式 汚泥処理 バキューム搬出処分</p> <p>自動スクリーン 27.0m³/h×25kW</p> <p>スクリーンユニット PVC製</p> <p>流量調整ユニット 50A×0.1m³/min×4Aq×0.25kW</p> <p>消泡ポンプ 40A×0.1m³/min×6Aq×0.25kW</p> <p>放流ポンプ 65A×0.2m³/min×23Aq×2.2kW</p> <p>汚泥引抜ポンプ 80A×0.3m³/min×23Aq×5.5kW</p> <p>バッキプロアー 65A×2.2m³/min×20kPa×2.2kW</p> <p>調整プロアー 40A×0.5m³/min×20kPa×0.75kW</p> <p>オゾン発生装置 3g/h×100V</p> <p>接触材 PVC製</p> <p>散気装置 P. P製</p> <p>消泡ノズル ジュラコン樹脂製</p> <p>フロートスイッチ P. P製</p> <p>スカムスキマー PVC製</p> <p>スライドバルブ ABS樹脂</p> <p>気水分離器 PVC製</p> <p>センターウエル PVC製</p> <p>越流トラフ PVC製</p> <p>FRP点検版 FRP製</p> <p>動力制御盤 屋内簡易防水型</p>

昇降機設備

名 称	設 備 内 容	台数
1. 乗用エレベーター	制御方式 可変電圧・可変周波数 操作方式 群乗合全自動方式 積載荷重 1,000kg 速度 90m/min 定員 15名 停止箇所 8箇所(B1、1～7F) 戸形式 電動式二枚戸中央開式 出入口寸法 900×H 2,100 カゴ寸法 1,600×1,500 電動機 11.0kw 管制運転 地震(P波センサー)、火災、自家発 その他 停電時自動着床装置 身体障害者用附加装置付	2台
2. 人荷用エレベーター	制御方式 可変電圧・可変周波数 操作方式 乗合全自動方式 積載荷重 1,150kg 速度 60m/min 定員 17名 停止箇所 8箇所(B1、1～7F) 戸形式 電動式二枚戸中央開式 出入口寸法 1,000×H 2,100 カゴ寸法 1,800×1,500 電動機容量 9.5kw 管制運転 地震(P波センサー)、火災 その他 停電時自動着床装置付	1台
3. 寝台用	制御方式 油圧間接方式 操作方式 乗合全自動方式 積載荷重 1,000kg 速度 45m/min 定員 15名 停止箇所 2箇所(B1、1F) 戸形式 電動式二枚戸片開式 出入口寸法 1,200×H 2,100 カゴ寸法 1,500×H 2,500 電動機容量 30kw 管制運転 地震(P波センサー)、火災 その他 停電時自動着床装置付	1台

名 称	設 備 内 容	台数
4. 簡易リフト	操作方式 各階相互操作 積載荷重 500kg 速度 8m/min 停止箇所 2箇所(B2、1F) 戸形式 電動式二枚戸片開式 架台有効寸法 1,300×1,300×1,200 フェンス H 1,200 揚程 14,800mm 昇降方法 ラックピニオン嚙合方式 電動機容量 5.5kw 電源 3φ-200V 搬出入扉(内) ホールディングゲート 搬出入扉(外) B2F:1枚押上げ扉 1F :ホールディングゲート 安全装置 非常落下防止装置、インターロック機構付	1台
5. エレベーター監視盤	中央監視室、警備室	2面

対 象 設 備 一 覧

(2) 国立スポーツ科学センター
(屋外施設)

サッカー場事務棟

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
1. 電気設備	(1) 直流電源装置 整流装置 蓄電池	SGB1-125-5VA MSE 100V 鉛 40Ah 54セル	1組
	(2) 分電盤		4面
	(3) 動力制御盤		3面
2. 機械設備	(1) 給水設備 給水ポンプユニット(運動場・サッカー場の散水用) φ 125mm×H10.0m×37kw		1台
	(2) パッケージ型空調機 冷凍能力 6.6～11.2kw 暖房能力 5.7～14.0kw キーパー室 冷凍能力 14kw 暖房能力 16kw		9台
	(3) 給湯設備 給湯ボイラー 給湯能力 150,000 kcal/H		2台
	(4) 衛生器具 大便器 小便器 洗面台		36個 28個 42個
	(5) 換気扇 キーパー室 0.02kw 0.08kw 0.035kw		1台 1台 1台

設備棟
中央監視制御設備

NO	装置記号	装置名称	装置機能概要	装置仕様概要	数量
1	UPS	無停電電源装置	リモートステーションの停電対策用無停電電源装置	入力:AC200V 出力:AC100V 補償時間:5分以上	1台
2	RS	リモートステーション	各ビル設備と直接接続され、設備の監視、制御(スケジュール、間欠運転等)を行う。	リモートユニット 処理装置:32ビット以上 最大管理点数:320点以上	1台
3	GP	グラフィックパネル	受変電設備の状態を直接表示ランプにて点灯し監視を行う。	表示:発光ダイオード 投入、運転:赤 遮断、停止:緑 警報、故障:オレンジブリックカー	1台
4	GPB	グラフィックパネル制御盤	電力リレー盤から信号をグラフィックに出力する。		1台
5	電力リレー盤	電力リレー盤	受変電設備の信号を増幅し、グラフィックパネルと中央監視装置に出力を行う。	リレー数:180個 電源:DC100V	1台

設備棟

送風機

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
送風機(給気)	片吸込遠心送風機形(床置) # 51/2×33, 900m3/H	15kw	28台 1
送風機(給気)	片吸込遠心送風機形(天吊) # 11/2×2, 020m3/H # 1×1, 020m3/H # 11/2×2, 040m3/H	0.75kw 0.75kw 0.75kw	1 1 1
送風機(給気)	斜流送風機形(天吊) 400φ×400m3/H	0.75kw	1
送風機(給気)	斜流送風機形(天吊、消音BOX 付) 400φ×1920m3/H 250φ×600m3/H 315φ×1800m3/H	0.75kw 0.06kw 0.25kw	1 2 2
送風機(排気)	片吸込遠心送風機形(床置) # 6×33, 900m3/H	7.5kw	1
送風機(排気)	片吸込遠心送風機形(天吊) # 11/2×2, 020m3/H # 1×1, 020m3/H # 11/2, 040m3/H 片吸込遠心送風機形(天吊、耐湿形) # 11/2×320m3/H # 11/2×140m3/H	0.75kw 0.75kw 0.75kw 0.4kw 0.4kw	1 1 1 1 1
送風機(排気)	斜流送風機形(天吊、消音BOX 付) 315φ×1800m3/H 400φ×2, 160m3/H 400φ×200m3/H 250φ×600m3/H 200φ×400m3/H # 11/2×3, 400m3/H	0.25kw 0.75kw 0.75kw 0.06kw 0.035kw 1.5kw	2 1 1 2 1 1
送風機(排気)	斜流送風機形(天吊) 315φ×160m3/H 315φ×400m3/H 315φ×100m3/H	0.25kw 0.25kw 0.25kw	1 1 2

設備棟
送排風機

別紙7-2

30

機器番号	機器名称	仕 様				電 気 特 性			台数	設置場所
		形式	設置位置	サイズ φ #	風量 m ³ /H	静圧 Pa	相-電圧 φ-V	出力 kW		
FS-1	給気ファン	片吸込遠心送風機形	床置	51/2	33,900	573	3-200	15	1	チャンバー室
FS-2	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	11/2	2,020	436	3-200	0.75	1	熱源機械室
FS-3	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1	1,020	420	3-200	0.75	1	倉庫(1)
FS-4	給気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	11/2	2,040	398	3-200	0.75	1	倉庫(2)
FS-5	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	400	1,920	410	3-200	0.75	1	便所
FS-9	給気ファン	斜流送風機形	天吊	400	400	410	3-200	0.75	1	消火ポンプ室
FBS-1	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	250	600	120	3-200	0.06	1	更衣室(男)
FBS-2	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	250	600	112	3-200	0.06	1	更衣室(女)
FBS-3	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	315	1,800	130	3-200	0.25	1	前室(2)
FBS-4	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	315	1,800	130	3-200	0.25	1	前室(3)
FE-1	排気ファン	片吸込遠心送風機形	床置	6	33,900	274	3-200	7.5	1	特高受変電室
FE-2	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	11/2	2,020	301	3-200	0.75	1	熱源機械室
FE-3	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	1	1,020	420	3-200	0.75	1	倉庫(1)
FE-4	排気ファン	片吸込遠心送風機形	天吊	11/2	2,040	374	3-200	0.75	1	倉庫(2)
FE-5	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	400	2,160	301	3-200	0.75	1	便所
FE-6	排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	11/2	320	334	1-100	0.4	1	ホール
FE-7	排気ファン	片吸込遠心送風機形(耐湿形)	天吊	11/2	140	329	1-100	0.4	1	ホール
FE-8	排気ファン	斜流送風機形	天吊	315	160	342	1-100	0.25	1	ホール
FE-9	排気ファン	斜流送風機形	天吊	315	400	292	3-200	0.25	1	消火ポンプ室
FE-10	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	400	200	343	3-200	0.75	1	更衣室(男)
FE-11	排気ファン	斜流送風機形	天吊	315	100	400	1-100	0.25	1	前室(2)
FE-12	排気ファン	斜流送風機形	天吊	315	100	400	1-100	0.25	1	前室(3)
FE-13	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	11/2	3,400	250	3-200	1.5	1	室外機設置
FBE-1	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	250	600	147	3-200	0.06	1	更衣室(男)
FBE-2	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	250	600	112	3-200	0.06	1	更衣室(女)
FBE-3	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	315	1,800	146	3-200	0.25	1	前室(2)
FBE-4	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	315	1,800	157	3-200	0.25	1	前室(3)
FBE-5	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊	200	400	89	3-200	0.035	1	ホール
FS-4-1	給気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊						1	倉庫(2)
FE-4-1	排気ファン	斜流送風機形(消音ボックス付)	天吊						1	倉庫(2)

設備棟

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
全熱交換器ユニット 5台	天井隠蔽形		
	風量 1,800m ³ /H	1.0kw	2
	風量 400m ³ /H	0.5kw	1
	風量 600m ³ /H	0.5kw	2
空冷式パッケージ形 空気調和機 4台	冷房専用床置形		4
	冷房能力 21.5KW		
	風量 4,800m ³ /H		
	圧縮機 室内機/室外機	7.5KW 0.8KW/0.35KW	
マルチパッケージ形 空気調和機 24台	室外機 圧縮機/送風機	10KW/0.5KW	1
	冷房能力32.0KW・暖房能力27.9KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.1KW	2
	冷房能力4.8KW・暖房能力3.4KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.1KW	2
	冷房能力4.6KW・暖房能力3.4KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.1KW	2
	冷房能力3.7KW・暖房能力3.1KW		
	室内機 天井カセット形2方向	0.1KW	1
	冷房能力1.5KW・暖房能力1.7KW		
	室外機 圧縮機/送風機	15KW/1.0KW	1
	冷房能力46.3KW・暖房能力36.7KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.2KW	2
	冷房能力10.0KW・暖房能力6.5KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.2KW	2
	冷房能力9.8KW・暖房能力6.4KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.1KW	1
	冷房能力1.7KW・暖房能力1.4KW		
	室内機 天井カセット形4方向	0.1KW	1
	冷房能力1.7KW・暖房能力2.0KW		
室外機 圧縮機/送風機		2	
冷房能力14.6KW・暖房能力16.0KW			
室内機 天井カセット形4方向		4	
冷房能力7.1KW・暖房能力8.0KW			
室外機 圧縮機/送風機		1	
冷房能力12.5KW・暖房能力14.0KW			
室内機 天井カセット形4方向		2	
冷房能力6.3KW・暖房能力7.1KW			

設備棟
全熱交換器

別紙 7-2

5

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数	設置場所
		形式	設置位置	サイズ	風量	静圧	相一電圧	出力		
φ #	m ³ /H			Pa	φ-V	kW				
HEU-1	全熱交換器ユニット	天井隠蔽形			600	200	1-200	0.5	1	更衣室(男)
HEU-2	全熱交換器ユニット	天井隠蔽形			600	200	1-200	0.5	1	更衣室(女)
HEU-3	全熱交換器ユニット	天井隠蔽形			1,800	200	3-200	1.0	1	前室(2)
HEU-4	全熱交換器ユニット	天井隠蔽形			1,800	200	3-200	1.0	1	前室(3)
HEU-5	全熱交換器ユニット	天井隠蔽形			400	297	1-200	0.5	1	ホール

空冷式パッケージ形空調和機

4

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数	設置場所
		形式	能 力			相一電圧	出力			
冷房kW	暖房kW		風量m/h	φ-V	kW					
ACP-3.4.5.6	空冷式パッケージ形空調和機	冷房専用床置形	圧縮機			送風機	3-200	7.5	4	B1F
		冷房能力 21.5kW	送風機(室内)	21.5		送風機	3-200	0.8		特高受変電室
			送風機(室外)		4,800	送風機	3-200	0.35		室外機置場

マルチパッケージ形空調和機

24

機器番号	機器名称	仕 様					電気特性		台数	設置場所
		形式	能 力			相一電圧	出力			
冷房kW	暖房kW		風量m/h	φ-V	kW					
ACP-1	マルチパッケージ形空調和機	室外機	32.0	27.9		圧縮機	3-200	10	1	B1F
						送風機	3-200	0.5		本館ドライエリア
ACP-1-1	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	4.8	3.4			1-200	0.1	2	更衣室(男)
ACP-1-2	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	4.6	3.4			1-200	0.1	2	更衣室(女)
ACP-1-3	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	3.7	3.1			1-200	0.1	2	ホール
ACP-1-4	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形2方向(室内機)	1.5	1.7			1-200	0.1	1	受付
ACP-2	マルチパッケージ形空調和機	室外機	46.3	36.7		圧縮機	3-200	15	1	B1F
						送風機	3-200	1.0		本館ドライエリア
ACP-2-1	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	10.0	6.5			1-200	0.2	2	委託業者更衣室(男)
ACP-2-2	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	9.8	6.4			1-200	0.2	2	委託業者更衣室(女)
ACP-2-3	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形2方向(室内機)	1.7	1.4			1-200	0.1	1	前室(2)
ACP-2-4	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形2方向(室内機)	1.7	2.0			1-200	0.1	1	前室(3)
ACP-4-0	マルチパッケージ形空調和機	室外機				圧縮機			1	B1F
										本館ドライエリア
ACP-4-1	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	7.1	8.0					2	倉庫(2)
ACP-5-0	マルチパッケージ形空調和機	室外機				圧縮機			1	B1F
										本館ドライエリア
ACP-5-1	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	7.1	8.0			1-200		2	倉庫(2)
	マルチパッケージ形空調和機	室外機	12.5	14.0		圧縮機			1	B1F
										本館ドライエリア
	マルチパッケージ形空調和機	天井カセット形4方向(室内機)	6.3	7.1			1-200		2	倉庫(1)

設備棟

機器名称	仕様	電動機	台数
小形給水ポンプユニット (上水) PU-1	形式:推定末端圧力一定方式 運転方式:並列交互運転 制御方式:インバーター制御、推定末端圧力一定制御 ポンプ形式:多段渦巻ポンプ(SUS) 仕様:40mmφ×65mmφ×90 L/min×24m (ユニット給水料180L/min)制御盤附属、外部一括警報端子付 架台:スプリング防振架台	3φ-200V 1. 5kw×2	1組
小形給水ポンプユニット (中水) PU-2	形式:推定末端圧力一定方式 運転方式:並列交互運転 制御方式:インバーター制御、推定末端圧力一定制御 ポンプ形式:多段渦巻ポンプ(SUS) 仕様:40mmφ×65mmφ×140 L/min×30m (ユニット給水料280L/min)制御盤附属、外部一括警報端子付 架台:スプリング防振架台	3φ-200V 1. 5kw×2	1組
貯湯式電気温水器 WHE-1	形式:床置型 貯湯量: 2,000リットル 発生熱量:30kw 材質:SUS 最高使用圧力:196kPa 外部移報端子附属、週間タイマー附属	3φ-200V 30kw	3
WHE-2	形式:貯湯式床置型 貯湯量: 20リットル ボイリング仕様 付属品:ウィークリータイマー、先止め式、排水トラップ、 混合水栓	1φ-200V 1.5kw	2
WHE-3	形式:貯湯式床置型 貯湯量: 12リットル ボイリング仕様 付属品:ウィークリータイマー、先止め式、排水トラップ、 混合水栓	1φ-200V 1.5kw	1
WHE-4	形式:カウンター下収納 貯湯量: 10リットル 付属品:ウィークリータイマー、先止め式、排水トラップ、	1φ-100V 1.5kw	4
汚物用水中ポンプ PD-1,2	形式:汚物用水中モータポンプ(油封式) 仕様:80mmφ×150 L/min×13m 運転方式:自動交互運転非常時同時	3φ-200V 2. 2kw	2
雑排水用水中ポンプ PD-3,4	形式:雑排水用水中モータポンプ(油封式) 仕様:80mmφ×300 L/min×13m 運転方式:自動交互運転非常時同時	3φ-200V 3. 7kw	2

機器名称		仕様	電動機	台数
雨水用水中ポンプ	PD-7,8	形式:汚物用水中モータポンプ(乾式メカニカルシール) 仕様:80mmφ×600L/min×16m 運転方式:自動交互運転非常時同時	3φ-200V 5.5kw	2
雑排水用水中ポンプ	PD-10,11	形式:汚物用水中モータポンプ(乾式メカニカルシール) 50mmφ×150L/min×17m 運転方式:自動交互運転非常時同時	3φ-200V 2.2kw	2
水槽	受水タンク TW-1	形式:FRP製パネルタンク(複合板) 有効容量:6m ³ 寸法:2.5×1.5×2.5H 設計用水平震度:1.0G 内部及び外部補強方式 架台:平架台付	6m ³	1
		中水槽	m ³	1
		消火水槽	m ³	1
		汚水槽	m ³	1
		雑排水槽	m ³	1
		雨水槽	m ³	1

設備棟

機器名称	仕様	電動機	台数
衛生器具	洋風大便器		9個
	和風大便器		2個
	小便器		4個
	ユニットシャワー		2個
	シャワー		8個
	サウナ		2基
	カップリング付横水栓		1個
	カップリング付立水栓		3個
	ホーム水栓(キー付)		1個
	洗面器		12個
	洗面化粧台 (一面鏡、シングルレバー混合水栓)		2個
	掃除用流し台		1個
	散水栓 BOX		2個
	水石けん入れ		12個
不活性ガス消火設備	不活性ガスボンベユニット 83.01m ³ ×39本、20.3.m ³ ×1本(加圧用)		一式
	定温式スポット型感知器		5
スプリンクラー消火設備	SP-1 スプリンクラーポンプ 80φ×720L/min×58m 呼水槽50 ^{リットル} 、圧力タンク50 ^{リットル} 、盤一体型	15KW・50Hz	1
	SPJ-2 スプリンクラー補助加圧ポンプ 25φ×20L/min×58m 受水槽100 ^{リットル} 、盤一体型	1.5KW・50Hz	1

設備棟

電気設備

機 器 名 称	仕 様	電 動 機	台 数
電気設備	分電盤		2面
受変電設備	動力盤		2面

名称	設備内容				台数
特高受変電設備	記載事項		記載内容		
	受電方式	受電電圧	22kV		
		周波数	50Hz		
		制御方式	VCB・電動パネル操作・DC100V引き外し方式		
		相線	三相3線		
	受電盤	配電盤形式	キューピクル形ガス絶縁スイッチギア(C-GIS)		
		主遮断装置	閉鎖配電盤(JEM 1425)・ガス絶縁開閉装置(JEC 2350)		
		遮断器分類	真空遮断機 600A		
		定格遮断電流	25kA		
		面数	2面		
	備考	その他準拠規格:交流遮断器(JEC-2300) 断路器(JEC-2310) 計器用変成器(JEC-1201)			
	遮断器分類	断路器	設置開閉器	変流器	電圧検知器
	形式	真空遮断機固定型	三位置断路器	三極単投	モールド 非接触型
	定格電圧	24kV	24kV	24kV	24kV
	定格電流	600A	600A		
	定格遮断電流	25kA			
	変流器				
	確度階級	IP級			
	負担	25VA			
	過電流定数	N>20			
操作方式	電動バネ操作	電動操作(接地装置は、手動操作) 電動操作			

設備棟
電気設備

名 称	設 備 内 容			台 数
特高受変電盤類	記号	盤 名	仕 様	12面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面 1面
	H1	1番線受電		
	H2	2番線受電		
	H3	VCT		
	H4	No. 1Tr一次		
	H5	No. 2Tr一次		
		No. 1変圧器		
		No. 2変圧器		
	K1	特高操作盤		
	K2	保護継電器盤		
	K3	中継端子盤		
	L1	総合計量器盤		
	L2	情報伝送用端末装置		

受変電設備	記載事項		記載内容									
	き電盤	配電盤形式	高圧スイッチギア(JEM 1425 CW形)									
面数		6面										
遮断機種類		VCB										
定格遮断電流		12.5KA										
低圧配電盤	変圧器	相線	三相3線	単相3線	単相3線							
		電圧	6.6/200V	6.6/200-100V	200/200-100V							
		容量	300	150	20							
		台数	1台	1台	1台							
		種別	モールド	モールド	モールド							
	配電盤形式	高圧スイッチギア(JEM 1425 CY形)										
	面数	4面										
コンデンサ盤	コンデンサ	電圧	7590V	JEM 1425 (Cx形)								
		相線	三相3線									
		容量	160kvar									
		台数	3台									
	リアクトル	電圧	6600V									
		相線	三相									
		容量	6%									
		台数	3台									
直流電源装置	蓄電池仕様		1台									
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>MSE</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>100AH/10HR</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>108V</td> </tr> </table>					陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池		形式	MSE	容量	100AH/10HR	電圧
陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池												
形式	MSE											
容量	100AH/10HR											
電圧	108V											
構内配電線路 (直流電源装置)	蓄電池仕様		1台									
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>MSE</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>50AH/10HR</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>108V</td> </tr> </table>					陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池		形式	MSE	容量	50AH/10HR	電圧
陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池												
形式	MSE											
容量	50AH/10HR											
電圧	108V											

設備棟
電気設備

名 称	設 備 内 容			台 数
変電室盤類	記 号	名 称	仕 様	28面
	K-1	特高操作盤		1面
	K-2	保護継電器盤		1面
	K-3	中継端子盤		1面
	H1	1番線受電盤		1面
	H2	2番線受電盤		1面
	H3	VCT		1面
	H4	No1 Tr一次盤		1面
	H5	No2 Tr一次盤		1面
	1-1	非常動力盤		1面
	1-2	一般動力盤		1面
	1-3	保安動力盤		1面
	2	一般電灯盤		1面
	3	変圧器・コンデンサ主幹盤		1面
	4	No. 1変圧器二次盤		1面
	5	No. 1き電盤		1面
	6	母線連絡盤		1面
	7	No. 2き電盤		1面
	8	No. 2変圧器二次盤		1面
	9	No. 1高圧コンデンサ盤		1面
10	No. 2高圧コンデンサ盤		1面	
11	No. 3高圧コンデンサ盤		1面	
K-4	電力リレー盤		2面	
	RS-B1-2		2面	
	接地端子盤		1面	
	整流盤		1面	
	蓄電池盤		1面	

テニスコートB(Bクラブハウス)

機器名称	仕 様	電 動 機	台 数
	(1)分電盤		2面
	(2)動力制御盤		2面
	(3)パッケージ型空調機 冷凍能力 7000kcal/h 暖房能力 9410kcal/h		6台
	(4)衛生器具 大便器 小便器 洗面台		4個 2個 5個
	(5)ガス給湯器 屋外型		6台

対 象 設 備 一 覧

(3) 戸 田 艇 庫

戸田艇庫

電気設備

名 称	設 備 内 容	台数
1. 非常用自家発電機	①発電機 定格出力 20KVA 電 圧 200V ②盤 類 発電機盤 ③直流電源装置 蓄電池 シール型 15AH ④燃料装置 主燃料槽 燃料小出槽 燃料移送ポンプ	1台 1面 1組 ※ボリタンク対応 1基 2台
2. 分電盤		4面
3. 動力制御盤		1面
5. 給湯用ボイラー	給湯能力: 250,000kcal/H 0.75kW 3φ-200V	1台
6. 貯湯槽	緒湯量: 1,500リットル 1φ-100V	1基
7. 給湯過熱ポンプ	型式:ライン型(砲金製ケーシング) 32φ×70リットル/min 6m×250W 1φ-100V	1台
8. 給湯循環ポンプ	型式:ライン型(砲金製ケーシング) 20φ×30リットル/min 7m×100W 1φ-100V	1台
9. 膨張タンク	型式:密閉式ダイヤフラム型 容量:有効九州容量140リットル 封入圧力:0.9kg/cm ²	1基
10. ガス湯沸器	GH-1 型式:屋外用壁取付型(瞬間型) 1φ-100V 能力:16号(31000kcal/h) 制御:比例制御 燃料:都市ガス リモコンスイッチ 電動機容量:95W GH-2 型式:屋外用壁取付型(瞬間型追焚機能付) 1φ-100V 能力:16号(31000kcal/h) 制御:比例制御 燃料:都市ガス リモコンスイッチ 電動機容量:160W GH-3 型式:屋外用壁取付型(元止熱湯型) 1φ-100V 能力:5号(9800kcal/h) 制御:比例制御 燃料:都市ガス 遮熱番5号用	13台 1台 1台
11. 衛生器具	①大便器:男(洋28、和5)・女(洋11、和2) ②小便器 ③洗面器 ④手洗用流し	46個 34個 13個 12個

機器名称	室内機	台数	室外機	台数	設置場所
空冷式ヒートポンプエアコン		38台		28台	
1 PLZ-RP160AD(インバータータイプ) 3φ-200V 4.15kW 冷房能力 14kW (冷媒R-410A) 暖房能力 16kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP160AA	4	PUZ-RP160HA	4	201号室 206号室 215号室 216号室
2 PLZ-RP140AD(インバータータイプ) 3φ-200V 3.26kW 冷房能力 12.5kW (冷媒R-410A) 暖房能力 14kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP140AA	7	PUZ-RP140HA	7	202号室 203号室 207号室 212号室 213号室 214号室 217号室
3 PLZX-RP140AD(インバーター・ツインタイプ) 3φ-200V 3.26kW 冷房能力 12.5kW (冷媒R-410A) 暖房能力 14kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP71AA	20	PUZ-RP140HA	10	204号室 205号室 208号室 209号室 210号室 211号室 218号室 219号室 ロビー(8台) 南通路(2台) 北通路 会議室・予備室 リネン室
4 PLZ-RP56AD(インバータータイプ) 3φ-200V 1.32kW 冷房能力 5kW (冷媒R-410A) 暖房能力 5.6kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP56AA	1	PUZ-RP56SHA	1	
5 PLZ-RP63AD(インバータータイプ) 3φ-200V 1.55kW 冷房能力 5.6kW (冷媒R-410A) 暖房能力 6.3kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP63AA	1	PUZ-RP63HA	1	受付・事務室
6 MSZ-GXV25J-W(インバータータイプ) 1φ-100V 560W 冷房能力 2.5kW (冷媒R-410A) 暖房能力 3.0kW リモコン付	MSZ-GXV25J-W	2	MUZ-GXV25J	2	事務所 管理人室
7 PLZ-RP80SAD 3φ-200V 1.55kW 冷房能力 7.1kW (冷媒R-410A) 暖房能力 8.0kW MAリモコン、化粧パネル付	PLZ-RP80AA	1	PUZ-RP80SHA	1	準備室
8 MSZ-VS25J-W(インバータータイプ) 1φ-100V 560W 冷房能力 2.5kW (冷媒R-410A) 暖房能力 3.0kW リモコン付	MSZ-VS25J-W-IN	1	MVZ-VS25J	1	男子浴室
9 MSZ-VS22J-W(インバータータイプ) 1φ-100V 475W 冷房能力 2.2kW (冷媒R-410A) 暖房能力 3.0kW リモコン付	MSZ-VS22J-W-IN	1	MVZ-VS22J	1	女子浴室

戸田艇庫
送排風機

55台

別紙7-2

機器番号	機器名称	仕 様			電動機			設置場所	
		形式	設置位置	サイズ φ	风量 m ³ /H	静圧 Pa	相-電圧 φ-V		容量 W
VF-1	換気扇	電気式シャッタースタンダード型	壁付け	300	1,200		1-100	35.5	機械室
VF-2	換気扇	電気式シャッタースタンダード型	壁付け	200	546		1-100	21.5	更衣室(男・女)シャワー室(男 女)
VF-3	換気扇	電気式シャッター格子パネル型	壁付け	250	660		1-100	22.5	1F便所(男・女)
VF-4	換気扇	電気式シャッター格子パネル型	壁付け	200	450		1-100	15	1F湯沸室・2F宿泊室15台
VF-5	換気扇	有圧換気扇(給気)	壁付け	500	4,800		1-100	31.5	消火ポンプ室
V-1	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	200	276		1-100	200	1Fシャワー室(男女)5台・2F便 所7台・湯沸室・会議室・リネン 室2台
V-2	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	150	192		1-100	15	管理人室便所
V-3	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	180	258		1-100	18.5	管理人室
V-4	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	200	444		1-100	56	管理人室流し
V-5	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	250	390		1-100	59	消火ポンプ室
V-6	天井扇	低騒音型プラスチックグリル	天吊	200	240		3-200	31.5	事務室・宿泊室4台

戸田艇庫

ITV装置システム

機器名称	仕 様	台 数
カメラ		
	NO1 カメラ:WV-CP474 レンズ:WV-LZ61/15 ハウジング:WV-7160B パンチルド:WV-7260D 取付部:付属品 リモコンユニット:WV-7360	1
	NO2 カメラ:WV-CP474 レンズ:WV-LZ61/2 ハウジング:WV-7160D 取付部:付属品 リモコンユニット:WV-7320	1
	NO3 カメラ:WV-CP464 レンズ:WV-LZ60/2 ハウジング:WV-7120D パンチルド:WV-7220D 取付部:付属品 カメラ用電源24V:WV-7390	1
	NO4 カメラ:WV-CP474 レンズ:WV-LZ61/2 ハウジング:WV-7150B 取付部:WV-7060 カメラ用電源24V:WV-7390	1
映像分配機(カメラ外部同期用)	WJ-300B	1
シーケンシャルスイッチャー(カメラ切替用)	WJ-521	1
14型カラーモニター	WV-1430	2

対 象 設 備 一 覧

(陸上トレーニング場)

建築設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
電動シャッター	<p>関連諸室棟</p> <p>SS-1 3,000W×2,500H 2箇所</p> <p>倉庫棟</p> <p>LSS-1 8,700W×3,600H 2箇所</p> <p>器具庫</p> <p>SS-2 4,600W×2,700H 1箇所</p> <p>SS-3 1,900W×2,700H 1箇所</p>
散水施設	<p>ポンプ</p> <p>口径 80 A</p> <p>揚程 80 m</p> <p>吐出量 66.0 L/分</p> <p>ポップアップスプリンクラー</p> <p>ノズル径 13.5×4.4</p> <p>散水半径 33.1 m</p> <p>使用水圧 0.63 Mpa</p> <p>散水量 330.0 L/分</p> <p>止水弁 100A</p> <p>排水弁 50A</p> <p>ポンプ制御盤 屋外自立型</p>
灌水施設	<p>電磁弁 20A</p> <p>バルブ 20A</p> <p>電気式コントローラー ステンレス壁掛型</p>

建築設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
電動式門扉	<p>門扉 1 W : 10.0m H : 2.0m</p> <p>門扉 3 W : 6.0m H : 2.0m</p>

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
電灯・動力設備	照明設備 蛍光灯器具 108個 分電盤 9面 制御盤 1面
高圧受変電設備	受電方式 3相3線 6,600V 高圧受電盤 3面 低圧配電盤 1面 高圧機器 変圧器 (モールド形) 3相3線 6,600/200V 200KVA 1台 3相3線 6,600/200-105V 40KVA 1台 高圧進相コンデンサー 3相 7020v 26Kvar 2台 直列リアクトル 3相 7020v 1.6Kvar 2台 真空遮断機 (VCB) 7.2KV 600A 1台 負荷開閉器 (LBS) 7.2KV 200A 2台 電磁接触器 (VMC) 7.2KV 200A 2台
構内情報通信設備	LANラック 監視カメラ等用 1式 光情報コンセント 1式 UTP情報コンセント 1式 光成端 1式

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
構内交換設備	デジタル電子交換機 1台 通話路方式 PCM時分割フルデジタル方式 局線 1回線 内線 26回線 多機能 2回線 一般 11回線 PHSアンテナ 11回線 専用線 2回線 本配線盤 実装 電源装置 一体型 停電時補償時間 3時間 電話機 デジタル多機能電話機 1台 停電用デジタル多機能電話機 1台 一般電話機 11台 PHS電話機 台 PHSアンテナ 11台
拡声設備	アンプ、リモートマイク、CDプレーヤー 1式 ラインアレイスピーカ 16個 屋外マイクコンセント 1個 ワイヤレスアンテナ 4個 ダイナミックマイク 1個 BGM遠隔放送設備 リモートマイク 1個 BGM遠隔放送設備 CD-BGMプレーヤー 1個 BGM遠隔放送設備 MDプレーヤー 1個 スピーカ 1式 アッテネーター 1式 音声遠隔制御装置A ネットワーク放送回線接続器 1個 音声遠隔制御装置B ネットワーク放送回線接続器 1個 音声遠隔制御装置B I/Fリレーボックス 1個 音声遠隔制御装置B モニタースピーカ 1個

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
誘導支援設備	復旧釦 1 式
	呼出し釦 1 式
	表示器 1 式
	廊下灯 1 式
呼出し設備	インターカム制御機 1 式
	I Pインターカム子機 1 式
	ドアホン親機 1 式
	ドアホン子機 1 式
テレビ共同受信設備	アンテナ・マスト 1式
	混合器 1式
	直列ユニット 1式
	テレビ機器収納箱 1式
	分配器 1式

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
監視カメラ設備	1式 100V50/60HZ 屋外カメラ カラー 10台 液晶モニター カラー 20型 1台 マルチスイッチャー 1台 ネットワークビデオ信号受信機 1台 ネットワークビデオ信号変換機 1台 リモートコントローラー 1台 電源制御部 1台
出庫表示設備	信号制御盤 LC・自立型・車両感知器内臓 1個 ループコイル 2個 出庫注意灯 両面・スタンド式 1個
入退出管理設備	制御装置 1個 直流電源装置 1式 非接触カードリーダーA 防滴、埋込型 7個 非接触カードリーダーB 防滴、露出型 5個 パッシブセンサー 立体警戒型 12個 マグネットスイッチ 埋込型 2個 通信アダプタ 2個 無停電電源装置 500VA 360W 2個 防犯警報表示盤 10L 1個
外灯	外灯 1灯式 9基 ハンドホール 5個

機械設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
ガスヒートポンプ空調機	ガスヒートポンプマルチエアコン GHP-1 室外機 冷房能力：22.4KW 暖房能力：25.0KW 1台 GHP-1A 室内機 冷房能力：5.6KW 暖房能力：6.3KW 4台 GHP-2 室外機 冷房能力：22.4KW 暖房能力：25.0KW 1台 GHP-2A 室内機 冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW 2台 GHP-2B 室内機 冷房能力：4.5KW 暖房能力：5.0KW 2台 GHP-3 室外機 冷房能力：22.4KW 暖房能力：25.0KW 1台 GHP-3A 室内機 冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW 1台 GHP-3B 室内機 冷房能力：4.5KW 暖房能力：5.0KW 4台
送風機	消音ボックス付送風機 150φ×100m ³ /h×80Pa×0.02KW 1台 200φ×550m ³ /h×110Pa×0.06KW 2台 消音ボックス付送風機 耐湿形 150φ×100m ³ /h×50Pa×0.02KW 1台 150φ×220m ³ /h×90Pa×0.02KW 2台 片吸込みシロッコファン #2 1/2×3, 630m ³ /h×100Pa×0.4KW 1台
全熱交換器	天井埋込形 180m ³ /h×70Pa×0.15KW 1台 天井埋込形 720m ³ /h×90Pa×0.375KW 2台 天井埋込形 450m ³ /h×110Pa×0.191KW 2台 天井埋込形 630m ³ /h×120Pa×0.350KW 1台 天井埋込形 550m ³ /h×100Pa×0.191KW 2台 天井埋込形 180m ³ /h×40Pa×0.116KW 1台

機械設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
給湯・排水ポンプ	給水ポンプユニット 32φ×30L/min×28m×0.75KW 1台 排水用水中ポンプ 40φ×100L/min×60m×0.25KW 1台
ガス給湯器	2台連結マルチ形 加熱能力：50号×2
電気温水器	貯湯式電気温水器 貯湯量 6L 11台 貯湯式電気温水器 貯湯量 25L 1台
衛生器具設備	洋風大便器 CES95621 8組 小便器 UFS800CE 3組 洗面器 L582CMS, TEL85GMX, TS126AR 6組 洗面器 L250CM, TEL85GMX, TS126AR 3組 洗面器 L270CM, TEL85GMX, TS126AR 1組 手洗器 LSJ870APFM 2組 掃除流し SK22A 1組 ウォータークーラー P8AM 1個 ハンドドライヤー TYC400W 2個
雨水貯留施設	流出抑制部貯留量 $13.68 \times 41.04 \times 1.56 \times 0.96 = 840.8 \text{ m}^3$ 貯留部貯留量 $7.2 \times 7.2 \times 0.78 \times 0.96 = 38.8 \text{ m}^3$

機械設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
自動制御設備	<p>集中管理装置 100～240v50HZ 表示操作部 5.7型バックライト付LCD タッチオペレーション</p> <p>リモートユニット 入力点数 29点 100～240v50HZ</p> <p>伝送線 通信速度 4,800bps 通信方式 専用通信 ケーブル仕様 LANケーブルコネクタ接続</p>

対 象 設 備 一 覧

(屋内トレーニングセンター)

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
電灯・動力設備	照明設備 蛍光灯器具他 5,141個 分電盤 32面 制御盤 32面
高圧受変電設備	受電方式 3相3線 6,600V 高圧受電盤 13面 低圧配電盤 13面 高圧機器 変圧器 (モールド形) 3相3線 6,600/210V 200KVA 1台 " " 300KVA 2台 " " 400KVA 3台 6,600/400V 300KVA 1台 " " 400KVA 1台 単相3線 6,600/210-105V 150KVA 3台 スコット型 6,600/210-105V 150KVA 1台 高圧進相コンデンサー 3相 7020v 150Kvar 3台 250Kvar 1台 直列リアクトル 6% 9.57Kvar 3台 6% 16Kvar 1台 真空遮断機 (VCB) 7.2KV 600A 12台 負荷開閉器 (LBS) 7.2KV 200A 11台
静止形電源設備	蓄電池 400A 54セル 1式 整流器 全自動サイスタ整流器 50A 1式
自家発電設備	ディーゼル機関 A重油 1式 交流発電機 625KVA 3Φ3w6600V 50Hz
太陽光発電設備	太陽電池モジュール 1式 多結晶形シリコン 167W×60枚 10.02KW 10KWパワーコンディショナー盤 日射計、気温計、TD箱 データ計測装置 PC・TFT・UPS
避雷設備	1式

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)	
構内情報通信網設備	E I Aラック 光融着接続	
構内交換設備	電話機 デジタル多機能電話機 15台 アナログ一般電話機 57台 PHS電話機 30台 PHSアンテナ 28台	
拡声設備	非常・業務兼用放送架 1式 定格 720W 40局 非常リモコン 1台 業務リモコン 1台 スピーカ 121台	
呼出し設備	インターホン親機 1台 インターホン副親機 2台 インターホン子機 2台	
テレビ共同受信設備	アンテナ・マスト 1式 混合器 1式 直列ユニット 1式 テレビ機器収納箱 1式 分配器 1式	

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
監視カメラ設備	<p>一般用</p> <p>I T V架 1 架</p> <p>液晶モニター 1 7 型 6 台</p> <p>システムコントローラー 1 台</p> <p>電動カラーカメラ 1 6 台</p> <p>電動カラーカメラ ガード付 3 台</p> <p>電動カラーカメラ 屋外用 4 台</p> <p>ドーム型カラーカメラ 2 5 台</p>
競技用カメラ	<p>競技用</p> <p>カメラ制御架接続盤 1 1 システム 1 式</p> <p>カメラ 4 6 台</p> <p>ビデオモニタ 4 6 台</p> <p>V T R 4 6 台</p>
情報表示設備	<p>電気時計</p> <p>親時計 6 回線パネル型 水晶式 1 台</p> <p>子時計 2 2 台</p> <p>競技時計 1 式</p>
映像・音響設備	<p>ワゴンアンプ接続盤 1 面</p> <p>操作ワゴン世知族盤 2 面</p> <p>ワゴン接続盤 2 9 面</p> <p>映像選択盤 4 面</p> <p>操作卓接続盤 2 面</p>

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
舞台照明・舞台機構設備	調光盤 1 式
	調光操作卓 1 式
	照明器具
	ハロゲン 1,000W フネルレンズ [※] 16 台
	ハロゲン 1,000W 凸レンズ [※] 10 台
入退出管理設備	クライアントPC 2 台
	制御装置 8 台
	電源装置 16 台
	非接触式カードリーダー 1 式
	非接触式カード 1 式
屋外	外灯 22 基
	ハンドホール 5 個

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)	
直焚き吸収冷温水機	二重効用吸収式 冷却：1,055KW 加熱：883KW	2台
ターボ冷凍機	高効率形 冷却：1,055KW 冷媒：HFC-134a 容量制御：比例制御	1台
冷却塔	二重効用吸収式超低騒音形 冷却：981KW 遠心冷凍機用超低騒音形 冷却：686KW	4基 2基
氷蓄熱システム	空気熱源スクルーヒートポンプ 冷房：350KW 暖房：297KW 空気熱交換器 横吸込みスクルーヒートポンプ 氷蓄熱槽	1組
熱交換器	プレート式 交換熱量：480KW プレート式 交換熱量：432KW	1基 1基
冷却水ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 5,000L/min×25m×37KW	2台
冷温水ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 3,000L/min×35m×30KW 片吸込み渦巻ポンプ 1,000L/min×35m×18.5KW	2台 2台
冷水ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 3,000L/min×35m×30KW	1台
冷水一次ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 1,380L/min×25m×11KW	1台
冷水二次ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 1,380L/min×35m×18.5KW	1台
温水一次ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 780L/min×25m×7.5KW ラインポンプ 155L/min×25m×2.2KW ラインポンプ 100L/min×25m×1.5KW	2台 2台 2台
温水二次ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 620L/min×35m×11KW	2台
冷温水ヘッダー	(往) 400Φ×7,000L、(復) 400Φ×8,000L	各1基
密閉式膨張タンク	膨張量 1,492L 膨張量 22L	1基 1基

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
コンパクト形空気調和機	床置形 冷却:18.8KW~150.1KW 加熱:17.9KW~196.2KW 計13台
ユニット形空気調和機	床置形 冷却:66.3KW~274.1KW 加熱:58.1KW~207.4KW 計18台
ファンコイルユニット	天井隠蔽ダクト形 95台 天井カセット形 23台
マルチパッケージ形空気調和機	室外機 冷房:4.5KW~28.0KW (冷房専用含) 計6台 暖房:5.3KW~18.0KW
	天井カセット形 冷房:4.5KW~28.0KW (冷房専用含) 計16台 室内機 暖房:5.3KW~18.0KW
ガス式マルチパッケージ形空気調和機	室外機 冷房:18.0KW~56.0KW (冷房専用含) 計32台 暖房:23.6KW~67.0KW
	天井カセット形 冷房:4.5KW~5.6KW (冷房専用含) 計54台 室内機 暖房:5.3KW~6.7KW
	天井埋込ダクト外形 冷房:4.5KW~11.2KW (冷房専用含) 計49台 室内機 暖房:5.3KW~13.2KW
遠心送風機	片吸込 天吊形 計31台 #1×750m ³ /h×200Pa×0.4KW ~#13×63,500m ³ /h×450Pa×22.0KW
	消音ボックス付 天吊形 計111台 #1 1/4×100m ³ /h×150Pa×0.1KW ~#2×3,000m ³ /h×300Pa×1.5KW
有圧換気扇	低騒音形有圧換気扇 2台
全熱交換形換気ユニット	床置形静止形熱交換器 計5台 2,600m ³ ×400pa×2.2KW~4,500m ³ ×350pa×3.7KW

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
全熱交換形換気扇	天井埋込ダ ^ク 外形 計 3 8 台 100m ³ ×100pa×0.1KW～450m ³ ×150pa×0.4KW
自動制御設備	集中管理装置 100V 50HZ P C CPU:Pentium4 3GHz OS:WindowsXP メモリ:512MB以上 HDD 20GB LCD カラー液晶 19型 プリンター カラーレーザープリンター A4 リモートユニット I O点数 約 1,184点 伝送線 通信速度 4,800bps 通信方式 専用通信 ケーブル仕様 LANケーブルコネクター接続
床暖房設備	温水式床暖房設備 温水ヘッダー 1 式
屋内テニスコート空気調和設備	パッケージ形空気調和機 室外機 冷房:14.0KW 暖房:16.0KW 天井カセット式 室内機 冷房:7.0KW 暖房:8.0KW 1 台 2 台
屋内テニスコート換気扇	天井埋込形 有圧換気扇 8 台 2 台

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)	
給水設備		
上水用受水槽	FRP製 ^ハ 珪タ ^ク （単板） 2槽式 有効容量 40,000L 4,000×(2,000+2,000)×3,000H	1基
雑用水副受水槽	RP製 ^ハ 珪タ ^ク （単板） 有効容量 1,000L 1,000×1,000×1,500H	1基
給水ポンプユニット	末端圧力推定制御方式 2台並列自動交互3台ローテーション運転 700L/min×65m×7.5KW	6台
次亜塩素注入装置	PVC製 ^{タ^ク} 有効容量 200L	1台
排水設備		
汚水汚物用水中ポンプ	自動交互・並列運転 80Φ×150L/min×15m×3.7KW	4台
雑排水用水中ポンプ	自動交互・並列運転 50Φ×100L/min×15m×1.5KW	4台
	自動交互・並列運転 65Φ×250L/min×15m×2.2KW	6台
	自動交互・並列運転 65Φ×150L/min×20m×3.7KW	2台
	自動交互・並列運転 80Φ×500L/min×15m×3.7KW	3台
雨水排水用水中ポンプ	自動交互・並列運転 100Φ×800L/min×15m×5.5KW	2台
	自動交互・並列運転 100Φ×1,100L/min×15m×5.5KW	8台

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
湧水排水用水中ポンプ	自動交互・並列運転 65Φ×150L/min×15m×1.5KW 6台
衛生器具設備	洋風便器（男性用） C480S TCF581MR 19組 洋風便器（女性用） C480S TCF581WR 30組 壁掛一体型小便器 UFS800CE 21組 身障者用洋風便器 CFS802A TCF4121V81PW 5組 紙巻器 54組 各種洗面器 計92組 各種手洗い器 計10組
給湯設備 真空式温水発生機	鋳鉄製真空温水発生機 3回路形 定格出力：968KW 2台
貯湯タンク	ステンレス鋼板製（SUS444）立形 有効容量：5,500L 2基
給湯一次ポンプ	ステンレス製ラインポンプ 40Φ×120L/min×25m×1.5KW 2台
給湯一次ポンプ	ステンレス製ラインポンプ 32Φ×30L/min×10m×0.4KW 2台
温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 2台 65Φ×50Φ×440L/min×25m×5.5KW 片吸込渦巻ポンプ 1台 80Φ×65Φ×780L/min×25m×7.5KW

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
熱交換器	SUS316製プレート形 交換熱量：540KW 1 基
給湯二次ポンプ	ステンレス製ラインポンプ 40Φ×170L/min×25m×1.5KW 1 台
膨張タンク	鋼板製密閉形隔膜式 1,000Φ×1,800H 容量：860L 膨張量：113L 2 基
	鋼板製密閉形隔膜式 400Φ×450H 容量：37L 膨張量：21L 1 基
プールろ過設備 ろ過設備（25mプール系統）	25mプールろ過装置 ろ過ポンプ 集毛器 プレート式熱交換器 水質監視装置 清澄剤注入装置 殺菌助剤注入装置 殺菌剤注入装置 還水槽 エアコンプレッサー 制御盤 2 式 2 式 2 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式
ろ過設備（人工炭酸泉系統）	人工炭酸ろ過装置 高度衛生処理管理装置 炭酸泉製造装置 1 式 1 式 1 式
ろ過設備（ジャグジープール系統）	ジャグジープールろ過装置 高度衛生処理管理装置 ジェットポンプ 集毛器 バイグラブロー 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
中央集塵設備	ブロワー一体型集塵機 2基 ポータブル集塵設備 30台
自動灌水設備	自動灌水設備 1式
雨水再利用設備 雨水ろ過装置	全自動砂ろ過方式 1台 ろ過塔 : SUS304製 ろ過能力 : 6.0m ³ /h ポンプ : 片吸込渦巻形 100L/min×20m×1.5KW
更衣室 衛生器具	洋風便器 C480S 3組 壁掛一体型小便器 2組 紙巻器 3組 アンダーカウンター式洗面器 6組
ガス給湯器	屋外壁掛形 給湯能力 : 32号 2台

対 象 設 備 一 覧

(宿 泊 施 設 (東 館 ・ 西 館 ・ 南 館))

※【南館】と表示があるのは、宿泊施設南館（H23.5.1供用開始）の対象設備です。

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
電灯・動力設備	照明設備 蛍光灯器具他 3,299個【南館1,794個】 分電盤 18面【南館20面】 制御盤 23面 端子盤 【南館8面】 収納盤 【南館9面】
高圧受変電設備	受電方式 3相3線 6,600V 高圧受電盤 10面【南館5面】 低圧配電盤 8面【南館7面】 高圧機器 変圧器 (モールド形) 3相3線 6,600/210V 150KVA 1台 " " 300KVA 4台 単相3線 6,600/210-105V 150KVA 3台 【南館】 単相3線 6,600/210-105V 150KVA 3台 【南館】 3相 6,600/210-105V 75KVA 1台 【南館】 3相 6,600/210-105V 300KVA 2台 スコット型 6,600/210-105V 150KVA 1台 【南館】 スコット型 6,600/210-105V 75KVA 1台 高圧進相コンデンサー 3相 7020v 106kvar 4台 【南館】 N2ガコンデンサ 3相53.2kvar 7020v 50HZ 1台 直列リアクトル 6% 6.38kvar 4台 【南館】 高圧モルトリアクトル 3相3.19kvar 6600v 50HZ 1台
静止形電源設備	真空遮断機 (V C B) 7.2KV 600A 9台 負荷開閉器 (L B S) 7.2KV 200A 15台
自家発電設備	蓄電池 200A 54セル 1式 整流器 全自動サイリスタ整流器 50A 1式 ディーゼル機関 1500rpm 544kw 1式 交流発電機 625KVA 3Φ3w6600V 50Hz 自動始動盤 1式 始動用直流電源装置 1式
避雷設備	1式
【南館】太陽光発電設備 設備棟 宿泊棟	太陽電池モジュール (190W) 48枚 1式 接続箱 パワーコンデンサー盤 太陽電池モジュール (190W) 30枚 1式 接続箱 パワーコンデンサー盤
【南館】直流電源設備	整流器20A 蓄電池150Ah /10Hr 54セル 1式

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
監視カメラ設備	一般用 I T V架 1 架 液晶モニター 1 7型 3 台【南館 1 台】 システムコントローラー 1 台 電動カラーカメラ 2 台 電動カラーカメラ 屋外用 2 台【南館 1 台】 ドーム型カラーカメラ 4 4 台【南館 2 5 台】
駐車場管制設備	出庫警報灯 2 台 ループコイル 4 式
入退出管理設備	客室管理用 P C 1 台【南館 1 台】 クライアント P C 1 台【南館 1 台】 光メディアコンバーター 1 台 制御装置 2 6 台【南館 1 9 台】 電源装置 5 2 台【南館 3 8 台】 非接触式カードリーダー 1 式【南館 1 2 7 台】 H U B 1 3 台【南館 8 台】

電気設備

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
客室管理設備	PCインジケータ 1台 フロアインジケータ 10台【南館5台】 カードキーセンサー 131台【南館114台】 電源コントロールボックス 136台【南館114台】
屋外	外灯 20基 ハンドホール 14個

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)	
直焚き吸収冷温水機	二重効用吸収式	2 台
	冷却：360KW 加熱：283KW 【南館】冷却：211KW 加熱：173.3KW	2 台
冷却塔	圧縮式超低騒音形	冷却：1,450KW 1 基
	【南館】角型超低騒音型密閉式	冷却：732.6KW 1 基
熱交換器	プレート式 交換熱量：1,050KW	1 基
温水ヘッダー	(往) 200Φ×2,500L、(還) 200Φ×2,500L	各 1 基
	【南館】300Φ×3,000L、(還) 300Φ×3,000L	各 1 基
冷却水ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 1,600L/min×40m×22KW	2 台
	【南館】片吸込み渦巻ポンプ 1,050L/min×40m×18.5KW	2 台
温水循環ポンプ	片吸込み渦巻ポンプ 750L/min×25m×7.5KW	2 台
	【南館】片吸込み渦巻ポンプ 400L/min×10m×1.5KW	2 台
密閉式膨張タンク	容量:47L 膨張量：31L	1 基
	容量:254L 膨張量：55	1 基
	容量:1,100L 膨張量：250L	1 基
	【南館】	
	容量:200L 膨張量：160L	1 基
	容量:200L 膨張量：160L	1 基
コンパクト形空気調和機	床置形 冷却:60.2KW~240KW 加熱:49.6KW~146.5KW	計 6 台
	【南館】 床置形 冷却:33.9KW 加熱:31.3KW	1 台
ユニット形空気調和機	床置直膨コイル形 冷却:259.5KW 加熱:208.6KW	1 台
	【南館】 床置形水平屋外設置型 冷却:176.4KW 加熱:85.2KW	1 台
	床置形水平屋外設置型 冷却:149.2KW 加熱:72.1KW	1 台
	床置直膨コイル形 冷却:104.7KW 加熱:50.6KW	1 台

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
水熱源ヒートポンプユニット	天井埋込ダクト形 冷房：3.57KW 暖房：4.53KW 174台 天井埋込ダクト形 冷房：5.5KW 暖房：7.02KW 70台 天井埋込ダクト形 冷房：8.82KW 暖房：9.70KW 12台 【南館】 天井埋込ダクト形 冷房：2.57KW 暖房：3.0KW 170台 天井埋込ダクト形 冷房：5.0KW 暖房：6.0KW 15台 天井カセット形 冷房：2.5KW 暖房：3.0KW 9台
マルチパッケージ形空気調和機	室外機 冷房：14.0KW～56.0KW 計4台 暖房：16.0KW～63.0KW 【南館】 室外機 冷房：14.0KW～45.0KW 計5台 暖房：18.0KW～37.5KW 室内機 冷房：2.2KW～28.0KW 計21台 暖房：2.5KW～9.0KW
ガス式マルチパッケージ形空気調和機	室外機 冷房：18.0KW～56.0KW 計6台 暖房：23.6KW～67.0KW 室内機 冷房：4.5KW～7.1KW 計30台 暖房：5.3KW～8.5KW
空冷パッケージ形空気調和機	室外機 冷房：28.0KW（冷房専用） 2台 室内機 冷房：28.0KW（冷房専用） 2台 【南館】 室外機 冷房：4.0KW（冷房専用） 3台 室内機 冷房：4.5KW（冷房専用） 3台
遠心送風機	片吸込天吊形、床置形 計10台 #1 3/4×2,700m ³ /h×300Pa×1.5KW～#5 27,600m ³ /h×350Pa×11.0KW 消音ボックス付 天吊形 計52台 #1 1/4×500m ³ /h×100Pa×0.1KW～#2 1/2×2,850m ³ /h×200Pa×1.5KW 【南館】 片吸込天吊形、床置形 計8台 #1 1/2×1,800m ³ /h×200Pa×0.4KW～#1 1/2×7,300m ³ /h×450Pa×3.7KW 消音ボックス付 天吊形 計30台 #1 1/4×150m ³ /h×100Pa×0.031KW～#1 1/2×1,350m ³ /h×100Pa×0.262KW
換気扇	【南館】天井扇、天吊形 計62台 50m ³ /h×100Pa～250m ³ /h×100Pa
脱臭装置	【南館】酸素クラスター脱臭装置（ダクト挿入型） 計2台 1,600m ³ /h～2,400m ³ /h

脱気装置	<p>【南館】配管腐食用脱気装置 標準処理水量 300L/h 溶存酸素濃度 0.5mg/L 運転圧力 0.5Mpa 1.8KW</p>	1台
軸流送風機	低騒音床置形 350Φ×1,900m ³ /h×250pa×15.0KW	1台
全熱交換形換気扇	天井埋込ダクト外形、天井埋込ダクト形 100m ³ ×80pa×0.1KW～500m ³ ×120pa×0.2KW	計47台
	<p>【南館】 天井埋込ダクト外形、天井埋込ダクト形 100m³×100pa×0.067KW～410m³×100pa×0.215KW</p>	計15台
冷却水処理装置 (直だき吸収冷温水機系統)	<p>【南館】30mL/min×100Pa タンク容量 120L、1Φ100V・0.016KW</p>	計2台

機械設備（空調関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
自動制御設備	<p>集中管理装置 PC CPU:Pentium4 3GHz OS:WindowsXP メモリ:512MB以上 HDD 128GB LCD カラー液晶 17型 プリンター カラーレーザープリンター A4</p> <p>リモートユニット IO点数 約 508点</p> <p>伝送線 通信速度 4,800bps 通信方式 専用通信 ケーブル仕様 LANケーブルコネクター接続</p>
床暖房設備	<p>電気式床暖房設備 1式</p> <p>FH-1 3Φ3W 200V 15.72KW 52.3m²</p> <p>FH-2 3Φ3W 200V 18.84KW 61.4m²</p>

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)		
衛生器具設備	洋風便器（男性用）	C480S TCF581MR	1 4組
	洋風便器（女性用）	C480S TCF581WR	2 1組
	洋風便器	C110B TCF4121A	1 9組
	洋風便器	C670B TCF6131A	2 組
	壁掛一体型小便器	UFS800CE	1 2組
	身障者用洋風便器	CFS802A TCF4121V81PW	2 組
	紙巻器 YH60M		5 6組
	各種洗面器		計 8 7組
	各種手洗い器		計 2 組
	【南館】		
	洋風大便器	C480N	1 5組
	洋風大便器	C743PVRS	2 組
	洗浄脱臭暖房便座	TCF581MR	1 7台
	洋風便器	C5670B	1 組
	洗浄脱臭暖房便座	TCF6131RAM	1台
	壁掛一体型小便器	UFS800CE	5 組
	身障者用洋風大便器	C550SU	1 組
	洗浄脱臭暖房便座	TCF4421EV81	1台
	紙巻器	YH60M	1 5組
	紙巻器	YH60M	2 組
	各種洗面器		計 3 3組
	各種手洗い器		計 1 組
	給湯設備		
真空式温水発生機	鋳鉄製真空温水発生機 3回路形 定格出力：2,500KW	2台	
	【南館】 鋳鉄製 2回路 屋外設置型 定格出力：814KW	2台	
貯湯タンク	ステンレス鋼板製（SUS444）立形 有効容量：30,000L	2基	
	【南館】 ステンレス鋼板製（SUS444）立形 有効容量：5,000L 寸法：1,500Φ×2,700L	2基	
	ステンレス鋼板製（SUS444）立形 有効容量：4,200L 寸法：1,300Φ×2,800L	1基	
温水循環ポンプ	ラインポンプ 65Φ×380L/min×15m×3.7KW	2台	
給湯一次ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 80Φ×65Φ×420L/min×30m×5.5KW	2台	
	【南館】ステンレス製ラインポンプ 32Φ×100L/min×5m×0.25KW	4台	
給湯二次ポンプ	ステンレス製ラインポンプ 25Φ×30L/min×10m×0.4KW	1台	
	ステンレス製ラインポンプ 25Φ×20L/min×10m×0.4KW	1台	
	ステンレス製ラインポンプ 25Φ×20L/min×10m×0.4KW	2台	
	【南館】ステンレス製ラインポンプ 25Φ×25L/min×10m×0.4KW	4台	

集熱一次ポンプ	【南館】 ステンレス製ラインポンプ 32Φ×50L/min×150m×0.75KW	2台
集熱二次ポンプ	【南館】 ステンレス製ラインポンプ 32Φ×50L/min×100m×0.4KW	2台
冷水循環ポンプ	ラインポンプ 32Φ×36L/min×20m×1.5KW	1台
チリングユニット	空冷チラーユニット 空冷ヒートポンプチラー インバーター形 冷却：12.5KW	1台

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
膨張タンク	鋼板製密閉形隔膜式 1 基 300Φ×400H 容量：10L 膨張量：2L 鋼板製密閉形隔膜式 2 基 1,500Φ×2,700H 容量：2,249L 膨張量：488L 鋼板製密閉形隔膜式 1 基 400Φ×450H 容量：30L 膨張量：20L 【南館】 鋼板製密閉形隔膜式 1 基 914Φ×2,120H 容量：948.3L 膨張量：237.1L
浴槽ろ過設備	
ろ過設備（男子浴槽系統）	ろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式 殺菌剤注入装置 1 式
ろ過設備（女子浴槽系統）	ろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式
ろ過設備（男子ジャグジー系統）	ジャグジープールろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式 ジェットポンプ 1 式 集毛器 1 式 ハイフラブロー 1 式
ろ過設備（女子ジャグジー系統）	ジャグジープールろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式 ジェットポンプ 1 式 集毛器 1 式 ハイフラブロー 1 式
ろ過設備（男子水風呂系統）	ろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式
ろ過設備（女子水風呂系統）	ろ過装置 1 式 高度衛生処理管理装置 1 式

機械設備（衛生関係）

機 器 名 称	仕 様 (形 式)
自動灌水設備	自動灌水設備 1 式
厨房器具設備	厨房器具設備 1 式
ガス給湯器	屋外壁掛形 給湯能力：24号 3 台 【南館】 屋外床置高効率形 給湯能力：100号(50号×2台) 1 台 屋外壁掛高効率形 給湯能力：24号 1 台
電気給湯器	【南館】 電気瞬間湯沸器 壁掛形 給湯能力：3.2号 4 台 電気瞬間湯沸器 壁掛形 貯湯量：12L 2 台
太陽熱集熱器	【南館】 平板形集熱器 チューブインシート形 45枚 太陽光線吸収率：0.91～0.94 放射率：0～0.12 外形寸法：1,002×2,002×77 本体重量：53.5kg 集熱面積：1.91 最高使用圧力：0.294Mpa 透過体種類：強化白板ガラス
落水槽	太陽集熱器用落水槽 ステンレス開放形パネルタンク 1 基 容量：1m ³ 寸法：1,000×1,000×1,000H